

(8)円形周溝遺構

幅30～100cm程度の溝が円形に回る形態の遺構で5区北東部から2基、6区北東部から1基、計3基検出されている。5区の2基は重複している。3基とも周溝埋土にHr-FAに比定される白色軽石を混入し、規模・形態も類似しているため、同一時期の可能性が高い。

いずれの遺構も周溝心々間での直径が約6mであり、小規模な古墳の主体部が削平され周溝のみが残った可能性もあるが、周溝内や遺構周辺から埴輪等の遺物は出土していないため、断定することは難しい。

5区223号円形周溝遺構

位置 886～892—894～900Gr

重複 299円形周溝遺構より新、1掘立と重複新旧不明

形態 円形 長径 6.62m 短径 [5.27m]

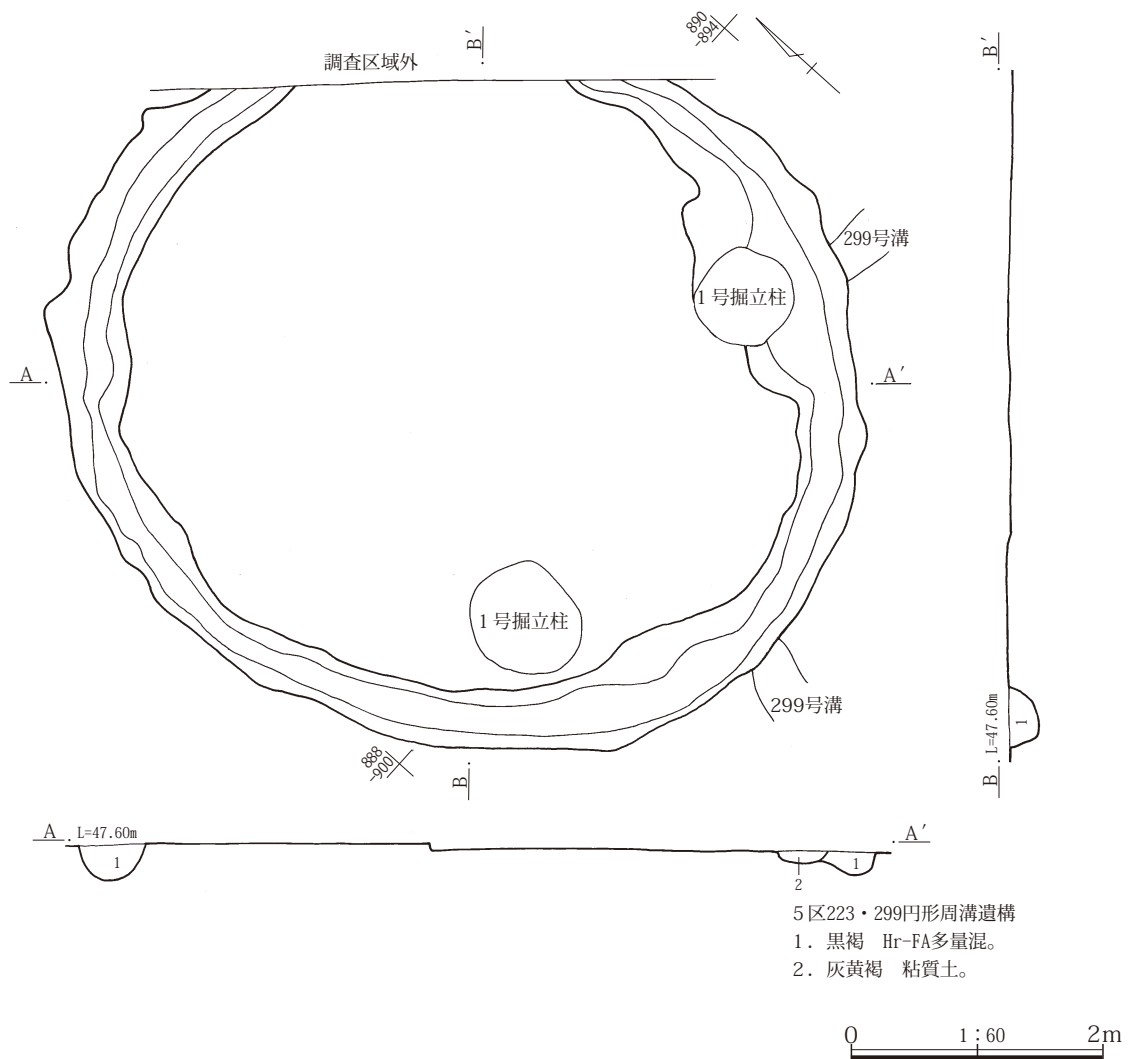
周溝 幅1.05～0.32mで深さ33cmである。断面形態は半円形を呈すが、東部から南部にかけて、部分的に外側の立ち上がりが内側よりも急になっている。底面の標高は北部が高く南部が低くなっており、標高差は16cmである。

外側面積 [28.13m²] 内側面積 [20.30m²]

主軸方位 N-33°-W

出土遺物 出土遺物は非常に少なく、土師器の杯片が少量(5g)出土しているだけである。

時期 出土遺物は非常に少なく、遺物から時期を確定することはできない。埋土中にHr-FAを含むため、Hr-FA降下時を大きく下らない時期の可能性が高い。



第253図 古墳～平安時代円形周溝遺構1

5区299号円形周溝遺構

位置 882～888—891～897Gr

重複 223号円形周溝遺構より旧、1掘立と重複新旧不明

形態 円形 長径 6.21m 短径 5.95m

長径/短径 1.04

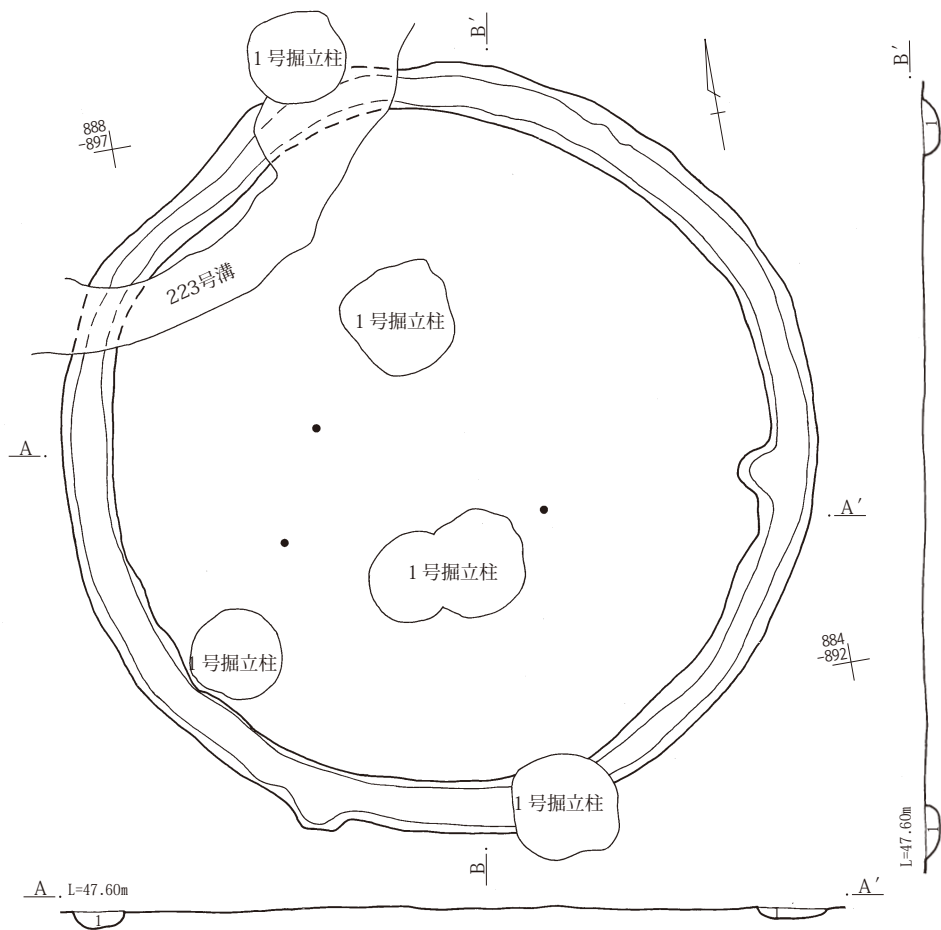
周溝 幅0.43～0.27mで深さ18cmである。削平が著しく断面形態ははっきりしないが、皿状を呈し、全体的に内側の立ち上がりよりも外側の立ち上がりが急になっていると考えられる。底面の標高は北部が高く南部が低くなっているが、標高差は11cmで5区223号より小さくなっている。

外側面積 (28.05m²) 内側面積 (21.76m²)

主軸方位 N-10° -W

出土遺物 出土遺物は非常に少なく、土師器の甕片(90g)・杯片(5g)が少量出土しているだけである。

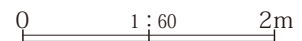
時期 223号同様出土遺物は非常に少なく、遺物から時期を確定することはできない。埋土中にHr-FAを含むため、Hr-FA降下時を大きく下らない時期の可能性が高い。



5区223・299号円形周溝遺構

1. 黒褐 Hr-FA 多量混。

2. 灰黄褐 粘質土。



第254図 古墳～平安時代円形周溝遺構2

6区1号円形周溝遺構

位置 940～946-817～823Gr

重複 189土坑、929・931～935・938ピットと重複、新旧不明

形態 円形 長径 6.63m 短径 6.36m

長径/短径 1.04

周溝 幅0.81～0.45mで深さ27cmである。断面形態は逆台形であるが、東部から南部・西部にかけては内側の立ち上がり外側よりもやや急になっている。底面の標高は、北西部が高く南東部が低くなっており、標高差は11

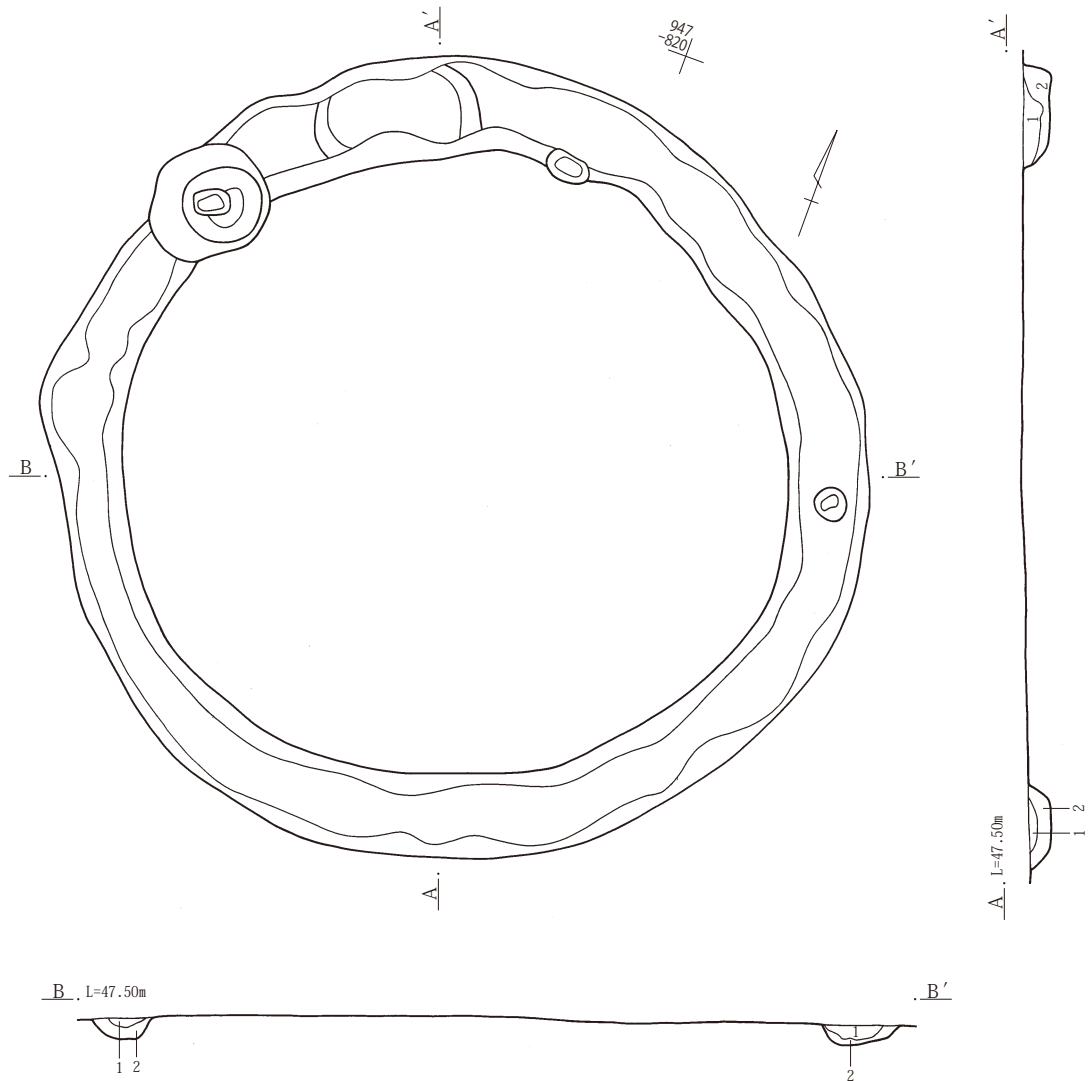
cmで5区299号と同じである。北部に長径1.9mの土坑状の浅い掘り込みがある。

外側面積 32.01m² 内側面積 20.76m²

主軸方位 N-82° -E

出土遺物 出土遺物は非常に少なく、土師器の杯片が少量(40g)出土しているだけである。

機能・時期 5区223・299号同様出土遺物は非常に少なく、遺物から時期を確定することはできない。5区223・299号と埋没土や形態が近似しているため、同様な時期に帰属する可能性が高い。



- 1 黒褐 (10YR3/2) ローム・焼土粒、炭化物・白色軽石混。しまり強。
- 2 暗褐 (10YR3/3) ローム粒多量、白色軽石少量混。しまり強。

0 1:60 2m

第255図 古墳～平安時代円形周溝遺構3

(9) 道路遺構 (第256～264図 PL.114～116)

道路遺構が1条検出されている。削平により道路面は残存せず、硬化面等は検出されていない。両側の側溝(1区2・3溝)のみ残存する。

①位置 595～619—145～259Gr

調査区南西部1区北西壁中央部から南北東壁中央部まで1区北部を横断。

②重複 4・5・13・18溝より旧、162・194・269・279・280・313土坑と重複。

③規模 道路幅は、側溝の中心と中心の間の距離で最大10.05m最少10.01m、20m間隔の測定値の平均10.03mで、調査区内の現存長は113.9mである。

側溝は、北側溝(2溝)が、幅最大1.68m最少0.26m、20m間隔の測定値の平均1.11m、深さ最大44cm、20m間隔の測定値の平均24cmであり、南側溝(3溝)が、幅最大1.98m最少0.46m、20m間隔の測定値の平均1.13m、深さ最大49cm、20m間隔の測定値の平均30cmである。

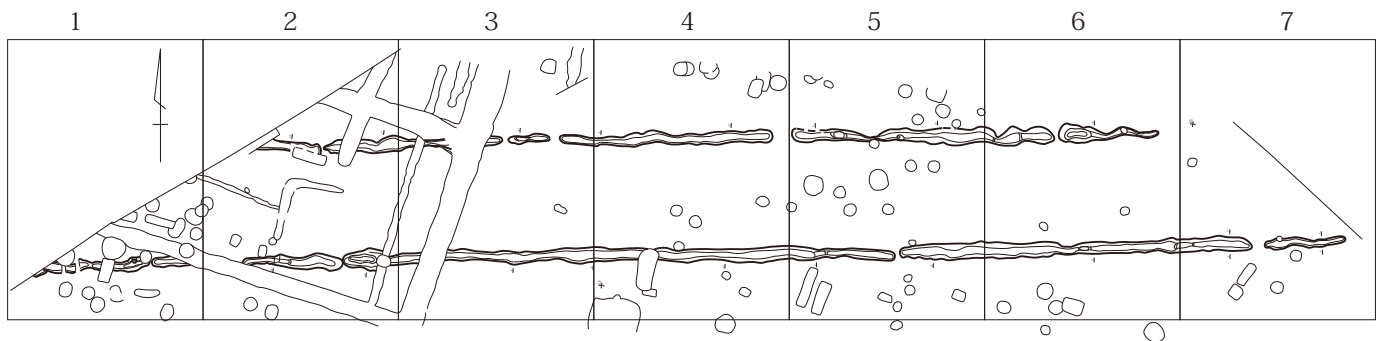
④形態 全体的にほぼ直線で走っている。側溝は、整然と掘られているわけではなく、北側溝・南側溝それぞれに、幅で1.42m・1.52m、深さで42cm・46cmの差があり、

深い部分と浅い部分が交互に続く状況で、北側溝では5か所、南側溝で5か所途切れている。それ以外に細くあるいは浅くなる箇所もあり、長さ5～23m程度の細長い土坑状の掘り込みが連続している掘り方となっている。途切れる箇所と細く浅くなる箇所を合わせると、南北の側溝でそれがほぼ同位置になっており、長さは東から、8m以上・17m・16m・8m・23m・(5m)・16m・9m・8m・10m以上となる(カッコ内の5mは北側溝だけで確認され、南側溝でははっきりしない)。

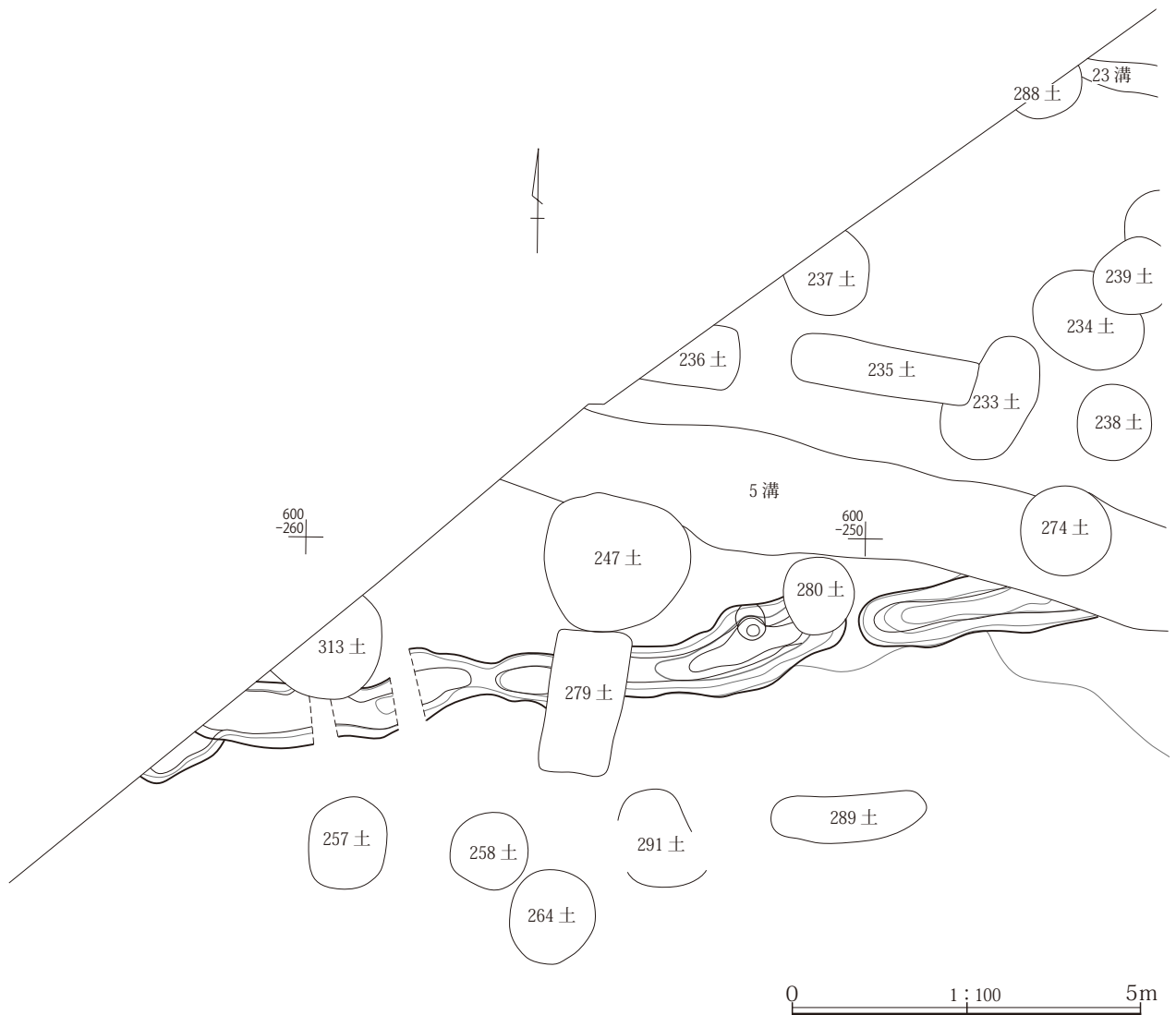
⑤走向 N-83° - E(N-187° - W)東西方向から7°北に振れている。

⑥出土遺物 なし

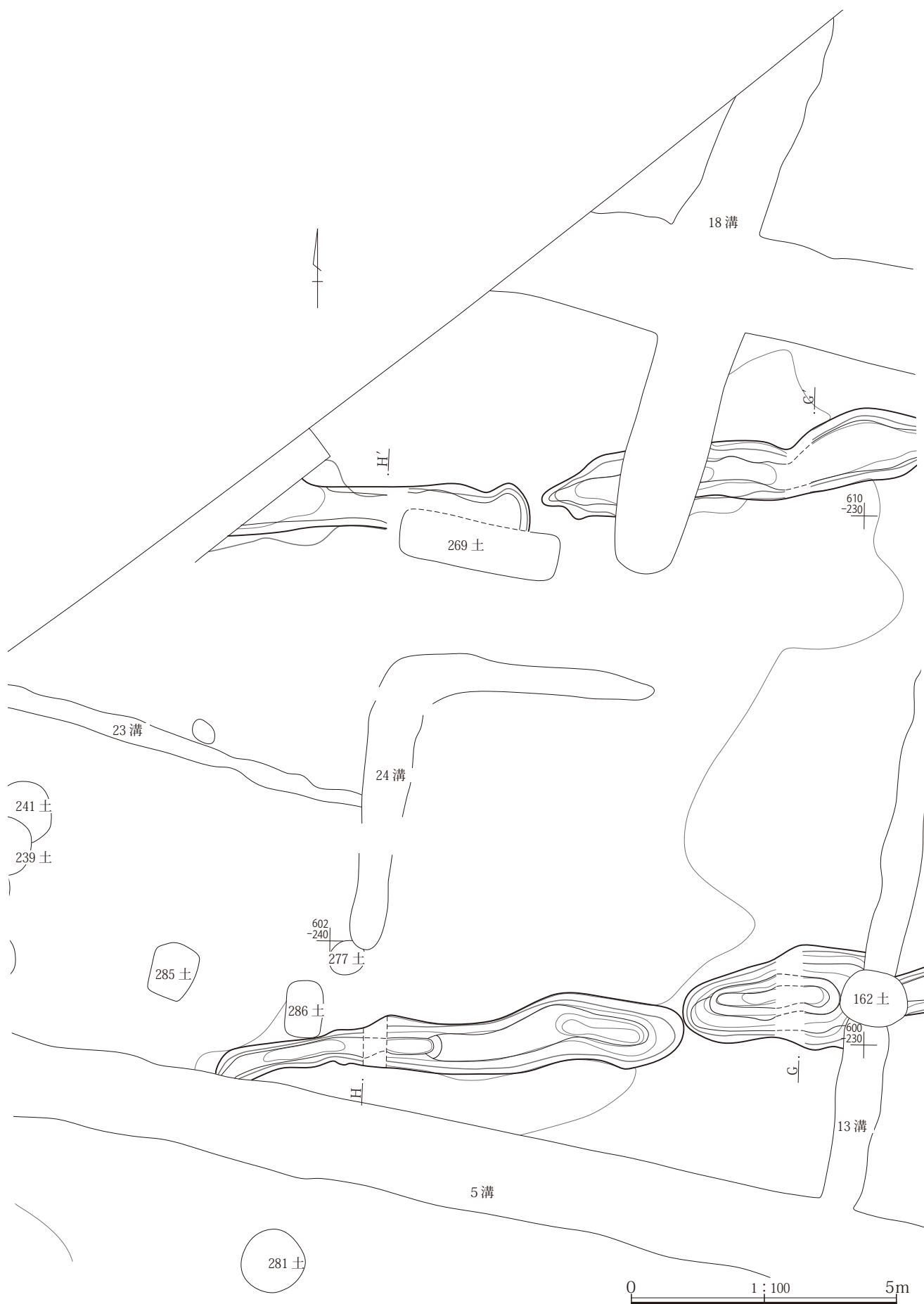
⑦時期・機能 出土遺物がないため遺物から時期を確定することはできない。埋土中にHr-FAと推定される白色粒子を含むため、Hr-FA降下以降の遺構であること以外詳細は不明である。幅10mの直線道路であるため、駅路級の道路である可能性があり、その視点での時期推定は可能である。(第V章参照)



第256図 1区道路遺構全体図・割図配置図



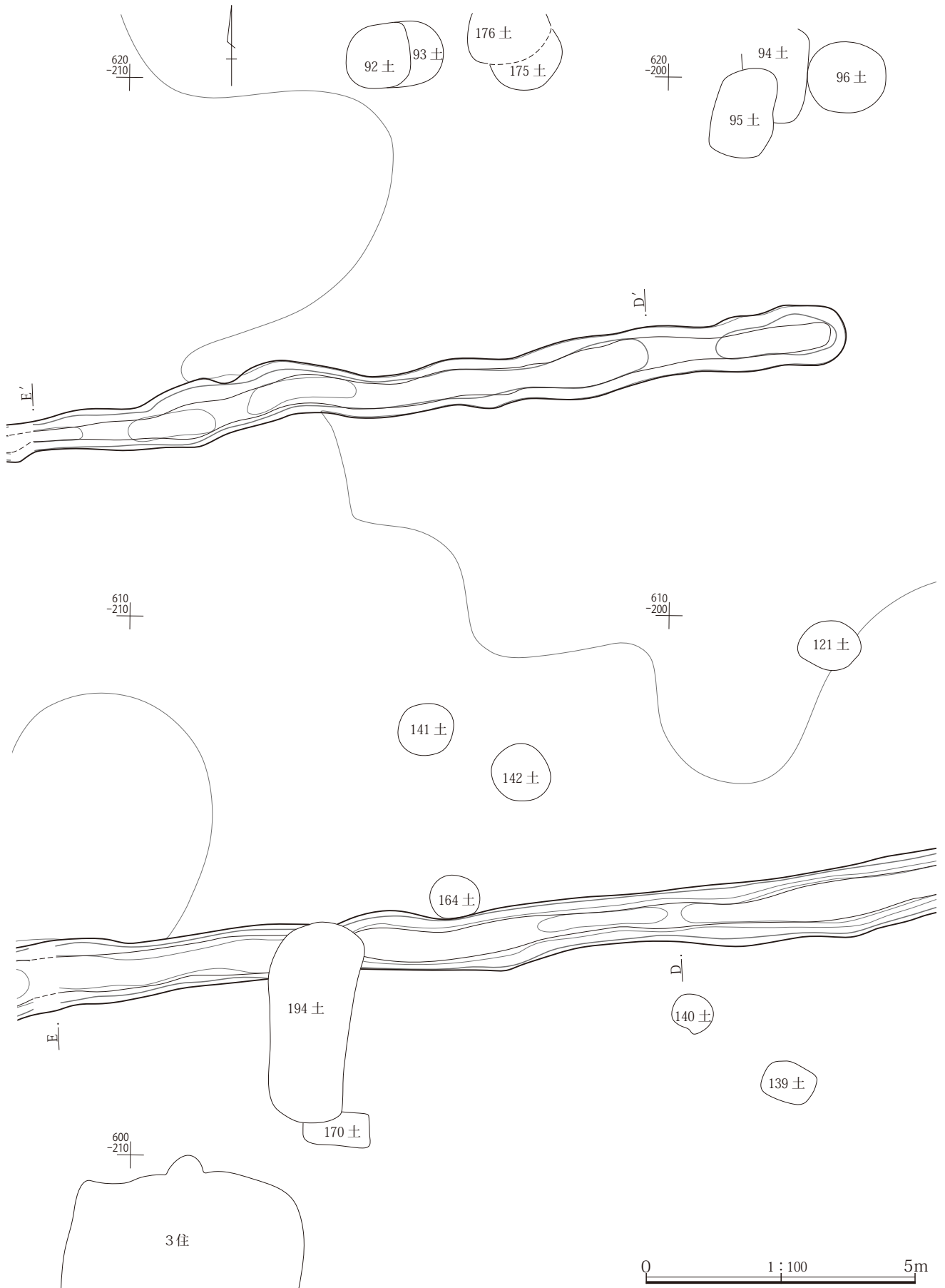
第257図 1区道路遺構平面図1



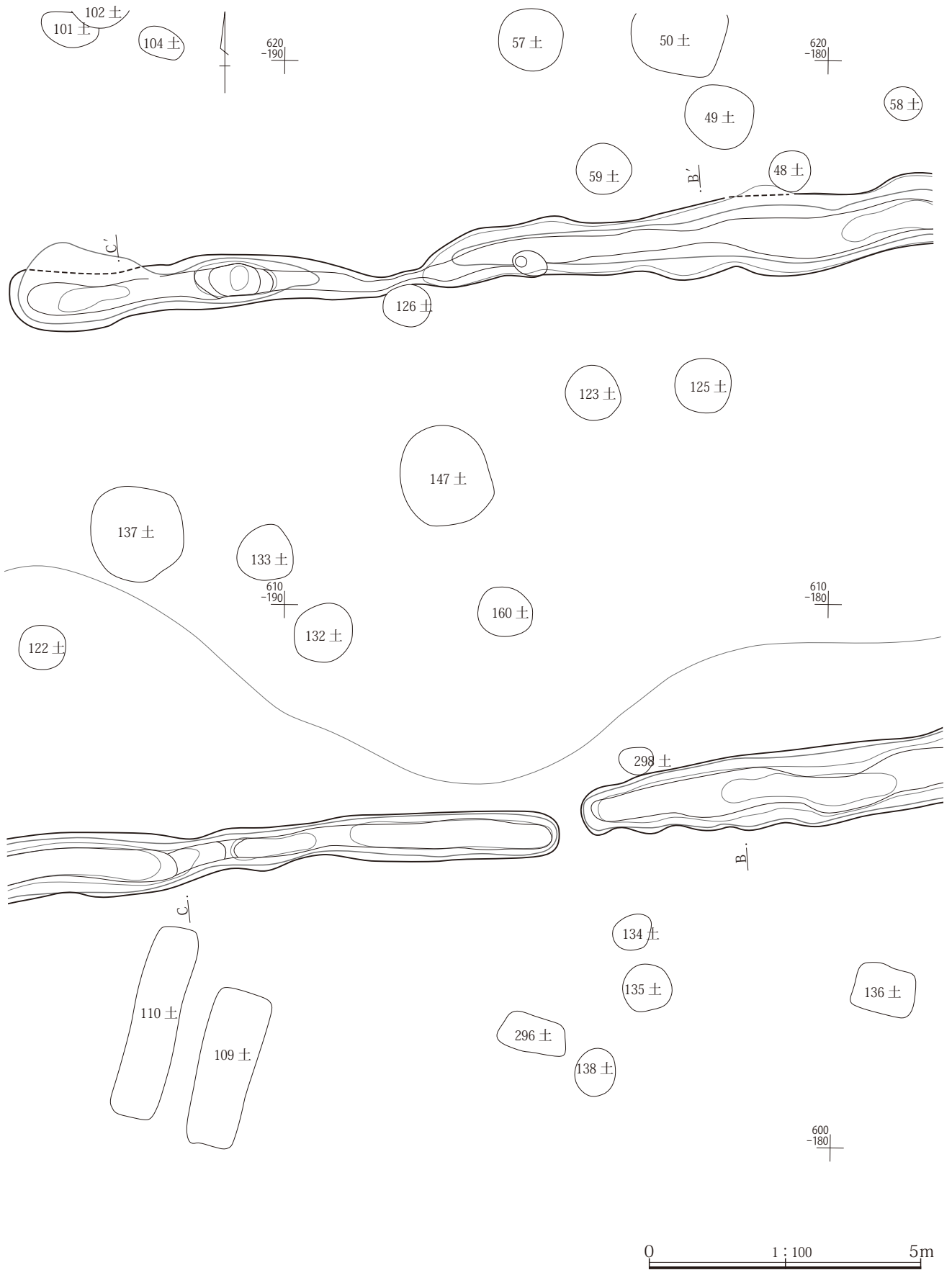
第258図 1区道路遺構平面図2



第259図 1区道路遺構平面図3



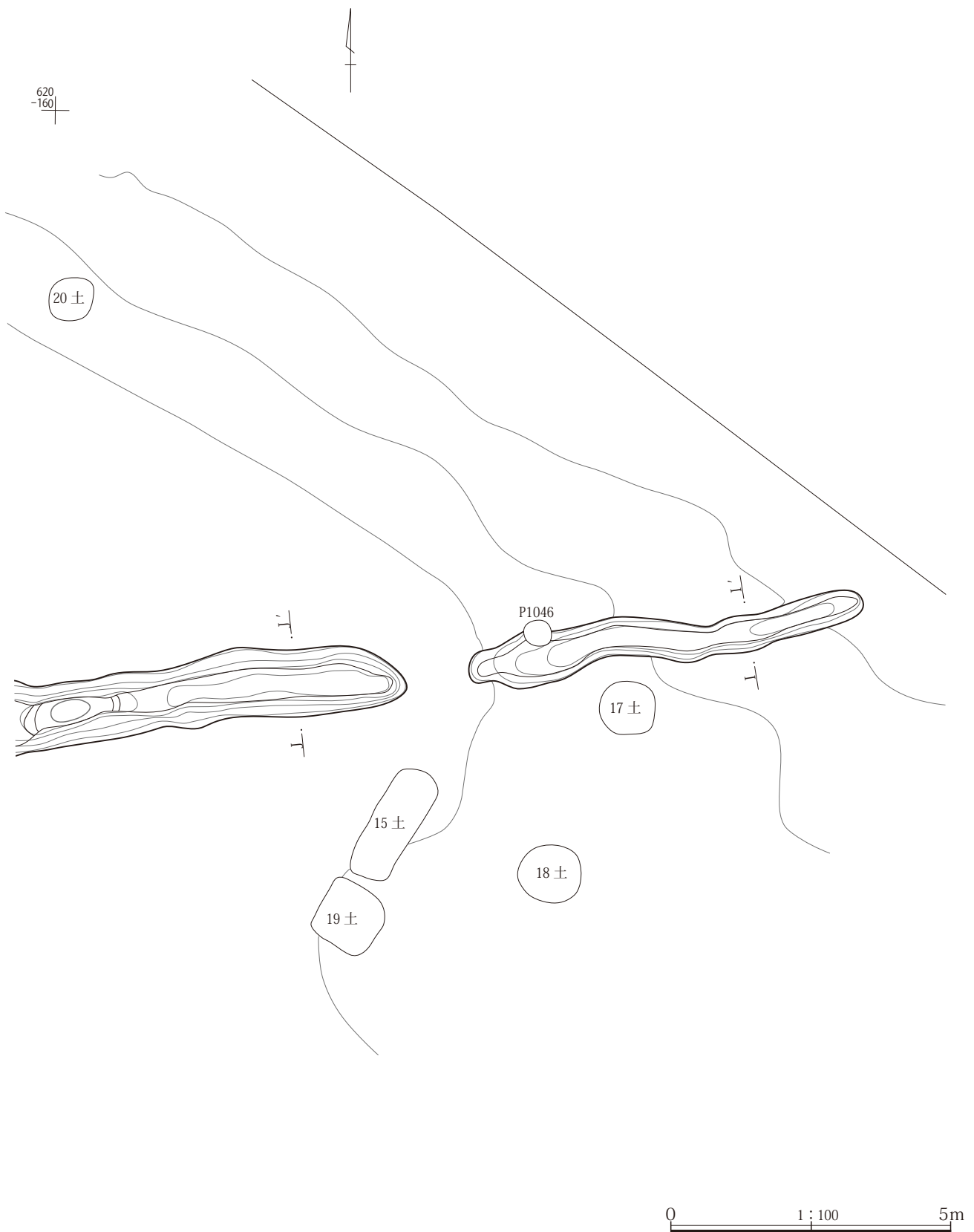
第260図 1区道路遺構平面図4



第261図 1区道路遺構平面図5

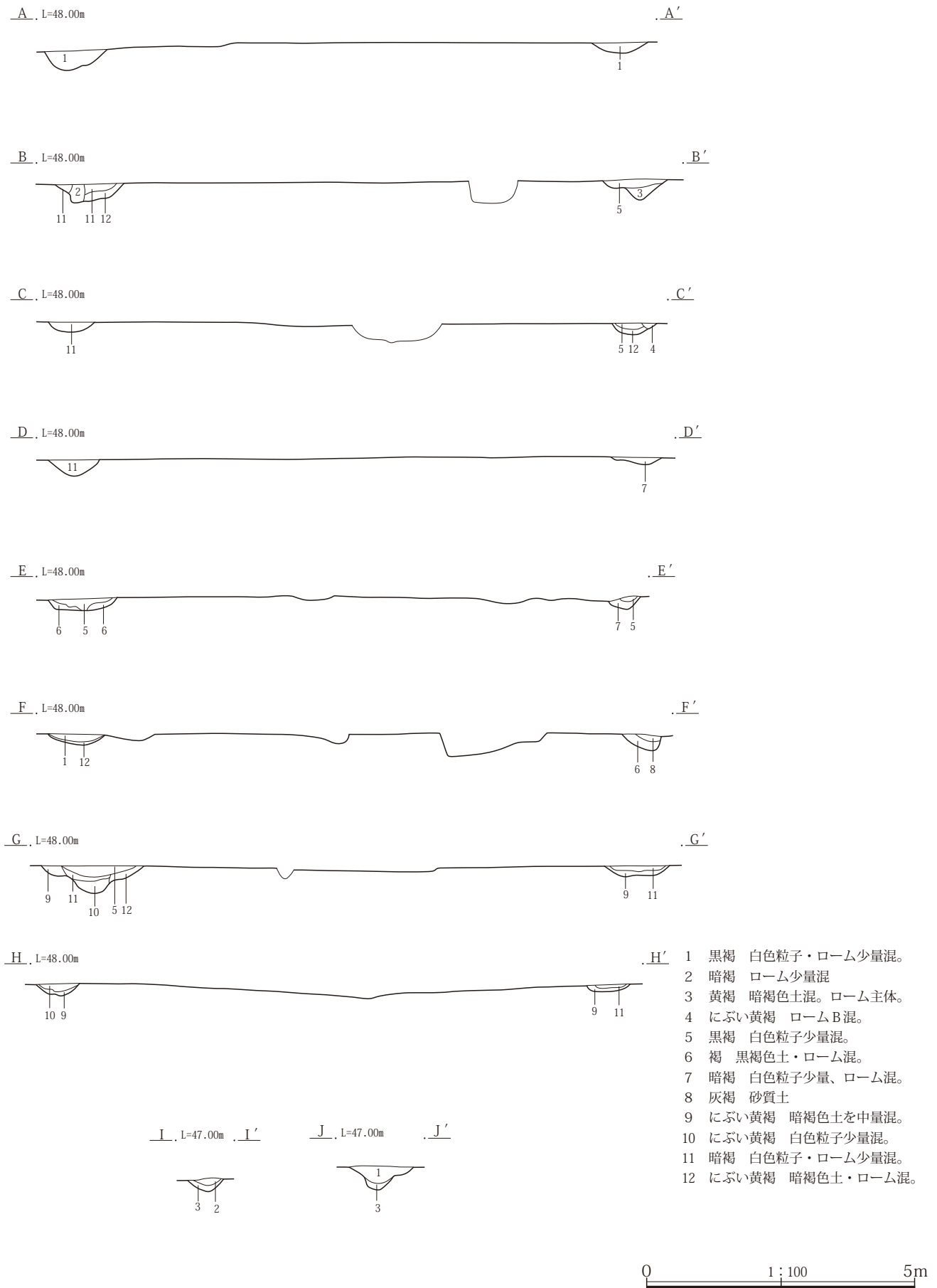


第262図 1区道路遺構平面図6



第263図 1区道路遺構平面図7

第Ⅲ章 検出された遺構と出土遺物



第264図 1区道路遺構断面図

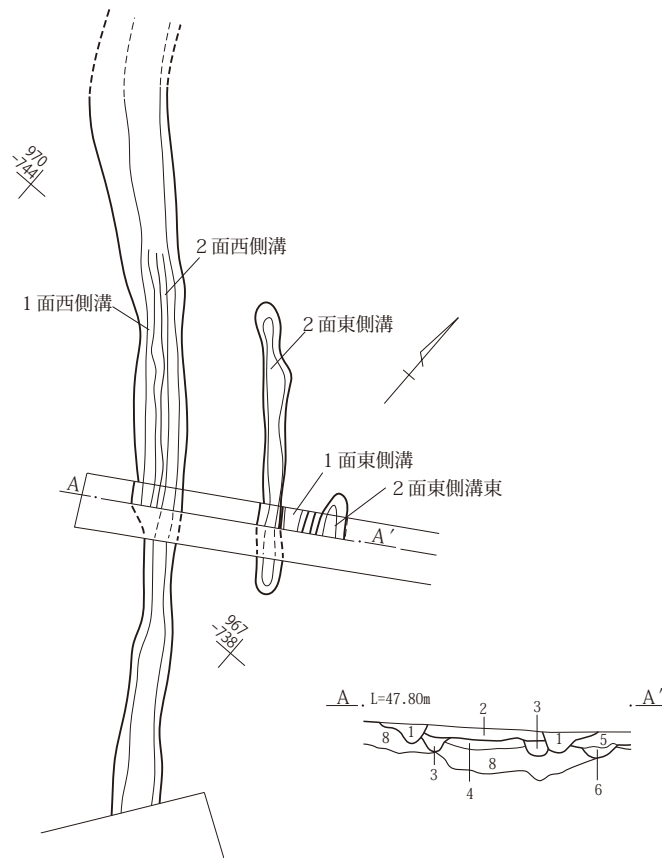
(10)道路状遺構 (第256図 PL.116)

確実に道路と断定できないが、道路の可能性のある遺構が7区で検出されている。

- ①位置 調査区北東部7区北東部で検出。
- ②重複 12号溝より新。
- ③規模 2面検出されており、1面は、側溝の中心と中心の間の距離で幅最大 2.08 m最少 2.01 m、調査区内の現存長は0.78 mである。2面は、同様に幅最大 1.55 m最少0.75 m、調査区内の現存長は 10.56 mである。側溝は、西側溝が、1面幅最大0.65 m最少0.37 m、深

さ最大14cm、2面幅最大2.28 m最少1.42 m、深さ最大14cm、東側溝が、1面幅最大0.72 m最少0.67 m、深さ最大26cm、2面幅最大0.41 m最少0.23 m、深さ最大21cm東幅最大0.46 m深さ最大13cmである。

- ④機能・時期 側溝と考えられる溝が両側にあるが、幅は2.08 mと側溝を持つ道路としては狭い。残存状況がよくないため、詳細は不明である。2面あり、2面目は東側溝が2条あるため、3時期にわたっていたと考えられる。出土遺物はないため詳細な時期は不明である。畠より新しい12号溝よりさらに新しいため、奈良時代以降の遺構と考えられる。



- 1 にぶい黄褐(10YR4/3)微砂質。礫小～中多量混。粘性弱、しまり強。1面側溝
- 2 にぶい黄褐(10YR4/3)褐色粘土多量、礫小少量混。しまり強。
- 3 にぶい黄褐(10YR4/3)礫小中量混。2面側溝
- 4 にぶい黄褐(10YR4/3)礫小少量、酸化鉄分多量混。しまり強。
- 5 にぶい黄褐(10YR4/3)細砂層ブロック状に多量、礫小少量混。粘性弱。
- 6 にぶい黄褐(10YR4/3)微砂層、下面に粗砂・礫混入。粘性・しまり弱。2面側溝
- 7 にぶい黄褐(10YR4/3)礫小～大・粗砂・細砂混土。
- 8 にぶい黄褐(10YR4/3)細砂層。酸化鉄分混。粘性弱。

0 1:100 5m

第265図 7区道路状遺構

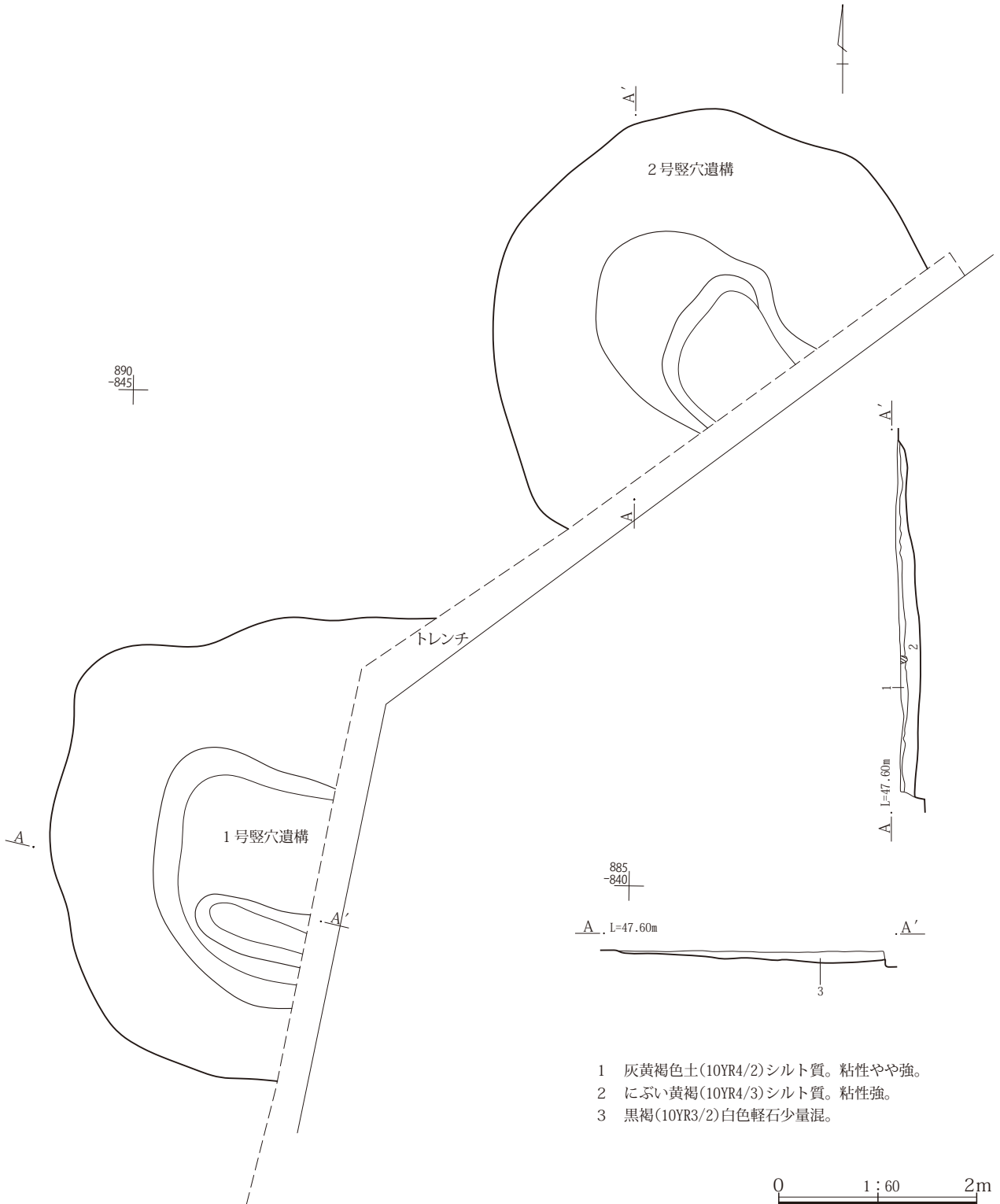
(11) 堅穴遺構

堅穴住居や土坑のようにはっきりとした壁の立ち上がりを持たず、なだらかに落ち込んでいる遺構が3基検出された。

①位置 いずれも調査区北東部6区から検出され、1・

2号は6区南部、5号は6区北部に位置する。

②形態・規模 平面形態は、1・2号は調査区外に続くため推定となるが、隅丸長方形2基、楕円形1基である。規模は、現存長で、長径4.70～4.53m、短径3.96m～2.42m、深さ28～6cmとなっている。



第266図 6区1・2号堅穴遺構

③機能・時期 1号は下層から5号住、2号は下層から6号住が検出されているため、埋没途中の竪穴住居の上部のくぼみを調査した可能性がある。他の大部分の遺跡では、削平により消失しているため確認できないものと考えられる。

5号は下部に他の遺構はないため、単なるくぼみあるいは浅い掘り込みと考えられるが、遺物が多く出土しているため、落ち込みに廃棄されたものであろう。

時期は、出土遺物から、1号が9～10世紀、5号が7世紀代と考えられる。2号は出土遺物が少ないため詳細は不明であるが、下部にある6号住の時期を大きく下らない時期で、平安時代と考えられる。

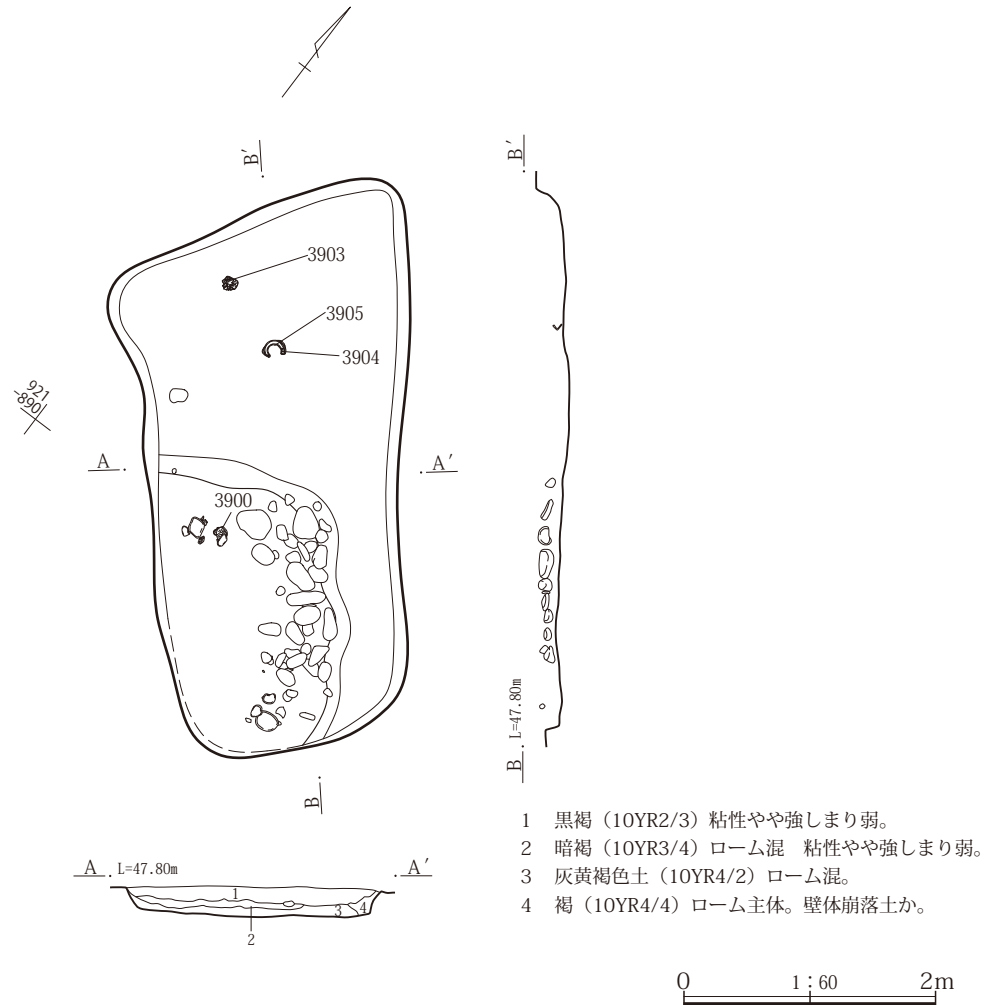
④出土遺物 形態の復元できるものとして、1号からは須恵器の皿がまとまって出土し、5号からは、土師器杯や須恵器甕が出土している。

第31表 古墳～平安時代竪穴遺構一覧表

区	No.	位置(Gr)	重複	平面形態	長径m	短径m	長径/短径	深さcm	面積㎡	主軸方位
6	1	883～887-842～845	(5号住)	隅丸方形または隅丸長方形	4.62	[3.96]		6	[11.06]	N -6° -E
6	2	888～893-836～842	(6号住)	円形または楕円形	4.70	[2.94]		10	[11.18]	N -43° -E
6	5	919～924-886～890		隅丸長方形	4.32	2.42	1.79	28	8.61	N -41° -W

第32表 古墳～平安時代竪穴遺構出土土器重量表

区	No.	土師器			須恵器			計
		甕(g)	杯(g)	小計	甕(g)	杯(g)	小計	
6	1	100	20	120	35		35	155
6	2	210	10	220		11	11	231
6	5	450	140	590			0	590



第267図 6区5号竪穴遺構

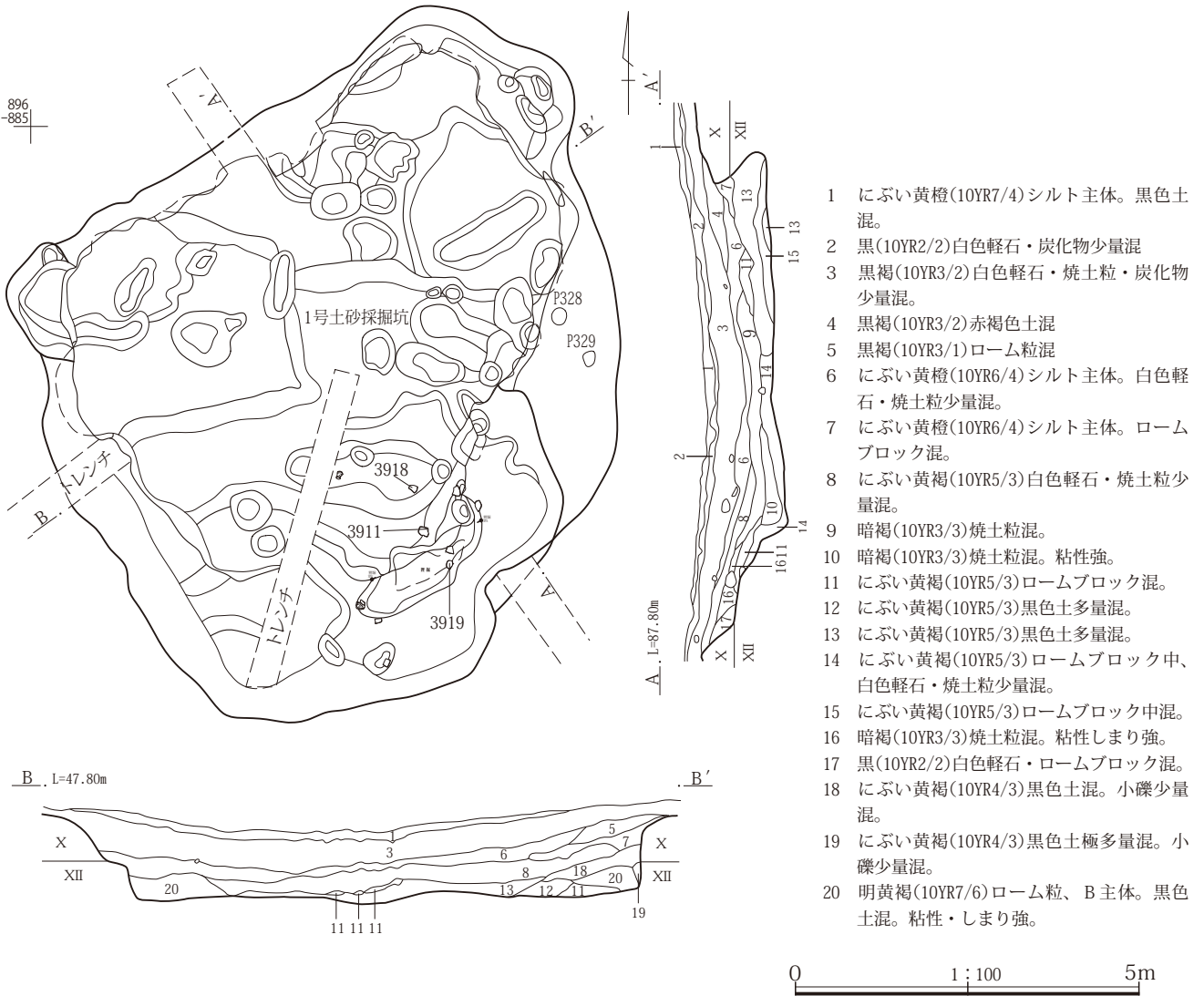
(12)土砂採掘坑

径10mで深さ1.3mに及ぶ大規模な掘り込みが検出された。底部や壁は凹凸が多く、粘土採掘坑の状況に似ているが、周囲に粘土層が確認できないため、土砂採掘坑とした。

- ①位置 調査区北東部6区南西部に位置する。
- ②形態・規模 平面形態は北西部と南西部が直線的で、他は円形となる形態で、長径10.35m短径8.97m深さ1.37mである。
- ③機能・時期 掘り方から機能を推定することは困難であるが、底部・壁等に凹凸が多く、掘り込み自体に

機能があったとする可能性は低く、土砂の採掘坑の可能性が高いと考えられる。周囲の土層は、6区基本土層のX層に相当する砂礫を含む褐色土と、同じくXII層に相当する砂礫を含む褐色土で、この土を採掘したと考えられるが採掘した土の用途は不明である。出土遺物の時期は、9世紀代と考えられる。遺構で使用されたとは考えにくく、遺構の時期を直接示すものではないが、遺構の時期から大きく下らないものと考えられる。

④出土遺物 形態の復元できるものとして、土師器杯、ミニチュア土器、須恵器杯・椀・壺・甕、灰釉陶器瓶、カワラケ杯等の他、土師器甕類5560g、杯類660g、須恵器甕類2800g、杯類210gが出土している。



第268図 6区土砂採掘坑

(13)遺物集積遺構・集石遺構

(第269～274図 PL.116～118)

明確な掘り込みはないが、土器・礫等が集中して出土した遺構が検出されたため、遺物集積(遺構)として掲載する。7基検出されている。7区2号遺物集積は、発掘調査時は1号土器集積としていたが、礫も多く、他の遺物集積と同様であるため、2号遺物集積とした。

- ①分布 調査区北東部6区・7区から検出されている。
- ②形態・遺物出土状況 平面形態は、楕円形にまとまっているものもあるが、多くは乱雑に土器・礫が出土している。遺物は、6区1号・7区2号は非常に密に遺物が分布しているが、他の5基は比較的まばらである。
- ③規模 長径～m平均m、短径～m平均m、深さであり、規模の差が大きい。

- ④出土遺物 遺物集積遺構であるため、礫を含め出土遺物が多いが、完形やそれに近い形態まで復元できる遺物のあるものは意外に少なく、7区2号以外は各遺構に2～3点あるだけである。出土遺物は、6区1号が須恵器壺・甕、2号が土師器甕、3号が内黒土器の椀・土師器甕、4号が須恵器甕、5号が土師器杯・須恵器杯で、遺構ごとに残りの良い遺物の器種が違っている。理由は不明であり、偶然の可能性もあるが、遺構の性格を考える上で興味深い。7区2号のみ、土師器杯・盤・鉢・甕・台付甕・甌・須恵器蓋・横瓶・甕等多種で多量の遺物が出土している。
- ⑤時期 比較的時期のわかりやすい出土遺物を見ると、6区2号・3号・5号は、9世紀代になると考えられるが、7区2号は7世紀後半～8世紀代の遺物が中心である。

6区1号遺物集積遺構



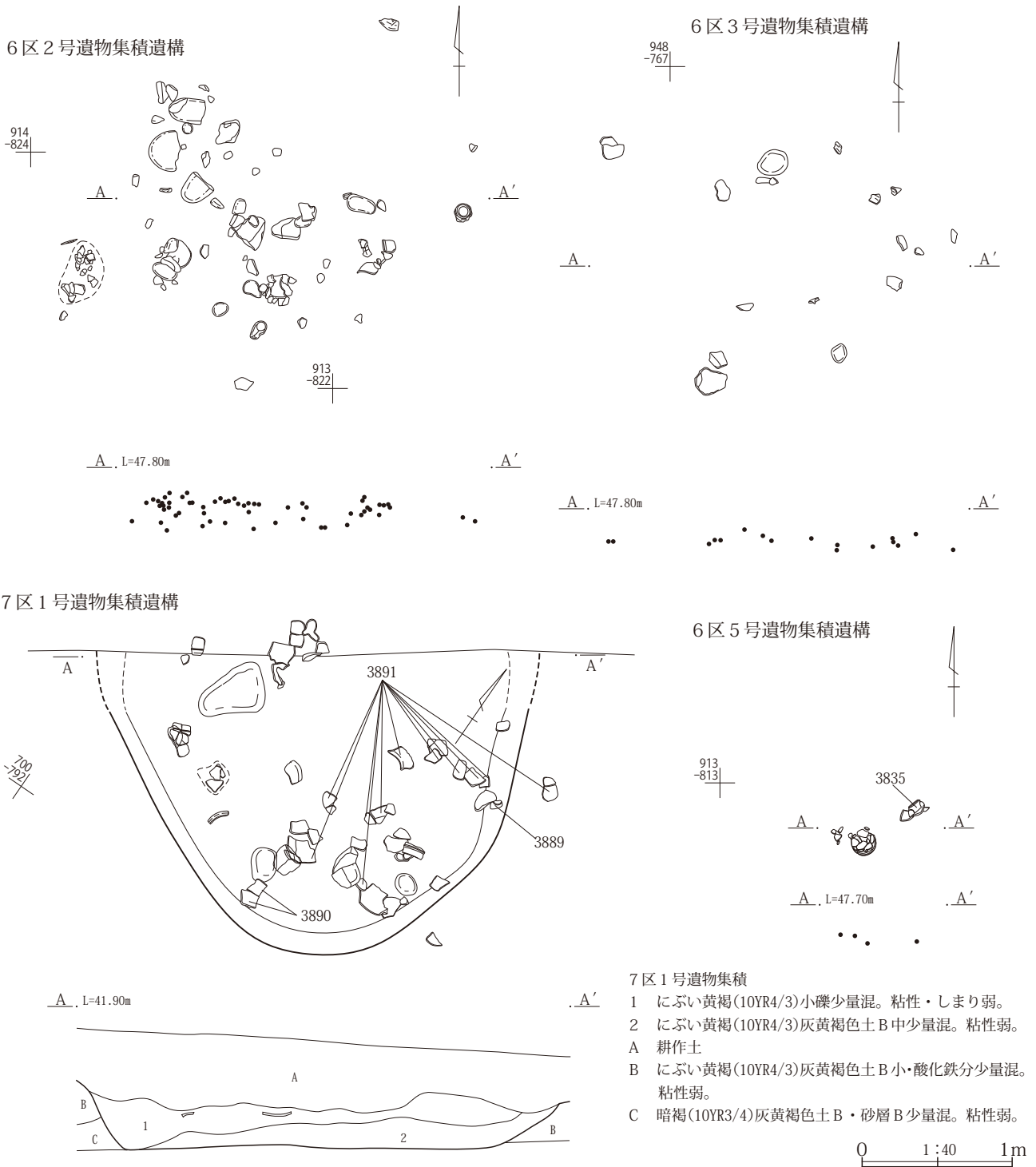
6区4号遺物集積遺構



第269図 遺物集積遺構 1

第33表 古墳～平安時代遺物集積遺構一覧表

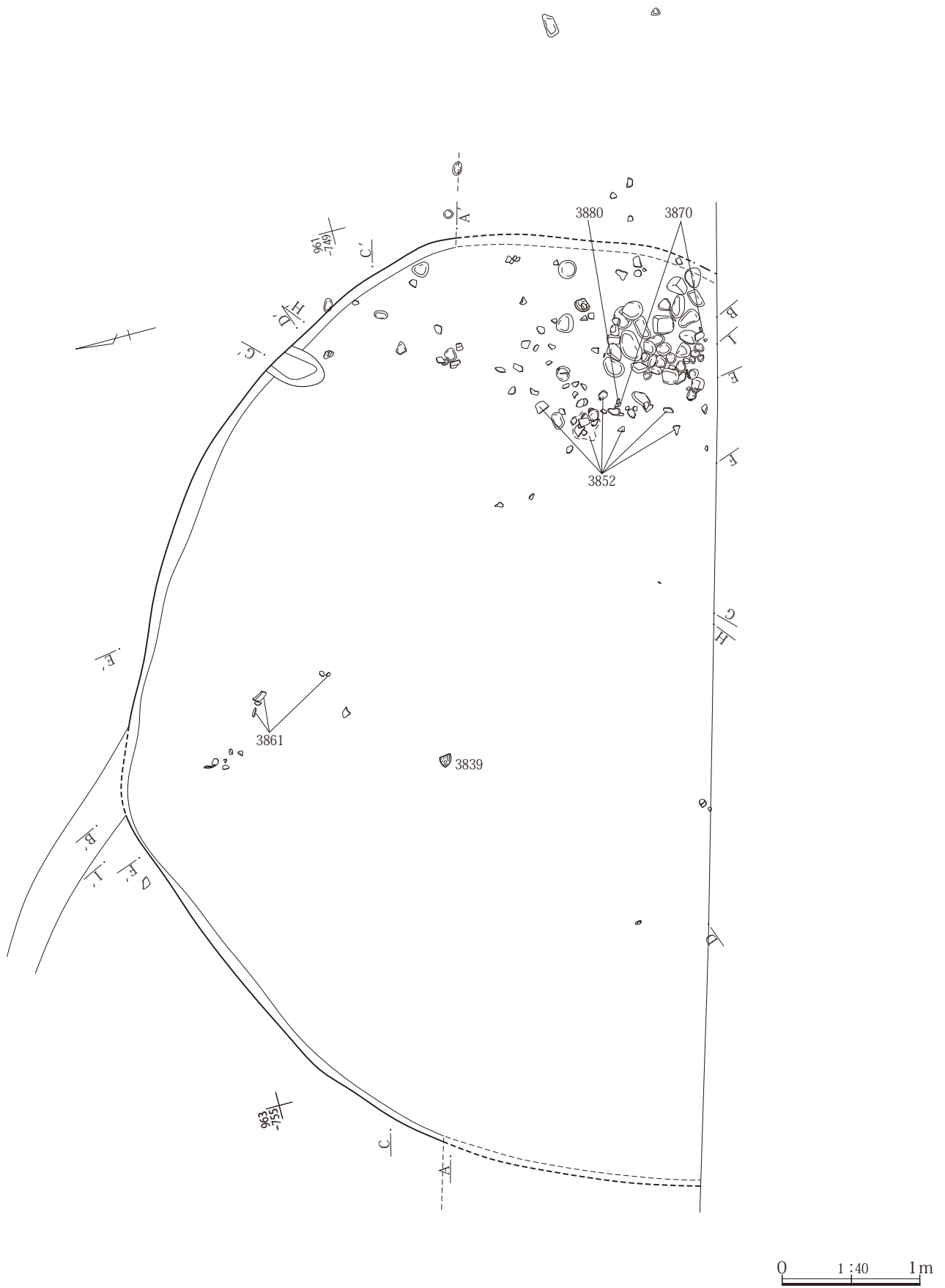
区	遺構名	位置	平面形態	重複	長軸 m	短軸 m	深さ cm	面積 m ²	主軸方位	備考
6	1	遺物集積	881～883—854・855		1.41	1.18	8	1.82	N—49°—W	
6	2	遺物集積	972～914—821～823		1.94	1.62	-	3.14	N—43°—E	
6	3	遺物集積	946・947—765～767		1.79	1.31	-	2.34	N—90°	
6	4	遺物集積	944～946—901～803		3.19	1.78	-	5.11	N—27°—W	
6	5	遺物集積	912—811・812		0.49	0.23	-	8.12	N—57°—E	
7	1	遺物集積	000・001—789～791		[2.09]	[1.22]	25	[1.84]	N—57°—E	
7	2	遺物集積	958～963—749・756		[7.04]	[4.40]	15	[23.52]	N—89°—E	



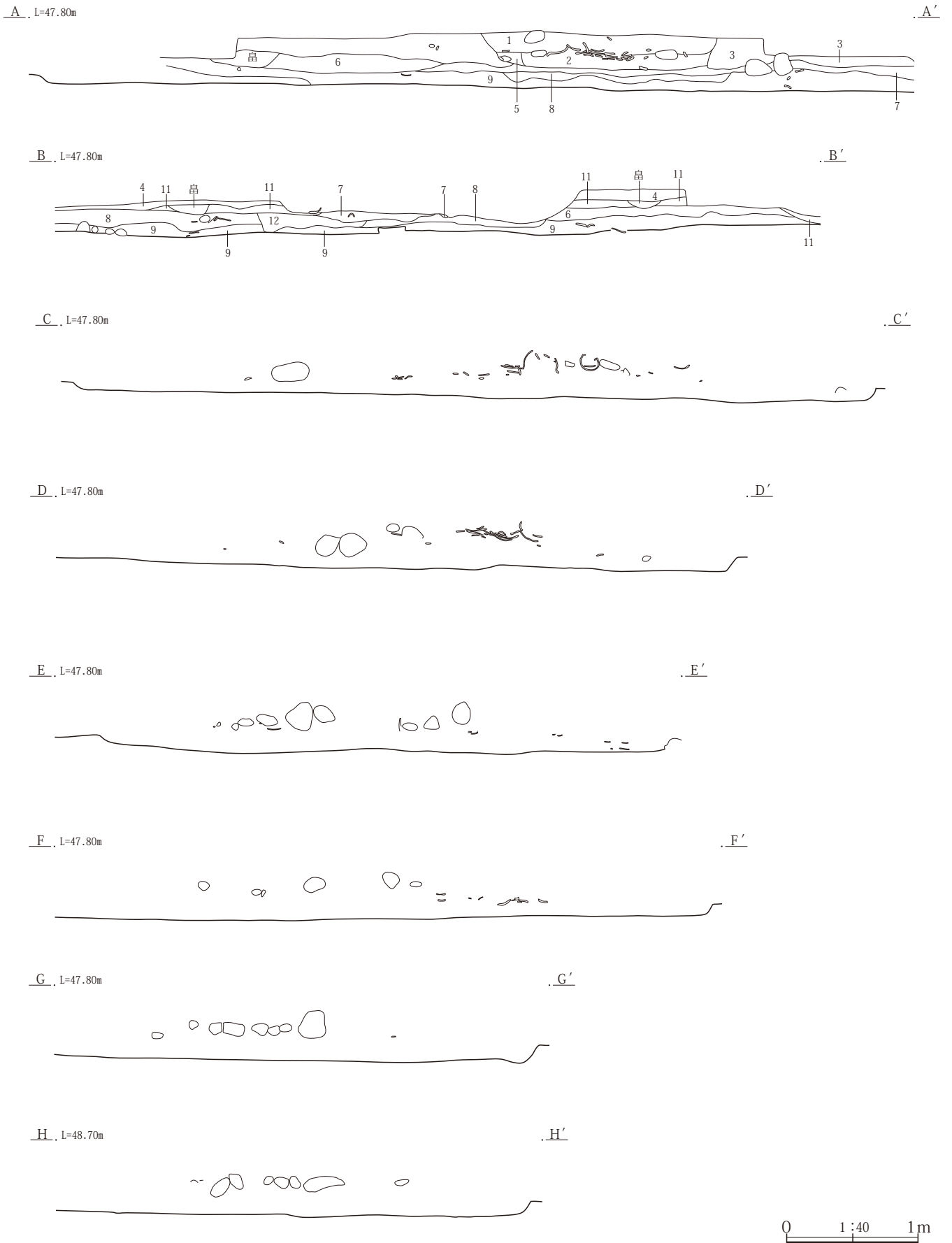
第270図 遺物集積遺構2



第271図 7区2号遺物集積遺構 1



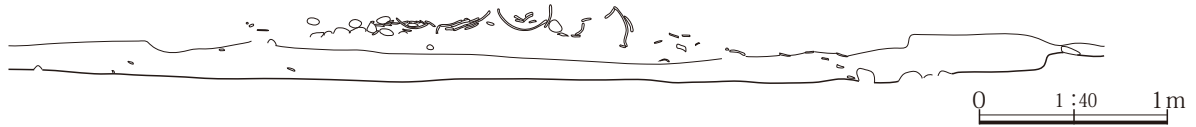
第272図 7区2号遺物集積遺構2



第273図 7区2号遺物集積遺構3

I, L=48.70m

I'



- 1 暗褐(10YR3/4)焼土粒子微量、灰黄褐色土B小多量混。
- 2 暗褐(10YR3/3)焼土粒子少量混。きめ細かい。
- 3 暗褐(10YR3/4)灰黄褐色土B極多量、酸化鉄分多量混。微砂質。粘性弱。
- 4 暗褐(10YR3/4)灰黄褐色土B極多量、酸化鉄分多量、焼土粒子極微量混。微砂質。
- 5 暗褐(10YR3/4)焼土粒子微量混。
- 6 暗褐(10YR3/3)焼土・炭化粒子少量混。
- 7 暗褐(10YR3/3)焼土粒子・B小、炭化粒子多量混。
- 8 黒褐(10YR3/2)白色灰(?)多量混。
- 9 暗褐(10YR3/4)焼土粒子・灰(?)・HR-FA微量混。
- 10 黒褐(10YR2/3)焼土粒子・HR-FA微量混。
- 11 にぶい黄褐(10YR4/3)シルト質。酸化鉄分中量混。
- 12 黒褐(10YR3/2)白色灰(?)ブロック状に多量混。

第274図 7区2号遺物集積遺構4

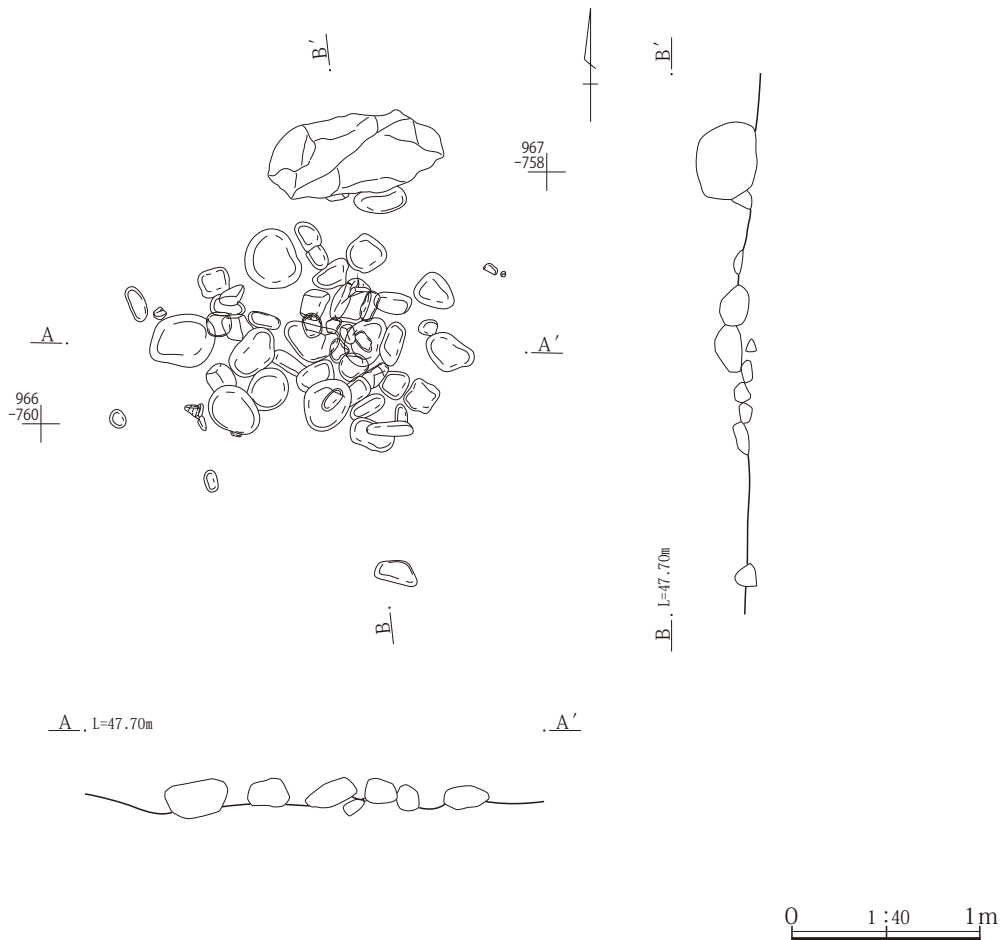
1号集石遺構 (第275図、PL.118)

遺物集積同様、明確な掘り込みがなく自然礫がま
まって出土した遺構が、7区から1基検出されている。

①位置 965～967－758～759Gr

②規模・形態 1.9×1.6mの楕円形の範囲に拳大から人
頭大の礫が50個程度集中している。

④出土遺物 礫のみである。



第275図 7区1号集石遺構

(15)出土遺物

遺物は、古墳時代後期～平安時代にかけての、土師器、黒色土器、須恵器、灰釉陶器、土製品、石製品、鉄製品、銅製品等が出土している。出土遺物の量は、図示したものが、1260点で、図示できなかつた破片類の総量が、922,769gとなっている。

土師器の器種は、杯、大型杯、高杯、椀、甕、小型甕、台付甕、鉢、台付鉢、有孔鉢、甌、円筒状土器等が出土している。図示した遺物617点で、図示できなかつた破片遺物の量は、甕等の大型土器類が633,695gで杯等の小型土器類が66,399gと、大型土器の出土量が小型土器の10倍近くとなっている。古墳時代から平安時代まで出土しているが、平安時代には、供膳形態の杯はほとんどみられなくなり、須恵器だけとなる。

須恵器の器種は、杯、椀、皿、蓋、高杯、盤・高盤、甕、壺・瓶、甌、羽釜、鉢・すり鉢、小型土器等である。杯・椀・皿・盤は、口径：高さが3：1以上のものを杯、以下のものを椀とした。皿は口径：高さが4：1以上のものを目安とした。図示した遺物434点で、図示できなかつた破片遺物の量は、杯・蓋等の小型土器類が70,643g、甕・壺等の大型土器類が111,457gで、大型土器が非常に多くなっている。古墳時代から平安時代まで出土しているが、時代が下るにしたがい特に杯類の出土量が増加する。黒色土器は内面あるいは外面を黒色処理してあるもので、皿、杯、椀、長頸壺が出土している。奈良時代から平安時代にかけて出土している。

灰釉陶器は、椀、皿、壺・瓶類等が出土している。図示した遺物6点で、図示できない破片は、777g出土している。

手捏ね土器は輪積みやロクロによらず、手捏ねで作られたもの。口径8～4cmと小型で、内外面ともナデで仕上げられている。

以下時代順に種類・器種を示す。なお、土製品・石製品・鉄製品等は、時代を特定することが困難であるため、土器記載後に一括で示した。

①古墳時代後期（6～7世紀）

土師器

杯・大型杯 口縁部が内傾、直立、外傾する須恵器杯あ

るいは蓋の模倣杯が5区128・6区1・3・8住等から出土。大型杯は6区1・31住から出土。

高杯 短脚のものが5区56住・215土坑・遺構外から、長脚のものが6区31住から出土している。

甕・小型甕 褐色・橙色で器壁厚く、口縁部は「く」の字状を呈するもの。5区56・128住、6区1・12・24・31・40住・7区4住等から出土。小型甕は、5区56・430住・6区36・40住等から出土している。

甌 底部がなく直線的に立ち上がるものが6区31住から出土。

壺・短頸壺 口縁部よりも胴部が大きく張っている器形のもので、小型のものが6区12住から、口縁部が短い短頸壺が5区206住・6区8住から出土している。

鉢・台付鉢・有孔鉢 台がなく底部に孔のない一般的な鉢が5区56住・6区1・40住等から、台の付く台付鉢が6区3・31住・5区211土坑から、底部に孔のあく有孔鉢が5区56住・6区12住から出土している。

円筒状 円筒形で両端部が開いている器形で、大型のものである。用途は不明である。5区56住から出土。

須恵器

杯・盤 丸底で体部は直線的に立ち上がるものが5区210住・6区12・36・41住等から出土。平底で底部高台の無いもので、底部回転篋切りのものが5区206住等から、底部手持ち篋削りのものが5区430住・6区25住等から出土。盤は6区1住から出土している。

蓋 杯蓋が出土している。天井部が丸くつまみを持たないものが6区1・26・40住から、体部が直線的でつまみを持つものでかえりを持つものは5区207・6区31・40・41住等から出土している。

高杯 杯部が小さく一般的な高杯が6区3住から出土している。

甕 口縁部ロクロ整形、胴部外面平行叩き、内面同心円状アテ具痕があるものがほとんどである。5区214住・6区17住・5・6区3溝・7区13溝等多数の遺構から出土している。

ハソウ 小型で胴部に孔のあるもの。遺構外から出土。破片1点のみ図示。

鉢 一般的な鉢と、底部が厚く、外側に突出するすり鉢がある。鉢は、5区56住・6区17・36住等から出土し、すり鉢は、6区3・17住から出土。

手捏ね土器

椀形 5区206・286住・7区2遺物集積・6区土砂採掘坑等から出土。

②奈良時代(8世紀)**土師器**

杯 丸底で、体部は丸みを帯びて立ち上がり、口縁部は内傾または外反するものが5区99・207・6区27・41住等多数の住居から、平底で口縁部と体部の稜がはっきりするものが、1区3・4住等から出土している。

甕・小型甕 赤褐色・暗赤褐色で器壁薄く、口縁部は「く」の字状を呈するものが、1区2・3・6住・5区210住等多数の住居から、小型甕が6区9住から出土している。

台付甕 赤褐色・暗赤褐色で器壁薄く、口縁部は「く」の字状を呈するものが5区209住から出土しており、他に、6区17住等から出土している。

甑 底部がなく直線的に立ち上がるものが6区27住から出土している。

壺・短頸壺 古墳時代と同様、小型のものが6区9住から出土している。

鉢 台がなく底部に孔のない一般的な鉢が5区214住・6区4・17・27住等から出土している。

須恵器

杯・椀 平底で底部高台の無いもの、平底で底部高台の有るものがある。

平底で底部高台の無いものには、底部回転篋切りのものが5区245住・215土坑等から、底部手持ち篋削りのものが5区3溝・7区1溝、底部切離し後全面篋削りのものが6区28・29住・6区61溝・遺構外から、底部回転糸切り後外周篋削りのものが1区2住・6区2・27・29住・6区61溝等多数の遺構から、底部回転糸切り無調整で底径の大きいもの(口径/底径 \leq 1.75)ものが5区3溝・1区305井戸等から出土している。平底で底部高台のあるものは、底径の大きいもの(口径/底径 \leq 1.75)が、1区4・8住・5区209住・6区28住等が出土している。椀は1区4住・5区43・210住等から出土している。

蓋 杯蓋が出土している。体部が直線的でつまみを持つものでかえりを持つものは5区210住・6区27住等から、かえりを持たず擬宝珠状の摘みを持つものが6区4掘立・7区2遺物集積等から、かえりを持たず高台状の円

形摘みを持つものが1区1住・5区43住等から出土している。

高盤 杯部が盤状を呈する高盤が6区41住・5区3溝・6区61溝・6区土砂採掘坑等から出土している。

甕 古墳時代後期と同様の成整形ものがほとんどである。5区99住・6区27住・5区6区3溝等の遺構から出土している。

壺・瓶類 頸部が短くて広い短頸壺・広口壺が5区99住・6区61溝・5区穴遺構・土砂採掘坑等から、胴部が扁平で短い頸部が付く提瓶が5区3溝等から、横長の胴部に細い頸部が付く横瓶が5区214住・5区3溝・7区2遺物集積等から、平たい胴部の中心から外側にずれて頸部が付く平瓶が遺構外等から出土している。

鉢 6区27住・6区61溝・5区215土坑等から出土。

黒色土器

椀 ロクロ整形で内面に黒色処理される。1区2住・5区43住・6区4住・5区3溝等から出土している。

③平安時代(9～10世紀)**土師器**

甕 赤褐色・暗赤褐色で器壁薄く、口縁部は「コ」の字状を呈するものが6区5・14・16・19・21・22・30住等、多数の遺構から出土している。

台付甕 赤褐色・暗赤褐色で器壁薄く、口縁部は「コ」の字状を呈するものが6区30住から、他に6区16・22・35・37住等から出土している。

須恵器

杯・椀・皿 平底で底部高台の無いもので、底部回転糸切り無調整のものが6区5・13・18・23・30・37・38住・6区58・61溝・7区9溝・3区11土坑・6区5遺物集積等多数の遺構から出土している。椀は6区5・18・19・21・23・38・7区2住等から、皿は6区21・23・37住・7区3住等から出土している。

甕 古墳時代後期・奈良時代と同様の成整形ものがほとんどである。6区18・23・37住等の遺構から出土している。

壺・瓶類 頸部が長くて細い長頸壺が6区37住等から、頸部が短くて広い短頸壺・広口壺が6区15・23住・土砂採掘坑等から出土している。

甑 把手が付き底部がないもの。6区37住から出土。

羽釜 口縁部下に鏝の付く形態。胴部が張っているもの

が多い。6区13・33住・7区1遺物集積・遺構外等から出土している。

黒色土器

皿・杯・椀 ロクロ整形で内面に黒色処理される。皿は6区30住から、杯は遺構外から、椀は6区6・13・21・30住・5区3溝・1区305井戸・6区3遺物集積・遺構外等から出土している。

長頸壺 ロクロ整形で外面に黒色処理される。6区61溝から出土している。

灰釉陶器

椀 高台付の椀が6区14住・遺構外等から出土。

皿 高台付の皿が6区14住等から出土。

壺・瓶類 高台付の長頸壺の胴部～底部が遺構外から、把手の付く瓶が7区1溝から出土。

土製品 土錘、紡錘車、土製円盤状品が出土している。

土錘 投網のおもりで、紡錘形・中央の膨らんだ円筒形を呈し、中心に孔があく。6区5・37住・遺構外から出土。78点図示。

紡錘車 土製のものと土器転用のものがある。土製のものは、6区12・24・37・38住・遺構外から、土器転用のものは6区38住・遺構外から出土している。土製のものは7点、土器転用のものは3点図示。

円盤状品 円盤状の土製品。用途不明。6区24住から出土。1点図示。

石製品 紡錘車、砥石、敲石が出土している。

紡錘車 5点出土しており、外面を丁寧に研磨しているものが多い。同心円状の線刻があるものあり。5区56住・6区37住等から出土。3点図示。

砥石 27点出土している。ほとんどが切り砥石で、礫砥石が2点ある。切り砥石は5区209住・6区28・29・37住・5区2溝・7区2溝・1区305井戸・遺構外等から、礫砥石は7区4住・6区1遺物集積等から出土。15点図示。

敲石 素材に扁平礫を使用したものと、棒状礫を使用したものがある。扁平礫使用のものは5区209・286住等から、棒状礫使用のものは遺構外から出土。3点図示。

鉄製品 鋤先、鎌、斧、鑿?、鉗子?、刀子、鏃、釘、その他が出土している。

鋤先 遺構外から2点出土。

鎌 錆化が進んでいるものが多く、残存状態は悪い。1

区1住・6区5・37住・遺構外から6点出土。

斧 5区55溝・遺構外から完形品が2点出土。

鑿? 柄部のみで詳細不明。5区2溝から1点出土。

鉗子? 錆化が著しく詳細不明。6区58溝から1点出土。

刀子 錆化が著しいもの、木質部が残るもの等がある。

1区6住・5区43・6区1・5・7・9・17・19・21・22・23・28・36住・遺構外等から16点出土。

鉄鏃 短頸腸挟三角形鏃が、6区5住から1点、遺構外から2点、有挟柳葉鏃が6区58溝・遺構外から各1点、計5点出土。

紡錘車 紡錘部が残っているものは、端部がわずかに曲げられている。6区30・39住・遺構外から各1点ずつ計3点出土。

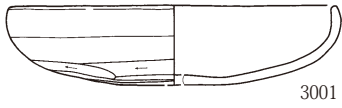
釘 断面方形。6区3・5住・遺構外から計7点出土。

他に、遺構外から馬具1点、不明6点が出土している。

銅製品 耳環1点、鍔帯2点（丸柄・蛇尾）が出土している。耳環・蛇尾は遺構外から出土。丸柄は6区5住から出土し、裏面には墨が付着している（第Ⅴ章参照）。

製鉄関連品 羽口が、6区7住から1点、鉄滓が、6区3住・1区305土坑・遺構外から計10点が出土している。

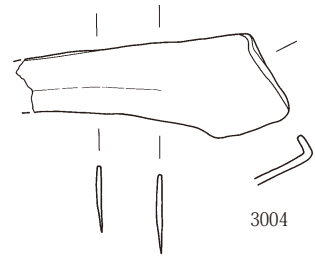
1区1号住居出土遺物



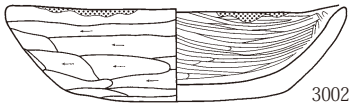
3001



3003

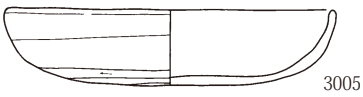


3004

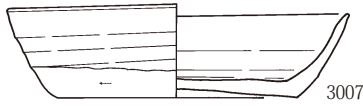


3002

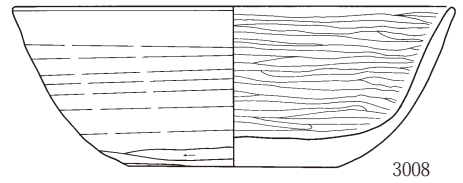
1区2号住居出土遺物



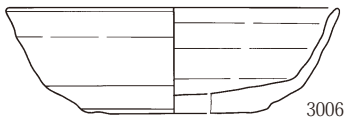
3005



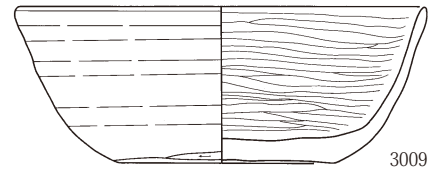
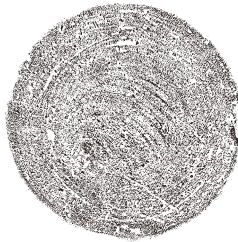
3007



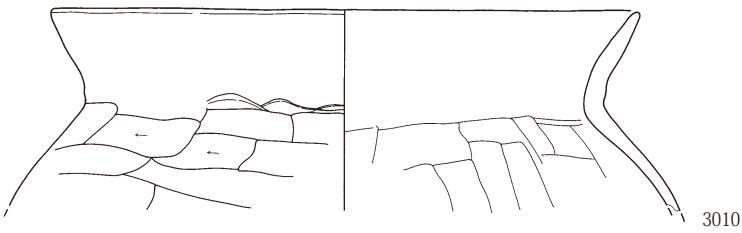
3008



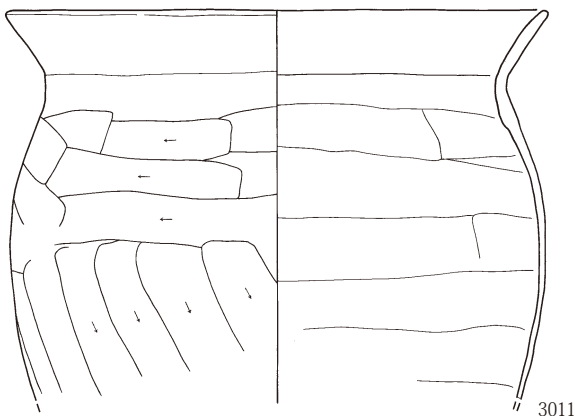
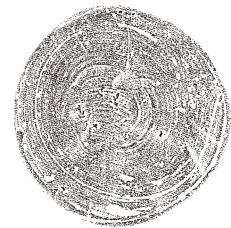
3006



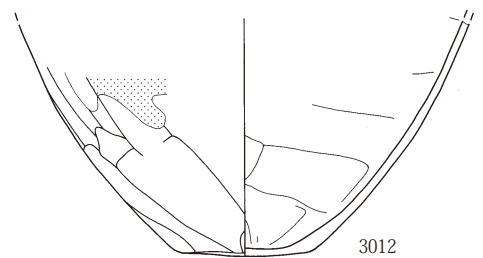
3009



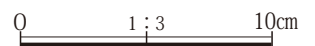
3010



3011



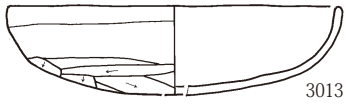
3012



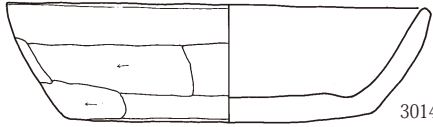
第276図 古墳～平安時代出土遺物 1

第三章 検出された遺構と出土遺物

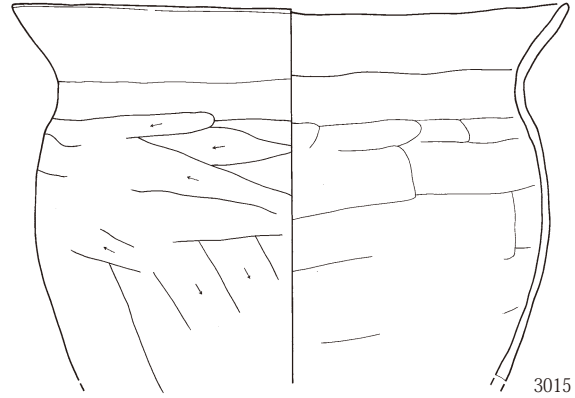
1区3号住居出土遺物



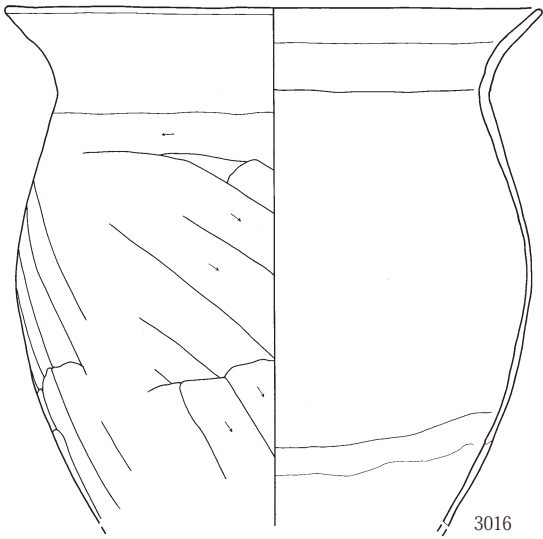
3013



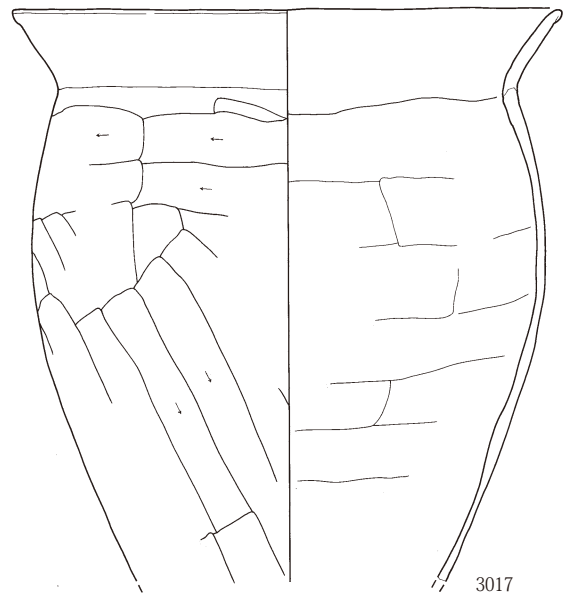
3014



3015

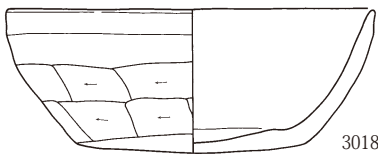


3016

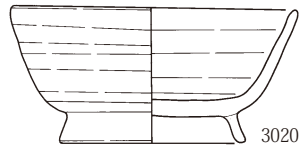


3017

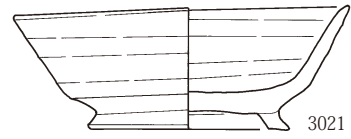
1区4号住居出土遺物



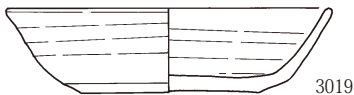
3018



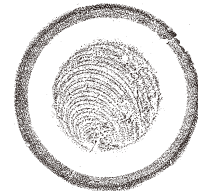
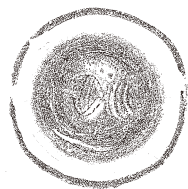
3020



3021



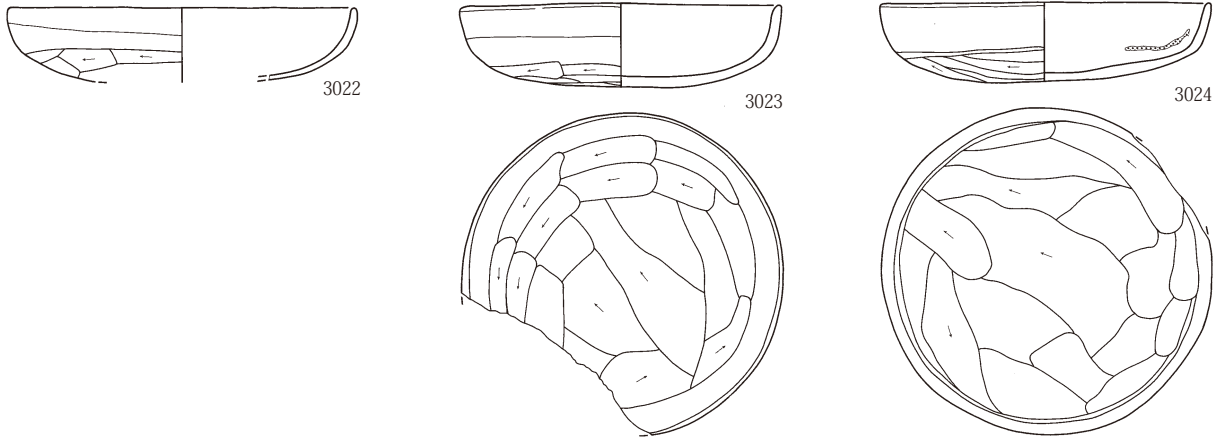
3019



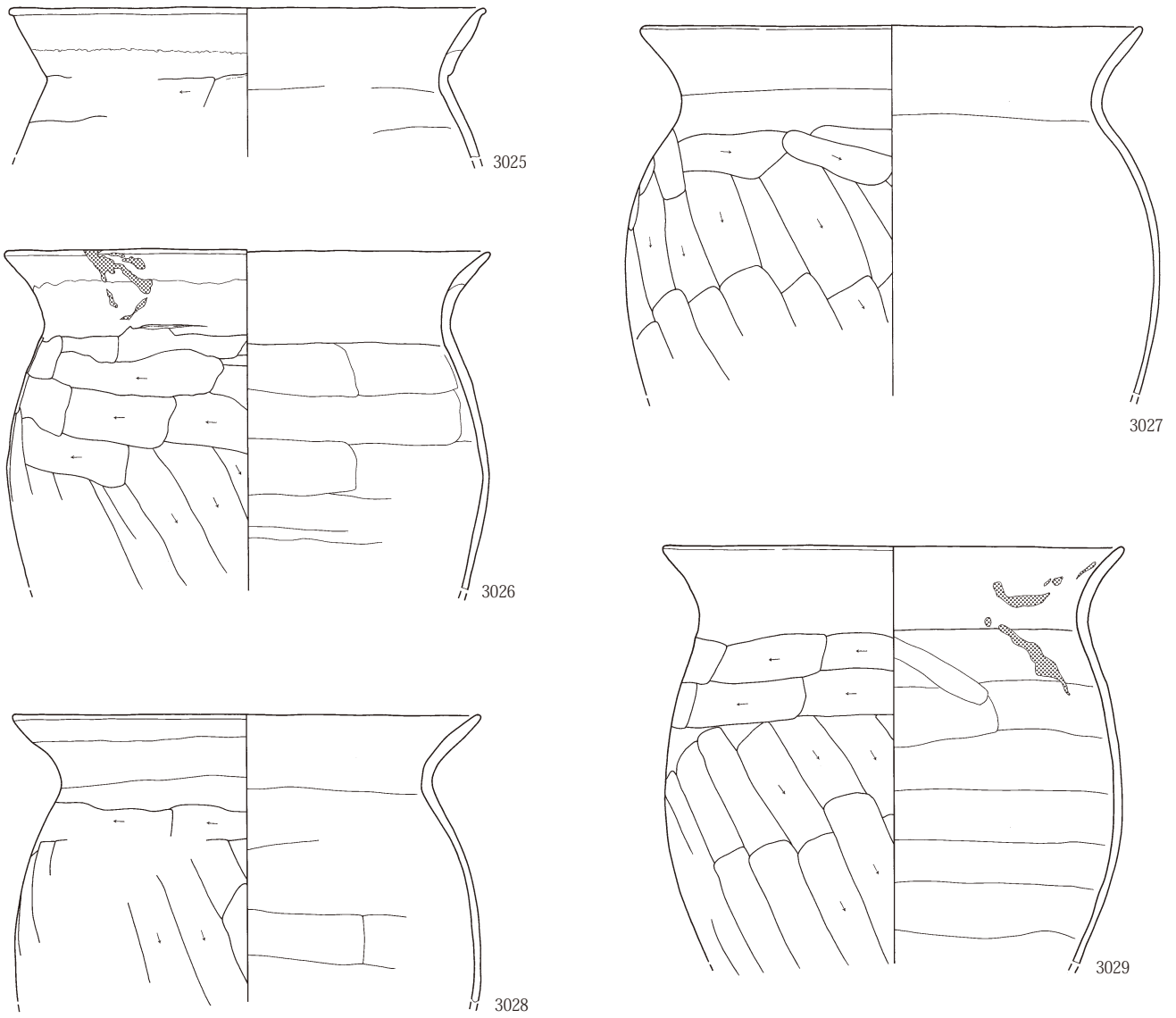
0 1:3 10cm

第277図 古墳～平安時代出土遺物2

1区5号住居出土遺物



1区6号住居出土遺物(1)

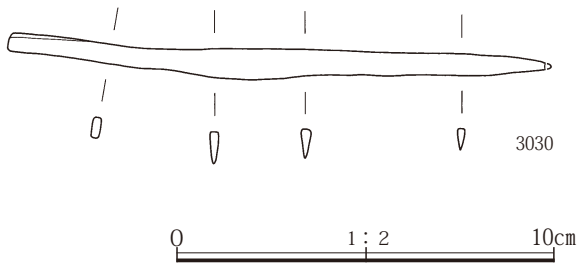


0 1:3 10cm

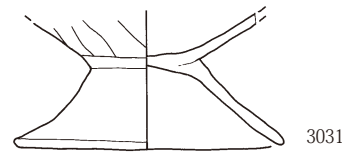
第278図 古墳～平安時代出土遺物3

第Ⅲ章 検出された遺構と出土遺物

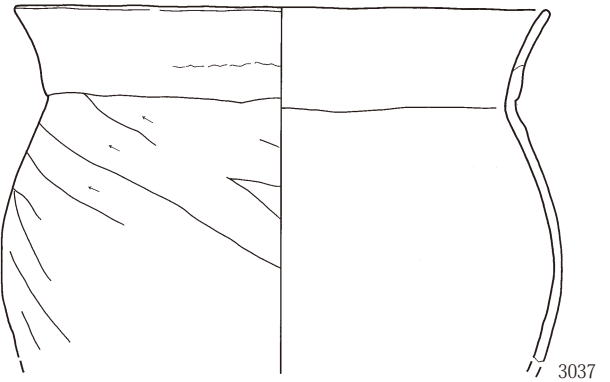
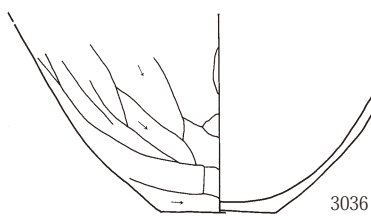
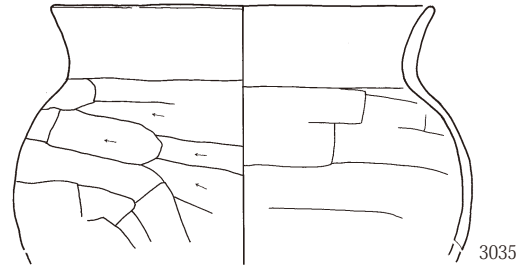
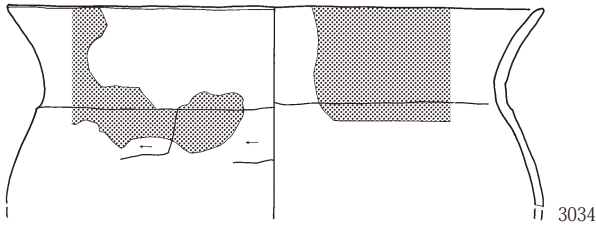
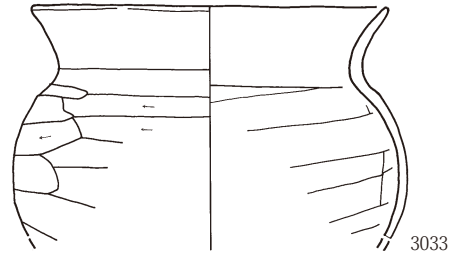
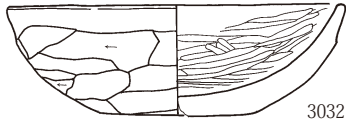
1区6号住居出土遺物(2)



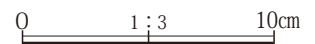
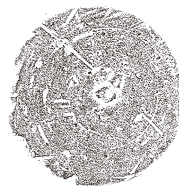
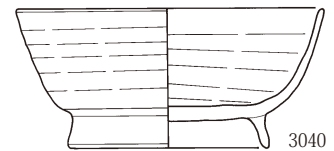
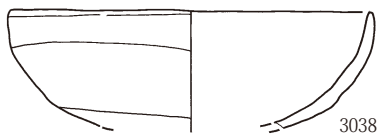
4区26号住居出土遺物



5区8号住居出土遺物

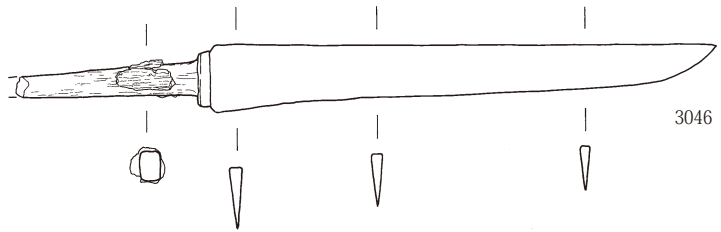
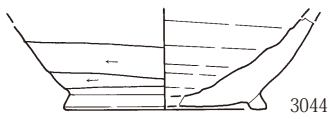
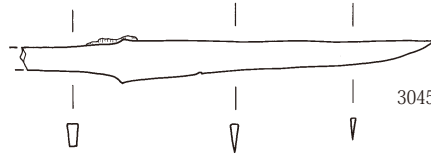
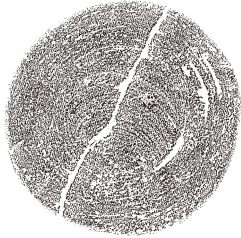
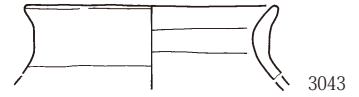
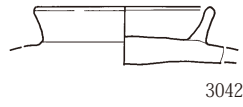
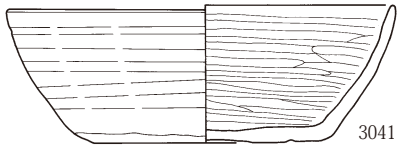


5区43号住居出土遺物(1)



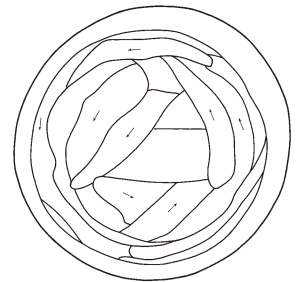
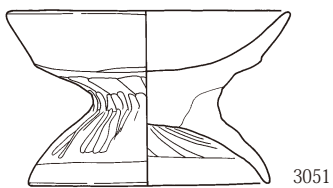
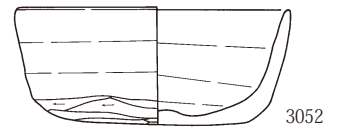
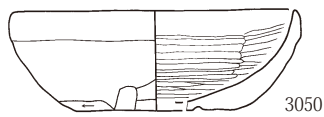
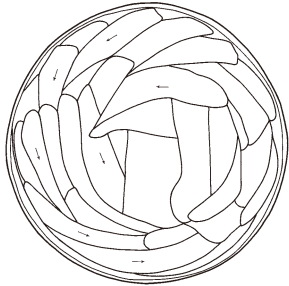
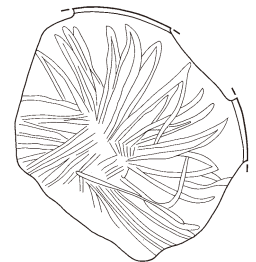
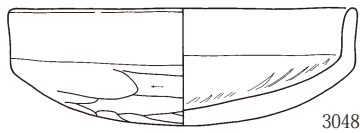
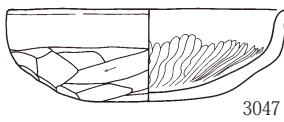
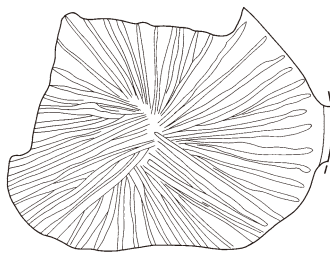
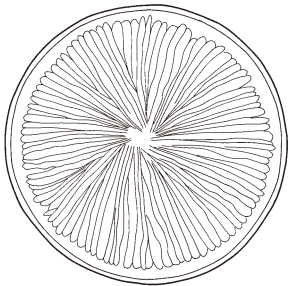
第279図 古墳～平安時代出土遺物4

5区43号住居出土遺物(2)



0 3045・3046 1:2 10cm

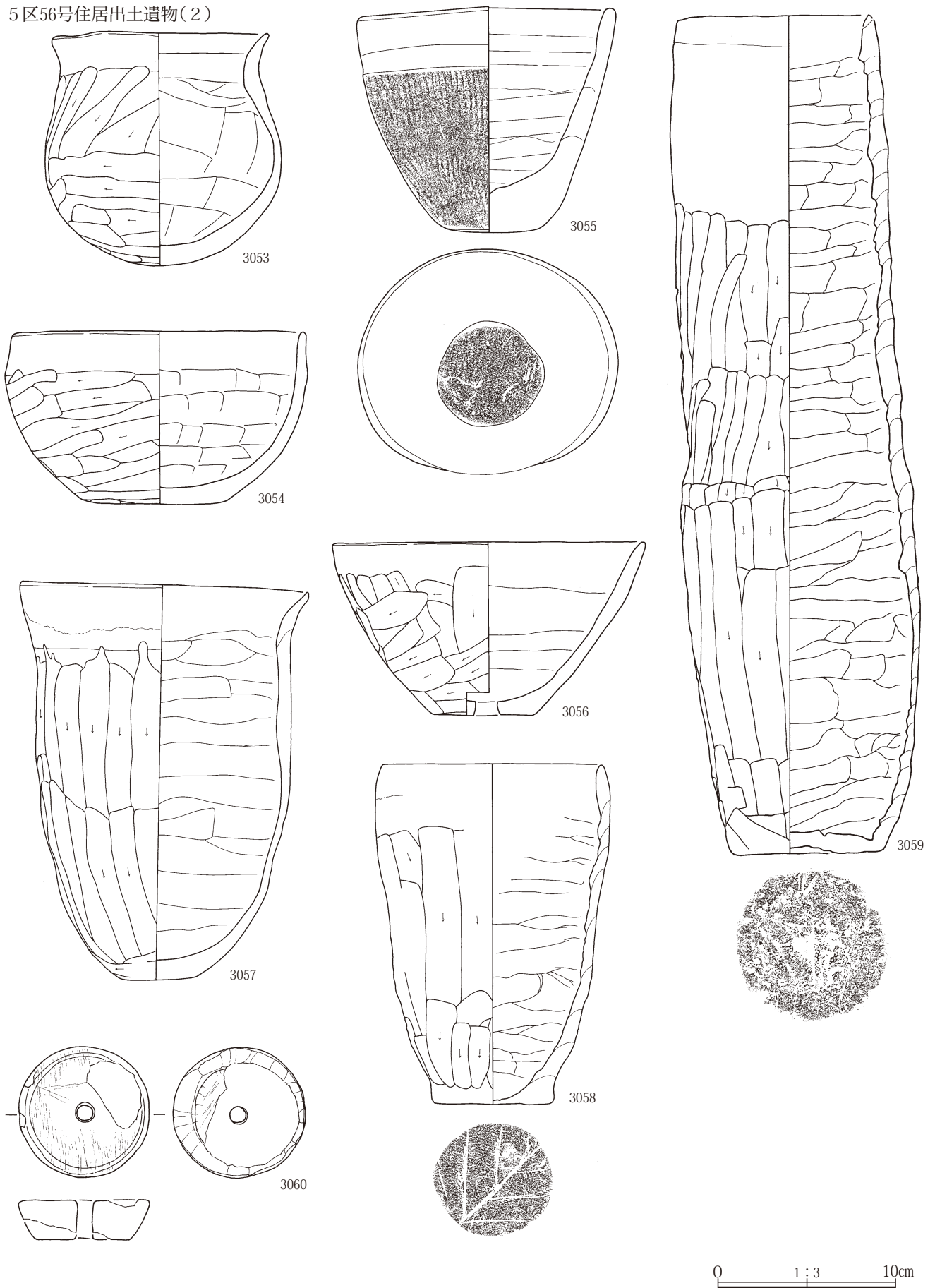
5区56号住居出土遺物(1)



0 1:3 10cm

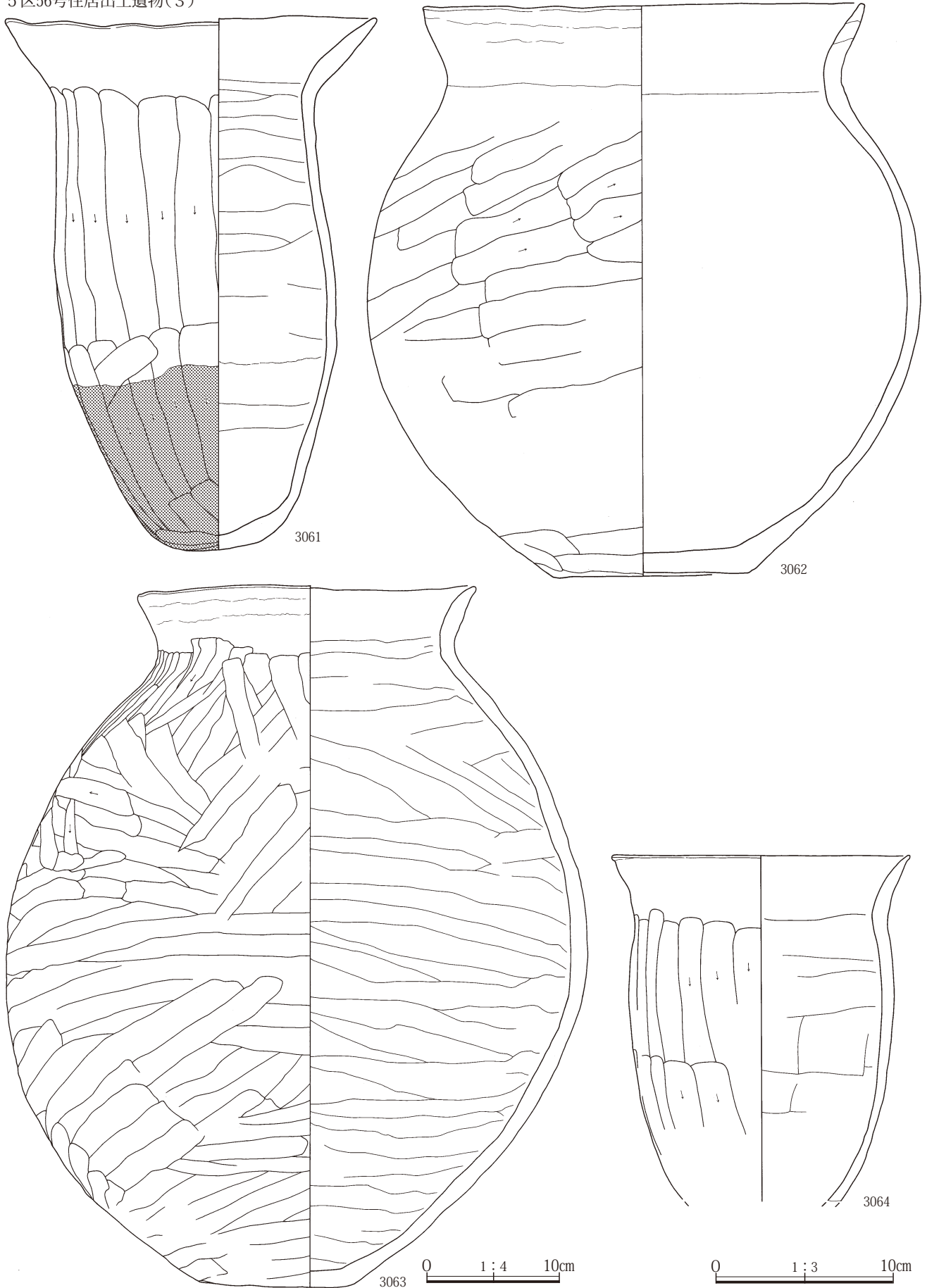
第280図 古墳～平安時代出土遺物 5

5区56号住居出土遺物(2)



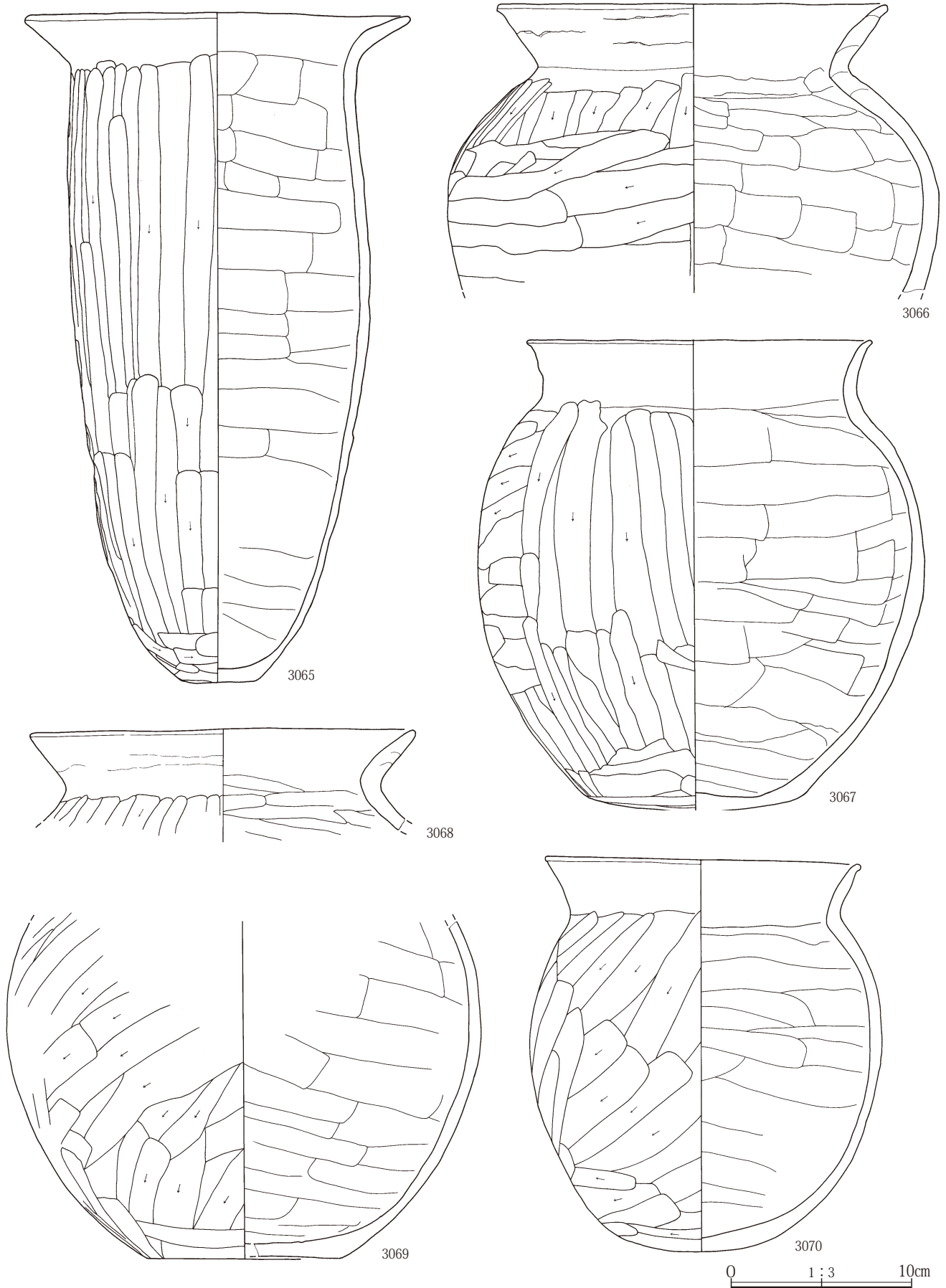
第281図 古墳～平安時代出土遺物6

5区56号住居出土遺物(3)



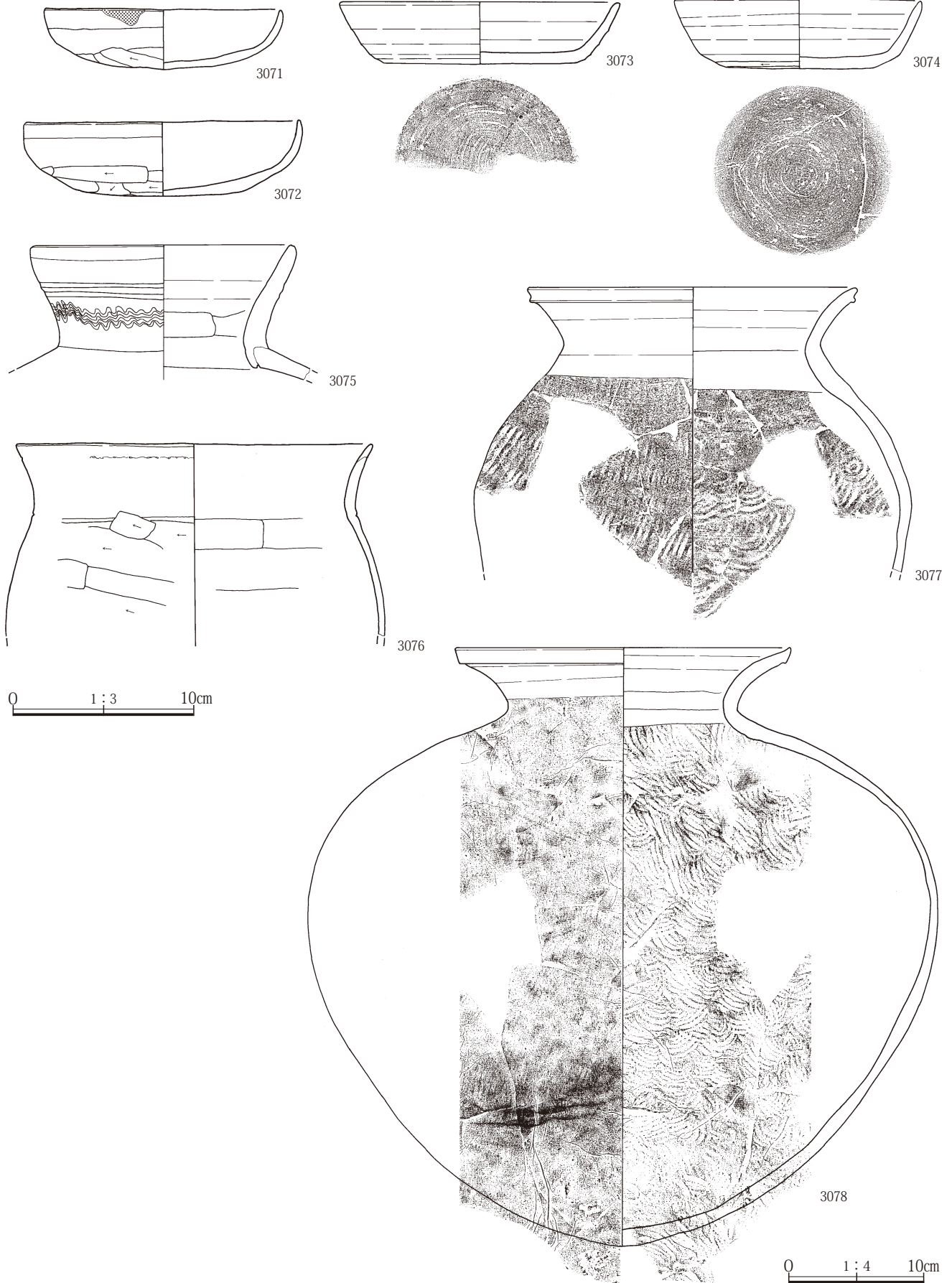
第282図 古墳～平安時代出土遺物 7

5区56号住居出土遺物(4)



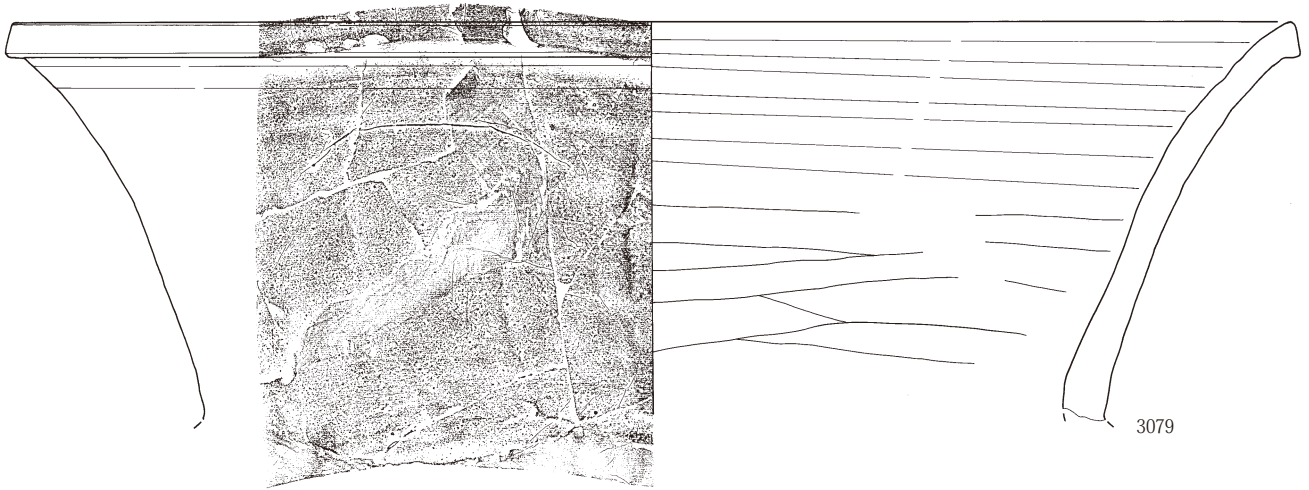
第283図 古墳～平安時代出土遺物 8

5区99号住居出土遺物(1)

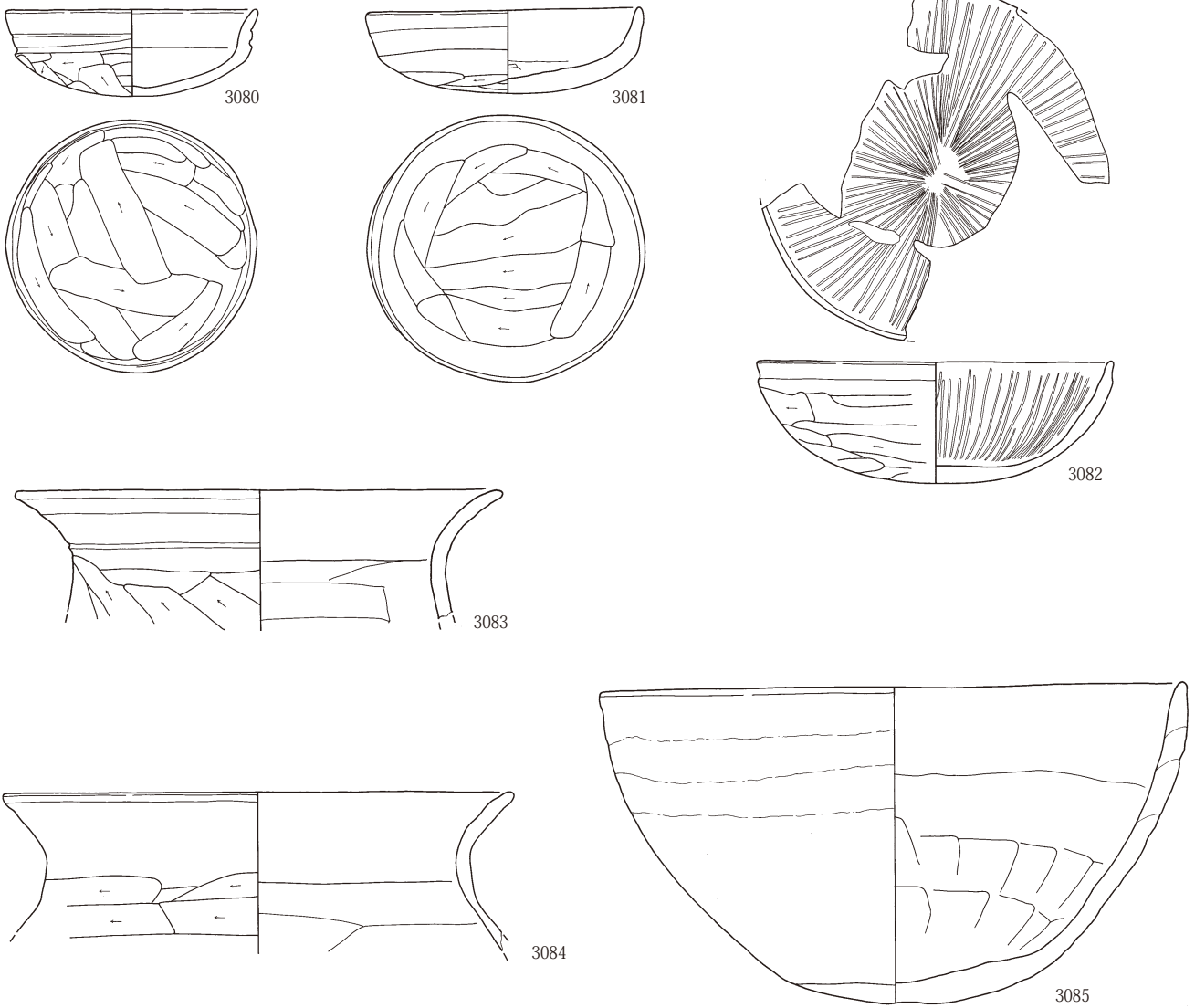


第284図 古墳～平安時代出土遺物9

5区99号住居出土遺物(2)



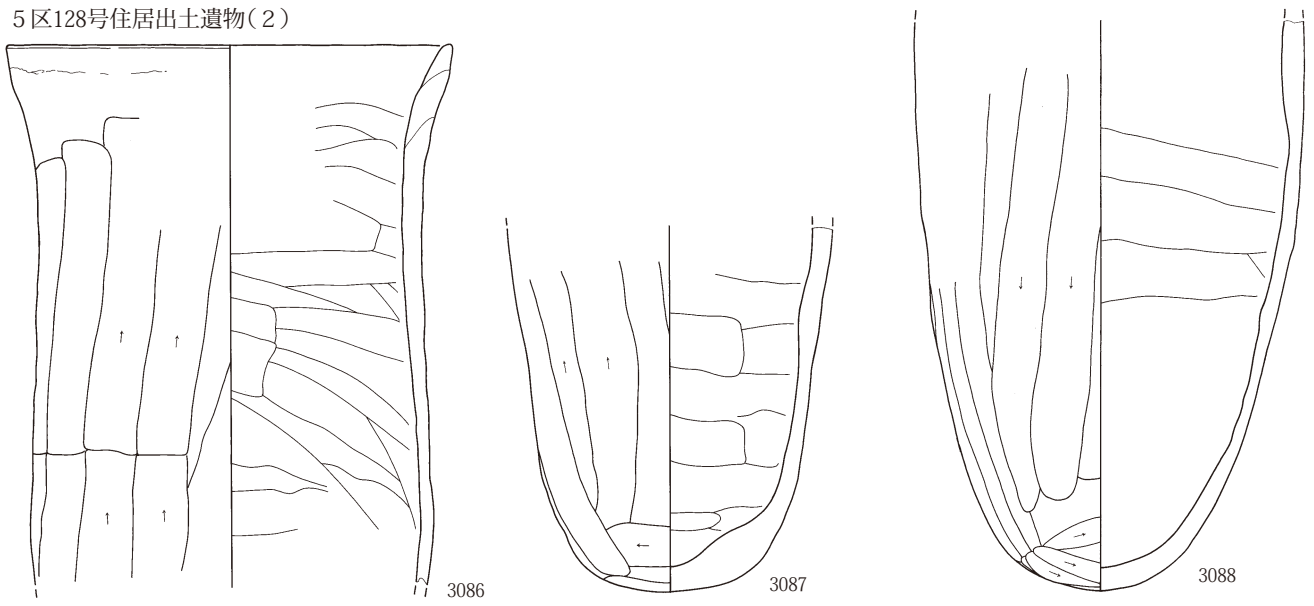
5区128号住居出土遺物(1)



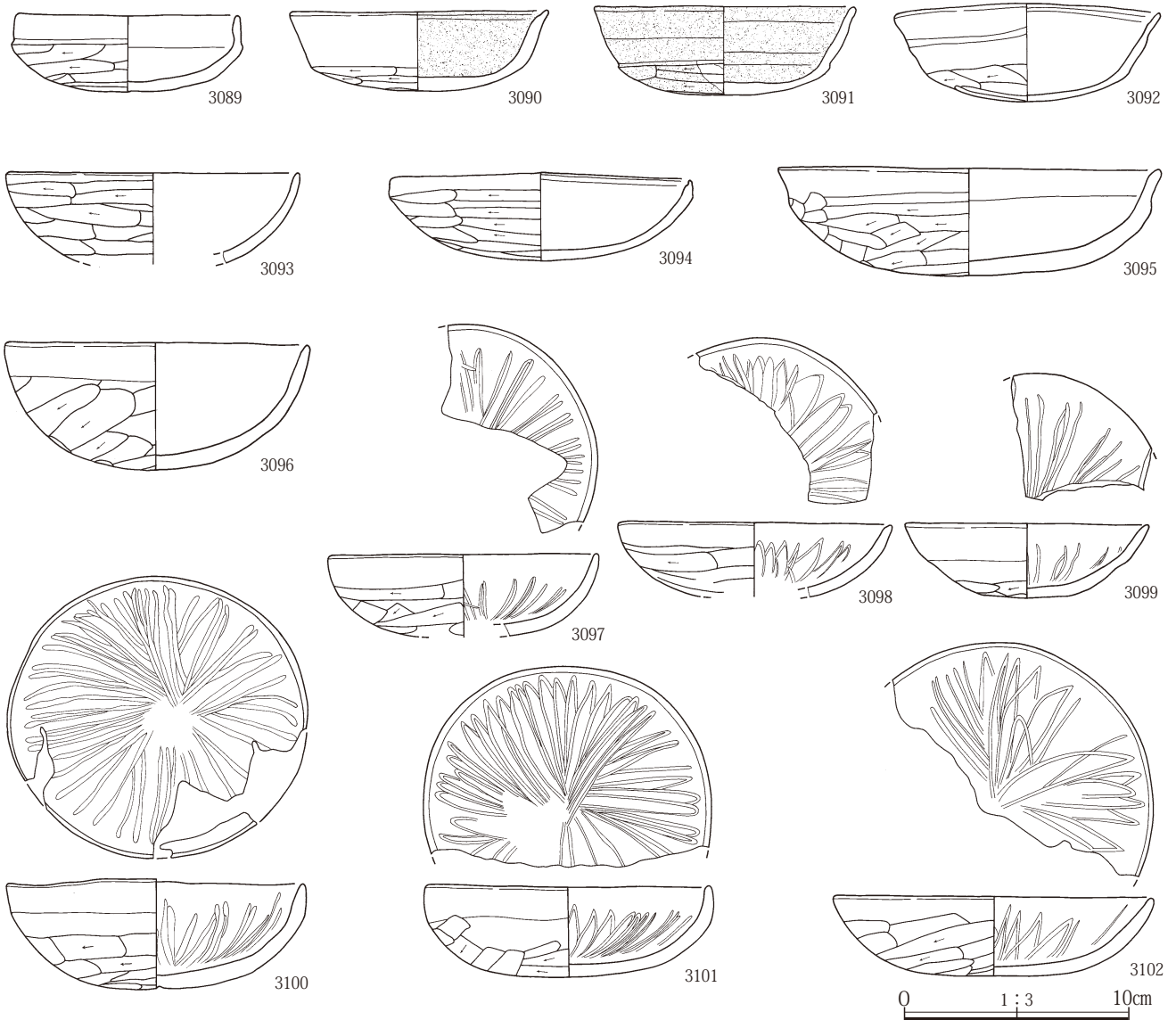
0 1:3 10cm

第285図 古墳～平安時代出土遺物10

5区128号住居出土遺物(2)

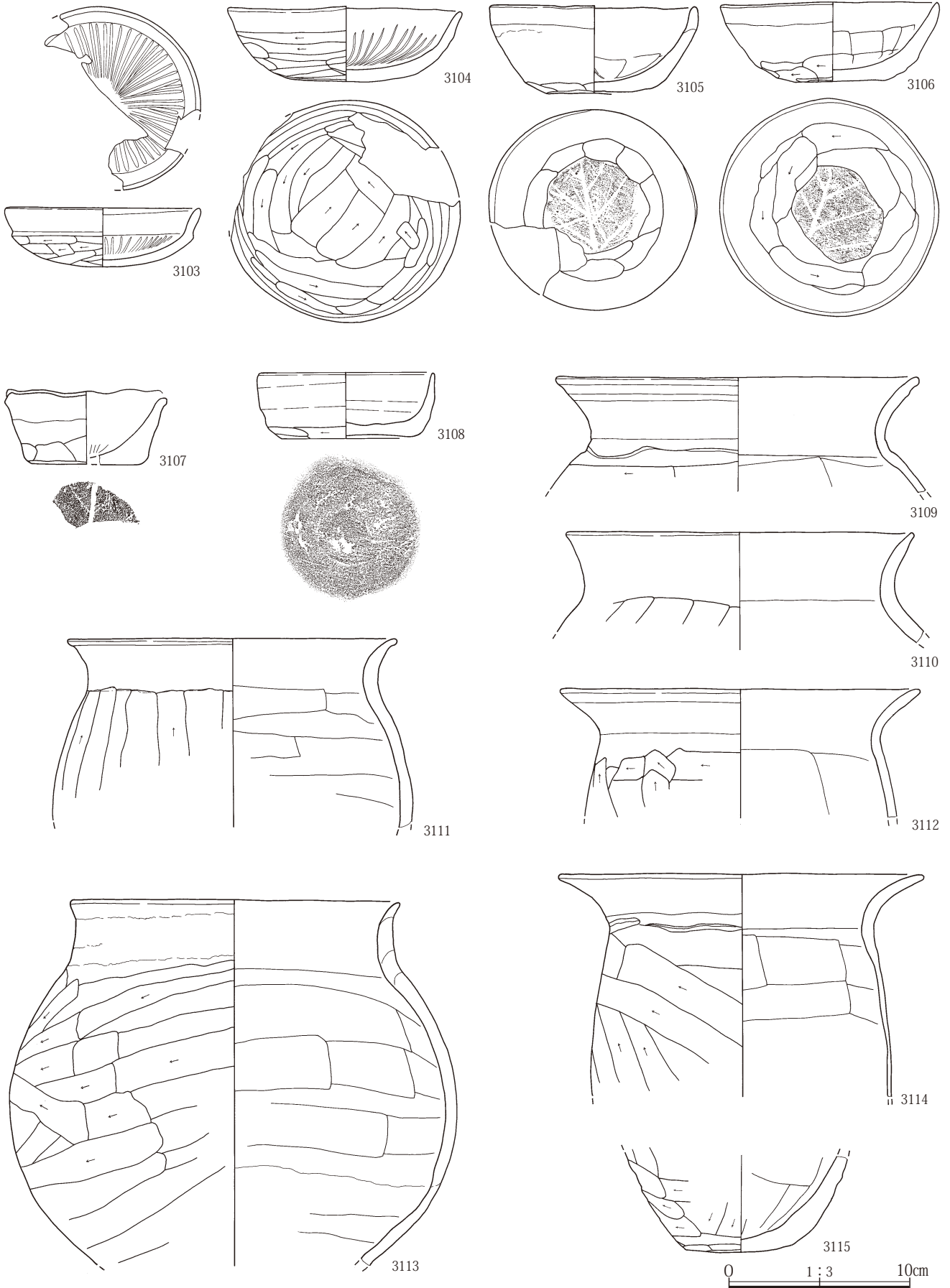


5区206号住居出土遺物(1)



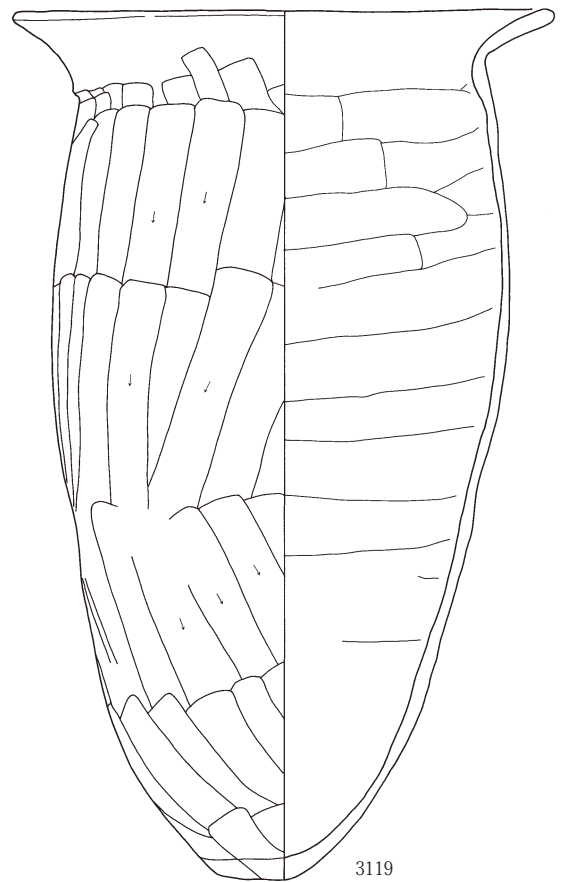
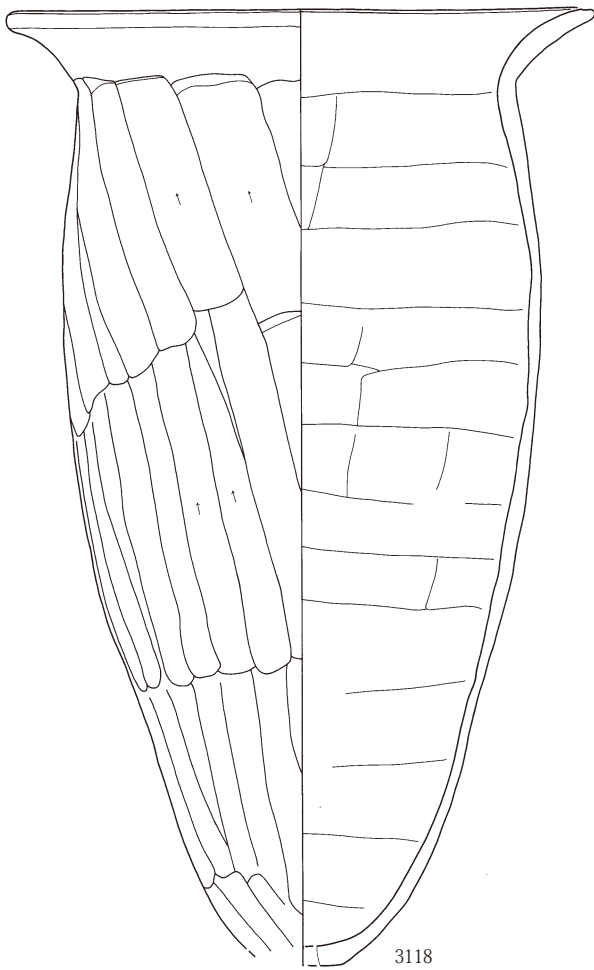
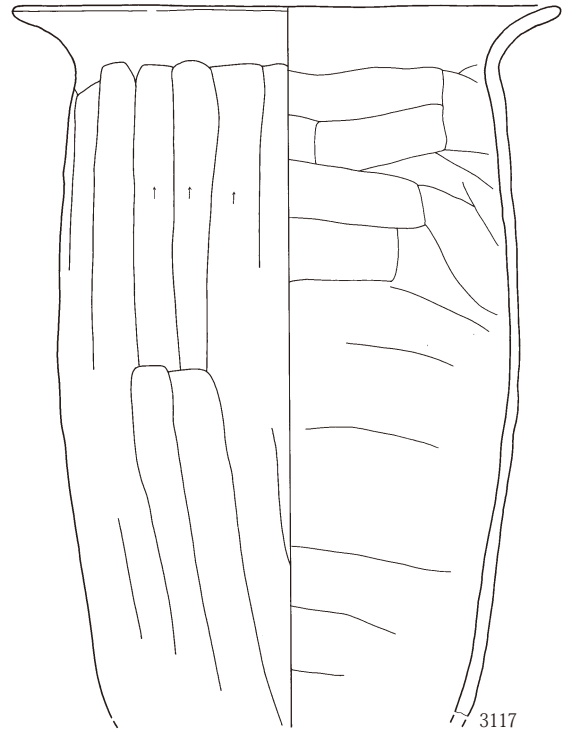
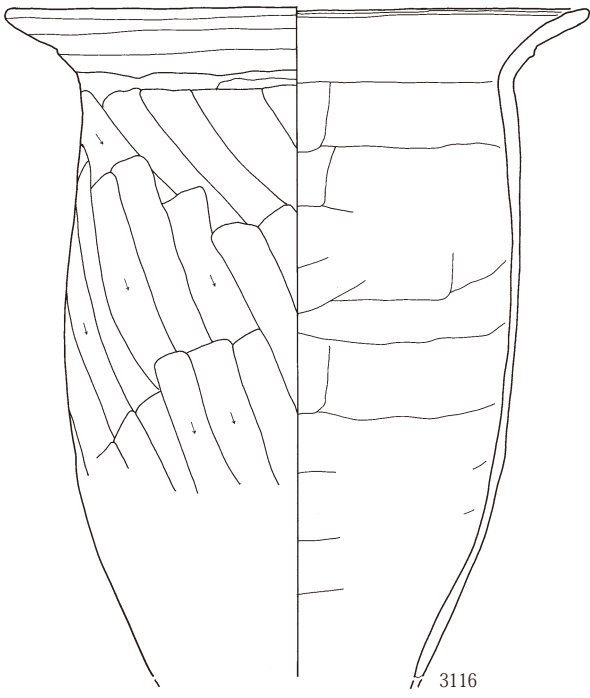
第286図 古墳～平安時代出土遺物11

5区206号住居出土遺物(2)



第287図 古墳～平安時代出土遺物12

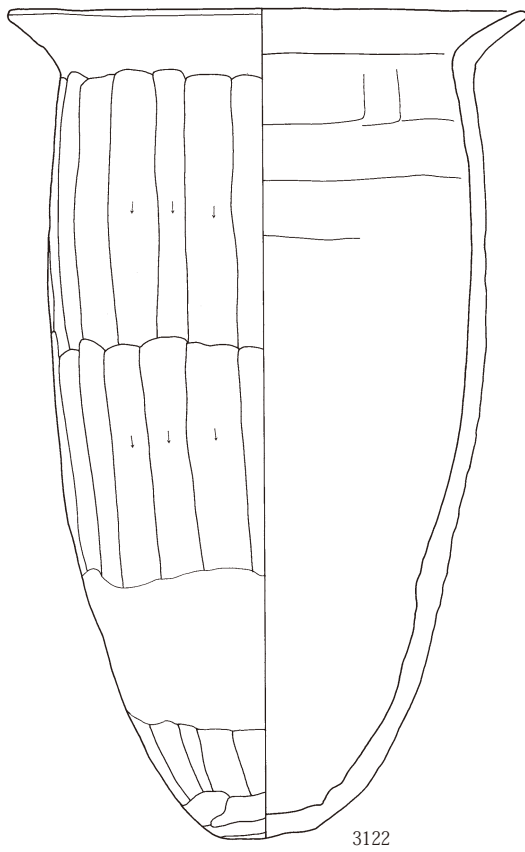
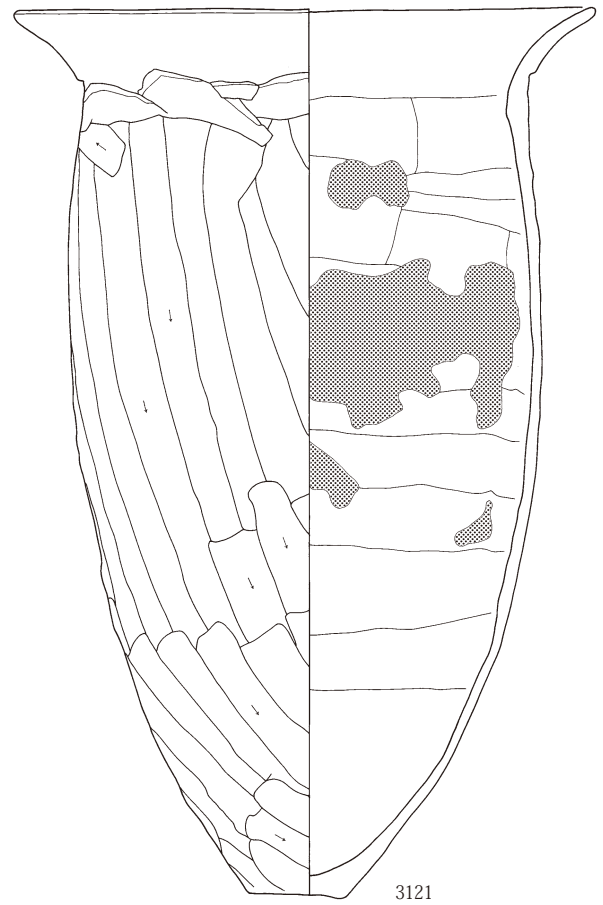
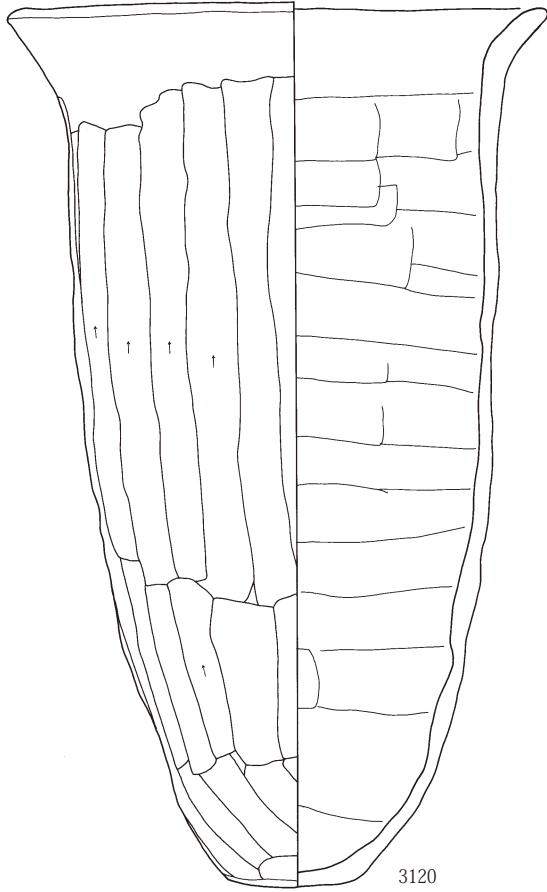
5区206号住居出土遺物(3)



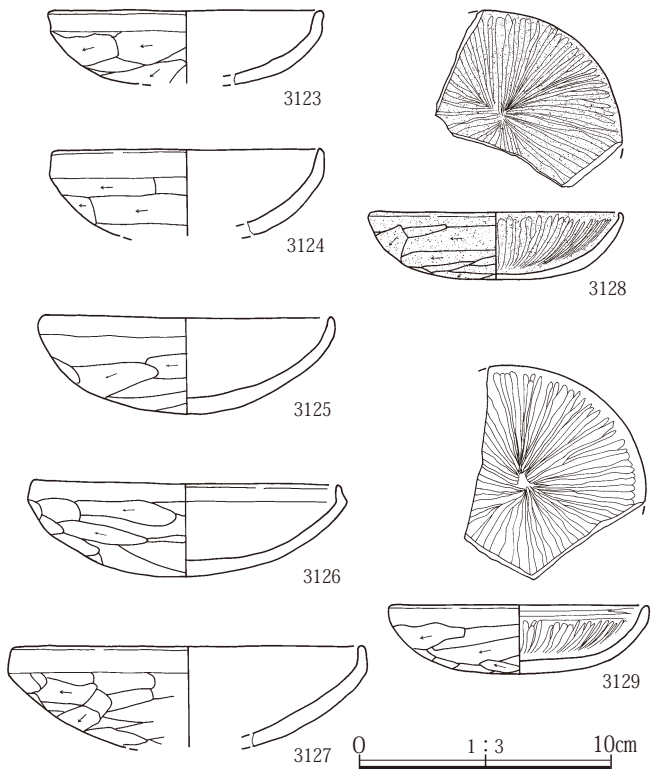
0 1:3 10cm

第288図 古墳～平安時代出土遺物13

5区206号住居出土遺物(4)

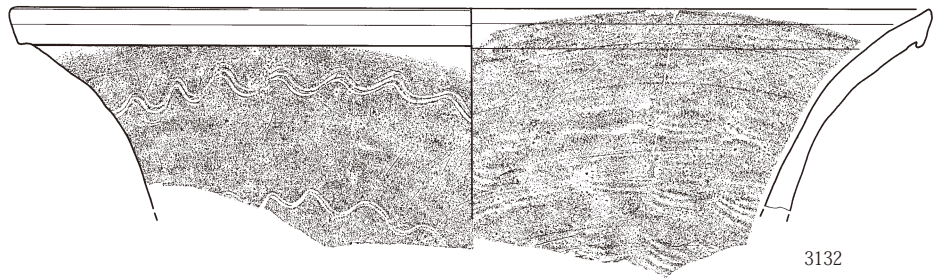
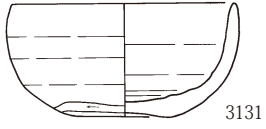
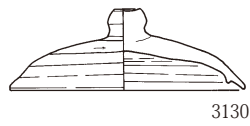


5区207号住居出土遺物(1)

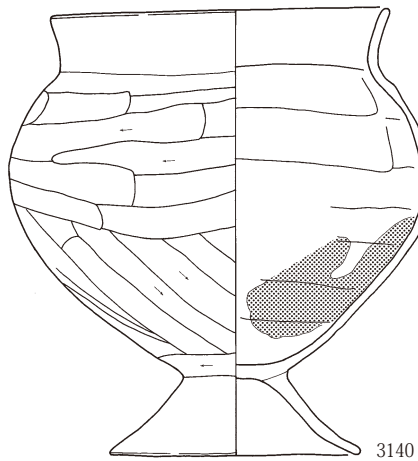
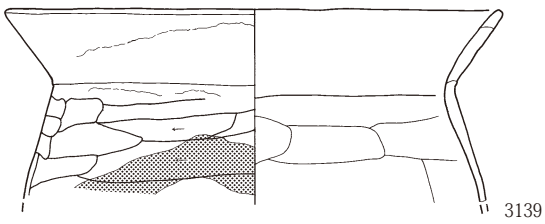
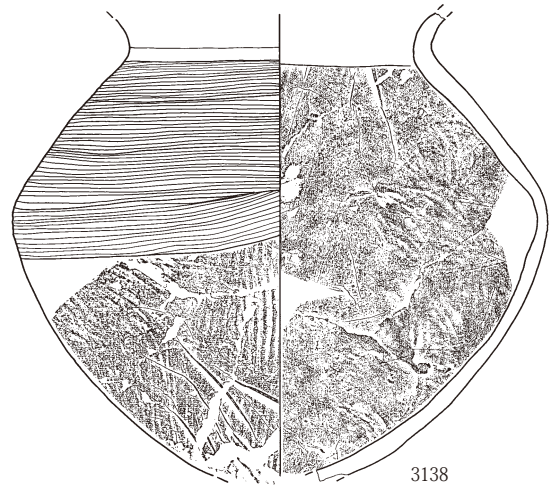
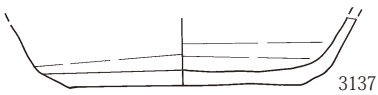
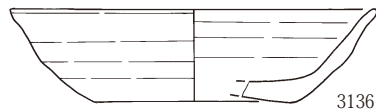
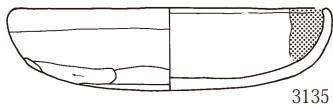
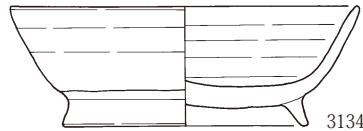
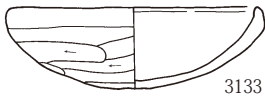


第289図 古墳～平安時代出土遺物14

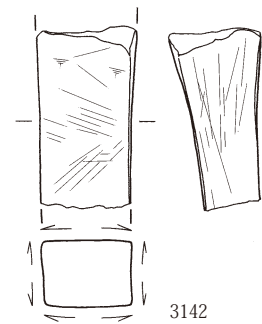
5区207号住居出土遺物(2)



5区209号住居出土遺物



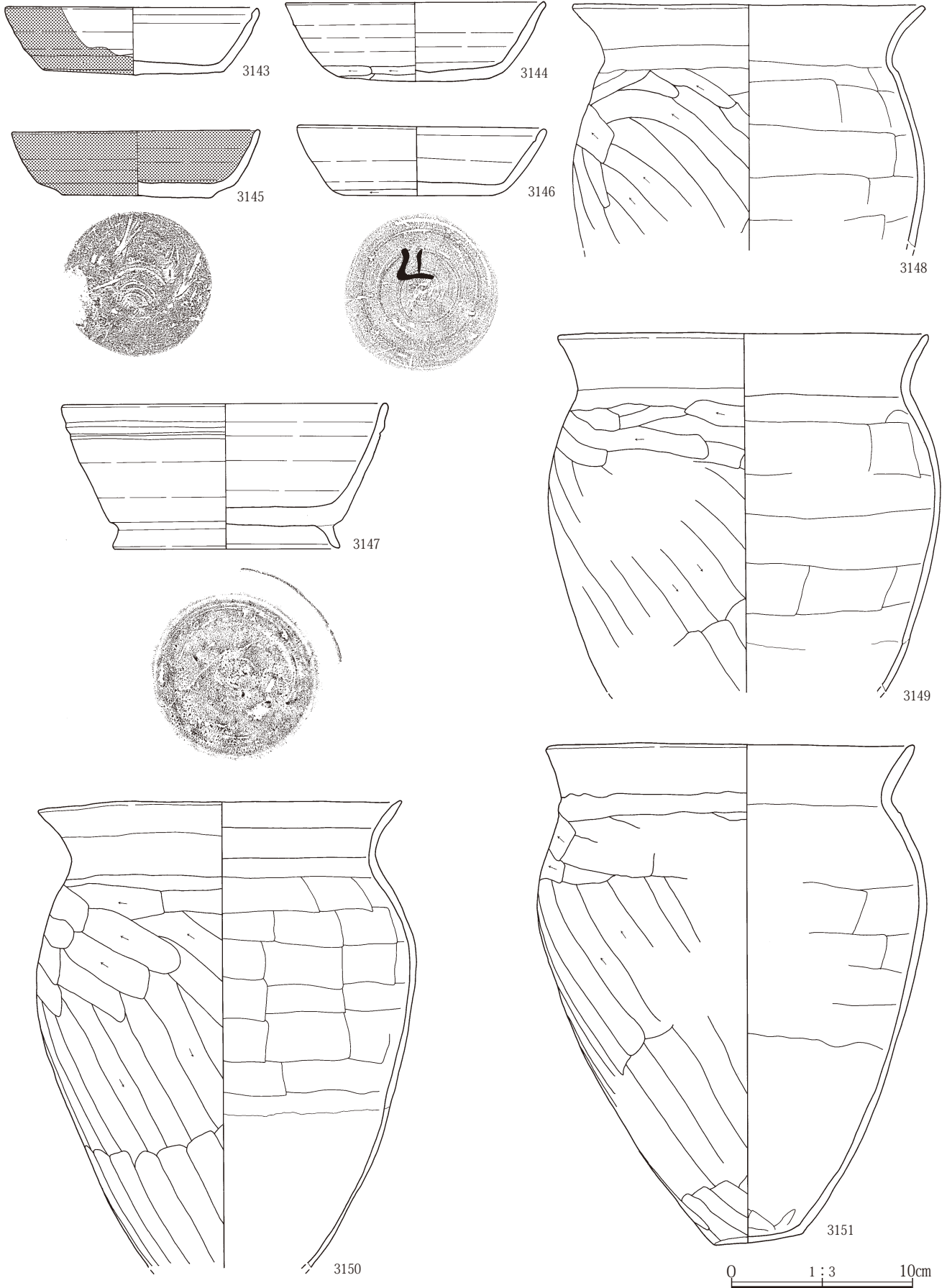
3141



0 1:3 10cm

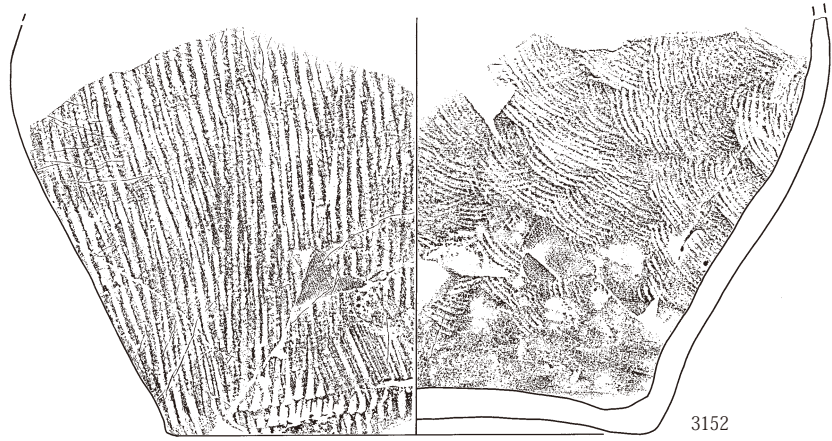
第290図 古墳～平安時代出土遺物15

5区210号住居出土遺物(1)

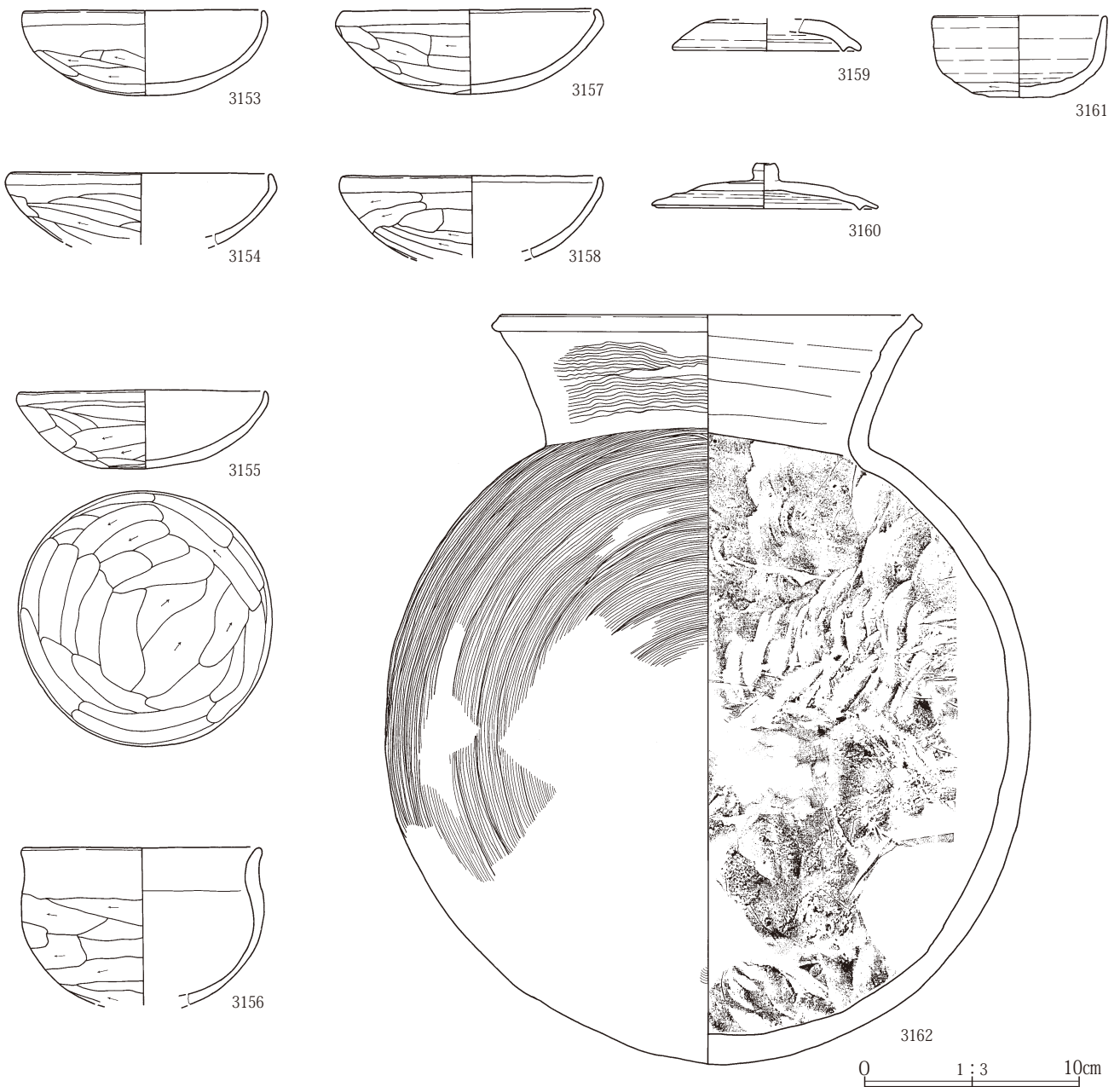


第291図 古墳～平安時代出土遺物16

5区210号住居出土遺物(2)

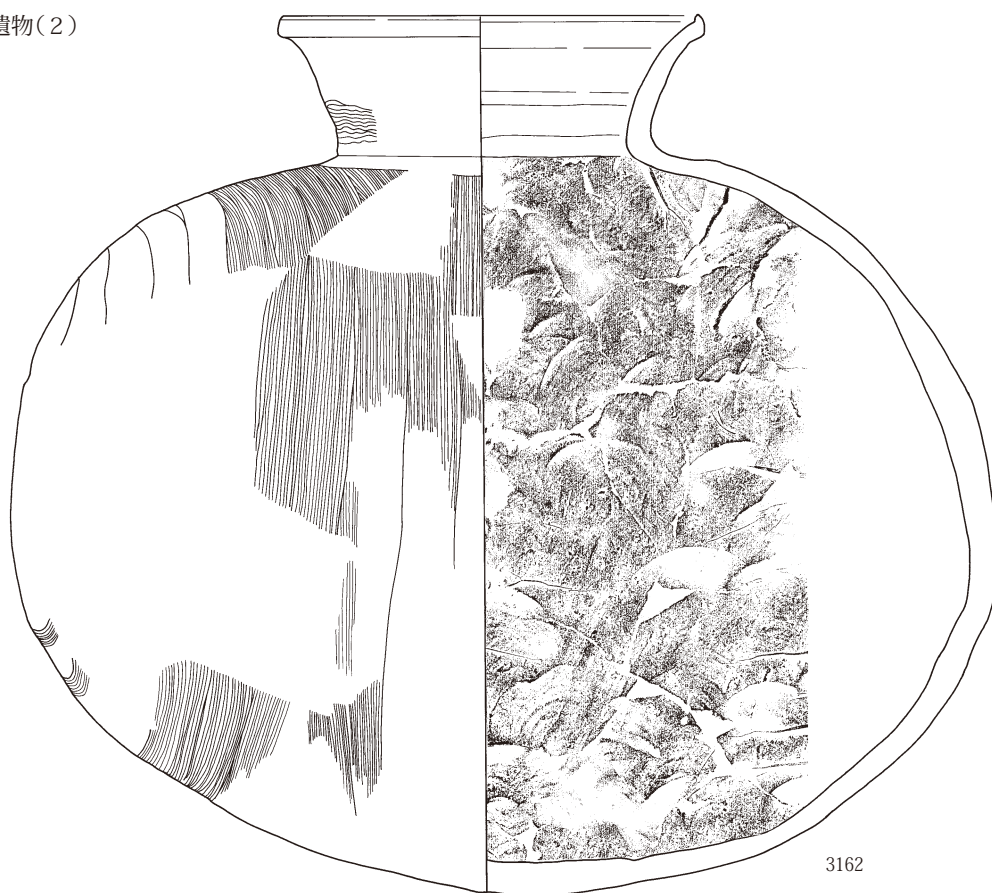


5区214号住居出土遺物(1)

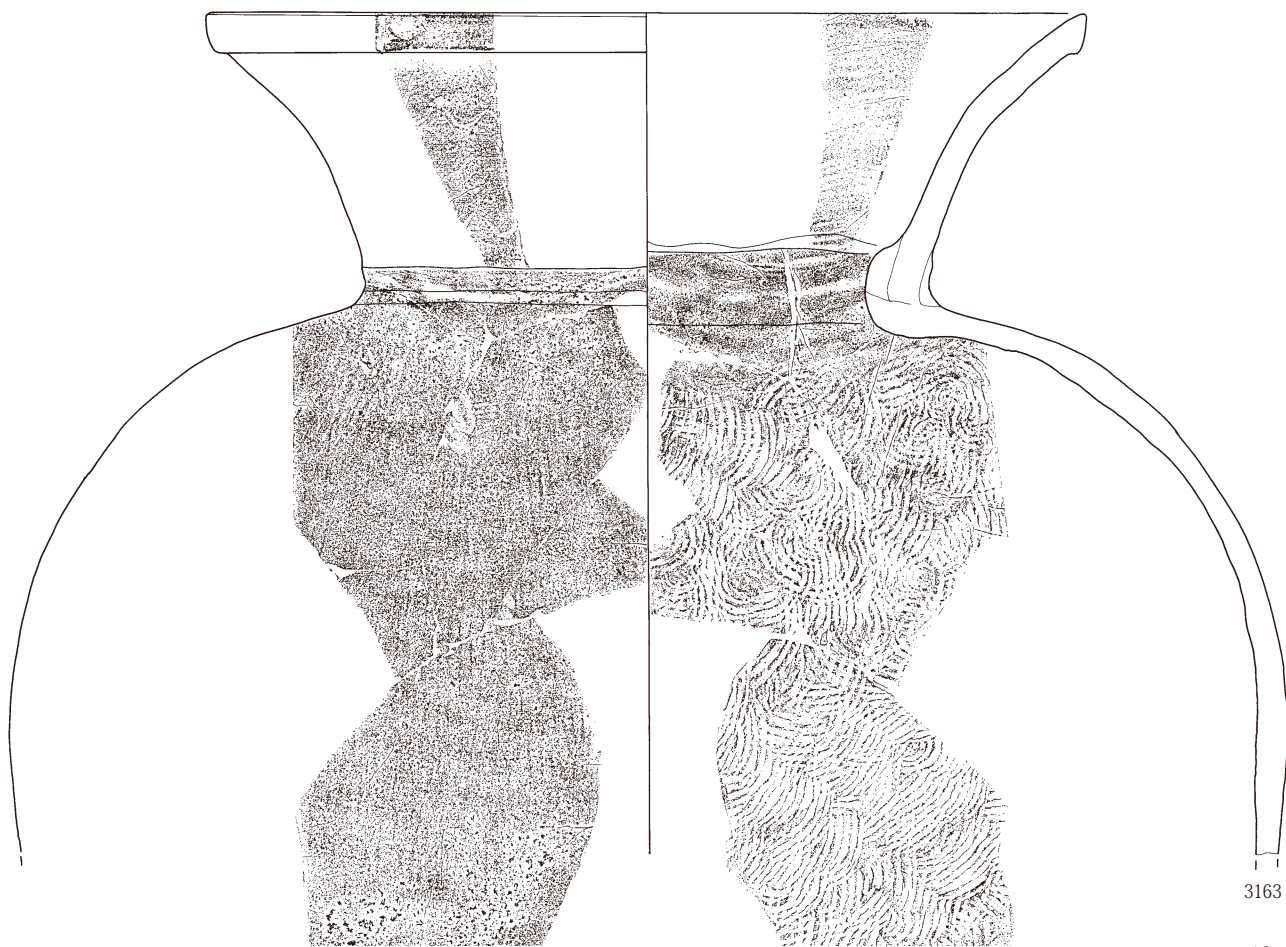


第292図 古墳～平安時代出土遺物17

5区214号住居出土遺物(2)



3162

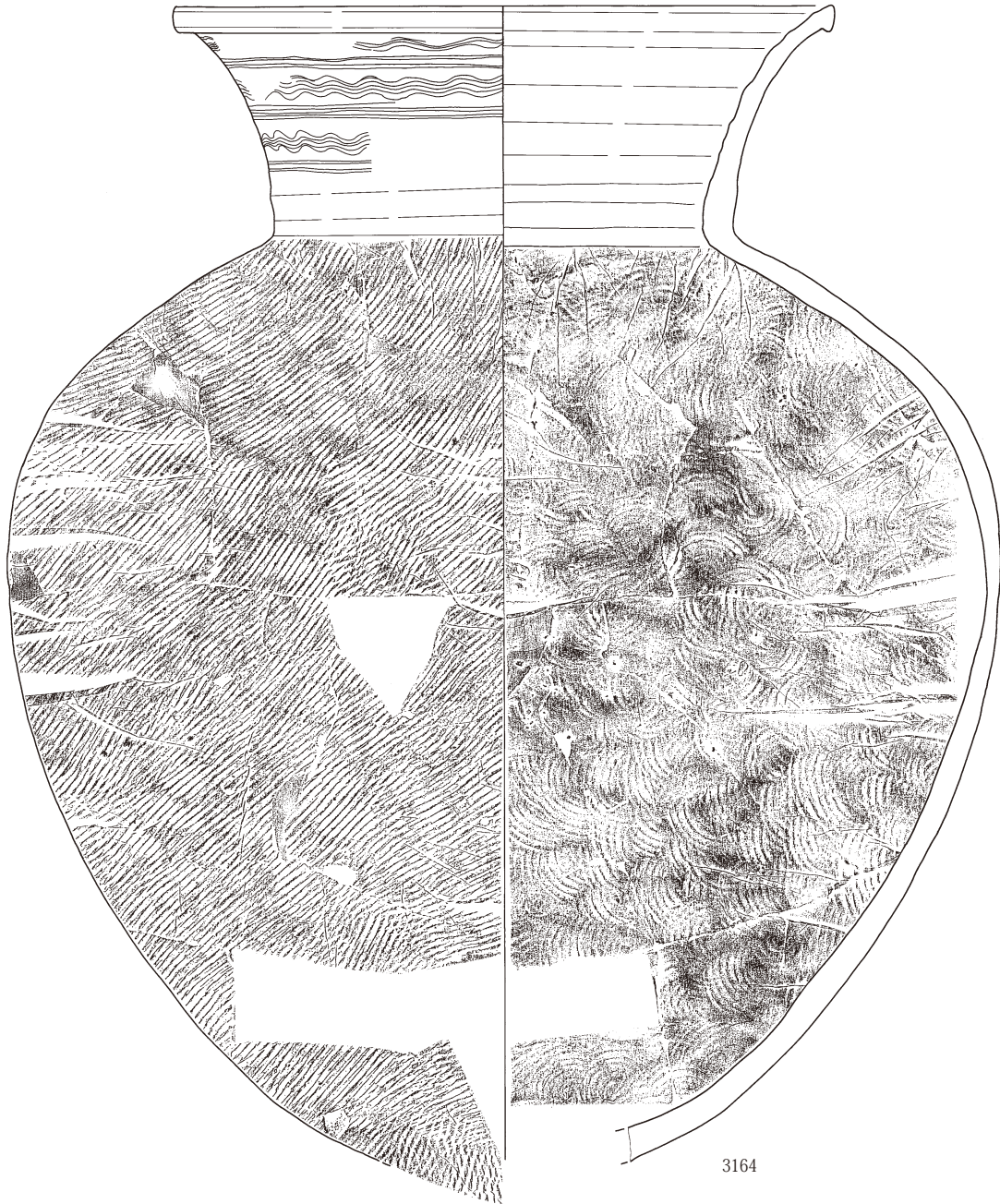


3163

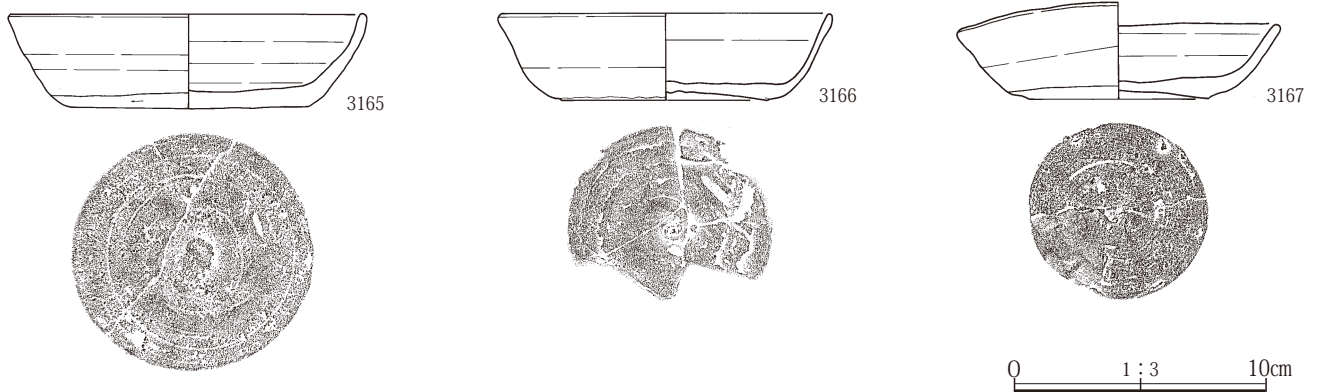
第293図 古墳～平安時代出土遺物18

0 1:3 10cm

5区214号住居出土遺物(3)

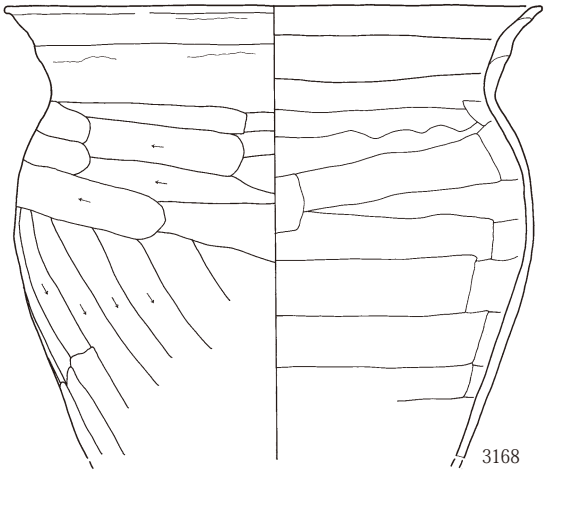


5区245号住居出土遺物(1)

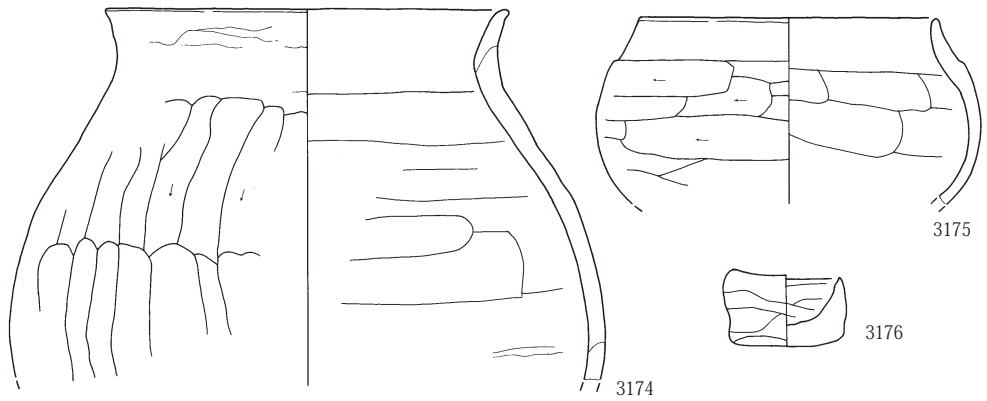
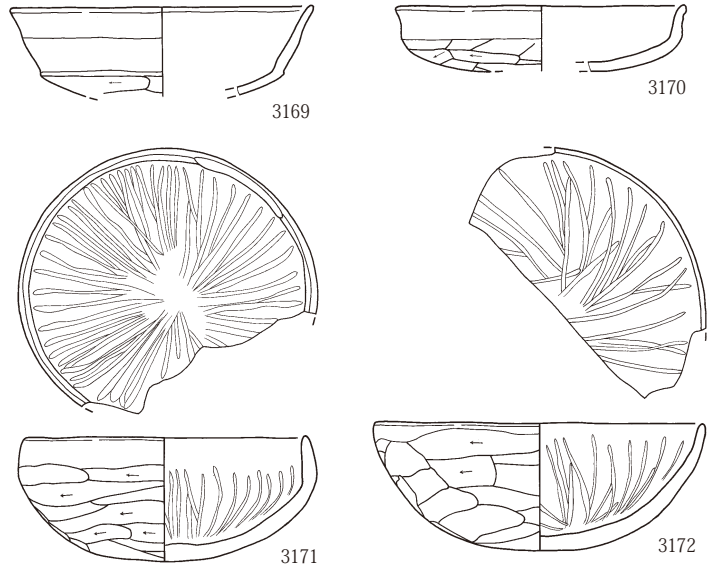


第294図 古墳～平安時代出土遺物19

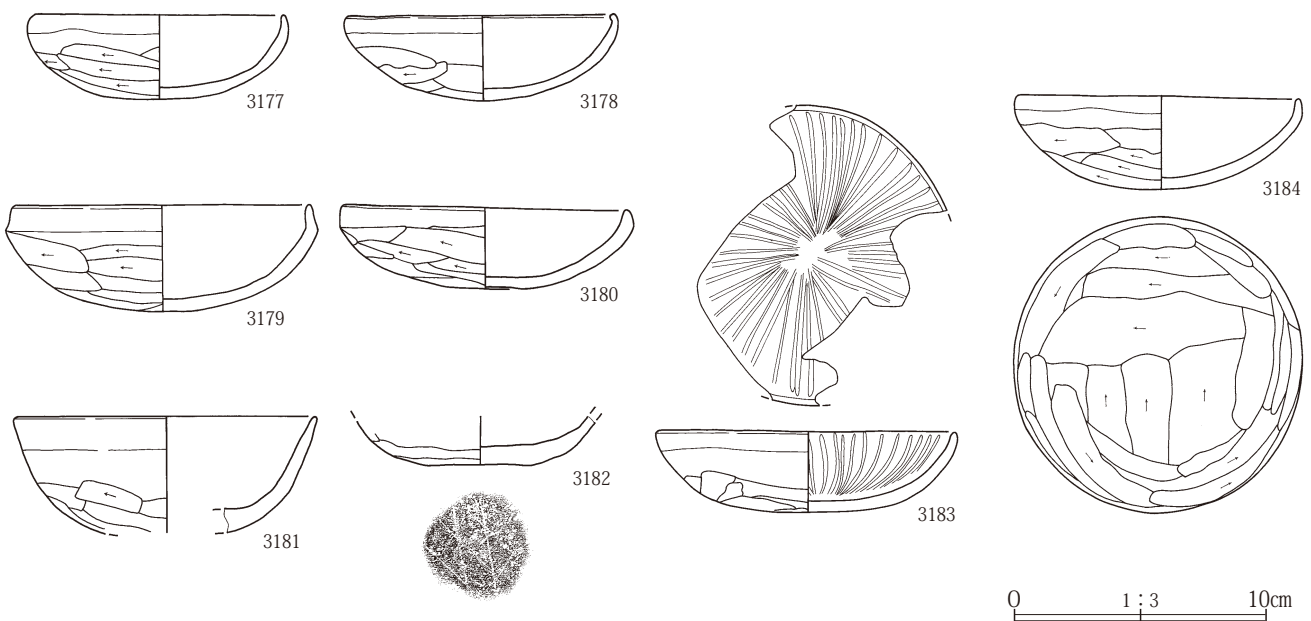
5区245号住居出土遺物(2)



5区286号住居出土遺物



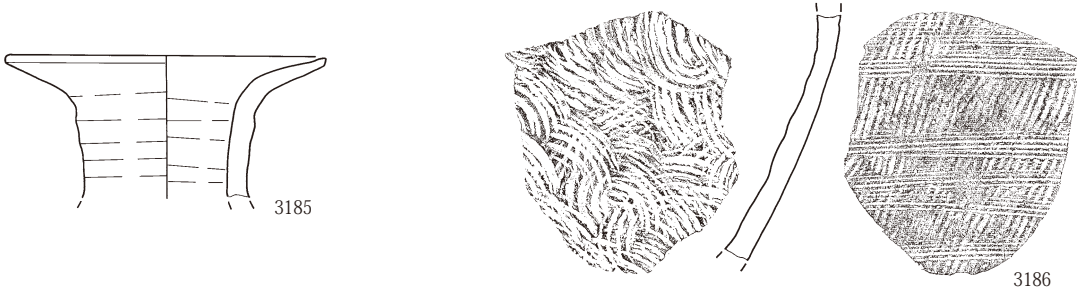
5区304号住居出土遺物(1)



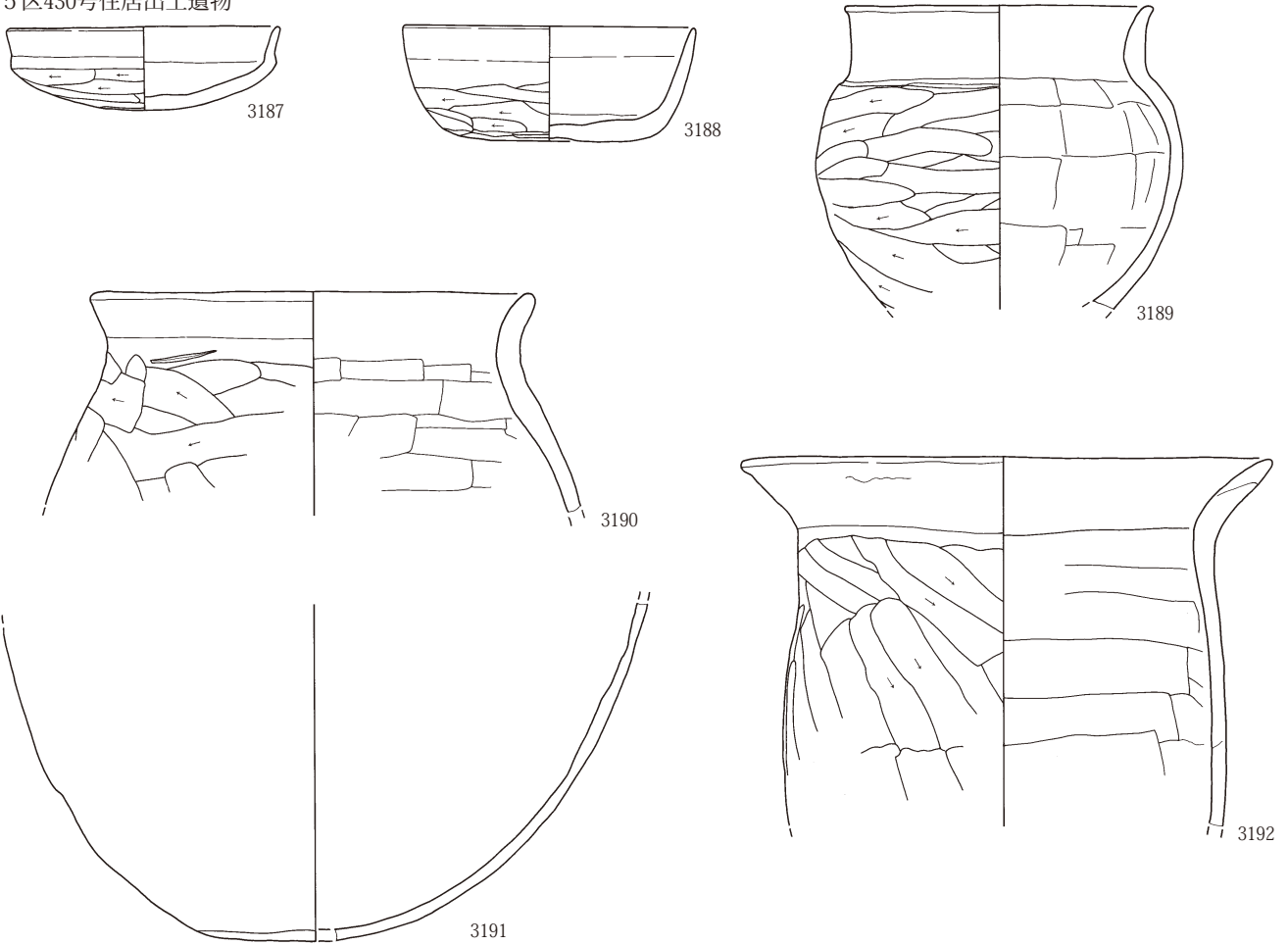
0 1:3 10cm

第295図 古墳～平安時代出土遺物20

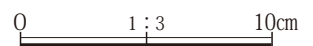
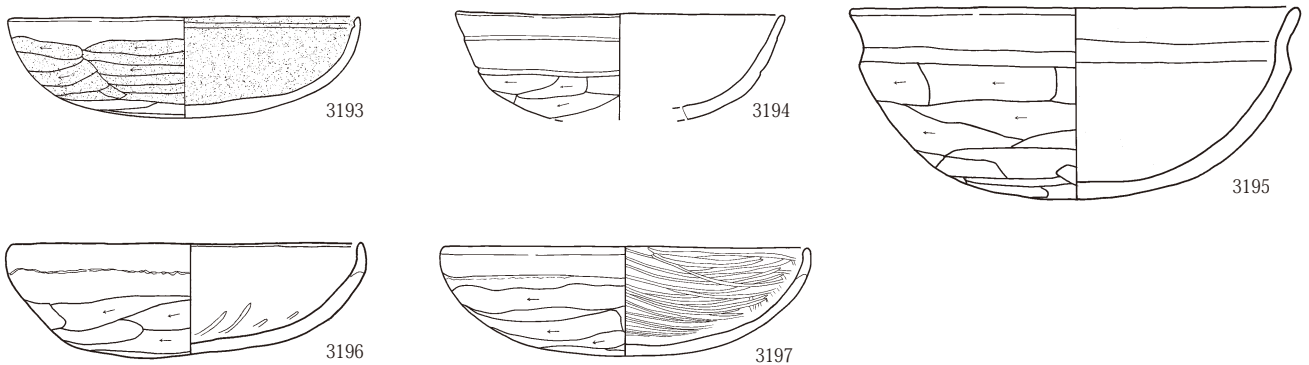
5区304号住居出土遺物(2)



5区430号住居出土遺物

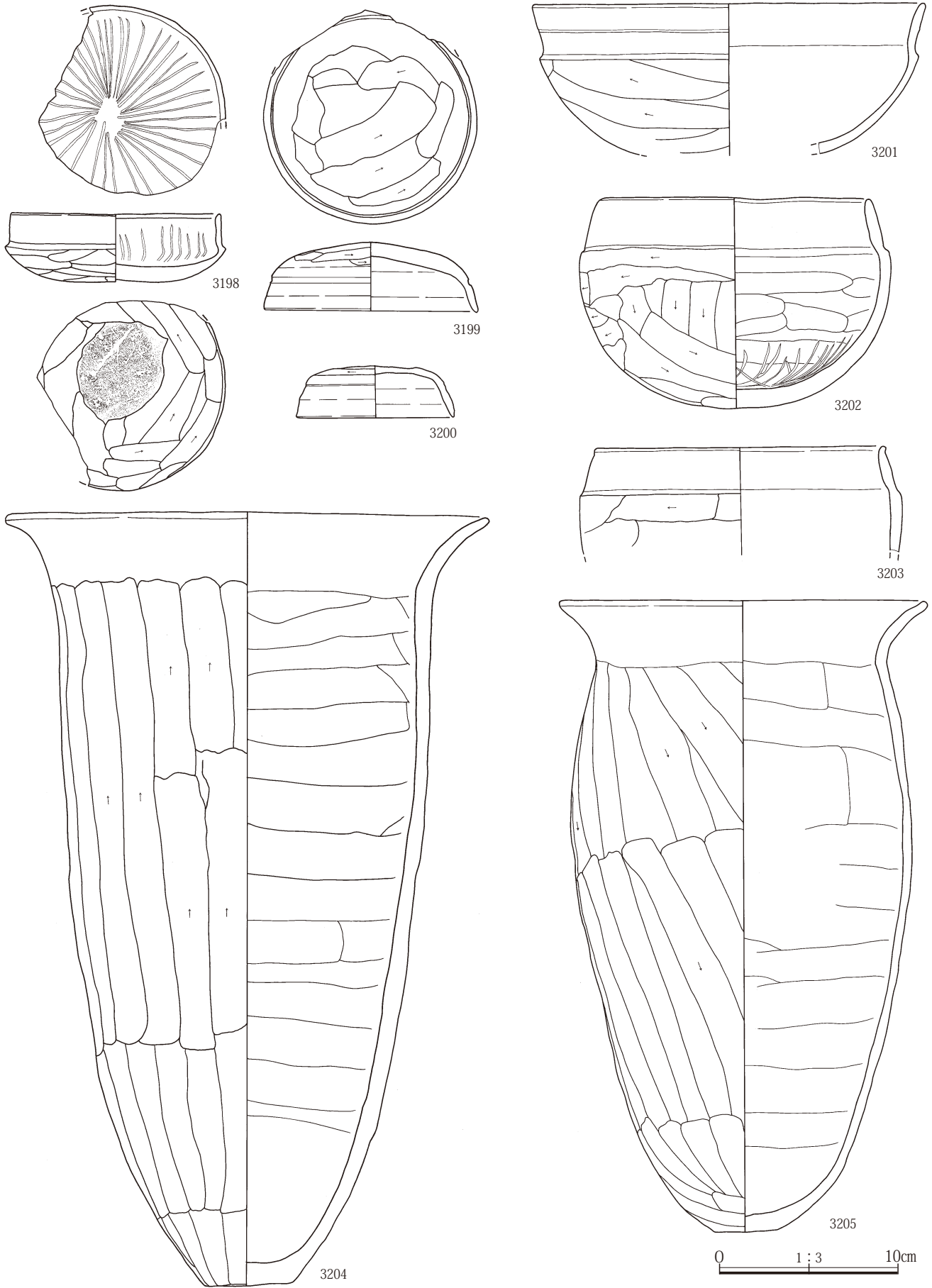


6区1号住居出土遺物(1)



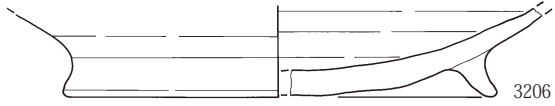
第296図 古墳～平安時代出土遺物21

6区1号住居出土遺物(2)

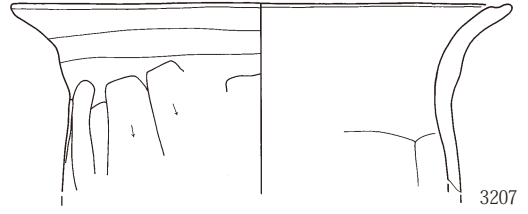


第297図 古墳～平安時代出土遺物22

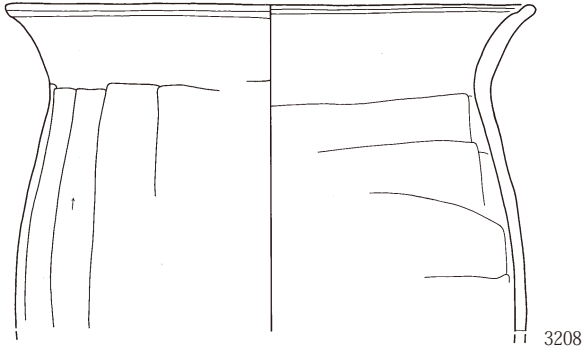
6区1号住居出土遺物(3)



3206



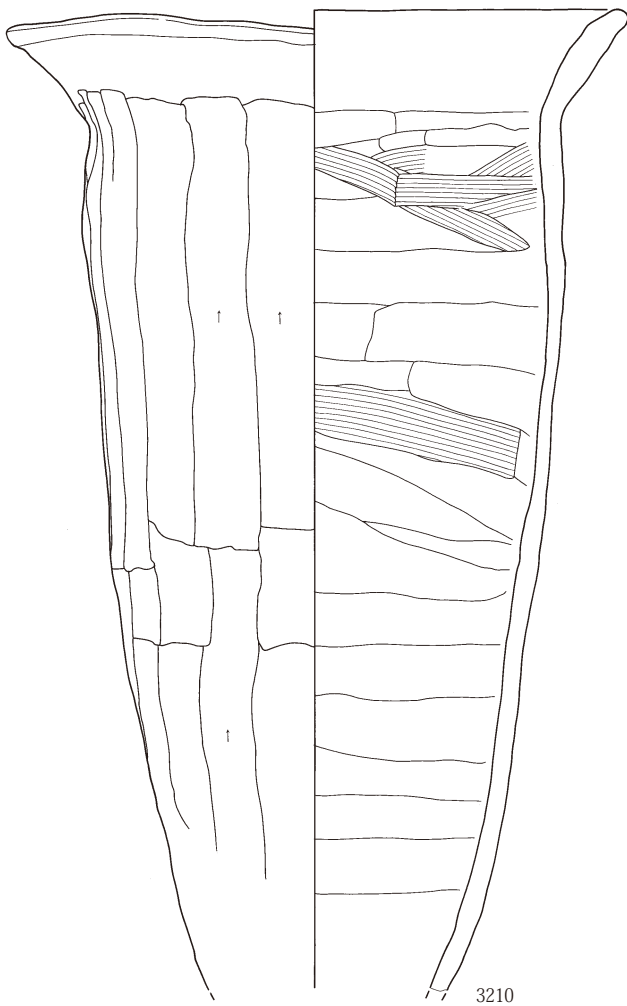
3207



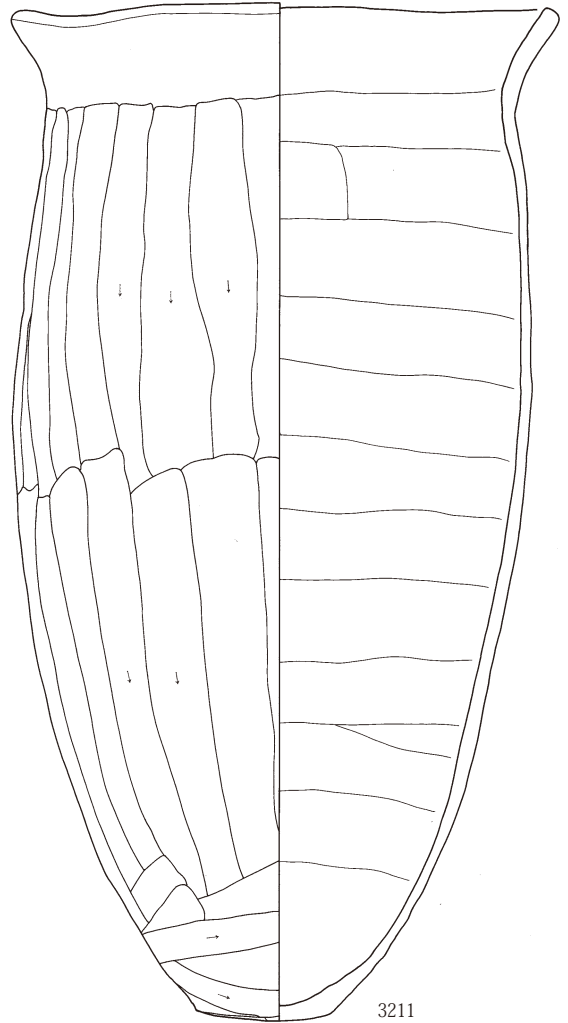
3208



3209



3210

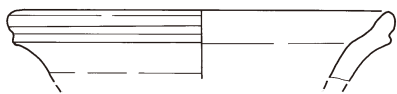
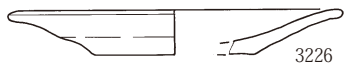
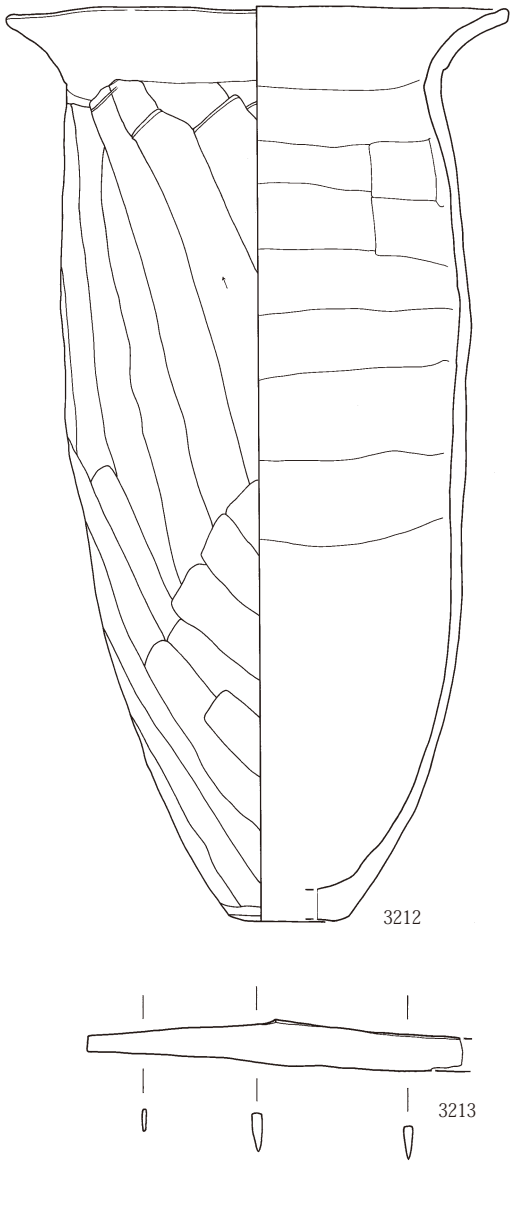


3211

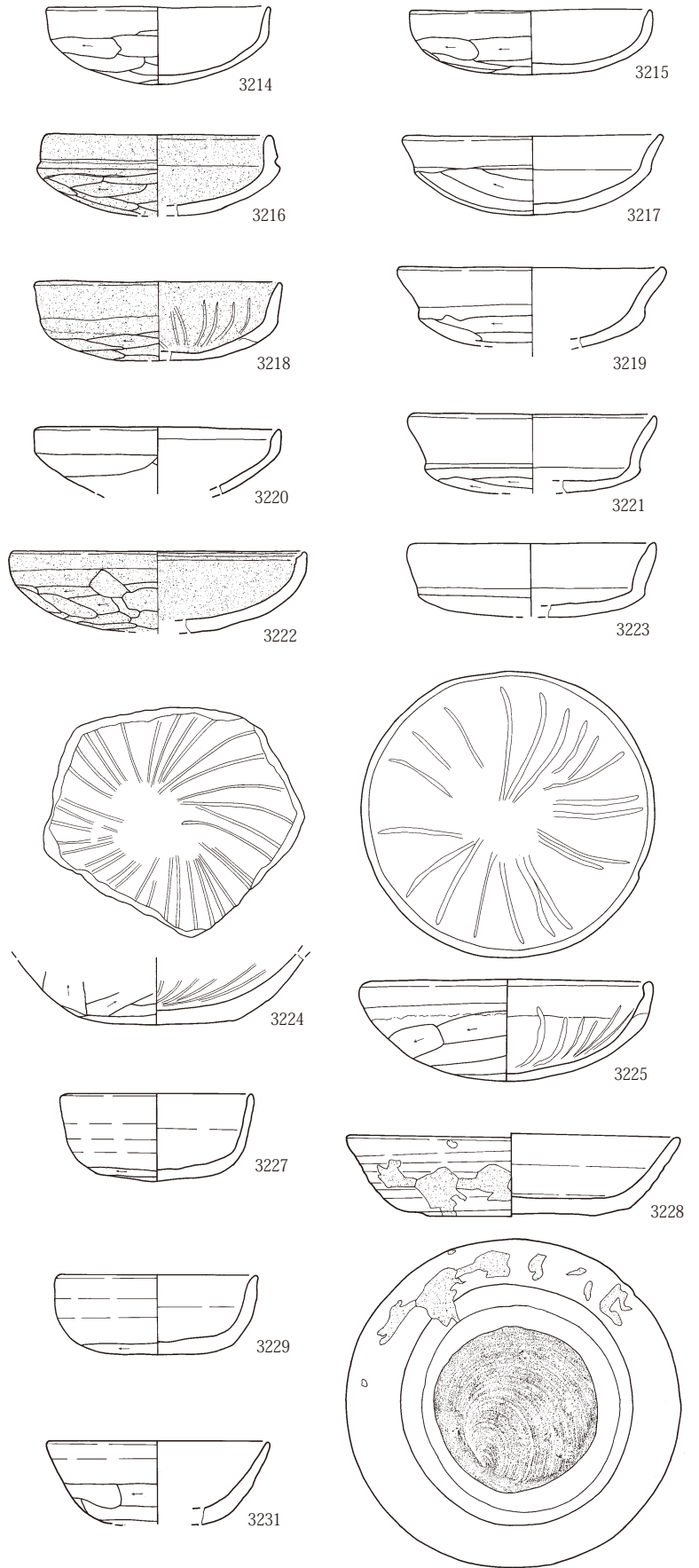
0 1:3 10cm

第298図 古墳～平安時代出土遺物23

6区1号住居出土遺物(3)



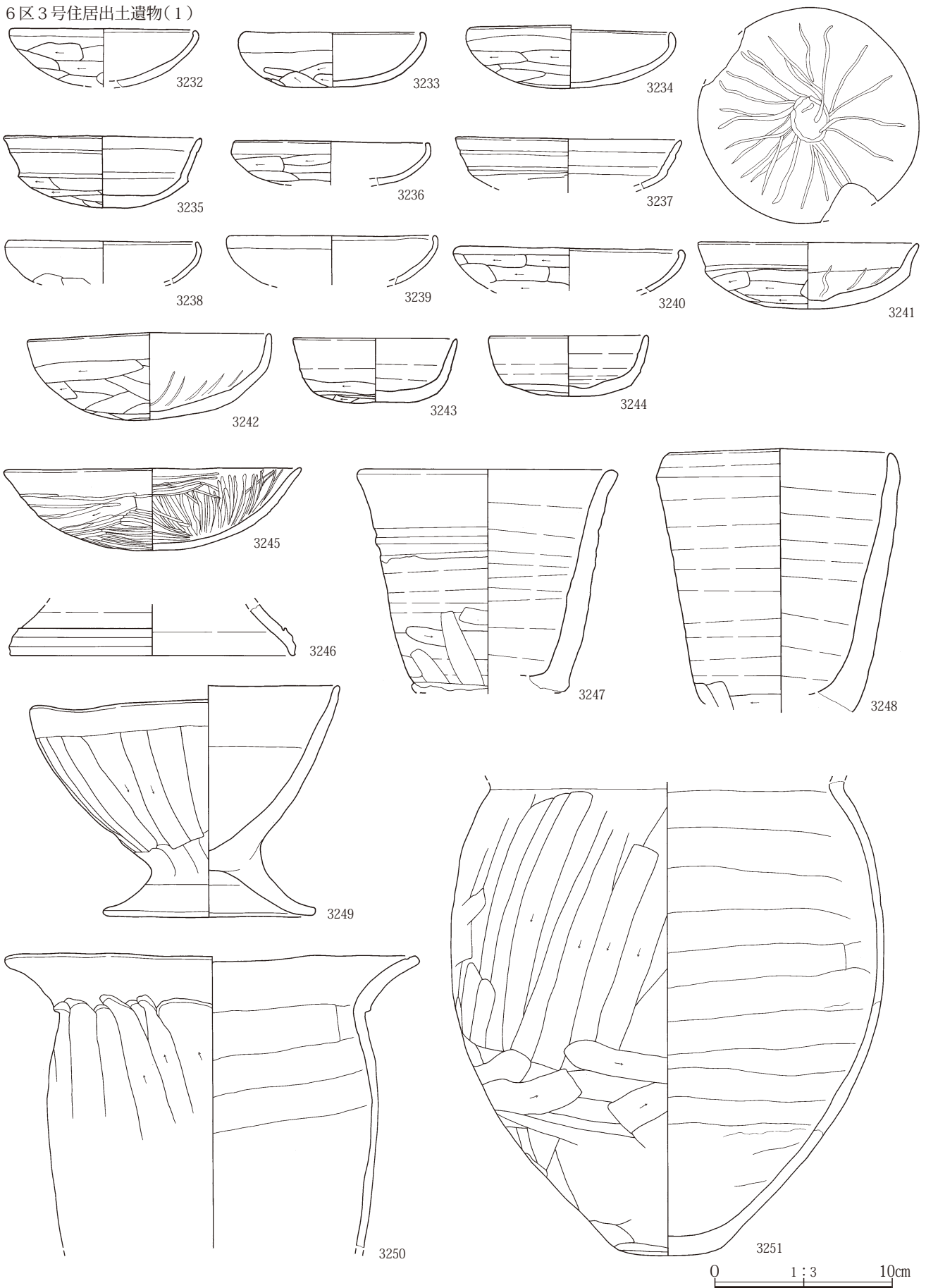
6区2号住居出土遺物



0 1:3 10cm

第299図 古墳～平安時代出土遺物24

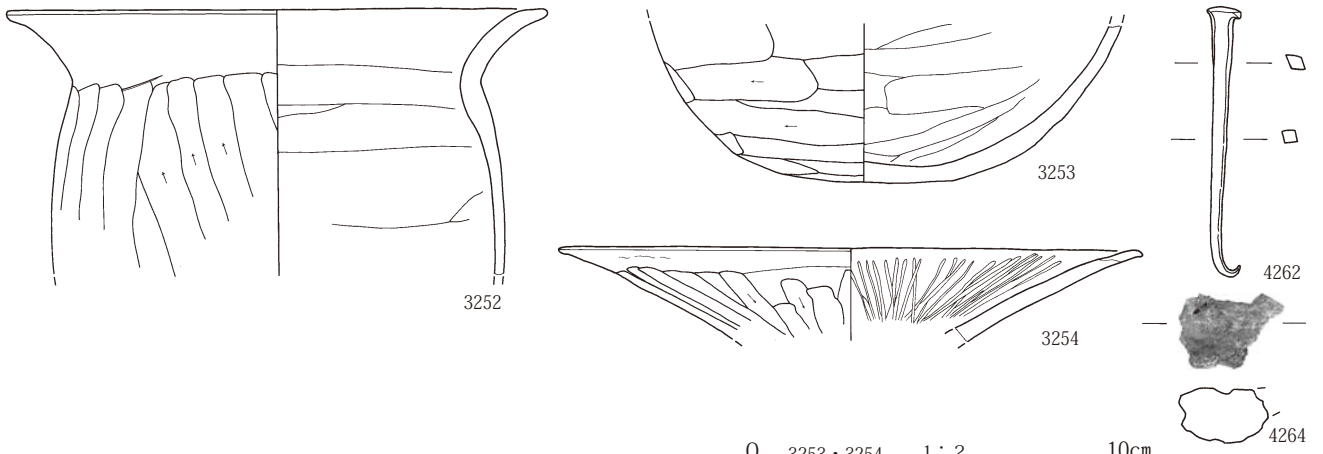
6区3号住居出土遺物(1)



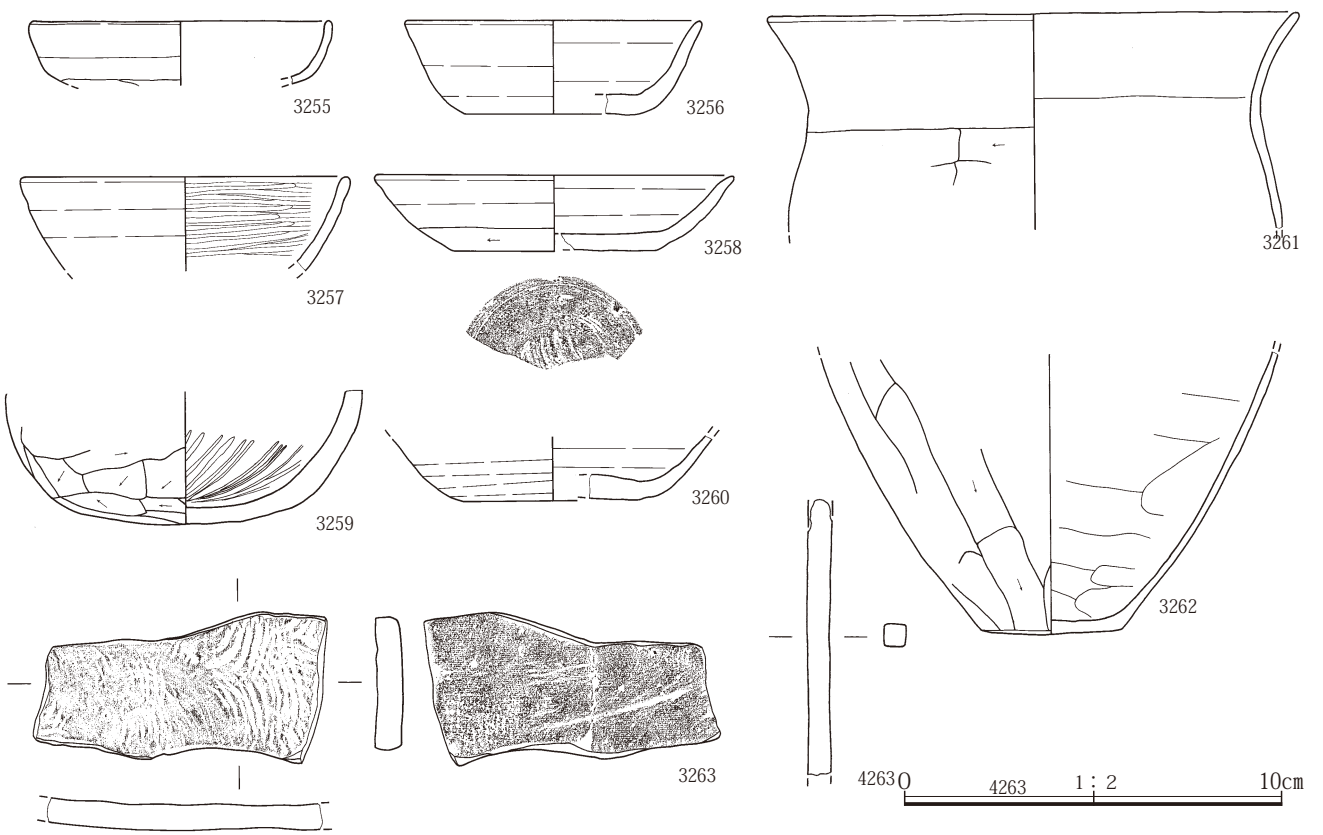
第300図 古墳～平安時代出土遺物25

第三章 検出された遺構と出土遺物

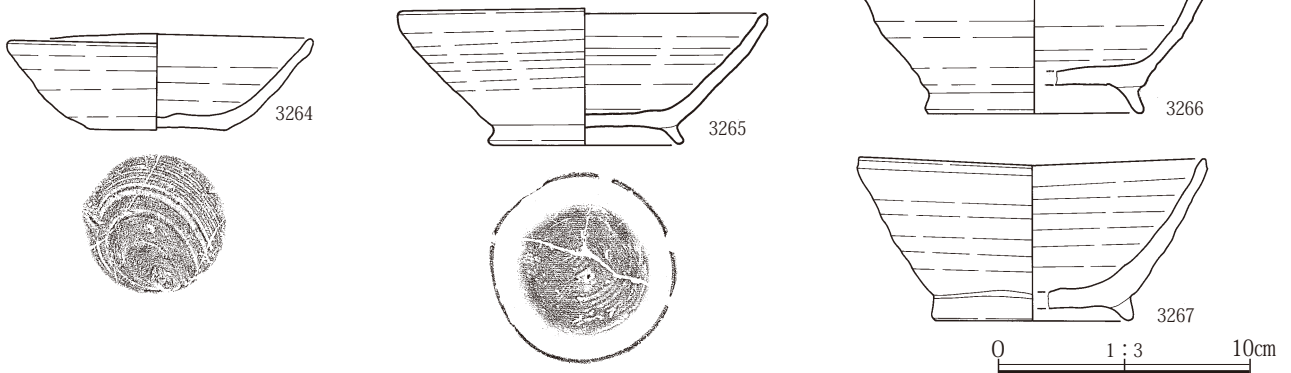
6区3号住居出土遺物(2)



6区4号住居出土遺物

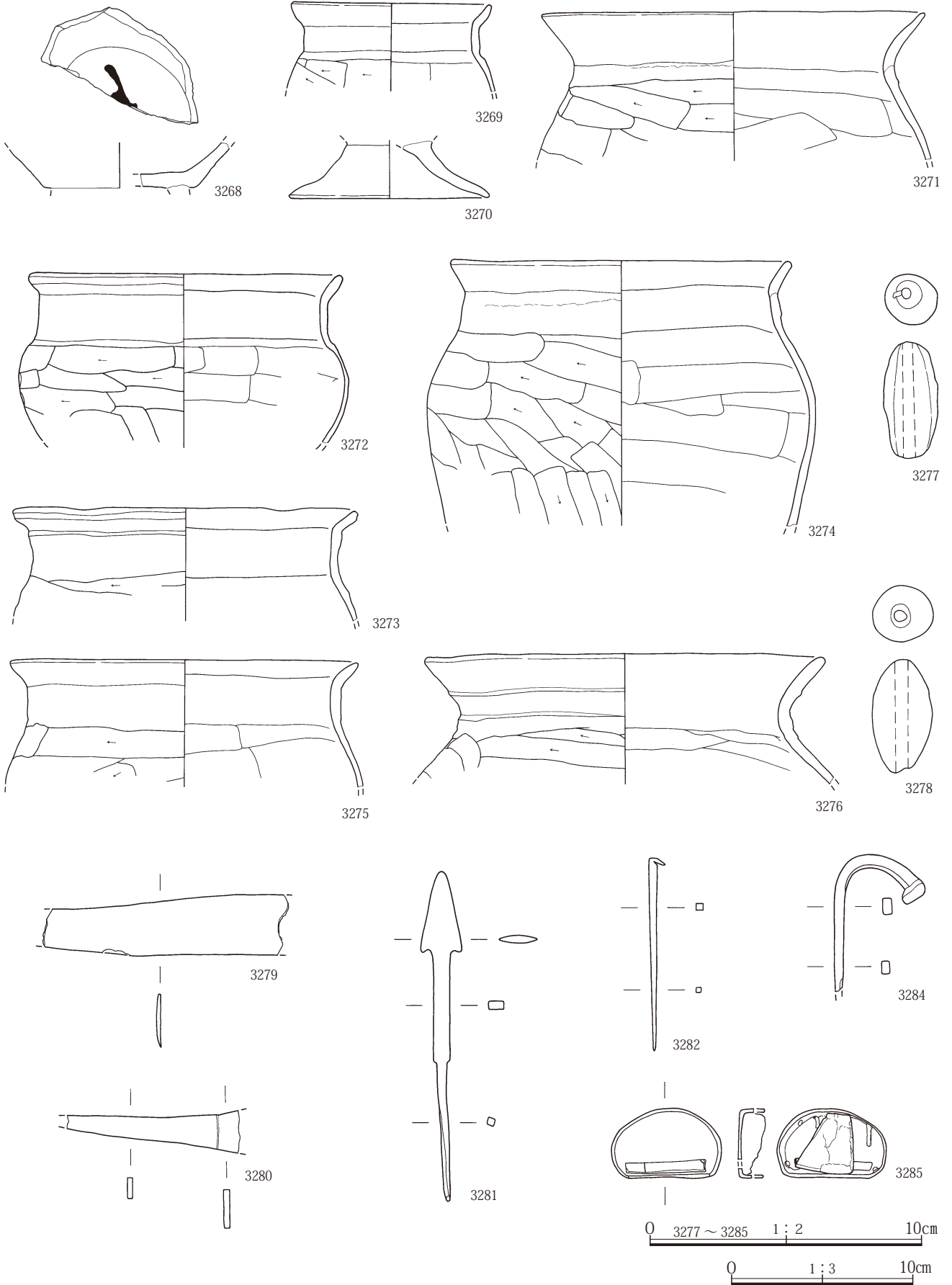


6区5号住居出土遺物(1)



第301図 古墳～平安時代出土遺物26

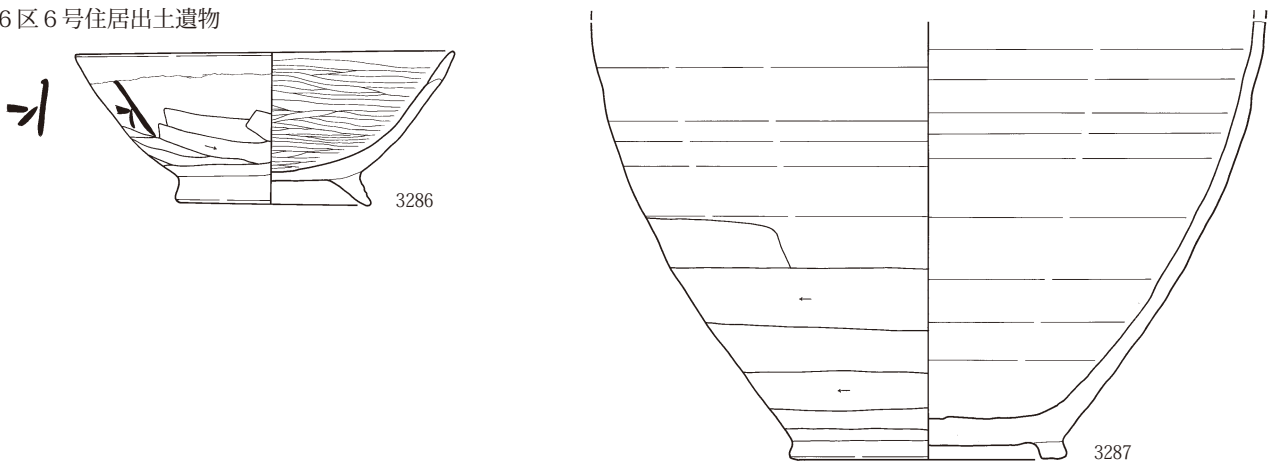
6区5号住居出土遺物(2)



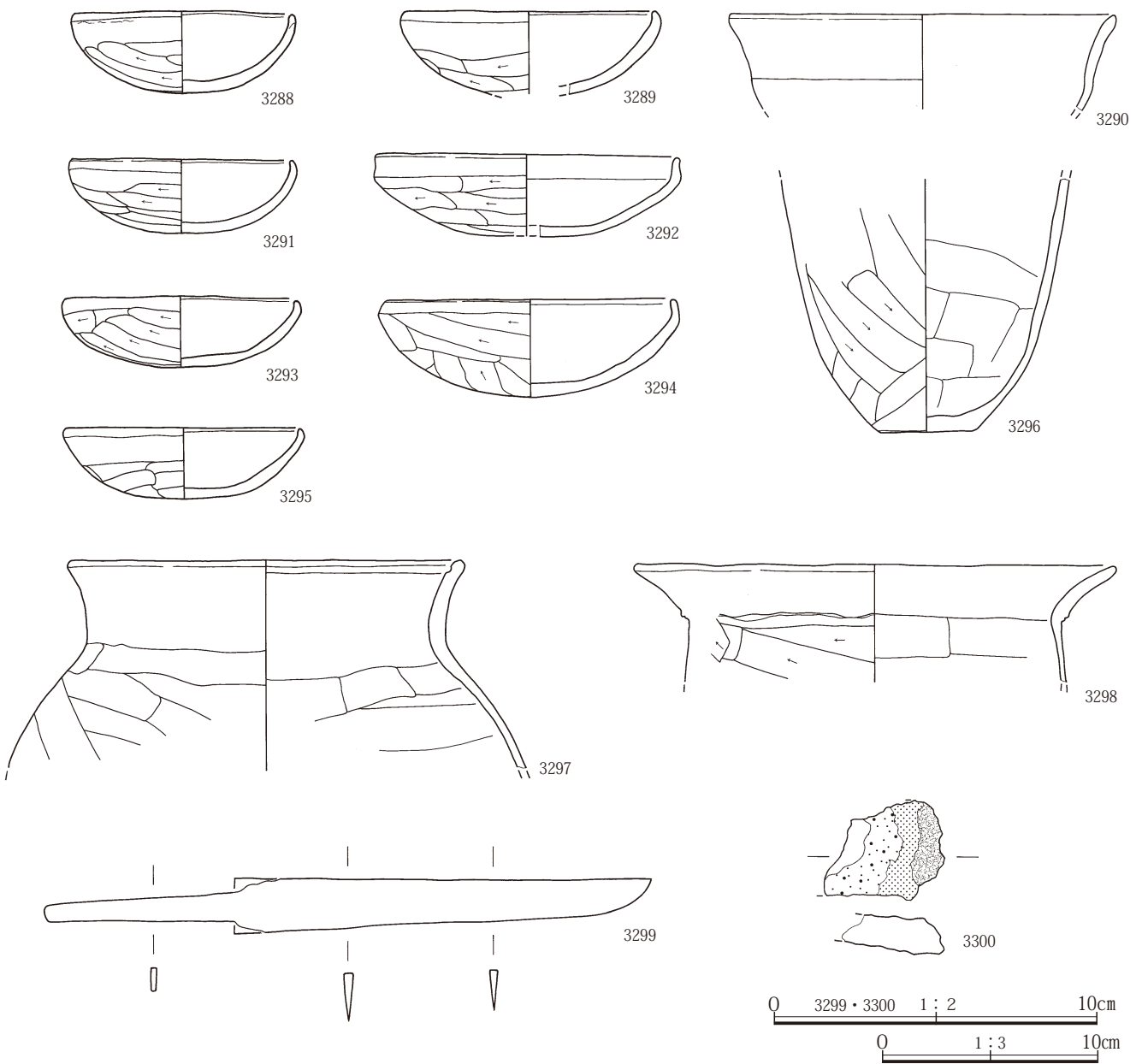
第302図 古墳～平安時代出土遺物27

第三章 検出された遺構と出土遺物

6区6号住居出土遺物

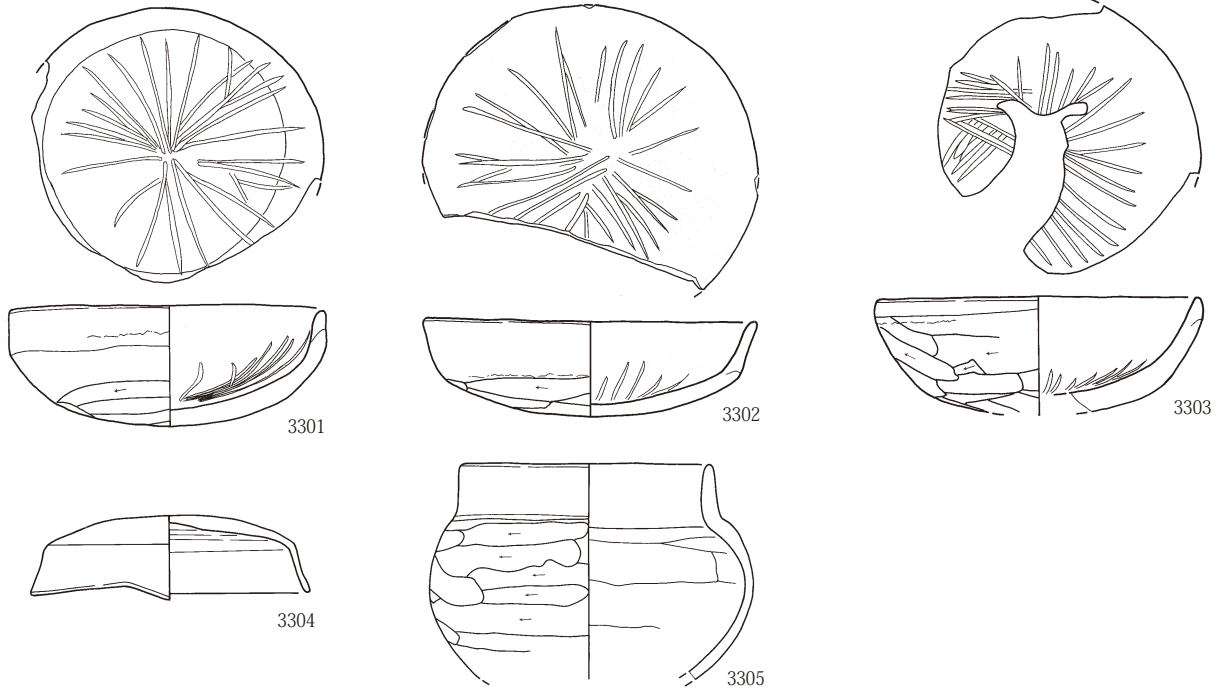


6区7号住居出土遺物

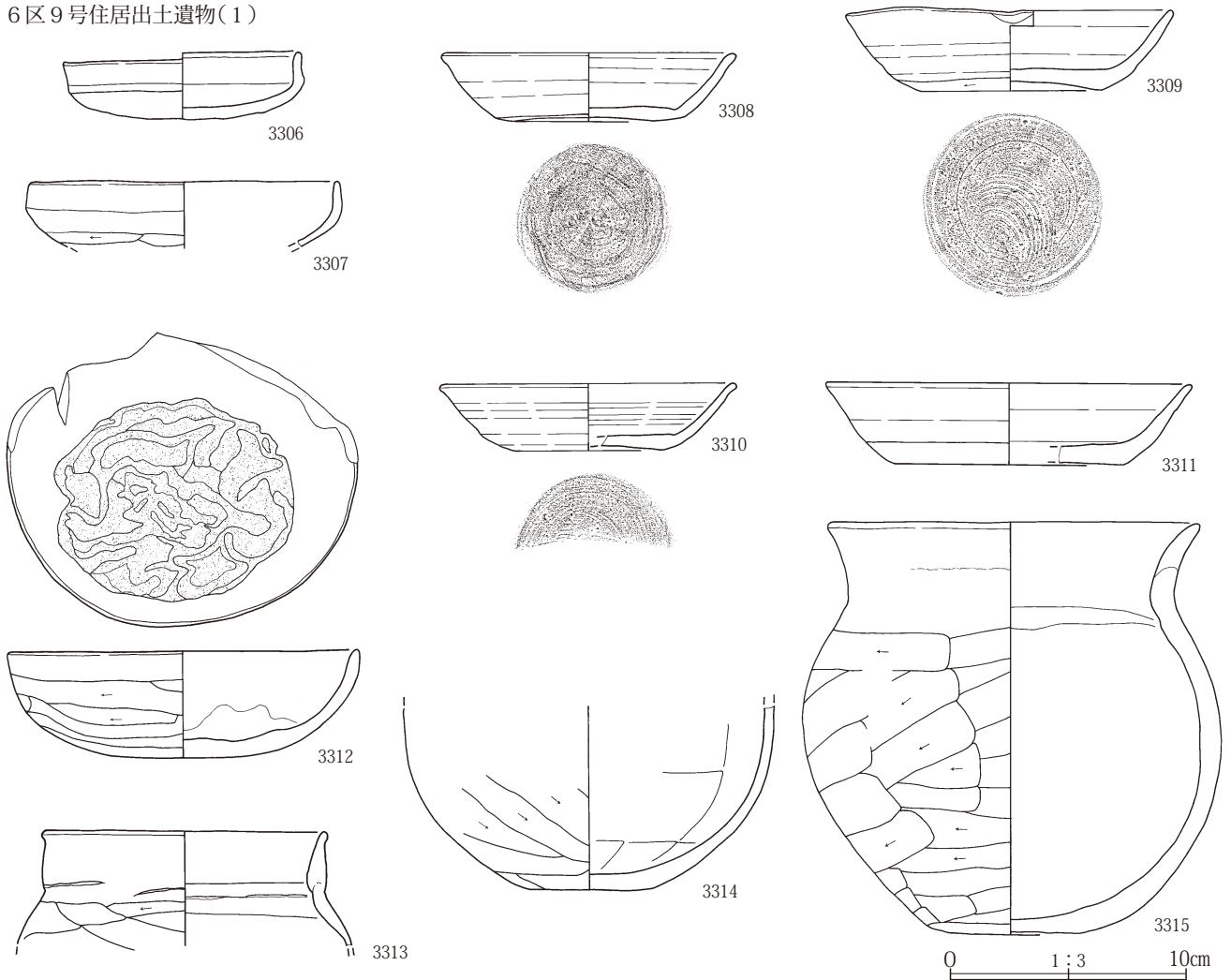


第303図 古墳～平安時代出土遺物28

6区8号住居出土遺物

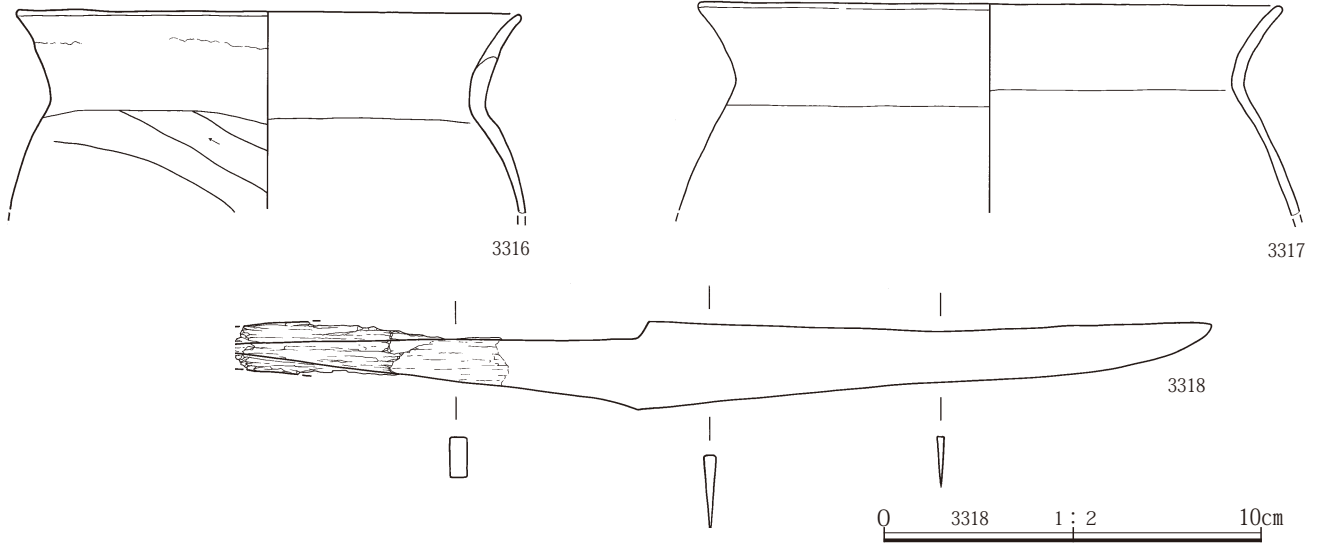


6区9号住居出土遺物(1)

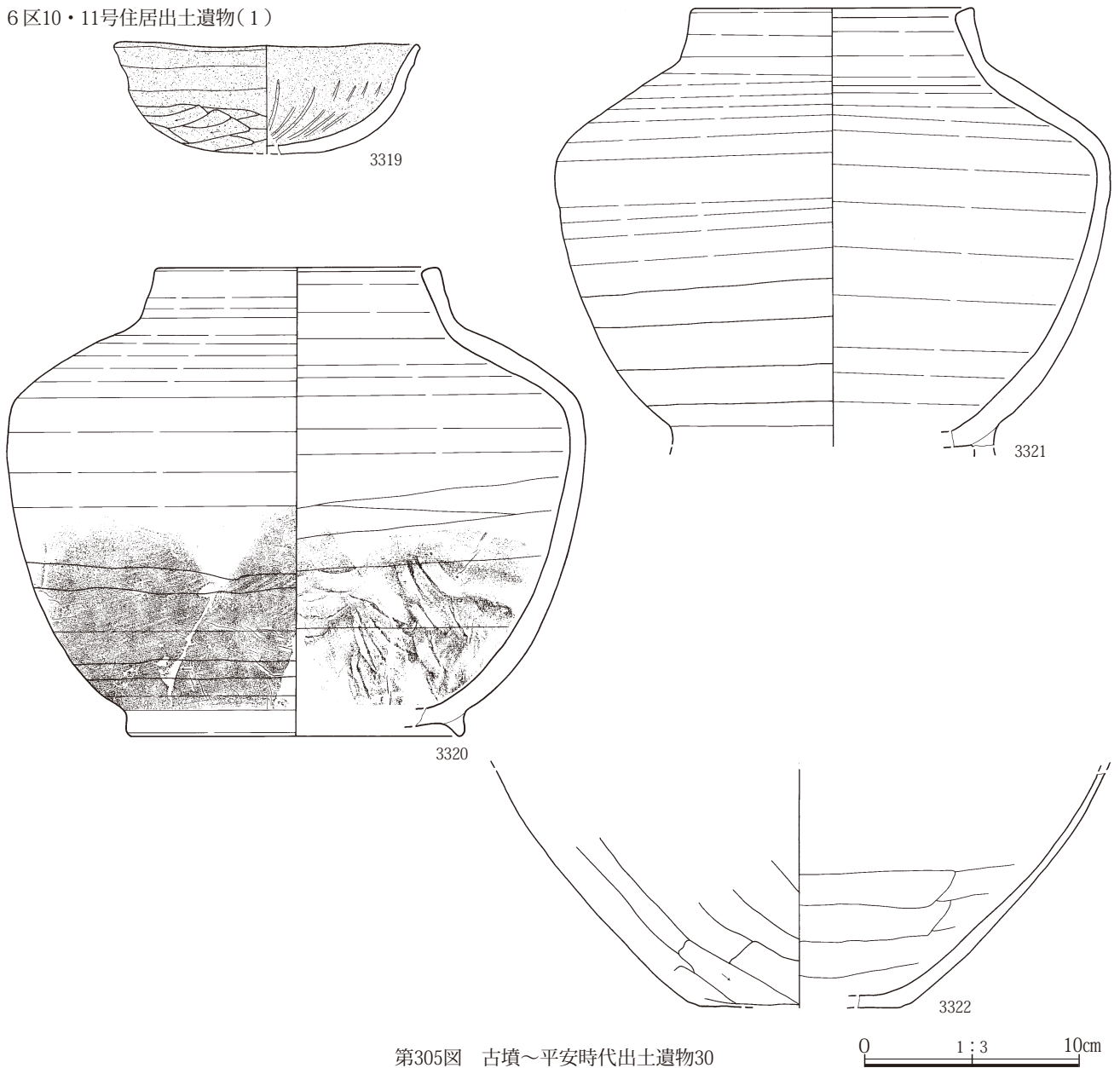


第304図 古墳～平安時代出土遺物29

6区9号住居出土遺物(2)

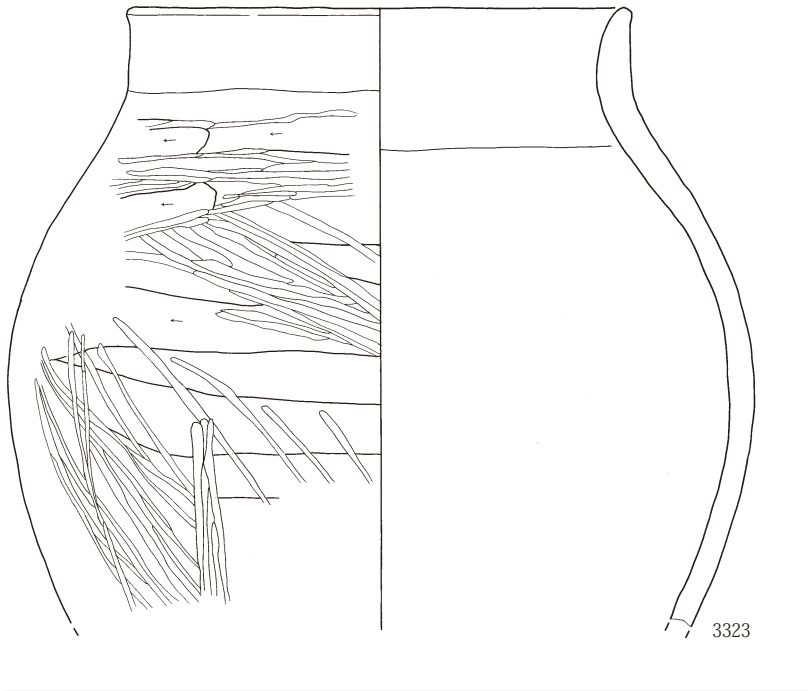


6区10・11号住居出土遺物(1)

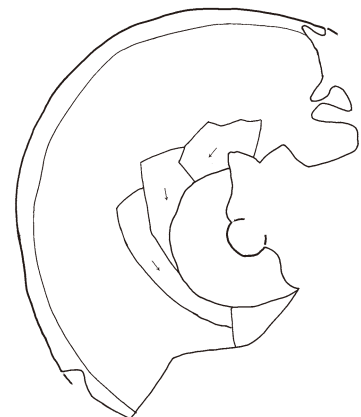
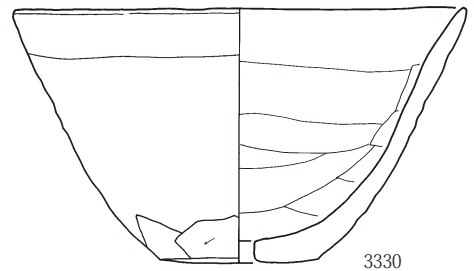
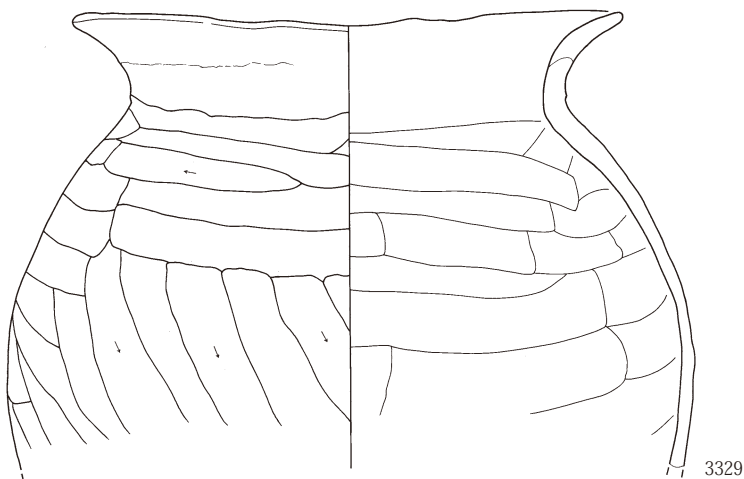
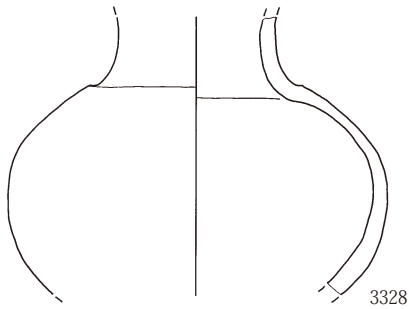
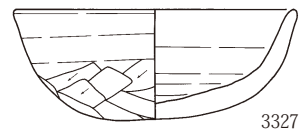
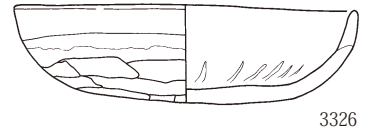
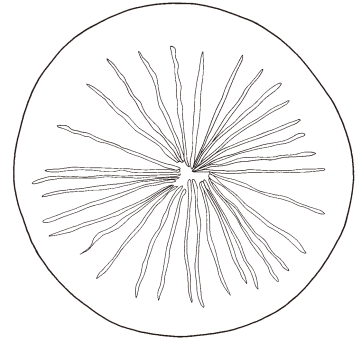
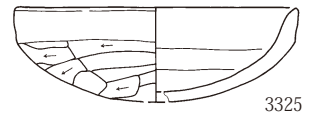
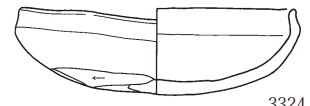


第305図 古墳～平安時代出土遺物30

6区10・11号住居出土遺物(2)



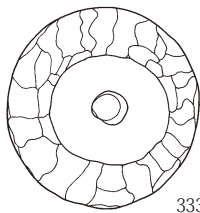
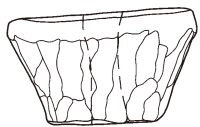
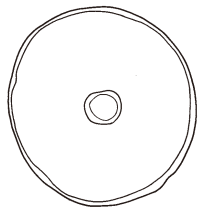
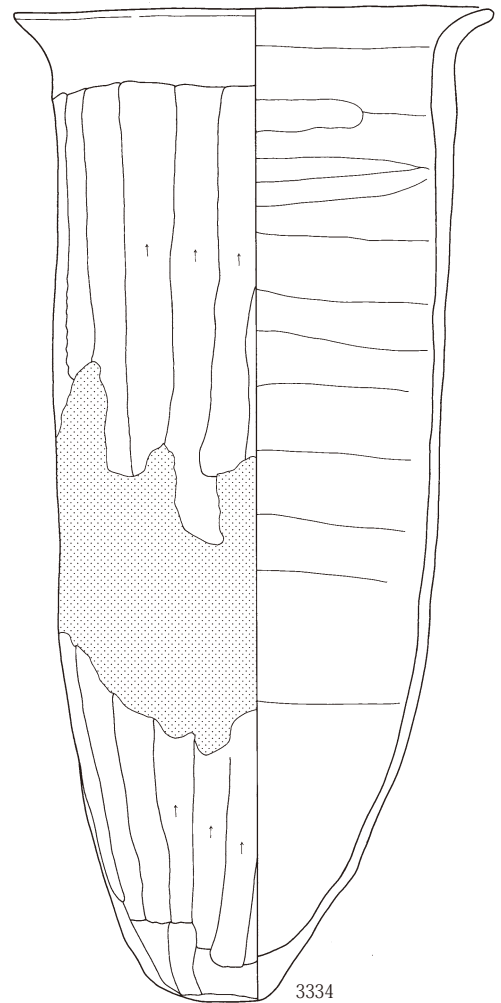
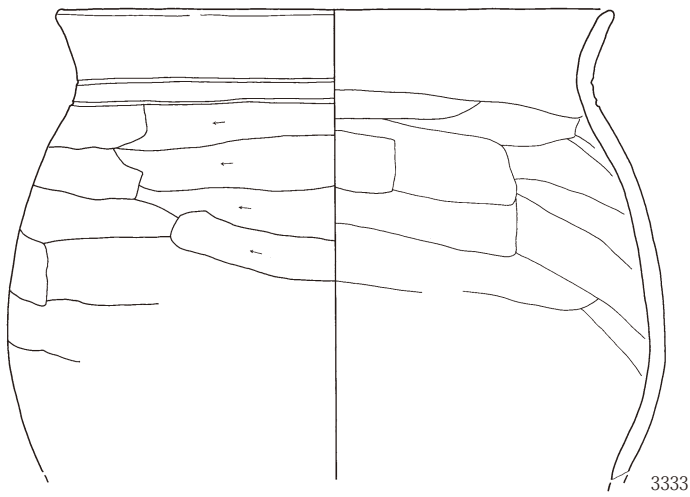
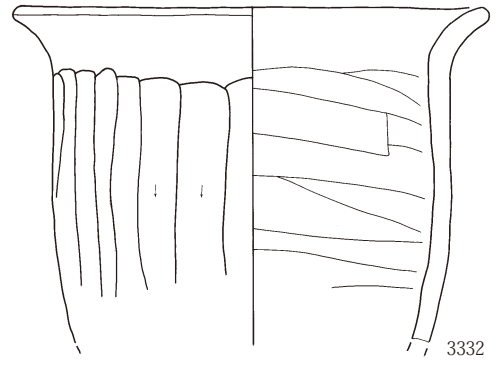
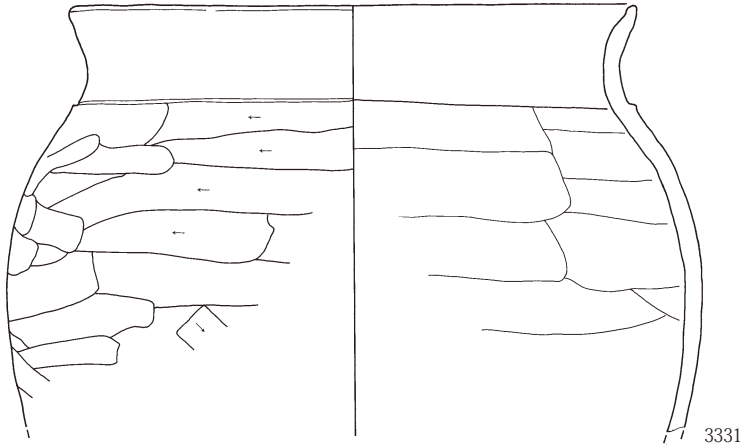
6区12号住居出土遺物(1)



0 1:3 10cm

第306図 古墳～平安時代出土遺物31

6区12号住居出土遺物(2)

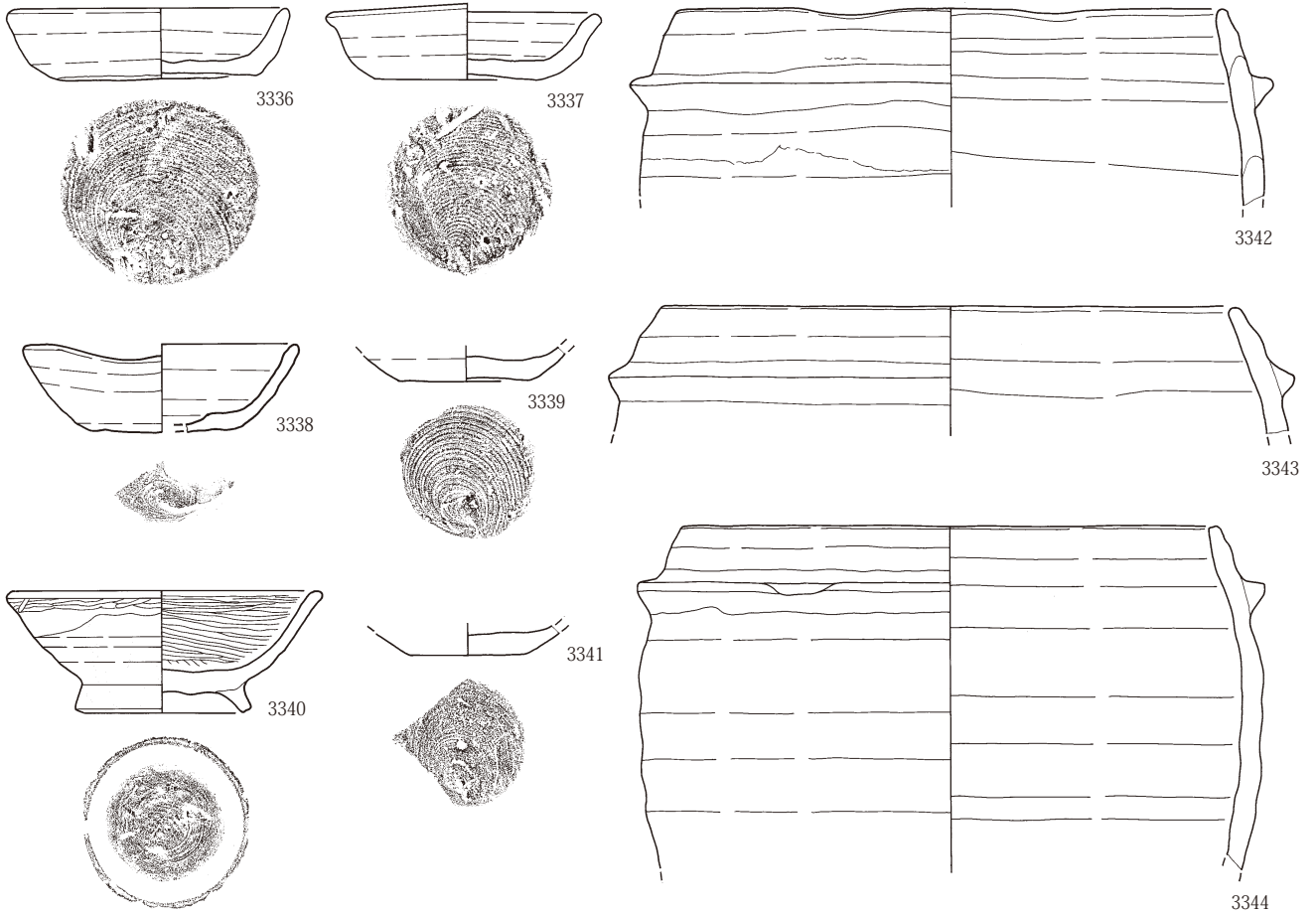


0 3335 1:2 10cm

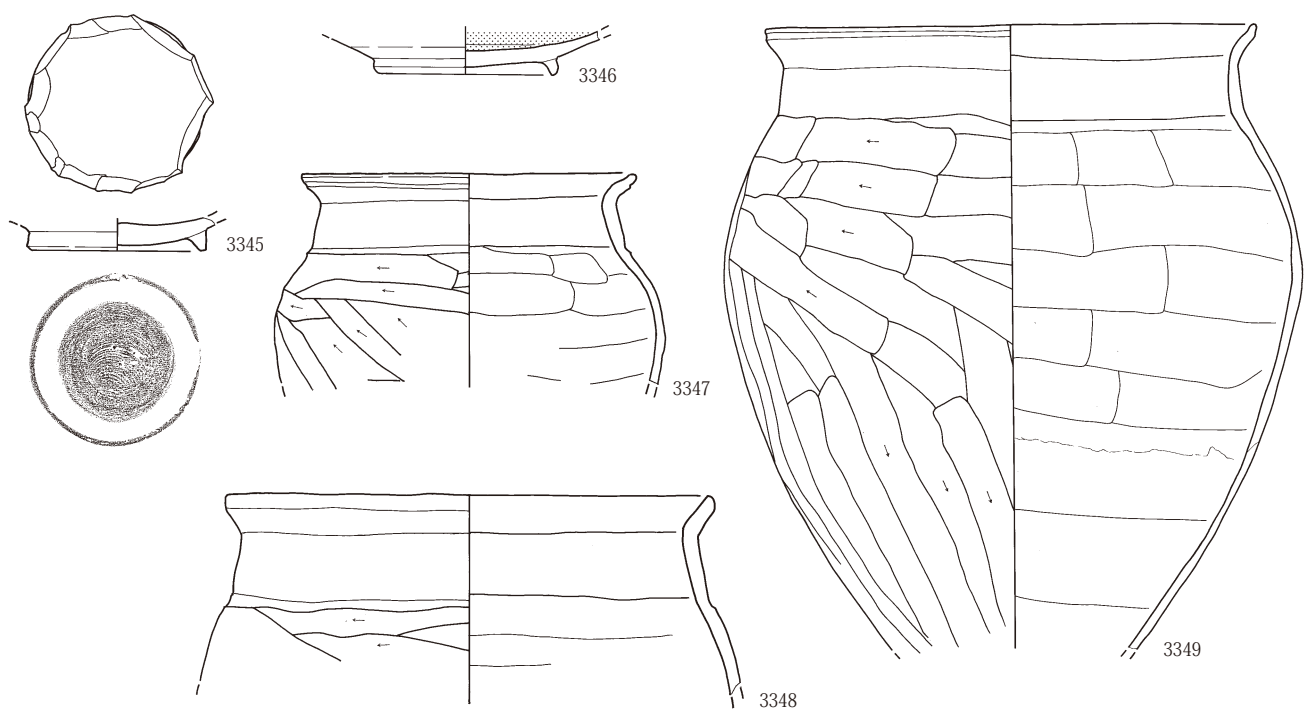
0 1:3 10cm

第307図 古墳～平安時代出土遺物32

6区13号住居出土遺物



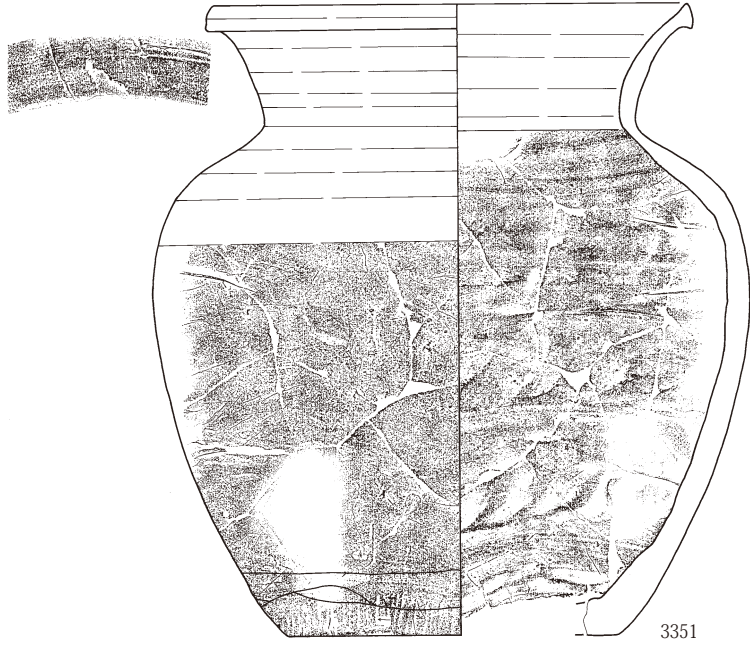
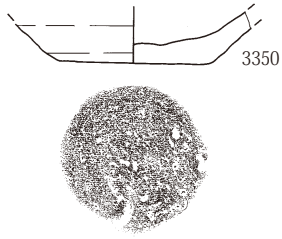
6区14号住居出土遺物



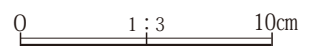
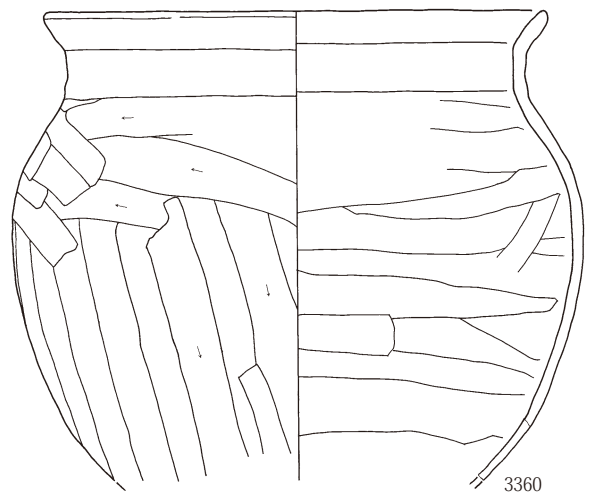
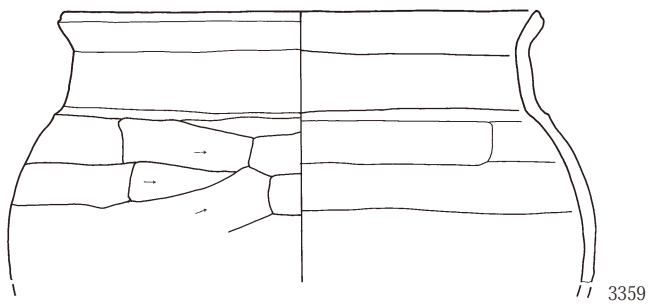
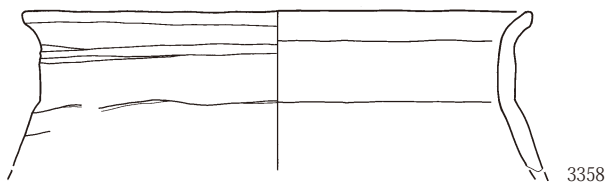
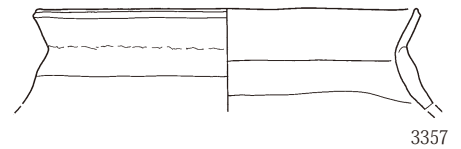
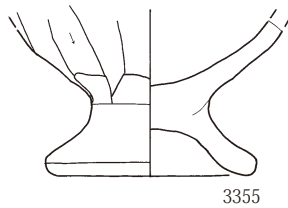
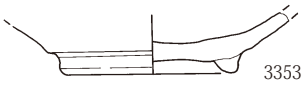
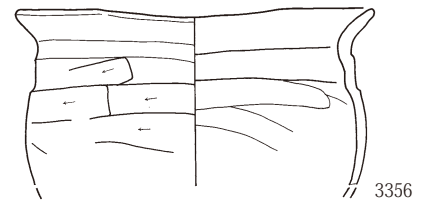
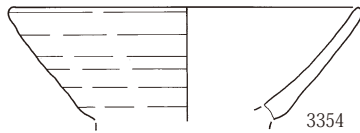
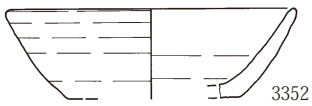
0 1:3 10cm

第308図 古墳～平安時代出土遺物33

6区15号住居出土遺物

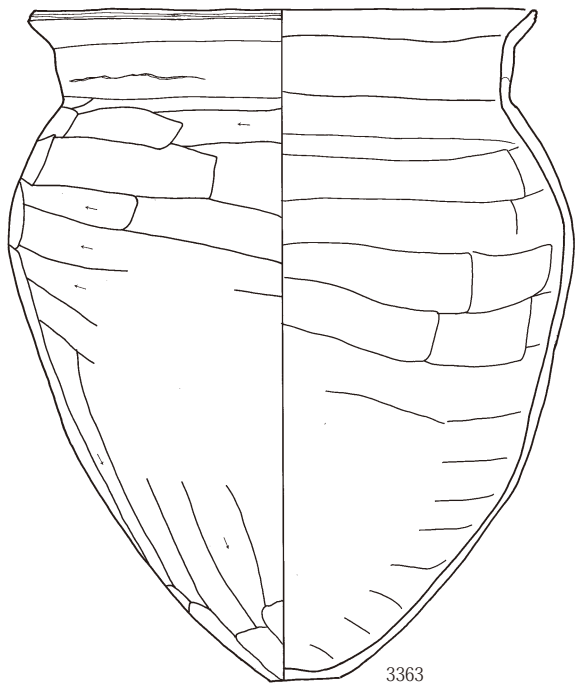
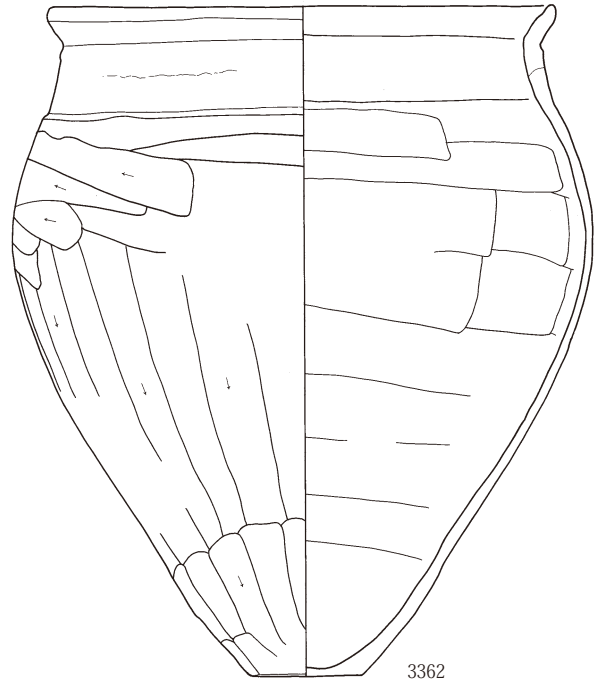
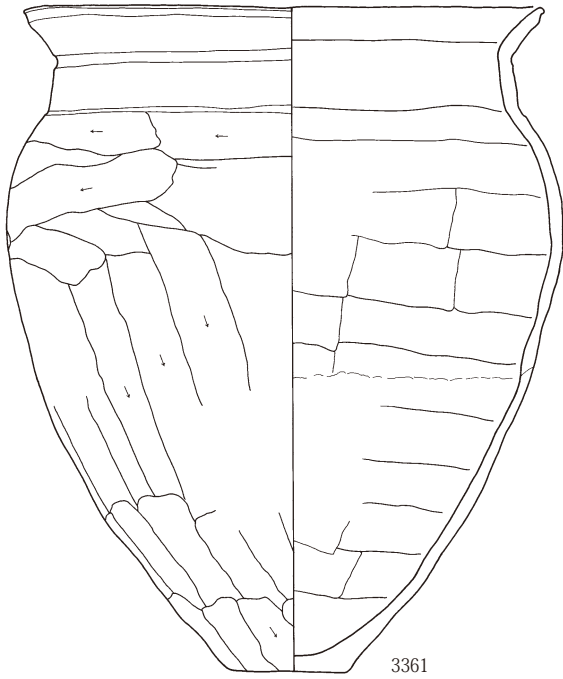


6区16号住居出土遺物(1)

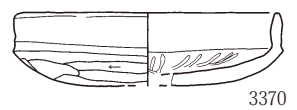
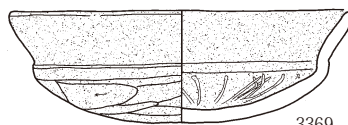
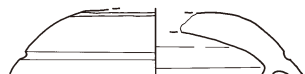
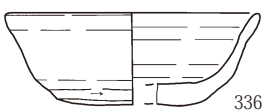
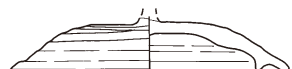
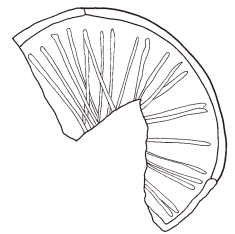
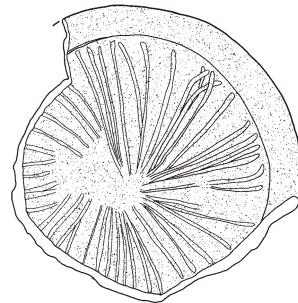
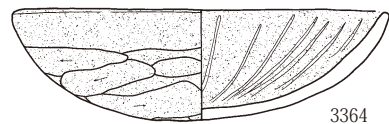
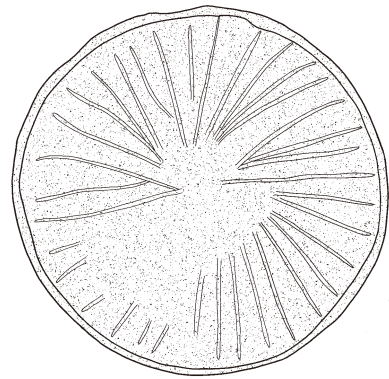


第309図 古墳～平安時代出土遺物34

6区16号住居出土遺物(2)



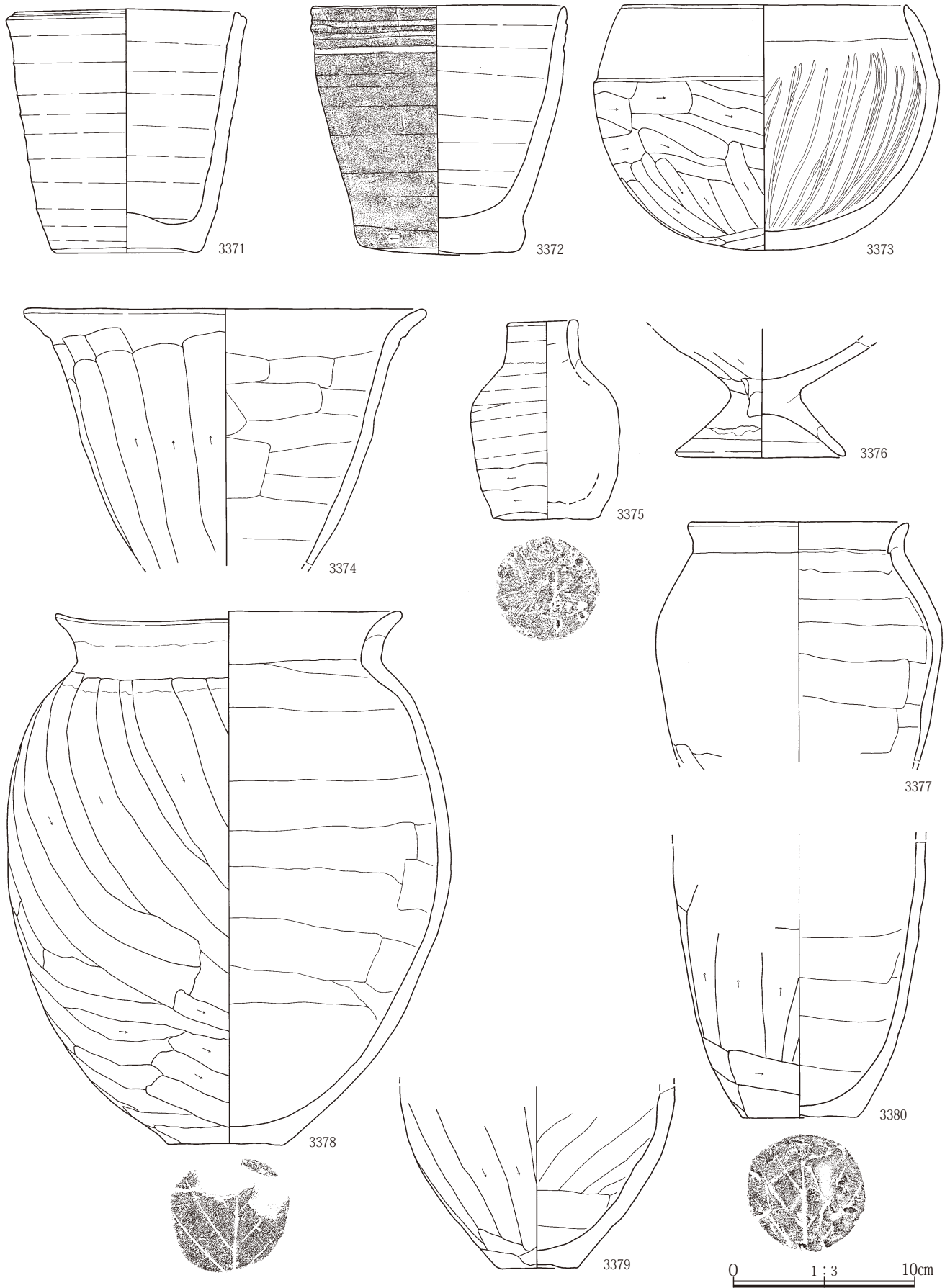
6区17号住居出土遺物(1)



0 1:3 10cm

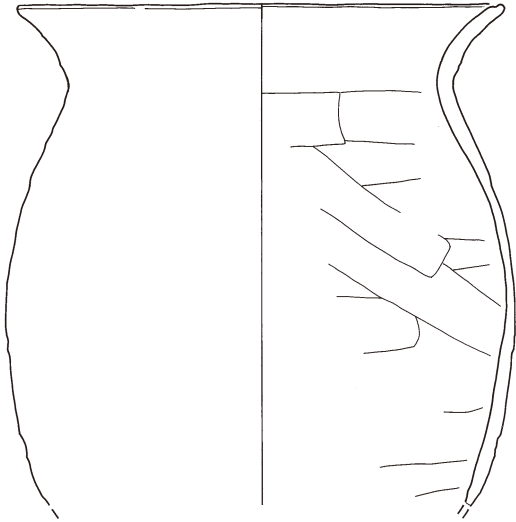
第310図 古墳～平安時代出土遺物35

6区17号住居出土遺物(2)

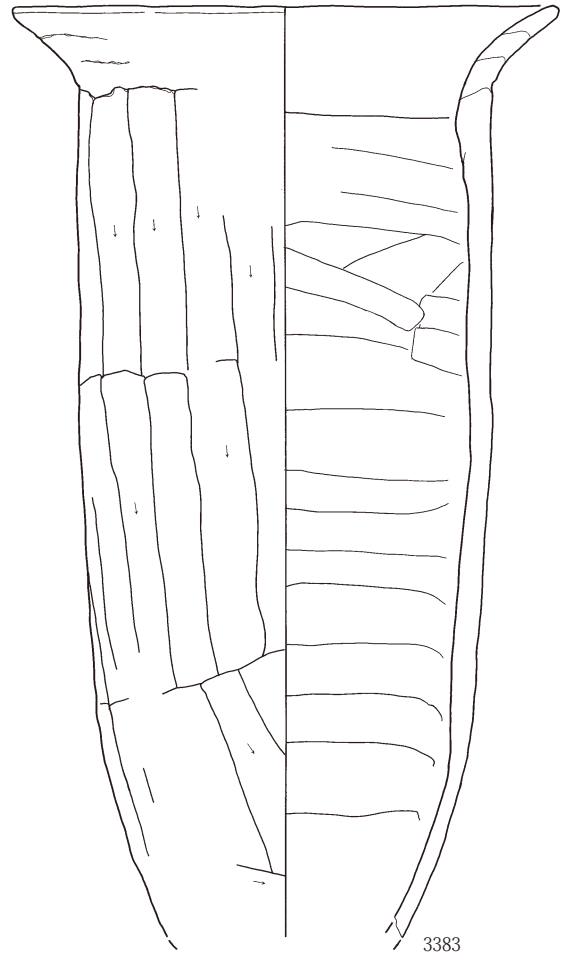


第311図 古墳～平安時代出土遺物36

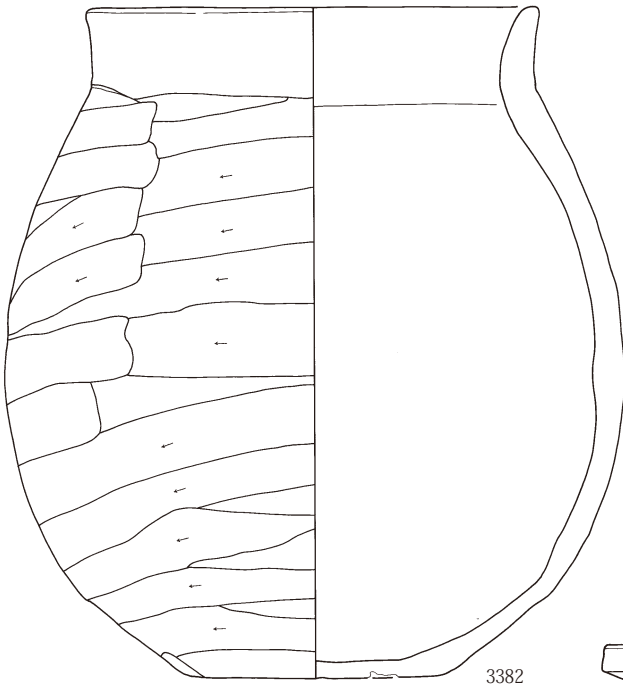
6区17号住居出土遺物(3)



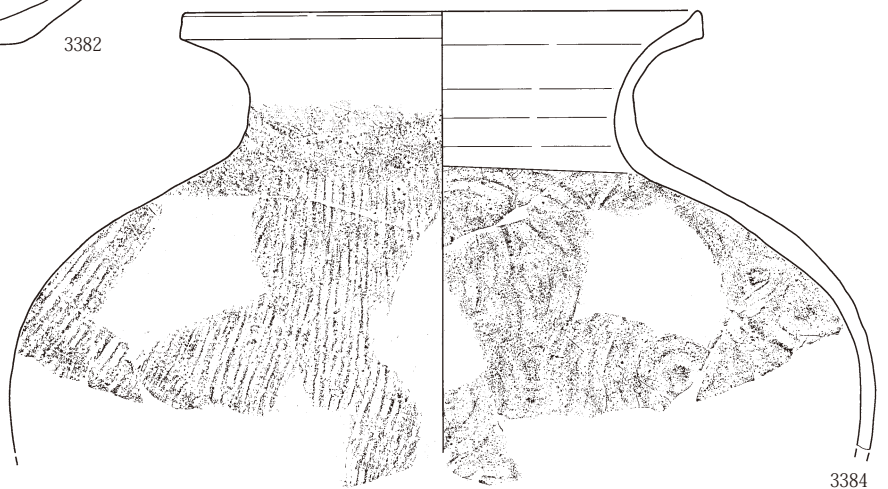
3381



3383



3382

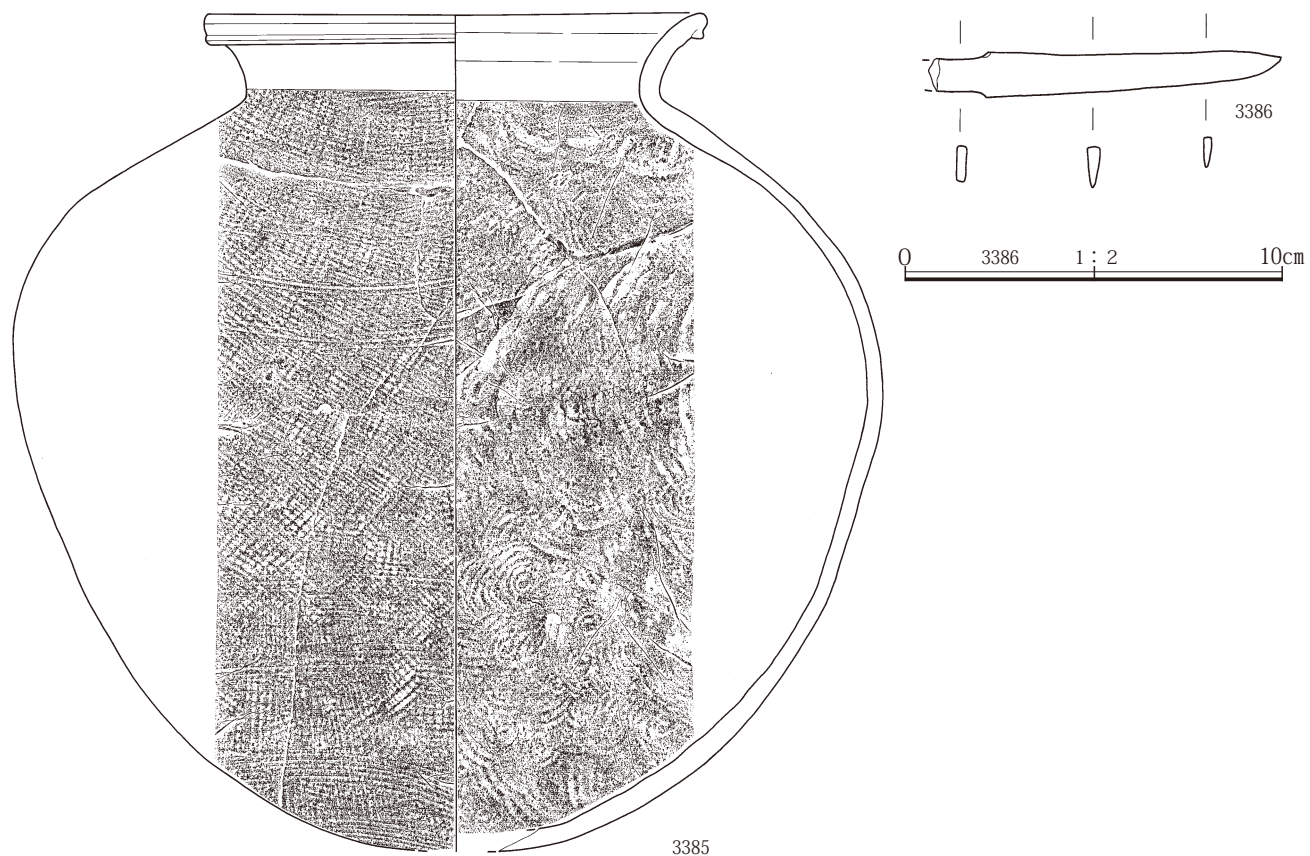


3384

0 1:3 10cm

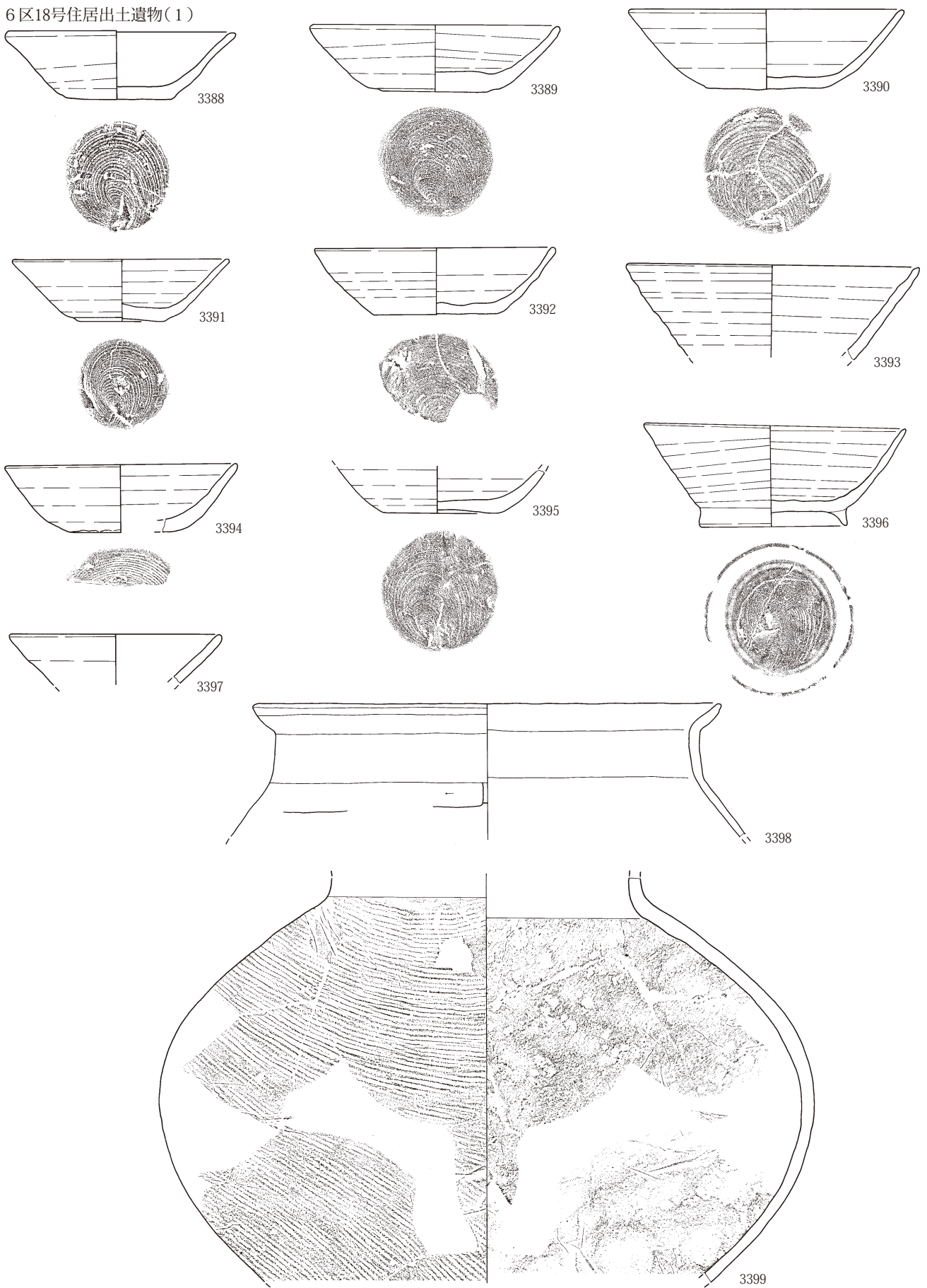
第312図 古墳～平安時代出土遺物37

6区17号住居出土遺物(4)



第313図 古墳～平安時代出土遺物38

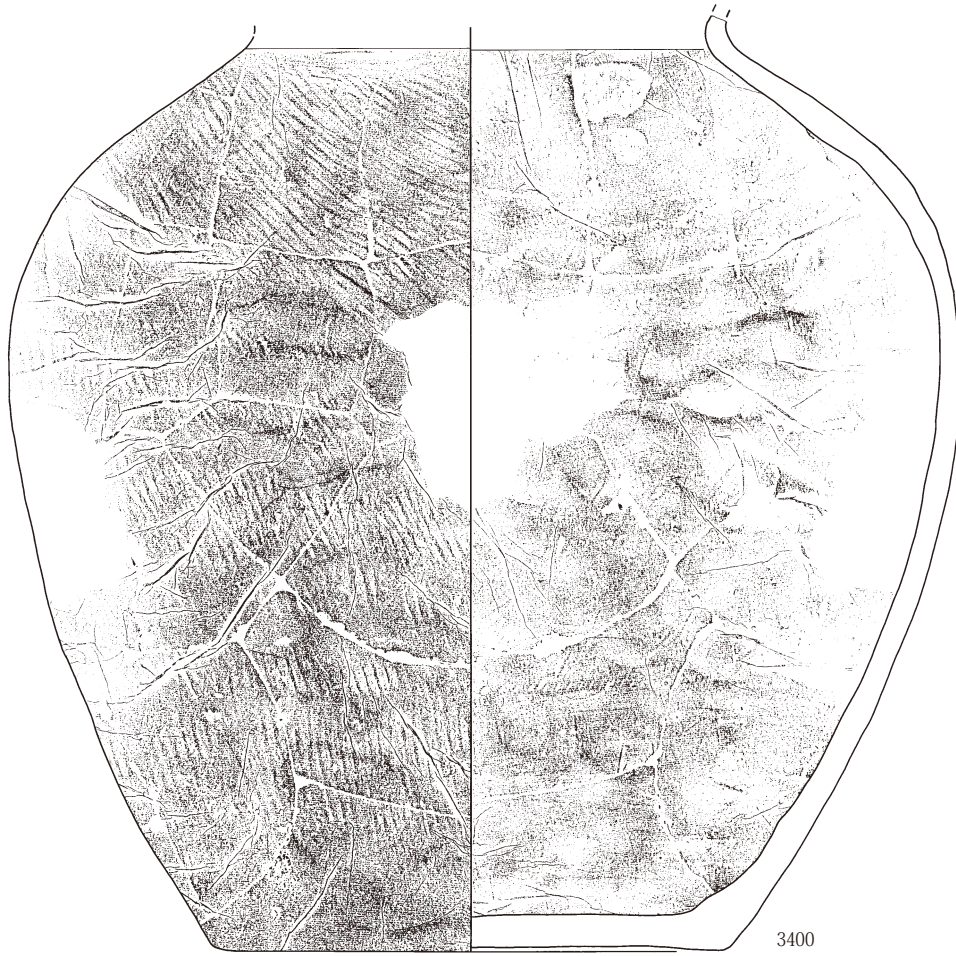
6区18号住居出土遺物(1)



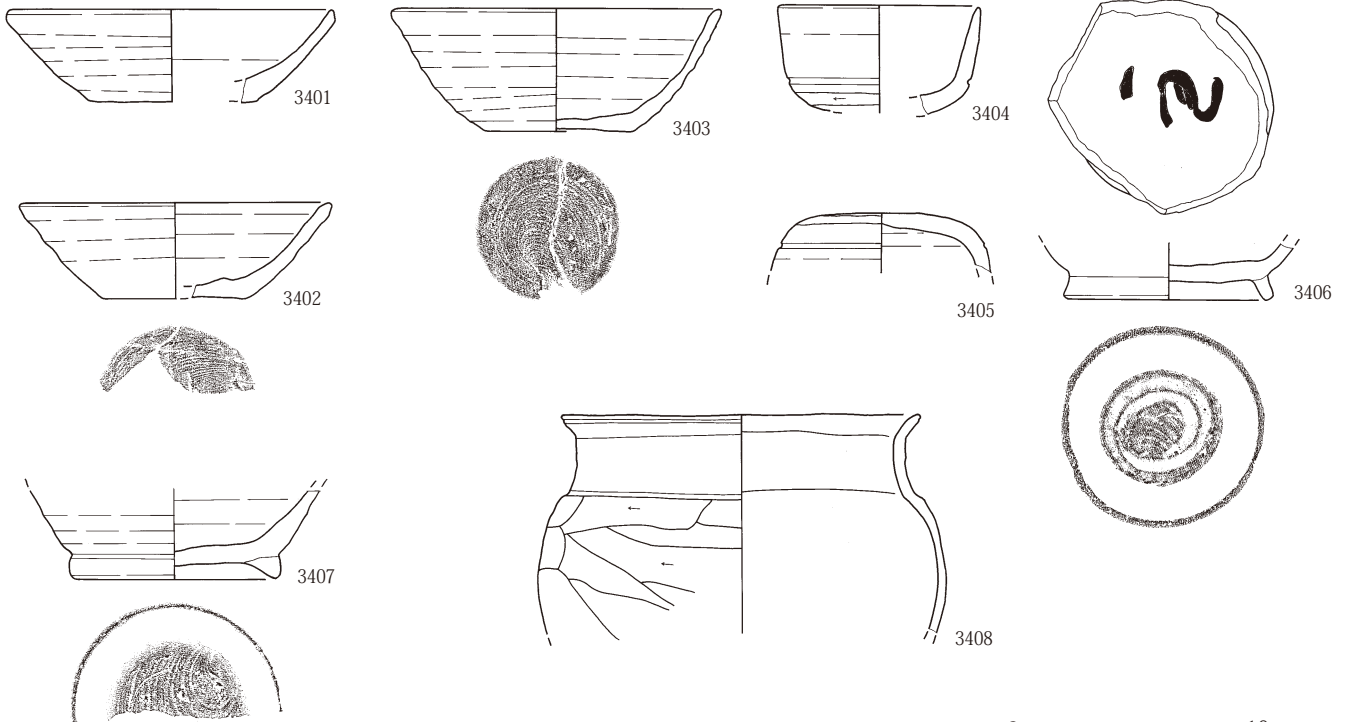
第314図 古墳～平安時代出土遺物39

0 1:3 10cm

6区18号住居出土遺物(2)

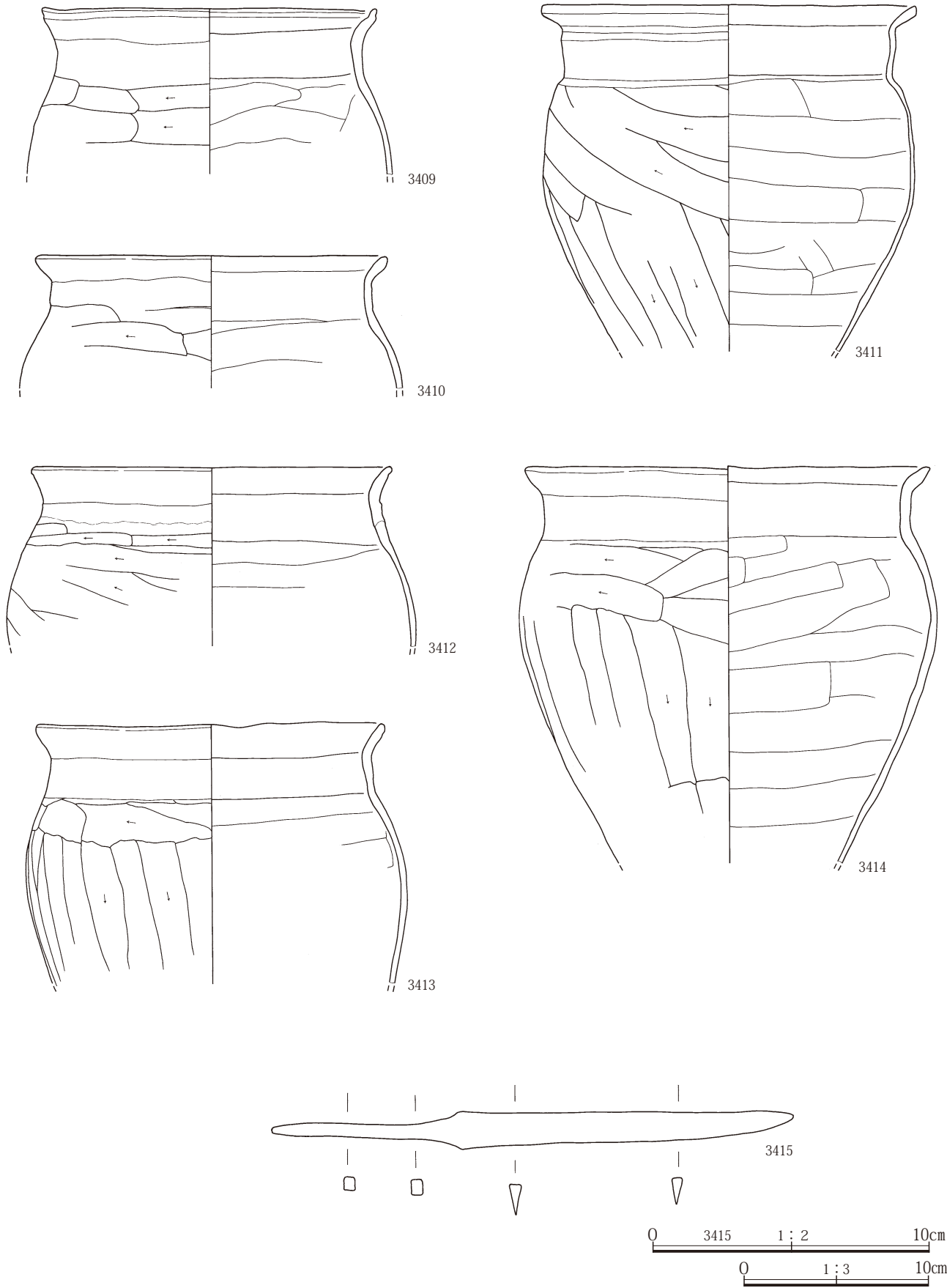


区19号住居出土遺物(1)



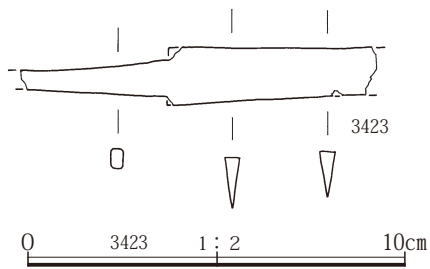
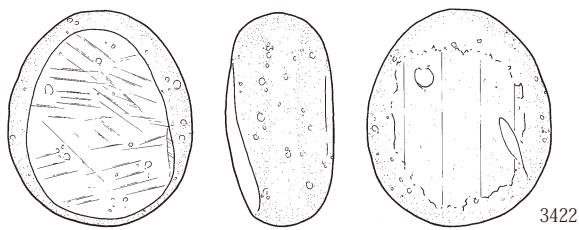
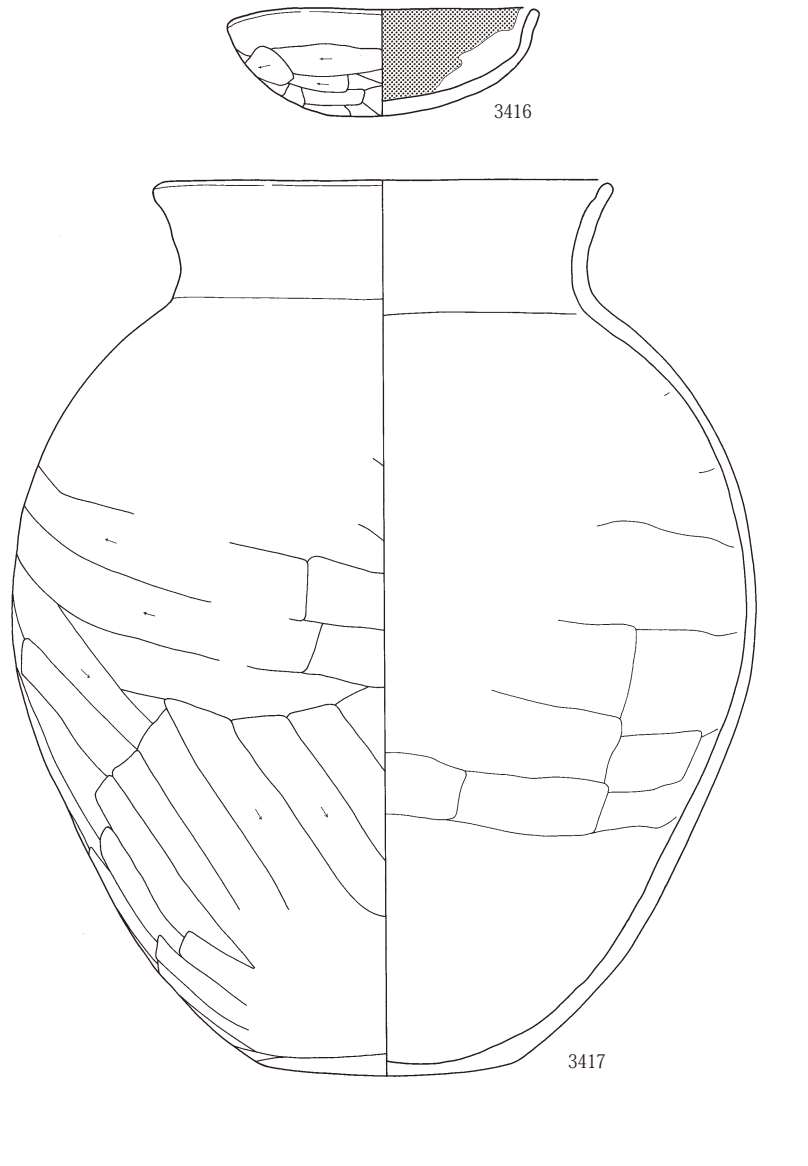
第315図 古墳～平安時代出土遺物40

6区19号住居出土遺物(2)

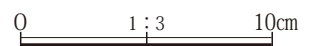
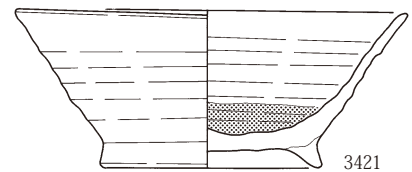
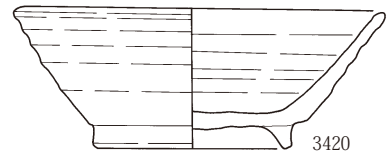
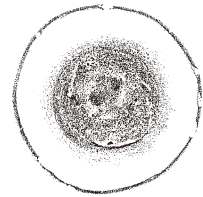
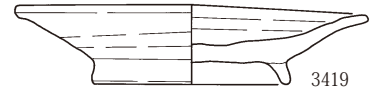
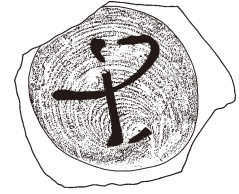


第316図 古墳～平安時代出土遺物41

6区20号住居出土遺物

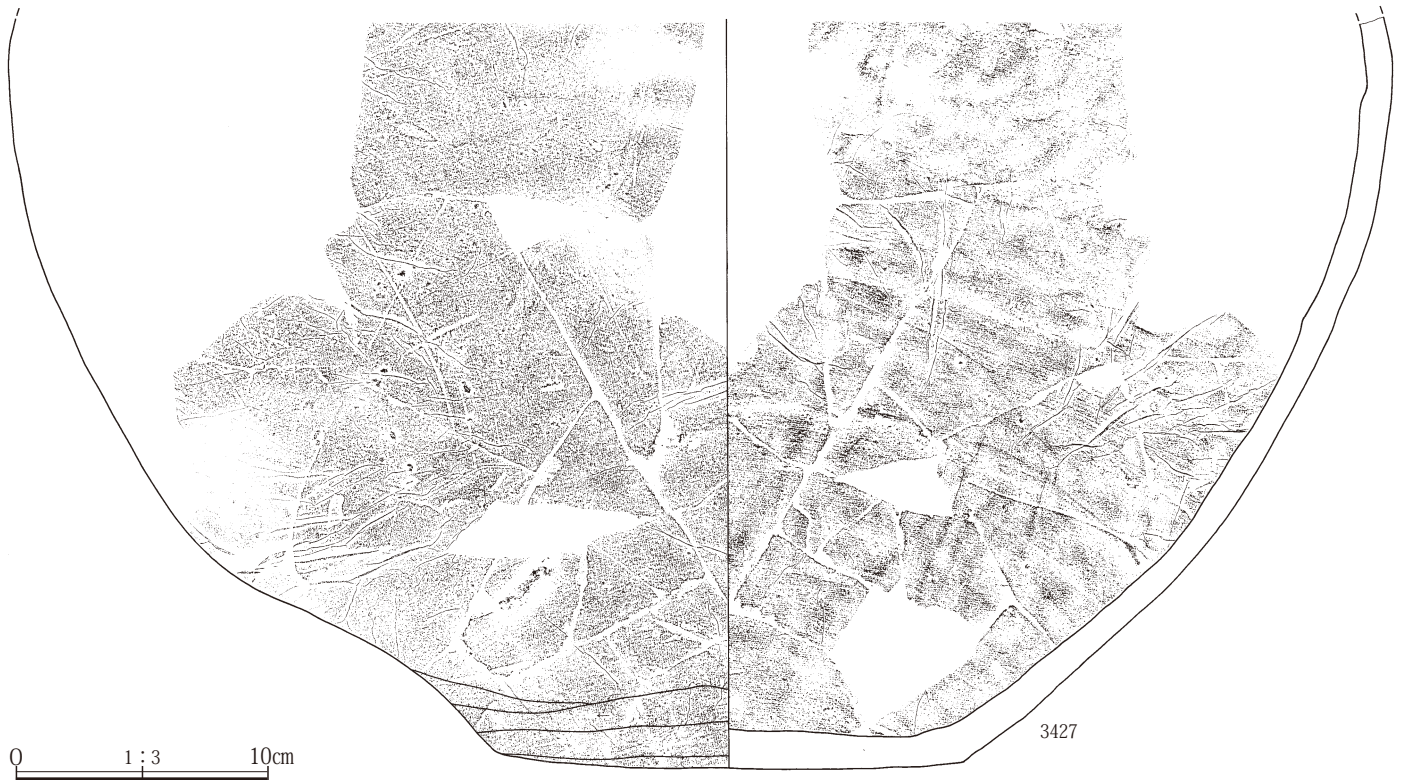
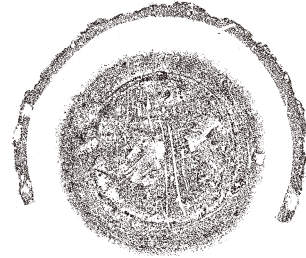
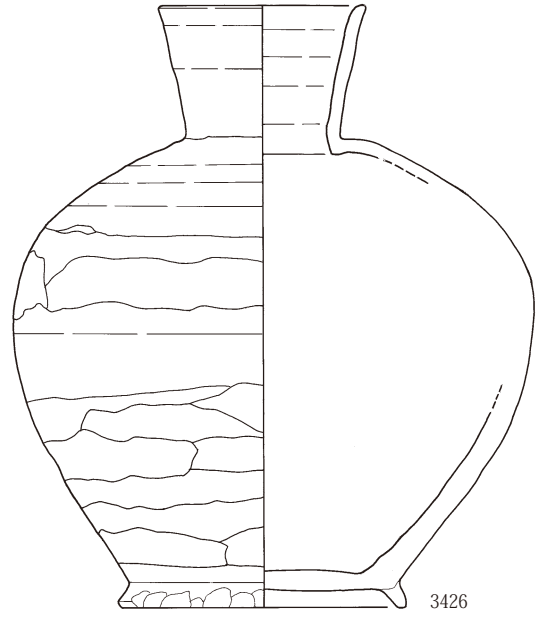
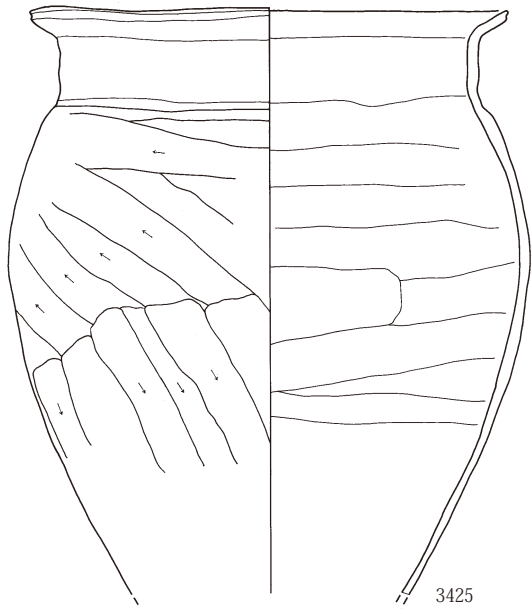
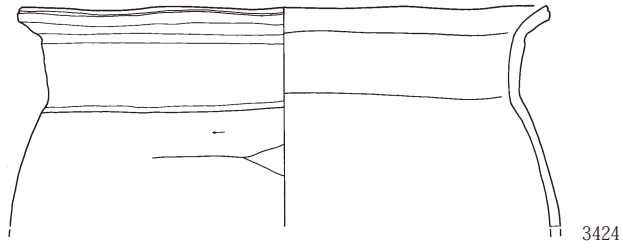


6区21号住居出土遺物(1)



第317図 古墳～平安時代出土遺物42

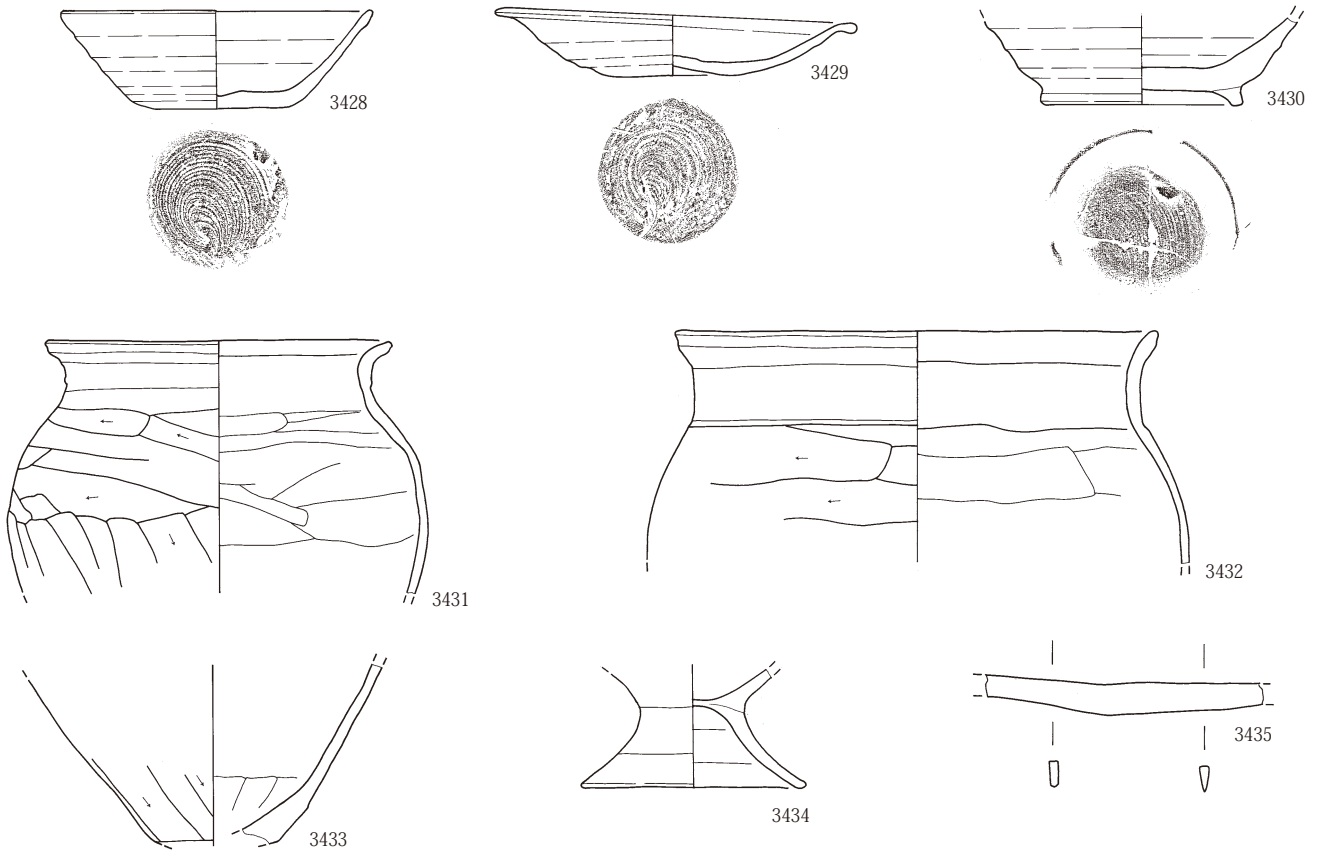
6区21号住居出土遺物(2)



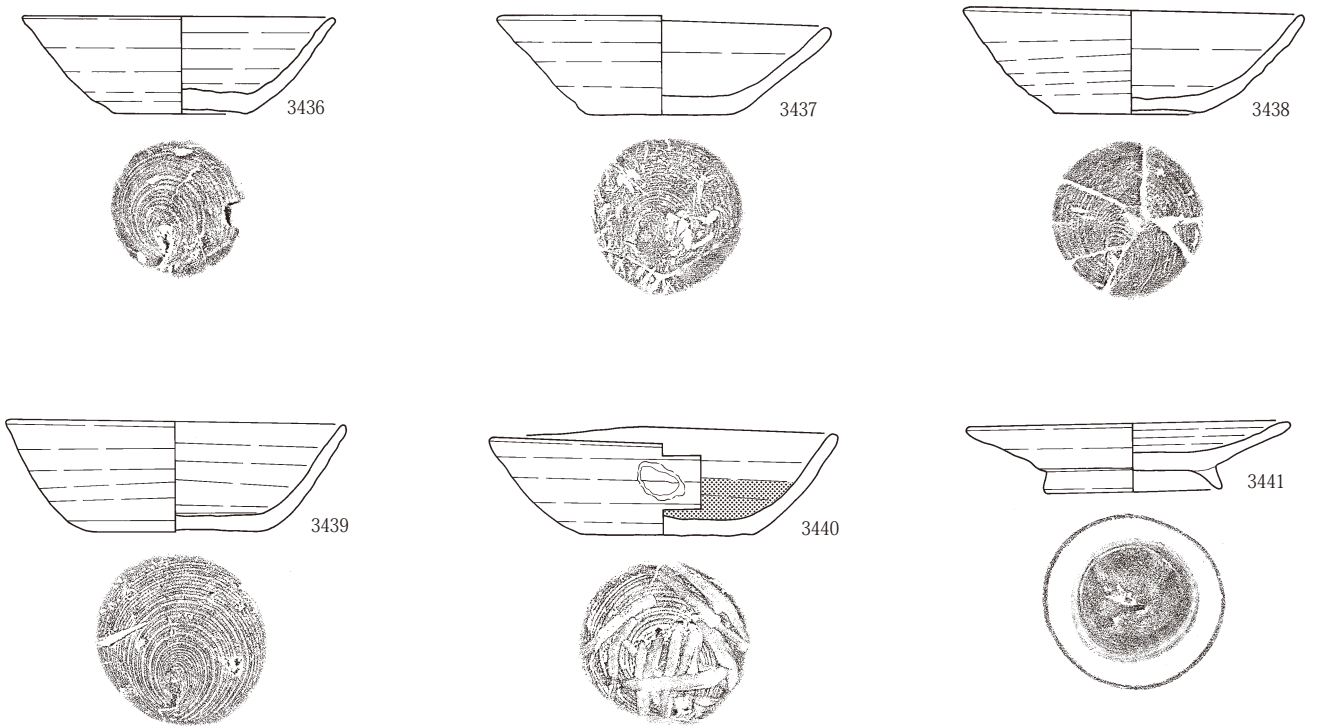
0 1:3 10cm

第318図 古墳～平安時代出土遺物43

6区22号住居出土遺物



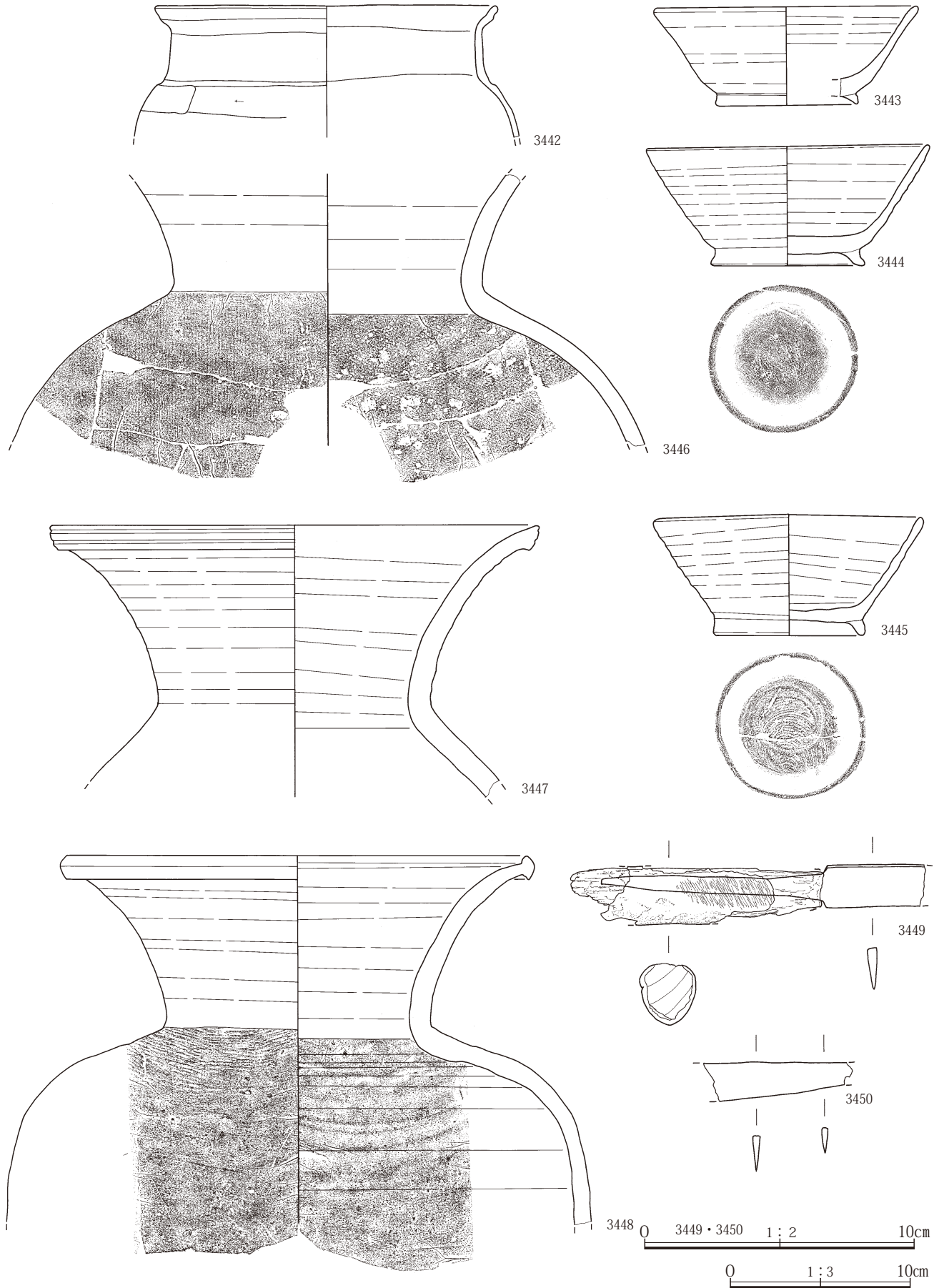
6区23号住居出土遺物(1)



0 1:3 10cm

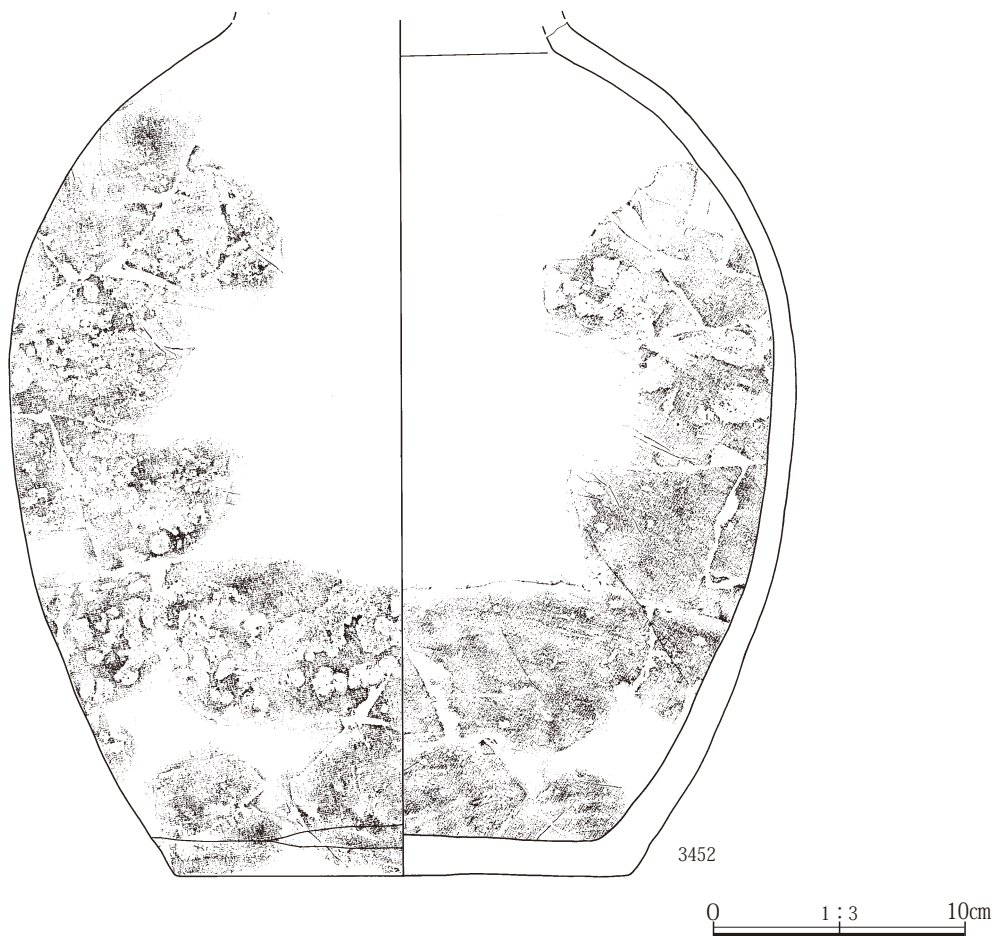
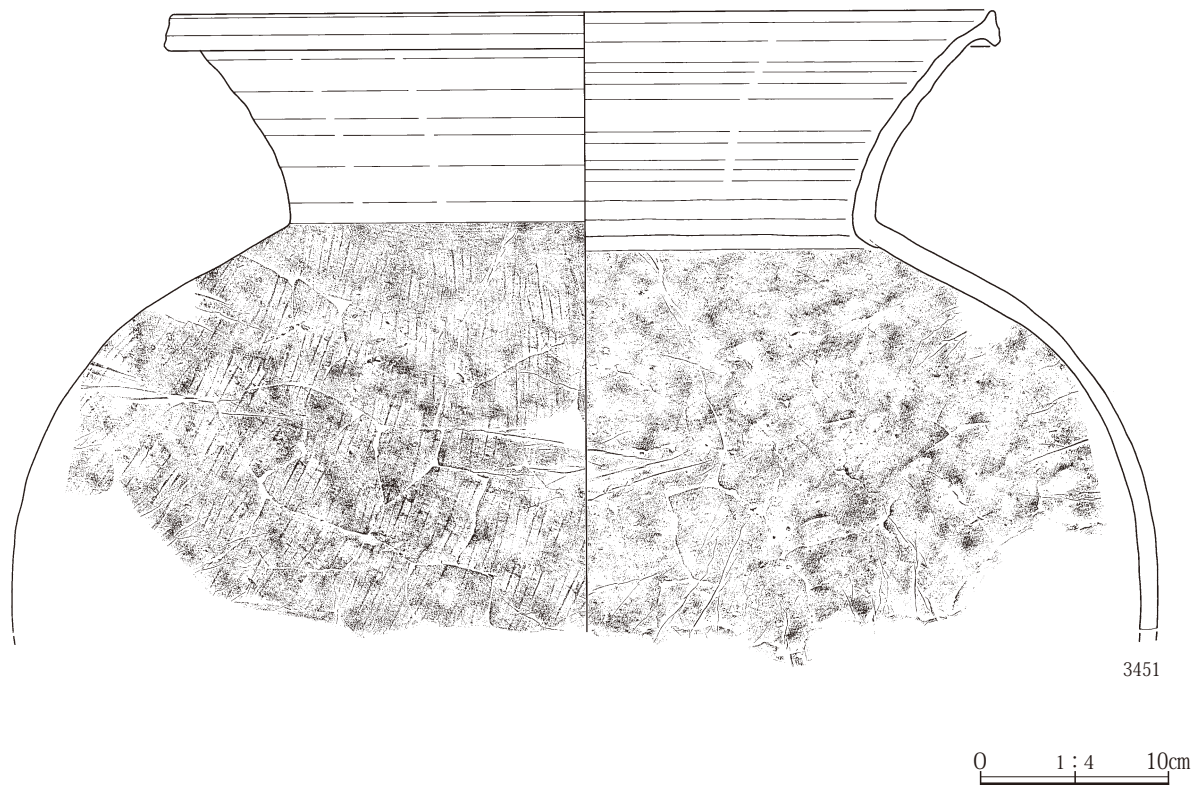
第319図 古墳～平安時代出土遺物44

6区23号住居出土遺物(2)



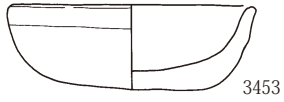
第320図 古墳～平安時代出土遺物45

6区23号住居出土遺物(3)

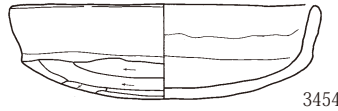


第321図 古墳～平安時代出土遺物46

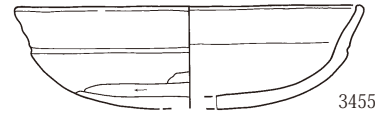
6区24号住居出土遺物(1)



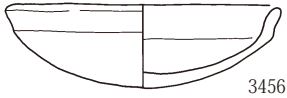
3453



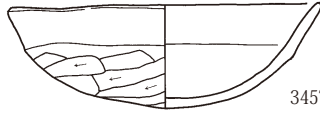
3454



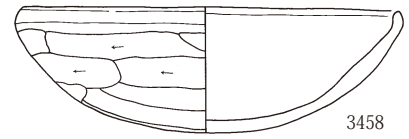
3455



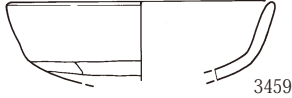
3456



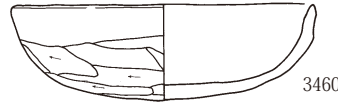
3457



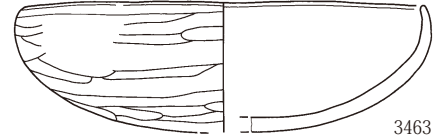
3458



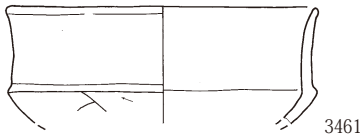
3459



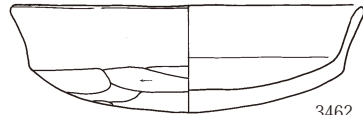
3460



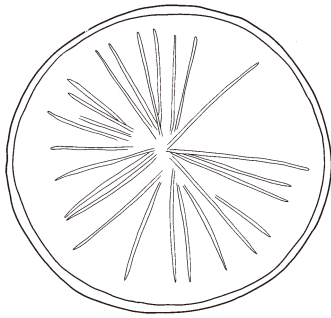
3463



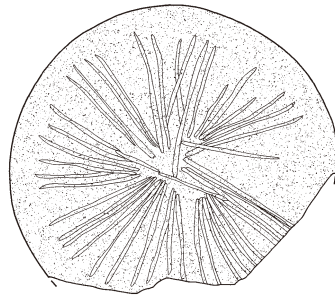
3461



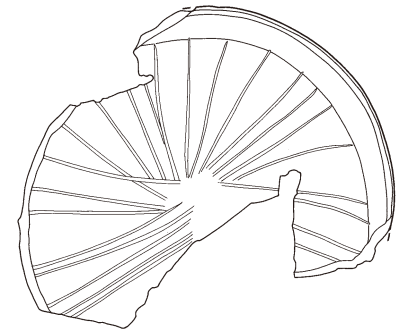
3462



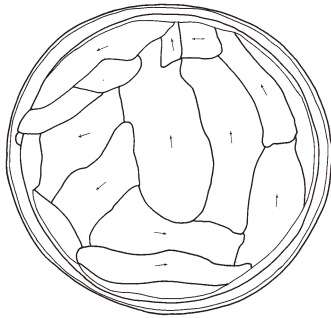
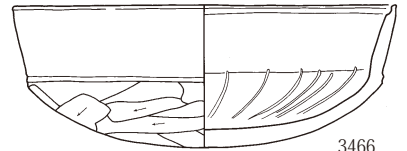
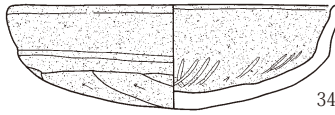
3464



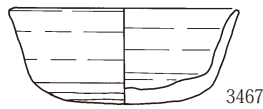
3465



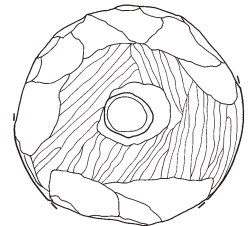
3466



3468



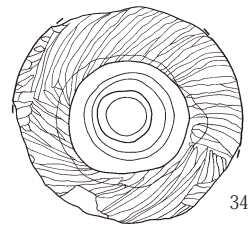
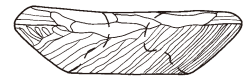
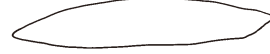
3467



3470



3469

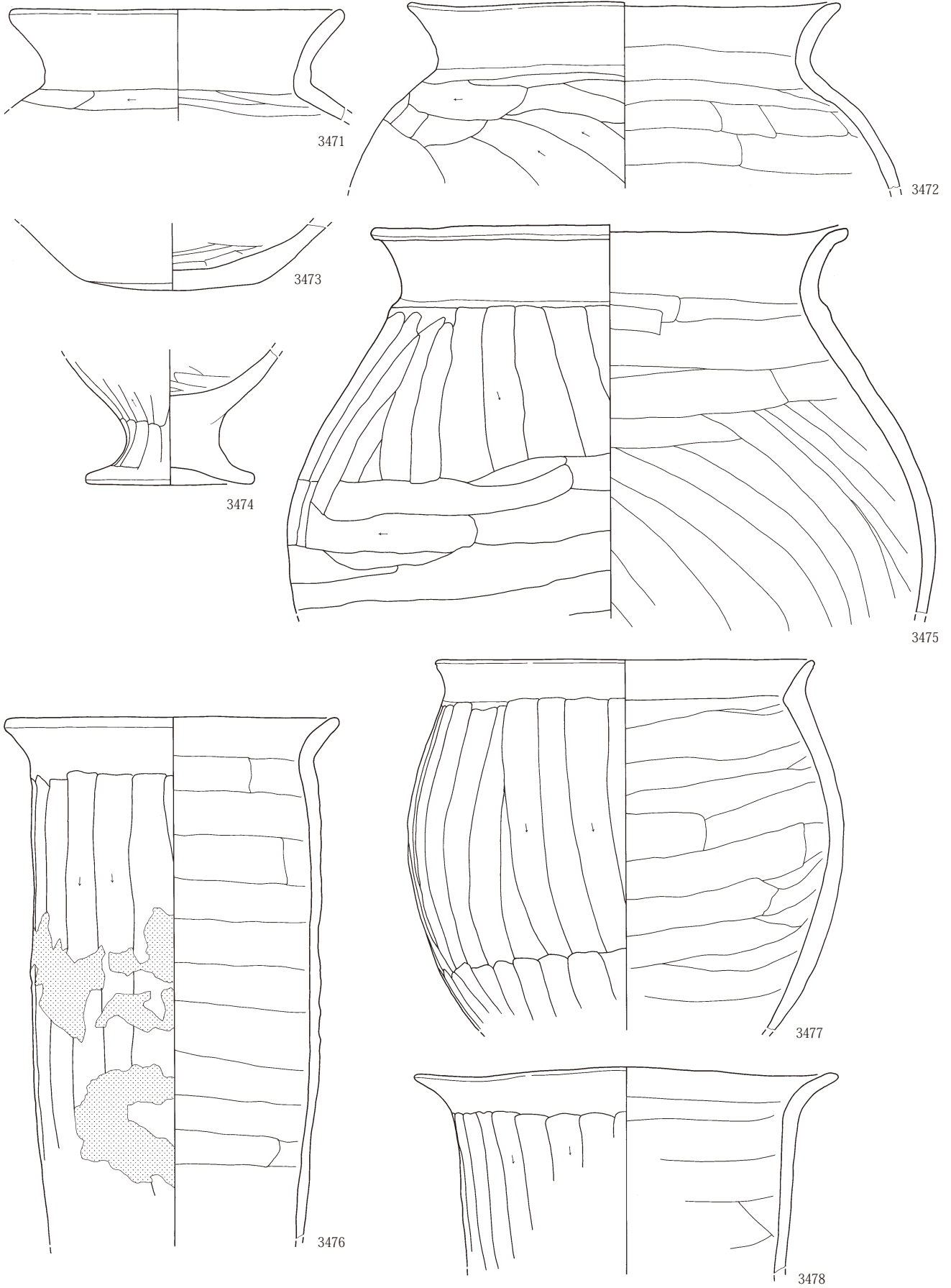


0 3470 1:2 10cm

0 1:3 10cm

第322図 古墳～平安時代出土遺物47

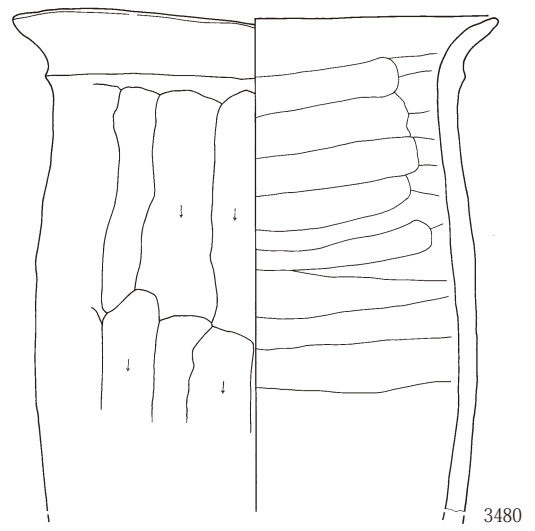
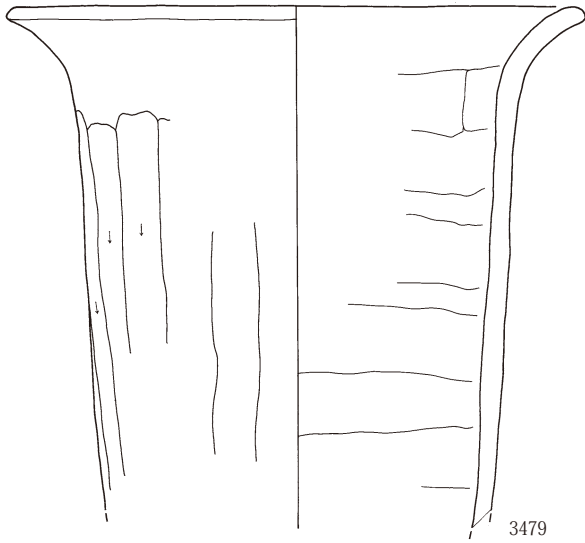
6区24号住居出土遺物(2)



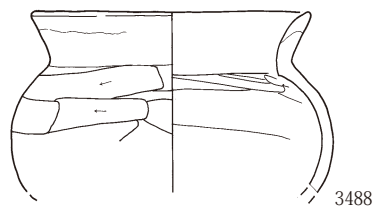
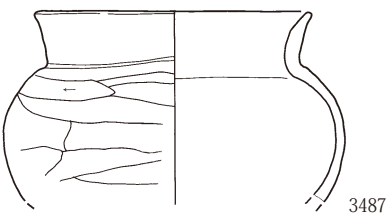
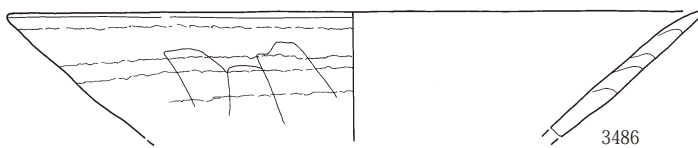
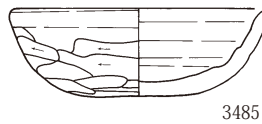
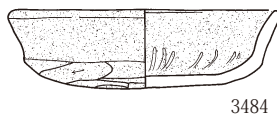
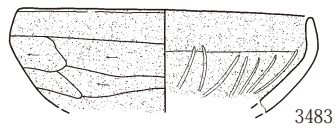
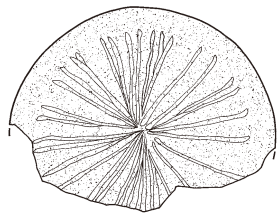
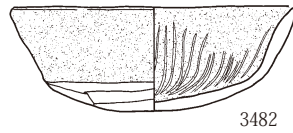
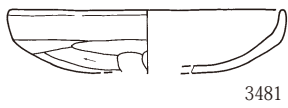
第323図 古墳～平安時代出土遺物48

0 1:3 10cm

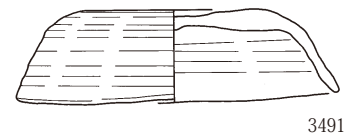
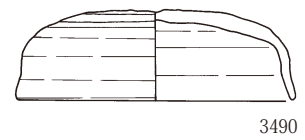
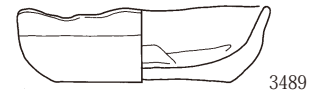
6区24号住居出土遺物(3)



6区25号住居出土遺物



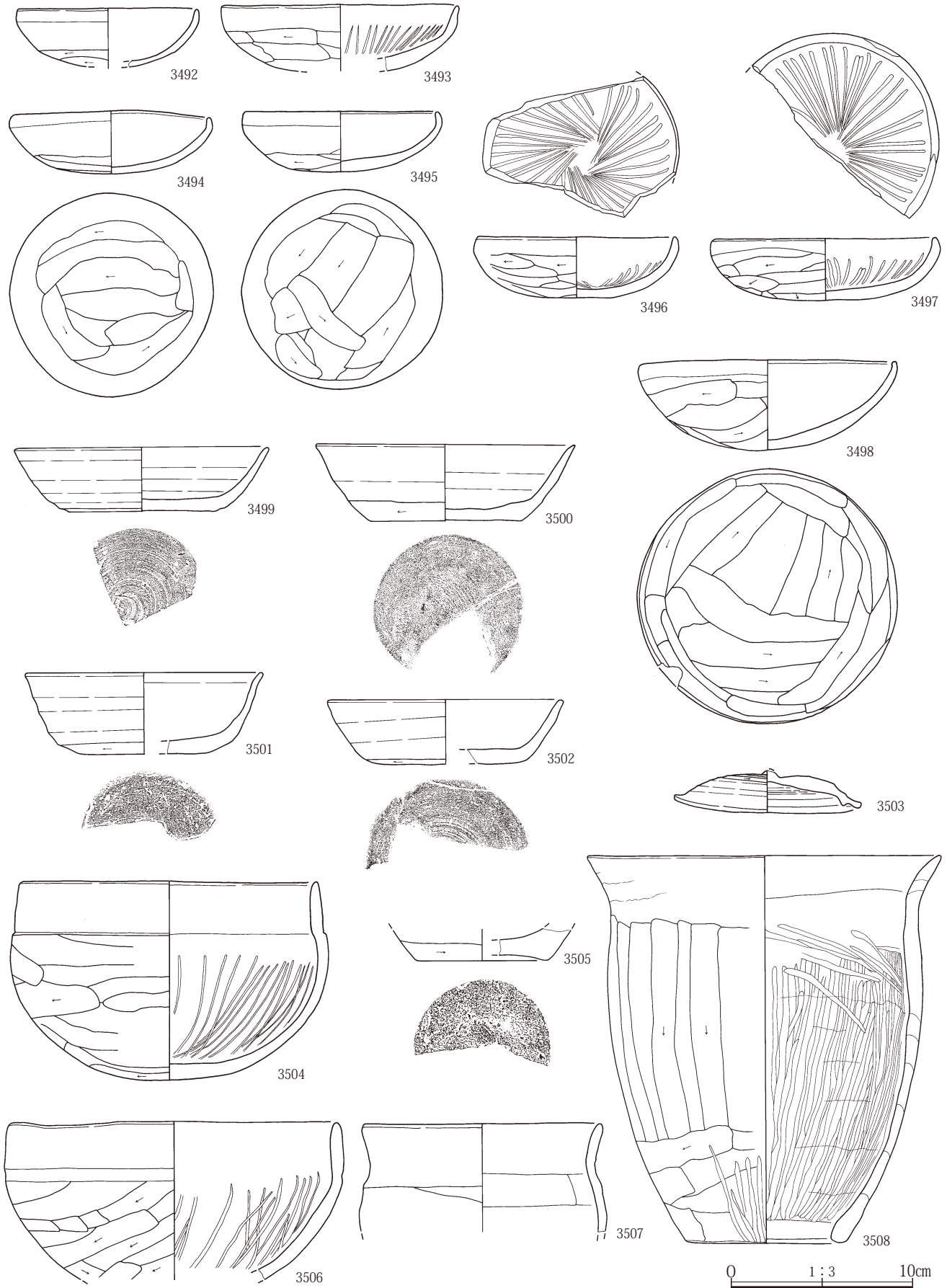
6区26号住居出土遺物



0 1:3 10cm

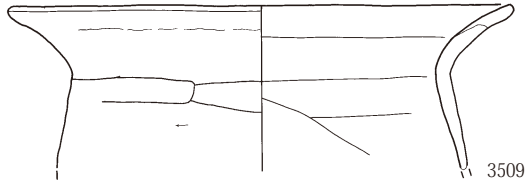
第324図 古墳～平安時代出土遺物49

6区27号住居出土遺物(1)

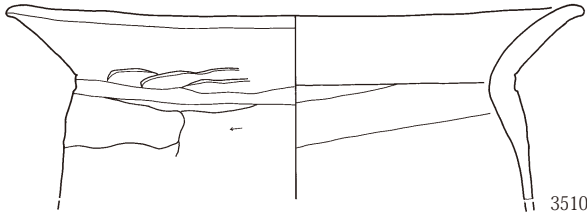
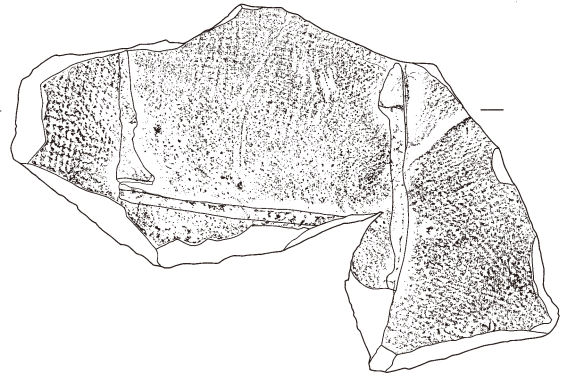


第325図 古墳～平安時代出土遺物50

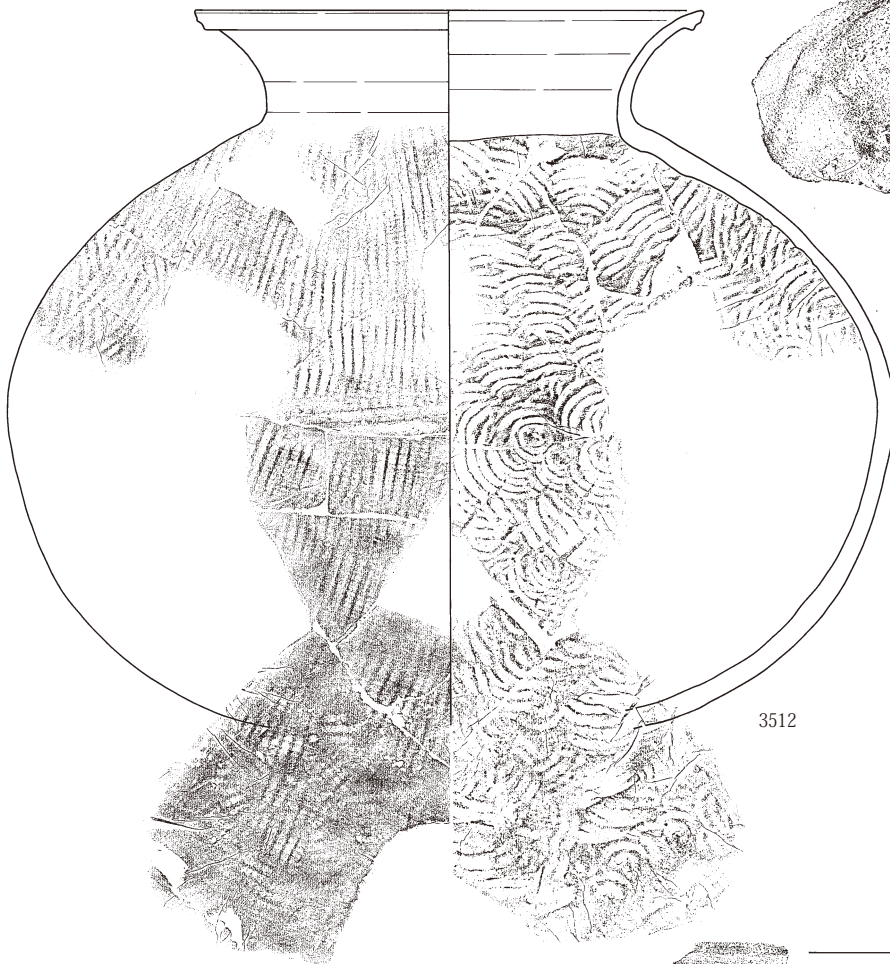
6区27号住居出土遺物(2)



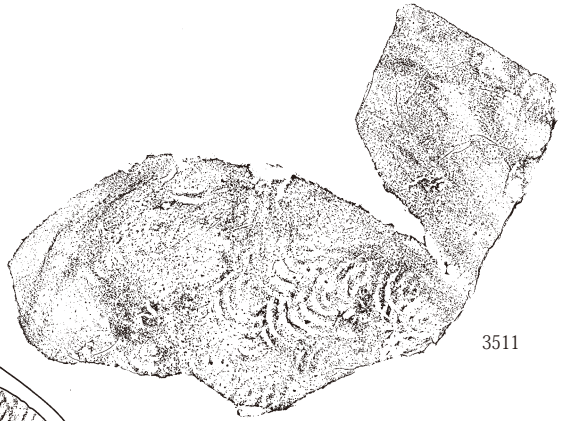
3509



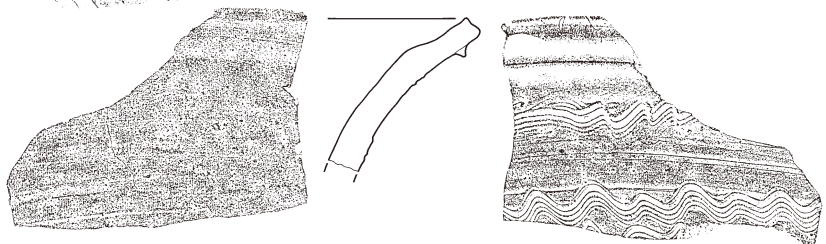
3510



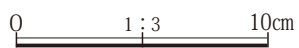
3512



3511

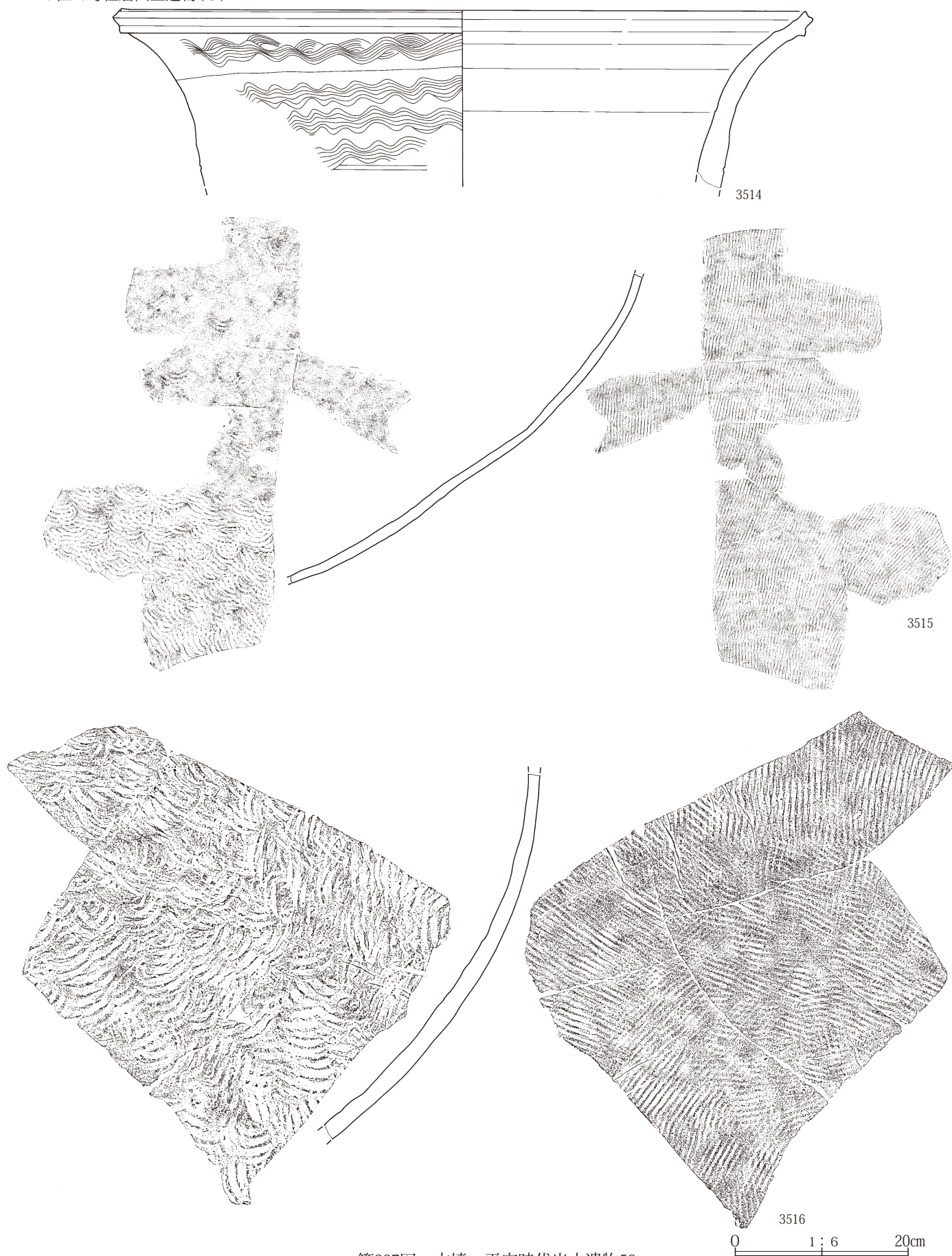


3513



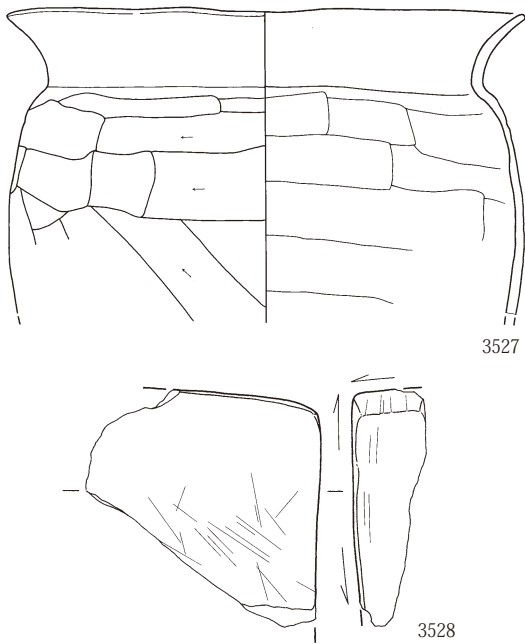
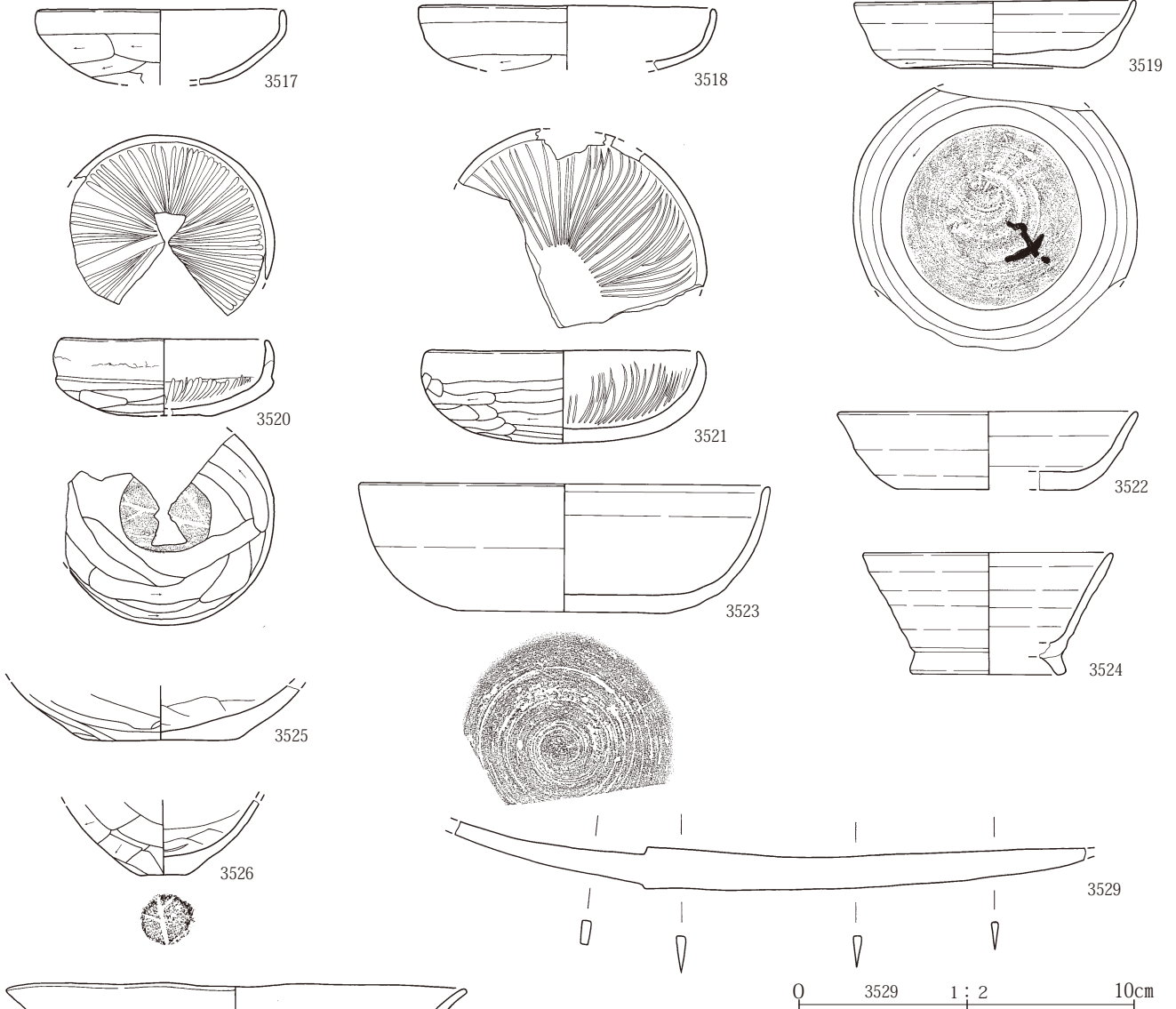
第326図 古墳～平安時代出土遺物51

6区27号住居出土遺物(3)

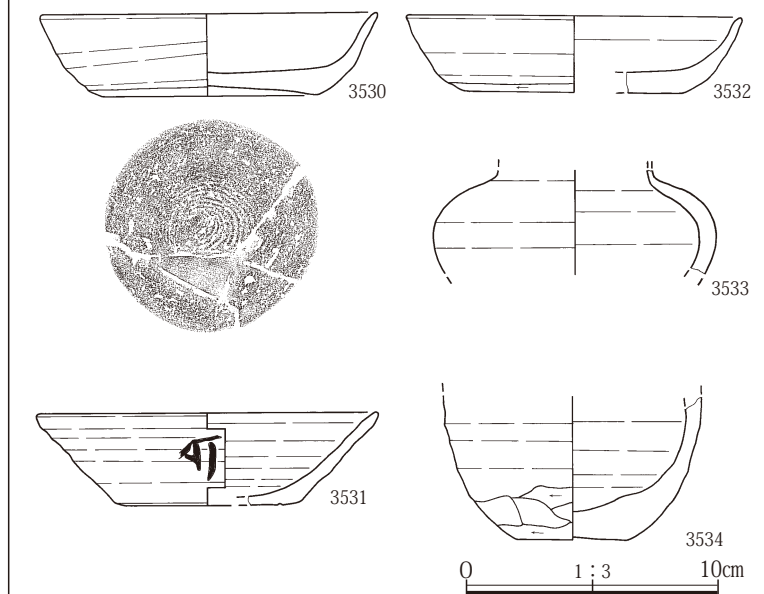


第327図 古墳～平安時代出土遺物52

6区28号住居出土遺物

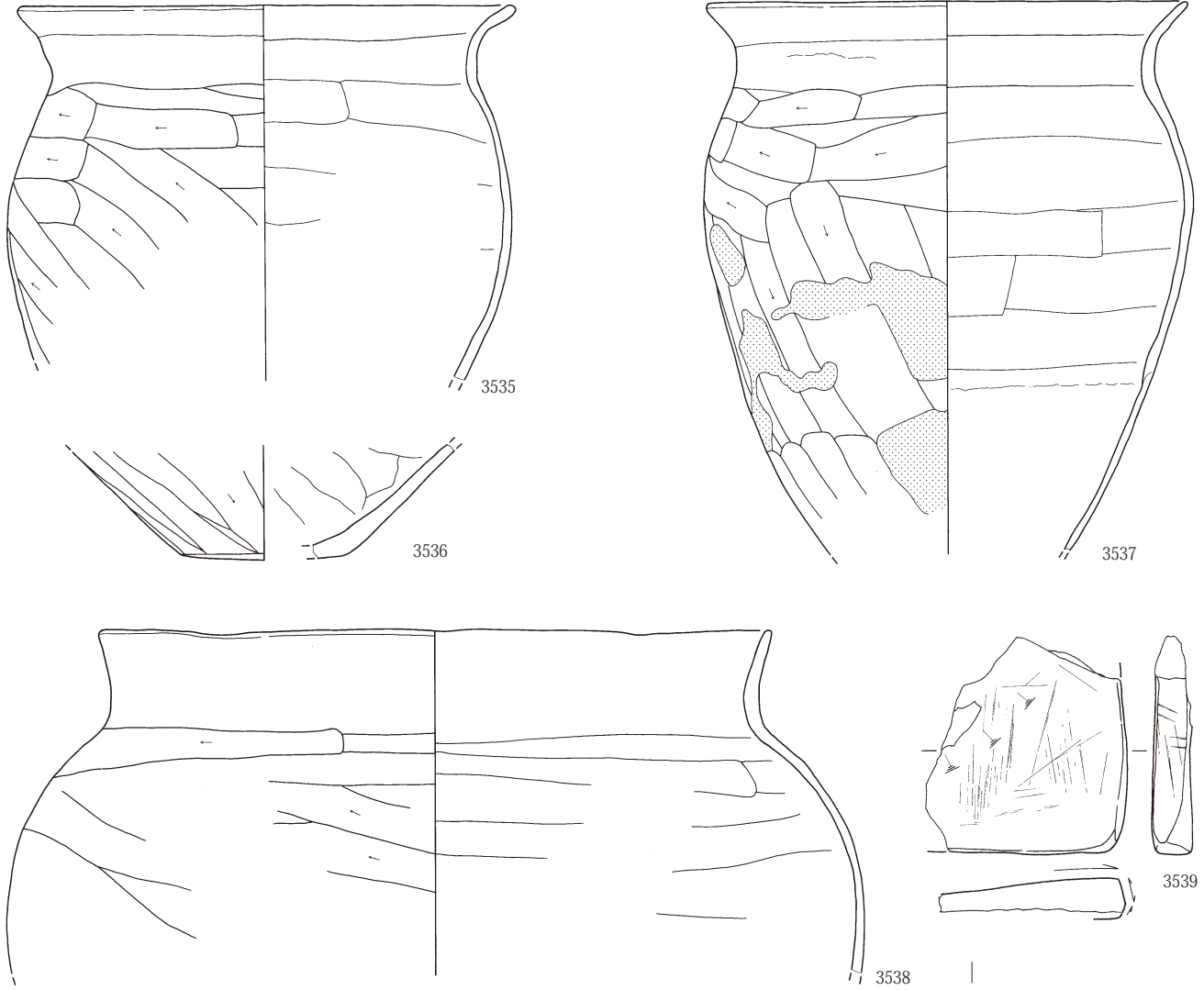


6区29号住居出土遺物(1)

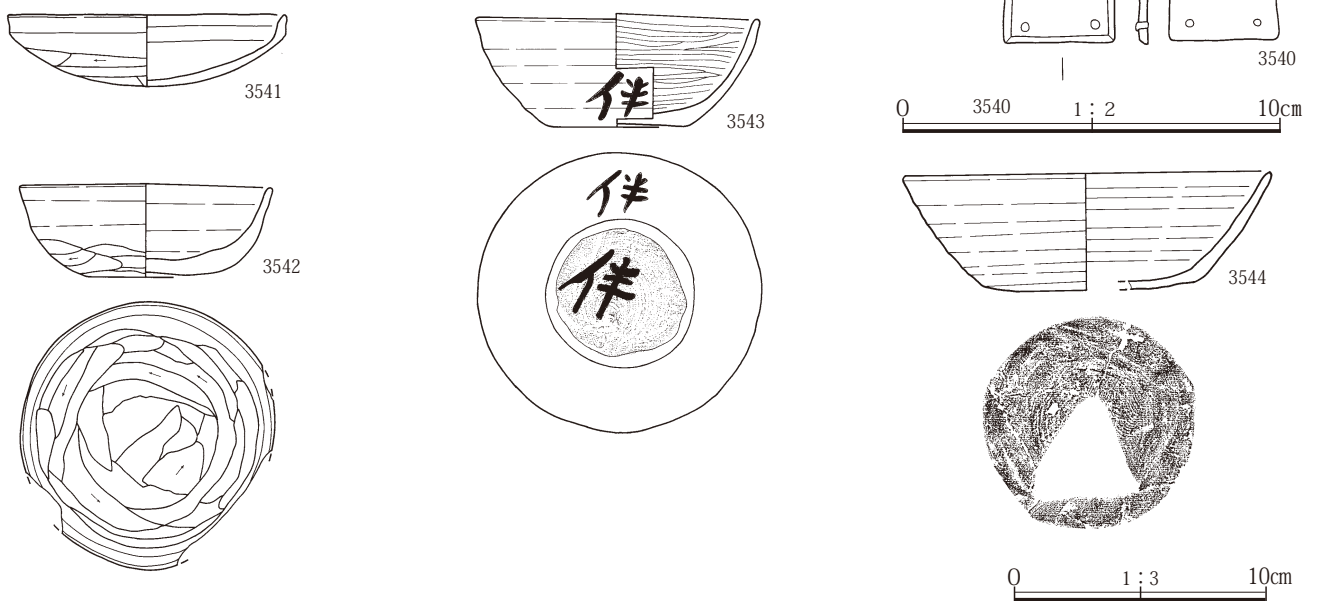


第328図 古墳～平安時代出土遺物53

6区29号住居出土遺物(2)



6区30号住居出土遺物(1)



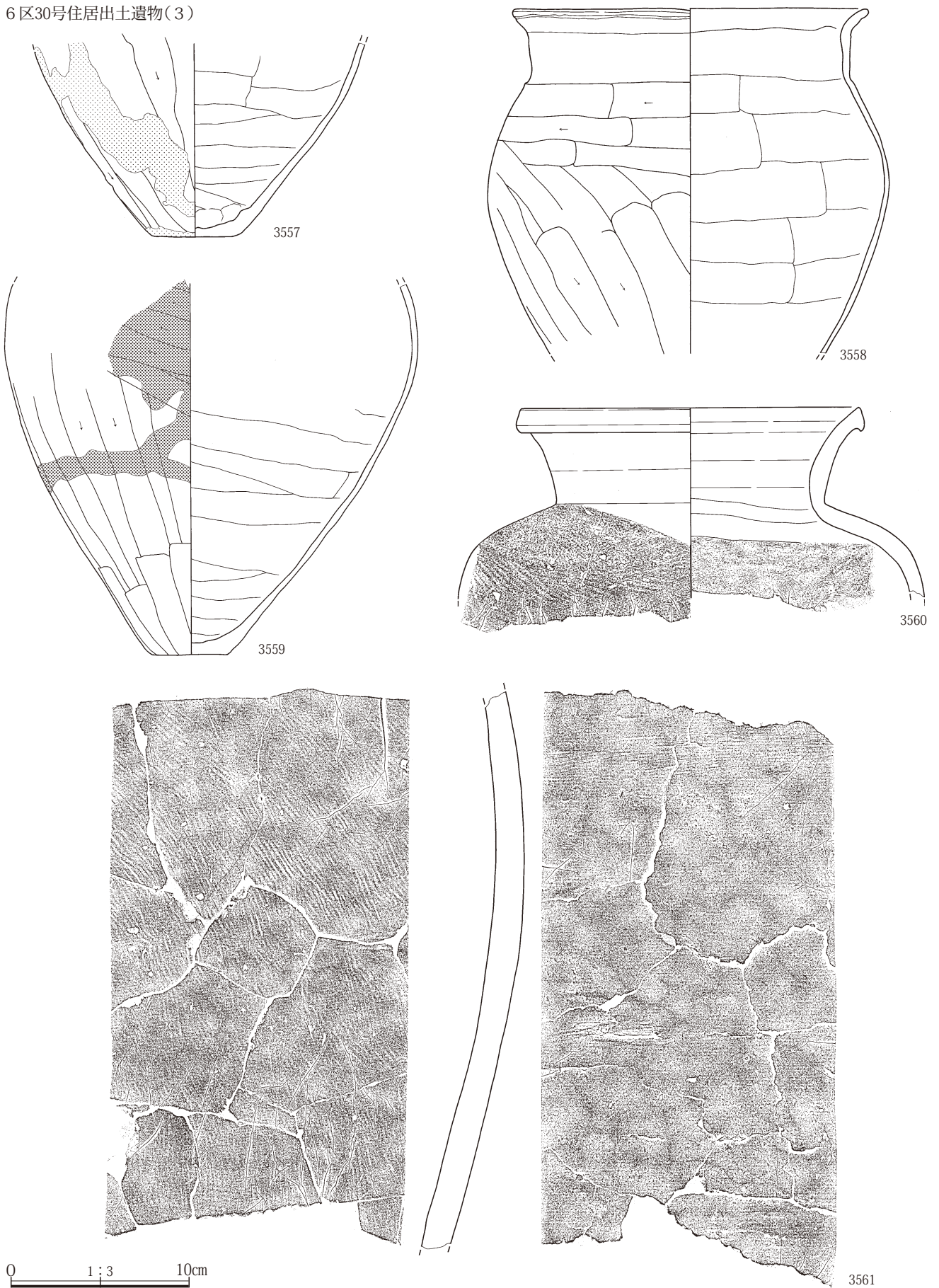
第329図古墳～平安時代出土遺物54

6区30号住居出土遺物(2)



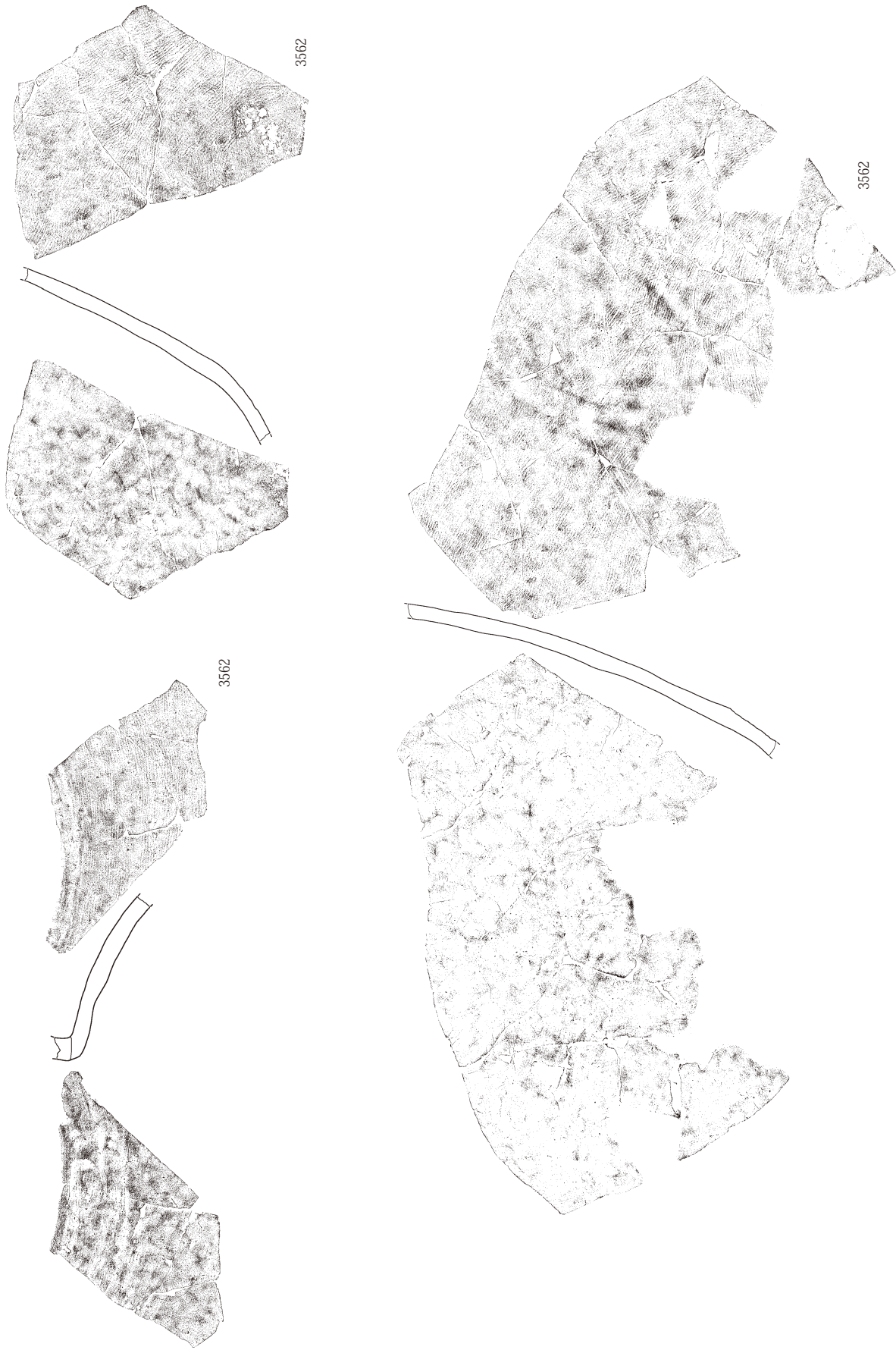
第330図 古墳～平安時代出土遺物55

6区30号住居出土遺物(3)



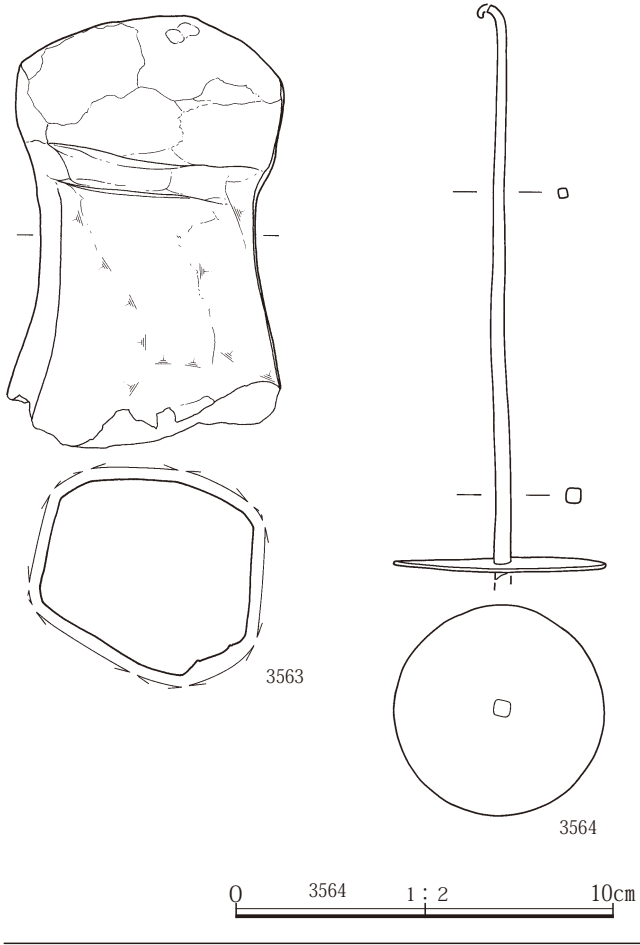
第331図 古墳～平安時代出土遺物56

6区30号住居出土遺物(4)

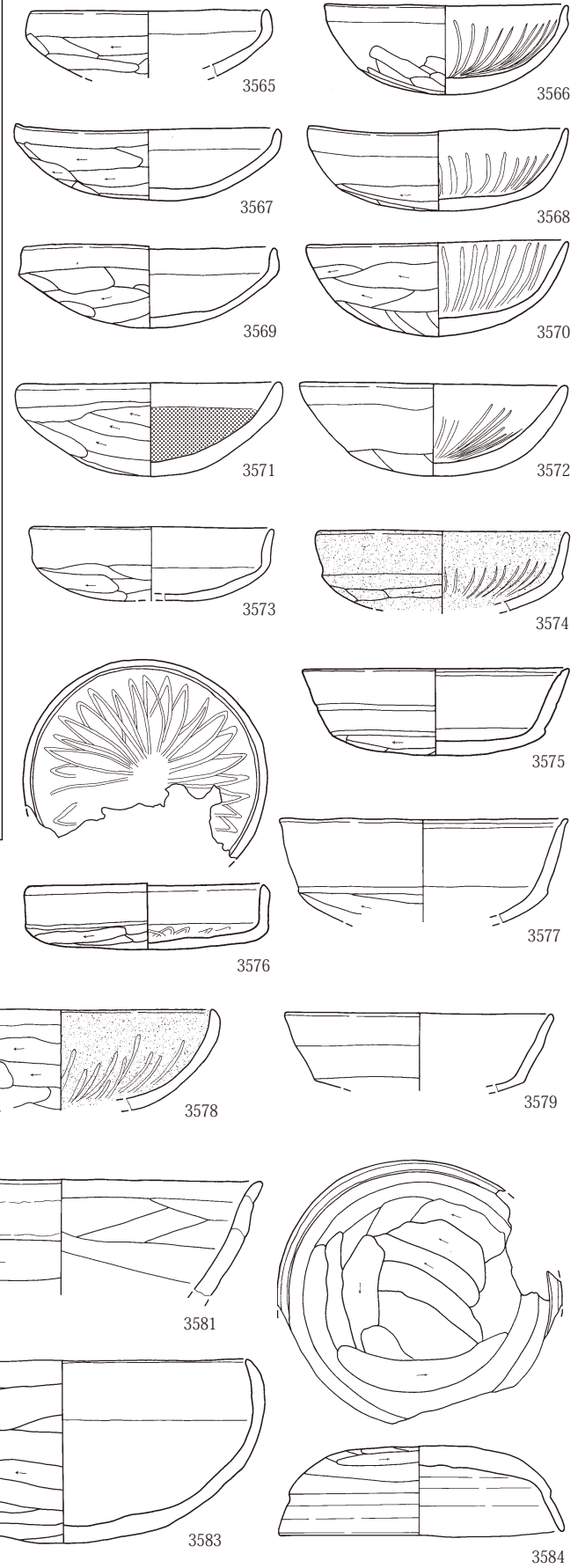


第332図 古墳～平安時代出土遺物57

6区30号住居出土遺物(5)

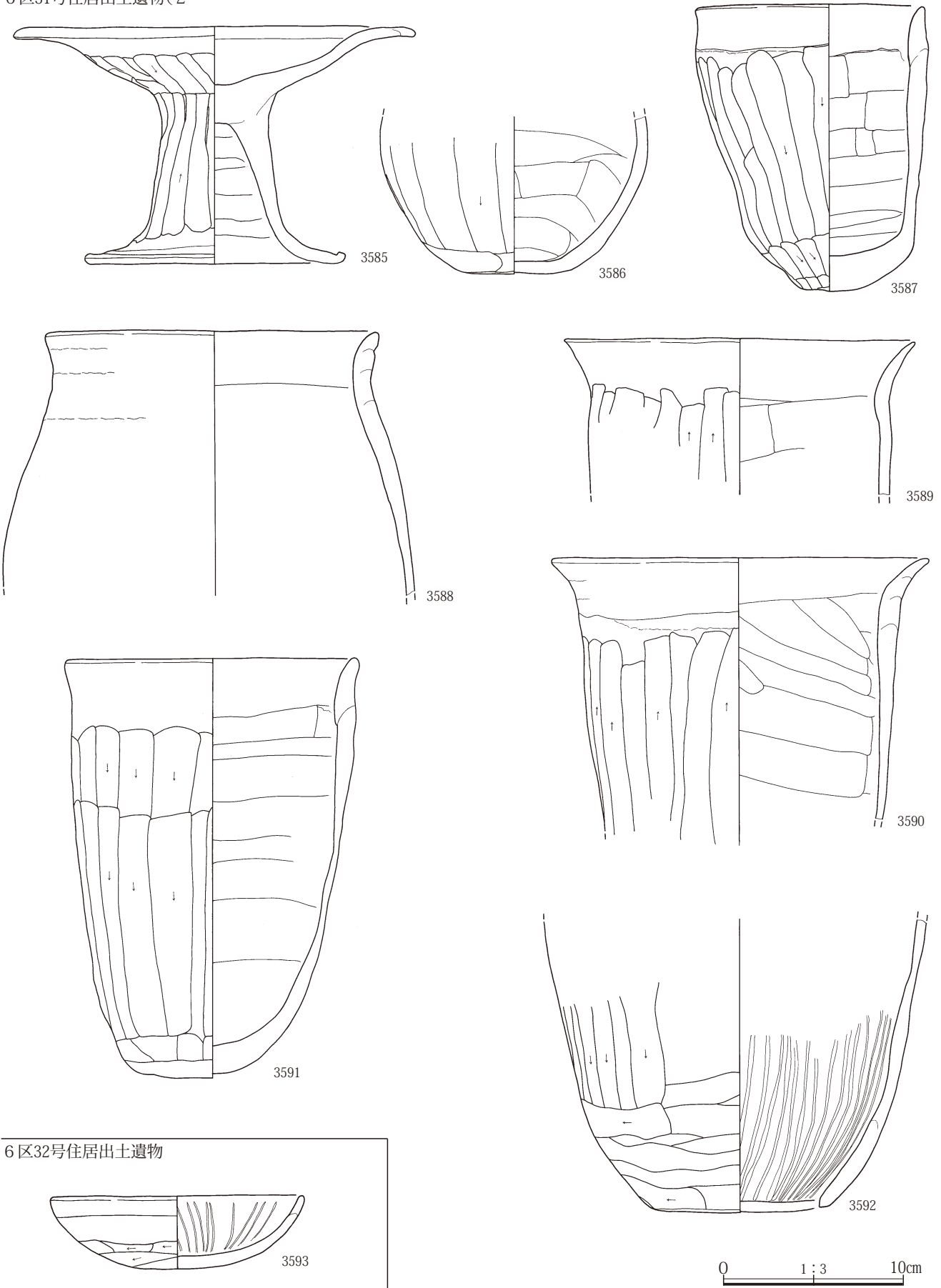


6区31号住居出土遺物(1)



第333図 古墳～平安時代出土遺物58

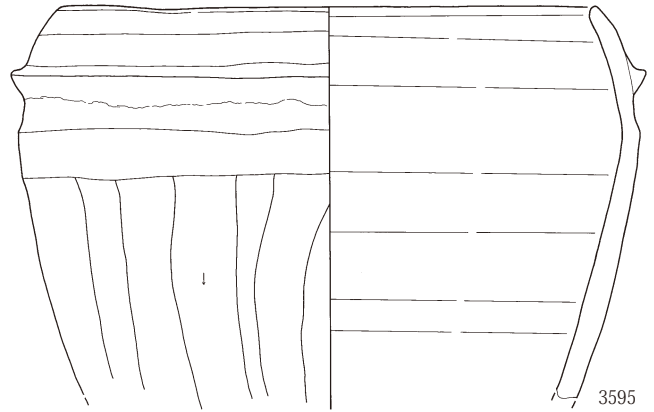
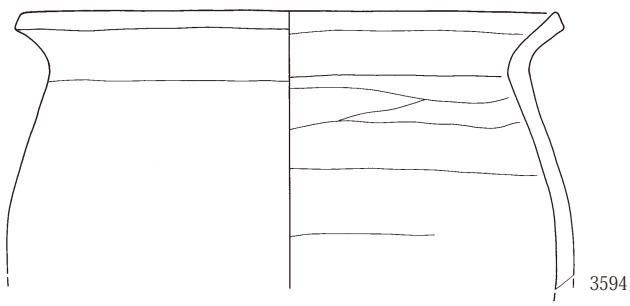
6区31号住居出土遺物(2)



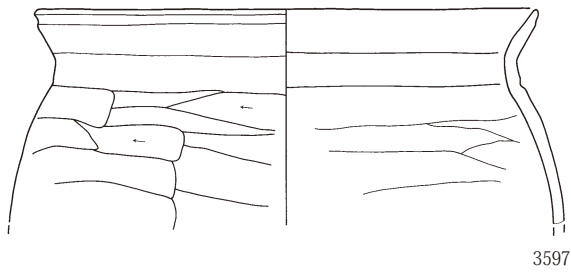
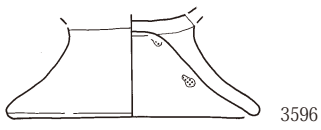
6区32号住居出土遺物

第334図 古墳～平安時代出土遺物59

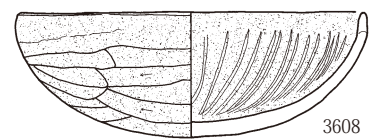
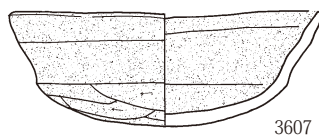
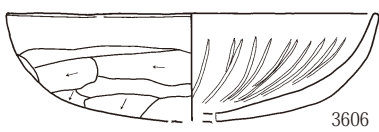
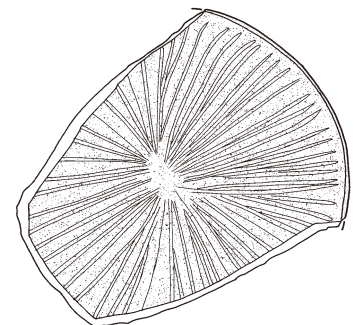
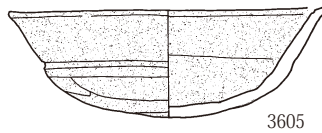
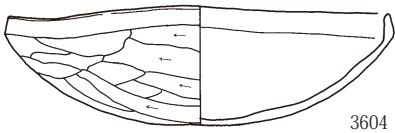
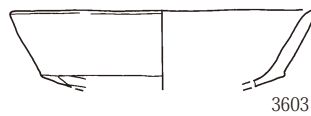
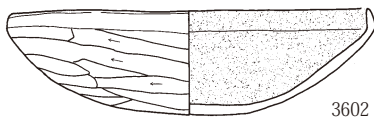
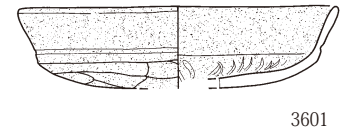
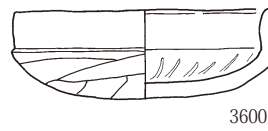
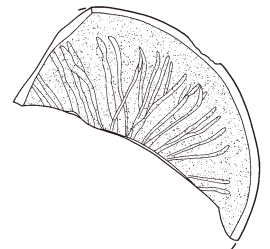
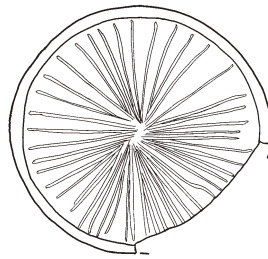
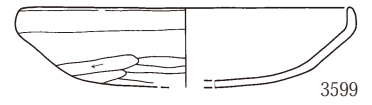
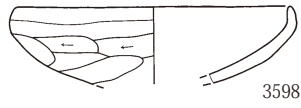
6区33号住居出土遺物



6区34号住居出土遺物



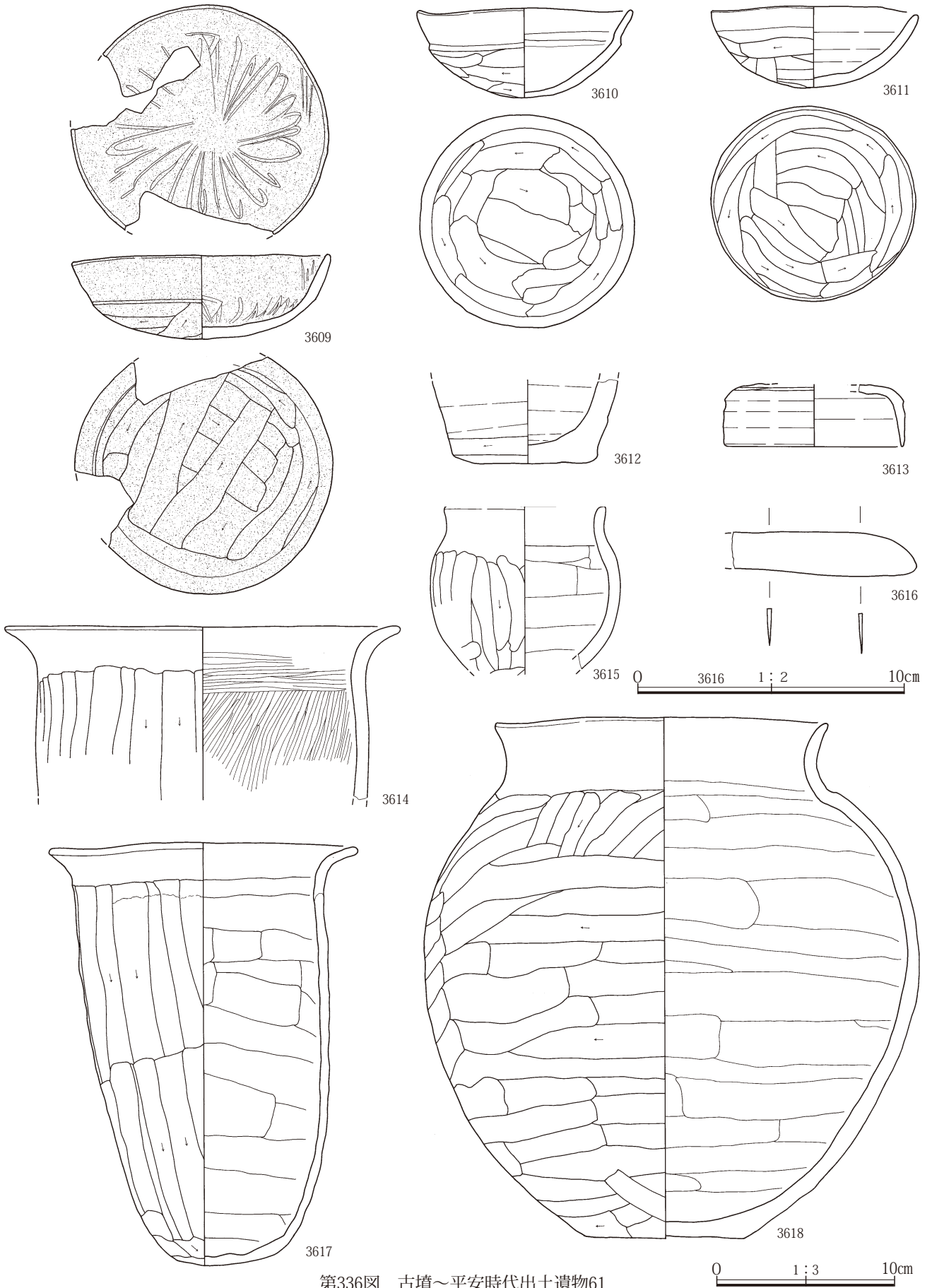
6区36号住居出土遺物(1)



0 1:3 10cm

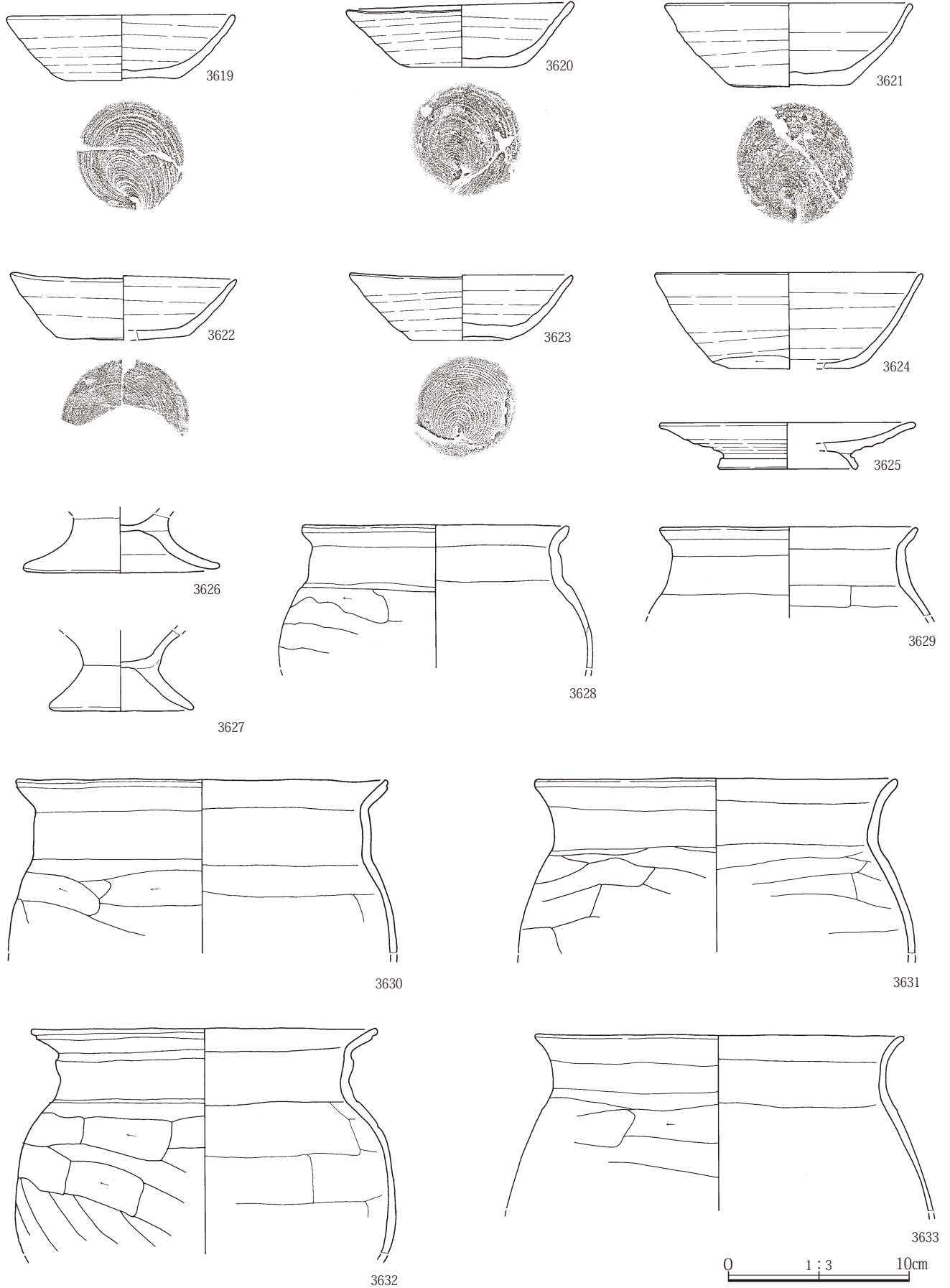
第335図 古墳～平安時代出土遺物60

6区36号住居出土遺物(2)



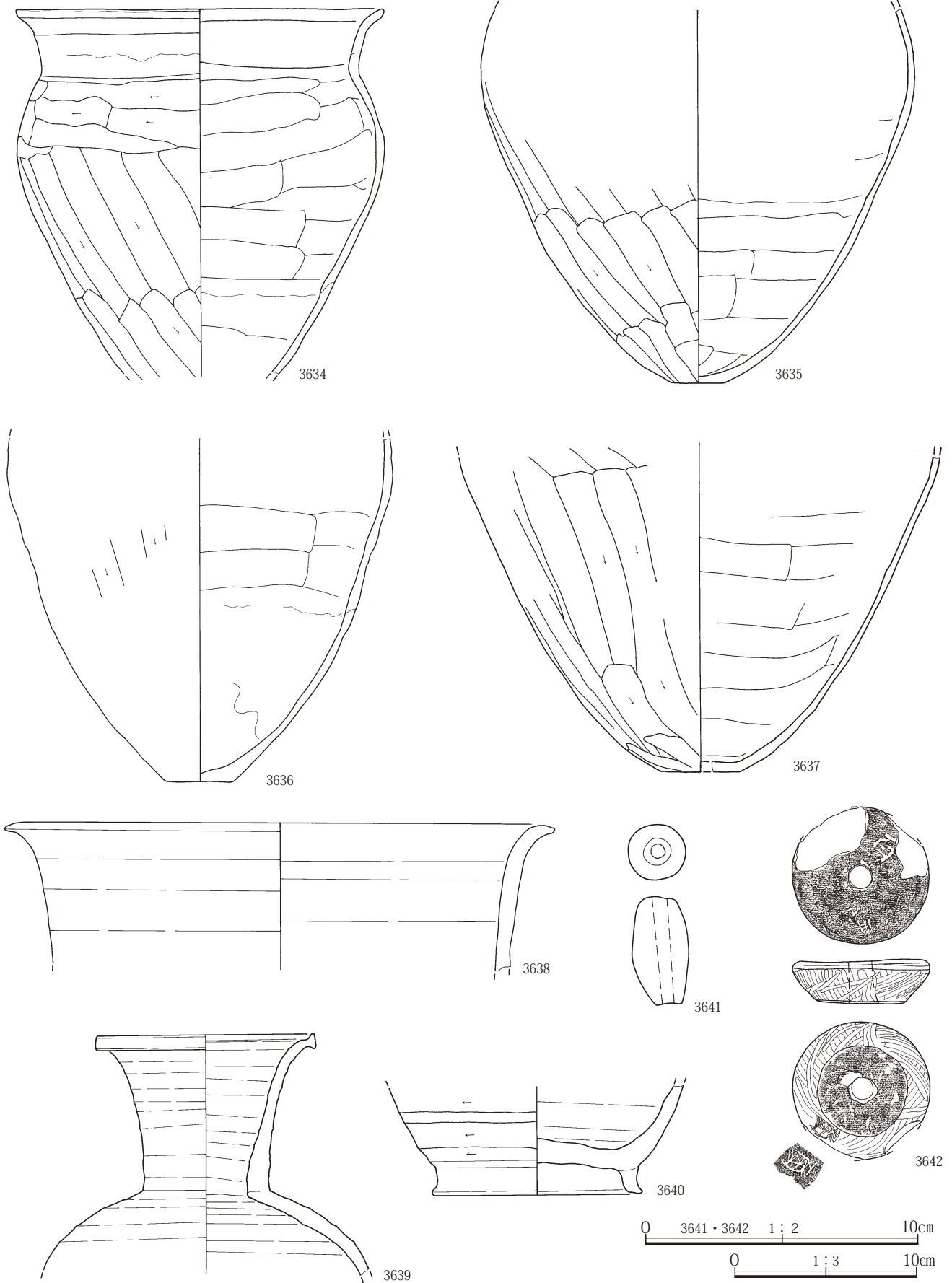
第336図 古墳～平安時代出土遺物61

6区37号住居出土遺物(1)



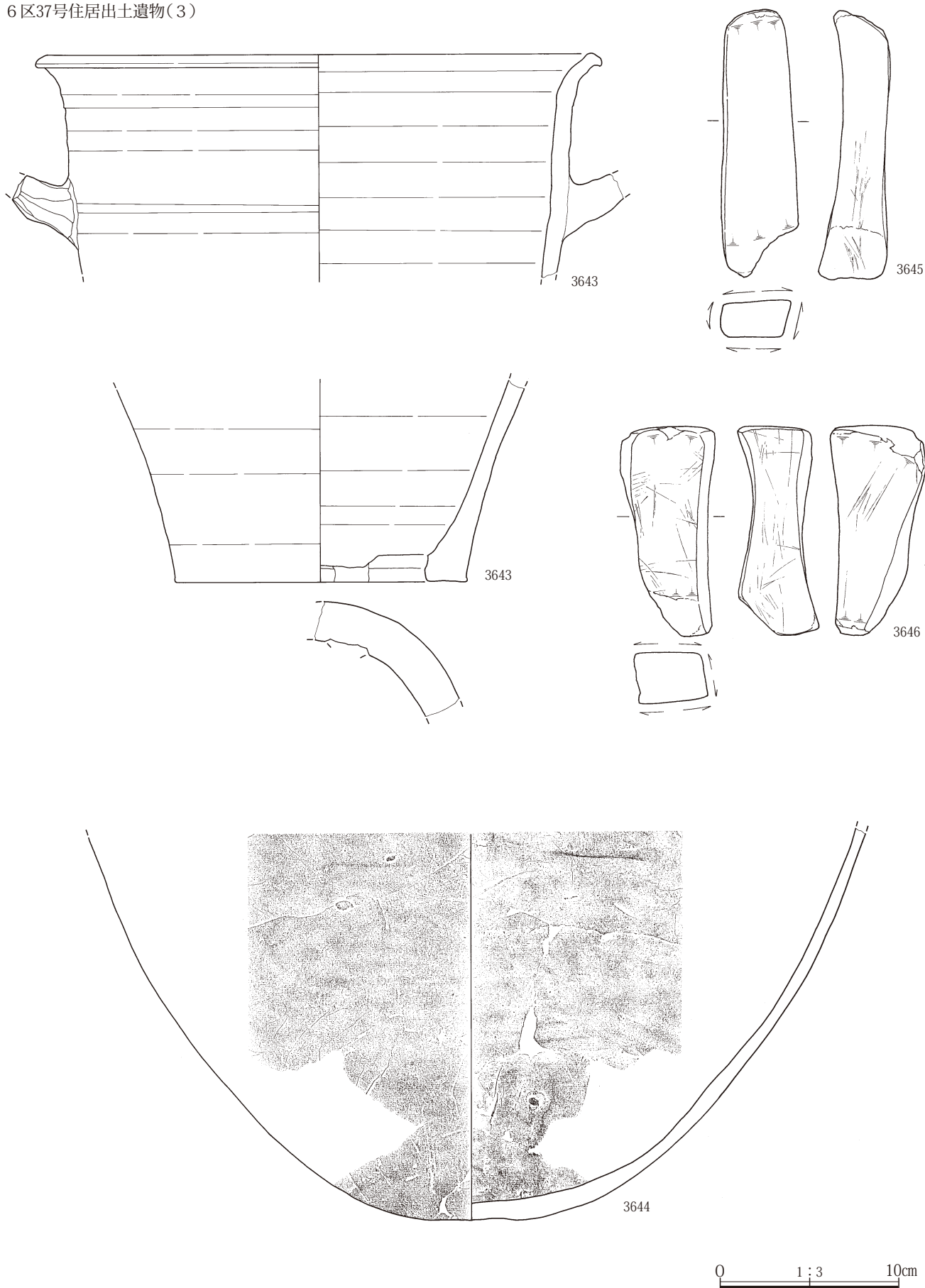
第337図 古墳～平安時代出土遺物62

6区37号住居出土遺物(2)



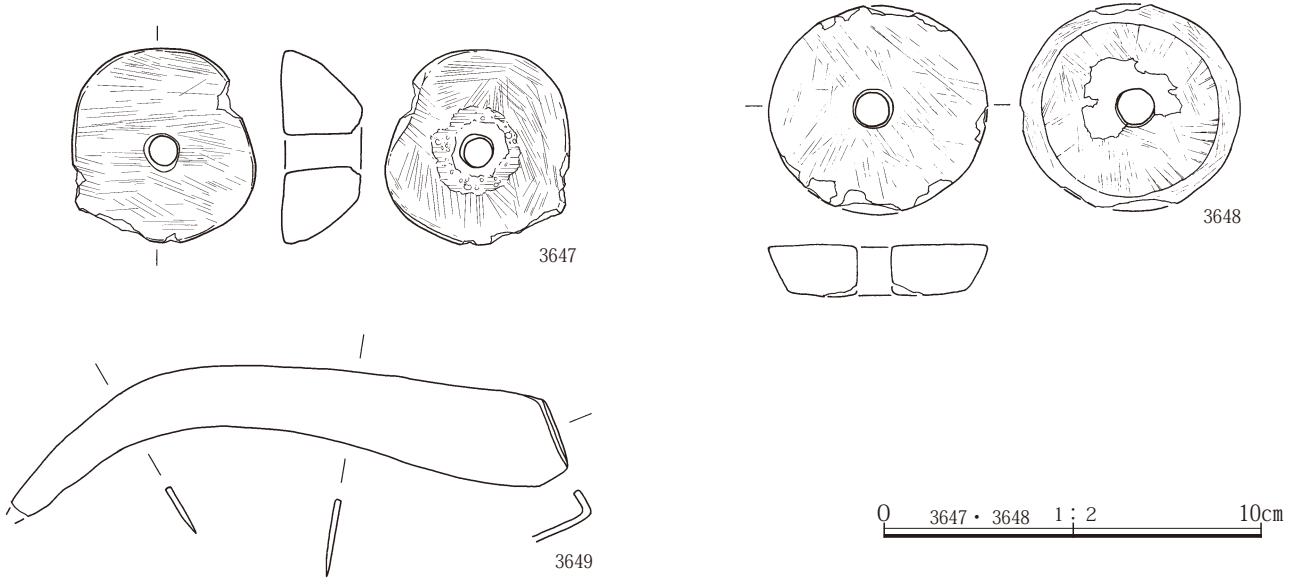
第338図 古墳～平安時代出土遺物63

6区37号住居出土遺物(3)

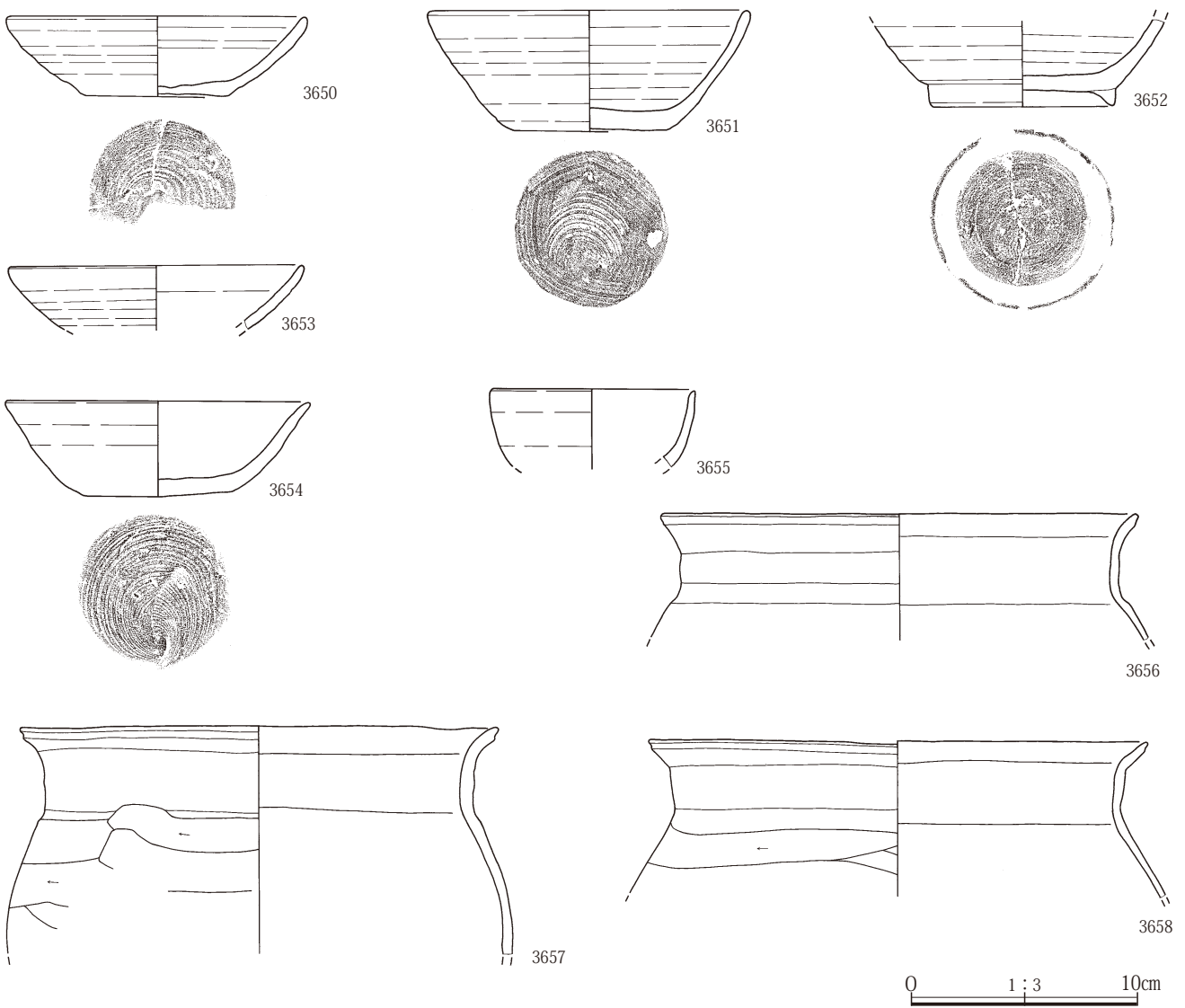


第339図 古墳～平安時代出土遺物64

6区37号住居出土遺物(4)

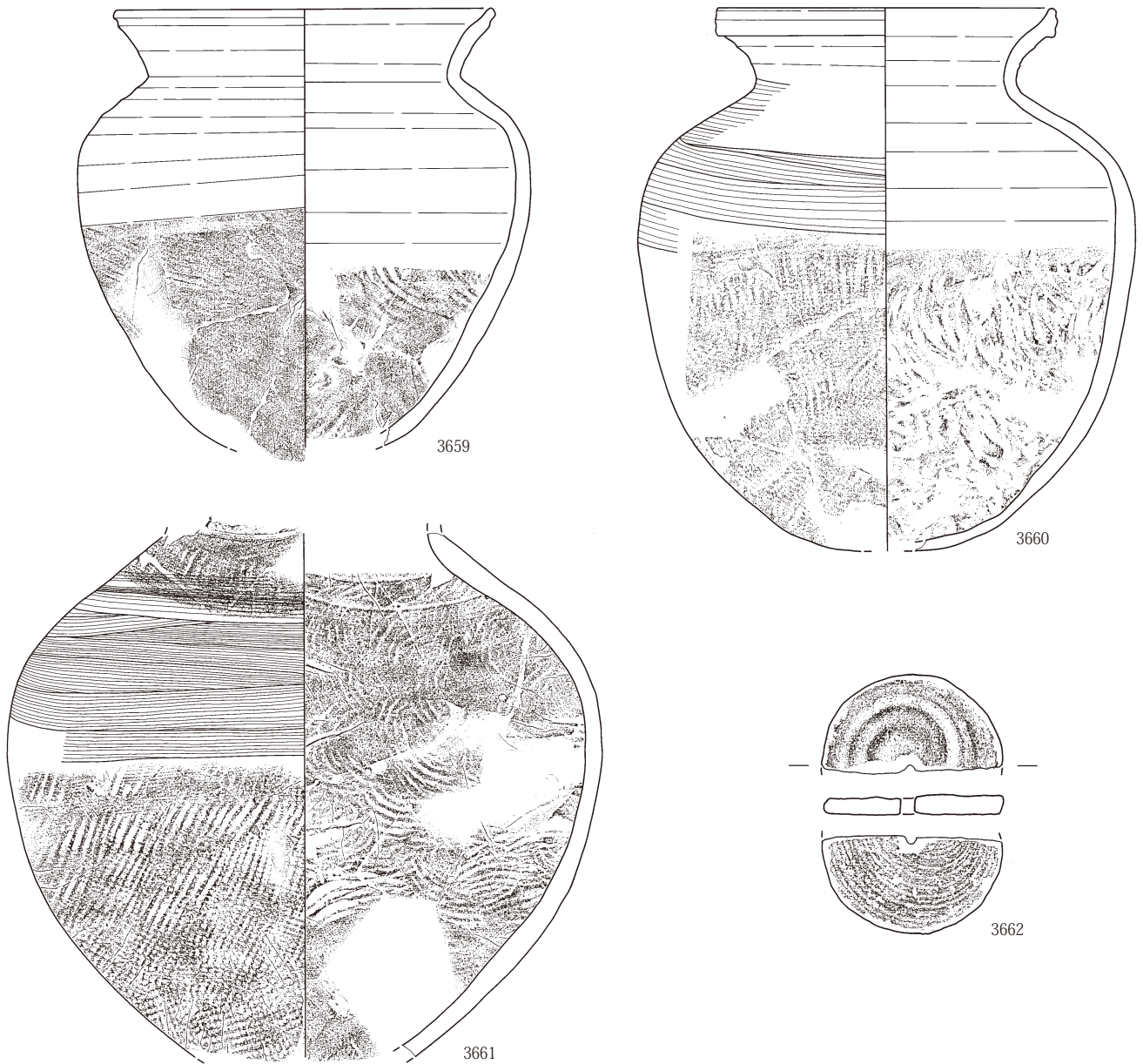


6区38号住居出土遺物(1)

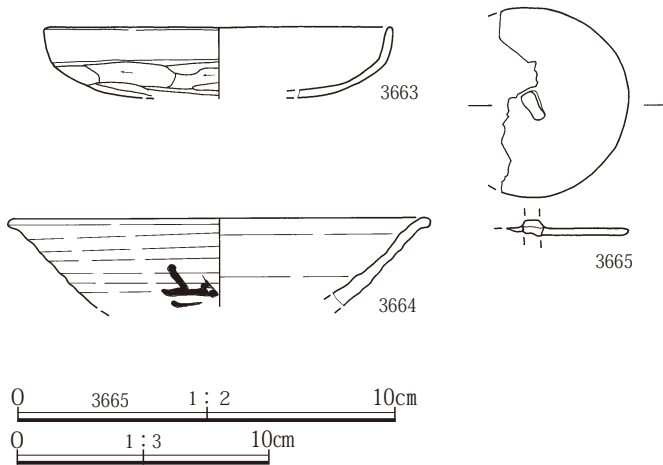


第340図 古墳～平安時代出土遺物65

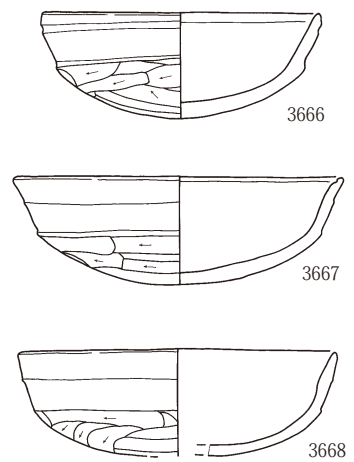
6区38号住居出土遺物(2)



6区39号住居出土遺物

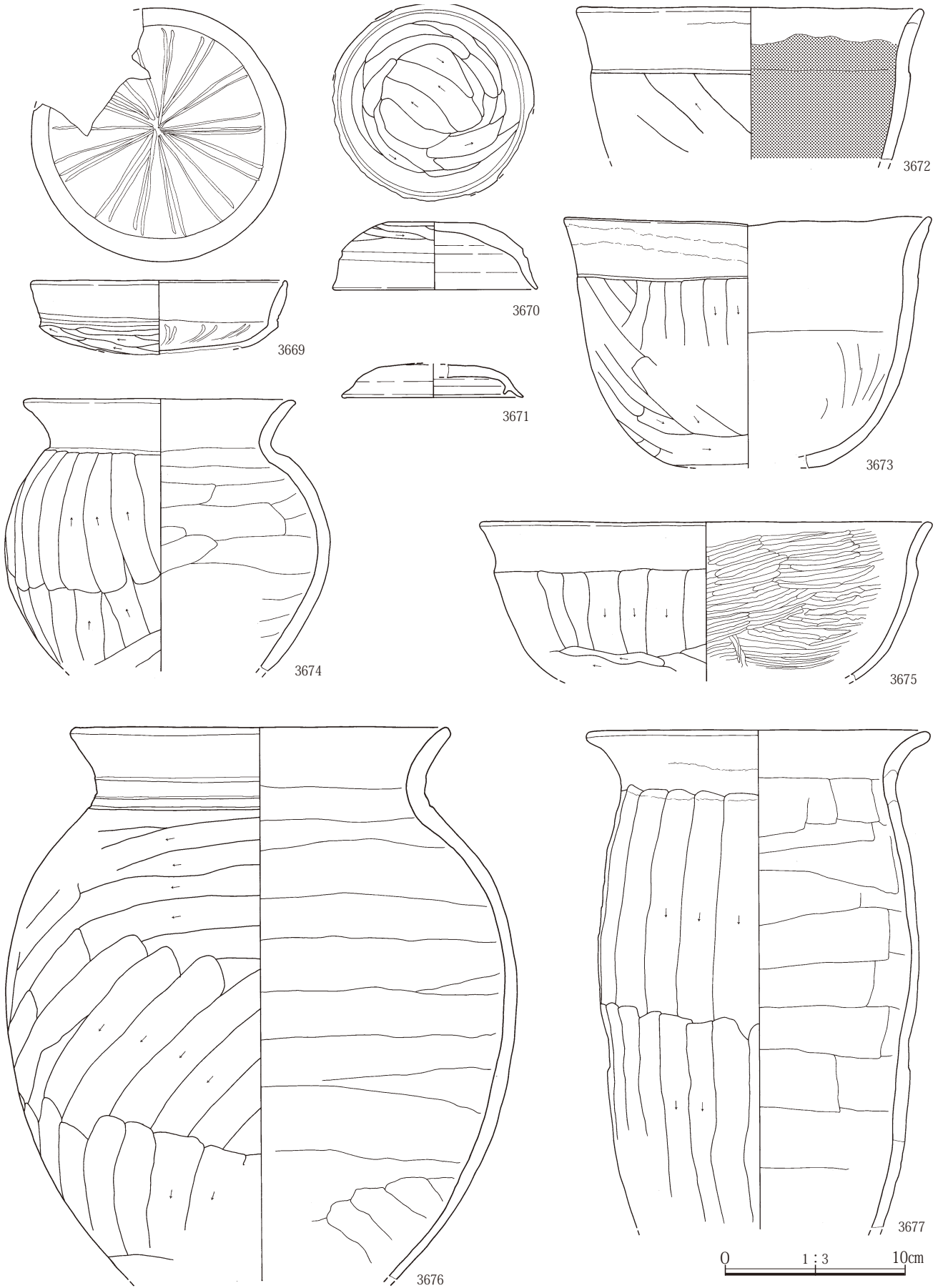


6区40号住居出土遺物(1)



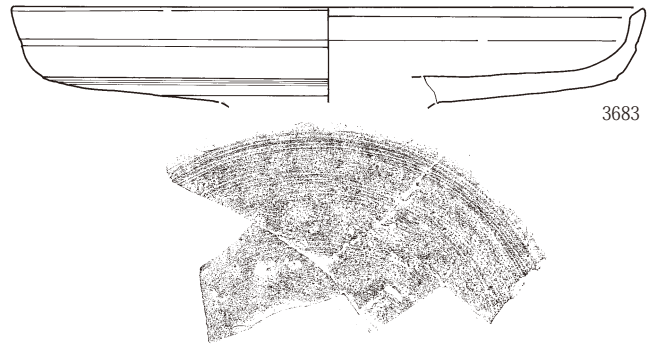
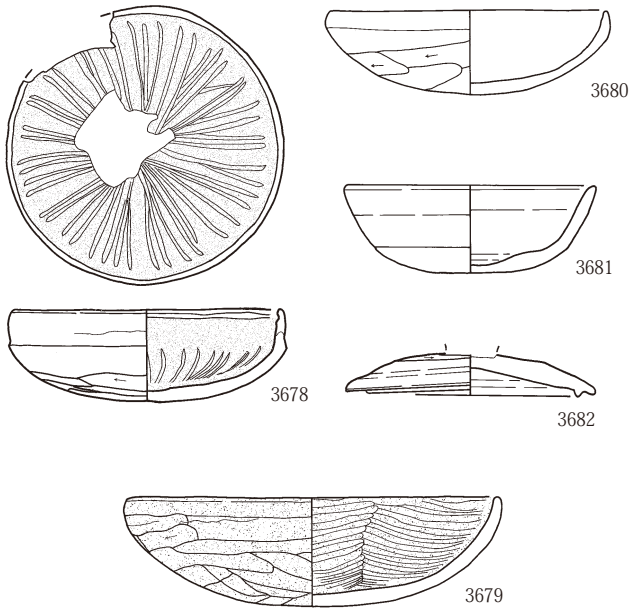
第341図 古墳～平安時代出土遺物66

6区40号住居出土遺物(2)

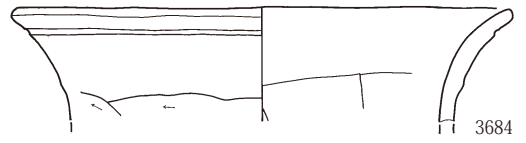


第342図 古墳～平安時代出土遺物67

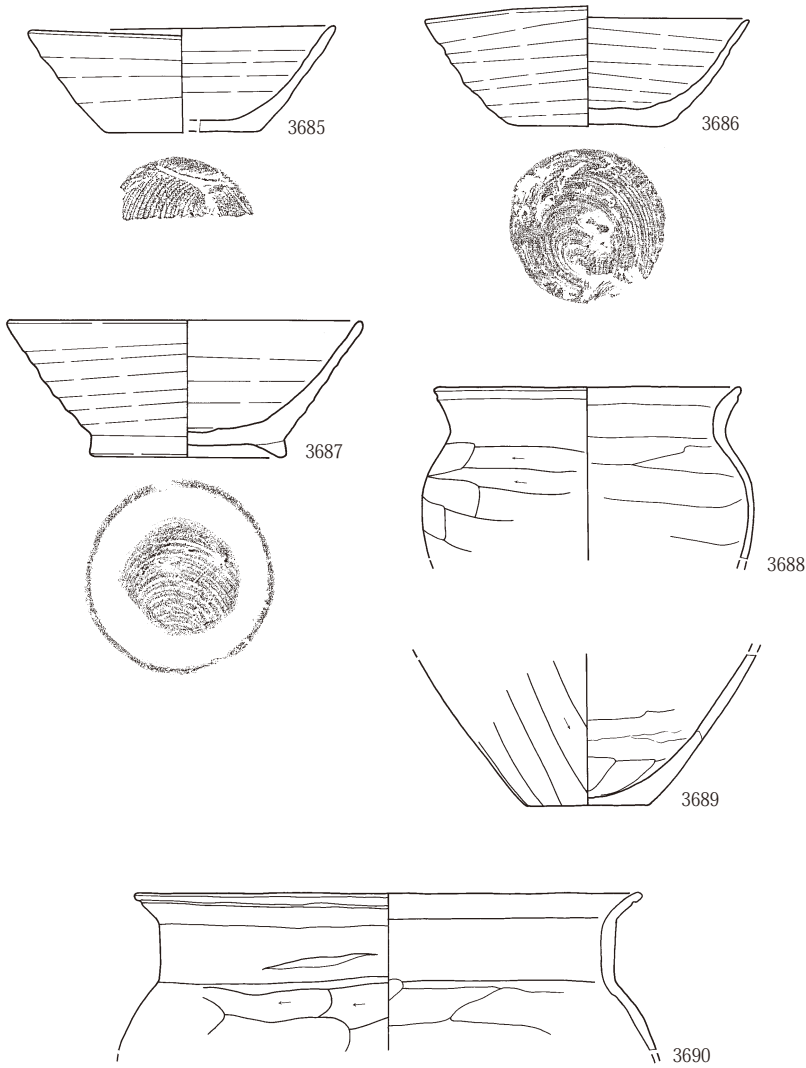
6区41号住居出土遺物



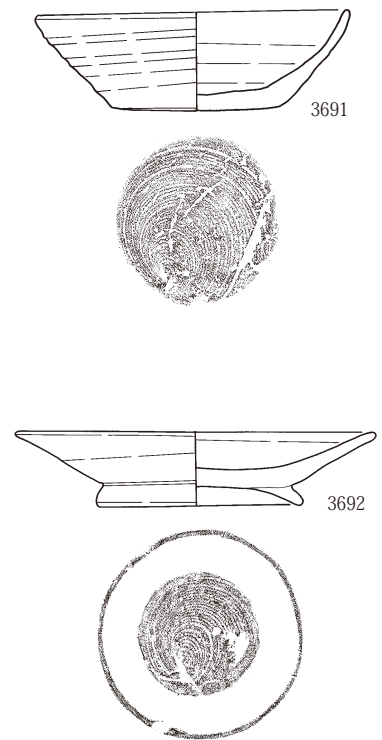
6区42号住居出土遺物



7区2号住居出土遺物



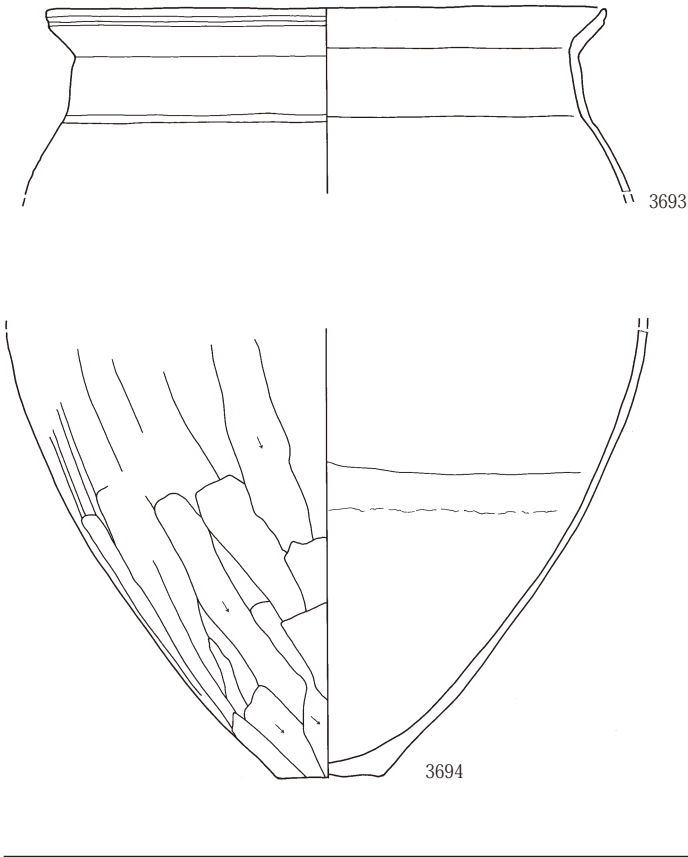
7区3号住居出土遺物(1)



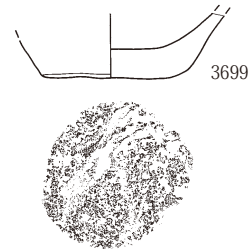
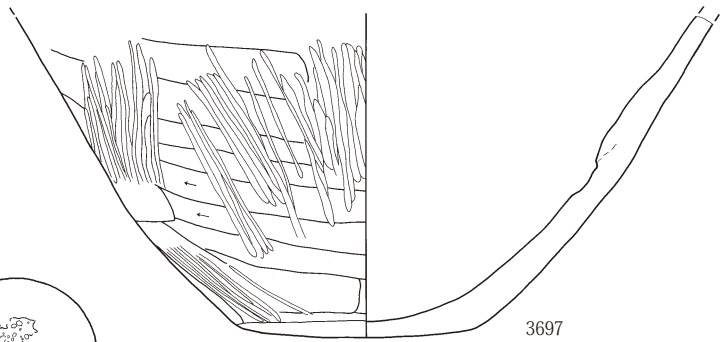
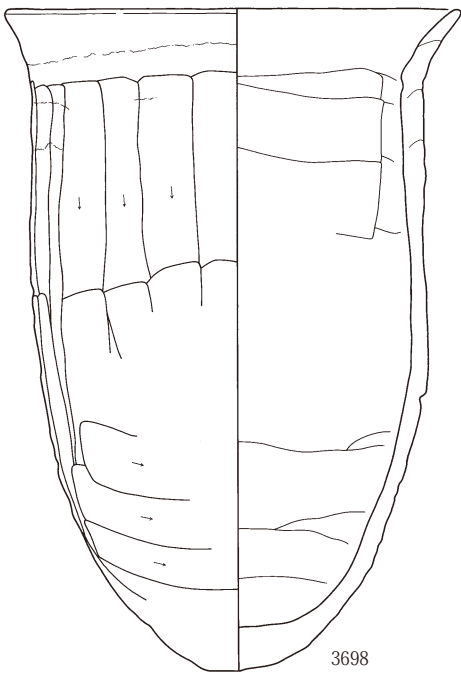
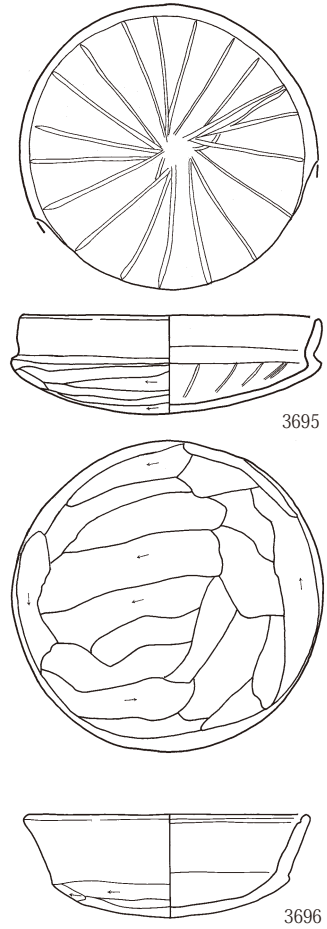
0 1:3 10cm

第343図 古墳～平安時代出土遺物68

7区3号住居出土遺物(2)



7区4号住居出土遺物

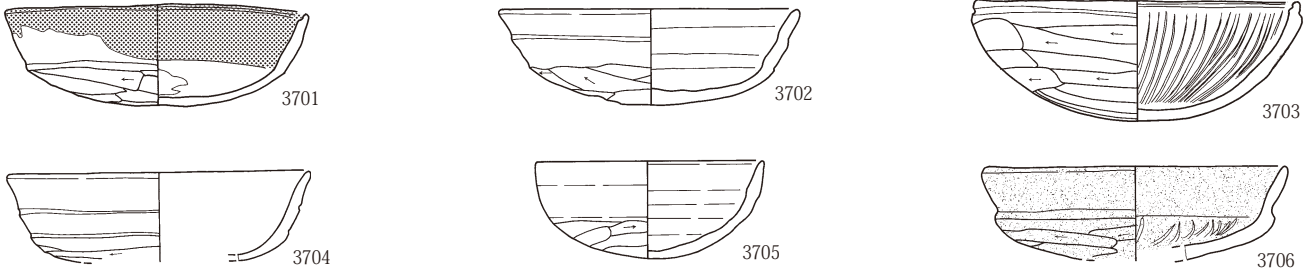


0 1:3 10cm

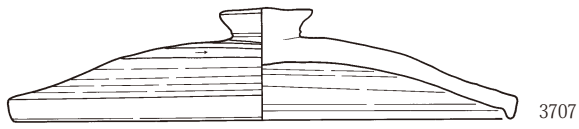
第344図 古墳～平安時代出土遺物69

第Ⅲ章 検出された遺構と出土遺物

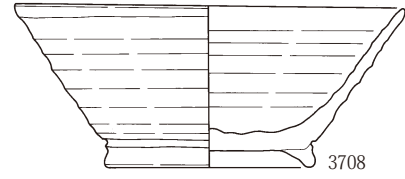
7区6号住居出土遺物



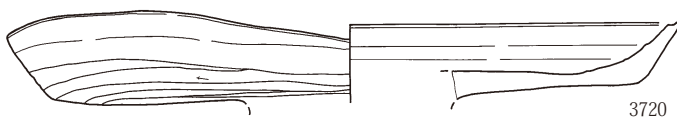
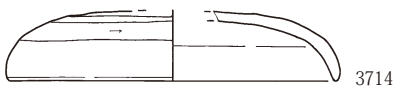
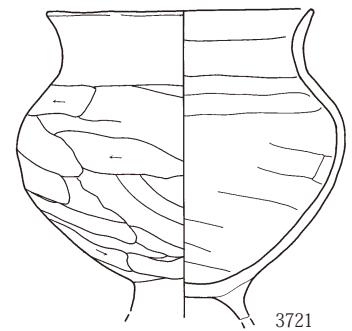
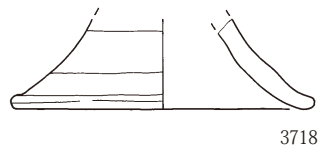
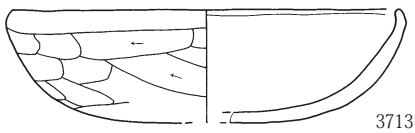
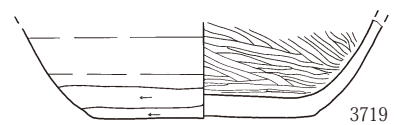
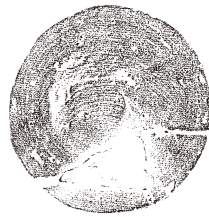
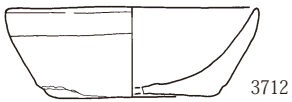
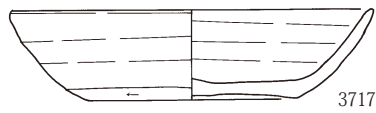
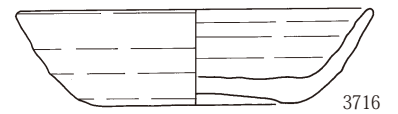
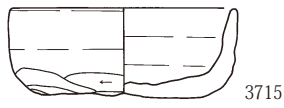
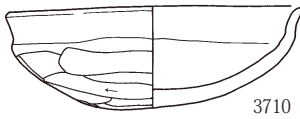
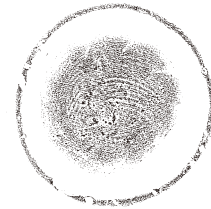
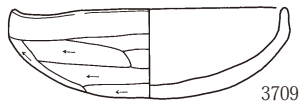
6区4号掘立柱建物出土遺物



3区21号溝出土遺物



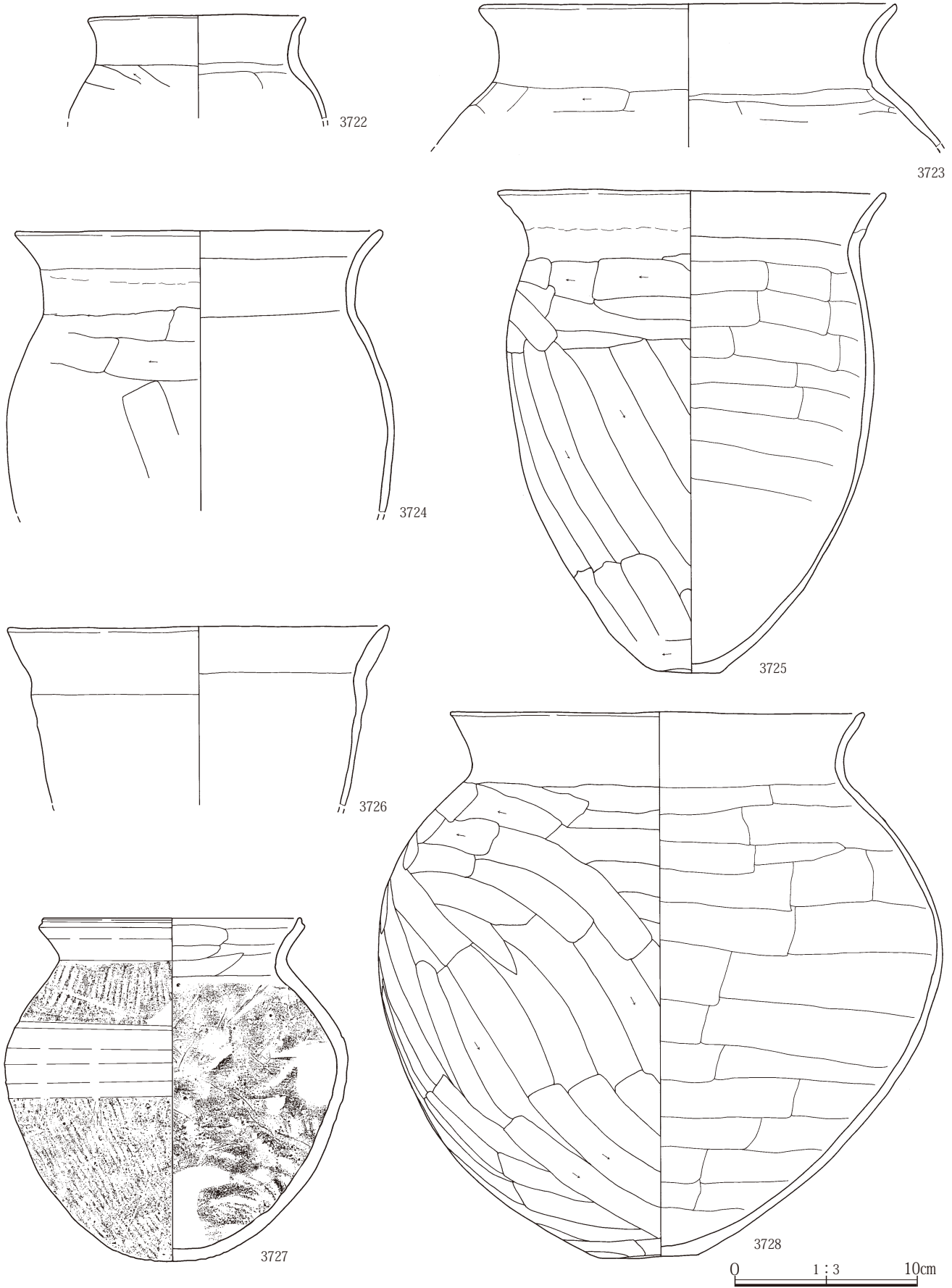
5区3号溝出土遺物(1)



0 1:3 10cm

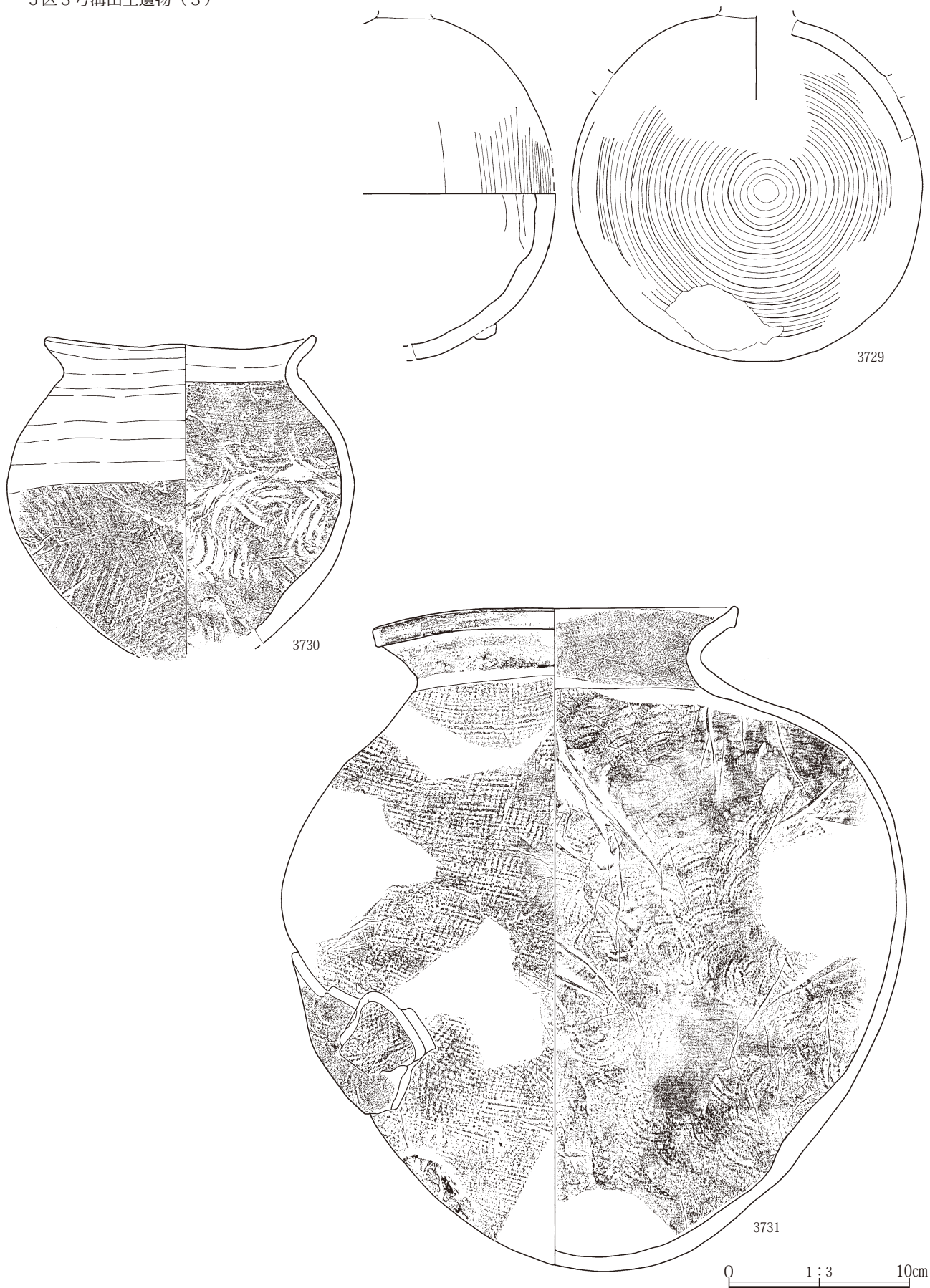
第345図 古墳～平安時代出土遺物70

5区3号溝出土遺物(2)



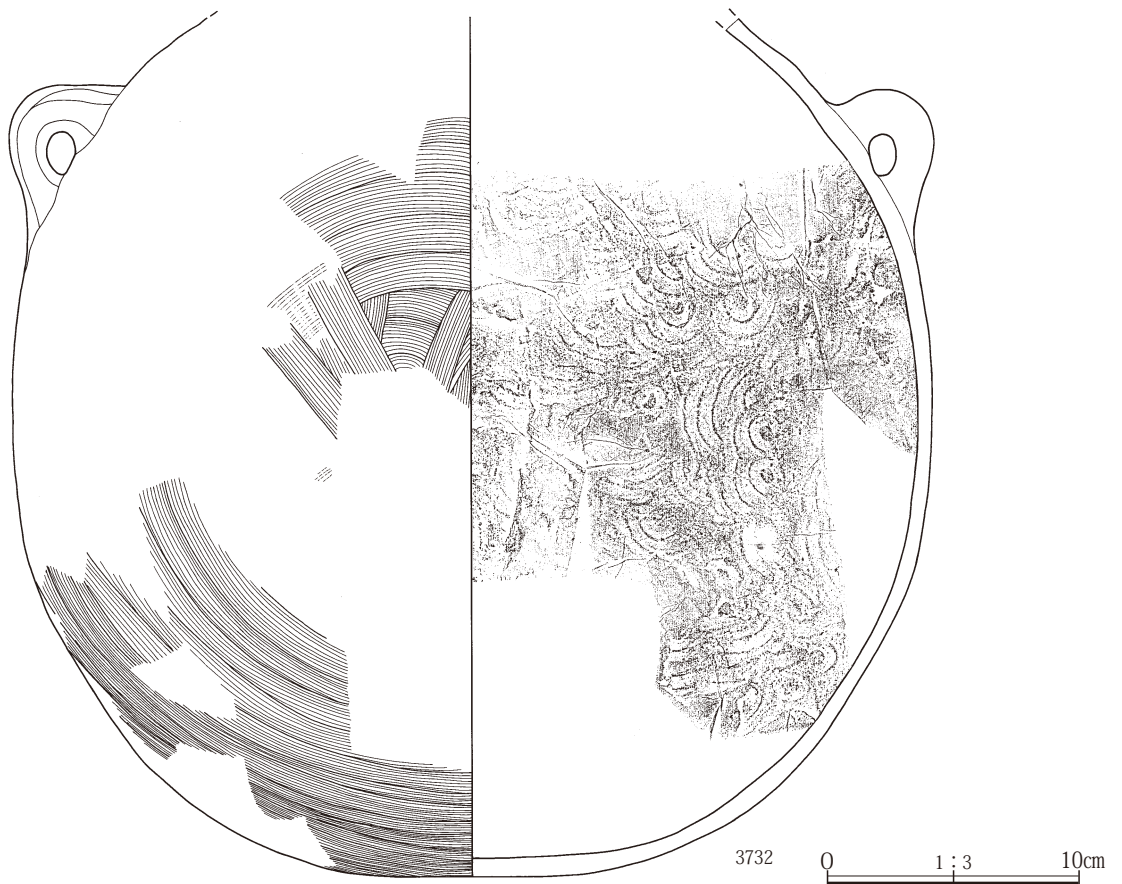
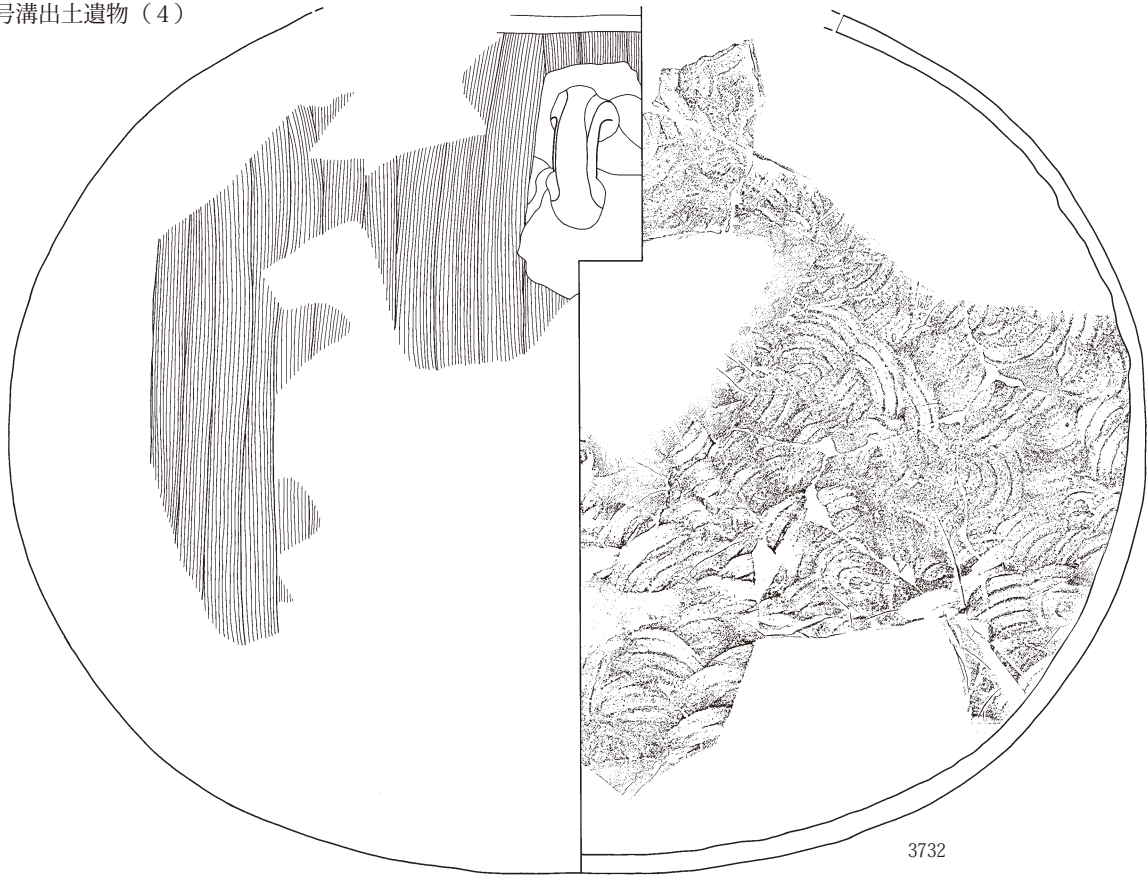
第346図 古墳～平安時代出土遺物71

5区3号溝出土遺物(3)



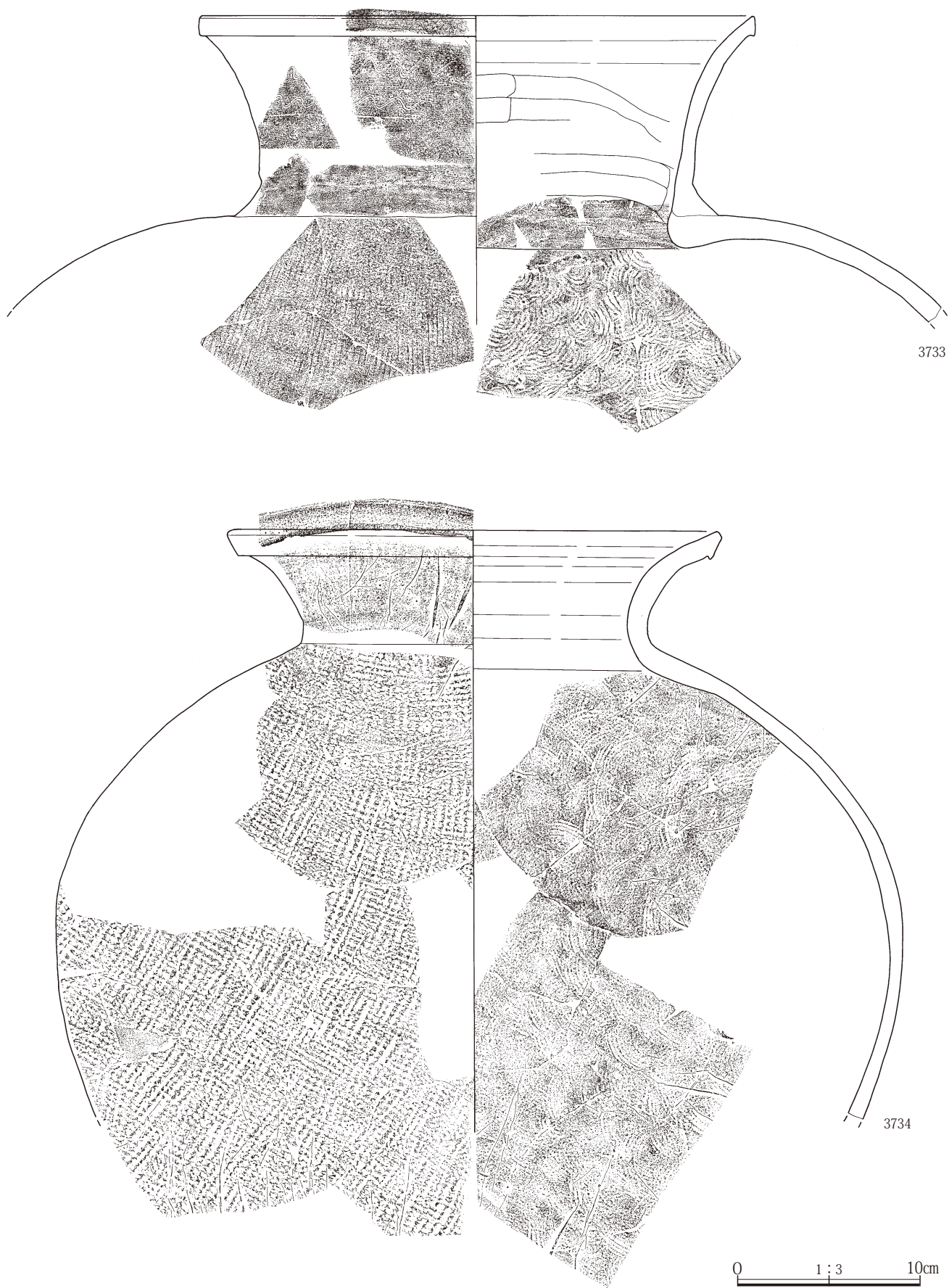
第347図 古墳～平安時代出土遺物72

5区3号溝出土遺物(4)



第348図 古墳～平安時代出土遺物73

5区3号溝出土遺物(5)

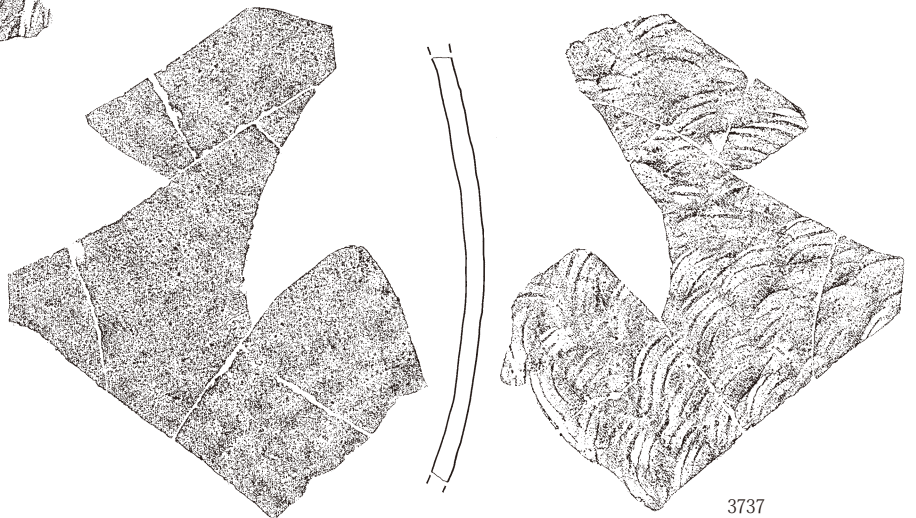
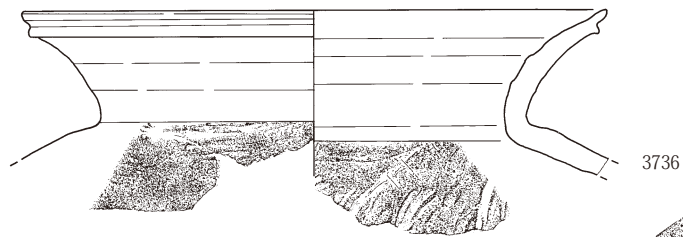


第349図 古墳～平安時代出土遺物74

5区3号溝出土遺物(6)



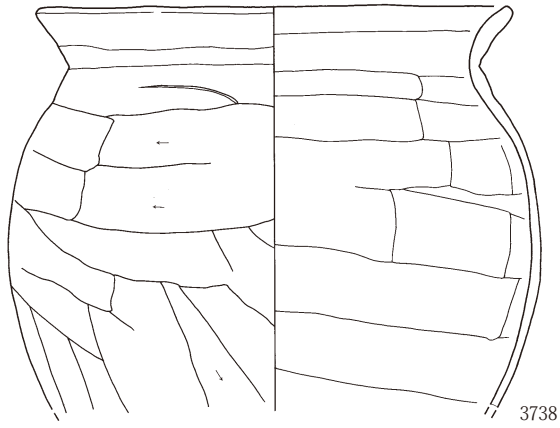
6区3号溝出土遺物



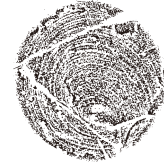
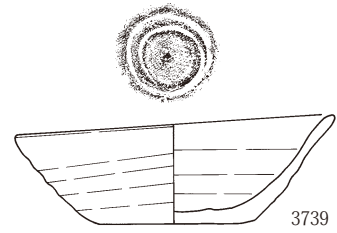
0 1:3 10cm

第350図 古墳～平安時代出土遺物75

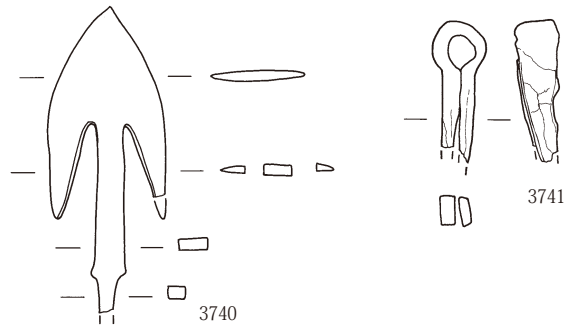
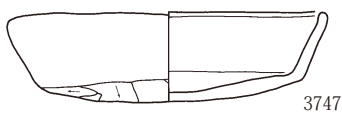
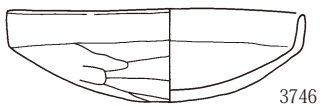
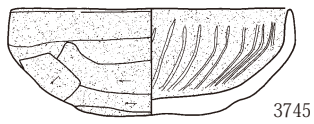
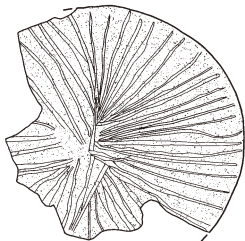
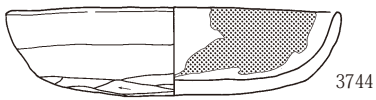
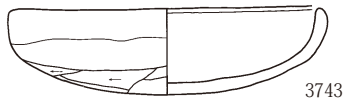
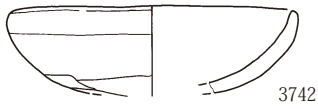
6区56号溝出土遺物



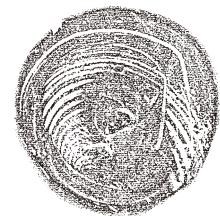
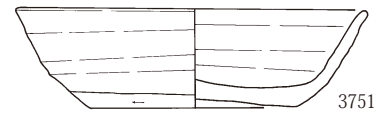
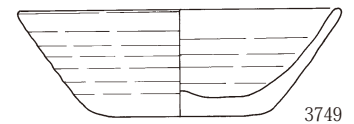
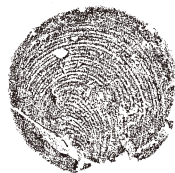
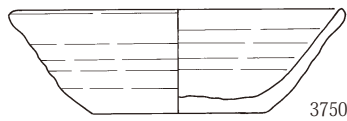
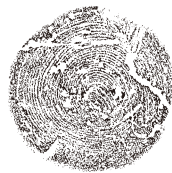
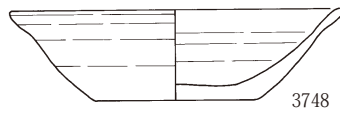
6区58号溝出土遺物



6区61号溝出土遺物(1)



0 3740・3741 1:2 10cm



0 1:3 10cm

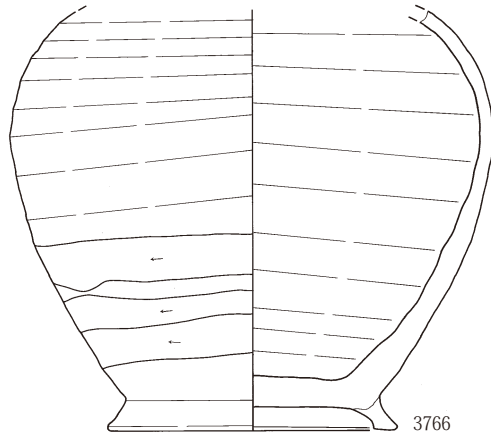
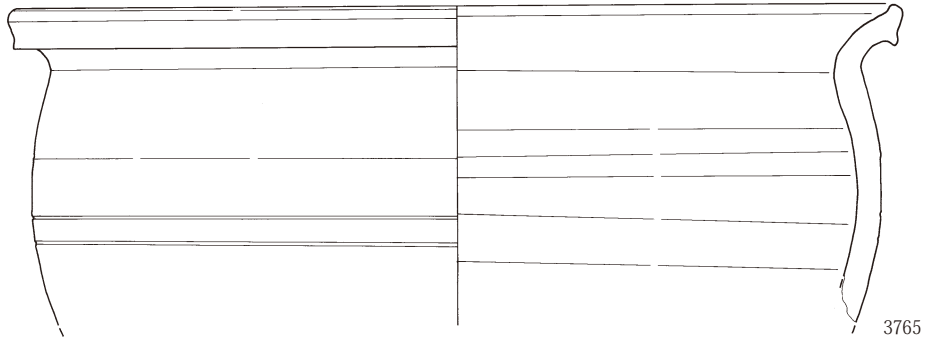
第351図 古墳～平安時代出土遺物76

6区61号溝出土遺物(2)

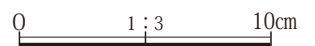
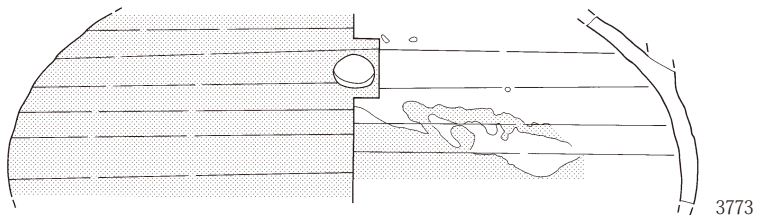
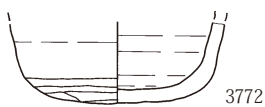
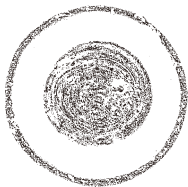
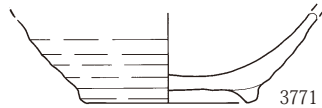
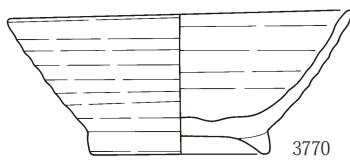
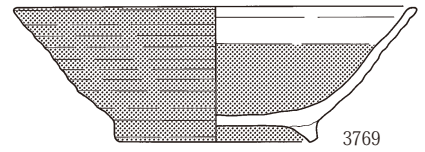
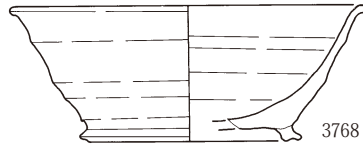
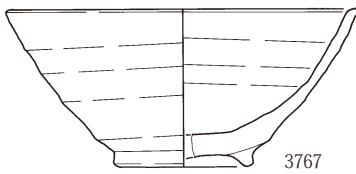


第352図 古墳～平安時代出土遺物77

6区61号溝出土遺物(3)

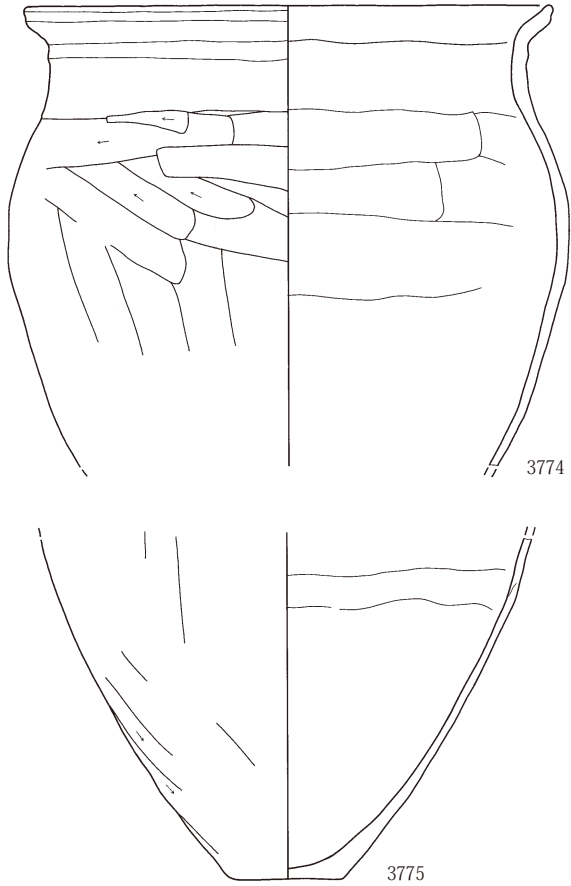


7区1号溝出土遺物(1)

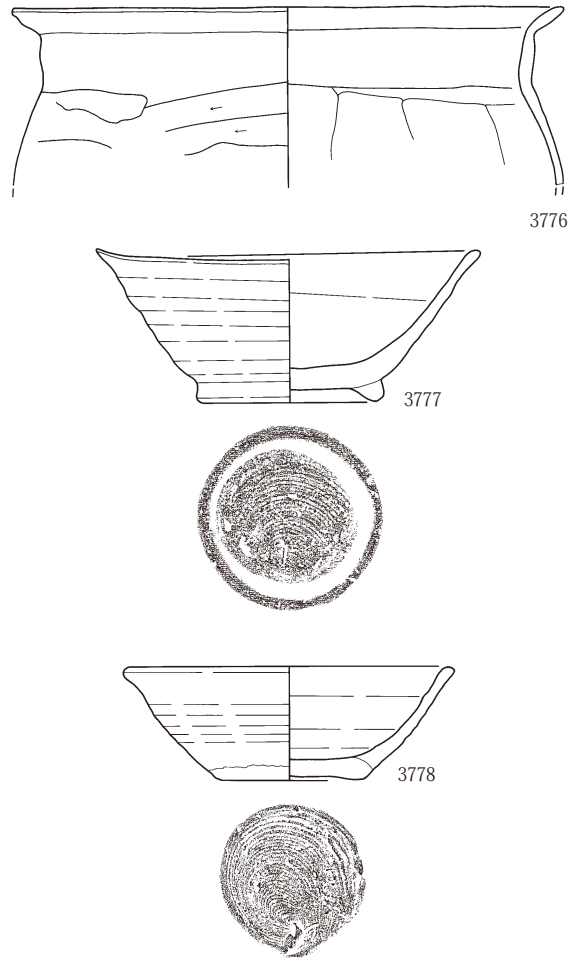


第353図 古墳～平安時代出土遺物78

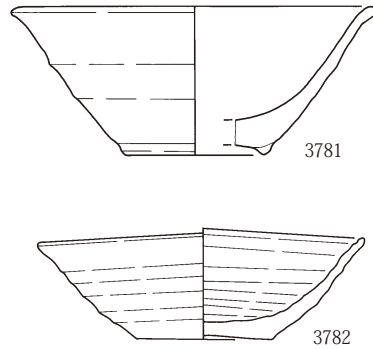
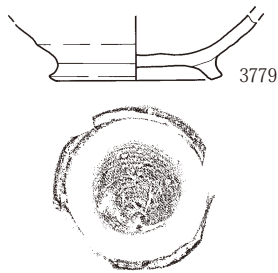
7区1号溝出土遺物(2)



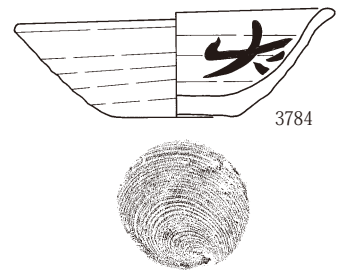
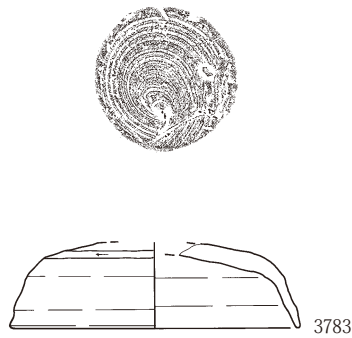
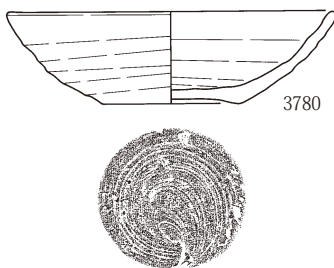
7区3号溝出土遺物



7区8号溝出土遺物



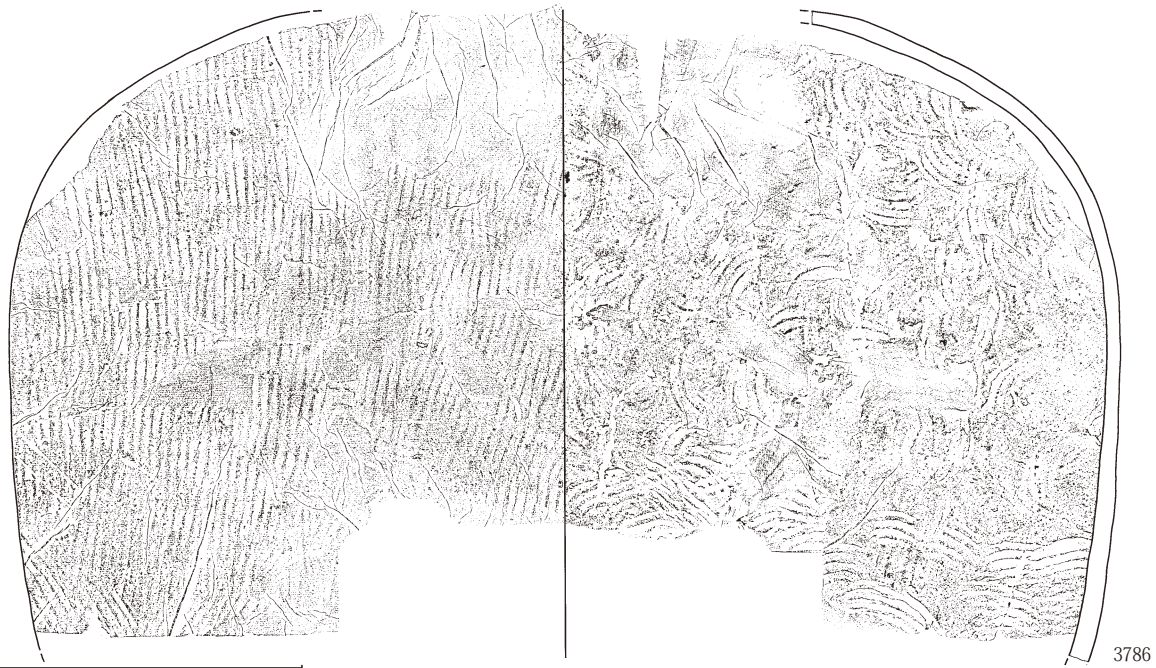
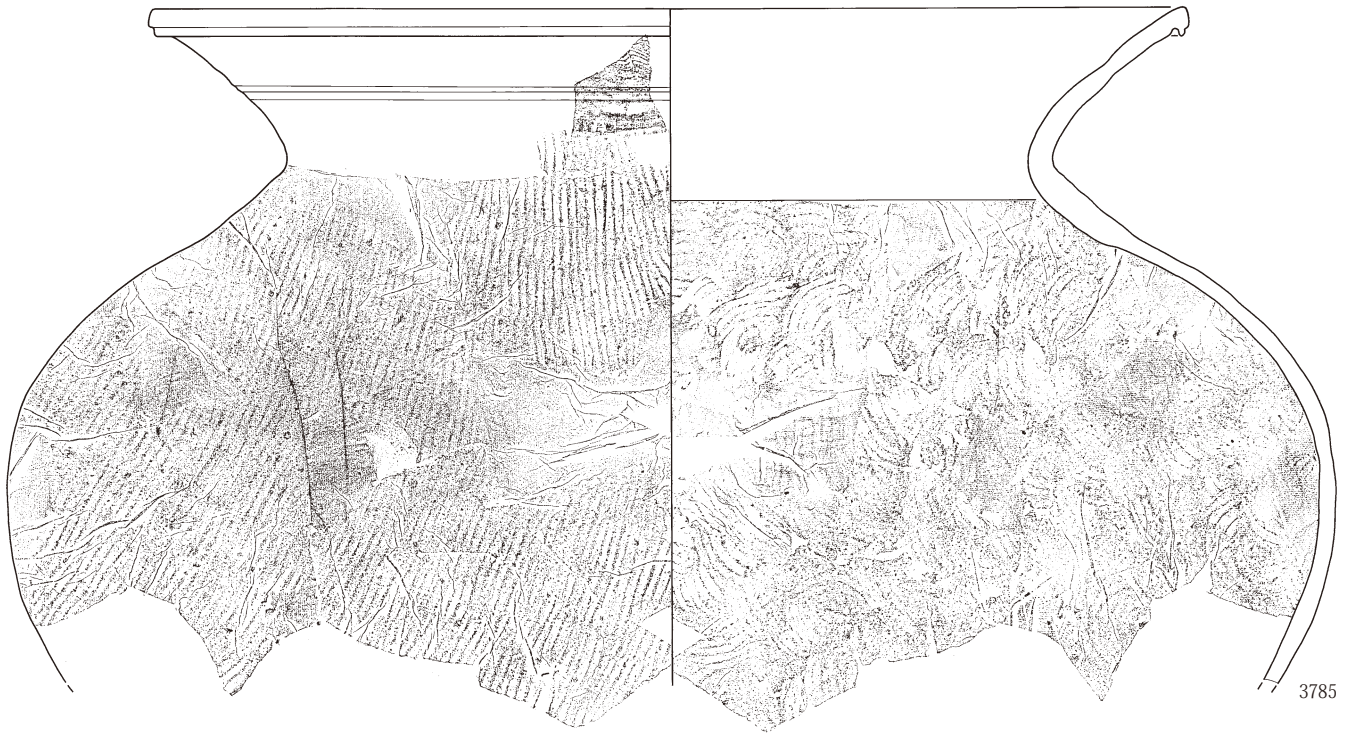
7区9号溝出土遺物



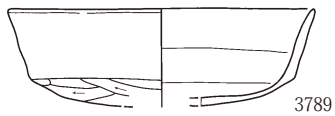
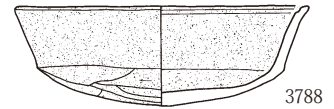
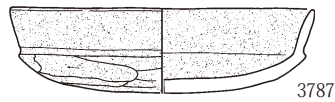
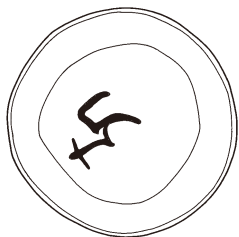
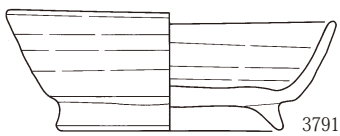
0 1:3 10cm

第354図 古墳～平安時代出土遺物79

7区 13号溝出土遺物



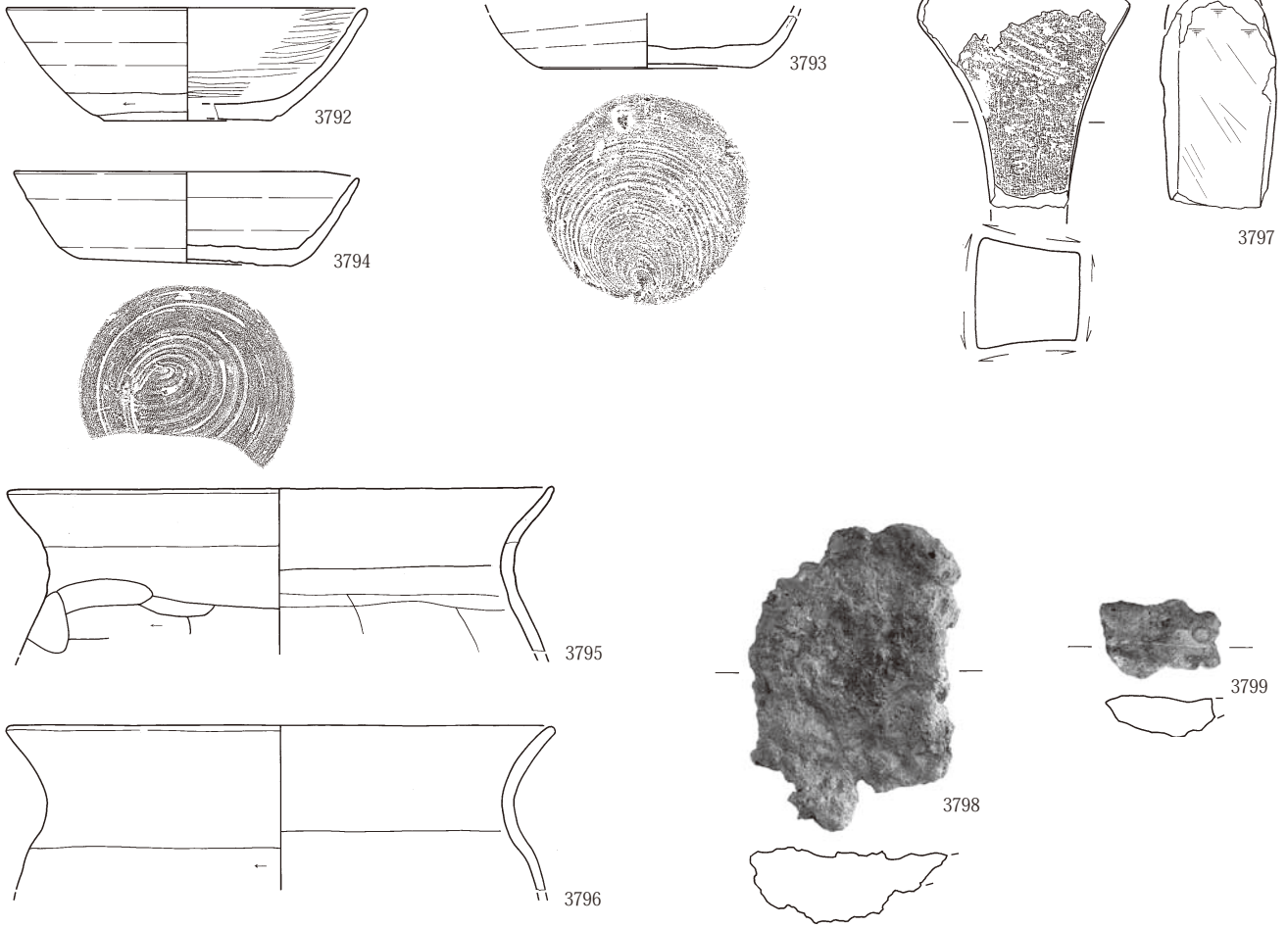
1区303号井戸出土遺物



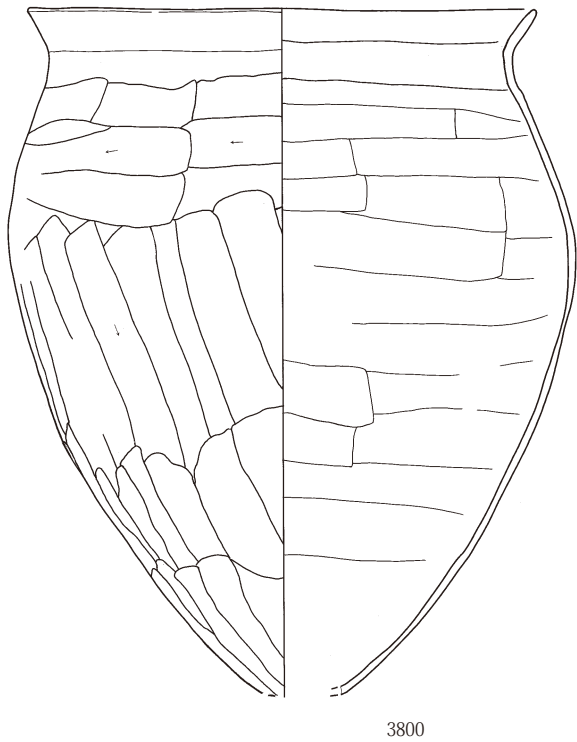
0 1:3 10cm

第355図 古墳～平安時代出土遺物80

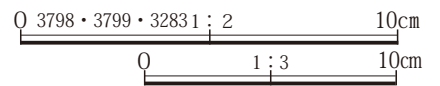
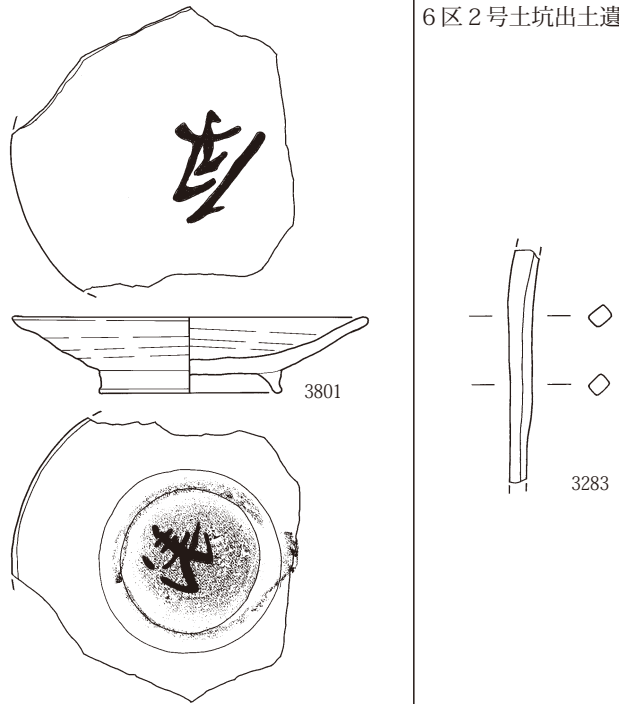
1区305号井戸出土遺物



6区1号井戸出土遺物

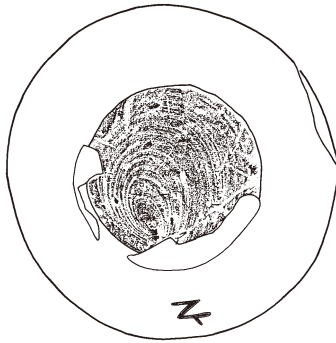
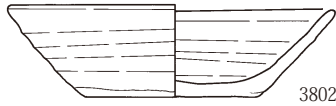
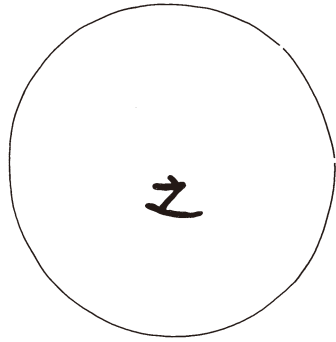


6区2号土坑出土遺物

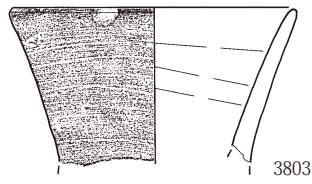


第356図 古墳～平安時代出土遺物81

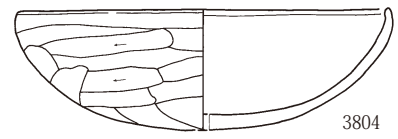
3区11号土坑出土遺物



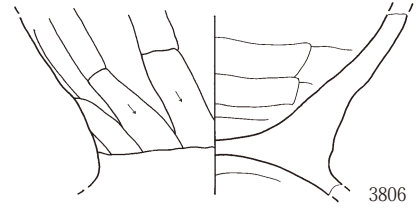
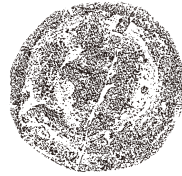
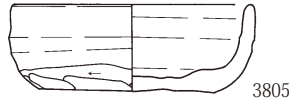
4区19・20号土坑出土遺



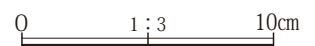
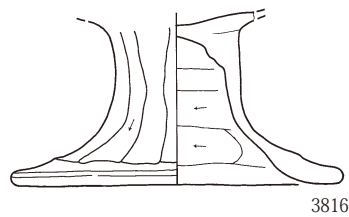
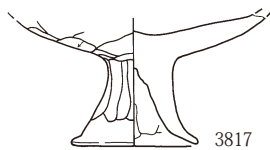
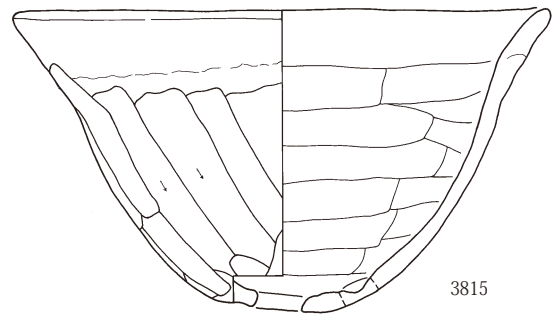
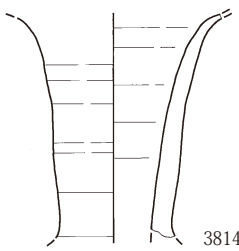
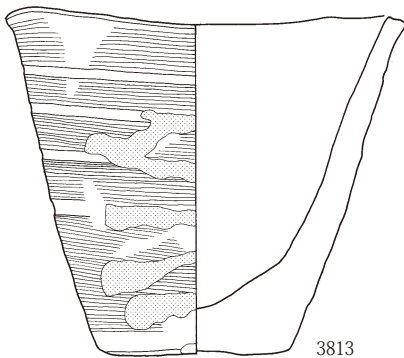
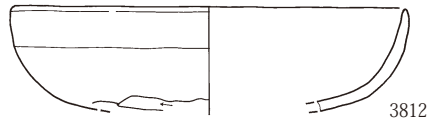
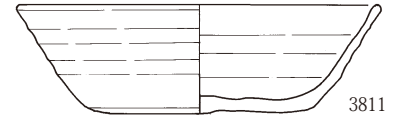
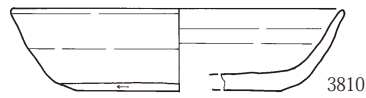
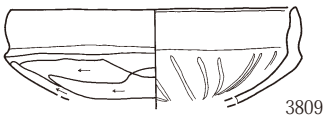
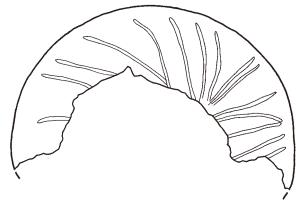
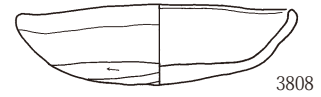
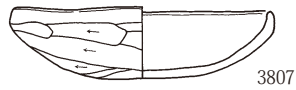
5区459号土坑出土遺物



5区211号土坑出土遺物

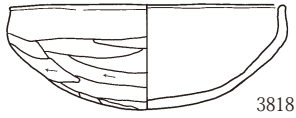


5区215号土坑出土遺物

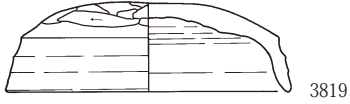


第357図 古墳～平安時代出土遺物82

6区187号土坑出土遺物

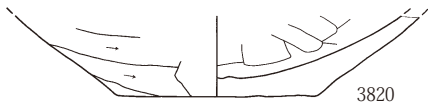


3818



3819

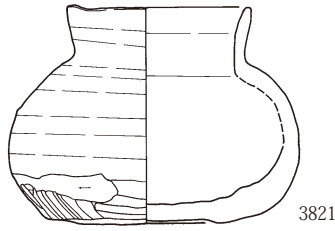
7区4号土坑出土遺物



3820



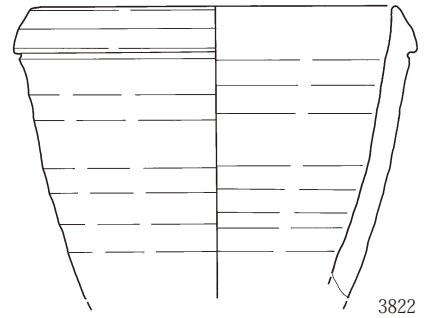
7区5号畠出土遺物



3821

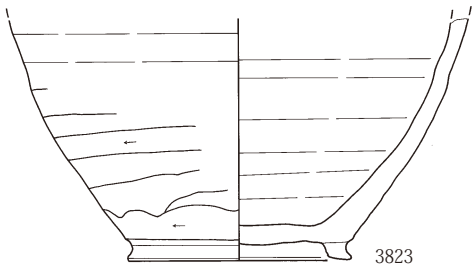


7区7号畠出土遺物

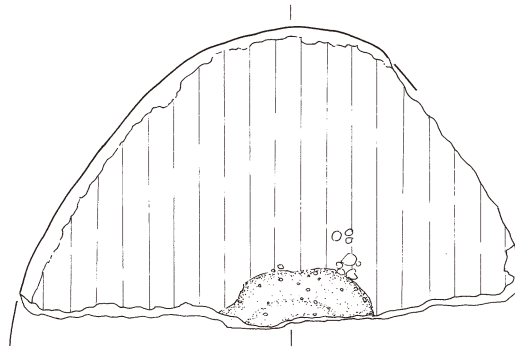


3822

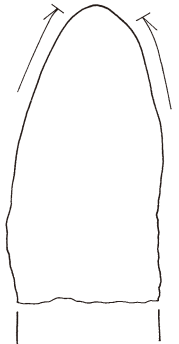
6区1号遺物集積出土遺物



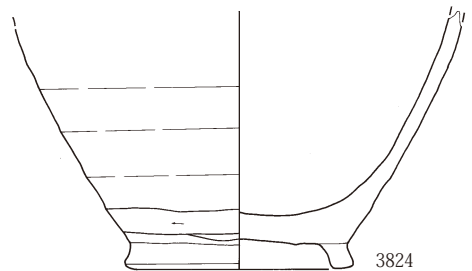
3823



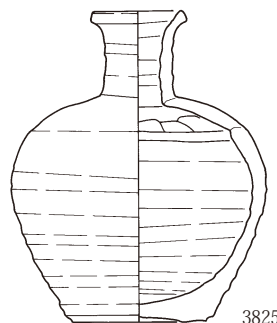
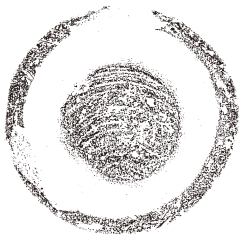
3826



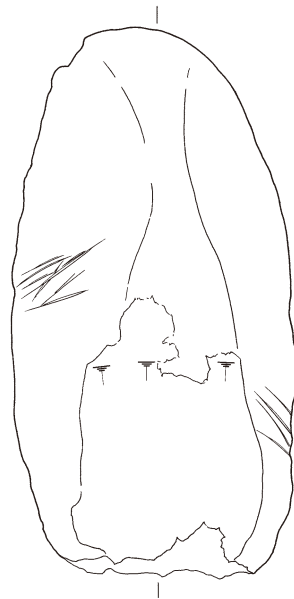
3826



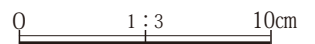
3824



3825

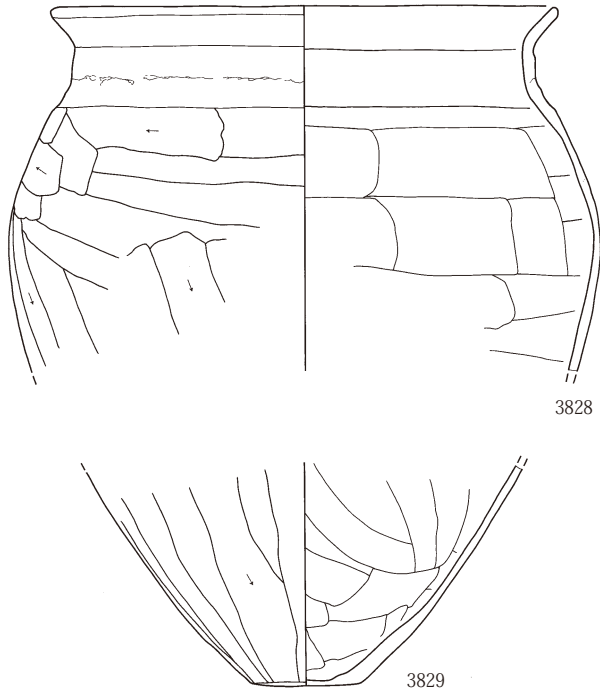


3827

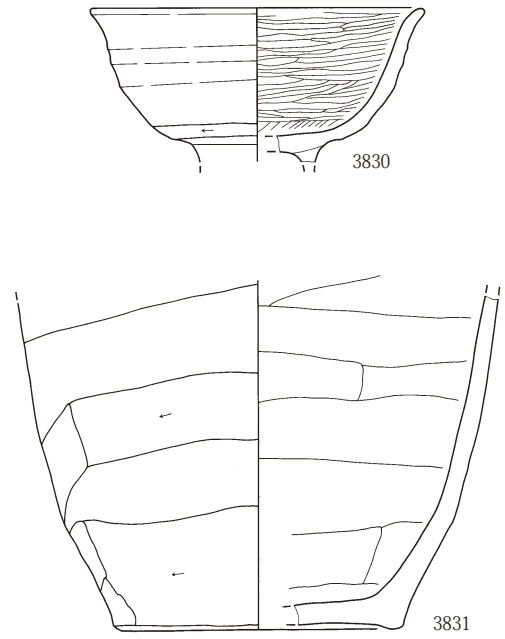


第358図 古墳～平安時代出土遺物83

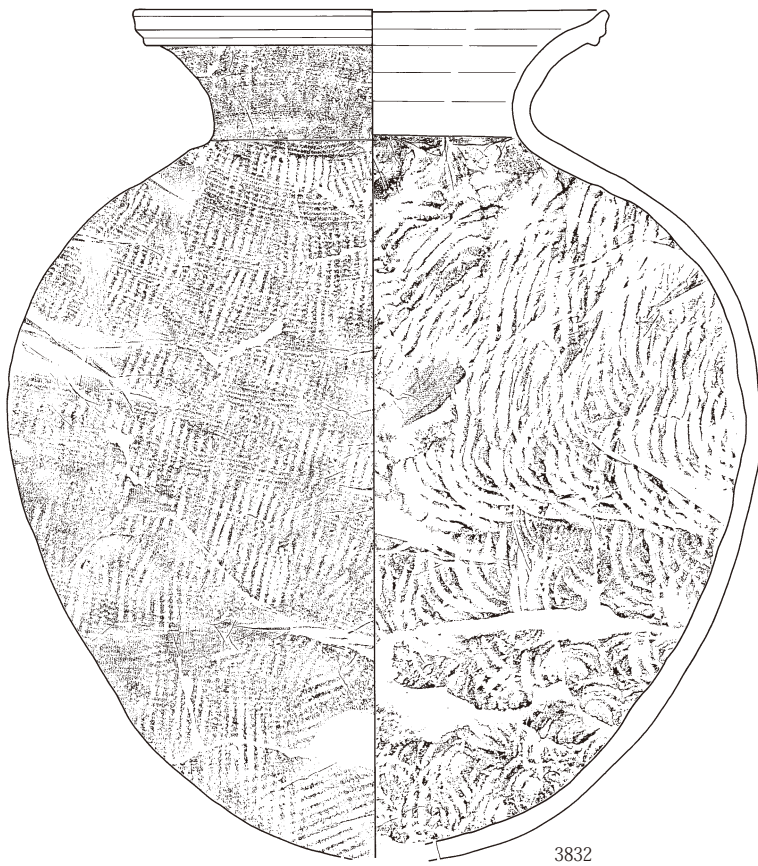
6区2号遺物集積出土遺物



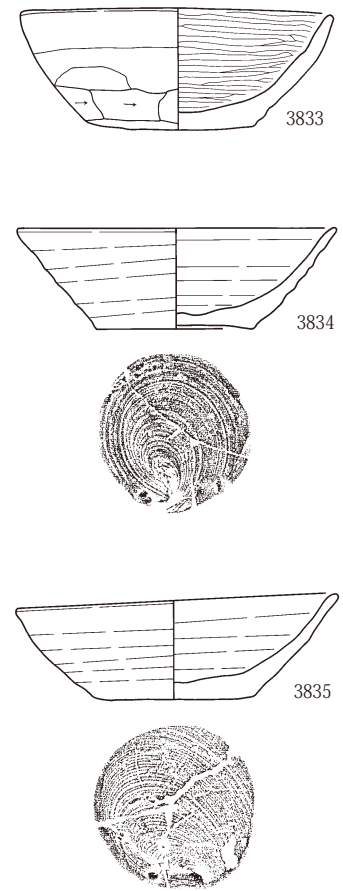
6区3号遺物集積出土遺物



6区4号遺物集積出土遺物(1)



6区5号遺物集積出土遺物



0 1:3 10cm

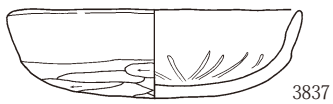
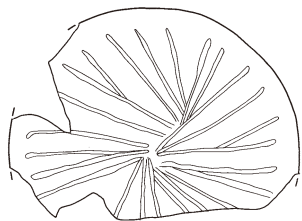
第359図 古墳～平安時代出土遺物84

6区4号遺物集積出土遺物(2)

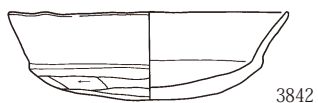


3836

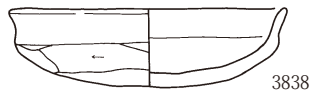
7区2号遺物集石出土遺物(1)



3837



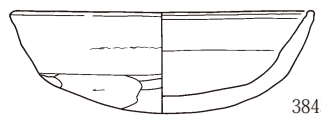
3842



3838



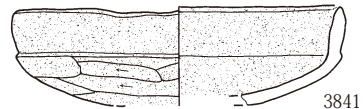
3840



3843



3839



3841

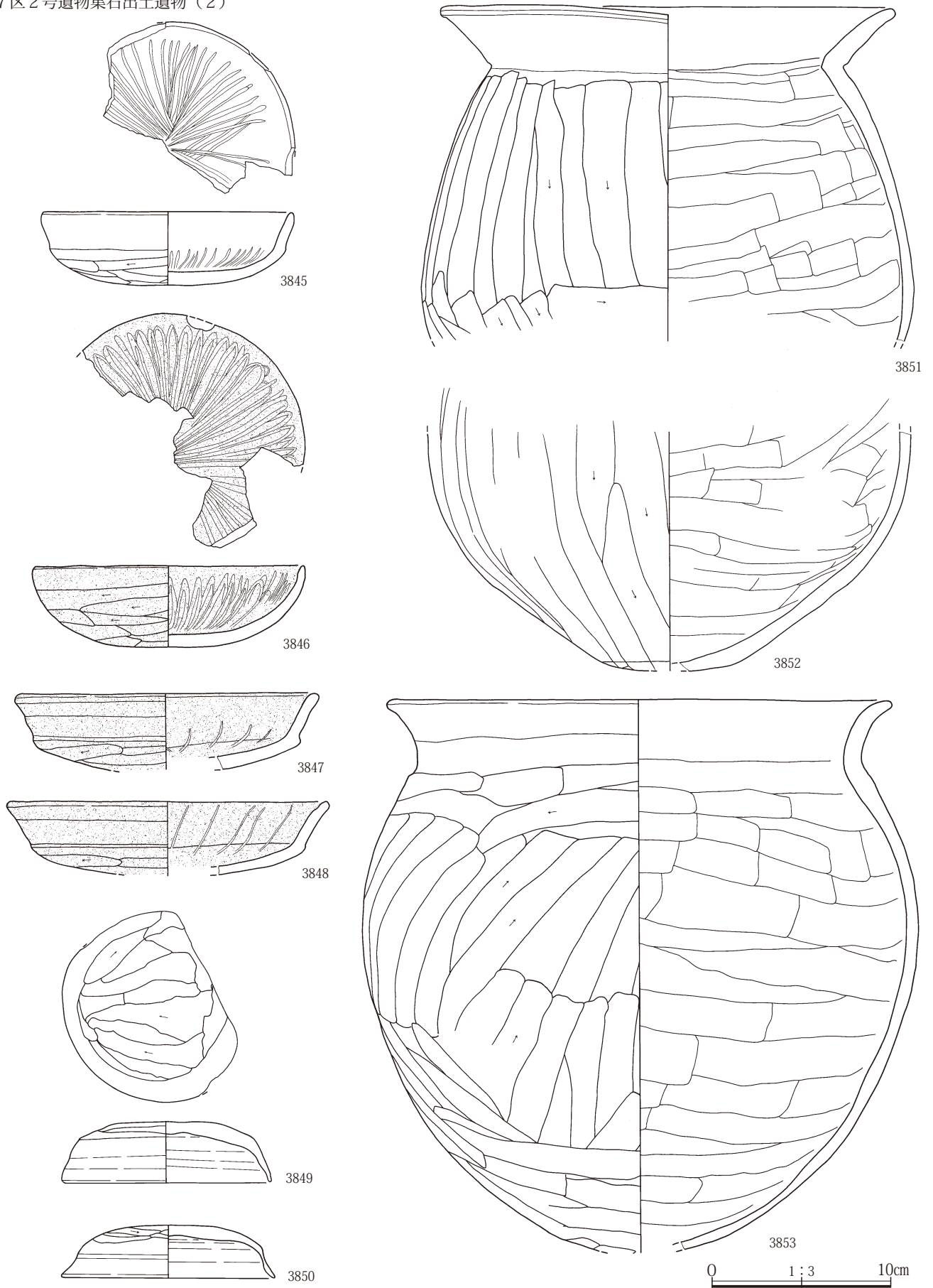


3844

0 1:3 10cm

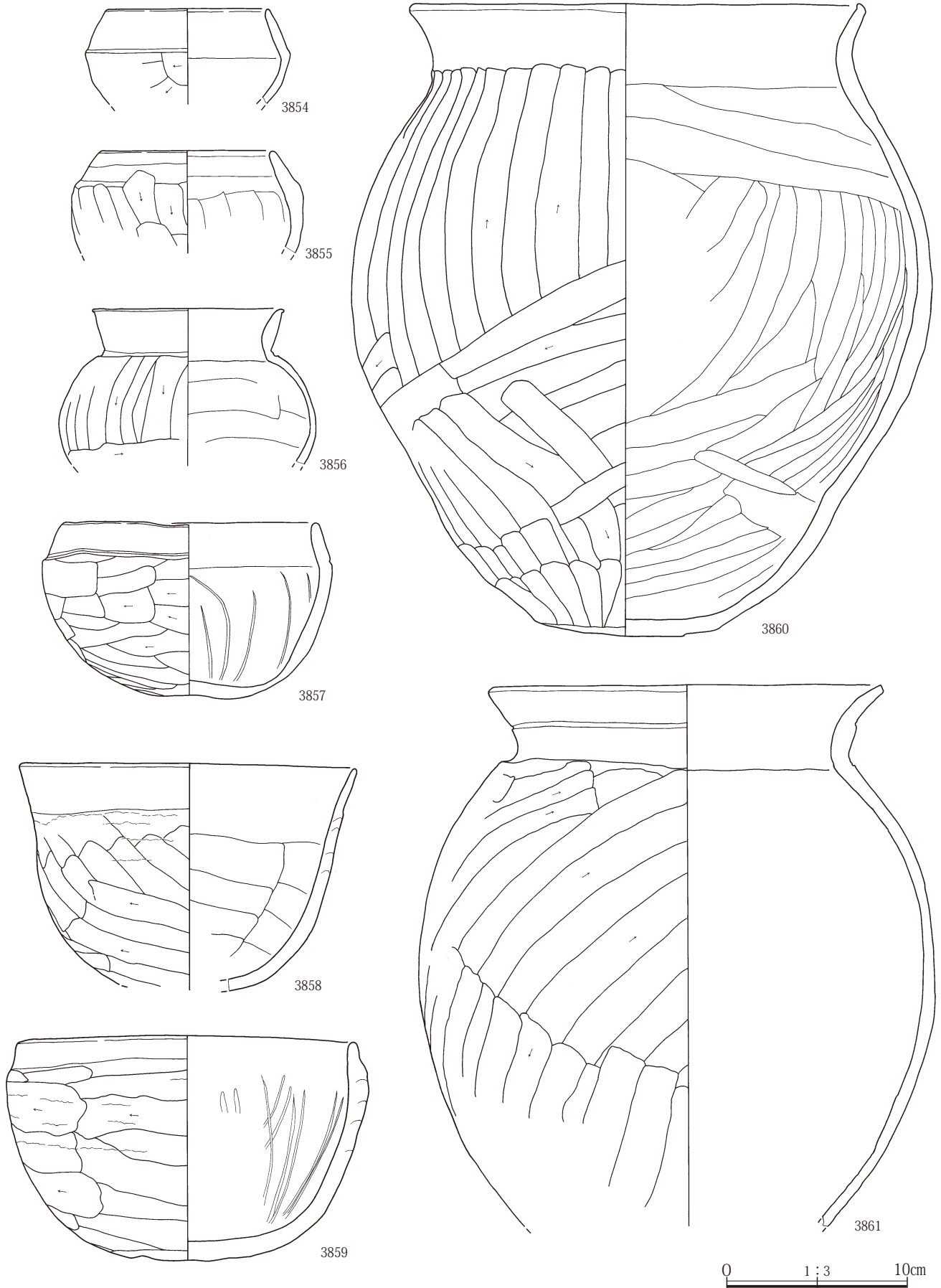
第360図 古墳～平安時代出土遺物85

7区2号遺物集石出土遺物(2)



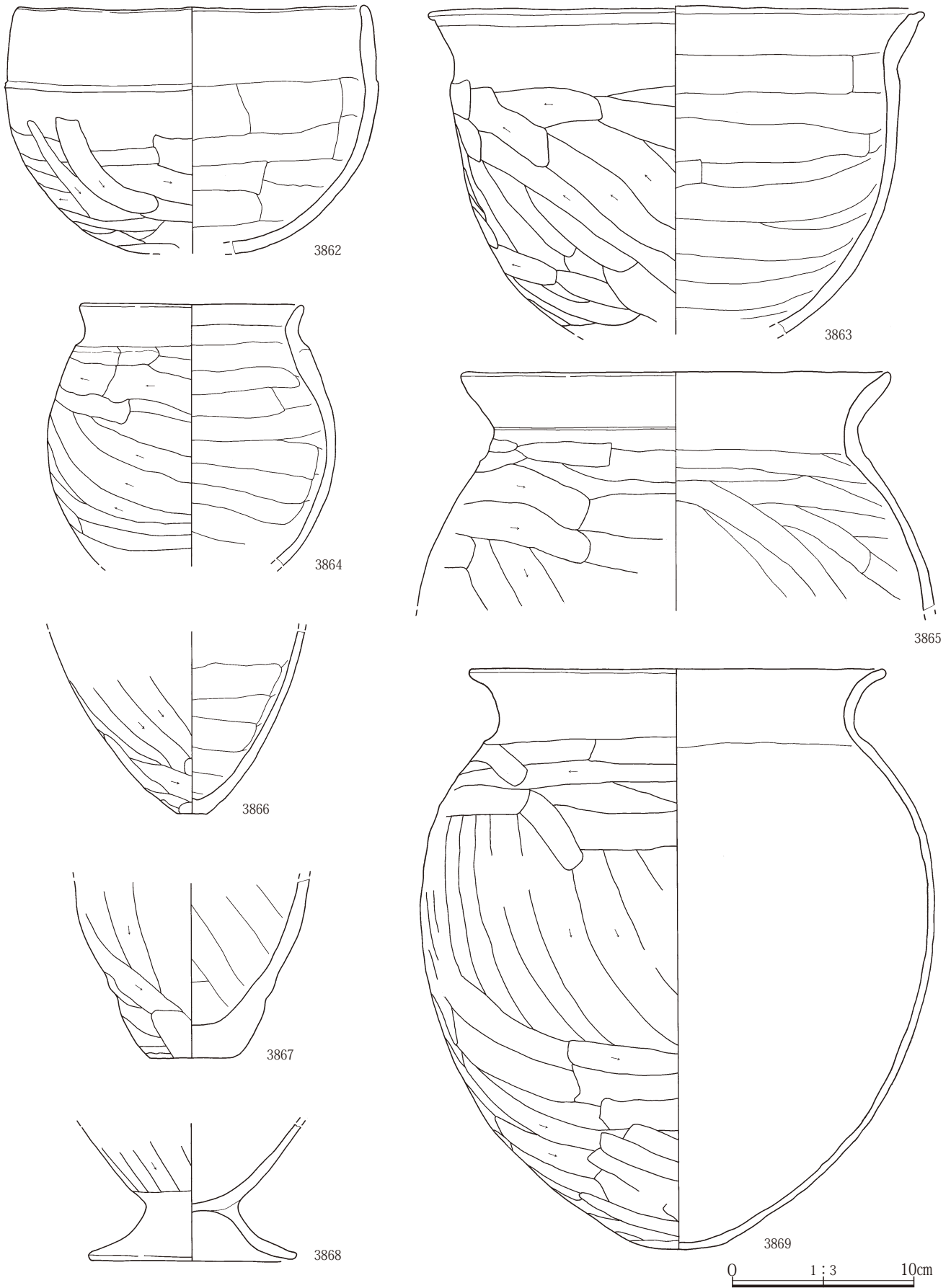
第361図 古墳～平安時代出土遺物86

7区2号遺物集石出土遺物(3)



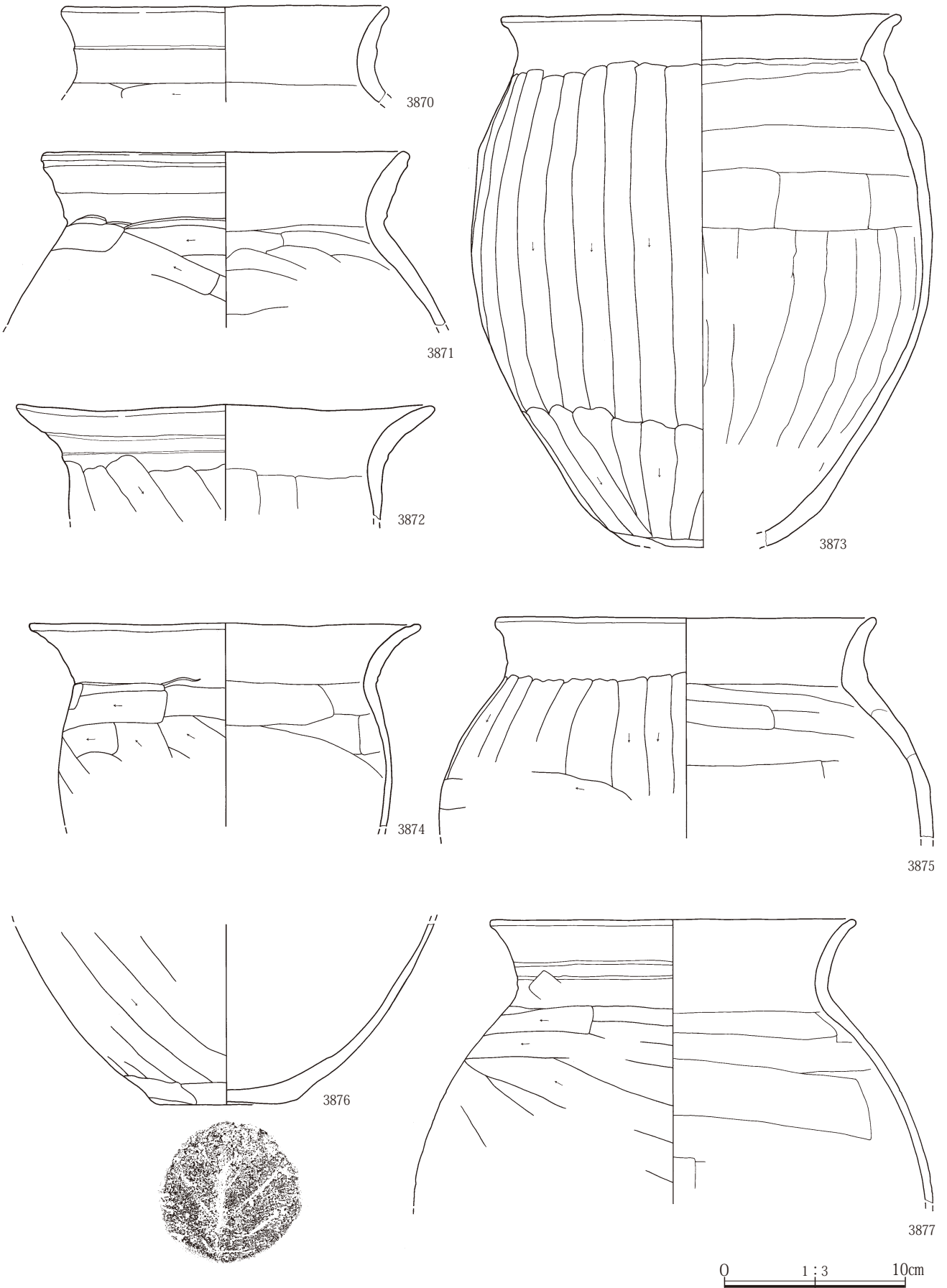
第362図 古墳～平安時代出土遺物87

7区2号遺物集石出土遺物(4)



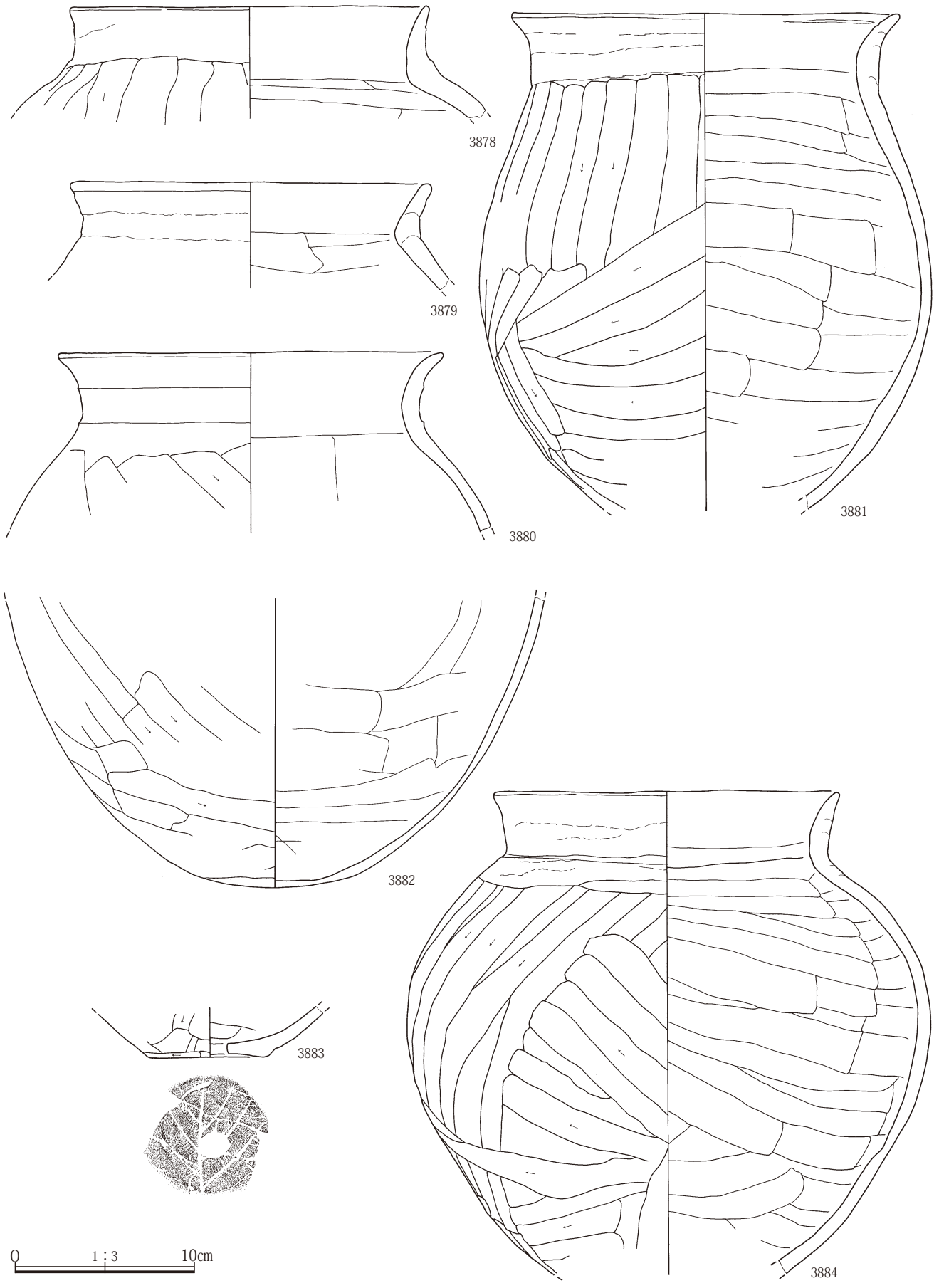
第363図 古墳～平安時代出土遺物88

7区2号遺物集石出土遺物(5)



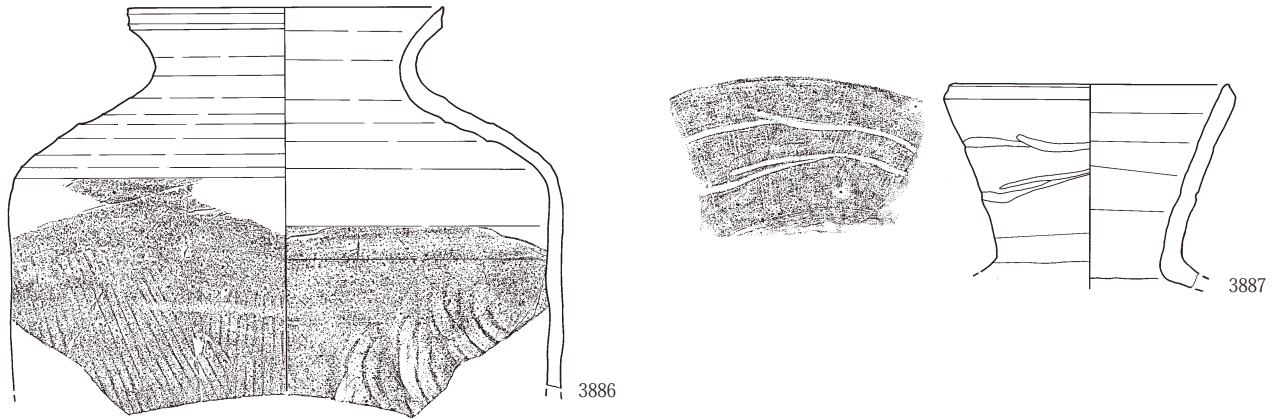
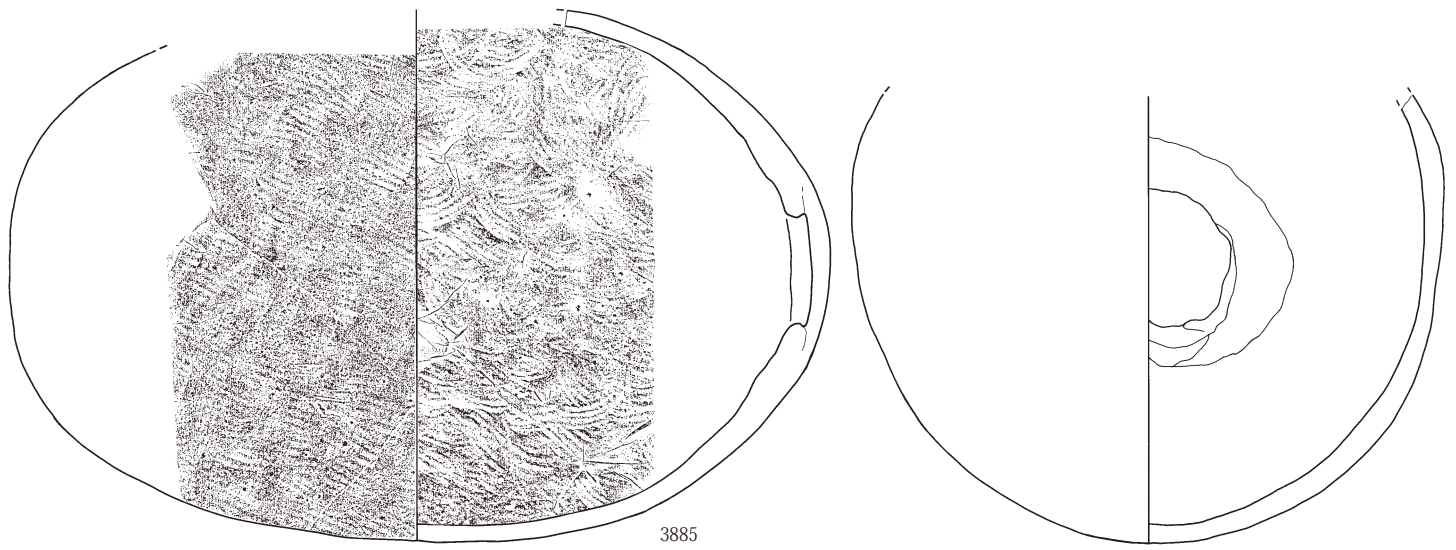
第364図 古墳～平安時代出土遺物89

7区2号遺物集石出土遺物(6)

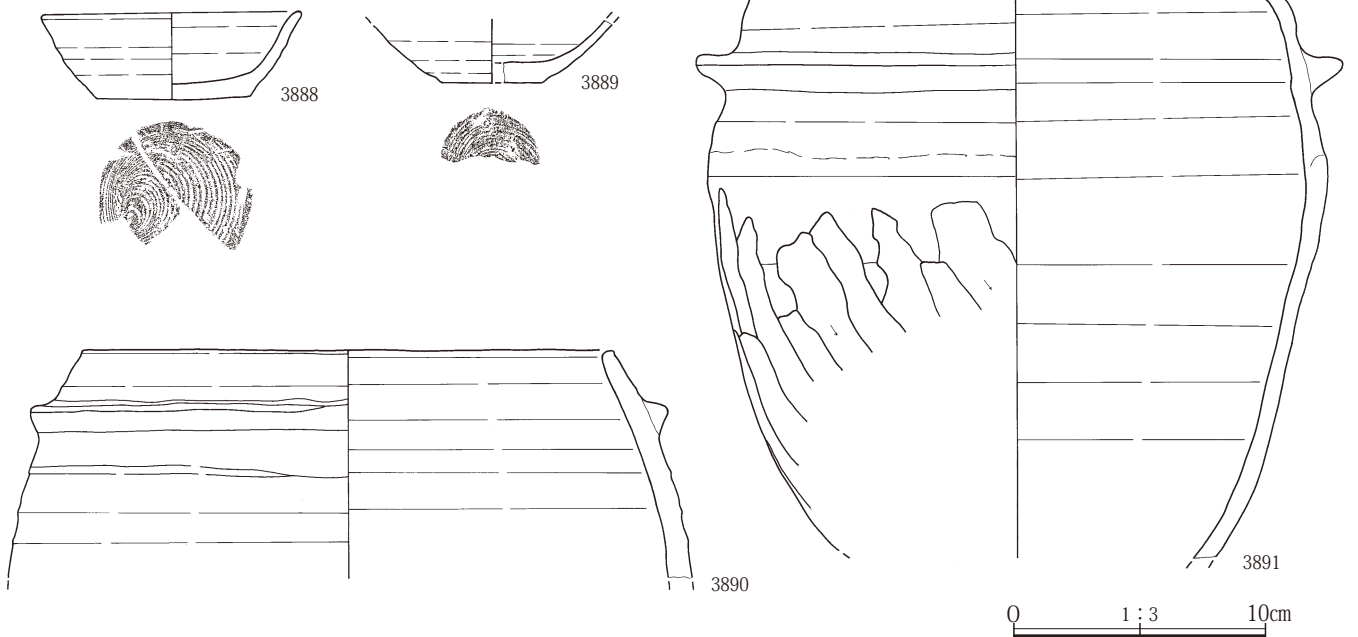


第365図 古墳～平安時代出土遺物90

7区2号遺物集石出土遺物(7)

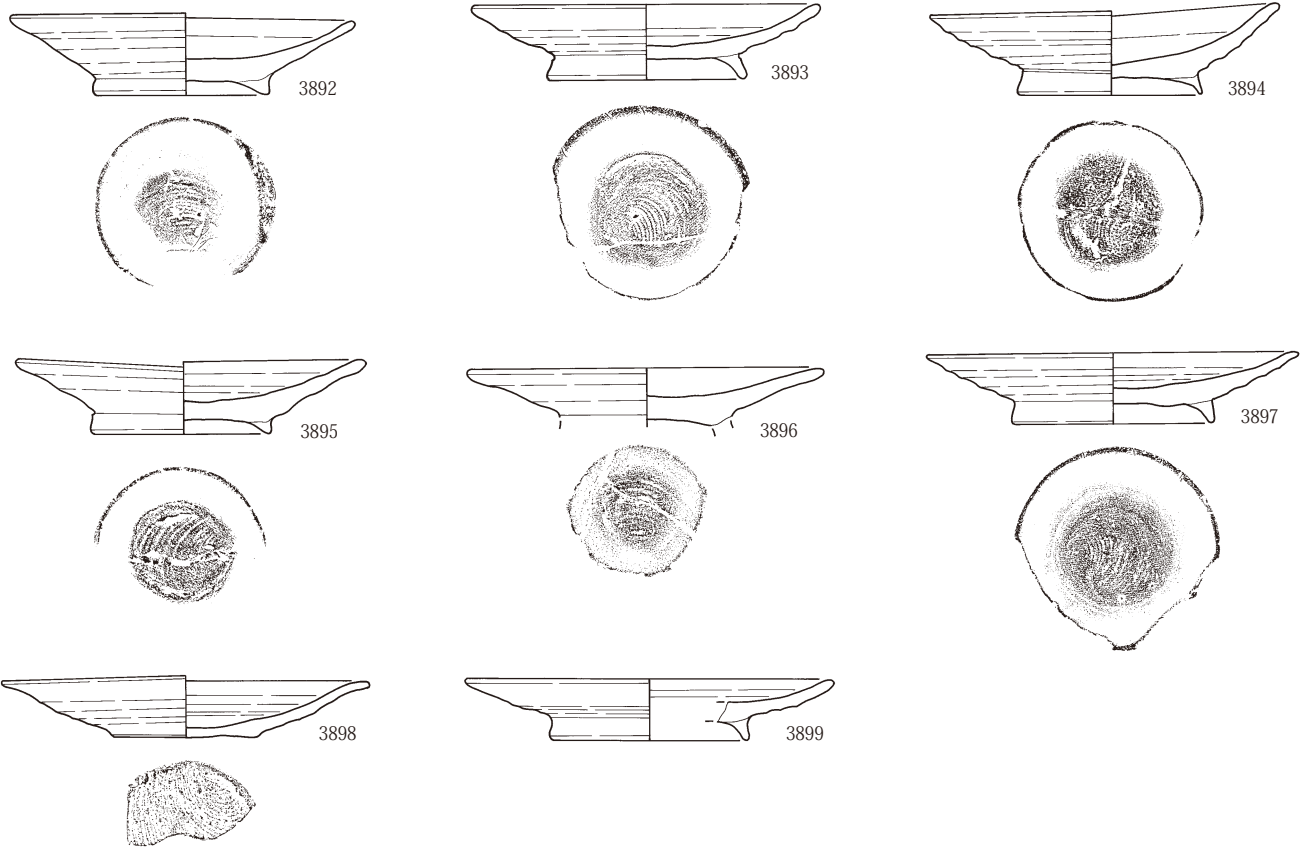


7区1号遺物集中出土遺物

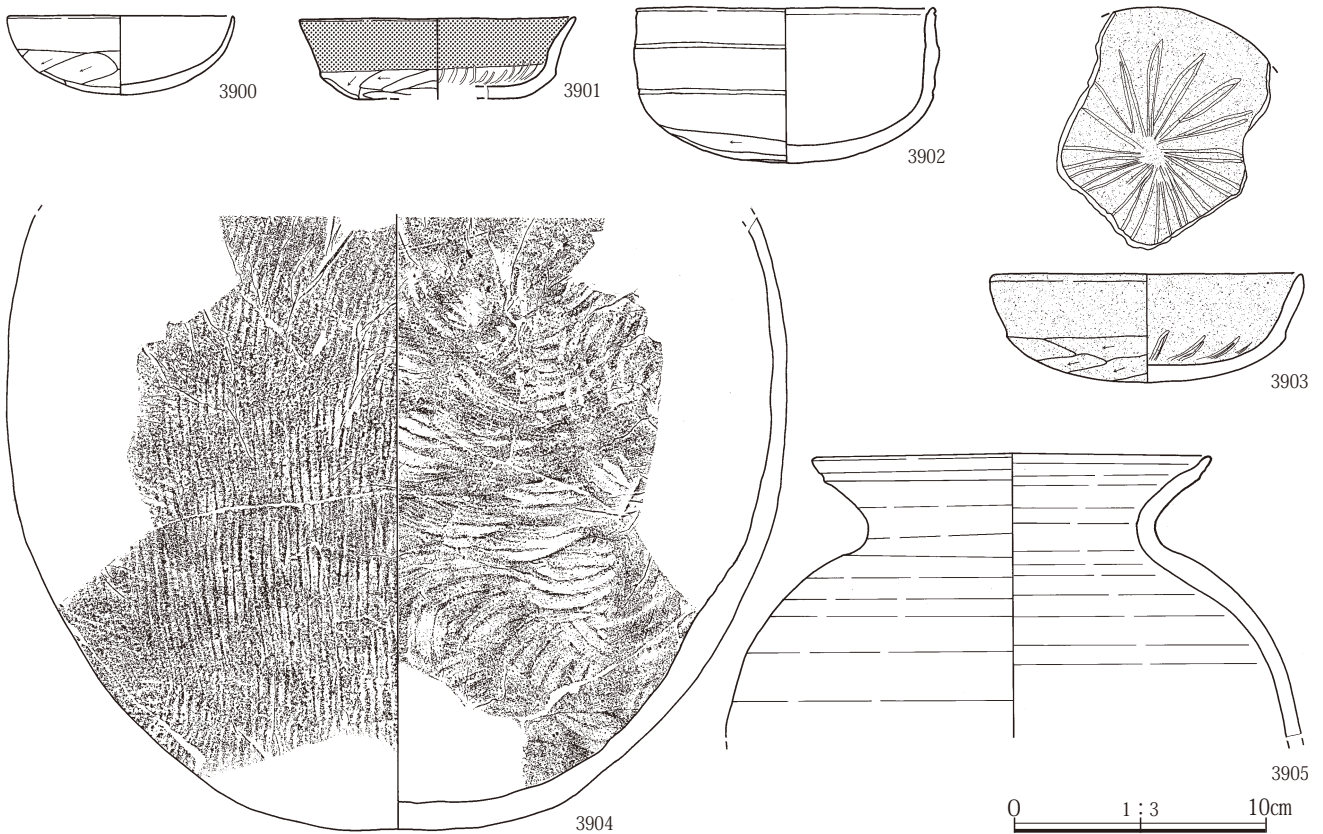


第366図 古墳～平安時代出土遺物91

6区1号竖穴遺構出土遺物

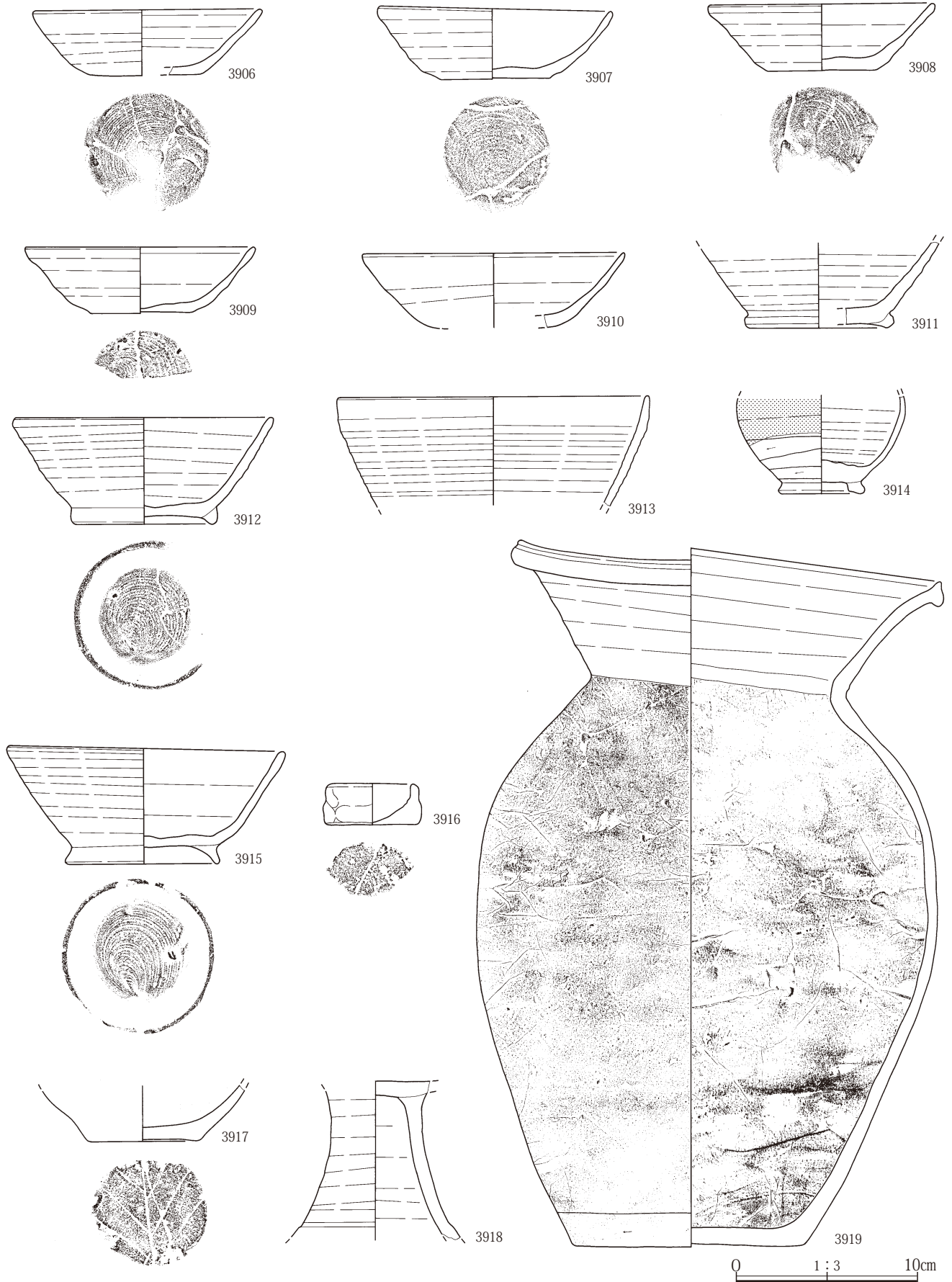


6区5号竖穴遺構出土遺物



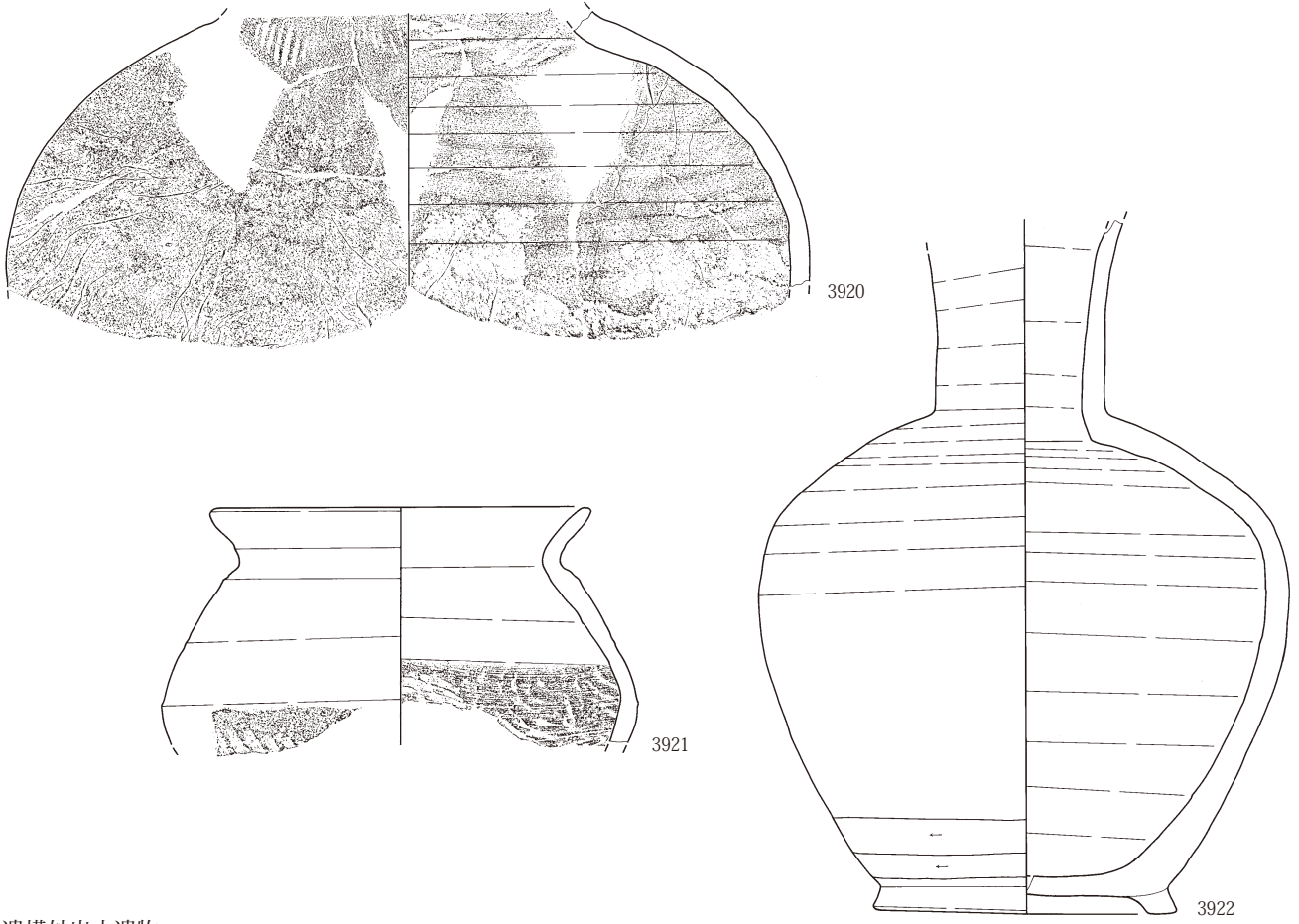
第367図 古墳～平安時代出土遺物92

6区土砂採掘坑出土遺物(1)

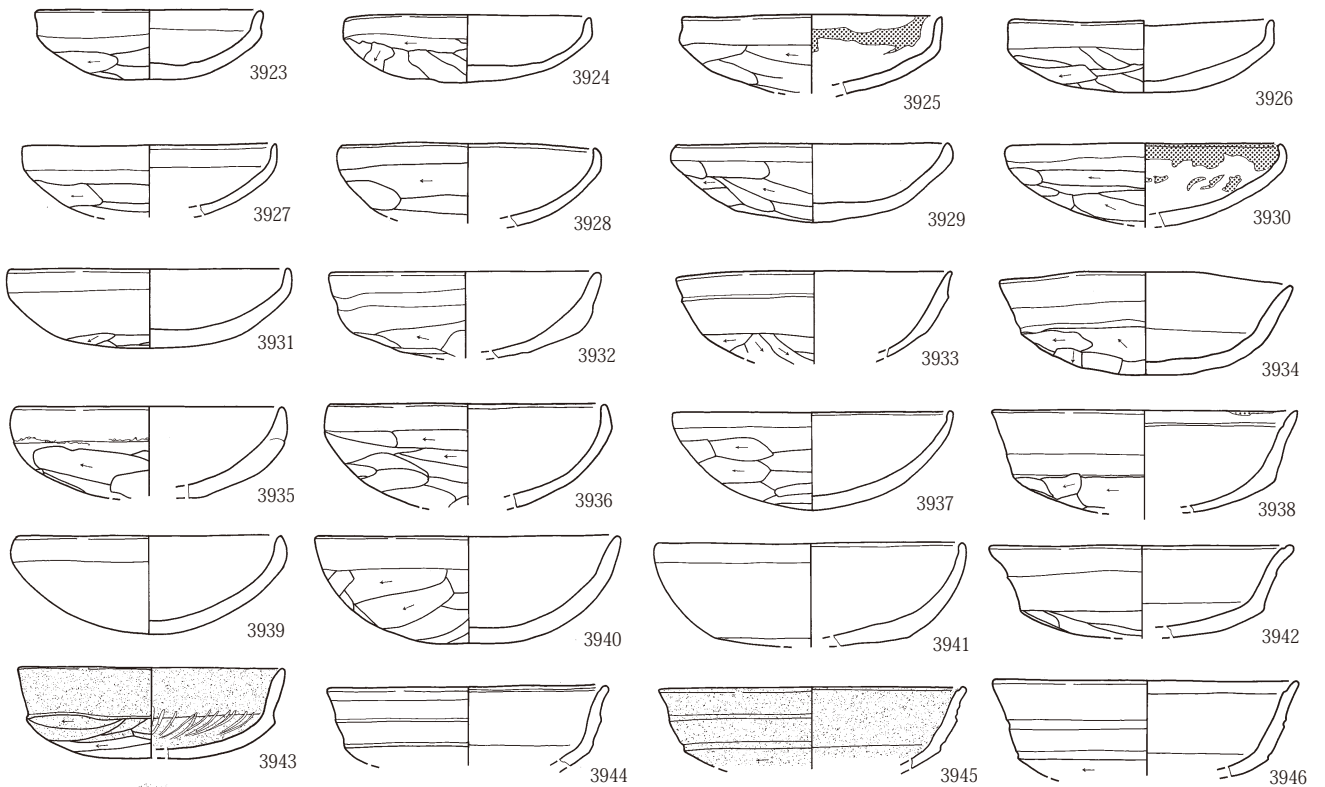


第368図 古墳～平安時代出土遺物93

6区土砂採掘坑出土遺物(2)

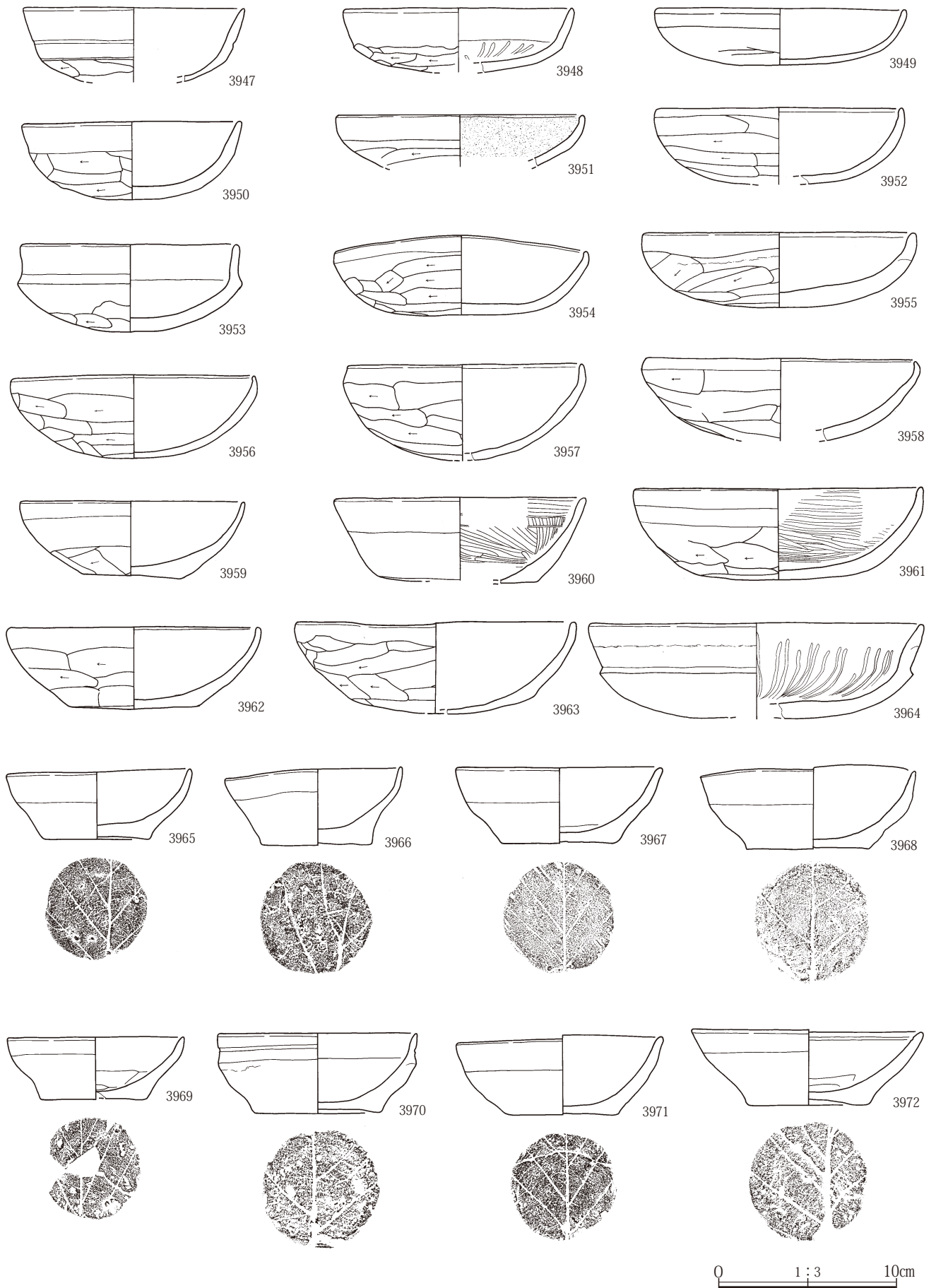


遺構外出土遺物

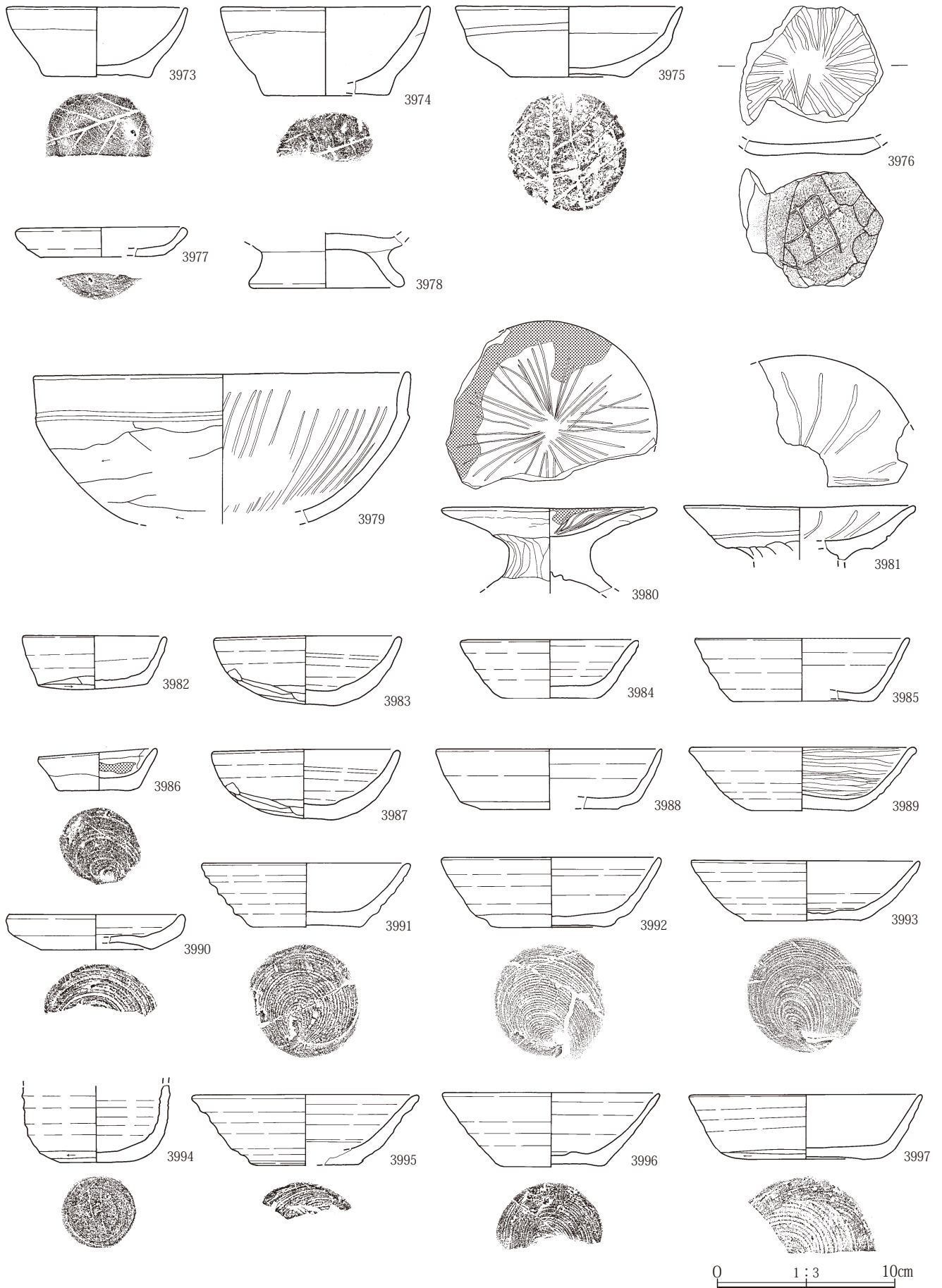


第369図 古墳～平安時代出土遺物94(遺構外出土遺物1)

第4節 古墳時代後期～平安時代

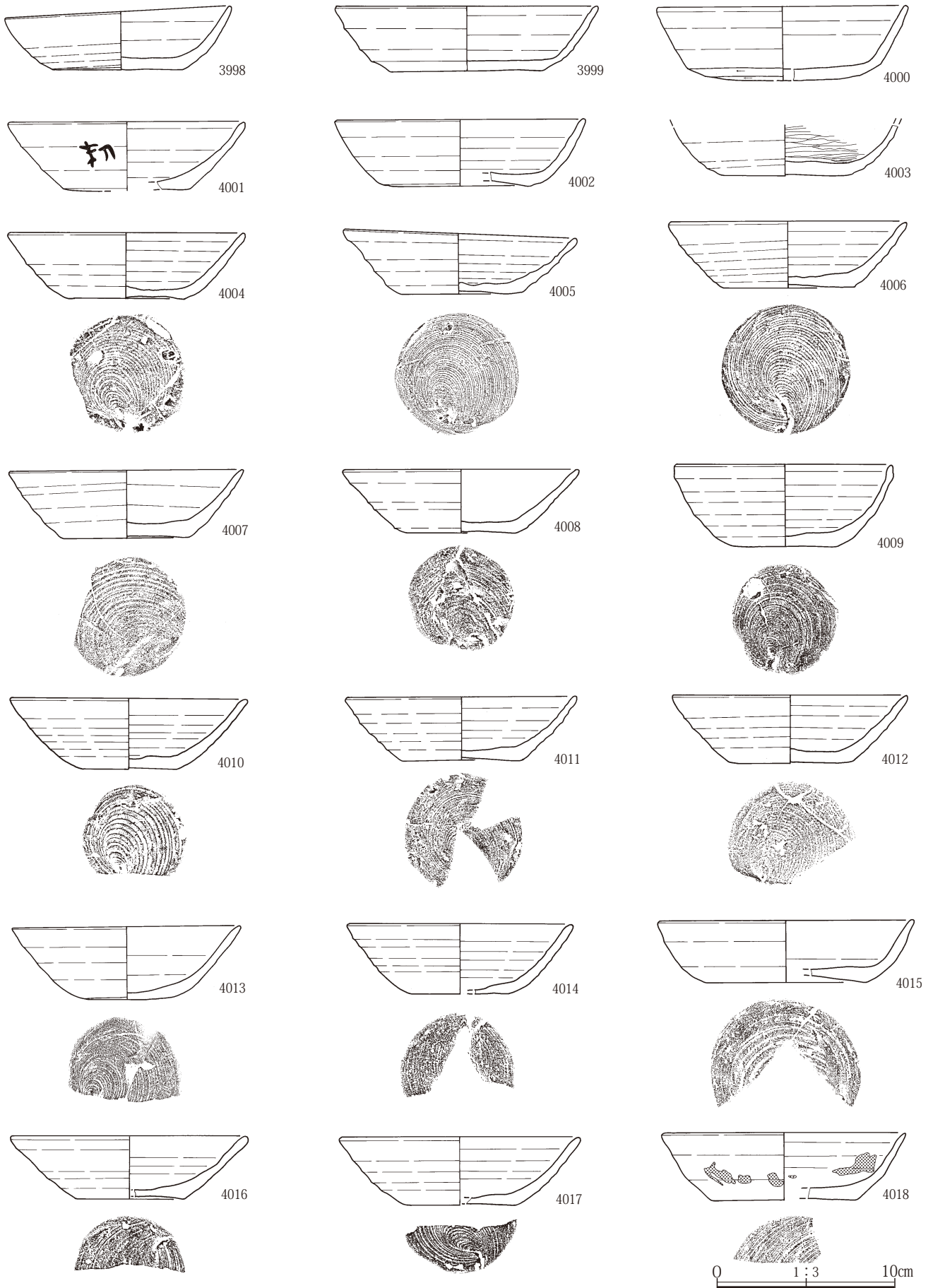


第370図 古墳～平安時代出土遺物95 (遺構外出土遺物2)

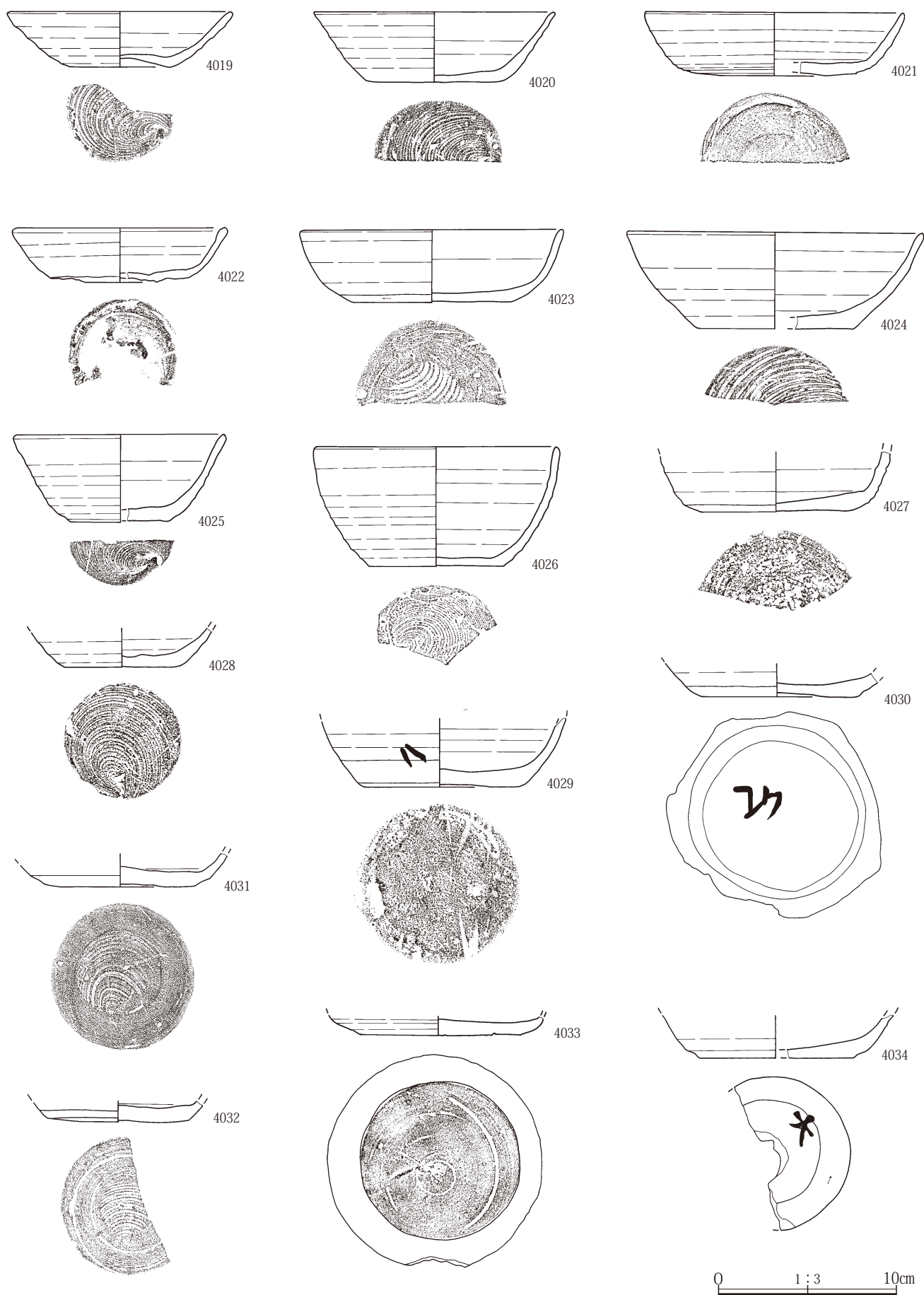


第371図 古墳～平安時代出土遺物96（遺構外出土遺物3）

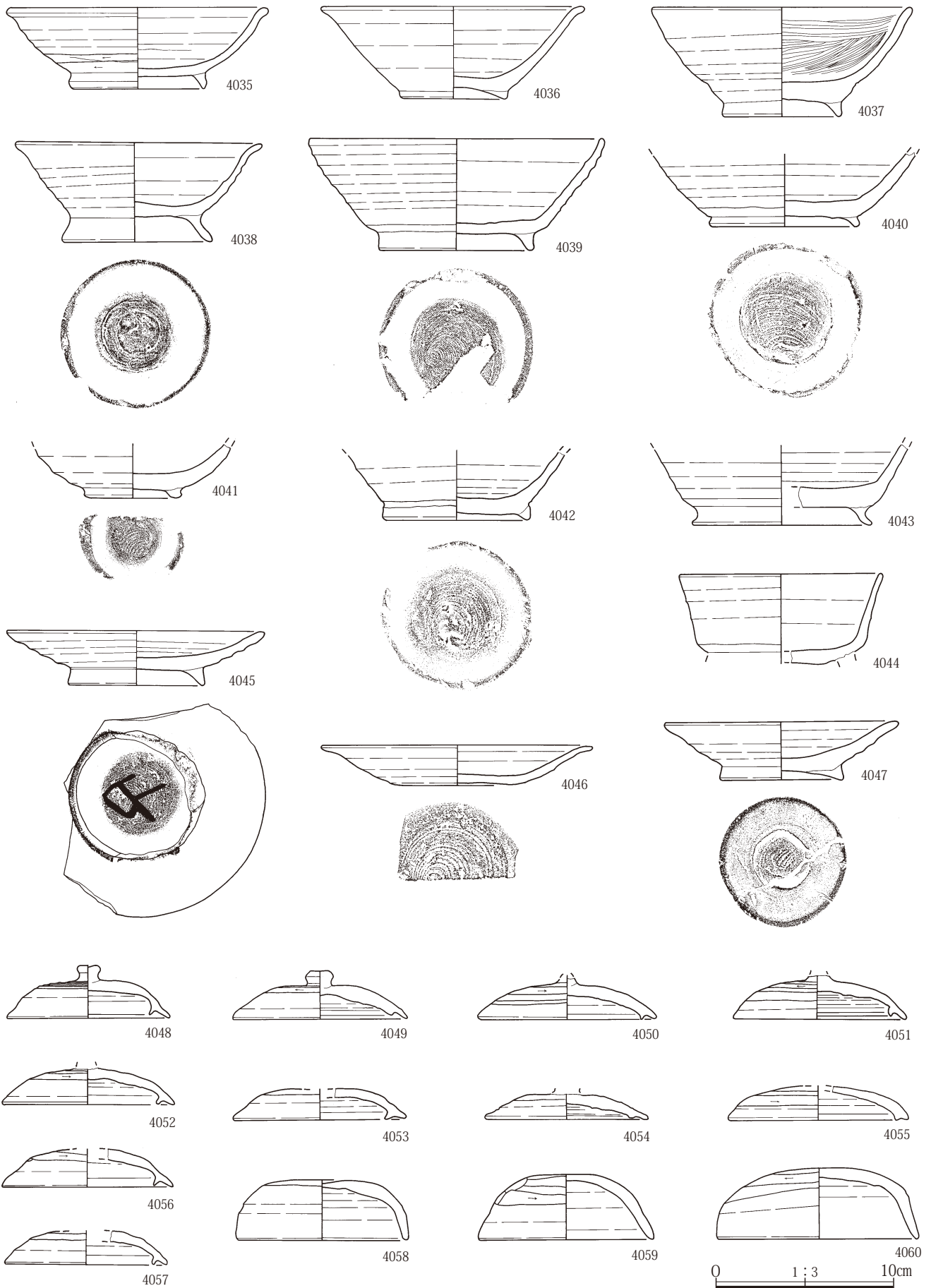
第4節 古墳時代後期～平安時代



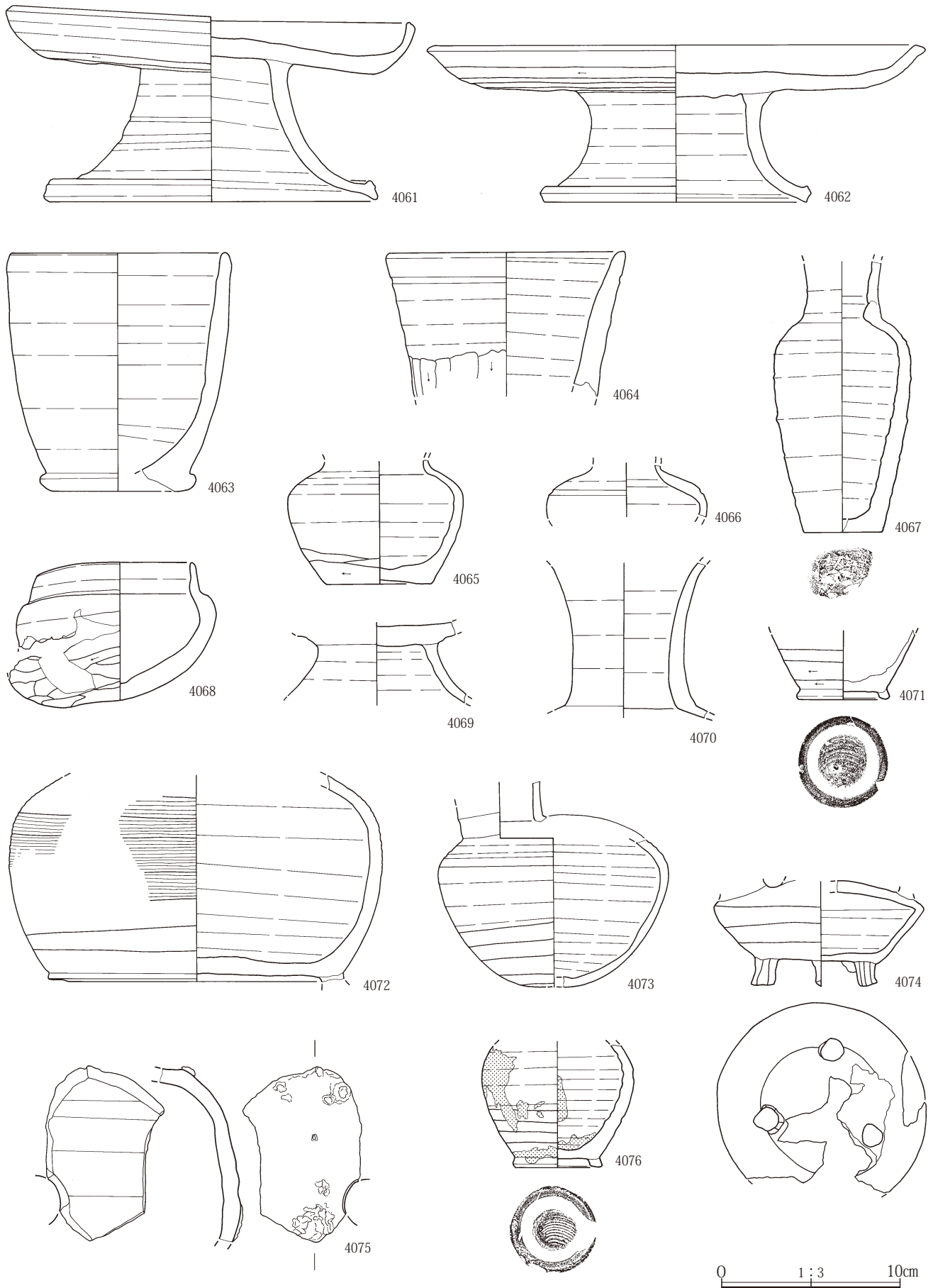
第372図 古墳～平安時代出土遺物97 (遺構外出土遺物4)



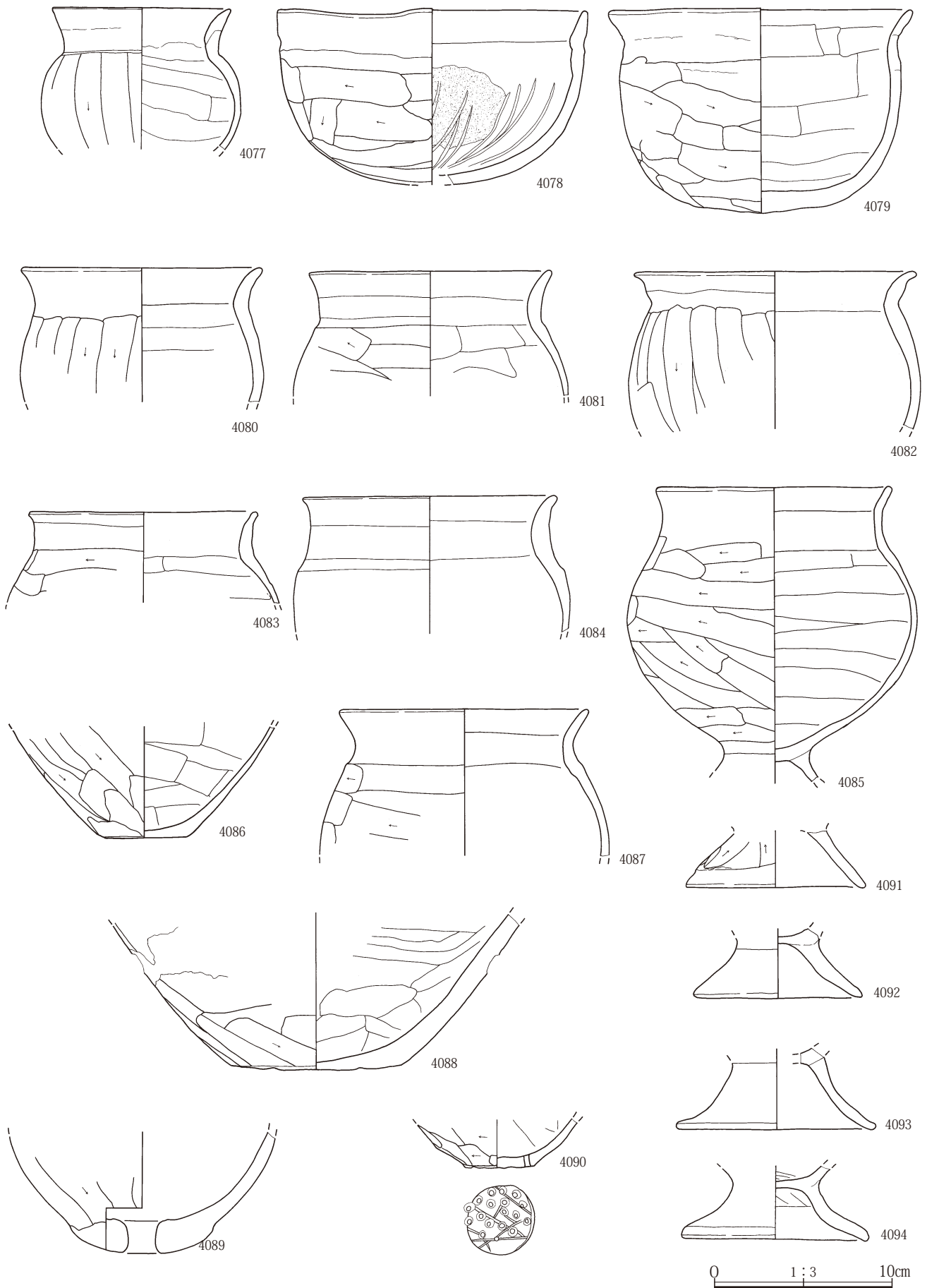
第373図 古墳～平安時代出土遺物98 (遺構外出土遺物 5)



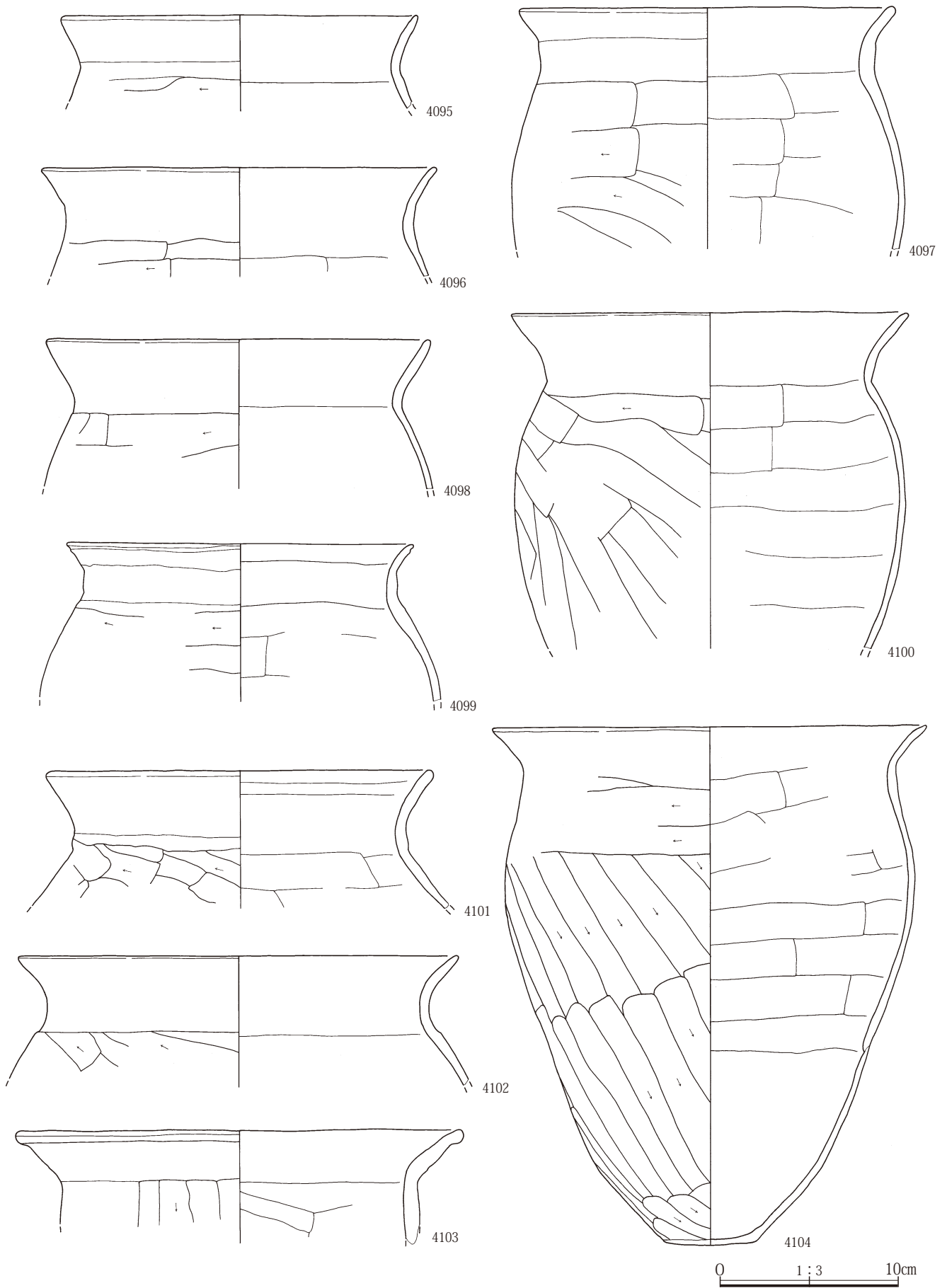
第374図 古墳～平安時代出土遺物99（遺構外出土遺物6）



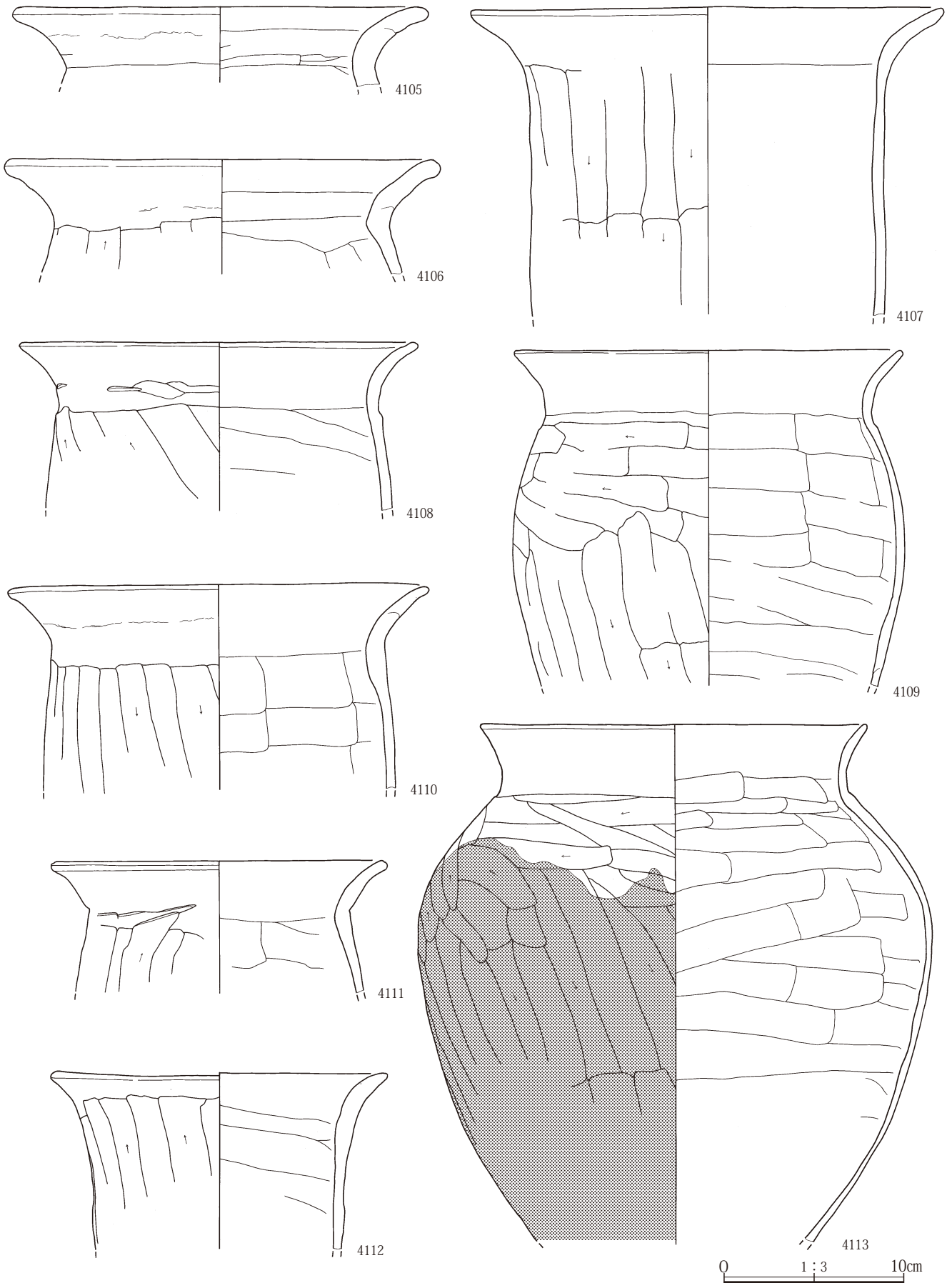
第375図 古墳～平安時代出土遺物100（遺構外出土遺物7）



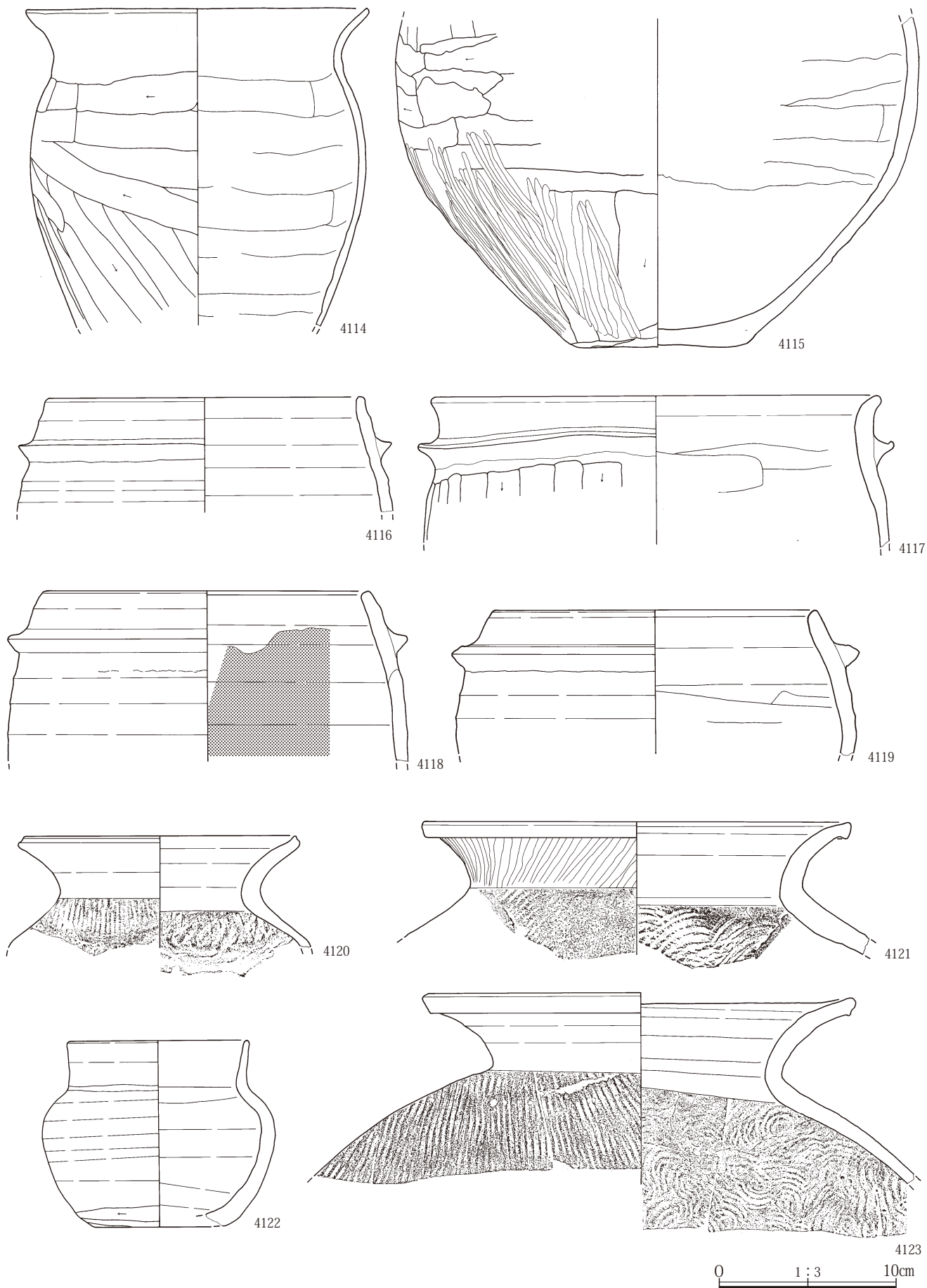
第376図 古墳～平安時代出土遺物101 (遺構外出土遺物8)



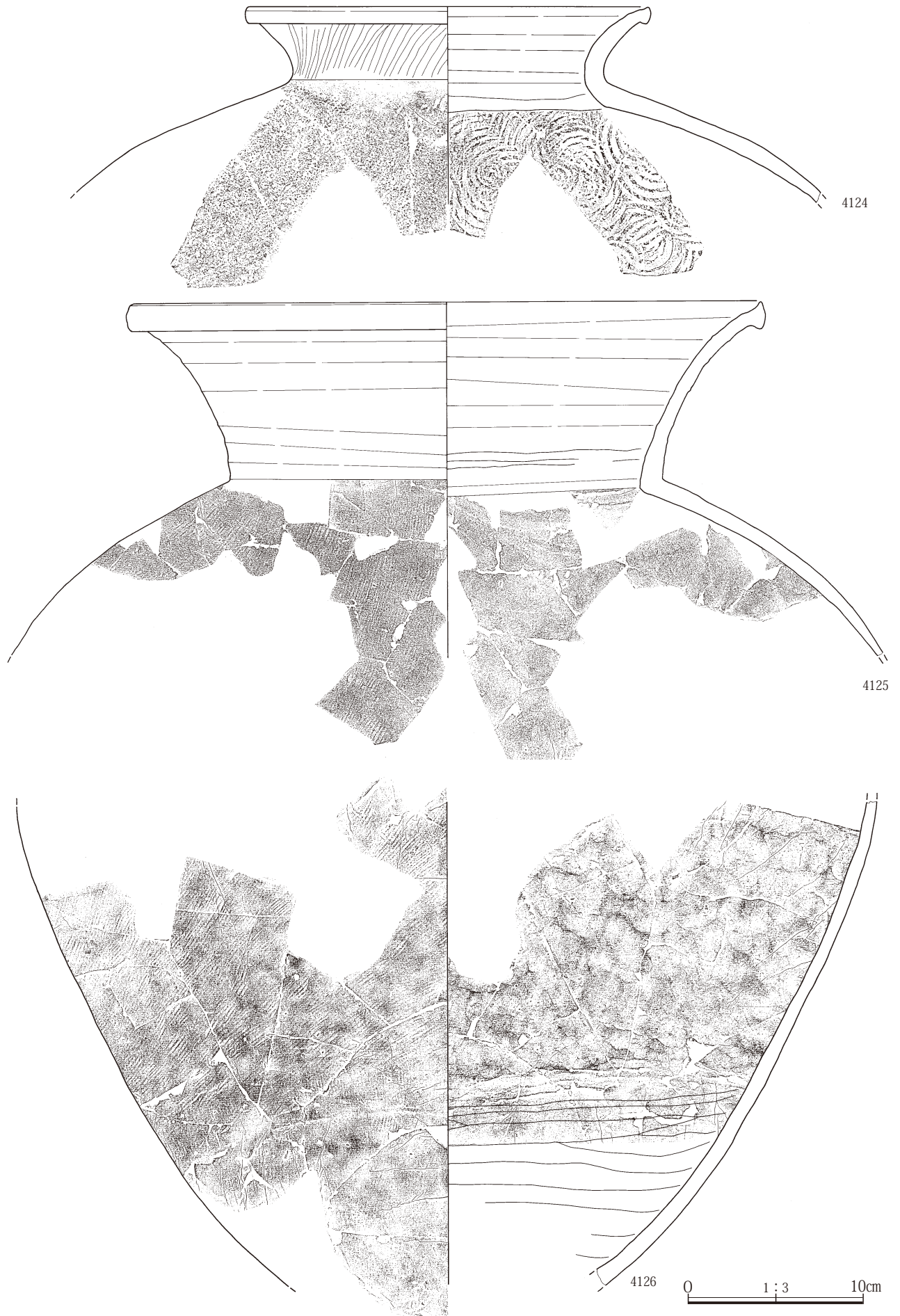
第377図 古墳～平安時代出土遺物102（遺構外出土遺物9）



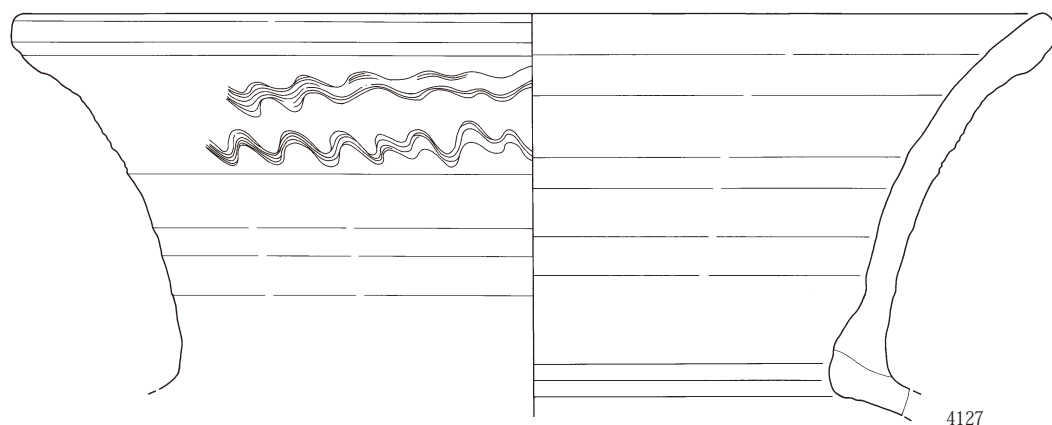
第378図 古墳～平安時代出土遺物103 (遺構外出土遺物10)



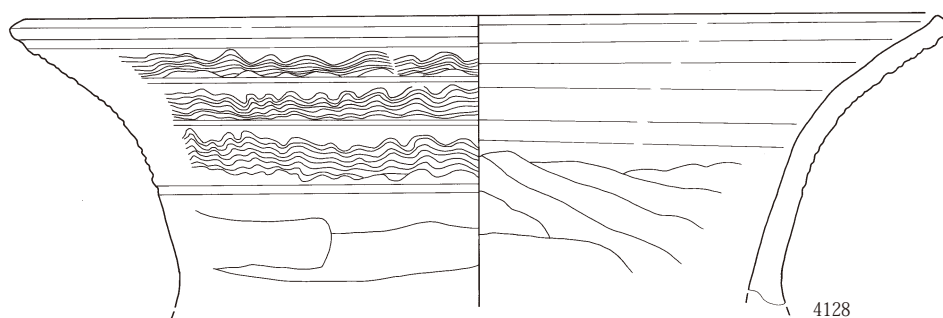
第379図 古墳～平安時代出土遺物104（遺構外出土遺物11）



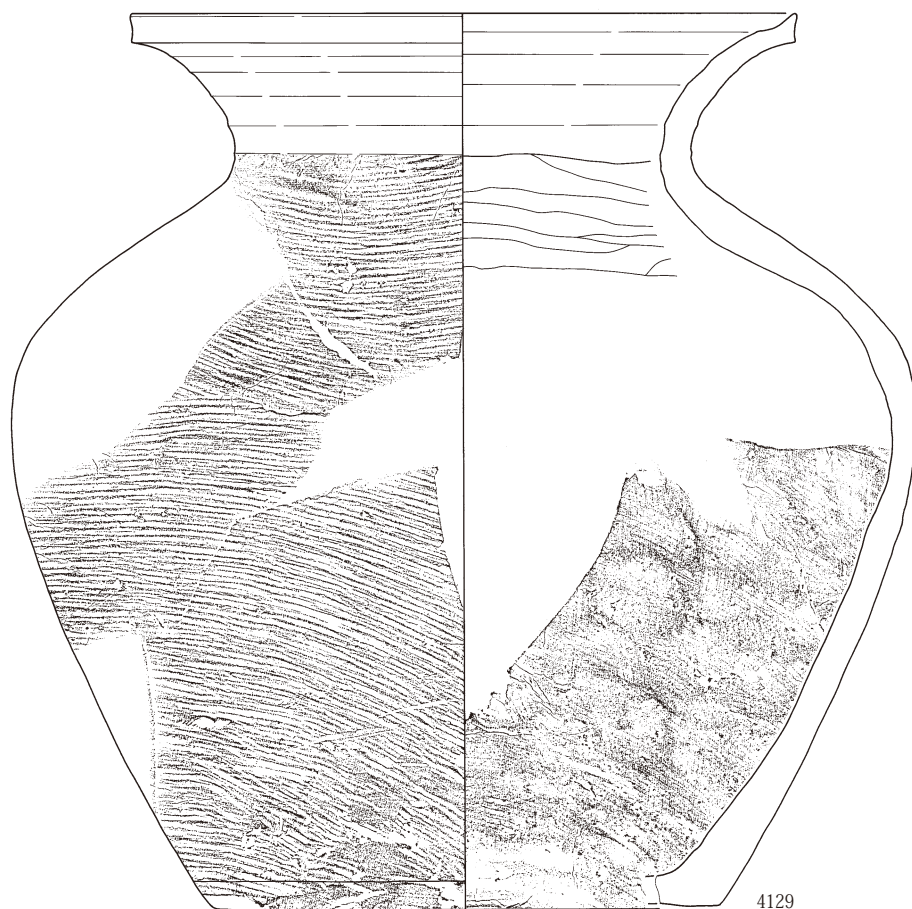
第380図 古墳～平安時代出土遺物105（遺構外出土遺物12）



4127



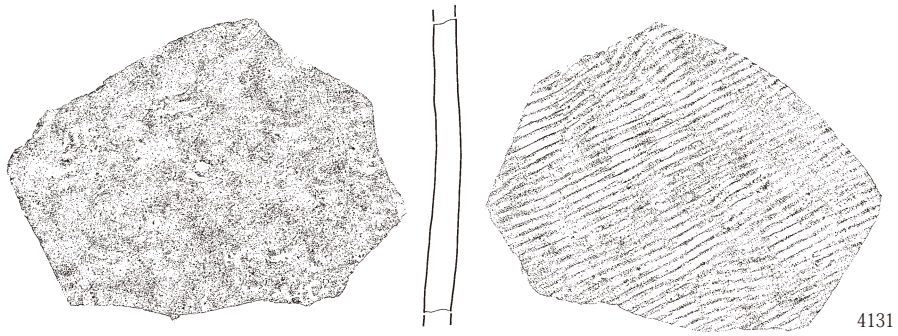
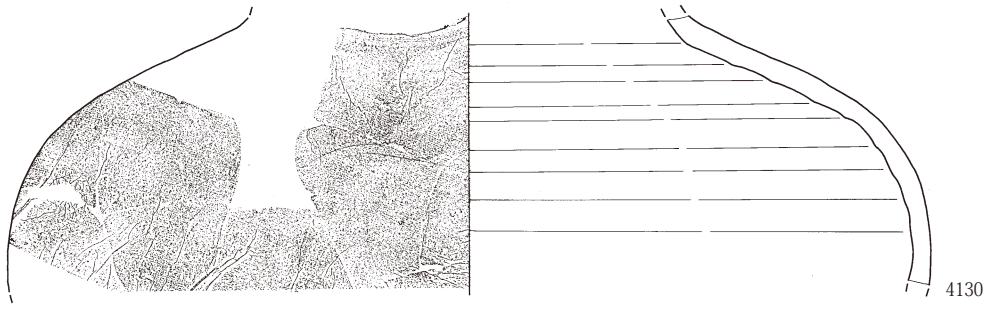
4128



4129

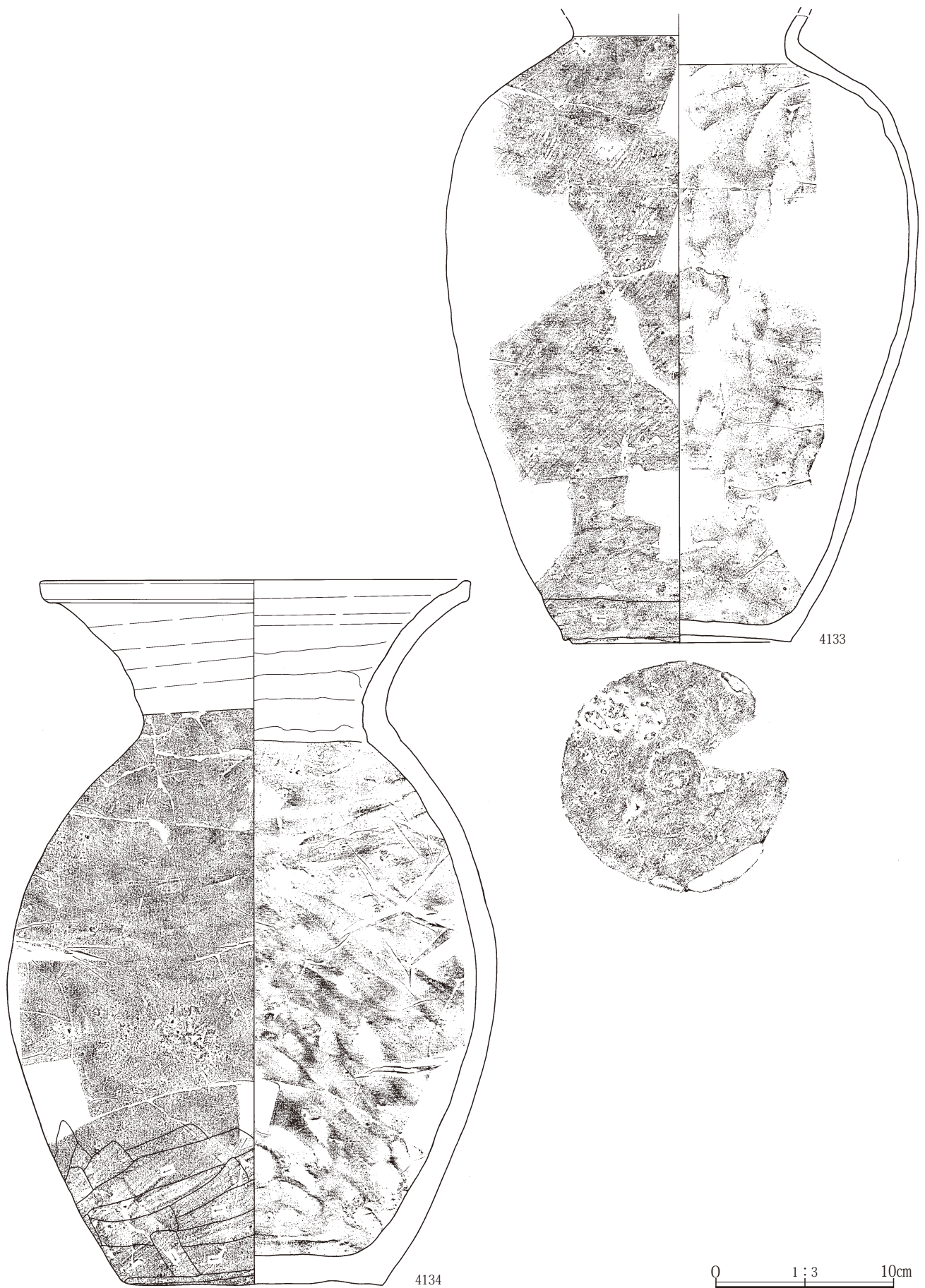
0 1:3 10cm

第381図 古墳～平安時代出土遺物106（遺構外出土遺物13）

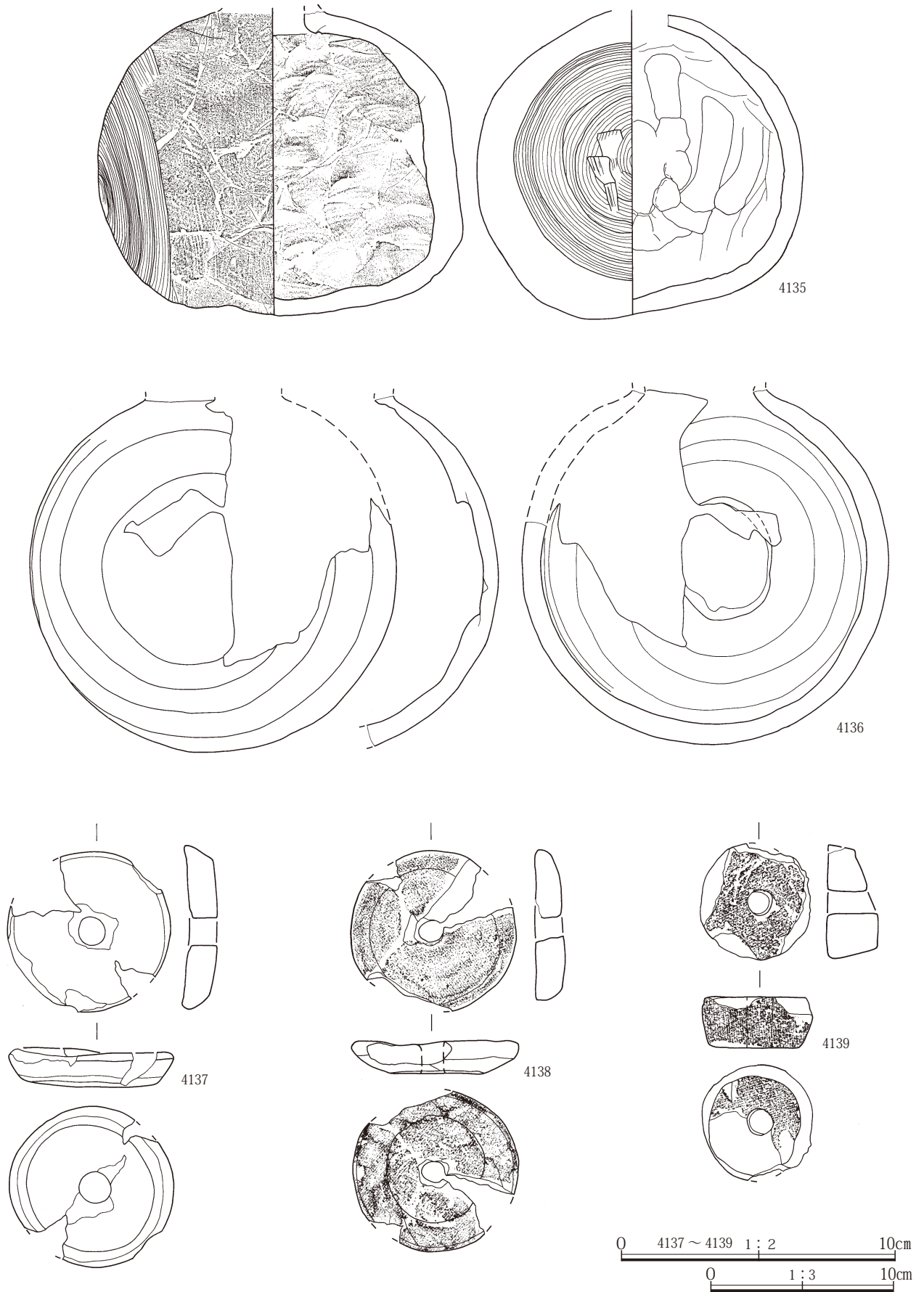


0 1:3 10cm

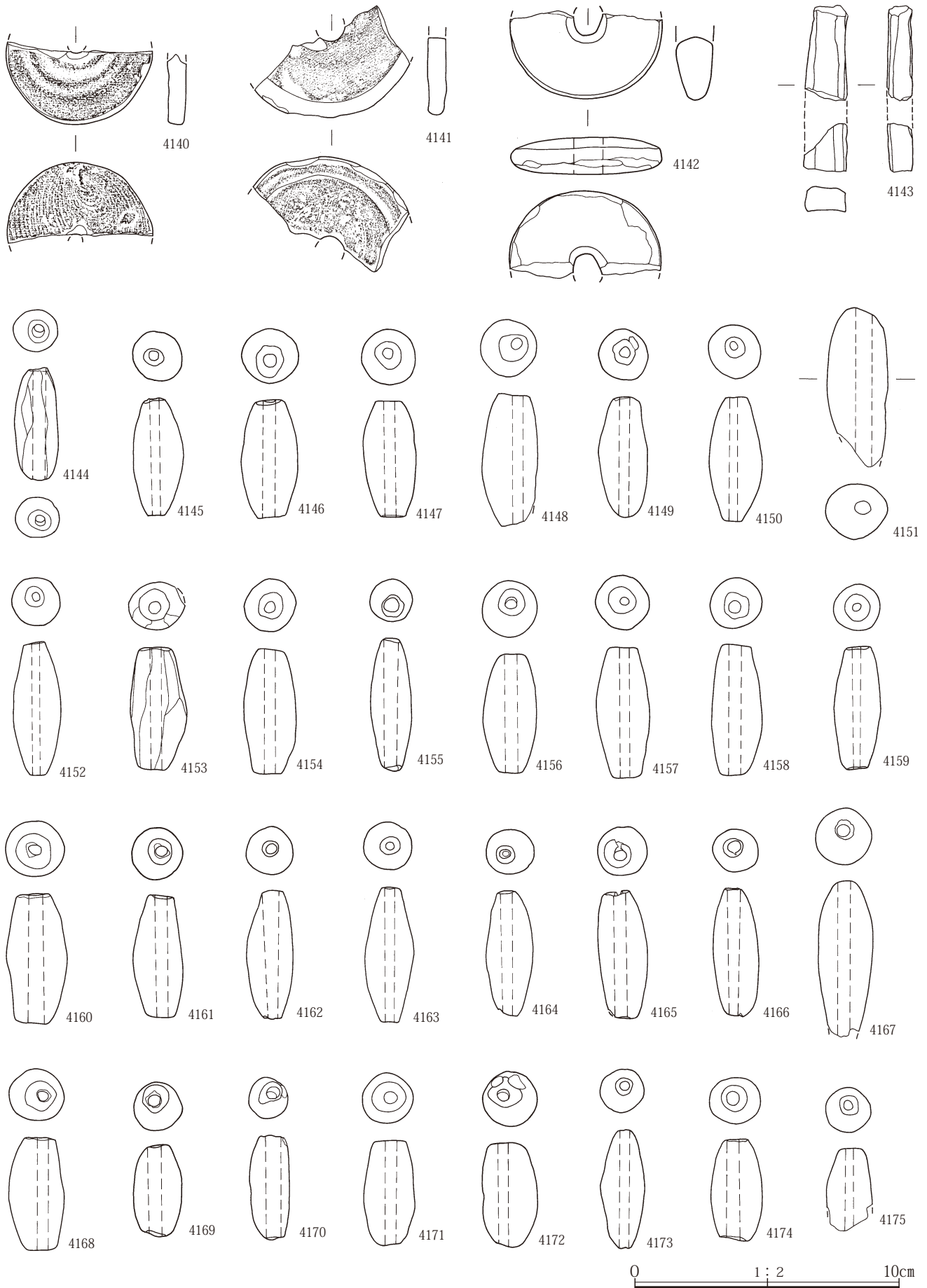
第382図 古墳～平安時代出土遺物107 (遺構外出土遺物14)



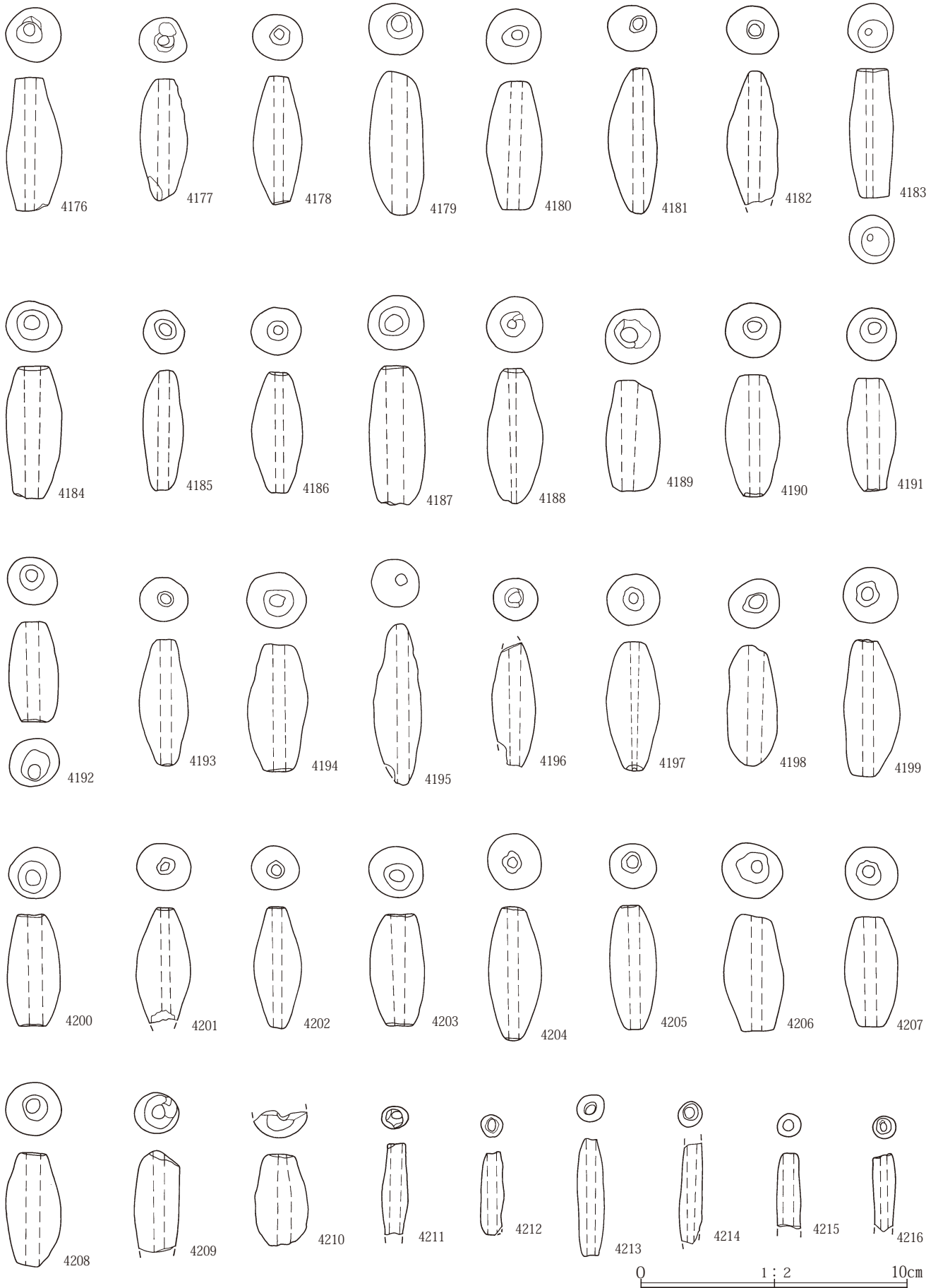
第383図 古墳～平安時代出土遺物108（遺構外出土遺物15）



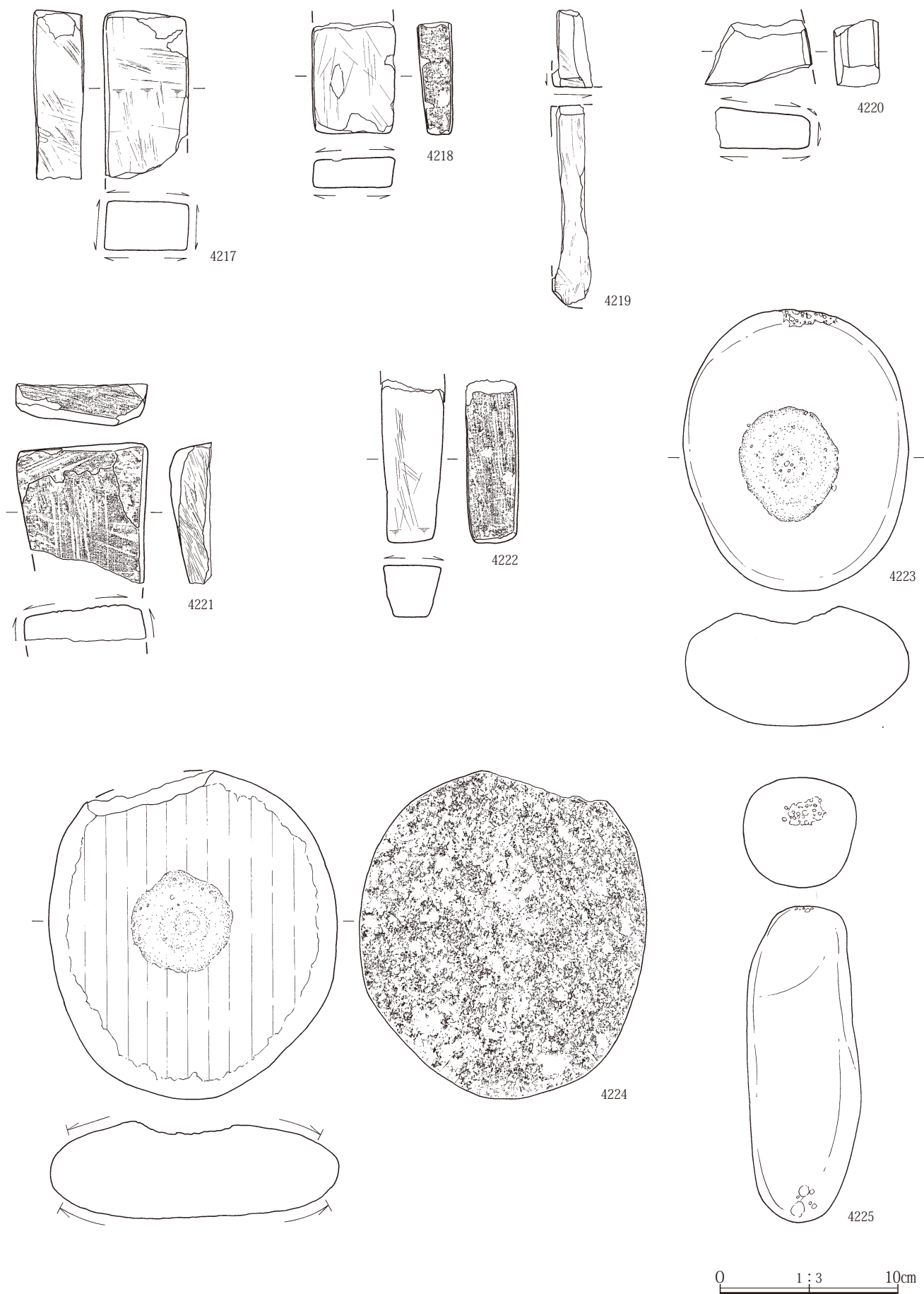
第384図 古墳～平安時代出土遺物109 (遺構外出土遺物16)



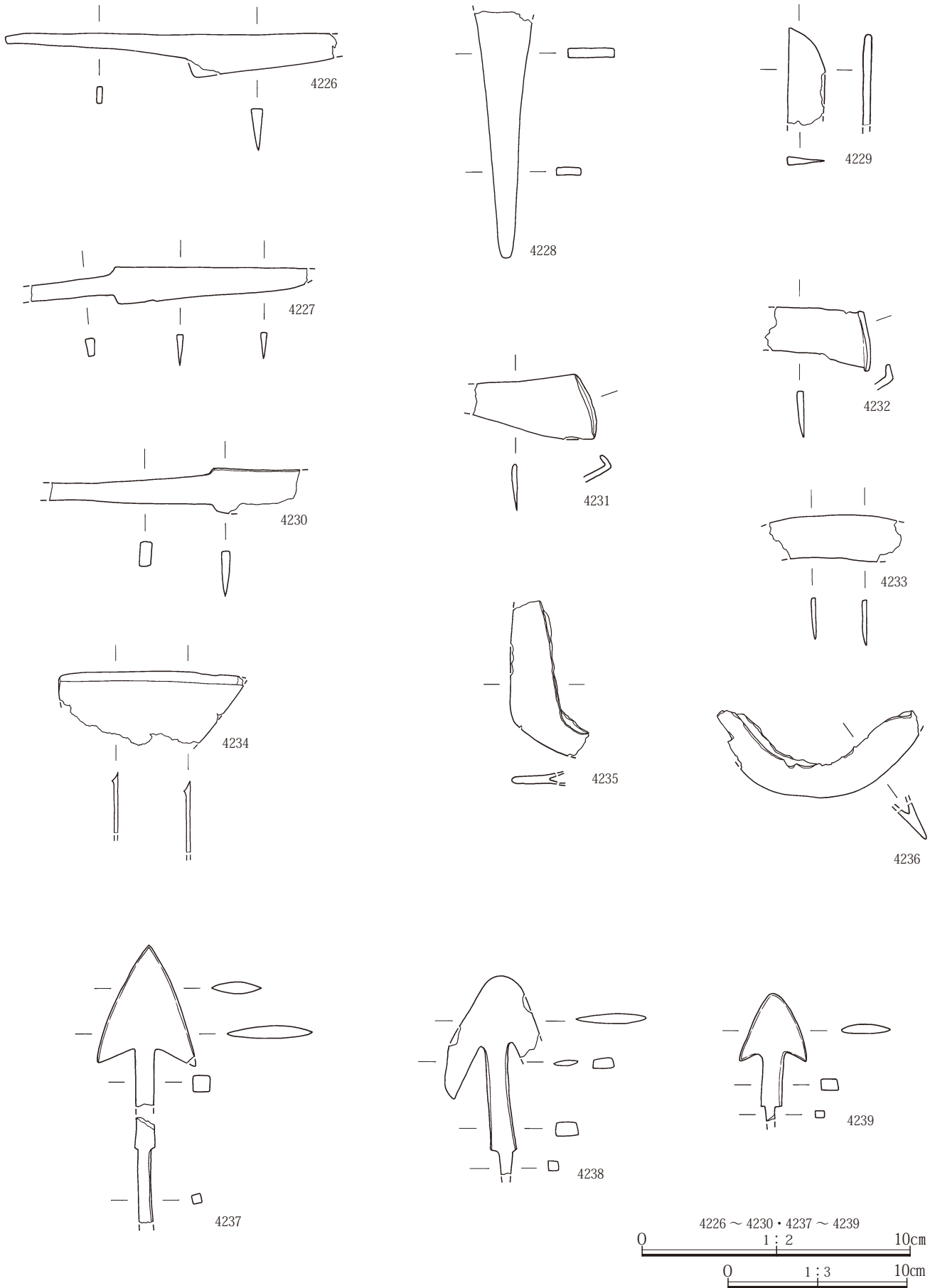
第385図 古墳～平安時代出土遺物110 (遺構外出土遺物17)



第386図 古墳～平安時代出土遺物111 (遺構外出土遺物18)

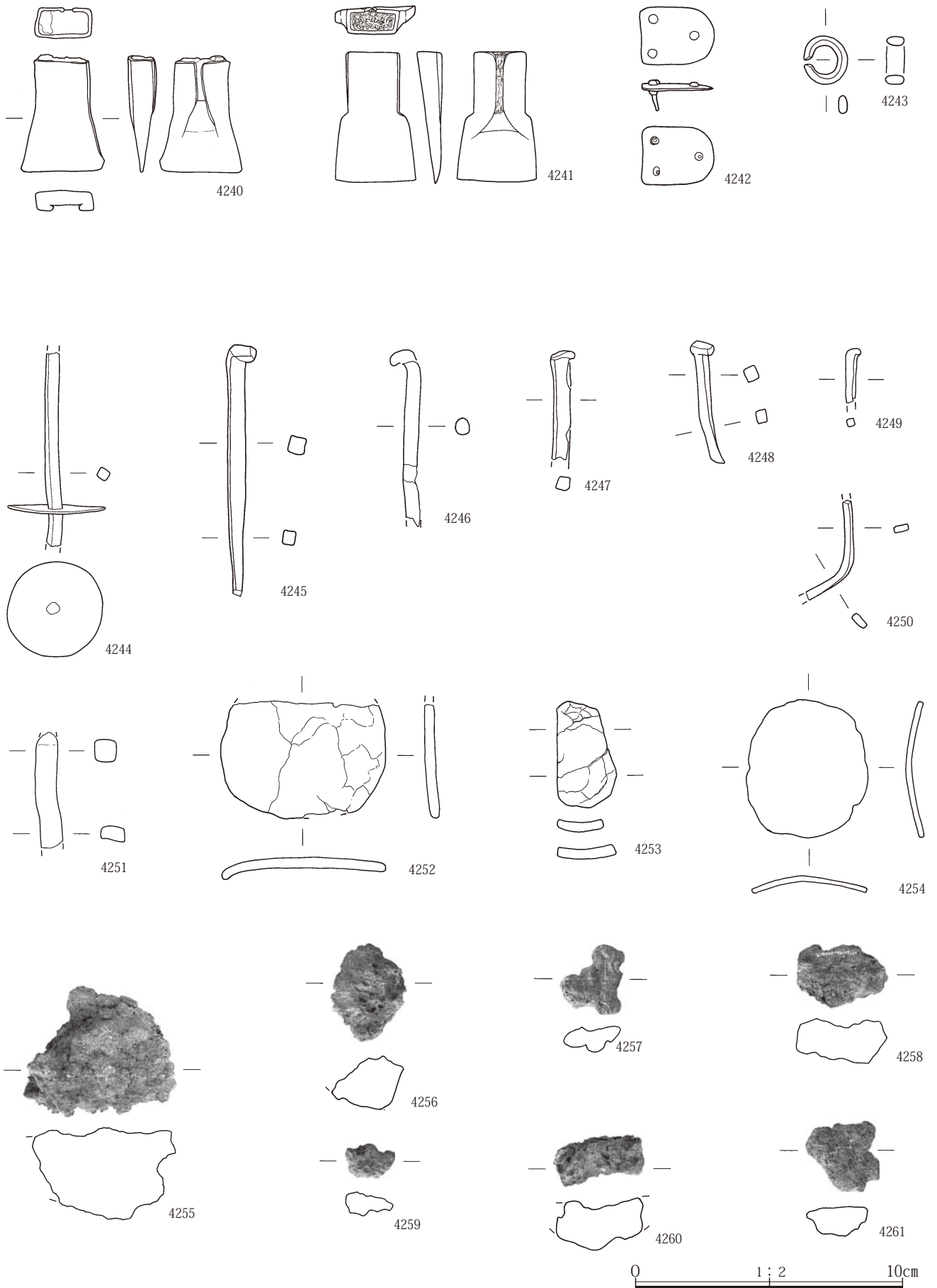


第387図 古墳～平安時代出土遺物112 (遺構外出土遺物19)



第388図 古墳～平安時代出土遺物113 (遺構外出土遺物20)

第三章 検出された遺構と出土遺物



第389図 古墳～平安時代出土遺物114 (遺構外出土遺物21)

第35表 古墳～平安時代出土土器観察表

挿図番号 図版番号	No	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第276図	3001	土師器 杯	1区1住 床面上12cm 1/4	口 12.8 高 3.1	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第276図 PL.153	3002	土師器 杯	1区1住 床面上5cm 3/4	口 13.2 高 3.7 底 8.8	細砂粒・褐色粒/ 良好/明赤褐	口唇部は横ナデ、口縁部から体部・底部は手持ちヘラ削り。内面は全面ヘラ磨き。	口唇部の一部に煤が付着。
第276図 PL.153	3003	須恵器 杯蓋	1区1住 床面上9cm 3/4、摘み上半欠損	口 15.3	粗砂粒・白色粒・ 礫/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部中央は回転ヘラ削り。	
第276図	3005	土師器 杯	1区2住 床面上1cm 1/3	口 12.8 高 3.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第276図	3006	須恵器 杯	1区2住 床面上2cm 1/3	口 12.9 高 4.2 底 7.4	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。底部に重ね焼き痕が残る。	
第276図 PL.153	3007	須恵器 杯	1区2住 完形	口 13.4 高 3.7 底 9.4	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り、体部下半も回転ヘラ削り。	
第276図 PL.153	3008	黒色土器 椀	1区2住 床面上6cm 2/3	口 17.0 高 6.4 底 8.2	細砂粒・粗砂粒少 /酸化焰/浅黄橙	内面黒色処理。ロクロ整形、回転右回り。底部から体部最下位にかけては回転ヘラ削り。内面は全面ヘラ磨き。	
第276図 PL.153	3009	黒色土器 椀	1区2住 床面上3cm 5/6	口 16.1 高 6.2 底 8.5	細砂粒・粗砂粒少 /酸化焰/浅黄橙	内面黒色処理。ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後中央をわずかに残して回転ヘラ削り。内面は全面ヘラ磨き。	
第276図	3010	土師器 甕	1区2住 床面直上 口縁部～胴部上半片	口 23.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第276図 PL.153	3011	土師器 甕	1区2住 床面上4cm 口縁部～胴部上半片	口 21.1	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第276図	3012	土師器 甕	1区2住 床面上3cm 底部～胴部下位片	底 5.3	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部から胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	胴部の一部にカマド装着時の粘土が付着。
第277図 PL.153	3013	土師器 杯	1区3住 床面上2cm 1/2	口 13.0 高 3.5	細砂粒/良好/灰褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第277図 PL.153	3014	土師器 杯	1区3住 床面上10cm 2/3	口 15.4 高 4.8 底 12.0	細砂粒・粗砂粒少 /良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第277図 PL.153	3015	土師器 甕	1区3住 床面上17cm 口縁部～胴部上半片	口 21.8	細砂粒/良好/明黄 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第277図 PL.153	3016	土師器 甕	1区3住 床面上22cm 口縁部～胴部中位片	口 21.0	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ、内面は磨滅のため単位不鮮明。	残存部の外面胴部は全体的に煤けている。
第277図 PL.153	3017	土師器 甕	1区3住 床面上13cm 口縁部～胴部中位片	口 21.6	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	残存部の外面胴部は正面側が煤けている。
第277図 PL.153	3018	土師器 杯	1区4住 床面上3cm 5/6	口 14.1 高 5.6 底 9.1	細砂粒・粗砂粒少 /良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第277図 PL.153	3019	須恵器 杯	1区4住 床面上13cm 完形	口 12.7 高 3.3 底 7.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。	
第277図 PL.153	3020	須恵器 杯	1区4住 床面上12cm 完形	口 11.1 高 5.5 底 6.7	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り後中央をわずかに残して回転ヘラナデ。	
第277図 PL.153	3021	須恵器 椀	1区4住 床面上6cm ほぼ完形	口 13.0 高 4.8 底 7.1	細砂粒・粗砂粒少 /還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り。	
第278図	3022	土師器 杯	1区6住 床面上1cm 1/4	口 13.6	細砂粒/良好/明黄 褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第278図 PL.154	3023	土師器 杯	1区6住 床面下2cm 5/6	口 12.6 高 3.3	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第278図 PL.154	3024	土師器 杯	1区6住 床面上2cm ほぼ完形	口 12.9 高 3.2 稜 12.0	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	内面体部の一部に煤が付着。
第278図	3025	土師器 甕	1区6住 床面上1cm 口縁部～胴部上位片	口 20.8	細砂粒/良好/橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第278図 PL.154	3026	土師器 甕	1区6住 床面下1cm 口縁部～胴部上半片	口 21.8	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	外面の口縁部から頸部の一部に煤が付着。
第278図	3027	土師器 甕	1区6住 床面直上 口縁部～胴部上半片	口 22.0	細砂粒・粗砂粒少 /良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ、内面は磨滅のため単位不鮮明。	
第278図	3028	土師器 甕	1区6住 床面直上 口縁部～胴部上位片	口 20.6	細砂粒・褐色粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第278図 PL.154	3029	土師器 甕	1区6住 床面直上 口縁部～胴部上半片	口 20.2	細砂粒多/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	内面の口縁部から頸部の一部に煤が付着。

第三章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号 図版番号	No	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第279図	3031	土師器 台付甕	4区26住 床面上11cm 胴部下位～脚部	脚 10.4	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	脚部は貼付、胴部はヘラ削り、脚部は横ナデ。内面は胴部がヘラナデ。	
第279図	3032	土師器 杯	5区8住 床面上21cm 1/3	口 13.0 高 4.4 底 6.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は全面ヘラ磨き。	
第279図	3033	土師器 甕	5区8住 床面上3cm 口縁部～胴部上半片	口 14.0	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第279図	3034	土師器 甕	5区8住 床面上11cm 口縁部～胴部上位片	口 20.2	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	内外面に煤が付着。
第279図	3035	土師器 甕	5区8住 床面上17cm 口縁部～胴部上半片	口 14.9	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第279図	3036	土師器 甕	5区8住 床面上21cm 底部～胴部下位片	底 4.5	細砂粒/良好/暗褐	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデか。	
第279図	3037	土師器 甕	5区8住 床面上12cm 口縁部～胴部上半片	口 27.0	細砂粒/良好/暗赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	内外面に黒い斑点状付着物。
第279図	3038	土師器 杯	5区43住 床面上15cm 1/4	口 14.0 底 10.6	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削りであるが、器面磨滅のため単位不明。	
第279図	3039	須恵器 杯	5区43住 床面上25cm 底部	底 7.2	細砂粒・粗砂粒/ 酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。	
第279図 PL.154	3040	須恵器 碗	5区43住 床面上8cm 完形	口 12.0 高 5.5 底 8.4	細砂粒/還元焰/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転ヘラ削り。	
第280図 PL.154	3041	黒色土器 碗	5区43住 床面上8cm ほぼ完形	口 15.2 高 5.4 底 9.1	細砂粒・粗砂粒少 /酸化焰/明赤褐	内面黒色処理。ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後中央を残して回転ヘラ削り。内面はヘラ磨き。	
第280図	3042	須恵器 杯蓋	5区43住 床面上16cm 摘み	摘 6.5	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付。	
第280図	3043	土師器 小型甕	5区43住 口縁部～頸部片	口 9.8	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	口縁部から頸部は横ナデ。	
第280図	3044	須恵器 長頸壺	5区43住 床面上31cm 底部～胴部下位片	底 7.6	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、胴部は回転ヘラ削り。	内面底部に降灰が付着。
第280図 PL.154	3047	土師器 杯	5区56住 床面上14cm ほぼ完形	口 10.9 高 3.7 底 5.0	細砂粒/良好/暗褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状のヘラ磨き。	
第280図 PL.154	3048	土師器 杯	5区56住 床面上5cm 1/2	口 13.5 高 4.6	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は放射状ヘラ磨き。	
第280図 PL.154	3049	土師器 杯	5区56住 床面上10cm 1/2	口 11.5 高 4.1	細砂粒/良好/暗褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部にやや雑な放射状のヘラ磨き。	
第280図 PL.154	3050	土師器 杯	5区56住 床面上5cm 1/2	口 11.1 高 3.9 底 6.2	粗砂粒/良好/灰黄 褐	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は口唇部下から底部にかけてヘラ磨き。	底部にヘラ描きか。
第280図 PL.154	3051	土師器 高坏	5区56住 床面上5cm 完形	口 10.9 高 7.3 脚 9.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	杯身口縁部は横ナデ、体部から底部は縦位のヘラ削り、脚部はナデ後縦位のヘラ磨き、裾部は横ナデ。	整形時の歪みが大きい。
第280図 PL.154	3052	須恵器 杯	5区56住 床面上9cm 完形	口 10.6 高 4.7 底 6.8	細砂粒・角閃/還 元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部と体部下位は手持ちヘラ削り。	
第281図 PL.154	3053	土師器 小型甕	5区56住 床面上15cm 4/5	口 11.6 高 13.1	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部から底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第281図 PL.154	3054	土師器 鉢	5区56住 床面上13cm 完形	口 16.2 高 9.7 底 8.0	細砂粒・白色粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から底部にヘラナデ。	
第281図 PL.154	3055	須恵器 鉢	5区56住 床面上3cm ほぼ完形	口 14.0 高 12.6 底 8.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部、口縁部に平行叩き痕が残る、口縁部は横ナデ。	
第281図 PL.154	3056	土師器 有孔鉢	5区56住 床面上7cm ほぼ完形	口 17.2 高 9.7 底 5.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部から底部はヘラ削り。内面は体部から底部はヘラナデ。	底部に径1.4cmの穿孔。
第281図 PL.155	3057	土師器 甕	5区56住 床面上14cm 底部欠損	口 16.0 高 22.2 底 4.3	粗砂粒・礫/良好/ にぶい橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第281図 PL.155	3058	土師器 鉢	5区56住 床面上8cm 3/4	口 12.2 高 19.1 底 6.6	粗砂粒/良好/にぶ い橙	内面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は縦位のヘラ削り、底部は木葉痕が残る。内面はナデ。	●に整形は近似。
第281図 PL.155	3059	土師器 円筒状	5区56住 床面上7cm 完形	口 10.6 高 46.8 底 8.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	内面に輪積み痕が残る。口唇部横ナデ、口縁部ナデ、胴部は縦位のヘラ削り、底部はヘラナデ、中ほどに木葉痕が残る。内面はナデ。	
第282図 PL.155	3061	土師器 甕	5区56住 床面上5cm ほぼ完形	口 20.7 高 29.8	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	外面は下半に煤が付着、全体的に煤けいている。
第282図	3062	土師器 甕	5区56住 床面上21cm 2/5	口 24.5 高 31.7 底 11.0 胴 30.6	細砂粒/やや脆い/ 黒褐	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。内外とも器面磨滅詳細不鮮明。	
第282図 PL.155	3063	土師器 甕	5区56住 床面上36cm 胴部下半1/4欠損	口 25.1 高 52.5 底 11.7	細砂粒・粗砂粒少 /良好/暗赤褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第282図 PL.156	3064	土師器 甕	5区56住 床面上5cm 口縁部～胴部下位	口 16.6	粗砂粒/良好/灰褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第283図	3065	土師器 甕	5区56住 床面上30cm ほぼ完形	口 21.0 高 36.9 底 4.1	粗砂粒・礫/良好/ 橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

第4節 古墳時代後期～平安時代

挿図番号 図版番号	No	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第283図 PL.156	3066	土師器 甕	5区56住 床面上5cm 口縁部～胴部上半片	口 21.2	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	内外面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第283図 PL.156	3067	土師器 甕	5区56住 床面上5cm ほぼ完形	口 18.8 高 26.0 底 12.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り、基 本的には縦位であるが一部分に横位のヘラ削り。内面 胴部はヘラナデ。	
第283図	3068	土師器 甕	5区56住 床面上40 cm 口縁部～胴部上 位片	口 21.0	細砂粒/良好/橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナ デ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第283図	3069	土師器 甕	5区56住 床面上45 cm 底部～胴部下半	底 10.7	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	胴部と底部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第283図 PL.156	3070	土師器 甕	5区56住 床面上29 cm ほぼ完形	口 17.2 高 21.8 底 -	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、胴部から底部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。	
第284図	3071	土師器 杯	5区99住 床面上13 cm 1/3	口 12.9 高 3.3	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ち ヘラ削り。	外面口縁部の ごく一部に煤 が付着。
第284図	3072	土師器 杯	5区99住 床面上11 cm 1/4	口 15.0 高 4.1	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ち ヘラ削り。	
第284図	3073	須恵器 杯	5区99住 1/2	口 15.6 高 3.4 底 10.6	粗砂粒・角閃石/ 還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後中央を わずかに残して回転ヘラ削り。	
第284図 PL.156	3074	須恵器 杯	5区99住 床面直上 完形	口 13.4 高 3.9 底 8.1	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部と底部周囲の体部は回 転ヘラ削り。	
第284図	3075	須恵器 壺	5区99住 床面上25 cm 口縁部～頸部片	口 13.6	細砂粒/還元焰/灰	口縁部は胴部に接合。口縁部ロクロ整形、外面には中 位に2条の凹線と1段の波状文が巡る。内面下半はヘラ ナデ。	
第284図	3076	土師器 甕	5区99住 口縁部～胴部上半片	口 19.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。	
第284図 PL.157	3077	須恵器 広口壺	5区99住 口縁部～胴部上半片	口 17.8 胴 24.0	細砂粒/還元焰/褐 灰	口縁部はロクロ整形。胴部は外面に平行叩き痕、内面 アテ具痕が残る。	
第284図	3078	須恵器 甕	5区99住 床面上18 cm 3/5	口 24.6 高 43.8 胴 46.0	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	口縁部はロクロ整形。胴部は外面に平行叩き痕がかす かの残る、内面は同心円状アテ具痕が残る。	
第285図 PL.157	3079	須恵器 甕	5区99住 口縁部片	口 50.0	細砂粒/還元焰/灰	口縁部はロクロ整形。内面の下半はヘラナデ。	
第285図 PL.157	3080	土師器 杯	5区128住 床面上12 cm ほぼ完形	口 10.7 高 3.8 稜 10.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第285図 PL.157	3081	土師器 杯	5区128住 床面上2 cm 完形	口 11.7 高 3.5 稜 11.2	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)はナデ、底部は手持ちヘラ削 り。内面底部はヘラナデ。	
第285図 PL.157	3082	土師器 杯	5区128住 2/5	口 15.2 高 5.2	細砂粒多/良好/橙	口唇部は横ナデ、口縁部、体部から底部は手持ちヘラ 削り。内面は底部中心から口縁部に放射状暗文。	
第285図	3083	土師器 甕	5区128住 口縁部～胴部上位片	口 20.9	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第285図	3084	土師器 甕	5区128住 口縁部～胴部上位片	口 21.9	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。	
第285図 PL.157	3085	土師器 杯	5区128住 床面上13 cm ほぼ完形	口 26.2 高 13.9 底 10.5	粗砂粒・褐色粒/ 良好/にぶい黄橙	外面位輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部から底 部は手持ちヘラ削り、器面磨滅のため詳細不明。内面 体部ヘラナデ。	
第286図 PL.157	3086	土師器 甕	5区128住 床面上13 cm 口縁部～胴部上 半片	口 17.4	粗砂粒多/良好/赤 褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナ デ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	頸部らしき箇 所はあるが、 全体には円筒 状。
第286図 PL.157	3087	土師器 甕	5区128住 底部～胴部下位片		粗砂粒多/良好/に ぶい赤褐	底部から胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	底部 楕円形 状。
第286図	3088	土師器 甕	5区128住 床面上7 cm 底部～胴部下半 片		粗砂粒多/良好/明 黄褐	底部から胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ、器面剥離 のため単位不鮮明。	
第286図 PL.157	3089	土師器 杯	5区206住 床面上41 cm 1/2	口 9.7 高 3.4 稜 10.2	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 内面底部から体部はヘラ磨き、単位不鮮明。	
第286図 PL.157	3090	土師器 杯	5区206住 口縁部1/4欠損	口 11.7 高 3.7 稜 9.4	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	内面は漆塗 り、一部剥落。
第286図 PL.157	3091	土師器 杯	5区206住 口縁部をわずかに欠	口 11.4 高 3.9 稜 9.3	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	内外面とも漆 塗りか、一部 剥落。
第286図 PL.157	3092	土師器 杯	5区206住 床面上6 cm 完形	口 11.7 高 4.3 稜 8.9	細砂粒/やや軟質/ 橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第286図	3093	土師器 杯	5区206住 床面上17 cm 口縁部～体部片	口 12.8	細砂粒/良好/明黄 褐	口唇部横ナデ、口縁部から体部はヘラ削り。内面は横 ナデ。	
第286図 PL.157	3094	土師器 杯	5区206住 1/2	口 13.3 高 3.9	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第286図 PL.157	3095	土師器 杯	5区206住 3/4	口 16.8 高 4.8 稜 16.0	細砂粒/良好/赤	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第286図 PL.157	3096	土師器 椀	5区206住 床面上20 cm 口縁部～体部 1/4欠損	口 13.3 高 5.6	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	

第三章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号 図版番号	No	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第286図	3097	土師器 杯	5区206住 1/4	口 11.8	細砂粒・褐色粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状暗文。	
第286図	3098	土師器 杯	5区206住 口縁部～体部片	口 11.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は花卉状ヘラ磨き。	
第286図	3099	土師器 杯	5区206住 1/4	口 10.6 高 3.3	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面に雑な放射状暗文。	
第286図 PL.157	3100	土師器 杯	5区206住 床面下6 cm ほぼ完形	口 13.0 高 4.9	細砂粒・褐色粒/ 良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状暗文。	
第286図 PL.157	3101	土師器 杯	5区206住 床面上8 cm 2/3	口 12.5 高 4.2	細砂粒・褐色粒/ 良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部に花卉状暗文。	
第286図 PL.157	3102	土師器 杯	5区206住 床面上11 cm 2/5	口 14.0 高 3.5	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部にやや雑な花卉状暗文。	
第287図 PL.157	3103	土師器 杯	5区206住 床面上41 cm 1/2	口 10.4 高 3.3 底 10.0	細砂粒・粗砂粒少 /良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き。	
第287図 PL.157	3104	土師器 杯	5区206住 床面上21 cm 4/5	口 12.7 高 4.1	細砂粒・角閃/良 好/にぶい黄褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部中ほどから体部に放射状暗文。	
第287図 PL.157	3105	土師器 杯	5区206住 床面上2 cm 5/6	口 11.1 底 4.8 底 5.8	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面口縁部下に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半は手持ちヘラ削り、底部に木葉痕が残る。内面は体部下半から底部にヘラナデ	
第287図 PL.157	3106	土師器 杯	5区206住 床面上5 cm 完形	口 11.8 高 4.4 底 4.9	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半は手持ちヘラ削り、底部に木葉痕が残る。内面は体部から底部にヘラナデ	
第287図	3107	手捏ね 碗形	5区206住 1/4	口 8.8 高 4.1 底 6.2	細砂粒/良好/灰黄 褐	内外面とも黒色処理。口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半は手持ちヘラ削り底部は木葉痕が残る。内面底部はヘラナデ。	
第287図 PL.157	3108	須恵器 杯	5区206住 床面上1 cm 完形	口 9.6 高 3.6 底 7.9	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ切り後手持ちヘラ削り、体部下位も手持ちヘラ削り。	
第287図	3109	土師器 甗	5区206住 床面下5 cm 口縁部～胴部上 位片	口 19.8	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第287図	3110	土師器 甗	5区206住 床面上3 cm 口縁部～胴部上 位片	口 19.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第287図	3111	土師器 甗	5区206住 床面上9 cm 口縁部～胴部上 位片	口 18.0	粗砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第287図	3112	土師器 甗	5区206住 口縁部～胴部上位片	口 19.4	粗砂粒・角閃/良 好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第287図 PL.157	3113	土師器 甗	5区206住 床面上3 cm 口縁部～胴部下 位	口 18.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第287図 PL.159	3114	土師器 甗	5区206住 床面上3 cm 口縁部～胴部上 位片	口 19.7	細砂粒・白色粒/ 良好/明黄褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第287図	3115	土師器 甗	5区206住 床面上3 cm 底部～胴部下 位片	底 5.8	粗砂粒/良好/にぶ い赤褐	底部から胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第288図 PL.158	3116	土師器 甗	5区206住 床面下1 cm 口縁部～胴部下 位	口 22.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第288図 PL.158	3117	土師器 甗	5区206住 床面上2 cm 口縁部～胴部下 位片	口 21.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第288図 PL.158	3118	土師器 甗	5区206住 床面上1 cm 胴部一部欠損	口 23.0 高 37.6	細砂粒多・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第288図 PL.158	3119	土師器 甗	5区206住 床面上1 cm 口縁部一部欠損	口 21.0 高 34.3 底 2.9	細砂粒・粗砂粒少 /良好/灰黄褐	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第289図 PL.159	3120	土師器 甗	5区206住 床面上17 cm ほぼ完形	口 22.0 高 34.9 底 4.1	粗砂粒・角閃/良 好/明赤褐	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第289図 PL.159	3121	土師器 甗	5区206住 床面上4 cm 完形	口 27.3 高 35.0 底 3.9	細砂粒多/良好/に ぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	内面に焦げが付着か。
第289図 PL.159	3122	土師器 甗	5区206住 床面下18 cm 口縁部一部欠損	口 20.2 高 32.8 底 3.8	粗砂粒・角閃/良 好/橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り、胴部下位に使用時の挿れで不鮮明箇所あり。内面胴部はヘラナデ。	
第289図	3123	土師器 杯	5区207住 床面上8 cm 口縁部～体部片	口 10.6 底 10.6	細砂粒・粗砂粒少 /良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第289図	3124	土師器 杯	5区207住 床面上22 cm 口縁部～体部片	口 10.5	細砂粒・粗砂粒少 /良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第289図 PL.159	3125	土師器 杯	5区207住 3/4	口 11.4 高 3.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は上半が横ナデ、下半はナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第289図 PL.159	3126	土師器 杯	5区207住 床面上23 cm 4/5	口 12.1 高 3.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第289図	3127	土師器 杯	5区207住 1/4	口 13.7	細砂粒・粗砂粒少 /良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	

第4節 古墳時代後期～平安時代

挿図番号 図版番号	No	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第289図	3128	土師器 杯	5区207住 床面上14 cm 1/3	口 9.8 高 2.7	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内 面は全面に放射状ヘラ磨き。	
第289図	3129	土師器 杯	5区207住 1/3	口 10.0 高 2.7	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内 面は口縁部が横位、底部から体部は放射状ヘラ磨き。	内外面とも漆 塗り。
第290図 PL.159	3130	須恵器 杯蓋	5区207主 床面上15 cm 2/5	口 9.2 高 3.2 摘 1.5	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部は中ほ どまで回転ヘラ削り。	
第290図 PL.159	3131	須恵器 椀	5区207住 床面上20 cm 1/2	口 8.8 高 4.5 底 4.2	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部中央は手持ちヘラ削り、 底部周辺から体部下位は回転ヘラ削り。	
第290図	3132	須恵器 甗	5区207住 床面上20 cm 口縁部片	口 36.0	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/暗灰	口縁部はロクロ整形。外面には2～3条単位の波状文が 2段巡る。内面は口縁部下位にアテ具痕が残る。	
第290図 PL.160	3133	土師器 杯	5区209住 床面上4 cm 1/2	口 9.8 高 3.3	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は上半が横ナデ、下半はナデ、体部から底部は 手持ちヘラ削り。	
第290図	3134	須恵器 杯	5区209住 床面上57 cm 1/3	口 13.7 高 4.7 底 10.2 台 9.6	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部はヘラ削 りか。	
第290図 PL.160	3135	土師器 杯	5区209住 床面上8 cm 口縁部・底部一 部欠	口 8.3 高 3.3 底 8.0	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ち ヘラ削り。	内面の一部に 煤が付着。
第290図	3136	須恵器 杯	5区209住 1/3	口 14.3 高 3.6 底 7.9	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り周囲のわ ずかな幅にナデ。	
第290図	3137	須恵器 杯	5区209住 床面上1 cm 底部～体部下 半片	底 9.2	細砂粒/還元焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。	
第290図	3138	須恵器 壺	5区209住 床面上16cm 口縁部下半～底部 片	頸 11.8 胴 21.0	細砂粒・粗砂粒・ 角閃石/還元焰/灰	胴部上半はカキ目、下半から底部は平行叩き痕、内面 は同心円状アテ具痕が残るが上位はナデ消されている。	
第290図	3139	土師器 甗	5区209住 床面上9 cm 口縁部～胴部上 位片	口 19.4	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴 部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	胴部の一部に 煤が付着。
第290図 PL.160	3140	土師器 台付甗	5区209住 床面上6 cm 胴部一部欠損	口 13.2 高 17.7 底 4.2 脚 9.7	細砂粒/良好/にぶ い橙	脚部は貼付、口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り、 脚部は横ナデ。内面胴部はヘラナデ。	
第291図 PL.160	3143	須恵器 杯	5区210住 床面上13 cm 4/5	高 13.7 高 3.8 底 9.9	細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下位は回転ヘ ラ削り。	外面の1/2と 内面の1/3に 煤が付着。
第291図 PL.160	3144	須恵器 杯	5区210住 床面直上 完形	口 14.1 高 4.4 底 8.5	細砂粒・粗砂粒・ 角閃/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部と体部下位は手持ちヘ ラ削り。	
第291図 PL.160	3145	須恵器 杯	5区210住 床面上16 cm 3/4	高 13.4 高 4.3 底 8.2	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲を 回転ヘラ削り。	内外面の広範 囲に煤が付着。 底部は疑似 高台状。
第291図 PL.160	3146	須恵器 杯	5区210住 床面上3 cm 完形	口 13.4 高 4.0 底 8.4	細砂粒/還元焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部と体部下位は回転ヘラ 削り。	外面底部に 「刀」墨書。内 外面に漆塗り か。
第291図 PL.160	3147	須恵器 椀	5区210住 床面上27 cm 2/3	口 17.7 高 8.0 底 12.8 台 12.3	細砂粒・粗砂粒少 /還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転ヘ ラ削り。	
第291図	3148	土師器 甗	5区210住 床面上29 cm 口縁部～胴部上 半片	口 19.2	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。	
第291図 PL.160	3149	土師器 甗	5区210住 床面上1 cm 口縁部～胴部中 位	口 20.1	細砂粒・角閃/良 好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第291図 PL.160	3150	土師器 甗	5区210住 床面上2 cm 口縁部～胴部下 位	口 19.8	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。	
第291図 PL.160	3151	土師器 甗	5区210住 床面上2 cm 胴部1/3欠損	口 20.0 高 27.4 底 4.9	細砂粒・粗砂粒少 /良好/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内 面胴部はヘラナデ。	
第292図	3152	須恵器 甗	5区210住 床面上13 cm 底部～胴部下 半片	底 19.6 胴 32.1	細砂粒/還元焰/灰	底部は内外面ともヘラナデ。胴部は外面に平行叩き痕、 内面に同心円状アテ具痕が残る。	
第292図	3153	土師器 杯	5区214住 床面上22 cm 1/4	口 11.0 高 3.9	細砂粒/良好/橙	口唇部は横ナデ、口縁部はナデ、体部は手持ちヘラ削り。	
第292図	3154	土師器 杯	5区214住 床面上22 cm 口縁部片	口 12.0	細砂粒/良好/橙	口唇部は横ナデ、口縁部はナデ、体部は手持ちヘラ削り。	
第292図 PL.160	3155	土師器 杯	5区214住 床面上8 cm 完形	口 11.4 高 3.7	細砂粒/良好/橙	口唇部は横ナデ、口縁部、体部から底部は手持ちヘラ 削り。	
第292図	3156	土師器 鉢	5区214住 床面上7 cm 口縁部～体部 2/5片	口 10.9	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内 面は口縁部横ナデ、体部はヘラナデか。	
第292図 PL.160	3157	土師器 杯	5区214住 3/5	口 11.8 高 3.9	細砂粒/良好/橙	口唇部は横ナデ、口縁部・体部から底部は手持ちヘラ 削り。	
第292図	3158	土師器 杯	5区214住 1/3	口 11.8	細砂粒/良好/橙	口唇部は横ナデ、口縁部から体部・底部は手持ちヘラ 削り。	

第三章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号 図版番号	No	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第292図 PL.160	3159	須恵器 杯蓋	5区214住 口縁部片	口 8.6	細砂粒/還元焰/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回りか。天井部は中ほどまで回転ヘラ削り。	杯G蓋
第292図 PL.160	3160	須恵器 杯蓋	5区214住 1/4	口 10.8 高 2.0 摘 1.2	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。摘みは貼付、天井部は中ほどまで回転ヘラ削り。	
第292図 PL.161	3161	須恵器 杯身	5区214住 床面上2cm 2/3	口 7.9 高 3.9 底 3.0	細砂粒/還元焰/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。	杯G身
第292・ 293図 PL.161	3162	須恵器 横瓶	5区214住 3/5	口 16.2 長 38.7 高 34.5 幅 29.8	細砂粒・粗砂粒・ 角閃石/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口縁部には2段の波状文、胴部は平行叩き後カキ目。内面は同心円状アテ具痕が残る。	焼成時には胴部が破損している。
第293図	3163	須恵器 甕	5区214住 口縁部～胴部上半片	口 34.4 胴 50.2	細砂粒/還元焰/灰	頸部に補強帯が貼付。口縁部には2段の波状文、胴部は平行叩き痕、内面は口唇部と頸部を除き同心円状アテ具痕が残る。	外面に降灰がわずかに付着。
第294図 PL.161	3164	須恵器 甕	5区214住 口縁部～底部付近	口 37.0 胴 56.3	細砂粒/還元焰/灰	口縁部はロクロ整形。口縁部には2条の凹線で4段に区画、上位3段には波状文が巡る。胴部は外面に平行叩き痕、内面は同心円状アテ具痕が残る。	
第294図 PL.161	3165	須恵器 杯	5区245住 床面上6 cm ほぼ完形	口 13.9 高 3.8 底 9.4	細砂粒・角閃/酸 化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部と体部下位は回転ヘラ削り。	
第294図	3166	須恵器 杯	5区245住 床面上2cm 1/3	口 13.0 高 3.3 底 8.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り後回転ヘラ削り。	
第294図 PL.161	3167	須恵器 杯	5区245住 床面上2cm 3/4	口 12.7 高 3.8 底 7.1	細砂粒・粗砂粒・ 角閃/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。	底部は疑似高台状を呈す。
第295図 PL.161	3168	土師器 甕	5区245住 床面上5 cm 口縁部～胴部上 半	口 21.0	細砂粒・褐色粒/ 良好/にぶい橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第295図	3169	土師器 杯	5区286住 床面上35 cm 口縁部～体部片	口 11.1 稜 9.6	細砂粒/良好/黄褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	有段口縁杯
第295図	3170	土師器 杯	5区286住 床面上12cm 1/4	口 11.3 稜 11.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第295図 PL.161	3171	土師器 杯	5区286住 床面直上 3/4	口 11.0 高 4.9	粗砂粒・チャート /良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状暗文。	
第295図 PL.161	3172	土師器 杯	5区286住 床面上7cm 1/3	口 12.9 高 5.0	細砂粒・褐色粒/ 良好/橙	口唇部横ナデ、口縁部、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部に放射状暗文。	
第295図	3174	土師器 甕	5区286住 床面上21 cm 口縁部～胴部上 半片	口 15.8	細砂粒/良好/赤褐	内外面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第295図	3175	土師器 短頸壺	5区286住 床面上9 cm 口縁部～胴部片	口 11.7	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第295図	3176	手捏ね 椀形	5区286住 床面上30 cm 口唇部2/3欠損	口 4.2 高 3.0 底 4.2	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	口縁部から体部はナデ、底部はヘラナデ。内面は全面的にナデ。	
第295図 PL.162	3177	土師器 杯	5区304住 床面下1cm 完形	口 9.8 高 3.3	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第295図 PL.162	3178	土師器 杯	5区304住 床面上2cm 完形	口 11.1 高 3.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口唇部横ナデ、口縁部、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第295図 PL.162	3179	土師器 杯	5区304住 3/5	口 11.6 高 4.2	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り、口縁部下にナデ部分がわずかに残る。	
第295図 PL.162	3180	土師器 杯	5区304住 床面上2cm 完形	口 11.2 高 3.3	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第295図	3181	須恵器 杯	5区304住 床面上3 cm 口縁部～体部 1/4片	口 11.9	粗砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転方向不明。体部下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第295図	3182	土師器 杯	5区304住 床面上9cm 底部片		細砂粒・褐色粒/ 良好/にぶい黄橙	底部は手持ちヘラ削り。	
第295図 PL.162	3183	土師器 杯	5区304住 2/5	口 11.7 高 3.2	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部に放射状暗文。	
第295図 PL.162	3184	土師器 杯	5区304住 床面上1cm ほぼ完 形	口 10.5 高 3.4	粗砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第296図	3185	須恵器 瓶	5区304住 床面上21 cm 口縁部～頸部片	口 12.6	細砂粒/やや酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。	
第296図	3186	須恵器 甕	5区304住		粗砂粒・白色粒/ 還元焰/暗灰	外面は平行叩き後間隔をあけたカキ目。内面は同心円状アテ具痕が残る。	
第296図 PL.162	3187	土師器 杯	5区430住 床面上6cm 完形	口 10.8 高 3.8 稜 10.8	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第296図 PL.162	3188	須恵器 杯	5区430住 床面直上 口縁部一部欠損	口 11.6 高 4.6 底 7.7	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転左回り。体部下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第296図 PL.162	3189	土師器 小型甕	5区430住 床面上2 cm 口縁部～胴部 1/4	口 12.2	細砂粒・粗砂粒少 /良好/にぶい橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第296図	3190	土師器 甕	5区430住 床面上9 cm 口縁部～胴部上 位片	口 17.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤	口縁部は横ナデ、頸部から胴部はヘラ削り。内面も頸部から胴部はヘラナデ。	
第296図	3191	土師器 甕	5区430住 床面上2 cm 底部～胴部下片	底 8.2	細砂粒/良好/にぶ い橙	底部から胴部はヘラ削りであるが、器面剥離などで単位不明、内面は器面剥離のため不明。	外面胴部に煤が付着。

第4節 古墳時代後期～平安時代

挿図番号 図版番号	No	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第296図	3192	土師器 甗	5区430住 床面上1cm 口縁部～胴部上	口 21.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第296図 PL.162	3193	土師器 杯	6区1住 床面上8cm 3/4	口 13.8 高 4.0	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は丁寧な手持ちヘラ削り。内面口唇部に凹線が1条巡る。	外面は口縁部から体部、内面は全面に漆塗り。
第296図	3194	土師器 杯	6区1住 口縁部～体部片	口 12.8 稜 11.1	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	有段口縁杯
第296図 PL.162	3195	土師器 鉢	6区1住 床面下16cm 1/2	口 17.4 高 7.6	細砂粒/良好/にぶい橙	内面黒色処理。口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部がヘラナデ。	
第296図 PL.162	3196	土師器 杯	6区1住 2/3	口 13.8 高 4.5	細砂粒・褐色粒/ 良好/にぶい橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部周辺から体部に雑な放射状暗文。	
第296図 PL.162	3197	土師器 杯	6区1住 床面上3cm ほぼ完形、7/8	口 14.4 高 4.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は全面ヘラ磨き。	底部中央には木葉痕がかすかに残る。
第297図 PL.162	3198	土師器 杯	6区1住 床面上20cm 2/3	口 11.6 高 3.8 稜 12.2	細砂粒/良好/明赤褐	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。内面は放射状ヘラ磨き(暗文状)。	
第297図 PL.162	3199	須恵器 杯蓋	6区1住 床面上20cm 口縁部1/3欠損	口 11.8 高 3.8	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転左回りか。天井部は手持ちヘラ削り。	内面のロクロ目は研磨されている。
第297図 PL.162	3200	須恵器 杯蓋	6区1住 床面上4cm 1/2	口 8.6 高 2.8	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。天井部は回転ヘラ削り。	
第297図	3201	土師器 大型杯 (鉢)	6区1住 口縁部～底部片	口 21.8 稜 21.2	細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	内外面とも漆塗りか。
第297図 PL.162	3202	土師器 鉢	6区1住 床面直上 1/2	口 14.9 高 11.7 稜 17.1	細砂粒/良好/灰黄褐	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部ヘラナデ、底部ヘラ磨き。	
第297図	3203	土師器 鉢	6区1住 口縁部～体部上半片	口 15.9	細砂粒/良好/褐灰	口縁部横ナデ、体部は横位の手持ちヘラ削り。	
第297図 PL.162	3204	土師器 甗	6区1住 床面下1cm ほぼ完形	口 21.0 高 43.0 底 4.9	粗砂粒・角閃・褐色粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第297図 PL.163	3205	土師器 甗	6区1住 床面下5cm 胴部中位の一部分欠損	口 20.1 高 35.3 底 3.6	細砂粒・ガラス質粒/ 良好/灰黄褐	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第298図	3206	須恵器 盤	6区1住 底部片	底 16.6 台 17.0	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転ヘラ削り。	
第298図	3207	土師器 甗	6区1住 床面上1cm 口縁部～胴部上位片	口 19.6	細砂粒・角閃/良好/ 黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第298図	3208	土師器 甗	6区1住 床面上11cm 口縁部～胴部上位片	口 20.6	細砂粒・角閃・長石/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第298図 PL.162	3209	土師器 甗	6区1住 口縁部～胴部上半	口 19.6	細砂粒・粗砂粒・安山岩片/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第298図 PL.163	3210	土師器 甗	6区1住 床面上10cm 口縁部～胴部下位	口 24.2	粗砂粒・角閃/良好/ 橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ、一部はハケ目状。	
第298図 PL.163	3211	土師器 甗	6区1住 床面下6cm 口縁部1/2欠損	口 21.0 高 40.0 底 5.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第299図 PL.164	3212	土師器 甗	6区1住 床面上8cm 底部～胴部下位一部分欠損	口 19.6 高 36.2 底 4.9	細砂粒・褐色粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第299図	3214	土師器 杯	6区2住 床面直上 2/5	口 9.8 高 3.5	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第299図	3215	土師器 杯	6区2住 床面上8cm 1/3	口 10.8 高 2.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第299図	3216	土師器 杯	6区2住 床面上5cm 1/4	口 10.0 高 3.6 稜 10.8	細砂粒・褐色粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	内外面とも口縁部に漆塗り。
第299図	3217	土師器 杯	6区2住 2/5	口 11.4 高 3.6 稜 10.6	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第299図	3218	土師器 杯	6区2住 1/4	口 10.8 高 3.4 稜 10.6	細砂粒/良好/灰黄褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)上半はナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は放射状ヘラ磨き。	内外面とも漆塗り。
第299図	3219	土師器 杯	6区2住 床面下4cm 1/5	口 11.8 高 10.0	細砂粒/良好/にぶい黄橙	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第299図	3220	土師器 杯	6区2住 床面直上 口縁部～体部片	口 10.7	細砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第299図	3221	土師器 杯	6区2住 床面上7cm 1/5	口 10.8 高 9.6	細砂粒/良好/灰黄褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第299図	3222	土師器 杯	6区2住 1/4	口 13.0 高 3.6	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	内外面とも漆塗り。

第三章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第299図	3223	土師器 杯	6区2住 床面下4cm 1/4	口 10.6 高 3.3 稜 10.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り 底部から体部は器面磨滅のため詳細不鮮明。	内外面漆塗り か。
第299図	3224	土師器 杯	6区2住 床面上8cm 底部～体部下半	底 7.3	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は斜放射状暗文。	
第299図 PL.163	3225	土師器 杯	6区2住 床面上3cm 完形	口 12.6 高 4.5	細砂粒/良好/橙	内外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、体部上半ナデ、 下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は雑な放射状暗 文。	
第299図	3226	須恵器 皿	6区2住 1/6	口 12.8 高 1.8 底 6.4	微砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第299図 PL.163	3227	須恵器 杯	6区2住 床面上15cm 2/3	口 8.4 高 3.8 底 6.2	細砂粒・粗砂粒少 /還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。	
第299図 PL.163	3228	須恵器 杯	6区2住 床面上5cm 完形	口 14.8 高 3.7 底 10.4	細砂粒・角閃/還 元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲を 回転ヘラ削り。	底部は疑似高 台状を呈す。 内面漆紙の小 片が残る。
第299図 PL.163	3229	須恵器 杯	6区2住 床面上15cm ほぼ完形	口 8.7 高 3.5 底 6.6	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。内面 は使用時の濡れ。	
第299図	3230	須恵器 甕	6区2住 床面上6cm 口縁部片	口 14.6	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。	
第299図	3231	須恵器 杯	6区2住 床面上2cm 1/4	口 9.8	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回りか。体部下半から底部は手持 ちヘラ削り。	
第300図	3232	土師器 杯	6区3住 1/3	口 10.3	細砂粒/やや軟質/ 橙	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、体部から底部は 手持ちヘラ削り。	
第300図 PL.163	3233	土師器 杯	6区3住 床面上36cm 口縁部1/4欠損	口 10.0 高 3.1	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ち ヘラ削り。	
第300図 PL.163	3234	土師器 杯	6区3住 床面上51cm 口縁部1/4欠損	口 11.2 高 3.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、体部から底部は 手持ちヘラ削り。	
第300図 PL.163	3235	土師器 杯	6区3住 床面上4cm 完形	口 10.9 高 4.0 稜 10.6	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	内外面底部に 煤が付着。
第300図	3236	土師器 杯	6区3住 口縁部～底部片	口 11.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り、口 縁部下にナデ部分がわずかに残る。	
第300図	3237	土師器 杯	6区3住 口縁部～体部片	口 12.5 稜 11.0	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第300図	3238	土師器 杯	6区3住 口縁部～体部片	口 10.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第300図	3239	土師器 杯	6区3住 口縁部～体部片	口 11.4	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ち ヘラ削り、体部下位残存率不良のため詳細不明。	
第300図	3240	土師器 杯	6区3住 口縁部～体部片	口 12.4	細砂粒/良好/橙	口唇部は横ナデ、口縁部から体部は手持ちヘラ削り。	
第300図 PL.164	3241	土師器 杯	6区3住 床面上22cm ほぼ完形	口 12.2 高 3.7 稜 11.6	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き(暗文状)。	
第300図 PL.164	3242	土師器 杯	6区3住 床面上5cm 2/3	口 13.4 高 4.9	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内 面は底部から体部に放射状ヘラ磨き(暗文状)。	
第300図 PL.164	3243	須恵器 杯	6区3住 1/2	口 9.0 高 3.6 底 6.4	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は手持ちヘラ削り、体 部下位は回転ヘラ削り。	
第300図 PL.164	3244	須恵器 杯	6区3住 床面上3cm 完形	口 8.8 高 3.4 底 7.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は中央が手持ちヘラ削り、 周辺が回転ヘラ削り。	
第300図	3245	土師器 杯	6区3住 床面上8cm 1/4	口 16.4 高 4.6	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り後 ヘラ磨き。内面は全面的にヘラ磨き。	
第300図	3246	須恵器 高杯	6区3住 脚部下位片	脚 15.7	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。口唇端部は平坦面、口縁 部に凹線が1条巡る。	
第300図 PL.164	3247	須恵器 播鉢	6区3住 床面下3cm 底部欠損	口 14.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。体部下位の一部にヘラ削り とナデがみられる。	
第300図 PL.164	3248	須恵器 播鉢	6区3住 床面下1cm 底部欠損	口 12.4	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。体部下位にヘラ削り。内面 にはカキ目。	
第300図 PL.164	3249	土師器 台付鉢	6区3住 床面下3cm 鉢身部1/2欠損	口 17.4 高 13.0 脚 11.5	細砂粒・角閃/良 好/明赤褐	脚部は体部に貼付。口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、脚 部上半はヘラナデ、下半は横ナデ。内面は口縁部横ナ デ体部ヘラナデ、単位不鮮明、脚部横ナデ。	
第300図 PL.164	3250	土師器 甕	6区3住 口縁部～胴部上半片	口 22.7	細砂粒・褐色粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第300図	3251	土師器 甕	6区3住 胴部1/5片	底 5.4 頸 20.0	細砂粒・角閃・ チャート/良好/橙	内面に輪積み痕が残る。胴部底部ともヘラ削り。内面 はヘラナデ。	
第301図 PL.164	3252	土師器 甕	6区3住 口縁部～胴部上位片	口 21.2	細砂粒・褐色粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ、 口唇部に浅い凹線が1条巡る。	
第301図	3253	土師器 甕	6区3住 床面上1cm 底部～胴部下位片	底 6.7	細砂粒/良好/橙	底部から胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	鉢の可能性も あり
第301図	3254	土師器 高杯	6区3住 床面上1cm 杯身部片	口 23.0	細砂粒・角閃/良 好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部ヘラ削り。内面は放射状ヘラ磨き(暗 文状)。	

第4節 古墳時代後期～平安時代

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第301図	3255	土師器 杯	6区4住 口縁部～底部片	口 11.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第301図	3256	須恵器 杯	6区4住 口縁部～底部片	口 11.6 高 3.7 底 7.0	細砂粒・角閃/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。	
第301図	3257	黒色土器 椀	6区4住 口縁部片	口 12.8	細砂粒/酸化焰/浅黄橙	内面黒色処理。ロクロ整形、回転右回りか。内面は横位のヘラ磨き。	
第301図	3258	須恵器 杯	6区4住 1/4	口 14.1 高 3.0 底 8.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲と体部下半は回転ヘラ削り。	
第301図	3259	土師器 鉢	6区4住 底部～体部	底 11.0	細砂粒・褐色粒/良好/明赤褐	底部から体部は手持ちヘラ削り。内面は放射状ヘラ磨き(暗文状)。	
第301図	3260	須恵器 杯	6区4住 底部～体部片	底 7.0	細砂粒・角閃/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。	
第301図	3261	土師器 甗	6区4住 口縁部～胴部上位片	口 20.8	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第301図	3262	土師器 甗	6区4住 底部～胴部下位片	底 5.6	細砂粒/良好/明赤褐	底部から胴部下位はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第301図	3263	須恵器甗 砥石転用品	6区4住 胴部片、良端部欠損	長 11.5 厚 1.0 短 5.3	細砂粒/還元焰/灰	甗胴部片を砥石に再利用。長辺2辺は丸く、表裏は平滑に使い込んでいる。外面はかすかに格子状叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	
第301図 PL.164	3264	須恵器 杯	6区5住 床面上8cm 3/4	口 11.8 高 3.8 底 5.5	細砂粒・白色粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第301図 PL.164	3265	須恵器 椀	6区5住 床面上10cm ほぼ完形	口 14.4 高 5.4 底 7.3	細砂粒/還元焰/にぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転ナデ。	
第301図	3266	須恵器 椀	6区5住 2/5	口 15.6 高 6.7 底 8.6 台 8.3	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転ヘラナデ。	
第301図	3267	須恵器 椀	6区5住 床面上22cm 1/3	口 13.7 高 6.4 底 7.7 台 7.7	細砂粒・褐色粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り。	
第302図	3268	須恵器 椀	6区5住 底部片	底 8.3	細砂粒/還元焰/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転右回りか。高台は貼付、底部は回転ナデ。	
第302図	3269	土師器 甗	6区5住 口縁部～胴部上位片	口 10.7	細砂粒/良好/暗褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第302図	3270	土師器 台付甗	6区5住 床面上10cm 脚部	脚 10.8	細砂粒/良好/にぶい橙	脚部は胴部に貼付。脚部は内外面とも横ナデ、胴部との接合面はヘラナデ。	
第302図	3271	土師器 甗	6区5住 床面上6cm 口縁部～胴部上位片	口 20.8	細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第302図 PL.164	3272	土師器 甗	6区5住 口縁部～胴部上半	口 16.9 胴 18.0	細砂粒/良好/暗褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	外面は全体的に煤けている。
第302図	3273	土師器 甗	6区5住 口縁部～胴部上位片	口 18.5	細砂粒/良好/灰黄褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第302図	3274	土師器 甗	6区5住 床面上16cm 口縁部～胴部上半片	口 18.3	細砂粒/良好/にぶい赤褐	外面頸部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第302図	3275	土師器 甗	6区5住 床面上28cm 口縁部～胴部上位片	口 18.8	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第302図	3276	土師器 甗	6区5住 口縁部～胴部上位片	口 21.4	細砂粒/良好/浅黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。口縁部に段を有す。	
第302図	3277	土製品 土錘	6区5住 床面上5cm 完形	長 4.3 孔 0.4 径 2.0 重	微砂粒/良好/にぶい赤褐	表面、上下面ともナデ。	上面穿孔脇に使用痕がみられる。
第302図	3278	土製品 土錘	6区5住 床面上4cm 完形	長 4.2 孔 0.4 径 2.2 重	微砂粒/良好/橙	表面、上下面ともナデ。	
第303図 PL.164	3286	黒色土器 椀	6区6住 口縁部一部欠損	口 14.8 高 6.2 底 7.1 台 7.5	細砂粒/酸化焰/橙	内面黒色処理。ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、体部下半はヘラ削り。内面は全面ヘラ磨き。	外面体部に墨書、「下」か。
第303図	3287	須恵器 長頸壺	6区6住 底部～胴部下半片	底 10.8 胴 26.4 台 10.2	細砂粒・粗砂粒・長石・角閃石/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転ナデ、胴部下位は回転ヘラ削り。内面底部はヘラナデ。	
第303図 PL.165	3288	土師器 杯	6区7住 床面上32cm 口縁部1/3欠損	口 10.0 高 3.8	細砂粒/良好/橙	外面口唇部に輪積み痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部はナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第303図	3289	土師器 杯	6区7住 口縁部～底部片	口 11.8	細砂粒・角閃/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第303図	3290	土師器 杯	6区7住 口縁部～体部片	口 17.7 稜 15.7	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。	
第303図 PL.165	3291	土師器 杯	6区7住 床面上21cm 2/3	口 10.1 高 3.4	細砂粒/良好/橙	口唇部は横ナデ、口縁部はナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第303図	3292	土師器 杯	6区7住 1/4	口 13.8 高 3.7	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第303図 PL.165	3293	土師器 杯	6区7住 床面直上 完形	口 10.6 高 3.3	細砂粒/良好/にぶい黄橙	口唇部は横ナデ、口縁部から体部・底部は手持ちヘラ削り。	

第三章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第303図 PL.165	3294	土師器 杯	6区7住 床面上28cm 1/2	口 13.2 高 4.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第303図	3295	土師器 杯	6区7住 床面直上 1/4	口 10.8 高 3.3	細砂粒/良好/橙	口唇部横ナデ、口縁部から体部上半はナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第303図	3296	土師器 甕	6区7住 床面直上 底部～胴部下位片	底 4.4	細砂粒/良好/にぶ い橙	底部、胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第303図	3297	土師器 甕	6区7住 床面上3cm 口縁部～胴部上位片	口 18.0	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第303図	3298	土師器 甕	6区7住 床面上13cm 口縁部～胴部上位片	口 22.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第303図	3300	羽口	6区7住 羽口	長 4.9 幅 4.7 厚 1.2 重 33.7		先端部片。内径約2cm。白色軽石を含む。やや薄手。	
第304図 PL.165	3301	土師器 杯	6区8住 床面上11cm 口縁部1/2欠損	口 12.2 高 4.3	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面に放射状ヘラ磨き。	
第304図 PL.165	3302	土師器 杯	6区8住 床面上4cm 2/3	口 13.0 高 3.9	細砂粒/良好/橙	内面黒色処理。外面口縁部下に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き。	
第304図 PL.165	3303	土師器 杯	6区8住 1/2	口 12.6 底 8.4	細砂粒/良好/にぶ い橙	内面黒色処理。外面口縁部下に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部にやや雑な放射状ヘラ磨き。	
第304図	3304	須恵器 杯蓋	6区8住 1/3	口 11.0 高 3.2	細砂粒・黒斑/還元 焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。天井部はヘラ削りか、降灰が厚く付着し詳細不明。	
第304図 PL.165	3305	土師器 短頸壺	6区8住 床面上3cm 口縁部～胴部下位	口 9.6 胴 12.8	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第304図 PL.165	3306	土師器 杯	6区9住 3/5	口 9.9 高 2.9 底 10.0	細砂粒/良好/黄灰	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り、底部～体部は器面磨滅のため詳細不明。	内面は漆塗り。
第304図	3307	土師器 杯	6区9住 口縁部～体部片	口 12.8	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第304図 PL.165	3308	須恵器 杯	6区9住 床面上8cm 3/5	口 12.2 高 2.9 底 6.0	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部と体部下位は回転ヘラ削り。	
第304図 PL.165	3309	須恵器 杯	6区9住 床面上1cm 3/4	口 13.4 高 3.6 底 7.6	細砂粒・粗砂粒/ 白色粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周辺を回転ヘラ削り。	口縁部を片口状に成形している可能性あり。
第304図 PL.165	3310	須恵器 杯	6区9住 床面上1cm 1/2	口 12.4 高 2.8 底 6.2	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周辺を回転ヘラ削り。	
第304図	3311	須恵器 杯	6区9住 床面上26cm 1/4	口 15.2 高 3.4 底 9.6	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/浅黄	ロクロ整形、回転右回り。底部と体部下半は回転ヘラ削り。	
第304図	3312	土師器 杯	6区9住 床面上18cm 2/3	口 14.6 高 4.5	細砂粒・角閃/ 良好/浅黄褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	内面に漆紙が残る。
第304図	3313	土師器 甕	6区9住 床面上8cm 口縁部～胴部上位片	口 11.8	細砂粒/良好/にぶ い橙	内面頸部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第304図	3314	土師器 壺	6区9住 床面上12cm 底部～胴部下半片	底 5.4	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第304図 PL.165	3315	土師器 小型甕	6区9住 床面上8cm 3/5	口 15.3 高 17.5 底 5.0	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ、器面磨滅のため詳細不明。	
第305図	3316	土師器 甕	6区9住 床面上9cm 口縁部～胴部上位片	口 19.8	細砂粒/良好/橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第305図	3317	土師器 甕	6区9住 床面上9cm 口縁部～胴部上位片	口 22.7	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第305図	3319	土師器 杯	6区10・11住 床面下4cm 1/2	口 13.8 高 5.1	細砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に斜放射状暗文。	
第305図 PL.165	3320	須恵器 短頸壺	6区10・11住 口縁部～胴部・底部 片	口 12.8 高 21.6 底 15.2 胴 26.6	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、胴部下半が外面に平行叩き後一部ヘラ削り。内面にアテ具痕が残るが下半はヘラナデ。	
第305図 PL.165	3321	須恵器 短頸壺	6区10・11住 床面 上15cm 口縁部～底 部片	口 12.8 胴 25.6 底 14.8	細砂粒・黒粒/還元 焰/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。高台は貼付、胴部は下位に回転ヘラ削り。	高台は故意の打ち欠きか。
第305図	3322	土師器 甕	6区10・11住 床面 直上 底部～胴部下 位片	底 9.2	細砂粒/良好/暗褐	底部から胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	底部形状は矩形か。
第306図 PL.166	3323	土師器 甕	6区10・11住 床面 上8cm 口縁部～胴 部下位片	口 19.4 胴 29.3	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り後雑なヘラ磨き。内面は口縁部から頸部が横ナデ、胴部はヘラナデ。	
第306図 PL.165	3324	土師器 杯	6区12住 床面上6cm 3/4	口 10.7 高 3.4	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第306図 PL.165	3325	土師器 杯	6区12住 1/2	口 11.0 高 3.7	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	

第4節 古墳時代後期～平安時代

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第306図 PL.165	3326	土師器 杯	6区12住 床面上13cm ほぼ完形	口 13.4 高 3.9	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面体部に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状暗文。	内外面漆塗りか。
第306図 PL.165	3327	須恵器 杯身	6区12住 床面上22cm 3/4	口 10.4 高 4.5	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。体部下半から底部は手持ちヘラ削り。内面底部はナデ。	
第306図	3328	土師器 壺	6区12住 床面上11cm 頸部～胴部片		細砂粒/良好/橙	頸部は横ナデ、胴部は外面ヘラ削り、内面ヘラナデであるが器面剥落のため詳細不明。	
第306図 PL.166	3329	土師器 甕	6区12住 床面上11cm 口縁部～胴部上半	口 21.5	細砂粒・褐色粒/ 良好/橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第306図 PL.166	3330	土師器 有孔鉢	6区12住 床面上11cm 1/2	口 17.6 高 10.0 底 6.4 孔 1.2	細砂粒・角閃/良 好/にぶい赤褐	口縁部横ナデ、体部は下位にヘラ削り、上・中位はナデ。内面体部はヘラナデ。	
第307図	3331	土師器 甕	6区12住 床面上17cm 口縁部～胴部上半片	口 22.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第307図 PL.166	3332	土師器 甕	6区12住 床面上48cm 口縁部～胴部上半	口 17.8	細砂粒・粗砂粒多 /良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第307図	3333	土師器 甕	6区12住 床面上12cm 口縁部～胴部上半片	口 21.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。頸部に1条の凹線が巡る。	
第307図 PL.166	3334	土師器 甕	6区12住 床面上4cm 胴部下半1/5欠損	口 18.7 高 39.1 底 4.5	粗砂粒・角閃/良 好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	外面の胴部中に竈装着時の粘土付着。
第307図 PL.166	3335	土製品 紡錘車	6区12住 床面上2cm 完形	上径 5.3×4.8 下径 3.0 高 3.1	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	上面下面、側面ともヘラ削り。上面縁辺部は使用時の摺れて磨滅。	孔径 0.7cm
第308図 PL.166	3336	須恵器 杯	6区13住 床面上3cm 完形	口 10.8 高 2.9 底 7.8	粗砂粒・角閃・雲 母/酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第308図 PL.166	3337	須恵器 杯	6区13住 床面上4cm 完形	口 10.5 高 3.2 底 6.5	細砂粒・角閃・雲 母/酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第308図	3338	須恵器 杯	6区13住 床面上3cm 1/5	口 10.6 高 3.5 底 6.0	細砂粒・褐色粒/ 酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第308図	3339	須恵器 杯	6区13住 床面上1cm 底部	底 5.2	細砂粒・褐色粒/ 酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第308図 PL.166	3340	黒色土器 椀	6区13住 床面上6cm ほぼ完形	口 12.0 高 4.9 底 6.5 台 6.4	粗砂粒・角閃/酸 化焰/橙	内面黒色処理。ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り、口縁部ヘラ磨き。内面は全面ヘラ磨き。	
第308図	3341	須恵器 杯	6区13住 底部	底 4.9	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第308図	3342	須恵器 羽釜	6区13住 床面上4cm 口縁部～胴部上位片	口 21.4	細砂粒・角閃/酸 化焰/明赤褐	ロクロ整形、回転右回り。外面に輪積み痕が残る、鏝は貼付。	
第308図	3343	須恵器 羽釜	6区13住 床面上3cm 口縁部～胴部上位片	口 22.2	細砂粒・褐色粒/ 酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回りか。鏝は貼付。	
第308図	3344	須恵器 羽釜	6区13住 口縁部～胴部上半片	口 20.8	細砂粒・褐色粒/ 酸化焰/にぶい赤 褐	ロクロ整形、回転右回りか。鏝は貼付。	
第308図	3345	灰釉陶器 椀	6区14住 床面上1cm 底部	底 7.0 台 6.8	緻密/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り後周囲を回転ナデ。	体部は打ち欠かされている。 大原2号窯式期
第308図	3346	灰釉陶器 皿	6区14住 床面上4cm 底部	底 7.2 台 6.4	緻密/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転ナデ。施釉方法は口縁部をハケ塗り。	光ヶ丘1号窯式期
第308図	3347	土師器 甕	6区14住 床面上7cm 口縁部～胴部上位片	口 13.0	細砂粒/良好/褐灰	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第308図	3348	土師器 甕	6区14住 床面上7cm 口縁部～胴部上位片	口 19.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第308図 PL.167	3349	土師器 甕	6区14住 床面上4cm 口縁部～胴部下位	口 19.2 胴 22.7	細砂粒・褐色粒/ 良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第309図	3350	須恵器 杯	6区15住 床面上54cm 底部～体部下半	底 6.0	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整、底部使用時の磨滅で不鮮明。	
第309図 PL.167	3351	須恵器 大口壺	6区15住 1/3	口 18.6 高 24.8 底 13.0	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部と胴部下位は回転ヘラ削り。内面胴部にアテ具痕の痕跡が残る。	
第309図	3352	須恵器 杯	6区16住 口縁部～底部片	口 11.4 高 3.5 底 7.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部は回転糸切り無調整。	
第309図	3353	須恵器 椀	6区16住 床面上24cm 底部	底 7.2 台 6.6	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り後周囲に高台貼付時のナデ。	
第309図	3354	須恵器 杯	6区16住 床面上29cm 口縁部～体部片	口 13.8	細砂粒/還元焰/灰	有台形態。ロクロ整形、回転右回りか。	
第309図	3355	土師器 台付甕	6区16住 脚部～胴部下位	脚 7.6	細砂粒/良好/明赤 褐	脚部は胴部に貼付。胴部はヘラ削り、脚部は横ナデ。内面は胴部がヘラナデ、脚部は器面剥落のため不明。	

第三章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第309図	3356	土師器 甕	6区16住 床面下8cm 口縁部～胴部上位片	口 14.0	細砂粒/良好/黄褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第309図	3357	土師器 甕	6区16住 口縁部～頸部片	口 14.8	細砂粒/良好/橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、内面は頸部から下位がヘラナデ。	
第309図	3358	土師器 甕	6区16住 口縁部～胴部上位片	口 20.0	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第309図	3359	土師器 甕	6区16住 口縁部～胴部上位片	口 18.8	細砂粒・角閃/良好/にぶい赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第309図 PL.167	3360	土師器 甕	6区16住 床面直上 口縁部～胴部中位	口 19.4 胴 22.5	細砂粒多/良好/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第310図 PL.167	3361	土師器 甕	6区16住 床面直上 2/3	口 20.2 高 26.4 底 4.5 胴 21.8	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第310図 PL.168	3362	土師器 甕	6区16住 床面上4cm 2/3	口 19.8 高 26.6 底 4.6 胴 22.8	細砂粒・角閃/良好/明赤褐	頸部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、頸部下にナデ部分が残る、胴部と底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	胴部は成形時の歪が大きい。
第310図 PL.168	3363	土師器 甕	6区16住 床面上8cm 2/3	口 19.5 高 27.6 底 2.7 胴 22.2	細砂粒・角閃/良好/明赤褐	頸部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	胴部は成形時の歪が大きい。
第310図	3364	土師器 杯	6区17住 床面上13cm ほぼ完形	口 14.5 高 4.4	細砂粒・石英/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は放射状暗文。	内外面とも漆塗り。
第310図	3365	須恵器 杯蓋	6区17住 床面上38cm 口縁部～天井部片	口 9.8	細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。天井部は中央が回転ヘラ削り。	
第310図 PL.167	3366	須恵器 杯蓋	6区17住 床面上12cm 摘み・口唇部一部欠損	口 10.8 摘 0.8	細砂粒・白色粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部は中ほどまで回転ヘラ削り。	
第310図	3367	須恵器 杯	6区17住 床面上28cm 1/4	口 10.0 高 3.7 底 5.8	細砂粒/還元焰/灰オリーブ	ロクロ整形、回転右回りか。底部は回転ヘラ削り。	
第310図	3368	須恵器 杯蓋	6区17住 1/4	口 11.4	細砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回りか。天井部中ほどは回転ヘラ削り、器面磨滅のため詳細不明。	
第310図	3369	土師器 杯	6区17住 床面上1cm 2/3	口 13.4 高 4.5 稜 11.6	細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き。	内外面とも漆塗り。
第310図 PL.167	3370	土師器 杯	6区17住 床面上2cm 1/3	口 10.2 高 2.9 稜 10.6	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き。	内外面とも漆塗り。
第311図 PL.168	3371	須恵器 鉢	6区17住 床面上9cm 3/5	口 13.7 高 13.8 底 8.9	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部はナデ。	コップ形。
第311図 PL.168	3372	須恵器 播鉢	6区17住 床面上3cm 完形	口 11.8 高 13.3 底 7.6	細砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は手持ちヘラ削り、体部最下位に回転ヘラ削り。	
第311図 PL.168	3373	土師器 鉢	6区17住 床面下1cm 口縁部～胴部上半 1/3欠損	口 15.6 高 13.5 稜 18.8	細砂粒/良好/灰黄褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部に放射状ヘラ磨き(暗文状)。	
第311図 PL.168	3374	土師器 鉢	6区17住 床面上5cm 口縁部～体部	口 21.6	細砂粒多/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部にヘラナデ。	有孔鉢、甕かも。
第311図 PL.168	3375	須恵器 小瓶	6区17住 床面上5cm 完形	口 3.2 高 11.0 底 5.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は手持ちヘラ削り、胴部下位は回転ヘラ削り。	
第311図	3376	土師器 台付甕	6区17住 床面上5cm 胴部～底部下位	脚 9.1	細砂粒・粗砂粒/良好/橙	外面脚部に輪積み痕が残る。脚部は貼付、胴部はヘラ削り、脚部端部は横ナデ。内面胴部はヘラナデ。	
第311図	3377	土師器 甕	6区17住 口縁部～胴部下位片	口 11.8	細砂粒/良好/赤褐	内面頸部に輪積み痕が残る。外面は器面剥離のため不鮮明、口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第311図 PL.168	3378	土師器 甕	6区17住 床面直上 ほぼ完形	口 18.7 高 29.4 底 6.3 胴 24.1	細砂粒/良好/橙	外面頸部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り、底部は木葉痕が残る。内面胴部はヘラナデ。	
第311図	3379	土師器 小型甕	6区17住 床面上13cm 底部～胴部下半	底 4.2	細砂粒・角閃/良好/にぶい黄橙	底部、胴部ともヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第311図	3380	土師器 甕	6区17住 床面下7cm 底部～胴部下位片	底 6.2	細砂粒・粗砂粒/良好/明赤褐	底部には木葉痕が残る、胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第312図	3381	土師器 甕	6区17住 口縁部～ 胴部中位片	口 19.0	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、胴部は器面剥落のため不明。内面胴部はヘラナデ。	
第312図 PL.169	3382	土師器 甕	6区17住 床面直上 1/2	口 17.6 高 26.6 底 10.2	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ、器面磨滅のため単位不鮮明。	
第312図	3383	土師器 甕	6区17住 床面上3cm 口縁部～胴部下位片	口 21.2	粗砂粒・角閃/良好/明赤褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第312図	3384	須恵器 甕	6区17住 口縁部～胴部中位片	口 20.0 胴 34.0	細砂粒/還元焰/灰	口縁部はロクロ整形。胴部は外面に平行叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	
第313図 PL.169	3385	須恵器 甕	6区17住 床面上3cm 2/3	口 19.4 高 33.0 胴 34.8	細砂粒・白色粒/還元焰/灰	口縁部はロクロ整形。胴部は平行叩き後底部から下位と上位にカキ目。内面は同心円状アテ具痕が残る。	
第313図 PL.169	3387	須恵器 長頸壺	6区17住 床面上3cm 2/3	口 8.5 胴 16.2 高 23.8 × 13.3	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。胴部風船作り後口縁部を貼付、胴部はカキ目。	
第314図 PL.169	3388	須恵器 杯	6区18住 床面上10cm 3/4	口 12.5 高 3.8 底 5.8	細砂粒・白色粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	

第4節 古墳時代後期～平安時代

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第314図 PL.169	3389	須恵器 杯	6区18住 床面上7cm 口縁部3/4欠損	口 13.6 高 4.8 底 7.2	細砂粒/還元焰/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	底部は疑似高 台状を呈す。
第314図 PL.169	3390	須恵器 碗	6区18住 2/3	口 15.0 高 4.5 底 7.0	細砂粒・褐色粒/ 酸化焰/にぶい黄 橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第314図	3391	須恵器 杯	6区18住 床面上29cm 2/3	口 12.0 高 3.5 底 5.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第314図	3392	須恵器 杯	6区18住 1/3	口 13.3 高 3.7 底 7.0	細砂粒/外酸化焰・ 中還元焰/灰黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第314図	3393	須恵器 碗	6区18住 口縁部～体部片	口 16.2	細砂粒/酸化焰/に ぶい赤褐	ロクロ整形、回転右回り。	
第314図	3394	須恵器 杯	6区18住 1/5	口 12.8 高 3.8 底 5.8	細砂粒/還元焰/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第314図	3395	須恵器 杯	6区18住 床面上17 cm 底部～体部片	底 6.8	細砂粒/還元焰/褐 灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第314図 PL.169	3396	須恵器 碗	6区18住 床面上9cm 4/5	口 14.6 高 5.9 底 8.1	細砂粒/酸化焰/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸 切り後周囲は高台貼付時のナデ。	
第314図	3397	須恵器 杯	6区18住 口縁部片	口 11.8	細砂粒/還元焰/褐 灰	ロクロ整形、回転右回りか。	
第314図	3398	土師器 甕	6区18住 口縁部～胴部上位片	口 25.8	細砂粒/良好/暗褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。	
第314図	3399	須恵器 甕	6区18住 床面上7cm 頸部～胴部片		細砂粒/還元焰/灰 オリーブ	胴部は外面に平行叩き痕が残るが、内面のアテ具痕は ナデ消されかすかに痕跡が残るだけである。	
第315図 PL.170	3400	須恵器 甕	6区18住 床面直上 底部～頸部	底 20.3 胴 37.5	細砂粒・角閃石/ 還元焰/灰白	底部はナデ、器面磨滅のため不鮮明。胴部は外面に平 行叩き痕が残るが内面のアテ具痕はナデ消されている。	
第315図	3401	須恵器 杯	6区19住 床面上5cm 1/6	口 12.6 高 3.6 底 6.8	細砂粒/酸化焰/明 赤褐	ロクロ整形、回転右回りか。底部回転糸切り無調整。	
第315図	3402	須恵器 碗	6区19住 1/4	口 12.2 高 3.8 底 5.6	細砂粒/酸化焰/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第315図	3403	須恵器 碗	6区19住 1/3	口 12.8 高 4.8 底 5.6	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第315図	3404	須恵器 杯	6区19住 口縁部～体部片	口 7.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部は回転ヘラ削り。内 面口縁部に降灰付着。	長頸蓋の可能 性もあり。
第315図	3405	須恵器 杯蓋	6区19住 床面直上 天井部片		細砂粒/還元焰/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転右回りか。天井部は回転ヘラ削り。 天井部周囲に凹線が1条巡る。	
第315図 PL.170	3406	須恵器 碗	6区19住 床面上19cm 底部	底 7.8 台 7.6	細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸 切り後周囲をナデ。	内面底部に墨 書、判読不明。
第315図	3407	須恵器 碗	6区19住 床面上5cm 底部～体部下半片	底 8.2	細砂粒/酸化焰燻/ 褐灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸 切り。	
第315図	3408	土師器 甕	6区19住 床面上15 cm 口縁部～胴部上 半片	口 13.9	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデか。	
第316図	3409	土師器 甕	6区19住 床面上6cm 口縁部～胴部上位片	口 17.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。	
第316図	3410	土師器 甕	6区19住 床面上5cm 口縁部～胴部上位片	口 18.7	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。	
第316図	3411	土師器 甕	6区19住 床面上1cm 口縁部～胴部中位片	口 20.0	細砂粒・チャート・ 角閃/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。	
第316図	3412	土師器 甕	6区19住 床面直上 口縁部～胴部上位	口 19.1	細砂粒/良好/赤褐	外面頸部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第316図 PL.170	3413	土師器 甕	6区19住 床面上1cm 口縁部～胴部上半片	口 18.2	細砂粒/良好/赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。	
第316図 PL.170	3414	土師器 甕	6区19住 床面上7cm 口縁部～胴部中位片	口 21.6	細砂粒・褐色粒/ 良好/にぶい橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。	
第317図 PL.170	3416	土師器 杯	6区20住 床面直上 完形	口 12.1 高 4.2	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	内面の一部に 煤が斑点状に 付着。
第317図 PL.171	3417	土師器 甕	6区20住 床面直上 1/3、上半の残り不 良	口 17.6 高 35.2 底 10.0	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。	
第317図 PL.171	3418	黒色土器 碗	6区21住 床面上8cm 底部	底 6.8	細砂粒・角閃/酸 化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り無調整。内 面はヘラ磨き。	外面底部に墨 書、判読不能
第317図 PL.171	3419	須恵器 皿	6区21住 床面直上 完形	口 13.6 高 3.1 底 7.7 台 7.6	細砂粒/還元焰燻/ にぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転ナデ。	
第317図 PL.171	3420	須恵器 碗	6区21住 4/5	口 14.4 高 5.6 底 8.5 台 7.4	細砂粒/還元焰/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ヘラ 削り。	
第317図 PL.171	3421	須恵器 碗	6区21住 床面上14 cm 口縁部1/3欠損	口 15.4 高 6.2 底 8.4 台 8.4	細砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸 切り周囲は高台貼付時のナデ。	内面底部から体部 下に煤が付着。
第318図	3424	土師器 甕	6区21住 床面上26 cm 口縁部～胴部上 位片	口 20.7	細砂粒多/良好/に ぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。	

第三章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第318図 PL.171	3425	土師器 甗	6区21住 床面上11cm 口縁部～胴部下位	口 18.8 胴 20.5	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	外面胴部の中位に一部粘土附着。
第318図 PL.171	3426	須恵器 長頸壺	6区21住 床面上6cm 口縁部上半、底の一部欠損	口 7.7 高 23.9 底 10.8 胴 20.6	細砂粒・角閃/還元 焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は手持ちヘラ削り後周囲を回転ナデ、胴部中位の一部と下位にヘラナデ。	口縁部は上半が欠損後割れ口を二次調整か。高台周縁部に打ち欠き痕があり。
第318図	3427	須恵器 甗	6区21住 床面下4cm 底部～胴部下半片	底 18.4 胴 52.0	細砂粒・粗砂粒・角閃石/還元 焰/灰	底部と胴部最下位はヘラ削り、胴部はヘラナデ。内面は底部から胴部にヘラナデ。	
第319図	3428	須恵器 杯	6区22住 床面上3cm 1/2	口 12.2 高 3.9 底 5.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転系切り無調整。	
第319図 PL.171	3429	須恵器 皿	6区22住 床面下2cm ほぼ完形	口 13.5 高 2.7 底 5.5	粗砂粒・角閃/還元 焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転系切り無調整。焼成時の歪大きい。	
第319図	3430	須恵器 椀	6区22住 底部～体部	底 7.8	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄褐	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転系切り。	内面は漆塗りか。
第319図	3431	土師器 甗	6区22住 口縁部～胴部上半片	口 13.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/灰褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第319図	3432	土師器 甗	6区22住 床面下1cm 口縁部～胴部上位片	口 18.8	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第319図	3433	土師器 甗	6区22住 胴部下位片	底 5.0	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面はヘラ削り、内面はヘラナデ。	
第319図	3434	土師器 台付甗	6区22住 床面上9cm 脚部	脚 8.8	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	脚部は胴部に貼付。脚部は内外とも横ナデ。胴部内面はヘラナデ。	
第319図 PL.171	3436	須恵器 杯	6区23住 床面下2cm 口縁部一部欠損	口 12.0 高 3.9 底 5.0	細砂粒/酸化焰/ぎ み/灰黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転系切り無調整。	
第319図 PL.171	3437	須恵器 杯	6区23住 床面上1cm ほぼ完形	口 12.8 高 4.0 底 5.7	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転系切り後周囲をナデ。	
第319図 PL.171	3438	須恵器 杯	6区23住 床面上2cm 完形	口 13.2 高 4.2 底 6.0	細砂粒/酸化焰/ぎ み/灰黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転系切り無調整。	
第319図 PL.171	3439	須恵器 杯	6区23住 床面上7cm 3/4	口 13.3 高 4.5 底 6.8	細砂粒・粗砂粒少 /還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転系切り無調整。	
第319図 PL.172	3440	須恵器 杯	6区23住 床面下4cm 口縁部1/5欠損	口 13.4 底 6.9	細砂粒/還元焰/に ぶい黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転系切り後一部にヘラ削り。体部に指頭圧痕か。	内面下半に煤が附着。
第319図 PL.172	3441	須恵器 皿	6区23住 床面上27cm 口縁部一部欠損	口 12.7 高 2.8 底 6.6 台 6.8	細砂粒/還元焰/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転ナデ。	
第320図	3442	土師器 甗	6区23住 床面上4cm 口縁部～胴部上位片	口 18.7	細砂粒/良好/赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第320図	3443	須恵器 椀	6区23住 床面直上 1/3	口 14.5 高 5.4 底 7.7 台 7.7	細砂粒/酸化焰/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部切り離し技法は不明。	
第320図 PL.172	3444	須恵器 椀	6区23住 床面直上 3/4	口 15.4 高 6.7 底 7.9 台 8.0	細砂粒/酸化焰/浅 黄	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転ナデ。	
第320図	3445	須恵器 椀	6区23住 床面直上 3/4	口 14.6 高 6.7 底 8.3 台 7.8	細砂粒/酸化焰/ぎ み/灰黄褐	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部はか回転ナデ。	
第320図	3446	須恵器 甗	6区23住 床面上18cm 口縁部～胴部片		細砂粒・角閃石/ 還元焰/褐灰	口縁部はロクロ整形。胴部は内外面ともヘラナデ、叩き痕、アテ具痕は残らない。	
第320図	3447	須恵器 甗	6区23住 床面上2cm 口縁部～頸部片	口 26.4	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。口唇部は肥厚し、凹線が2条巡る。	
第320図 PL.172	3448	須恵器 甗	6区23住 床面上2cm 口縁部～胴部上半片	口 25.4	細砂粒・角閃/還元 焰/暗灰	口縁部はロクロ整形、回転左回りか。胴部は外面に平行叩きをほとんどナデ消している。内面はアテ具痕がナデ消されている。	
第321図 PL.172	3451	須恵器 甗	6区23住 床面直上 口縁部～胴部上半片	口 42.6 胴 60.0	細砂粒/還元焰/灰	口縁部はロクロ整形。胴部は外面に平行叩き痕が残るが、内面はアテ具痕がナデ消されている。	
第321図	3452	須恵器 広口壺	6区23住 床面上2cm 底部～胴部・頸部片	底 17.6 胴 30.7	細砂粒/還元焰/褐 灰	成・整形不鮮明。底部はヘラナデ、胴部は最下位にヘラ削り、他はナデ。内面はヘラナデ。	
第322図 PL.173	3453	土師器 杯	6区24住 床面上65cm 1/2	口 9.5 高 3.5	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部横ナデ、体部から底部は器面磨滅のため整形不明。	
第322図 PL.173	3454	土師器 杯	6区24住 床面上4cm ほぼ完形	口 12.0 高 3.8 稜 11.4	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第322図	3455	土師器 杯	6区24住 床面上14cm 1/4	口 13.5 高 4.0 稜 12.4	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第322図	3456	土師器 杯	6区24住 床面上1cm 2/5	口 10.6 高 3.3	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削りであるが、体部から底部は器面剥落のため不明。	
第322図 PL.173	3457	土師器 杯	6区24住 床面上5cm 3/4	口 12.2 高 4.0 稜 10.4	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り、稜下にナデ部分がわずかに残る。	
第322図 PL.173	3458	土師器 杯	6区24住 床面上2cm 4/5	口 14.9 高 5.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、口縁部、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第322図	3459	土師器 杯	6区24住 1/3	口 10.4 稜 9.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部横ナデ、底部(稜下)は手持ちヘラ削り。	

第4節 古墳時代後期～平安時代

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第322図 PL.173	3460	土師器 杯	6区24住 床面上10cm 3/5	口 11.8 高 3.7 稜 11.6	細砂粒/良好/明黄 褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第322図	3461	土師器 杯	6区24住 口縁部～体部片	口 12.0 稜 12.2	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。	
第322図 PL.173	3462	土師器 杯	6区24住 床面上23 cm 口縁部大部分欠 損	口 13.8 高 4.2 稜 12.6	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第322図	3463	土師器 杯	6区24住 床面上1cm 1/2	口 15.7 高 5.2	細砂粒/良好/橙	口唇部は横ナデ、口縁部から体部、底部は手持ちヘラ削り。	
第322図 PL.173	3464	土師器 杯	6区24住 床面上24cm 完形	口 12.5 高 3.6 稜 12.0	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り、 内面底部に放射状ヘラ磨き(暗文状)。	
第322図 PL.173	3465	土師器 杯	6区24住 床面上11 cm 口縁部1/3欠損	口 12.8 高 4.1 稜 12.2	細砂粒・褐色粒/ 良好/灰黄褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り、 体部下にナデ部分が残る。内面は底部から体部に放射 状ヘラ磨き。	内外面とも漆 塗り、一部漆 が剥落。
第322図	3466	土師器 杯	6区24住 床面上3cm 2/5	口 14.9 高 5.6 稜 14.0	細砂粒/良好/明黄 褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り、 内面は底部から胴部は放射状ヘラ磨き(暗文状)。	
第322図 PL.173	3467	須恵器 杯	6区24住 床面上16cm 2/5	口 8.8 高 3.7 底 7.0	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。	底部にヘラキ ズあり。
第322図	3468	土師器 鉢	6区24住 床面下2cm 口縁部～体部3/4	口 12.5	細砂粒多、褐色粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内 面は体部がヘラナデ。	成形時の歪が 大きい。
第322図	3469	土製品 円盤状品	6区24住 1/2	径 6.8 重 29.8 厚 1.3	細砂粒/良好/橙	表裏ともナデ。	裏面に煤が付 着。
第322図 PL.173	3470	土製品 紡錘車	6区24住 上面周縁部欠損	上径 6.1×5.8 下径 3.1 高 1.8	緻密/酸化焰/黒/ にぶい黄橙	黒色処理、下面は黒色化していない。全面ヘラ磨き。 下面穿孔部は段を有す。	上面周縁部の 大半は打ち欠 きか。重量 54.4g
第323図	3471	土師器 甕	6区24住 床面上4cm 口縁部～胴部上位片	口 17.9	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第323図	3472	土師器 甕	6区24住 床面直上 口縁部～胴部上位片	口 23.3	細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。	
第323図	3473	土師器 甕	6区24住 床面上16cm 底部	底 10.0	細砂粒/良好/橙	底部から胴部はヘラ削り、器面磨滅のため単位不明。 内面はヘラナデ。	
第323図	3474	土師器 台付甕	6区24住 床面上13 cm 脚部～胴部下位	脚 9.0	細砂粒多/良好/に ぶい褐	脚部は貼付か。胴部から脚部上半はヘラ削り、裾部は 横ナデ。内面は胴部がヘラナデ、脚部は横ナデ。	
第323図 PL.173	3475	土師器 甕	6区24住 床面上10 cm 口縁部～胴部上 半片	口 25.8 胴 35.4	細砂粒・褐色粒・ 角閃/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第323図 PL.173	3476	土師器 甕	6区24住 床面上2cm 口縁部～胴部下位片	口 17.6	粗砂粒・角閃/良 好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	外面の胴部中 位に粘土付着 部分あり。
第323図 PL.173	3477	土師器 甕	6区24住 床面上2cm 口縁部～胴部下位	口 20.6 胴 23.8	細砂粒・角閃/ チャート/良好/に ぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第323図	3478	土師器 甕	6区24住 床面上8cm 口縁部～胴部上位片	口 23.0	粗砂粒多/良好/に ぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第324図 PL.174	3479	土師器 甕	6区24住 床面上8cm 口縁部～胴部上半片	口 21.5	粗砂粒・角閃・長 石/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。	
第324図	3480	土師器 甕	6区24住 床面下2cm 口縁部～胴部上半片	口 18.8	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は頸部から胴 部にヘラナデ。	
第324図	3481	土師器 杯	6区25住 1/5	口 10.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第324図 PL.173	3482	土師器 杯	6区25住 床面上12cm 2/3	口 11.0 高 4.1 稜 8.6	細砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 内面は放射状ヘラ磨き。	外面の口縁部 と内面の全面 に漆塗り。
第324図	3483	土師器 杯	6区25住 床面上8cm 口縁部～体部片	口 11.5	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	口縁部は横ナデ、体部は手持ちヘラ削り。内面は体部 に放射状ヘラ磨き(暗文状)。	内外面とも漆 塗り。
第324図	3484	土師器 杯	6区25住 床面上41cm 2/3	口 10.3 高 3.1	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内 面に放射状ヘラ磨き。	内外面とも漆 塗り。
第324図 PL.173	3485	須恵器 杯	6区25住 床面上11 cm ほぼ完形	口 9.9 高 3.5 底 約 5.0	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。体部から底部は手持ちヘラ 削り。	
第324図	3486	土師器 鉢	6区25住 口縁部片	口 27.0	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面に輪積み痕が残る。口縁部上半は横ナデ、下半は ヘラナデ。内面は横ナデ。	
第324図	3487	土師器 小型壺	6区25住 床面上29 cm 口縁部～胴部下 位片	口 10.8 胴 13.4	細砂粒/良好/明黄 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ、器面磨滅のため単位不鮮明。	
第324図	3488	土師器 小型壺	6区25住 床面上4cm 口縁部～胴部中位片	口 11.0 胴 12.8	細砂粒・褐色粒/ 良好/明黄褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。	

第三章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第324図 PL.173	3489	土師器 杯	6区26住 床面上25cm 4/5	口 9.7 高 3.0 底 7.0	細砂粒/良好/褐灰	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部には木葉痕が残る。内面は底部から体部にヘラナデ。	
第324図	3490	須恵器 杯蓋	6区26住 1/3	口 10.8 高 3.6	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。天井部は回転ヘラ削り。	
第324図 PL.173	3491	須恵器 杯蓋	6区26住 床面上5cm 口縁部1/3欠損	口 12.7 高 3.7	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。天井部は回転ヘラ削り。焼成時の歪が大きい。	
第325図	3492	土師器 杯	6区27住 床面上3cm 1/3	口 9.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第325図	3493	土師器 杯	6区27住 床面上15cm 1/4	口 12.8	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状暗文。	
第325図 PL.174	3494	土師器 杯	6区27住 床面上3cm 完形	口 10.6 高 3.4	細砂粒・粗砂粒少 /良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第325図 PL.174	3495	土師器 杯	6区27住 床面上26cm 完形	口 10.6 高 3.3	細砂粒・粗砂粒少 /良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第325図	3496	土師器 杯	6区27住 床面上1cm 1/2	口 12.1 高 3.3	細砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き(暗文状)。	
第325図	3497	土師器 杯	6区27住 床面下1cm 1/3	口 12.8 高 3.3	細砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に斜放射状ヘラ磨き(暗文状)。	
第325図 PL.174	3498	土師器 杯	6区27住 床面上6cm 完形	口 13.8 高 4.9	細砂粒・角閃・長 石/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第325図	3499	須恵器 杯	6区27住 床面上46cm 1/5	口 13.8 高 3.5 底 8.0	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り。	
第325図 PL.174	3500	須恵器 杯	6区27住 1/2	口 14.0 高 4.2 底 8.2	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り。	
第325図 PL.174	3501	須恵器 杯	6区27住 1/2	口 12.8 高 4.4 底 7.0	粗砂粒・角閃/還 元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周辺と体部下位は回転ヘラ削り。	
第325図	3502	須恵器 杯	6区27住 1/3	口 12.6 高 3.5 底 9.0	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り。	
第325図 PL.174	3503	須恵器 杯蓋	6区27住 床面上22 cm ほぼ完形	口 10.0 高 2.3 摘 1.0	細砂粒・白色粒/ 還元焰/暗灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部は中ほどまで回転ヘラ削り。	摘みは欠損部を研磨して使用。
第325図	3504	土師器 鉢	6区27住 床面上3cm 1/3	口 16.0 高 10.9	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き(暗文状)。	
第325図	3505	須恵器 鉢	6区27住 底部片	底 7.3	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部はヘラナデ、体部下位は回転ヘラ削り。	
第325図	3506	土師器 鉢	6区27住 床面直上 口縁部～体部片	口 17.6	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き(暗文状)。	
第325図	3507	土師器 甕	6区27住 口縁部～胴部上位片	口 12.8	細砂粒/良好/にぶ い橙	二次的被熱を受け、内面黒色化。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第325図	3508	土師器 甕	6区27住 床面上1cm 1/3	口 19.1 高 21.4 底 8.0	細砂粒/良好/橙	内外面に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り、下位に部分的なヘラ磨き。内面は胴部ヘラ磨き、底部周囲はヘラ削り。	
第326図	3509	土師器 甕	6区27住 床面上15 cm 口縁部～胴部上 位片	口 19.6	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第326図	3510	土師器 甕	6区27住 口縁部～胴部上位片	口 22.6	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第326図	3511	須恵器 甕	6区27住 胴部片		細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕、内面は同心円状アテ具痕がかすかに残る。外面に他の個体が付着。	窯での焼成台に使用された可能性がある。
第326図	3512	須恵器 甕	6区27住 床面上57 cm 口縁部～胴部下 位片	口 19.8 胴 34.8	細砂粒/酸化焰/に ぶい橙	口縁部はロクロ整形。胴部は外面に平行叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	
第326図	3513	須恵器 甕	6区27住 口縁部片		細砂粒・粗砂粒・ 角閃石/還元焰/灰	口縁部はロクロ整形、口唇部下に1条の凸帯、口縁部に2段の波状文が巡る。	
第327図	3514	須恵器 甕	6区27住 床面上47 cm 口縁部片	口 39.0	細砂粒/還元焰/灰	口縁部はロクロ整形。外面は4段の波状文が巡る。	
第327図	3515	須恵器 甕	6区27住 床面上40 cm 胴部片		細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕、内面は同心円状アテ具痕が残る。	
第327図	3516	須恵器 甕	6区27住 床面上41cm 胴部片		細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕、内面は同心円状アテ具痕が残る。	
第328図	3517	土師器 杯	6区28住 1/5	口 10.8	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第328図	3518	土師器 杯	6区28住 床面上33cm 1/4	口 13.0	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第328図 PL.174	3519	須恵器 杯	6区28住 床面上20 cm 口縁部1/3欠損	口 12.4 高 3.0 底 8.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後中ほどから周囲と体部下位を回転ヘラ削り。	底部に墨書、判読不能。

第4節 古墳時代後期～平安時代

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第328図 PL.174	3520	土師器 杯	6区28住 1/2	口 9.1 高 3.4 稜 9.7	細砂粒/良好/褐灰	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り、底部中央に木葉痕が残る。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き。	内外面とも漆塗りか。
第328図	3521	土師器 杯	6区28住 1/3	口 12.0 高 4.1	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部に放射状ヘラ磨き(暗文状)。	
第328図	3522	須恵器 杯	6区28住 床面上21cm 1/4	口 13.2 高 3.4 底 8.0	粗砂粒少/還元焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部と体部下位は回転ヘラ削り。	
第328図	3523	須恵器 杯	6区28住 床面上13cm 1/3	口 18.0 高 5.7 底 9.6	細砂粒・角閃・白 色粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。口縁部から体部は器面磨滅。	
第328図	3524	須恵器 碗	6区28住 1/4	口 11.0 高 5.4 底 6.6 台 6.4	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回りか。高台は貼付。	
第328図	3525	土師器 甗	6区28住 床面上8cm 底部～胴部下位	底 6.8	細砂粒/良好/橙	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第328図	3526	土師器 甗	6区28住 底部～胴部下位	底 2.2	細砂粒/良好/灰黄 褐	底部は木葉痕が残る、胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第328図	3527	土師器 甗	6区28住 床面上29 cm 口縁部～胴部上 位片	口 20.4	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第328図 PL.174	3530	須恵器 杯	6区29住 口縁部大部分欠損	口 13.2 高 3.3 底 8.6	細砂粒/良好/灰オ リーブ	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後中ほどを残して回転ヘラ削り。	
第328図	3531	須恵器 杯	6区29住 1/8	口 13.2 高 3.6 底 7.2	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	外面口縁部に墨書、一部のため判読不能。
第328図	3532	須恵器 杯	6区29住 1/4	口 12.9 高 3.0 底 8.0	細砂粒・粗砂粒少 /還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部と体部下位は回転ヘラ削り。	
第328図	3533	須恵器 小型短頸 壺	6区29住 胴部上半片		細砂粒/還元焰/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転右回りか。胴部上位に降灰が付着。	
第328図	3534	須恵器 壺	6区29住 底部～胴部下半	底 4.4	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部と胴部下位に手持ちヘラ削り。内面底部に降灰が付着。	
第329図 PL.174	3535	土師器 甗	6区29住 床面上7cm 口縁部～胴部上半	口 21.1	細砂粒・褐色粒/ 良好/にぶい橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第329図	3536	土師器 甗	6区29住 床面上1cm 底部～胴部上位片	底 7.4	細砂粒/良好/明赤 褐	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第329図 PL.174	3537	土師器 甗	6区29住 床面上3cm 口縁部～胴部下位	口 20.5	細砂粒・褐色粒/ 良好/にぶい赤褐	内外面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	外面胴部に粘土付着。
第329図	3538	土師器 甗	6区29住 床面上9cm 口縁部～胴部上位片	口 28.6	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第329図	3541	土師器 杯	6区30住 床面上27cm 1/4	口 10.8 高 2.8	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第329図 PL.174	3542	須恵器 杯	6区30住 床面下17 cm ほぼ完形	口 9.8 高 3.2 底 5.1	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第329図 PL.174	3543	黒色土器 碗	6区30住 床面上13 cm ほぼ完形	口 11.2 高 4.5 底 5.9	細砂粒・角閃・長 石・/酸化焰/にぶ い黄橙	内面黒色処理。ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。内面は全面ヘラ磨き。	外面の体部と底部の2箇所に「伴」の墨書。
第329図	3544	須恵器 碗	6区30住 4/5	口 14.3 高 4.6 底 8.5	細砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲を回転ヘラ削り。	
第330図	3545	須恵器 杯	6区30住 1/3	口 11.8 高 3.7 底 6.0	細砂粒/還元焰/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第330図	3546	須恵器 杯	6区30住 床面上1cm 2/3	口 12.4 高 3.8 底 6.6	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第330図 PL.174	3547	須恵器 杯	6区30住 床面上1 cm 完形	口 12.8 高 3.9 底 7.2	細砂粒・褐色粒/ 酸化焰/灰黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第330図	3548	須恵器 杯	6区30住 1/4	口 11.2 高 3.5 底 5.0	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第330図 PL.174	3549	須恵器 杯	6区30住 床面上12cm 1/2	口 12.9 高 4.2 底 6.0	細砂粒・角閃/還 元焰/にぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第330図	3550	須恵器 杯	6区30住 床面上4cm 2/5	口 13.1 高 3.5 底 7.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第330図	3551	須恵器 杯	6区30住 1/4	口 13.1 高 3.5 底 7.0	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第330図 PL.174	3552	土師器 台付甗	6区30住 床面直上 2/3	口 11.6 高 15.4 脚 8.3	細砂粒/良好/灰褐	脚部は胴部に貼付。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り、脚部は横ナデ。内面胴部はヘラナデ。	
第330図 PL.174	3553	黒色土器 皿	6区30住 床面上2cm 1/2、高台すべて欠 損	口 12.2 底 6.5	細砂粒・褐色粒/ 酸化焰/にぶい橙	内面黒色処理。ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り。内面は全面ヘラ磨き。	

第三章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第330図 PL.174	3554	黒色土器 皿	6区30住 床面下4cm 完形	口 12.5 高 2.6 底 6.0	細砂粒・褐色粒/ 酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り。内面は全面へら磨き。	本来は内面黒色処理か、二次被熱を受けたか。
第330図 PL.175	3555	土師器 甗	6区30住 床面上4cm 口縁部～胴部中位 1/2	口 21.0 胴 25.2	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへら削り。内面胴部はへらナデ。	
第330図 PL.175	3556	土師器 甗	6区30住 床面上17cm 3/4	口 20.5 高 17.2 底 9.6 胴 21.9	細砂粒・角閃石/ 良好/にぶい赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はへら削り。内面は底部から胴部がへらナデ。	
第331図	3557	土師器 甗	6区30住 床面上3cm 底部～胴部下位	底 4.5	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	底部と胴部はへら削り。内面は底部に強い指ナデ、胴部はへらナデ。	外面胴部と底部周囲に粘土付着。
第331図 PL.175	3558	土師器 甗	6区30住 床面上3cm 口縁部～胴部中位	口 19.4 胴 22.2	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへら削り。内面胴部はへらナデ。	
第331図	3559	土師器 甗	6区30住 床面上14 cm 底部～胴部中位	底 4.3 胴 23.0	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	底部と胴部はへら削り。内面はへらナデ。	外面胴部に煤が付着。
第331図	3560	須恵器 甗	6区30住 口縁部～胴部上位片	口 18.6	細砂粒/還元焰/灰	口縁部ロクロ整形。胴部は外面に平行叩き痕、内面にアテ具痕が残る。内面頸部はへらナデ。	
第331図	3561	須恵器 甗	6区30住 床面上6cm 胴部片		細砂粒/還元焰/灰 白	外面は平行叩き痕がかすかに残る。内面はアテ具痕をナデ消している。	
第332図	3562	須恵器 甗	6区30住 頸部～胴部上位片		細砂粒・粗砂粒・ 角閃石/還元焰/灰	口縁部は頸部に貼付。胴部は外面に平行叩き痕残るが、内面のアテ具痕がかすかに残るだけである。	
第332図	3562	須恵器 甗	6区30住 胴部片		細砂粒・粗砂粒・ 角閃石/還元焰/灰	胴部は外面に平行叩き痕残るが、内面のアテ具痕がかすかに残るだけである。	
第332図	3562	須恵器 甗	6区30住 胴部下位片		細砂粒・粗砂粒・ 角閃石/還元焰/灰	胴部は外面に平行叩き痕残るが、内面のアテ具痕がかすかに残るだけである。	
第333図	3565	土師器 杯	6区31住 口縁部～体部片	口 10.6	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。	
第333図 PL.175	3566	土師器 杯	6区31住 床面上17 cm 口縁部1/3欠損	口 10.8 高 4.2	細砂粒・褐色粒/ 良好/赤褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちへら削り。内面は放射状へら磨き(暗文状)。	
第333図 PL.175	3567	土師器 杯	6区31住 床面上8cm 4/5	口 11.6 高 3.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。	
第333図 PL.175	3568	土師器 杯	6区31住 床面上4cm 口縁部1/3欠損	口 11.5 高 3.7	細砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面に放射状暗文。	
第333図 PL.175	3569	土師器 杯	6区31住 床面上29cm 2/3	口 11.3 高 3.7	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。	
第333図	3570	土師器 杯	6区31住 1/4	口 11.6 高 4.2	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面に放射状へら磨き(暗文状)。	
第333図	3571	土師器 杯	6区31住 床面上4cm 1/3	口 11.4 高 4.2	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。	内面底部に煤が付着。
第333図 PL.175	3572	土師器 杯	6区31住 床面下1cm 口縁部1/4欠損	口 11.8 高 4.2 底 7.8	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちへら削り。内面は放射状暗文、器面磨滅のため不鮮明。	
第333図	3573	土師器 杯	6区31住 1/5	口 10.8 高 3.4 稜 10.7	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちへら削り。	
第333図	3574	土師器 杯	6区31住 口縁部～底部片	口 11.0 稜 11.0	細砂粒・褐色粒/ 良好/明黄褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちへら削り。内面は底部から体部に放射状へら磨き(暗文状)。	内外面と漆塗り。
第333図 PL.175	3575	土師器 杯	6区31住 床面上5cm 2/3	口 11.8 高 3.9 稜 8.7	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちへら削り。外面口縁部と内面口唇部に凹線が巡る。	
第333図	3576	土師器 杯	6区31住 床面上12cm 2/3	口 10.5 高 3.0 稜 11.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部横ナデ、底部(稜下)は手持ちへら削り。内面底部に花卉状へら磨き(暗文状)。	
第333図	3577	土師器 杯	6区31住 口縁部～体部片	口 12.8 稜 11.1	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちへら削り。内面口唇部に凹線が1条巡る。	
第333図	3578	土師器 杯	6区31住 口縁部～体部片	口 13.7	細砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部上半横ナデ、下半ナデ、体部と底部は手持ちへら削り。内面は底部から体部にへら磨き(暗文状)。	内面は漆塗り。
第333図	3579	土師器 杯	6区31住 口縁部～体部片	口 11.9 稜 9.4	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)は手持ちへら削り。	
第333図 PL.175	3580	土師器 台付鉢	6区31住 床面下12 cm ほぼ完形	口 17.0 高 18.3 底 9.0 台 11.2	細砂粒/良好/明赤 褐	外面に輪積み痕が残る、脚部は貼付。口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り、脚部はナデ。内面は体部から底部がへらナデ、脚部はナデ。	
第333図	3581	土師器 鉢	6区31住 口縁部～体部片	口 17.8	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい黄橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部はへら削り。内面体部はへらナデ。	
第333図	3582	土師器 台付甗	6区31住 床面上5cm 脚部	脚 14.0	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	脚部は胴部に貼付。脚部下半は横ナデ、胴部との接合部はへら削り。	
第333図	3583	土師器 大型杯	6区31住 1/3	口 16.7 高 8.2	細砂粒/やや軟質/ 橙	口縁部は横ナデ、横ナデ下にナデ部分がわずかに残る、体部から底部は手持ちへら削り。	
第333図 PL.175	3584	須恵器 杯蓋	6区31住 床面上22 cm 口縁部2/3欠損	口 10.6 高 4.1	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。天井部は手持ちへら削り。	
第334図 PL.175	3585	土師器 高坏	6区31住 床面上7cm 1/3	口 22.0 高 13.0 脚 14.0	細砂粒/良好/橙	脚部は貼付、口縁部横ナデ、底部と脚部はへら削り、裾部は横ナデ。内面は杯身部に横ナデ、脚部はへらナデ。	

第4節 古墳時代後期～平安時代

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第334図	3586	土師器 甕	6区31住 床面上26cm 底部～胴部下半片	底 6.2	細砂粒/良好/橙	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第334図 PL.176	3587	土師器 甕	6区31住 床面下5cm 完形	口 12.4 高 15.9	粗砂粒多/良好/に ぶい黄橙	内外面の口縁部下に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、 胴部から底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第334図 PL.176	3588	土師器 甕	6区31住 床面上1cm 口縁部～胴部上半	口 18.2	細砂粒/良好/赤褐	外面の口縁部から頸部に輪積み痕が残る。内外面とも 器面磨滅のため整形は不明瞭。	
第334図	3589	土師器 甕	6区31住 口縁部～胴部上位片	口 19.2	細砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第334図 PL.176	3590	土師器 甕	6区31主 床面下8cm 口縁部～胴部上半	口 20.6	粗砂粒・角閃/良 好/明赤褐	外面に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第334図 PL.176	3591	土師器 甕	6区31住 床面直上 ほぼ完形	口 15.8 高 23.1 底 約 8.0	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面胴部は ヘラナデ。	
第334図	3592	土師器 甕	6区31住 床面上1cm 底部～胴部下半片	底 9.5	細砂粒・褐色粒/ 良好/明赤褐	内面胴部に輪積み痕が残る。胴部はヘラ削り。内面は 縦位のヘラ磨き。	
第334図	3593	土師器 杯	6区32住 1/4	口 13.7 高 4.0	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ち ヘラ削り。内面に放射状暗文。	内面口縁部の 一部に煤が付 着。
第335図	3594	土師器 甕	6区33住 床面上1cm 口縁部～胴部上位片	口 20.9	細砂粒/良好/明黄 褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面胴部はヘラナデ。	
第335図	3595	須恵器 羽釜	6区33住 床面下1cm 口縁部～胴部上位片	口 20.8 鏝 24.8	細砂粒・角閃/酸 化焰/橙	ロクロ整形、回転右回りか。鏝は貼付、胴部は縦位の ヘラ削り。	
第335図	3596	土師器 台付甕	6区34住 床面直上 脚部	脚 9.8	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	脚部は胴部に貼付、脚部は内外とも横ナデ、胴部内面 はナデ。	脚部内面に煤 が付着。
第335図	3597	土師器 甕	6区34住 床面上2cm 口縁部～胴部上位片	口 19.7	細砂粒/良好/赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。	
第335図	3598	土師器 杯	6区36住 口縁部～体部片	口 10.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、体部から底部は 手持ちヘラ削り。	
第335図	3599	土師器 杯	6区36住 床面上18cm 1/3	口 12.9 高 3.1	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第335図 PL.176	3600	土師器 杯	6区36住 ほぼ完形、7/8	口 9.9 高 3.5 稜 10.3	細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き。	内外面とも漆 塗り。
第335図	3601	土師器 杯	6区36住 床面上3cm 1/4	口 12.4 稜 11.2	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 内面は底部から体日に雑な放射状ヘラ磨き。	内面に漆塗 り。
第335図 PL.176	3602	土師器 杯	6区36住 床面上44cm 3/5	口 14.1 高 4.1	細砂粒/良好/橙	口唇部は横ナデ、口縁部、体部から底部は手持ちヘラ 削り。	内面に漆塗 り。
第335図	3603	土師器 杯	6区36住 口縁部～底部片	口 11.7 稜 9.6	細砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部横ナデ、底部(稜下)は手持ちヘラ削り。	
第335図 PL.176	3604	土師器 杯	6区36住 ほぼ完形	口 14.8 高 4.6	細砂粒/良好/橙	口唇部は横ナデ、口縁部、体部から底部は手持ちヘラ 削り。	
第335図 PL.176	3605	土師器 杯	6区36住 床面上23cm 3/4	口 12.3 高 4.2 稜 10.8	細砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	内外面とも漆 塗り。
第335図	3606	土師器 杯	6区36住 2/5	口 14.6 高 4.2	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内 面は底部から口縁部に放射状暗文。	
第335図 PL.176	3607	土師器 杯	6区36住 床面上1cm 口縁部1/4欠損	口 12.1 高 4.5 稜 10.9	細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	外面の口縁部 と内面の前面 に漆塗り。
第335図	3608	土師器 杯	6区36住 2/5	口 13.6 高 4.9	細砂粒/良好/灰黄 褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部 から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から口縁部に 放射状暗文。	内外面とも漆 塗り。
第336図 PL.176	3609	土師器 杯	6区36住 4/5	口 14.3 高 4.2 稜 12.5	細砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 内面は底部から体部に連弁状ヘラ磨き。	内外面とも漆 塗り。
第336図 PL.176	3610	土師器 杯	6区36住 床面直上 ほぼ完形	口 11.9 高 5.0 稜 11.8	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第336図 PL.176	3611	須恵器 杯身	6区36住 床面上21 cm ほぼ完形	口 11.8 高 4.5	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。体部から底部は手持ちヘラ 削り。	
第336図	3612	須恵器 鉢	6区36住 底部～体部下位片	底 6.4	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は手持ちヘラ削り、体 部最下位は回転ヘラ削り。	播鉢として使 用か。
第336図	3613	須恵器 短頸壺蓋	6区36住 口縁部～天井部片	口 9.8	細砂粒/還元焰/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。天井部は手持ちヘラ削り。	
第336図	3614	土師器 甕か	6区36住 床面上1cm 口縁部～胴部上位片	口 22.0	細砂粒・褐色粒/ 良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は頸 部から胴部にヘラ磨き。	
第336図	3615	土師器 小型甕	6区36住 口縁部～胴部片	口 8.8	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。	

第三章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要	
第336図 PL.176	3617	土師器 甕	6区36住 床面上2cm 口縁部、胴部下半 1/4欠損	口 底	17.0 6.0	高 23.7	細砂粒・粗砂粒/ 良好/灰黄褐	外面頸部下に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、 胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。		
第336図 PL.176	3618	土師器 甕	6区36住 床面上7cm 2/3	口 底	18.3 8.9	高 29.1	細砂粒・褐色粒明 赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。 内面胴部はヘラナデ。		
第337図 PL.177	3619	須恵器 杯	6区37住 床面上2cm ほぼ完形	口 底	12.2 6.2	高 3.6	粗砂粒・角閃/還 元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。		
第337図 PL.177	3620	須恵器 杯	6区37住 床面上5cm 口縁部1/4欠損	口 底	12.2 6.4	高 3.6	粗砂粒・角閃/還 元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。		
第337図 PL.177	3621	須恵器 椀	6区37住 床面上4cm 2/3	口 底	13.4 6.8	高 4.6	細砂粒・白色粒/ 酸化焰/ぎみ/にぶ い黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。		
第337図 PL.177	3622	須恵器 杯	6区37住 1/2	口 底	12.4 7.3	高 3.8	細砂粒/還元焰/は 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。		
第337図 PL.177	3623	須恵器 椀	6区37住 床面上8cm 2/3	口 底	12.2 5.3	高 3.8	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。		
第337図 PL.177	3624	須恵器 椀	6区37住 床面上3cm 1/3	口 底	14.6 6.6	高 5.3	細砂粒/還元焰/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転右回り。底部切り離し技法はナ デで不明、底部周縁に手持ちヘラ削り。		
第337図	3625	須恵器 皿	6区37住 床面上14cm 1/5	口 底	13.8 7.0	高 2.5	細砂粒・褐色粒/ 酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付。		
第337図	3626	土師器 台付甕	6区37住 床面上1cm 脚部	脚	10.5		細砂粒/良好/赤褐	脚部は胴部に貼付。脚部は内外面とも横ナデ。		
第337図	3627	土師器 台付甕	床面上17cm 脚部～胴部下位	脚	7.6		細砂粒/良好/赤褐	脚部は貼付、胴部はヘラ削り、脚部は横ナデ。内 面は胴部がヘラナデ、脚部は横ナデ。		
第337図	3628	土師器 甕	6区37住 床面上18cm 口縁部～胴部上位片	口	14.4		細砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面 胴部はヘラナデ。		
第337図	3629	土師器 甕	6区37住 床面上15cm 口縁部～頸部片	口	14.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面 胴部はヘラナデ。		
第337図	3630	土師器 甕	6区37住 床面上12cm 口縁部～胴部上位片	口	20.4		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面 胴部はヘラナデ。		
第337図	3631	土師器 甕	6区37住 床面上7cm 口縁部～胴部上位片	口	19.8		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面 胴部はヘラナデ。		
第337図	3632	土師器 甕	6区37住 床面上5cm 口縁部～胴部上位片	口	18.8		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面 胴部はヘラナデ。		
第337図	3633	土師器 甕	6区37住 床面上23cm 口縁部～胴部上位片	口	20.0		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面 胴部はヘラナデ。		
第338図	3634	土師器 甕	6区37住 床面上6cm 口縁部～胴部下位片	口	20.0		細砂粒/良好/暗褐	外面頸部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横 ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	コの字状口縁 甕	
第338図	3635	土師器 甕	6区37住 底部～胴部上位片	底 胴	3.5 23.7		細砂粒/良好/赤褐	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。		
第338図	3636	土師器 甕	6区37住 床面上10cm 底部～胴部下半片	底	3.8		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部から胴部はヘラ削り、器面の大部分に粘土付 着のため詳細不明。内面はヘラナデ。	内面底部から 下位にオコゲ 痕が付着。	
第338図	3637	土師器 甕	6区37住 床面上15cm 底部～胴部下半片	底	4.2		細砂粒/良好/明赤 褐	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。		
第338図	3638	須恵器 甕	6区37住 床面上7cm 口縁部片	口	30.0		細砂粒/還元焰/に ぶい赤褐	ロクロ整形。詳細不明。		
第338図	3639	須恵器 長頸壺	6区37住 口縁部～胴部上位片	口	11.6		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り、内面胴部に輪積み痕が かすかに残る。		
第338図	3640	須恵器 壺	6区37住 底部～胴部下位片	底 台	10.8 11.2		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回 転ヘラ削り。胴部も回転ヘラ削り。		
第338図	3641	土製品 土錘	6区37住 床面上4cm ほぼ完形	長 径	4.0 2.0	孔 重	0.6 13.0	微砂粒/良好/黒葛 にぶい橙	表裏、端部ともナデ。	
第338図 PL.177	3642	土製品 紡錘車	6区37住 床面上17 cm 上面周縁部欠損	上径5.1 高1.6	下径3.2 重44.8		緻密/酸化焰/黒 葛にぶい橙	側面と下面は黒色処理。上面と側面はヘラ磨き、 下面はヘラ削りか。	上面に2箇所、 側面に1箇所の ヘラ描き。	
第339図	3643	須恵器 甌	6区37住 床面上1cm 口縁部～胴部上位片	口	29.8		細砂粒/還元焰/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回りか。把手は貼付、ヘラナデ。 内面口縁部にヘラナデ。		
第339図	3643	須恵器 甌	6区37住 底部～胴部下位片	底	16.2		細砂粒/還元焰/褐 灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部はヘラ削り、穿 孔は4～5分割か。		
第339図 PL.177	3644	須恵器 甕	6区37住 床面上4cm 底部～胴部下半片	口	13.0	高 3.5	細砂粒・粗砂粒・ 角閃石/還元焰/灰	外面は叩き痕をナデ消している、底部は磨滅か。 内面はアテ具痕がかすかに残る。		
第340図	3650	須恵器 杯	6区38住 1/4	口 底	13.0 6.3	高 3.5	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。		
第340図	3651	須恵器 椀	6区38住 1/4	口 底	14.0 6.8	高 5.3	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周 囲をヘラ削り。		
第340図	3652	須恵器 椀	6区38住 床面上28 cm 底部～体部下位	底	8.2		細砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回 転糸切り後回転ナデ。		
第340図	3653	須恵器 杯	6区38住 口縁部片	口	12.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。		
第340図	3654	須恵器 杯	6区38住 床面上27cm 1/3	口 底	13.1 6.6	高 4.2	細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。		

第4節 古墳時代後期～平安時代

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第340図	3655	須恵器 杯	6区38住 口縁部～体部片	口	8.8		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転不明。	
第340図	3656	土師器 甕	6区38住 口縁部～頸部片	口	20.8		細砂粒/良好/赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、頸部に指頭痕が残る。胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第340図	3657	土師器 甕	6区38住 口縁部～胴部上位片	口	20.8		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面 胴部はヘラナデ。	
第340図	3658	土師器 甕	6区38住 床面上30 cm 口縁部～胴部上 位片	口	21.8		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面 胴部はヘラナデ。	
第341図	3659	須恵器 甕	6区38住 床面上5cm 口縁部～胴部下位片	口 胴	16.8 20.3		細砂粒/還元焰/褐 灰	胴部上半から口縁部はロクロ整形。胴部下半は外 面に平行叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	
第341図 PL.177	3660	須恵器 壺	6区38住 床面上8cm 1/2	口 胴	15.6 22.4	高 24.5	細砂粒・白粒/酸 化焰/橙	胴部上半から口縁部はロクロ整形。胴部上半はカ キ目、胴部下半から底部は外面に格子目状叩き痕、 内面に同心円状アテ具痕が残る。	
第341図	3661	須恵器 壺	6区38住 床面上4cm 胴部片	胴	27.0		細砂粒/還元焰/灰	胴部は上位にカキ目、中位から下位は格子目状叩 き痕が残る。内面は同心円状アテ具痕が残る。	
第341図	3662	土製品 紡錘車	6区38住 1/2	径 厚	5.4 0.6	孔 0.3 重 13.0	細砂粒/還元焰/灰	杯の底部を転用か。ロクロ整形、回転右回り。底 部は回転糸切り無調整、側面は研磨。	
第341図	3663	土師器 杯	6区39住 口縁部～底部片	口	13.6		細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第341図	3664	須恵器 椀	6区39住 口縁部～体部片	口	16.3		細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転右回り。	外面に墨書、 判読不能。
第341図	3666	土師器 杯	6区40住 1/3	口 稜	10.8 9.8	高 4.2	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削 り。外面口縁部に凹線が1条巡る。	
第341図	3667	土師器 杯	6区40住 1/3	口 稜	12.8 11.2	高 4.2	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削 り。	有段口縁杯 り。
第341図	3668	土師器 杯	6区40住 1/3	口 稜	12.4 12.2	高 4.2	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削 り。	有段口縁杯 り。
第342図 PL.177	3669	土師器 杯	6区40住 床面下1cm 4/5	口 稜	13.9 13.0	高 4.2	細砂粒/良好/赤褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削 り。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き。	内面に煤が付 着。底部器面 剥落。
第342図 PL.177	3670	須恵器 杯蓋	6区40住 床面上44 cm 口唇部1/2欠損	口	11.2	高 3.8	細砂粒・粗砂粒と も少/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。天井部は手持ちヘラ削り、 天井部と口縁部の間位に凹線が1条巡る。	
第342図	3671	須恵器 杯蓋	6区40住 天井部～口縁部片	口	9.6		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。天井部中ほどは回転ヘ ラ削り。	
第342図	3672	土師器 鉢	6区40住 口縁部～体部上半片	口	18.8		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面 胴部はヘラナデ。	内面口縁部下 半より下位に 煤が付着。
第342図	3673	土師器 鉢	6区40住 口縁部～底部片	口	20.3		細砂粒/良好/明赤 褐	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部横ナデ、体 部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。内面は口縁部 から体部上位まで横ナデ、下半から底部はヘラナデ。	
第342図 PL.177	3674	土師器 小型甕	6区40住 床面直上 口縁部～胴部下位	口	14.6		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面 胴部はヘラナデ。	
第342図	3675	土師器 鉢	6区40住 床面上6cm 口縁部～体部片	口	24.6		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。 内面は口唇部横ナデ、口縁部から底部はヘラ磨き。	
第342図 PL.177	3676	土師器 甕	6区40住 床面直上 口縁部～胴部下位	口 胴	20.4 28.0		細砂粒/良好/浅黄 橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘ ラナデ。頸部に段を有す。	
第342図 PL.178	3677	土師器 甕	6区40住 床面直上 口縁部～胴部中位	口	18.4		細砂粒・角閃/良 好/橙	外面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は ヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第343図 PL.177	3678	土師器 杯	6区41住 床面上7cm ほぼ完形	口 稜	10.6 11.0	高 3.7	細砂粒・褐色粒/ 良好/にぶい黄橙	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部(稜下)は上半が ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は放 射状ヘラ磨き(暗文状)。	
第343図 PL.177	3679	土師器 杯	6区41住 床面上7cm 3/4	口	14.5	高 4.3	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部か ら底部は手持ちヘラ削り。内面は全面ヘラ磨き。	内外面とも漆 塗り。
第343図 PL.177	3680	土師器 杯	6区41住 4/5	口	10.8	高 3.3	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手 持ちヘラ削り。	
第343図	3681	須恵器 杯身	6区41住 1/3	口	9.8	高 3.4	細砂粒/酸化焰/明 赤褐	ロクロ整形、回転右回りか。底部は回転ヘラ削り、 器面磨滅のため詳細不明。	
第343図 PL.177	3682	須恵器 杯蓋	6区41住 床面上3cm 摘み欠損	口	9.7		細砂粒多・石英/ 酸化焰/にぶい赤 褐	ロクロ整形、回転右回りか。摘みは貼付であるが 剥落、天井部は中ほどまで回転ヘラ削り。	
第343図	3683	須恵器 高盤	6区41住 床面上8cm 杯身部片	口 底	24.8 22.6		細砂粒/還元焰/暗 灰	ロクロ整形、回転右回りか。天井部はカキ目後ヘ ラナデ。	
第343図	3684	土師器 甕	6区42住 床面上13 cm 口縁部～頸部片	口	19.4		細砂粒・褐色粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、頸部はヘラ削り。内面は口縁部 横ナデ、頸部ヘラナデ。	
第343図	3685	須恵器 椀	7区2住 床面上12cm 1/4	口 底	11.9 6.0	高 4.2	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第343図	3686	須恵器 椀	7区2住 床面上21cm 1/3	口 底	12.8 6.0	高 4.6	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第343図 PL.178	3687	須恵器 椀	7区2住 床面上1cm 口縁部3/5欠損	口 底	13.8 7.6	高 5.4 台 7.2	細砂粒・粗砂粒微 還元焰灰ナリーブ	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回 転糸切り。	

第三章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第343図	3688	土師器 甕	7区2住 床面上8cm 口縁部～胴部上半	口	12.0		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面 胴部はヘラナデ。	
第343図	3689	土師器 甕	7区2住 床面上1cm 底部～胴部下位	底	4.8		細砂粒/良好/灰褐	内面位輪積み痕が残る。底部、胴部ともヘラ削り。 内面はヘラナデ。	
第343図	3690	土師器 甕	7区2住 床面上3cm 口縁部～胴部上位片	口	19.6		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面 胴部はヘラナデ。	
第343図 PL.178	3691	須恵器 杯	7区3住 床面上1cm 口縁部1/3欠損	口 底	12.0 6.4	高 4.0	細砂粒/還元焰/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第343図 PL.178	3692	須恵器 皿	7区3住 床面上4cm 口縁部1/3欠損	口 底	14.0 7.4	高 3.1 台 8.2	細砂粒・角閃/酸 化焰/にぶい褐	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回 転糸切り。	
第344図	3693	土師器 甕	7区3住 床面上6cm 口縁部～胴部上位片	口	22.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面 胴部はヘラナデ。	
第344図	3694	土師器 甕	7区3住 床面直上 底部～胴部下位	底	4.1		細砂粒/良好/赤褐	脚部は胴部に貼付。脚部下半は横ナデ、胴部との 接合部はヘラ削り。	
第344図 PL.178	3695	土師器 杯	7区4住 床面上3cm 口縁部1/3欠損	口 稜	11.8 12.3	高 4.0	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部 は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状 ヘラ磨き(暗文状)。	
第344図 PL.178	3696	土師器 杯	7区4住 床面上1cm 3/4	口 稜	11.0 9.6	高 4.1	細砂粒/良好/明黄 褐	口縁部横ナデ、底部(稜下)は手持ちヘラ削り。内面 口唇部に凹線が1条巡る。	一部破片は二 次被熱を受け 変色。
第344図	3697	土師器 甕	7区4住 床面上2cm 底部～胴部下位	底	9.6		細砂粒/良好/明赤 褐	底部はヘラ削り、胴部はヘラ削り後ヘラ磨き。内 面は器面剥落のため不明。	
第344図 PL.178	3698	土師器 甕	7区4住 床面上2cm 口縁部3/4、胴部一 部欠損	口	17.8	高 26.1	細砂粒・粗砂粒・ 角閃/良好/にぶい 赤褐	口縁部は横ナデ、胴部、底部はヘラ削り、胴部下 位～底部は器面磨滅のため正体不明。内面胴部は ヘラナデ。	
第344図	3699	土師器 甕	7区4住 床面上11cm 底部	底	5.0		粗砂粒/良好/暗赤 褐	底部から胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第345図 PL.178	3701	土師器 杯	7区6住 床面上4cm 3/4	口 稜	11.7 10.2	高 4.0	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削 り。内面口唇部に凹線が1条巡る。	内外面の一部 に煤が付着。
第345図 PL.178	3702	土師器 杯	7区6住 床面上3cm 口縁部1/4欠損	口 稜	11.7 9.6	高 3.9	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削 り。	内外面漆塗り か。
第345図 PL.178	3703	土師器 杯	7区6住 床面上7cm 2/3	口	12.6	高 4.7	細砂粒・褐色粒/ 良好/橙	口唇部は横ナデ、口縁部から体部、底部は手持ち ヘラ削り。内面は体部から口縁部に放射状暗文。	
第345図	3704	土師器 杯	7区6住 口縁部～底部片	口 稜	11.8 10.2		細砂粒/良好/褐灰	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ 削り。	有段口縁杯
第345図 PL.178	3705	須恵器 杯	7区6住 床面上8cm 1/2	口	9.0	高 3.9	細砂粒・長石/還 元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は手持ちヘラ削り。	
第345図	3706	土師器 杯	7区6住 口縁部～体部片	口 稜	11.8 11.0		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ 削り。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き(暗文 状)。	内外面とも漆 塗り。
第345図 PL.178	3707	須恵器 杯蓋	6区4掘立 4/5	口 摘	19.6 4.6	高 4.4	細砂粒・角閃石/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部は 中ほどまで回転ヘラ削り。	
第345図 PL.178	3708	須恵器 椀	3区21溝 床面上6cm 完形	口 底	15.3 8.0	高 6.5	細砂粒・礫/還元 焰燻/褐灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回 転糸切り。	
第345図	3709	土師器 杯	5区3溝 1/3	口	10.6	高 3.5	細砂粒・長石/良 好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第345図 PL.178	3710	土師器 杯	5区3溝 床面上27cm ほぼ完形	口 稜	11.6 11.3	高 4.0	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削 り。	
第345図	3711	土師器 杯	5区3溝 2/5	口 稜	12.4 12.6		細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削 り、器面磨滅のため単位不鮮明。	
第345図	3712	土師器 杯	5区3溝 1/3	口 底	9.8 6.0	高 3.5	細砂粒/良好/灰褐	内外面とも黒色処理。口縁部は横ナデ、体部はナデ、 底部には木夜痕が残る。	
第345図	3713	土師器 杯	5区3溝 1/3	口	15.2		細砂粒・ガラス質 粒/良好/橙	口唇部は横ナデ、口縁部から体部・底部は手持ち ヘラ削り。	
第345図	3714	須恵器 杯蓋	5区3溝 1/5	口	12.8		細砂粒/還元焰/暗 灰	ロクロ整形、回転右回り。天井部は回転ヘラ削り。	
第345図 PL.178	3715	須恵器 杯	5区3溝 3/4	口 底	8.6 6.4	高 3.5	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下位は手 持ちヘラ削り。	
第345図	3716	須恵器 杯	5区3溝 1/4	口 底	13.7 8.2	高 3.7	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第345図	3717	須恵器 杯	5区3溝 1/2	口 底	14.0 8.1	高 3.5	細砂粒/還元焰/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周 囲を回転ヘラ削り、体部下位も1段の回転ヘラ削り。	
第345図	3718	土師器 台付甕	5区3溝 脚部	脚	11.4		細砂粒/良好/にぶ い黄橙	内外面とも横ナデ。	
第345図	3719	黒色土 器椀	5区3溝 底部～体部片	底	9.0		細砂粒・長石/酸 化焰/にぶい橙	内面黒色処理。ロクロ整形、回転右回り。底部から 体部下位は回転ヘラ削り。内面はヘラ磨き。	
第345図 PL.178	3720	須恵器 高盤	5区3溝 盤身1/3	口 底	26.4 22.9		細砂粒・白粒/還 元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。脚部は貼付か。口縁部 下半は回転ヘラ削り。	一部に歪がみ られる。
第345図 PL.178	3721	土師器 台付甕	5区3溝 口縁部～脚部上位	口 胴	10.3 12.8		細砂粒/良好/橙	脚部は貼付。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘ ラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

第4節 古墳時代後期～平安時代

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要	
第346図	3722	土師器 甗	5区3溝 口縁部～胴部上位片	口	11.7		細砂粒/良好/赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り、脚部は横ナデ。内面胴部はヘラナデ。	外面は全体的に煤けている。	
第346図	3723	土師器 甗	5区3溝 口縁部～胴部上位片	口	22.4		細砂粒/良好/暗赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。		
第346図	3724	土師器 甗	5区3溝 口縁部～胴部上半片	口 胴	19.6 21.1		細砂粒/良好/暗赤褐	外面頸部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。		
第346図 PL.178	3725	土師器 甗	5区3溝 床面上69cm 4/5	口 底	20.8 3.6	高 胴	26.1 19.6	細砂粒・褐粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第346図	3726	土師器 甗	5区3溝 床面上69cm 口縁部～胴部上位片	口	20.4		細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り、器面磨滅のため単位不明。内面胴部はヘラナデ。		
第346図 PL.179	3727	須恵器 甗	5区3溝 3/4	口 胴	13.8 18.5	高	18.6	細砂粒・白粒/還元焰/暗灰	ロクロ整形、回転方向不明。胴部は外面に平行叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。内面口縁部はヘラナデ。	
第346図 PL.179	3728	土師器 甗	5区3溝 床面上69cm 4/5	口 底	22.3 5.2	高 胴	29.7 30.4	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。	
第347図 PL.179	3729	須恵器 提瓶	5区3溝 胴部の1/4					細砂粒/還元焰/暗灰	ロクロ整形、回転右回りか。口縁部は胴部に貼付、胴部に把手が貼付、胴部はカキ目。内面はヘラナデ。	
第347図 PL.179	3730	須恵器 甗	5区3溝 4/5	口 胴	14.5 19.0			細砂粒・白色粒/還元焰/灰	ロクロ整形。胴部下半は平行叩き痕、内面は底部から中位に同心円状アテ具痕が残る。	
第347図	3731	須恵器 甗	5区3溝 4/5	口 胴	19.6 34.0	高	36.4	細砂粒/還元焰/暗灰	口縁部はロクロ整形。胴部は外面に格子目状叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	胴部に貼付している破片は同一個体か。
第348図 PL.179	3732	須恵器 把手付横瓶	5区3溝 胴部片	長 幅	44.6 36.2			細砂粒・白粒/還元焰/暗灰	把手は貼付。外面はカキ目。内面は同心円状アテ具痕が残る。	
第349図	3733	須恵器 甗	5区3溝 床面上45cm 口縁部～胴部上位片	口	40.0			細砂粒/還元焰/灰	口縁部はロクロ整形、内面はヘラナデ。胴部は外面に平行叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	
第349図 PL.180	3734	須恵器 甗	5区3溝 口縁部～胴部中位片	口 胴	26.2 46.4			細砂粒/還元焰/灰	口縁部はロクロ整形。口縁部は縦位のカキ目。胴部は外面に格子目状叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	
第350図 PL.180	3735	須恵器 甗	5区3溝 床面上16cm 口縁部～胴部上半片	口 胴	50.0 67.8			細砂粒/還元焰/暗灰	口縁部はロクロ整形。口縁部は上位には3段の波状文が巡る。胴部は平行叩き痕が残る。内面は口縁部と胴部に同心円状アテ具痕が残る、頸部はヘラナデ。	
第350図	3736	須恵器 甗	6区3溝 口縁部～胴部上位片	口	22.8			細砂粒/酸化焰/ざみ/赤褐	口縁部はロクロ整形。胴部は外面に叩き痕がかすかに、内面にアテ具痕が残る。	
第350図	3737	須恵器 甗	6区3溝 胴部片					細砂粒/酸化焰/ざみ/赤褐	胴部は外面に叩き痕がかすかに、内面に同心円状アテ具痕が残る。	3736と同一個体か。
第351図	3738	土師器 甗	6区56溝 口縁部～胴部中位片	口 胴	18.3 20.8			細砂粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第351図 PL.179	3739	須恵器 杯	6区58溝 4/5	口 底	12.5 6.0	高	4.3	細砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。内面底部はロクロ整形、回転左回りで最調整か。	
第351図	3742	土師器 杯	6区61溝 口縁部～体部片	口 最	11.0 11.5			細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第351図 PL.179	3743	土師器 杯	6区61溝 4/5	口	12.2	高	3.4	細砂粒・黄雲母/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	内面に薄く煤が付着。
第351図 PL.179	3744	土師器 杯	6区61溝 ほぼ完形	口 底	12.8 10.6	高	3.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	内面の一部に煤が付着。
第351図	3745	土師器 杯	6区61溝 2/3	口 底	11.0 6.7	高	4.3	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は放射状ヘラ磨き(暗文状)。	内外面漆塗り。
第351図	3746	土師器 杯	6区61溝 2/3	口 稜	11.6 11.6	高	3.6	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第351図 PL.180	3747	土師器 杯	6区61溝 口縁部一部欠損	口 底	12.2 10.4	高	3.5	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第351図	3748	須恵器 杯	6区61溝 1/2	口 底	12.8 6.4	高	3.5	細砂粒/酸化焰/ざみ/にぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第351図	3749	須恵器 椀	6区61溝 1/2	口 底	12.6 5.8	高	4.2	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第351図	3750	須恵器 椀	6区61溝 床面上95cm 3/5	口 底	12.9 6.8	高	4.1	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第351図	3751	須恵器 杯	6区61溝 3/4	口 底	13.6 8.0	高	4.0	細砂粒・粗砂粒・角閃石/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲と中心、体部最下位に回転ヘラ削り。	
第352図	3752	須恵器 杯	6区61溝 1/3	口 底	13.8 8.0	高	3.7	細砂粒・黒粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。	
第352図	3753	須恵器 椀	6区61溝 2/5	口 底	12.3 6.0	高	3.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第352図	3754	須恵器 杯	6区61溝 2/5	口 底	15.2 9.0	高	4.1	細砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。	

第三章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第352図	3755	須恵器 杯	6区61溝 1/3	口 底	13.4 6.4	高 3.9	細砂粒・白粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第352図	3756	須恵器 椀	6区61溝 1/3	口 底	13.0 6.0	高 3.9	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第352図	3757	須恵器 皿	6区61溝 1/3	口 底	13.4 6.2	高 2.8 台 6.6	細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り後回転ナデ。	
第352図	3758	須恵器 皿	6区61溝 3/5	口 底	14.2 7.2	高 3.0 台 7.2	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転ヘラナデ。	
第352図	3759	須恵器 椀	6区61溝 2/5	口 底	13.5 7.4	高 5.2 台 5.6	細砂粒・角閃石/ 酸化焰/にぶい黄 橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り。	
第352図 PL.180	3760	須恵器 椀	6区61溝 床面上90cm 2/3	口 底	15.2 8.2	高 6.5 台 8.2	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り。	
第352図 PL.180	3761	黒色土 器 長頸壺	6区61溝 1/2	口 底	6.0 6.2	高 13.0 胴 11.2	細砂粒/酸化焰/に ぶい橙	外面黒色処理か。ロクロ整形、回転方向不明。高台は貼付、口縁部から胴部・高台と底部はヘラ磨き。	二次被熱を受けている。一部黒色が残る。
第352図	3762	須恵器 高盤	6区61溝 脚部～盤身底部片	脚	10.8		細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回りか。脚部は貼付、盤身底部は回転ヘラ削り。	
第352図	3763	須恵器 広口壺	6区61溝 口縁部～胴部下位片	口 胴	16.0 24.4		細砂粒・白粒/還元焰/灰	口縁部には縦位のカキ目、胴部は平行叩き痕が残る。内面は口縁部がヘラナデ、胴部には同心円状アテ具痕が残る。	
第352図 PL.181	3764	須恵器 壺	6区61溝 口縁部～胴部	口 胴	15.0 26.0		細砂粒・粗砂粒・ 角閃石/還元焰/灰 白	胴部上位から口縁部はロクロ整形。胴部は外面に平行叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	
第353図	3765	須恵器 鉢	6区61溝 口縁部～体部上半片	口	34.4		細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回りか。体部に凹線が2条巡る。	
第353図 PL.180	3766	須恵器 長頸壺	6区61溝 底部～胴部	底 台	11.0 11.2	胴 19.0	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部はヘラナデ、胴部下位は回転ヘラ削り。	
第353図	3767	須恵器 椀	7区1溝 床面上53cm 1/4	口 底	13.8 5.6	高 6.2 台 4.8	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転ヘラ削り。	
第353図	3768	須恵器 椀	7区1溝 床面上3cm 1/3	口 底	13.7 8.1	高 5.3 台 7.6	粗砂粒・角閃/還元焰/暗灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り。	
第353図	3769	須恵器 椀	7区1溝 床面上25cm 2/5	口 底	15.6 8.0	高 5.3 台 7.4	細砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り。	外面と内面の体部から下位に煤が付着。
第353図 PL.180	3770	須恵器 椀	7区1溝 床面上62cm 3/4	口 底	13.4 7.1	高 5.6 台 6.8	細砂粒・角閃/還元焰/暗青灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転ナデ。	
第353図	3771	須恵器 椀	7区1溝 床面上46cm 底部～体部下半片	底 台	7.0 6.0		細砂粒/還元焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り。	
第353図	3772	須恵器 杯	7区1溝 床面下2cm 底部～体部	底	7.4		細砂粒/還元焰/褐 灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は手持ちヘラ削り。	
第353図	3773	灰釉陶器 手付瓶	7区1溝 胴部上位片				微砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回りか。把手は貼付。施釉方法は不明。	東濃産か。
第354図 PL.181	3774	土師器 甕	7区1溝 床面上43cm 口縁部～胴部下位片	口 胴	20.4 22.0		細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第354図	3775	土師器 甕	7区1溝 床面上30cm 底部～胴部下位片	底	4.5		細砂粒/良好/褐	底部と体部はヘラ削り、器面磨滅のため不鮮明。内面はヘラナデ。	
第354図	3776	土師器 甕	7区3溝 床面上43cm 口縁部～胴部上位片	口	21.5		細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第354図 PL.181	3777	須恵器 椀	7区3溝 床面上28cm ほぼ完形	口 底	15.0 7.2	高 6.2 台 6.8	細砂粒/還元焰/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り。	
第354図	3778	須恵器 椀	7区3溝 1/2	口 底	12.7 5.8	高 4.5	細砂粒/還元焰/灰	外面体部に輪積み痕が残る。ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第354図	3779	須恵器 椀	7区8溝 底部～体部下半	底 台	6.2 5.8		細砂粒/還元焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り。	
第354図 PL.181	3780	須恵器 杯	7区9溝 床面上51cm 完形	口 底	12.8 5.5	高 3.6	細砂粒/還元焰/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第354図	3781	須恵器 椀	7区3溝 床面上89cm 1/2	口 底	14.0 6.2	高 5.8 台 5.4	細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転右回りか。高台は貼付、底部切り離し技法は不明。	
第354図 PL.181	3782	須恵器 椀	7区3溝 床面上68cm 完形	口 底	12.8 5.3	高 4.4	粗砂粒・角閃/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第354図	3783	須恵器 杯蓋	7区3溝 床面上89cm 1/5	口	11.2		細砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形、回転右回りか。天井部は手持ちヘラ削り後周囲を回転ヘラ削り。	
第354 PL.181	3784	須恵器 椀	7区3溝 床面上48cm 完形	口 底	12.4 5.0	高 4.2	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	内面体部に「穴」の墨書。
第355図 PL.181	3785	須恵器 甕	7区13溝 口縁部～胴部中位片	口 胴	10.4 52.0		細砂粒・角閃石/ 還元焰/灰	口縁部はロクロ整形。口縁部には2段の波状文が巡る。胴部は外面に平行叩き痕、内面に同心円状アテ具痕残る。	
第355図	3786	須恵器 甕	7区13溝 胴部片	胴	43.6		細砂粒/還元焰/灰	胴部は外面に平行叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	

第4節 古墳時代後期～平安時代

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第355図	3787	土師器 杯	7区13溝 床面直上 1/4	口 11.9 高 3.3 稜 11.3	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	内外面とも漆塗り。
第355図 PL.181	3788	土師器 杯	7区13溝 床面上7cm 3/4	口 11.4 高 3.8 稜 9.8	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。内面口唇部に凹線が1条巡る。	内外面とも漆塗り。
第355図	3789	土師器 杯	7区13溝 床面上8cm 1/4	口 11.9 稜 11.4	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第355図	3790	土師器 杯	7区13溝 床面上3cm 1/5	口 11.8 稜 13.0	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削りであるが、体部は器面磨滅のため単位不鮮明。	
第355図 PL.181	3791	須恵器 杯	1区303井戸 完形	口 12.8 高 4.8 底 9.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転ヘラナデ。	外面底部に墨書、判読不能。
第356図	3792	黒色土 器碗	1区305井戸 1/4	口 14.4 高 4.5 底 6.7	細砂粒/酸化焰/に ぶい橙	内面黒色処理。ロクロ整形、回転右回りか。底部から体部下位は回転ヘラ削り。内面はヘラ磨き。	
第356図	3793	須恵器 杯	1区305井戸 底部～体部下半片	底 8.6	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第356 PL.181	3794	須恵器 杯	1区305井戸 2/3	口 13.8 高 3.8 底 8.6	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周を回転ヘラ削り。	
第356図	3795	土師器 甕	1区305井戸 口縁部～胴部上位片	口 21.8	細砂粒/良好/橙	頸部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第356図	3796	土師器 甕	1区305井戸 口縁部～胴部上位片	口 21.8	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第356図 PL.182	3800	土師器 甕	6区1井戸 床面上14 cm 口縁部～胴部 4/5	口 19.8 胴 22.8	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第356図 PL.182	3801	須恵器 皿	6区1井戸 床面上20cm 2/3	口 13.8 高 3.0 底 7.2 台 7.0	細砂粒・角閃/ 還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転ヘラナデ。	底部の内面に「原」、外面に「浅」の墨書。
第357図 PL.182	3802	須恵器 杯	3区11土坑 床面上5 cm ほぼ完形	口 12.7 高 3.7 底 7.0	細砂粒・粗砂粒微 /還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	内面底部に「之」の墨書。
第357図	3803	須恵器 長頸壺	4区19・20土坑 床 面上24cm 口縁部片	口 11.1	粗砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。口縁部は雑なカキ目か。	
第357図	3804	土師器 杯	5区459土坑 2/5	口 14.5 高 4.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第357図 PL.182	3805	須恵器 杯	5区211土坑 床面上 21cm 口唇部一部欠 損	口 9.3 高 3.5 底 6.9	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部はヘラ起し後ナデ、体部下半はヘラ削り。	
第357図	3806	土師器 台付鉢	5区211土坑 床面上 20cm 胴部下位～脚 部上位		細砂粒・粗砂粒/ 良好/灰黄褐	内面黒色処理。胴部はヘラ削り。内面は胴部、脚部ともヘラナデ。	
第357図 PL.182	3807	土師器 杯	5区215土坑 床面上56cm 3/4	口 9.9 高 2.9	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第357図	3808	土師器 杯	5区215土坑 床面上5cm 3/4	口 10.7 高 3.1	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。	
第357図	3809	土師器 杯	5区215土坑 床面上37cm 2/5	口 11.2 稜 11.6	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第357図	3810	須恵器 杯	5区215土坑 床面上35cm 1/3	口 13.0 高 3.2 底 8.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部と体部下位に1段の回転ヘラ削り。	
第357図	3811	須恵器 杯	5区215土坑 床面上41cm 2/5	口 14.0 高 4.3 底 8.2	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ起し後回転ヘラ削り。	
第357図	3812	土師器 杯	5区215土坑 床面上 58cm 口縁部～底部 片	口 15.3	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第357図	3813	須恵器 鉢	5区215土坑 2/5	口 15.6 高 13.7 底 7.5	細砂粒/還元焰/暗 灰	ロクロ整形、回転右回りか。口縁部から体部はカキ目、底部はヘラ削りか。降灰が厚く付着箇所あり。	
第357図	3814	須恵器 長頸壺	5区215土坑 床面上 39cm 頸部～口縁部 片	頸 4.6	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。	
第357図 PL.182	3815	土師器 有孔鉢	5区215土坑 床面上38cm 完形	口 20.8 高 11.8 孔 1.8	細砂粒・角閃石/ 良好/にぶい赤褐	外面口縁部下に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部がヘラナデ。	底部穿孔脇に焼成後の穿孔あり、外面側は再調整あり。
第357図	3816	土師器 高坏	5区215土坑 床面上22cm 脚部	脚 12.6	細砂粒/良好/橙	脚部は貼付か。脚部はヘラ削り、裾部は横ナデ。内面脚部はヘラ削り。	
第357図	3817	土師器 高坏	5区215土坑 床面上 28cm 杯身底部～脚 部	脚 4.8	細砂粒/良好/橙	脚部は貼付か。杯身底部から脚部はヘラ削り、裾部は横ナデ。内面は脚部がナデ。	
第358図	3818	土師器 杯	6区187土坑 床面上9cm 1/2	口 10.6 高 4.1	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第358図 PL.182	3819	須恵器 杯蓋	6区187土坑 床面下 7cm 口縁部2/3欠損	口 11.0 高 3.5	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。天井部は手持ちヘラ削り。	
第358図	3820	土師器 甕	7区4土坑 底部片	底 7.8	細砂粒・角閃/ 良好/橙	底部は木葉痕が残る。胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	

第三章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第358図 PL.182	3821	須恵器 小型壺	7区5畝 床面下4cm 口縁部1/2欠損	口 6.8 高 8.6 底 8.5 胴 11.4	細砂粒/還元焰/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転方向不明。底部と胴部下位はヘラ削り、一部に平行叩き痕が残る。	
第358図	3822	須恵器 鉢	7区7畝 口縁部～体部下位片	口 14.2	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。口縁部肥厚、口縁部下に凹線が1条巡る。	
第358図	3823	須恵器 長頸壺	6区1遺物集積 床面上2cm 底部～胴部下半片	底 8.6 台 8.8	細砂粒・角閃石/ 酸化焰/浅黄橙	ロクロ整形、回転右回りか。高台は貼付、胴部下位は回転ヘラ削り	
第358図	3824	須恵器 長頸壺	6区1遺物集積 床面上3cm 底部～胴部下半片	底 8.5 台 7.3	細砂粒・粗砂粒角 閃石/酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付底部は回転糸切り、胴部下位に回転ヘラ削り。	
第358図 PL.182	3825	須恵器 長頸壺	6区1遺物集積 床面上2cm 2/5	口 3.4 胴 10.0 底 5.8	細砂粒・白粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転左回りか。胴部は風船作りか。高台は貼付、底部はナデ。内面胴部上位にナデ。	
第359図	3828	土師器 甕	6区2遺物集積 口縁部～胴部上半片	口 19.6 胴 23.4	細砂粒/良好/明赤 褐	外面頸部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第359図	3829	土師器 甕	6区2遺物集積 底部～胴部下位片	底 4.2	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第359図	3830	黒色土器 椀	6区3遺物集積 1/4	口 12.9 底 6.8	細砂粒/酸化焰/ にぶい黄橙	内面黒色処理。ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付。内面はヘラ磨き。	
第359図	3831	土師器 甕	6区3遺物集積 底部～胴部下位片	底 11.4	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	底部はヘラナデ、胴部は横位のヘラ削り。内面は底部・胴部ともヘラナデ。	
第359図 PL.183	3832	須恵器 甕	6区4遺物集積 4/5	口 18.4 胴 29.5	細砂粒/酸化焰/ 明赤褐	口縁部はロクロ整形。胴部は外面に平行叩き痕、内面にアテ具痕が残る。	
第359図 PL.182	3833	土師器 杯	6区5遺物集積 ほぼ完形	口 12.0 高 4.7 底 6.6	細砂粒・粗砂粒・ 角閃石/良好/にぶ い黄橙	内面黒色処理か。口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面はヘラ磨き。	二次被熱を受けているか。
第359図 PL.182	3834	須恵器 杯	6区5遺物集積 ほぼ完形	口 12.5 高 4.4 底 6.1	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整	
第359図 PL.182	3835	須恵器 杯	6区5遺物集積 床面上55cm 口縁部一部欠損	口 12.5 高 4.2 底 6.4	細砂粒/還元焰/褐 灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第360図 PL.183	3836	須恵器 甕	6区4遺物集積 3/5	口 27.2 高 49.9 胴 47.4	細砂粒/還元焰/灰 白	口縁部はロクロ整形。胴部は外面に平行叩き痕が残る。内面は同心円状アテ具痕が中位に残るが、他はナデ消され、痕跡だけである。	
第360図 PL.183	3837	土師器 杯	7区2遺物集積 床面上8cm 1/2	口 11.4 高 3.5 稜 10.7	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き(暗文状)。	
第360図	3838	土師器 杯	7区2遺物集積 床面上19cm 1/2	口 10.8 高 3.1 稜 10.3	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第360図	3839	土師器 杯	7区2遺物集積 床面上7cm 1/4	口 12.7 高 4.0 稜 10.0	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部がヘラナデ。	
第360図 PL.183	3840	土師器 杯	7区2遺物集積 床面上10cm 4/5	口 10.8 高 3.4	細砂粒・粗砂粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第360図	3841	土師器 杯	7区2遺物集積 床面上9cm 口縁部～底部片	口 12.7 稜 12.8	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	内外面とも漆塗り。
第360図 PL.183	3842	土師器 杯	7区2遺物集積 床面上10cm 口縁部1/4欠損	口 11.0 高 3.5 稜 9.1	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	内面は二次的被熱を受けている。
第360図 PL.183	3843	土師器 杯	7区2遺物集積 床面上7cm 口縁部1/5欠損	口 11.7 高 4.1 稜 9.8	細砂粒/良好/褐灰	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。内面口唇部に凹線が1条巡る。	内外面漆塗りの可能性あり。
第360図 PL.183	3844	手捏ね土 器 碗形	7区2遺物集積 床面直上 完形	口 5.4 高 2.9 底 4.2	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から体部ともナデ、底部は平滑にしている。内面は指ナデ。	
第361図	3845	土師器 杯	7区2遺物集積床面上11cm 1/3	口 13.8 高 4.0 稜 13.2	細砂粒/良好/明黄 褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)上半はナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き(暗文状)。	
第361図	3846	土師器 杯	7区2遺物集積 床面上15cm 1/3	口 14.8 高 4.5	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は花卉状暗文。	内外面とも漆塗り。
第361図	3847	土師器 杯	7区2遺物集積 床面上16cm 口縁部～底部片	口 16.6 稜 15.0	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。内面に間隔のあいた放射状ヘラ磨き(暗文状)。	内外面とも漆塗り。 732と同一個体か。
第361図	3848	土師器 杯	7区2遺物集積 床面上16cm 口縁部～底部片	口 17.6 稜 15.6	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。内面に間隔のあいた放射状ヘラ磨き(暗文状)。	内外面とも漆塗り。 731と同一個体か。
第361図 PL.183	3849	須恵器 杯蓋	7区2遺物集積 床面上10cm 2/3	口 10.4 高 3.4	細砂粒/還元焰/暗 灰	ロクロ整形、回転左回り。天井部は手持ちヘラ削り。	
第361図	3850	須恵器 杯蓋	7区2遺物集積 床面上9cm 2/3	口 11.7 高 2.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転左回り。天井部は手持ちヘラ削り。	
第361図	3851	土師器 甕	7区2遺物集積 床面上23cm 口縁部～胴部上半	口 25.0	細砂粒・角閃/ 良好/にぶい黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

第4節 古墳時代後期～平安時代

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第361図	3852	土師器 甕	7区2遺物集積 床面 下1cm 底部～胴部 下半片	底 8.0	細砂粒・褐色粒/ 良好/赤褐	底部から胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第361図	3853	土師器 甕	7区2遺物集積 床面 上24cm 1/3	口 27.8 底 約 6.0	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。	
第362図	3854	土師器 鉢	7区2遺物集積 口縁部～体部片	口 8.7 稜 11.1	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。	
第362図	3855	土師器 鉢	7区2遺物集積 床面 上3cm 口縁部～体 部片	口 9.2	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部横ナデ、体部は縦位のヘラ削り。内面体部はヘ ラナデ。	
第362図	3856	土師器 壺	7区2遺物集積 床面 上15cm 口縁部～胴 部下位	口 10.0 胴 14.0	細砂粒・褐色粒/良 好/橙	口縁部は横ナデ、胴部は上半が縦位、下半は横位のヘ ラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第362図 PL.183	3857	土師器 鉢	7区2遺物集積 床面 上21cm ほぼ完形	口 13.8 高 9.8 底 約5.0	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手 持ちヘラ削り。内面は底部から体部がヘラナデ後間隔 のある放射状ヘラ磨き(暗文状)。	
第362図 PL.183	3858	土師器 鉢	7区2遺物集積 床面 上16cm 口縁部～体 部	口 18.2	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部から底 部は手持ちヘラ削り。内面体部はヘラナデ。	
第362図 PL.184	3859	土師器 鉢	7区2遺物集積 床面 上2cm 2/3	口 18.5 高 12.4 底 10.2	細砂粒・角閃/良 好/にぶい橙	外面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部か ら底部は手持ちヘラ削り。内面は体部にヘラナデ後雑 な放射状暗文。	
第362図 PL.185	3860	土師器 甕	7区2遺物集積 床面 上11cm 2/3	口 24.5 高 34.6 底 10.0 胴 31.6	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部 から胴部がヘラナデ。	
第362図 PL.184	3861	土師器 甕	7区2遺物集積 床面 直上 口縁部～胴部 下位	口 21.2 胴 28.3	細砂粒・褐色粒/良 好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ、 器面磨滅のため単位不鮮明。	
第363図 PL.184	3862	土師器 鉢	7区2遺物集積 床面 上1cm 3/4	口 18.8	細砂粒・粗砂粒・ チャート/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半から底部は手持ち ヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。	
第363図 PL.184	3863	土師器 鉢	7区2遺物集積 床面 上19cm 口縁部～体 部下位	口 26.6	細砂粒・粗砂粒・ 角閃石/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内 面は底部から体部がヘラナデ。	
第363図	3864	土師器 甕	7区2遺物集積 床面 上18cm 口縁部～胴 部下位片	口 12.0	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面胴部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第363図	3865	土師器 甕	7区2遺物集積 床面 上23cm 口縁部～胴 部上位片	口 23.0	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。	
第363図	3866	土師器 甕	7区2遺物集積 床面 上9cm 底部～胴部 下位片	底 1.6	細砂粒/良好/橙	底部と胴部下位はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第363図	3867	土師器 甕	7区2遺物集積 床面 上14cm 底部～胴部 下位	底 4.4	細砂粒・粗砂粒・ 角閃石/良好/にぶ い赤褐	底部と胴部はヘラ削り、内面はヘラナデ。	
第363図	3868	土師器 台付甕	7区2遺物集積 床面 上8cm 脚部～胴部 下位	脚 11.0	細砂粒/良好/にぶ い橙	脚部は胴部に貼付。胴部は縦位のヘラ削り、内面はヘ ラナデ。脚部は内外面とも横ナデ。	
第363図 PL.184	3869	土師器 甕	7区2遺物集積 床面 上14cm 2/3	口 22.4 高 31.6 底 7.1 胴 28.0	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内 面は底部から胴部がヘラナデ、単位不鮮明。	
第364図	3870	土師器 甕	7区2遺物集積 床面 上5cm 口縁部～胴 部上位片	口 17.6	細砂粒・褐色粒/ 良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第364図	3871	土師器 甕	7区2遺物集積 床面 上10cm 口縁部～胴 部上位片	口 19.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第364図	3872	土師器 甕	7区2遺物集積 口縁部～胴部上位片	口 22.8	細砂粒・褐色粒/ 良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第364図 PL.185	3873	土師器 甕	7区2遺物集積 床面上8cm 3/4	口 21.6 胴 25.2 底 11.3	細砂粒・粗砂粒・ チャート/良好/に ぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部 から胴部がヘラナデ。	
第364図	3874	土師器 甕	7区2遺物集積 床面 上23cm 口縁部～胴 部上位片	口 21.3	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第364図	3875	土師器 甕	7区2遺物集積 床面 上12cm 口縁部～胴 部上位片	口 20.6	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第364図	3876	土師器 甕	7区2遺物集積 床面 上3cm 底部～胴部 下位片	底 7.4	細砂粒・粗砂粒・ 角閃石/良好/にぶ い赤褐	底部は周囲ヘラ削り、木夜痕が残る、胴部はヘラ削り。 内面はヘラナデ、器面剥離のため不鮮明。	
第364図	3877	土師器 甕	7区2遺物集積 床面 上16cm 口縁部～胴 部上半	口 20.0	細砂粒多/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部 はヘラナデ。頸部に2条の凹線が巡る。	
第365図	3878	土師器 甕	7区2遺物集積 床面 上11cm 口縁部～胴 部上位片	口 19.7	細砂粒/良好/灰褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

第三章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第365図	3879	土師器 甕	7区2遺物集積 床面上21cm 口縁部～胴部上位片	口 19.6	粗砂粒/良好/にぶ い橙	外面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り器面磨滅のため単位不明。内面胴部はヘラナデ。	
第365図	3880	土師器 甕	7区2遺物集積 床面上5cm 口縁部～胴部上位片	口 21.0	細砂粒/良好/灰黄	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第365図	3881	土師器 甕	7区2遺物集積 床面上9cm 口縁部～胴部下位片	口 21.2 胴 25.9	細砂粒/良好/明赤 褐	外面口縁部から頸部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第365図	3882	土師器 甕	7区2遺物集積 床面上16cm 底部～胴部下片	底 8.4	細砂粒/良好/にぶ い橙	底部から胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第365図	3883	土師器 甕	7区2遺物集積 床面上3cm 底部	底 6.0 孔 1.5	細砂粒/良好/橙・ 灰褐	底部は木葉痕が残る、胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第365図 PL.184	3884	土師器 甕	7区2遺物集積 床面上22cm 口縁部～胴部下位	口 18.7 胴 28.8	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面口縁部から頸部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第366図 PL.185	3885	須恵器 横瓶	7区2遺物集積 床面上14cm 胴部	長 32.2 幅 23.2	細砂粒/還元焰/灰	胴部は外面に平行叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	
第366図	3886	須恵器 甕	7区2遺物集積 床面上11cm 口縁部～胴部上半片	口 12.4 胴 21.8	細砂粒/還元焰/褐 灰	胴部上位から口縁部はロクロ整形。胴部中位は外面に平行叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	
第366図 PL.184	3887	須恵器 瓶	7区2遺物集積 床面上18cm 口縁部～頸部	口 10.8	細砂粒/良好/灰白	ロクロ整形、回転右回りか。口縁部は縦位のカキ目後2条の凹線を巡らす。	
第366図	3888	須恵器 杯	7区1遺物集積 1/3	口 10.0 高 3.4 底 6.2	細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第366図	3889	須恵器 杯	7区1遺物集積 床面上13cm 底部～体部下位片	底 4.0	細砂粒・粗砂粒少 /酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第366図	3890	須恵器 羽釜	7区1遺物集積 床面上35cm 口縁部～胴部上半片	口 20.8 鏝 25.2	細砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形、回転右回りか。鏝は貼付。	
第366図 PL.185	3891	須恵器 羽釜	7区1遺物集積 床面上9cm 口縁部～胴部下位片	口 20.0 鏝 25.2	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。鏝は貼付、胴部中位から下に縦位のヘラ削り。	
第367図 PL.185	3892	須恵器 皿	6区1 竪穴遺構 体部一部欠損	口 12.4 高 3.1 底 6.8 台 6.6	細砂粒/酸化焰/明 赤褐	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り。	
第367図	3893	須恵器 皿	6区1竪穴遺構 3/5	口 13.4 高 2.9 底 7.2 台 7.6	細砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り後回転ナデ。	
第367図 PL.185	3894	須恵器 皿	6区1竪穴遺構 完形	口 13.4 高 3.6 底 6.9 台 7.1	細砂粒/酸化焰/明 赤褐	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り。	
第367図 PL.185	3895	須恵器 皿	6区1竪穴遺構 3/4	口 13.2 高 3.0 底 6.8 台 6.8	細砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り。	
第367図	3896	須恵器 皿	6区1竪穴遺構 3/5	口 13.8 底 6.8	細砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り後回転ナデ。高台は打ち欠かされている。	
第367図	3897	須恵器 皿	6区1竪穴遺構 3/4	口 14.4 高 2.8 底 7.8 台 7.8	細砂粒・褐粒/酸 化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り。	
第367図	3898	須恵器 皿	6区1竪穴遺構 1/4	口 14.2 高 2.4 底 5.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第367図	3899	須恵器 皿	6区1竪穴遺構 1/5	口 14.3 高 2.3 底 7.8 台 7.8	細砂粒・角閃石/ 酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部の整形は不明。	
第367図	3900	土師器 杯	6区5竪穴遺構 床面上2cm 1/4	口 8.8 高 3.1	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第367図	3901	土師器 杯	6区5竪穴遺構 口縁部～体部片	口 10.8 稜 9.4	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き(暗文状)。	内外面の口縁部に煤が付着。
第367図	3902	土師器 椀	6区5竪穴遺構 1/3	口 11.7 高 6.1	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第367図	3903	土師器 杯	6区5竪穴遺構 床面上15cm 1/4	口 12.0 高 4.3 稜 11.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。内面多底部から体部に連弁状ヘラ磨き(暗文状)。	内外面とも漆塗り。
第367図	3904	須恵器 甕	6区5竪穴遺構 床面上4cm 底部～胴部片		細砂粒/還元焰/褐 灰	底部から胴部の外面は平行叩き痕、内面は同心円状アテ具痕が残る。	
第367図	3905	須恵器 広口壺	6区5竪穴遺構 床面上4cm 口縁部～胴部上位片	口 15.4	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。内外面とも降灰が付着した箇所がある。	
第368図 PL.185	3906	須恵器 杯	6区1採掘坑 2/3	口 12.3 高 3.7 底 6.2	細砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第368図 PL.185	3907	須恵器 杯	6区1採掘坑 4/5	口 12.6 高 4.1 底 6.0	細砂粒・角閃石/ 酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第368図	3908	かわらけ	6区1採掘坑	口 12.4 高 3.7 底 5.9	細砂粒・角閃石/ 酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	

第4節 古墳時代後期～平安時代

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第368図	3909	かわらけ	6区1採掘坑	口 12.7 高 3.5 底 5.6	細砂粒・角閃石/ 酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第368図	3910	かわらけ	6区1採掘坑	口 14.4 高 4.0 底 6.3	細砂粒・角閃石/ 酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第368図	3911	須恵器 椀	6区1採掘坑 床面上 13cm 底部～体部片	底 8.0 台 7.6	細砂粒・角閃石/ 酸化焰/明赤褐	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転ナ デか。	
第368図 PL.185	3912	須恵器 椀	6区1採掘坑 2/3	口 13.9 高 5.8 底 7.9 台 7.4	細砂粒・角閃石/ 酸化焰ぎみ/にぶ い黄橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸 切り。	
第368図	3913	須恵器 椀	6区1採掘坑 口縁部～体部片	口 16.9	細砂粒・粗砂粒・ 角閃石/酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回りか。	
第368図	3914	須恵器 長頸壺	6区1採掘坑 底部～胴部下半	底 4.3 台 4.4	細砂粒・白粒/還 元焰/褐灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部回転ナ デ。	外面胴部上半 に自然釉が付 着。
第368図 PL.185	3915	須恵器 椀	6区1採掘坑 3/5	口 14.9 高 6.5 底 8.1 台 8.0	細砂粒/還元焰/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸 切り。	
第368図	3916	手捏ね土 器 椀形	6区1採掘坑 1/3	口 4.4 高 2.2 底 5.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は木葉痕か。内面 は横ナデ。	
第368図	3917	土師器 杯	6区1採掘坑 底部～体部	底 6.0	細砂粒/良好/明赤 褐	内面黒色処理。体部ナデ、底部は木葉痕が残る。	
第368図	3918	須恵器 高盤	6区1採掘坑 床面下14cm 脚部片		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。脚部は貼付。	
第368図 PL.185	3919	須恵器 広口壺	6区1採掘坑 床面上 23cm ほぼ完形	口 23.0 高 38.5 底 12.8 胴 24.8	細・粗・角閃・長 石/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部はヘラナデ、胴部は最 下位に回転ヘラ削り、他はナデ。内面胴部はヘラナデ。	
第369図	3920	須恵器 甗	6区1採掘坑 胴部上半片		細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	胴部は器面剥離のため不鮮明、一部に平行叩き痕が残 る。内面はロクロ整形によるナデ、頸部下にアテ具痕 が残る。	
第369図	3921	須恵器 広口壺	6区1採掘坑 口縁部～胴部下位片	口 14.8 胴 18.6	細砂粒・白粒/還 元焰/暗灰	ロクロ整形、回転右回り。胴部下半は叩き痕が残る。 内面は胴部にアテ具痕が残るが、上半はほとんどナデ 消されている。	
第369図 PL.186	3922	須恵器 長頸壺	6区1採掘坑 口縁 部、胴部一部欠損	底 11.4 胴 20.2 台 9.7	細砂粒・角閃石/ 還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部はナデ、 胴部下位は回転ヘラ削り。	
第369図	3923	土師器 杯	遺構外 1/4	口 8.7 高 2.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第369図 PL.186	3924	土師器 杯	遺構外 2/3	口 9.4 高 2.6	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第369図	3925	土師器 杯	遺構外 口縁部～底部片	口 10.0 稜 10.0	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	内面口縁部の 一部に煤が付 着。
第369図 PL.186	3926	土師器 杯	遺構外 口縁部一部欠損	口 10.2 高 2.9	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第369図	3927	土師器 杯	遺構外 口縁部～底部片	口 9.9	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部上位はナデ、中位・下位から底部 は手持ちヘラ削り。	
第369図	3928	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部片	口 10.0 最 10.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第369図	3929	土師器 杯	遺構外 2/5	口 10.6 高 3.1	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第369図	3930	土師器 杯	遺構外 1/3	口 11.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、体部から底部は 手持ちヘラ削り。	内面口縁部に 煤が付着。
第369図	3931	土師器 杯	遺構外 1/3	口 10.8 高 3.1	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第369図	3932	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部片	口 10.4	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第369図 PL.186	3933	土師器 杯	遺構外 口縁部～底部片	口 10.8	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から体部は横ナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第369図 PL.186	3934	土師器 杯	遺構外 口縁部一部欠	口 11.3 高 4.0 稜 9.6	細砂粒・褐粒/良 好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第369図	3935	土師器 杯	遺構外 1/2	口 10.4	細砂粒/良好/橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部 から底部は手持ちヘラ削り。	
第369図	3936	土師器 杯	遺構外 口縁部～底部片	口 10.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第369図	3937	土師器 杯	遺構外 1/4	口 10.7 高 3.8	細砂粒/良好/橙	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、体部から底部は 手持ちヘラ削り。	
第369図	3938	土師器 杯	遺構外 2/5	口 11.8 稜 10.2	細砂粒/良好/第 ち	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 内面口縁部に1条の凹線が巡る。	内外面の口唇 部の一部に煤 が付着。
第369図	3939	土師器 杯	遺構外 1/3	口 10.3 高 3.9	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。器 面磨滅のため単位不鮮明。	
第369図	3940	土師器 杯	遺構外 1/2	口 11.8 高 4.2	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第369図	3941	土師器 杯	遺構外 1/3	口 12.0 高 4.0 底 7.6	細砂粒/良好/褐灰	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。器 面磨滅のため単位不鮮明。	

第三章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第369図	3942	土師器 杯	遺構外 1/4	口 11.8 稜 9.6	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第369図	3943	土師器 杯	遺構外 1/4	口 10.3 高 3.6 稜 9.8	細砂粒/良好/灰 褐・灰黄	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り、 底部中央に木葉痕が残る。内面は底部から体部に放射 状ヘラ磨き(暗文状)。	内面全面と外面の口縁部から体部に漆塗り。
第369図	3944	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部片	口 11.0 稜 9.8	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。内面口唇 部に2条の凹線が巡る。	
第369図	3945	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部片	口 11.8 稜 10.0	細砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)は手持ちヘラ削り。内面口唇 部に1条の凹線が巡る。	内外面とも漆 塗り。 有段口縁部杯
第369図 PL.186	3946	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部片	口 11.8 稜 9.6	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第370図	3947	土師器 杯	遺構外 口縁部～底部片	口 12.2 稜 10.4	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。	
第370図	3948	土師器 杯	遺構外 1/3	口 12.6 稜 11.6	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り。 内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き(暗文状)。	
第370図	3949	土師器 杯	遺構外 1/2	口 13.8 高 3.1	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第370図 PL.186	3950	土師器 杯	遺構外 ほぼ完形	口 11.9 高 4.3	細砂粒/良好/明黄 褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第370図	3951	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部片	口 13.6	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	内面は漆塗り。 外面の一部に 漆が残る。
第370図	3952	土師器 杯	遺構外 1/4	口 13.6	細砂粒/良好/橙	口唇部横ナデ、口縁部から体部・底部は手持ちヘラ削り。	
第370図	3953	土師器 杯	遺構外 1/3	口 11.8 高 4.9 稜 12.3	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)はナデ、底部は手持ちヘラ削 り。	
第370図 PL.186	3954	土師器 杯(杓状)	遺構外 3/4	口 13.8×1.6 高 4.4	細砂粒/良好/橙	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、体部から底部は 手持ちヘラ削り。	
第370図	3955	土師器 杯	遺構外 1/3	口 15.0 高 4.2	細砂粒/良好/灰黄 褐	外面口縁部下に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体 部から底部は手持ちヘラ削り。	
第370図	3956	土師器 杯	遺構外 1/2	口 13.4 高 4.5	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	杓状を呈する か壺が大きい。
第370図	3957	土師器 杯	遺構外 3/4	口 13.0 高 5.3	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第370図	3958	土師器 杯	遺構外 口縁部～体部片	口 14.8	細砂粒/良好/橙	口唇部は横ナデ、口縁部から体部、底部は手持ちヘラ 削り。	
第370図 PL.186	3959	土師器 杯	遺構外 口縁部一部欠	口 12.3 高 4.3 底 5.6	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部横ナデ、体部上半ナデ、下半は手持ちヘラ削り、 底部はヘラ削り後ナデ。	
第370図 PL.186	3960	黒色土器 碗	遺構外 2/3	口 13.8 底 8.8	細砂粒・粗砂粒・ 角閃石/酸化焰/浅 黄橙	内面黒色処理。口縁部横ナデ、体部と底部はヘラナデ。 内面はヘラ磨き。	
第370図	3961	土師器 杯	遺構外 床面上56cm 2/3	口 15.9 高 5.2 底 9.0	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内 面は全面ヘラ磨き。	
第370図	3962	土師器 杯	遺構外 1/3	口 13.6 高 4.4 底 7.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第370図 PL.186	3963	土師器 杯	遺構外 4/5	口 15.3 高 5.0 底 10.2	細砂粒・褐粒/良 好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。	
第370図	3964	土師器 杯	遺構外 1/3	口 18.4 稜 17.4	細砂粒・粗砂粒・ 角閃石/良好/にぶ い橙	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は手持ちヘラ削り、 器面磨滅のため単位不明。内面は放射状ヘラ磨き(暗文 状)。	
第370図 PL.186	3965	土師器 杯	遺構外 2/3	口 10.1 高 3.9 底 5.8	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部には木葉痕が残る。	
第370図 PL.186	3966	土師器 杯	遺構外 口縁部1/2欠損	口 9.7 高 4.2 底 6.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部には木葉痕が残る。	
第370図	3967	土師器 杯	遺構外 ほぼ完形	口 11.3 高 4.2 底 6.2	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部横ナデ、体部(稜下)から底部は木夜痕が残る。内 面は口縁部から体部が横ナデ底部はヘラナデ。	
第370図 PL.186	3968	土師器 杯	遺構外 ほぼ完形	口 11.6 高 4.6 底 6.7	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部には木葉痕が残る。	
第370図 PL.186	3969	土師器 杯	遺構外 2/3	口 9.8 高 3.5 底 5.9	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	内面黒色処理。口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は 木葉痕が残る。内面は底部から体部がヘラナデ。	
第370図	3970	土師器 杯	遺構外 3/5	口 11.0 高 4.4 底 7.0	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部は木葉痕が残る。	
第370図 PL.186	3971	土師器 杯	遺構外 ほぼ完形	口 11.2 高 4.4 底 5.8	細砂粒/良好/赤褐	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部には木葉痕が残る。	
第370図	3972	土師器 杯	遺構外 3/4	口 12.7 高 4.2 底 6.5	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部は木葉痕が残る。	
第371図	3973	土師器 杯	遺構外 1/2	口 9.8 高 3.9 底 6.0	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部には木夜痕が残る。	

第4節 古墳時代後期～平安時代

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第371図	3974	土師器 杯	遺構外 1/4	口 11.6 高 4.9 底 7.0	細砂粒/良好/橙	内面黒色処理。外面体部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は木葉痕が残る。	
第371図	3975	土師器 杯	遺構外 2/3	口 12.5 高 3.9 底 6.4	細砂粒/良好/橙	口縁部横ナデ、体部ナデ、底部は木葉痕が残る。	
第371図	3976	黒色土器 椀	遺構外 底部片		細砂粒/酸化焰/灰 黄褐	内面黒色処理。底部は手持ちへら削り、内面は放射状へら磨き。	外面底部に「互」の字状のへら描き。
第371図	3977	須恵器 皿	遺構外 口縁部～底部片	口 9.2 高 1.6 底 7.0	細砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回りか。底部は回転糸切り無調整。	
第371図	3978	須恵器 椀	遺構外 底部	底 8.0 底 8.2	細砂粒/酸化焰/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転ナデ。	
第371図	3979	土師器 鉢	遺構外 口縁部～体部片	口 20.6	細砂粒/良好/にぶ い赤勝	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちへら削り。内面に放射状へら磨き(暗文状)。	
第371図	3980	土師器 高杯	遺構外 杯身部1/2・ 脚部下半欠損	口 12.0	細砂粒/良好/淡橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。杯身口縁部横ナデ、底部から脚部上半はへら削り、下半は横ナデ、内面は杯身部に放射状へら磨き(暗文状)。	内面杯身部に煤の付着箇所あり。
第371図	3981	土師器 高杯	遺構外 杯身1/3	口 13.0	細砂粒/良好/赤褐	杯口縁部から体部は横ナデ、底部から脚部はへら削り。内面に放射状へら磨き。	
第371図 PL.186	3982	須恵器 杯	遺構外 完形	口 7.8 高 3.0 底 6.2	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転左回り。底部は回転へら削り。	
第371図	3984	須恵器 杯	遺構外 1/3	口 9.8 高 3.2 底 5.4	細砂粒/酸化焰/淡 黄	ロクロ整形、回転右回り。底部はナデか。	
第371図	3985	須恵器 杯	遺構外 口縁部～底部片	口 11.8 高 3.5 底 8.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部はへらナデ。	
第371図 PL.186	3986	須恵器 杯	遺構外 口縁部1/4欠損	口 6.4 高 2.3 底 4.5	細砂粒/酸化焰/に ぶい灰黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第371図 PL.186	3987	須恵器 杯	遺構外 ほぼ完形	口 10.2 高 3.8	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下半は手持ちへら削り。	
第371図	3988	須恵器 杯	遺構外 1/5	口 12.4 高 3.3 底 7.6	細砂粒/還元焰/褐 灰	ロクロ整形、回転右回りか。底部は回転へら削り。	底部は疑似高台状。
第371図	3989	黒色土器 杯	遺構外 2/5	口 12.4 高 3.5 底 5.6	細砂粒・褐粒/酸 化焰/にぶい橙	内面黒色処理。ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。内面はへら磨き。	外面の底部と体部の一部に煤が付着。
第371図	3990	須恵器 杯	遺構外 2/5	口 9.6 高 2.0 底 6.1	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第371図	3991	須恵器 杯	遺構外 2/5	口 11.4 高 3.6 底 6.0	細砂粒・長石/還 元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第371図	3992	須恵器 杯	遺構外 1/2	口 12.0 高 3.9 底 6.8	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	底部は疑似高台状。内面の一部に煤が付着。
第371図 PL.186	3993	須恵器 杯	遺構外 床面上5cm 完形	口 12.7 高 3.4 底 6.6	細砂粒/還元焰/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第371図	3994	須恵器 杯	遺構外 底部～口縁部下位	底 4.0	細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転右回り。底部は手持ちへら削り後周囲と体部下位を回転へら削り。	
第371図	3995	須恵器 椀	遺構外 1/4	口 12.2 高 3.9 底 5.6	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第371図	3996	須恵器 椀	遺構外 1/3	口 11.8 高 4.1 底 5.8	細砂粒・白粒/還 元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第371図	3997	須恵器 杯	遺構外 1/4	口 12.8 高 3.6 底 8.0	細砂粒/還元焰/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲と体部最下位を回転へら削り。	
第372図 PL.186	3998	須恵器 杯	遺構外 1/2	口 12.6 高 3.5 底 7.3	粗砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転へら削り。	
第372図	3999	須恵器 杯	遺構外 1/4	口 14.4 高 3.6 底 8.4	細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転へら削り。	
第372図	4000	須恵器 杯	遺構外 1/3	口 13.8 高 4.1 底 8.6	細砂粒/酸化焰/淡 黄	ロクロ整形、回転右回り。底部から体部下位は回転へら削り。	
第372図 PL.186	4001	須恵器 杯	遺構外 1/2	口 13.0 高 3.7 底 7.0	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	外面口縁部に「末刀」?の墨書。
第372図	4002	須恵器 杯	遺構外 1/4	口 13.8 高 3.7 底 7.7	細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転右回り。底部は手持ちへら削り。	
第372図	4003	黒色土器 椀	遺構外 底部～体部下半片	底 7.4	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	内面黒色処理。ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後一部を残し手持ちへら削り。内面はへら磨き。	
第372図	4004	須恵器 杯	遺構外 1/2	口 13.0 高 3.7 底 6.4	細砂粒・白粒/還 元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第372図 PL.186	4005	須恵器 杯	遺構外 床面上8cm ほぼ完形	口 12.8 高 3.7 底 6.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第372図	4006	須恵器 杯	遺構外 3/4	口 13.0 高 3.6 底 7.0	細砂粒・白粒/還 元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第372図	4007	須恵器 杯	遺構外 2/5	口 13.0 高 3.8 底 7.0	細砂粒/還元焰/灰 黄褐	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第372図	4008	須恵器 杯	遺構外 1/3	口 13.0 高 3.5 底 6.0	細砂粒・角閃石・ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	

第三章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第372図	4009	須恵器 碗	遺構外 1/2	口 12.0 高 4.6 底 6.0	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第372図	4010	須恵器 杯	遺構外 2/5	口 12.9 高 3.9 底 5.6	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第372図	4011	須恵器 杯	遺構外 1/3	口 12.6 高 3.5 底 6.6	細砂粒・粗砂粒・ 長石/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第372図	4012	須恵器 杯	遺構外 2/5	口 12.9 高 3.8 底 7.0	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第372図	4013	須恵器 碗	遺構外 1/3	口 12.7 高 4.1 底 6.0	細砂粒/還元焰/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第372図	4014	須恵器 碗	遺構外 2/5	口 12.2 高 3.9 底 5.4	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第372図	4015	須恵器 杯	遺構外 1/2	口 14.0 高 3.4 底 9.0	細砂粒・角閃石/ 還元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲を 回転へら削り。	
第372図	4016	須恵器 杯	遺構外 1/4	口 12.9 高 3.5 底 6.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第372図	4017	須恵器 碗	遺構外 1/5	口 13.0 高 3.8 底 6.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第372図	4018	須恵器 杯	遺構外 1/4	口 13.4 高 3.7 底 8.0	細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第373図	4019	須恵器 杯	遺構外 1/3	口 12.4 高 3.1 底 5.6	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第373図	4020	須恵器 杯	遺構外 1/3	口 13.2 高 3.9 底 7.6	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第373図	4021	須恵器 杯	遺構外 1/4	口 14.3 高 3.5 底 9.2	細砂粒・白粒/還 元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後回転へ ら削り。	
第373図	4022	かわらけ	遺構外	口 12.2 高 3.2 底 6.2	細砂粒・角閃石/ 酸化焰/橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第373図	4023	須恵器 杯	遺構外 1/2	口 14.4 高 4.0 底 8.8	細砂粒・長石/還 元焰/灰黄	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲と 体部最下位を回転へら削り。	
第373図	4024	須恵器 碗	遺構外 1/3	口 16.3 高 5.4 底 8.6	細砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第373図	4025	須恵器 碗	遺構外 1/4	口 11.5 高 4.8 底 5.4	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第373図	4026	須恵器 碗	遺構外 1/4	口 13.3 高 6.6 底 7.5	細砂粒/還元焰/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第373図	4027	須恵器 杯	遺構外 底部～体部片	底 8.4	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部と体部の下位に回転へ ら削り。	
第373図	4028	須恵器 杯	遺構外 底部～体部下半	底 6.4	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第373図	4029	須恵器 杯	遺構外 底部～口縁部下位	底 9.0	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲と 体部下半に回転へら削り。	外面体部に墨書、 一部のため判読不能。
第373図	4030	須恵器 杯	遺構外 底部～体部下位	底 8.5	細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲と 体部下位に回転へら削り。	外面底部に墨書。 判読不能。
第373図	4031	須恵器 杯	床面上14cm 底部～体部下半片	底 8.9	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲を 回転へら削り。	
第373図	4032	須恵器 杯	遺構外 底部片	底 7.8	細砂粒・角閃/還 元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲と 体部下位のわずかな幅を回転へら削り。	
第373図	4033	須恵器 杯	遺構外 底部～体部下位	底 8.9	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転左回り。底部は回転へら削り。	口縁部欠損後 割れ口を再調整か。
第373図	4034	須恵器 杯蓋	遺構外 底部～体部下半片	底 8.6	細砂粒・角閃石/ 酸化焰/にぶい橙	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転へら削り。	外面底部に 「大」の墨書。
第374図	4035	灰釉陶器 碗	遺構外 1/3	口 14.2 高 4.5 底 7.4 台 7.3	緻密/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転へ らナデ。施釉方法は漬け掛けか。	大原2号窯式 期。
第374図	4036	須恵器 碗	遺構外 1/2	口 14.3 高 5.2 底 6.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転ナデ。	
第374図	4037	黒色土器 碗	遺構外 1/3	口 14.3 高 6.0 底 6.6 台 6.4	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	内面黒色処理。ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、 底部はナデ。内面はへら磨き。	
第374図 PL.186	4038	須恵器 碗	遺構外 完形	口 13.5 高 5.6 底 7.3 台 8.2	細砂粒・粗砂粒・ 褐粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転ナデ。	
第374図	4039	須恵器 碗	遺構外 1/4	口 16.2 高 6.2 底 10.0 台 8.4	細砂粒/還元焰/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸 切り。	
第374図	4040	須恵器 碗	遺構外 底部～体部片	底 8.4 台 8.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸 切り。	
第374図	4041	須恵器 碗	遺構外 底部～体部下位片	底 5.4 台 5.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸 切り。	
第374図	4042	須恵器 碗	遺構外 底部～体部片	底 8.0 台 7.8	細砂粒/還元焰/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸 切り。	
第374図	4043	須恵器 碗	遺構外 底部～体部片	底 10.0 台 9.8	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転へら。	

第4節 古墳時代後期～平安時代

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第374図	4044	須恵器 椀	遺構外 2/5	口 11.1 底 8.2	細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付(剥落)、底部は回転ヘラナデ。	
第374図	4045	須恵器 皿	遺構外 2/3	口 14.2 高 3.0 底 7.3 台 7.4	細砂粒/還元焰/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り後回転ナデ。	外面底部に「●」の墨書。
第374図	4046	須恵器 皿	遺構外 1/4	口 15.0 高 2.1 底 6.0	細砂粒・粗砂粒・ 角閃石/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第374図	4047	須恵器 皿	遺構外 2/3	口 12.9 高 3.2 底 6.7 台 6.6	遺構外/酸化焰/明 赤褐	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り後回転ナデ。	外面の一部に煤が斑に付着。
第374図 PL.186	4048	須恵器 杯蓋	遺構外 ほぼ完形	口 8.8 高 2.9 摘 1.2	細砂粒・褐粒/還 元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部は中ほどまで回転ヘラ削り。	
第374図	4049	須恵器 杯蓋	遺構外 1/3	口 9.6 高 2.7 摘 11.6	細砂粒/還元焰/灰 オリーブ	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部は中ほどまで回転ヘラ削り。	
第374図	4050	須恵器 杯蓋	遺構外 1/2	口 9.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部は周縁まで回転ヘラ削り。	摘みは乳頭状か、径0.8cm。
第374図 PL.186	4051	須恵器 杯蓋	遺構外 2/3	口 9.6 摘 1.6	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部は中ほどまで回転ヘラ削り。	摘みは上半を欠損後濡り磨いている。
第374図	4052	須恵器 杯蓋	遺構外 2/5	口 9.3	細砂粒・白粒/還 元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部は中ほどまで回転ヘラ削り。	摘みは乳頭状か。径1.2cm。
第374図	4053	須恵器 杯蓋	遺構外 2/3	口 9.6	細砂粒・白粒/還 元焰/暗灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部は中ほどまで回転ヘラ削り。	
第374図	4054	須恵器 杯蓋	遺構外 1/2、摘み欠損	口 8.8 摘 1.6	細砂粒/還元焰/暗 灰	ロクロ整形、回転右回り。摘みは貼付、天井部は中ほどまで回転ヘラ削り。	
第374図	4055	須恵器 杯蓋	遺構外 1/3	口 9.8	細砂粒/還元焰/淡 黄	ロクロ整形、回転右回り。天井部は周囲まで回転ヘラ削り。	
第374図	4056	須恵器 杯蓋	遺構外 口縁部～天井部片	口 9.4	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。天井部は中ほどまで回転ヘラ削り。	
第374図	4057	須恵器 杯蓋	遺構外 口縁部～天井部片	口 8.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。天井部は中ほどまで回転ヘラ削り。	
第374図	4058	須恵器 杯蓋	遺構外 3/5	口 9.3 高 3.3	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。天井部は回転ヘラ削り。	
第374図	4059	須恵器 杯蓋か	遺構外 1/2	口 9.5 高 3.6	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。天井部は手持ちヘラ削り。	
第374図 PL.186	4060	須恵器 杯蓋	遺構外 1/2	口 11.0 高 3.9	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転左回りか。天井部は手持ちヘラ削り。	
第375図 PL.186	4061	須恵器 高盤	遺構外 盤身1/4欠損	口 22.1 高 10.8 脚 18.1	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。脚部は貼付、盤身底部はヘラナデ、周縁部から体部は回転ヘラ削り。内面底部もヘラナデ。	
第375図	4062	須恵器 高盤	遺構外 1/3	口 26.6 高 8.7 脚 14.6	細砂粒/還元焰/暗 灰	ロクロ整形、回転右回り。脚部は貼付。盤身は底部から体部が回転ヘラ削り。	
第375図	4063	須恵器 鉢	遺構外 1/3	口 11.8 高 13.2 底 8.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は手持ちヘラ削りか。	
第375図	4064	須恵器 鉢	遺構外 口縁部～体部片	口 13.0	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。体部は縦位のヘラ削り。	
第375図	4065	須恵器 短頸壺	遺構外 3/4	底 5.8 頸 5.9 胴 9.6	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部から胴部下位は回転ヘラ削り。	
第375図	4066	須恵器 ハソウ	遺構外 胴部片		細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。胴部肩に凹線が1条巡る。頸部から肩にかけて降灰が付着。	
第375図	4067	須恵器 長頸壺	遺構外 底部～胴部・頸部1/2	底 4.4 胴 7.5	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第375図 PL.186	4068	須恵器 短頸壺	遺構外 胴部1/2欠損	口 8.6 高 7.8	細砂粒・白粒/還 元焰/灰	ロクロ整形、回転方向不明。胴部下半から底部は手持ちヘラ削り。	焼成時の胴部破損が激しい。
第375図	4069	須恵器 高盤	遺構外 底部～脚部片		細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。脚部は貼付、底部は回転ヘラナデ。	
第375図	4070	須恵器 長頸壺	遺構外 頸部～口縁部片	頸 7.3	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。	
第375図	4071	灰釉陶器 長頸壺	遺構外 底部～胴部下半	底 4.8 台 4.6	微砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り、胴部は回転ヘラ削り。内面は器面剥離。	
第375図	4072	須恵器 短頸壺	遺構外 床面上11cm 底部～胴部	底 16.4	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付か、底部はヘラナデ、胴部はカキ目、下位は磨滅で不鮮明。	高台は端部欠損後濡り磨いている。
第375図	4073	須恵器 平瓶	遺構外 口縁部～底部片	胴 13.0 底 4.0	微砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部から胴部下位は回転ヘラ削り。胴部肩より上位、口縁部の内面に降灰が付着。	東海地方産か。
第375図 PL.186	4074	須恵器 平瓶	遺構外 3/4	胴 11.6 底 6.8	微砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回りか。獣足は貼付、胴部側面は回転ヘラ削り。天井部には把手が貼付されている。	原始灰釉、胴部側面の一部を除き降灰が厚く付着。
第375図	4075	須恵器 壺か	遺構外 胴部片		細砂粒/還元焰/褐 灰	ロクロ整形、回転方向不明。外面は厚く降灰が付着、内面はロクロ痕が残る。	胴部に透孔がみられる。
第375図	4076	灰釉陶器 長頸壺	遺構外 底部～胴部上位	底 4.7 台 4.6	微砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。高台は貼付、底部は回転糸切り、胴部は回転ヘラ削り。内面は器面剥離。	施釉方法不明。
第376図	4077	土師器 小型壺	遺構外 口縁部～胴部上半片	口 9.8	細砂粒・褐色粒/ 良好/橙	内外面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

第三章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第376図	4078	土師器 鉢	遺構外 1/2	口 17.0 高 9.7	細砂粒・粗砂粒・ 褐粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から体部に放射状ヘラ磨き。	内面の一部に漆が付着。
第376図	4079	土師器 鉢	遺構外 1/2	口 16.6 高 11.4	細砂粒・角閃石/ 良好/赤褐	外面に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ、体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は底部から頸部までヘラナデ。	
第376図	4080	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部中位片	口 13.2	細砂粒・ガラス質 粒/良好/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は縦位のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第376図	4081	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 13.2	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第376図	4082	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部中位片	口 15.4 胴 16.2	細砂粒・褐粒/良 好/明赤褐	口縁部は横ナデ、胴部は縦位のヘラ削り。内面胴部はヘラナデか、器面磨滅のため単位不明。	
第376図	4083	土師器 小型甕	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 12.4	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第376図	4084	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 13.8	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削りか、器面剥落のため不明。内面胴部はヘラナデ。	
第376図 PL.187	4085	土師器 台付甕	遺構外 床面上26cm 胴部一部、脚部欠損	口 12.9 底 5.8	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	脚部は貼付、口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第376図	4086	土師器 甕	遺構外 底部～胴部下位片	底 4.4	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第376図	4087	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上位	口 13.6	細砂粒・褐粒/良 好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第376図	4088	土師器 甕	遺構外 底部～胴部下位片	底 9.6	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第376図	4089	土師器 有孔鉢	遺構外 底部～体部片	孔 1.9	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	体部から底部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第376図	4090	土師器 甕	遺構外 底部～胴部下位	底 3.8	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	胴部はヘラ削り、底部はヘラ削り後不定方向のヘラ描き、18箇所に小孔を穿孔。内面はヘラナデ。	
第376図	4091	土師器 台付甕	遺構外 脚部	脚 9.8	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	脚部はヘラ削り、裾部は横ナデ。内面は脚部・裾部とも横ナデ。	
第376図	4092	土師器 台付甕	遺構外 脚部	脚 9.4	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	脚部は胴部に貼付。脚部は横ナデ。	
第376図	4093	土師器 台付甕	遺構外 脚部片	脚 10.8	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	脚部は貼付、内外とも横ナデ。内面胴部はヘラナデ。	
第376図	4094	土師器 台付甕	遺構外 底部～脚部片	脚 10.0	細砂粒/良好/にぶ い橙	脚部は貼付、底部から脚部は横ナデ。内面は胴部がヘラナデ、脚部は底部がヘラナデ、その下位は横ナデ。	
第377図	4095	土師器 甕	遺構外 床面上26cm 口縁部～胴部上位片	口 19.7	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第377図	4096	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 21.6	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第377図	4097	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上半片	口 20.6 胴 21.8	細砂粒・褐粒/良 好/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第377図	4098	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上位	口 21.0	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第377図	4099	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 19.0	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第377図	4100	土師器 甕	口縁部～胴部中位	口 21.8 胴 21.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第377図	4101	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 21.2	細砂粒・ガラス質 粒/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第377図	4102	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 24.2	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第377図	4103	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 24.8	粗砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第377図 PL.187	4104	土師器 甕	遺構外 床面上27cm 1/3	口 24.0 高 29.0 底 5.0	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第378図	4105	土師器 甕	遺構外 口縁部～頸部片	口 21.8	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部は横ナデ。内面頸部はヘラナデ。	
第378図	4106	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 23.0	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面頸部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第378図	4107	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上半片	口 25.8	細砂粒・粗砂粒角 閃石/良好/にぶい 赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第378図	4108	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上位	口 21.6	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第378図	4109	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部中片	口 19.6 胴 20.2	細砂粒・褐粒/良 好/明赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第378図	4110	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 22.6	細砂粒/良好/橙	外面口縁部に輪積み痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第378図	4111	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 17.8	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第378図	4112	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 18.2	細砂粒・角閃石/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第378図	4113	土師器 甕	遺構外 床面上38cm 口縁部～胴部下位片	口 21.1	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	外面胴部に煤が広範囲に付着。

第4節 古墳時代後期～平安時代

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第379図	4114	土師器 甕	遺構外 口縁部～胴部中片	口 18.8 胴 18.8	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
第379図	4115	土師器 甕	遺構外 底部～胴部下半片	底 9.8	細砂粒/良好/明赤 褐	底部と胴部はヘラ削り、胴部下位はヘラ削り後ヘラ磨き。内面はヘラナデ、中位はヘラ削りに近い。	
第379図	4116	須恵器 羽釜	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 17.2 鏝 20.8	細砂粒・粗砂粒・ 褐粒/酸化焰/にぶ い赤褐	ロクロ整形、鏝は貼付。	
第379図	4117	須恵器 羽釜	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 24.6 鏝 26.6	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	ロクロ整形、鏝は貼付。胴部は縦位のヘラ削り。内面は胴部から下位にヘラナデ。	
第379図	4118	須恵器 羽釜	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 18.2 鏝 22.4	細砂粒/酸化焰/灰 黄褐	外面胴部に輪積み痕が残る、ロクロ整形、回転方向不明。鏝は貼付。	内面胴部に煤 またはオコゲ が付着。
第379図	4119	須恵器 羽釜	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 18.0 鏝 22.8	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形、回転右回り。鏝は貼付、内面胴部はヘラナデ。	内外面の一部 に煤が付着。
第379図	4120	須恵器 瓶	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 15.0	細砂粒/還元焰/褐 灰	口縁部はロクロ整形。胴部は外面に平行叩き痕、内面にアテ具痕が残る。	
第379図	4121	須恵器 甕	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 23.6	細砂粒・安山岩小 礫/還元焰/灰	口縁部はロクロ整形、外面に縦位のカキ目。胴部は外面に平行叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	
第379図	4122	須恵器 短頸壺	遺構外 2/5	口 9.8 高 10.5 底 9.4	細砂粒・白色粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部とその周囲は回転ヘラ削り。	
第379図	4123	須恵器 甕	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 23.6	細砂粒/還元焰/暗 灰	口縁部はロクロ整形、内面頸部はヘラナデ。胴部は外面に平行叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	
第380図	4124	須恵器 甕	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 22.6	細砂粒/還元焰/灰	口縁部はロクロ整形、外面に縦位のカキ目。胴部は外面に平行叩き痕、内面に同心円状アテ具痕が残る。	
第380図 PL.187	4125	須恵器 甕	遺構外 口縁部～胴部上位片	口 47.6	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	口縁部はロクロ整形。頸部にて口縁部を貼付。胴部は外面の平行叩き痕は残るが、内面のアテ具痕はほとんどナデ消されている。	
第380図	4126	須恵器 甕	遺構外 胴部下半		細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	外面は平行叩き痕がかすかに残る。内面は下位はヘラナデ、中位にはアテ具痕がかすかに残る。	
第381図	4127	須恵器 甕	遺構外 口縁部片	口 39.7	細砂粒・角閃・白 色粒/還元焰/灰	口縁部はロクロ整形。上位に2段の波状文が巡る。内面は頸部がヘラナデ。	
第381図	4128	須恵器 甕	遺構外 口縁部片	口 35.8	細砂粒/酸化焰ぎ み/灰褐	口縁部はロクロ整形。外面は凹線で4段に区画、上位3段には上面が巡る、最下段はヘラナデ。内面は下半がヘラナデ。	
第381図	4129	須恵器 甕	遺構外 口縁部～底部片	口 26.0 高 35.2 底 20.0 胴 35.5	細・粗・角閃/還 元焰/灰	口縁部はロクロ整形。底部はヘラ削り、胴部は叩き痕が残る。内面は胴部はアテ具痕の凹凸がかすかに残るヘラナデ。頸部もヘラナデ。	
第382図	4130	須恵器 甕	遺構外 胴部上半片		細砂粒/還元焰/暗 灰	ロクロ整形、回転方向不明。外面はヘラナデか。	
第382図	4131	須恵器 甕	遺構外 胴部片		細砂粒/還元焰/灰	外面は平行叩き痕、内面はかすかに同心円状アテ具痕が残る。	
第382図 PL.188	4132	須恵器 広口壺	遺構外 底部～頸部	底 14.5 胴 30.0	細砂粒・粗砂粒・ 白粒/還元焰/灰	底部はヘラナデ、胴部下位に回転ヘラ削り、中位から上位はヘラナデ。内面は胴部にアテ具痕が残る。	
第383図 PL.188	4133	須恵器 広口壺	遺構外 底部～頸部	底 12.7 頸 12.4 胴 26.2	細砂粒/還元焰/灰	底部はヘラ削り、胴部はかすかに叩き痕が残る、下位に1段の回転ヘラ削り。内面はアテ具痕が残るが、ほとんどナデ消されている。	
第383図 PL.188	4134	須恵器 広口壺	遺構外 一部欠損	口 23.2 高 39.3 底 14.2 胴 27.0	細・粗・角閃/還 元焰/灰	口縁部はロクロ整形、回転右回り。胴部は上位と中位がヘラナデ、下位は手持ちヘラ削り、底部は一定方向へのヘラ削り。内面胴部はヘラナデ、下位にアテ具痕がかすかに残る。	
第384図 PL.188	4135	須恵器 横瓶	遺構外 口縁部・胴 部一部欠損	長 19.2 幅 17.6	細砂粒/還元焰/灰 褐	胴部両端はカキ目、側面に平行叩き痕が残る。内面は左側面で閉塞、閉塞部周囲と右端はナデ、側面にはアテ具痕が残る。	
第384図	4136	須恵器 提瓶	遺構外 胴部片		細砂粒/還元焰/暗 灰	胴部はロクロ整形、回転右回りか。側面で閉塞後口縁部を貼付。外面はカキ目、磨滅・降灰で不鮮明。	
第384図	4137	土製品 紡錘車	遺構外 一部欠損	径 7.9 孔 1.2 厚 1.2 重 41.2	微砂粒/良好/にぶ い橙	表裏、側面ともよく研磨されている。使用時の磨滅により単位不明。	
第384図	4138	石製品 紡錘車	遺構外 3/4	径 6.0 孔 0.8 厚 1.1 重 33.7	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	表面はナデ、側面と裏面はヘラ削り整形。使用時の摺れによって器面磨滅。	
第384図	4139	土製品 紡錘車	遺構外 一部欠損	径 4.2 孔 1.0 厚 1.9 重 35.4		表裏、側面ともよく研磨されている。裏面が欠損後も使用されたとみられる。	
第385図	4140	土製品 転用紡錘 車	遺構外 1/2	径 5.5 重 13.3 厚 0.8	細砂粒/還元焰/灰	須恵器碗の底部を転用。周囲は研磨、ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
第385図	4141	土製品 転用紡錘 車	遺構外 1/3	径 7.0 孔 1.4 厚 0.7 重 15.9	細砂粒/還元焰/灰	須恵器碗の底部を転用。周囲は研磨、ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラナデ。	
第385図	4142	土製品 紡錘車	遺構外 1/2	径 5.7 孔 0.9 厚 1.4 重 25.5	微砂粒/酸化焰/に ぶい赤褐	表裏、側面ともよく研磨されている。	
第385図	4143	須恵器 不明	遺構外 把手片		細砂粒/還元焰/灰 黄褐	表面、両側面はヘラ削り、裏面はヘラナデ。	
第385図	4144	土製品 土錘	遺構外 完形	長 4.2 孔 0.5 径 1.6 重 10.0	微砂粒/良好/にぶ い橙	表面はナデ。	
第385図	4145	土製品 土錘	遺構外 完形	長 4.4 孔 0.3 径 1.9 重 13.0	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面はナデ。	

第三章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値		胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第385図	4146	土製品 土錘	遺構外 完形	長 4.5 径 2.1	孔 0.5 重 17.2	細砂粒/良好/橙	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第385図	4147	土製品 土錘	遺構外 完形	長 4.4 径 2.0	孔 0.4 重 15.6	細砂粒/良好/橙	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第385図	4148	土製品 土錘	遺構外 下端部欠損	長 5.0 径 2.2	孔 0.4 重 18.7	細砂粒/良好/橙	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第385図	4149	土製品 土錘	遺構外 両端部わずかに欠損	長 4.5 径 1.9	孔 0.4 重 13.1	細砂粒/良好/橙	外面はナデ。	
第385図	4150	土製品 土錘	遺構外 ほぼ完形	長 4.7 径 2.0	孔 0.3 重 18.5	細砂粒/良好/橙	外面はナデ。上端部はわずかな平坦面をつくる。	
第385図	4151	土製品 土錘	遺構外 端部欠損	長 (6.0) 径 2.3	孔 0.6 重 25.0	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面はナデ。	
第385図	4152	土製品 土錘	遺構外 完形	長 4.7 径 2.1	孔 0.3 重 18.6	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面はナデ。上端部はわずかな平坦面をつくる。	
第385図	4153	土製品 土錘	遺構外 一部欠損	長 4.6 径 2.1	孔 0.4 重 14.2	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面はナデ。両端部はわずかな平坦面をつくる、側面 も弱い稜をもつ。	
第385図	4154	土製品 土錘	遺構外 完形	長 4.7 径 2.0	孔 0.4 重 16.8	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第385図	4155	土製品 土錘	遺構外 ほぼ完形	長 5.0 径 1.5	孔 0.6 重 10.3	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面はナデ。	
第385図	4156	土製品 土錘	遺構外 完形	長 4.4 径 2.0	孔 0.4 重 16.8	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第385図	4157	土製品 土錘	遺構外 完形	長 4.9 径 2.0	孔 0.3 重 20.9	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第385図	4158	土製品 土錘	遺構外 完形	長 4.9 径 1.9	孔 0.4 重 15.7	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面はナデ。端部にわずかな平坦面をつくる。	
第385図	4159	土製品 土錘	遺構外 完形	長 4.6 径 1.8	孔 0.3 重 14.9	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第385図	4160	土製品 土錘	遺構外 完形	長 4.9 径 2.3	孔 0.6 重 21.2	細砂粒/良好/橙	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第385図	4161	土製品 土錘	遺構外 完形	長 4.7 径 1.9	孔 0.5 重 14.4	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第385図	4162	土製品 土錘	遺構外 完形	長 4.8 径 1.8	孔 0.6 重 13.6	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面はナデ。	
第385図	4163	土製品 土錘	遺構外 完形	長 5.1 径 1.8	孔 0.3 重 14.7	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面はナデ。両端部はわずかな平坦面をつくる。	
第385図	4164	土製品 土錘	遺構外 完形	長 4.7 径 1.8	孔 0.4 重 10.3	細砂粒/良好/灰黄	外面はナデ。	
第385図	4165	土製品 土錘	遺構外 完形	長 4.8 径 1.8	孔 0.4 重 14.7	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	端部に網紐痕 が残る。
第385図	4166	土製品 土錘	遺構外 下端部一部欠損	長 4.8 径 1.7	孔 0.5 重 12.5	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面はナデ。端部にわずかな平坦面をつくる。	
第385図	4167	土製品 土錘	遺構外 下端部欠損	長 (5.9) 径 2.1	孔 0.5 重 23.8	細砂粒/良好/灰褐	外面はナデ。	
第385図	4168	土製品 土錘	遺構外 完形	長 4.2 径 2.1	孔 0.4 重 16.6	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第385図	4169	土製品 土錘	遺構外 完形	長 3.6 径 1.8	孔 0.5 重 10.2	細砂粒/良好/橙	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第385図	4170	土製品 土錘	遺構外 完形	長 3.9 径 1.5	孔 0.5 重 9.2	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面はナデ。	
第385図	4171	土製品 土錘	遺構外 完形	長 4.0 径 1.9	孔 0.4 重 13.3	細砂粒/良好/褐灰	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第385図	4172	土製品 土錘	遺構外 完形	長 3.9 径 2.0	孔 0.4 重 14.8	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第385図	4173	土製品 土錘	遺構外 ほぼ完形	長 4.5 径 1.7	孔 0.4 重 9.6	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	外面はナデ。	
第385図	4174	土製品 土錘	遺構外 完形	長 3.8 径 1.9	孔 0.5 重 11.6	細砂粒/良好/明赤 褐	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第385図	4175	土製品 土錘	遺構外 1/2	長 (3.1) 径 1.7	孔 0.3 重 7.5	細砂粒/良好/灰褐	外面はナデ。端部は平坦面をつくる。	
第386図	4176	土製品 土錘	遺構外 下端部一部欠損	長 5.0 径 2.1	孔 0.5 重 17.2	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面はナデ。端部にわずかな平坦面をつくる。	
第386図	4177	土製品 土錘	遺構外 両端部の一部を欠損	長 4.5 径 1.8	孔 0.4 重 10.3	細砂粒/良好/灰黄	外面はナデ。	欠損部は使用 時のものか。
第386図	4178	土製品 土錘	遺構外 ほぼ完形	長 4.7 径 1.9	孔 0.3 重 14.0	細砂粒/良好/灰黄 褐	外面はナデ。端部にわずかな平坦面をつくる。	
第386図	4179	土製品 土錘	遺構外 完形	長 5.3 径 2.0	孔 0.6 重 20.0	細砂粒/良好/灰黄 褐	外面はナデ。	
第386図	4180	土製品 土錘	遺構外 完形	長 4.7 径 2.0	孔 0.4 重 20.1	細砂粒/良好/灰黄	外面はナデ。端部にわずかな平坦面をつくる。	
第386図	4181	土製品 土錘	遺構外 下端部一部欠損	長 5.4 径 1.8	孔 0.4 重 13.4	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面はナデ。	
第386図	4182	土製品 土錘	遺構外 下部欠損	長 (5.0) 径 1.9	孔 0.5 重 14.6	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面はナデ。	

第4節 古墳時代後期～平安時代

挿図番号 図版番号	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成 /色調	成形・整形の特徴	摘要
第386図	4183	土製品 土鍾	遺構外 完形	長 4.8 孔 0.2 径 1.7 重 16.4	細砂粒/良好/褐灰	外面はナデ。端部にわずかな平坦面をつくる。穿孔径はごく細い。	
第386図	4184	土製品 土鍾	遺構外 完形	長 4.9 孔 0.6 径 2.1 重 17.5	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第386図	4185	土製品 土鍾	遺構外 ほぼ完形	長 4.5 孔 0.4 径 1.5 重 9.4	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面はナデ。	
第386図	4186	土製品 土鍾	遺構外 完形	長 4.5 孔 0.3 径 1.9 重 13.3	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第386図	4187	土製品 土鍾	遺構外 下端部一部欠損	長 5.2 孔 0.6 径 2.1 重 22.9	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第386図	4188	土製品 土鍾	遺構外 下端部一部欠損	長 5.0 孔 0.3 径 2.1 重 19.9	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	上端部に網紐 痕が残る。
第386図	4189	土製品 土鍾	遺構外 両端部一部欠損	長 4.1 孔 0.6 径 2.0 重 15.4	細砂粒/良好/褐灰	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第386図	4190	土製品 土鍾	遺構外 完形	長 4.6 孔 0.4 径 2.0 重 18.5	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第386図	4191	土製品 土鍾	遺構外 完形	長 4.2 孔 0.5 径 1.9 重 13.4	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第386図	4192	土製品 土鍾	遺構外 完形	長 3.7 孔 0.4 径 1.8 重 11.9	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第386図	4193	土製品 土鍾	遺構外 完形	長 4.7 孔 0.4 径 1.8 重 10.1	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	外面はナデ。	
第386図	4194	土製品 土鍾	遺構外 完形	長 4.7 孔 0.4 径 2.1 重 10.2	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第386図	4195	土製品 土鍾	遺構外 下端部わずかに欠損	長 6.0 孔 0.4 径 1.8 重 15.1	細砂粒/良好/明赤 褐	外面はナデ。端部のつくりは雑。	
第386図	4196	土製品 土鍾	遺構外 両端部をわ ずかに欠損	長 4.6 孔 0.5 径 1.7 重 10.0	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面はナデ。	
第386図	4197	土製品 土鍾	遺構外 完形	長 4.8 孔 0.3 径 2.0 重 18.7	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	外面はナデ。端部にわずかな平坦面をつくる。	
第386図	4198	土製品 土鍾	遺構外 完形	長 4.4 孔 0.4 径 1.9 重 14.4	細砂粒/良好/灰黄 褐	外面はナデ。端部の整形はやや雑。	
第386図	4199	土製品 土鍾	遺構外 ほぼ完形	長 5.1 孔 0.4 径 2.1 重 18.5	細砂粒/良好/橙	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第386図	4200	土製品 土鍾	遺構外 下端部わずかに欠損	長 (4.2) 孔 0.5 径 1.9 重 14.7	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第386図	4201	土製品 土鍾	遺構外 下部を欠損	長 4.3 孔 0.3 径 2.0 重 13.5	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	外面はナデ。端部にわずかな平坦面をつくる。	
第386図	4202	土製品 土鍾	遺構外 完形	長 4.5 孔 0.3 径 1.7 重 11.6	細砂粒/良好/にぶ い黄褐	外面はナデ。端部にわずかな平坦面をつくる。	
第386図	4203	土製品 土鍾	遺構外 完形	長 4.2 孔 0.5 径 2.0 重 16.0	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面はナデ。端部にわずかな平坦面をつくる。	
第386図	4204	土製品 土鍾	遺構外 完形	長 4.2 孔 0.5 径 2.1 重 16.1	細砂粒/良好/灰黄 褐	外面はナデ。端部はやや丸みをもつ。	
第386図	4205	土製品 土鍾	遺構外 完形	長 4.6 孔 0.4 径 1.7 重 11.9	細砂粒/良好/明赤 褐	外面はナデ。端部の整形はやや雑。	
第386図	4206	土製品 土鍾	遺構外 完形	長 4.4 孔 0.4 径 2.2 重 16.5	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第386図	4207	土製品 土鍾	遺構外 ほぼ完形	長 5.1 孔 0.4 径 2.2 重 18.6	細砂粒/良好/橙	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第386図	4208	土製品 土鍾	遺構外 下端部わずかに欠損	長 4.3 孔 0.5 径 2.0 重 14.4	細砂粒/良好/橙	外面はナデ。両端部は平坦面をつくる。	
第386図	4209	土製品 土鍾	遺構外 3/4	長 (3.8) 孔 0.4 径 1.6 重 10.0	細砂粒/良好/明赤 褐	外面はナデ。端部は平坦面をつくる。	
第386図	4210	土製品 土鍾	遺構外 1/2	長 3.4 孔 0.5 径 1.9 重 5.4	細砂粒/良好/橙	外面はナデ。	
第386図	4211	土製品 土鍾	遺構外 下部を欠損	長 (3.4) 孔 0.4 径 1.0 重 2.6	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面はナデ。	
第386図	4212	土製品 土鍾	遺構外 下端部欠損	長 3.0 孔 0.4 径 0.8 重 1.9	細砂粒/良好/灰黄 褐	外面はナデ。	
第386図	4213	土製品 土鍾	遺構外 ほぼ完形	長 4.4 孔 0.4 径 1.0 重 4.8	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面はナデ。	
第386図	4214	土製品 土鍾	遺構外 下端部欠損	長 (3.7) 孔 0.3 径 0.9 重 2.1	細砂粒/良好/褐	外面はナデ。端部にごくわずかな平坦面をつくる。	
第386図	4215	土製品 土鍾	遺構外 1/2	長 (2.8) 孔 0.4 径 0.9 重 18.3	細砂粒/良好/明赤 褐	外面はナデ。	
第386図	4216	土製品 土鍾	遺構外 3/4	長 (2.9) 孔 0.2 径 0.8 重 1.7	細砂粒/良好/橙	外面はナデ。端部は平坦面をつくる。	

第三章 検出された遺構と出土遺物

第36表 古墳～平安時代出土石製品観察表

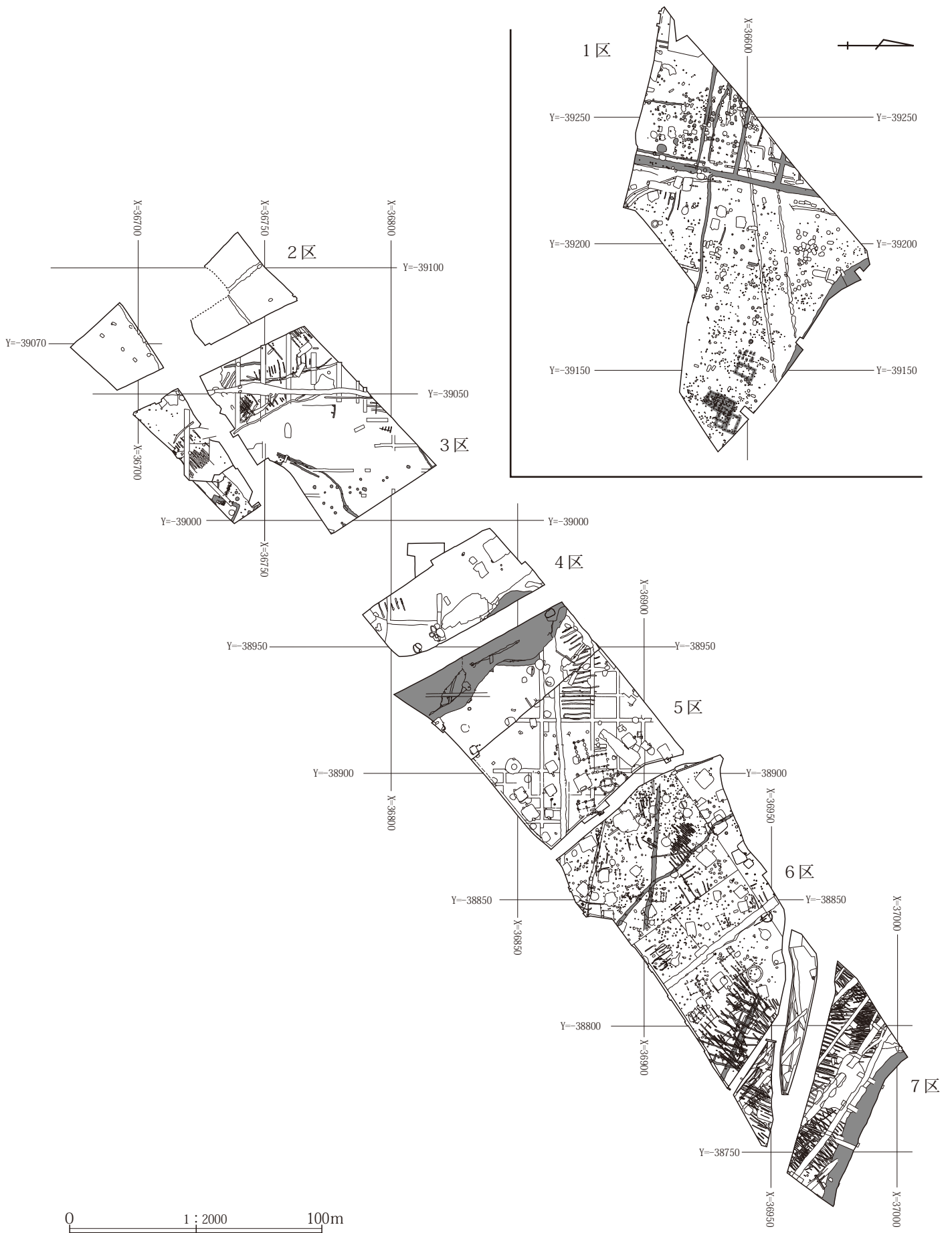
挿図番号 図版番号	No.	器種	形態・素材	区	名	遺構名	製作・使用状況	石材	長 cm	幅 cm	重さ g	備考
第281図 PL.155	3060	紡錘車	台形状 薄型	5	56	住居	使用面側に同心円状の線刻2条。孔周辺に光沢面形成。表裏面とも火バネして剥落。	頁岩	4.9	4.9	41.6	
第290図 PL.160	3141	敲石	偏平礫	5	209	住居	小口部両端に敲打に伴う衝撃剥離が生じている。	ホルン フェルス	16.8	6.7	492	
第290図 PL.160	3142	砥石	切り砥石	5	209	住居	四面使用。表裏面は研ぎ減り糸巻状。上下両端を欠損。	砥沢石	(4.8)	(2.7)	39.8	
第295図 PL.161	3173	敲石	偏平礫	5	286	住居	右側縁を敲打、これにより衝撃剥離痕が生じている。	ホルン フェルス	13.8	6.0	483.6	
第317図 PL.171	3422	石製品	楕円礫	6	21	住居	背面側に平坦面を作出する。平坦面上には横位・斜位の粗い線条痕がある。裏面中央の摩耗は意図的か不明。	二ツ岳 軽石	5.7	4.9	34.2	
第328図 PL.174	3528	砥石	切り砥石	6	28	住居	上端の小口部は丁寧な磨き整形。粗い刃ならし傷が残る。	砥沢石	(9.3)	(9.2)	217	
第329図 PL.174	3539	砥石	切り砥石	6	29	住居	側縁・上端小口は粗い磨き整形。裏面側は被熱剥落？	砥沢石	(6.3)	(5.8)	46.3	
第333図 PL.175	3563	砥石	多面砥石？	6	30	住居	切り砥石同様、四面構成されたものであるが、表裏面の使用面は広く、使用面が多面化している。上端側小口部には礫面が残り、河床(楕円)礫を用いることが分かる。	粗粒輝 石安山 岩	(17.0)	(10.8)	1445.5	
第339図 PL.177	3645	砥石	切り砥石	6	37	住居	四面使用。下端側破損面・右側面に粗い刃ならし傷。	砥沢石	14.8	4.2	254.7	
第339図 PL.177	3646	砥石	切り砥石	6	37	住居	左辺側面を除く各面を使用。表裏面は過度に使用され、糸巻状に研ぎ減る。	砥沢石	11.6	5.3	273.5	
第340図 PL.177	3647	紡錘車	台形状 (厚型)	6	37	住居	使用面は孔周辺が浅く窪む。使用面周辺の欠損は打点を伴う意図的なもので、破損部を再研磨して使用している。下面側の孔周辺は敲打後、弱く研磨されている。	粗粒輝 石安山 岩	5.1	4.8	58.9	
第340図 PL.177	3648	紡錘車	台形状 (薄型)	6	37	住居	表裏面とも火バネして剥落。光沢面が使用面側の上半と、これに続く体部側面に残存している。	砥沢石	5.4	5.7	59.1	
第344図 PL.178	3700	砥石	礫砥石	7	4	住居	背面側に顕著な摩耗面がある。長軸方向に並行する線条痕が著しい。	粗粒輝 石安山 岩	12.2	6.3	424.5	
第356図 PL.181	3797	砥石	切り砥石	1	305	井戸	四面使用。背面に斜位の粗い刃ならし傷。小口部整形痕は剥落して不明。	砥沢石	(8.9)	8.5	353.9	
第358図 PL.182	3826	石製品？	楕円偏平礫	6	1	遺物集積	背面側に浅い凹部が形成されている。裏面側の同じ位置には集合打痕がある。表裏面とも礫面は摩耗。	粗粒輝 石安山 岩	(11.9)	19.5	1439.9	
第358図 PL.182	3827	砥石	礫砥石	6	1	遺物集積	楕円礫の小口部を使用面とするほか、両側面には横位の粗い刃ならし傷がある。	粗粒輝 石安山 岩	21.7	11.2	2250	
第387図 PL.188	4217	砥石	切り砥石	6		遺構外	四面使用。上端小口部は粗い磨き整形。	砥沢石	(6.3)	3.2	63.8	
第387図 PL.188	4218	砥石	切り砥石	5	2	溝	背面のみ光沢面があり、使用面とすることができる。背面を除く各面は未使用と見られ、粗い磨き整形が残る。	砥沢石	(4.2)	3.1	22.5	
第387図 PL.188	4219	砥石	切り砥石	7	2	溝	背面側使用面に斜位線条痕。上端を面取り整形。上面は光沢が弱く、整形面と考えておきたい。	頁岩	7.5	(1.5)	31.4	
第387図 PL.188	4220	砥石	切り砥石	5		遺構外	未使用？各面とも粗く磨き整形。使用面としての光沢面は見られない。	砂岩	(2.5)	(3.9)	19.5	
第387図 PL.188	4221	砥石	切り砥石	4	1	溝	四面使用？背面に縦位の刃ならし傷が集中。上端小口部はノミ状工具による斜位整形痕。	ホルン フェルス	(7.8)	7.3	171.3	
第387図 PL.188	4222	砥石	切り砥石	7	2	溝	背面のみ使用。背面を除く各面にはノコギリ状の折断痕が残る。上半部欠損。	砥沢石	(9.1)	3.5	139.1	
第387図 PL.187	4223	石製品	楕円偏平礫	6	950- 820	グリッド	礫中央に浅い孔を穿つ。孔内部は平滑である。	粗粒輝 石安山 岩	15.7	12.6	2000.4	
第387図 PL.187	4224	石製品	楕円偏平礫	6	950- 815	グリッド	礫中央に浅い孔を穿つ。孔内部には打痕が残る。	粗粒輝 石安山 岩	18.2	16.0	2300	
第387図 PL.187	4225	敲石	棒状礫	5	292	遺構外	上下両端の小口部に打痕がある。被熱。	粗粒輝 石安山 岩	17.7	6.3	1009.5	

第37表 古墳～平安時代出土鉄製品観察表

挿図番号	図版番号	No.	種類	器種	出土位置	残存率	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	特徴・状態
第276図	PL.153	3004	鉄器	鎌	1区1住	柄～基部側	10.7	3.9	0.3	28.7	柄取付部は折り曲げ、錆化が進んでいる。
第279図	PL.154	3030	鉄器	刀子	1区6住	ほぼ完形	14.1	1.2	0.2	6.3	柄長4.0幅0.5、内部は空洞化が進んでいる。
第280図	PL.154	3045	鉄器	刀子	5区43住	柄端部欠損	10.8	1.1	0.3	8.4	柄にわずかな木質部が残る、内部は空洞化が進んでいる。
第280図	PL.154	3046	鉄器	刀子	5区43住	柄端部欠損	18.3	1.8	0.9	32.4	柄には木質部が残る、内部は空洞化が進んでいる。
第299図		3213	鉄器	刀子	6区1住	柄端、刃部1/2欠	9.9	1.1	0.3	8.5	錆化が激しく、刃内部はやや空洞化が進んでいる。
第302図	PL.164	3279	鉄器	鎌	6区5住	基部・端部欠損	13.5	3.3	0.2	35	柄取付部わずかに残る。錆化が激しい。
第302図	PL.164	3280	鉄器	刀子	6区5住	柄片	6.3	1.5	0.2	6.2	錆化が激しい。
第302図	PL.164	3281	鉄器	鎌	6区5住	ほぼ完形	12.1	1.6	0.6	11.6	短頸腸扶三角形鎌。錆化が進んでいる。
第302図	PL.164	3282	鉄器	釘	6区5住	完形	7.2	0.5	0.5	4.5	頭部は打ち曲げられている。錆化が進んでいる。
第302図	PL.164	3284	鉄器	釘	6区5住	完形	7.5	0.6	0.6	8.8	頭部は打ち曲げられている。錆化が進んでいる。
第302図	口絵	3285	金属器	鈿帯丸鞆	6区5住	ほぼ完形	2.6	4	0.9	12.1	端部欠損、鉾は右上が折れ曲っている他は途中で欠損、裏面に墨が付着。
第303図	PL.165	3299	鉄器	刀子	6区7住	完形	18.7	1.6	0.3	22.9	錆化が激しく、全体的に肥厚している。
第305図	PL.165	3318	鉄器	刀子	6区9住	ほぼ完形	25.9	2.3	0.5	51.6	刃部はわずかにソリがみられる。柄部端部に木質部が残る。
第313図	PL.169	3386	鉄器	刀子	6区17住	柄欠損	9.3	1.2	0.4	9	錆化が激しく、内部は空洞化が進んでいる。
第316図	PL.170	3415	鉄器	刀子	6区19住	完形	18.8	1.4	0.4	21	刃部の錆化が進んでいる。
第317図	PL.171	3423	鉄器	刀子	6区21住	柄端・刃部1/2欠	9.3	1.5	0.3	11.9	錆化が激しく、刃部は内部は空洞化が進んでいる。
第319図	PL.171	3435	鉄器	刀子	6区22住	柄端・刃部1/2欠	7.2	0.8	0.3	6.7	錆化が激しく、全体的に肥厚している。
第320図	PL.172	3449	鉄器	刀子	6区23住	柄端・刃部大半欠	13	1.5	0.3	36.2	柄部には木質部が残るが、柄自体は不鮮明。刃部は錆化が激しく、内部は空洞化が進んでいる。
第320図	PL.172	3450	鉄器	刀子	6区23住	刃部片	5.4	1.4	0.3	7.4	錆化が激しく、内部は空洞化が進んでいる。
第328図	PL.174	3529	鉄器	刀子	6区28住	両端部わずかに欠	18.7	1.2	0.4	16.5	刃部はソリをもつ。内部は空洞化が進んでいる。
第329図	PL.174	3540	金属器	鈿帯蛇尾	6区29住	裏金完形	3.6	2.9	0.2	7.6	周縁部は面取りがなされている。3カ所に銹痕。
第333図	PL.175	3564	鉄器	紡錘車	6区30住	下側紡茎欠損	15.1	5.5	0.5	43.1	上側紡茎端部を僅かに欠損。錆化が激しい。
第336図		3616	鉄器	刀子	6区36住	刃部片	6.8	1.6	0.2	7.3	錆化が進んでいるが、刃先は良好な状態。
第340図	PL.177	3649	鉄器	鎌	6区37住	刃部先端欠損	21.9	3.6	0.3	78.1	柄取付部は折り曲げ、錆化が激しい。
第341図	PL.177	3665	鉄器	紡錘車	6区39住	紡輪1/2	5	0.2	0.5	9.4	錆化が激しく、表面の剥落が進んでいる。
第351図	PL.179	3740	鉄器	鎌	6区58溝	茎部欠損	8	3	0.3	17.2	有扶柳葉鎌。錆化が進んでいる。
第351図	PL.179	3741	鉄器	鉗子か	6区58溝	上位片	3.7	1.4	0.8	7.3	錆化が進んでいる。止め金具かも。
第356図	PL.181	3798	鉄滓		1区305井戸		12.3	7.8	2.8	397.6	右側面が欠損。滓質は蜜。鉄部が内在し、銹化が進んでいる。下面には酸化土砂が付着している。上面の粘土質溶解物は、羽口の頸部の溶損。
第356図	PL.181	3799	鉄滓		1区305井戸		4.1	2.9	1.2	38.6	上・下・右側面が欠損。滓質は蜜。気泡はほとんどない。
第388図	PL.189	4226	鉄器	刀子	6区885-850Gr	刃部1/2欠損	12.3	1.6	0.4	13.7	錆化が進んでいる。
第388図	PL.189	4227	鉄器	刀子	5区23溝	両端部欠損	10.2	1.4	0.4	11.5	錆化が激しく、内部は空洞化が進んでいる。
第388図	PL.189	4228	鉄器	鑿か	5区遺構外	柄部片	16.1	2	0.4	26.5	比較的良好、表面は錆化が進んでいる。
第388図	PL.189	4229	鉄器	刀子	5区遺構外	刃部先端片	3.5	1.7	0.5	5.2	片刃、錆化が激しい。
第388図	PL.189	4230	鉄器	刀子	5区遺構外	関付近片	9.1	2.6	0.4	12.9	全体的に錆化が激しい。
第388図	PL.189	4231	鉄器	鎌	6区遺構外	基部～刃部片	6.6	3.5	0.3	26.8	柄取付部は折り曲げ、錆化が激しい。
第388図	PL.189	4232	鉄器	鎌	5区880-920Gr	柄～基部側	5.9	3.5	0.3	15.7	柄取付部は大きく折り曲げてある。
第388図	PL.189	4233	鉄器	鎌	5区880-920Gr	刃部片	7.3	2.5	0.3	20.2	錆化が激しく、全体的に肥厚している。
第388図	PL.189	4234	鉄製品	不明	1区遺構外	一部片	10.2	4.1	3.5	27.8	上端部側は肥厚している。錆化が進んでいる。
第388図	PL.189	4235	鉄器	鋤先	6区900-885Gr	一部片	8.5	4.8	0.6	44.4	錆化が激しい。
第388図	PL.189	4236	鉄器	鋤先	6区900-885Gr	1/5	7.8	9.3	1	45.6	錆化が激しい。
第388図	PL.189	4237	鉄器	鎌	5区遺構外	頸部一部欠損	—	3.5	0.6	21.8	短頸腸扶三角形鎌。錆化が進んでいる。
第388図	PL.189	4238	鉄器	鎌	5区890-910Gr	茎部欠損	7.3	3.1	0.5	16.7	有扶柳葉鎌。錆化が進んでいる。
第388図	PL.189	4239	鉄器	鎌	5区860-900Gr	茎部欠損	4.6	3	0.4	8.8	短頸腸扶三角形鎌。錆化が進んでいる。
第389図	PL.189	4240	鉄器	斧	5区55溝	完形	6.2	4.6	1.7	97.7	比較的良好、刃部は錆化が進んでいる。
第389図	PL.189	4241	鉄器	斧	5区遺構外	完形	7.2	4.5	1.4	108.3	比較的良好、柄取付部は錆化が激しい。
第389図	PL.189	4242	鉄製品	馬具蛇尾	5区870-910Gr	ほぼ完形	2.8	2.1	0.3	4.5	鉾は途中、基部から欠損、錆化が激しい。
第389図	PL.189	4243	金属器	耳環	6区遺構外	完形	1.8	1.6	0.7	5.1	錆化が進んでいる。

第Ⅲ章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号	図版番号	No.	種類	器種	出土位置	残存率	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	特徴・状態
第389図	PL.189	4244	鉄器	紡錘車	1区遺構外	紡莖部大部分欠	7.2	0.1	0.6	12.1	軸部は内部が空洞化が進んでいる。
第389図	PL.189	4245	鉄器	釘	5区遺構外	先端部欠損	9.3	0.6	0.6	16.7	頭部は打ち曲げられている。錆化が進んでいる。
第389図	PL.189	4246	鉄器	紡錘車	3区770-000Gr	紡莖部上端片	6.1	0.6	0.5	5.1	端部はわずかに曲げられている。
第389図	PL.189	4247	鉄器	釘	5区遺構外	頭部側片	4	0.5	0.5	3	頭部0.8×0.7、錆化が激しい。
第389図	PL.189	4248	鉄器	釘	3区770-000Gr	先端部側を欠損	4.5	0.6	0.5	4.1	頭部1.0×1.0、錆化が激しい。
第389図	PL.189	4249	鉄器	釘	5区23溝	頭部側片	2	0.3	0.3	0.8	頭部は折り曲げ、錆化が激しい。
第389図	PL.189	4250	鉄製品	不明	3区770-050Gr	棒状部片	4.4	2.5	7.5	4.2	途中で折れ曲がっている。錆化が進んでいる。
第389図	PL.189	4251	鉄製品	不明	1区遺構外	棒状部分	4.1	0.8	0.8	7.4	断面方形、全体的に錆化が激しい。
第389図	PL.189	4252	鉄製品	不明	3区760-070Gr	4/5	6.1	4.2	0.4	32.1	図左側部分は切断か。錆化が激しい。
第389図	PL.189	4253	鉄製品	不明	3区740-030Gr	板状片	4.8	2.2	3.5	12	上端は欠損、錆化が進んでいる。
第389図	PL.189	4254	鉄製品	不明	1区遺構外	円盤状部分	5.1	4.5	0.2	19.7	中央部が盛り上がっている。錆化が激しい。
第389図	PL.189	4255	鉄滓		6区900-850Gr		8.4	7.2	5.2	217.3	厚手。滓質はやや粗。上面は鉄部が散在し、錆化が進んでいる。上面左側の粘土質溶解物は羽口の顎部の溶損。下面は長軸1cm大の細い木炭痕が散在している。
第389図	PL.189	4256	鉄滓		6区910-850Gr		5.4	4.4	2.8	60.2	大形の椀形鍛冶滓の下部片。炉床土が付着している。気泡が散在し、滓質は粗。
第389図		4257	鉄滓		3区770-040Gr		3.4	3.2	1.1	21.9	側面は欠損しているもののほぼ完形。粘土質溶解物主体。
第389図		4258	鉄滓		3区750-050Gr		4.9	3.1	1.9	35.9	側面は欠損。気泡が内在し滓質は粗。鉄部が内在し、錆が滲んでいる。
第389図	PL.189	4259	鉄滓		3区770-050Gr		2.4	1.8	1.0	6.0	上側面が欠損。滓質は粗。
第389図	PL.189	4260	鉄滓		6区895-840Gr		4.8	2.2	2.2	50.0	大形の椀形鍛冶滓の下部片。炉床土が付着しており、発泡している。下面に長軸1cm大の細い木炭痕が散在している。
第389図	PL.189	4261	鉄滓		3区770-050Gr		3.8	3.1	1.8	31.9	側面が一部欠損しているもののほぼ完形。上面に鉄部が残存し錆化している。気泡が内在し滓質は粗であるが、比重が高い。
第300図	PL.164	4262	鉄器	釘	6区3住	完形	7.2	0.5	0.4	3.7	頭部は打ち曲げられている。錆化が進んでいる。
第301図	PL.164	4263	鉄製品	不明	6区4住	棒状部片	9.2	0.6	0.6	5.9	錆化が激しく、内部は空洞化が進んでいる。
第301図		4264	鉄滓		6区3住	1/3	4.0	2.8	1.8	23.1	上・右・下側面が欠損。滓質は密。上面の粘土質溶解物は、羽口の顎部の溶損。
第356図	PL.182	3283	鉄器	鎌	6区2土坑	頸部片	6.1	0.5	0.5	5.3	錆化が進んでいる。



第390図 中世以降遺構位置図

第5節 中世以降

(1)概要

中世以降の遺構は、掘立柱建物が10基、溝が71条、井戸が12基、土坑が209基検出されている。遺物は、土器・陶磁器類74点、瓦・土製品類が44点、石製品2点、銅製品2点、銅銭25点が出土している。

(2)掘立柱建物 (第391～396図)

掘立柱建物は10棟検出されている。10棟中7棟がほとんど同じ場所に重複しており、他の建物とならないピットも存在しているため、発掘調査時点では掘立柱建物と認識できず、整理作業の段階で認定した。

- ①分布 調査区南西部の1区東部に集中しており、他の区からは検出されていない。東西の2群(東を1群、西を2群とする)に分かれるが、東側に8棟集中し、西側は2棟だけである。
- ②形態・規模 1×3間が、1区5号・7号の2棟、2×3間総柱が不確実なものも含め1区9号・11号の2棟、2×3間側柱が1区2号・3号・4号・6号・8号・10号の6棟となっているが、すべての柱穴が検出されているものはなく、総柱

の建物も確実に総柱であると断定できない。形態も柱穴が直線上になかったり、柱間が不揃いのものも多い。

規模は、1×3間が長辺7.40～5.35m面積27.97～19.80m²、2×3間側柱が長辺7.32～6.37m面積31.69～21.52m²、2×3間総柱が長辺6.04～5.19m、面積25.67～16.19m²となっている。

③主軸方位 長辺の方向で北に近い方を主軸とする。南北を向くものが、1区6～11号の6棟、東西を向くものが1区2～5号の4棟で南北のものが多い。南北棟の長軸方向と東西棟の短軸方向を合わせて見ると、北から60°～73°東の間にすべてが収まり、建物の方向がほぼ同一であることを示している。

④柱穴 柱穴の平面形態は、円形・楕円形のものが多く、一部隅丸方形・隅丸長方形のものがある。しかしながら、整然と規格的に掘られてはおらず、両者の中間的なものや多角形に近いものもある。また、建物により柱穴の平面形態が分かれている訳ではなく、各建物内に混在している。隅丸方形・隅丸長方形のものは、1区2号P5・P8、1区3号P1・P5、1区4号P5、1区5号P5、1区6号P8、P2～4、1区8号P1・P5、1区10号P1等である。

断面形態は、底部が丸みを帯び皿状を呈するもの(A類)、底

第38表 中世以降・時期不明掘立柱建物一覧表

区	No.	位置(Gr)	重複	長辺 m	短辺 m	長辺/ 短辺	面積 m ²	主軸方位	ピット												備考							
									長径	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	P11		P12	最大	最小	平均			
1	2	590～597 -124～132		6.67	3.72	1.79	25.01	N-68° -W	長径	27	35	31	36	35	28	32	34					36	27	32				
									短径	21	30	27	30	28	24	28	30								30	21	27	
									深さ	33	39	43	31	27	16	29	25									43	16	30
1	3	587～592 -127～134	4・5・6 掘立	7.05	3.00	2.35	21.52	N-68° -W	長径	35	27	29	27	24	31	30	27	30					35	24	29			
									短径	27	23	23	21	21	29	28	22	24							29	21	24	
									深さ	29	21	26	34	20	13	20	20	19								34	13	22
1	4	587～594 -128～136	3・5～7 掘立	6.37	4.01	1.59	25.93	N-64° -W	長径	27	35	34	34	30	28	27	47	33					47	27	33			
									短径	24	26	27	24	29	23	19	40	27							40	19	27	
									深さ	22	20	21	24	40	20	19	31	41								41	19	26
1	5	588～595 -131～138	3・4・ 6～9掘立	5.35	3.67	1.46	19.80	N-62° -W	長径	39	24	33	25	28	38	35							39	24	32			
									短径	32	23	28	24	24	32	33									33	23	28	
									深さ	39	41	22	37	39	21	10										41	10	30
1	6	586～594 -131～139	3～5・ 7～9掘立	6.63	4.74	1.40	31.69	N-27° -E	長径	25	33	29	27	37	27	34	27							37	25	30		
									短径	18	23	23	23	33	24	31	25									33	18	25
									深さ	26	50	31	59	19	33	42	36									59	19	37
1	7	586～595 -133～140	4～6・8 ・9掘立	7.40	3.65	2.03	27.97	N-26° -E	長径	41	32	29	33	36	24	32	30							41	24	32		
									短径	39	31	27	30	30	22	24	28									39	22	29
									深さ	20	26	33	30	29	15	32	48									48	15	29
1	8	582～590 -133～140	5～7・9 掘立	6.68	3.39	1.97	23.85	N-30° -E	長径	34	25	35	41	47	42	38	18							47	18	35		
									短径	28	22	25	37	37	40	33	16									40	16	30
									深さ	13	38	36	63	51	59	28	20									63	13	39
1	9	583～591 -134～141	5～8 掘立	6.04	4.23	1.43	25.67	N-26° -E	長径	43	27	34	48	54	35	30	27	33	33	37				54	27	36		
									短径	30	25	30	40	44	(32)	28	25	(29)	26	32						44	25	31
									深さ	32	18	56	22	49	47	27	17	33	10	33						56	10	31
1	10	594～602 -146～155		6.85	4.08	1.68	28.22	N-24° -E	長径	34	32	43	59	28	47	26	34	36						59	26	38		
									短径	26	30	33	49	27	38	24	27	27								49	24	31
									深さ	17	28	25	32	41	34	36	35	21								41	17	30
1	11	596～604 -152～157		8.32	1.41	5.90	13.36	N-17° -E	長径	29	24	21	27	31	29	29	27	47	41	22	39			47	21	31		
									短径	27	15	—	23	26	20	26	—	44	30	—	24	44	15	26				
									深さ	23	12	12	25	52	40	28	44	58	70	53	58	70	12	40				

部が丸みを帯び立ち上がりが直線的なもの(B類)、底部が平坦で立ち上がりが直線的なもの(C類)等がある。平面形態同様、建物により断面形態が分かれている訳ではなく、各建物で混在している。A類は1区2号P 7・8、3号P 2・8、4号P 2・8、5号P 3、6号P 5、7号P 2・6、8号P 1、9号P 1、10号P 1～6、11号P 3で、B類は2号P 1～5、3号P 1・P 3～5・P 7、4号P 2・7・9、5号P 1・2・4・5、6号P 1～4・P 6～8、7号P 1・3～5・7・8、8号P 2～5・7・8、9号P 3・6・8、10号P 7～9、11号P 4～12で、C類は、2号P 6、3号P 6、4号P 1・3～5、5号P 7、8号P 5、9号P 4・5・7である。

柱穴の規模は、長径59～18cm、深さ70～10cmで、古墳～平安時代の建物よりも規模が小さく、建物間の差も小さい。柱痕または抜き取り痕のある柱穴は、確認できなかった。1

区3・4・5・7・9号の柱穴の一部からは礫が検出されている。礫は底面から出土しているものが多く、「礎石」として機能していた可能性を示しているが、3号が9基中P 4・7・8の3基、4号が9基中P 3～6の4基、5号が7基中P 7の1基、7号が8基中P 1～4の4基、9号が11基中P10の1基で、いずれも半数以下であり、礫出土柱穴の位置に規則性がみられないため、確実ではない。

柱間距離は、中間の柱穴が検出されないものを除くと、3.72m～1.10mとなっている。

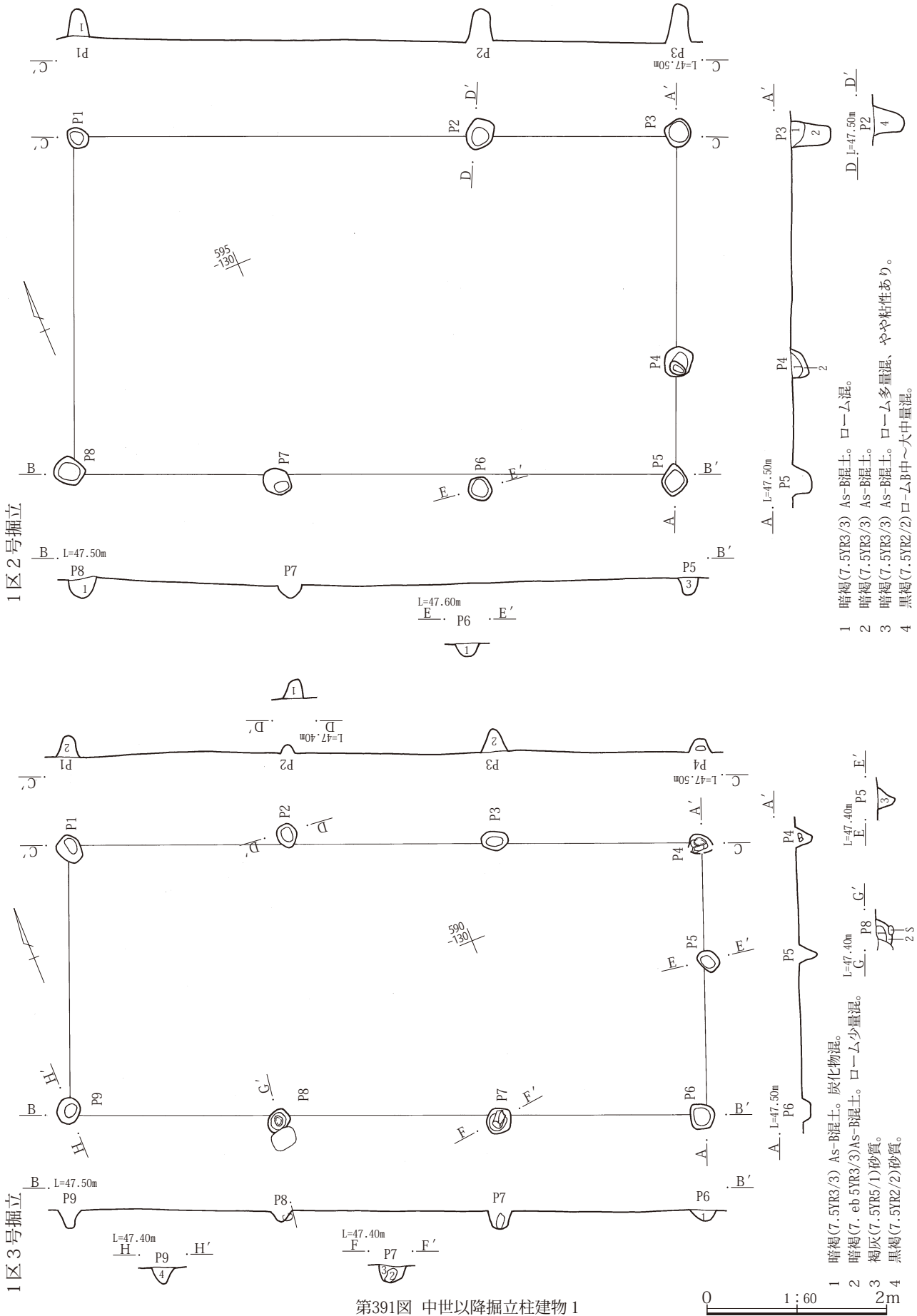
⑤時期 出土遺物が少ないため、詳細な時期は不明である。埋土中にAs-Bを含むものが多いため、As-B降下時を大きく下らない時期(中世か)の可能性が高い。また、主軸方位がほぼ同一のため、いずれも時期的に近接していると考えられる。

第39表 中世以降・時期不明掘立柱建物柱間距離表

区	No.	柱間	柱間距離 (m)															
			P1-P2	P2-P3	P3-P4	P4-P5	P5-P6	P6-P7	P7-P8	P8-P9	P9-P10	P10-P11	P11-P12	P12-P13	P13-P14	最大	最小	平均
1	2	2×3間側柱	4.45	2.20	2.55	1.30	2.16	2.26	2.30	P8-P1 3.70						4.45	1.30	2.62
1	3	2×3間側柱	2.44	2.30	2.28	1.31	1.70	2.25	2.46	2.30	P9-P1 2.94					2.94	1.31	2.22
1	4	2×3間側柱	1.77	2.25	2.30	4.14	2.21	2.23	2.00	1.45	P9-P1 2.57					4.14	1.45	2.32
1	5	1×3間	1.80	1.56	1.80	3.64	1.94	3.62	P7-P13 3.64						3.64	1.56	2.57	
1	6	2×3間側柱	2.30	2.10	2.08	2.57	2.18	4.30	2.52	P8-P1 4.80					4.80	2.08	2.86	
1	7	1×3間	2.50	2.50	2.48	3.82	2.42	2.46	2.38	P8-P1 3.60					3.82	2.38	2.77	
1	8	2×3間側柱	2.00	2.42	2.10	2.15	1.10	2.75	3.96	P8-P1 3.72					3.96	1.10	2.53	
1	9	2×3間総柱?	1.88	1.90	2.18	4.30	2.35	1.94	1.92	2.15	1.80	2.05	P9-P1 2.06		4.30	1.80	2.23	
1	10	2×3間側柱	1.75	2.38	2.88	1.92	2.10	2.55	2.46	1.70	P9-P1 4.10				4.10	1.70	2.43	
1	11	2×3間? 総柱?	1.70	1.74	1.78	1.70	1.68	1.60	1.74	1.52	3.85	1.70	1.58	P12-P8 1.75	P11-P3 1.56	3.85	1.52	1.84

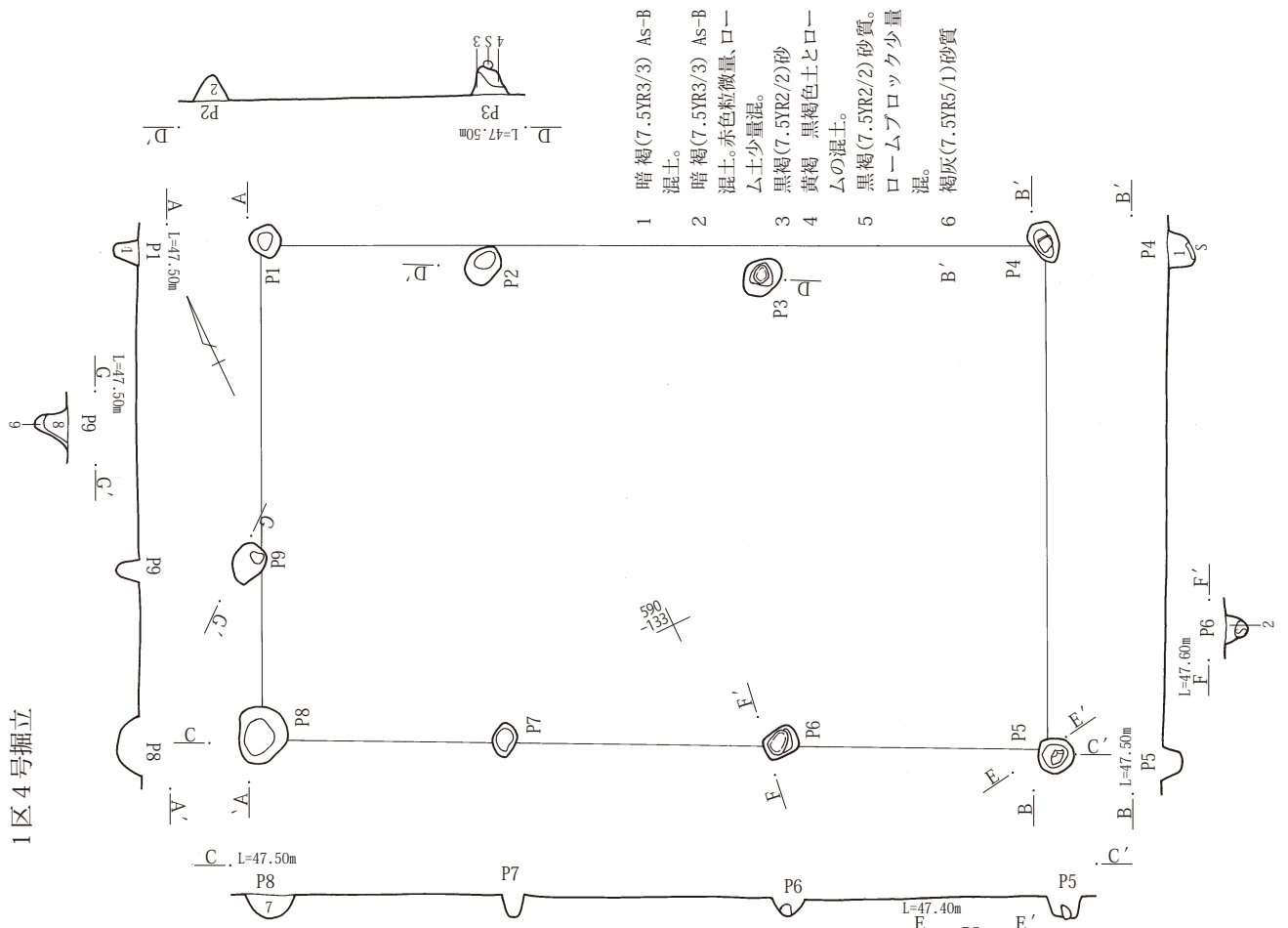
第40表 中世以降・時期不明掘立柱建物出土遺物数量表

区	No.	土師器			須恵器			計
		甕(g)	杯(g)	小計	甕(g)	杯(g)	小計	
5	1	200	40	240		10	10	250
5	2	100	20	120			0	120
5	3	720	110	830			0	830
5	4	30	30	60			0	60
5	5	60		60		20	20	80
6	2	60		60		2	2	62
6	3	50		50		2	2	52
6	4	60	20	80	10		10	90
6	5			0		3	3	3
6	6	80		80			0	80
	計	1360	220	1580	10	37	47	1627

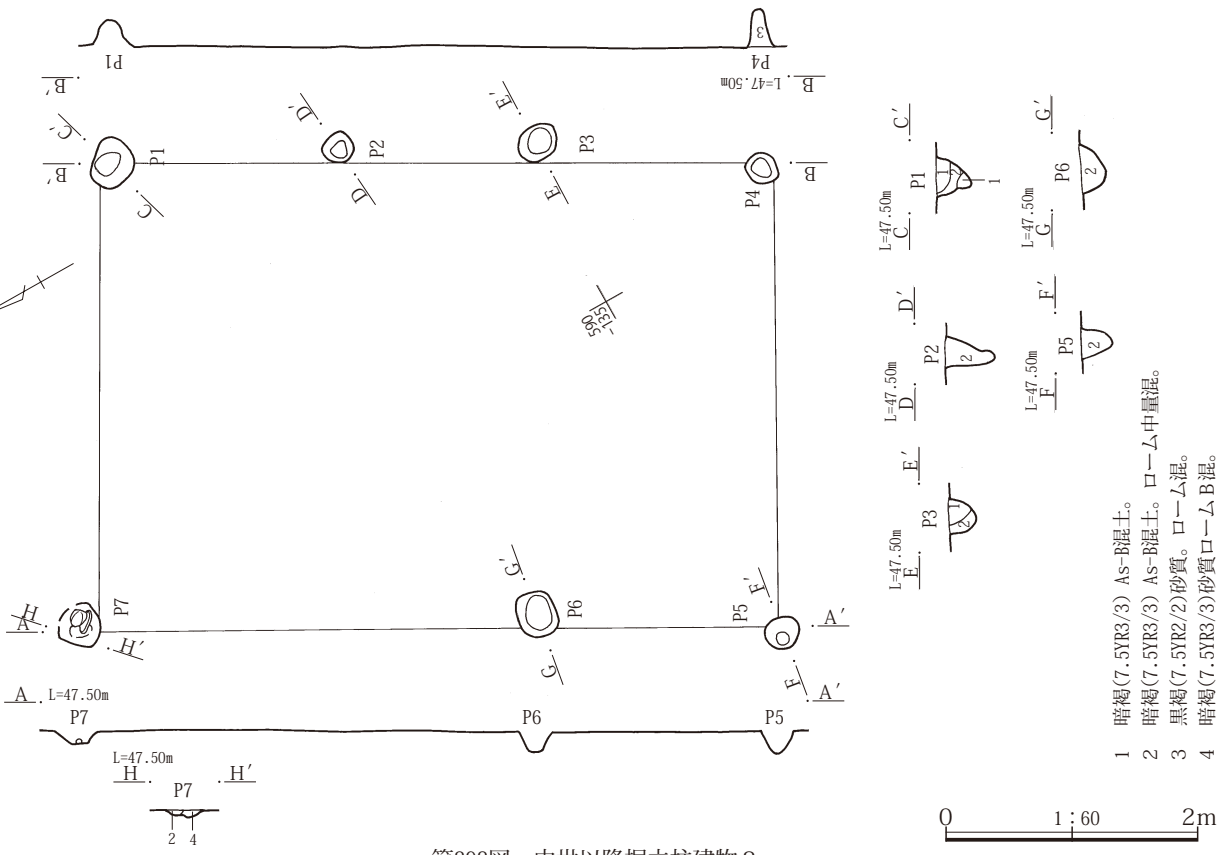


第391図 中世以降掘立柱建物1

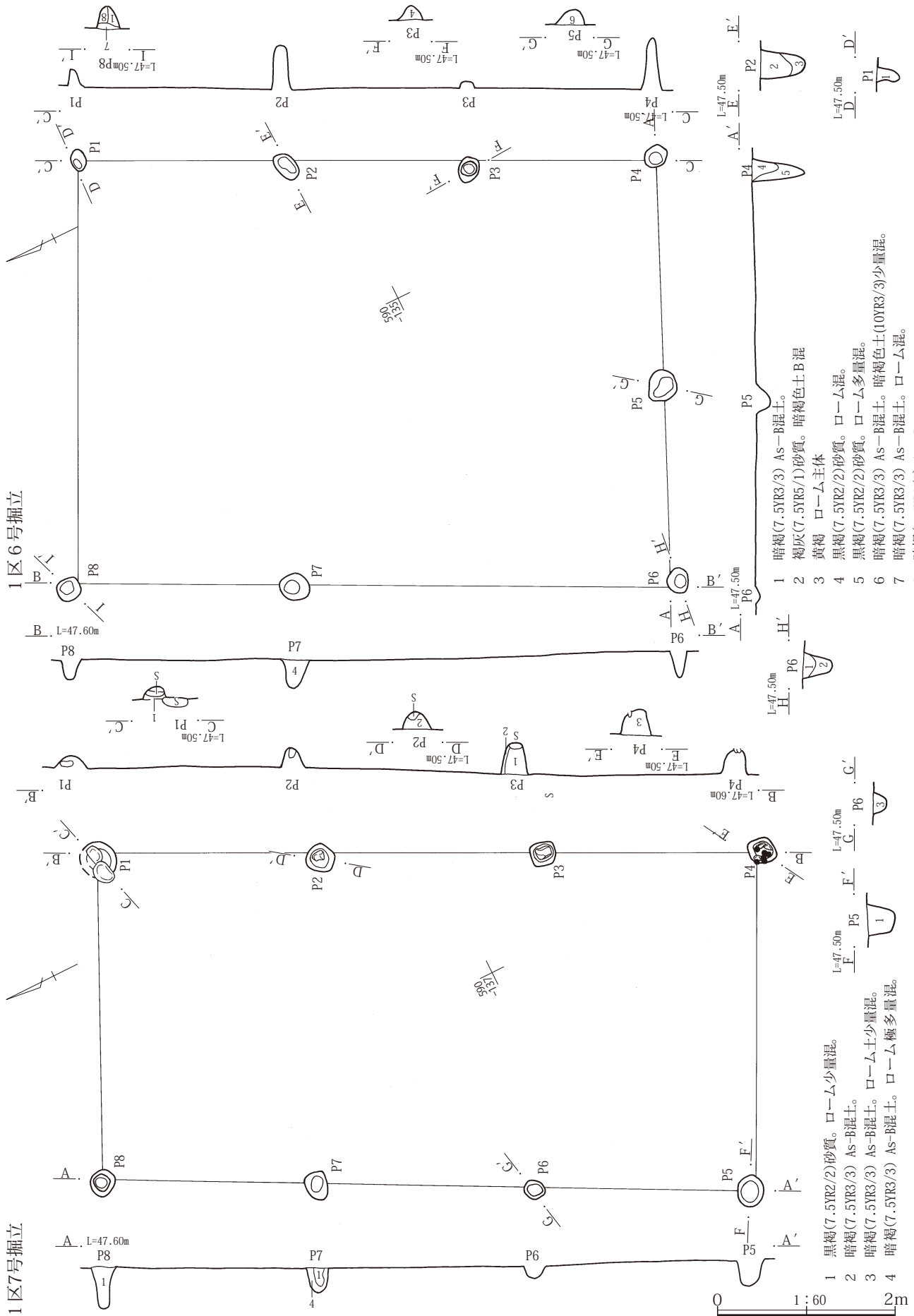
1区4号掘立



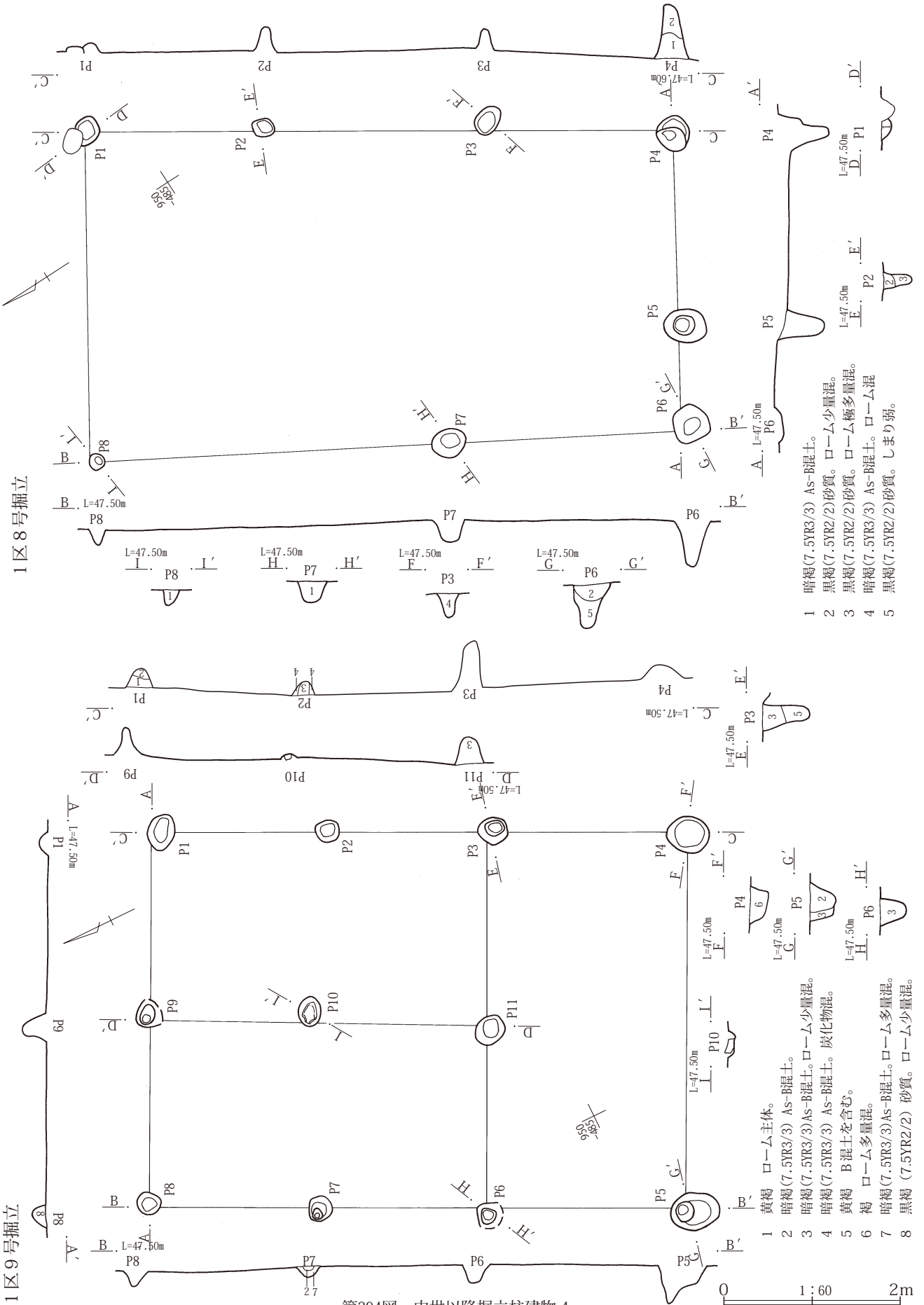
1区5号掘立



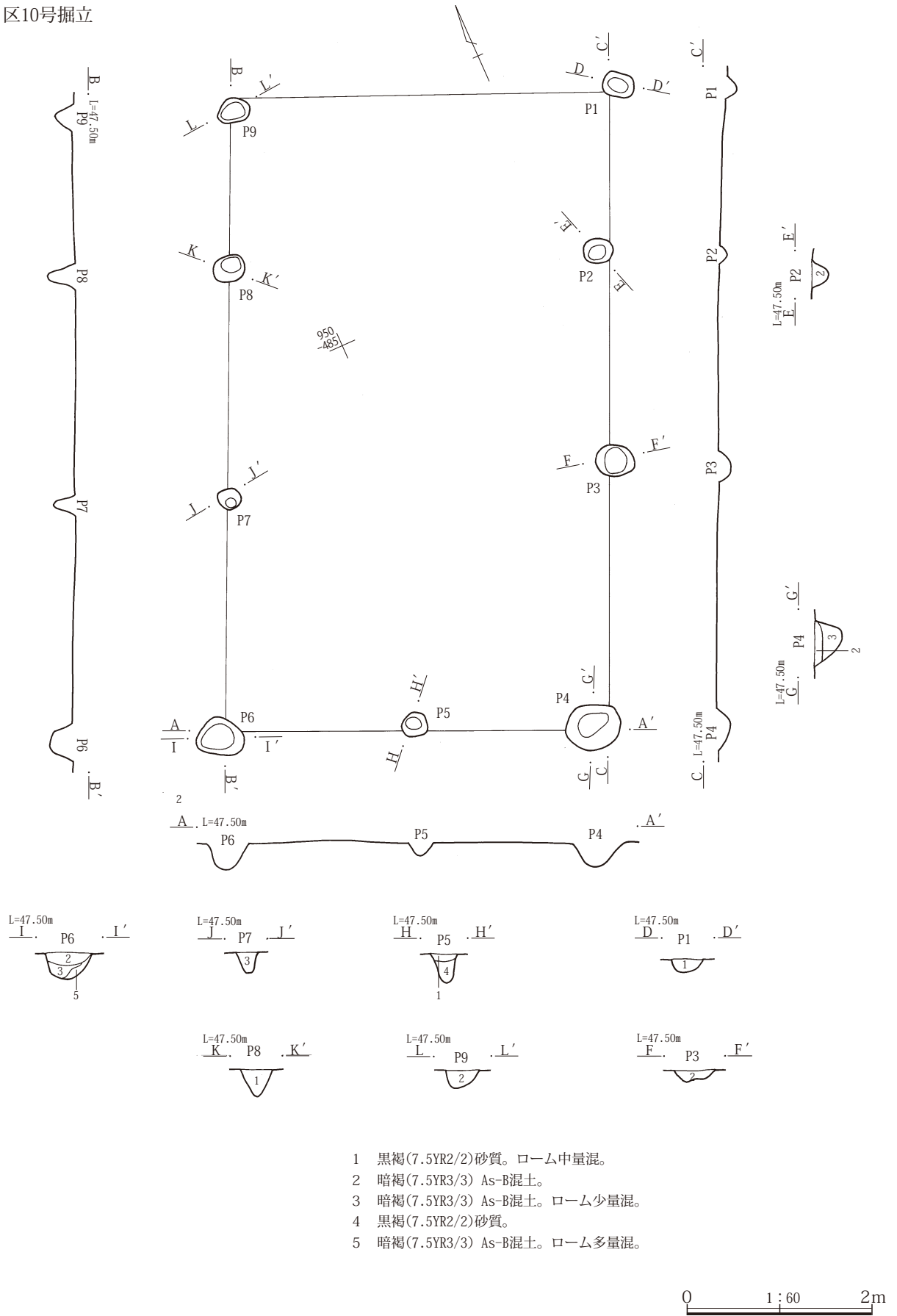
第392図 中世以降掘立柱建物2



第393図 中世以降掘立柱建物3



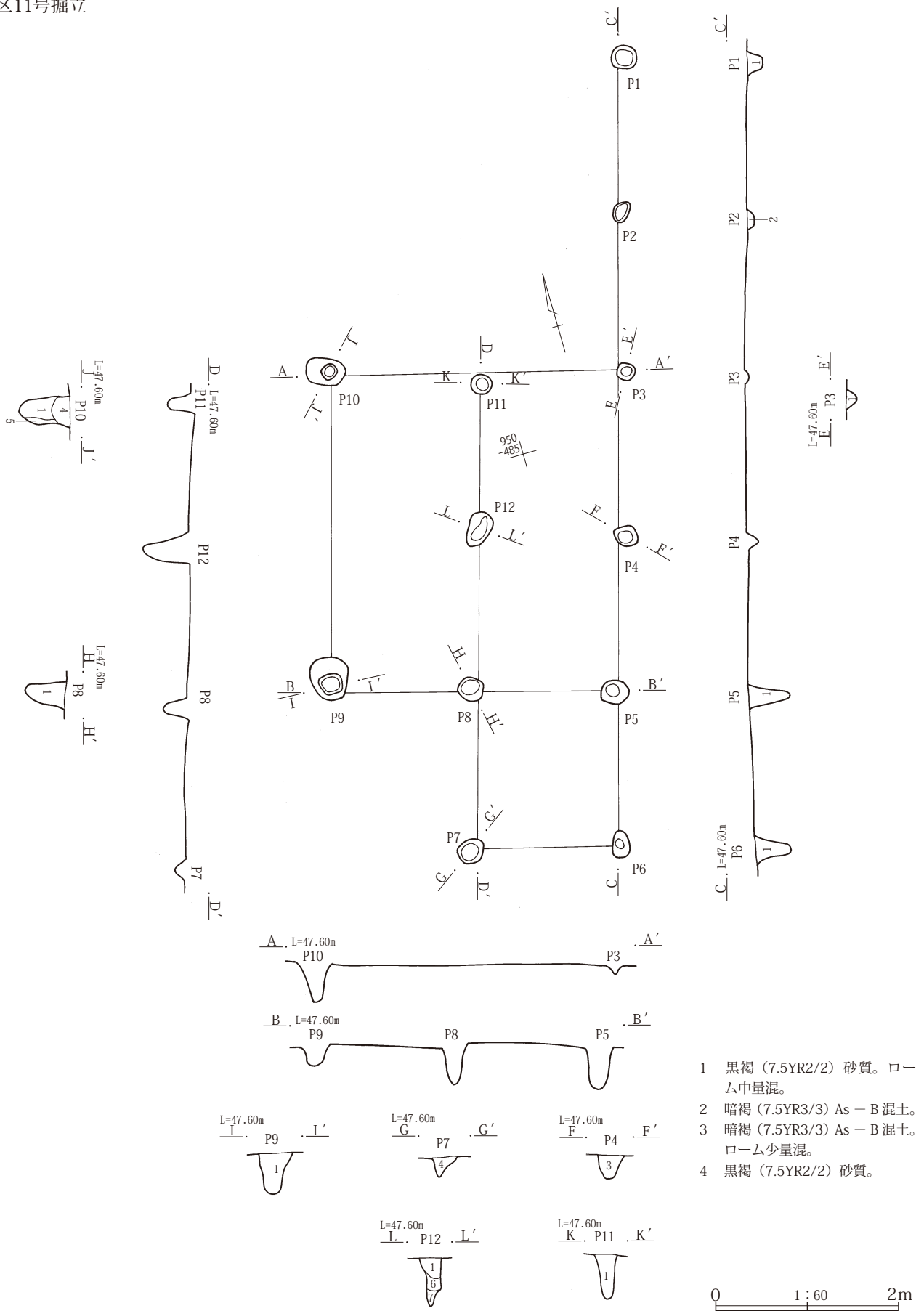
1区10号掘立



- 1 黒褐(7.5YR2/2)砂質。ローム中量混。
- 2 暗褐(7.5YR3/3) As-B混土。
- 3 暗褐(7.5YR3/3) As-B混土。ローム少量混。
- 4 黒褐(7.5YR2/2)砂質。
- 5 暗褐(7.5YR3/3) As-B混土。ローム多量混。

第395図 中世以降掘立柱建物 5

1区11号掘立



- 1 黒褐 (7.5YR2/2) 砂質。□—△中量混。
- 2 暗褐 (7.5YR3/3) As - B 混土。
- 3 暗褐 (7.5YR3/3) As - B 混土。□—△少量混。
- 4 黒褐 (7.5YR2/2) 砂質。

第396図 中世以降掘立柱建物6

(3) 溝 (第397～415図・PL.118～123)

溝は73条検出されている。

①**分布** 1区で29条、3区で9条、4区で1条、5区で5条、6区で28条、7区で1条検出されている。調査区南西部の1区と調査区北東部の6区に集中している。

②**規模** 現存の長さ72.75～1.33m、最大幅13.30～0.28m、最小幅2.20～0.15m、深さ218～1cmである。

規模により大きく3類に分けられる。1つは、幅が4m以上、深さ1m以上の大規模で蛇行しているもので(A類)、1区1溝、7区2溝が該当する。後述するように、流路か谷地の可能性が高い。もう1つは幅3～0.8m程度、深さ100～30cm程度で、現存する距離が長いもの(B類)。1区4・5・8～10・12～15・17・18溝、6区1溝等が該当し、後述する水路・区画溝と考えられる。さらにもう1つは、幅1m以下、深さ30cm以下の小規模なもので(C類)、1区11・23・28～31・33・34溝、3区14・28、5区5・9・14溝、6区4・5・27～49溝等が該当し、後述するように、畝の畝間等の可能性があるが、規模等で畝と断定できないものを溝として掲載している。他に1区35溝等の幅が広く浅いものや、1区25・26溝、3区29溝等の調査範囲が狭小のために判然としないものがある。

③**埋没土** 前記A類の溝は、1区1溝が灰褐色・青灰色砂層、7区2溝が暗褐色・褐灰色・黄褐色の砂層・シルト層の水性堆積層で埋没している。B類の溝は、1区4・5溝が灰褐・暗褐色砂層、1区10溝が灰褐・暗褐色砂層、6区1溝が黒褐・黄褐色砂層・シルト層といずれも水性堆積と考えられる層で埋没している。1区17・18溝は、上層に砂層、下層に粘質土・ローム土層が堆積する。他のB類の溝も、砂層が下層あるいは上層に堆積している。C類の溝は、As-B・ローム・洪水起源によるシルト質土等を混入するものが多く、耕作により攪乱された土が入っている可能性が高い。

④**断面形態** 前記B類は1区1・4・5・9・10・14・15等に見られるように、断面形が、底部が平坦で立ち上がり直線的な逆台形を呈するものが多い。6区1溝等の断面形が皿状を呈するものもあるが、少数である。前記のC類は削平が著しく断面形態がはっきりしないものが多いが、1区28～31溝等の皿状のもの、6区40～43溝等の逆台形のものがある。

⑤**走向・傾斜** 走向は、溝の走向方向で北に近い方とした。南北方向と東西方向および斜め方向を比べると、南北が22条で東西が19条、北東から南西が18条、北西から南東が12条で、南

北が最も多いが、最も少ない北西から南東とは10条しか変わらず、いずれの差も少なくなっている。

底面の傾斜は、標高差で59～2cm平均12cm、勾配でみると5.85～0.17%平均1.02%であり、矢部遺跡全体の地形は、北西から南西に向かい緩やかに傾斜している。溝の位置により微細な傾斜の違いはあるが、大きくみて地形の傾斜と同方向の傾斜のものは、1区5・8・11・12・35・3区23・6区1・46溝等35条、逆方向のものが6区48溝等17条、直角に近い方向のものが1区1・4・19・31・3区14・26・27・28・5区49・6区30・35・43溝等19条となっており、確認面と同方向のものが最も多いが、逆方向や直角に近い方向のものも同方向の半数前後とかなりある。

⑥**機能・時期** 古墳～平安時代同様、溝の機能として考えられるのは、水路および土地区画(またはその両方)が代表的なものであるが、古代の溝同様小規模なものや整然としていないものは、機能・性格の同定が難しい。

A類の1区1溝、7区2溝は、大規模で大きく蛇行しており、砂層・シルト層等の水性堆積層で埋没しているため、自然の流路もしくは谷地の可能性が高い。

B類の1区4溝および、南に続く9・14・15溝やそこから直角に延びる5・10・17溝は、規模が大きく、直線的で走向もほぼ同じであり、土地区画の溝の可能性が高いといえる。また、3区23・24溝も方形区画の溝の可能性が高い。埋没土は水性堆積層のものが多いが、水路でなくても水がたまっていた可能性はあるため、区画溝であることと矛盾するものではない。

1区29～34溝、6区27～30溝・33～37溝・38～43溝等の複数の溝が並行して走るものは、畝の耕作関係の遺構の可能性が考えられるが、溝間の距離が離れていることや、畝にしては距離が長いものもあるため、溝として扱った。埋没土もAs-B・ローム等の耕作により攪乱されたものである可能性が高い。

古墳～平安時代同様、時期の判明する溝は少なく、多くの溝は埋土の状況等からこの時期の溝としているが、1区4・8・10・12・14・15・17・22溝からは、中世陶器、在地系土器、龍泉系器青磁等が出土しているため、中世の溝と考えられる。

⑦**出土遺物** 出土遺物は少ない溝が多いが、図示できた残りのよい遺物が出土しているものをあげる。中世においては、1区4溝から龍泉窯系青磁碗・渥美陶器甕・常滑陶器甕・在地系土器片口鉢・内耳鍋・不明土製品(5001～5010)が、8溝から常滑陶器甕5012・5013)が、9溝から在地系土器すり鉢(5014)が、10溝から尾張陶器片口鉢・在地系土器片口鉢(5015～5017)が、12溝から在地系土器皿(5018)が、14溝から常滑陶器甕か壺・在

地系土器内耳鍋(5019・5020)が、15溝から龍泉窯系青磁碗・常滑陶器片口鉢・甕・製作地不詳土器? 瓶類(5021～5024)が、16溝から在地系土器焙烙(5025)が、17溝から尾張陶器片口・渥美陶器壺(5026・5027)が、18溝から在地系土器焙烙・皿・内耳鍋・すり鉢(5028～5033)が、22溝から在地系土器皿(5036)が、5区1溝から龍泉窯系青磁碗・中国白磁碗・瀬戸美濃磁器の湯飲み(5037～5039)が、2溝から渥美陶器の壺か甕(5039)が、7区15溝から美濃陶器鉄絵皿(5048)が出土している。近世に入ると考えられる7区2溝から、瀬戸美濃磁器の小杯・丸碗・製作地不明磁器の皿・肥前磁器碗・仏飯器・常滑陶器壺か甕・美濃陶器徳利(5040～5047)が出土している。近現代と考えられる1区5溝から十能瓦(5011)が、4区1溝から引掛棧瓦(5034)が出土している。

この他に、1区1溝から陶器5点・磁器5点・在地系土器皿類4点・在地系土器鍋鉢類5点計19点、4溝から陶器8点・磁器5点・在地系土器皿類1点・在地系土器鍋鉢類9点計23点、8溝から陶器2点、9溝から在地系土器鍋鉢類1点、10溝から磁器2点、在地系土器皿類2点、在地系土器鍋鉢類7点計11点、12溝から陶器1点、在地系土器皿類1点計2点、14溝から陶器1点・在地系土器鍋鉢類2点計3点、15溝から陶器4点磁器1点・在地系土器皿類1点・鍋鉢類2点計8点、16溝から在地系土器鍋鉢類1点、17溝から陶器2点、18溝から陶器3点・在地系土器皿類12点・在地系土器鍋鉢類9点計24点、21溝から在地系土器鍋鉢類1点、22溝から在地系土器皿類1点、4区1溝から在地系土器鍋鉢類5点が出土している。

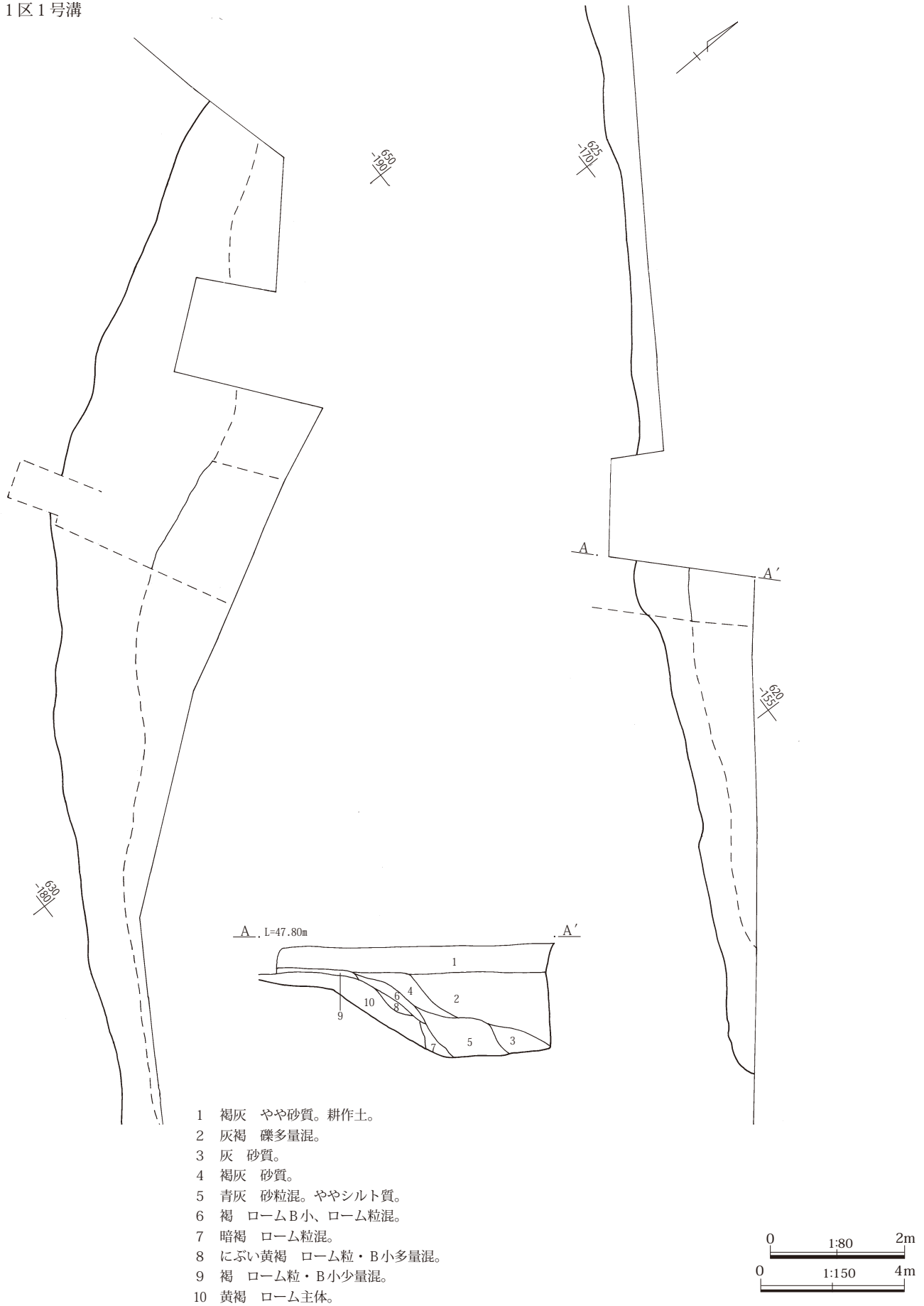
第41表 中世以降・時期不明溝一覧表

区	No.	位置(Gr)	重複	長さ m	最大幅 m	最小幅 m	深さ cm	底面標 高差cm	底面 勾配	底面傾斜 方向	確認面傾斜	走 向	備考
1	1	613～648-147～194		59.01	—	—	142	13	0.22%	北西～南東	南西～北東	N-61°-W	
1	4	581～628-218～228	304土坑、2・3・5・8・9・17溝	46.76	3.08	1.52	6	17	0.36%	北～南	西～東	N-12°-E	
1	5	594～601-228～254	247・274土坑、3・13溝	27.34	1.64	1.30	36	21	0.77%	西～東	南西～北東	N-76°-W	
1	8	578～586-176～227	157・218土坑、4・7溝	51.50	1.49	0.73	28	9	0.17%	西～東	西～東	N-80°-W	
1	9	555～584-229～235	304土坑、4・10・14溝	30.62	0.96	0.68	31	31	1.01%	南～北	南西～北東	N-10°-E	
1	10	579～587-229～270	9・13・21溝	40.72	2.02	0.71	56	12	0.29%	東～西	南西～北東	N-80°-W	
1	11	617～630-211～215	178土坑	17.85	1.22	0.49	15	10	0.56%	南～北	南～北	N-8°-E	
1	12	584～591-232～261	232・242・246・253・256土坑、35溝	29.48	1.38	0.38	24	35	1.19%	西～東	西～東	N-77°-W	
1	13	556～583-232～237	162土坑、5・17溝	44.49	0.97	0.43	25	17	0.38%	南～北	南西～北東	N-11°-E	
1	14	555～581-229～234	186土坑、4・9・10・15溝	26.62	1.24	0.77	2	12	0.45%	南～北	南西～北東	N-10°-E	
1	15	554～579-227～231	10・14溝	15.07	1.79	1.09	4	19	1.26%	南～北	南西～北東	N-9°-E	
1	16	554～564-227～231		10.03	2.31	1.78	17	2	0.20%	北～南	南西～北東	N-12°-E	
1	17	610～614-224～236	2・4・13・18溝	12.20	2.72	1.84	64	34	2.79%	西～東	南西～北東	N-79°-W	
1	18	608～618-230～234	17溝	10.08	1.58	1.14	53	7	0.69%	南～北	南西～北東	N-14°-E	
1	19	616～619-225～228	20溝	2.90	0.54	0.43	7	5	1.72%	南～北	北西～南東	N-2°-W	
1	20	614～618-223～250	19溝	4.15	1.07	0.50	19	4	0.96%	北～南	北西～南東	N-10°-E	
1	21	583～585-247～259	190土坑、10溝	12.23	0.79	48.00	12	10	0.82%	東～西	南西～北東	N-80°-E	
1	22	619・620-225～228		2.63	0.67	0.64	16	5	1.90%	西～東	北西～南東	N-89°-E	
1	23	603～605-238～246	287・288土坑、24溝	7.78	0.47	0.22	7	10	1.29%	西～東	南西～北東	N-75°-W	
1	25	564～567-277～278		3.45	0.70	0.54	1	6	1.74%	南～北	西～東	N-11°-E	
1	26	563～568-279～280		4.69	0.58	0.46	35	4	0.85%	南～北	西～東	N-10°-E	
1	28	588～591-199～206		7.10	0.56	0.36	17	18	2.54%	西～東	北西～南東	N-70°-W	
1	29	568～569-215～220		4.83	0.36	0.24	7	4	0.83%	西～東	西～東	N-77°-W	
1	30	568～571-209～219		11.14	0.58	0.32	22	13	1.17%	西～東	西～東	N-75°-W	
1	31	559～574-255～256	243・293・294土坑	15.35	1.09	0.30	11	9	0.59%	北～南	西～東	N-7°-E	
1	32	672～673-213～221		8.02	0.32	0.19	18	19	2.37%	西～東	西～東	N-81°-W	
1	33	566～567-217～220		2.82	0.30	0.23	7	3	1.06%	西～東	西～東	N-77°-W	
1	34	565-219～220		1.33	0.35	0.18	8	3	2.26%	西～東	西～東	N-87°-W	
1	35	591～593-247～263	315土坑	15.53	1.66	0.49	18	11	0.71%	西～東	西～東	N-83°-W	
3	14	733～748-059～062		14.55	1.15	0.69	11	8	0.55%	南～北	西～東	N-8°-W	
3	15	776・777-040～045		5.23	0.48	0.29	13	13	2.49%	東～西	東～西	N-85°-W	
3	23	729～739-998～009		17.62	2.01	0.87	72	10	0.57%	北東～南西	北東～南西	N-68°-W N-22°-E	

第Ⅲ章 検出された遺構と出土遺物

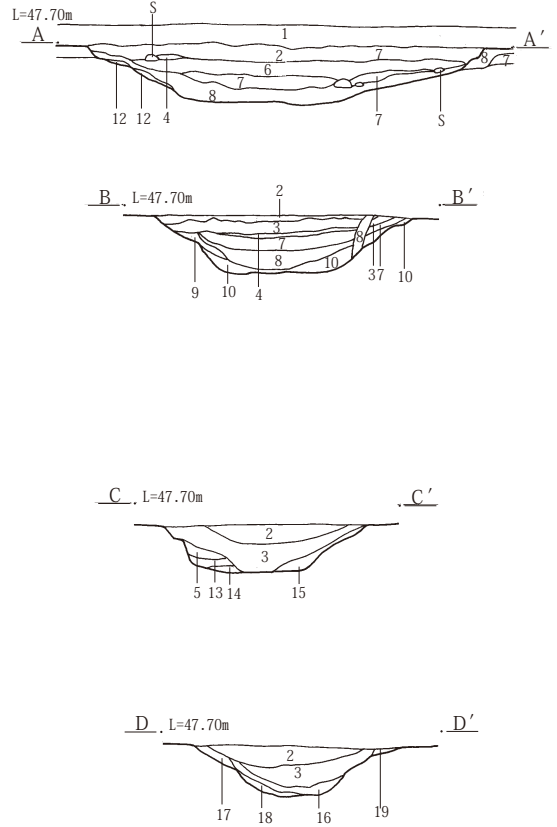
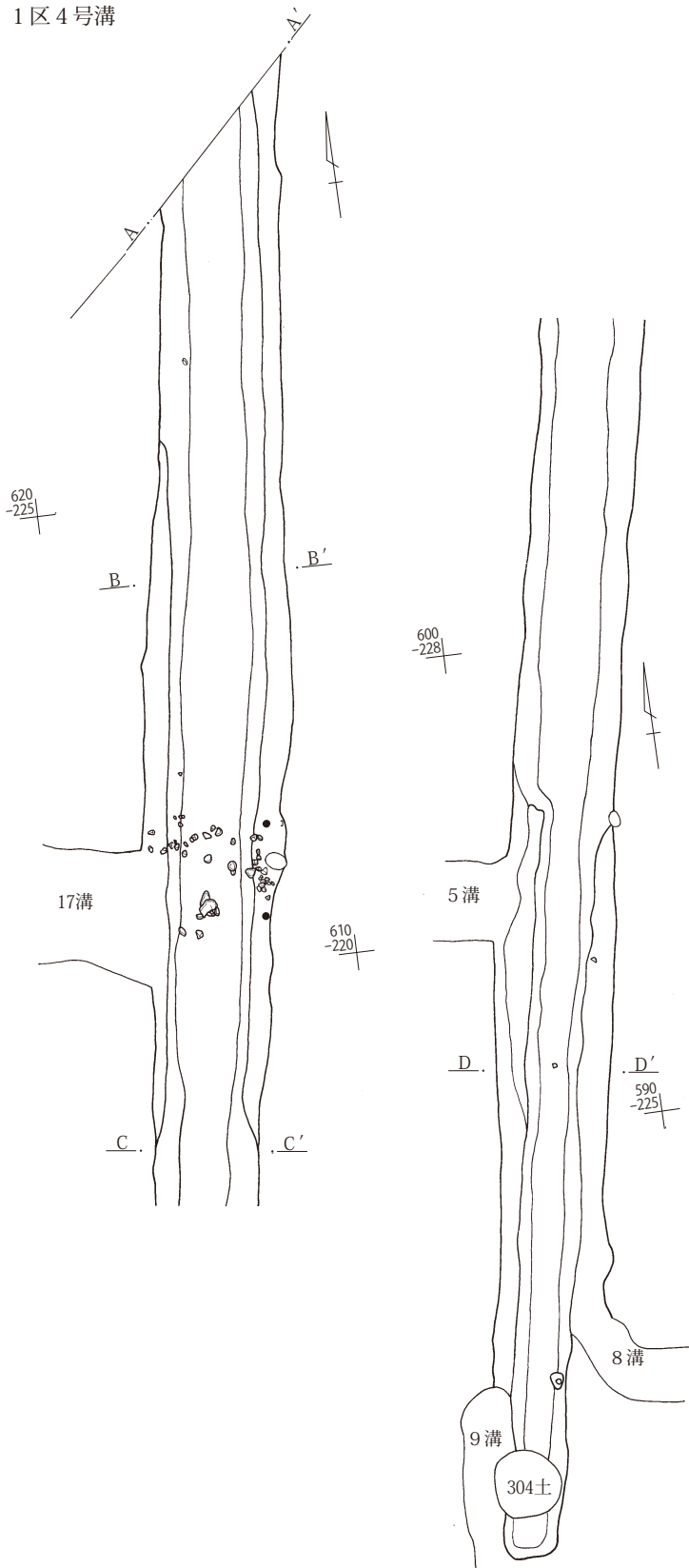
区	No.	位置(Gr)	重複	長さ m	最大幅 m	最小幅 m	深さ cm	底面標 高差cm	底面 勾配	底面傾斜 方向	確認面傾斜	走 向	備考
3	24	731-011～014		2.30	0.52	0.39	8	4	1.74%	西～東	南東～北西	N-87°-W	
3	25	810～816-020～028		9.78	0.60	0.42	10	9	0.92%	南西～北東	南西～北東	N-55°-E	
3	26	754～786-000～006	45土坑、27溝	72.75	1.76	0.38	24	29	0.40%	北東～南西	北西～南東	N-37°-E	
3	27	754～768-019～025	26溝	14.60	0.62	0.48	16	5	0.34%	北東～南西	北西～南東	N-22°-E	
3	28	759～771-016～022		12.78	0.74	0.34	15	10	0.78%	北東～南西	北西～南東	N-26°-E	
3	29	753～757-021～023		3.90	0.87	0.32	33	2	0.51%	南～北	西～東	N-42°-W N-16°-E	
4	1	836～855-960～971	49号遺構	19.60	(4.50)	(0.40)	56	54	2.76%	南東～北西	南西～北東	N-32°-W	
5	1	814～863-920～959	43遺構、2・3・4・5・10・49溝	59.80	8.70	2.20	83	—	—	—	—	N-24°-W N-52°-W N-22°-W	
5	2	800～868-924～967	8遺構・1・3・4・5溝	72.40	(13.30)	(2.10)	94	—	—	—	—	N-31°-W N-54°-W	
5	5	822～825-927～938	8遺構、1・2溝	11.30	0.82	0.67	2	11	0.97%	西～東	北東～南西	N-78°-W	
5	9	867～871-955～957		4.35	0.28	0.15	8	4	0.92%	北西～南東	北～南	N-38°-W	
5	49	841～858-942～947	63遺構、1溝	17.80	2.64	1.97	17	17	0.96%	北～南	東～西	N-20°-W N-1°-E	
6	1	888～934-839～883		69.43	1.93	0.58	25	32	0.46%	北西～南東	北～南	N-41°-W	
6	4	877・878-845・846	19ピット	1.71	0.62	0.19	15	10	5.85%	北～南	南西～北東	N-33°-W	
6	5	877～880-853・854		3.04	0.81	0.46	24	16	5.26%	北～南	南西～北東	N-12°-W	
6	6	899～906-836～896		59.48	1.93	1.03	6	26	0.44%	西～東	西～東	N-84°-W	
6	27	944～950-805～811	38溝より旧、44・45溝より新	7.89	0.66	0.37	8	4	0.51%	南西～北東	南西～北東	N-46°-E	
6	28	943～949-802～806	39溝より旧、44・45溝より新	7.72	0.58	0.41	7	2	0.26%	北東～南西	南西～北東	N-35°-E	
6	29	939～949-798～803	46溝より新	10.23	0.54	0.40	11	6	0.59%	北東～南西	南～北	N-26°-E	
6	30	937～947-796～800	41・46溝より新	10.47	0.56	0.37	11	5	0.48%	南西～北東	北西～南東	N-25°-E	
6	31	938～945-794・795		7.68	0.53	0.36	12	5	0.65%	北～南	北西～南東	N-9°-E	
6	32	937～944-792		6.42	0.53	0.33	20	8	1.25%	北～南	北西～南東	N-3°-E	
6	33	926～940-790～795	46溝より新、34溝より旧	14.73	0.58	0.23	4	4	0.27%	北東～南	北西～南東	N-19°-E	
6	34	923～940-789～795	33溝より新	17.48	0.67	0.21	5	7	0.40%	北東～南	北西～南東	N-18°-E	
6	35	920～942-787～795		22.33	0.72	0.25	9	7	0.31%	南西～北東	北西～南東	N-17°-E	
6	36	925～939-785～789	49溝より新	14.38	0.70	0.35	8	5	0.35%	南～北	北西～南東	N-15°-E	
6	37	925～937-782～786	49溝より新	13.17	0.88	0.46	11	5	0.38%	北～南	北西～南東	N-16°-E	
6	38	935～946-810～817	27・45・46溝より新	13.22	0.83	0.48	18	8	0.61%	南西～北東	東～西	N-31°-E	
6	39	933～944-806～812	28・45・46溝より新	12.98	0.68	0.45	18	13	1.00%	北東～南西	西～東	N-28°-E	
6	40	932～943-803～809	38土坑より旧、46溝より新	12.70	0.82	0.55	14	6	0.47%	北東～南西	西～東	N-29°-E	
6	41	930～941-799～805	30溝より旧、46・47・48溝より新	12.18	0.67	0.39	8	9	0.74%	北東～南西	北西～南東	N-26°-E	
6	42	929～939-796～802	46・48溝より新	11.75	0.79	0.41	5	7	0.60%	北東～南西	北西～南東	N-26°-E	
6	43	927～939-793～798	46・48溝より新	12.72	0.65	0.35	7	9	0.71%	北東～南西	北西～南東	N-24°-E	
6	44	945～948-803～807	27・28溝より旧	4.52	0.55	0.25	7	5	1.11%	北西～南東	北西～南東	N-56°-W	
6	45	942～946-805～812	27・28・38・39溝より旧	7.62	0.72	0.29	3	4	0.52%	南東～北西	北西～南東	N-64°-W	
6	46	935～944-792～812	29・30・33・38～43溝より旧	22.68	0.73	0.38	6	11	0.49%	北西～南東	北西～南東	N-65°-W	
6	47	936・937-799～801	41溝より旧	2.35	0.45	0.27	4	2	0.85%	南東～北西	北西～南東	N-69°-W	
6	48	934～938-794～805	39土坑、41～43溝より旧	11.94	0.48	0.34	4	5	0.42%	南東～北西	北西～南東	N-72°-W	
6	49	926・927-786～788	36・37溝より旧	2.92	0.65	0.36	7	4	1.37%	北西～南東	北西～南東	N-69°-W	
6	53	929～943-777～808		33.72	1.96	1.45	10	7	0.21%	北西～南東	北西～南東	N-67°-W	
7	2	969～003-729～789	5・12溝	67.95	[7.58]	[2.15]	218	59	0.87%	東～北西	南～北	N-67°-W	

1区1号溝

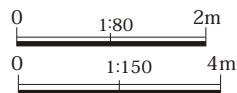


第397図 中世以降溝1

1区4号溝

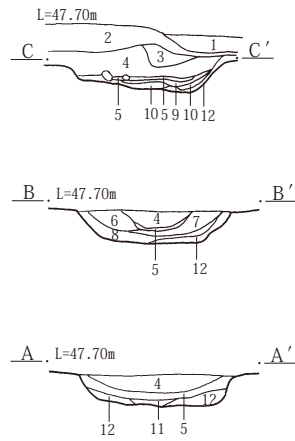
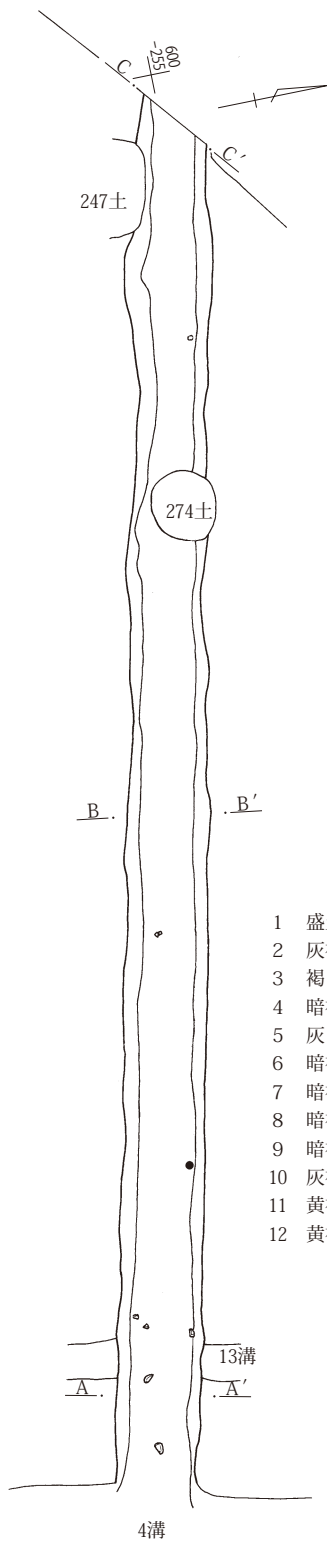


- 1 灰褐 耕作土
- 2 暗褐 As-B混土主体。灰褐色土混。
- 3 灰褐 砂質。
- 4 暗褐 As-B混土。
- 6 灰 粘質。砂質土混。
- 7 灰褐 粘質。
- 8 灰褐 砂質。砂利混粘性やや強。
- 9 暗褐 ロームB混。砂質。
- 10 暗褐 ローム、小礫、細砂混。
- 11 暗褐 白色粒子、ローム混。しまり弱。
- 12 黄褐 ローム主体(壁崩落土)
- 13 褐 小礫、粗砂、細砂がラミナ状に堆積。
- 14 黒褐 ローム混。粘性・しまり強。
- 15 黄褐 褐色土、砂質土、ロームB混。
- 16 黒褐 砂質。粘質土がラミナ状に堆積。
- 17 黒褐 灰色土B混。しまりやや強。
- 18 暗褐 砂礫混。
- 19 暗褐 小礫、地山B少量混。やや砂質。
- 20 灰褐 灰色土混。
- 21 灰褐 ローム混。
- 22 暗褐 As-B混土。



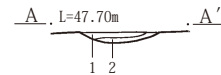
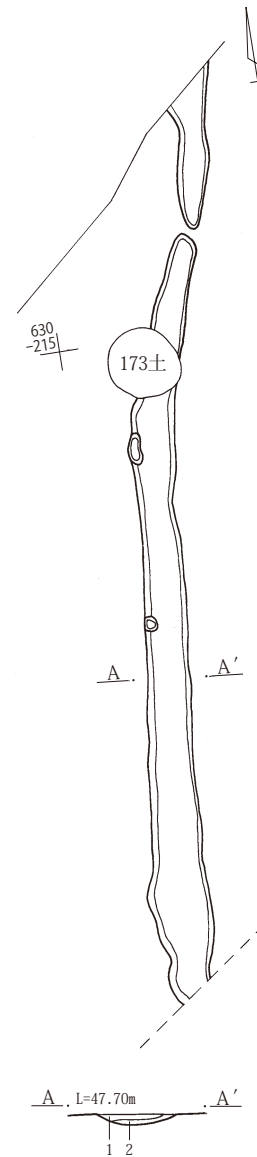
第398図 中世以降溝 2

1区5号溝



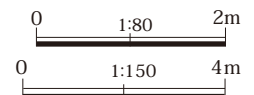
- 1 盛土
- 2 灰褐 砂質。
- 3 褐 口一ム多量混。砂質。
- 4 暗褐 As-B混土。砂質。
- 5 灰 粘質。
- 6 暗褐 As-B混土。口一ム粒多量混。
- 7 暗褐 As-B混土。砂粒混。
- 8 暗褐 As-B混土。砂粒、小礫混。砂質。
- 9 暗褐 砂層。
- 10 灰褐 粘質。砂粒多量混。
- 11 黄褐 砂層。
- 12 黄褐 口一ム主体。砂粒多量混。

1区11号溝



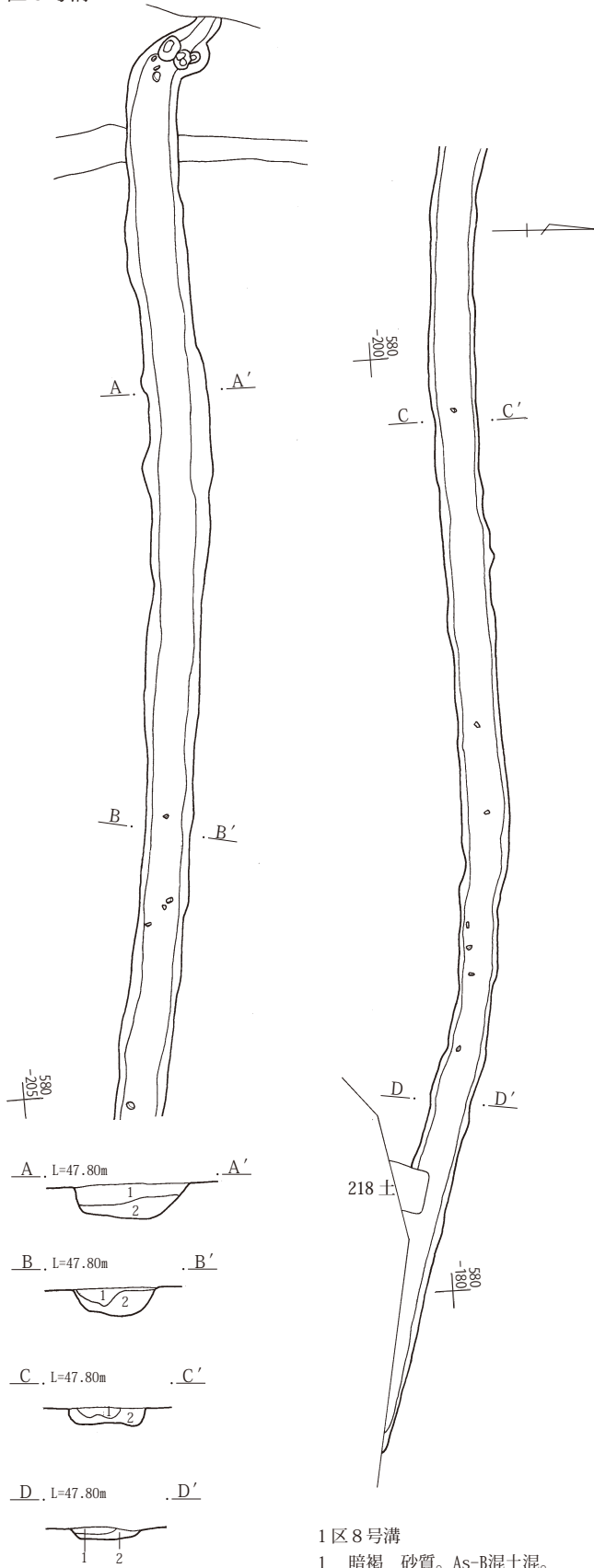
1区11号溝

- 1 灰褐 砂質。
- 2 暗褐 砂質。As-B混土、口一ム、黑褐色土混土。



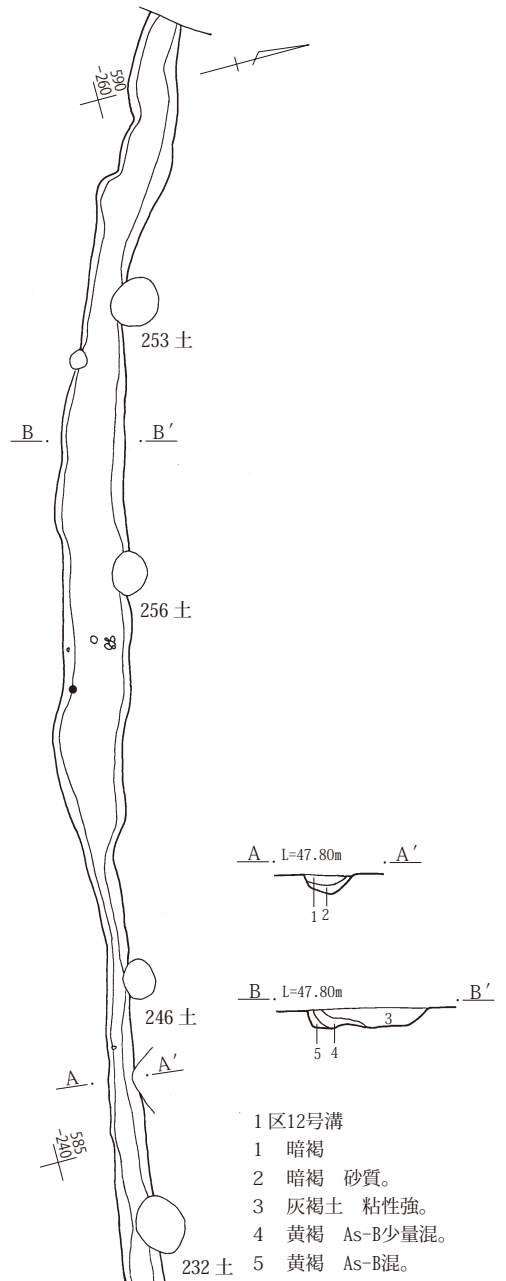
第399図 中世以降溝3

1区8号溝

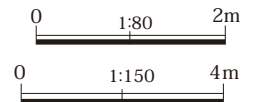


1区8号溝
 1 暗褐色 砂質。As-B混土混。
 2 灰 砂礫層ラミナ状帯堆積。

1区12号溝

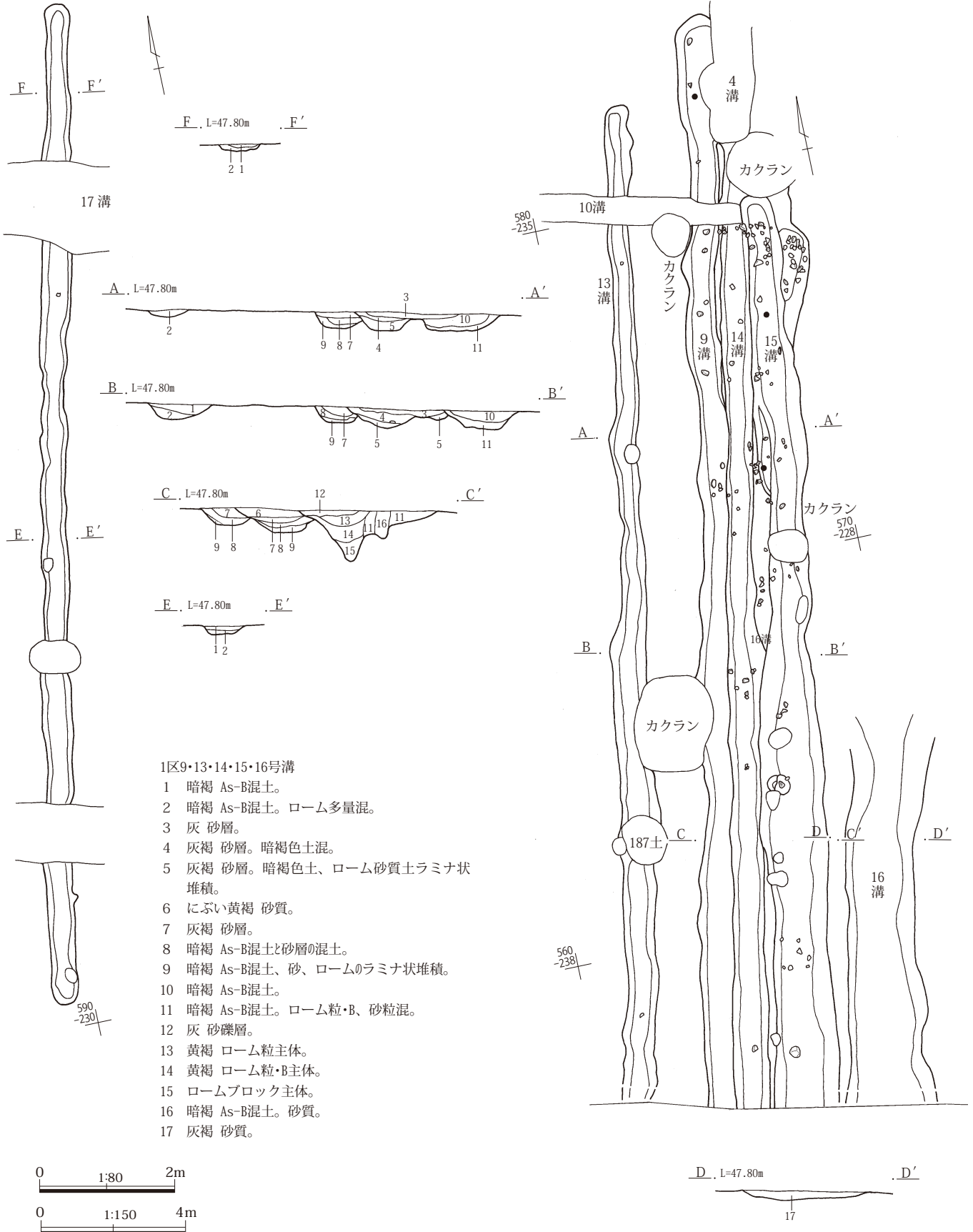


1区12号溝
 1 暗褐色
 2 暗褐色 砂質。
 3 灰褐色 粘性強。
 4 黄褐色 As-B少量混。
 5 黄褐色 As-B混。



第400図 中世以降溝4

1区9・13・14・15号溝

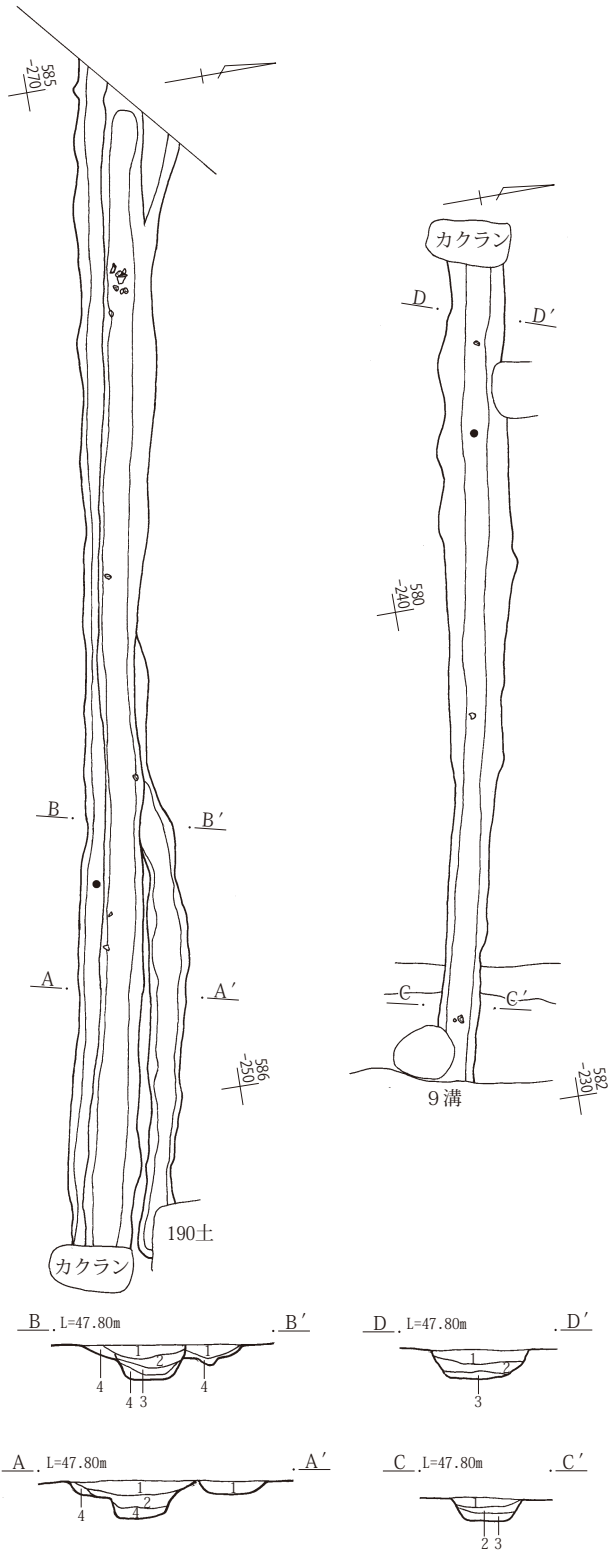


1区9・13・14・15・16号溝

- 1 暗褐色 As-B混土。
- 2 暗褐色 As-B混土。ローム多量混。
- 3 灰 砂層。
- 4 灰褐色 砂層。暗褐色土混。
- 5 灰褐色 砂層。暗褐色土、ローム砂質土ラミナ状堆積。
- 6 にぶい黄褐色 砂質。
- 7 灰褐色 砂層。
- 8 暗褐色 As-B混土と砂層の混土。
- 9 暗褐色 As-B混土、砂、ロームのラミナ状堆積。
- 10 暗褐色 As-B混土。
- 11 暗褐色 As-B混土。ローム粒・B、砂粒混。
- 12 灰 砂礫層。
- 13 黄褐色 ローム粒主体。
- 14 黄褐色 ローム粒・B主体。
- 15 ロームブロック主体。
- 16 暗褐色 As-B混土。砂質。
- 17 灰褐色 砂質。

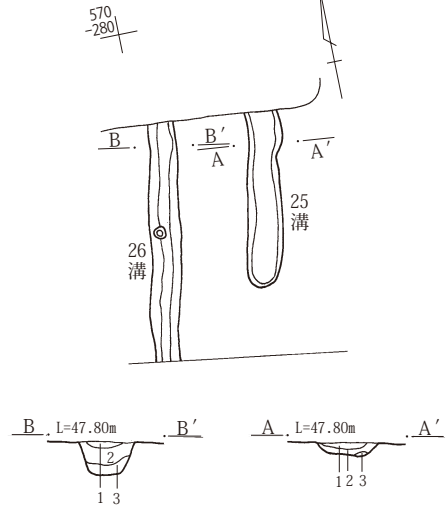
第401図 中世以降溝 5

1区10号溝



- 1 灰褐 砂礫混。
- 2 暗褐 砂粒多量混。
- 3 暗褐 粘性ややあり。しまり強。
- 4 灰褐 砂質。しまり強。
- 5 暗褐 砂質。酸化鉄分混。しまり強。

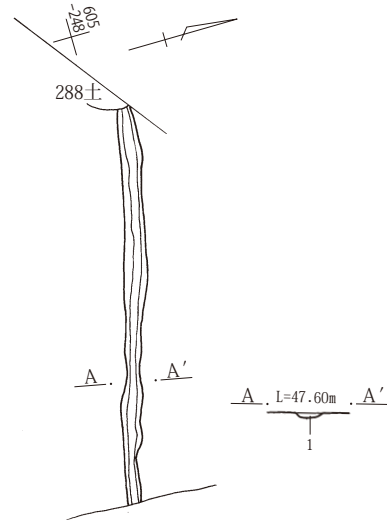
1区25・26溝



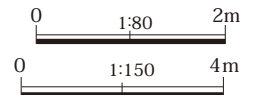
1区25・26号溝

- 1 暗褐 白色粒子混。砂質。
- 2 暗褐 黒褐色土B、ローム粒混。
- 3 黒褐 粘質。

1区23溝

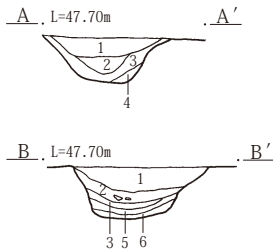
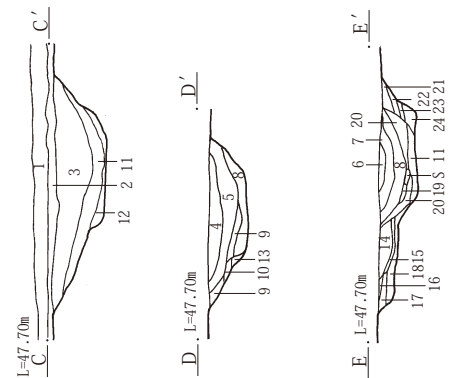
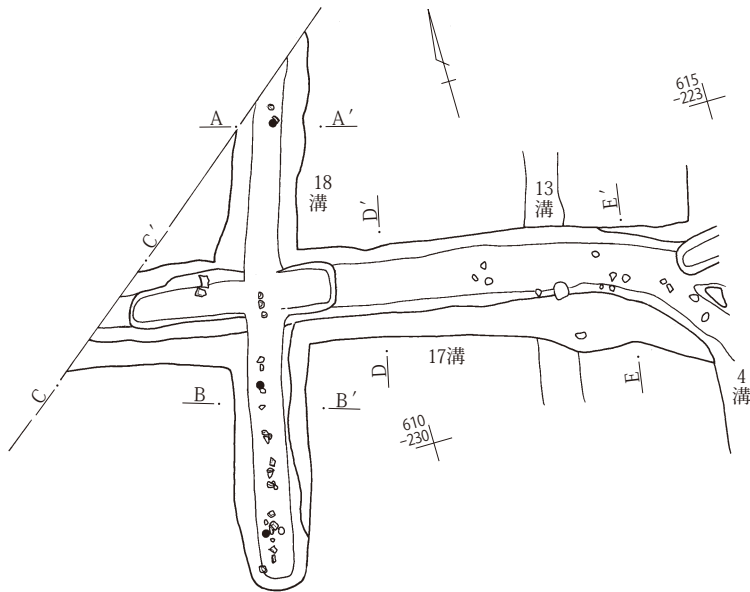


- 1 にぶい黄褐 ローム主体。暗褐色土混。



第402図 中世以降溝6

1区17・18溝



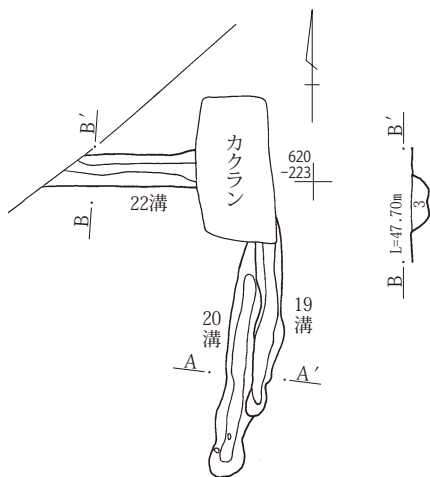
1区18号溝

- 1 暗褐 白色粒子、ローム粒、炭化物少量混。砂質。
- 2 暗褐 白色粒子、ローム粒、炭化物、小礫少量混。砂質。
- 3 暗褐 ローム粒・B中量、粘性やや強。
- 4 にぶい黄褐 ローム多量混。壁崩落土か。
- 5 暗褐 ローム粒・B中少量混。
- 6 暗褐 ローム粒・B中量混。砂質。

1区17号溝

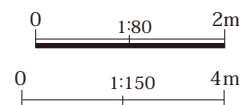
- 1 黄褐 粘質ローム主体。
- 2 灰褐 やや砂質。
- 3 暗褐 As-B混土。ローム粒、白色粒子混。砂質。
- 4 暗褐 ローム粒中量混。砂質。
- 5 暗褐 ローム粒、灰色砂粒混。
- 6 灰褐 ロームB混。
- 7 灰褐 ロームB混。砂質。
- 8 灰褐 ローム粒・B、暗褐色粒子混。
- 9 灰褐 ローム多量混。
- 10 灰褐 砂粒多量混。
- 11 灰 粘質。
- 12 灰褐 ローム、砂粒、灰色粘質土混。
- 13 灰 砂層。
- 14 黄褐 ローム主体。灰褐色土混。
- 15 灰 細砂混。
- 16 灰 微砂混。
- 17 灰褐 黒褐色土混。しまり強。
- 18 黒褐 白色粒子混。しまり極強。
- 19 灰 粘質。
- 20 灰 粘質。ロームB中混。
- 21 灰褐 ローム粒混。
- 22 暗褐 砂質。
- 23 灰 粘質。
- 24 黄褐 ローム主体。砂粒、灰色土混。砂質。

1区19・20・22溝



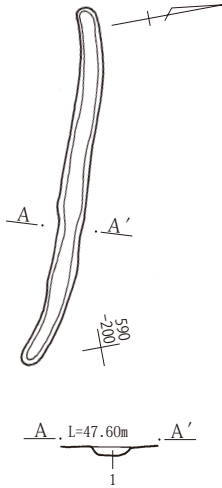
1区19・20・22号溝

- 1 暗褐 白色粒子、ローム粒少量混。粘性強。19溝
- 2 黒褐 ローム粒・B混。しまり弱。20溝
- 3 As-B混土。22溝



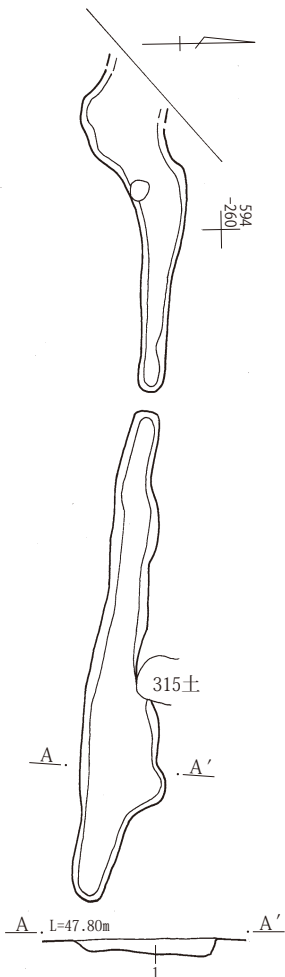
第403図 中世以降溝7

1区28溝



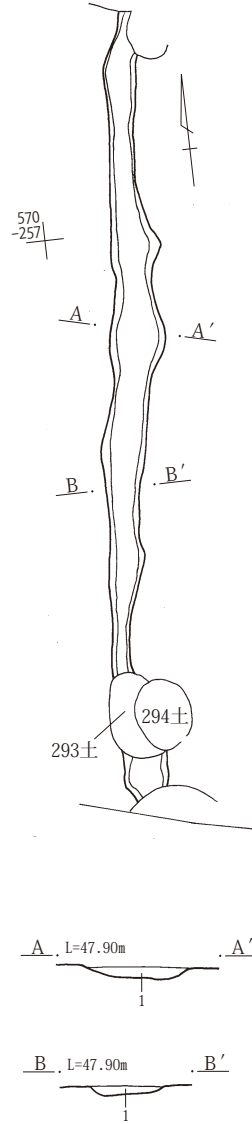
1 暗褐 白色粒子、ローム粒混。
As-B混。

1区35溝



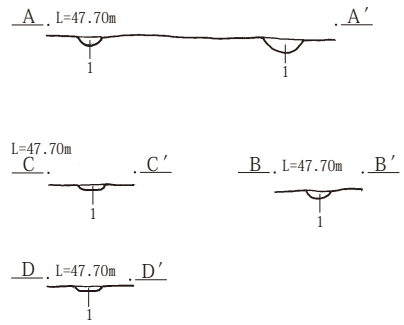
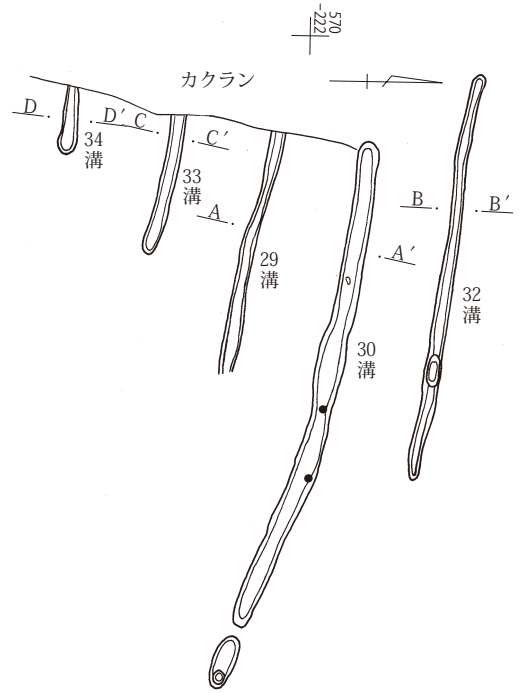
1区35号溝
1 黄褐 暗褐色土微量混。

1区31溝

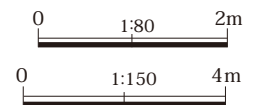


1区31号溝 SPA-A'、SPB-B'
1 暗褐 白色粒子少量混。砂質。

1区29・30・32・33・34溝

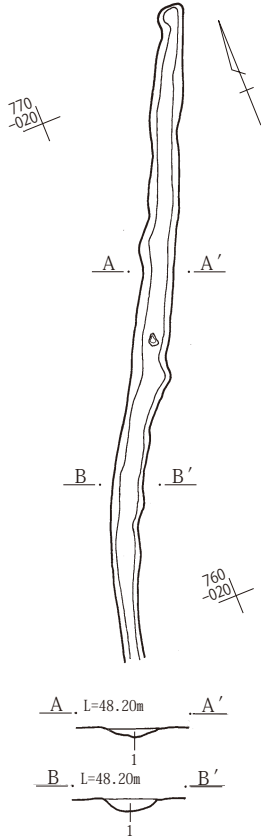


1区29・30・32・33・34号溝
1 暗褐 白色粒子、ローム粒少量混。



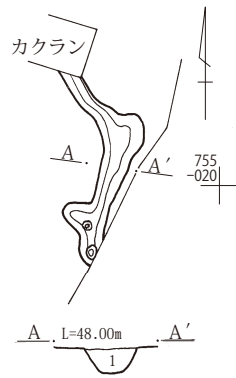
第404図 中世以降溝8

3区28溝



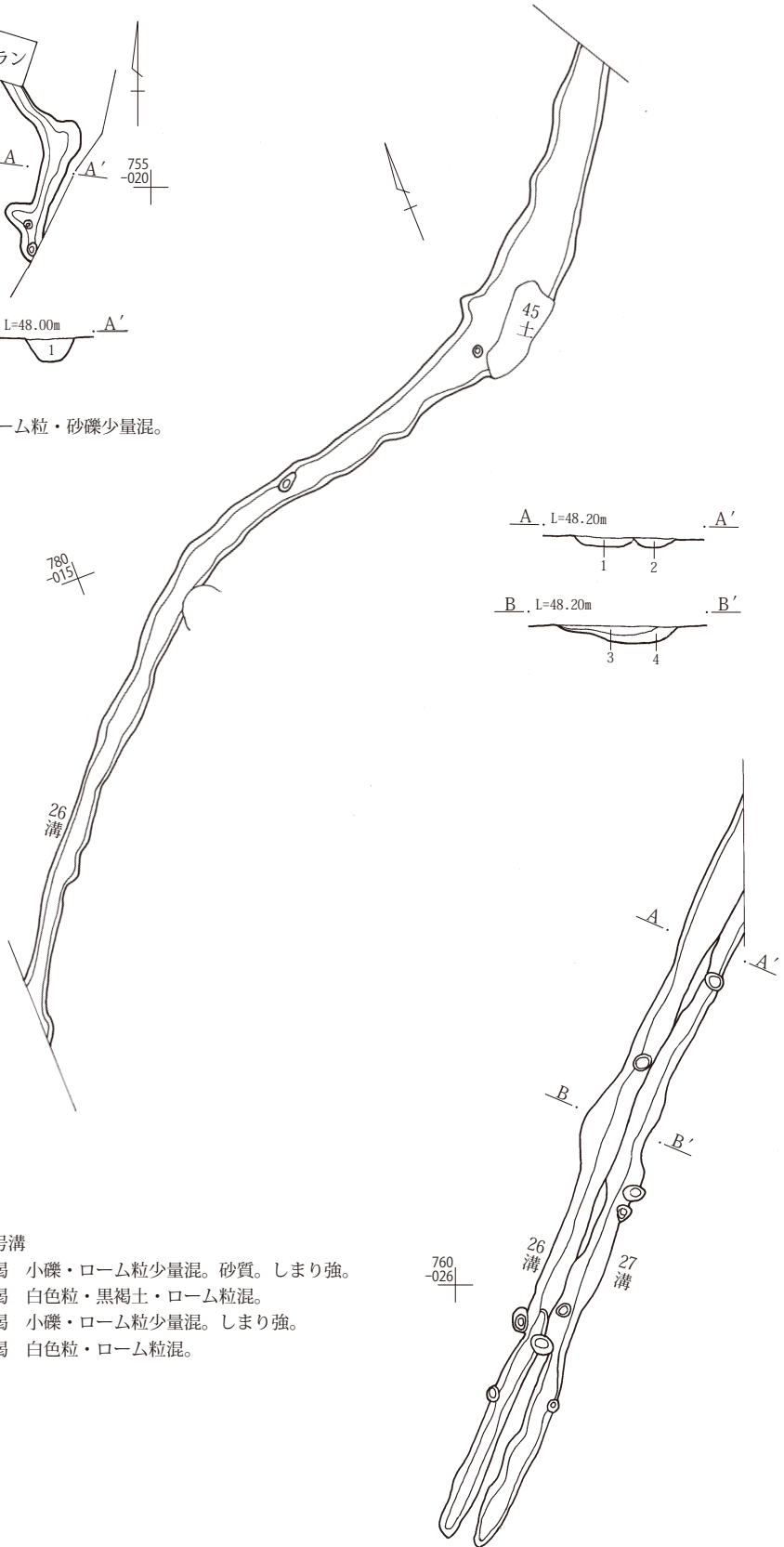
1 褐 ロームB多量混。砂質。

3区29溝



3区29号溝
1 黒褐 ローム粒・砂礫少量混。砂質。

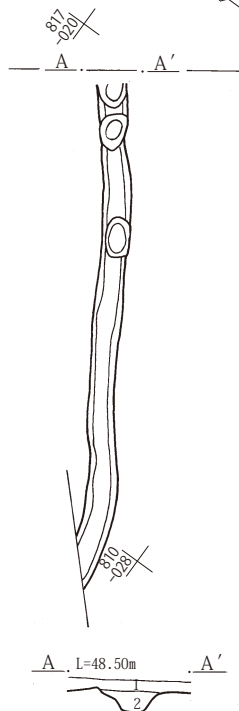
3区26・27溝



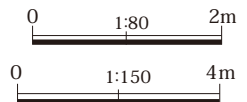
3区27号溝

- 1 黒褐 小礫・ローム粒少量混。砂質。しまり強。
- 2 暗褐 白色粒・黒褐土・ローム粒混。
- 3 黒褐 小礫・ローム粒少量混。しまり強。
- 4 黒褐 白色粒・ローム粒混。

3区25溝

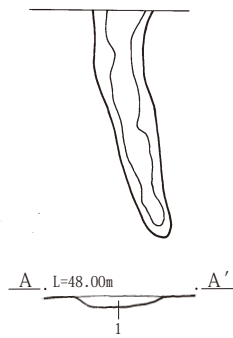
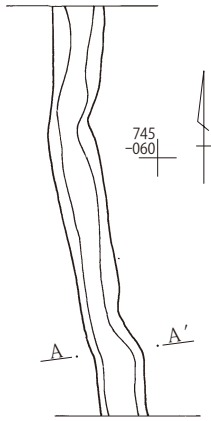


- 1 褐灰 水田耕作土。下部鉄分痕。
- 2 灰褐 炭化物・粘質土B少量混。



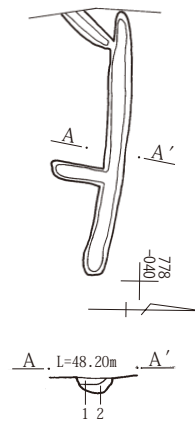
第405図 中世以降溝9

3区14溝



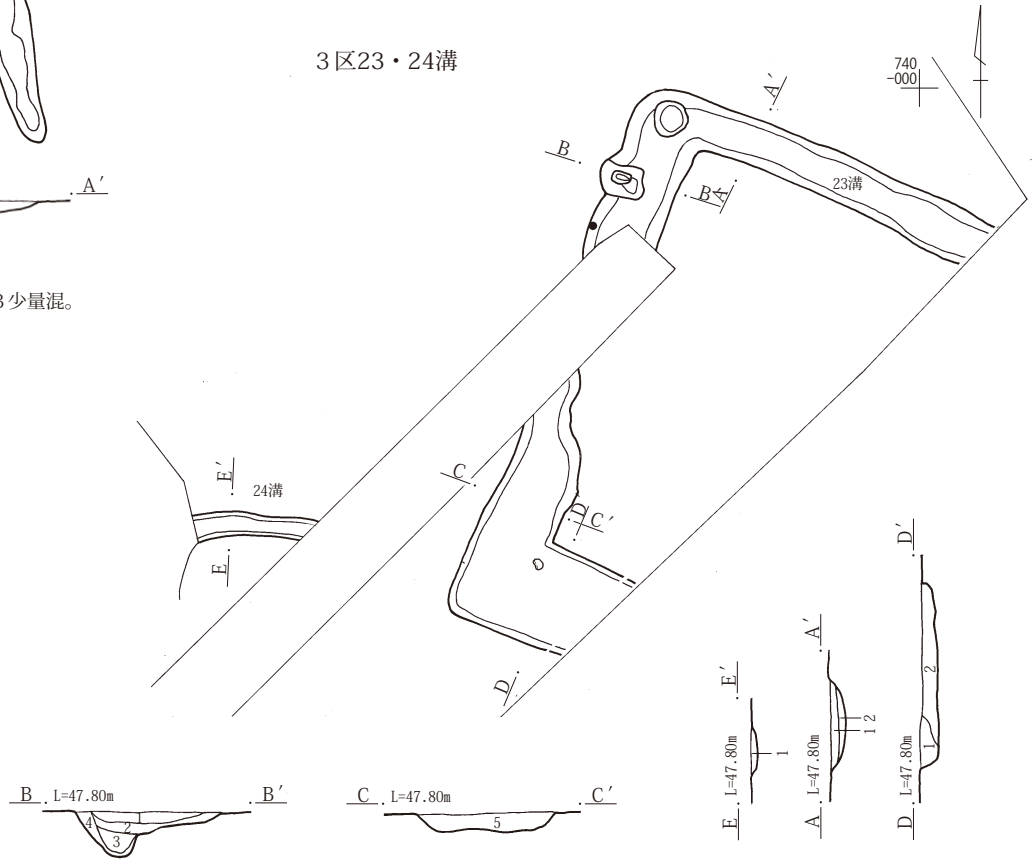
1 暗褐 As-B少量混。

3区15溝



1 暗褐 As-B少量混。
2 黒褐 Hr-FA混。

3区23・24溝

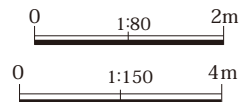


3区23号溝

1 灰褐 白色粒・黒褐色B・砂質ローム混。
2 褐 小礫・砂利混。
3 暗褐 砂利混。
4 褐 ローム・砂利混。砂質。
5 暗褐 ロームB少量混。

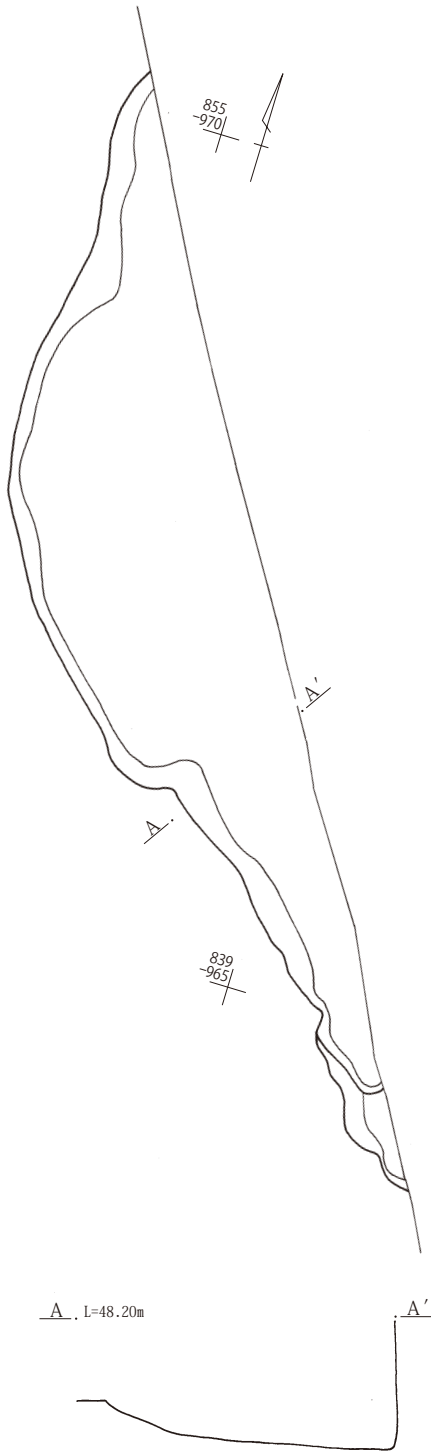
3区24号溝

1. 褐灰 炭化物少量混。しまり強。

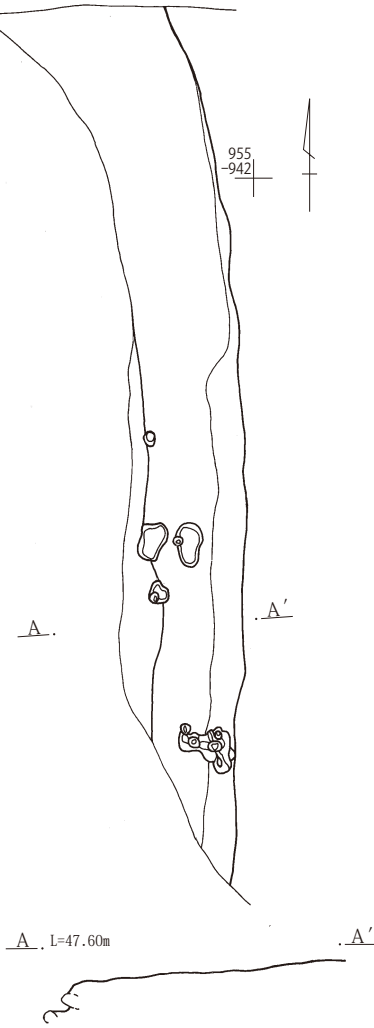


第406図 中世以降溝10

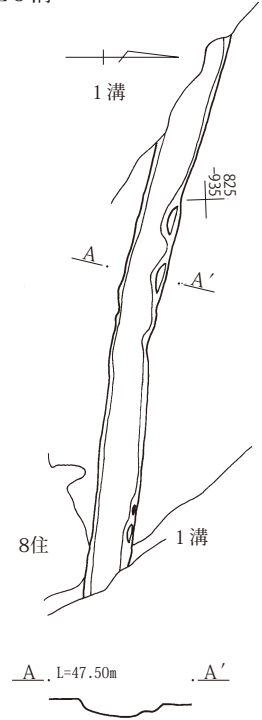
4区1溝



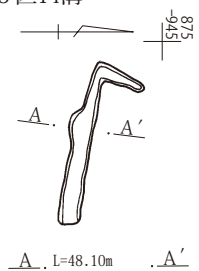
5区49溝



5区5溝

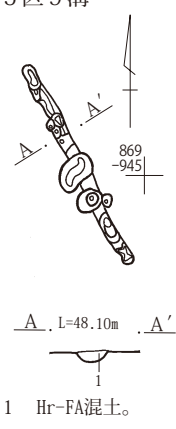


5区14溝

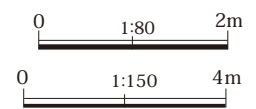


1 灰黄(2.5YR7/2)粘質土層。

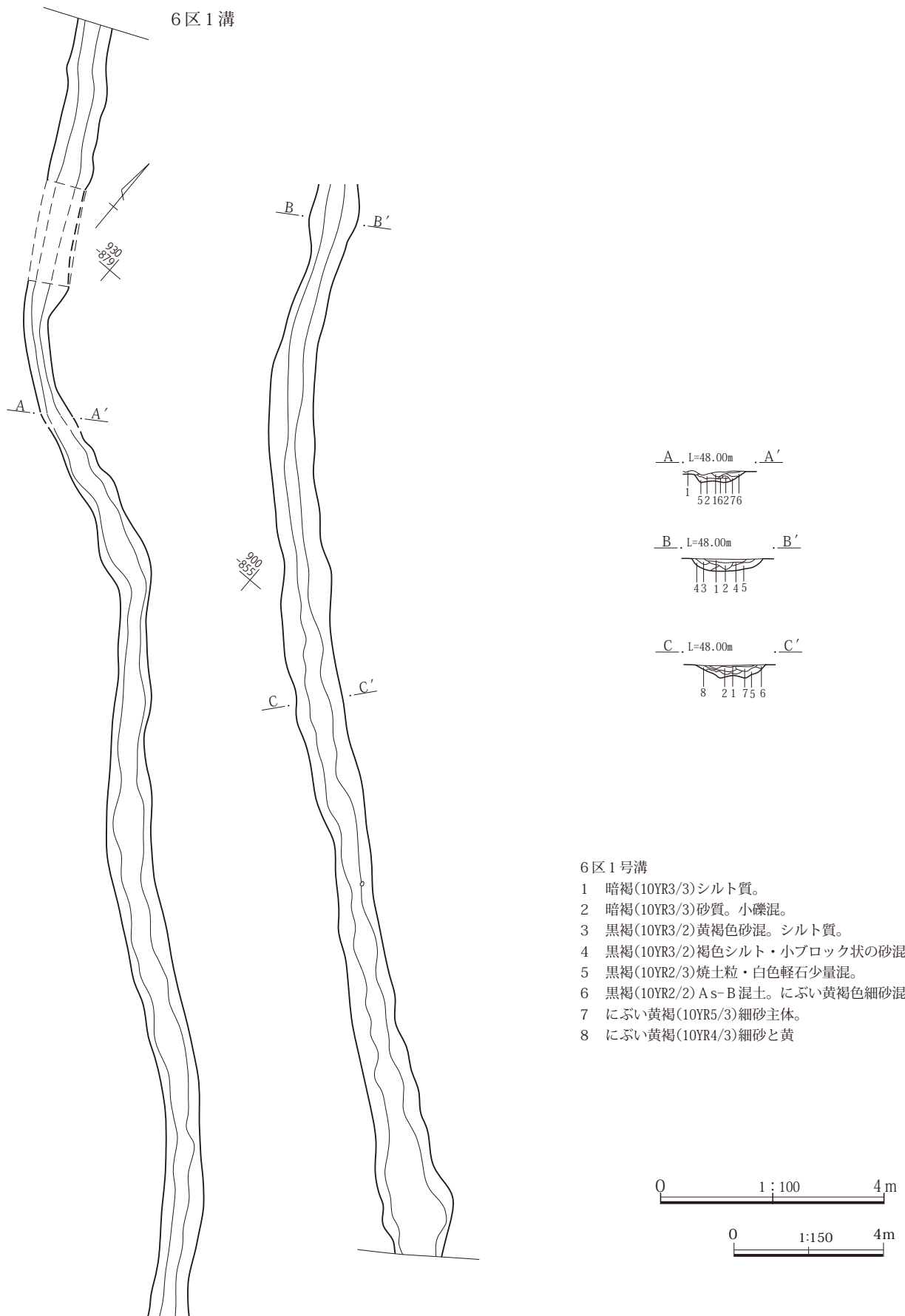
5区9溝



1 Hr-FA混土。

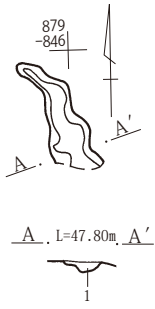


第407図 中世以降溝11



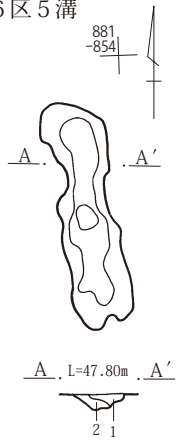
第408図 中世以降溝12

6区4溝



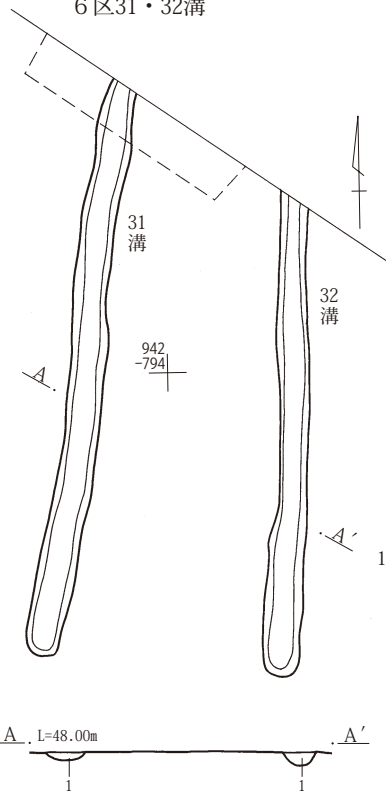
- 1 褐灰(10YR4/1)赤褐色耕作土微量混。黄褐色の微砂(洪水層の砂か)混。

6区5溝



- 1 灰黄褐(10YR5/2) As-B 多量、赤褐色耕作土微量混。粘性弱。
2 褐灰(10YR4/1)白色軽石・赤褐色耕作土微量混。しまり強。

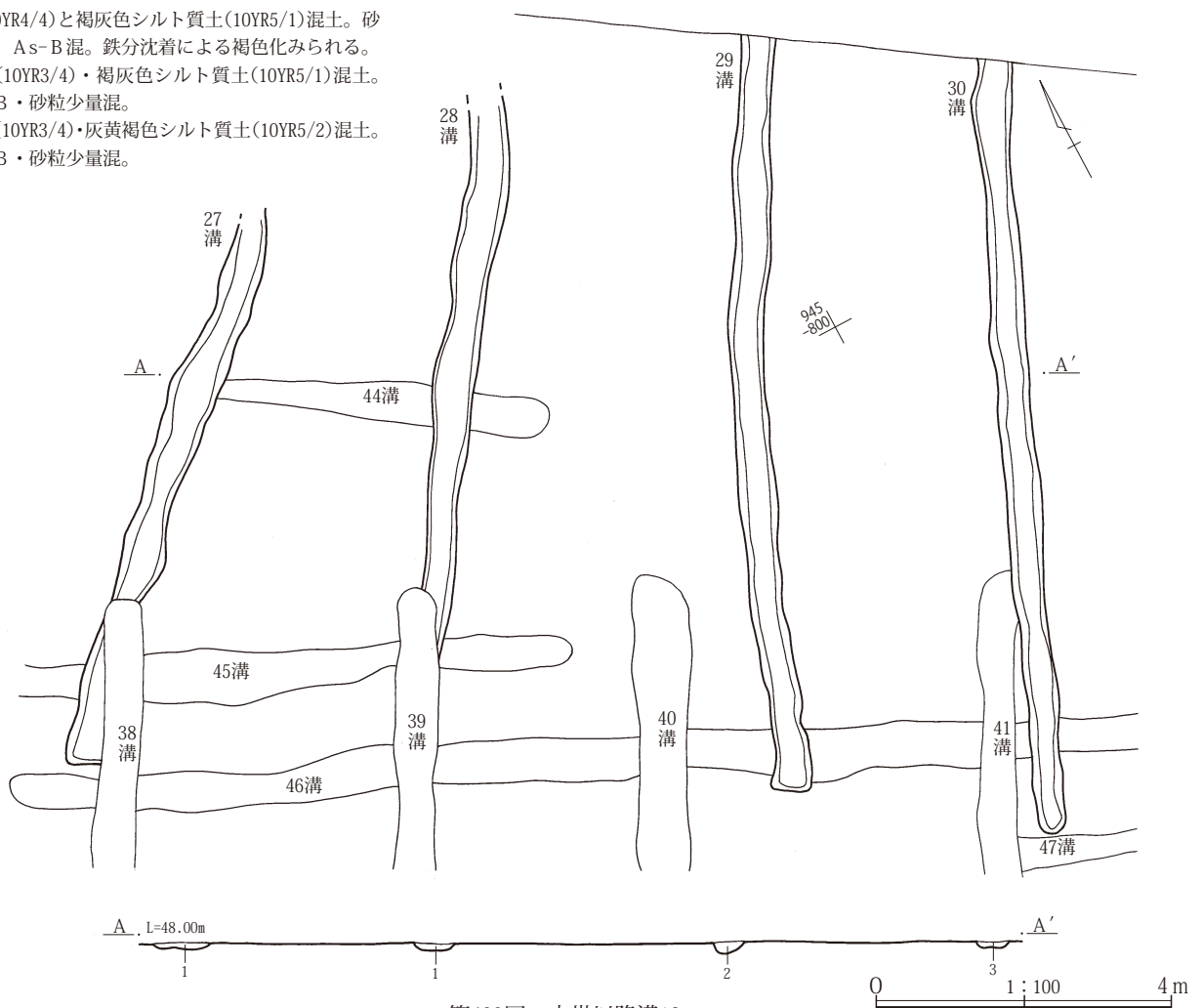
6区31・32溝



- 1 暗褐(10YR3/4)と褐灰色シルト質土(10YR5/2)混土。As-B・砂少量、にぶい黄橙色シルト(10YR6/4)混。

6区27～30溝

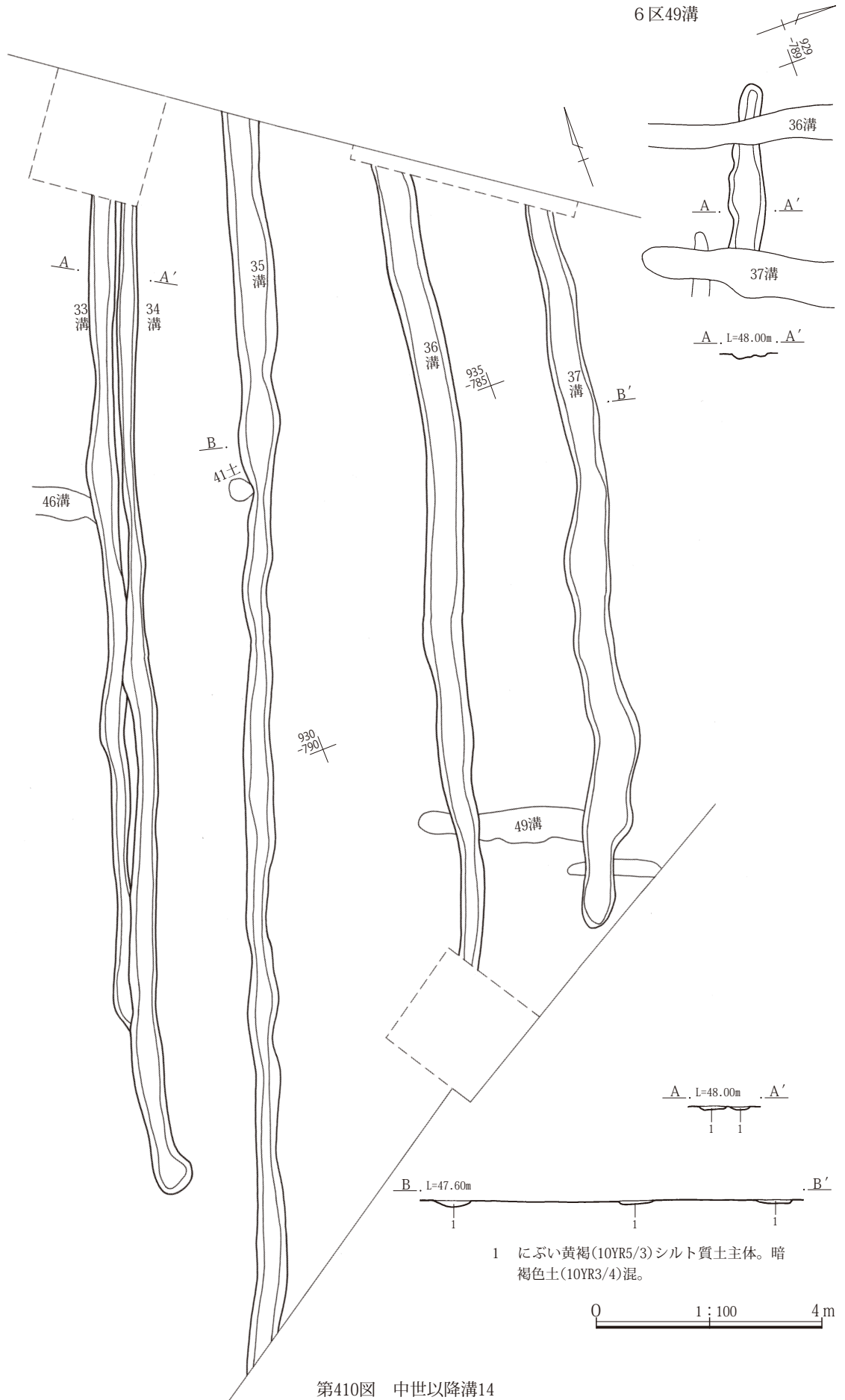
- 1 褐(10YR4/4)と褐灰色シルト質土(10YR5/1)混土。砂多量、As-B混。鉄分沈着による褐色化みられる。
2 暗褐(10YR3/4)・褐灰色シルト質土(10YR5/1)混土。As-B・砂粒少量混。
3 暗褐(10YR3/4)・灰黄褐色シルト質土(10YR5/2)混土。As-B・砂粒少量混。



第409図 中世以降溝13

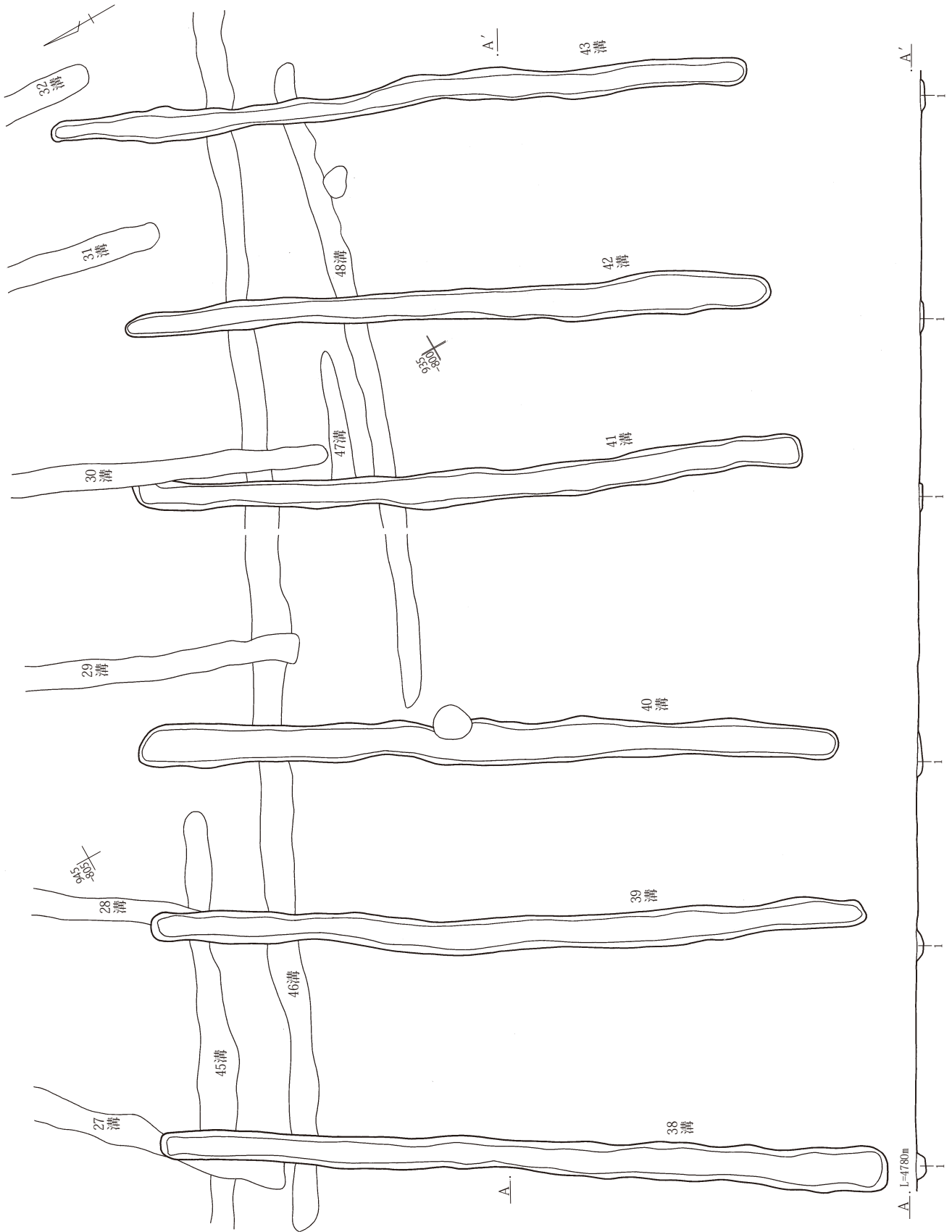
6区33～37溝

6区49溝



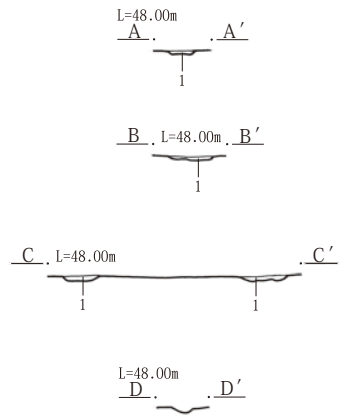
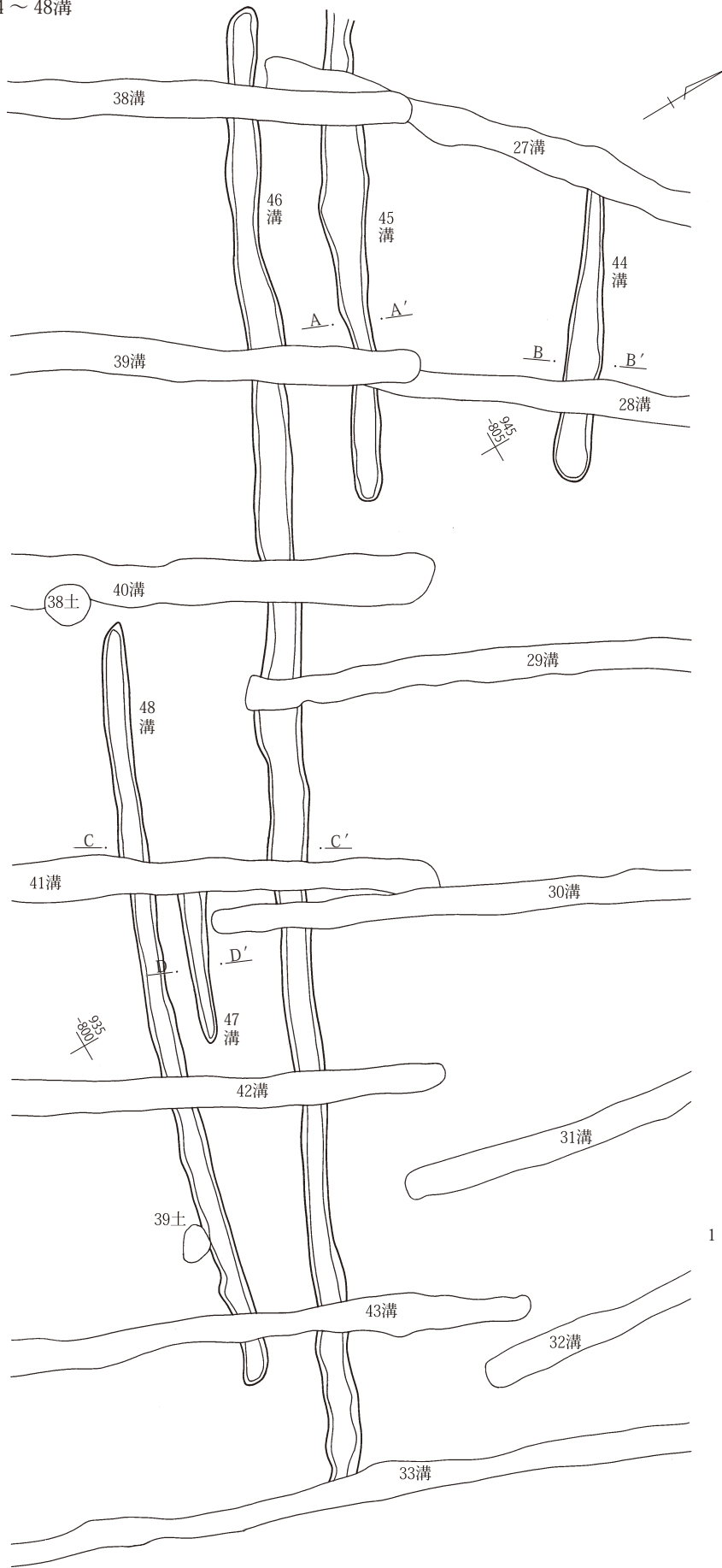
第410図 中世以降溝14

6区38～43溝



1 暗褐(10YR3/4)・灰黄褐色シルト質土(10YR5/2)混土。
As-B・砂混。

第411図 中世以降溝15

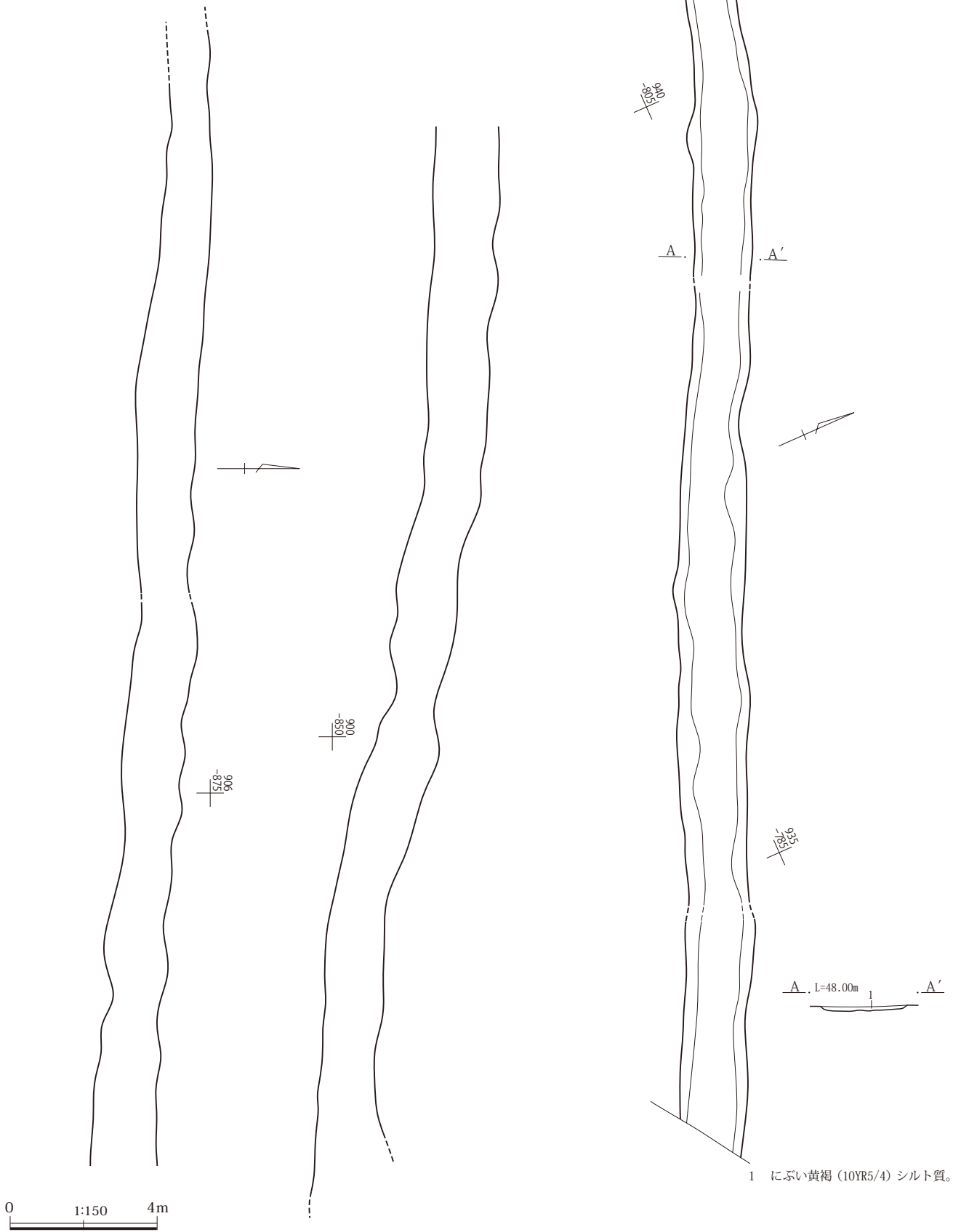


1 褐(10YR4/4)・褐灰色シルト質土(10YR5/1)混土。砂粒多量、As-B混。酸化鉄分沈着あり。

第412図 中世以降溝16

6区6溝

6区53溝



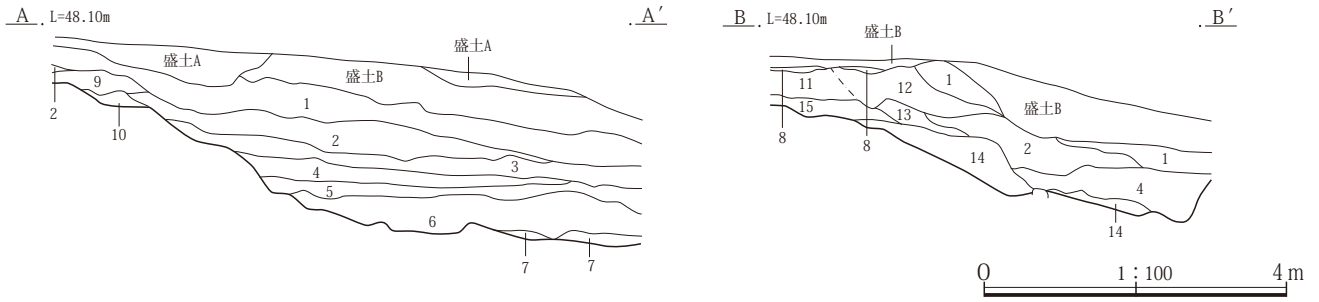
1 にぶい黄褐 (10YR5/4) シルト質。

第413図 中世以降溝17

7区2溝



第414図 中世以降溝18



- 1 暗褐(10YR3/3)炭化物・細砂粒少量混。
- 2 にぶい黄褐(10YR4/3)細砂粒少量混。
- 3 黒褐(10YR3/2)細砂粒少量、酸化鉄分粒子多量混。
- 4 灰黄褐(10YR4/2)細砂粒少量、酸化鉄分粒子多量混。
- 5 灰黄褐(10YR4/2)酸化鉄分中量混。粘性強。
- 6 褐灰(10YR4/1)シルト層・細砂層・酸化鉄分多量混。互層をなす。
- 7 暗褐(10YR3/3)砂層。細砂・粗砂小礫混。粘性・しまり極弱。
- 8 耕作土
- 9 灰黄褐(10YR4/2)細砂主体。粘性・しまり弱。
- 10 にぶい黄褐(10YR4/3)きめ細かいシルト層。酸化鉄分粒子多量混。粘性強。
- 11 砂質洪水層
- 12 にぶい黄褐(10YR4/3)微砂多量、細砂少量混。粘性弱。
- 13 にぶい黄褐(10YR4/3)微砂層。細砂層B少量混。粘性弱。
- 14 にぶい黄褐(10YR4/3)黒褐色HR-FA混土B極多量混。しまり強。
- 15 粘質洪水層

第415図 中世以降溝19

(4)井戸 (第416・417図、PL.123～125)

井戸は12基検出されている。発掘調査段階では、土坑とともに通番処理をしていたが、報告書整理段階で再整理し、遺構番号は土坑番号をそのまま用い、種別を井戸にかえて掲載した。

①分布 調査区南西部の1区から10基、3区から2基検出されており、他の区には存在していない。

②形態 平面形態は、円形が1区29・44・147・150・247・267・274・3区1・21井戸の9基、楕円形が1区162・188・297井戸の3基で円形が圧倒的に多い。1区188井戸は、北東部に張出部があるが、別遺構の可能性があり、これを除くと楕円形となる。断面形態は、壁が垂直に近く立ち上がり上部が外に開く朝顔形が、不確実なものも含めて1区29・44・147・150・162・188・267・274・297・3区1井戸の10基、垂直に立ち上がったままの円筒形が1区247・3区21井戸の2基である。壁が崩れて外側に抉れている「あぐり」のあるものが、不確実なものも含めて1区44・150・247・297・3区1・21井戸の6基ある。

③規模 長径3.78～0.79m、短径3.15～0.75m平均、深さ237～123cmであり、規模の差が大きい。1区の湧水層は基本土層のX層で深さが約2.2～1.2mと考えられるため、最も浅い267井戸は湧水層まで達していなかった可能性があるが、他の井戸は湧水層まで達して使用されていた可能性が高い。平面形態別にみると、円形は、長径2.40～0.79m、短径2.20～0.75m、深さ237～123cmで、楕円形は3.78～1.29m、短径3.15～1.04m、深さ214～168cmとなっている。基数が少なく一概には言えないが、楕円形のものやや規模が大きくなっている。

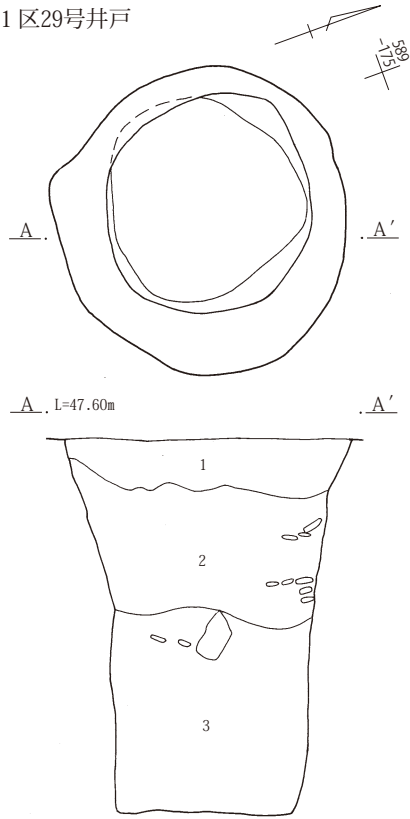
④出土遺物 出土遺物は少なく、1区274号井戸から陶器1点、軟質陶器2点、1区297号井戸から常滑陶器片口鉢1点、磁器1点、軟質陶器1点、3区1号井戸から陶器・軟質陶器各1点、3区21号井戸から陶器1点が出土しているだけである。

⑤時期 出土遺物がない井戸が多いため、詳細な時期は不明なものが多い。297号井戸からは中世の常滑陶器が出土しているが、他に埋土中にAs-Bを含む、1区44・147・150・162・3区21号井戸は中世の可能性が高い。

第42表 中世以降・時期不明井戸一覧表

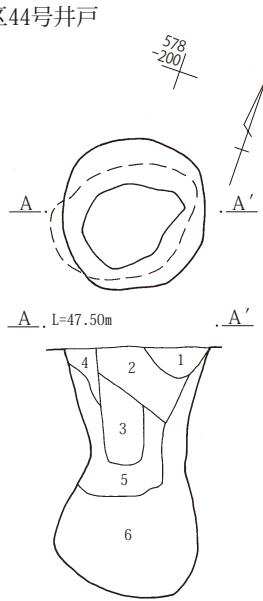
区	No.	位置(Gr)	重複	平面形態	断面形態	長径 m	短径 m	深さ cm	面積 m ²	主軸方位	備考
1	29	587・588-173～175		円形	朝顔形	1.64	1.57	201	1.96	N-56° -E	
1	44	576・577-199・200		円形	朝顔形 あぐりありか	0.79	0.75	130	0.52	N-70° -E	
1	147	611・612-185～187		円形	朝顔形	1.83	1.60	199	2.39	N-63° -W	
1	150	597・598-197～199		円形	朝顔形 あぐりあり	1.75	1.68	235	2.31	N-90°	
1	162	599・600-228・229		楕円形	朝顔形	1.29	1.04	168	1.09	N-90°	
1	188	570～572-238～241		楕円形	朝顔形か	2.44	1.69	214	4.12	N-66° -W	
1	247	597～599-251～253		円形	円筒形 あぐりあり	2.09	1.97	237	3.25	N-79° -W	
1	267	585・586-255・256		円形	朝顔形	1.07	0.98	123	0.83	N-90°	
1	274	598・599-245～247		円形	ゆがんだ朝顔形	1.27	1.27	191	1.61	N-84° -W	
1	297	563～567-235～239		楕円形	朝顔形 あぐりありか	3.78	3.15	212	9.86	N-12° -E	
3	1	774・775-057・058		円形	朝顔形 あぐりあり	1.17	1.08	158	1.00	N-17° -E	
3	21	735～737-001～003		円形	円筒形 あぐりありか	2.40	2.20	191	3.99	N-27° -W	

1区29号井戸



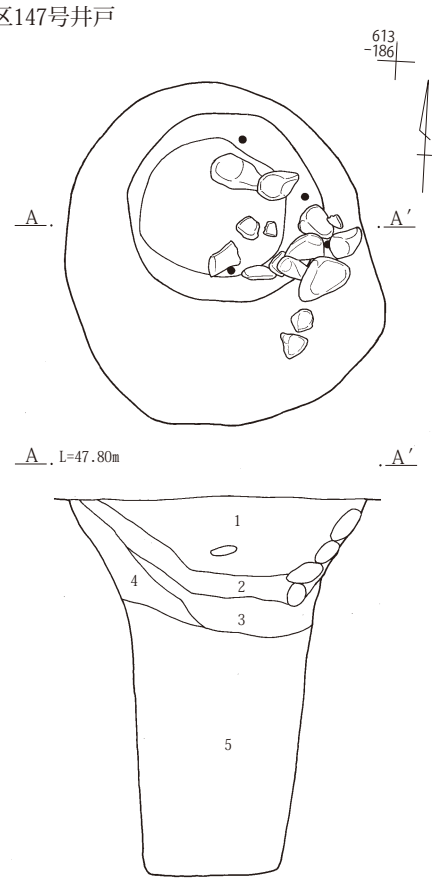
- 1 褐灰色 砂質、ローム粒混。
- 2 灰褐 礫多量混。
- 3 暗褐 礫多量混。

1区44号井戸



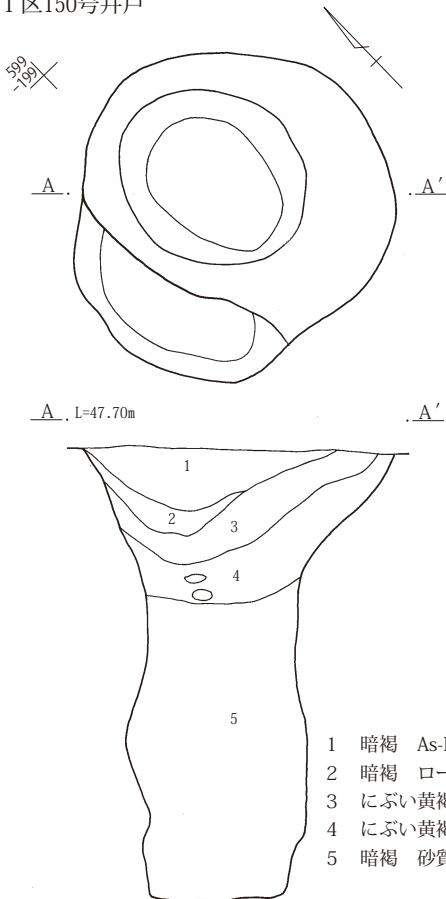
- 1 暗褐 As-B 混。ローム漸位層B混。
- 2 暗褐 As-B 混・ロームB小混。
- 3 暗褐 As-B 混土。
- 4 暗褐 As-B 混。しまり強。
- 5 暗褐 明黄褐色ロームB小混。
- 6 暗褐 明黄褐色ロームB小多量混。

1区147号井戸



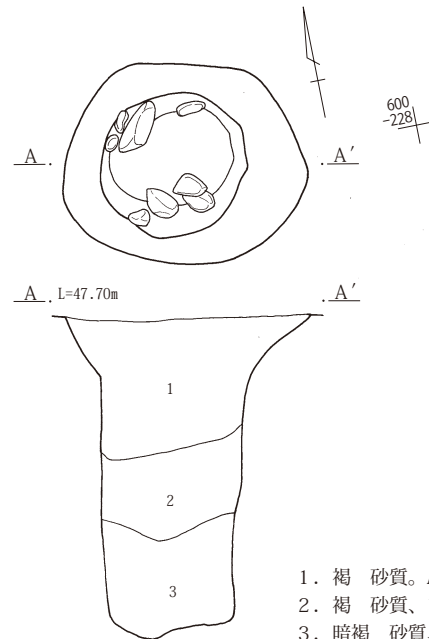
- 1 暗褐 細砂、ローム粒、As-B 混。
- 2 黒褐 ローム粒少量混。粘性やや強。
- 3 黒褐 ローム小B中量混。粘性やや強。
- 4 黄褐 ローム主体。
- 5 にぶい黄褐 ローム粒多量混。

1区150号井戸



- 1 暗褐 As-B 混。黒褐色土B混。
- 2 暗褐 ロームB、黒褐、砂利混。
- 3 にぶい黄褐 小礫、ローム、砂混合。
- 4 にぶい黄褐 小礫、砂利多量混。
- 5 暗褐 砂質土。

1区162号井戸

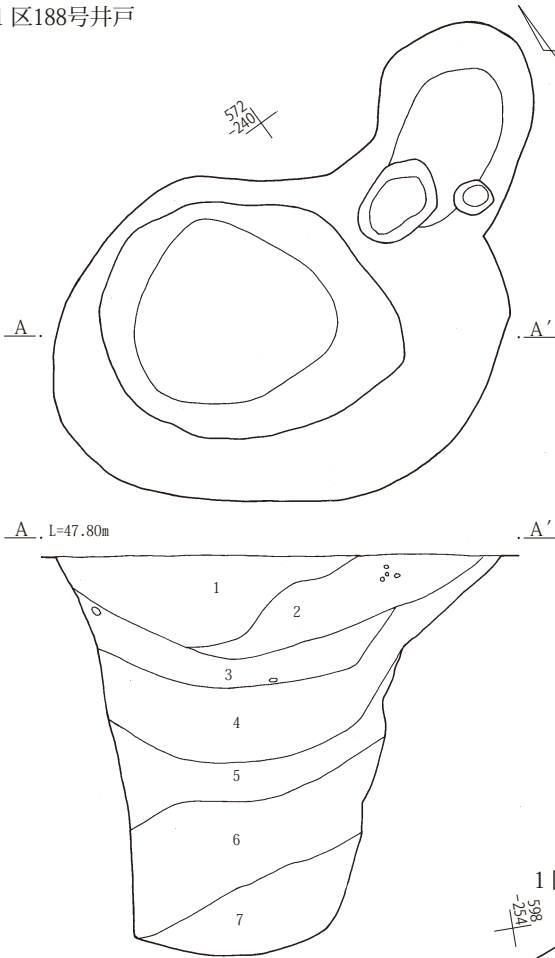


- 1. 褐 砂質。As-B、ローム粒混
- 2. 褐 砂質、ロームB中混。
- 3. 暗褐 砂質、小礫少量混。

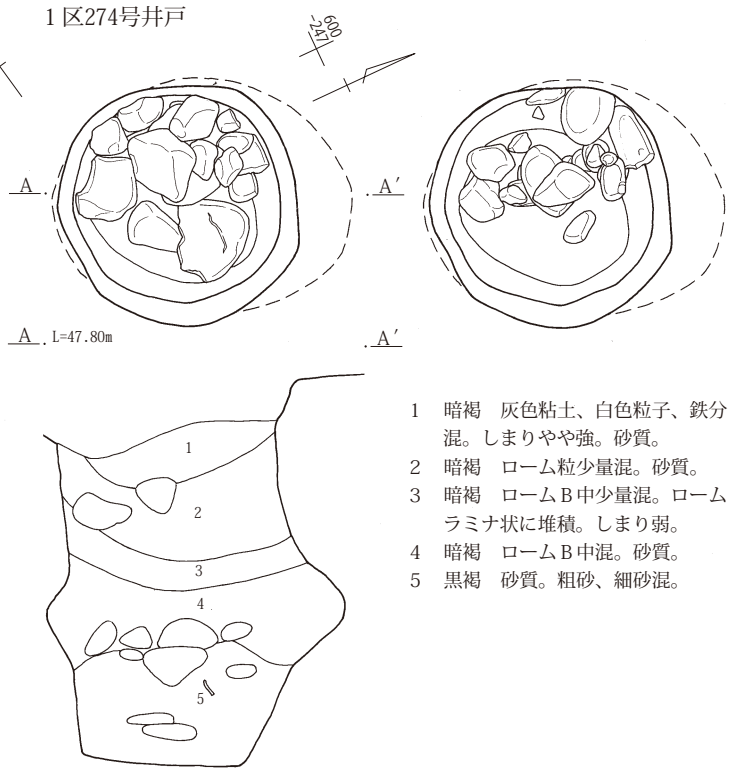


第416図 中世以降井戸 1

1区188号井戸



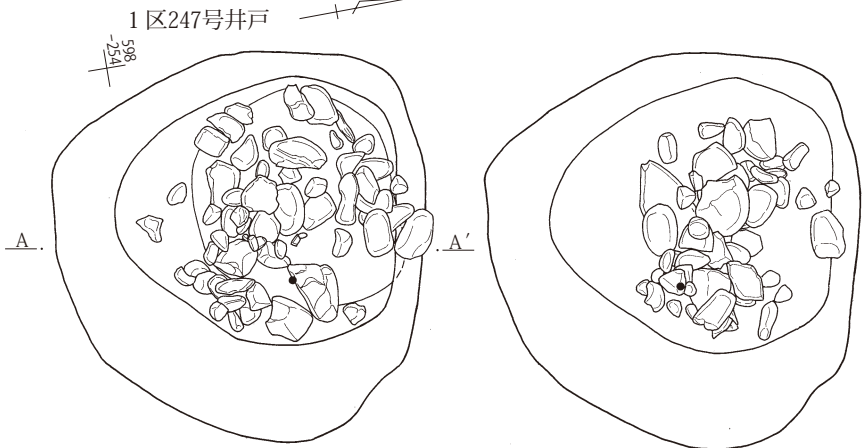
1区274号井戸



- 1 暗褐 灰色粘土、白色粒子、鉄分混。しまりやや強。砂質。
- 2 暗褐 ローム粒少量混。砂質。
- 3 暗褐 ロームB中少量混。ロームラミナ状に堆積。しまり弱。
- 4 暗褐 ロームB中混。砂質。
- 5 黒褐 砂質。粗砂、細砂混。

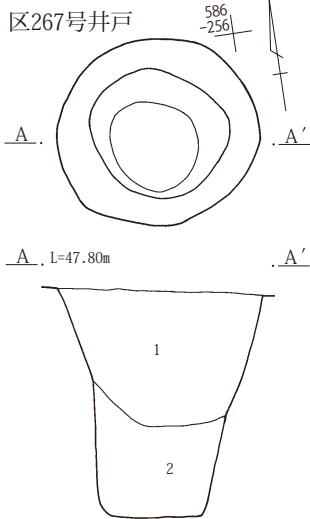
- 1 暗褐 砂質。ローム・黒褐色土B、小礫混。
- 2 にぶい黄褐 小礫多量混。ローム、黒褐色土B混。
- 3 黒褐 砂質土。ロームB混。
- 4 灰褐 黒褐色土・ロームB、小礫少量混。砂質。
- 5 黒褐 ロームをラミナ状に混。砂質。
- 6 灰褐 ロームをラミナ状に混。砂質。
- 7 黒褐 砂質。

1区247号井戸



- 1 暗褐 ロームB、灰褐色土B混入。
- 2 黒褐 粘質、ロームB混入。
- 3 黒褐 砂質、礫混入。

1区267号井戸

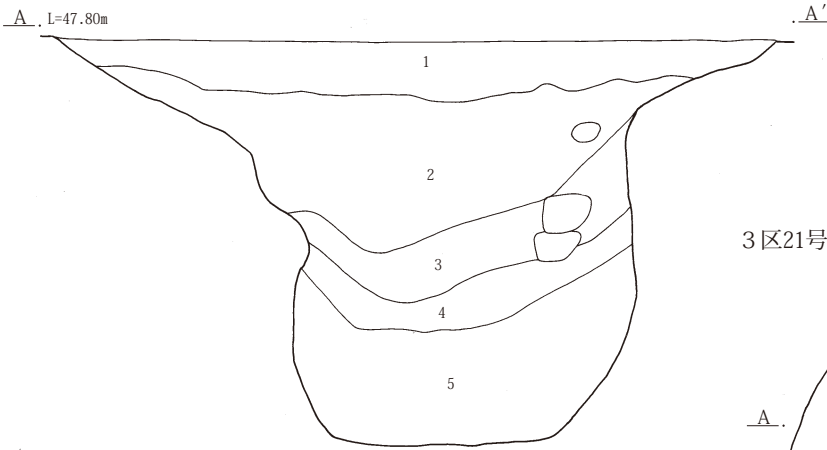
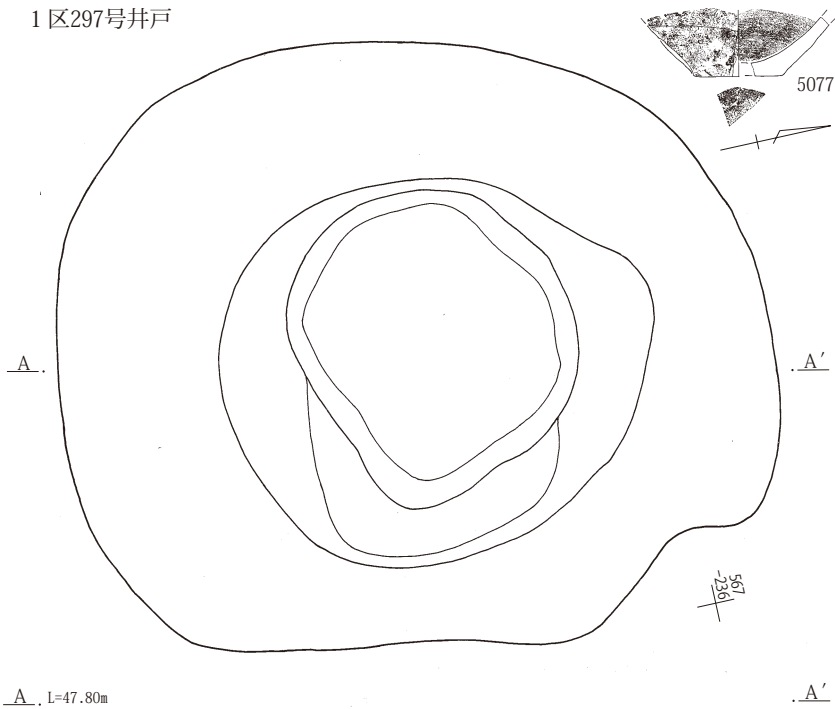


- 1 褐 ローム粒多量混。

0 1:40 1m

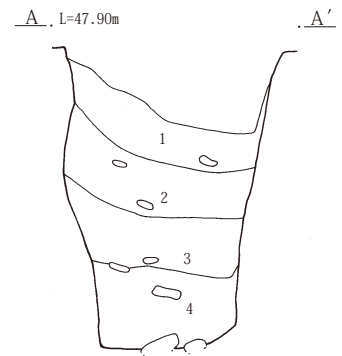
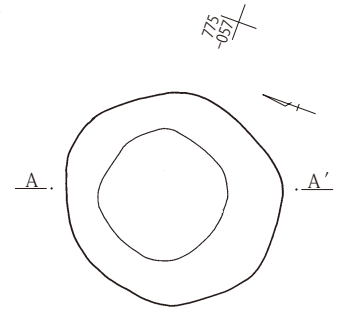
第417図 中世以降井戸2

1区297号井戸



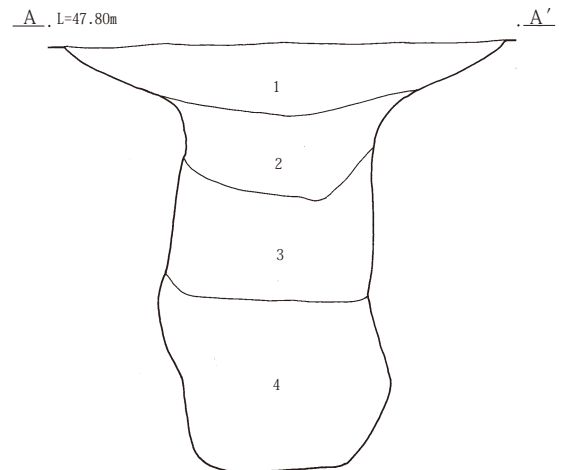
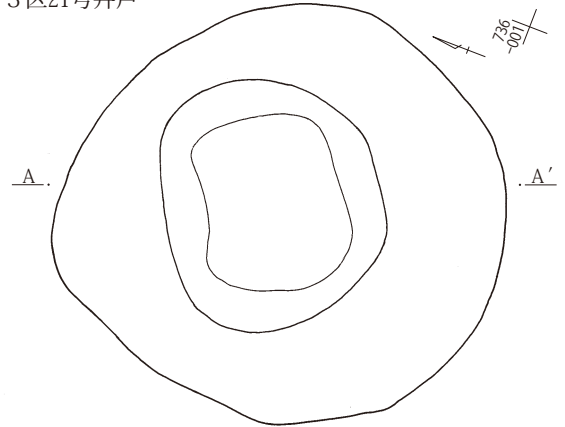
- 1 暗褐 As-B 混。
- 2 暗褐 As-B 混土B、細砂、ロームのラミネ状体積混。
- 3 暗褐 As-B 混土B中、ロームB中混。
- 4 黄褐 ローム、砂粒少量混。
- 5 にぶい黄褐 ローム、砂粒混。

3区1号井戸



- 1 暗褐 礫・小礫・砂利多量混。
- 2 暗褐 礫混。
- 3 暗褐 砂質土。
- 4 暗褐 礫混。

3区21号井戸



- 1 暗褐 白色粒子・小礫・ローム。
- 2 黒褐 小礫・礫大。
- 3 黒褐 小礫・礫中混。砂質土。
- 4 黒褐 砂礫大多量混。

0 1:40 1m

第418図 中世以降井戸3

(5)土坑(第419～435 図、PL125～147)

土坑は208基検出されている。

①**分布** 区別にみると、1区160基、3区26基、6区17基となっており、調査区南西部の1区に集中しており、他の中世以降の遺構の分布と同様な傾向となっている。

②**形態** 面形態がA～Gの7形態、断面形態がa～gの7形態に分類できる。

平面形態

- A 円形のもの(短軸:長軸が1:1.2未満)
- B 楕円形のもの(短軸:長軸が1:1.2以上)
- C 方形・隅丸方形のもの(短軸:長軸が1:1.2未満)
- D 長方形・隅丸長方形のもの(短軸:長軸が1:1.2以上)
- E 溝状に長いもの(短軸:長軸が1:2以上)
- F 不正形のもの、その他
- G 不明のもの

断面形態

- a 底部が平らで壁が垂直に近く立ち上がるもの
- b 底部が平らで壁が外側に傾斜して立ち上がるもの
- c 底部が丸みを帯びるもの
- d 底部が狭く壁が直線的に立ち上がるもの
- e 底部が部分的にもう一段下がるもの
- f 深さが深いもの(長径:深さが1以上)
- g 不正形のもの、その他

平面形態は、Aの円形のもの146基72%で圧倒的に多く、次にBの楕円形のもの28基14%で続いており、他の形態はいずれも10基5%以下である。

断面形態は、a類が83基41%で最も多く、続いてb類が79基39%とほぼ同数あり、この2つで80%を占めている。他はいずれも10%以下となっている。

次に平面形態ごとの断面形態を見ることにする。

平面形態は、Aの円形のもの146基72%で圧倒的に多く、次にBの楕円形のもの28基14%で続いており、他の形態はいずれも10基5%以下である。

断面形態は、a類が83基41%で最も多く、続いてb類が79基39%とほぼ同数あり、この2つで80%を占めている。他はいずれも10%以下となっている。

次に平面形態ごとの断面形態を見ることにする。

A円形 断面形a類は、1区4・28・33・41・45・3

区29・31・37・6区37・41土坑等71基と最も多い。長径平均が1.13と比較的規模が大きい。1区57・83・125・137・213等は断面が左右対称で、規格的な土坑である。1区189土坑は、平面が直線的で八角形に近い形態となっている。b類は、1区1・3・6・21・32・48・54・3区24・33・35土坑等49基である。長径の平均が1.11でa類とほぼ同規模である。a類と比べやや崩れた形態のものが多く、1区3・84・184土坑等の断面形が左右対称でないものや、1区54土坑等の底部中央がやや高くなっているものがある。1区132土坑は東部埋土中から礫が多数出土しているc類は1区98・224・243・249・278土坑等11基である。長径の平均が0.86mとa・b類よりも規模が小さい。ただ、1区98土坑は長径2.04mと他の土坑の2倍以上大きがある。1区249土坑は断面が左右対称で皿状のきれいな形態であるが、他はやや崩れたものが多い。d類はなく、e類は1区160・178・254・257・3区30・6区45・123土坑等の9基で、長径の平均が0.93mとa・b類よりも規模が小さいが、c類よりも大きい。1区160・254土坑は底部の中央付近に小ピットが存在する形態であるが、1区178・254は広く浅いピットが底部の一方に寄っている形態である。1区266土坑は底部の両側にピットが2基存在する。f類は、1区26・146・6区45・123土坑の4基である。長径の平均は0.88mと小さい。1区26土坑は、あぐりのある井戸と同様の断面形態をしているが、井戸にしては規模が小さい。礫が多量に出土している。1区146土坑も井戸に近い断面形態であるが、井戸にしては浅く規模が小さい。6区45土坑も同様である。G類は1区30・38土坑の2基である。

B楕円形 a類は1区226・231・242・271・3区32・6区40土坑の6基で、長径の平均値は0.95mである。1区226・231土坑は断面形が左右対称で規格的な形態である。1区271土坑は中央部がやや高く周囲が低くなる掘り方である。b類は、1区5・60・75・101・144・3区28・46・6区30・42・122土坑等13基で、長径の平均は1.06mである。1区5・60・101土坑等断面形がやや崩れたものが多いが、1区75・144土坑等規格的なものもある。1区315土坑は後述するように土坑墓と考えられる。c類は1区14・262・306土坑の3基で、長径の平均は0.99mである。1区306土坑は長径1.73mと規模が大きく、他の2基とは性格を異にしていると考えられる。

d類はなく、e類は1区11・56・276・3区23・6区120土坑の5基で、長径の平均は1.08mである。底部の一方によってピットが1基ある形態が多いが、1区276土坑は底部全体が1段下がる形態である。この土坑は土坑墓と考えられる。

C方形・隅丸方形 断面形a類は1区19・284土坑の2基で、1区19土坑は比較的整然とした平面形態であるが、284土坑は崩れた平面形態である。b類は、1区63・92・214・3区36・48土坑の5基で、長径の平均は1.05mである。平面形・断面形とも比較的崩れたものが多い。c類は1区204土坑1基のみでやや崩れた形態である。d類はなく、e類は1区39・3区34土坑の2基で、1区39土坑は、形態は崩れているが、規模は大きく深さもあり、特異な形態である。

D長方形・隅丸方形 断面形a類は1区285・286・314・3区26土坑の4基で、長径の平均は1.22mと大きい。1区285・286土坑は平面形・断面形ともに整然としており、後述するように土坑墓と考えられる。b類は1区104・118・163・202・3区27・6区126土坑の6基で、長径の平均は1.13mである。1区202土坑は平面形・断面形とも比較的整然としている。6区126土坑も断面形は整然としているが、平面形はやや丸みを帯びている。c類は1区210土坑1基のみである。やや崩れた平面形態である。

E溝状に長いもの a類は1区110土坑1基のみで、長径3.59mと長く、平面形・断面形ともに比較的整然としている。b類は1区289・3区45土坑の2基で、長径の平均は2.25mである。断面形は、いずれも比較的整然としている。c類は1区206土坑1基のみで、平面形・断面形ともにやや崩れた形態である。

F不正形のもの、その他 1区120・127・3区47土坑の3基で、断面形はいずれもb類である。

G 不明のもの 1区9・51・93・215土坑の4基で、重複・調査区外等で全体が不明のものである。

Aの円形では、a類が49%で最も多く、続いてbが34%で続いている。他の平面形態は、すべてb類が最も多く、いずれも50%前後を占めているため、円形の土坑では壁が垂直に近く立ち上がるものが多く、それ以外は、壁が斜めに立ち上がるものが多いという傾向が窺われる。

③規模 長径3.59～0.32m、短径2.87～0.30m、長径

/短径4.08～1.00m、深さ216～5cm、面積6.71～0.11m²である。土坑により規模に差があるが、古墳～平安時代のものより差は小さく、長径で10倍、面積で60倍程度である。古墳～平安時代のものと比べ、規模の小さいものの差はないが、大きいものがなくなっている。

④機能・時期 出土遺物等から、機能・時期のわかる土坑は少ない。完形かそれに近い土器や複数の銅銭は、副葬品と考えられるため、完形の在地系土器が出土している1区285・315号土坑や、複数の銅銭が出土している1区238・276・286・315号土坑は土坑墓の可能性が高い。断面形態がfの1区26・146号土坑、6区45号土坑は、深さや上部が開く形態から井戸の可能性が考えられる。しかしながら規模が小さく確実に井戸とすることはできないため、土坑に含めた。

完形やそれに近い状態の遺物が出土している土坑は、前記の1区285号土坑と1区315号土坑で、土坑墓から出土している銅銭は、ほとんど宋銭・明銭であるため、いずれの土坑も中世と考えられる。他の土坑は出土遺物が少なく時期を限定することは難しいが、As-B混土で埋没している土坑は、As-B降下から大きく下らない時期(中世か)の可能性が高いといえる。

⑤出土遺物 残りの良い遺物が出土している土坑は少なく、1区5土坑から古瀬戸陶器の鉢(5049)が、15土坑から、常滑陶器の甕(5050)が、45土坑から常滑陶器の甕(5051)が、55土坑から在地系土器の皿が、110土坑から常滑陶器の甕(5053)が、124土坑から常滑陶器の甕(5054)が、137土坑から常滑陶器の甕(5055)が、146土坑から常滑陶器の甕か壺(5056～5059)が、149土坑から中国白磁の椀(5060)が、195土坑から在地系土器片口鉢(5063)が、220土坑から在地系土器皿(5061)が、247土坑から在地系土器片口鉢が(5062)、272土坑から渥美陶器甕(5064)が、274土坑から尾張陶器片口鉢(5065)・常滑陶器甕か壺(5066)・在地系土器片口鉢(5067)が、276土坑から在地系土器皿(5073)が、285土坑から在地系土器皿(5080・81)が、289土坑から渥美陶器瓶類(5086)が、297土坑から常滑陶器片口鉢(5087)が、299土坑から、瀬戸美濃陶器折縁皿(5088)が、315土坑から在地系土器皿(5089～5091)が出土している。他に1区238号土坑、1区276号土坑、1区286号土坑、1区315号土坑からは銅銭が多数出土しており、副葬品と考えられる。

第Ⅲ章 検出された遺構と出土遺物

第43表 中世以降・時期不明土坑一覧表

区	No.	位置(Gr)	重複	平面 形態	断面 形態	長径 m	短径 m	長径/ 短径	深さ cm	面積 ㎡	主軸方位	備考
1	1	584・585-123		A	b	0.91	0.87	1.05	8	0.58	N-2°-W	
1	3	586・587-137・138	294ピット	A	b	1.12	1.06	1.06	21	(0.88)	N-53°-W	
1	4	594・595-134・135		A	a	1.29	1.11	1.16	9	0.98	N-47°-E	
1	5	599・600-141・142		B	b	1.14	0.95	1.20	39	0.91	N-48°-W	
1	6	602・603-137・138		A	b	1.11	1.00	1.11	18	0.86	N-37°-E	
1	9	602・603-133		G	a	0.98	[0.45]		40	[0.24]	N-50°-W	
1	11	599・600-144~146	26土坑	B	e	1.40	1.04	1.35	68	1.12	N-78°-W	
1	12	598・599-145・146	77ピット	D	e	1.10	0.87	1.26	48	(0.86)	N-63°-W	
1	14	601・602-153・154		B	c	0.68	0.55	1.24	21	0.28	N-18°-E	
1	19	604~606-153・154		C	a	1.16	1.15	1.01	16	1.21	N-33°-E	
1	21	598-139・140	151ピット	A	b	0.74	0.63	1.17	10	(0.35)	N-31°-E	
1	26	600・601-144・145	11土坑	A	f	0.92	[0.82]		114	[0.63]	N-90°	
1	28	596・597-157・158		A	a	1.01	0.96	1.05	31	0.75	N-65°-E	
1	30	600~602-160~162		A	g	1.87	1.62	1.15	129	2.39	N-37°-W	
1	32	595・596-169		A	b	0.78	0.77	1.01	23	0.48	N-10°-E	
1	33	598・599-167・168		A	a	0.88	0.82	1.07	34	0.57	N-50°-W	
1	34	586・587-160・161		B	d	1.12	0.72	1.56	26	0.60	N-6°-E	
1	38	561~564-206~209	39土坑	A	g	3.07	2.87	1.07	216	6.71	N-70°-W	
1	39	564~566-207~209	38土坑	C	e	1.83	1.78	1.03	122	[2.38]	N-83°-E	
1	41	564・565-201・202		A	a	0.55	[0.27]		12	[0.12]	N-52°-E	
1	45	603・604-170・171	580ピット	A	a	1.39	1.39	1.00	26	(1.63)	N-6°-W	
1	48	617・618-180・181		A	b	0.78	0.71	1.10	16	0.43	N-39°-E	
1	49	618・619-181・182		A	a	1.30	1.15	1.13	13	1.21	N-51°-W	
1	50	619・620-181・183	446ピット	A	a	1.52	(1.34)	(1.13)	16	[1.29]	N-38°-E	
1	51	621・622-183・184	52土坑より旧	G	a	0.63	[0.58]		26	[0.28]	N-69°-W	
1	52	621・622-184・185	51土坑より新	A	a	1.21	1.16	1.04	24	1.14	N-16°-E	
1	53	622・623-184・185		A	a	1.38	1.34	1.03	23	1.46	N-61°-W	
1	54	623~625-183・184	471ピット	A	b	1.30	1.21	1.07	15	(1.29)	N-34°-E	
1	55	621・622-187~189		A	b	1.33	1.33	1.00	24	1.45	-	
1	56	622・623-179・180		B	e	1.14	0.64	1.78	29	0.53	N-66°-E	
1	57	619・620-184~186		A	a	1.20	1.20	1.00	25	1.11	N-42°-E	
1	58	618・619-178		A	a	0.70	0.63	1.11	11	0.34	N-85°-E	
1	59	617・618-183・184		A	b	1.03	0.96	1.07	7	0.75	N-88°-E	
1	60	628・629-179・180		B	b	0.84	0.58	1.45	11	0.37	N-11°-W	
1	61	632・633-197・198		A	b	0.81	0.71	1.14	7	0.43	N-51°-E	
1	63	638・639-190・191		C	b	0.78	0.78	1.00	9	0.53	N-76°-W	
1	75	609-171・172		B	b	0.87	0.65	1.34	18	0.43	N-48°-W	
1	78	631・632-203~205		A	b	1.55	1.51	1.03	18	1.82	N-74°-E	
1	79	634~636-205・206		A	b	1.33	1.21	1.10	11	1.23	N-27°-W	
1	83	626~628-210・211		A	a	1.50	1.37	1.09	28	1.65	N-15°-E	
1	84	628~630-197~199		A	b	1.72	1.71	1.01	25	2.26	N-81°-W	
1	85	628~630-195~197	86土坑より新、569ピット	A	b	1.73	1.71	1.01	26	2.31	N-71°-E	
1	86	627・628-195・196	85土坑より旧	A	b	1.36	[0.65]		21	[0.79]	N-67°-E	
1	87	625~627-198・199	118土坑	A	a	1.21	1.16	1.04	12	1.11	-	
1	88	625・626-196~198	89土坑より新、511・568ピット	A	a	1.77	1.62	1.09	19	2.21	N-32°-W	
1	89	625~627-195~197	88土坑より旧	A	a	1.62	(1.50)	(1.08)	15	[1.49]	N-36°-W	
1	90	619~621-197・198	91土坑より旧、94・128土坑	A	b	1.58	(1.56)	(1.01)	32	[1.95]	N-29°-E	
1	91	621・622-197・198	90土坑より新、128土坑	A	b	1.43	1.30	1.10	16	1.45	N-30°-W	
1	92	619・620-204・205	93土坑より新	C	b	1.19	1.19	1.00	20	1.24	-	
1	93	619・620-204	92土坑より旧	G	b	1.23	[0.70]		14	[0.67]	-	
1	96	618~620-195~197		A	a	1.48	1.43	1.03	40	1.62	N-58°-E	
1	97	623・624-196~198	98土坑より新、129土坑	A	b	1.57	1.54	1.02	21	1.98	N-68°-E	
1	98	622・623-195~197	97・99土坑より旧	A	c	(2.04)	1.80	(1.13)	36	(2.57)	N-37°-E	

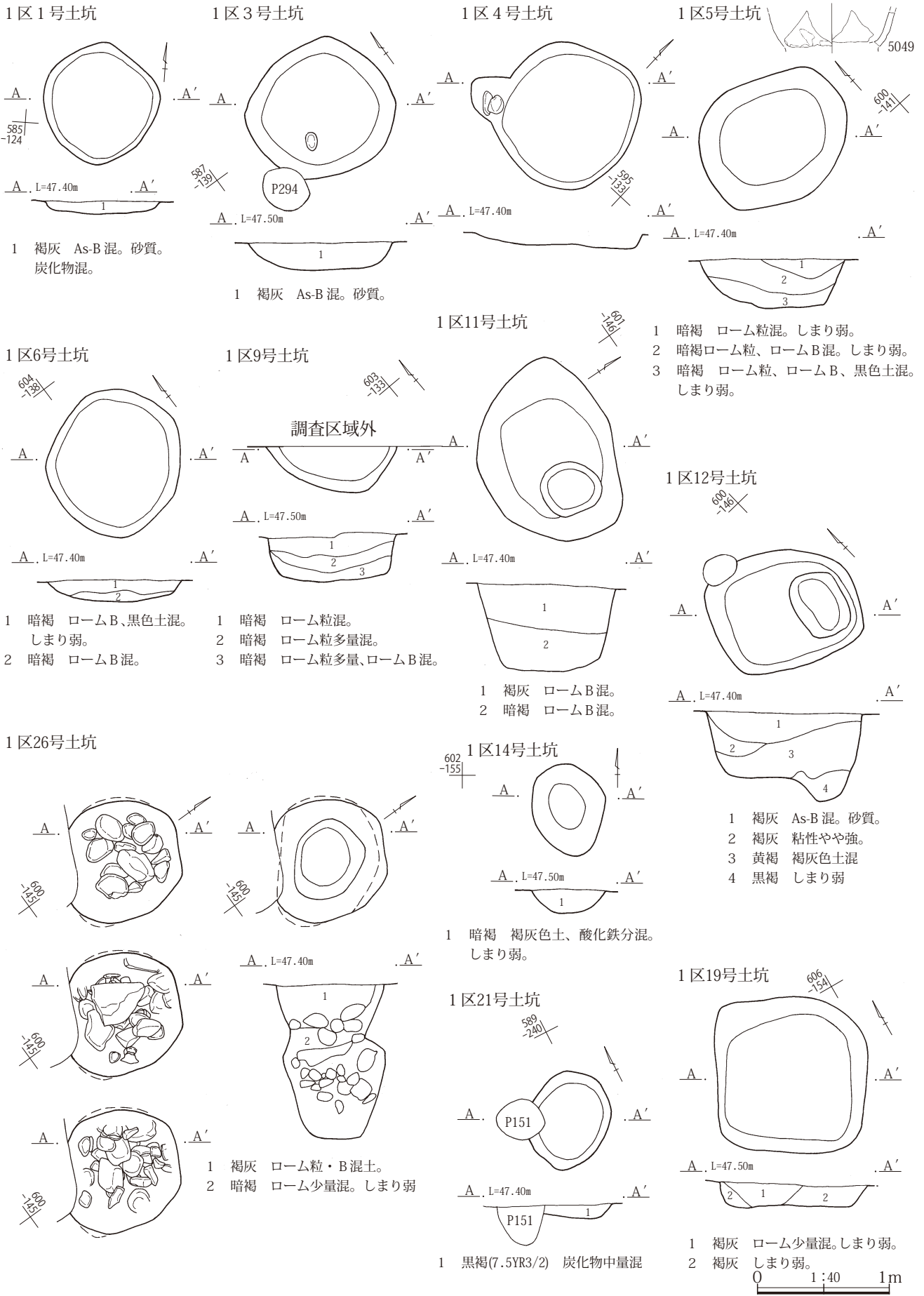
区	No.	位置(Gr)	重複	平面 形態	断面 形態	長径 m	短径 m	長径/ 短径	深さ cm	面積 ㎡	主軸方位	備考
1	99	621～623-194・195	98土坑より新、117土坑	A	b	1.65	(1.41)	(1.17)	31	(1.96)	N-36°-E	
1	100	622・623-192・193		A	b	0.93	0.78	1.19	9	0.59	N-3°-E	
1	101	619・620-193・194	102土坑より旧	B	b	1.10	0.71	1.55	9	(0.59)	N-76°-W	
1	102	620・621-192・193	101土坑より新、103土坑より旧	A	b	1.19	(1.14)	(1.04)	11	[1.03]	N-59°-W	
1	103	620～622-191～193	102・120土坑より新	A	a	1.29	1.17	1.10	11	1.29	N-47°-W	
1	104	619・620-191・192		D	b	0.87	0.54	1.61	10	0.38	N-75°-W	
1	106	634～636-193・194		A	b	1.07	1.05	1.02	29	0.89	N-66°-E	
1	110	600～603-191・192	611ピット	E	a	3.59	0.88	4.08	21	3.07	N-14°-E	
1	117	622・623-193・194	99・116・120土坑	A	a	1.55	1.55	1.00	40	1.86	—	
1	118	626・627-197・198	87土坑、566・567ピット	D	b	1.27	1.02	1.25	21	1.12	N-71°-W	
1	120	621・622-192・193	103土坑より旧、117土坑	F	b	1.35	[1.10]		20	[1.08]	N-44°-E	
1	122	608・609-193・194		A	a	0.87	0.80	1.09	15	0.56	N-84°-W	
1	123	613-183・184		A	a	1.01	0.97	1.04	27	0.78	N-10°-W	
1	124	598・599-181・182		A	a	0.75	0.75	1.00	13	0.46	N-85°-W	
1	125	613・614-181・182		A	a	1.02	1.01	1.01	43	0.83	N-15°-W	
1	126	614・615-187・188		A	a	0.87	0.79	1.10	19	0.55	N-90°	
1	127	602・603-173		F	b	0.86	0.48	1.79	12	0.32	N-18°-E	
1	132	608・609-188・189		A	b	1.14	1.04	1.10	23	0.93	N-47°-E	
1	133	610・611-189・190	719ピット	A	a	1.05	1.00	1.05	20	0.85	—	
1	135	602-182・183	588ピット	A	a	0.92	0.90	1.02	16	0.63	N-16°-E	
1	137	609～611-191～193		A	a	1.77	1.73	1.02	33	2.45	N-10°-E	
1	140	601・602-198・199	723ピット	A	b	0.77	0.74	1.04	15	0.45	N-25°-W	
1	141	606・607-203・204		A	a	1.01	0.98	1.03	24	0.81	N-26°-E	
1	142	605～607-201・202		A	a	1.11	1.05	1.06	28	0.91	N-65°-W	
1	144	582～584-137～139		B	b	[2.05]	1.78		16	[2.21]	N-82°-E	
1	145	589・590-185・186		A	b	1.08	1.01	1.07	22	0.85	N-54°-W	
1	146	601・602-174・175		A	f	1.22	1.11	1.10	103	1.06	N-49°-W	
1	149	594・595-195～197		A	a	1.39	1.29	1.08	31	1.41	N-54°-E	
1	160	608・609-185・186		A	e	0.99	0.91	1.09	29	0.72	N-70°-W	
1	161	592・593-234・235		A	a	1.03	0.97	1.06	34	0.77	N-53°-W	
1	163	580-193		D	b	0.81	0.40	2.03	11	0.26	N-51°-E	
1	164	603・604-203・204		A	a	0.94	0.91	1.03	17	0.67	N-81°-E	
1	175	619・620-201～203	176土坑より新	B	b	1.34	1.05	1.28	23	1.18	N-53°-E	
1	176	619・620-202・203	175土坑より旧	A	a	1.53	(1.30)	(1.18)	28	[1.13]	N-64°-E	
1	178	628～630-212～214		A	e	1.45	1.39	1.04	31	1.52	N-70°-W	
1	184	589・590-240・241		A	b	0.95	0.95	1.00	18	0.73	N-79°-E	
1	187	562・563-234～236	841ピット	A	a	1.21	1.07	1.13	77	1.02	N-31°-W	
1	189	587・588-240・241		A	a	1.46	1.39	1.05	36	1.59	N-82°-W	
1	195	584～586-248～250		A	a	1.71	1.52	1.13	21	1.96	N-69°-E	
1	197	570・571-236・237		A	b	0.83	0.76	1.09	13	0.49	N-85°-E	
1	198	576・577-237・238		A	a	1.02	1.00	1.02	21	0.79	N-57°-E	
1	199	576・577-240・241	217土坑	A	a	(1.15)	0.91	(1.26)	15	(0.88)	N-27°-E	
1	200	577-239・240		A	b	0.86	0.79	1.09	12	0.55	N-1°-W	
1	201	578・579-241・242	202土坑より新	A	b	0.94	0.83	1.13	13	0.63	N-75°-W	
1	202	578・579-240・241	201土坑より旧	D	b	1.25	(1.21)	(1.03)	27	(1.17)	N-77°-W	
1	203	581-245		A	b	0.69	0.65	1.06	10	0.36	N-70°-E	
1	204	575・576-245・246		C	c	0.89	0.86	1.03	15	0.65	N-80°-E	
1	205	572・573-248・249		A	a	0.93	0.81	1.15	20	0.54	N-29°-W	
1	206	573・574-234・235		E	c	1.18	0.49	2.41	15	0.46	N-15°-E	
1	208	583・584-241・242	209土坑より新	A	a	1.22	1.08	1.13	29	1.07	N-66°-W	
1	209	584・585-240～242	208土坑より旧	A	b	1.44	(1.34)	(1.07)	32	(1.53)	N-86°-W	
1	210	575・576-242・243		D	c	0.78	0.76	1.03	20	0.48	N-4°-E	
1	211	576・577-242・243		A	b	0.88	0.83	1.06	13	0.55	N-90°	
1	212	580-247・248		A	b	0.78	0.71	1.10	16	0.44	N-28°-W	

第Ⅲ章 検出された遺構と出土遺物

区	No.	位置(Gr)	重複	平面 形態	断面 形態	長径 m	短径 m	長径/ 短径	深さ cm	面積 ㎡	主軸方位	備考
1	213	578・579-246・247		A	a	1.20	1.08	1.11	32	1.00	N-2°-E	
1	214	576・577-247・248	215土坑より新	C	b	1.29	1.15	1.12	29	1.28	N-82°-E	
1	215	577・578-247・248	214土坑より旧	G	b	0.75	[0.72]		25	(0.44)	N-84°-E	
1	217	575・576-240・241	199土坑	A	a	1.11	1.10	1.01	20	0.97	N-14°-W	
1	219	570・571-249・250		A	a	0.90	0.83	1.08	28	0.61	N-53°-W	
1	220	573・574-249・250		A	a	1.09	1.07	1.02	39	0.90	N-86°-E	
1	221	576・577-249・250		A	b	0.98	0.93	1.05	9	0.60	N-73°-E	
1	222	564・565-250・251		A	b	0.89	0.79	1.13	29	0.54	N-56°-W	
1	223	565・566-251		A	a	0.65	0.63	1.03	25	0.33	N-20°-W	
1	224	570-253・254		A	c	0.54	0.54	1.00	14	0.22	N-13°-W	
1	225	575・576-251・252		A	a	1.15	1.03	1.12	21	0.95	N-41°-W	
1	226	566・567-253・254		B	a	1.00	0.80	1.25	44	0.61	N-4°-E	
1	231	562-247		B	a	0.66	0.53	1.25	20	0.27	N-62°-E	
1	237	602・603-249・250		A	b	1.26	[1.01]		18	[1.02]	N-44°-E	
1	238	600・601-245・246		A	a	1.17	1.05	1.11	29	0.95	N-42°-E	中世土坑墓
1	239	601・602-245～247	240土坑より旧	B	b	1.64	(1.27)	(1.29)	20	(1.74)	N-57°-W	
1	240	602・603-245・246	239土坑より新、241土坑より旧	A	a	1.18	(1.05)	(1.12)	30	(0.98)	N-33°-E	
1	241	602・603-244・245	240土坑より新	A	a	1.14	1.02	1.12	13	0.92	N-50°-W	
1	242	585・586-240・241		B	a	0.76	0.71	1.07	24	0.42	N-64°-W	
1	243	567-255・256		A	c	0.52	0.48	1.08	21	0.19	N-87°-W	
1	248	563・564-240・241		A	a	1.10	1.00	1.10	21	0.90	N-78°-W	
1	249	577・578-256・257		A	c	0.71	0.71	1.00	18	0.38	N-26°-E	
1	251	583・584-260・261		A	a	0.92	0.85	1.08	23	0.65	-	
1	252	572・573-242		A	a	1.01	0.97	1.04	43	0.76	N-88°-W	
1	253	589・590-255・256		A	b	0.98	(0.92)	(1.07)	24	(0.71)	N-58°-W	
1	254	591・592-242		A	e	0.74	0.72	1.03	28	0.44	N-76°-E	
1	257	593～595-256・257		A	e	1.34	1.14	1.18	32	1.26	N-7°-E	
1	258	593・594-254・255		A	b	1.15	1.13	1.02	35	1.01	N-80°-W	
1	261	587～589-259・260		A	a	1.41	1.38	1.02	23	1.49	-	
1	262	578-266		B	c	0.55	0.34	1.62	30	0.23	N-37°-E	
1	263	588・589-261・262		A	a	1.34	1.30	1.03	32	1.36	N-70°-E	
1	264	592～594-253・254		A	b	1.35	1.23	1.10	20	1.30	N-4°-W	
1	265	585・586-236・237		A	a	0.78	0.68	1.15	20	0.45	N-2°-W	
1	266	593・594-232		A	e	0.83	0.81	1.02	53	0.51	-	
1	270	589～591-242～244		A	a	1.78	1.74	1.02	41	2.41	-	
1	271	588・589-248～250		B	a	1.22	0.96	1.27	43	0.94	N-73°-W	
1	272	593～595-238・239		A	b	1.32	1.13	1.17	23	1.25	N-2°-W	
1	273	574・575-257・258		A	a	0.95	0.88	1.08	21	0.70	N-22°-E	
1	275	580・581-246		A	a	0.89	0.87	1.02	14	0.58	N-3°-E	
1	276	592～594-247・248		B	e	1.52	1.11	1.37	41	1.33	N-20°-E	中世土坑墓
1	278	588・589-237・238		A	c	0.82	0.77	1.06	37	0.49	N-28°-E	
1	281	594・595-239～241		A	a	1.16	1.15	1.01	34	1.10	N-90°	
1	284	574・575-259		C	a	0.69	0.61	1.13	29	0.37	N-4°-W	
1	285	599・600-241・242		D	a	1.03	0.85	1.21	38	0.77	N-23°-E	中世土坑墓
1	286	599・600-239・240		D	a	1.07	0.71	1.51	39	0.71	N-4°-E	中世土坑墓
1	289	594・595-248～250		E	a	2.25	0.67	3.36	17	1.34	N-85°-E	
1	290	576・577-255～257		A	a	1.36	1.32	1.03	41	1.41	N-48°-W	
1	294	560・561-255・256		A	a	1.13	0.97	1.16	45	0.86	N-40°-W	
1	298	606-183	1036ピット	A	a	0.64	0.54	1.19	27	0.26	N-81°-E	
1	299	569・570-217・218		C	a	1.22	1.16	1.05	48	1.16	N-72°-W	
1	306	585・586-250～252		B	c	1.73	1.32	1.31	27	1.82	N-82°-W	
1	307	565-268・269		A	c	0.92	[0.53]		72	[0.58]	N-71°-W	
1	308	564・565-265・266	1042ピット	A	a	1.02	1.00	1.02	39	0.83	N-76°-W	
1	309	565・566-264・265		A	a	0.70	0.62	1.13	18	0.33	N-90°	

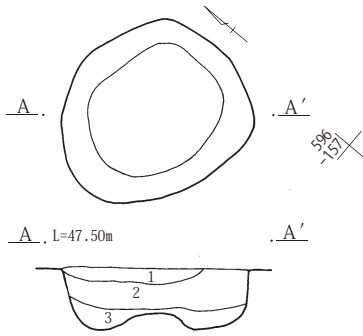
区	No.	位置(Gr)	重複	平面 形態	断面 形態	長径 m	短径 m	長径/ 短径	深さ cm	面積 ㎡	主軸方位	備考
1	314	592・593-212・213		D	a	1.22	1.15	1.06	35	1.16	N-90°	
1	315	592・593-250・251	35溝	B	b	1.36	0.94	1.45	31	1.09	N-3° -W	中世土坑墓
1	319	575・576-214・215		A	b	0.91	0.89	1.02	29	0.65	N-66° -E	
1	320	591・592-251・252		A	b	1.02	1.00	1.02	10	0.79	N-90°	
3	22	738・739-009・010		A	c	1.13	1.02	1.11	21	0.88	N-40° -W	
3	23	737 -009		B	e	0.63	0.52	1.21	43	0.23	N-39° -W	
3	24	738・739-007・008		A	b	1.52	1.42	1.07	65	1.70	N-57° -W	
3	25	740・741-000・001		A	c	0.63	0.57	1.11	18	0.26	N-41° -W	
3	26	743・744-001～003		D	a	(1.54)	1.24	(1.24)	24	[1.27]	N-77° -W	
3	27	745～747-003～005		D	b	[2.08]	1.13		18	[1.97]	N-56° -W	
3	28	805～807-020・021		B	b	1.39	1.05	1.32	33	1.27	N-22° -E	
3	29	797・798-016		A	a	0.90	0.88	1.02	23	0.65	N-85° -E	
3	30	796・797-014・015		A	e	0.85	0.82	1.04	24	0.52	N-73° -W	
3	31	788・789-011・012	32号土坑	A	a	1.17	1.14	1.03	21	1.01	N-17° -E	
3	32	789 -011・012	31号土坑	B	a	1.32	(1.02)	(1.29)	25	[1.04]	N-87° -W	
3	33	786 -011・012		A	b	0.95	0.85	1.12	10	0.65	N-51° -E	
3	34	787 -010		C	e	0.85	0.72	1.18	34	0.50	N-88° -E	
3	35	782・783-012・013		A	b	0.91	0.79	1.15	72	0.57	N-10° -W	
3	36	783 -010		C	b	0.96	0.84	1.14	7	0.57	N-34° -W	
3	37	787・788-015・016		A	a	0.93	0.84	1.11	30	0.62	N-49° -E	
3	39	780・781-996～998		A	a	1.30	(1.28)	(1.02)	35	[1.01]	N-35° -W	
3	40	779・780-998		A	b	0.81	0.77	1.05	13	0.48	N-70° -E	
3	41	777・778-012・013	26号溝	A	b	1.08	(1.03)	(1.05)	20	[0.89]	N-63° -E	
3	42	775・776-004・005		A	a	0.97	0.97	1.00	31	0.73	-	
3	43	777・778-002・003		A	b	1.06	1.02	1.04	16	0.86	N-12° -W	
3	44	775・776-012・013		A	a	1.21	1.16	1.04	29	1.08	N-62° -E	
3	45	780～782-003～005	26号溝	E	b	2.24	0.88	2.55	22	1.52	N-37° -E	
3	46	773 -010		B	b	0.74	0.54	1.37	33	0.33	N-57° -W	
3	47	768・769-011～013		F	b	1.28	1.25	1.02	5	1.26	N-63° -W	
3	48	772・773-005・006		C	b	1.01	0.91	1.11	18	0.76	N-74° -W	
6	37	943・944-799・800		A	a	0.73	0.68	1.07	19	0.39	N-31° -W	
6	38	937・938-805・806	40溝	A	c	0.70	0.63	1.11	14	0.34	N-27° -E	
6	39	934・935-796	48溝	B	b	0.60	0.41	1.46	11	0.18	N-53° -W	
6	40	931・932-801		B	a	0.73	0.60	1.22	24	0.33	N-43° -E	
6	41	934 -789		A	a	0.42	0.40	1.05	22	0.13	N-71° -W	
6	42	930・931-786		B	b	0.57	0.47	1.21	11	0.21	N-28° -W	
6	45	919・920-830・831		A	f	0.99	0.95	1.04	136	0.73	N-48° -E	
6	119	926・927-886・887		A	e	0.96	0.96	1.00	30	0.71	-	
6	120	925・926-887・888		B	e	0.73	0.56	1.30	65	0.33	N-38° -E	
6	121	924・925-888・889	873ピット	A	e	0.57	0.56	1.02	31	0.24	N-49° -E	
6	122	925・926-883・884		B	b	1.17	0.90	1.30	61	0.80	N-28° -E	
6	123	927 -890		A	f	0.39	0.36	1.08	44	0.11	N-14° -E	
6	124	927・928-889		A	c	0.44	0.41	1.07	38	0.13	N-73° -W	
6	125	931・932-875・876		A	a	1.08	1.06	1.02	31	0.90	N-33° -E	
6	126	915・916-902・903		D	b	(1.47)	1.02	(1.44)	21	[1.03]	N-60° -E	
6	127	925・926-901		A	e	0.61	0.52	1.17	34	0.25	N-43° -E	
6	128	926 -889・890		A	c	0.32	0.30	1.07	23	0.13	N-30° -W	

第三章 検出された遺構と出土遺物



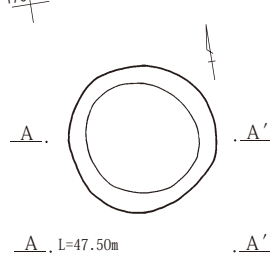
第419図 中世以降土坑 1

1区28号土坑



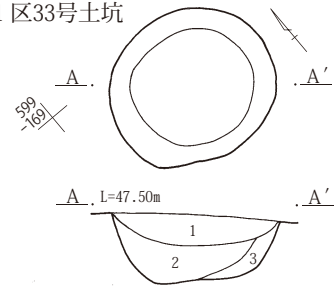
- 1 暗褐 ロームB少量混じり。
- 2 暗褐 ロームB小中量、ロームB大量混。しまり弱。
- 3 暗褐 ローム粒多量混。

597
-170
1区32号土坑



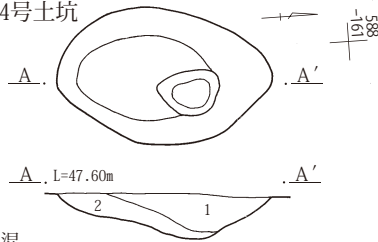
- 1 暗褐 As-B混。砂質。

1区33号土坑



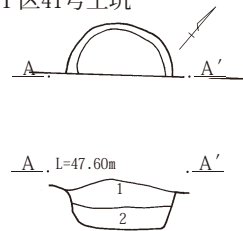
- 1 暗褐 ロームB混。
- 2 暗褐 ロームB中量混。
- 3 褐 ロームB多量混

1区34号土坑



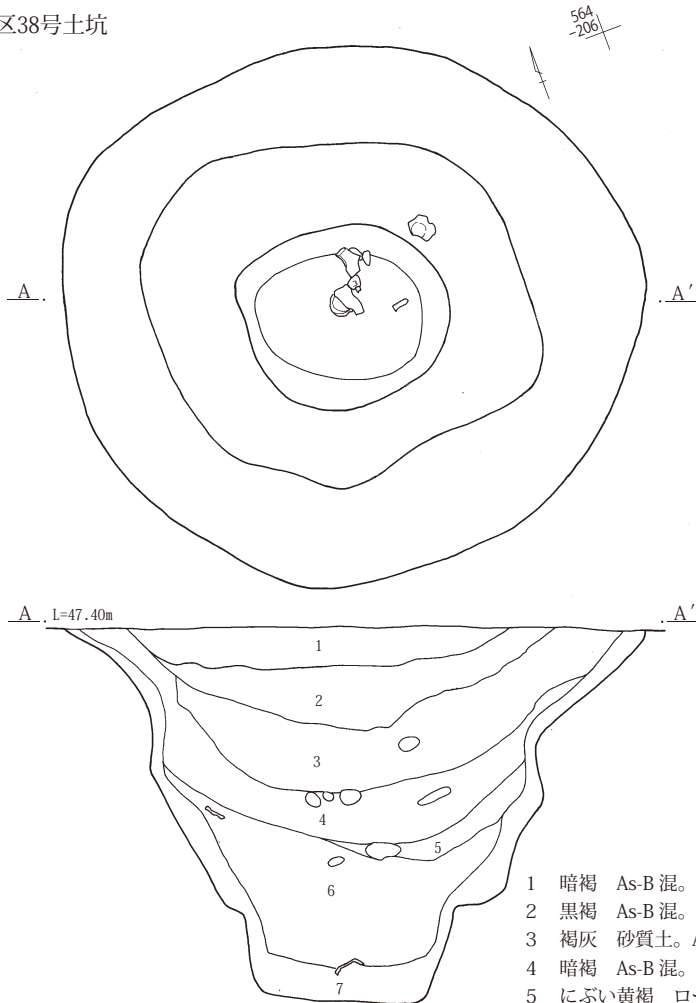
- 1 暗褐 ロームB・As-B混B混。
- 2 褐 褐灰色砂質土B混。やや砂質

1区41号土坑



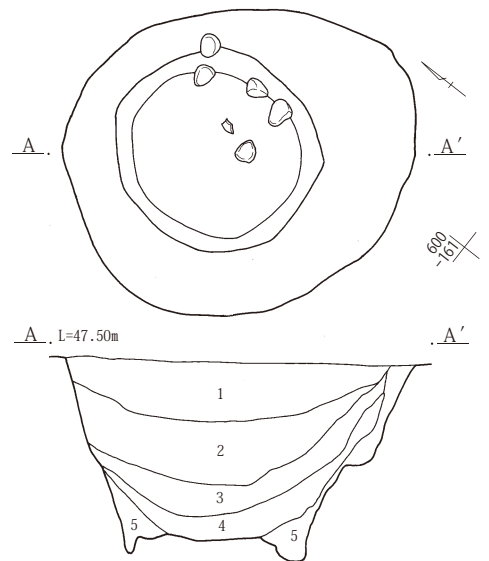
- 1 暗褐 ローム・As-B混混入。
- 2 黄褐 ローム主体。灰褐色土・As-B混混。

1区38号土坑



- 1 暗褐 As-B混。
- 2 黒褐 As-B混。ローム粒少量混。
- 3 褐灰 砂質土。As-B混。
- 4 暗褐 As-B混。粘性やや強。
- 5 にぶい黄褐 ローム主体。
- 6 黄褐 黄褐・灰 にぶい黄褐色ローム混。
- 7 にぶい黄褐 ローム主体。

1区30号土坑



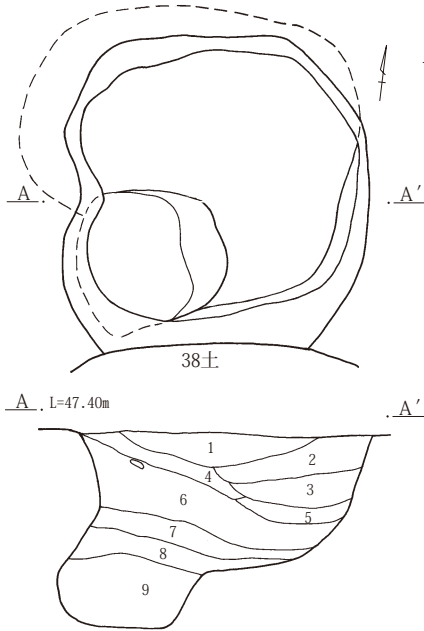
- 1 暗灰黄 砂質。
- 2 暗灰黄 砂質。ロームB中少量混。
- 3 オリーブ褐 ややしilt質。
- 4 オリーブ褐 ややしilt質。砂質ロームB混。
- 5 黄褐 オリーブ褐色土B混。砂質。

0 1:40 1m

第420図 中世以降土坑2

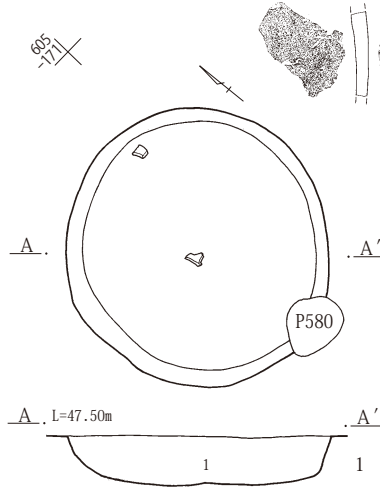
第三章 検出された遺構と出土遺物

1区39号土坑



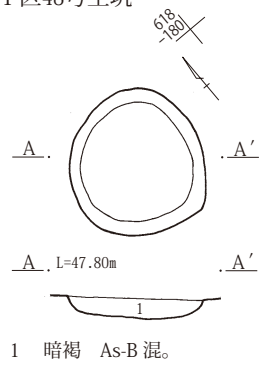
- 1 灰褐 小礫多量混。
- 2 暗褐 As-B 混。
- 3 褐 ローム主体。
- 4 黄褐 砂質ローム主体。
- 5 黄褐 砂質ローム主体。暗褐色土B混。
- 6 暗褐 As-B 混。しまり強。
- 7 灰褐 ロームと暗褐の混合。
- 8 黄灰 砂質ローム。
- 9 黄灰 8層の土と礫中混。

1区45号土坑



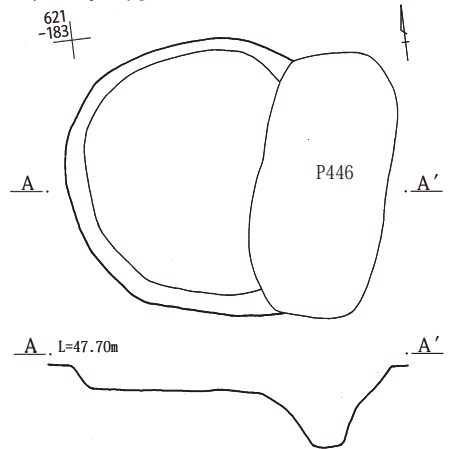
1 暗褐 As-B 混とロームの混入層。

1区48号土坑

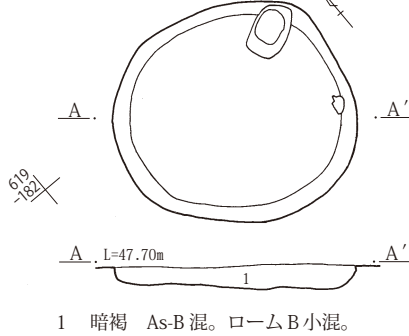


1 暗褐 As-B 混。

1区50号土坑

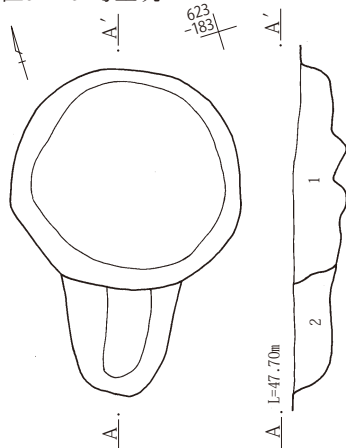


1区49号土坑



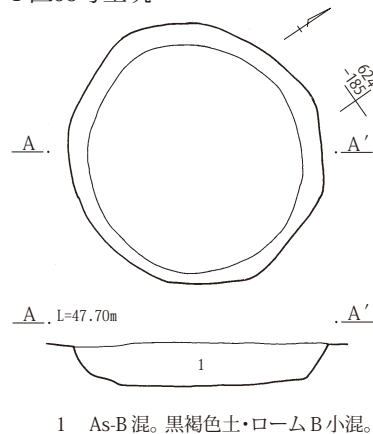
1 暗褐 As-B 混。ロームB小混。

1区51・52号土坑



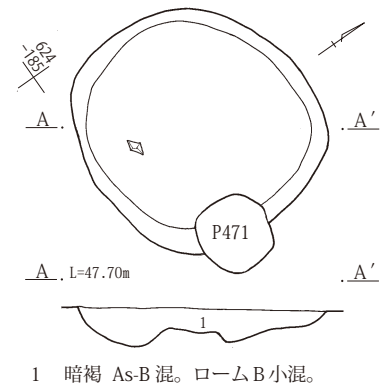
- 1 As-B 混。ロームB小混。
- 2 As-B 混。1層よりやや少ない

1区53号土坑



1 As-B 混。黒褐色土・ロームB小混。

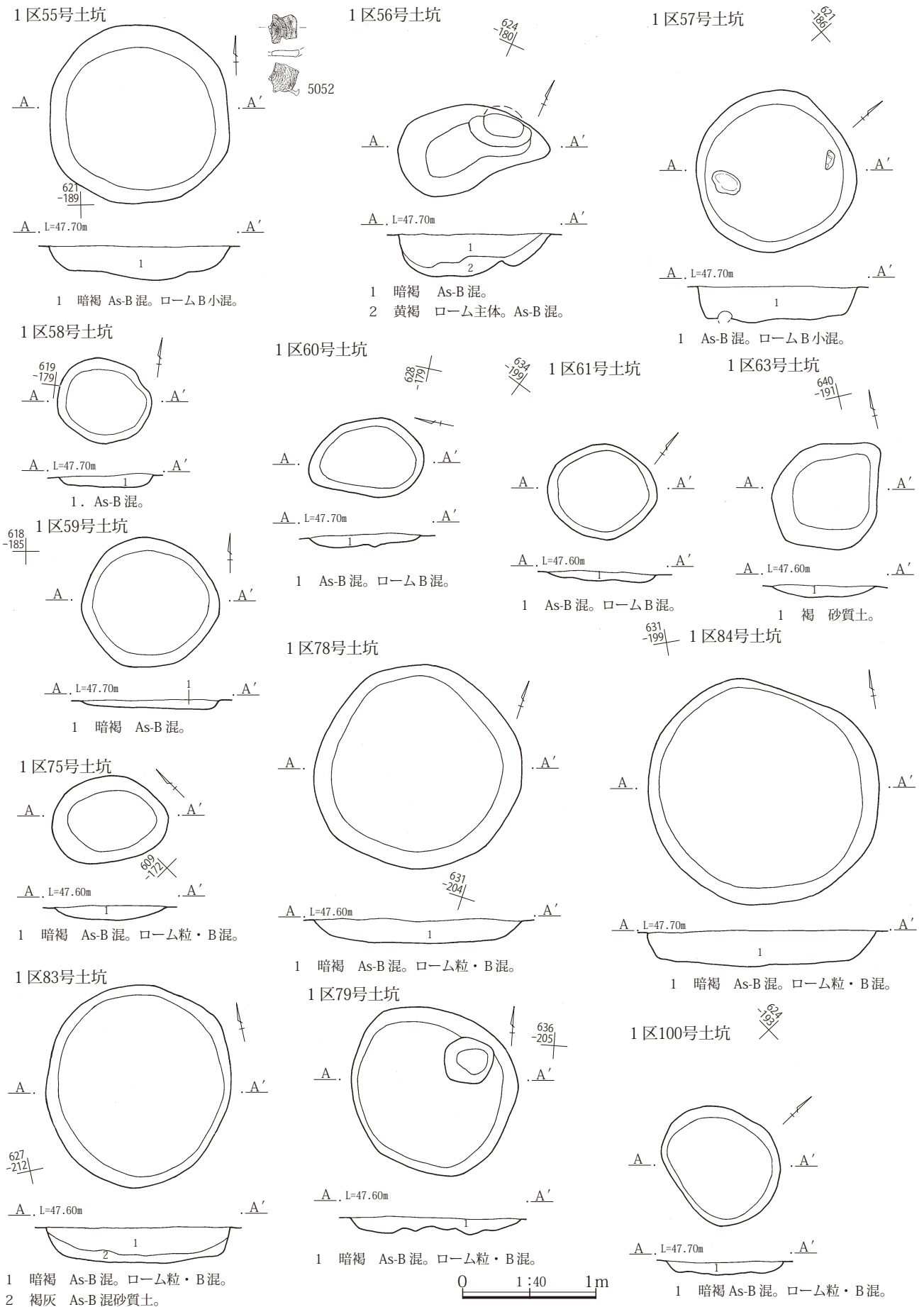
1区54号土坑



1 暗褐 As-B 混。ロームB小混。

0 1:40 1m

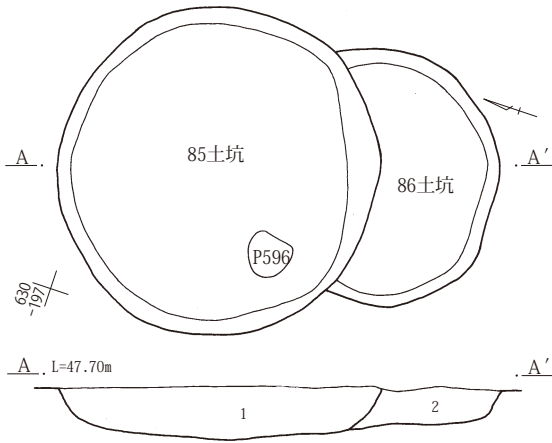
第421図 中世以降土坑3



第422図 中世以降土坑 4

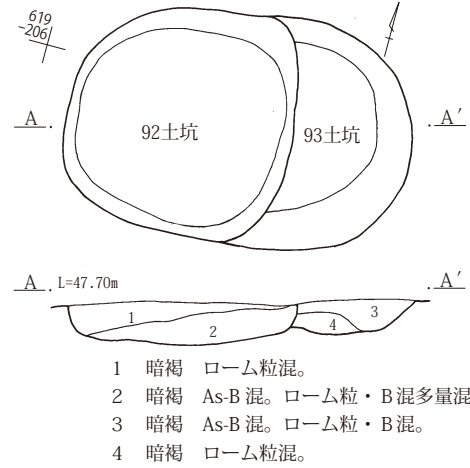
第三章 検出された遺構と出土遺物

1区85・86号土坑



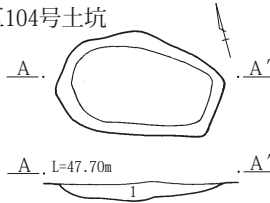
- 1 暗褐 As-B混。ローム粒・B混。
- 2 褐 As-B混。ローム粒・B混。

1区92・93号土坑



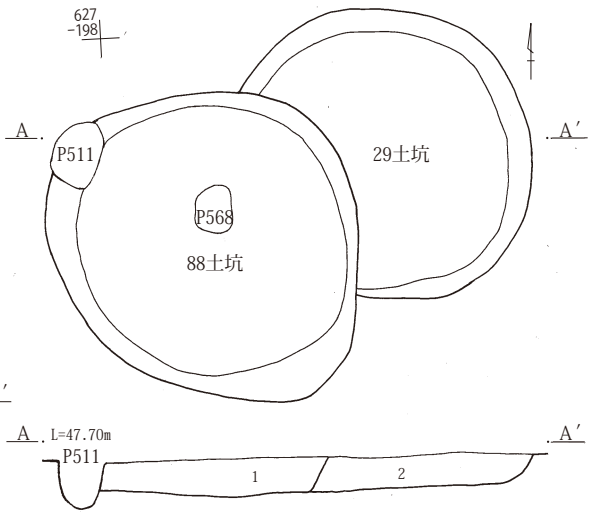
- 1 暗褐 ローム粒混。
- 2 暗褐 As-B混。ローム粒・B混多量混。
- 3 暗褐 As-B混。ローム粒・B混。
- 4 暗褐 ローム粒混。

1区104号土坑



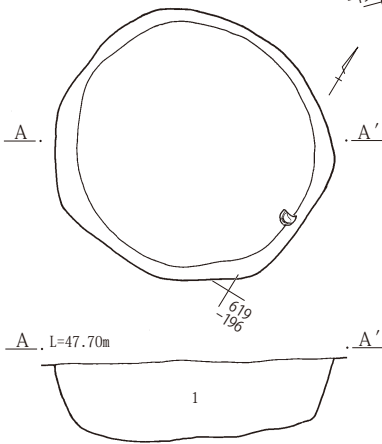
- 1 灰褐 砂質。

1区88・89号土坑



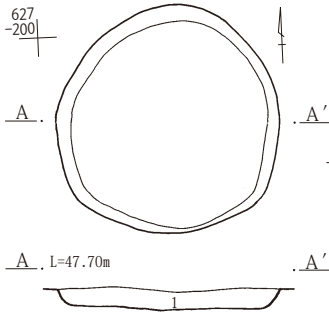
- 1 暗褐 As-B混。ローム粒・B混。
- 2 褐 As-B混。ローム粒・B混。

1区96号土坑



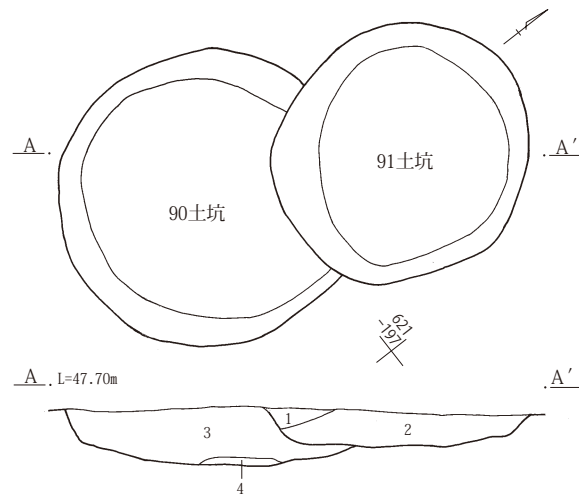
- 1 暗褐 As-B混土。ローム粒・B混。

1区87号土坑



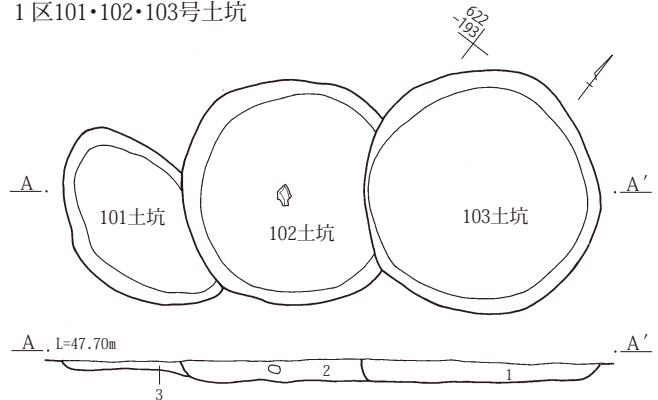
- 1 褐 As-B混。ローム粒・B混。

1区90・91号土坑



- 1 暗褐 As-B混。ローム粒・B混。砂質。
- 2 暗褐 As-B混。ローム粒・B混。
- 3 暗褐 As-B混。ローム粒・B中量混。
- 4 黄褐 ローム主体、砂質、暗褐少量混。

1区101・102・103号土坑

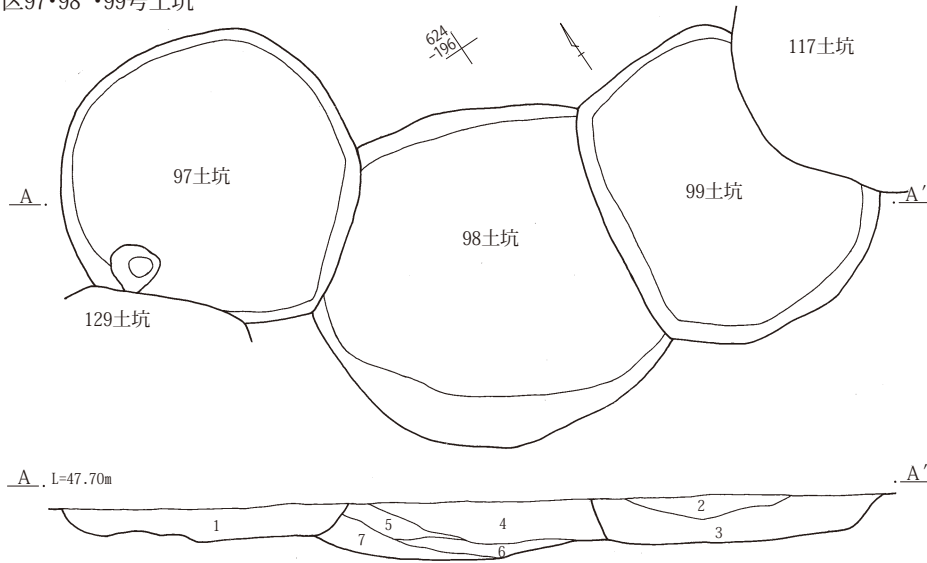


- 1 暗褐 As-B混。ロームB混。
- 2 褐 As-B混。ロームB混。
- 3 暗褐 As-B混。ロームB多量混。砂質。

0 1:40 1m

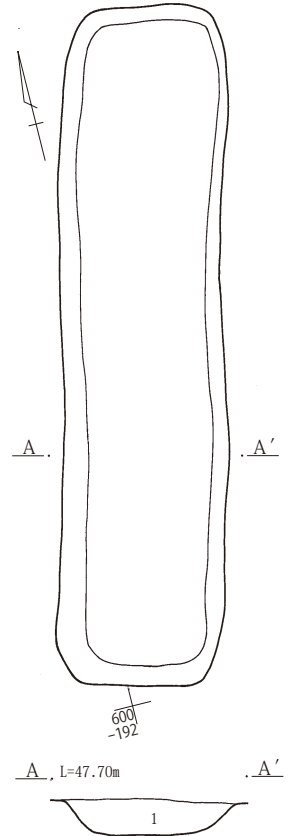
第423図 中世以降土坑5

1区97・98・99号土坑



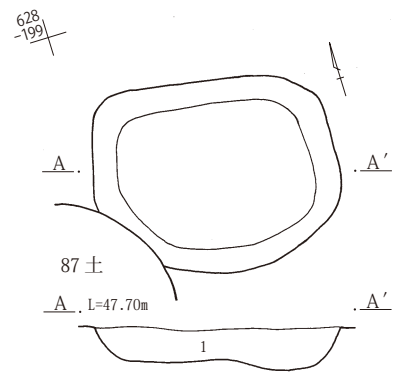
- 1 暗褐 As-B 混。ローム粒・B混。
- 2 暗褐 As-B 混。ローム粒・B多量混。
- 3 暗褐 As-B 混。ローム粒・B・暗褐色土B混。
- 4 暗褐 As-B 多量混。ローム粒・B混。
- 5 暗褐 As-B・ローム粒・B中量混。
- 6 暗褐 As-B 混。ローム粒・B少量混。
- 7 暗褐 As-B 混。ローム粒・B混。

1区110号土坑



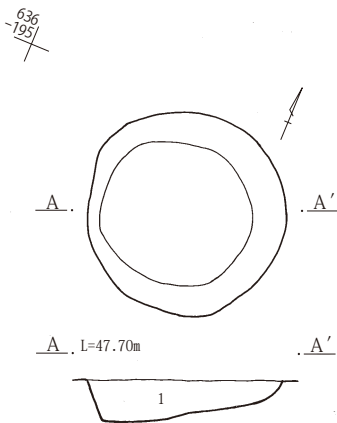
- 1 暗褐 As-B 混。ローム粒少量混。

1区118号土坑



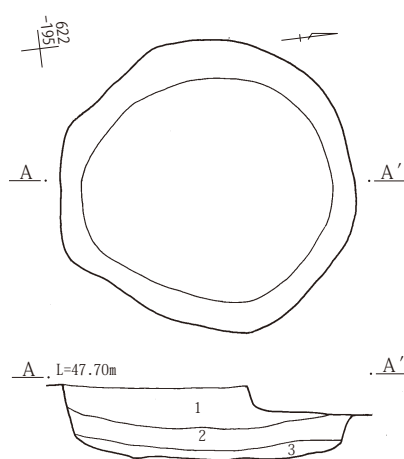
- 1 暗褐 As-B 混。黒褐色土・ロームB混。

1区106号土坑



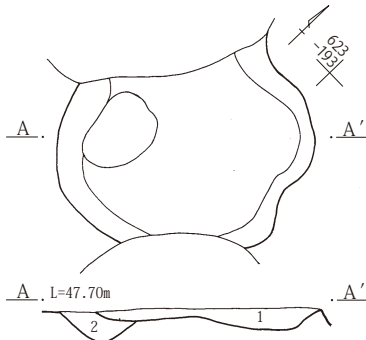
- 1 暗褐 As-B 混。ロームB混。砂質。

1区117号土坑



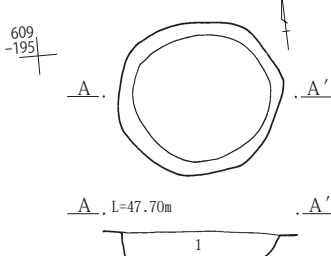
- 3 暗褐 As-B 混。黒褐色土・ロームB多量混。
- 4 暗褐 As-B 混。ローム・灰褐色土B混
- 5 暗褐 As-B 混。ローム・灰褐色土B混。粘性やや有り

1区120号土坑



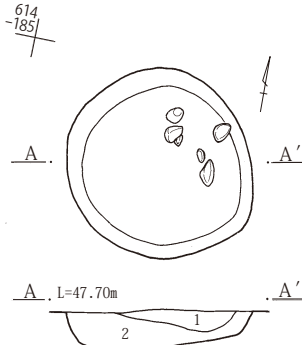
- 1 暗褐 As-B 主体、ロームB少量混
- 2 暗褐 ロームB少量混。

1区122号土坑



- 1 暗褐 As-B 混。炭化物・ローム粒混。

1区123号土坑

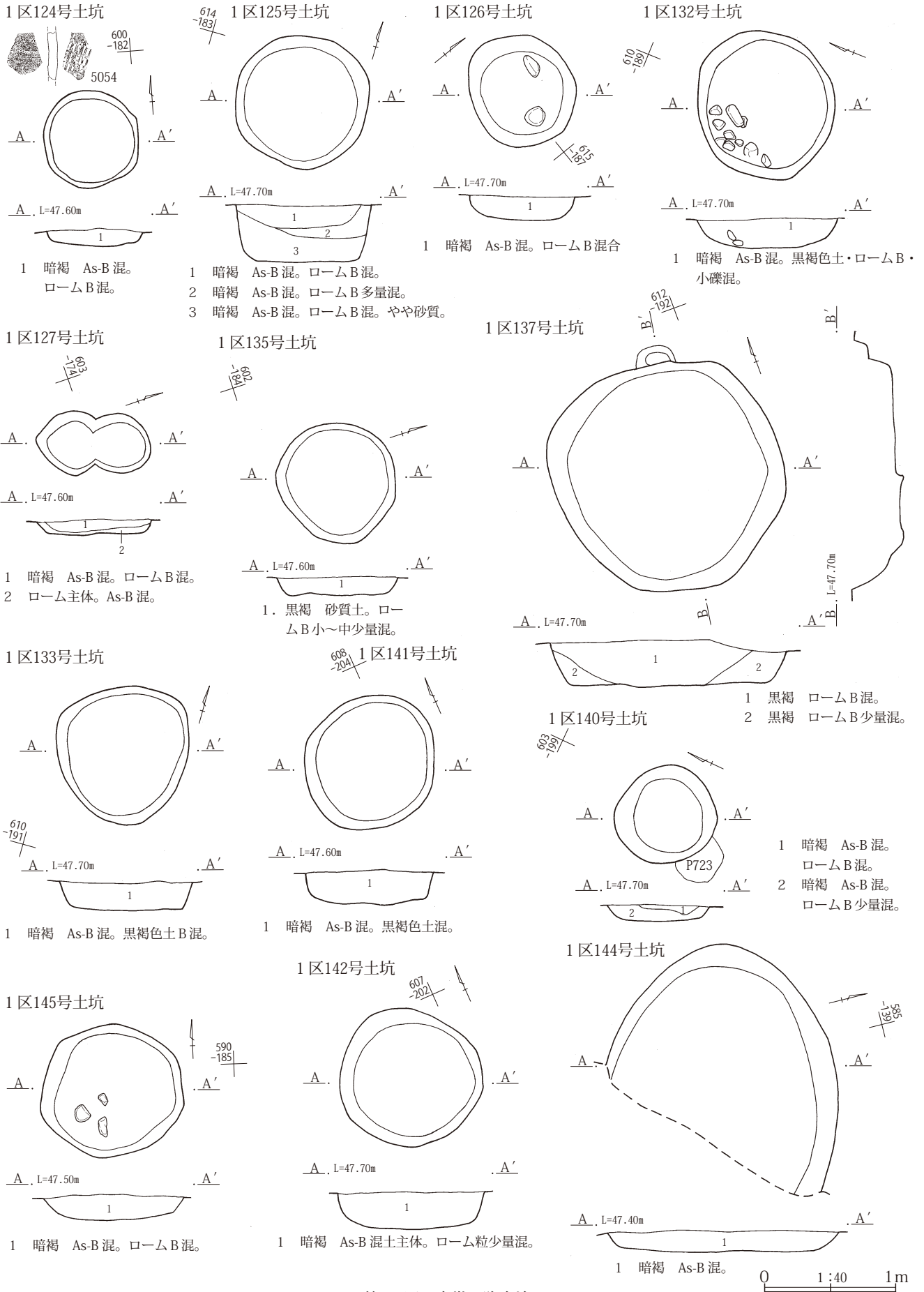


- 1 暗褐 As-B 混。ローム・砂利混。
- 2 暗褐 As-B 混。黒褐色土B混。



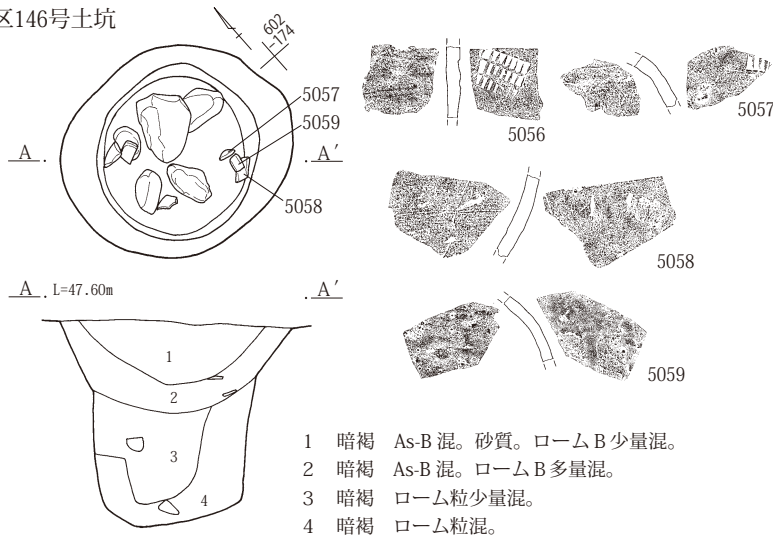
第424図 中世以降土坑6

第三章 検出された遺構と出土遺物



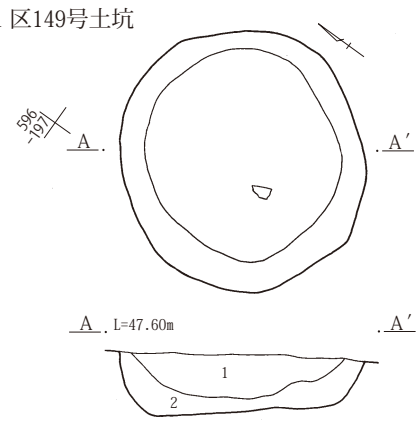
第425図 中世以降土坑7

1区146号土坑



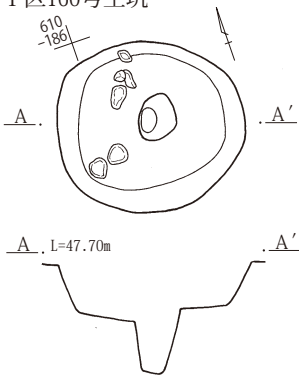
- 1 暗褐 As-B 混。砂質。ロームB少量混。
- 2 暗褐 As-B 混。ロームB多量混。
- 3 暗褐 ローム粒少量混。
- 4 暗褐 ローム粒混。

1区149号土坑

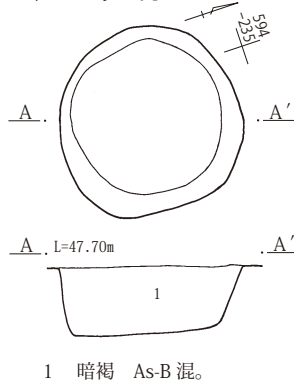


- 1 暗褐 As-B 混。ロームB混。
- 2 暗褐 As-B 混。ロームB、炭化物混。

1区160号土坑

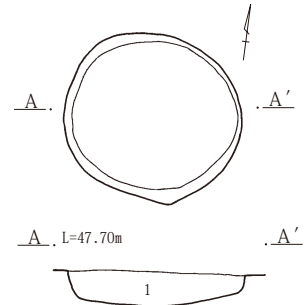


1区161号土坑



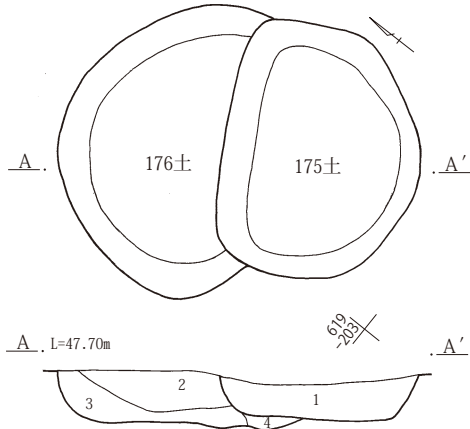
- 1 暗褐 As-B 混。

605/204 1区164号土坑

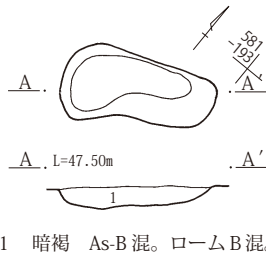


- 1 暗褐 As-B 混。黒褐色土B、砂利混。

1区175・176号土坑

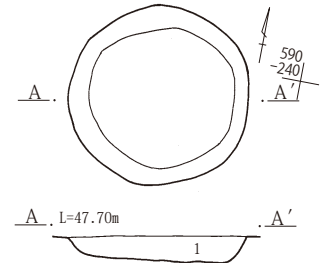


1区163号土坑



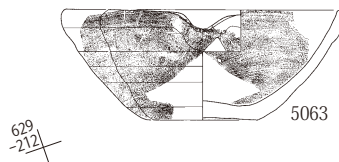
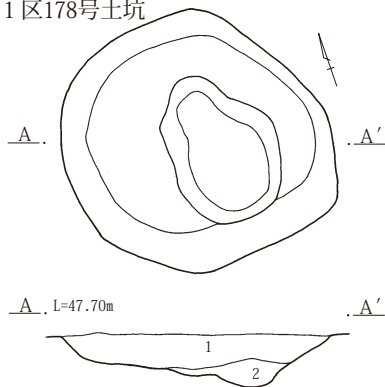
- 1 暗褐 As-B 混。ロームB混。

1区184号土坑



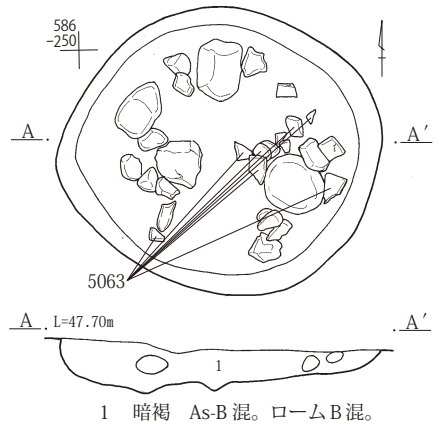
- 1 暗褐 As-B 混。黒褐色土B、砂利混。

1区178号土坑



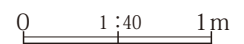
- 1 暗褐 砂質土。As-B 混。黒褐色土・ローム混。
- 2 黄褐 砂質土。As-B 混。ローム主体。暗褐色土少量混。

1区195号土坑



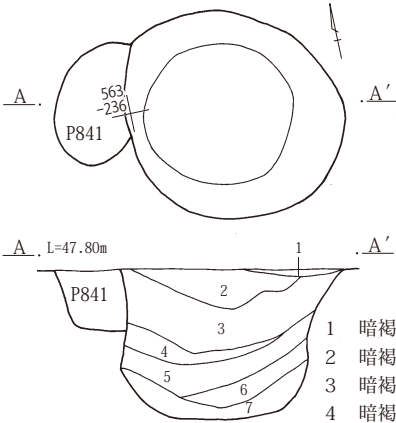
- 1 暗褐 As-B 混。ロームB混。

第426図 中世以降土坑 8



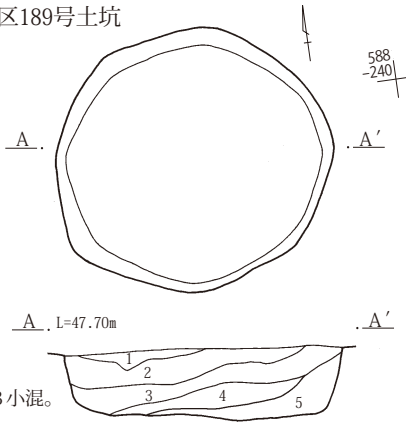
第三章 検出された遺構と出土遺物

1区187号土坑



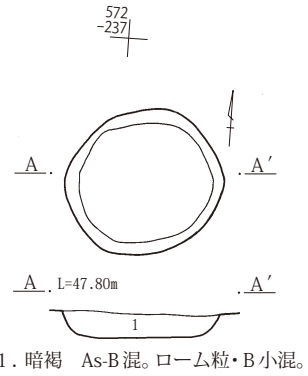
- 1 暗褐 砂質土。
- 2 暗褐 ロームB小混。
- 3 暗褐 砂質。
- 4 暗褐 ロームB小混。
- 5 暗褐 ロームB小混。
- 6 黄褐 ローム粒多量混。
- 7 黒褐 粘性やや強。
- 8 暗褐 ローム粒、ラミナ状に混。

1区189号土坑



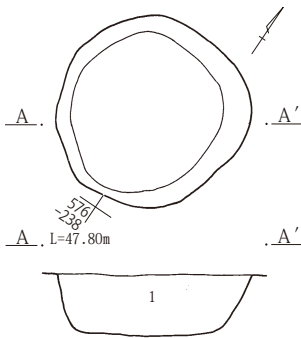
- 1 黄褐 ローム主体。砂質。
- 2 黄褐 As-B混。砂質。
- 3 黄褐 As-B混。ロームB混。砂質。
- 4 黄褐 As-B多量混。ロームB混。砂質。
- 5 黄褐 As-B混。ロームB多量混。砂質。

1区197号土坑



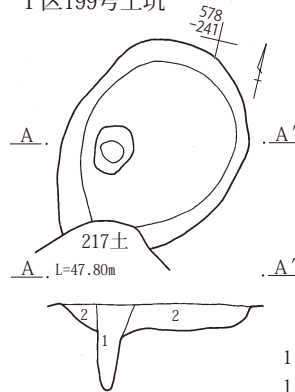
- 1 暗褐 As-B混。ローム粒・B小混。

1区198号土坑



- 1 暗褐 As-B混。ロームB小、黒褐色土B混。

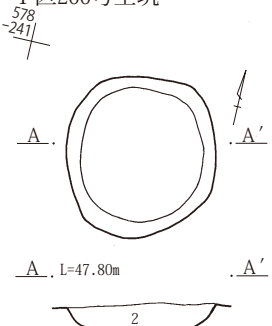
1区199号土坑



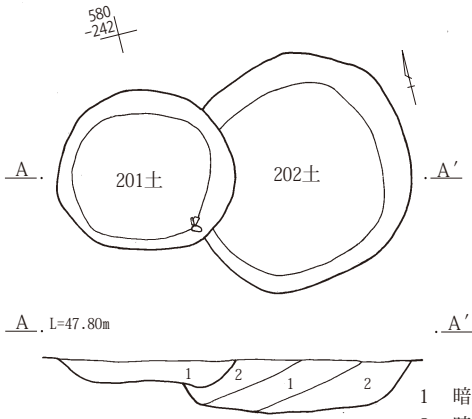
1区199・200号土坑

- 1 根痕
- 2 暗褐 As-B混。ロームB小、黒褐色土B混。

1区200号土坑

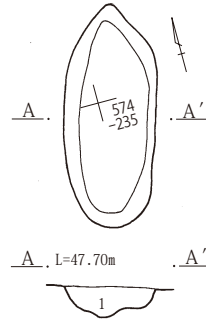


1区201・202号土坑



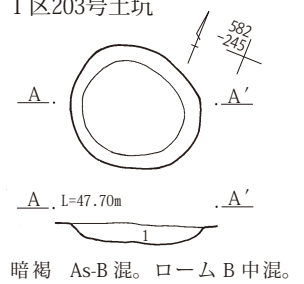
- 1 暗褐 As-B混。ロームB小混。
- 2 暗褐 As-B混。ロームB中混。

1区206号土坑



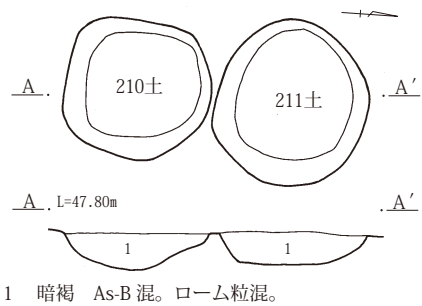
- 1 暗褐 As-B混。ローム粒混。

1区203号土坑



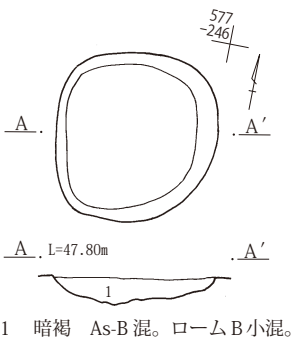
- 1 暗褐 As-B混。ロームB中混。

1区210・211号土坑



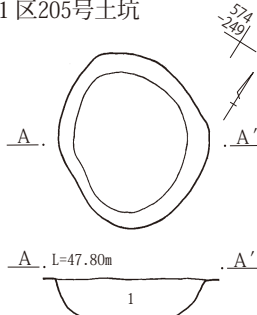
- 1 暗褐 As-B混。ローム粒混。

1区204号土坑



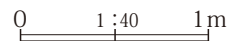
- 1 暗褐 As-B混。ロームB小混。

1区205号土坑

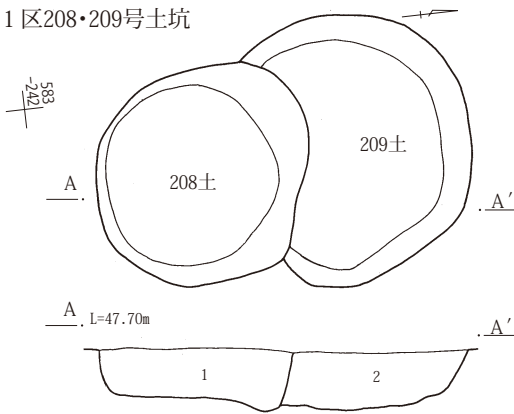


- 1 暗褐 As-B混。ロームB小多量混。

第427図 中世以降土坑9

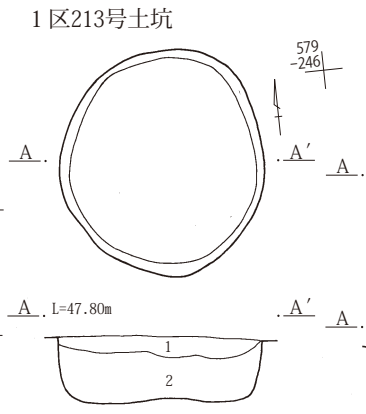


1区208・209号土坑



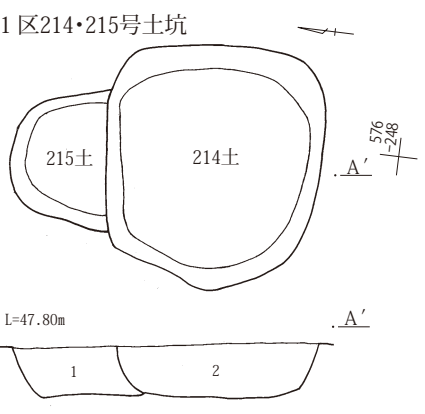
- 1 暗褐 As-B混。
- 2 暗褐 As-B混。ローム粒少量混

1区213号土坑



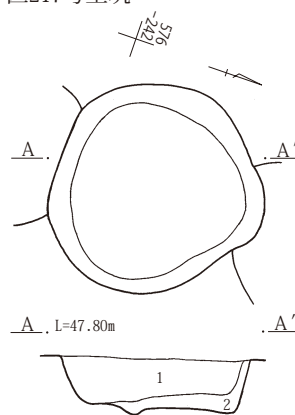
- 1 暗褐 As-B混。黄白色・黄褐色ローム混。
- 2 暗褐 As-B混。ローム粒混。

1区214・215号土坑



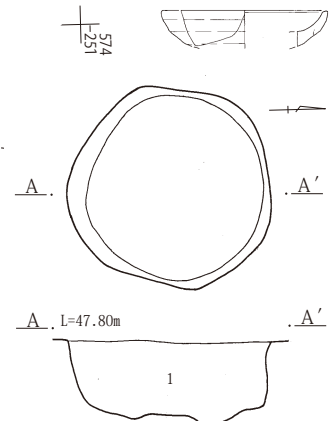
- 1 暗褐 As-B混。ローム粒混。
- 2 暗褐 As-B混。ロームB混。

1区217号土坑



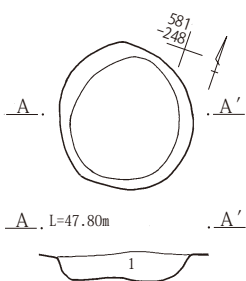
- 1 暗褐 As-B混。ローム粒混。
- 2 暗褐 As-B混。ロームラミナ状堆積。

1区220号土坑



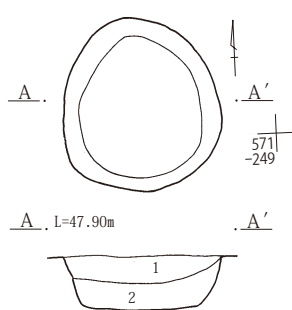
- 1 暗褐 As-B混。ローム粒多量混。

1区212号土坑



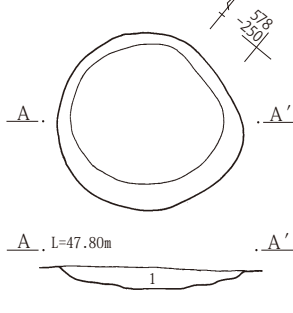
- 1 暗褐 As-B混。ローム粒混。

1区219号土坑



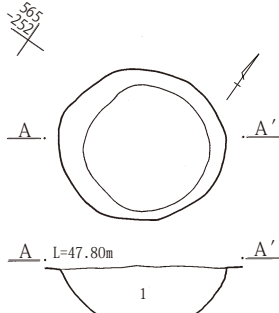
- 1 暗褐 As-B混。ローム粒混。
- 2 暗褐 As-B混。ローム粒多量混

1区221号土坑



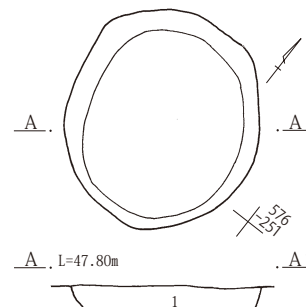
- 1 暗褐 As-B混。

1区222号土坑



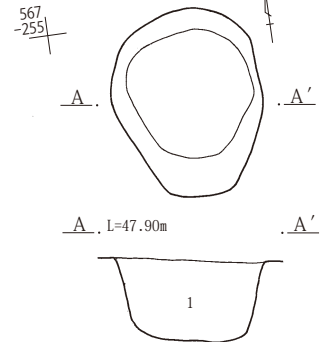
- 1 暗褐 As-B混。ローム粒多量混。

1区225号土坑



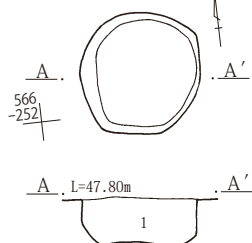
- 1 暗褐 As-B混。ローム粒混。

1区226号土坑



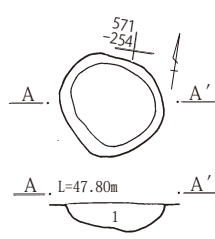
- 1 暗褐 As-B混。ローム粒・B多量混。

1区223号土坑



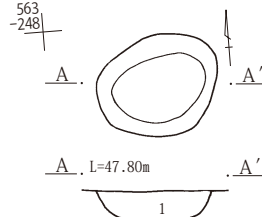
- 1 暗褐 As-B混。ローム粒多量混。

1区224号土坑

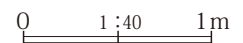


- 1 暗褐 As-B混。黒褐色土ラミナ状混。

1区231号土坑



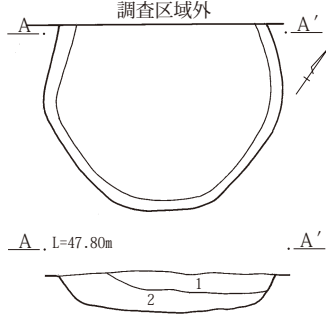
- 1 暗褐 As-B混。



第428図 中世以降土坑10

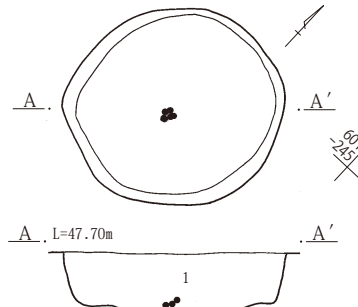
第三章 検出された遺構と出土遺物

1区237号土坑



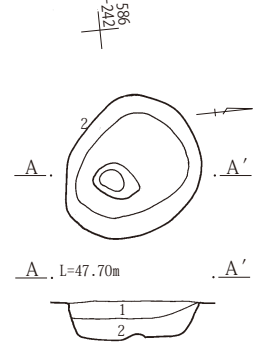
- 1 暗褐 As-B 混。ローム粒混。
- 2 暗褐 As-B 混。ローム粒B混。

1区238号土坑



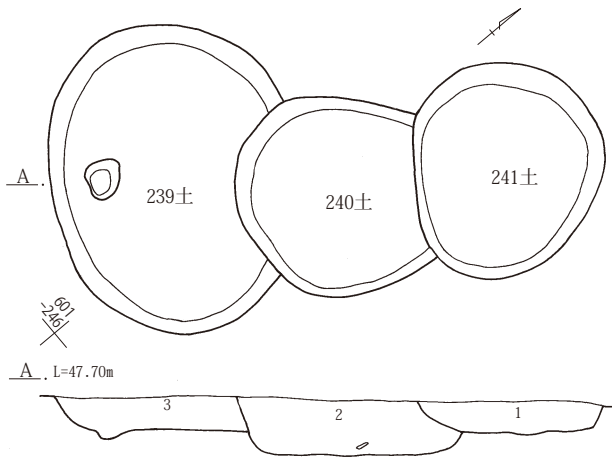
- 1 暗褐 As-B 混。ローム粒混。

1区242号土坑



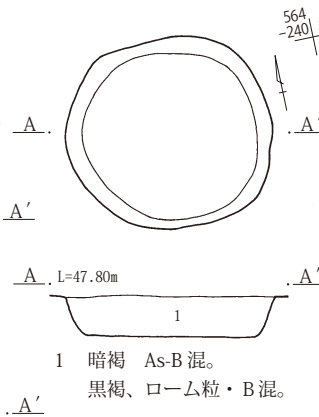
- 1 暗褐 As-B 混。黒褐色土多量混。
- 2 褐 赤褐色土・砂質土混。

1区239・240・241号土坑



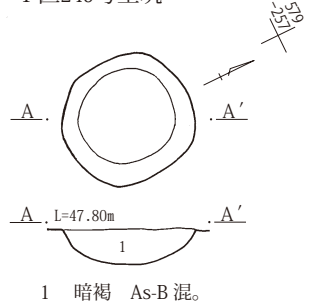
- 1 暗褐 As-B 混。ローム多量混。
- 2 暗褐 As-B 混。ローム粒、B多量混。
- 3 暗褐 As-B 混。黒褐色土、ローム粒・多量混。

1区248号土坑



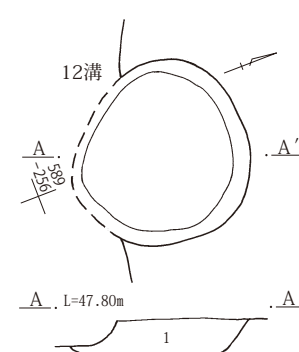
- 1 暗褐 As-B 混。黒褐、ローム粒・B混。

1区249号土坑



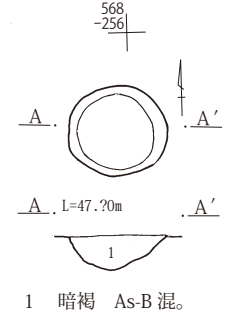
- 1 暗褐 As-B 混。

1区253号土坑



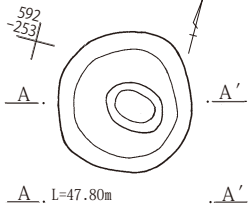
- 1 暗褐 As-B 混。ローム粒・B小混。

1区243号土坑

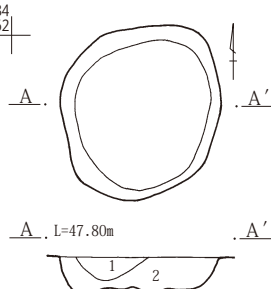


- 1 暗褐 As-B 混。

1区254号土坑

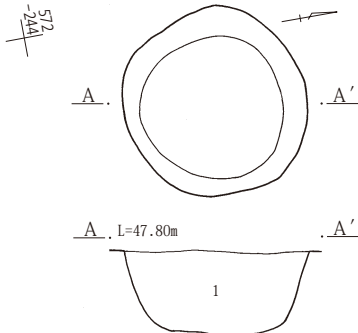


1区251号土坑



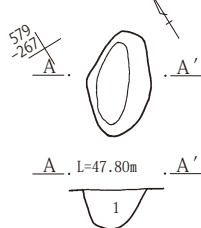
- 1 灰褐 砂質土
- 2 暗褐 As-B 混。黒褐色土ローム粒混。

1区252号土坑



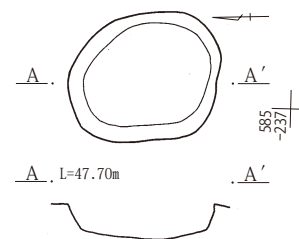
- 1 暗褐 As-B 混。

1区262号土坑

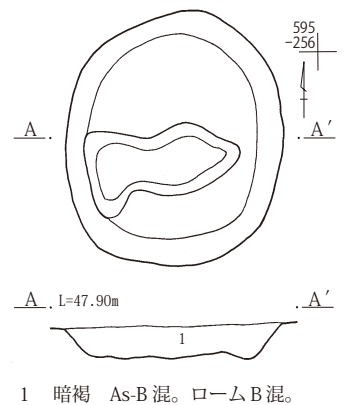


- 1 暗褐 As-B 混。ロームB混。

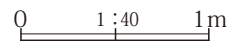
1区265号土坑



1区257号土坑

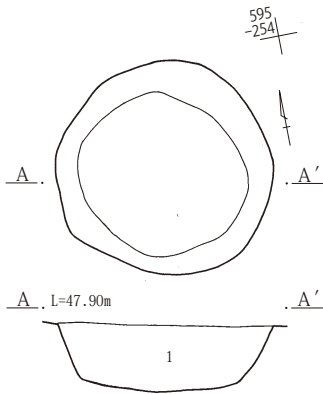


- 1 暗褐 As-B 混。ロームB混。



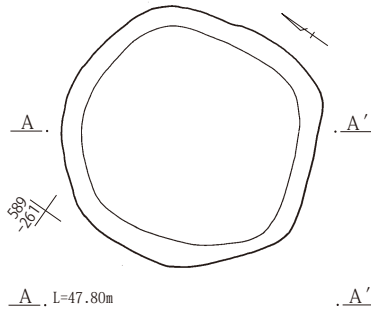
第429図 中世以降土坑11

1区258号土坑



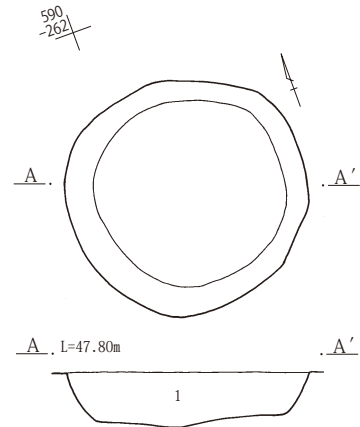
1 暗褐 As-B混。ローム粒・B小多量混。

1区261号土坑



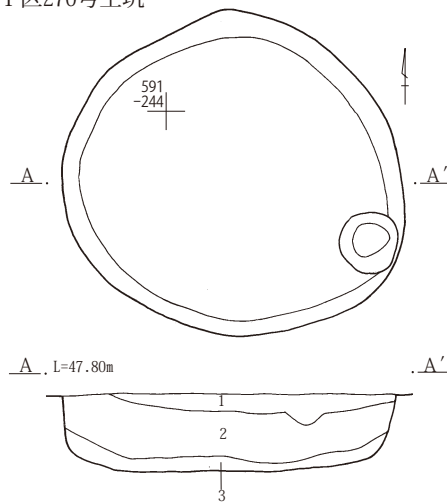
1 褐 ローム粒、ロームB小多量混。

1区263号土坑



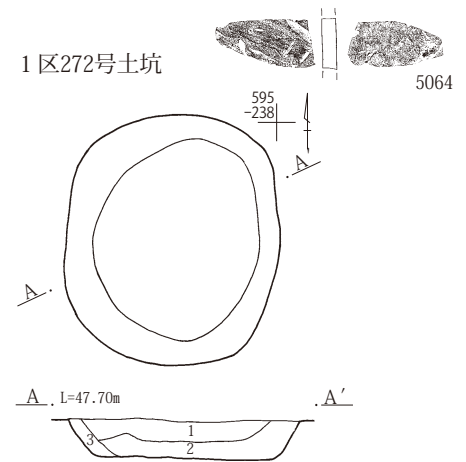
1 褐 ロームB小、ローム粒、暗褐色土混。

1区270号土坑



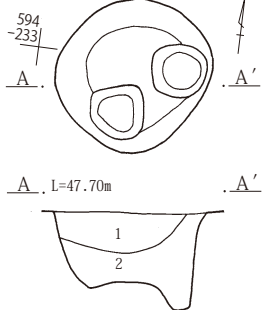
1 灰褐 砂質土。
2 暗褐 As-B混。ローム粒・B混。
3 暗褐 ローム粒・B中混。

1区272号土坑



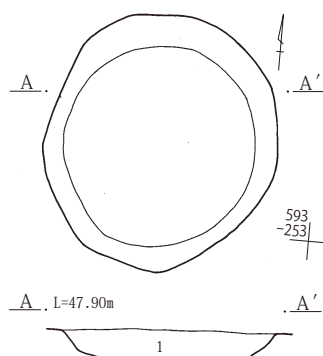
1 褐 As-B混。ローム粒混。
2 褐 As-B混土主体、ローム粒混。
3 黄褐 ローム主体、As-B混。

1区266号土坑



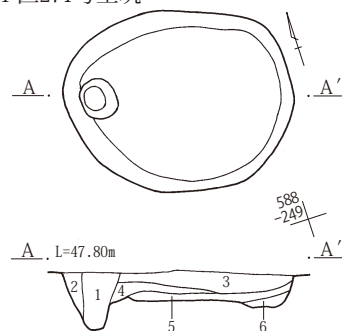
1 暗褐 As-B混。白色粒多量混。
2 暗褐 As-B混。白色粒、ロームB中混。

1区264号土坑



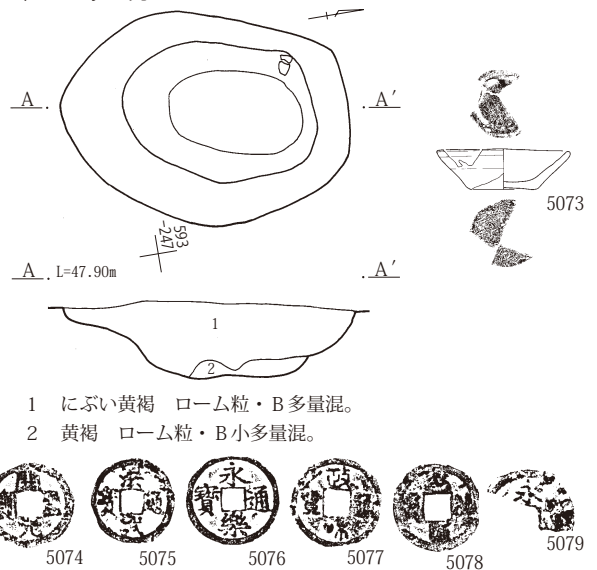
1 暗褐 As-B混。ローム粒混。

1区271号土坑



1 褐 ローム粒中量混。
2 黄褐 As-B少量混。
3 褐 As-B混。ローム粒混。
4 褐 ローム粒多量混。
5 暗褐 As-B混土主体、ローム粒混。
6 黄褐 ローム主体、As-B少量混。

1区276号土坑



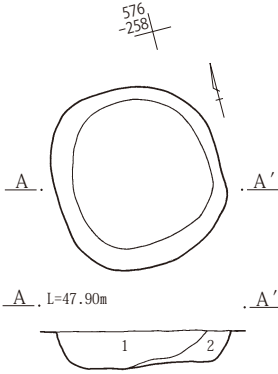
1 にぶい黄褐 ローム粒・B多量混。
2 黄褐 ローム粒・B小多量混。

第430図 中世以降土坑12

0 1:40 1m

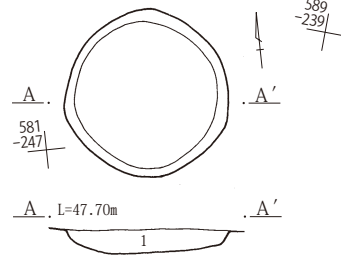
第三章 検出された遺構と出土遺物

1区273号土坑



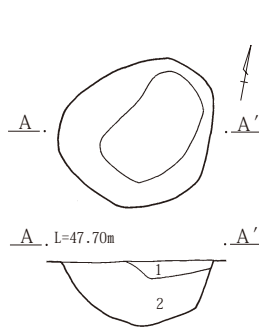
- 1 暗褐 As-B 混。黒褐色砂質土混。
- 2 暗褐 As-B 混。砂質ローム混。

1区275号土坑



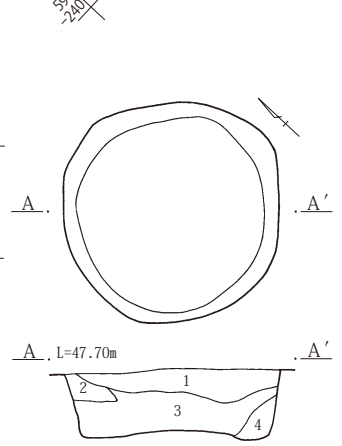
- 1 黒褐 砂質。ローム粒・B小混。

1区278号土坑



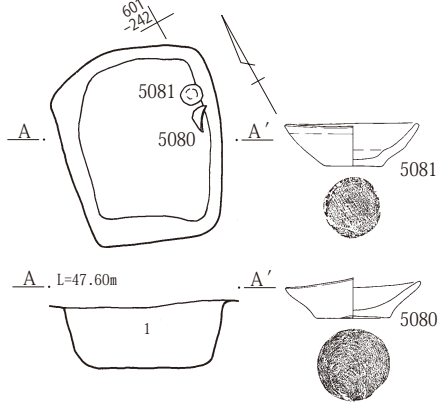
- 1 黄褐 ローム多量混。
- 2 暗褐 As-B 混土主体、ローム粒少量混。

1区281号土坑



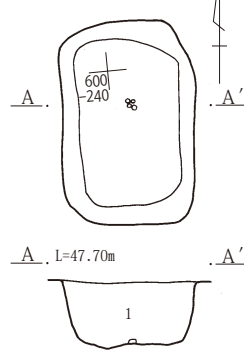
- 1 暗褐 As-B 混。ローム B 小中量混。
- 2 黄褐 ローム主体。
- 3 暗褐 As-B 混。ローム混。
- 4 暗褐 ローム B 多量混。

1区285号土坑



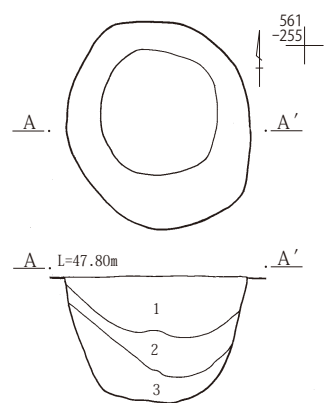
- 1 にぶい黄褐 ローム B・暗褐色土 B 混。

1区286号土坑



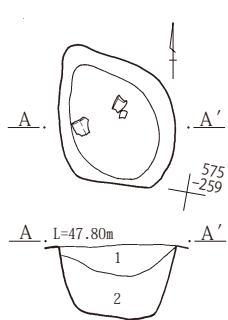
- 1 にぶい黄褐 ローム粒・B 暗褐色土 B 混。

1区294号土坑



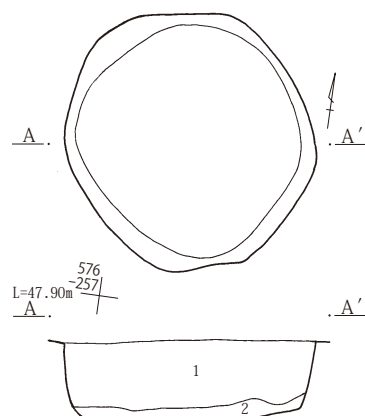
- 1 黒褐 砂質。ローム少量混。
- 2 黒褐 ローム少量混。
- 3 黒褐 ローム B 中量混。

1区284号土坑



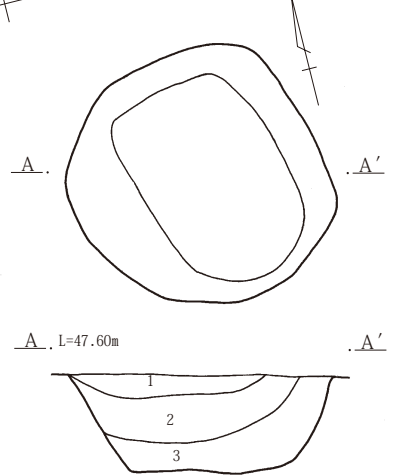
- 1 暗褐 As-B 混。
- 2 暗褐 ローム粒、炭化物少量混。

1区290号土坑



- 1 にぶい黄褐 ローム粒・B、暗褐色土 B 混。
- 2 暗褐 ローム少量混。粘性強。

1区299号土坑

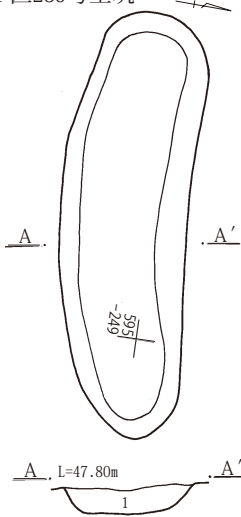


- 1 暗褐 炭化物、ローム・白色粒少量混。
- 2 暗褐 炭化物、ローム B・白色粒少量混。
- 3 暗褐 ローム粒・B 少量混。



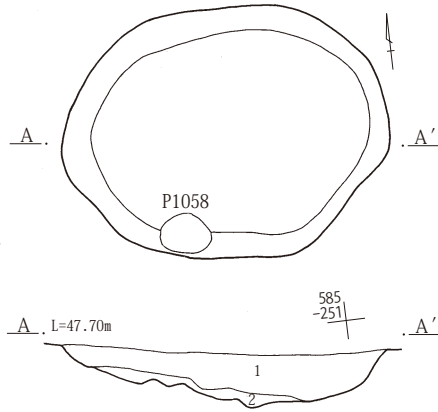
第431図 中世以降土坑13

1区289号土坑

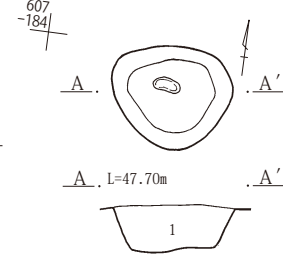


1 黒褐色土・ローム混。

1区306号土坑

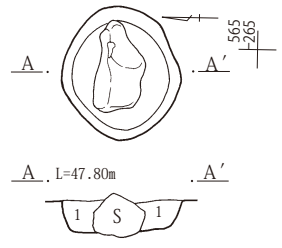


1区298号土坑



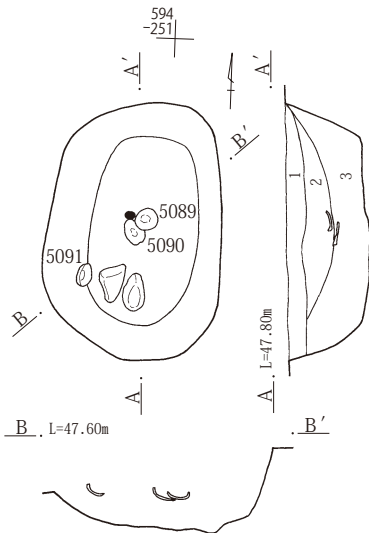
1 暗褐色 砂質。ロームB少量混。

1区309号土坑

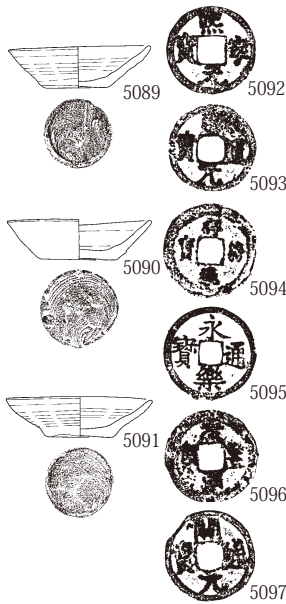


1 暗褐色 白色粒混。砂質。

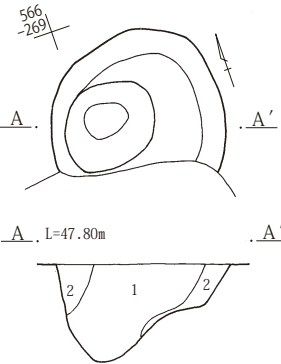
1区315号土坑



1 灰褐色 ローム粒少量混。
2 暗褐色 ローム粒・B少量混。
3 暗褐色 ローム粒・B小中量混

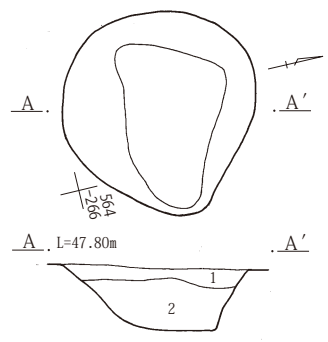


1区307号土坑



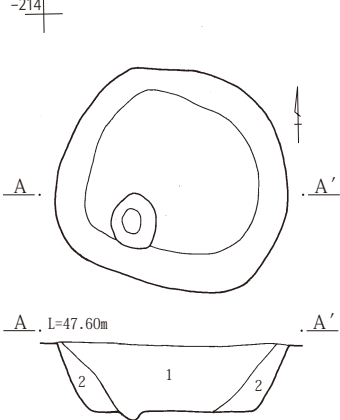
1 暗褐色 白色粒子、ローム粒中量混。砂質。
2 暗褐色 ローム粒多量混。

1区308号土坑



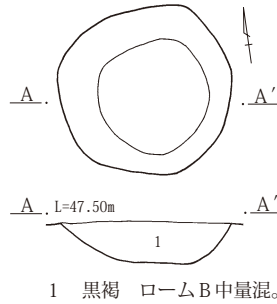
1 暗褐色 白色粒混、砂質。
2 暗褐色 黒褐色土、ローム混。粘性やや強。

1区314号土坑



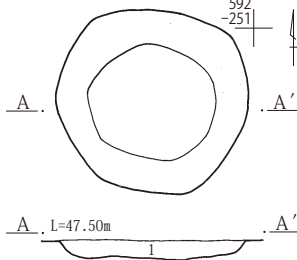
1 暗褐色 白色粒子、ローム粒中量混。
2 褐色 ローム主体。暗褐色土B少量混。

1区319号土坑



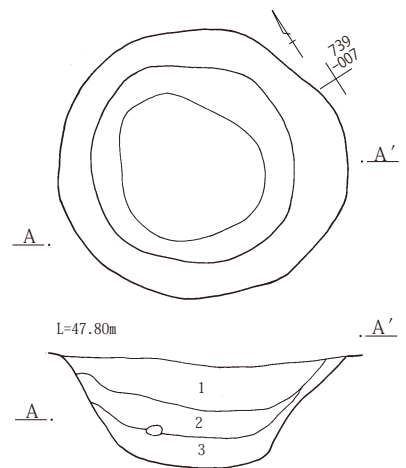
1 黒褐色 ロームB中量混。

1区320号土坑



1 黄褐色 As-B混。ローム粒・B混。

3区24号土坑



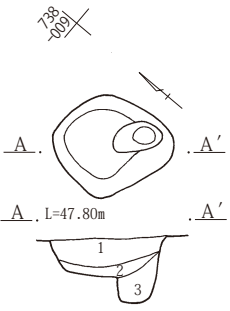
1 褐色灰 ロームB、小礫混。
2 暗褐色 小礫混。砂質。
3 褐色 砂質。



第432図 中世以降土坑14

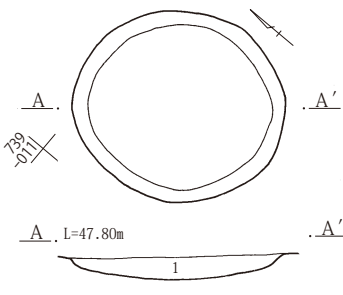
第三章 検出された遺構と出土遺物

3区23号土坑



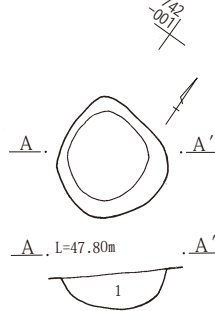
- 1 暗褐 ローム、白色粒混。
- 2 暗褐 ローム、黒褐B混。
- 3 黒褐 ロームB混。

3区22号土坑



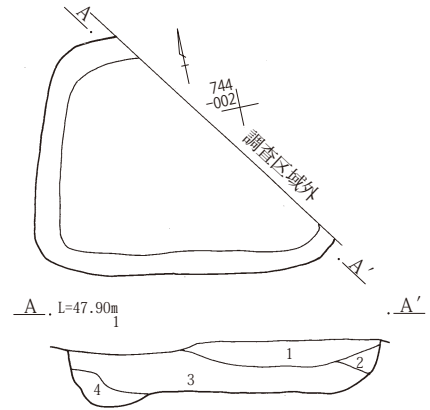
- 1 暗褐 砂質。しまり強。

3区25号土坑



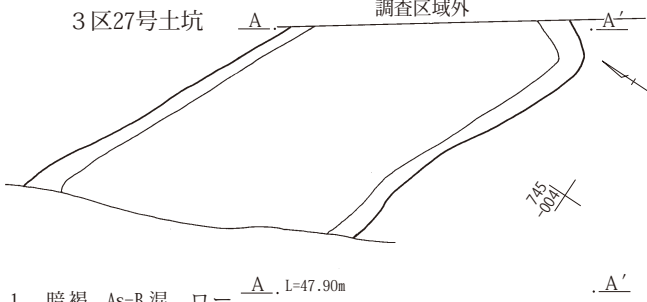
- 1 暗褐 ロームB多く含む。

3区26号土坑



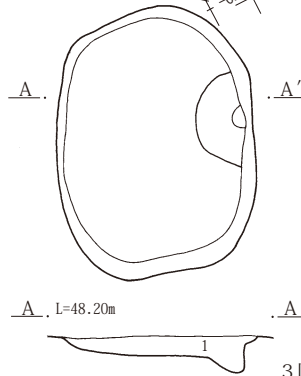
- 1 暗褐 As-B、ロームB混。
- 2 暗黄褐 黒色土、ローム混。
- 3 暗黄褐 ローム多量混。
- 4 黄褐 ローム主体。

3区27号土坑

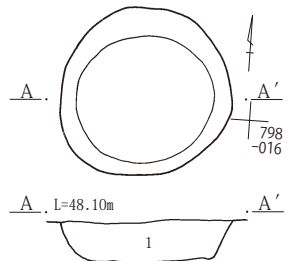


- 1 暗褐 As-B混。ローム混。
- 2 暗褐 ローム混。
- 3 暗褐 ローム少量混。

3区28号土坑



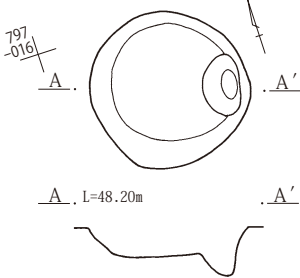
3区29号土坑



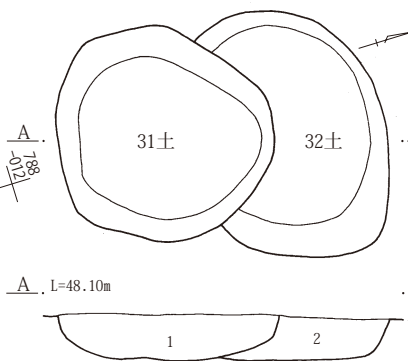
3区28・29土坑

- 1 黒褐 小礫・ローム・白色粒少量混。

3区30号土坑

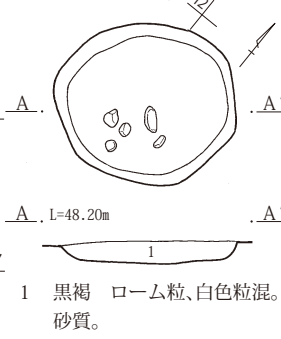


3区31・32号土坑



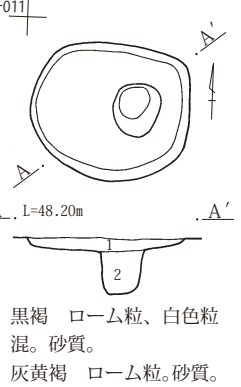
- 1 黒褐 ローム粒、白色粒混。砂質。
- 2 暗褐 ローム粒、小礫。砂質。

3区33号土坑



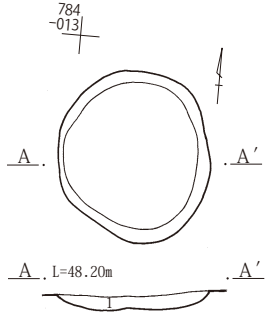
- 1 黒褐 ローム粒、白色粒混。砂質。

3区34号土坑



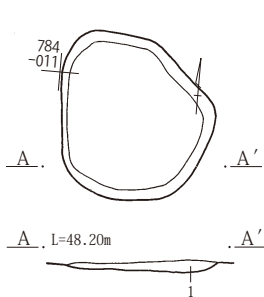
- 1 黒褐 ローム粒、白色粒混。砂質。
- 2 灰黄褐 ローム粒。砂質。

3区35号土坑



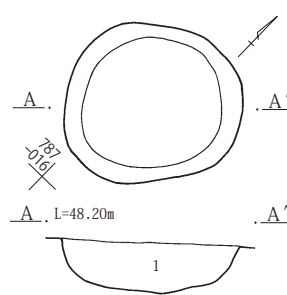
- 1 黒褐 ローム粒、白色粒混。砂質。

3区36号土坑



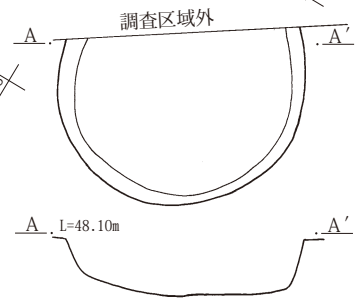
- 1 黒褐 ローム粒、白色粒混。砂質。

3区37号土坑



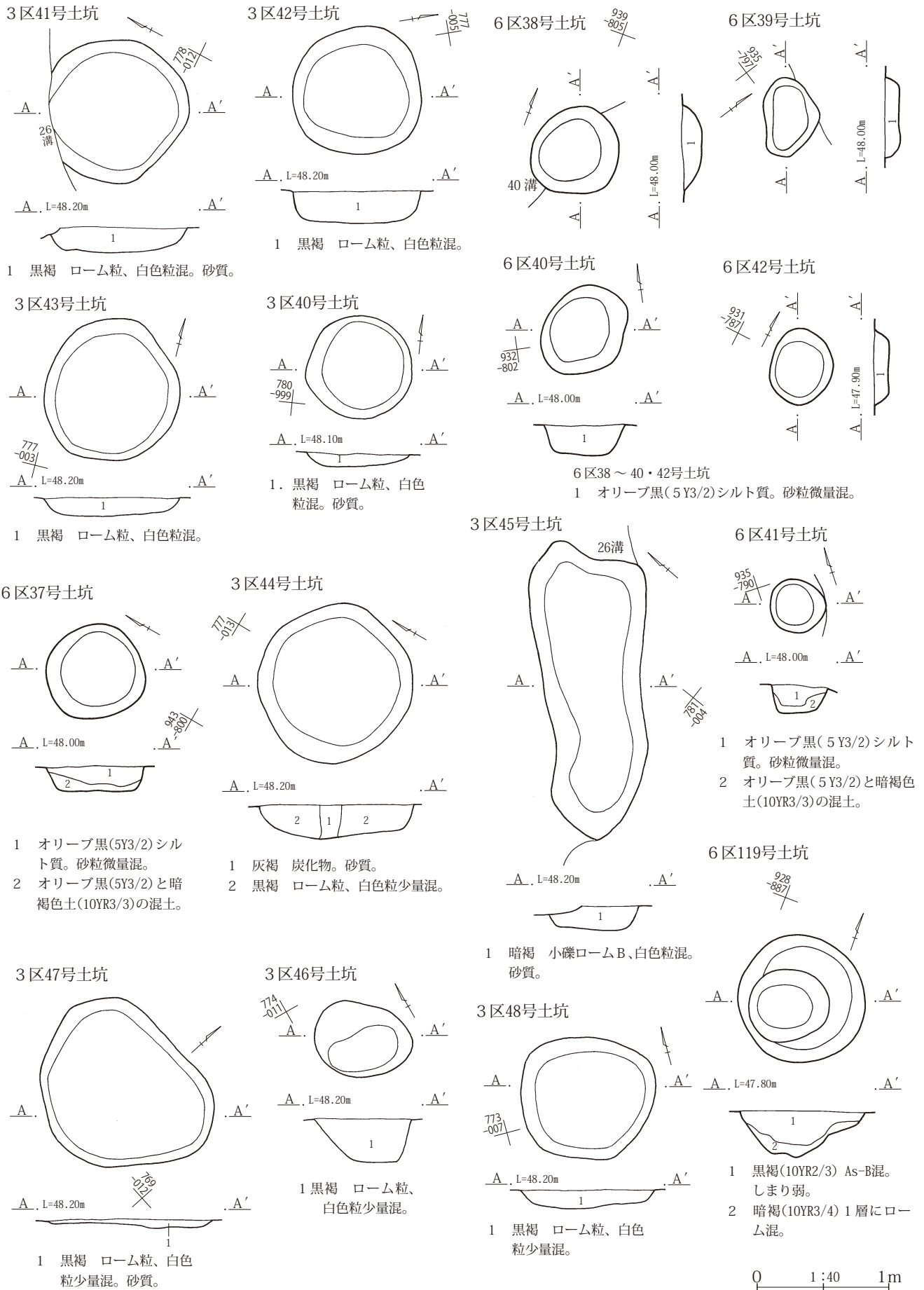
- 1. 黒褐 ローム粒、白色粒混。砂質。

3区39号土坑



0 1:40 1m

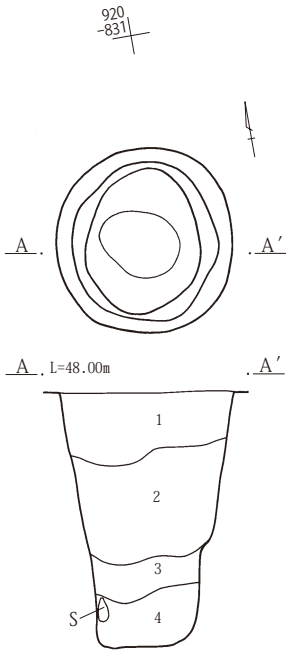
第433図 中世以降土坑15



第434図 中世以上土坑16

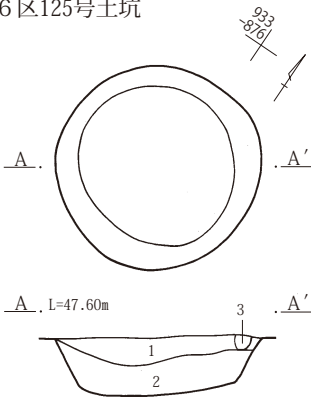
0 1:40 1m

6区45号土坑



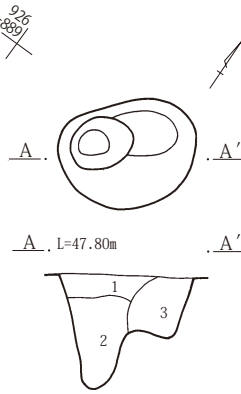
- 1 灰黄褐(10YR5/2)シルト質。砂質土混。
- 2 灰黄褐(10YR5/2)シルト質土・暗褐色土・明黄褐色土混。
- 3 黒褐(10YR2/2)砂質土・褐灰色シルト混。
- 4 褐灰(10YR5/1)シルト質。3層の黒褐色土混。人為堆積か。一部に礫混。

6区125号土坑

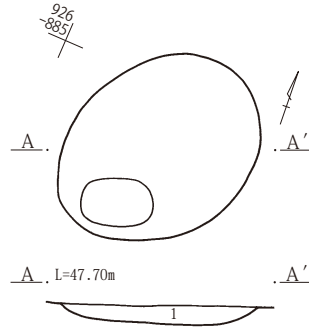


- 1 黒褐(10YR2/3) As-B混。しまり弱。
- 2 暗褐(10YR3/4) 1層にローム混。
- 3 As-Bをブロック状に混。

6区120号土坑

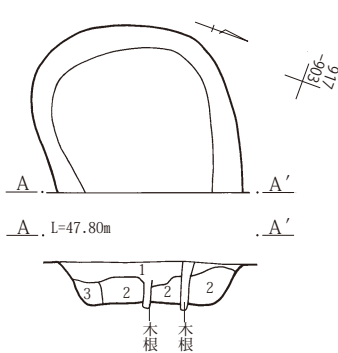


6区122号土坑



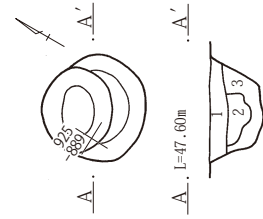
- 1 黒褐(10YR2/3) As-B混。しまり弱。

6区126号土坑



- 1 黒褐(10YR2/3) As-B混。しまり弱。
- 2 暗褐(10YR3/4) 1層にローム混。
- 3 灰黄褐(10YR4/2)ローム混。しまり弱。

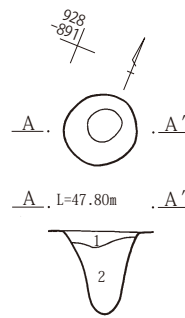
6区121号土坑



6区120・121号土坑

- 1 黒褐(10YR2/3) As-B混。しまり弱。
- 2 暗褐(10YR3/4) 1層にローム混。
- 3 灰黄褐(10YR4/2)ローム混。しまり弱。

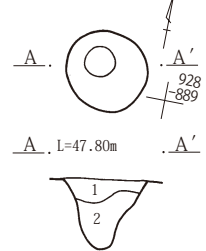
6区123号土坑



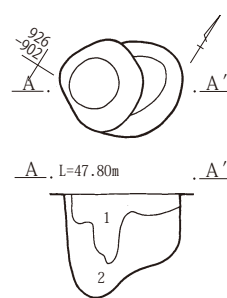
6区123・124号土坑

- 1 黒褐(10YR2/3) As-B混。しまり弱。
- 2 暗褐(10YR3/4) 1層にローム混。

6区124号土坑



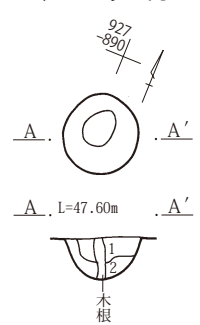
6区127号土坑



6区127・128号土坑

- 1 黒褐(10YR2/3) As-B混。しまり弱。
- 2 暗褐(10YR3/4) As-B混。ローム混。

6区128号土坑



(6) ピット

ピットは 2292 基検出されている。出土遺物はほとんど

どなく、時期不明のものが多いため、Ⅲ章-4 に掲載した 2 基以外はここに計測値のみ掲載した。平面図は全体図を参照していただきたい。(計測表の単位はすべて cm である。)

第44表 中世以降・時期不明ピット計測表

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
1	1	590-119・120		46	42	32
1	2	590-120		54	33	33
1	3	590・591-121		30	28	43
1	4	591-121・122		37	32	58
1	5	590・591-122		61	41	28
1	6	588・589-125		32	30	39
1	7	584・585-124		48	40	34
1	8	586-129		37	27	23
1	9	589・590-127		42	30	33
1	10	591-128		28	25	17
1	11	592-125・126		35	31	30
1	12	592・593-125・126		45	35	18
1	13	593・594-125		31	26	49
1	14	594-124・125		31	29	41
1	15	595-126・127		35	30	39
1	16	592・593-131・132		39	31	41
1	17	592-132・133		54	46	25
1	18	592-133		31	25	22
1	19	593-133		35	26	20
1	20	593-132		35	31	25
1	21	587-131		48	40	36
1	22A	588-132		30	26	17
1	22B	588・589-132		26	21	17
1	23	588-133		30	25	41
1	24	588-134		26	25	37
1	25	588・589-135・136		32	30	36
1	26	欠番				
1	27	591-134	P28	(32)	30	25
1	28	591・592-134	P27	40	32	30
1	29	594・595-133		36	31	18
1	30	591592-135・136		33	26	41
1	31	591-136		34	26	39
1	32	592-137		35	31	42
1	33	592-138		32	24	32
1	34	593-137・138		24	23	27
1	35	594-137		33	31	32
1	36	594-136・137		34	29	40
1	37	594・595-137		30	27	48
1	38	594-136		29	25	32
1	39	594-136		30	25	36
1	40	595-136		35	28	10
1	41	596-136・137		35	34	34
1	42	596-137		27	21	35
1	43	595-135		27	22	38
1	44	595-135		23	21	35
1	45	594-134		27	25	22
1	46	589・590-136		102	37	33
1	47	591・592-138・139		23	22	18
1	48	586-134		27	23	59
1	49	586-134・135		25	20	38
1	50	587-135		27	25	18
1	51	587-137		37	33	20
1	52	589-139		30	28	27
1	53	589-138		26	22	26
1	54	589-140		30	28	18
1	55	589-139・140		29	28	10
1	56	590-139		20	19	38
1	57	590-139		25	22	15
1	58	590・591-138		28	24	17
1	59	590・591-140		40	33	34
1	60	591-139・140		31	26	32
1	61	596・597-140		37	33	44
1	62	595-141・142		30	24	34
1	63	598-138		35	30	53
1	64	599・600-136・137	P65	62	(58)	35

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
1	65	599-136・137	P64	65	(58)	20
1	66	599・600-138・139		27	24	18
1	67	599-139		33	31	22
1	68	599-140		27	21	29
1	69	598・599-141		32	26	15
1	70	601-136		29	23	43
1	71	601-144		36	31	57
1	72	601-134・135		33	32	31
1	73	600-135		41	29	18
1	74	599-146・147		32	30	28
1	75	600-143・144		51	38	38
1	76	598・599-143・144		54	51	41
1	77	599-146	12号土坑	27	19	24
1	78	604・605-142・143		38	31	27
1	79	604-142・143		37	31	26
1	80	600-148		37	33	56
1	81	602-147		31	27	58
1	82	603-148		39	34	38
1	83	600-149		28	27	28
1	84	599-150		37	28	37
1	85	600-151		52	28	55
1	86	601-150・151		31	23	13
1	87	601-150		34	27	35
1	88	600-152		36	32	28
1	89	598-152		35	25	30
1	90	599-153		27	21	17
1	91	598-154		31	27	52
1	92	596-155		29	19	38
1	93	595・596-154・155		43	26	27
1	94	596・597-152・153		46	41	34
1	95	596-153・154		50	46	44
1	96	594・595-152・153		49	40	42
1	97	595・596-150151		28	27	42
1	98	594・595-148・149		59	47	32
1	99	606-144		31	30	32
1	100	600-155		39	25	58
1	101	594-151・152		38	17	24
1	102	595-151		26	24	22
1	103	601-151		21	20	12
1	104	603-153		26	15	12
1	105	602-153		29	27	20
1	106	604-153		30	26	42
1	107	604-152		28	27	24
1	108	603-151		34	31	37
1	109	601-146		34	26	17
1	110	602-156		42	30	72
1	111	606-159		22	19	31
1	112	608-158・159		43	40	19
1	113	607-160		27	23	25
1	114	606-161		34	32	25
1	115	606・607-161		23	21	10
1	116	605・606-162		45	42	34
1	117	605-163		57	46	45
1	118	604-163・164		27	25	22
1	119	603-165		29	25	33
1	120	603-164・165		33	26	47
1	121	605・606-165		38	33	54
1	122	605・606-164		42	32	41
1	123	606-163・164		38	33	19
1	124	505-164		23	19	15
1	125	605-165		24	22	22
1	126	605・606-166		25	23	29
1	127	606-165・166		44	34	40
1	128	603-165・166		31	26	20
1	129	605-167・168		31	28	13

第三章 検出された遺構と出土遺物

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
1	130	604-168		47	41	24
1	131	603・604-168・169		59	46	42
1	132	605-169・170		43	37	21
1	133	605-170・171		39	30	26
1	134	609-168		35	29	14
1	135	610-165		49	47	11
1	136	611-165		30	27	15
1	137	609・610-164		59	50	32
1	138	612-164・165		40	31	19
1	139	601・602-162・163		28	25	29
1	140	613-163・164		43	34	29
1	141	612-162・163		40	32	29
1	142	614-163		25	21	30
1	143	610-161		35	31	39
1	144	610-161		25	22	16
1	145	614-159		26	22	29
1	146	614-157・158		26	25	40
1	147	610-160		40	35	50
1	148	609-160・161	3号溝	44	42	26
1	149	欠番				
1	150	602・603-162・163		24	22	33
1	151	588-140	21号土坑	36	30	27
1	152	587-140		53	48	48
1	153	585・586-139		57	46	33
1	154	585-141		53	43	48
1	155	584-140		44	43	59
1	156	587・588-141・142		34	32	26
1	157	589-141		39	29	29
1	158	589・590-142		45	43	27
1	159	588・589-143・144		37	36	52
1	160A	586・587-136	P160B	46	43	30
1	160B	586・587-136	P160A	46	40	24
1	161	587-135・136		43	33	30
1	162A	589・590-134	P162B	29	24	20
1	162B	589-134	P162A	27	19	19
1	163	589・590-133		33	28	23
1	164	589・590-130・131		19	47	20
1	165A	591・592-130・131		52	31	26
1	165B	592-130		32	28	29
1	166	592-130		28	26	37
1	167	591・592-129		31	24	33
1	168	590・591-129		29	21	26
1	169	589-130		34	28	31
1	170	591-128・129		34	24	22
1	171	591-134・135		32	30	26
1	172	592-135・136		43	34	35
1	173	591-136・137		37	32	21
1	174	592-141		55	34	42
1	175	593-142・143		37	32	27
1	176	595・596-146		36	33	33
1	177	598-149		31	29	17
1	178	601-148		46	31	22
1	179	592・593-147		32	28	28
1	180	583-132・133		26	19	21
1	181	583・584-130		28	23	42
1	182	584-130		33	25	16
1	183	586-137		33	29	27
1	184	583-135		44	36	52
1	185	580-133		33	30	43
1	186	585・586-126	P1015	36	30	25
1	187	590-126		34	28	24
1	188	590・591-126		35	28	27
1	189	590-128・129		21	19	14
1	190	592-128		26	23	68
1	191	596・597-130		26	21	33
1	192	587-126		30	25	56
1	193	587・588-126		25	21	27
1	194	583-129		36	29	65
1	195	583-131		38	34	43
1	196	581・582-131・132		44	38	47
1	197	582-130・131		31	27	23
1	198	581-130		40	40	31
1	199	580・581-131		41	40	23

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
1	200	581-137・138		32	28	40
1	201	601-144	26号土坑	45	35	37
1	202	589-124		26	22	34
1	203	590-124		26	24	24
1	204	590-124・125		31	28	23
1	205	593・594-126		31	30	47
1	206	588-133・134	P207	29	22	31
1	207	588-133・134	P206	34	28	14
1	208	588・589-134・135		42	31	32
1	209	585-135		27	25	38
1	210	585-136		33	30	60
1	211	585-136		24	20	26
1	212	584-136		35	25	37
1	213	583-137		48	41	24
1	214	582・583-137		40	37	63
1	215	581・582-137		37	34	30
1	216	579・580-136		58	46	52
1	217	578-133・134		37	35	20
1	218	577-137		38	36	48
1	219	576・577-137・138	P220	44	35	28
1	220	576-137・138	P219	28	27	22
1	221	575-139		35	33	32
1	222	574・575-138・139		45	41	51
1	223	576-141・142		55	43	43
1	224	576-141		42	40	42
1	225	576-140・141		45	30	49
1	226	577・578-141		38	35	41
1	227	576-143		27	20	23
1	228	575・576-143		28	24	33
1	229	574-142		27	25	18
1	230	574・575-144		39	29	64
1	231	577-144		41	36	44
1	232	580-140		37	35	75
1	233	579・580-141		228	25	43
1	234	577-143		34	31	24
1	235	578-144・145		47	41	28
1	236	579-145		61	59	62
1	237	579・580-146		37	29	52
1	238	579-146		25	23	14
1	239	579-146・147	P505	37	31	51
1	240	581-147		31	29	25
1	241	581-152		64	46	43
1	242	582-155		28	24	15
1	243	582・583-154		27	24	23
1	244	581-157		26	25	20
1	245	583・584-158	P246	37	26	34
1	246	583-158	P245	35	29	38
1	247	583-157		34	323	33
1	248	585・586-156		40	35	17
1	249	585・586-153・154		32	31	35
1	250	585-153		38	34	27
1	251	582・583-152		37	55	38
1	252	583-151・152		36	31	33
1	253	586・587-156		46	40	24
1	254	587-156・157		25	23	26
1	255	587-156		24	21	18
1	256	588-156		21	17	18
1	257	588-156		23	23	22
1	258	587-152・153		66	52	57
1	259	589-153		28	24	26
1	260	589-153		33	28	29
1	261A	590-154		32	31	20
1	261B	590-132		40	34	29
1	262	590-153		32	30	37
1	263	588・589-152・153		47	32	33
1	264	588・589-152		35	32	27
1	265	589-151		32	26	22
1	266	592-148・149		40	36	15
1	267	590・591-151		23	21	29
1	268	590・591-152・153		31	26	12
1	269	591・592-153		30	26	19
1	270	592-149・150		35	28	50
1	271	592-149		32	27	41

第5節 中世以降

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
1	272	594-149		35	33	11
1	273	587・588-145・146		52	48	39
1	274	583・584-146		32	28	17
1	275	582-147		62	42	34
1	276	582-146		48	42	35
1	277	582・583-145		46	38	19
1	278	581・582-145		34	26	41
1	279	581-145		34	30	40
1	280	580-143		43	40	39
1	281	575-148		34	26	41
1	282	575・576-148		32	30	25
1	283	576・577-143		30	22	23
1	284	577-139	31号土坑	24	19	22
1	285	576・577-138・139	31号土坑	21	16	33
1	286	576-138・139		36	32	39
1	287	577-140		27	26	39
1	288	577・578-140		36	33	32
1	289	579-139		40	35	28
1	290	579-139		30	27	48
1	291	580-138		46	36	27
1	292	585-137		47	45	21
1	293	584・585-137・138		66	55	70
1	294	586-138	3号土坑	36	30	33
1	295	585・586-138	P1024	53	40	48
1	296	585-130・131		26	25	27
1	297	586-131		35	29	27
1	298	581-138		33	26	39
1	299	585-133・134		44	33	34
1	300	587・588-133		33	14	24
1	301	584・585-161		43	37	25
1	302	584-169		34	30	30
1	303	586-164	P304	(58)	40	42
1	304	586-164	P303	51	(38)	50
1	305	585・586-163		35	35	32
1	306	586-162・163		36	33	25
1	307	590-165		42	33	50
1	308	592・593-163・164		36	29	33
1	309	594-164		19	19	26
1	310	595-164・165		27	25	26
1	311	595-165		45	40	29
1	312	594・595-163・164	P313	50	33	20
1	313	595-163・164	P312	29	23	39
1	314	592-170		46	42	57
1	315	588-169・170		50	41	55
1	316	586-169		42	28	30
1	317	587-168・169		43	38	35
1	318	590-166		28	27	51
1	319	592-164・165		44	40	41
1	320	593-164・165		35	33	35
1	321	598-164		35	31	31
1	322	597-162		30	24	25
1	323	597-161		42	37	43
1	324	598-164・165		57	48	36
1	325	600・601-165・166		26	24	39
1	326	598-156・157		44	41	40
1	327	602-149・150		36	27	21
1	328	605・606-151・152		37	35	22
1	329	600・601-144		41	33	24
1	330	597-147		31	26	29
1	331	587-130		30	29	40
1	332	587・588-130		31	28	21
1	333	588-137		33	26	11
1	334	587-127		34	26	36
1	335	591-131		46	23	51
1	336	591-131		27	23	21
1	337	591-137		31	25	29
1	338	592・593-137・138		77	43	21
1	339	590-136		47	40	31
1	340	589・590-137・138		28	25	38
1	341	588-139		27	24	31
1	342	586・587-139		38	33	28
1	343	592-133		32	27	29
1	344	590・591-133		30	25	24

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
1	345	591-132・133		24	24	41
1	346	593-137		25	24	17
1	347	595-142・143		36	31	39
1	348	597・598-148	P349	30	27	36
1	349	597・598-148	P348	29	(19)	19
1	350	597-147・148		41	33	25
1	351	586-124		34	25	41
1	352	588-127		25	20	19
1	353	587-128		32	29	13
1	354	586-129		28	26	19
1	355	590-137		18	18	20
1	356	582-129		36	30	31
1	357	582-128		27	22	50
1	358	586-135		42	35	36
1	359	593・594-139		21	19	19
1	360	593・594-139		21	18	10
1	361	594-139		28	24	34
1	362	597-137・138		24	19	48
1	363	597・598-137・138		34	22	27
1	364	593・594-142		29	24	35
1	365	590-156・157		24	23	16
1	366	589・590-156		26	21	18
1	367	589-158・159		43	41	15
1	368	589-160		29	27	26
1	369	588-164	P371	14	12	13
1	370	588-164	P371	20	15	26
1	371	588・589-164	P369・370	53	42	27
1	372	588-166・167		22	21	36
1	373	589-166		22	21	37
1	374	592-162	P375	34	(30)	23
1	375	592-162	P374	32	(25)	23
1	376	599-164		28	25	25
1	377	586-165・166		39	31	41
1	378	584・585-166		29	21	33
1	379	586・587-167		34	27	37
1	380	600-150		27	25	34
1	381	598・599-151		25	23	36
1	382	599-157		47	43	58
1	383	600・601-156		37	36	47
1	384	601-155		22	21	53
1	385	604-152		23	21	24
1	386	605-152		20	18	13
1	387	604-152		19	17	17
1	388	594-153・154		30	23	28
1	389	591-150		27	22	11
1	390	591・592-151		40	38	24
1	391	592-151		33	31	39
1	392	595-152		29	25	11
1	393	596・597-156		30	26	28
1	394	595-159		38	29	26
1	395	590-164		28	23	55
1	396	590・591-164		28	21	32
1	397	590-163		28	27	43
1	398	595-160		40	35	47
1	399	598-156		27	26	42
1	400	599-155・156		37	35	34
1	401	599-154		28	23	24
1	402	597・598-155・156		28	25	28
1	403	591-162		24	23	25
1	404	592・593-165・166		46	35	53
1	405	593-166・167		42	37	32
1	406	590-169・170		38	21	26
1	407	589-169		39	35	16
1	408	590-170・171		43	36	34
1	409	584-164		54	51	38
1	410	588-163・164		40	29	33
1	411	575-196・197		43	31	45
1	412	569-199		25	24	34
1	413	568・569-198・199		47	44	41
1	414	570-202		37	29	36
1	415	566・567-201		58	42	36
1	416	570-201		40	34	34
1	417	565-204		29	26	33

第三章 検出された遺構と出土遺物

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
1	418	569・570-204		29	26	19
1	419	570-204		35	32	37
1	420	571-197		26	22	15
1	421	575・576-194		38	30	36
1	422	576-194		25	23	20
1	423	577-194・195		33	27	26
1	424	576・577-196		40	31	44
1	425	577-193		30	26	38
1	426	577・578-193・194		35	29	41
1	427	574-193・194		27	21	21
1	428	576-196		27	18	25
1	429	579-196		56	38	19
1	430	571・572-193		21	16	19
1	431	570-194		31	24	21
1	432	568-197		27	25	9
1	433	569-203		43	34	41
1	434	576-190・191		29	22	39
1	435	577・578-190		38	33	38
1	436	574-191		33	26	45
1	437	575-197・198		34	32	24
1	438	576・577-197		55	34	27
1	439	577-197		33	26	16
1	440	576・577-198・199		35	32	15
1	441	574・575-199		28	25	25
1	442	573・574-202		20	17	19
1	443	576-202・203		36	27	32
1	444	567-207		41	39	11
1	445	569-196		25	21	13
1	446	619・620-181・182	50号土坑	138	70	43
1	447	626-176		31	29	37
1	448	624・625-180		40	37	42
1	449	624-179		24	18	23
1	450	624・625-178		31	22	21
1	451	627・628-178		24	23	12
1	452	628-178・179		34	33	15
1	453	622-173・174		40	37	34
1	454	620-174		47	43	42
1	455	625・626-176		29	25	39
1	456	623-176	P457	(33)	30	32
1	457	623-176	P456	37	34	26
1	458	622-178	P459	(34)	28	44
1	459	622-178	P458	42	32	36
1	460	621・622-177		43	39	36
1	461	621・622-176		42	39	47
1	462	621-176		25	23	21
1	463	621-179		46	39	58
1	464	619-177		41	32	40
1	465	625-186		43	33	16
1	466	629・630-190		33	31	53
1	467	638-195	P536	45	36	35
1	468	638-197		29	23	16
1	469	639-200・201		37	30	39
1	470	639-199		42	31	43
1	471	624-183	54号土坑	43	40	39
1	472	635-189		26	22	11
1	473	634・635-188・189		33	27	15
1	474	635-188・189	P476	(30)	22	21
1	475	634・635-188	P476	40	34	20
1	476	634・635-188	P474・475	(47)	32	20
1	477	641-196		34	30	23
1	478	633-187		24	22	25
1	479	644・645-195・196		37	27	45
1	480	646-196		38	34	21
1	481	646-197		42	30	24
1	482	646・645-198		25	25	13
1	483	596-130		19	18	24
1	484	597-131・132		30	22	33
1	485	596-132		25	23	48
1	486	594-130・131		29	27	45
1	487	592-131・132		25	17	26
1	488	592-131・132		33	31	70
1	489	582-138		48	42	50
1	490	588-164・165		58	56	23

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
1	491	589-171		32	26	24
1	492	619-187		34	27	26
1	493	627-191		29	28	33
1	494	635-198		31	25	13
1	495	634・635-201・202		29	27	20
1	496	626-208		22	16	25
1	497	623-208		42	38	45
1	498	628・629-202・203		22	20	17
1	499	598-153		24	19	29
1	500	609・610-162		46	42	44
1	501	600-147		24	20	17
1	502	595-155・156		53	33	33
1	503	600・601-164		21	18	10
1	504	600・601-164		14	14	14
1	505	579-146・147	P239	(24)	18	45
1	506	576・577-141・142		83	70	44
1	507	579-138・139	P508	22	20	36
1	508	579-138・139	P507	61	49	52
1	509	577-138		63	57	44
1	510	欠番				
1	511	626-198	88号土坑	35	25	16
1	512	632-185	108号土坑	30	27	9
1	513	601-189		33	28	24
1	514	575-194・195		39	32	23
1	515	574・575-195		32	25	36
1	516	619-176		32	27	35
1	517	621-178		28	25	17
1	518	621-177・178		37	33	42
1	519	623・624-178		39	26	34
1	520	624-175		22	18	17
1	521	621-173・174		38	34	56
1	522	622-174		38	25	31
1	523	625・626-173・174		40	30	49
1	524	638-192		20	15	24
1	525	639-192		24	22	15
1	526	640-192		28	27	21
1	527	641-192・193		25	25	24
1	528	643-195		27	20	39
1	529	643・644-197		30	27	19
1	530	644-198		23	19	20
1	531	643-198・199		22	19	12
1	532	642-197・198		25	23	19
1	533	641・642-197		25	24	19
1	534	641-196・197		27	22	14
1	535	641・642-196		22	18	17
1	536	638-195	P467	34	(24)	30
1	537	638-196		18	16	20
1	538	637・638-196		21	19	11
1	539	637-195		25	21	16
1	540	641・642-201		30	29	32
1	541	636・637-197・198		29	20	21
1	542	636-198		26	25	17
1	543	637-200		25	22	23
1	544	625-191		33	30	29
1	545	625・626-191		34	29	13
1	546	625-190・191		31	25	29
1	547	626-192		17	16	16
1	548	622・623-189	P549	57	43	20
1	549	622-189	P548	(37)	28	15
1	550	621-176・177		41	37	41
1	551	610-175		24	23	24
1	552	607・608-180	P553	36	34	30
1	553	607・608-180	P552	(37)	24	41
1	554	609-181・182	P714	36	35	32
1	555	611-183		27	23	22
1	556	614・615-180		39	32	22
1	557	614-181		26	24	28
1	558	606-183・184		40	38	23
1	559	613-196・197		43	39	25
1	560	616-196		25	24	19
1	561	614-188		24	18	10
1	562	627-205・206		65	63	44
1	563	627-205		41	35	23

第5節 中世以降

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
1	564	627-206・207		36	30	32
1	565	627-204		32	31	39
1	566	626-197	118号土坑	29	(27)	25
1	567	627-197	118号土坑	35	29	45
1	568	625・626-197	88号土坑	25	20	13
1	569	628・629-196	85号土坑	25	22	24
1	570	621・622-193	120号土坑	42	33	12
1	571	614-187・188		28	25	31
1	572	603・604-178		36	28	27
1	573	607-177・178		35	29	22
1	574	608-178		32	28	60
1	575	608-181		30	25	24
1	576	608-182		50	41	48
1	577	612-183		26	23	31
1	578	604-186		41	36	32
1	579	592・593-182		29	24	34
1	580	602・603-171	45号土坑	34	30	40
1	581	606-185・186		51	35	32
1	582	606-185		38	32	31
1	583	611-190	P719	26	24	27
1	584	602-188		36	35	59
1	585	603-186・187		30	28	31
1	586	603-183	134号土坑、P587	(46)	38	53
1	587	603-183	134号土坑、P586	43	34	23
1	588	601・602-183	135号土坑	29	(24)	26
1	589	601・602-184		34	30	36
1	590	602-184		47	39	20
1	591	606・607-184		31	27	31
1	592	608-184		20	16	33
1	593	608-184		26	22	18
1	594	608-183		25	23	23
1	595	608-186		43	36	48
1	596	608-185・186		26	19	13
1	597	607-185		39	31	44
1	598	欠番				
1	599	608-185		53	30	64
1	600	607-188		31	27	24
1	601	608-188		22	20	23
1	602	608・609-190・191		31	25	35
1	603	608-189・190		28	26	24
1	604	605・606-186		32	30	36
1	605	606-186・187		42	41	42
1	606	604-183		30	27	15
1	607	608-190		24	18	45
1	608	608-190		23	21	26
1	609	603-189		29	25	22
1	610	603-188・189		22	19	26
1	611	603-191	110号土坑	28	(31)	36
1	612	605-190		32	27	55
1	613	605・606-190		28	25	31
1	614	606-191		(44)	35	23
1	615	606-191		46	43	59
1	616	604・605-184		34	32	19
1	617	610-195		32	30	31
1	618	597-184		31	25	56
1	619	597・598-186		25	25	16
1	620	598-186・187		36	28	40
1	621	600-187		29	21	44
1	622	602・603-187		34	32	45
1	623	602・603-187		25	22	25
1	624	600-184・185		63	57	55
1	625	604-182		30	29	22
1	626	596・597-181		33	31	48
1	627	597・598-180	P628	43	(39)	46
1	628	597・598-180	P627	41	25	18
1	629	598-179		52	45	35
1	630	600-178		42	34	43
1	631	596-178・179		33	32	27
1	632	603・604-180・181		31	29	25
1	633	603・604-192		25	21	22
1	634	603-192		25	23	26
1	635	598・599-180・181		30	27	15
1	636	606-187・188		24	22	19

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
1	637	606-187		34	30	43
1	638	605・606-188		36	34	47
1	639	606-188		38	34	32
1	640	607-187		38	25	32
1	641	607-187		28	22	23
1	642	607-189・190		40	34	26
1	643	608-186		23	22	19
1	644	595-191		27	25	15
1	645	601-196・197		46	40	55
1	646	605-199・200		39	37	24
1	647	594-188		23	20	21
1	648	601-183		36	32	34
1	649	605-200・201		26	24	16
1	650	607-200		25	21	11
1	651	602-202		27	22	30
1	652	601・602-201		38	33	48
1	653	601-202		31	27	27
1	654	633-204		52	38	21
1	655	596・597-193・194		75	61	84
1	656	583・584-130・131		59	47	31
1	657	585-131		41	39	44
1	658	589-177		31	30	26
1	659	594-194		48	41	52
1	660	592-190		35	30	41
1	661	593-187		29	24	30
1	662	597・598-187		29	22	32
1	663	593-190・191		34	31	34
1	664	593・594-190・191		37	32	45
1	665	599・600-202		25	24	32
1	666	595-186		31	26	41
1	667	592・593-183		53	49	50
1	668	606-191・192		29	21	19
1	669	598-158		34	32	29
1	670A	594-156	P670B	26	20	29
1	670B	594-156	P670A	(23)	17	18
1	671	593-153		28	24	39
1	672	593-149		42	34	55
1	673	605-162		33	28	34
1	674	591-153・154		51	44	57
1	675	欠番				
1	676	577・578-139		44	35	38
1	677	602-203		29	20	56
1	678	608・609-209		26	25	32
1	679	611・612-206		28	23	39
1	680	611-207		28	26	28
1	681	610-211・212		50	46	49
1	682	604・605-211		58	56	56
1	683	605-213・214		29	21	46
1	684	587-176		29	26	38
1	685	589-175・176		38	33	54
1	686	591-175・176		36	27	65
1	687	591-176		38	32	39
1	688	593-175	P689	27	(22)	33
1	689	592・593-175	P688	29	(25)	26
1	690	585-181	P739	53	40	78
1	691	586・587-188		43	37	22
1	692	587・588-191・192		36	33	39
1	693	604-207		27	23	26
1	694	609-212		38	35	34
1	695	605・606-215		38	35	40
1	696	586-199		51	42	45
1	697	586-198		39	37	33
1	698	586・587-200・201		41	39	23
1	699	589-199		42	36	33
1	700	593-184		23	21	39
1	701	590-180・181		29	25	42
1	702	591-181		29	22	35
1	703	591-180		34	27	43
1	704	592-180		29	25	24
1	705	593-176		28	25	27
1	706	596-175		32	22	32
1	707	596-174		23	21	30
1	708	620-207・208		36	25	38

第三章 検出された遺構と出土遺物

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
1	709	620-190		37	23	12
1	710	610・611-188		30	25	30
1	711	611-188		40	34	39
1	712	606-164・165		46	37	23
1	713A	609-186		30	26	33
1	713B	579-190		36	30	28
1	714	609-181・182	P554	(37)	28	16
1	715	欠番				
1	716	599-183	130号土坑	28	22	20
1	717	599-183・184	130号土坑	27	25	23
1	718	603-183	134号土坑	25	24	44
1	719	610・611-190	133号土坑、P583	55	(38)	24
1	720	609・610-193		31	27	59
1	721	610-197		27	24	49
1	722	609-198		30	19	24
1	723	601-199	140号土坑	37	29	36
1	724	630-209		33	28	25
1	725	610-193・194		23	21	18
1	726	591-196		45	37	33
1	727	586・587-192		49	38	55
1	728	583・584-188		41	37	52
1	729	583-192・193		43	38	46
1	730	592-197・198		40	38	32
1	731	587-200		35	23	39
1	732	593・594-175		29	23	39
1	733	600-183・184	138号土坑、P760	(33)	30	57
1	734	585-192		40	33	25
1	735	585-194		34	29	25
1	736	585・586-194		37	31	32
1	737	582-196		40	37	45
1	738	611-192	137号土坑	30	[13]	20
1	739	585-180・181	P690	(37)	24	43
1	740	585-180		21	15	10
1	741	583-189		43	39	34
1	742	583-190		46	40	51
1	743					
1	744	582-178	151号土坑	49	47	21
1	745	590-188	70号土坑	30	24	40
1	746	590-189	71号土坑	21	20	34
1	747	580・581-193		75	56	50
1	748	208-205		39	26	24
1	749	577・578-204		54	33	50
1	750	578・579-207		36	35	35
1	751	580-208	P752	54	(31)	33
1	752	580-207・208	P751	57	(31)	49
1	753	578・579-191		38	29	40
1	754	578-191		26	21	39
1	755	577-192・193		25	19	35
1	756	574・575-194・195		29	19	41
1	757	578・579-203		33	29	37
1	758	575-205・206		44	31	42
1	759	593・594-203・204		68	60	38
1	760	600-184	138号土坑、P733	16	13	65
1	761	588・589-184		27	20	40
1	762	577-207・208		58	55	43
1	763	欠番				
1	764	578-209		36	32	33
1	765	576-208		48	33	37
1	766	576-209		37	35	26
1	767	580-209	P768	(36)	27	23
1	768	580-209	P767	(32)	27	36
1	769	601-204		56	43	43
1	770	574-209・210		39	33	42
1	771	583-179・180		38	34	44
1	772	583・584-139	144号土坑	47	37	62
1	773	583・584-138・139	144号土坑	35	30	27
1	774	602-164		24	23	22
1	775	602-164		27	21	15
1	776	584-184		33	31	25
1	777	593・594-184		32	29	34
1	778	594-185		29	22	44
1	779	586-213・214	P780	35	(30)	20
1	780	586・587-213・214	174号土坑、P799	49	(40)	33

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
1	781	589・590-221・222		34	31	47
1	782	589・590-221		30	26	37
1	783	590・591-220・221		72	50	57
1	784	591-221		36	34	55
1	785	588-221		42	39	57
1	786	593-217		38	34	55
1	787	594・595-216・217		29	28	56
1	788	595・596-216・217	P789	60	(33)	55
1	789	595・596-216・217	P788	57	(45)	52
1	790	566-212		28	26	36
1	791	561-215	P792	23	22	23
1	792	560・561-215	P791	(24)	21	38
1	793	560-215		22	19	50
1	794	562-212	P795	32	28	21
1	795	562・563-212	P794	32	30	27
1	796	567-209・210	P797	37	34	47
1	797	567-209	P796	(35)	29	17
1	798	565・566-210		26	23	17
1	799	562・563-214		49	43	61
1	800	554・555-214		42	34	58
1	801	555-213		30	29	46
1	802	567-213		30	26	43
1	803	568-213		45	40	37
1	804	559-212・213		27	27	47
1	805	560-212		29	26	35
1	806	555-215・216	P807	30	26	40
1	807	554・555-215	P806	44	41	47
1	808	582-194	165号土坑	30	24	44
1	809	589-198		48	36	43
1	810	594-191		52	41	39
1	811	587-214	174号土坑	25	23	46
1	812	567-213		38	26	59
1	813	567・568-213・214		39	32	54
1	814	欠番				
1	815	580・581-217・218		50	44	48
1	816	563-215・216		36	30	43
1	817	579・580-215・216		58	52	66
1	818	578-215・216	P819	(68)	54	53
1	819	578・579-215・216	P818	60	(53)	50
1	820	563-231	14号溝	49	32	49
1	821	570-225	6号溝	28	17	25
1	822	590-207		32	22	12
1	823	594-197		52	48	41
1	824	595-172		28	25	55
1	825	592・593-172・173		37	[19]	28
1	826	554・555-219	6号溝	41	38	39
1	827	556-217	7号溝	35	28	33
1	828	573-233	13号溝	49	45	58
1	829	552-214	7号溝	40	32	50
1	830	588-224・225		31	29	45
1	831	586-224	7号溝	36	33	37
1	832	591・592-224		46	34	53
1	833	592-224		33	25	41
1	834	591・592-222・223		27	24	34
1	835	592・593-223		34	29	39
1	836	595・596-224・225		39	25	24
1	837	585・586-225		58	49	48
1	838	587・588-235・236		78	58	53
1	839	588-232		32	23	40
1	840	562-231		31	25	27
1	841	562・563-235・236	187号土坑、13号溝	66	42	32
1	842	568-229・230	14号溝	[47]	28	33
1	843	593-230		29	20	48
1	844	589-228		37	33	46
1	845	590-232		70	60	51
1	846	579-214・215	P847	41	(40)	46
1	847	579-214	P846	34	(30)	10
1	848	603・604-214・515		50	46	53
1	849	583・584-170・171		45	41	53
1	850	584-170		49	44	44
1	851	583-175・176		39	36	63
1	852	583-175		35	33	38

第5節 中世以降

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
1	853	595・596-171		49	[42]	39
1	854	欠番				
1	855	579・580-215		35	28	28
1	856	579・580-214・215		36	33	46
1	857	566-231・232		29	25	39
1	858	561-232		(30)	28	36
1	859	561-231・232		37	31	38
1	860	556・557-232・233	14号溝	29	21	33
1	861	557-229		30	28	39
1	862	566-230	P863・864	(28)	22	17
1	863	566-230	P862・864	28	(22)	39
1	864	566-230	P862・863	30	(23)	36
1	865	591-232		24	22	20
1	866	618-225		24	20	24
1	867	612-225		19	14	27
1	868	612-224・225		30	25	17
1	869	611・612-221		47	33	26
1	870	576-235		65	38	33
1	871	574・575-236		35	35	39
1	872	570・571-237・238		41	36	27
1	873	574・575-238・239		66	53	67
1	874	579-181	8号溝	35	33	48
1	875	575-233・234		51	40	57
1	876	578・579-236		31	27	22
1	877	565-248・249		40	32	24
1	878	565-249		27	20	28
1	879	577-233・234		39	38	45
1	880	577-233		44	41	59
1	881	576-239		52	42	40
1	882	577・578-237		48	36	45
1	883	570・571-251		47	35	57
1	884	570・571-251		34	30	44
1	885	570-250		32	29	21
1	886	566・567-251		33	31	55
1	887	573-251		23	21	20
1	888	564-254	229号土坑	25	21	39
1	889	564-253	229号土坑	37	29	12
1	890	563・564-252・253	229号土坑	29	26	28
1	891	567-252		33	30	38
1	892	580・581-249・250	P893	40	36	30
1	893	581-250	P892	(22)	18	24
1	894	578-248	P895	32	(25)	26
1	895	578-248	P894	49	41	31
1	896	564-246		56	51	36
1	897	561-252		52	42	39
1	898	564・565-241		35	31	45
1	899	578-253		30	27	48
1	900	579-253・254		39	37	26
1	901	580・581-250・251		39	32	22
1	902	581-253・254		35	32	35
1	903	581・582-254		28	25	24
1	904	582-253	244号土坑	19	14	16
1	905	602-228・229	13号溝	36	25	23
1	906	605・606-228	13号溝	47	(35)	26
1	907	612-226		36	34	48
1	908	582-250・251		27	24	27
1	909	617-227・228		28	26	32
1	910	576-257		47	35	48
1	911	580・581-259・260		26	24	45
1	912	580-256・257		50	42	56
1	913	582-256		20	19	27
1	914	582-255		23	22	37
1	915	582・583-260	P916	46	32	35
1	916	583-260	P915	32	(30)	17
1	917	588-254・255		41	32	25
1	918	572・573-251		34	21	31
1	919	618-227		45	35	35
1	920	577-251		33	23	32
1	921	571-233		27	26	22
1	922	572-263		53	47	50
1	923	575-267		47	33	30
1	924	573・574-268		49	42	48
1	925	591・592-258・259	260号土坑	37	26	37

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
1	926	590-260・261		39	33	36
1	927	589・590-262		32	30	33
1	928	589-262		28	27	38
1	929	589・590-256		35	29	23
1	930	577・578-266		27	18	23
1	931	577-265・266		36	24	34
1	932	564-252		42	31	50
1	933	583-258		48	41	55
1	934	591-235		31	29	68
1	935	591-235		39	38	56
1	936	594・595-242		32	24	33
1	937	589-254		38	34	39
1	938	576-254・255		40	38	56
1	939	574・575-240		41	32	34
1	940	573・574-240		39	34	64
1	941	572・573-239・240		45	42	45
1	942	573・574-239		51	40	55
1	943	570・571-237		35	30	36
1	944	578・579-245・246		36	30	40
1	945	578-245		30	27	35
1	946	598・599-242		38	30	37
1	947	600・601-236・237		35	32	28
1	948	601-236・237		25	22	29
1	949	601-236		30	25	44
1	950	602-236		29	27	23
1	951	598-229・230	17号溝	42	33	52
1	952	595・596-229		37	35	65
1	953	596-228・229		23	18	23
1	954	579・580-241		37	32	29
1	955	548-245		43	26	21
1	956	577・578-246	P957	(27)	25	43
1	957	577・578-246	P956	34	29	22
1	958	576-262・263		32	28	33
1	959	580-259		37	31	21
1	960	589-248		30	29	21
1	961	589-248		39	28	31
1	962	588・589-247・248		29	24	31
1	963	591-230	13号溝	30	[18]	14
1	964	583-256・257		27	25	22
1	965	583-256		42	27	32
1	966	583-255		32	27	60
1	967	582・583-256		27	17	16
1	968	581-256	P969	35	(32)	34
1	969	581-256	P968	38	36	31
1	970	580-256		35	30	47
1	971	582-254		25	19	16
1	972	582-254		31	22	22
1	973	582-252		38	30	42
1	974	580-252	P975	32	30	25
1	975	580-252	P974	36	(24)	31
1	976	578・579-248・249		29	27	20
1	977	573・574-248・249		33	29	33
1	978	574-251		47	37	40
1	979	579-251		36	27	29
1	980	579-251		26	19	16
1	981	604-240	23号溝	47	24	71
1	982	603-246・247		29	25	34
1	983	603-246		26	24	22
1	984	602-249		29	26	24
1	985	603-248・249		29	25	25
1	986	571-270		38	33	26
1	987	570-272		29	24	30
1	988	570-272		31	21	50
1	989	564・565-254		34	27	41
1	990	561・562-250・251		57	50	54
1	991	565-251・252		41	34	19
1	992	566・567-248		43	42	36
1	993	602-244		37	35	23
1	994	599-247	5号溝	54	38	32
1	995	609-224		30	28	37
1	996	603-230		33	32	29
1	997	603・604-230・231		30	27	24
1	998	567-253		23	22	22

第三章 検出された遺構と出土遺物

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
1	999	564・565-240・241		26	24	32
1	1000	576・577-249		33	28	44
1	1001	585・586-130・131		60	57	17
1	1002	585-128・129		66	61	15
1	1003	593-133・134		(42)	40	20
1	1004	582・583-133		32	26	24
1	1005	欠番				
1	1006	598-206	7号住居	47	[31]	23
1	1007	594-165		29	23	38
1	1008	601-163・164		28	21	19
1	1009	600-160		27	21	24
1	1010	600-159		21	18	20
1	1011	588・589-249	271号土坑	21	19	25
1	1012	605・606-198		39	35	34
1	1013	609・610-197		30	28	24
1	1014	586-127		27	24	24
1	1015	585-127・128	P186	32	31	63
1	1016	575-147		29	21	42
1	1017	583-157		26	26	26
1	1018	584-161	292号土坑	44	35	41
1	1019	580・581-161・162		36	33	42
1	1020	587-165		30	29	41
1	1021	588-167・168		26	22	29
1	1022	592・593-130・131		37	30	34
1	1023	576-168・169		48	[38]	47
1	1024	586-138	P295	33	(23)	29
1	1025	589-125		27	20	47
1	1026	601-185	296号土坑	42	34	54
1	1027	604-185・186		32	27	33
1	1028	592・593-181		29	26	38
1	1029	588・589-189・190		34	25	41
1	1030	587・588-165		28	27	31
1	1031	591-165		34	22	25
1	1032	565-282・283		30	28	49
1	1033	567・568-286		40	37	41
1	1034	563-277		48	44	28
1	1035	605-180・181		29	25	26
1	1036	606・607-182・183	298号土坑	46	23	30
1	1037	610・611-179・180		39	32	25
1	1038	612-181・182		44	29	39
1	1039	591・592-189		35	29	38
1	1040	231-230	13号溝	40	34	36
1	1041	563・564-244		49	47	38
1	1042	564-265・266	308号土坑	(47)	41	56
1	1043	563・564-263・264		54	43	63
1	1044	564・565-262・263		41	39	49
1	1045	566-264		65	52	58
1	1046	610-151	3号溝	35	33	52
1	1047	615-192	2号溝	25	20	35
1	1048	604-193	3号溝	42	27	44
1	1049	601・602-215	3号溝	30	26	24
1	1050	602-212	3号溝	35	32	20
1	1051	607-176	3号溝	28	22	25
1	1052	616-176	2号溝	29	28	36
1	1053	607-176		25	21	39
1	1054	606-175・176	3号溝	33	31	36
1	1055	605-181・182	3号溝	34	27	36
1	1056	606-180・181	3号溝	33	23	55
1	1057	608・609-164	3号溝	50	30	65
1	1058	585-251	306号土坑	27	22	29
1	1059	608・609-235・236	2号溝	34	30	49
1	1060	610-231	2号溝	41	(29)	36
1	1061	566-256・257	3号溝	33	(24)	33
1	1062	591-249		44	40	14
1	1063	567・568-229・230	P1064	41	31	39
1	1064	567-229・230	P1063	32	23	36
1	1065	567-230		31	25	37
1	1066	574-233	13号溝	26	21	20
1	1067	574-233	13号溝	30	25	47
1	1068	592-262		25	[22]	24
1	1069	560-241		25	19	19
1	1070	575-215・216		50	42	35
1	1071	577・578-214・215		52	39	32

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
1	1072	578・579-214		45	34	54
1	1073	579-222		38	37	29
1	1074	578・579-222		44	31	22
1	1075	577-228		54	36	31
1	1076	591-229・230		26	25	45
3	1	716-023	P9	32	27	51
3	2	721-024		26	18	50
3	3	722-025		25	24	20
3	4	714-028		27	16	18
3	5	723-032		26	25	60
3	6	欠番				
3	7	722-032		29	22	65
3	8	716・717-023・024	P9	24	18	22
3	9	716-023	P1・8	23	(17)	17
3	10	714・715-041		32	26	29
3	11	706-042		32	27	56
3	12	704-042・043		26	25	23
3	13	699-041・042		34	27	28
3	14	698-041		27	24	29
3	15	703-037		34	21	23
3	16	704-035・036		42	28	24
3	17	706-036		19	15	21
3	18	707-034		27	18	15
3	19	699-042		32	20	46
3	20	698-040		33	27	21
3	21	701-037		24	23	36
3	22	713-040		24	23	34
3	23	712・713-041		33	23	28
3	24	704-036		23	17	25
3	25	748-067	P26	53	(41)	53
3	26	748-067	P25	43	(32)	41
3	27	732-024		22	20	31
3	28	723・724-027		29	29	46
3	29	721・722-026・027		35	25	49
3	30	723-024		30	25	42
3	31	724-021・022		43	31	33
3	32	725-024		28	25	35
3	33	759-073		43	31	46
3	34	752・753-069		44	39	65
3	35	752・753-068		34	32	38
3	36	752・753-067		51	44	34
3	37	733・734-021・022		30	24	44
3	38	724-030		29	24	23
3	39	721-029・030		25	23	26
3	40	722-028		36	31	29
3	41	733-024		28	24	60
3	42	716・717-024・025		25	25	38
3	43	714-032・033		33	23	42
3	44	713・714-032・033		30	27	37
3	45	739-009・010		31	24	24
3	46	736-010		33	28	34
3	47	738-011		30	28	32
3	48	742-006		29	25	18
3	49	742-005		32	27	15
3	50	741・742-003	P51	33	25	32
3	51	742-003	P50	30	27	31
3	52	740-002		43	28	25
3	53	731・732-008		54	40	59
3	54	736・737-005・006		38	29	24
3	55	733-009		27	18	28
3	56	735・736-006	P59	31	29	27
3	57	734-016		27	24	40
3	58	735・736-006・007		26	23	31
3	59	735・736-006	P56	29	21	26
3	60	737-006		29	26	30
3	61	730・731-014・015		63	60	62
3	62	755・756-023		54	33	51
3	63	757-023・024		29	21	38
3	64	759-024		49	34	42
3	65	755-024		33	31	32
6	1	1号掘立				
6	2	1号掘立				
6	3	1号掘立				

第5節 中世以降

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
6	4	1号掘立				
6	5	1号掘立				
6	6	1号掘立				
6	7	902-847・848		28	27	44
6	8	912・913-872・873		37	35	19
6	9	914-870		39	33	26
6	10	896-867	P11	(35)	30	8
6	11	896-867	P10	31	25	43
6	12	897-866		31	27	15
6	13	884-865		29	23	17
6	14	875-867		33	25	30
6	15	875・876-867		29	27	25
6	16	868・869-859・860		45	43	17
6	17	880-859		24	21	25
6	18	880・881-862		29	20	14
6	19	878・879-854	5号溝	35	26	17
6	20	878・879-875		28	24	42
6	21	880-874・875		24	18	29
6	22	881-874		27	22	82
6	23	914-893・894		32	22	42
6	24	910-899		38	34	62
6	25	901-892		36	35	53
6	26	901-893・894		62	53	7
6	27	900-895		31	28	23
6	28	902-895・896		48	43	20
6	29	902-894		41	36	24
6	30	902・903-894		38	36	37
6	31	903-896		36	30	34
6	32	904-895		43	38	41
6	33	903・904-897		(36)	28	18
6	34	904-893		45	38	42
6	35	900-890・891		53	44	37
6	36	901-890	P39	38	36	26
6	37	902-891		57	43	54
6	38	903-891		35	33	34
6	39	901-890	P36	30	(23)	17
6	40	906-890		50	41	19
6	41	907-891		23	22	13
6	42	907-891		28	26	25
6	43	905-894		47	41	43
6	44	907・908-891・892		50	31	20
6	45	906・907-892・893		64	51	56
6	46	907・908-892		36	33	22
6	47	894-850		62	36	26
6	48	906-898		28	27	24
6	49	907・908-898		53	43	59
6	50	907-897		35	31	36
6	51	908・909-896		23	21	18
6	52	908・909-893		32	26	40
6	53	910-897		29	28	47
6	54	911-897		22	18	32
6	55	911・912-897・898		48	40	50
6	56	912-897		38	31	45
6	57	912-896		25	19	27
6	58	912-896		34	23	51
6	59	912-895		27	23	53
6	60	910・911-896		27	23	24
6	61	909・910-895		26	23	27
6	62	909・910-894		58	43	35
6	63	欠番				
6	64	910-894		44	30	50
6	65	911-895		31	25	17
6	66	911-894		30	26	38
6	67	911-894		31	29	15
6	68	912・913-894・895		44	39	37
6	69	912・913-893		27	24	30
6	70	911-891		24	21	17
6	71	912-890		42	40	43
6	72	912-891・892	P73	52	40	68
6	73	912-891	P72	33	26	37
6	74	912・913-892		31	31	56
6	75	913-892・893		27	23	41
6	76	914-893		25	20	22

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
6	77	914-892・893		44	36	31
6	78	915-890		36	23	35
6	79	916-890	P80	(38)	32	47
6	80	915・916-890	P79	40	36	39
6	81	916-891		34	32	47
6	82	916-891		37	30	55
6	83	916-890		24	19	22
6	84	916・917-890		35	30	41
6	85	894-890		38	35	33
6	86	894-890・891		26	26	20
6	87	896-892		45	34	28
6	88	895・896-891		77	54	31
6	89	896-890・891		19	17	28
6	90	896-893		31	30	21
6	91	897・898-890		34	31	41
6	92	897・898-890・891		52	35	35
6	93	897-891		25	21	20
6	94	897-891・892		36	32	32
6	95	897・897-892		36	28	35
6	96	898-891		60	53	35
6	97	898・899-891		52	41	38
6	98	899-891		30	23	20
6	99	899-891		30	27	26
6	100	899-892		25	19	18
6	101	899・900-892		38	27	29
6	102	898-894		26	24	29
6	103	898・899-894・895		33	30	17
6	104	910-887・888		38	32	46
6	105	900・901-888		27	23	30
6	106	901-888		30	28	26
6	107	901-889		46	40	43
6	108	909-885	P109	(39)	33	24
6	109	909-885	P108	37	29	32
6	110	911・912-888		53	43	56
6	111	912-889		32	28	45
6	112	912・913-889		67	47	35
6	113	912-886		26	23	23
6	114	911-885		22	20	26
6	115	911-882		42	38	25
6	116	911・912-881・882		37	30	31
6	117	914-881・882		32	27	35
6	118	914・915-882・883		37	30	31
6	119	914・915-882		32	27	33
6	120	915-881・882		45	42	47
6	121	917-881・882		34	26	14
6	122	915-880		38	34	33
6	123	917・918-885		32	31	45
6	124	918-886		38	35	37
6	125	916-887・888		43	40	29
6	126	913-885		24	22	34
6	127	913・914-884		30	25	28
6	128	908-882		26	24	24
6	129	908・909-883・884	P130	(47)	39	33
6	130	908・909-883	P129	39	37	15
6	131	909-884		30	26	27
6	132	906-883		52	47	35
6	133	905-883・884		34	29	39
6	134	905・906-884・885		35	30	36
6	135	905-885		33	30	35
6	136	906-886		39	33	36
6	137	906・907-885・886		29	28	35
6	138	911-886		21	19	9
6	139	921-884		33	29	48
6	140	920-882		26	23	51
6	141	921-882		23	22	18
6	142	921-880		23	19	26
6	143	920・921-878・879		38	37	23
6	144	920-878		24	23	40
6	145	920・921-878		34	31	39
6	146	921-877	P475	33	31	38
6	147	922-878		23	18	28
6	148	923-878		35	33	26
6	149	920-875・876		31	27	28

第三章 検出された遺構と出土遺物

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
6	150	921-875・876		26	23	29
6	151	922-875		25	20	16
6	152	923-875・876		43	37	27
6	153	923-876		27	25	18
6	154	925-875		29	28	18
6	155	920-874		22	20	18
6	156	920-872		18	18	13
6	157	924・925-873・874		30	28	19
6	158	924・925-873		23	20	16
6	159	924-873		26	21	21
6	160	925-872		22	19	8
6	161	926-873		34	32	14
6	162	926・927-872・873		48	45	57
6	163	927-874		31	26	13
6	164	928-873		26	25	17
6	165	912-880		26	25	28
6	166	909-880		25	20	26
6	167	909-879		34	26	31
6	168	908・909-877・878		32	31	29
6	169	907・908-878		31	19	27
6	170	908-877		29	26	30
6	171	908-876・877		50	32	30
6	172	909-875・876		44	42	13
6	173	906-878・879		46	32	41
6	174	905-879		36	27	48
6	175	905-877		37	33	19
6	176	907-875・876	P177	45	29	44
6	177	907-875	P176	37	30	25
6	178	907・908-875		37	25	12
6	179	912-876		50	40	16
6	180	913-874		29	27	19
6	181	3号掘立P1				
6	182	888-861	P194	37	28	29
6	183	878・879-864		46	38	14
6	184	877-863・864		34	29	23
6	185	875・876-863・864		44	36	38
6	186	876・877-863・864	P627	48	39	28
6	187	876・877-862		38	33	20
6	188	876・877-860・861		52	41	45
6	189	873-864・865		60	54	25
6	190	873-861・862		52	49	15
6	191	873-861		54	52	13
6	192	873・874-861・862		81	71	42
6	193	870・871-864		40	33	16
6	194	3号掘立P3	P182			
6	195	880・881-864		42	35	49
6	196	881・882-864		45	35	30
6	197	881-862・863		50	44	27
6	198	885-868・869		53	42	23
6	199	884・885-869	11号溝	34	32	20
6	200	885-867		63	58	30
6	201	886・887-866		70	69	17
6	202	888・889-868・869		95	76	41
6	203	888-868		39	32	14
6	204	888-867・868		69	31	11
6	205	888・889-863		97	83	18
6	206	877-867		36	31	47
6	207	870-864		32	30	20
6	208	883・884-865・866		65	62	33
6	209	932-865		27	22	35
6	210	890・891-855		37	36	11
6	211	891-852		33	28	50
6	212	890・891-851		69	56	62
6	213	893-850・851		54	52	25
6	214	893-852	4号掘立P4(P367)	44	39	20
6	215	893-853		34	27	23
6	216	892-854・855		48	44	28
6	217	4号掘立P5				
6	218	893・894-854・855		86	70	38
6	219	896-856・857		53	47	25
6	220	4号掘立P7				
6	221	896-854・855		55	50	27
6	222	896・897-854・855		66	43	21

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
6	223	898・899-856		59	53	32
6	224	898・899-855	P225	(77)	64	63
6	225	898・899-855	P226	49	34	43
6	226	899-855		45	38	38
6	227	898-854		47	39	53
6	228	897・898-853・854	4号掘立P8(P352)	46	44	34
6	229	894-850・851		32	31	47
6	230	894・895-851	P231	66	(54)	12
6	231	895-850・851	P230	55	47	12
6	232	4号掘立P2				
6	233	896・897-850・851	P390	74	59	69
6	234	899-852		45	41	24
6	235	897・898-851・852	4号掘立P1(P237)	87	62	64
6	236	4号掘立P1	P235			
6	237	897・898-851	P235	(52)	50	31
6	238	896-858		47	46	23
6	239	891-864・865		24	23	26
6	240	892-864・865		30	25	20
6	241	896-864		28	27	23
6	242	898・899-861		29	28	38
6	243	3号掘立P4				
6	244	891・892-887		30	25	21
6	245	892-888		30	23	19
6	246	892-888・889		42	40	26
6	247	895-889		28	25	19
6	248	896-888		31	23	29
6	249	896-887		29	26	47
6	250	896-887		33	29	54
6	251	897-889		24	22	38
6	252	898-889		22	18	35
6	253	897・898-888		28	24	40
6	254	898・899-888・889		48	46	47
6	255	899-888・889		35	25	27
6	256	899-888		38	24	43
6	257	899-889・890		43	40	20
6	258	900-889・890		41	35	52
6	259	900-891		36	30	38
6	260	901・902-892		29	27	19
6	261	901-891		33	28	28
6	262	901-890・891		29	28	32
6	263	902-889・890		26	25	25
6	264	903・904-889		43	40	43
6	265	900・901-888・889		47	36	48
6	266	欠番				
6	267	899-886		43	28	29
6	268	900-886		42	32	25
6	269	877-872		34	30	29
6	270	875-873		35	33	19
6	271	欠番				
6	272	889・890-868・869		66	53	24
6	273	887・888-874		69	64	10
6	274	887・888-873		23	21	38
6	275	890-872・873		68	63	28
6	276	891-875		31	26	32
6	277	891・892-874		42	30	48
6	278	893-874・875		39	36	17
6	279	893・894-874		22	18	32
6	280	894-875		27	26	35
6	281	892-871・872		39	37	19
6	282	896-871		22	19	29
6	283	898・899-874		48	37	31
6	284	899-874		41	39	59
6	285	899-874		32	28	29
6	286	899-874		33	24	23
6	287	899・900-878		31	27	56
6	288	900-877・878		38	32	38
6	289A	881-860・861		56	38	46
6	289B	901-878・879		21	18	15
6	290	901・902-879		47	43	15
6	291	900・901-879		26	25	14
6	292	899・900-879・880		69	47	30
6	293	901-880・881		61	43	34
6	294	903-882・883		59	48	19

第5節 中世以降

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
6	295	904-880・881		48	46	32
6	296	903-877・878		56	43	17
6	297	903-877・878		43	36	36
6	298	902-877		25	22	33
6	299	902-875・876		27	23	32
6	300	878-876		26	25	28
6	301	881-873・874		47	44	27
6	302	881-874		41	36	33
6	303	882-875		30	26	23
6	304	881・882-876・877		80	73	28
6	305	880・881-874・875		52	41	21
6	306	881-875		36	34	19
6	307	884-874・875		34	32	23
6	308	884-874		25	24	31
6	309	884-875・876		33	29	21
6	310	880・881-877		20	16	13
6	311	880-877		58	35	38
6	312	880-876・877		41	37	20
6	313	882・883-877・878		67	53	25
6	314	882・883-879・880		73	52	28
6	315	885-877		30	30	28
6	316	885・886-878		73	63	39
6	317	887-878・879		30	25	28
6	318	885・886-879・880		64	50	39
6	319	886-881		36	33	27
6	320	884-880		53	52	42
6	321	896-886		30	26	37
6	322	909・910-877・878		31	27	36
6	323	910-876・877		28	24	34
6	324	883・884-872・873		61	57	29
6	325	884・885-871・872		58	52	38
6	326	890・891-869・870		64	51	31
6	327	895-871		39	28	33
6	328	893-877		25	22	24
6	329	892-876	1号土砂採掘坑	23	18	13
6	330	880-875	P331	35	25	47
6	331	880-875	P330・332	46	34	8
6	332	880・881-875	P331	38	31	12
6	333	欠番				
6	334	欠番				
6	335	905・906-855		44	37	59
6	336	875-872		22	21	33
6	337	875-873		27	23	23
6	338	876-874		24	18	31
6	339	877-873・874		28	27	58
6	340	876-875		26	[13]	30
6	341	876-871		32	30	67
6	342	877-872		25	21	28
6	343	878・879-870		23	20	35
6	344	881-877		41	31	20
6	345	欠番				
6	346	902-866		48	40	56
6	347	899-858		30	26	37
6	348	899-858		63	51	22
6	349	897・898-857		31	27	48
6	350	897-856		30	24	39
6	351	899-854		23	21	39
6	352	4掘立P 8	P228			
6	353	897-851		33	28	49
6	354	897・898-849・850	P645	42	51	26
6	355	4掘立P 6				
6	356	892-859		60	42	28
6	357	3掘立P 6				
6	358	891・892-857・858		48	45	24
6	359	892-852		44	41	79
6	360	892-851		29	27	31
6	361	889・890-850		23	21	38
6	362	891-850・851		35	30	70
6	363	891・892-850		47	35	45
6	364	892-850		39	34	67
6	365	891・892-851		39	32	75
6	366	893-850・851		30	26	42
6	367	4掘立P 4	P214			

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
6	368	893・894-850		45	42	30
6	369	4掘立P 3				
6	370	894-849		53	39	26
6	371	894-848・849		45	27	46
6	372	892-849		34	32	13
6	373	890-849		48	33	38
6	374	892-847・848		43	37	56
6	375	890-847		31	29	30
6	376	891・846・847		45	42	33
6	377	891・892-846・847		37	26	49
6	378	889-845		36	30	56
6	379	889-844・845		38	29	60
6	380	889・890-845・846		82	76	81
6	381	890-844・845	P382	51	(33)	28
6	382	890-844	P381	(85)	72	79
6	383	894-838・839		47	35	50
6	384	893-835・836		59	48	62
6	385	892-843・844		63	56	59
6	386	897・898-835		83	53	19
6	387	887-856		49	47	27
6	388	889-853		35	31	39
6	389	896・897-849		43	39	59
6	390	896・897-849・850	P233	103	63	72
6	391	885-853		38	26	50
6	392	885-853		37	28	47
6	393	881-853・854		25	24	39
6	394	881-853・854		29	25	53
6	395	881・882-853		31	27	54
6	396	878・879-853		31	29	8
6	397	877・878-855		31	31	35
6	398	876-857	14号土坑	51	36	23
6	399	871-859		32	28	45
6	400	868-859		27	24	25
6	401	889・890-848		29	25	22
6	402	887-851・852	10・11号住居	23	20	28
6	403	882-844・845	9号住居	56	[25]	32
6	404	882-844	9号住居	28	[15]	14
6	405	874・875-850・851	11号土坑	59	40	31
6	406	875・876-876・877	8号住居、14号土坑	[73]	[53]	17
6	407	874-855・856		47	43	12
6	408	868・869-865・866		44	38	32
6	409	869-865		31	28	27
6	410	871-853		29	27	24
6	411	876・849		26	23	36
6	412	876・877-849		35	32	37
6	413	887・888-852		23	21	22
6	414	887・888-852	10・11号住居	28	26	23
6	415	889・890-849・850		32	30	54
6	416	885・886-846		38	28	52
6	417	879・880-848	14号溝	27	16	30
6	418	893・894-887・888		61	50	34
6	419	896・897-873・874		55	43	73
6	420	879-869	7号住居	23	20	37
6	421	879-869		23	18	39
6	422	894・895-889		45	25	29
6	423	896-889		30	21	21
6	424	896・897-889・890		33	29	19
6	425	897-889		25	22	41
6	426	898-888・889		30	23	29
6	427	898-888・889		30	18	39
6	428	899・900-890		57	38	36
6	429	901-890		25	23	37
6	430	902-889・890		41	31	12
6	431	902-888		54	47	28
6	432	905-888		41	32	53
6	433	905・906-887		28	23	30
6	434	906-887・888		39	37	32
6	435	906-887		44	38	35
6	436	907・908-886・887		37	27	31
6	437	905・906-892		61	47	67
6	438	907-898		37	29	23
6	439	908-898		33	31	19

第三章 検出された遺構と出土遺物

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
6	440	909-897		36	31	15
6	441	909・910-898		53	44	33
6	442	908-891		45	38	52
6	443	909・910-890		35	30	32
6	444	910-891・892		42	40	44
6	445	913・914-892・893		34	32	33
6	446	915-890・891		54	38	39
6	447	913・914-889		26	23	21
6	448	915-888・889		32	30	37
6	449	910・911-886・887		33	25	26
6	450	897-885	3号畠	38	35	16
6	451	896-883		23	21	21
6	452	898-884	3号畠	34	23	37
6	453	898-885		30	28	23
6	454	897-882		37	27	32
6	455	898-886・887	3号畠	24	20	28
6	456	898-886	3号畠	25	21	29
6	457	900-882		32	28	23
6	458	904-881		30	28	21
6	459	905-884・885		26	24	31
6	460	907-883・884		49	46	30
6	461	908-883		37	33	17
6	462	906-879・880		24	22	29
6	463	902-877		27	24	25
6	464	904・905-873・874		42	40	41
6	465	905-876		32	28	21
6	466	908-874		29	27	40
6	467	900-879		36	29	44
6	468	913・914-882		36	33	32
6	469	919-888		22	19	34
6	470	919-887		25	22	29
6	471	917-877		33	29	27
6	472	918-877		21	19	31
6	473	916-876		31	25	34
6	474	919-878		31	30	26
6	475	921-877	P146	30	27	32
6	476	922・923-878		33	28	32
6	477	916-870・871		60	59	28
6	478	919-867・868		47	40	29
6	479	919-866・867		42	37	25
6	480	918・919-862・863		35	31	33
6	481	881-871	P304	46	44	25
6	482	881・882-871	P304	30	30	26
6	483	887-878・879		33	30	28
6	484	884・885-880	P557	(40)	29	29
6	485	886・887-880		51	45	28
6	486	885-873・874		33	30	24
6	487	893-876	1号土砂採掘坑	21	19	49
6	488	896・897-875		30	26	24
6	489	901-872・873	4号畠	41	36	29
6	490	900-872	4号畠	35	34	23
6	491	901-852		24	21	22
6	492	900-851		41	32	19
6	493	901-851		28	20	20
6	494	901-850・851		31	26	41
6	495	902・903-849		69	55	48
6	496	903・904-849		32	26	33
6	497	904-849		42	34	22
6	498	902-852・853		29	23	18
6	499	902・903-852		56	54	41
6	500	904-852		38	34	36
6	501	901・902-855		34	30	17
6	502	904-855		31	24	20
6	503	898-836		41	32	34
6	504	898-836		20	19	11
6	505	903-839		20	19	21
6	506	903-841		36	30	29
6	507	906-841・842		38	34	16
6	508	906-843		28	25	13
6	509	5号掘立P1				
6	510	5号掘立P2				
6	511	5号掘立P3				
6	512	906-852・853		24	22	17

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
6	513	906-854		23	20	33
6	514	907-856		45	36	46
6	515	907・908-853・854	2号掘立P8	(94)	79	46
6	516	5号掘立P4				
6	517	5号掘立P5				
6	518	5号掘立P6				
6	519	910-843・844		45	38	13
6	520	910-845・846		48	35	29
6	521	911-846		34	31	37
6	522	909-846・847		34	32	22
6	523	910-847		45	32	27
6	524	911・912-847・848		52	42	37
6	525	912-846		32	28	11
6	526	912-850		31	28	18
6	527	913・914-850		44	40	50
6	528	913・914-848・849		66	58	63
6	529	914-848		57	38	23
6	530	914・915-850・851		90	77	45
6	531	909-852・853		63	47	57
6	532	906・907-853・854	2号掘立P8	90	(81)	50
6	533	909・910-856		73	57	36
6	534	911-856		28	26	41
6	535	911-857・858		31	26	33
6	536	912-858		26	22	27
6	537	911・912-854	P538	(56)	(33)	48
6	538	911・912-854	P587	(45)	43	20
6	539	913-854		38	35	25
6	540	914-846		54	40	28
6	541	919・920-849・850	P542	52	49	57
6	542	919・920-849・850	P541	58	47	30
6	543	920・921-850	P544	56	44	31
6	544	920・921-849・850	P543	70	43	25
6	545	917-853・854	P546	72	67	43
6	546	917-853	P545	(66)	55	41
6	547	915・916-853・854		48	42	30
6	548	922-860・861		32	29	20
6	549	929・930-862	P550	45	(39)	38
6	550	929・930-862・863	P549	60	41	29
6	551	917-855・856		44	43	38
6	552	916-856・857		51	38	29
6	553	918-855・856		51	45	43
6	554	919-858		40	37	28
6	555	914-863		33	28	42
6	556	878・879-860		46	43	36
6	557	884・885-880	P484	29	21	35
6	558	875・876-873・874	7号住居	53	(28)	25
6	559	3号掘立P5				
6	560	897-834		47	35	21
6	561	887-843・844	5号住居	64	54	58
6	562	3号掘立P2				
6	563	882-854・855		56	46	55
6	564	883-854		53	48	39
6	565	904・905-841・842	P566	(47)	45	20
6	566	904・905-841	P565	38	31	22
6	567	906-844・845		30	29	28
6	568	895・896-866		72	53	37
6	569	897-892		19	17	30
6	570	897・898-891		33	26	32
6	571	898・899-893		34	25	21
6	572	911-900		28	(24)	55
6	573	912-897	P574	31	(30)	35
6	574	912-897	P573	36	24	42
6	575	912-892・893		28	26	27
6	576	913-891		47	47	43
6	577	914-889		34	31	40
6	578	915-889・890		47	38	48
6	579	917-890		(57)	47	43
6	580	917・918-889・890		(47)	27	27
6	581	913-883		25	21	26
6	582	911-881		23	22	18
6	583	911・912-880・881	P584	35	35	42
6	584	912-880・881	P583	34	31	18
6	585	913-881		26	22	25

第5節 中世以降

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
6	586	914-882		30	29	39
6	587	915-880・881		26	23	21
6	588	919-877		28	18	35
6	589	901-885・886		30	26	13
6	590	903-888		33	13	44
6	591	901-879		27	23	20
6	592	902-876・877		23	19	22
6	593	904-876		24	22	20
6	594	898-875・876		23	20	27
6	595	899-875・876		26	24	30
6	596	892-876	1号土砂採掘坑	28	25	33
6	597	886-879・880		47	24	30
6	598	881・882-872	12号溝	37	36	19
6	599	881-866		42	39	46
6	600	882-866・867		43	40	39
6	601	878・879-864・865		32	30	46
6	602	877-862		27	23	28
6	603	874-863・864		32	28	35
6	604	874-863		36	35	20
6	605	874-866		28	27	33
6	606	872-862		25	25	28
6	607	879・880-853		33	30	44
6	608	887・888-847		60	57	70
6	609	890-846	P636	38	(35)	33
6	610	890・891-867		25	23	25
6	611	911・912-845		35	31	22
6	612	892・893-851		47	45	53
6	613	895-854		38	22	54
6	614	889-862		25	23	21
6	615	896-858		41	38	29
6	616	896・897-857		51	44	33
6	617	898-858・859		42	42	23
6	618	900・901-857		54	40	23
6	619	898-855・856		31	26	23
6	620	898・899-867		66	62	38
6	621	900-867		34	33	48
6	622	907・908-845・846		31	29	20
6	623	869・870-856		49	36	36
6	624	870-853・854		48	44	27
6	625	875-847・848		71	52	46
6	626	875-847		34	30	34
6	627	876・877-864	P186	44	40	47
6	628	893-851		33	28	49
6	629	883-852		29	23	48
6	630	875-847		32	28	41
6	631	882-846		34	33	17
6	632	883-845		56	33	18
6	633	885-845・846		37	33	27
6	634	889-846・847	P635	45	(39)	21
6	635	889・890-846	P634・636	47	40	82
6	636	889・890-846・847	P609・635	(57)	48	59
6	637	890・891-850・851		87	58	58
6	638	883-850・851		25	22	37
6	639	875-845・846		37	33	21
6	640	874-848		27	23	45
6	641	889-847		36	29	28
6	642	欠番				
6	643	900-849		65	53	32
6	644	900・901-849・850		57	51	46
6	645	898-849・850	P354	[38]	34	26
6	646	902-850・851		50	46	24
6	647	902-851		43	(37)	29
6	648	欠番				
6	649	903-856・857		46	43	20
6	650	875-844・845		28	[12]	26
6	651	903・904-843・844	12号住居	58	36	57
6	652	903-843	12号住居	44	40	50
6	653	910・91-889		45	38	22
6	654	907・908-879		43	37	42
6	655	927・928-870・871		38	34	41
6	656	950・951-812		35	28	35
6	657	952・953-813		41	36	38
6	658	953-813		37	32	22

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
6	659	952-813・814		35	33	20
6	660	953-813・814		38	36	34
6	661	952-814・815		52	46	27
6	662	946-818		41	35	52
6	663	946-818		35	32	25
6	664	949-820・821		48	33	40
6	665	914-806		31	27	29
6	666	915-808		57	46	31
6	667	913-808・809		52	41	21
6	668	912-812		43	35	26
6	669	914-811		54	49	20
6	670	916-810		55	48	17
6	671	917・918-810		28	28	16
6	672	919-812	6号掘立	34	33	38
6	673	916-817		25	22	24
6	674	916-817		21	20	21
6	675	918-817・818		25	23	20
6	676	919・920-815・816	6号掘立	44	39	27
6	677	921-814・815		30	26	18
6	678	922-813・814	7号掘立	45	29	12
6	679	922-815	7号掘立	33	32	14
6	680	921-816	7号掘立	48	47	27
6	681	920・921-817・818	6号掘立	60	52	36
6	682	920-818・819	P683	45	38	20
6	683	920-819	P682・684	36	33	18
6	684	920-819・820	P683	59	51	36
6	685	921・922-821		40	33	33
6	686	922・923-822		55	39	46
6	687	923・924-821		83	53	20
6	688	923-819		36	32	35
6	689	924・925-819・820		76	62	18
6	690	924-817・818		84	66	18
6	691	923-816	7号掘立	31	28	34
6	692	925-814	7号掘立	42	36	14
6	693	924-791		48	45	22
6	694	924・925-792		43	43	28
6	695	924・925-793		62	43	25
6	696	927・928-788		40	38	39
6	697	928-790		25	24	21
6	698	928-789・790		28	26	33
6	699	929-791		23	22	11
6	700	930-792		26	24	23
6	701	930792		23	18	16
6	702	926-794・795		39	34	33
6	703	922・923-792	トレンチ	47	43	29
6	704	921-795	トレンチ	(43)	40	23
6	705	922・923-795・796		49	46	28
6	706	923-795・796		42	40	14
6	707	923・924-796・797		71	48	36
6	708	919・920-797		27	23	23
6	709	919-798		28	23	14
6	710	11号掘立P4				
6	711	11号掘立P3				
6	712	924-802・803		22	19	12
6	713	925-804		26	24	18
6	714	11号掘立P1				
6	715	922・923-804・805	11号掘立	27	26	25
6	716	924-806		20	19	28
6	717	11号掘立P7				
6	718	936-876・877		34	33	52
6	719	926-809		37	33	34
6	720	923・924-810		53	36	16
6	721	924-811		39	25	20
6	722	925-812・813		39	33	29
6	723	925-812		34	31	33
6	724	925・926-811		94	60	40
6	725	925-810		36	35	27
6	726	926・927-813		28	28	36
6	727	934-880・881		38	28	48
6	728	933・934-884		41	36	51
6	729	928・929-787		60	52	50
6	730	919-899		26	22	39
6	731	929-886		43	33	30

第三章 検出された遺構と出土遺物

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
6	732	916・917-896		34	29	23
6	733	920-899・900		41	28	69
6	734	939・940-859・860		43	38	23
6	735	940-859・860		41	36	23
6	736	943-859		43	43	30
6	737	943-857		33	30	26
6	738	943・944-857		38	38	29
6	739	946-856		32	30	30
6	740	947・948-855・856	P741	(45)	38	11
6	741	948-855・856	P740	51	47	21
6	742	946-853・854		43	35	38
6	743	945・946-854・855		47	32	50
6	744	943-854		34	30	20
6	745	921-803・804		43	41	18
6	746	11号掘立P2				
6	747	916-803・804		35	33	25
6	748	929・930-810		37	34	19
6	749	932・933-810		57	53	36
6	750	937・938-809	7号畠	47	45	38
6	751	938-808		36	32	23
6	752	937-802		39	32	25
6	753	924-821		29	27	30
6	754	940・941-844・845		45	41	23
6	755	941-844・845		24	23	25
6	756	942-846	P757	53	35	53
6	757	942-846・847	P756	43	40	18
6	758	943-846・847		34	30	20
6	759	942-848・849		30	30	21
6	760	941・942-848		51	44	30
6	761	938・939-795		32	28	41
6	762	936-785		42	41	26
6	763	936・937-784・785		27	24	19
6	764	937・938-790・791		28	25	20
6	765	939・940-787		30	29	17
6	766	938-785		32	23	32
6	767	934・935-781・782		37	28	25
6	768	930-788		33	26	26
6	769	942・943-808		43	37	35
6	770	941-810		37	35	17
6	771	941・942-810・811		53	45	43
6	772	942・943-812		54	48	67
6	773	940・941-814・815		49	38	30
6	774	944-810		38	33	55
6	775	951-817		26	23	20
6	776	950-818・819		51	37	16
6	777	934・935-852・853		31	30	14
6	778	931-848・849		43	37	26
6	779	932-846		28	24	12
6	780	932・933-842		41	39	23
6	781	932・933-841		46	43	26
6	782	933-840・841		64	56	32
6	783	933・934-839・840		60	42	34
6	784	934-839・840		42	37	27
6	785	935-840		35	33	23
6	786	935-839		31	29	27
6	787	932-839	8号掘立	58	56	25
6	788	932・933-840	8号掘立	59	38	16
6	789	932-841	8号掘立	36	32	38
6	790	931-842	8号掘立	42	37	25
6	791	930・931-843	8号掘立	41	41	17
6	792	923・924-836・837		54	53	25
6	793	939・940-810		43	32	19
6	794	929-835		46	41	56
6	795	937-841・842		41	32	20
6	796	930・931-845・846		54	49	28
6	797	928-846・847		42	32	20
6	798	930-840・841	8号掘立	51	47	28
6	799	926-845・846		36	35	46
6	800	939-769		42	38	25
6	801	939・940-768		48	40	53
6	802	942-762		36	31	45
6	803	940-767		35	32	21
6	804	943-762		28	25	37

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
6	805	944・945-759		34	30	31
6	806	941-766		39	29	39
6	807	946-755・756		46	42	27
6	808	933・934-814・815		43	40	19
6	809	935・936-814		50	47	16
6	810	935・936-813・814		72	44	25
6	811	938・939-811・812		53	33	14
6	812	920-822	P813	(42)	36	24
6	813	920-822	P812		37	31
6	814	940・941-809		41	37	25
6	815	941-806		27	26	6
6	816	917-897		27	23	22
6	817	924・925-851・852		43	43	22
6	818	924・925-850		43	39	37
6	819	924-848		32	26	15
6	820	925・926-848		48	41	54
6	821	925-848		36	34	22
6	822	924-847・848		23	19	21
6	823	923-847		36	33	25
6	824	923-849		58	53	24
6	825	921-849・850		37	36	61
6	826	921-847		35	33	16
6	827	921-846・847		39	37	21
6	828	919-848		48	44	27
6	829	920・921-845・846		41	31	26
6	830	920-845・846		37	35	17
6	831	921-845		47	34	9
6	832	918・919-845		66	52	22
6	833	920-844		53	48	26
6	834	928-847・848		34	33	22
6	835	922-843・844		51	38	37
6	836	921-842		49	46	21
6	837	920・921-839・840		54	46	25
6	838	926・927-839・840		59	53	17
6	839	925-833・834		50	43	25
6	840	922・923-834		52	43	20
6	841	916・917-846		47	43	19
6	842	917・918-845		66	59	29
6	843	917-843		31	25	10
6	844	916-841・842		46	39	18
6	845	917-841・842		48	44	25
6	846	919-834・835		43	36	13
6	847	917・918-833		49	47	14
6	848	918-831		23	22	10
6	849	917-830・831		31	28	16
6	850	915・916-831・832		34	32	22
6	851	916-832		48	46	12
6	852	915・916-832		46	39	24
6	853	915-832		28	26	13
6	854	915・916-833・834		48	42	11
6	855	916-834・835		34	32	15
6	856	913・914-833		47	41	15
6	857	912・913-832・833		68	55	36
6	858	912・913-831		41	33	20
6	859	912・913-830・831		57	46	24
6	860	914-830		45	43	18
6	861	912-830・831		43	37	25
6	862	926・927-832・833		41	38	37
6	863	921・922-832		57	49	25
6	864	920・921-832		49	48	28
6	865	918・919-830		60	46	38
6	866	917・918-927		52	43	18
6	867	917・918-926		61	57	24
6	868	921-899・900	27号住居	40	35	34
6	869	943・944-814・815		41	37	42
6	870	942-816		38	33	51
6	871	940・941-817		68	59	66
6	872	925-887・888		34	28	50
6	873	924・925-888	121号土坑	56	41	67
6	874	938・939-793		51	43	24
6	875	902・903-824		55	46	23
6	876	903・904-822・823		69	57	26
6	877	905-825・826		34	32	13

第5節 中世以降

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
6	878	906-826		36	32	23
6	879	909-819		29	25	30
6	880	906・907-819・820		57	50	26
6	881	908・909-822		38	33	19
6	882	909・910-823		39	36	37
6	883	910-822・823		47	45	28
6	884	909-824		41	32	18
6	885	909・910-824		27	25	15
6	886	908-826		31	31	18
6	887	911・912-823		34	333	50
6	888	910-827		28	26	17
6	889	903・904-829・830		58	45	19
6	890	903・904-831		82	67	43
6	891	901・902-833		70	61	28
6	892	900-833・834		36	31	20
6	893	900-835		35	29	27
6	894	903・904-833・834		55	36	20
6	895	905・906-833・834	12号畠	84	69	16
6	896	943-816・817		31	26	32
6	897	939・940-797・798		33	27	25
6	898	919-898		26	25	33
6	899	948-833		34	28	35
6	900	943-834・835		54	49	32
6	901	942・943-830		34	32	29
6	902	941・942-830・831		40	33	59
6	903	940-829		47	37	44
6	904	945・946-824		54	48	27
6	905	943・944-825		32	32	45
6	906	943・944-824		30	28	29
6	907	942-825		35	30	33
6	908	941・942-825・826		65	47	42
6	909	941-825・826		39	37	31
6	910	940-827	178号土坑	74	56	50
6	911	936・937-831		37	34	24
6	912	10号掘立P6				
6	913	10号掘立P5				
6	914	10号掘立P4				
6	915	10号掘立P3				
6	916	10号掘立P1				
6	917	930・931-827		29	27	29
6	918	927・928-824		60	46	32
6	919	930-825	9号掘立	30	28	38
6	920	931-825・826	9号掘立	29	27	45
6	921	935-823	9号掘立	40	28	31
6	922	936・937-821	9号掘立	30	30	19
6	923	937-821・822	9号掘立	46	36	18
6	924	938-823・824		30	26	31
6	925	937・938-824・825		81	60	37
6	926	欠番				
6	927	931-823	9号掘立	62	57	34
6	928	939-821・822		43	39	28
6	929	940-821・1822	1号円形周溝	(56)	47	29
6	930	939・940-821・822		42	37	30
6	931	941・942-821	1号円形周溝	53	49	41
6	932	943-820	1号円形周溝	40	38	19
6	933	941-819	1号円形周溝	47	43	23
6	934	941-820	1号円形周溝	57	50	43
6	935	943・944-821・822	1号円形周溝	45	34	30
6	936	940-797		27	21	42
6	937	925-900		36	33	46
6	938	942-823・824	1号円形周溝	36	(34)	19
6	939	933-882		47	42	32
6	940	946-842		52	38	22
6	941	934-879		24	23	44
6	942	935-879		35	31	37
6	943	915-846		43	40	16
6	944	914-844		47	45	25
6	945	912-843・844		33	32	13
6	946	912・913-843		49	42	20
6	947	911-843		62	36	21
6	948	910・911-842		34	34	10
6	949	913・914-842		49	45	14
6	950	909-841		41	38	22

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
6	951	909・910-841		38	34	20
6	952	909・840・841		27	24	17
6	953	909・910-840		43	38	40
6	954	914-839		54	47	20
6	955	913・914-837・838		52	45	26
6	956	911・912-837・838		49	44	11
6	957	912-836・837		49	39	13
6	958	911・912-835		59	56	19
6	959	911-836		30	28	13
6	960	910・911-835		47	44	18
6	961	909・910-838		54	51	26
6	962	908・909-836・837		71	68	48
6	963	930-847		37	36	24
6	964	914・915-836	P965	(37)	31	16
6	965	914-836	P964	47	41	12
6	966	903・904-838・839		78	53	37
6	967	907-841・842		39	33	19
6	968	907-841		34	28	22
6	969	906・907-840・841		49	47	11
6	970	907・908-836・837		56	42	30
6	971	908-836		28	26	18
6	972	906・907-836・837		43	38	29
6	973	906-835・836		54	41	24
6	974	907・908-835		62	54	17
6	975	908・909-833・834		48	47	26
6	976	933・934-839・840		45	28	17
6	977	906-834		45	44	61
6	978	905-837		57	41	23
6	979	914-824		50	43	18
6	980	915・916-826・827		99	55	24
6	981	914・915-826・827		42	38	14
6	982	913・828・829		46	33	13
6	983	910・911-831		39	35	17
6	984	909・910-830・831		53	52	31
6	985	932-811		35	24	33
6	986	935-816・817		66	64	23
6	987	936-815・816		36	30	20
6	988	936・937-814・815		52	42	25
6	989	938・939-814・815		46	42	30
6	990	939・940-813		47	40	40
6	991	938-811	P1014	(42)	38	22
6	992	939・940-812		42	40	39
6	993	937・938-874・875		49	47	52
6	994	904-837・838		60	51	22
6	995	921・922-837		38	24	19
6	996	944-832・833		31	28	18
6	997	942-826・827		32	30	19
6	998	943・944-826・827	P1026	(75)	51	22
6	999	947-825・826		32	29	23
6	1000	945-824		39	34	40
6	1001	939-822		48	39	25
6	1002	937-832・833		43	39	25
6	1003	938-830		31	24	31
6	1004	939-834		35	33	26
6	1005	920・921-802・803	11号掘立	64	37	37
6	1006	947-849		46	41	27
6	1007	943・944-847	P1008	52	(44)	35
6	1008	943・944-847	P1007	46	(44)	27
6	1009	944・945-847		42	40	19
6	1010	933・934-850・851		54	41	27
6	1011	940-853・854		41	33	23
6	1012	939-813	P1013	(44)	39	38
6	1013	939・940-812・813	P1012	36	29	26
6	1014	938-811	P991	43	42	52
6	1015	910・911-826		49	31	15
6	1016	940・941-846・847		44	27	15
6	1017	944-840		24	22	35
6	1018	945-839		33	29	29
6	1019	946-840・841		28	25	17
6	1020	947-842・843	2号円形周溝	25	24	19
6	1021	947-842	2号円形周溝	23	20	23
6	1022	948-843	2号円形周溝	39	36	34
6	1023	949-844	2号円形周溝	15	12	16

第三章 検出された遺構と出土遺物

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
6	1024	949-844	2号円形周溝	21	19	26
6	1025	949-841	2号円形周溝	54	52	41
6	1026	943-826・827	P998	67	57	31
6	1027	938・939-786		27	25	44
6	1028	939-786		30	24	48
6	1029	939-788		23	20	45
6	1030	11号掘立P5				
6	1031	11号掘立P8				
6	1032	10号掘立P2				
6	1033	939-855		38	34	18
6	1034	922-812・813		37	33	25
6	1035	922-818		39	37	16
6	1036	922-820		40	33	25
6	1037	920-820・821		32	26	20
6	1038	918・919-821	61号溝	32	31	24
6	1039	929-821・822		47	41	15
6	1040	931・932-823・824		47	46	23
6	1041	933-824・825		41	38	16
6	1042	938-820		43	40	10
6	1043	941・942-818・819		48	38	26
6	1044	942・943-822		34	34	21
6	1045	945-823		34	33	20
6	1046	946・947-824		37	32	17
6	1047	952・953-820		52	48	17
6	1048	953-820・821		33	33	12
6	1049	949・950-818		61	59	27
6	1050	949-816・817		34	33	56
6	1051	948-815・816		37	31	24
6	1052	950・951-813・814		36	32	13
6	1053	943・944-807		33	33	27
6	1054	943-795		37	32	23
6	1055	943-794		47	38	33
6	1056	941-791		53	46	16
6	1057	942-790		60	48	23
6	1058	939-792		19	18	14
6	1059	939-796		24	22	33
6	1060	935・936-807・808		53	41	12
6	1061	929-809		35	31	26
6	1062	928-813		30	28	11
6	1063	927-811・812		32	29	40
6	1064	927-808		37	34	18
6	1065	929・930-805・806		72	47	24
6	1066	931-804		46	33	33
6	1067	934-802		44	41	23
6	1068	927・928-848		38	36	16
6	1069	929-847		51	48	18
6	1070	928・929-846・847		46	44	22
6	1071	928-843・844		59	43	22
6	1072	923-847		53	48	18
6	1073	927・928-832・833	61号溝	57	48	18
6	1074	926-832・833		38	33	19
6	1075	925-834		40	32	20
6	1076	925-833・834		60	46	15
6	1077	925-831・832		48	41	14
6	1078	925-831		38	34	14
6	1079	923-833		46	39	45
6	1080	920-832・833		57	43	62
6	1081	914・915-824		34	29	11
6	1082	911-821		35	35	11
6	1083	907・908-817	61号溝	58	46	26
6	1084	929・930-829		38	34	22
6	1085	932-828		52	48	33
6	1086	932-831		42	41	19
6	1087	932-832		63	54	21
6	1088	934・935-832		33	31	16
6	1089	938-826・827		44	40	19
6	1090	940・941-828		27	20	26
6	1091	941-828		29	26	33
6	1092	941・942-827		45	37	25
6	1093	941-832		23	21	31
6	1094	941-831・832		25	19	29
6	1095	942-830		55	42	33
6	1096	943・944-829		20	15	16

区	No.	位置	重複	長径	短径	深さ
6	1097	943・944-827・828		25	20	19
6	1098	945-827・828		41	38	17
6	1099	945-832・833		30	26	14
6	1100	945-832		19	17	33
6	1101	947-833・834		37	33	33
6	1102	947-833		24	22	26
6	1103	948-833		27	26	29
6	1104	949-832		24	20	35
6	1105	928・929-840		41	34	20
6	1106	912-840		55	28	14
6	1107	912-838・839		58	33	17
6	1108	910-839		30	24	17
6	1109	908-838・839		46	45	25
6	1110	907-836・837		38	37	18
6	1111	907-836		53	32	18
6	1112	900-832		37	33	14
6	1113	904・905-826	3号円形周溝	27	28	19
6	1114	903-824	3号円形周溝	24	21	21
6	1115	905-824	3号円形周溝	26	222	16
6	1116	911-835		39	38	19
6	1117	911・912-834		42	38	19
6	1118	914-832		34	32	15
6	1119	931-854・855		47	37	19
6	1120	931-853	P1121	47	45	21
6	1121	930・931-852・853	P1120	87	(57)	33
6	1122	932-851		36	34	20
6	1123	932-851		19	18	17
6	1124	941-846	18号住居	44	37	12
6	1125	942-849	192号土坑	36	35	24
6	1126	916-833・834		52	43	19
6	1127	914・915-837		44	37	24
6	1128	906・907-832・833		38	36	13
6	1129	907-834		29	27	17
6	1130	901・902-824		23	19	9
6	1131	904-824	3号円形周溝	23	22	15
6	1132	903・904-823	3号円形周溝	41	33	14
6	1133	906-824	3号円形周溝	53	42	24
6	1134	906-818・819		39	27	41
6	1135	950・951-824・825		35	25	25
6	1136	950-826・827		40	36	29
6	1137	950-827		32	27	16
6	1138	953-827・828		28	25	16
6	1139	953-827		23	18	28
6	1140	953-825・826		46	43	15
6	1141	915・916-840	37号住居	67	32	21
6	1142	915-839		49	44	69
7	1	989・990-802		32	29	33
7	2	972・973-761	30号畠	57	48	23
7	3	欠番				
7	4	960・961-749	14号溝	52	45	26
7	5	958-747・748	14号溝	63	48	14
7	6	963・964-740		72	63	43
7	7	981-810		39	31	19
7	8	欠番				
7	9	959・960-804・805		47	43	66

(7) 遺構外出土遺物

遺構外からも遺物が出土している。各区の出土量を見る

と、1区・3区が多く、他の区は非常に少ない。古代同様、遺構の分布とほぼ同じ傾向を示している。種別を見ると、軟質陶器・在地系土器が陶磁器よりも多くなっている。

第45表 中世以降・時期不明遺構外出土土器・陶磁器数量表

区	出土位置	陶器	磁器	在地系土器 皿類	在地系土器 鍋鉢類	瓦	その他 不明	計
1	560-250	1						1
1	565-230				1			1
1	570-230				1			1
1	570-240		1					1
1	570-250	1						1
1	575-160		1		2			3
1	580-130	1						1
1	580-245			1				1
1	580-260			1				1
1	590-130	1			4			5
1	590-180	1						1
1	590-240	2						2
1	590-245	1						1
1	590-260			2	1			3
1	600-165	1			2			3
1	600-230	2		3	4			9
1	600-235	1		4				5
1	600-240			2	4			6
1	605-215	1						1
1	610-190			1	2			3
1	610-215	1			1			2
1	615-190				1			1
1	615-200				1			1
1	615-220				1			1
1	620-150	1	1					2
1	620-165		1					1
1	620-170	1						1
1	620-185	1						1
1	620-190	1			3			4
1	625-175			3				3
1	625-200	2	3	1	1			7
1	630-180	1						1
1	630-185				1			1
1	630-190	1						1
1	630-210				1			1
1	表採	10	3		5	2		20
1	遺構外	9		5	6		1	21
2	740-100			2				2
2	遺構外	2	3	2	7	1		15
3	710-030			1				1
3	710-040			2	1			3
3	720-010	1						1
3	720-050			2	2			4
3	730-030	1		2				3
3	730-040	5		3	2			10

区	出土位置	陶器	磁器	在地系土器 皿類	在地系土器 鍋鉢類	瓦	その他 不明	計
3	730-050	5	1	3		5		14
3	740-030	1		3		2		6
3	740-040	3		3		2		8
3	740-050	4	2	4		10		20
3	740-060	7	2	2		20		31
3	750-040					4		4
3	750-050	3	2	5		4		14
3	750-060	1						1
3	750-070					1		1
3	770-040			2		1		3
3	770-050	1		5		3		9
3	770-060	8	1	10		5		24
3	780-040					3		3
3	780-050			5		2		7
3	750-000					3		3
3	750-010	1		3		2		6
3	750-020			2		5		7
3	750-030					2		2
3	760-000			1		2		3
3	760-010			2		3		5
3	760-040			1		3		4
3	760-990			3		1		4
3	770-990			3		1		4
3	770-000	3	1	2		3		9
3	770-010	2				3		5
3	770-040	2				4		6
3	780-030					1		1
3	780-040			2		2		4
3	780-050			3		1		4
3	800-010					1		1
3	800-020			1				1
3	800-030			1		3		4
3	810-010			2		3		5
3	1面			3		2		5
3	2面			11				11
3	4面	1				1		2
3	5面			3		1		4
3	表採	1		6		3		10
3	遺構外	3		18		13		34
4	790-960			1				1
4	830-960	2				5	1	8
4	840-970		1			1		2
4	表採			2		1		3
5	遺構外	1						1
計		99	23	149		186	4	462

(8) 出土遺物(第436～444図 PL.191・192)

遺物は、陶磁器、在地系土器、軟質陶器、瓦、土製品、石製品、鉄製品、銅製品等が出土している。図示した遺物は143点で、図示できなかった破片遺物は、陶器139点、磁器38点、在地系土器皿類176点、在地系土器鍋・鉢類237点、瓦19点、その他1点、計610点である。在地系土器の鍋・鉢類等の大型品が、最も多くなっている。

陶磁器 渥美陶器、尾張陶器、古瀬戸陶器、瀬戸陶器、美濃陶器、瀬戸美濃陶器、常滑陶器や貿易陶磁器がある。

渥美陶器 1区4溝・272土坑から甕が、1区17溝から壺が、1区289土坑から瓶類が、遺構外から片口鉢等が出土。自然釉がかかるものが多い。12～13世紀中心。6点図示。

尾張陶器 1区10・17溝・1区274土坑・遺構外等から片口鉢等が出土。内面に使用により摩滅しているものあり。尾張型6形式のものが多い。5点図示。

古瀬戸陶器 1区5土坑から鉢が出土。灰釉。1点図示。

瀬戸陶器 6区26溝から丸碗が、遺構外から鉄絵皿が出土。灰釉、長石釉あり。2点図示。

美濃陶器 7区15溝から鉄絵皿、7区2溝から徳利が、遺構外から山茶碗・徳利が出土。4点図示。

瀬戸美濃陶器 7区2溝から丸碗・小杯が、5区1溝から湯飲みが、遺構外から丸皿・折縁皿・志野丸碗が出土。大窯3～4期のもの、江戸時代、近現代のものがある。10点図示。

常滑陶器 器面に自然釉がかかるものが多い。中世。1区15・45・110・124・137・146・274・297土坑・1区4・8・14・15溝・3区1井戸・6区58溝・7区2溝等から出土。25点図示。

肥前陶磁器 7区2溝から碗・仏飯器が、遺構外から碗・皿が出土。5点図示。

貿易陶磁器 龍泉窯系青磁、同安窯系青磁、中国白磁が出土。龍泉窯系青磁は1区4溝・5区1溝・遺構外から碗が出土しており、外面鑄蓮弁文を施すものがほとんどである。不確実なものも含めて11点図示。同安窯系青磁は710ピットから皿が、遺構外から碗が出土している。2点図示。中国白磁は5区1溝・1区149土坑から碗が、遺構外から皿・多角坏が出土。5点図示。

製作地不詳 陶器・磁器・土器が出土。7区2溝から

磁器皿が、1区15溝から土器・瓶類が、遺構外から灯火受台が出土。3点図示。

在地系土器 皿、片口鉢、すり鉢、内耳鍋、焙烙等が出土。

皿 口径9.6～11.4cmの小型品。外面底部に板状圧痕のあるものが多い。中世のものがほとんどである。1区12・18・22溝・55・220・276・285・315土坑・遺構外等から出土。14点図示。土坑出土のものが多いのは、土坑墓の副葬品が多いと考えられる。

片口鉢 還元炎焼成のものが多い。体部～底部内面使用により摩滅するものあり。14世紀中ごろを中心とした中世のものが多い。1区4・10溝・195・247土坑・遺構外等から出土。8点図示。

すり鉢 内面にすり目を施す。16～17世紀のものが多い。1区9・18溝等から出土。3点図示。

内耳鍋 中世のものが多い。1区4・14溝・1062ピット等から出土。4点図示。

焙烙 近世のものが多い。1区16・18溝等から出土。3点図示。

瓦 十能瓦、引掛棧瓦等が出土。

十能瓦 断面黒色、凸面砂状痕凹面ナデが多い。近現代。1区5溝・遺構外出土。2点図示。

引掛棧瓦 深谷産、第二次大戦から終戦直後のものがほとんど。4区1溝・遺構外出土。2点図示。

土製品 1区4溝出土不明土製品1点図示。

石製品 石鉢、板碑出土。

石鉢 指定口径28cmの大型品。遺構外出土。1点図示。

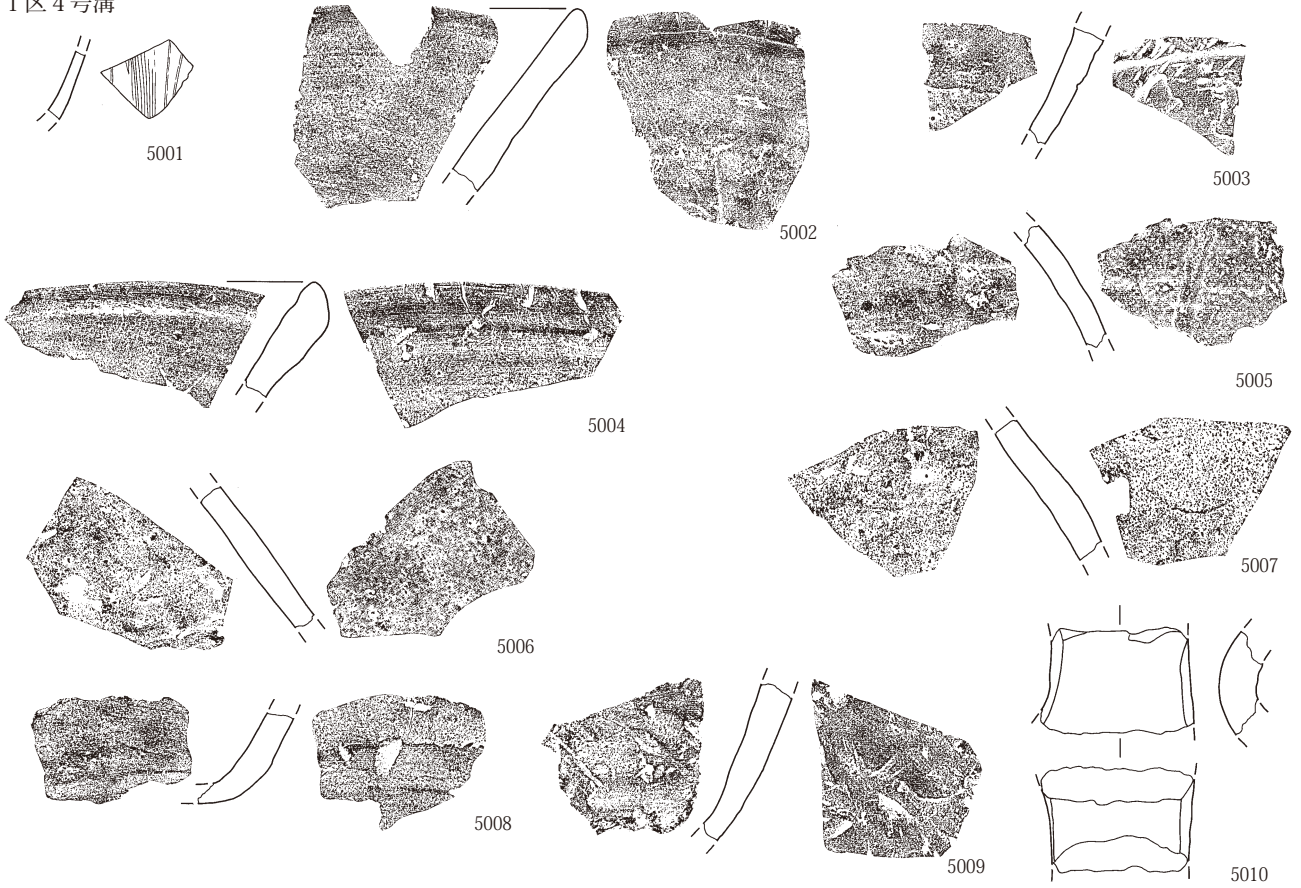
板碑 破片のみ。刻字等不明。遺構外出土。1点図示。

銅製品 銅銭、煙管吸口等が出土。

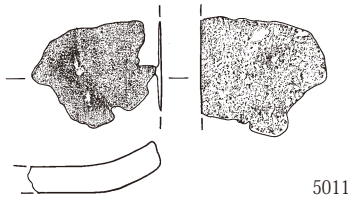
銅銭 唐銭、北宋銭、明銭等の渡来銭、寛永通寶等が出土。1区238土坑から、元祐通寶・祥符元寶・天禧通寶他2点が、1区276土坑から開元通寶・洪武通寶・永樂通寶・政和通寶他2点が、286土坑から、天禧通寶・大觀通寶・永樂通寶・開元通寶が、315土坑から熙寧元寶・祥符通寶・永樂通寶・元豊通寶・開元通寶他1点が出土。24点図示。土坑からはいずれも複数出土しているため、土坑墓に副葬されたものと考えられる。

煙管吸口 羅字が残るものあり。遺構外出土。2点図示。

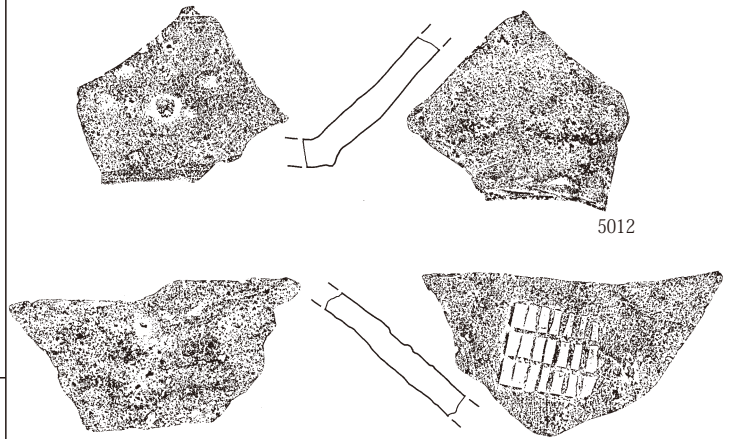
1区4号溝



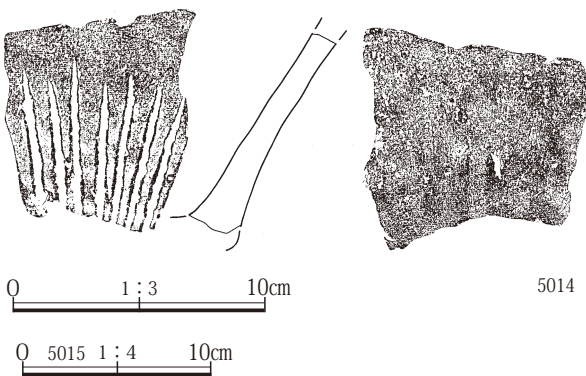
1区5号溝



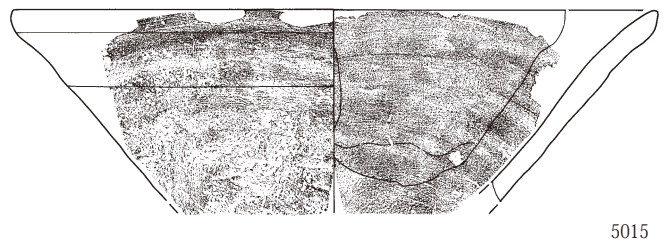
1区8号溝



1区9号溝

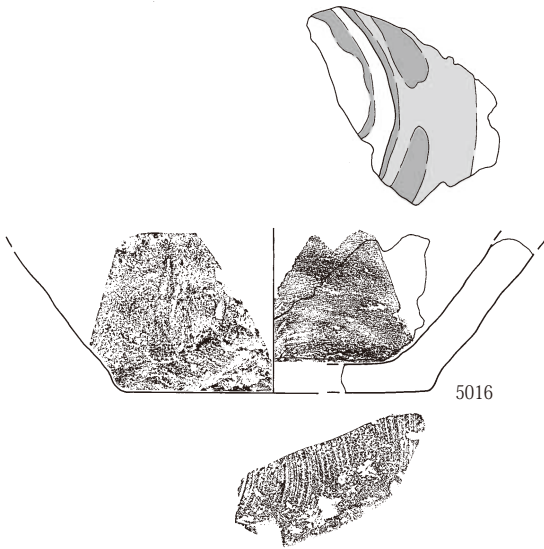


1区10号溝

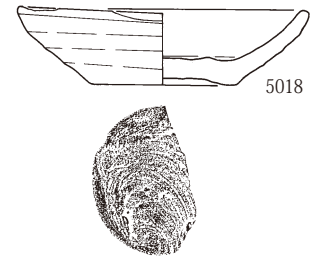


第436図 中世以降出土遺物 1

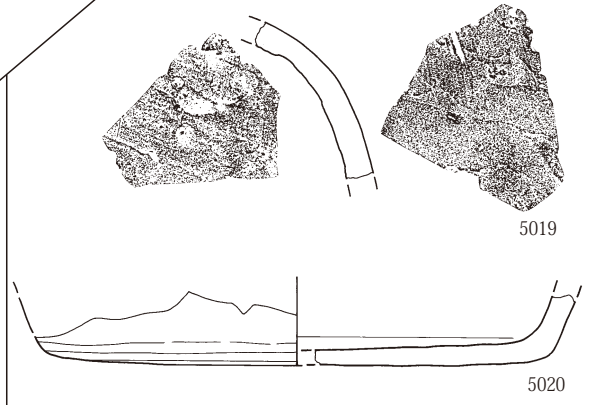
1区10号溝



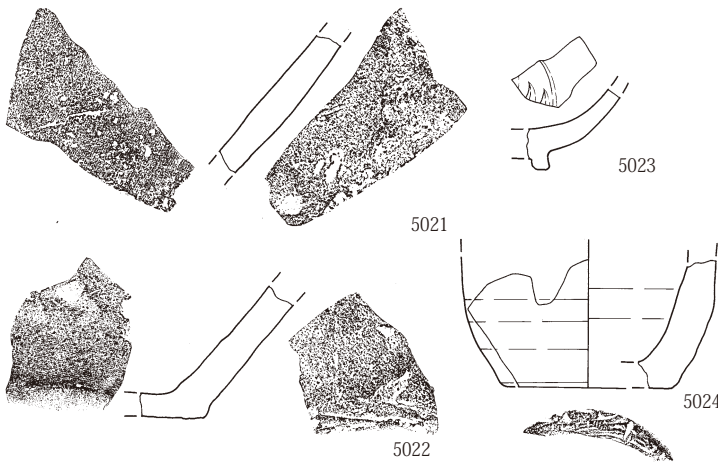
1区12号溝



1区14号溝



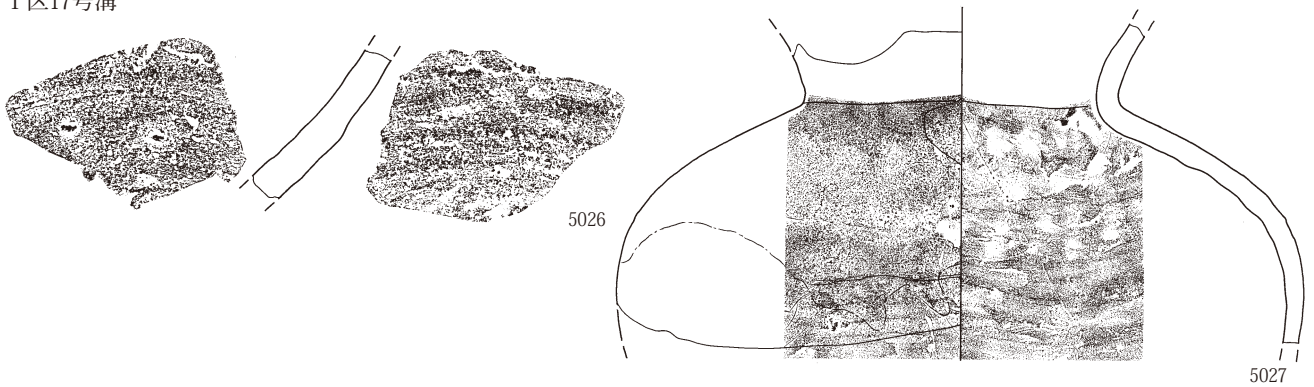
1区15号溝



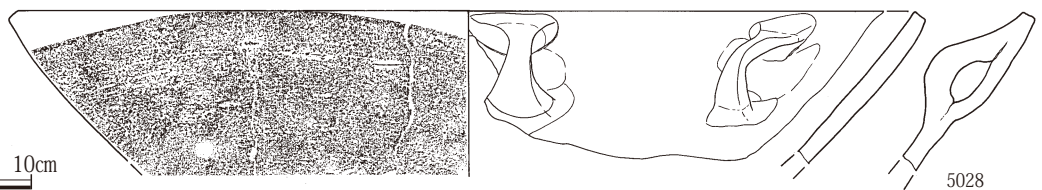
1区16号溝



1区17号溝



1区18号溝

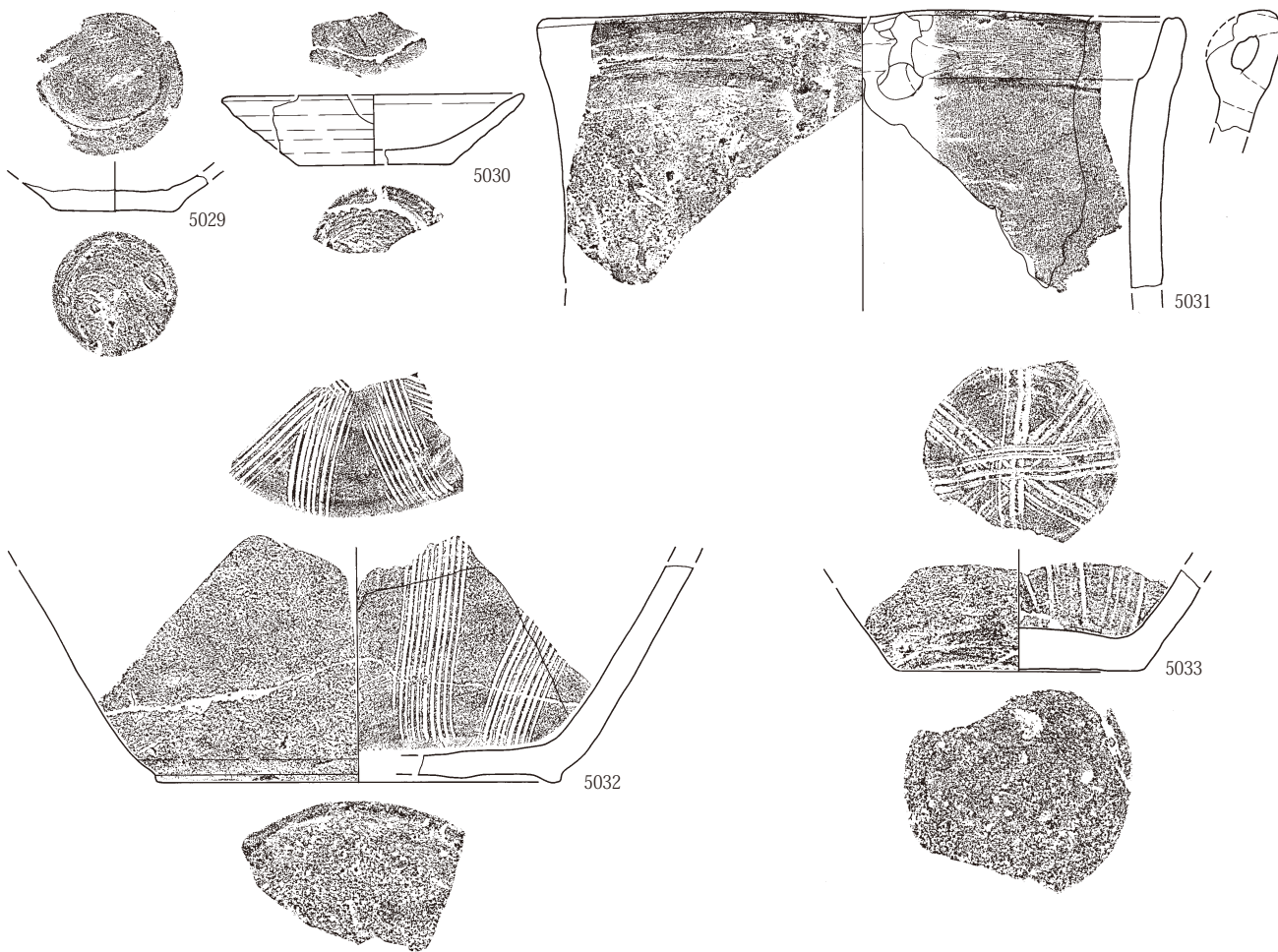


0 1:3 10cm

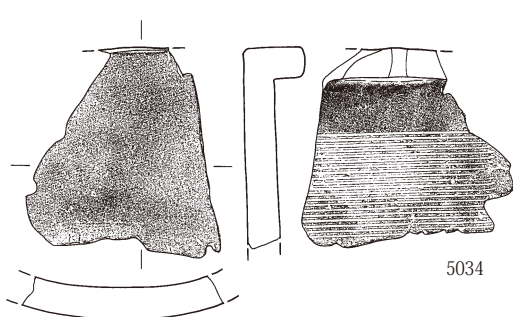
0 5027 1:4 10cm

第437図 中世以降出土遺物 2

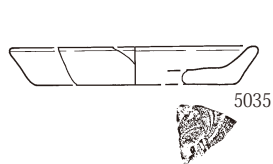
1区18号溝



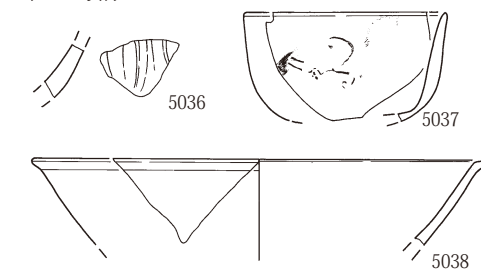
4区1号溝



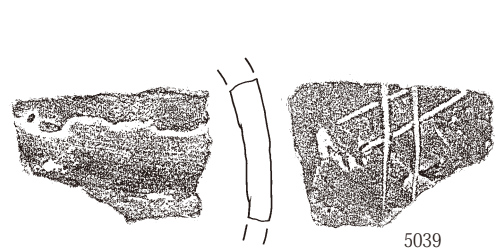
1区22号溝



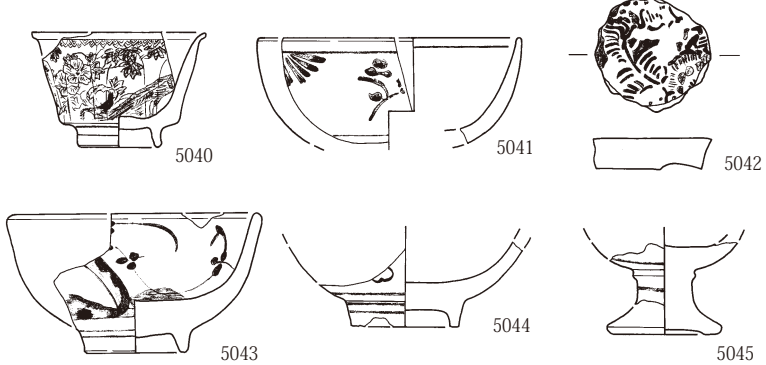
5区1号溝



5区2号溝



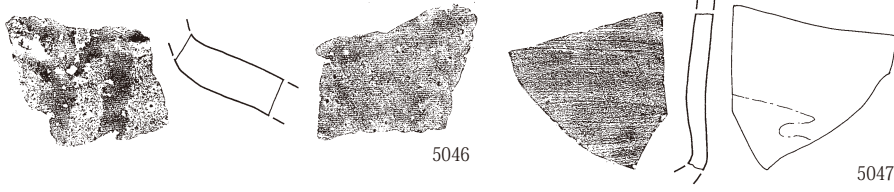
7区2号溝



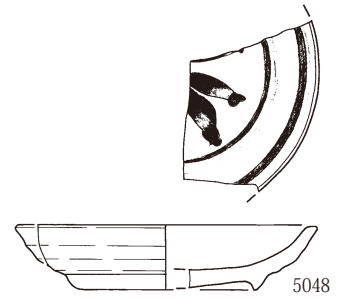
0 1:3 10cm

第438図 中世以降出土遺物 3

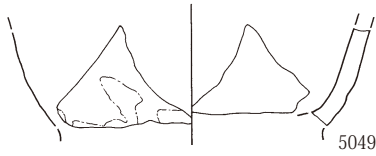
7区2号溝



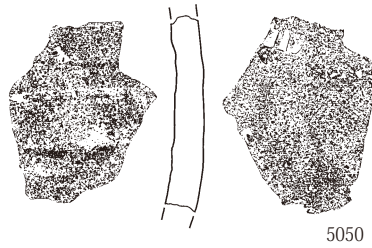
7区15号溝



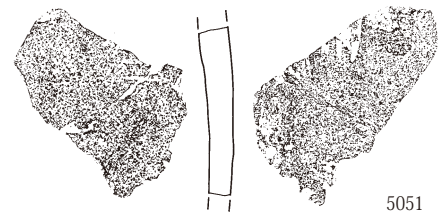
1区5号土坑



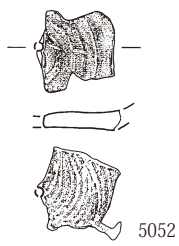
1区15号土坑



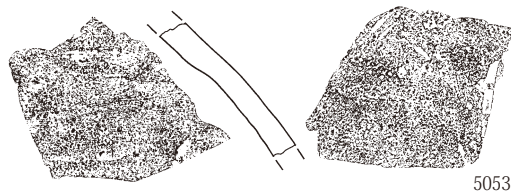
1区45号土坑



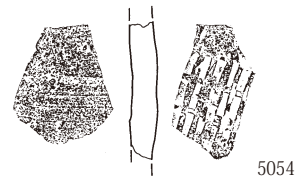
1区55号土坑



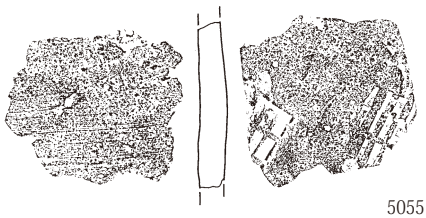
1区110号土坑



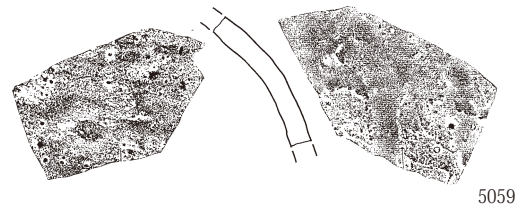
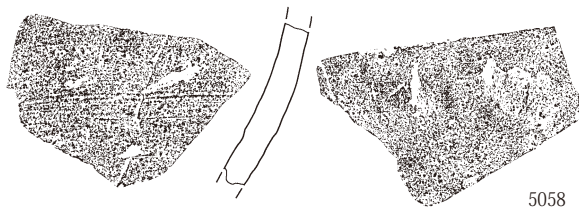
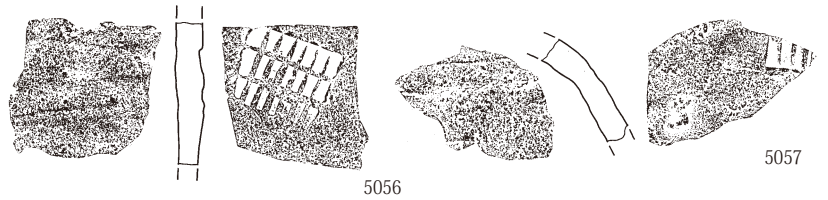
1区124号土坑



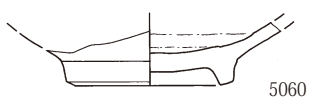
1区137号土坑



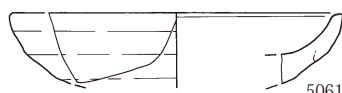
1区146号土坑



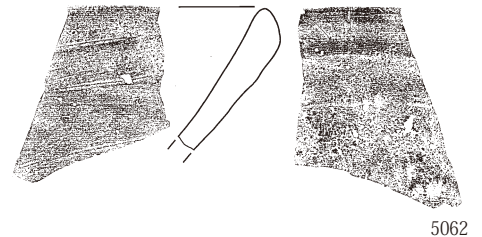
1区149号土坑



1区220号土坑



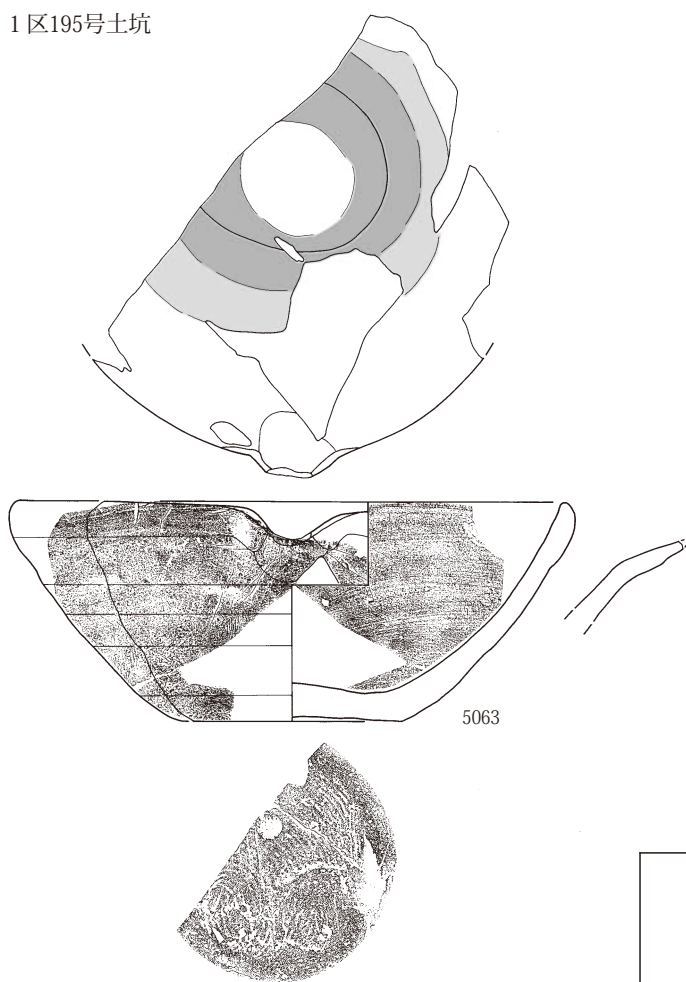
1区247号土坑



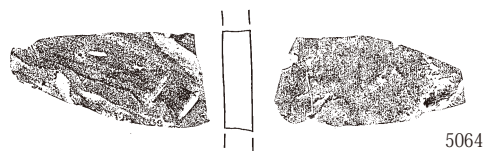
0 1:3 10cm

第439図 中世以降出土遺物 4

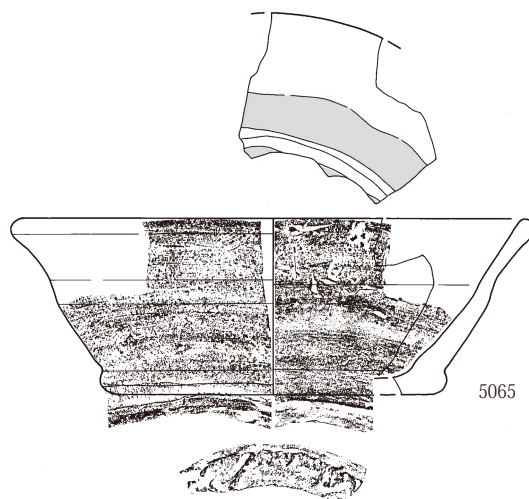
1区195号土坑



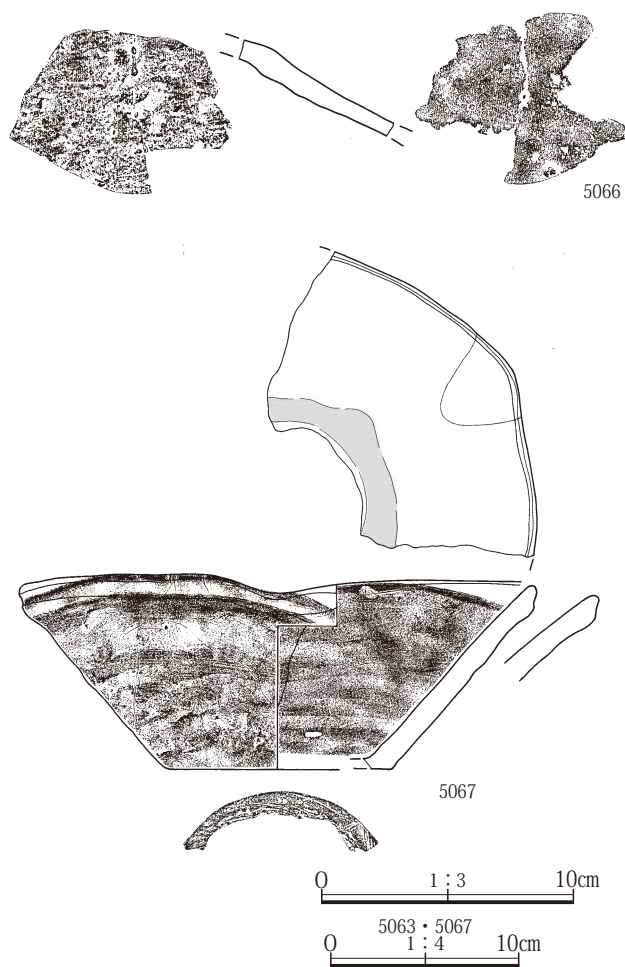
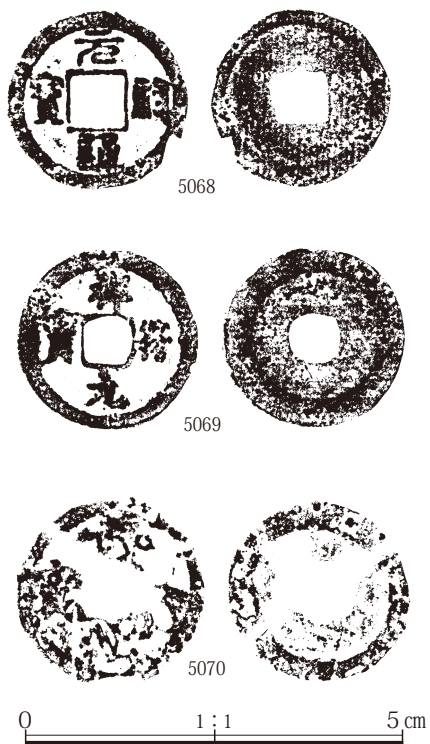
1区272号土坑



1区274号土坑



1区238号土坑

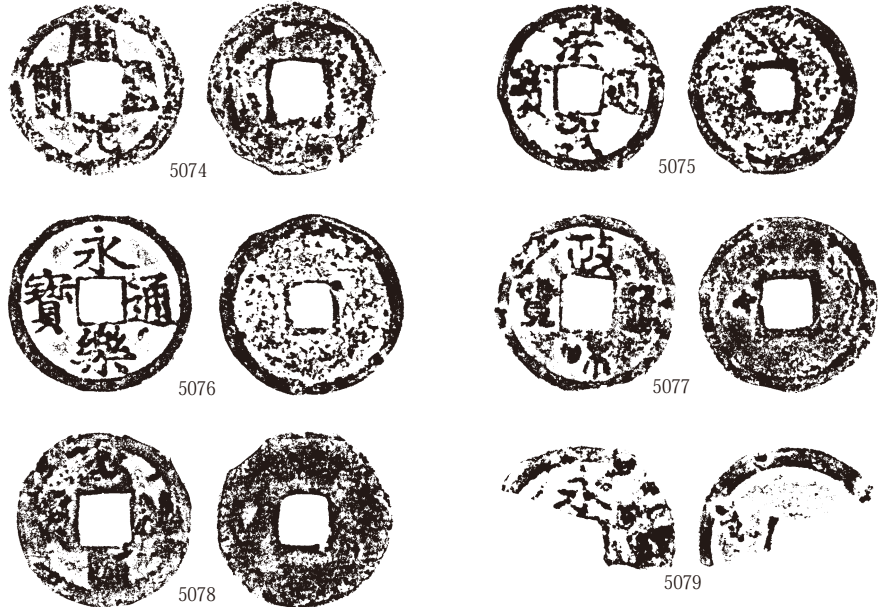
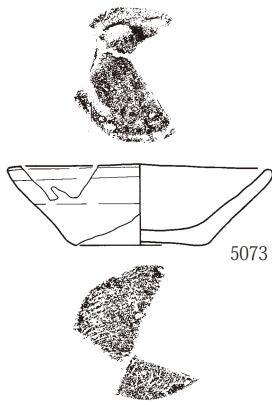


第440図 中世以降出土遺物 5

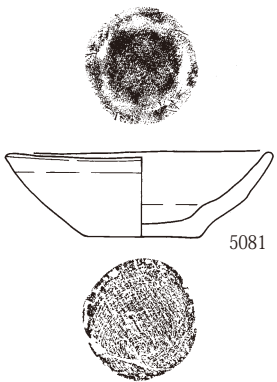
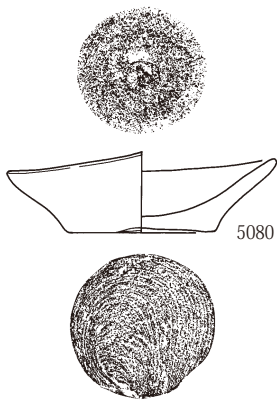
1区238号土坑



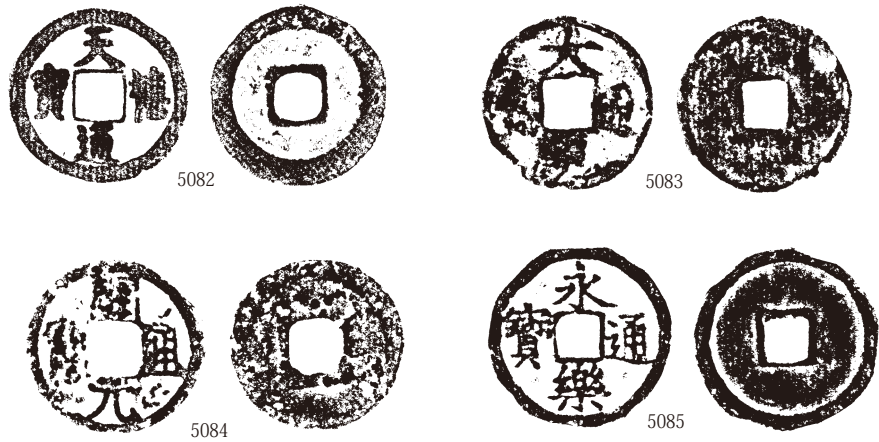
1区276号土坑



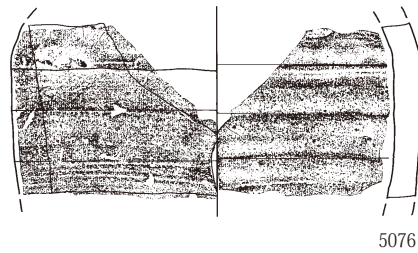
1区276号土坑



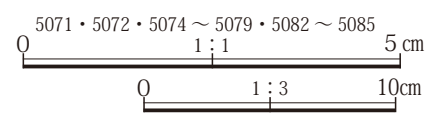
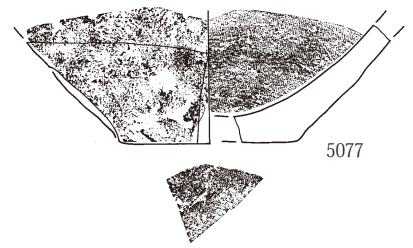
1区286号土坑



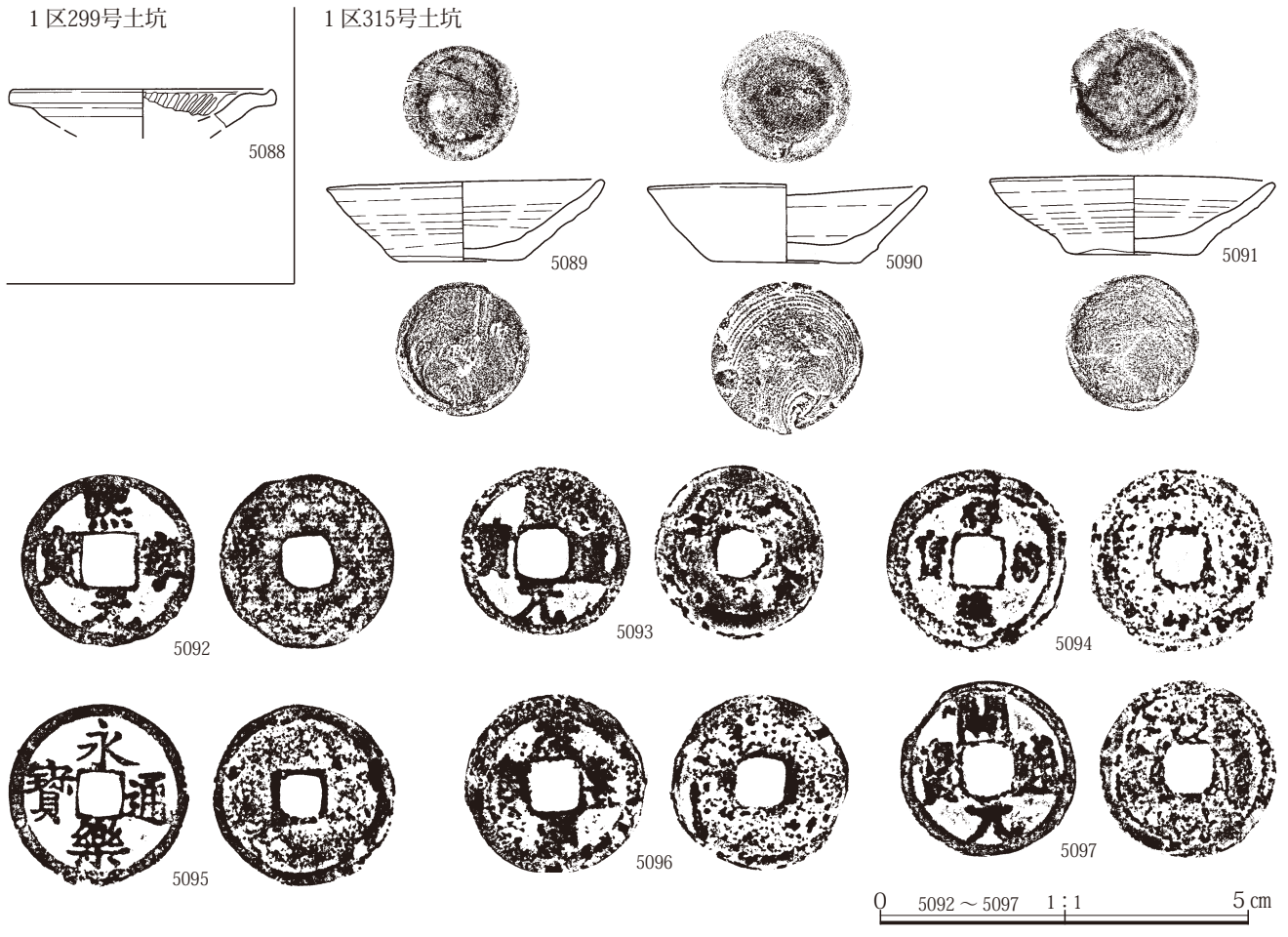
1区289号土坑



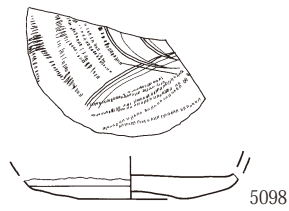
1区297号井戸



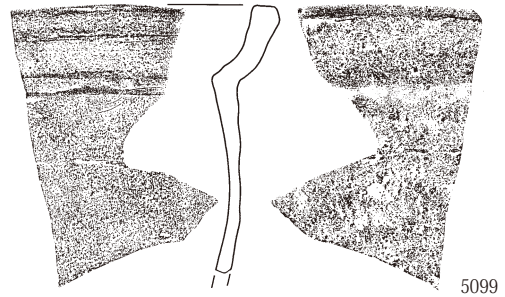
第441図 中世以降出土遺物 6



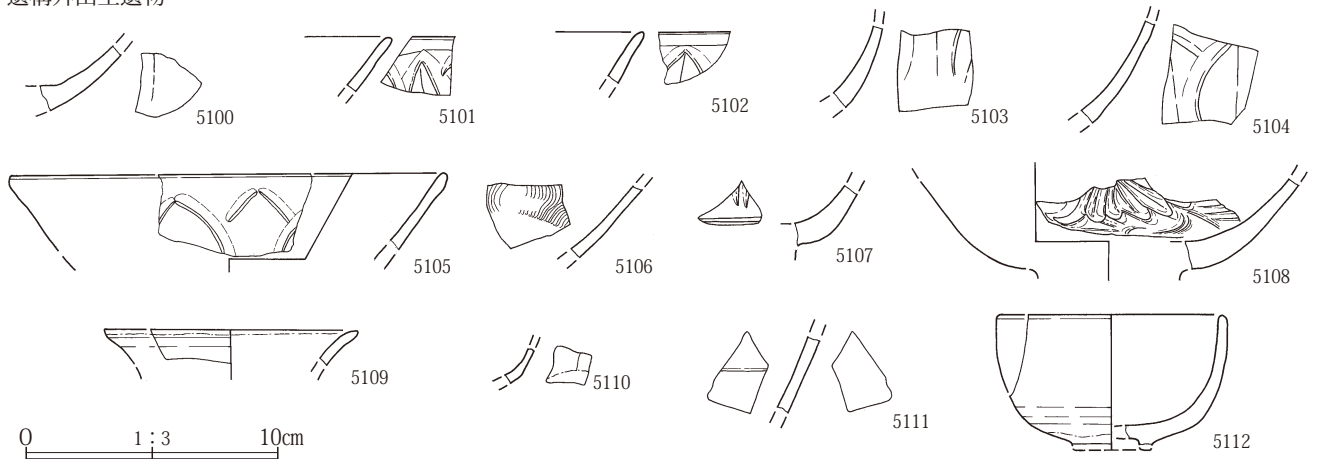
1区710号ピット



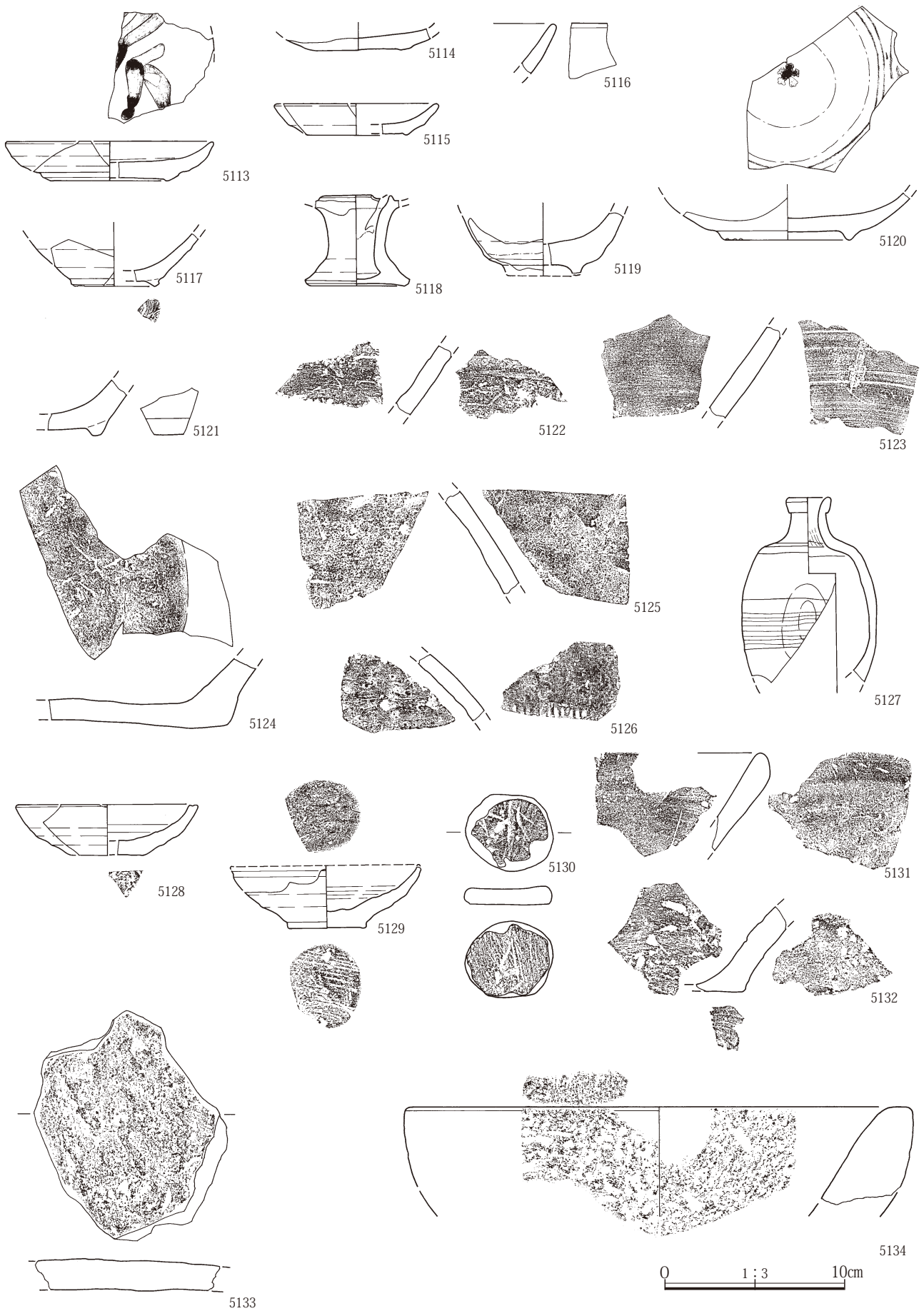
1区1062号ピット



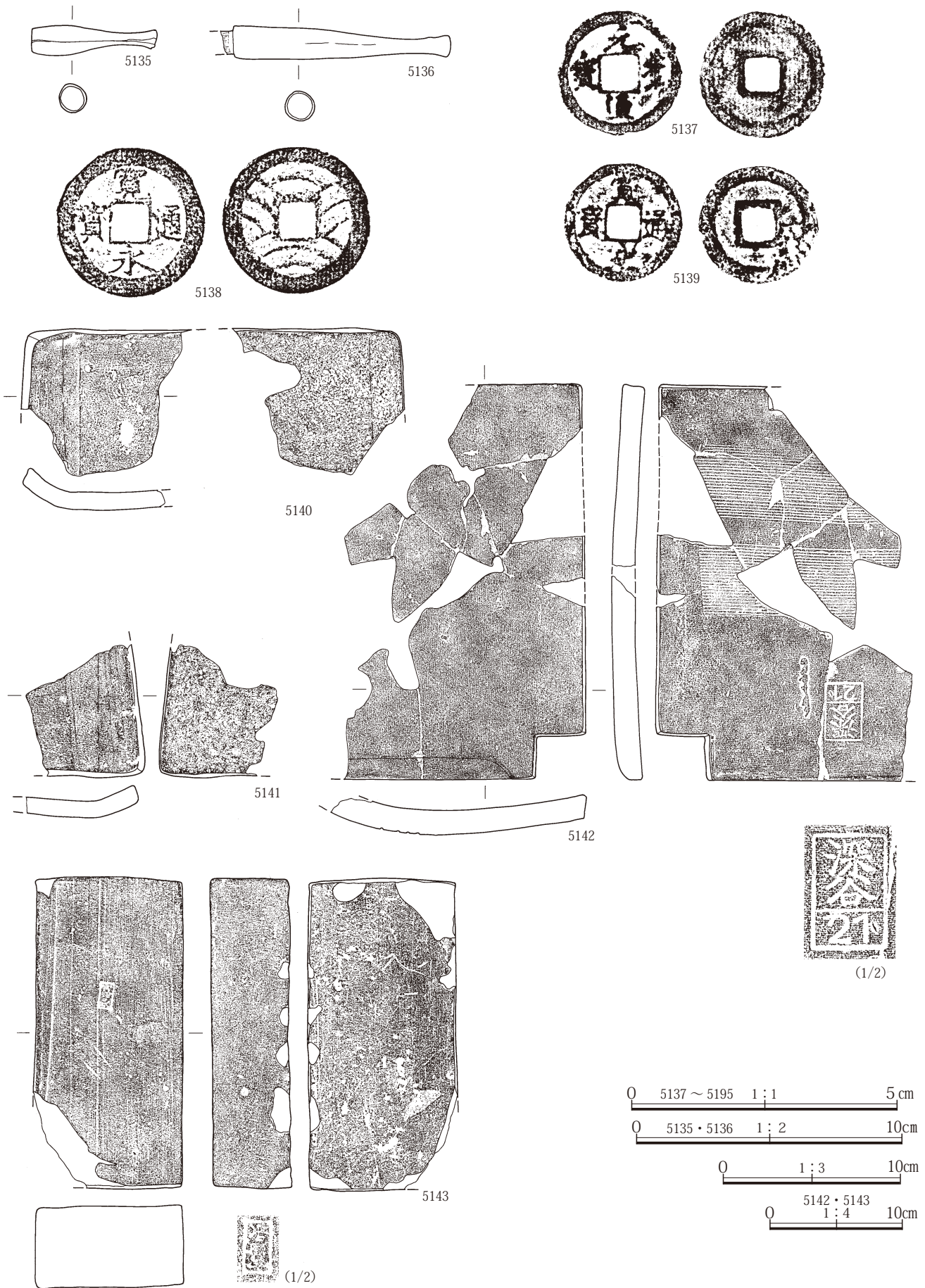
遺構外出土遺物



第442図 中世以降出土遺物 7



第443図 中世以降出土遺物 8



第444図 中世以降出土遺物9

第三章 検出された遺構と出土遺物

第46表 中世以降・時期不明遺構外出土土器・陶磁器観察表

挿図番号 図版番号	No.	種別	器形	区	名	遺構 種	口径 (長)cm	底径 (幅)cm	器高 (厚)cm	残存	色調	形・成調整等	備考
第436図	5001	龍泉窯系 青磁か	碗	1	4	溝	-	-	-	体部片	灰白	外面櫛目と片彫りによる文様。	中世。
第436図	5002	在地系土 器	片口鉢	1	4	溝	-	-	-	口縁部 片	灰白	還元炎。器壁の厚み均一で、口縁部やや外反。口縁部は玉縁状を呈し、端部尖り気味。口縁部と体部内面、使用によりやや摩滅。体部外面撫で。体部内面斜位撫で。口縁部横撫で。	
第436図	5003	渥美陶器	甕	1	4	溝	-	-	-	体部片	灰白	内面下半に自然釉かかる。外面叩き目。	12世紀～13 世紀前半。
第436図	5004	在地系土 器	片口鉢	1	4	溝	-	-	-	口縁部 片	灰白	器表暗灰色、断面から器表付近灰白色でいわゆる瓦質。口縁部肥厚して玉縁状をなす。口縁部外面角張り稜をなす。口縁部内面は凹線状に窪む。口縁部上面は尖り気味。	
第436図	5005	常滑陶器	甕か壺	1	4	溝	-	-	-	体部片	暗灰黄	外面自然釉垂れる。器壁薄い。焼き締まりやや弱く、焼成不良。	中世。
第436図	5006	常滑陶器	甕	1	4	溝	-	-	-	体部片	灰	外面自然釉かかる。内面撫で。	中世。
第436図	5007	常滑陶器	甕	1	4	溝	-	-	-	体部片	黄灰	内外面撫で。焼成良好で焼き締まる。	中世。
第436図	5008	在地系土 器	内耳鍋	1	4	溝	-	-	-	体部下 位片	にぶい 褐	体部外面黒色、体部外面下端から底部外面にぶい褐色、内面暗灰色。丸底。体部外面撫での後、体部下端を撫撫で。	中世。
第436図	5009	常滑陶器	甕	1	4	溝	-	-	-	体部片	にぶい 黄橙	外面器表にぶい赤褐色。内外面撫で。	中世。
第436図	5010	土製品	不詳	1	4	溝	-	-	1.4 (厚)	破片	灰	断面から器表付近暗灰色、器表にぶい橙色。両端部縦撫で。内外面撫で。	時期不詳。
第436図	5011	土製品	十能瓦	1	5	溝	-	-	1.4 (厚)	破片	灰	断面黒色、器表付近灰白色、器表灰色。凸部型痕。凹部中央工具による撫で、側縁に沿って強い撫で。	近現代。
第436図	5012	常滑陶器	甕	1	8	溝	-	-	-	体部下 位片	暗灰黄	底部1部残る。内外面撫で。	中世。
第436図	5013	常滑陶器	甕	1	8	溝	-	-	-	体部片	にぶい 黄橙	外面叩き目。5050・5051・5053・5054・5056・5057・5058・5013と同一個体の可能性高い。粘土紐接合部に帯状の叩き目を残す段階の製品であろう。	中世。
第436図 PL.190	5014	在地系土 器	すり鉢	1	9	溝	-	-	-	体部下 位片	にぶい 黄橙	体部外反。内外面上位横撫で。内外面下位撫で。内面幅広の1本引きによるすり目。	16世紀～17 世紀か。
第436図 PL.190	5015	在地系土 器	片口鉢	1	10	溝	-	-	-	1/8	灰白	還元炎。器壁の厚み均一で、口縁部緩く屈曲して外反。口縁部は玉縁状を呈し、端部やや丸みを帯びる。口縁部内面平坦。体部内面中位使用によりやや摩滅。体部内面下位使用により器表摩滅。体部外面撫で。体部内面斜位撫で。口縁部横撫で。	中世。
第437図	5016	在地系土 器	片口鉢	1	10	溝	-	(12.0)	-	底部片	灰白	還元炎。体部外面撫で。体部内面斜位撫で。底部回転糸切無調整。内面底部と体部境を除き、使用により摩滅。底部外面周縁摩滅。	中世。
第437図	5017	尾張陶器	片口鉢	1	10	溝	-	-	-	体部下 位片	灰白	外面体部下位回転篋削り。常滑窯における片口鉢I類にあたる。	尾張型6型 式。
第437図 PL.190	5018	在地系土 器	皿	1	12	溝	(11.2)	(5.8)	2.9	1/2	橙	体部直線的に開き、口縁部内湾。底部右回転糸切無調整。胎土中に金雲母含む。	中世。
第436図	5019	常滑陶器	甕か壺	1	14	溝	-	-	-	肩部片	褐灰	外面上部自然釉が斑状にかかる。外面器表にぶい赤褐色。	中世。
第436図	5020	在地系土 器	内耳鍋	1	14	溝	-	(20.0)	-	底部片	灰白	器壁やや厚い。底部外面周縁篋撫で。平底。	中世。
第437図	5021	常滑陶器	片口鉢	1	15	溝	-	-	-	体部片	にぶい 赤褐	内面丁寧な撫で。外面撫で。内面下半使用により摩滅し、平滑となる。常滑片口鉢II類。	中世。
第437図	5022	常滑陶器	甕	1	15	溝	-	-	-	底部片	灰白	外面篋撫で。内面撫で。内面自然釉かかる。	中世。
第437図	5023	龍泉窯系 青磁	碗	1	15	溝	-	-	-	体部か ら底部 小片	灰白	体部内外面無文。底部内面櫛状工具と片彫りによる施文。高台端部から高台内無釉。高台内の抉りは浅い。	I類。
第437図	5024	製作地不 詳土器?	瓶類	1	15	溝	-	6.7	-	体部下 位片	にぶい 赤褐	内外面轆轤目残る。底部回転糸切無調整。胎土中に金雲母含む。	時期不詳。
第437図	5025	在地系土 器	焙烙	1	16	溝	-	-	-	口縁部 片	浅黄橙	口縁端部水平に外反。口縁部上面平坦。内面に耳貼り付け。耳下端は体部に貼り付ける。体部外面接合痕以下型痕明瞭に残る。	江戸時代。
第437図	5026	尾張陶器	片口	1	17	溝	-	-	-	体部下 位片	灰白	体部外面下位回転篋削り。内面使用による摩滅顕著。常滑窯における片口鉢I類にあたる。	尾張型6型 式。
第437図 PL.190	5027	渥美陶器	壺	1	17	溝	-	-	-	上半部 片	灰	肩部外面自然釉薄くかかる。	12世紀～13 世紀前半。
第437図 PL.190	5028	在地系土 器	焙烙	1	18	溝	(35.2)	-	-	1/6	黄灰	断面黒色、器表付近から器表黄灰色。残存部内耳2カ所貼り付け。口縁部は内湾気味に開き、端部は平坦。内面欠損部下端は内側に曲がり始めており、底部内面屈曲部であろう。残存部外面には煤が付着するが、下端欠損部から1.5cmから2cm間には煤の付着が認められず、焙烙形であろう。	中世。

挿図番号 図版番号	No.	種別	器形	区	名	遺構 種	口径 (長)cm	底径 (幅)cm	器高 (厚)cm	残存	色調	形・成調整等	備考
第438図	5029	在地系土器	皿	1	18	溝	-	5.0	-	底部	橙	右回転糸切無調整。体部外面下位外反。	中世か。
第438図	5030	在地系土器	皿	1	18	溝	(12.0)	(6.0)	2.8	1/4	明赤褐	左回転轆轤調整。底部外面回転糸切無調整。底部内面指撫で。	中世。
第438図 PL.190	5031	在地系土器	内耳鍋	1	18	溝	(25.2)	-	-	1/8	黒褐	断面から器表付近黄灰色、器表黒褐色。焼成はいわゆる瓦質気味。器壁厚く、口縁部短く内湾。口縁端部丸みを持つ。耳の粘土紐は口縁部を貫通し、外面を撫でつける。胎土中に雲母含む。	14世紀後半～15世紀初頭か。
第438図 PL.190	5032	在地系土器	すり鉢	1	18	溝	-	(16.0)	-	1/4	灰黄	断面黒色、器表から器表付近灰黄色。底部外面砂底であるが、外面周縁は高台状に高く作る。体部外面撫で。内面10本一単位のすり目をやや密に施す。底部内面のすり目は放射状を呈する。	16世紀～17世紀か。
第438図 PL.190	5033	在地系土器	すり鉢	1	18	溝	-	10.0	-	底部	黒褐	断面黒色、器表付近黄灰色、器表黒褐色。底部外面砂底状で周縁は摩滅する。体部内面4本一単位のすり目をやや密に施す。底部内面のすり目は中央で交差する。底部内面中央と周縁の間と体部内面下位は使用によりやや摩滅。内面体部と底部境の屈曲部は摩滅しない。体部外面撫で、下端窪削り。	16世紀～17世紀か。
第438図	5034	瓦	引掛棧瓦	4	1	溝	-	-	1.6 (厚)	破片	黄灰	器表暗灰色～黒色。下面上部にカキ目。深谷押印入りと同様な胎土・焼成。	深谷産、第二次大戦から終戦直後か。
第438図	5035	在地系土器	皿	1	22	溝	(9.6)	(8.0)	1.5	1/8	橙	器高低い。体部外反気味。底部回転糸切無調整。	13世紀か。
第438図	5036	龍泉窯系青磁	碗	5	1	溝	-	-	-	体部片	灰白	外面鎊蓮弁文。内外面青磁釉。	II-b、c類。
第438図	5037	瀬戸・美濃磁器	湯飲み	5	1	溝	(8.0)	-	-	口縁部片	白	鉄絵具による細線の下絵はゴム印か。呉須による絵付けは吹き墨。	近現代。
第438図 PL.190	5038	中国白磁	碗	5	1	溝	(17.6)	-	-	口縁部片	灰白	口縁端部外反。口縁端部内面稜をなし、上面は平坦、外面は尖る。残存部内外面無文。	V-4a類かVIII-1、-3類。
第438図 PL.190	5039	渥美陶器	壺か甕	5	2	溝	-	-	-	肩部片	灰	外面自然釉斑状にかかる。外面井桁状の窺書き文。	12世紀～13世紀前半。
第438図	5040	瀬戸・美濃磁器	小杯	7	2	溝	(6.8)	3.2	4.4	体部～口縁部1/3、底部完	白	体部8角形に面取り。外面銅板転写による染付。釉白濁部多い。	近現代。
第438図	5041	瀬戸・美濃磁器	丸碗	7	2	溝	(10.4)	-	-	1/5	白	外面染付。口縁部内面1重圏線。	登窯10・11小期。
第438図 PL.190	5042	製作地不詳磁器	皿(二次加工品)	7	2	溝	3.0	3.1	0.8	完形	白	皿の蛇ノ目凹型高台部分を円形に成形。成形は細かい敲打による。内面は型紙摺。	近現代。
第438図 PL.190	5043	肥前磁器	碗	7	2	溝	9.8	4.0	5.4	1/2	灰白	外面雪輪梅樹文。高台内不明銘。	波佐見系。
第438図	5044	肥前磁器	碗	7	2	溝	-	4.2	-	底部	灰白	高台外面2重圏線。体部外面染付。	波佐見系。
第438図	5045	肥前磁器	仏飯器	7	2	溝	-	(4.2)	-	下半部	灰白	坏部外面下位と脚部に1重圏線。	波佐見系。 江戸時代
第439図	5046	常滑陶器	壺か甕	7	2	溝	-	-	-	肩部片	灰白	外面から頸部内面自然釉かかり、肩部内面に釉流れる。	中世。
第439図	5047	美濃陶器	徳利	7	2	溝	-	-	-	体部下位片	にぶい黄	外面上半灰釉。下半釉拭う。	登窯7・8小期
第439図 PL.190	5048	美濃陶器	鉄絵皿	7	15	溝	(11.8)	(7.0)	2.5	1/4	灰黄	底部内面鉄絵具による蘭竹文、底部周縁2重圏線、口縁部太い1重圏線。全面に長石釉薄く施釉。高台断面三角形。内外面目痕1箇所。	登窯2小期。
第439図 PL.190	5049	古瀬戸陶器	鉢	1	5	土坑	-	-	-	体部片	灰白	内面から外面体部下位灰釉。貫入はいる。	登窯7・8小期
第439図	5050	常滑陶器	甕	1	15	土坑	-	-	-	体部片	灰褐	外面叩き目。5051・5053・5054・5056・5057・5058・5013と同一個体の可能性高い。粘土紐接合部に帯状の叩き目を残す段階の製品であろう。	中世。
第439図	5051	常滑陶器	甕	1	45	土坑	-	-	-	体部片	にぶい黄橙	外面叩き目。5050・5053・5054・5056・5057・5058・5013と同一個体の可能性高い。粘土紐接合部に帯状の叩き目を残す段階の製品であろう。	中世。
第439図	5052	在地系土器	皿	1	55	土坑	-	-	-	底部片	橙	底部内面轆轤目顕著。底部中央付近焼成前の穿孔1カ所残る。底部左回転糸切無調整。	中世か。
第439図	5053	常滑陶器	甕	1	110	土坑	-	-	-	体部片	にぶい橙	外面叩き目。5050・5051・5054・5056・5057・5058・5013と同一個体の可能性高い。粘土紐接合部に帯状の叩き目を残す段階の製品であろう。	中世。
第439図	5054	常滑陶器	甕	1	124	土坑	-	-	-	体部片	にぶい黄橙	外面叩き目。5050・5051・5053・5056・5057・5058・5013と同一個体の可能性高い。粘土紐接合部に帯状の叩き目を残す段階の製品であろう。	中世。
第439図	5055	常滑陶器	甕	1	137	土坑	-	-	-	体部片	にぶい黄橙	外面叩き目。粘土紐接合部に帯状の叩き目を残す段階の製品であろう。	中世。
第439図	5056	常滑陶器	甕	1	146	土坑	-	-	-	体部片	にぶい黄橙	外面叩き目。5050・5051・5053・5054・5057・12・5013と同一個体の可能性高い。粘土紐接合部に帯状の叩き目を残す段階の製品であろう。	中世。

第三章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号 図版番号	No.	種別	器形	区	名	遺構 種	口径 (長)cm	底径 (幅)cm	器高 (厚)cm	残存	色調	形・成調整等	備考
第439図	5057	常滑陶器	甕	1	146	土坑	-	-	-	体部片	にぶい 橙	外面叩き目。5050・5051・5053・5054・5056・5058・5013と同一個体の可能性高い。粘土紐接合部に帯状の叩き目を残す段階の製品であろう。	中世。
第439図	5058	常滑陶器	甕	1	146	土坑	-	-	-	体部片	にぶい 黄橙	5050・5051・5053・5054・5056・5057・12と同一個体の可能性高い。粘土紐接合部に帯状の叩き目を残す段階の製品であろう。	中世。
第439図	5059	常滑陶器	壺か甕	1	146	土坑	-	-	-	肩部片	灰	上半に自然釉かかり、下半に流れる。	中世。
第439図 PL.190	5060	中国白磁	碗	1	149	土坑	-	5.8	-	1/2	灰白	高台やや高く、体部は直線的に開く。内面から体部外面下位施釉後、底部内面の釉を輪状に掻き取る。底部内面の釉やや擦れる。	Ⅷ類。
第439図	5061	在地系土器	皿	1	220	土坑	(12.9)	-	-	1/4	にぶい 橙	口縁部以下器壁厚い。体部から口縁部内湾。	中世か。
第439図	5062	在地系土器	片口鉢	1	247	土坑	-	-	-	口縁部片	灰	還元炎。口縁部肥厚。体部内面使用により、器表やや平滑。	14世紀中頃。
第440図 PL.190	5063	在地系土器	片口鉢	1	195	土坑	(28.8)	(11.8)	11.6	1/3	灰	器部内湾気味に開く。口縁部緩く内湾し、薄い玉縁状を呈する。端部やや丸みを帯びる。底部右回転糸切り後、篋状工具による撫で。体部内面から底部内面使用により摩滅し、器表が平滑となる。	14世紀中頃か。
第440図	5064	渥美陶器	甕	1	272	土坑	-	-	-	体部片	黄灰	還元炎。外面撫で。内面撫で。	12世紀。
第440図 PL.190	5065	尾張陶器	片口鉢	1	274	土坑	(20.0)	(12.8)	6.9	1/8	黄灰	器高低く、無高台。底部外面回転台か型の隙間と思われる直線的な凸部がある。体部外面下端括れる部分が多く、やや上位には接合痕が見受けられる。内面は体部と底部境を除き、体部中位以下使用による摩滅がある。	尾張型6型式
第440図	5066	常滑陶器	甕か壺	1	274	土坑	-	-	-	体部片	黄灰	外面自然釉かかる。器壁薄い。	中世。
第440図 PL.190	5067	在地系土器	片口鉢	1	274	土坑	(26.8)	(12.0)	10.2	1/5	黄灰	器表黒色、断面から器表付近灰黄色で、いわゆる瓦質。体部直線的に開き、口縁部小さく外反。底部糸切りか。体部外面下端撫で。体部外面粗い撫で。体部内面斜位撫で。口縁部横撫で。口縁部外面中位は横撫が及ばず、帯状に撫で痕が残る。口縁部外面浅く窪む。口縁部玉縁状で端部は尖らず丸みを帯びる。体部内目下端、使用により器表摩滅。片口部残る。	14世紀中頃か。
第441図 PL.190	5073	在地系土器	皿	1	276	土坑	10.4	5.4	2.5～3.1	3/4	黄灰	体部外反し、口縁部小さく内湾。底部左回転糸切無調整。	中世。
第441図 PL.190	5080	在地系土器	皿	1	285	土坑	10.6	5.8	2.4～3.1	完形	にぶい 黄橙	左回転轆轤整形。底部右回転糸切無調整。体部外面下位外反。	中世。
第441図 PL.190	5081	在地系土器	皿	1	285	土坑	10.5	4.6	3.4	完形	にぶい 橙	体部緩く内湾して開き、口縁部僅かに外反。底部内面指撫で。底部左回転糸切り後、板状圧痕。	中世。
第441図	5086	渥美陶器	瓶類	1	289	土坑	-	-	-	体部片	黄灰	肩部外面上位自然釉斑状にかかる。	12世紀。
第441図	5087	常滑陶器	片口鉢	1	297	土坑	-	(7.0)	-	底部片	灰黄	体部外面指頭圧痕状凹凸があり、片口鉢Ⅱ類であろう。内面は使用により器表が摩滅し、平滑となる。	中世。
第442図 PL.191	5088	瀬戸・美濃陶器	折縁皿	1	299	土坑	(10.4)	-	-	1/8	灰黄	内面丸鑿状工具で菊花状に施文。口縁部内面窪んだ後、上方に立ち上がる。内外面灰釉。	大窯4期前半。
第442図 PL.191	5089	在地系土器	皿	1	315	土坑	11.0	5.0	3.2	完形	橙	内面、底部と体部との境やや明瞭。右回転轆轤整形。底部右回転糸切り後、板状圧痕。底部内面指撫で。内外面轆轤目細かく明瞭。	中世。
第442図 PL.191	5090	在地系土器	皿	1	315	土坑	11.0	6.0	3.1	略完形	にぶい 黄橙	内面、底部と体部との境やや明瞭。左回転轆轤整形。底部左回転糸切無調整。5089、5091に比して体部直線的で底径大きく、轆轤回転方向異なる。	中世。
第442図 PL.191	5091	在地系土器	皿	1	315	土坑	11.4	5.4	3.1	完形	にぶい 黄橙	内面、底部と体部との境やや明瞭。右回転轆轤整形。底部右回転糸切り後、板状圧痕。底部内面指撫で。内外面轆轤目細かく明瞭。	中世。
第442図 PL.191	5098	同安窯系青磁	皿	1	710	ピット	(4.8)	-	-	1/3	灰白	底部内面篋状工具による施文と櫛刃状工具による鋸歯状文を施す。前面施釉後、底部外面の釉を削り取る。内外面共に釉の擦れが著しい。	I-2b類。
第442図	5099	在地系土器	内耳鍋	1	1062	ピット	-	-	-	口縁部片	にぶい 橙	断面中央灰黄色。口縁部器壁厚く、内湾して開く。体部は幅広く僅かに窪む。口縁部横撫で。体部外面やや凹凸多い。	16世紀。
第442図	5100	龍泉窯系青磁	碗	3		遺構外	-	-	-	体部片	灰白	外面鑄蓮弁文。残存部内面無文。内面小さい段をなす。底部周縁	Ⅱ-b・c類。
第442図	5101	龍泉窯系青磁	碗	3		遺構外	-	-	-	口縁部片	灰白	外面鑄蓮弁文。	Ⅱ-b・c類。
第442図	5102	龍泉窯系青磁	碗	3		遺構外	-	-	-	口縁部片	黄灰	外面鑄蓮弁文。	Ⅱ-b・c類。
第442図	5103	龍泉窯系青磁	碗	3		遺構外	-	-	-	体部片	灰	釉にやや粗い貫入はいる。外面鑄蓮弁文。内面無文。	Ⅱ-b・c類。
第442図	5104	龍泉窯系青磁	碗	3		遺構外	-	-	-	体部片	灰黄	やや焼成不良で部分的に釉が白濁する。外面やや幅広く高さのない鑄蓮弁文。内面無文。	Ⅱ-b・c類。
第442図 PL.191	5105	龍泉窯系青磁	碗	6			(16.0)	-	-	1/8	灰白	外面鑄蓮弁文、鑄は不明瞭。内外面青磁釉。	Ⅱ-b、c類。

挿図番号 図版番号	No.	種別	器形	区	名	遺構 種	口径 (長)cm	底径 (幅)cm	器高 (厚)cm	残存	色調	形・成調整等	備考
第442図 PL.191	5106	同安窯系 青磁	碗			遺構外	-	-	-	体部下 位片	灰	外面回転篋削り。外面無釉。残存部外面無文。内面櫛状工具による鋸歯状文。内面に不規則な粗い貫入のはいる青磁釉を薄くかける。	I-1a類か。
第442図	5107	龍泉窯系 青磁	碗	1		遺構外	-	-	-	体部下 位片	灰白	外面無文。体部内面縦方向の2条の片彫り線。底部内面周縁浅く狭い圏線。	I-4類か。
第442図 PL.191	5108	龍泉窯系 青磁	碗	1		遺構外	-	-	-	体部下 位片	灰白	内面に蓮華文と蓮華葉文を片彫りで施す。	I-2類。
第442図 PL.191	5109	中国白磁	皿			遺構外	(10.0)	-	-	口縁部 片	灰白	口縁部外反。口縁部内外面釉を削り、端部尖る。器表灰白色。	IX-1d類か。
第442図	5110	中国白磁	多角坏	5	7	遺構	-	-	-	体部片	浅黄	内面から体部中位外面白磁釉。体部外面下位無釉。	D群。
第442図	5111	中国白磁	碗か	5		遺構外	-	-	-	体部細 片	灰白	胎土や釉長は5038に非常に似る。内面片彫りによる横位沈線。	5038と同一 個体の可能 性あり。
第442図	5112	瀬戸陶器	丸碗	6	26	溝	(8.8)	-	-	1/4	にぶい 黄橙	外面中位以下回転篋削り。内面から高台脇灰釉。内面から口縁部不規則な粗い貫入のはいる。高台欠損。	登窯8・9 小期。
第443図	5113	瀬戸陶器	鉄絵皿	3		遺構外	(11.2)	4.0	6.2	口縁部 一部、 底部 1/3	灰黄褐	内面から高台内の一部長石釉か。貫入のはいる。底部内面鉄絵具による蘭竹文。	登窯3小期
第443図	5114	瀬戸・美 濃陶器	丸皿	6		遺構外	-	(5.3)	-	底部片	淡黄	内面から高台脇灰釉。貫入のはいる。高台内の釉は非常に薄い。高台非常に低い。	大窯3期後 半。
第443図 PL.191	5115	瀬戸・美 濃陶器	丸皿	7		遺構外	(9.0)	(5.5)	1.6	1/6(底 部中央 欠損)	淡黄	内面から高台内面灰釉。貫入のはいる。高台非常に低い。	大窯3期後 半。
第443図 PL.191	5116	瀬戸・美 濃陶器	志野丸 碗	1		遺構外	-	-	-	口縁部 片	灰白	内外面厚みのある長石釉。貫入のはいる。口縁端部の一部に緋色見える。	大窯4期後 半。
第443図 PL.191	5117	美濃陶器	山茶碗	5		遺構外	-	(4.5)	-	底部片	灰白	貼付高台、体部モミ状圧痕。無釉。	窯洞窯式。 東濃型5型 式。
第443図	5118	製作地不 詳陶器	灯火受 台	5	7	遺構	-	5.7	-	台部	灰白	脚部内面から脚部外面裾部灰釉。細かい貫入のはいる。受部浅い「U」字状の抉り1箇所残る。	信楽系か。 19世紀?
第443図	5119	肥前陶器	碗	5		遺構外	-	-	-	底部片	灰白～ にぶい 橙	高台端部欠損。器壁厚く、体部外面回転篋削り。内面から体部外面透明釉。高台脇以下無釉。	17世紀前半 か。
第443図 PL.191	5120	肥前磁器	皿	5		遺構外	-	(7.0)	-	1/2	灰白	残存部外面無文。見込み蛇の目釉剥ぎ。体部内面簡略化した唐草文。見込み五弁花コンニャク印判。	波佐見系。
第443図	5121	尾張陶器	片口鉢	1		遺構外	-	-	-	底部片	灰白	内面使用による摩滅あり。高台端部摩滅。常滑窯片口鉢1類にあたる。	尾張型6型 式。
第443図	5122	尾張陶器	片口鉢	1		遺構外	-	-	-	体部片	灰白	内面使用により摩滅し平滑となる。外面下位篋削り。常滑窯片口鉢1類にあたる。	尾張型。
第443図	5123	渥美陶器 か	片口鉢 か	1		遺構外	-	-	-	体部片	灰白	轆轤調整。	12世紀か。
第443図	5124	常滑陶器	片口鉢 か	3	1	遺構	-	-	-	底部片	灰色	外面器表にぶい赤褐色。内面摩滅使用により摩滅。片口鉢Ⅱ類か。	中世。
第443図	5125	常滑陶器	甕	3	1	遺構	-	-	-	体部片	黄灰	内面撫で。外面自然釉斑状にかかる。	中世。
第443図	5126	常滑陶器	甕か	6	58	溝	-	-	-	体部片	黄灰	外面自然釉薄くかかる。外面に叩き目。器壁薄い。	中世。
第443図 PL.191	5127	美濃陶器	德利	6		遺構外	2.4	-	-	1/2	灰黄	口縁部内面から外面錆釉。体部外面中位の上下に緩い稜をなし、その間に浅いカキ目を巡らした後、体部を窪ませる。	登窯8・9 小期。
第443図	5128	在地系土 器	皿	1		遺構外	(10.0)	(4.0)	2.7	1/8	にぶい 黄橙	胎土緻密で焼成は硬質。体部内湾。内面底部と体部境不明瞭。	中世。
第443図	5129	在地系土 器	皿	1		遺構外	-	(4.4)	-	1/3	灰白	体部中位内湾、外面下位は外反。底部右回転糸切の後圧痕。底部内面強い指撫で。底部内面と体部境不明瞭。	中世。
第443図	5130	在地系土 器	焙烙か (円形 土盤)	1		遺構外	48.6	42.3	9.3	完形	にぶい 黄橙	断面暗灰色、器表付近にぶい黄橙色、器表灰色。焙烙体部片の周囲を打ち欠いて整形した後擦って調整する。焙烙の外表面にも擦痕がある。	
第443図	5131	在地系土 器	片口鉢	1		遺構外	-	-	-	口縁部 片	黄灰	口縁部薄い玉縁状をなし、端部は丸みを持つ。口縁端部付近横撫で。	14世紀中頃。
第443図	5132	在地系土 器	片口鉢	5		遺構外	-	-	-	底部片	にぶい 橙	底部回転糸切無調整。内面使用により器表面摩滅してなくなる。	中世。
第444図	5140	瓦	十能瓦	5	7	遺構	-	-	1.3 (厚)	破片	浅黄	断面黒色、器表から器表付近浅黄色。凸面砂状痕明瞭。凹面撫でで、周囲は強い撫で。	近現代。
第444図	5141	瓦	十能瓦	5	7	遺構	-	-	1.2 (厚)	破片	灰	断面黒色、器表付近灰白色、器表暗灰色。凸面砂状痕明瞭。凹面撫でで、周縁強い撫で。	近現代。
第444図 PL.191	5142	瓦	引掛棧 瓦	5	7	遺構	29.4	-	1.8 (厚)	2/3	灰	器表黒色。裏面上位2段のカキ目。裏面下位に「深谷産、第二次大戦から終戦直後。	深谷産、第 二次大戦か ら終戦直後。

第三章 検出された遺構と出土遺物

挿図番号 図版番号	No.	種別	器形	区	名	遺構 種	口径 (長)cm	底径 (幅)cm	器高 (厚)cm	残存	色調	形・成調整等	備考
第444図 PL.191	5143	煉瓦		7		遺構外	22.8	10.7	5.8	ほぼ完 形	橙	赤煉瓦。一個一個抜き型で作る、いわゆる「手抜き煉瓦」。一方のひら面に2cm×1.1cmの「富永」長方形印。JIS企画以前の製品であろう。	足利市の富永金吉製造か。近現代。

※山本信夫 『太宰府条坊跡XV-陶磁器分類編-』 太宰府の文化財 第49集太宰府市教育委員会 2000

※瀬戸・美濃陶磁器は、愛知学院大学文学部教授 藤沢良祐先生に見ていただきました。

※在地系土器鉢は、星野守弘「軟質陶器」『新編高崎市史』による。参考とした文献(成果)もそうであるが、群馬県域の鉢の編年で最古段階(Ⅰ期)とその次の段階(Ⅱ期)、更に次の時期(Ⅲ期)が型的に連続するとは考えにくい点もある。それに対して、大久保山Ⅵで示された編年案はよりスムーズな連続性が示されており、今後群馬県域での編年に変更が生じる可能性が高いのではと考えている。

※森田勉「14世紀～16世紀の白磁の型式分類と編年」『貿易陶磁研究2』貿易陶磁研究会

第47表 中世以降・時期不明遺構外出土石製品観察表

挿図番号 図版番号	図番	器種	形態・ 素材	区	遺構名	製作・使用状況	石材	長 cm	幅 cm	重さ g	備考
第443図 PL.191	5134	石鉢	口縁破片	6	攪乱内	内外面とも粗い磨き整形、口唇部は丁寧な磨き整形を施す。体部外面に斜位工具痕が残る。	粗粒輝石安山岩	径 (28.0)		244.9	
第443図 PL.191	5133	板碑		6	南東壁トレンチ	周辺を折り取り再加工。側面稜部が摩耗しているように見える。表裏面とも風化が激しい。	雲母石英片岩	(12.7)	(11.6)	334.9	

第48表 中世以降・時期不明遺構外出土銅製品・銅銭観察表

挿図番号	図版番号	No.	種別器形	区	No.	遺構種	径1 cm	径2 cm	厚さ mm	重さ g	残存	備考
第440図	PL.190	5068	元祐通寶	1	238	土坑	24.41	24.45	1.37～1.68	3.43	完形	北宋、1086年初鑄。篆書
第440図	PL.190	5069	祥符元寶	1	238	土坑	24.39	24.48	1.19～1.31	2.86	完形	北宋、1008年初鑄。
第440図	PL.190	5070	□□□寶	1	238	土坑	24.69	24.73	1.12～1.37	1.65	完形	渡来銭。
第441図	PL.190	5071	紹□通寶	1	238	土坑	24.13	20.13	1.20～1.29	1.57	完形	定か。南宋、1228年初鑄か。裏文字二
第441図	PL.190	5072	天禧通寶	1	238	土坑	25.31	18.73	0.99～1.08	1.96	完形	北宋、1017年初鑄。
第441図	PL.190	5074	開元通寶	1	276	土坑	23.33	24.01	1.28～1.59	3.2	完形	唐、845年初鑄。
第441図	PL.190	5075	洪武通寶	1	276	土坑	22.88	22.87	1.57～1.91	3.47	完形	明、1368年初鑄。
第441図	PL.190	5076	永樂通寶	1	276	土坑	24.97	24.87	1.38～1.78	3.6	完形	明、1408年初鑄。
第441図	PL.190	5077	政和通寶	1	276	土坑	24.63	24.25	1.16～1.41	2.9	完形	北宋、1111年初鑄。篆書
第441図	PL.190	5078	□□通寶	1	276	土坑	23.76	23.68	1.35～1.41	3	完形	渡来銭。
第441図	PL.190	5079	永□通□	1	276	土坑	24.24	16.23	1.40～1.71	1.31	1/3	渡来銭。
第441図	PL.190	5082	天禧通寶	1	286	土坑	24.33	24.38	1.27～1.33	3.66	完形	北宋、1017年初鑄。
第441図	PL.190	5083	大觀通寶	1	286	土坑	23.58	23.27	1.12～1.32	2.38	完形	北宋、1107年初鑄。
第441図	PL.190	5084	永樂通寶	1	286	土坑	24.84	24.75	1.10～1.18	2.82	完形	明、1408年初鑄。
第441図	PL.190	5085	開元通寶	1	286	土坑	23.2	23.52	1.04～1.45	1.99	完形	唐、845年初鑄。
第442図	PL.191	5092	熙寧元寶	1	315	土坑	24.11	24.17	1.32～1.50	3.42	完形	北宋、1068年初鑄。真書
第442図	PL.191	5093	□元通寶	1	315	土坑	23.71	23.42	1.37～1.51	3.61	完形	開か。唐、845年初鑄か。
第442図	PL.191	5094	祥符通寶	1	315	土坑	25.51	25.14	1.63～1.69	3.23	完形	北宋、1008年初鑄。
第442図	PL.191	5095	永樂通寶	1	315	土坑	24.92	24.78	1.34～1.56	3.63	完形	明、1408年初鑄。
第442図	PL.191	5096	元豐通寶	1	315	土坑	24.76	25.17	1.49～1.77	3.73	完形	北宋、1078年初鑄。篆書
第442図	PL.191	5097	開元通寶	1	315	土坑	24.56	24.63	1.29～1.61	3.31	完形	唐、845年初鑄。
第444図		5135	煙管吸口		740-040	グリット	4.7 (長さ)	1.1 (幅)	0.1 (厚)	3.8	完形	全長が短く、羅宇側がややすばまる。
第444図		5136	煙管吸口	7		表採	8.5 (長さ)	1.2 (幅)	0.1 (厚)	12	完形	羅宇残る。
第444図	PL.191	5137	元豐通寶	1	600-145	グリット	24.32	23.9	1.39～1.41	3.32	完形	北宋、1078年初鑄。行書
第444図	PL.191	5138	寛永通寶	5	840-890	グリット	28.21	28.22	1.05～1.18	3.87	完形	4文銭。十一波。
第444図	PL.191	5139	寛永通寶	1	590-200	グリット	22.96	22.81	1.24～1.31	2.33	完形	新寛永。

第IV章 自然科学分析

第1節 矢部遺跡における地質調査

上記調査は、矢部遺跡の溝中の主に軽石の分析を行い、土層の年代を特定する目的で、株式会社古環境研究所に委託した。調査結果は以下のとおりである。その結果、7区1・3号溝の底部よりやや上位に、818年地震に伴う泥流堆積物の可能性がある層が確認され、溝の年代を絞り込む根拠の1つとなった。なお、本調査は北関東自動車道建設に伴い、群馬県埋蔵文化財調査事業団により発掘調査が行われている道原遺跡、矢部遺跡、新島遺跡、只上深町遺跡において行ったもので、ここでは、このうち矢部遺跡分のみ掲載し、他の遺跡の分は割愛したが、「3. まとめにかえて」と「文献」は、すべての遺跡を対象とした記述となっている。

1. はじめに

北関東自動車道建設に伴い、群馬県埋蔵文化財調査事業団により発掘調査が行われている矢部遺跡において地質調査を行い、土層の観察記載を行った。

2. 矢部遺跡7区の溝の層序

1) 7区1号溝Cセクション

矢部遺跡では、2本の比較的大規模な溝状遺構の覆土を観察した。そのうち、1号溝Cセクションの覆土は、下位より層理の発達した灰色砂層(層厚14cm)、黄白色軽石(最大径29mm)や橙色軽石(最大径14mm)に富みかすかに成層した褐色シルト質砂層(層厚19cm)、層理が発達した褐色シルト質砂層(層厚29cm)、淘汰の良い灰白色砂層(層厚6cm)、層理の発達した灰色砂層(層厚36cm)、灰褐色砂質土(層厚15cm)、亜円礫を含む砂混じり暗灰褐色土(層厚35cm、礫の最大径37mm)、灰褐色砂質土(層厚13cm)、亜円礫を含む砂混じり暗褐色土(層厚36cm、礫の最大径7mm)からなる(図4)。

本遺跡と後述する3号溝のいずれの遺構においても、溝基底部の砂礫層の上位に、比較的粗粒の円磨された粗粒

の軽石粒子を含む、粒径が揃いな水成堆積物が認められた。その層相は、現在の渡瀬川沿岸でほとんど認めることができない泥流性堆積物に由来すると考えられる。従来、本調査域周辺で知られている同様の堆積物は、818(弘仁9)年地震に伴う斜面崩壊あるいは地すべりに伴う泥流堆積物(能登ほか, 1990)である。この泥流と考えると、発掘調査で溝の覆土から10世紀頃の遺物が検出されていることとも矛盾しない。

2) 7区3号溝Eセクション

3号溝Eセクションの覆土は、下位より亜円礫を含む灰色砂礫層(層厚3cm以上、礫の最大径18mm)、黄色軽石(最大径32mm)や橙色軽石(最大径8mm)に富む褐色シルト質砂層(層厚18cm)、層理が発達した桃灰色シルト質砂層(層厚29cm)、層理が発達した亜円礫混じり灰色砂層(層厚22cm、礫の最大径29mm)、桃灰色砂質土(層厚14cm)、灰褐色砂質土(層厚46cm)、砂混じり暗灰褐色土(層厚19cm)、黄灰色砂層(層厚2cm)、白色砂層(層厚0.9cm)、灰褐色砂質土(層厚3cm)からなる(図5)。

褐色シルト質砂層中に含まれる黄色軽石については、その色調やシャーベット状に風化していることなどから、Ag-KPに由来すると考えられる。また橙色軽石については、その特徴から1号溝Cセクションの同様の堆積物の橙色軽石と同じものと推定される。

3. まとめにかえて

土層の観察の結果をもとに、土層の層序について述べた。本地区では、従来群馬県域で検出されているテフラ(火山灰)のほかに、泥流起源の特徴的な洪水堆積物をはじめとする複数の洪水起源の砂層が認められる。洪水層のうち、泥流起源の特徴的な洪水堆積物については、818(弘仁9)年あるいはそれに近いとして年代指標に使える可能性がある。またそれが検出された矢部遺跡以外にも、古い粗粒の軽石を含んでいたり桃色がかった色調をもつ砂層として、他の遺跡でも追跡できる可能性がある。さらに、その下位の洪水堆積物については、東今泉鹿島遺跡において、上位から8世紀後半以降の住居址が

検出されている洪水堆積物に対比される可能性がある。これらの洪水堆積物と、東山道をはじめとする遺構との関係も興味深い。

2004年度以降に行われている北関東自動車道建設に伴う発掘調査は、渡瀬川河岸地域の遺構・遺物の記載、考古学資料の収集のみならず、従来詳細な研究に乏しかった本地域における遺跡の立地や展開に関する地形発達史や、比較的新しい時代の地質構造の解明のまたとない機会となっている。これまでも渡瀬川河岸地域より西の遺跡で高精度の分析により環境や土地利用の変遷に関する分析データの蓄積が行われてきていることから、引き続き地形地質学研究者による詳細な土層断面観察と、同じ高精度の分析による資料の蓄積が期待される。

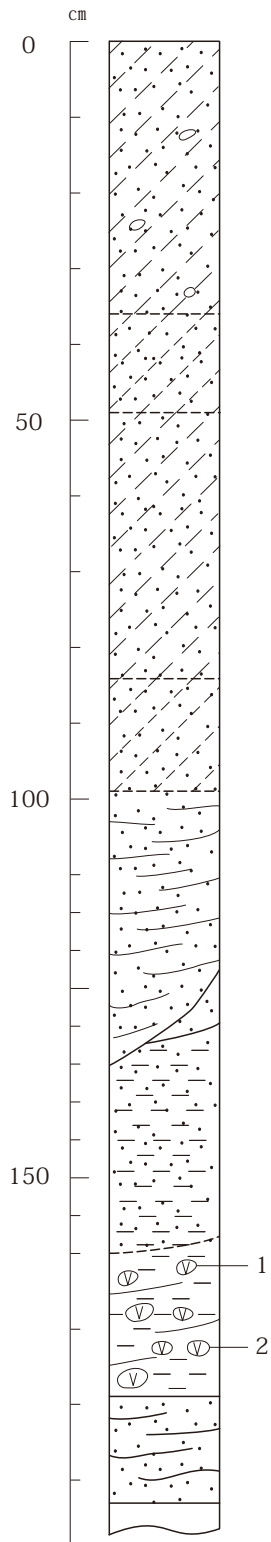
なお、当然今後の調査で新たに検出される土層や、考古遺物、さらに材などの自然遺物に関する分析が必要とされる場合がある。とくに近年では、加速器質量分析(AMS)法の開発により、微量の試料でも高精度の放射性炭素(14C)年代測定が可能となっている。信頼度の高い測定機器による年代値は、おおそ縄文時代以降については年輪年代などを基にした年代較正により、以前より遙かに高い信頼度をもって、暦年に近い年代値を提供できるようになっている。したがって、溝状遺構の基底部や河道跡から材(化石)が検出されたおりに、14C年代測定が実施されると、遺構の年代のみならず河道変遷史などを明らかにする材料ともなろう。

文献

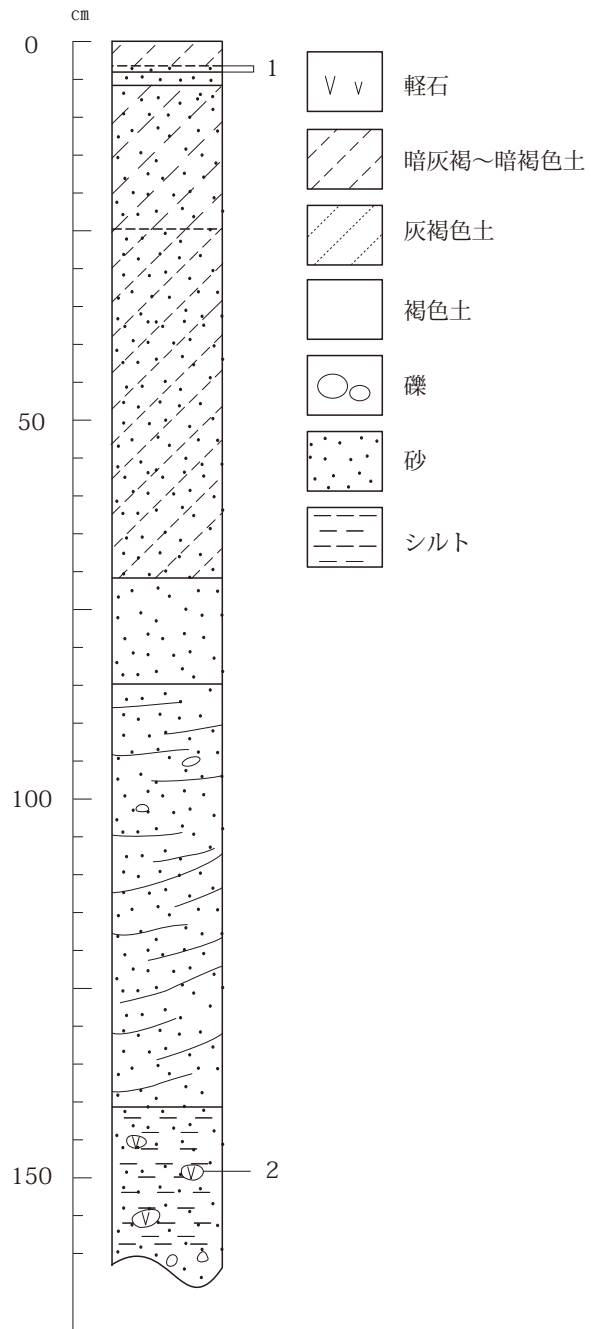
- 新井房夫(1962)関東盆地北西部の第四紀編年。群馬大学紀要自然科学編, 10, p.1-79.
- 新井房夫(1979)関東地方北西部の縄文時代以降の示標テフラ層。考古学ジャーナル, no.157, p.41-52.
- 荒牧重雄(1968)浅間火山の地質。地団研専報, no.45, 65p.
- 群馬県埋蔵文化財調査事業団(2004)(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団年報, 23.
- 池田晃子・奥野 充・中村俊夫・筒井正明・小林哲夫(1995)南九州, 始良カルデラ起源の大降下軽石と入戸火砕流中の炭化樹木の加速器質量分析法による14C年代。第四紀研究, 34, p.377-379.
- 町田 洋・新井房夫(1976)広域に分布する火山灰—始良Tn火山灰の発見とその意義—。科学, 46, p.339-347.
- 町田 洋・新井房夫(1992)火山灰アトラス。東京大学出版会, 276p.
- 町田 洋・新井房夫(2003)新編火山灰アトラス。東京大学出版会, 336p.
- 町田 洋・新井房夫・小田静夫・遠藤邦彦・杉原重夫(1984)テフラと日本考古学—考古学研究と関係するテフラのカタログ—。古文化財編集委員会編「古文化財に関する保存科学と人文・自然科学」, p.865-928.
- 松本英二・前田保夫・竹村恵二・西田史朗(1987)始良Tn火山灰(AT)の14C年代。第四紀研究, 26, p.79-83.

- 村山雅史・松本英二・中村俊夫・岡村 真・安田尚登・平 朝彦(1993)四国沖ピストンコア試料を用いたAT火山灰噴出年代の再検討—タンデトロン加速器質量分析計による浮遊性有孔虫の14C年代。地質雑, 99, p.787-798.
- 能登 健・内田憲治・早田 勉(1990)赤城山南麓の歴史地震—弘仁九年の地震に伴う地形変化の調査と分析—。信濃, 42, p.755-772.
- 坂口 一(1986)榛名二ツ岳起源FA・FP層下の土師器と須恵器。群馬県教育委員会編「荒砥北原遺跡・今井神社古墳群・荒砥青柳遺跡」, p.103-119.
- 沢口 宏(1966)大間々扇状地の地形発達史—予報—。群馬県高校社会科学研究会会報, no.7, p.12-24.
- 沢口 宏(1977)渡瀬川扇状地の地形とその教材化。県立太田女子高等学校研究集録, no.6, p1-18.
- 早田 勉(1989)6世紀における榛名火山の2回の噴火とその災害。第四紀研究, 27, p.297-312.
- 早田 勉(1991)浅間火山の生い立ち。佐久考古通信, no.53, p.2-7.
- 早田 勉(1996)関東地方～東北地方南部の示標テフラの諸特徴—とくに御岳第1テフラより上位のテフラについて—。名古屋大学加速器質量分析計業績報告書, 7, p.256-267.
- 友廣哲也(1988)古式土師器出現期の様相と浅間山C軽石。群馬県埋蔵文化財調査事業団編「群馬の考古学」, p.325-336.
- 若狭 徹(2000)群馬の弥生土器が終わるとき。かみつけの里博物館編「人が動く・土器も動く—古墳が成立する頃の土器の交流」, p.41-43.

7区1号溝Cセクション



7区3号溝Eセクション



— 溝基底

土層柱状図

第2節 出土骨・馬歯について

上記鑑定は、矢部遺跡出土の骨および馬歯について、骨の種別、馬の年令・大きさ等を明らかにするために、古生物学会会員宮崎重雄氏に依頼した。その結果、骨は人骨である可能性が高くなった。また、馬は日本在来馬ほどの大きさであったことが判明した。詳細は以下のとおりである。

6区5号遺物集積2面

脳頭蓋片、肢骨片などを含む土と一体化している状態の100片以上の微細骨片で、骨表面に骨軸方向の縦筋が観察されるので、ヒトの可能性が高いが、確定はできない。

第49表 馬歯計測表

右上顎白歯						
	第2前臼歯	第3前臼歯	第4前臼歯	第1後臼歯	第2後臼歯	第3後臼歯
歯冠近遠心径	?	25.3+	25.4+	23.5+	28.8	26.8
右下顎白歯						
	第2前臼歯	第3前臼歯	第4前臼歯	第1後臼歯	第2後臼歯	第3後臼歯
歯冠近遠心径	?	28.8	26.1	25.3	24.4	31.0
歯冠高	?	37.8	49.4	45.0	47.3	41.3

単位mm

6区5号遺物集積2面 土サンプル

頭蓋骨片、肢骨片など微細骨10数片。ヒトの可能性がある。

5区2号溝埋土 馬歯

現状では右側の歯が比較的良く保存されている。左で確認されるのは、下顎第4前臼歯、第2後臼歯、第3後臼歯である。右側を下に、左を上側にして埋存していたようである。

年令は7-8才程で、性別不明である。日本在来馬ほどの大きさであったと思われる。



5区2号溝埋土 馬歯写真

第3節 矢部遺跡出土黒墨遺物の成分分析

上記分析は、矢部遺跡5号住出土の銚帯に付着した黒色塊の成分を分析し、墨かどうかを判断する目的で、株式会社パレオ・ラボに委託した。分析結果は以下のとおりであり、墨であることを積極的に支持する結果となった。

1.はじめに

矢部遺跡は、太田市只上町地内に所在する古墳時代から奈良・平安時代の集落遺跡である。調査では、古代の墨と思われる黒色塊が銚帯具とともに出土した。ここでは、この墨と思われる黒色塊の成分を調べるため、構成元素を調べるためのX線分析、膠成分の有無を調べるための赤外分光分析を行った。

2.試料と方法

試料は、矢部遺跡から出土した墨と思われる黒色塊

1点である。墨と思われる黒色塊は、緑青の著しい銚帯具の裏面の窪み内に位置し、台形上底0.7cm、下底2.2cm、高さ約2.4cm、厚さ0.4cmからなる黒色塊である(図版1)。なお、表面には直線からなる数条の磨り痕が見られる。分析した試料は、出土遺物の一部が脱落した破片を対象とした。

無機成分を調べるためにエネルギー分散型X線分析装置が付属した走査型電子顕微鏡で調べた。試料は、複数の小片について、手術用メスを用いて新鮮な破断面を作成し、直径1cmの真鍮製試料台にカーボンテープを用いて固定した。使用した機器は、走査型電子顕微鏡(日本電子株式会社製JSM-5900LV、以後SEM)に付属するエネルギー分散型X線分析装置(同JED-2200)を用いた。定量は、標準試料を用いないFP法(ファンダメンタルパラメータ

第50表 黒色塊破断面のX線分析結果

分析No.	C	Na2O	MgO	Al2O3	SiO2	SrO	K2O	CaO	MnO	FeO	CuO	TOTAL
1	49.07	-	0.44	0.58	9.57	0.01	-	0.26	0.04	0.21	39.83	100.01
2	51.07	0.14	0.01	1.13	9.78	0.20	-	0.08	0.09	0.21	37.28	99.99
3	53.24	-	0.09	0.78	10.04	0.06	-	0.21	0.06	0.07	35.43	99.98
4	46.05	0.89	0.51	0.51	9.05	-	-	0.13	0.06	-	42.79	99.99
5	42.15	-	-	0.38	8.52	0.06	0.01	0.07	0.14	-	48.67	100.00
最小値	42.15	0.14	0.01	0.38	8.52	0.01	0.01	0.07	0.04	0.07	35.43	
最大値	53.24	0.89	0.51	1.13	10.04	0.20	0.01	0.26	0.14	0.21	48.67	

法)を用いた。

また、膠成分の有無等を調べるために、赤外分光分析を行った。試料は、新鮮な破断面において手術用メスなどを用いて0.2mm角程度を薄く削り取った。採取した試料は、押しつぶして厚さ1mm程度に裁断した臭化カリウム(KBr)結晶板に挟み、油圧プレス器を用いて約7トンで加圧整形した。測定は、フーリエ変換型顕微赤外分光光度計(日本分光(株)製FT/IR-410、IRT-30-16)を用いて透過法により赤外吸収スペクトルを測定した。

3.結果および考察

X線分析は小片5点について、平滑面において測定した(図版1-2a~2c)。測定した結果、検出された成分は、炭素(C)、酸化ナトリウム(Na₂O)、酸化マグネシウム(MgO)、酸化アルミニウム(Al₂O₃)、酸化ケイ素(SiO₂)、酸化カリウム(K₂O)、酸化カルシウム(CaO)、酸化マンガン(MnO)、酸化鉄(FeO)、酸化銅(CuO)のII成分であった。このうち、炭素(C)が最大53.2%と多く、次いで酸化銅(CuO)が最大48.6%であった。その他では、酸化ケイ素(SiO₂)が最大10.04%、酸化アルミニウム(Al₂O₃)が最大1.13%であり、その他の成分は1%以下であった(表1)。このうち、酸化銅(CuO)は、緑青の著しい銚帯具の裏側の凹み内に位置することから、この銚帯具の成分が墨塊内に浸透したために検出されたと考えられる。膠成分を確認するために赤外分光分析を行った結果、膠(クジラ油)に見られるような吸収は明瞭ではなかった(表2、図版1-3)。これは、X線分析の結果、酸化銅(CuO)が最大48.67%検出されているが、膠質部に銅が浸透していることが原因と考えられる。

この黒色塊は、無機成分において酸化銅を除外するとほぼ炭素成分からなる黒色塊である。また、木材や草本植物などの細胞組織は全く無く、ほぼ均質な黒色物からなる(図版1-2a~2c)。なお、手術用メスを押し当てて

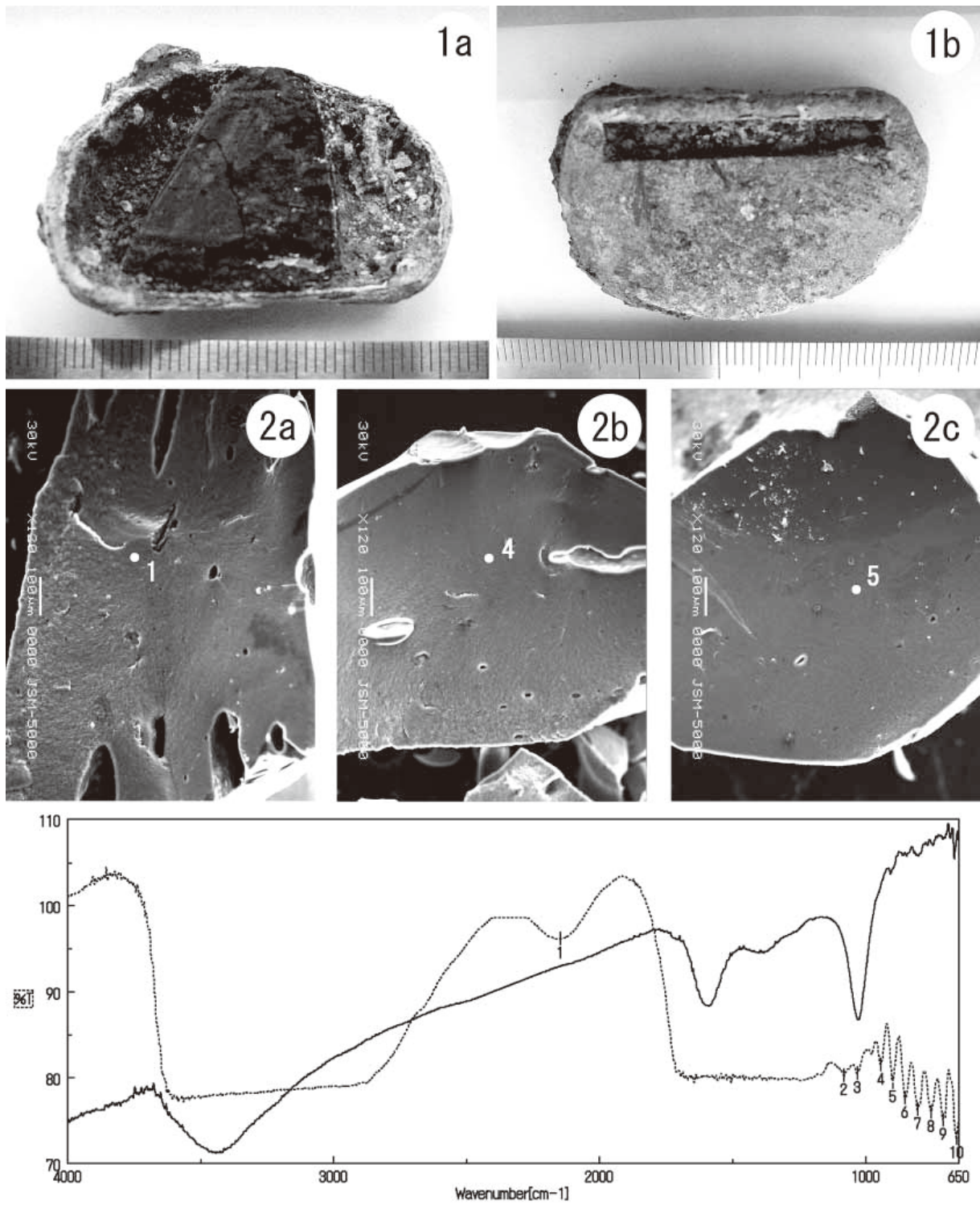
削ると、光沢を発する軟質物であった。これらの結果から、この黒色塊は、予想された墨であることが積極的に支持される結果であった。

4. おわりに

墨と思われる黒色塊の一部破片を用いて、X線分析および赤外分光分析を行った。その結果、膠成分の有無については確認できなかったものの、ほぼ炭素からなる均質の黒色物であった。このことから、予想された墨であることを積極的に支持する結果であった。

第51表 膠の赤外吸収位置とその強度

表2 膠の赤外吸収位置とその強度		
吸収No	膠(クジラ)	
	位置	強度
1	2147.35	96.1367
2	1080.91	80.2884
3	1030.77	80.5749
4	943.02	81.4925
5	898.67	79.4672
6	851.42	77.6258
7	805.13	76.2990
8	753.07	76.0399
9	709.68	75.1238
10	658.57	72.9902



図版1 銚帯内の墨の出土状況写真と墨片破断面および赤外分光スペクトル図

1a. 銚帯具裏面内の墨 1b. 銚帯の表面

2a-2c. 墨片の新鮮な破断面と点分析位置(点No.は表1に対応)

3. 墨および膠の赤外分光スペクトル図(縦軸は透過率、横軸が波数を示す)

実線：墨試料、点線：膠(No.は主な吸収位置)

第V章 総括

第1節 矢部遺跡出土の銚帯と墨について

はじめに

太田市北東部只上町に所在する矢部遺跡では6区5号竪穴住居から全国的にみても希少な墨が出土している。この墨が出土した竪穴住居は一部に炭化材が残る状況から出土した墨についても科学分析(第IV章第3節 567～568p)を実施して墨であることを確認している。

矢部遺跡は古墳時代6世紀から10世紀前半代にかけての集落遺跡で竪穴住居70軒をはじめ掘立柱建物、土坑など多くの遺構が検出され、9号竪穴住居から具注暦が書かれた漆紙文書^{註1}が出土している。また、近接する太田市東今泉鹿島浦遺跡からも借金文書の書かれた漆紙文書^{註2}、太田市鹿島浦遺跡からは8世紀を前後する時期の獣脚円面硯^{註3}、太田市楽前遺跡からは「山田」、「入田」などの郡名墨書土器などが出土^{註4}している。こうした漆紙文書や円面硯等の出土は郡衙や郡衙工房などからの出土例が多くみられていることから、隣接する範囲に山田郡衙または郡衙工房が存在する可能性が高まっている。なお、山田郡衙については矢部遺跡の西方に残る「古氷」地名から太田市八ヶ入遺跡周辺に比定されているが、この周辺での飛鳥時代から奈良時代の遺構は主に竪穴建物が主体で大型の掘立柱建物や官衙に伴うような遺物は検出^{註5}されていない状況である。

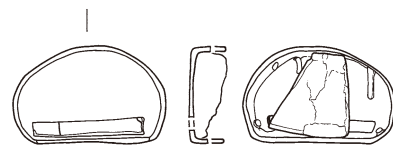
1. 矢部遺跡での出土状況

墨が出土した6区5号竪穴住居は今回の発掘調査範囲では調査区北東部に位置する。この竪穴建物はピット状の小穴とは重複するものの竪穴住居や溝など規模の大きな他遺構との重複は確認されておらず単独の占地である。なお、9号竪穴住居や10号竪穴住居とは隣接するが、竪穴建物の周堤帯範囲を考慮しても重複する可能性は想定されない。

銚帯と墨の出土位置については調査時に記録が残されていないため詳細は不明である。こうした状況からする

と埋没土中でも比較的上位であったことが想定される。この竪穴住居からは第302図のように図示可能な土器が須恵器椀4点、土師器甕4点出土している。須恵器椀は酸化焰焼成によるもので、土師器甕は口縁部から頸部の形状がコの字状を呈するが、土師器甕3274は頸部がやや内側に傾いていることから9世紀第四半期に比定される。また、須恵器椀は酸化焰焼成ではあるが、比較的丁寧な成整形によることから第4四半期でも前半代に位置付けられる。

墨は第445図にあるように銅製銚帯の一つである丸柄の裏面に押し込まれるような状態で出土しており、一個体の一部片である。銚帯の残存状態は錆化が進んで裏金を留める鉤などが欠損や折れ曲がった状態ではあるが比較的良好である。また、墨の形態は一部片であるため不明確な点はあるが、残存する形状や大きさなどから篋型であるとみられる。



第445図 矢部遺跡出土の銚帯と墨

2. 古代の墨

墨の出土例

古代の墨は正倉院に16点が伝世する他に、発掘調査などで11点の出土例が知られている。この他、群馬県内で報告書掲載漏れのものが1点存在する。

古代の墨についての論考は少なく大川原竜一・山路直緒充「古代の墨」『古代の陶硯をめぐる諸問題』^{註6}と奈良文化財研究所「古代の官衙遺跡 II 遺物・遺構編」^{註7}に掲載されている程度である。大川原竜一・山路直充「古代の墨」によると古代の墨はその形態に舟形、篋型、筒形の3形態がみられるとのことである。

正倉院に伝世する墨は墨が14点、白墨が2点、であり、その形態は墨14点のうち舟形が14点、筒形が2点である。

第52表 墨の出土例

遺跡名	遺跡の性格	所在地	出土遺構	出土状態	性格	共伴遺物	時期	墨の形態	文献
奈良山	不明	奈良市奈良坂町	不明	須恵器短頸壺内		銭貨5枚	8C.後半	小片、不明	1
平城京左京三条一坊十四坪	都城内居住域	奈良市三条大路2丁目	土坑SX5670	須恵器短頸壺内	胞衣壺	筆管、銅製刀子	8C.前半	舟形	2
平城京右京三条二坊十六坪	都城内居住域	奈良市二条大路南1丁目	土器埋納遺構SX38	土師器甕内	胞衣壺		8C.後半	舟形	3
平城京右京五条四坊三坪	都城内居住域	奈良市平松町・五条町	土坑SX030	須恵器壺内	胞衣壺	銭貨4枚、筆管、刀子柄、絹織物	8C.中庸	舟形	4
平城京右京八条一坊十四坪	都城内居住域	大和郡山市九条町	土器埋納遺構SX1535	須恵器有蓋杯	胞衣壺	銭貨5枚	8C.中葉	舟形	5
平安京右京三条三坊十坪	都城内居住域	京都市中京区西ノ京徳大寺町	木棺墓SX46	化粧箱内	副葬品	漆器皿、化粧道具類他	9C.後半	篋形2点	6
上平沢新田遺跡	集落	岩手県紫波郡紫波町	3号竪穴建物	カマド脇床面	住居		9C.後半～10C.	扁平	7
明寺山遺跡	山林寺院	福井県丹生郡清水町	掘立柱建物柱穴	柱穴内	建物廃棄祭祀	須恵器蓋、杯、墨書土器	9C.Ⅲ以前	篋形	8
諏訪遺跡西山ノ後地区	集落	鳥取県米子市	掘立柱建物柱穴	土師器甕内	胞衣壺	銭貨3枚、刀子、鋤先	8C.前半	舟形か	9
徳永川ノ上遺跡	古墳	福岡県京都郡豊津町川の上	古墳周溝内	土師器壺	胞衣壺		8C.後半	篋形	10

白墨は2点とも筒形である。詳しくは「正倉院寶物Ⅱ」、大川原竜一・山路直緒充「古代の墨」を参照してほしい。

墨の出土例は大川原竜一・山路直緒充「古代の墨」によると第52表のようになり、そのうち平安京右京三条三坊十坪と上平沢新田遺跡・明寺山廃寺以外は胞衣壺の埋納品とされている。また、平安京右京三条三坊十坪では副葬品、明寺山廃寺では建物廃棄に関する祭祀行為が想定されている。上平沢新田遺跡は竪穴建物の東南隅竈と南側壁との間という狭い場所とされており、何らかの祭祀に係わる可能性も窺える。

出土した墨は子供の将来を願う胞衣関する祭祀や葬送儀礼、地鎮など祭祀儀礼に伴う事例が圧倒的である。特に胞衣関する祭祀では子供が将来、安定した生活を送れるようにとの願いから役人への登用・出世を願って墨と筆、銭貨を胞衣と一緒に布に包んで蓋付きの須恵器短頸壺や杯、土師器甕などの容器に納めて地中に埋納して祈願したことが知られている。

なお、出土した墨は平城京左京三条一坊十四坪から出土したものを除くとすべて一部だけの状態であることから、故意に欠損させている可能性がみられる。

銚帯の問題

矢部遺跡から出土した墨は銅製銚帯丸軋の裏面内部に押し込まれるような状態であった。銚帯についてはその使用年代が文献により慶雲四年(707)あるいは和銅四年(711)から延暦十五年(796)と大同二年(807)から弘仁元年(810)までに限定されることがわかっている^{注8}。弘仁二年

以降は全面的に石製銚帯が使用されたとみられる。こうした状況から半世紀以上も後に銅製銚帯が残存している状況についてどのような解釈をしてよいのか判断に悩む点である。このような銅製銚帯の使用停止後大幅に年代が下った遺構から銅製銚帯が出土する例は少なくなく、矢部遺跡周辺でも太田市楽前遺跡では9世紀第4四半期に比定される251号竪穴建物^{注9}からの出土例が知られている。また、10世紀代の遺構からの出土例も少なくない。今回、この事例についての集成はできなかったが「銚帯をめぐる諸問題」に掲載されている銚帯の集成では相模国府関連の遺跡では9世紀後半から10世紀代の遺構からの出土例が少なからず報告^{注10}されている。銚帯自体は官吏の象徴的な点もあることから後々まで保管されることは容易に想像されるが、50年以上もの時間的経過は銅製銚帯を使用していた世代から子の世代、孫の世代まで移っている可能性は想定される。当時としては銅自体も非常に貴重品であるが、この時間的経過は想像しがたい点がある。

3. 墨・銚帯の性格

矢部遺跡から出土した墨については、いろいろと不明な点も多々存在するが、速報として当事業団ホームページでの掲載は銚帯が古代官吏の象徴的な装着物であることや今までの墨の出土例が胞衣に伴う祭祀が最も多いことから出土した竪穴建物廃絶後に子供の成長を願う胞衣に係わるものと推定した。しかし、今までの胞衣に関する祭祀として報告されている事例とは異なる点もあるこ

とから疑問視する指摘もある。

ここでは矢部遺跡から出土した墨と銚帯がどのような性格をもつものか、特に胞衣に関する祭祀に伴うものであるか、もう少し検討を行うことにする。

胞衣に関する祭祀については昭和55年に奈良国立文化財研究所が行った平城京右京五条四坊三坪^{注11}の発掘調査で掘立柱建物の一角から内部に和同開珎4枚、墨、筆管、小骨、絹織物の断片が納められた須恵器有蓋短頸壺出土した。これについて水野正好氏は九条道家の日記「玉藻」や勸修寺為房の日記「大記」に出土した壺とよく似た記述があることがある点を指摘^{注12}したことや室町幕府七代將軍足利義勝の「御産日記」をはじめ、民俗事例では後産と男児は筆、墨、銭、女児は針、糸、銭を一緒に納めて人のよく踏む場所、または踏まない場所に埋納したという事例から胞衣に関する祭祀^{注13}であると判断したのが初例である。

その後、都城を中心に秋田県秋田城跡^{注14}や岡山県馬屋遺跡^{注15}などから蓋を伴う須恵器短頸壺や杯の内部に数枚の銭貨が埋納された事例が発見され胞衣に関わる祭祀と想定される事例が報告されている。ただし、胞衣に関わる祭祀とされる出土例では埋納物が銭貨だけのものが多く貴族の日記や民俗事例と合致する例は少ない。これは埋納物の筆・墨が有機物のため長年の歳月で消滅してしまう可能性が大きいことによるとされている。

しかし、出土状況によっては平城京西隆寺の回廊から出土した土師器甕のように胞衣にかかわる祭祀ではなく地鎮にかかわる祭祀のほうが妥当であるとされる事例もある。西隆寺の事例は土師器甕を土師器杯で蓋をされた内部に和同開珎4枚と神功開寶1枚と織物片が出土し、脂肪酸分析の結果から胞衣に関わる祭祀遺構の可能性も指定されていたが、杉山洋氏は土器の年代や遺構の存続時期などの考証から地鎮に関する祭祀としている^{注16}。今日、脂肪酸分析については疑問視される点も指摘されことから、銭貨などが埋納された土器が地中に埋納されたものを一概に胞衣に関わる祭祀遺構とは判断することはできない。

こうした状況から顧みると矢部遺跡から出土した銚帯と墨の性格については胞衣に関わるとみられる肯定的要素としては①墨の出土例の多くは胞衣に関わる祭祀に伴って出土していること ②銚帯は古代の役人の象徴的なも

のであり、役人は当時の職業としてはもっとも安定した職業であったこととから子供を思う親心がもっともよくあらわされたものであること ③矢部遺跡は具注暦が残る漆紙文書が出土していることや周辺遺跡の様相から古代山田郡家周辺に立地するとみられることから銚帯や墨を所有していた人物も郡家の下級役人であった可能性があることなどを挙げるができる。

これに対して比定的要素としては①容器に収められていないこと、今まで胞衣に関わる祭祀では胞衣壺と言われるように須恵器有蓋短頸壺に埋納される事例が多い。また、短頸壺でない場合でも須恵器の有蓋杯に埋納されている。②銭貨を伴わないこと、特に道教が伝来して以降、道教は現世利益を説いているため、銭に特別な意味をもたせ、人間界のみならず、人間界と神との間でも機能する交換手段されているため、神に祈願するときには必要不可欠なものとしてされている^{注17}。特に都城や畿内で見つかっている7世紀末以降の祭祀では銭貨を伴う事例が多くみられる。③矢部遺跡では竪穴建物の埋没土からの出土で他居住施設とはややかけ離れており、民族事例のよく踏まれる場所、またはまったく踏まれない場所とは一致しないこと、特に東国では縄文時代の胞衣に関する祭祀でも出入り口付近に埋納され、人に踏まれることによって強くたくましく成長するとみられるとされている。

以上のように肯定的、否定的要素が挙げられ、性格付けに苦慮する。しかし、胞衣に関わる祭祀的行為は縄文時代から知られており、都城での様相と地方での様相が必ずしも一致しなくても問題はないとも考える。また、否定的要素のなかでの容器についても土器ではなく、曲げ物などの木製容器の可能性も想定してもよいのではないだろうか。銭貨についても墨出土例の中にある胞衣に関わる祭祀で銭貨を伴わない事例もある。また、東日本では貨幣の流通がどこまで浸透していたか問題である^{注18}。奈良時代には蓄銭叙位令によって郡司層にある程度の銭貨が貯蓄されたことが知られているが、この状態がストレートに流通の段階での貨幣使用を表しているとは見られない。また、群馬県の銭貨出土例について見ると、9世紀以降では富壽神寶と承和昌寶以降の銭貨の出土枚数に差がみられる^{注19}。この出土状況は9世紀以降の貨幣が地域にどれだけ浸透していた状況をストレート

に表しているとみられる。こうした状況を考慮すると錢貨に代わるものが納められていた可能性もあり得ると考えられる。ただし、墨を用いている点は都城の様式を導入しており、この点では錢貨を伴わなくても袍衣に関わる祭祀とするには矛盾が生じてしまう。

このように両面の要素を挙げても矢部遺跡から出土した袴帯と墨について安易に袍衣に関わる祭祀とは断定できないのが現状である。また、東国で袍衣に関わる祭祀とみられているのは秋田城の1例だけである。秋田城は国府と同等な官衙でその官吏には中央から派遣されてきた役人もいることから、遺跡の性格状どちらかと言えば都城に近い様相がある。こうした点からも今後東国での類例が見つければ矢部遺跡での袴帯と墨が持つ性格が明らかになるものと考えられる。

注

- 注1 本報告書、詳細は574～581pを参照。
- 注2 東今泉鹿島浦遺跡の出土土器から9世紀第1四半期に比定される63号竪穴住居から出土した漆紙文書には「月借錢解」に類する借金・給与の前借を申し込む文書が出土している。高島英之「東今泉鹿島浦遺跡出土文字資料について」『東今泉鹿島浦遺跡(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2007
- 注3 鹿島浦遺跡1・2区9号溝から出土(575図48)。(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団「鹿島浦遺跡」2010
- 注4 楽前遺跡から「山田」、「入多」、「入田」、など山田郡や新田郡を表す墨書土器が出土している。高島英之「出土した文字資料からみた古代の山田郡と新田郡」『楽前遺跡(2)』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2010
- 注5 ハケ入遺跡では7世紀後半から8世紀前半は東山道駅路が検出されているが、古代の集落が営まれるのは8世紀後半10世紀代にかけてである。官衙遺構を想定させる遺構の検出や遺物の出土は見られない。(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団「ハケ入遺跡Ⅱ」(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2010
- 注6 独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所「古代の陶硯をめぐる諸問題—地方における文書行政をめぐる—」2003に掲載。
- 注7 独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所「Ⅰ-6 紙・筆・墨・硯」『古代の官衙遺跡Ⅱ 遺物・遺構編』2004
- 注8 阿部義平「袴帯と官位制について」『東北考古学の諸問題』東北考古学会1976、独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所「袴帯をめぐる諸問題」2002による。
- 注9 楽前遺跡251号竪穴建物から銅製丸軛が出土している。(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団「楽前遺跡(2)」2010
- 注10 独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所「Ⅱ 全国出土袴帯修正」『袴帯をめぐる諸問題』2002より。
- 注11 奈良国立文化財研究所「平城京五条四坊三坪発掘調査概報」1977
- 注12 水野正好「想蒼離記 壹叢」『奈良大学紀要』13奈良大学1984
- 注13 巽淳一郎「まじないの世界Ⅱ」『日本の美術』361至文堂1996、杉山 洋「考古学からみた土器埋納遺構の性格」『西隆寺発掘調査報告書』奈良国立文化財研究所1993より
- 注14 秋田城跡第60次SX1305から有機物質とともに万年通寶5枚と小鉄片が出土し、錢貨の貨面には布圧痕が残っていたことから袍衣壺と判断されている。出土位置は当初、竪穴住居に伴うものと判断されていたが、その後の検証で単独の遺構であると判断されている。秋田市教育委員会「秋田城跡 平成五年度秋田城跡調査概報」1994年

- 注15 岡山県馬屋遺跡で検出された土器埋納遺構—1では8世紀前半代の金属器模倣の須恵器有蓋杯が埋納され、その下より和同開珎5枚が出土している。岡山県教育委員会「松尾古墳群・斎富古墳群・馬屋遺跡ほか」1995
- 注16 杉山 洋「考古学からみた土器埋納遺構の性格」『西隆寺発掘調査報告書』奈良国立文化財研究所1993より。
- 注17 巽淳一郎「まじないの世界Ⅱ」『日本の美術』361至文堂1996より。
- 注18 三上喜孝「地域社会と古代の貨幣」『日本古代の貨幣と社会』吉川廣文館2005によると東国では布が対価の代償として普及していたとされている。
- 注19 中沢 悟「第6章 成果と問題点」『宮田細田遺跡 宮田宮下遺跡』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2006中の第25表 群馬県内出土の皇朝十二銭より
墨出土例の文献 NO.は表中の文献番号と一致する。
- 1 奈良国立文化財研究所「奈良国立文化財研究所年報」1977
 - 2 奈良国立文化財研究所「平城京左京三条一坊十四坪発掘調査報告書」1995
 - 3 奈良市教育委員会「奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成3年度」1992
 - 4 奈良国立文化財研究所「平城京五条四坊三坪発掘調査概報」1977
 - 5 奈良国立文化財研究所「平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告書」1989
 - 6 (財)京都市埋蔵文化財研究所「平安京右京三条三坊」1990
 - 7 岩手県教育委員会「東北縦貫道自動車道関係埋蔵文化財調査報告書Ⅲ」1980
 - 8 清水町教育委員会「越前 明寺山廃寺」1998
 - 9 米子市教委「米子市諏訪遺跡群発掘調査概報Ⅱ」1981
 - 10 福岡県教育委員会「徳永川の上遺跡Ⅲ」1997

第2節 矢部遺跡出土の漆紙文書

漆紙文書とは、土器や曲物などの容器に入れて保存されていたり、あるいは作業に使用するためにそこから小分けされた漆液の乾燥を防ぐために、容器の口縁部と漆液の表面に密着させて蓋としていた紙に、漆が染みこんでコーティングされたことによって、土中であっても腐ることなく伝存した文書のことである(平川1985)。

古代社会にあっては、紙が非常に高価であったため、当然のことながら、未使用の新品の紙が蓋紙に使用されることはあり得ない。蓋紙には必然的に役所や寺院などで不要となった文書が再利用された。ゆえに発掘調査で漆の蓋紙が出土すると、それが直接、新たな古代文書の発見につながることになる。

周知のように、史料の種類や量の絶対的な少なさ故に行き詰まりつつあった古代史研究の世界に、起死回生の新たな息吹を与える史料として注目されてきた。

古代の漆紙文書は、現在のところ、北は秋田県・岩手県から西は福岡県に及ぶ範囲の約90箇所の遺跡から出土している(奈良文化財研究所飛鳥資料館2006)。木簡の出土は、木製品が土中で伝存する環境に左右され、出土条件に限られるが、漆紙文書の場合は、漆の浸透さえしっかりしていれば、木簡よりも土中で伝存する条件は緩く、今後も、さらに出土事例は増え続けるであろう。

また、漆紙文書が出土した遺跡の種類も、木簡などのように圧倒的に宮都遺跡が多いというわけではなく、むしろ地方官衙や官衙関連工房、集落などからの出土も多く、宮都・官衙などに関連する遺跡に限られているわけではない(奈良文化財研究所2005、奈良文化財研究所飛鳥資料館2006)。

この点は、漆紙文書が最終時に廃棄されるのは、あくまでも漆塗りの作業に伴う場所であり、廃棄場所すなわち出土場所にあっては、それが文書であることに意味を有しないということに依る。しかしながら、高級品である漆液であるとか、あるいは、紙が使用されていた場所から反故紙を入手しやすい環境という点から考えれば、自ずと官衙あるいは寺院などと、比較的密接な関連を有する場所ということにならざるを得ない。

関東地方でも、全ての都県において古代の漆紙文書が出土している。

群馬県内においては、これまで僅かに3例が出土しているのみであったが、平成15～17年度にかけての県内における調査において新たに3例の漆紙文書が出土し、一挙に倍の件数となった。また、近年出土した漆紙文書には、これまでの県内における出土事例とは異なって、文書の性格や種類、内容などがある程度類推できるような資料が含まれており、全国的にも類例をみない種類のものもある。

1 出土遺跡の概要

太田市只上町に所在する矢部遺跡は、太田市の北郊外に位置し、前述した東今泉鹿島遺跡の北西約700mの位置にあたる。

遺跡周辺の自然地形は、前述した東今泉鹿島遺跡と同様、北東方向から足尾山地が連なり、南西方向には金山丘陵が延び、その間隙を、足尾山地に源を発する渡良瀬川が流れている。遺跡は、この渡良瀬川が形成した扇状地上、葦川用水路と矢場側とに挟まれた標高約100m前後の平地に立地している。

漆紙は、1区から1点と6区から1点の計2点が出土したが、文字が判読でき、漆紙文書と判定されたのは6区から出土した1点であった。以下、本節では、文字が判読できた1点についてのみ採り上げる。

2 漆紙文書の出土状態

調査区の北寄り、矢場川によって作られた緩やかな谷に沿って、7世紀後半～末から9世紀初頭頃にかけての竪穴住居がまとまって検出されており、そのうちの一つ、6区9号住居の埋土中よりから出土した。床面より約10cm上からの出土であり、竪穴住居が廃絶して、竪穴の窪地に若干土砂が堆積してから混入した遺物である。漆紙文書は、土師器杯底部内面に付着していた。

この漆紙文書が入っていた土師器杯には、漆液の付着は全く認められないので、この土師器杯も、漆塗りの際に容器から小分けされたパレットではなく、漆紙文書を廃棄するために容れられたものと考えられる。

本遺跡では、他の遺構から体部や底部に漆液が付着した須恵器杯の破片が数点出土しており、本遺跡の地において漆塗りの作業が行われていたことが窺える。

漆紙文書が付着して出土した土師器杯は、8世紀後半

のものと考えられる。下野国地方で作成された土器の特徴を有している。また、漆紙文書が出土した竪穴から出土した須恵器杯には、武蔵国比企郡の鳩山窯で焼成された特徴を有するものが含まれていることが判明している(埼玉県比企郡鳩山町教育委員会渡辺一氏の御教示による)。北西側を渡良瀬川による下野国との国境まで約1.5km、南側利根川による武蔵国との国境まで約10kmと、両国との境に近接した位置に本遺跡が所在している。奈良時代末期の宝亀2年(771)に武蔵国が東山道から東海道に所管換えが行われるまでは(『続日本紀』宝亀2年10月27日条)、本遺跡の地から近い場所に存在したと考えられる新田駅家が、東山道駅路本路と武蔵国とを結ぶ東山道駅路武蔵路の分岐点であったなど、律令国家の交通上の要衝にもほど近い本遺跡周辺では、国境を越えた活発な物流があっただろう。

3 漆紙文書の内容

土師器杯の底部内面に付着した漆紙文書には、肉眼で観察する限り表面には何らの文字を見出すことは出来ないが赤外線テレビカメラを用いるといくつかの文字を確認することが出来る。とは言うものの、何となく文字の跡がうっすらわかる程度の部分の方が圧倒的に多く、解読作業は困難を極めた。

解読を進めた結果、この文書は表裏2面に表記されていることがわかった。文字が記された紙が途中から折り曲げられているのであるが、真ん中から半分にきちんと折られているというわけではなく、向かって右側約1/3くらいの範囲には、元来の表面がはみ出している。向かって左側の大部分には、折り曲げられたことによって裏面が現れており、それらが重なって、一見するとあたかも一面のように見えるわけである。そうであるから、向かって右側約1/3の部分と、左側の約2/3の部分では、記載内容が全く異なっているのである。

全体で、50文字分が確認できたが、そのうち解読可能な文字は表面15文字、裏面15文字の合計30字分に過ぎなかった。

元来の表面、向かって右側約1/3に当たる部分には、「具注曆」という今で言う一種のカレンダーであることが判明した。具注曆は、大きく分けて上段・中段・下段からなり、日付や干支とともに、五行を表す納音、24節気、

その日の行動の吉凶や禍福などが「注」として具さに記されていることからこの名がある。「大歳前」とか「天恩」という、曆特有の用語を見出すことが出来たので、そのように判断した。

裏面には、「土部□□□而(麻カ?)呂」という人名や、「常」「生」「住」「上」「行」など共通する音や類似する音などの漢字がランダムに列記され、習字をしたあとと考えられる。それら裏面に記された習書とみられる文字の間には、この面の裏にあたる、元々の表面に記された具注曆の文字が、部分的に透けてみえている箇所が散見でき、それらが裏文字となって判読できるのである。要するに、官衙や寺院などで曆として使われた紙が不要になった後に、その裏面が文字の練習に使われ、それがさらに反故紙として払い下げられ、最終的に、この矢部遺跡の地で漆の容器の蓋紙として使用され捨てられたのである。

4 本文書の歴史的意義

古代の具注曆は、①持統3年(689)曆：奈良県明日香村石神遺跡出土木簡、②神亀6年(729)曆：静岡県浜松市城山遺跡出土木簡、③天平18年(746)曆：正倉院伝存、④天平21年(749)曆：正倉院伝存、⑤天平勝宝8歳(756)曆：正倉院伝存、⑥天平勝宝9歳(757)曆：東京都国分寺市武蔵台遺跡出土漆紙文書、⑦天平宝字3年(759)曆：秋田県秋田市秋田城跡出土漆紙文書、⑧天平宝字7年(763)曆：宮城県多賀城市山王遺跡出土漆紙文書、⑨宝亀9年(778)曆：奈良県奈良市平城京跡出土漆紙文書、⑩宝亀11年(780)曆：宮城県多賀城市多賀城跡出土漆紙文書、⑪延暦9年(790)曆：茨城県石岡市鹿の子C遺跡出土漆紙文書、⑫延暦22年(803)曆：岩手県水沢市胆沢城跡出土漆紙文書、⑬延暦23年(804)曆：岩手県水沢市胆沢城跡出土漆紙文書、⑭延暦23年(804)曆：山形県米沢市大浦B遺跡出土漆紙文書、⑮弘仁12年(821)曆：宮城県多賀城市多賀城跡出土漆紙文書、⑯承和15年(嘉祥元年848)曆：岩手県奥州市胆沢城跡出土漆紙文書、⑰年不詳大衍曆(763以降)：茨城県石岡市鹿の子遺跡e地区出土漆紙文書、⑱年不詳大衍曆(763以降)：埼玉県所沢市東の上遺跡出土漆紙文書、⑲年不詳大衍曆(763以降)：栃木県上三川町磯岡遺跡出土漆紙文書、など、木簡や漆紙文書、あるいは正倉院に伝存する形などで、これまでに本例を

除いて全国で19例ほどが存在しているが(佐藤2002)、この点でも県内でははじめての出土である。ちなみに漆紙文書として出土した具注暦は、本例以外に14例ということになる。

古代、暦は支配のシンボルであり、空間のみならず時間をも支配する天皇の権威の象徴であった。陰陽寮には暦博士という官職がおかれ、暦博士が中心となって毎年の造暦が行われたのである。雑令造籍条には、毎年11月1日に陰陽寮が作成した翌年の暦を、上級官司である中務省に送り、中務省が天皇に奏進して裁可を得、この天皇に直接見せて決裁を受けた暦を特別に「御暦」と称して、すべての暦の原本とし、書写されたものが前年の内に各主要官司に1巻ずつ支給された。『延喜式』中務省陰陽寮造暦条には、天皇に奏進する御暦は、正月から6月までを上巻、7月から12月までを下巻とする2巻構成で作成され、各主要官司に配布される暦は合計で166巻であると規定している(三上2001、佐藤2002、大日方2005)。それら御暦の写しとして中央政府から主要官司に配布された暦をもとに、さらに下位の官司では必要に応じて書写を繰り返すのであるから、原本たる御暦の写しを含めて、大量の暦が短期間のうちに各地で書き写されたわけである。故に、具注暦には必ずと言って良いほど誤写がある。

地方には各国の国府に1本だけが配給され、国内の各官司や各郡などでは、国府にもたらされた暦をそれぞれ書写して配備したのであった(三上2001、佐藤2002、大日方2005)。この具注暦も、そのようにして中央から国府に頒布された御暦の写しを、さらに国府内の下部組織や郡家など地方官司で書き写されたもののうちの一つであろう。

暦は、奈良時代後半の天平宝字7年(763)に儀鳳暦から大衍暦に変更されるのであるが(『続日本紀』天平宝字7年8月戊子条)、本資料には、大衍暦に特有な「大歳前」という用語がみえることから、この具注暦は天平宝字7年以降に採用された大衍暦であることが判明する。

大衍暦は、中国・唐代の僧・一行(大慧禪師、683～727)が、時の玄宗皇帝の勅令を受けて編纂した暦法で、一行らは南は交州から北は鉄勒に至る子午線測量を行い、さらに中国全土に及ぶ大規模な天文観測を行って造暦し、中国では玄宗の開元17年(729)から肅宗の上元2年

(761)まで33年間使用された。日本には、天平7年(735)帰国の遣唐使に伴って吉備真備が唐から持ち帰り、天平宝字7年(763)から貞観3年(861)の98年間使用された。

その年を上限として、暦の廃棄後、紙の裏面が転用され、さらに漆の蓋紙となり、この竪穴建物跡に廃棄されるまでの年代幅が、ほぼ、この竪穴建物跡と、そこから出土した遺物の年代の範囲ということになる。

下限の年代を明確にするには、まだ、伴出遺物それぞれの細かな検討や、土器そのものの形から類推できる年代の検討が必要であろうが、それにしても天平宝字7年(763)以降という、上限の年代を押さえられるだけでも、今後、漆紙文書が付着していた土器や、同じ竪穴建物跡から出土した他の土器の年代観との比較で、この地域における土器の年代を確定していく上で有効な資料となるであろう。

また、本文書が、紙が2つ折りされた状態で蓋紙に使用されている点も、これまでの漆紙文書の類例の中では稀有な例であり、その点においても資料的な価値が高い。

おわりに

群馬県内では、これらの他に、文字が全く判読できないばかりか、墨痕の存在すら現状では認めにくい漆紙の出土例として、太田市東今泉町鹿島浦遺跡(当事業団調査、2点、群馬県埋蔵文化財調査事業団2007)、太田市藪塚六地藏遺跡(藪塚本町教育委員会調査、藪塚本町教育委員会1984)、太田市新田中江田原遺跡(新田町教育委員会調査、新田町教育委員会1997)、前橋市粕川宇通廃寺(粕川村教育委員会調査)、藤岡市上栗須上栗須寺前遺跡(当事業団調査、群馬県埋蔵文化財調査事業団1993～96)、吉井町多胡蛇黒遺跡(当事業団調査、群馬県埋蔵文化財調査事業団1993)など6例がある。前述したように矢部遺跡でも、具注暦1点のほかに、墨痕を見出すことが出来ない漆紙が1点出土している。

当時、紙が極めて貴重であったことから考えれば、これらのような例が、全く文字を記していない白紙を漆液容器の蓋紙として用いたとは考えにくい。もともと存在した文字が、紙面の風化や剥落によって全く滅失してしまったものとみなければならない。

ちなみに、正倉院文書中の天平宝字4年(760)12月30日付の、法華寺阿弥陀浄土院金堂の造営にかかわる「造金

堂所解」(『大日本古文書』16-301)には、

(前略)

「三 式 六 五七 五十六」

三貫九百七十文買凡紙六千九百四張

「三 四 五十六」^{八十一文女別三張}

二貫八百七十四文買凡紙五千八百廿九張直^{二貫七百九十三文別二張}

六百二文買麻紙八十六張直^{張別七文}

四百九十四文買古紙九百八十九張直^{文別二張}

(後略)

とあり、「凡紙」・「麻紙」・「古紙」を役所で購入した際の値段が記入されている(平川1985)。

そこから一枚あたりの単価を換算してみると、「凡紙」(普通紙)が「張別」(一枚あたり)0.6ないし0.5文。「麻紙」(高級紙)が「張別」7文。「古紙」(反故紙)が「張別」0.5文となる(平川1985)。この史料によれば、反故紙と普通紙とがほぼ同等の値ということになり、そこに若干の疑問点がないでもない。反故紙には高級紙も含まれることがあるからなのだろうか。

それにしても、当時、白米1升が5文ないし6文。雇夫の功銭は、1日につき10ないし14文であるところからみれば、紙がいかに貴重品であったかがわかるというものである。

群馬県内出土の古代の漆紙文書は、まだ上記の6例に過ぎないが、文字の確認できない漆紙の出土例を含めれば12例となり、栃木県の9例、茨城県の5例、埼玉県・東京都の各4例、千葉県の3例、神奈川県1例を上回り、関東地方最多の出土件数である(奈良文化財研究所飛鳥資料館2006)。ただ、茨城県では鹿の子遺跡や栃木県の下野国府跡などでは、検田帳や田籍帳など紙量も大きく豊富な内容を有する漆紙文書が多数出土しており、記載内容の面からみれば、貧弱な観は否めない。

しかしながら、文書・帳簿・記録類、具注暦と内容は多岐にわたっており、近年出土した太田市東今泉鹿島遺跡出土の資料のように「解文」と明記する公式令で規定する公文書書式に則り、あたかも正倉院に伝存する月借錢解に類するような内容が想定できるなど、内容的にも他に類例が無い資料が存在している。また、ここ数年の間に、文字を確認することが出来ない漆紙を含めて資料の出土が相次いでいることもあって、とりあえず現時点における漆紙文書の事例について、早急に類例を整理して

おくことの必要性を感じ、本稿を纏めた次第である。

漆紙文書は、土中から出土する場合に、一見するとそれとは考えにくい形状を呈しており、常にこの種の資料が出土する可能性を考慮し、注意を払いながら作業を進める必要がある。そのような意味では、見落としてしまったり、あるいは破壊してしまったりし易い遺物である。もし、調査の過程においてそれと気づいていれば、自ずと出土遺構や関連する遺構の調査に注意が払われようし、また、漆紙文書に基づいて、遺跡の性格や歴史的意義を推測しながら調査を進めることが可能になり、それだけに遺跡調査の方向を左右しかねない重要な出土遺物と言うことが出来る。本稿が、そうした漆紙資料のさらなる発見や確認に寄与するところがあれば、これに勝る幸いはない。

なお、本稿をまとめるにあたって、釈文の点で平川南(国立歴史民俗博物館長)、加藤友康(東京大学史料編纂所教授)、佐藤信(東京大学大学院人文社会系研究科教授・当事業団理事)各氏に貴重なご教示とご助言をいただいた。記して深甚なる謝意を表する次第である。ただ、釈文・解釈・考察共に、本稿で示した内容に関する全責任が筆者に帰するものであることは言うまでもない。

引用参考文献

- 井川達雄・高島英之1990「下小鳥遺跡出土の漆紙文書」『群馬文化』225
 大日向克己2005「暦と生活」平川南・沖森卓也・栄原永遠男・山中章編『文字と古代日本』4-神仏と文字吉川弘文館
 岡田芳朗1981「奈良時代の頒暦について」日本史研究会編『日本史論攷』
 市大樹2004「明日香村石上遺跡最古の暦」『考古学ジャーナル』513
 群馬県埋蔵文化財調査事業団1989『上植木光仙房遺跡』
 群馬県埋蔵文化財調査事業団1991『下小鳥遺跡』
 群馬県埋蔵文化財調査事業団1996『大八木屋敷遺跡』
 群馬県埋蔵文化財調査事業団2002『上福島尾柄町遺跡』
 群馬県埋蔵文化財調査事業団2003『福島曲戸遺跡・上福島遺跡』
 群馬県埋蔵文化財調査事業団1999『年報』18
 群馬県埋蔵文化財調査事業団2000『年報』19
 群馬県埋蔵文化財調査事業団2001『年報』20
 群馬県埋蔵文化財調査事業団2005a『年報』24
 群馬県埋蔵文化財調査事業団2005b『石原東遺跡D区・諏訪ノ木V遺跡』
 群馬県埋蔵文化財調査事業団2006『年報』25
 群馬県埋蔵文化財調査事業団2007a『上大塚遺跡・鮎川藤ノ木遺跡』
 群馬県埋蔵文化財調査事業団2007b『東今泉鹿島遺跡』
 小成田涼子2000「地中に眠っていた古代の文字―福島飯塚遺跡で発見された墨書土器と漆紙文書―」『遺跡に学ぶ』15 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
 佐藤信2002「出土した暦」『出土史料の古代史』東京大学出版会
 佐藤信2006「古代の暦から人々の暮らしをよみ解く」『平成17年度文化財

第V章 総括

- 講演会資料』太田市教育委員会
高島英之1991「下小鳥遺跡出土の漆紙文書について」
『下小鳥遺跡』群馬県埋蔵文化財調査事業団
高島英之1993「多胡蛇黒遺跡出土の墨書土器と漆紙」『多胡蛇黒遺跡』群馬県埋蔵文化財調査事業団
高島英之・宮瀧交二2002「群馬県出土の刻書紡錘車についての基礎的研究」『群馬県立歴史博物館紀要』23、のち、高島英之2006『古代東国地域史と出土文字資料』東京堂出版に補筆収録。
高島英之2003「柵列で囲まれた古代の遺構及び出土文字資料について」『一万田遺跡』玉村町教育委員会
高島英之2004「群馬県多野郡吉井町大字神保字北高原出土の刻書紡錘車について」『群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要』22
高島英之2005「石原東遺跡D区・諏訪ノ木V遺跡出土の墨書・刻書土器について」『石原東遺跡D区・諏訪ノ木V遺跡』群馬県埋蔵文化財調査事業団
高島英之2006a「矢部遺跡で見つかった奈良時代のカレンダー」『埋文群馬』45 群馬県埋蔵文化財調査事業団
高島英之2006b「太田市矢部遺跡出土の漆紙文書」『平成17年度文化財講演会資料』太田市教育委員会
高島英之2006c「太田市只上町矢部遺跡」『平成18年度調査遺跡発表会資料』群馬県埋蔵文化財調査事業団
高島英之2006d「太田市東部の東山道駅路と漆紙文書について」『平成18年度公開シンポジウム 解明進む両毛の奈良・平安時代』足利市教育委員会
高島英之2007a「上大塚遺跡出土の漆紙文書について」『上大塚遺跡・鮎川藤ノ木遺跡』群馬県埋蔵文化財調査事業団
高島英之2007b「東今泉鹿島遺跡出土文字資料について」『東今泉鹿島遺跡』群馬県埋蔵文化財調査事業団
玉村町教育委員会2003『一万田遺跡』
東野治之1983「具注暦と木簡」『日本古代木簡の研究』塙書房
中里正憲2000「群馬県砂町遺跡の古代道路遺構」『古代交通研究』9 古代交通研究会・八木書店
中村順昭1992「奉写一切経所の月借錢について」『日本歴史』526
奈良文化財研究所飛鳥資料館2006『うずもれた古文書—みやこの漆紙文書の世界—』
奈良文化財研究所2005『平城京漆紙文書』1 東京大学出版会
三上喜孝2001「古代社会における暦—その受容と活用をめぐって—」『日本歴史』633
平川南・天野努・黒田正典1989「古代集落と墨書土器」『国立歴史民俗博物館研究報告』22、のち平川南2000『墨書土器の研究』吉川弘文館に補筆収録。
平川南1985「漆紙文書に関する基礎的研究」『国立歴史民俗博物館研究報告』6、のち平川南1989『漆紙文書の研究』吉川弘文館に補筆収録。
平川南1994『よみがえる古代文書—漆に封じ込められた日本社会—』岩波新書
吉川敏子「借金証文」平川南・沖森卓也・栄原永遠男・山中章編『文字と古代日本』3 流通と文字吉川弘文館

积文1 高崎市下小鳥遺跡出土漆紙文書

・第一面

(欠損) [] 敵満呂□ (欠損)

(欠損) [] (欠損)

・第二面

(欠損) 田哉 (欠損)

积文2 玉村町福島曲戸遺跡出土漆紙文書

・表

(欠損) □ □ (欠損)

积文3 玉村町福島飯塚遺跡出土漆紙文書

・表

(巳カ)

(欠損) □ □ (欠損)

积文4 藤岡市上大塚南原遺跡出土漆紙文書

・表

「

□

□ □

〔女カ〕

□ □ □

(欠 失)

」

釈文5 太田市東今泉鹿島遺跡出土漆紙文書

・表 (欠損) 解 申 (欠損)
 (欠損) 米_カ壹斗 (欠損)
 (欠損) 右件物依本 (欠損)
 (欠損) □器所以旬 (欠損)

・裏 (欠損) 「御 許」 (欠損)

『了』 (欠損)

* 表面復元案

謹解 申請 (借) 事

米_カ壹斗

右件物依本利共

雑器所以旬日

.

.

乃録状以解

年 月 日 氏 姓 名

* 復元案読み下し

謹んで解し申す 請う (借りる) の事。

米_カ壹斗

右件の物、本利共に

雑器所に旬日を以て

.

.

乃って状に録して以て解す。

年 月 日 氏 姓 名

* 復元案解釈

謹んでお願い申し上げます。(左の物を) お借りすることについて。

米_カ壹斗。

右の物を、元手と利息の割合いくらで、お借りしたく....

雑器所 (役所の中で宴会・給食用の食器を管理する部署) に、10日を限度に.....

.

.

よって、本書に記した通りをお願い申し上げます。

* ゴチック体で表記した箇所が、現存する文字

第3節 道路遺構について

はじめに

矢部遺跡1区から、道路遺構が検出されている。両側に側溝を持つ直線道路で、幅は心々間の距離で平均約10mと大規模である。この地域では北関東自動車道関連の調査で、八ヶ入、大道西、大道東、鹿島浦の各遺跡から、幅約13mの両側に側溝をもつ古代の大規模直線道路が検出されており、東山道駅路と推定されている。まずこの大規模道路遺構、特に大道東検出のものとの比較から考察したい。

1. 道路遺構の概要

八ヶ入～鹿島浦検出の道路遺構は、矢部遺跡検出の道路遺構の南約500m南を西北西から東南東方向に走っている。走向はN-81～85°-Wである。幅は側溝の心々間距離で13～14mとなっている。矢部遺跡のものは走向N-83°-E、幅は側溝の心々間距離で10mとやや狭くなっている。

側溝の掘り方は、八ヶ入～鹿島浦検出のものは、側溝が整然と掘られているわけではなく、深い部分と浅い部分が交互に続く状況で、途切れているところもある。大道東遺跡調査分で見ると、長さ8～36m程度の細長い土坑状の掘り込みが連続している掘り方となっている。矢部遺跡検出のものも、深い部分と浅い部分が交互に続く状況で、8～23m程度の細長い土坑状の掘り込みが連続している。

すなわち、矢部遺跡の道路遺構は、八ヶ入～鹿島浦検出の推定東山道駅路と比べ、規模はやや小さいが、掘り方はきわめて類似していると言える。

2. 上野国の東山道駅路

上野国の東山道駅路には、「国府ルート」「牛堀・矢ノ原ルート」「下新田ルート」の3ルートが推定されているが、「牛堀・矢ノ原ルート」と「下新田ルート」は、発掘調査により発見されたルートで、いずれも当遺跡のある太田市で発掘調査されている。「牛堀・矢ノ原ルート」は高崎市宿大類町から、太田市新田町まで約30kmにわたって確認されている。溝心々幅約13mで、太田市・伊勢崎

市付近の走向はN-83°-Eである。時期は、道路遺構と重複する遺構との関係や、上限を示すと考えられる出土遺物から、7世紀後半代には建設されており、8世紀後半ですでに廃絶されているとされている。「下新田ルート」は太田市旧新田町下新田遺跡で検出されたルートで、「牛堀・矢ノ原ルート」の北500mの場所に位置している。溝心々幅約12mで走向はN-80°-Eである。1108年降下の浅間B軽石より下層で確認され、8世紀から9世紀にかけての遺物が出土しているため、「牛堀・矢ノ原ルート」よりも新しくなると考えられている。

八ヶ入～鹿島浦検出の道路遺構は、大道東遺跡の調査成果により、時期は7世紀第3四半期～8世紀第1四半期と推定されるため、規模や時期は「牛堀・矢ノ原ルート」に近いといえる。走向はいずれのルートとも一致しないが、間に金山丘陵が存在するため、ここで走向が変わったと考えることはできる。八ヶ入～鹿島浦検出の道路遺構検出の道路遺構は東山道駅路「牛堀・矢ノ原ルート」の可能性が最も高いといえよう。

3. 「下新田ルート」と矢部遺跡の道路遺構

矢部遺跡の道路遺構は、両側に側溝を持つ大規模直線道路で、「牛堀・矢ノ原ルート」「下新田ルート」との類似性が高いため、駅路級の道路であったと考えられる。すなわち上記2ルートのどちらかに続いている可能性があると思われる。しかしながら、八ヶ入～鹿島浦検出の道路遺構が矢部遺跡の道路遺構の南約500mを走っているため、八ヶ入～鹿島浦検出の道路遺構が「牛堀・矢ノ原ルート」に続くとするならば、矢部遺跡の道路遺構は「下新田ルート」に続くということになる。

では、本当に「下新田ルート」に続くかどうか「下新田ルート」の代表的な遺跡である、下新田遺跡^{註1}と天良七堂遺跡^{註2}との比較を中心に検討したい。

規模は、下新田遺跡が側溝の心々間距離で約12mである。天良七堂遺跡は北側しか側溝が検出されていないため幅は不明であるが、矢部遺跡は下新田遺跡遺跡と比べ、やや狭い程度である。側溝の幅は、下新田遺跡が最大3.34mであるのに対し、矢部遺跡は最大でも1.98mと2/3以下である。

掘り方については、下新田遺跡、天良七堂遺跡とも、比較的整然と掘られており、特に下新田遺跡は側溝の断

面もきれいな台形となっているところが多く、矢部遺跡とは異なった状況である。

走向は、矢部遺跡が $N-83^{\circ}-E$ であるのに対し、下新田遺跡は $N-80^{\circ}-E$ 、天良七堂遺跡も $N-85^{\circ}-E$ とみられるため、いずれもきわめて近い数値であり、ほぼ同方向とすることができる。さらに、下新田遺跡、天良七堂遺跡、矢部遺跡を地図上に落として線でつないだものが、第446図である。図を見ると、3遺跡がほぼ直線でつながるのがわかる。詳細にみると、下新田遺跡と天良七堂遺跡のラインは $N-84^{\circ}-E$ 、天良七堂遺跡と矢部遺跡のラインは $N-83^{\circ}-E$ と、約 1° の微妙な差はあるが、距離を考えるならばきわめて直線に近いとすることができる。すなわち、矢部遺跡の道路遺構が下新田ルートにつながる可能性がかなり高いということができよう。

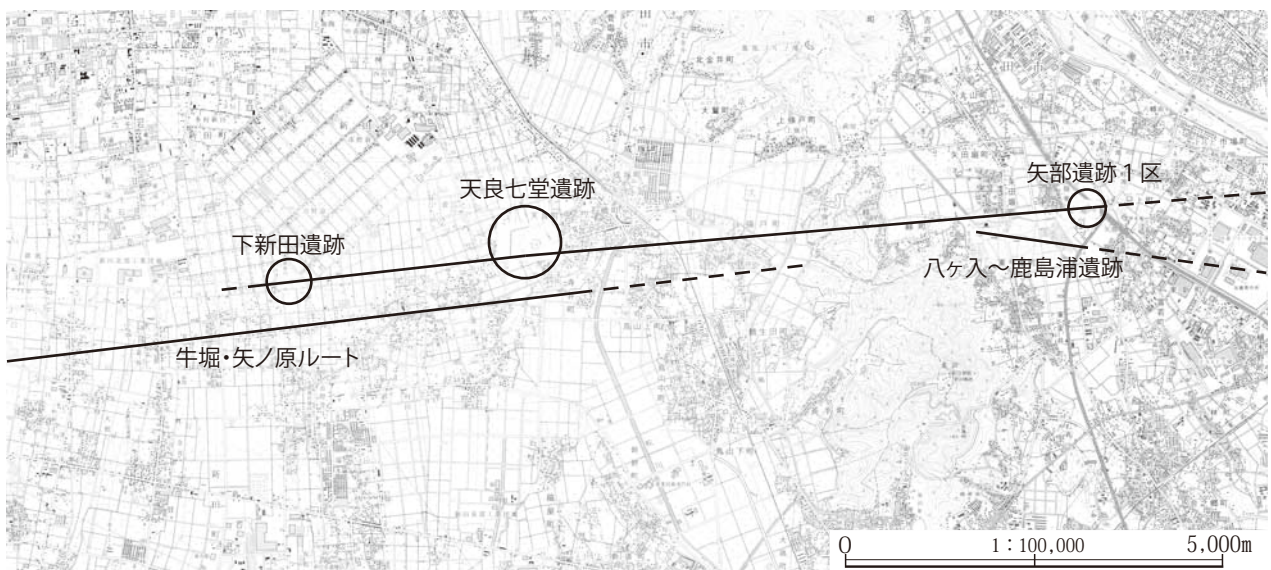
4. 「牛堀・矢ノ原ルート」と「下新田ルート」

矢部遺跡の道路遺構が下新田ルートに続くとするならば、八ヶ入～鹿島浦検出の道路遺構は牛堀・矢ノ原ルートということになるが、大道東遺跡の検討により、この道路は8世紀第2四半世紀までに廃絶されたことが判明している。『延喜式』にみられるように、東山道駅路がその後も存在したことは間違いないと考えられるため、別の場所に建設されているはずである。最も単純に考えるならば、下新田ルートに移動したということである。残念ながら、矢部遺跡の道路遺構からは、時期を推定できる遺物は出土しておらず、竪穴住居との重複もないため、

道路遺構自体から時期を推定することはできない。ただ、矢部遺跡から約2km東にある古氷条里制水田跡で、条里地割ののった水田が検出されており、畦畔の走向が $N-80^{\circ}-E$ となっている^{注3}。古氷条里制水田跡は天良七堂遺跡と矢部遺跡を結ぶラインの北側に位置しているが、そのラインの $N-83^{\circ}-E$ に近い値となっている。前橋台地南部検出の水田に見られるように、条里地割の場合、畦畔の方向は東西南北方向である場合が多い^{注4}。これが振れているということは、他の要因に規制されている可能性が高く、それが下新田ルートであることが想定されるのである。牛堀・矢ノ原ルートに推定される八ヶ入～鹿島浦検出の道路遺構は、走向が $N-98^{\circ}-E$ で条里地割とずれるため、これを基準として条里を作った可能性は低いと考えられる。つまり、古氷条里制水田跡の条里地割は、下新田ルートの建設後に、それを基準として開削されたと想定できる。水田の開削時期は、耕作土出土遺物や隣接する二の宮遺跡の集落の時期等から、奈良時代後半から平安時代前半と考えられている。よって下新田ルートの建設は、それ以前とすることができ、牛堀・矢ノ原ルートの廃絶に近い時期となる可能性が出てきたといえる。

注

- 1 新田町教育委員会1992『下新田遺跡』
- 2 太田市教育委員会2009『史跡上野国新田郡庁跡』現地説明会資料
- 3 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2009『古氷条里制水田跡・二の宮遺跡』
- 4 新井 仁 2001「群馬県における平安時代の水田開発について—前橋台地南部を中心とした試論—」『研究紀要』19 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団



第446図 下新田ルート推定図(国土地理院 1 : 25,000地形図「上野境」「足利南部」を縮小して使用)

第4節 まとめ

矢部遺跡では、旧石器時代から中近世まで、各時代の遺構・遺物が断続的に検出されているが、最も居住活動が盛んで遺構数の多い、古墳平安時代について若干の考察を加えてまとめとしたい。

古墳平安時代は、竪穴住居、溝、土坑、畠、道路遺構等が検出されている。ここでは竪穴住居と溝について考察したい。なお、竪穴住居の時期は出土遺物の器形等から判断したもので、共伴関係等の詳細な検討は行っていないため、四半世紀単位の区分まではできず、四半世紀を2期続けた区分とした。また、出土遺物の少ないものは、世紀単位までしか判明しないものもある。

①竪穴住居

竪穴住居は、南西部の1区と中部から北東部にかけての4～7区で計70軒検出されている。区別にみると、1区で7軒、4区で1軒、5区で14軒、6区で42軒、7区で6軒である。時期は7世紀前半から10世紀後半までであり、世紀ごとにみると、7世紀代が23軒、8世紀代が24軒とほぼ同数で、9世紀代は16軒とやや少ないがあまり変わらないのに対し、10世紀代は極端に少なく2軒だけである。では、竪穴住居の諸要素について時期別にみることにする。

規模・平面形態

規模を比較するために、時期別の床面積の平均をみることにする。全体の平均は14.42㎡であるが、7世紀代は平均21.44㎡、8世紀代が11.51㎡、9世紀代が平均10.25㎡、10世紀代は2軒で誤差が大きいが、7.32㎡となっている。7世紀代と8世紀代で大きく違っており、8世紀代と9世紀代はあまり変わっていない。細かい時期区分でみると、7世紀代は第1～2、第2～3、第3～4、第4～8世紀第1の順に、24.22、20.56、8.83、28.15で、2軒しかない第3～4を除くと、あまり変化がなく、7世紀中に小さくなる傾向はない。8世紀代は、同様に、8.68、15.16、10.96、11.07であり、第12と第4～9世紀第1は2軒および1軒と少なく誤差が大きいが、8世紀に入ったところで規模が縮小していることができる。9世紀代は第2～3、第3～4ともほとんど変化がない。10世紀代は2軒のみであるが、9世紀代よりも小さく、この時期にさらに縮小する可能性も

ある。

平面形態を比較するのに、住居の縦横比(長辺/短辺)の変化を見ることにする。全体では1.19であるが、世紀単位でみると、7世紀代が1.08、8世紀代が1.22、9世紀代が1.28、10世紀代が1.22である。7世紀と8世紀の間の変化がやや大きくなっており、8世紀10世紀はあまり変化がないように見える。

細かい時期区分でみても、7世紀代は世紀を通してほとんど変化せず、8世紀になると長方形になっていく傾向がでてくる。すなわち、竪穴住居の規模・平面形態は、いずれも7世紀と8世紀の間で大きな変化が現れることが認められ、この時期に住居の構造に変化があった可能性を示していると思われる。

カマド位置

カマド位置は、(カマドが複数あるものもあるが、それぞれ1基と数える)7世紀代は、北壁が13基(54.2%)、東壁が9基(37.5%)、西壁が1基(4.2%)、南壁が0で、8世紀代は、北壁が11基(45.8%)、東壁が11基(45.8%)、西壁が1基(4.2%)、9世紀代は、北壁が5基(31.3%)、東壁が11基(68.8%)、西壁が0、南壁が1基(6%)となっている。10世紀は東壁が1基である。7世紀代は北壁が最も多く、東壁がこれに続くが、差は4基と少ない。8世紀代は北壁と東壁が同数となり、9世紀代になると、東壁が北壁の倍以上となっている。西壁、南壁のものは1軒ずつで、特異なものとする事ができる。このように、カマド位置は、時期が新しくなるとともに、北壁から東壁へ移って行くが、その変化はある一時期に急激に起こるものではなく、漸的なものであったことがわかる。ただ9世紀には7・8世紀よりも急な変化が起こっている。

貯蔵穴

貯蔵穴は、25軒の住居で確認されている。不明なものを除き、ないと確認された住居は34軒あるため、42.4%の住居にあることになる。世紀単位でみると、7世紀代が22軒中11基(50%)、8世紀代が19軒中6軒(31.6%)、9世紀代が、14軒中6軒(42.9%)となっており、7世紀代よりは8・9世紀代がやや少なくなっているが、大きく急激な変化ではなく、漸的なものである。

柱穴

柱穴は、10軒の住居に存在している。世紀単位でみる

と、7世紀代が8軒(33.3%)、8世紀代が4軒(16.7%)、9世紀代は1軒(6.3%)のみである。全体でも存在する住居が14%と少ないが、時期が下るごとに減少している。面積との関連をみると、7世紀代の住居の平均が26.28㎡であるが、柱穴の存在する住居は32.95㎡であるのに対し。存在しない住居は21.83㎡と差は明白であり、面積が縮小するにしたがい柱穴もなくなってくると言える。

以上のことから、矢部遺跡における住居の諸要素の時期による変化は、規模は縮小化へ、平面形態は正方形から長方形へ、カマド位置は北壁から東壁へ、貯蔵穴は減少、柱穴減少という流れとなっている。これは古墳時代後期平安時代の竪穴住居の一般的傾向に合致していると言える。しかし変化はすべて同様とは言えず、要素により違った傾向を示している。これを矢部遺跡の西方約900mにある大道東遺跡^{註1}と比較してみる。

大道東遺跡では、6世紀後半9世紀前半の竪穴住居300軒以上が検出されている。時期はやや古くなるが、重なる部分が多い。「大道東遺跡(2)」に3・4区の世紀単位の変化が示されている。それによると、床面積は、6世紀が23.3㎡、7世紀が15.2㎡、8世紀が15.4㎡、9世紀が10.7㎡となっており、新しくなるほど小さくなるが傾向にあるが、6世紀から7世紀に大きく変わっており、7・8世紀はあまり変わらず、9世紀にさらに小さくなっている。これは、矢部遺跡が、7世紀から8世紀に大きく変わり、10世紀にさらに小さくなるのと同様の傾向であるが、時期が1世紀早くなっている。

平面形態は、長辺/短辺でみると、6世紀が1.09、7世紀が1.16、8世紀が1.22、9世紀が1.31となり、1時期に大きく変わることなく漸的に変わっている。矢部遺跡では7世紀が正方形に近い1.08で、8世紀には大道東と同じ1.22となっているため、ここで大きく変わっている。

カマド位置は、6・7世紀は北壁が70%以上であるが、8世紀は53%、9世紀は30%と時期が下るにしたがい減少し、逆に東壁が増加している。これは矢部遺跡とほぼ同様である。

貯蔵穴の存在する住居は、6世紀が68%、7世紀が38%、8世紀が11%、9世紀が17%であり、8世紀代に減少し、9世紀にやや増加する矢部遺跡と同様の傾向にあ

る。ただ矢部遺跡の方が、存在する割合は全体的に高くなっている。

柱穴の存在する住居は、6世紀が81%、7世紀が58%、8世紀が22%、9世紀が0%であり、矢部遺跡同様、時期が下るほど減少しており、矢部遺跡よりさらに大幅に変化している。

以上のように、大道東遺跡の住居の時期的な変遷は、大きくみると矢部遺跡と同様の傾向にある。しかしながら、規模や平面形態では様相が異なっており、大道東遺跡が1世紀先行している。このことは、近接した集落でも、全く同じ変遷をたどるわけではなく、集落により微妙な差があることを示している。これは、大道東遺跡が、推定東山道駅路や金山丘陵沿いの窯跡に近接しているため、集落の性格も一般的な集落とやや異なっているためとも考えられる。

集落の様相

次に集落の様相をみてみたい。

まず各区の竪穴住居の時期をみると、1区は、不明の1軒を除いた6軒すべて8世紀代であり、特に8世紀後半が4軒で、この時期に集中している。4区は8世紀後半～9世紀前半のものが1軒、5区は、7世紀前半から8世紀後半の住居があり、軒数も7・8世紀でほぼ同数となっている。9世紀以降の住居はない。6区では7世紀前半から10世紀まで、すべての時期があり、7世紀代と9世紀代がほぼ同数で、8世紀代はやや少ないが、大きな差はない。特に7世紀中葉が8軒、9世紀後半が6軒と多くなっている。7区では、7世紀前半と9世紀中葉が2軒ずつで、8世紀代はない。

すなわち、矢部遺跡では、以下のように集落が変遷すると考えられる。7世紀前半に5・6・7区に集落が現れ、7世紀中葉になると6区の住居が増加し7区はなくなる。7世紀後半は、6区で大きく減少し、5区だけになる。7世紀末～8世紀初頭は、5区中心に6区にも再び出現する。8世紀前半になると、6区に1軒だけとなるが、新たに1区に1軒出現する。8世紀中葉は、1区1軒、5区2軒、6区4軒と6区が多くなる。8世紀後半は、1区4軒、5区4軒、6区1軒と、1区、4区が増加し、6区が減少する。8世紀末～9世紀初頭は、住居が減少し、6区の1軒だけになる。9世紀前半も少なく、6区の1軒だけである。9世紀中葉になると6区に

4軒と7区に再び2軒出現する。9世紀後半は6区に6軒集中し、他にはみられない。9世紀末10世紀初頭になると、6区の1軒だけになり、10世紀後半に6区に1軒あるだけで、これ以降は矢部遺跡から集落はなくなる。

②溝

溝は、86条検出されているが、ここでは、規模が大きく直線的に走っており、調査区外に続いている、3区2溝、5区6区3溝、6区58溝7区9溝、6区59溝7区8溝、6区61溝、7区1溝、7区3溝について検討したい。

規模は、最大幅が4.3～1.4m、深さが119～70cmといずれも大規模である。走向は、3区2溝がほぼ南北で、5区6区3溝がほぼ東西、他の溝はN-40°～60°-Wと西に振れている。矢部遺跡は北東から南西に向かい緩やかに傾斜しているが、底面の傾斜方向は、3区2溝が、北から南、5区6区3溝が西から東、他は北東方向から南西方向に傾斜しており、確認面と同方向であるが、7区1溝のみ南西から北東と、確認面の勾配と逆方向に傾斜している。

時期の判明する遺物が出土しているのは、5区・6区3号溝、6区61溝、7区1溝、7区3溝等であるが、溝の性格上、出土遺物とその遺構の時期を表しているとは限らず、詳細な時期は特定できない。しかしながら、ある程度大まかな時期は推定できると考えられる。それによれば、5区・6区3号溝は7世紀後半～8世紀後半、6区61溝は9世紀初頭10世紀前半、7区1溝は9世紀前半～9世紀後半、7区3号溝は9世紀後半代とすることができる。

この他に、6区58溝7区9溝、6区59溝7区8溝、7区1溝、7区3溝は、洪水起源と考えられる砂層で埋没しているが、埋没後数回再掘削されている。その埋土下層に、818（弘仁9）年地震に伴う斜面崩壊あるいは地すべりに伴う泥流堆積物と考えられるものが確認されている。とすると、最初の掘削時期がその少し前と考えられるため、9世紀初頭前後に掘削されたと想定できる。7区1溝、7区3溝では上層から9世紀後半代の遺物が出土しているため、少なくともこの時期までは溝が機能していた可能性が高い。

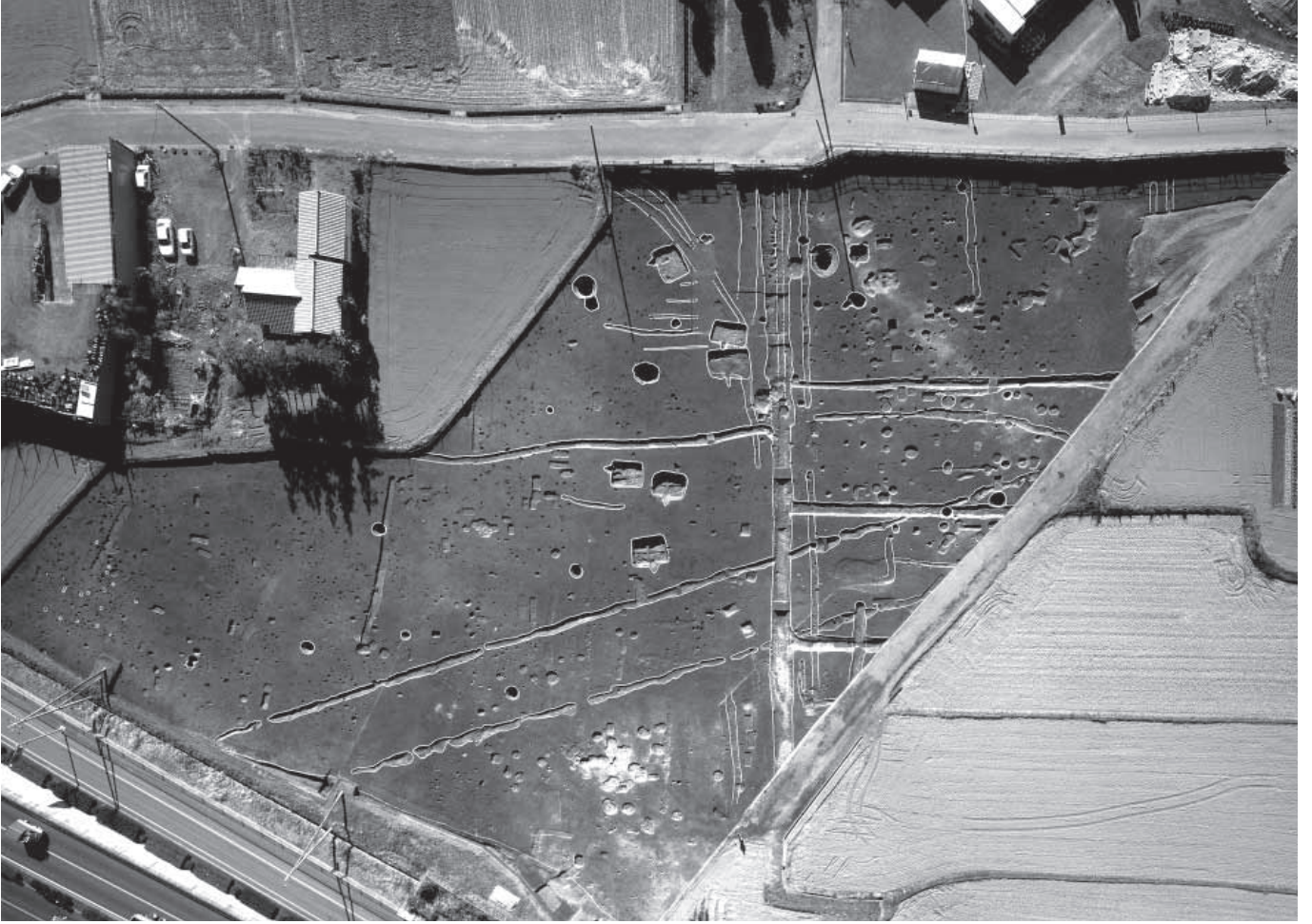
溝の機能としては、Ⅲ章で述べたように、これだけ大規模で直線的な溝であるため、水田耕作のための用水路が最も可能性が高いといえよう。6区58溝7区9溝、6

区59溝7区8溝、6区61溝、7区3溝は、調査区の南にある竜舞山前停車場線の矢部遺跡の調査区から、その続きと考えられる溝が検出されており^{注2}、さらに南に続くことが確認されている。3区2溝と5区6区3溝は、走向がそれぞれ南北・東西に近く、走向の差は91°で、ほぼ直角に交わる可能性が高い。東西南北を向く直線的な水路で想定されるのは、条里地割である。この遺跡にもとも近い条里地割が確認された遺跡は、矢部遺跡から約2km東にある古氷条里制水田跡で、浅間B軽石下の水田か検出されており、それか、条里地割にのっているとされている^{注3}。畦畔の走向は東西方向から北に10°程傾く、すなわちN-80°-Eとなり、5区6区3溝のN-87°-Eとは、7°ずれている。また、水田の開削時期は、耕作土出土遺物や隣接する二の宮遺跡の集落の時期等から、奈良時代後半から平安時代前半と考えられている。5区・6区3号溝は7世紀後半8世紀後半の遺物が出土しているため、水田開削時期と重なる部分もあるが、前述した矢部遺跡の大規模な溝の中では最も古くなり、新しい他の溝が条里にのっていないというやや理に合わないことにもなる。よって3区2溝、5区6区3溝を条里地割にのった水田用水路と断定することはできない。第V章第4節で述べたように、1区の道路遺構が、下新田ルートにつながる可能性が高く、下新田ルートが8世紀第2四半期までに廃絶した牛堀・矢ノ原ルートの後に建設された東山道駅路とするならば、矢部遺跡の大規模な溝のうち、9～10世紀遺物の出土しているものや、818年の洪水層を埋土に含むもの等は、道路とは走向がずれるが、道路建設後に新たに整備された用水路と想定することもできる。その場合、走向が東西南北に近い3区2溝、5区6区3溝は、出土遺物も7～8世紀のものが中心であるため、道路建設以前の用水路であるということも想定される。

注

- 1 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2010『大道東遺跡(2)』
- 2 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2006『矢部遺跡・新島遺跡』
- 3 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2009『古氷条里制水田跡・二の宮遺跡』

写真図版



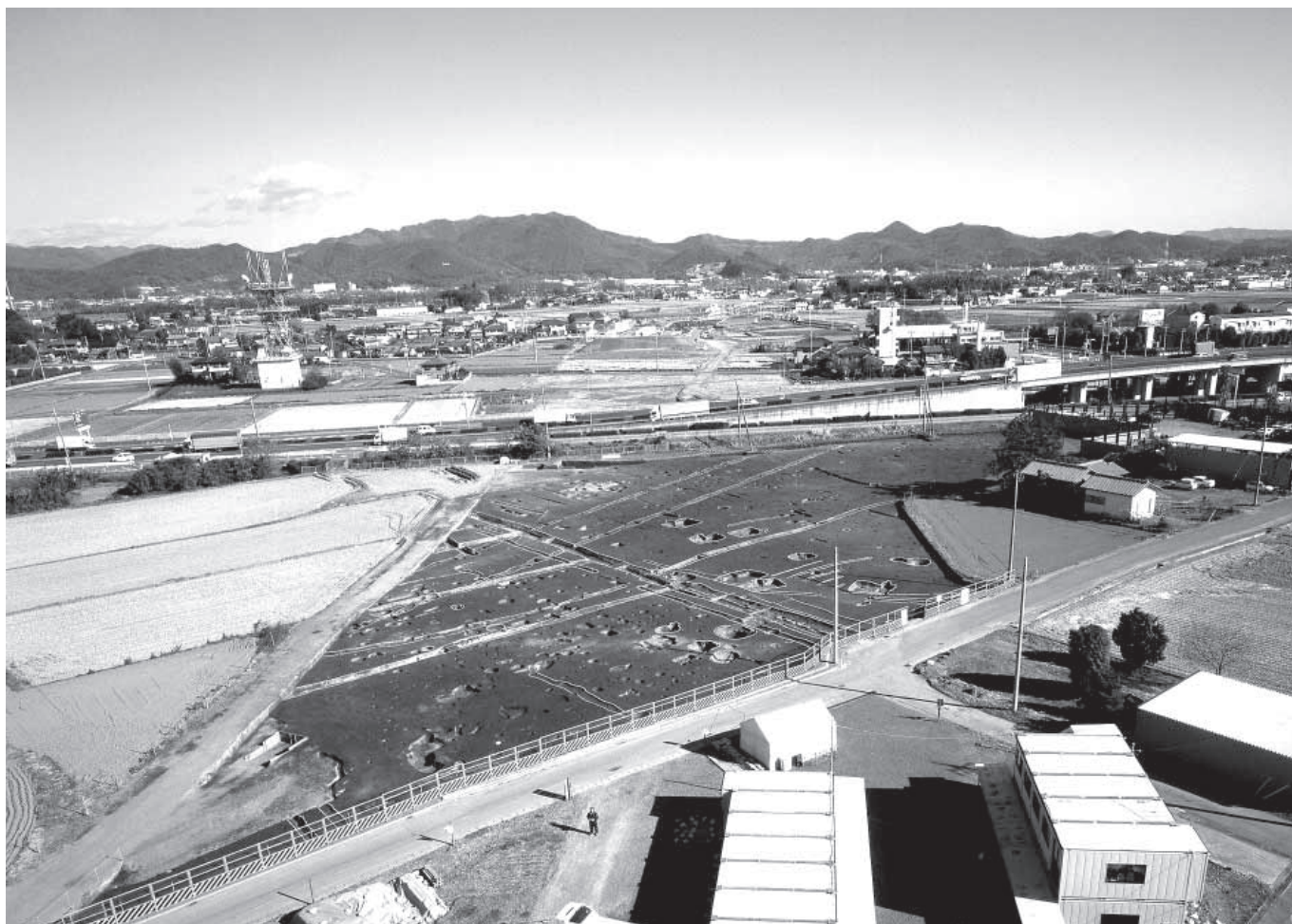
1. 1区全景(上空から)



2. 1区全景(南上空から)



1. 1区全景(西上空から)



2. 1区全景(南西上空から)



1. 2区全景(南から)



2. 2区近景(南西から)



1. 3区2面北側全景(南西から)



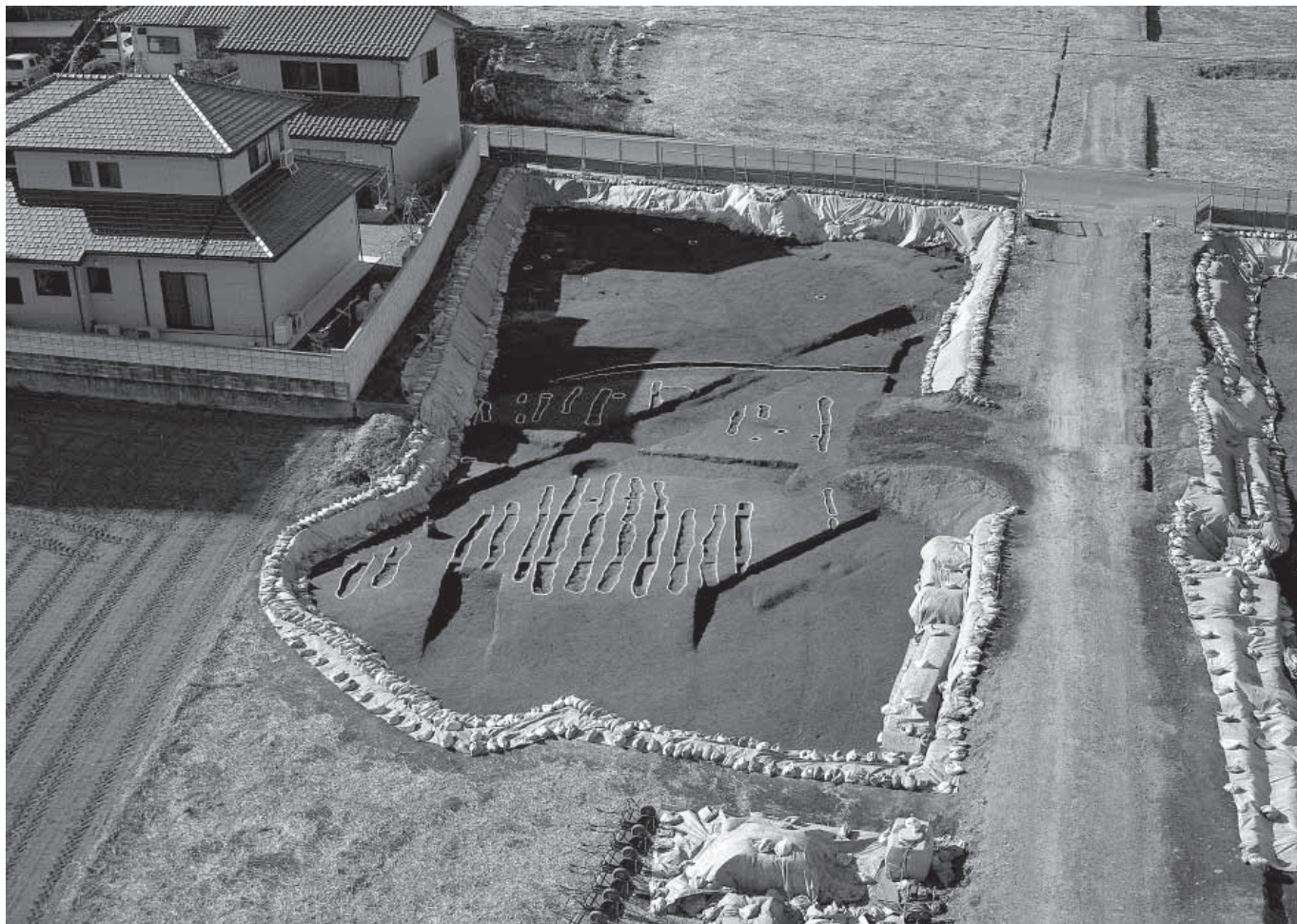
2. 3区2面南側全景(南西から)



1. 3区3面全景(東から)



2. 3区3面北側全景(東から)



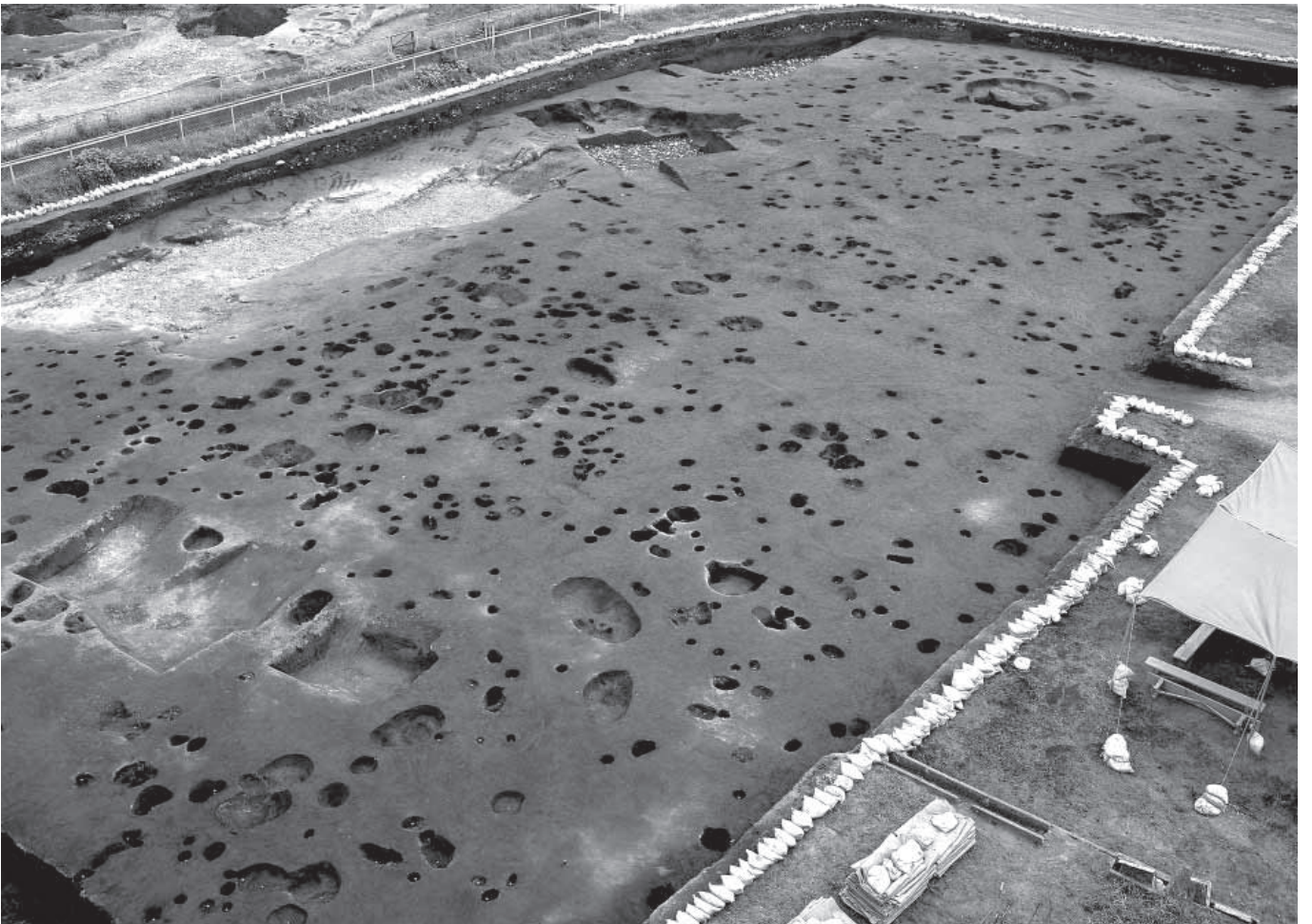
1. 3区3面南侧全景(東から)



2. 3区4面北侧全景(東から)



1. 4区全景(南東から)



2. 4区全景(北西から)



1. 5-1区全景(上空から)



2. 5-1区全景(南東上空から)



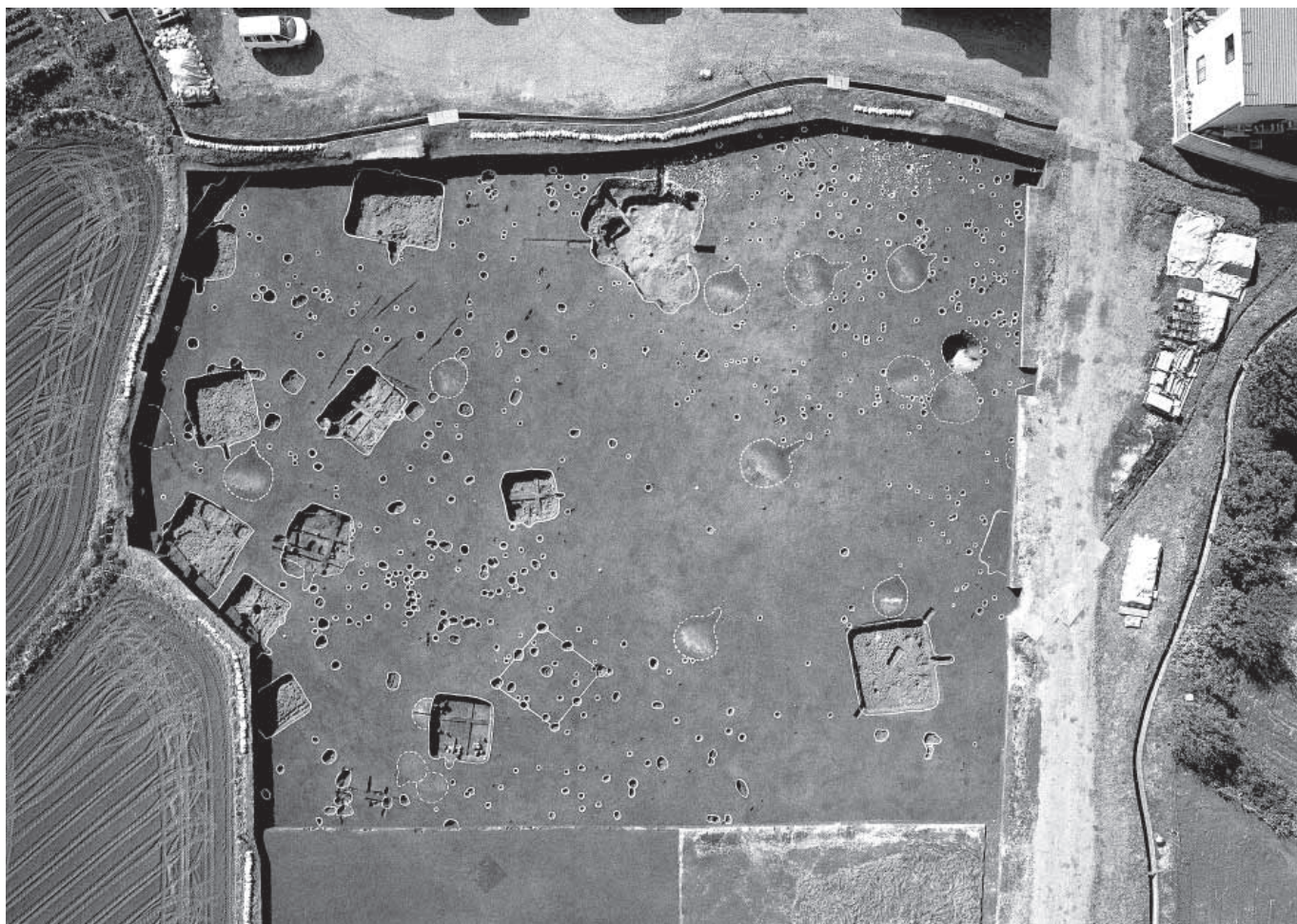
1. 5-1区全景(北東上空から)



2. 5区北側近景(北から)



1. 5区北側近景(北から)



2. 6-1区全景(上空から)



1. 6-2区全景(上空から)



2. 6-2区全景(東上空から)



1. 6-2区全景(西上空から)



2. 7区全景(上空から)



1. 7-2区全景(南上空から)



2. 7-2区全景(南から)



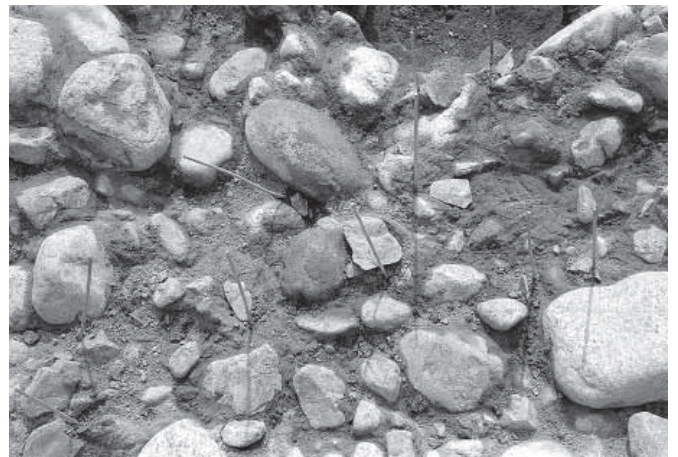
1. 6区旧石器試掘状況



2. 930-840Gr拡張部調査状況



3. 930-840Gr遺物出土状況遠景



4. 930-840Gr遺物出土状況南西部近景



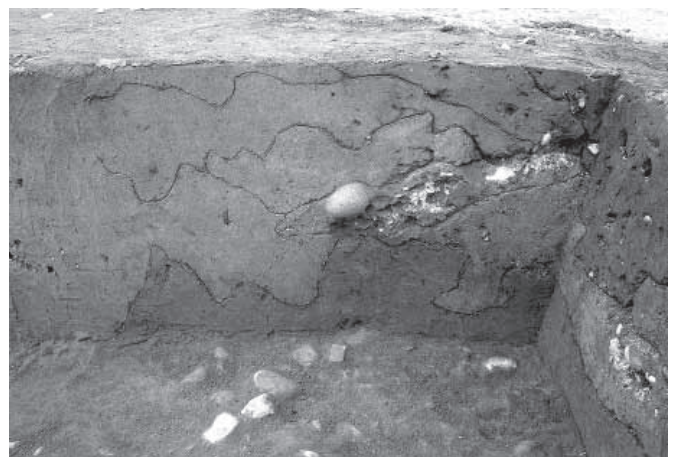
5. 930-840Gr遺物出土状況北西部近景



6. 930-840Gr遺物出土状況東部近景



7. 930-840Grトレンチ南壁セクション



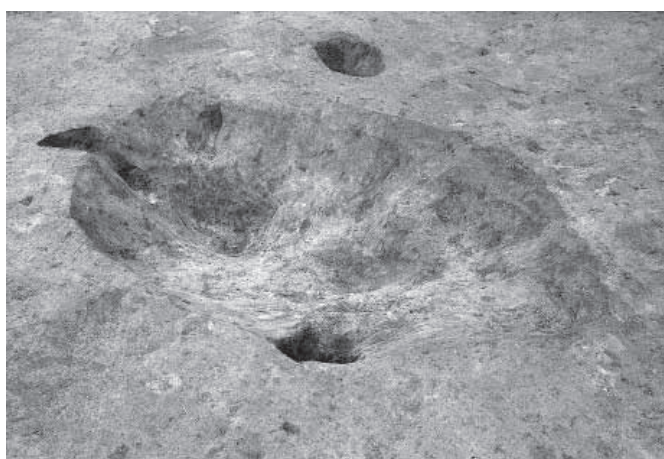
8. 930-840Grトレンチ西壁セクション



1. 6区2号円形周溝遺構全景(東から)



2. 6区3号円形周溝遺構全景(東から)



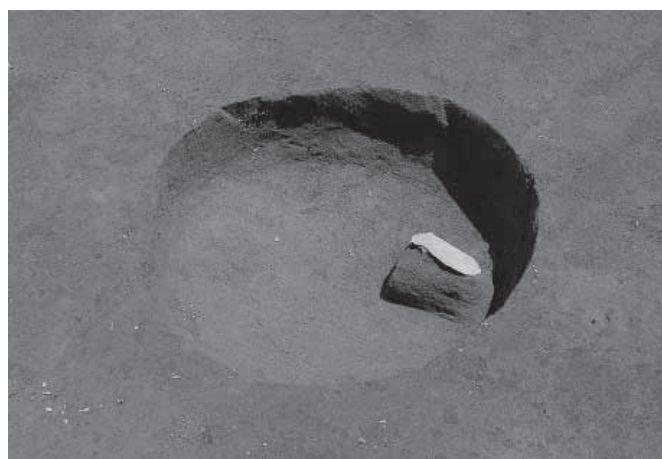
3. 2区26号土坑全景(北から)



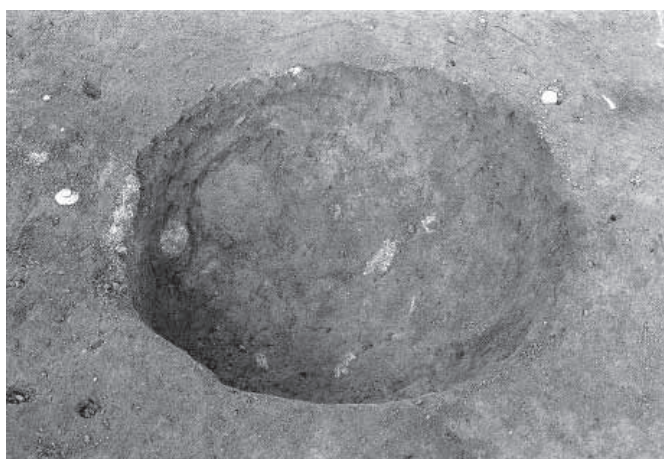
4. 2区42号土坑全景(北から)



5. 2区43号土坑全景(東から)



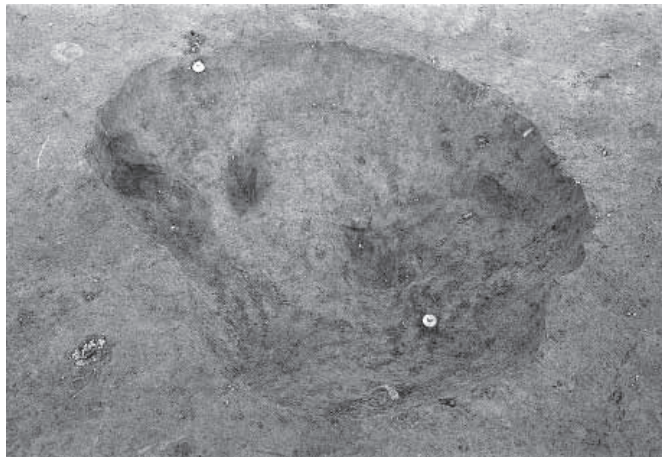
6. 5区44号土坑全景(西から)



7. 6区23号土坑全景(南から)



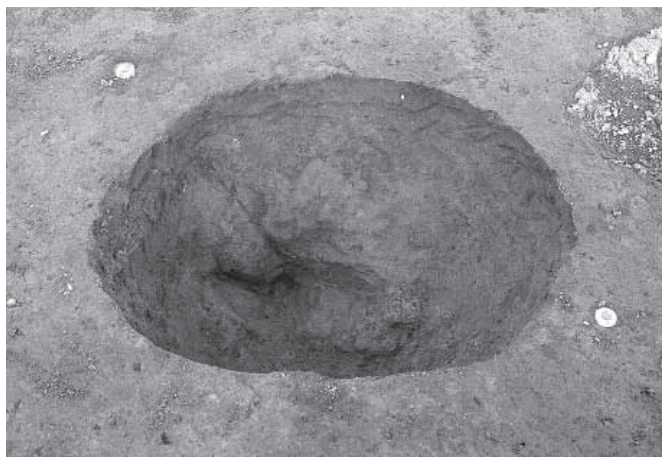
8. 6区31号土坑全景(南から)



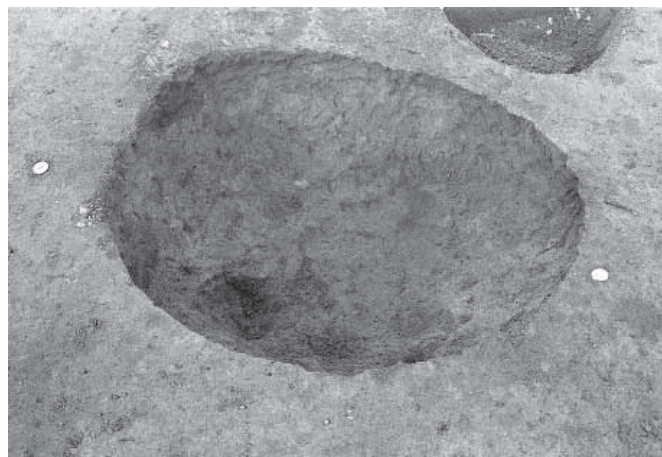
1. 6区32号土坑全景(南から)



2. 6区52号土坑全景(南から)



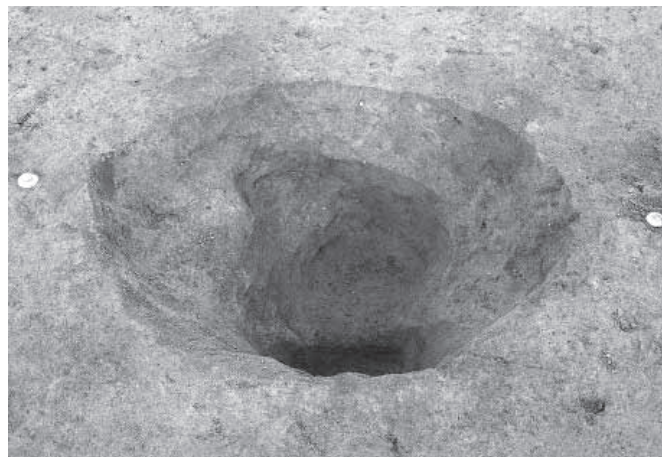
3. 6区53号土坑全景(南から)



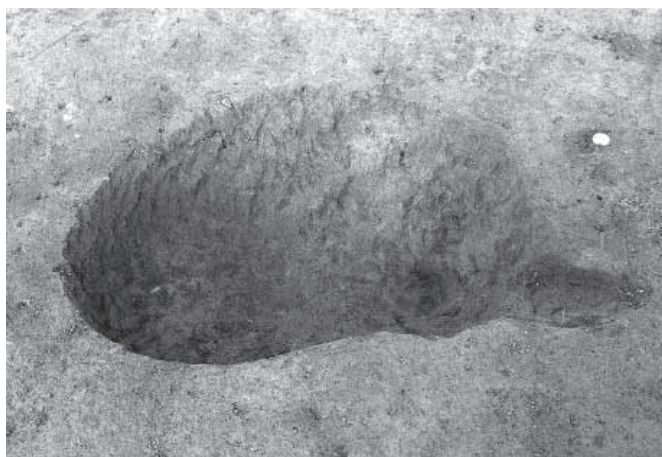
4. 6区54号土坑全景(南から)



5. 6区55号土坑全景(南から)



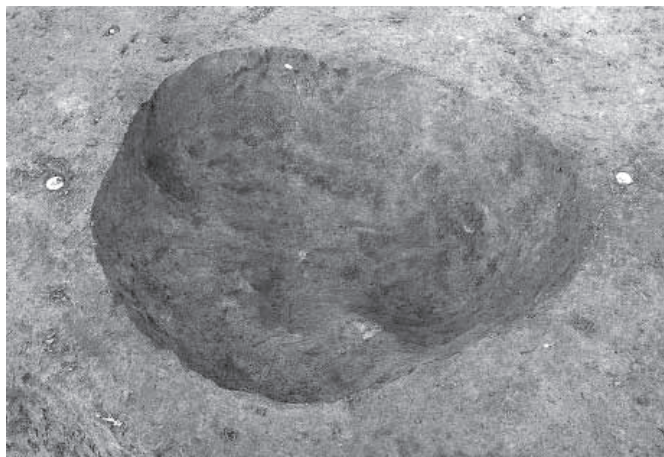
6. 6区56号土坑全景(南から)



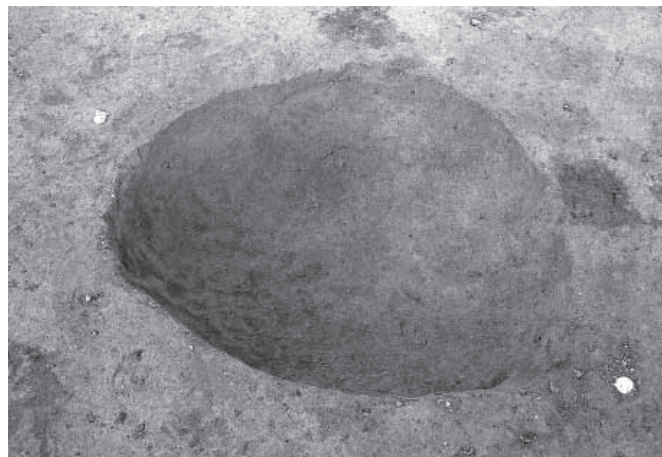
7. 6区57号土坑全景(南から)



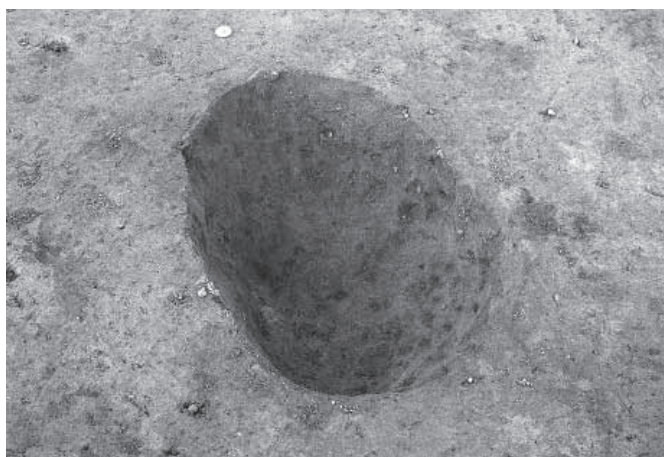
8. 6区58号土坑全景(南から)



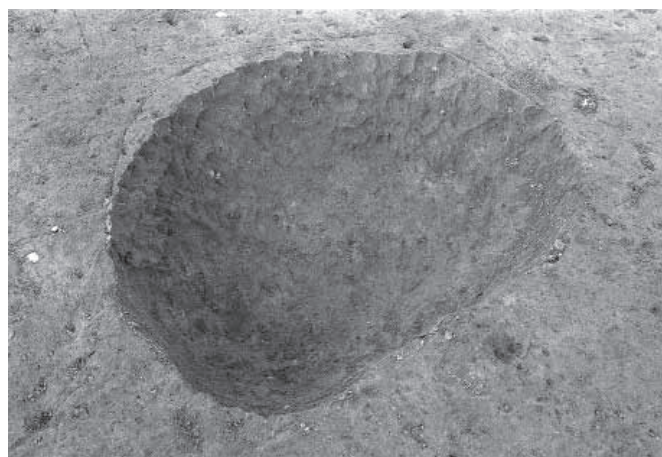
1. 6区59号土坑全景(南から)



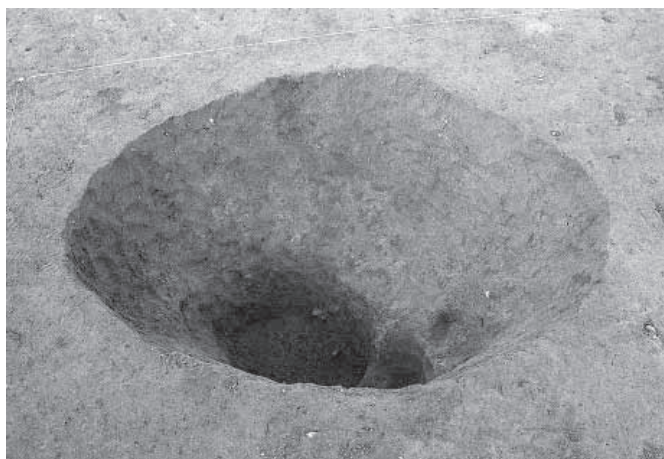
2. 6区60号土坑全景(南から)



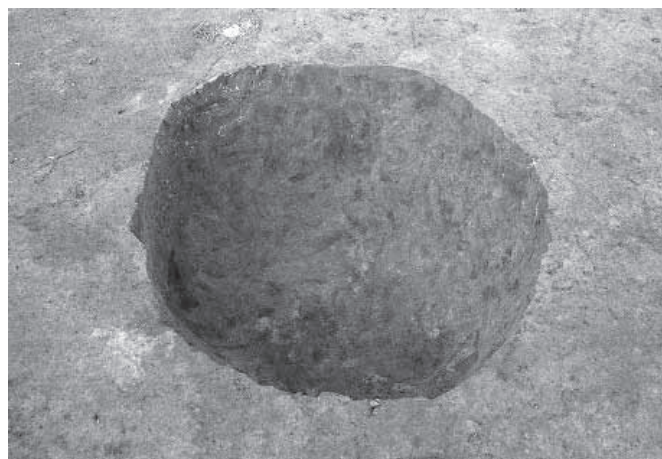
3. 6区61号土坑全景(南から)



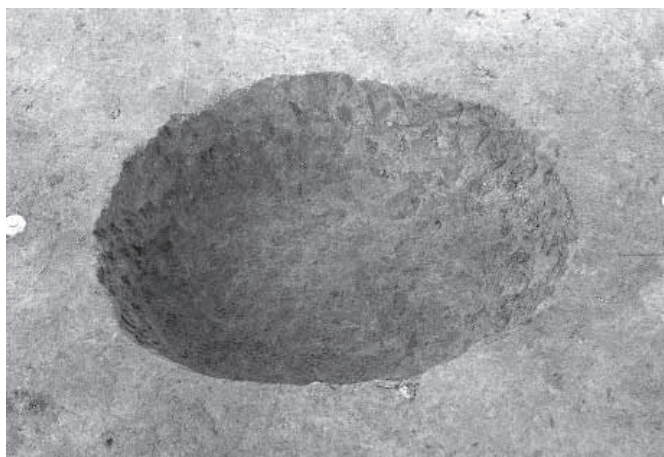
4. 6区62号土坑全景(南から)



5. 6区63号土坑全景(南から)



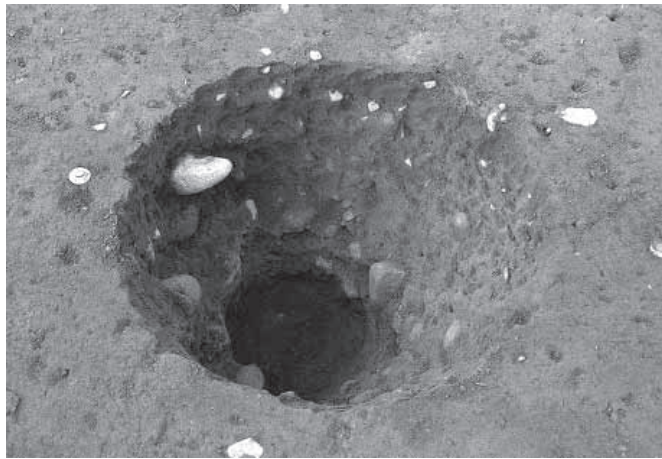
6. 6区64号土坑全景(南から)



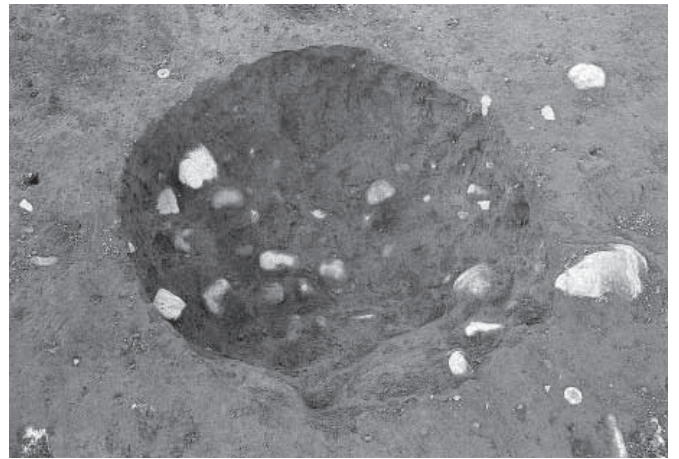
7. 6区65号土坑全景(南から)



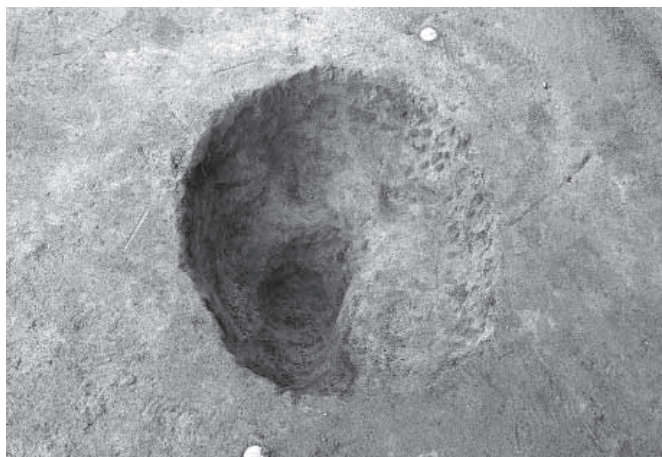
8. 6区66号土坑全景(南から)



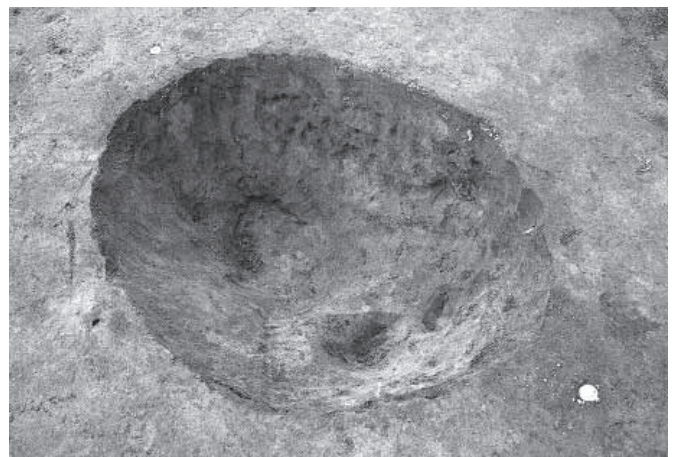
1. 6区67号土坑全景(南から)



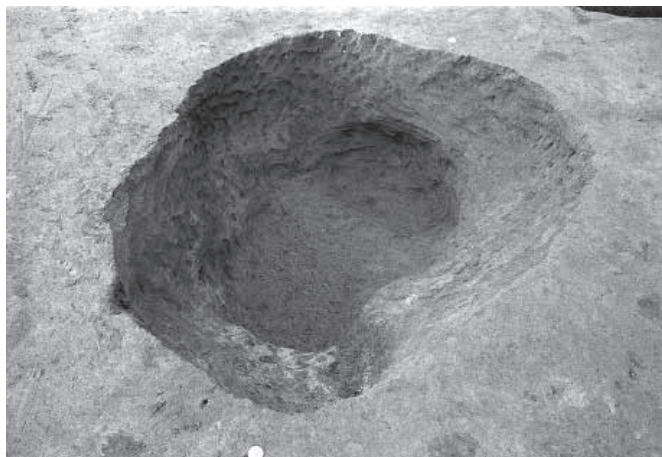
2. 6区68号土坑全景(南から)



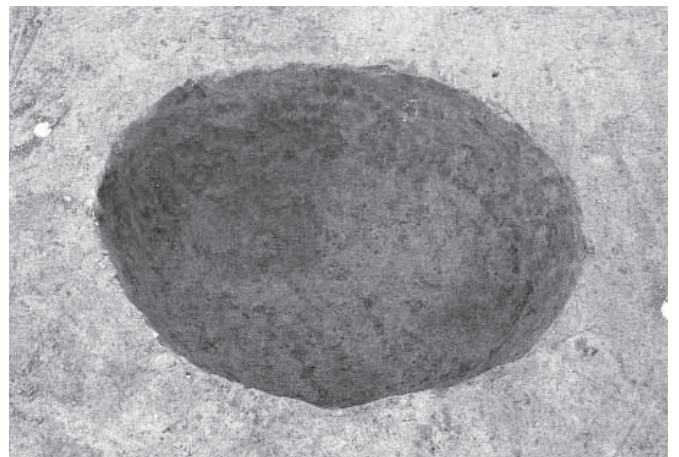
3. 6区69号土坑全景(南から)



4. 6区70号土坑全景(南から)



5. 6区71号土坑全景(南から)



6. 6区72号土坑全景(南から)



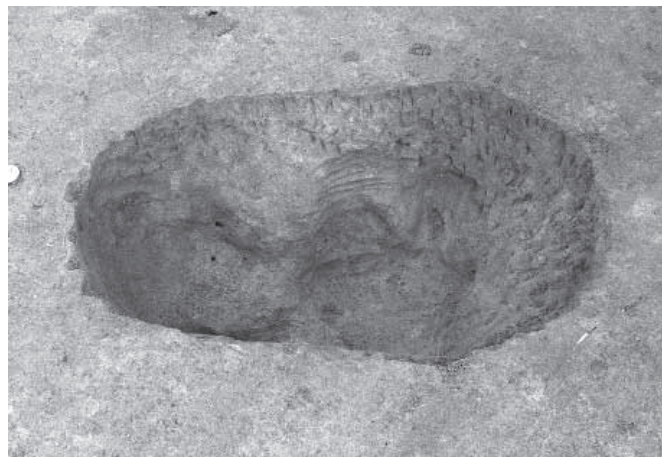
7. 6区73号土坑全景(南から)



8. 6区74号土坑全景(南から)



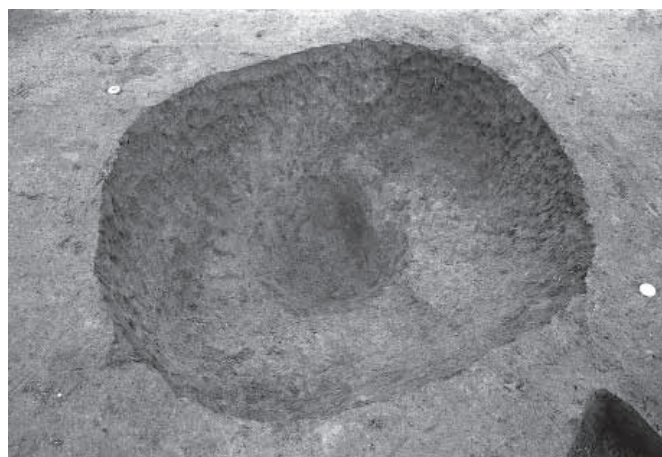
1. 6区75号土坑全景(南から)



2. 6区76号土坑全景(南から)



3. 6区77号土坑全景(南から)



4. 6区78号土坑全景(南から)



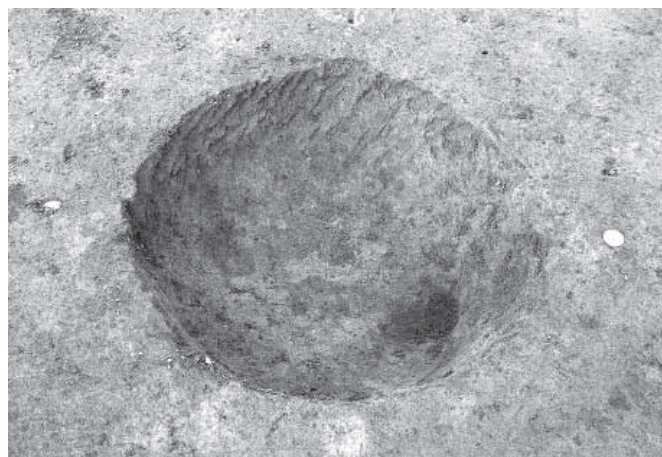
5. 6区79号土坑全景(南から)



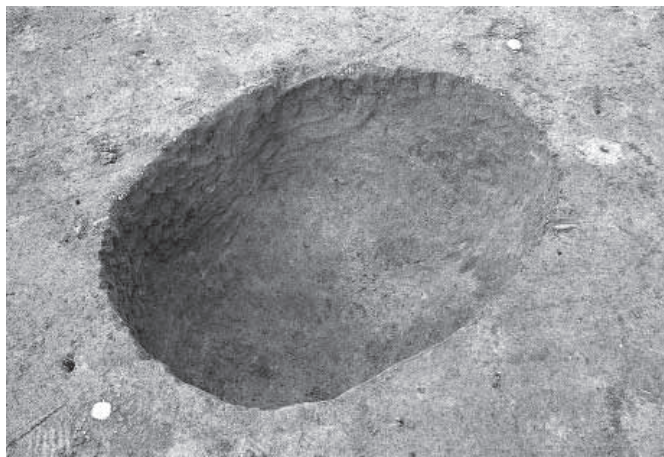
6. 6区80号土坑全景(南から)



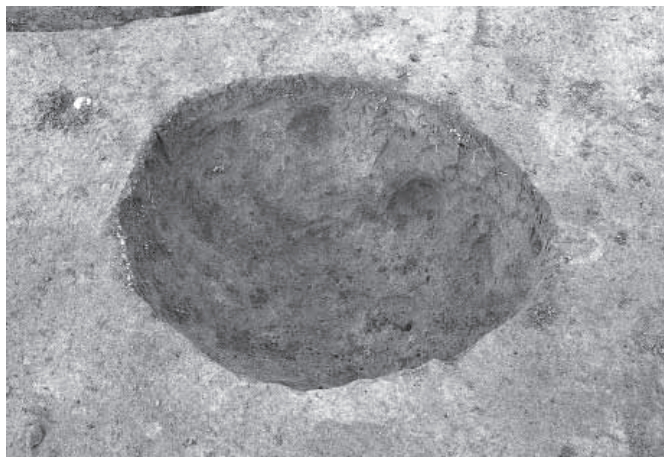
7. 6区81号土坑全景(南から)



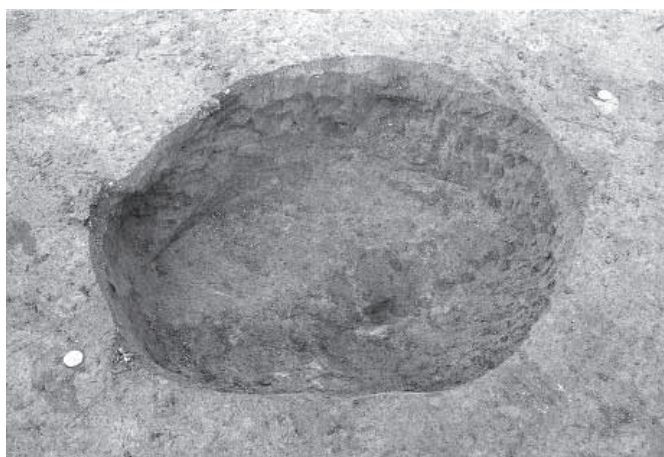
8. 6区82号土坑全景(南から)



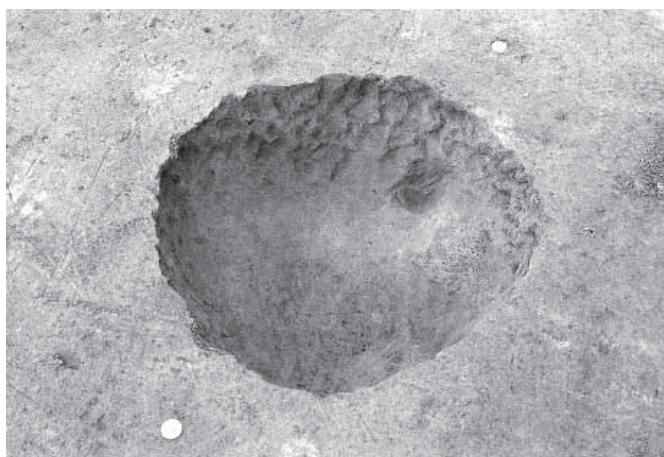
1. 6区83号土坑全景(南から)



2. 6区84号土坑全景(南から)



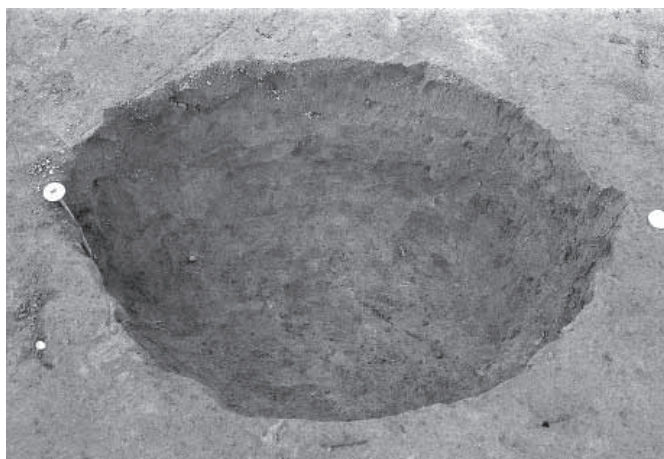
3. 6区85号土坑全景(南から)



4. 6区86号土坑全景(南から)



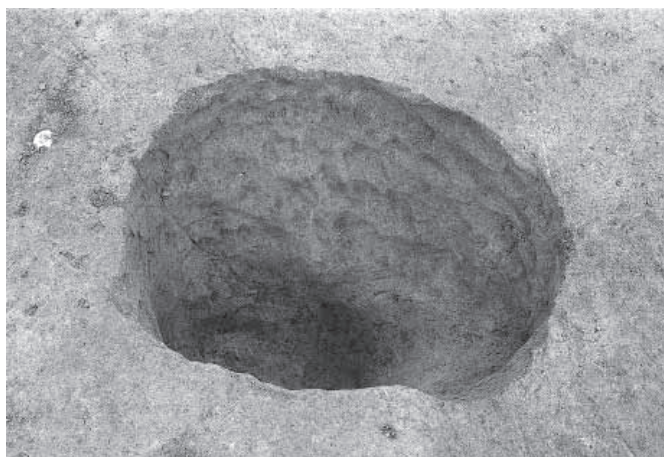
5. 6区87号土坑全景(南から)



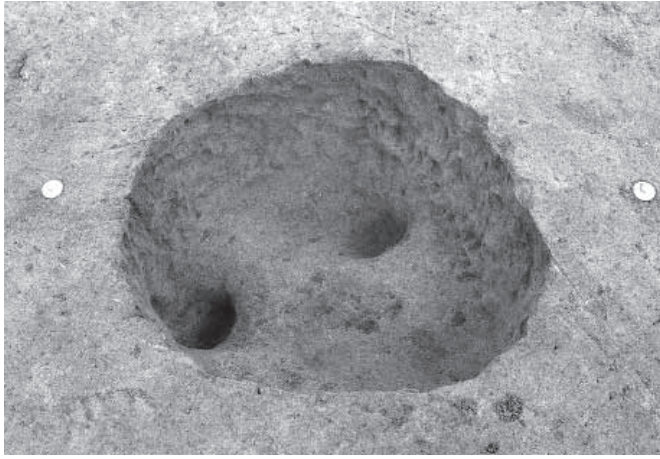
6. 6区88号土坑全景(南から)



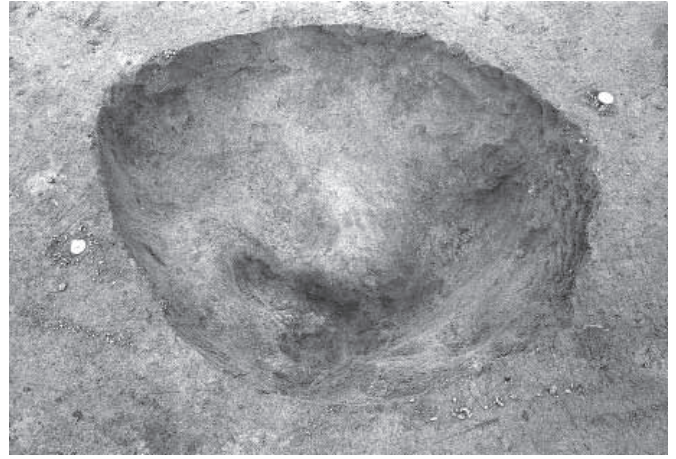
7. 6区89号土坑全景(南から)



8. 6区90号土坑全景(南から)



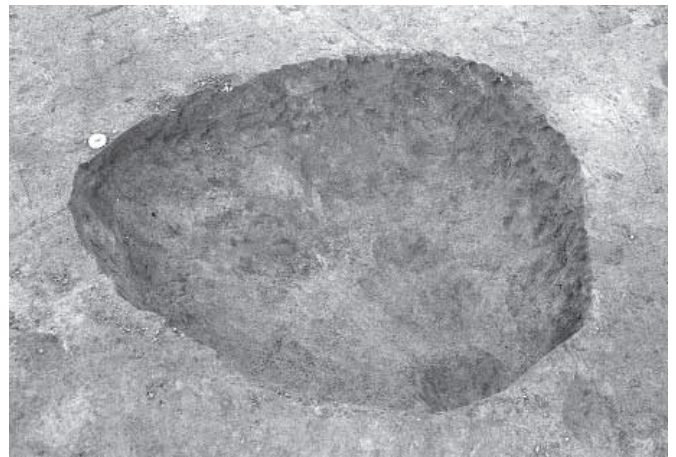
1. 6区91号土坑全景(南から)



2. 6区92号土坑全景(南から)



3. 6区93号土坑全景(南から)



4. 6区94号土坑全景(南から)



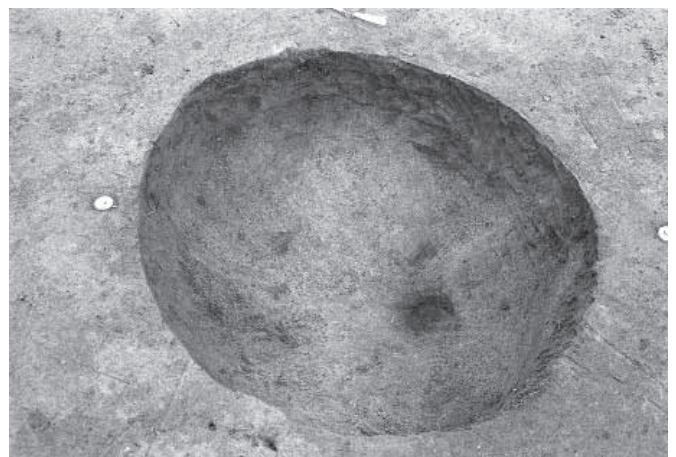
5. 6区95号土坑全景(南から)



6. 6区96号土坑全景(南から)



7. 6区97号土坑全景(南から)



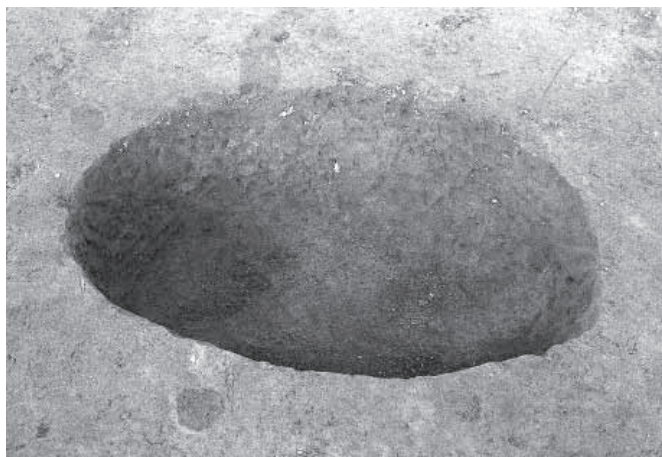
8. 6区98号土坑全景(南から)



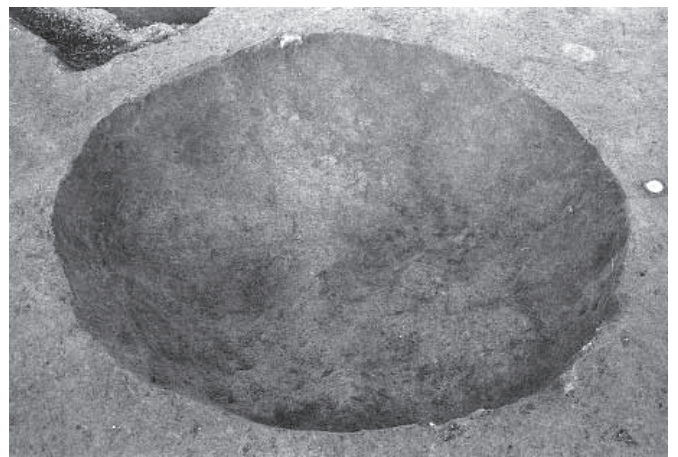
1. 6区99号土坑全景(南から)



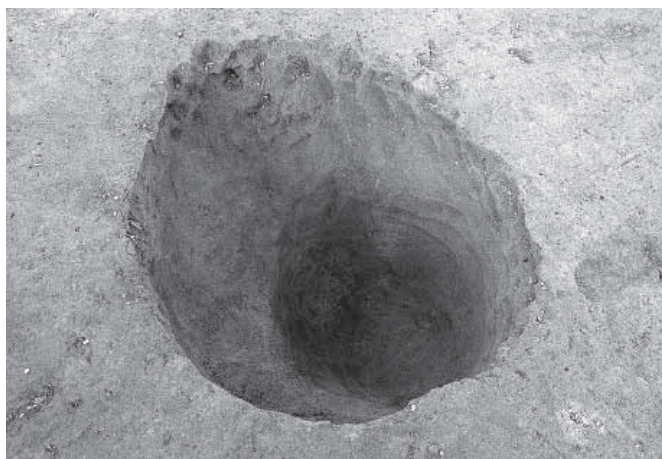
2. 6区100号土坑全景(南から)



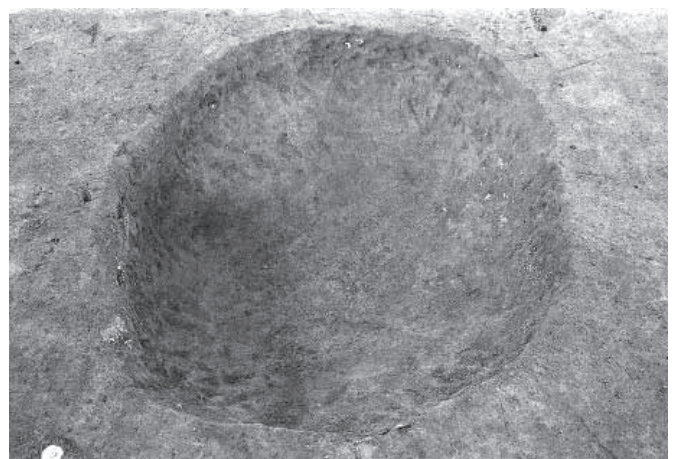
3. 6区101号土坑全景(南から)



4. 6区102号土坑全景(南から)



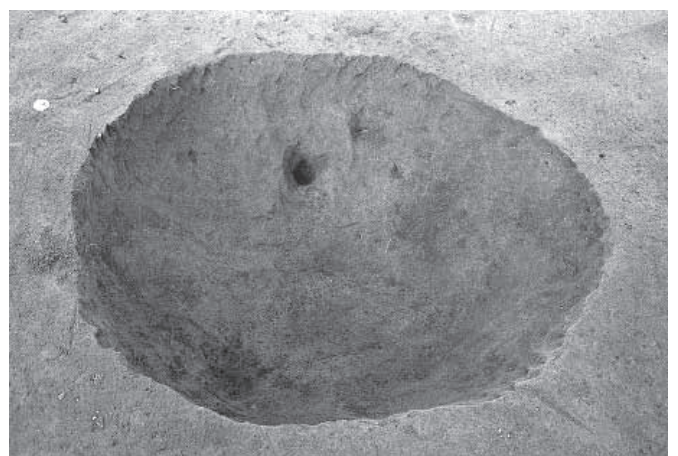
5. 6区103号土坑全景(南から)



6. 6区104号土坑全景(南から)



7. 6区105号土坑全景(南から)



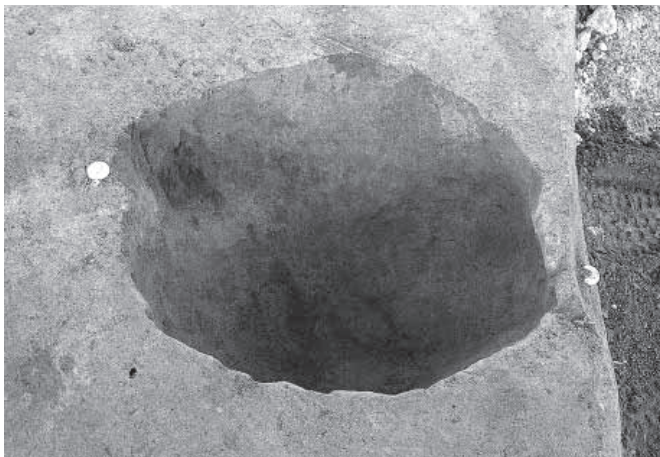
8. 6区106号土坑全景(南から)



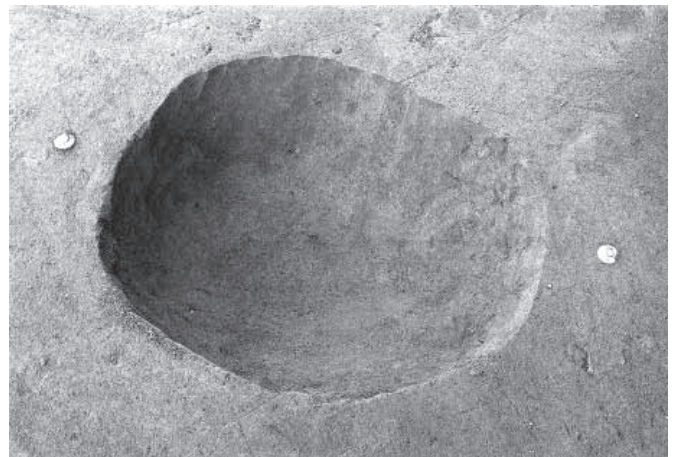
1. 6区107号土坑全景(南から)



2. 6区108号土坑全景(南から)



3. 6区109号土坑全景(南から)



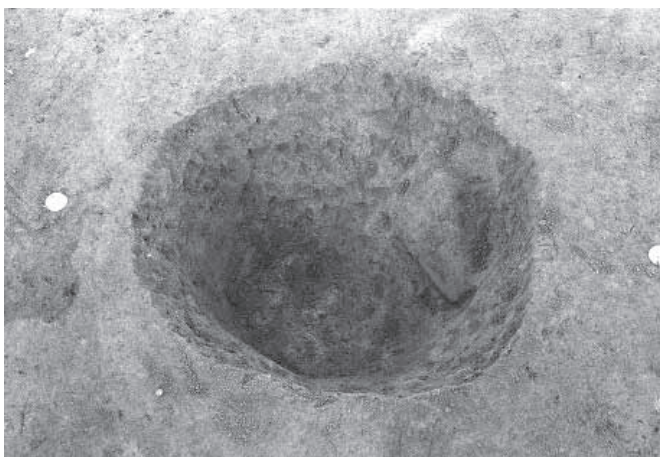
4. 6区110号土坑全景(南から)



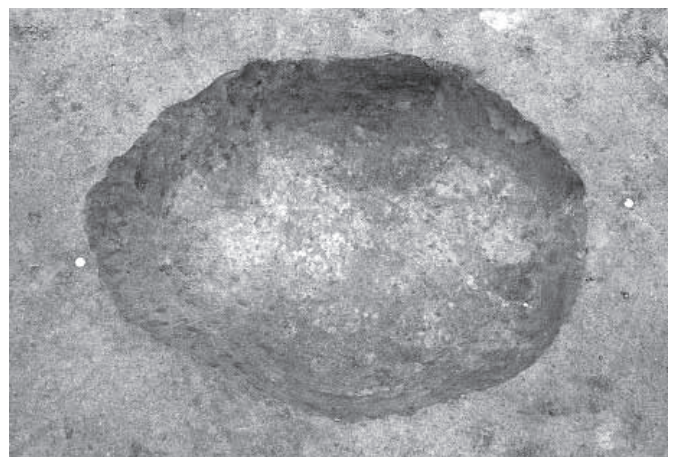
5. 6区111号土坑全景(南から)



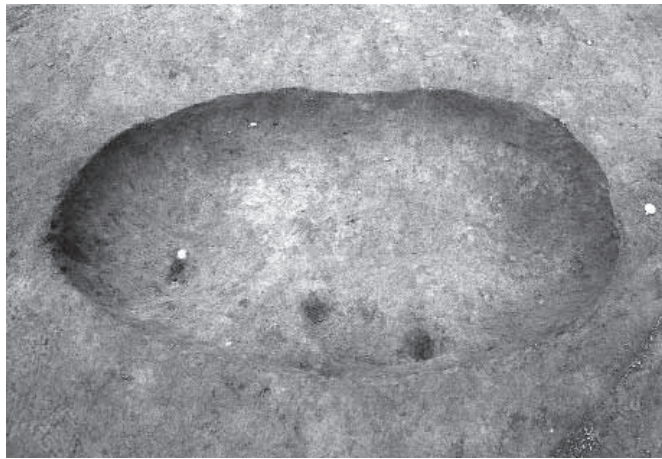
6. 6区112・114号土坑全景(南から)



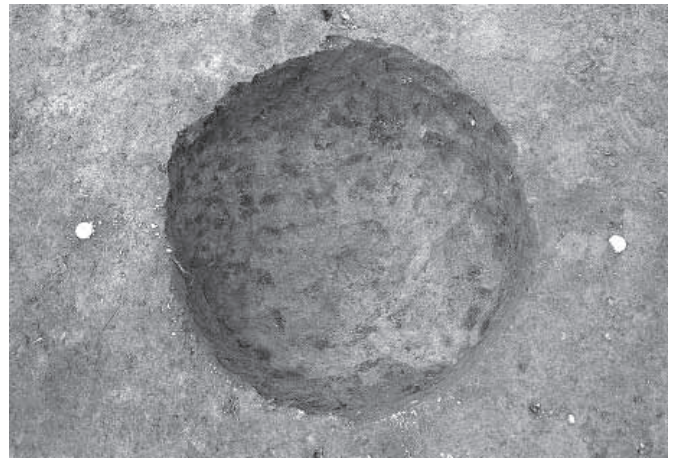
7. 6区113号土坑全景(南から)



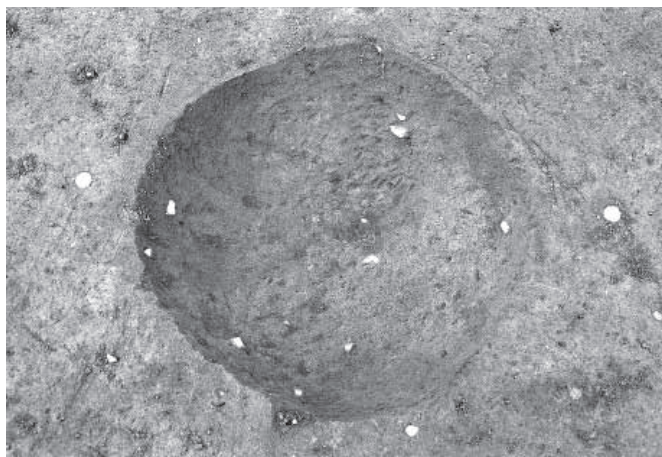
8. 6区189号土坑全景(南東から)



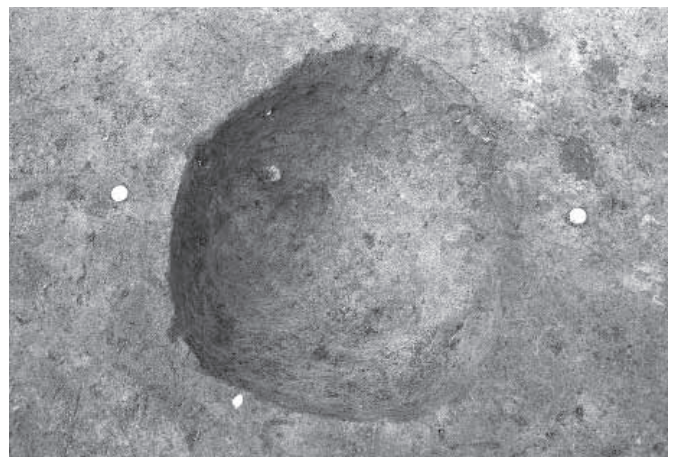
1. 6区190号土坑全景(南から)



2. 6区191号土坑全景(南から)



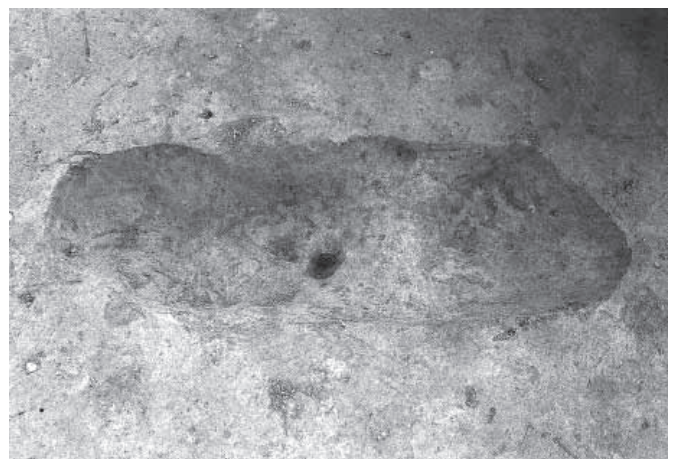
3. 6区192号土坑全景(南から)



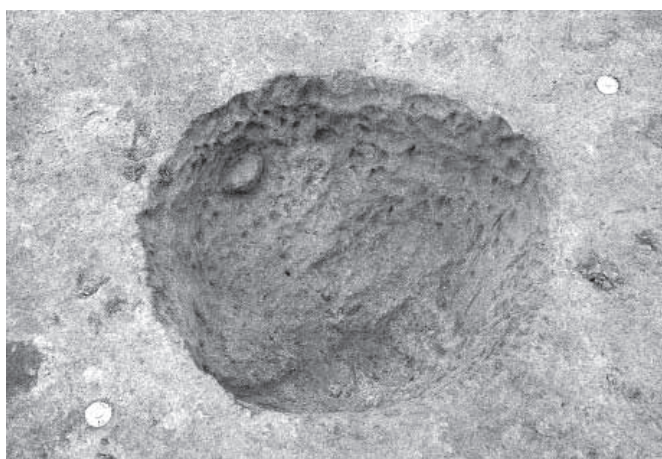
4. 6区195号土坑全景(南から)



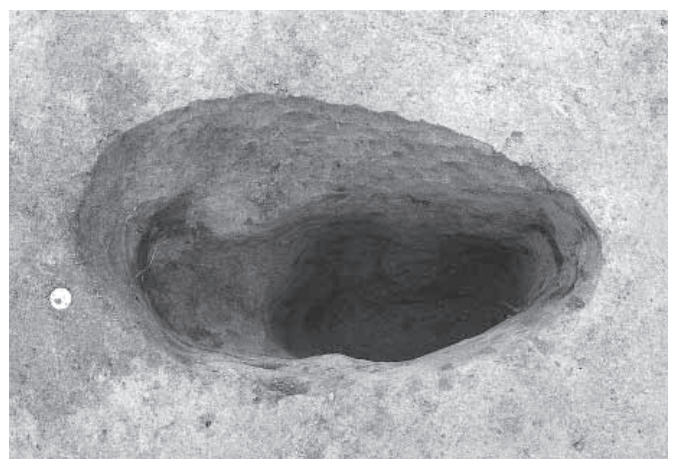
5. 6区196号土坑全景(北東から)



6. 6区197号土坑全景(北西から)



7. 6区198号土坑全景(南から)



8. 6区202号土坑全景(南西から)



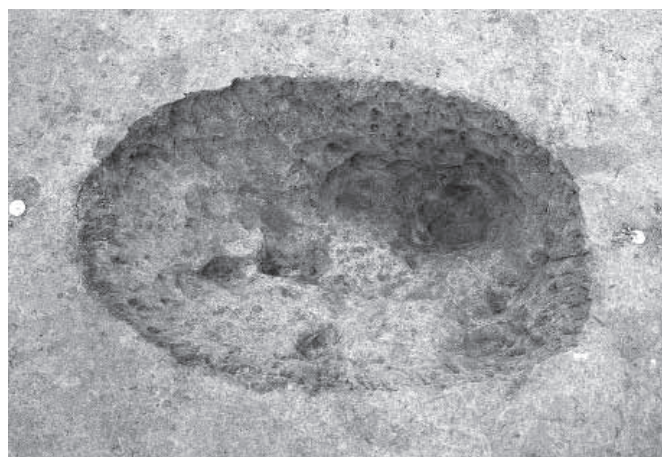
1. 6区203号土坑全景(東から)



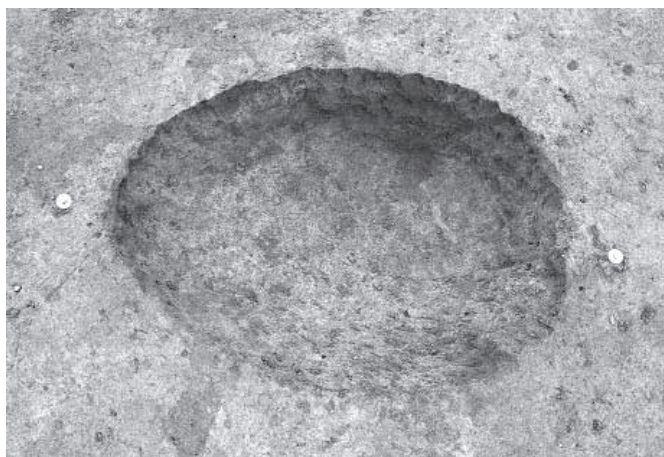
2. 6区204号土坑全景(南から)



3. 6区205号土坑全景(南から)



4. 6区206号土坑全景(南から)



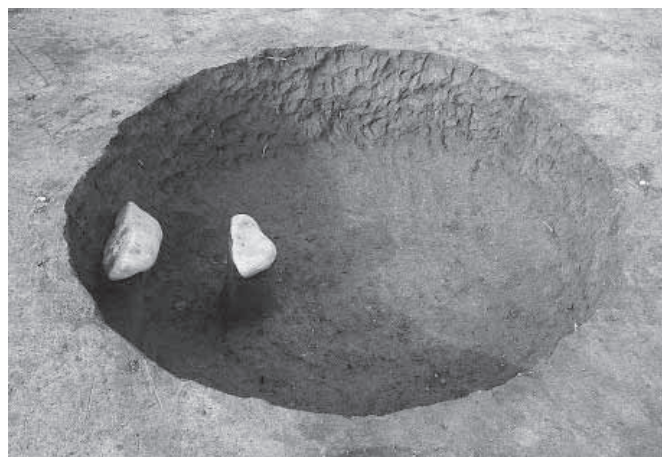
5. 6区207号土坑全景(南東から)



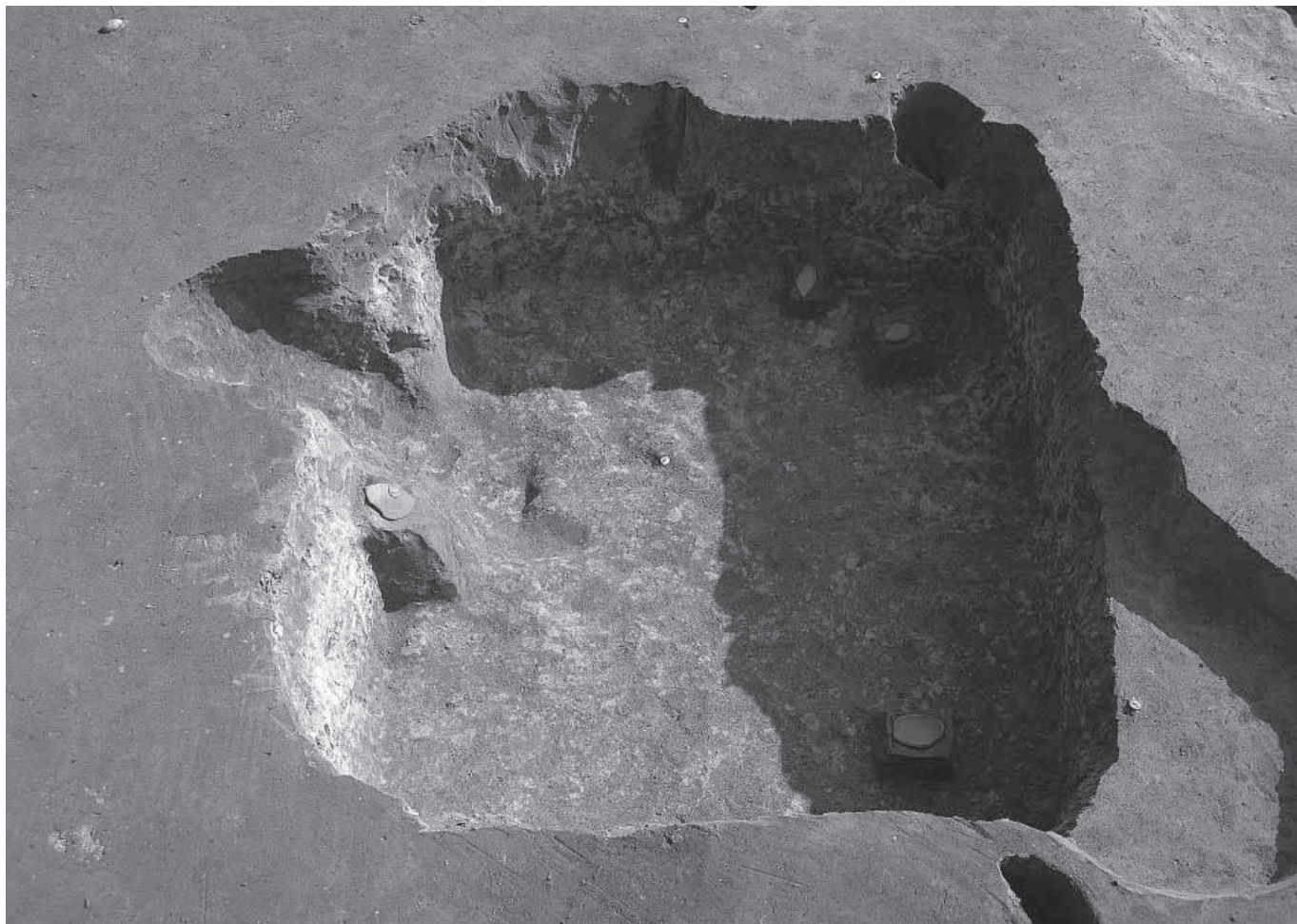
6. 6区208号土坑全景(南西から)



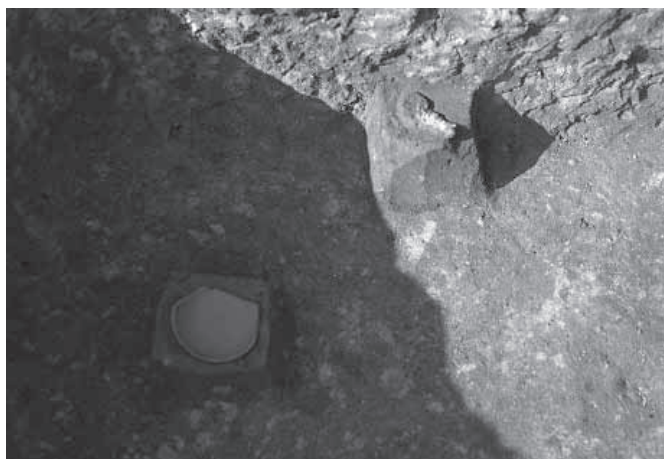
7. 6区209号土坑全景(西から)



8. 6区210号土坑全景(南から)



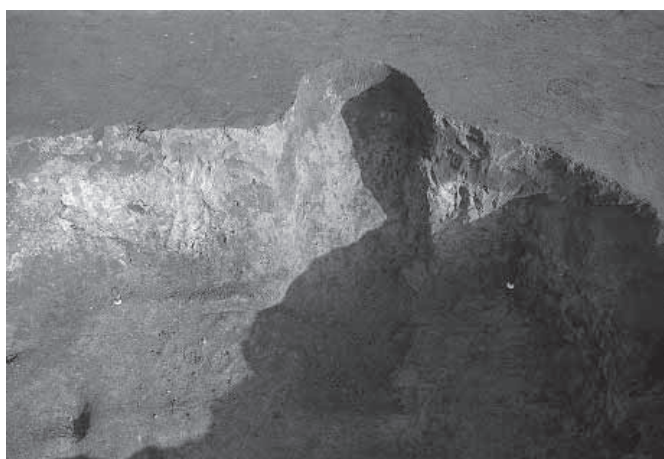
1. 1区1号住居全景(西から)



2. 1区1号住居南西部遺物出土状況(東から)



3. 1区1号住居カマド全景(南から)



4. 1区1号住居カマド掘り方全景(南から)



5. 1区1号住居掘り方全景(南から)



1. 1区2号住居全景(西から)



2. 1区2号住居北西部遺物出土状況(南から)



3. 1区2号住居カマド遺物出土状況(西から)



4. 1区2号住居カマド全景(西から)



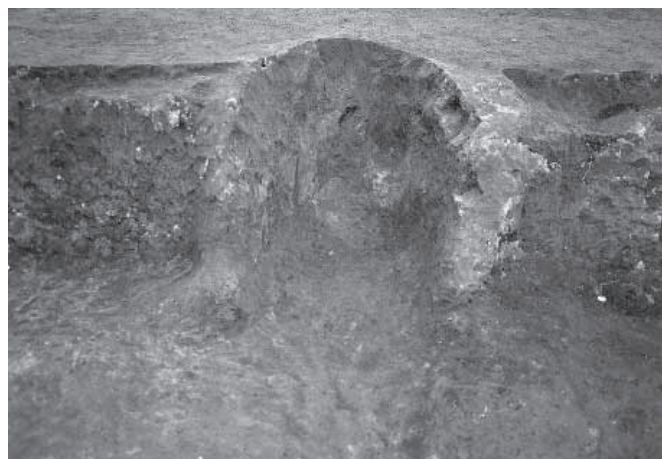
5. 1区2号住居掘り方全景(西から)



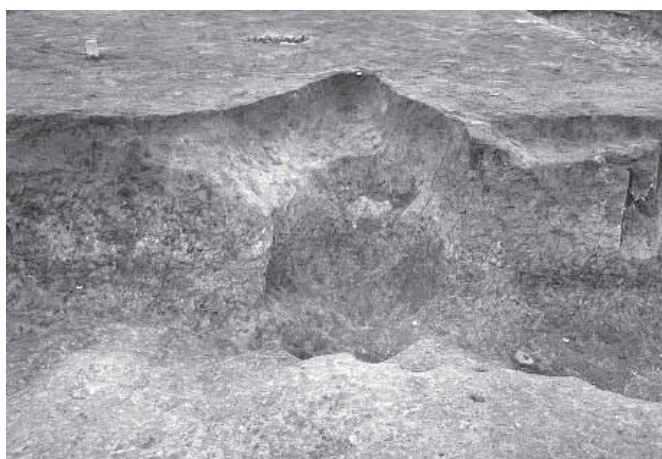
1. 1区3号住居全景(南から)



2. 1区3号住居カマド遺物出土状況(南から)



3. 1区3号住居カマド全景(南から)



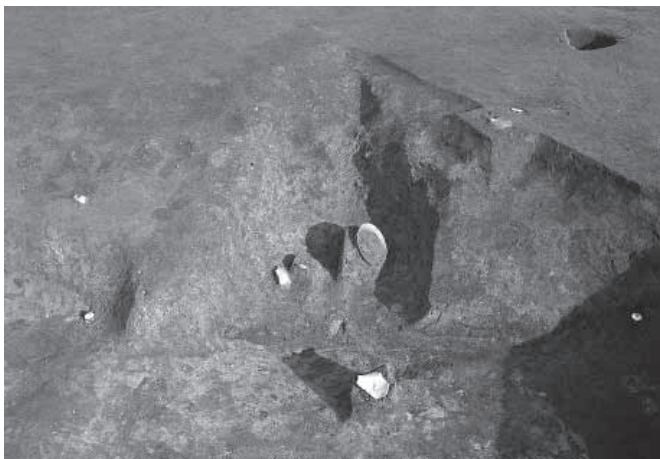
4. 1区3号住居カマド掘り方全景(南から)



5. 1区3号住居掘り方全景(南から)



1. 1区4号住居全景(西から)



2. 1区4号住居カマド全景(西から)



3. 1区4号住居カマド掘り方全景(西から)



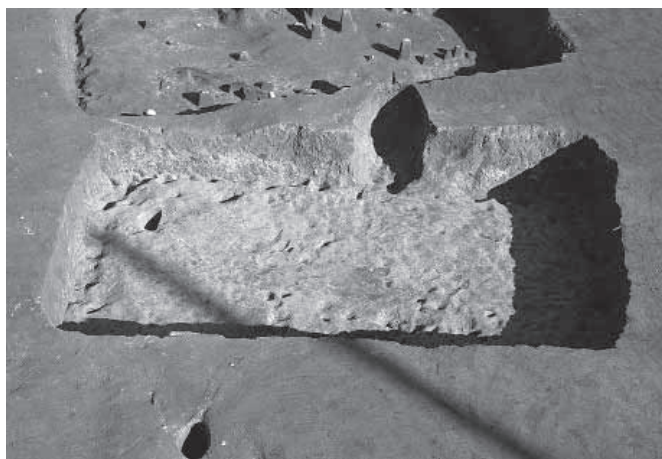
4. 1区4号住居掘り方全景(西から)



5. 1区5号住居カマド全景(南から)



1. 1区5号住居全景(南から)



2. 1区5号住居掘り方全景(南から)



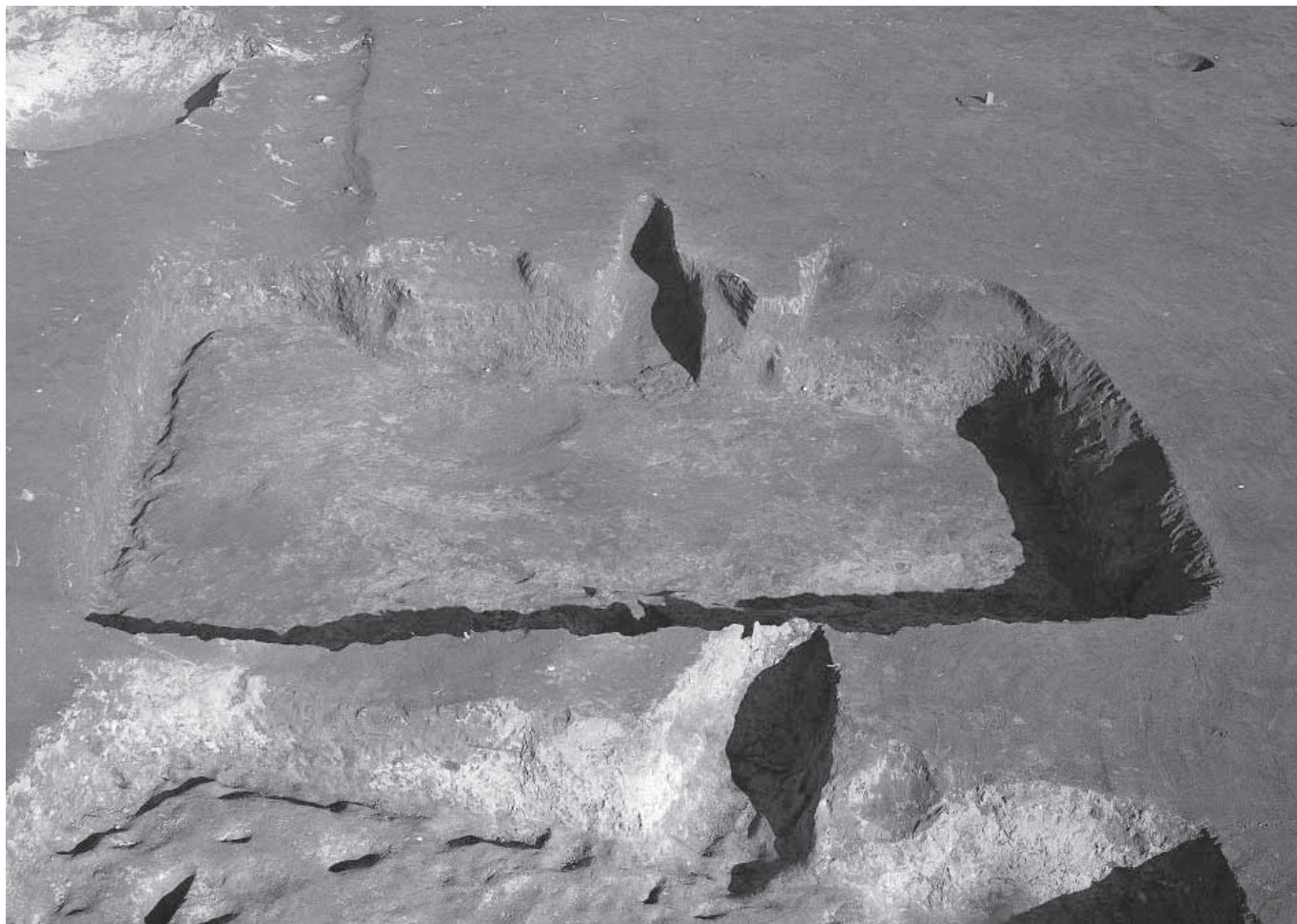
3. 1区6号住居遺物出土状況(南から)



4. 1区6号住居カマド遺物出土状況(南から)



5. 1区6号住居カマド全景(南から)



1. 1区6号住居全景(南から)



2. 1区6号住居掘り方全景(南から)



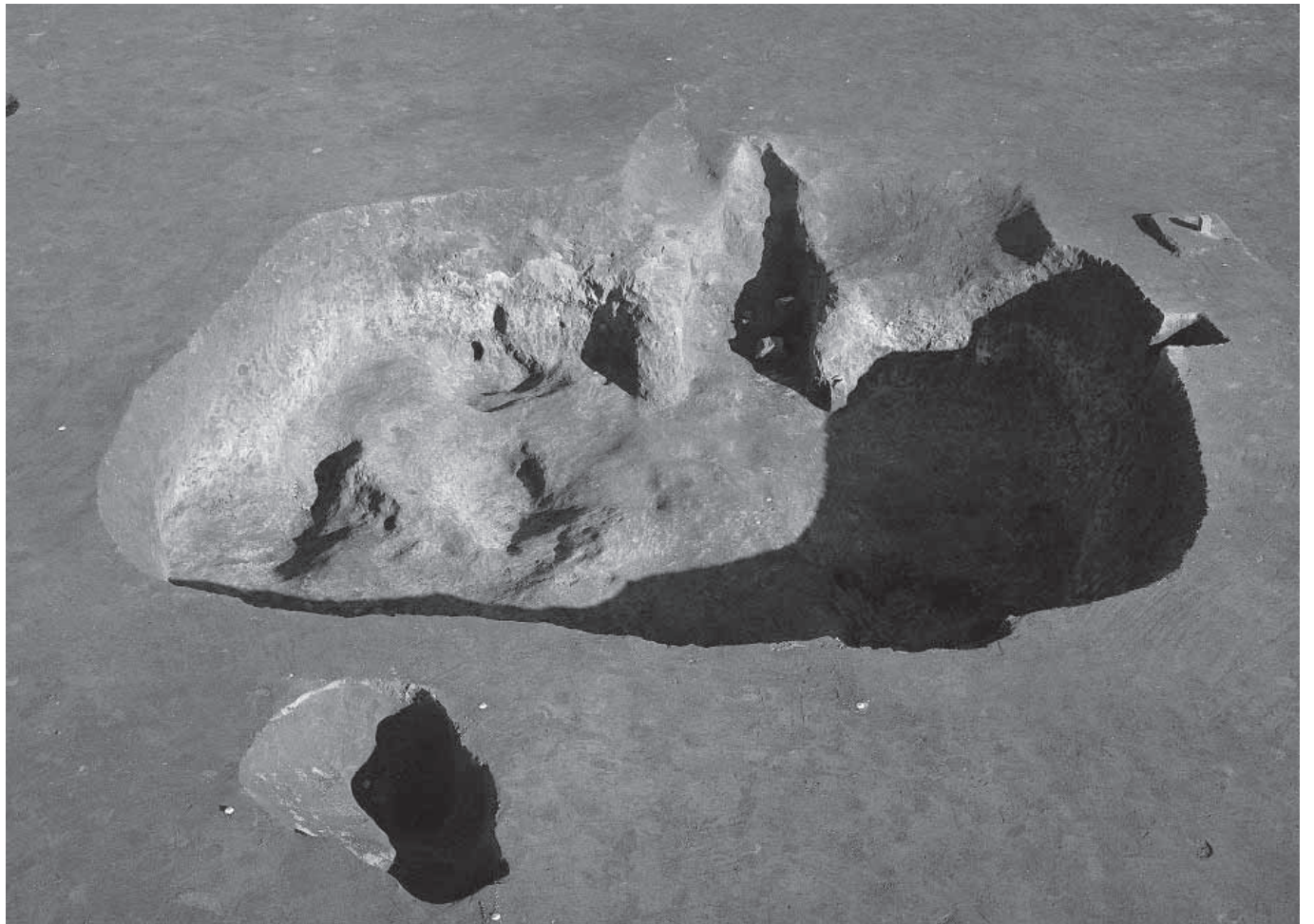
3. 1区7号住居カマド遺物出土状況(南から)



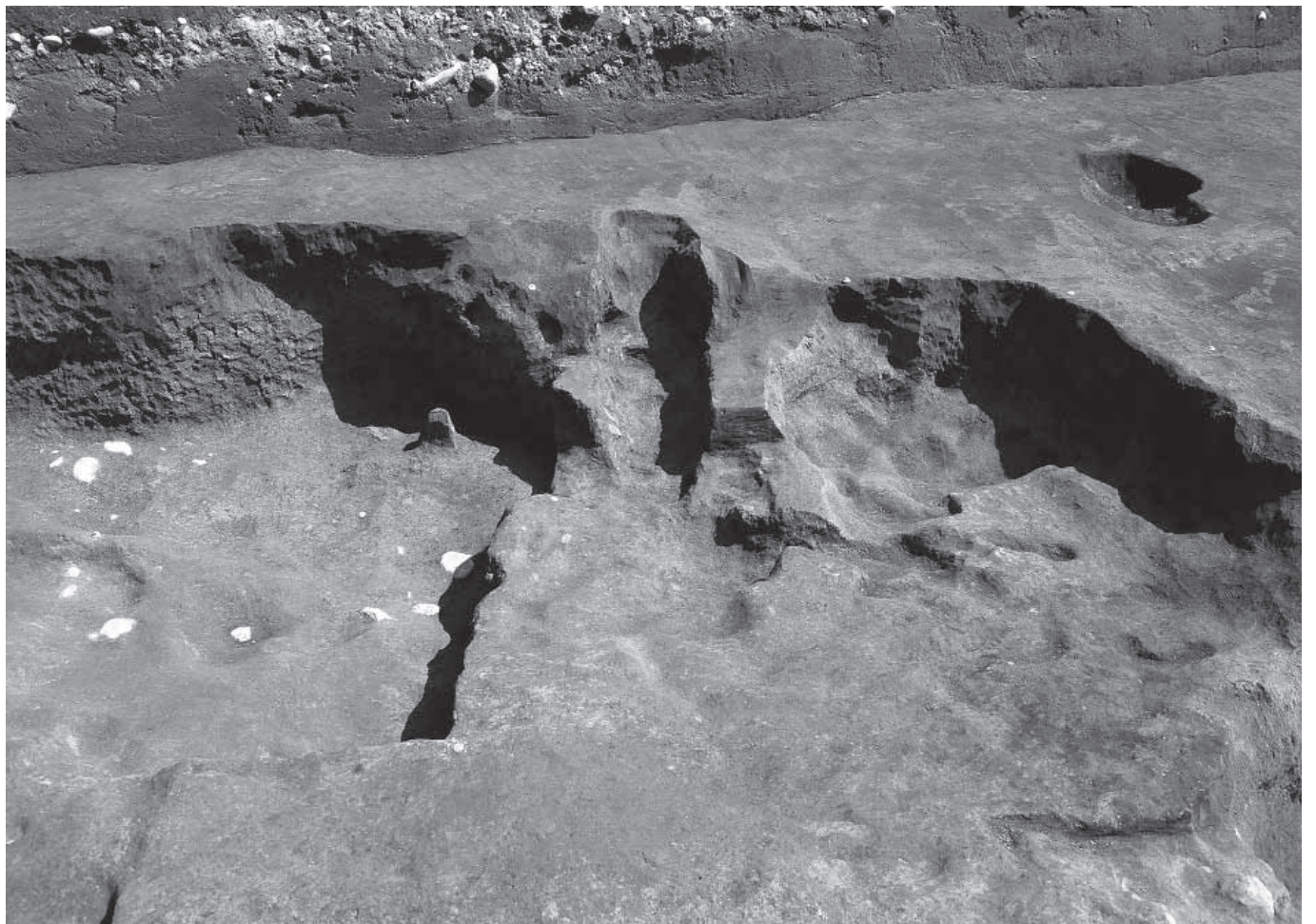
4. 1区7号住居カマド全景(南から)



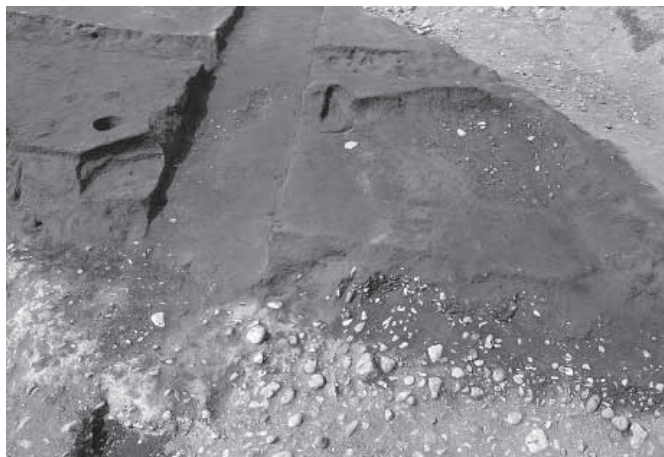
5. 1区7号住居掘り方全景(南から)



1. 1区7号住居全景(南から)



2. 4区26号住居全景(西から)



1. 5区8号住居全景(南から)



2. 5区43号住居全景(南東から)



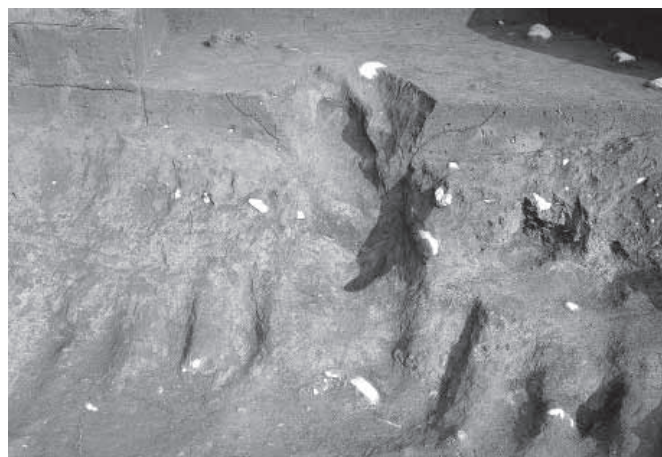
3. 5区56号住居全景(南東から)



4. 5区56号住居中央部遺物出土状況(西から)



5. 5区99号住居全景(西から)



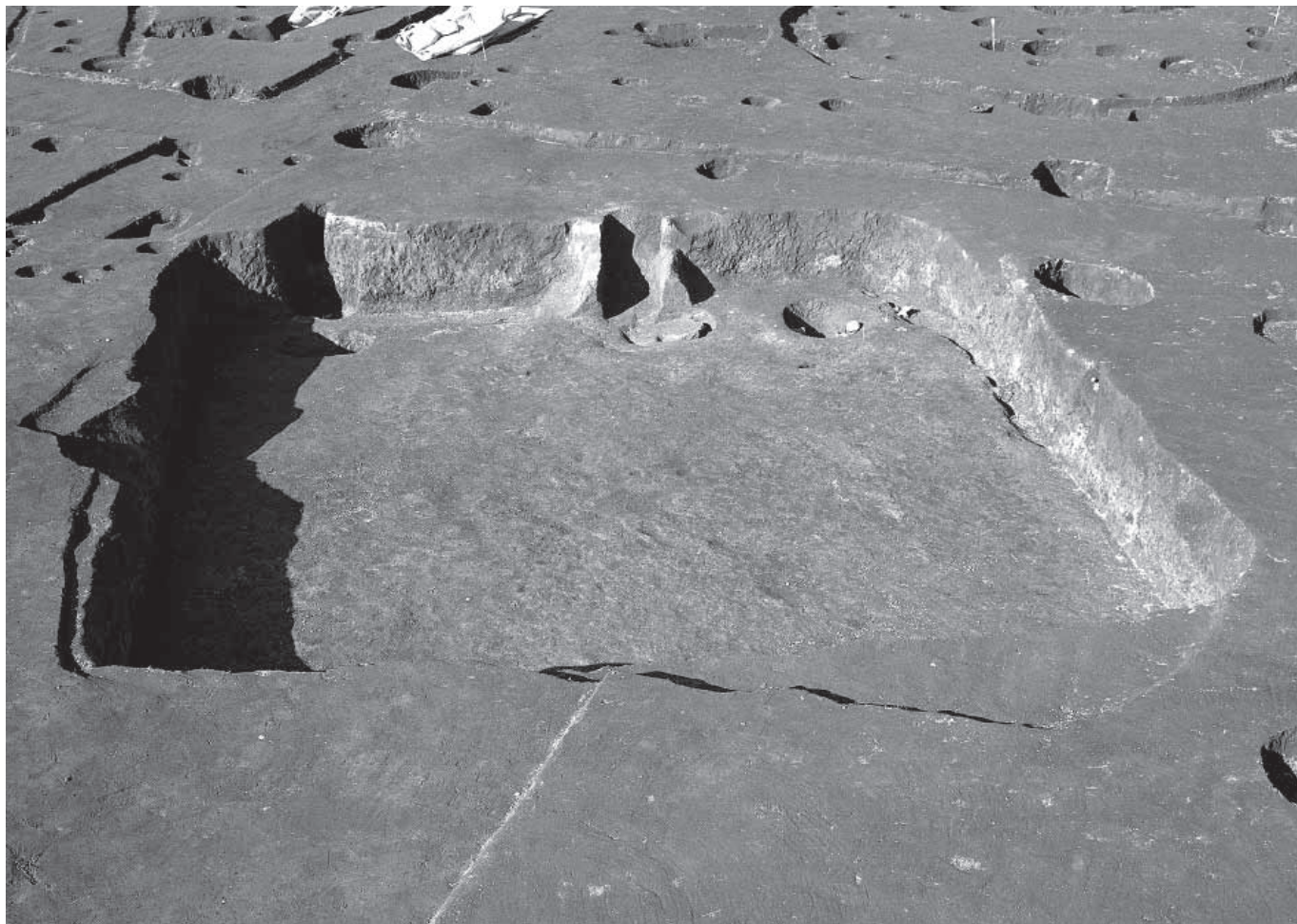
6. 5区99号住居カマド全景(西から)



7. 5区128号住居全景(南から)



8. 5区206号住居貯蔵穴遺物出土状況((南から)



1. 5区206号住居全景(南から)



2. 5区206号住居カマド遺物出土状況(南東から)



1. 5区206号住居カマド全景(南東から)



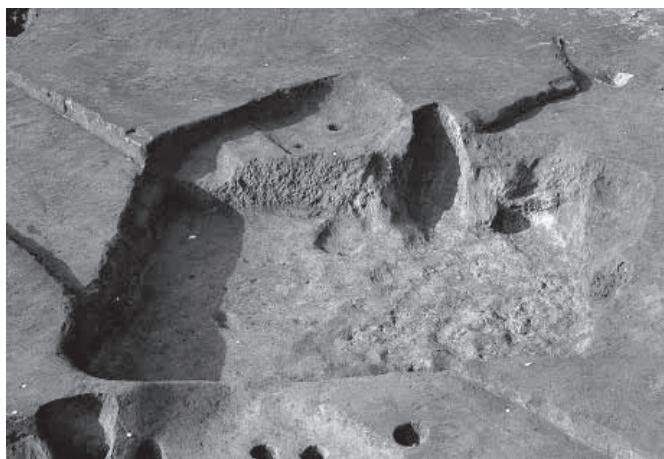
2. 5区207号住居全景(南から)



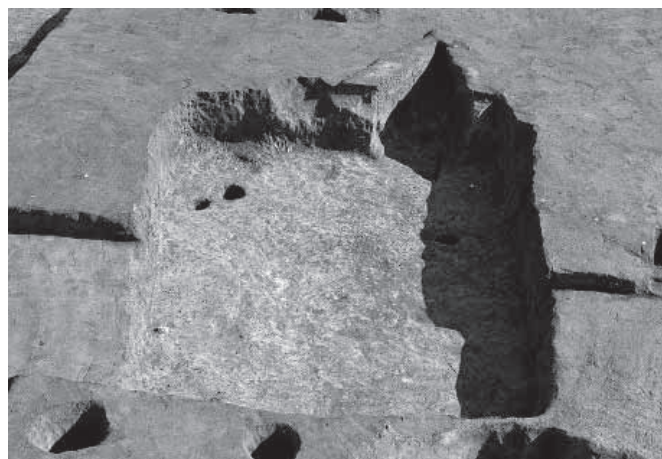
3. 5区208号住居全景(南西から)



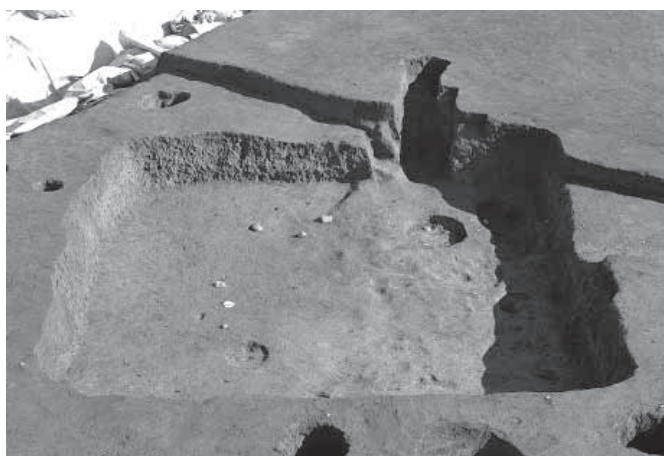
4. 5区209号住居遺物出土状況(西から)



5. 5区209号住居全景(西から)



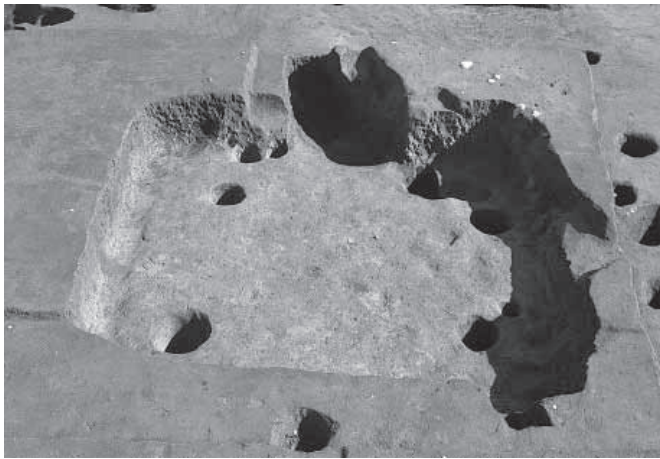
6. 5区210号住居全景(西から)



7. 5区214号住居全景(西から)



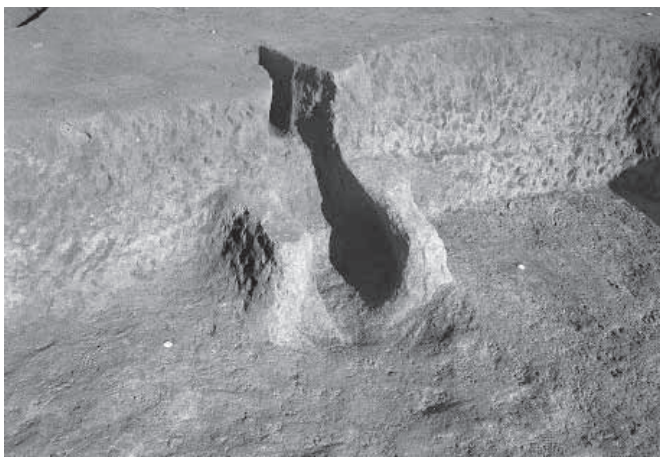
8. 5区214号住居カマド全景(西から)



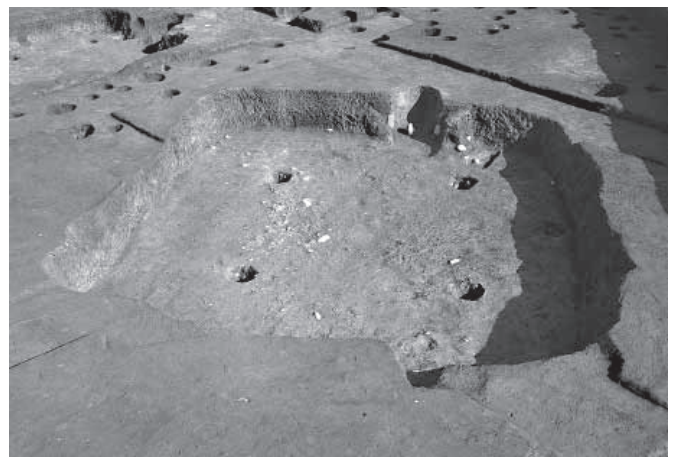
1. 5区245号住居全景(西から)



2. 5区286号住居全景(西から)



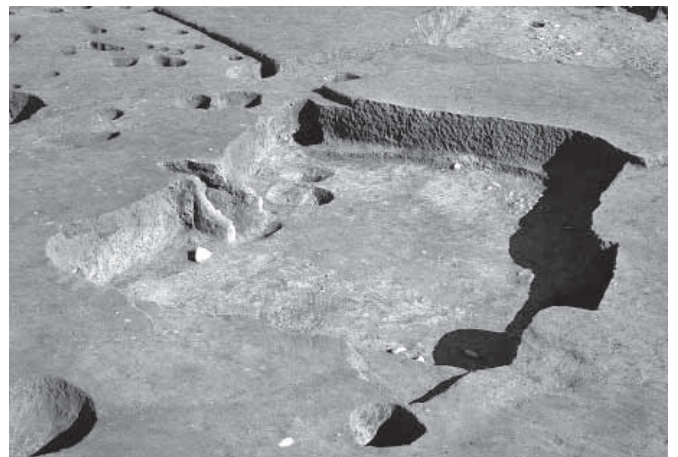
3. 5区286号住居カマド全景(西から)



4. 5区304号住居全景(西から)



5. 5区304号住居カマド全景(西から)



6. 5区430号住居全景(西から)



7. 5区430号住居カマド全景(南から)



8. 6区1号住居カマド遺物出土状況(南東から)



1. 6区1号住居全景(南東から)



2. 6区1号住居カマド全景(南東から)



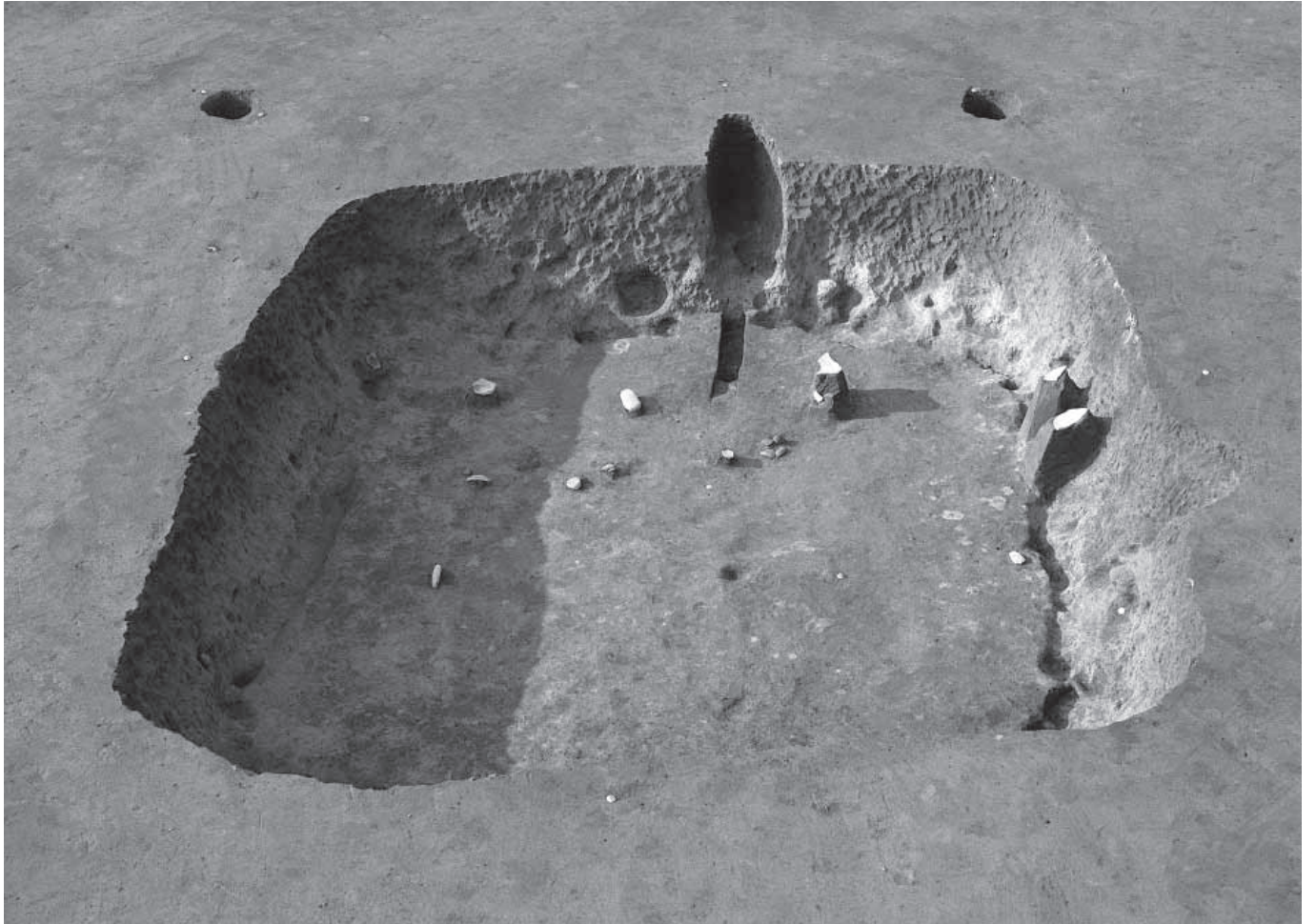
3. 6区1号住居掘り方全景(南東から)



4. 6区2号住居北カマド全景(南東から)



5. 6区2号住居東カマド全景(西から)



1. 6区2号住全景(南東から)



2. 6区2号住居掘り方全景(南東から)



3. 6区3号住居中央部遺物出土状況(西から)



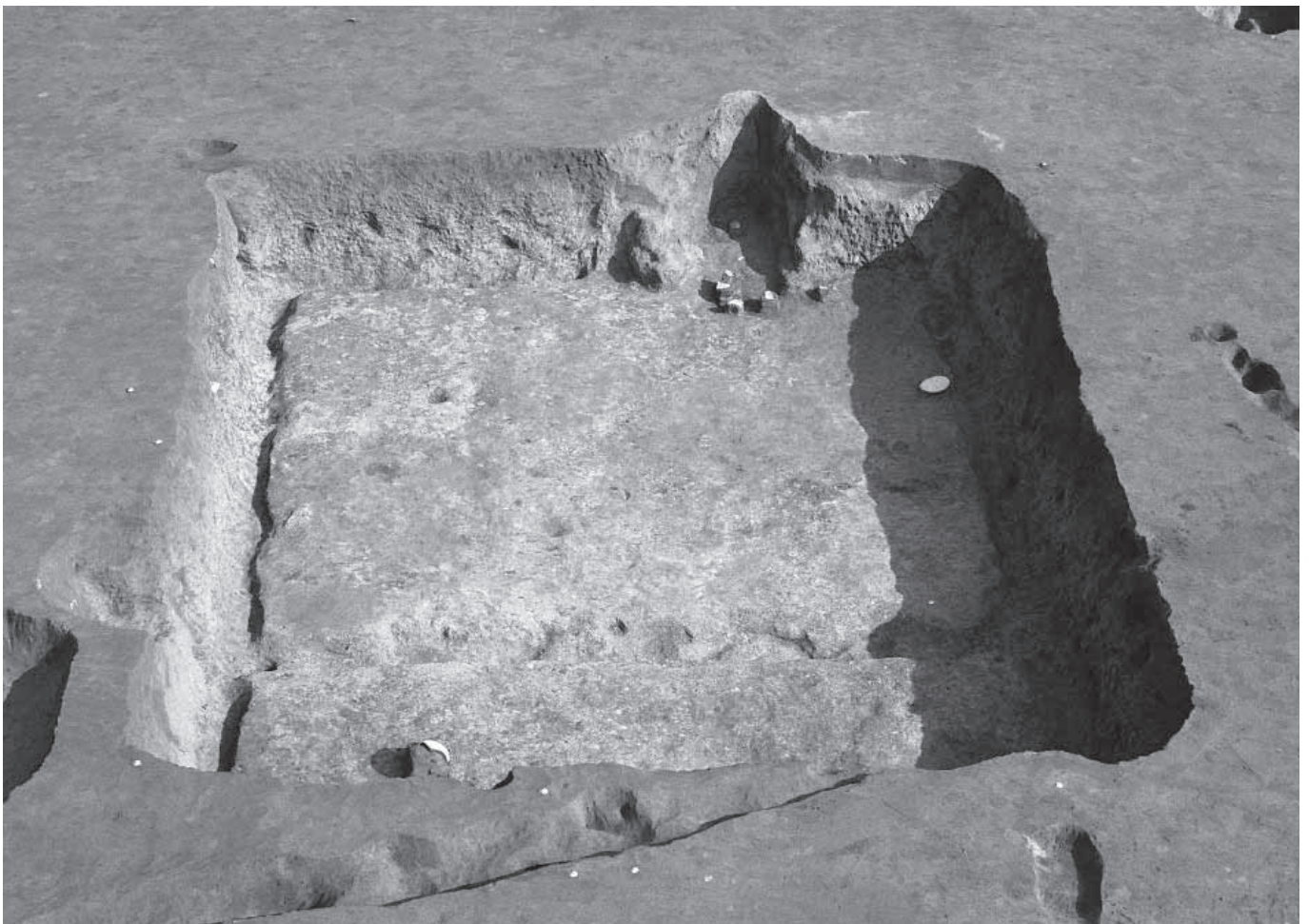
4. 6区3号住居カマド全景(南西から)



5. 6区3号住居掘り方全景(南西から)



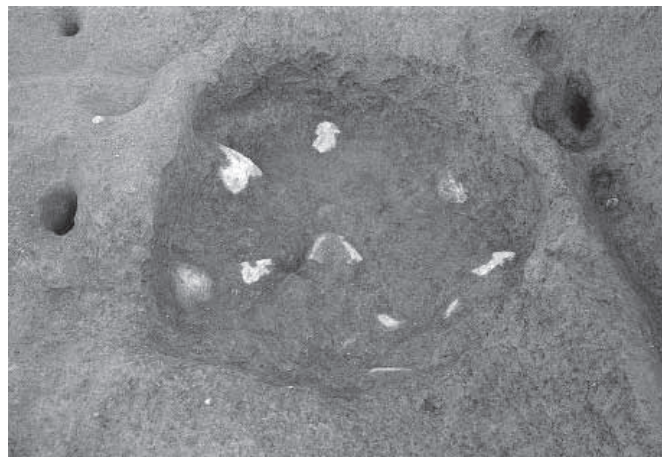
1. 6区3号住居全景(南西から)



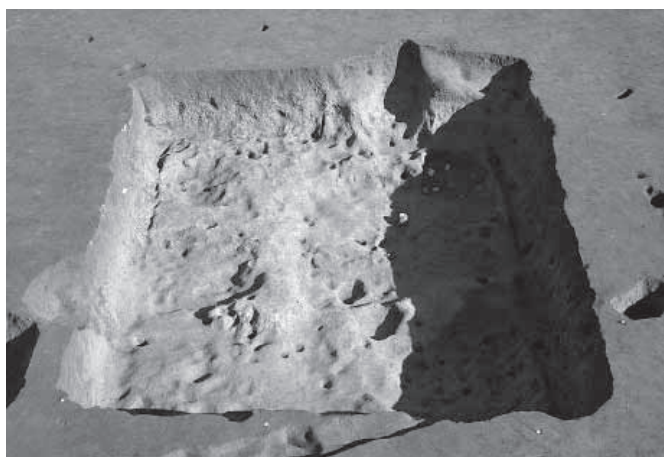
2. 6区4号住居全景(西から)



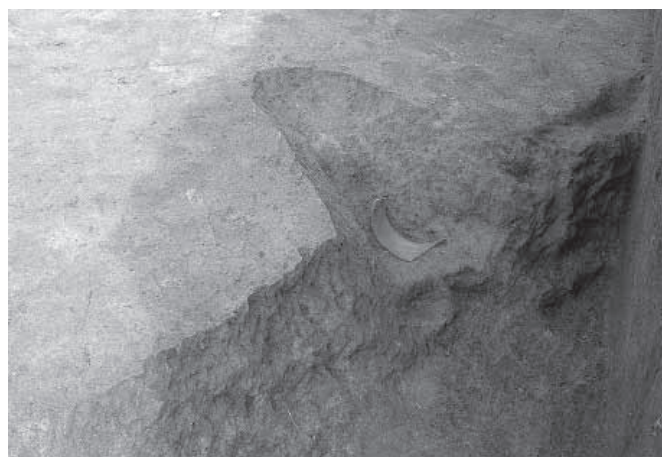
1. 6区4号住居カマド全景(西から)



2. 6区4号住居貯蔵穴全景(西から)



3. 6区4号住居掘り方全景(西から)



4. 6区5号住居カマド全景(南西から)



5. 6区5号住居全景(北から)



1. 6区5号住居カマド掘り方全景(北から)



2. 6区5号住居1号土坑全景(南から)



3. 6区5号住居掘り方全景(北から)



4. 6区6号住居掘り方全景(西から)



5. 6区6号住居全景(西から)



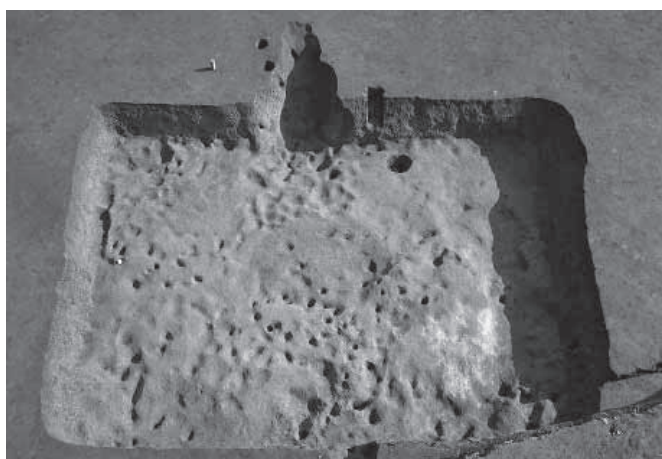
1. 6区7号住居全景(南西から)



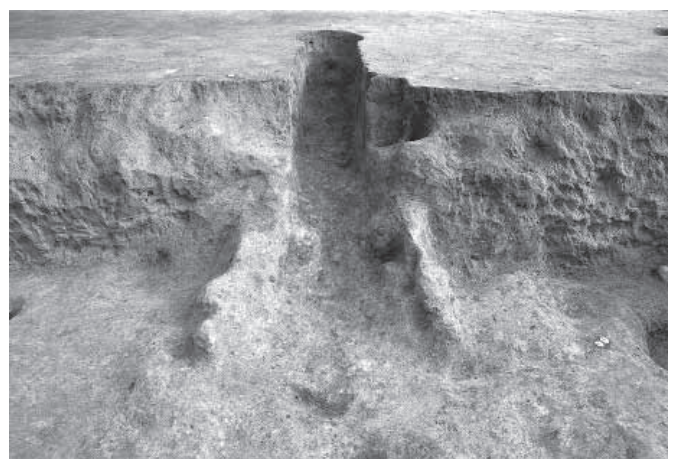
2. 6区7号住居カマド全景(南西から)



3. 6区7号住居カマド掘り方全景(南西から)



4. 6区7号住居掘り方全景(南西から)



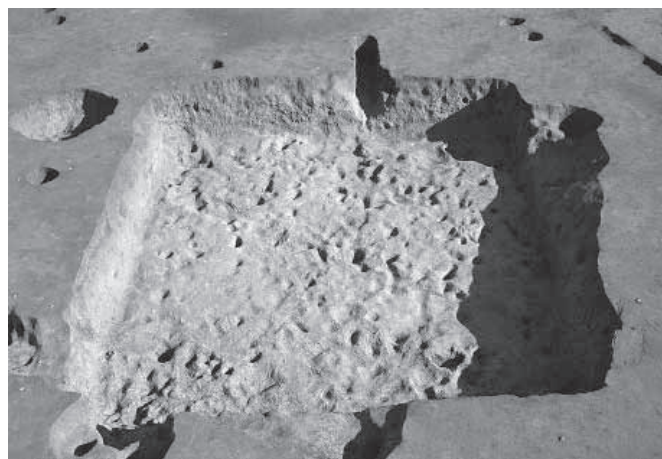
5. 6区8号住居カマド全景(南西から)



1. 6区8号住居全景(南西から)



2. 6区8号住居カマド掘り方全景(南西から)



3. 6区8号住居掘り方全景(南西から)



4. 6区9号住居漆紙入土師器杯(No.3312)出土状況(北から)



5. 6区9号住居北西部遺物出土状況(西から)



1. 6区9号住居全景(西から)



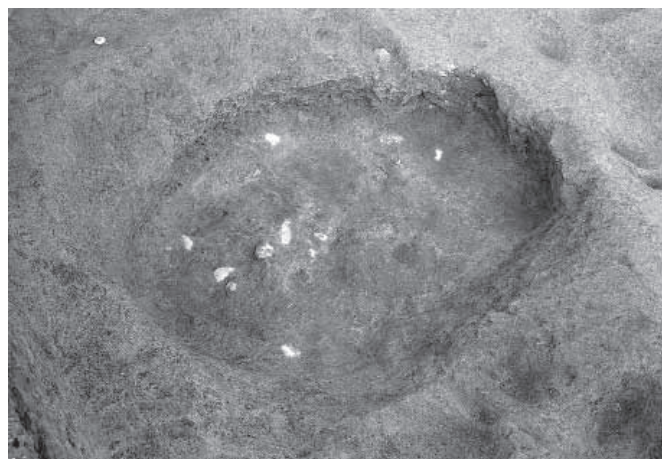
2. 6区9号住居漆紙入土師器杯(No.3312)出土状況(北西から)



1. 6区9号住居掘り方全景(西から)



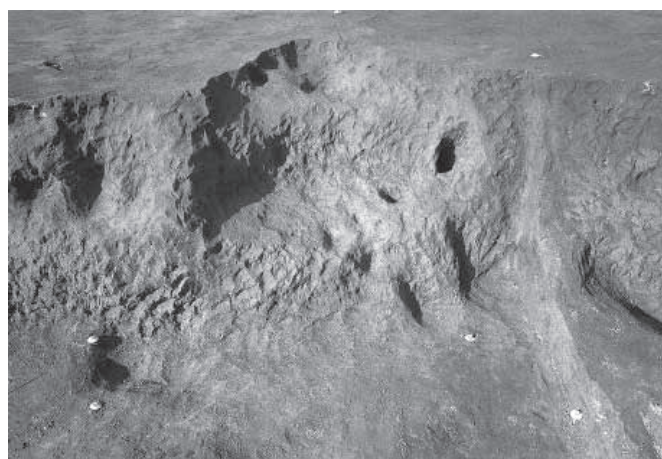
2. 6区9号住居遺物出土状況(西から)



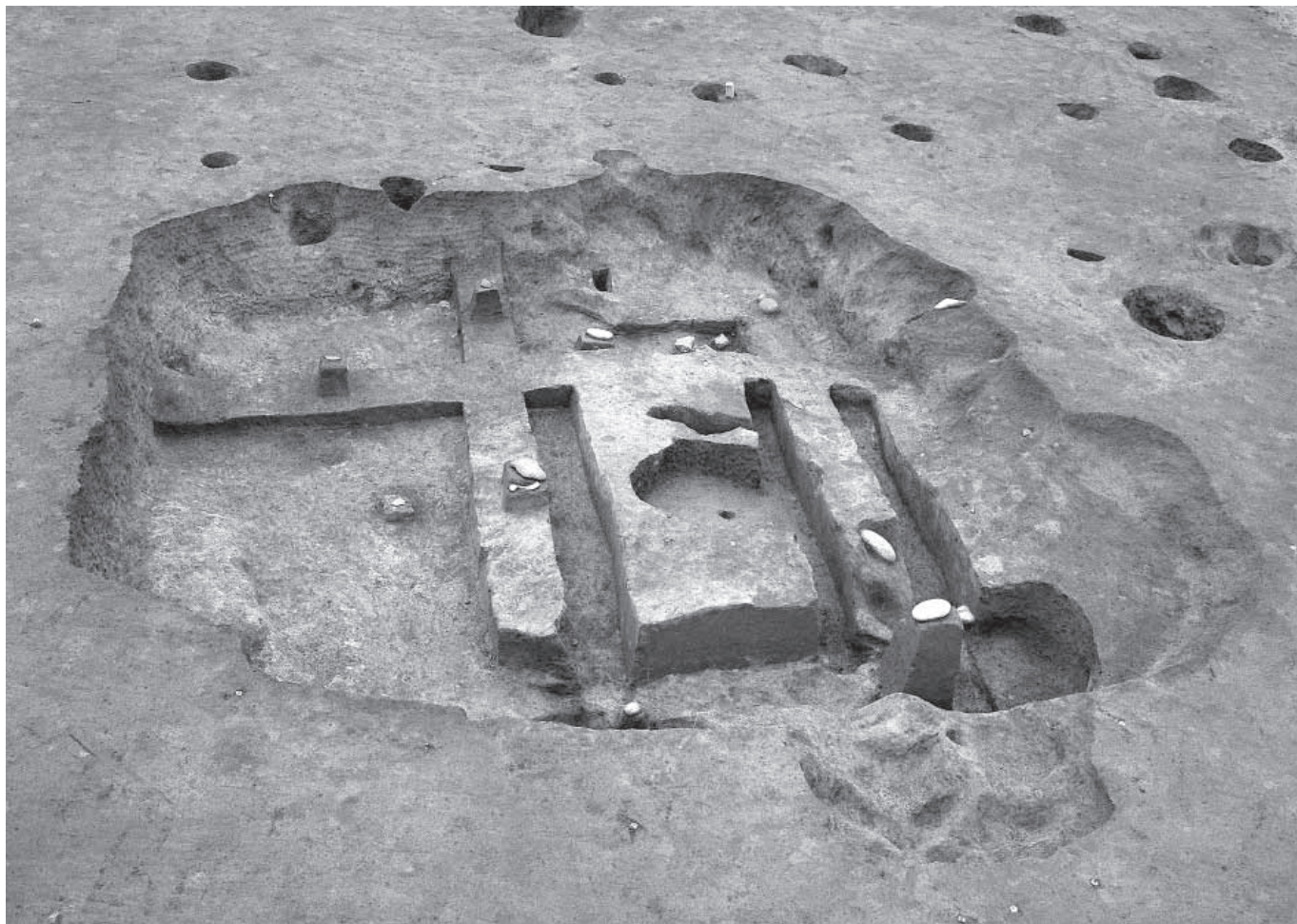
3. 6区9号住居内土坑全景(南から)



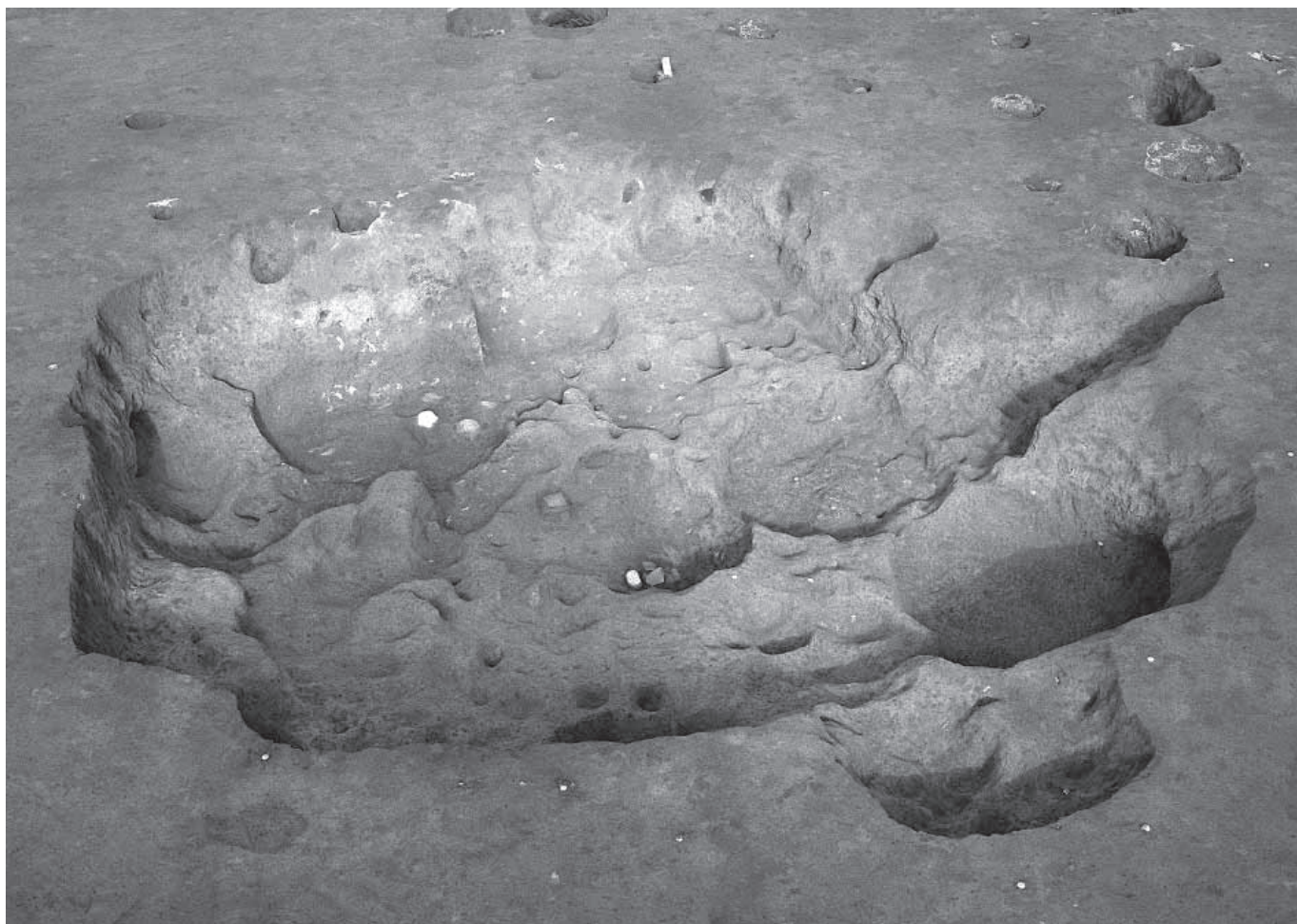
4. 6区10号住居カマド全景(南から)



5. 6区10号住居カマド掘り方全景(南から)



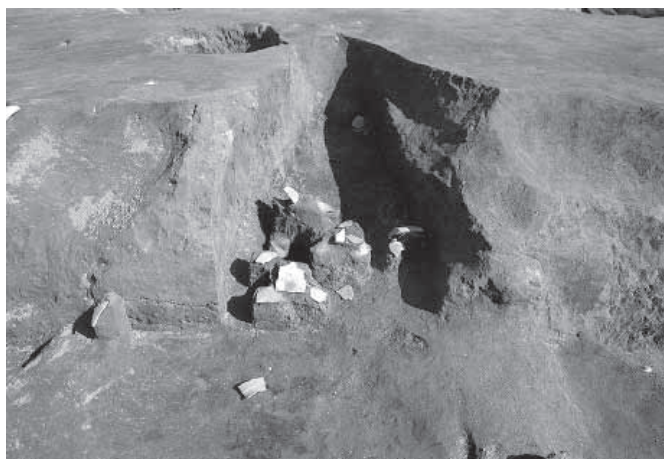
1. 6区10号住居全景(南から)



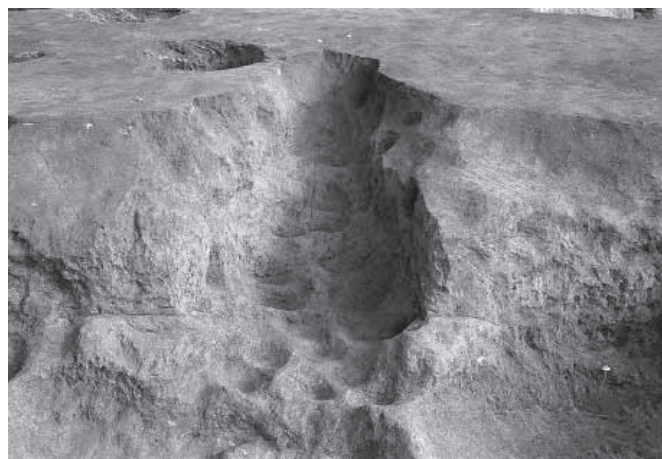
2. 6区10号住居掘り方全景(南から)



1. 6区11号住居全景(南西から)



2. 6区11号住居カマド全景(南西から)



3. 6区11号住居カマド掘り方全景(南西から)



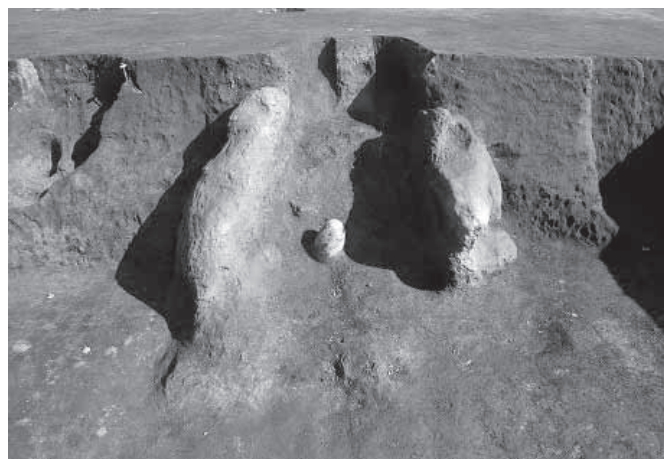
4. 6区11号住居掘り方全景(西から)



5. 6区12号住居カマド遺物出土状況(南西から)



1. 6区12号住居全景(南西から)



2. 6区12号住居カマド全景(南西から)



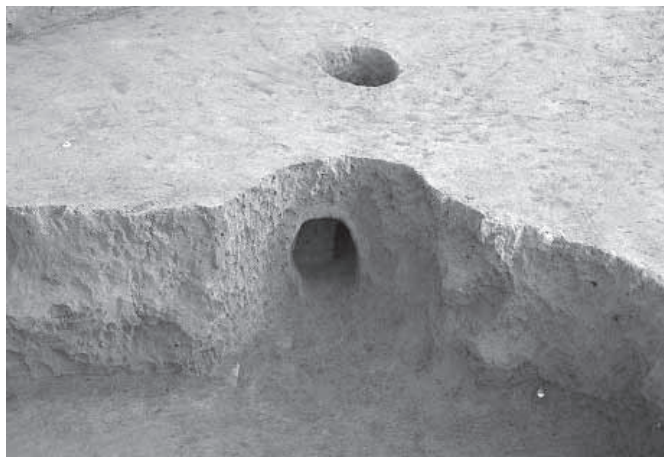
3. 6区12号住居カマド掘り方全景(南西から)



4. 6区12号住居掘り方全景(南西から)



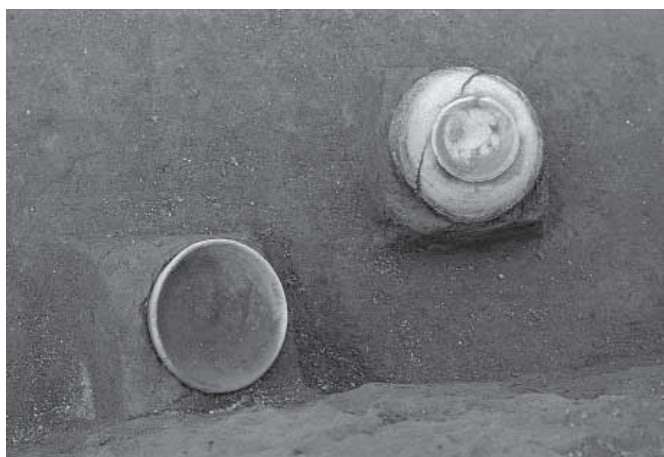
5. 6区13号住居全景(南西から)



1. 6区13号住居カマド全景(南西から)



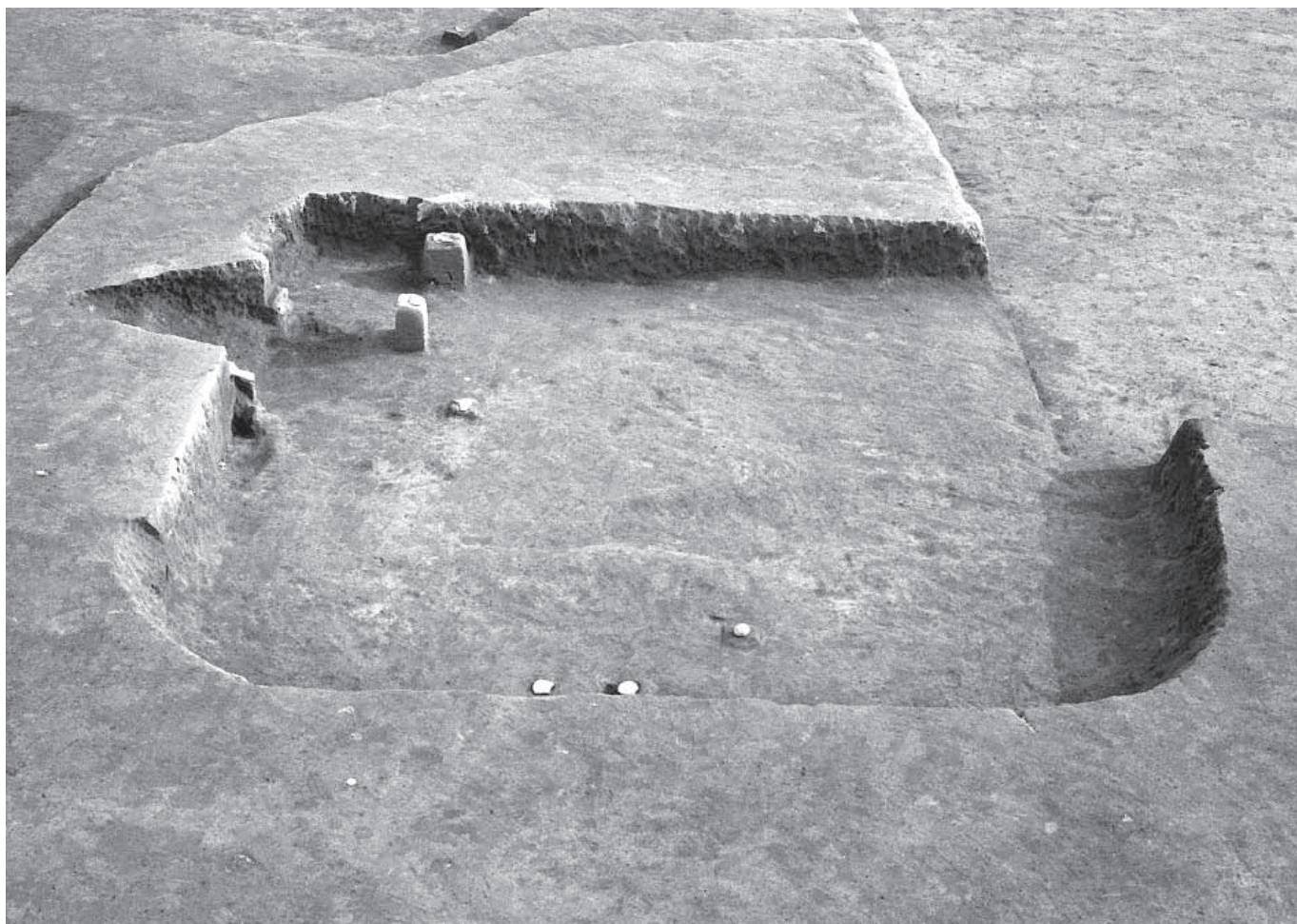
2. 6区13号住居カマド煙道部断割状況(南から)



3. 6区13号住居南壁際遺物出土状況(南から)



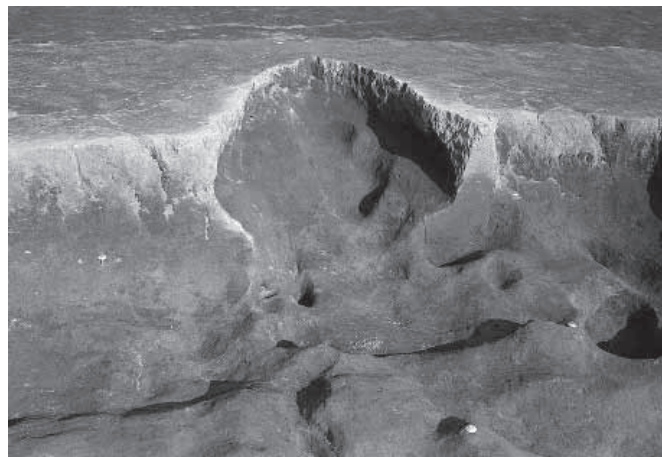
4. 6区13号住居掘り方全景(南西から)



5. 6区14号住居全景(北西から)



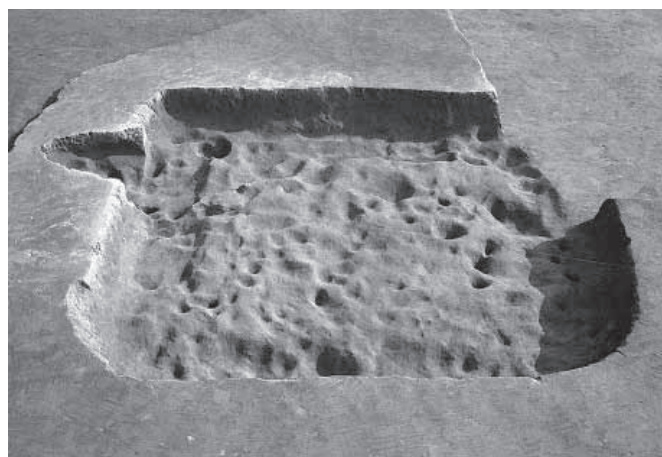
1. 6区14号住居カマド全景(南東から)



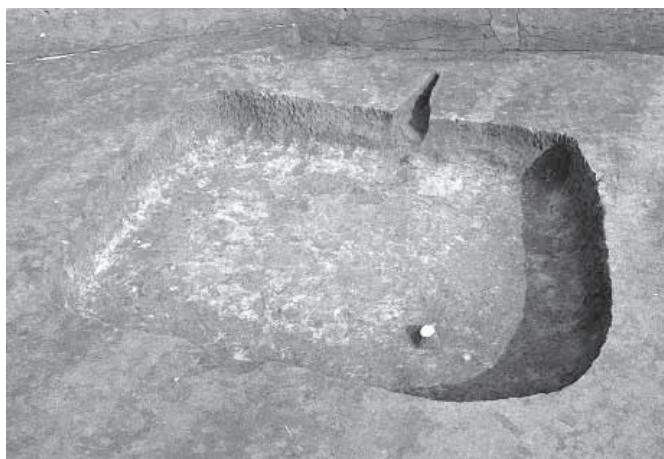
2. 6区14号住居カマド掘り方全景(南東から)



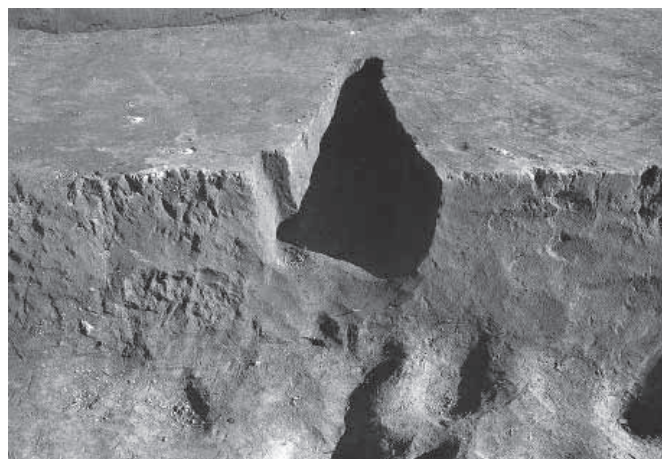
3. 6区14号住居貯蔵穴全景(南東から)



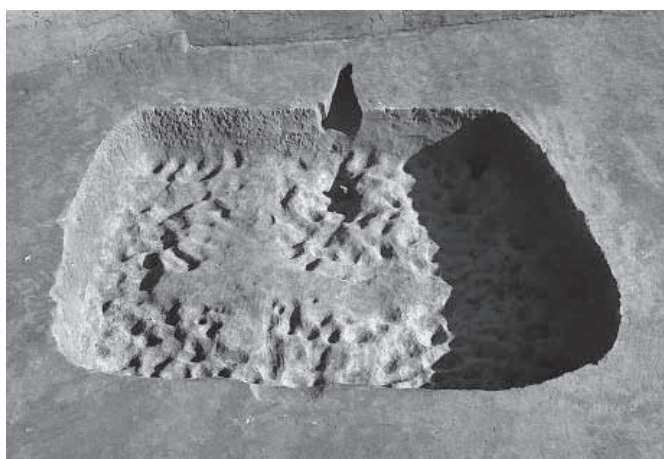
4. 6区14号住居掘り方全景(北西から)



5. 6区15号住居全景(南から)



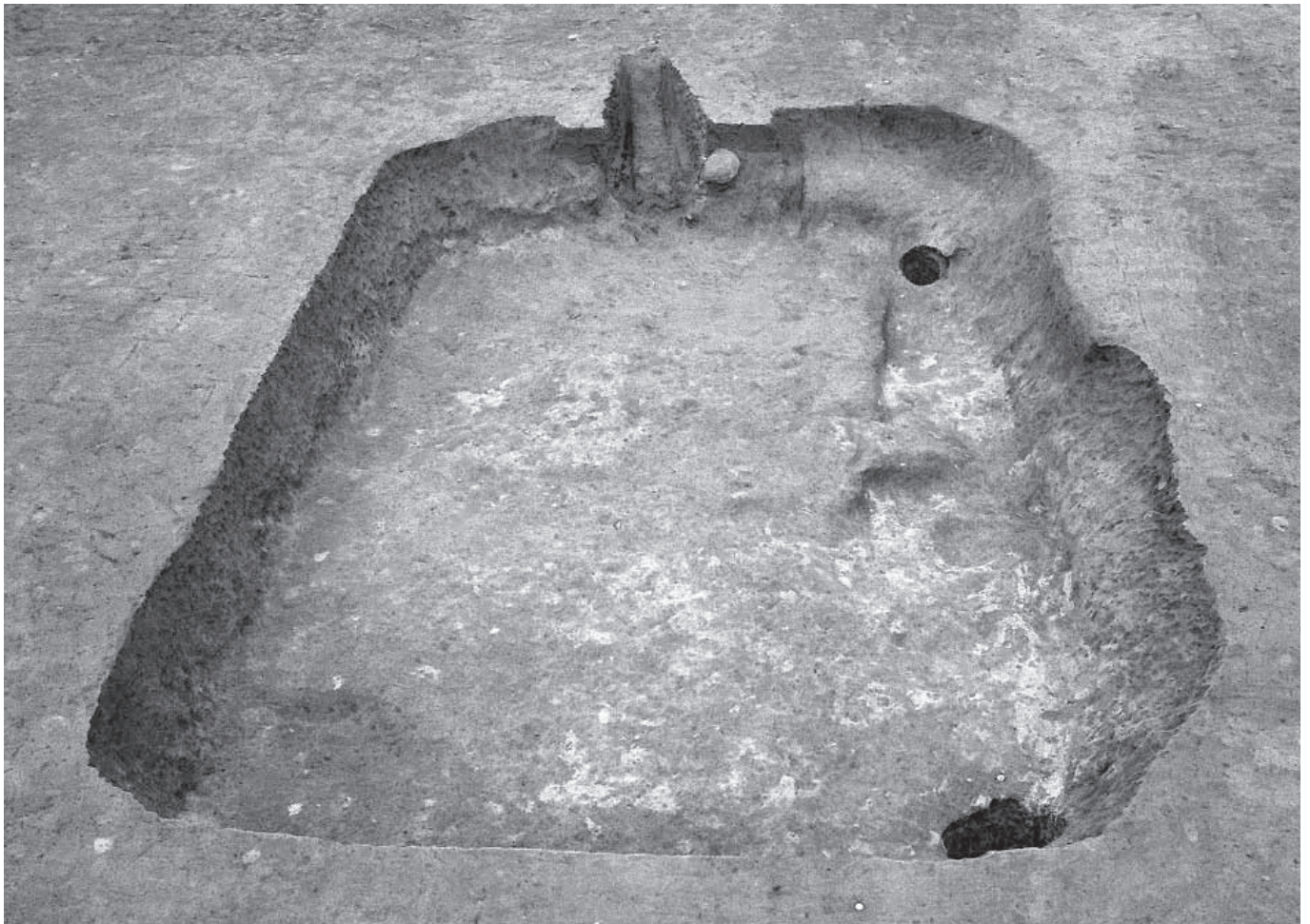
6. 6区15号住居カマド全景(南西から)



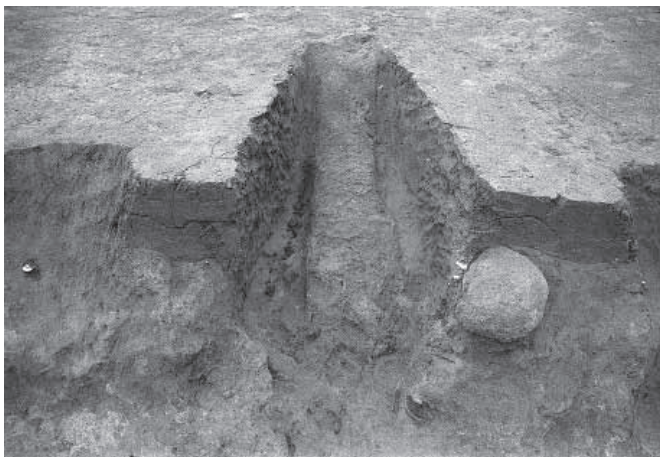
7. 6区15号住居掘り方全景(南西から)



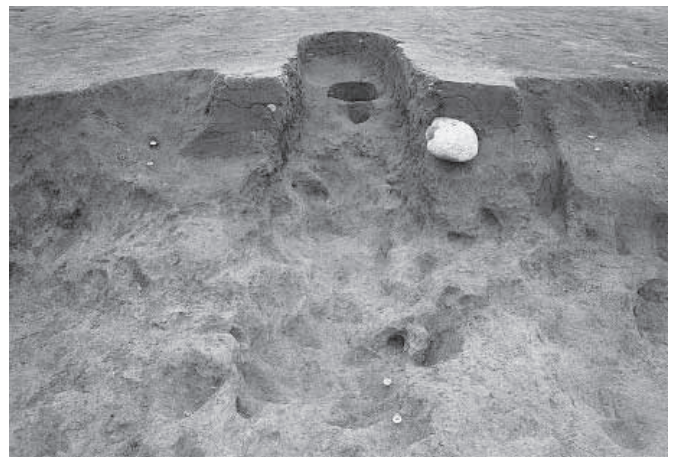
8. 6区16号住居遺物出土状況(北西から)



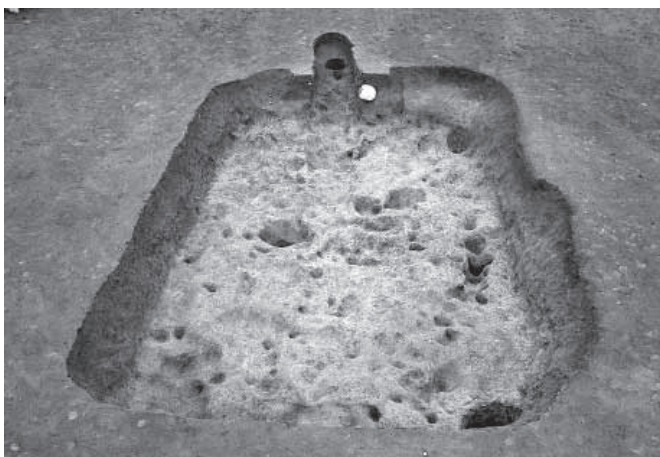
1. 6区16号住居全景(西から)



2. 6区16号住居カマド全景(西から)



3. 6区16号住居カマド掘り方全景(西から)



4. 6区16号住居掘り方全景(西から)



5. 6区17号住居遺物出土状況(南東から)



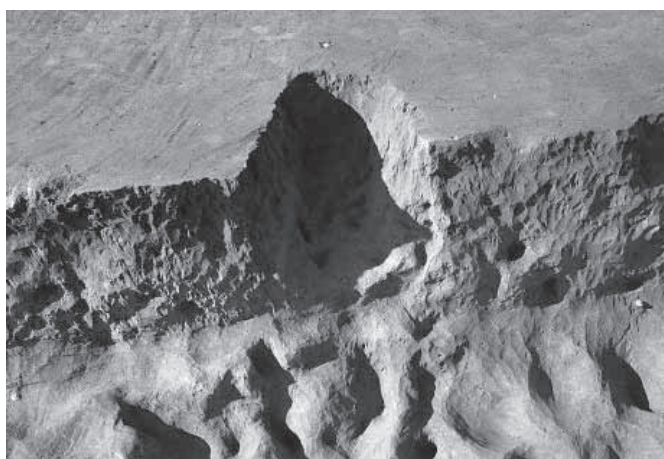
1. 6区17号住居全景(南東から)



2. 6区17号住居北西部遺物出土状況(北から)



3. 6区17号住居カマド全景(南東から)



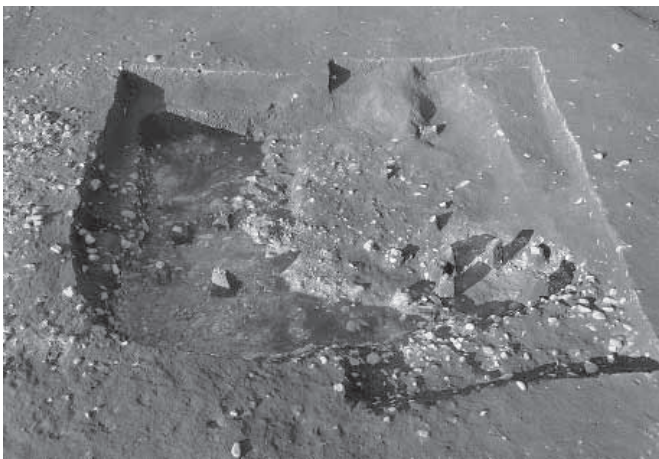
4. 6区17号住居カマド掘り方全景(南東から)



5. 6区17号住居掘り方全景(南東から)



1. 6区18号住居全景(南から)



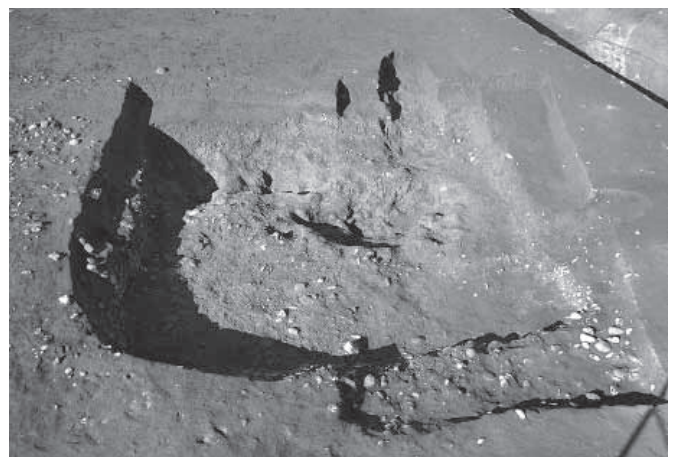
2. 6区18号住居遺物出土状況(南から)



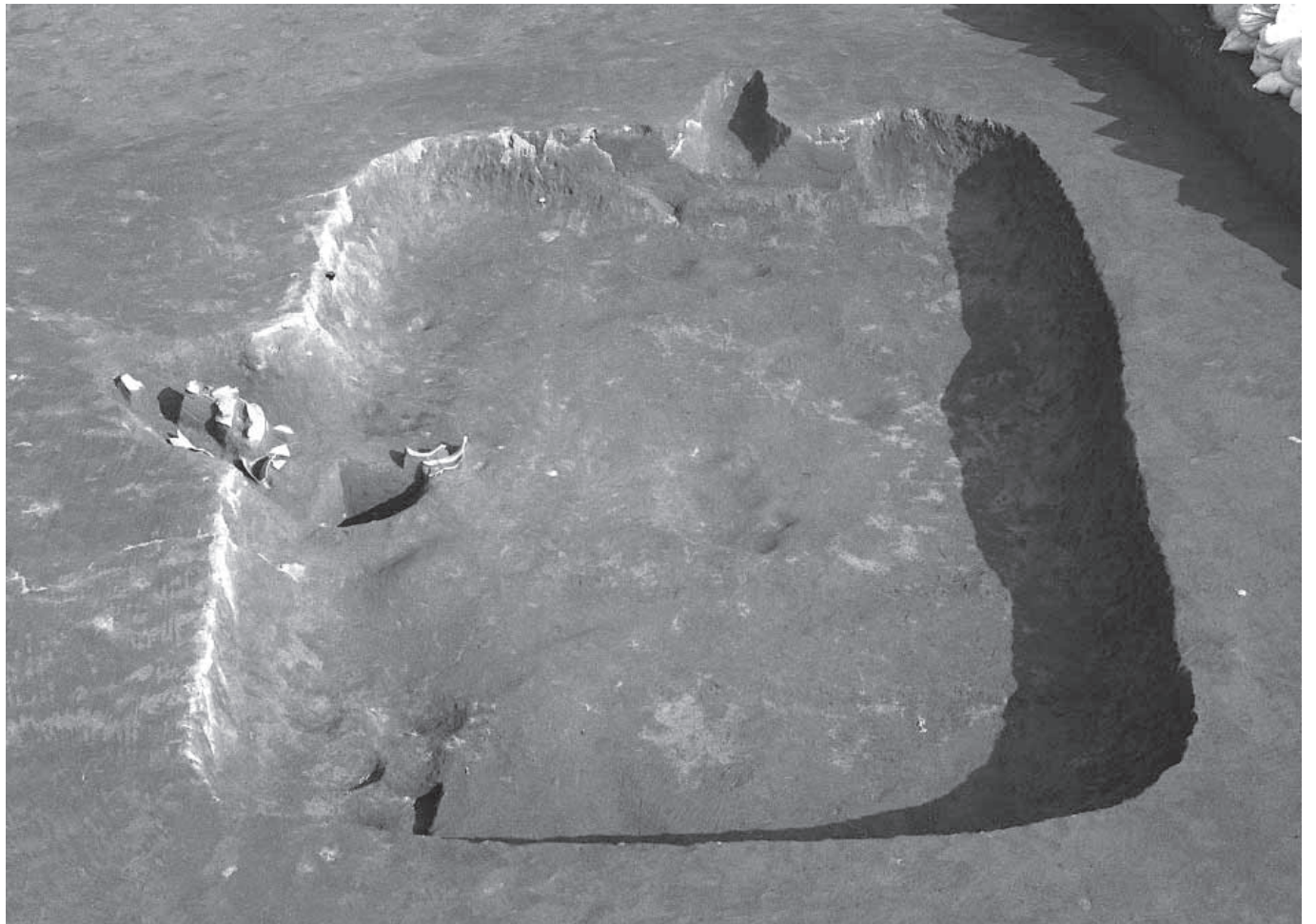
3. 6区18号住居北カマド全景(南から)



4. 6区18号住居東カマド全景(西から)



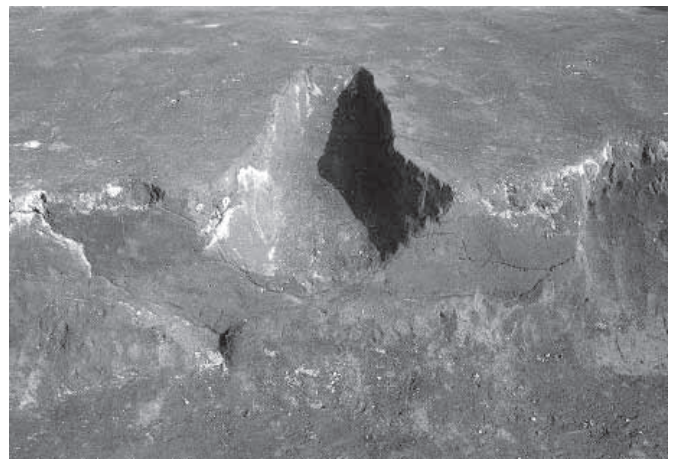
5. 6区18号住居掘り方全景(南から)



1. 6区19号住居全景(西から)



2. 6区19号住居北カマド全景(南から)



3. 6区19号住居東カマド全景(西から)



4. 6区19号住居床下遺物出土状況(西から)



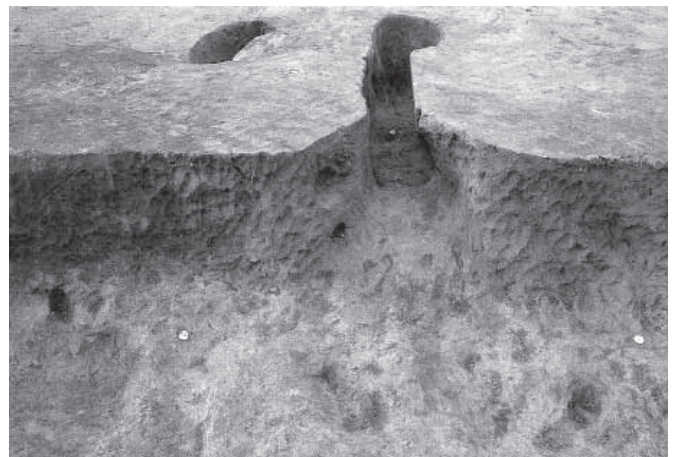
5. 6区19号住居掘り方全景(西から)



1. 6区20号住居全景(南東から)



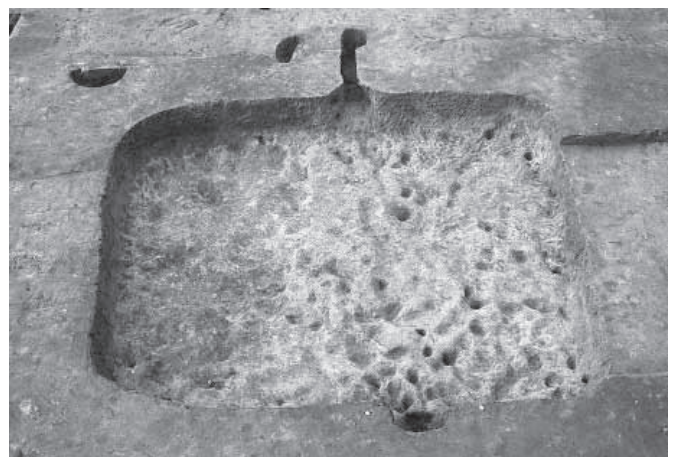
2. 6区20号住居カマド全景(南東から)



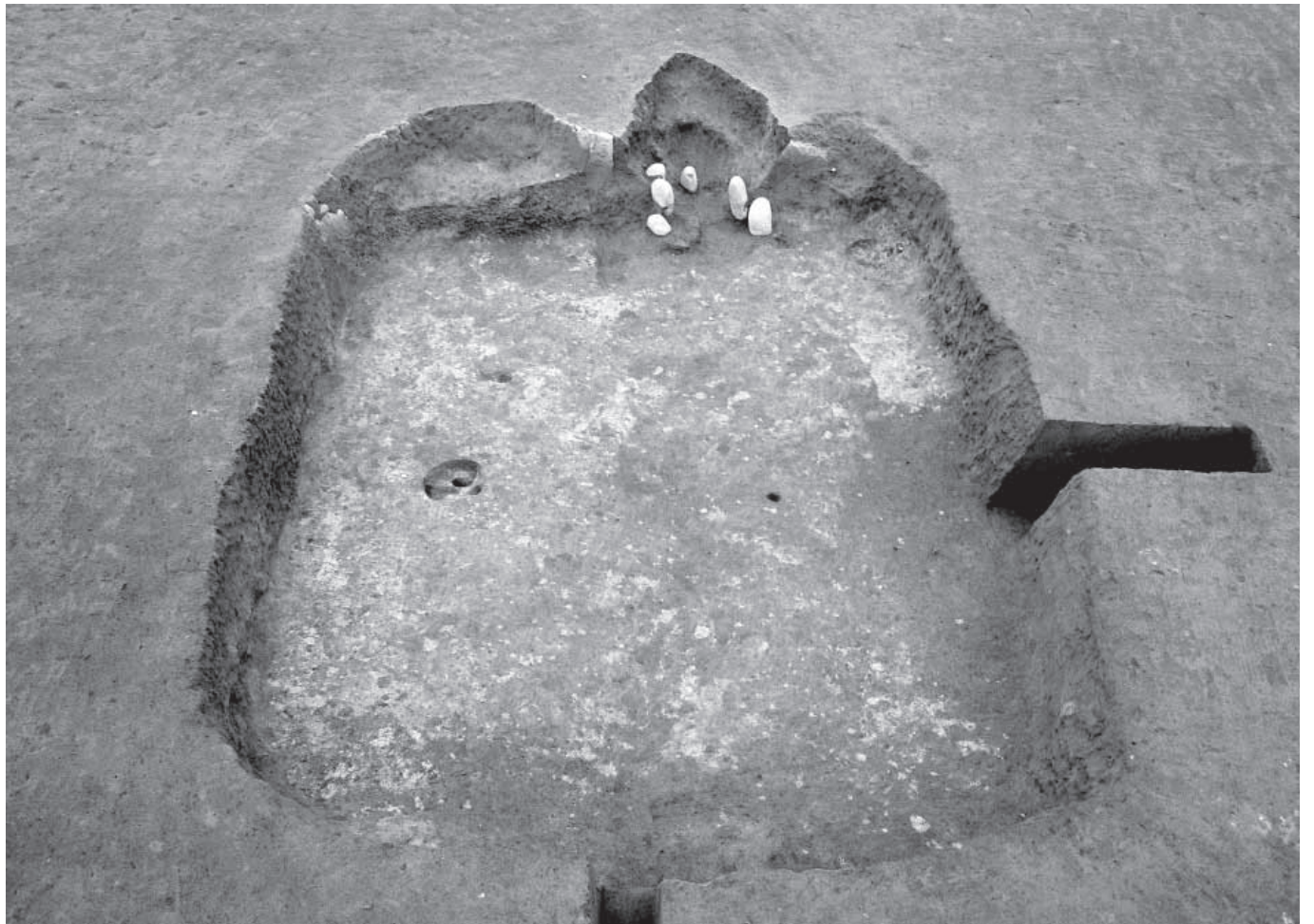
3. 6区20号住居カマド掘り方全景(南東から)



4. 6区20号住居遺物出土状況(南から)



5. 6区20号住居掘り方全景(南東から)



1. 6区21号住居全景(南西から)



2. 6区21号住居遺物出土状況(南西から)



3. 6区21号住居カマド全景(南西から)



4. 6区21号住居カマド掘り方全景(南西から)



5. 6区21号住居掘り方全景(南西から)



1. 6区22号住居全景(南西から)



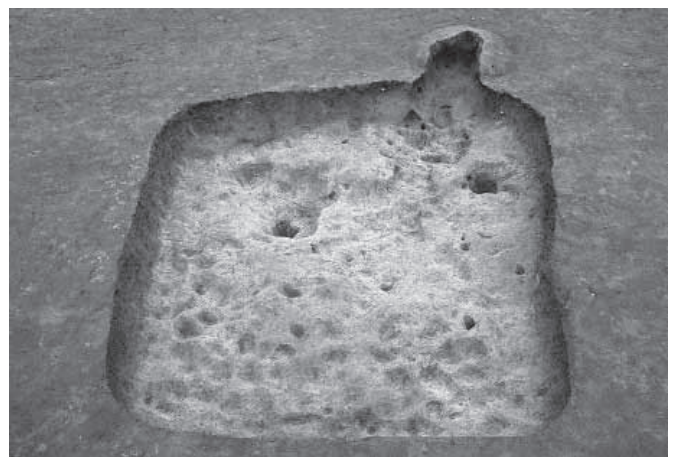
2. 6区22号住居カマド前遺物出土状況(南西から)



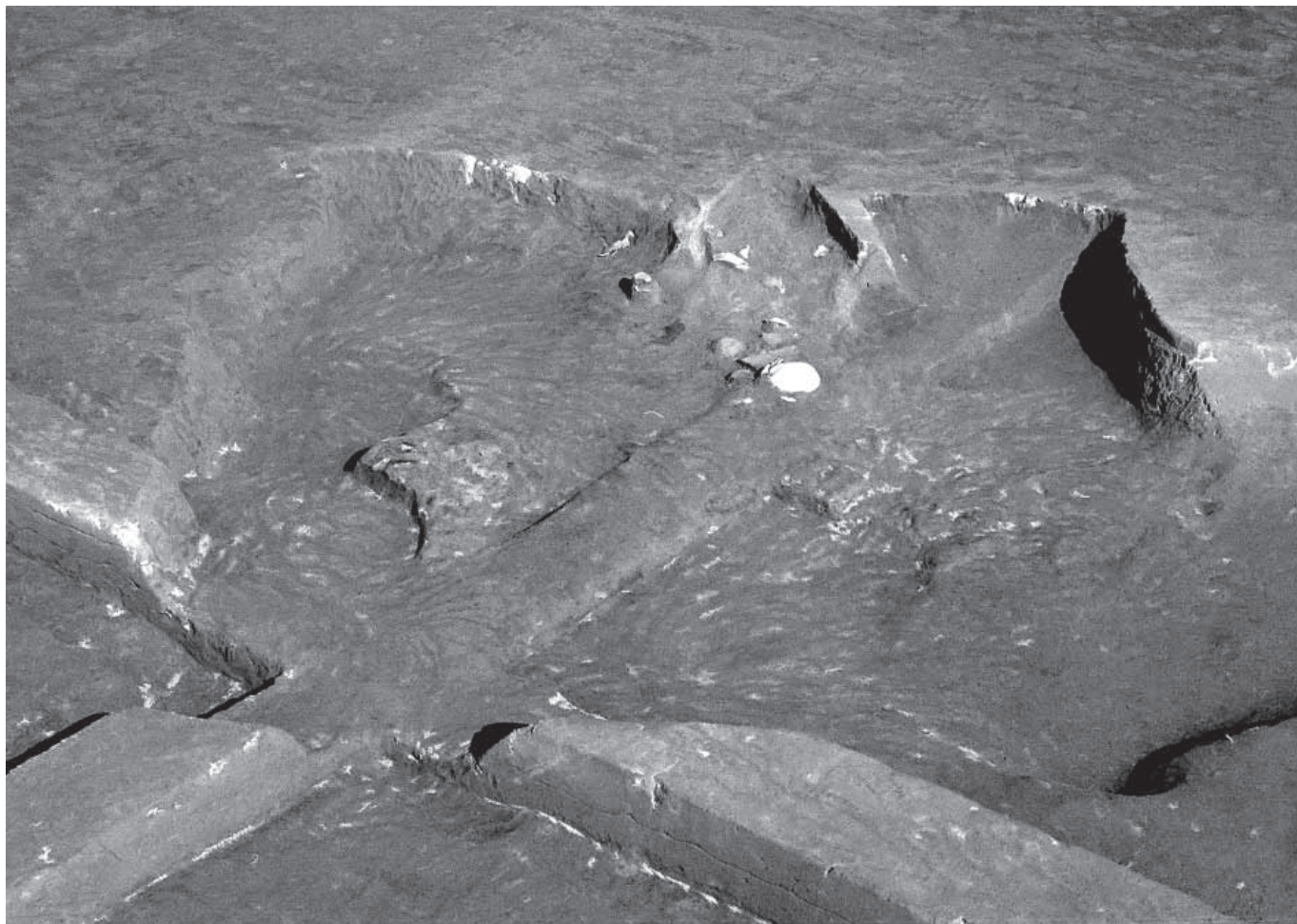
3. 6区22号住居カマド全景(南西から)



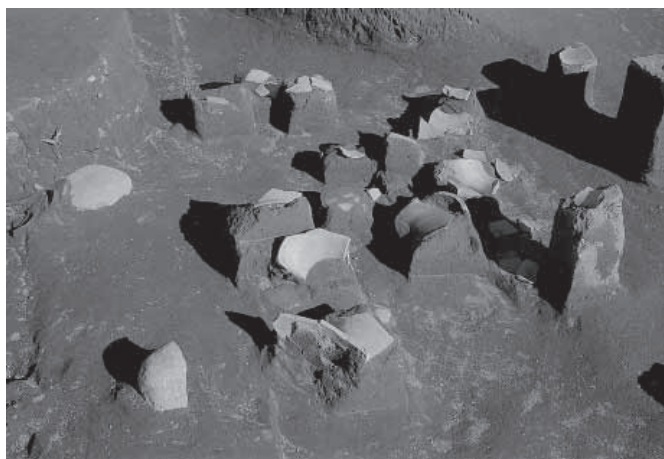
4. 6区22号住居カマド掘り方全景(南西から)



5. 6区22号住居掘り方全景(南西から)



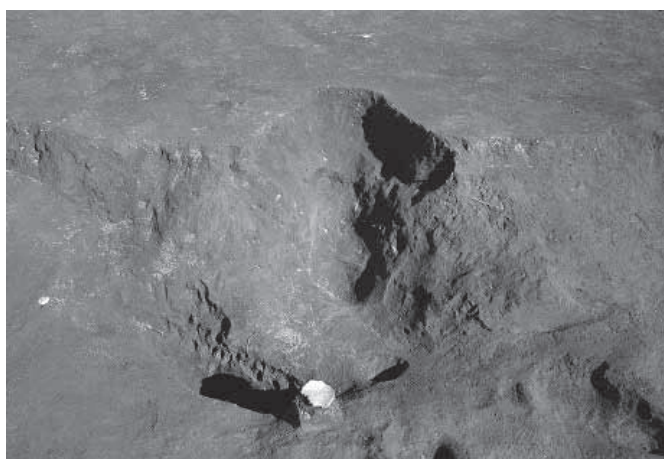
1. 6区23号住居全景(南から)



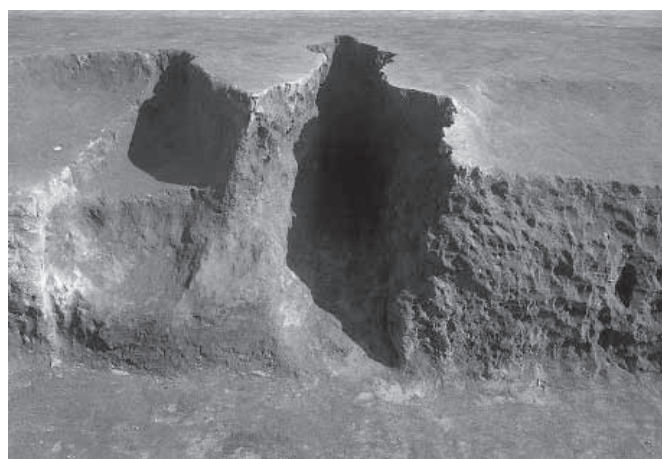
2. 6区23号住居東部遺物出土状況(南西から)



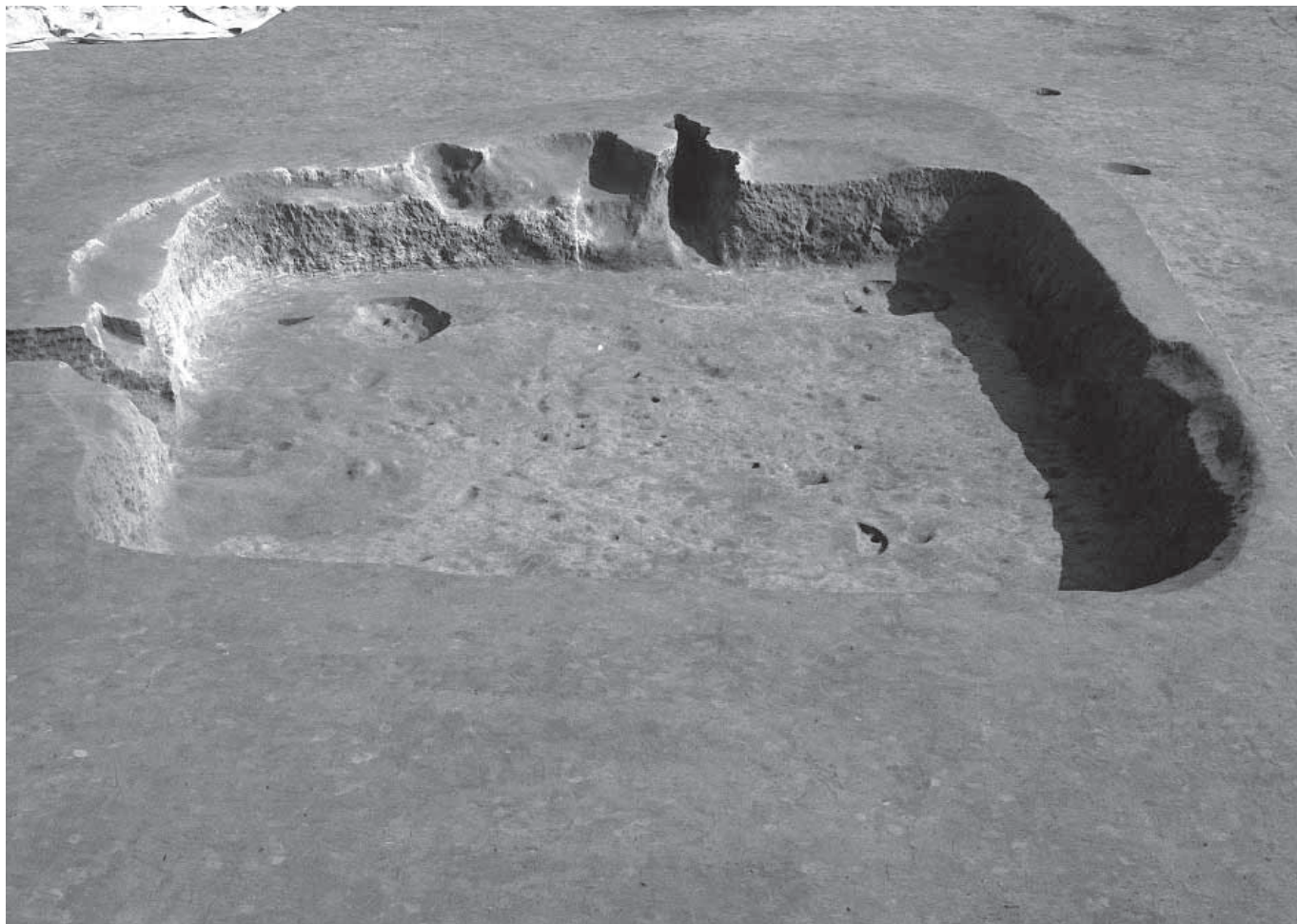
3. 6区23号住居カマド全景(南から)



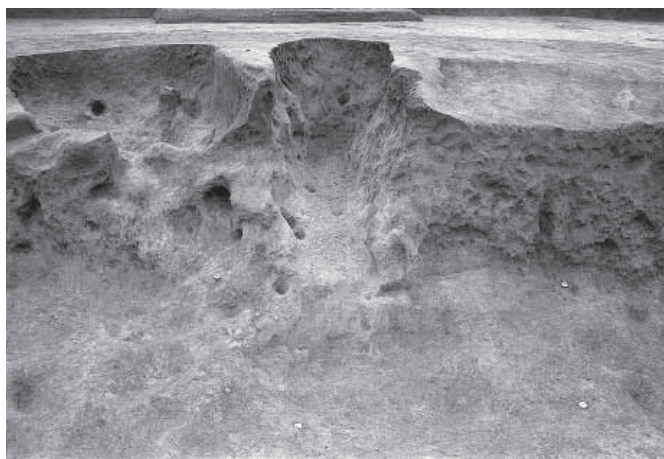
4. 6区23号住居カマド掘り方全景(南から)



5. 6区24号住居東カマド全景(南西から)



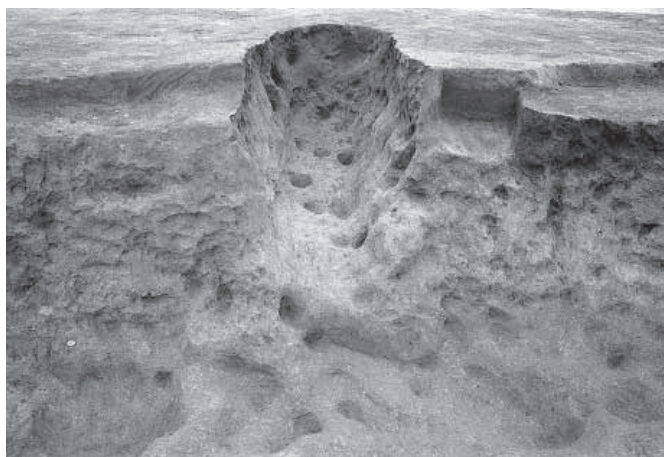
1. 6区24号住居全景(南西から)



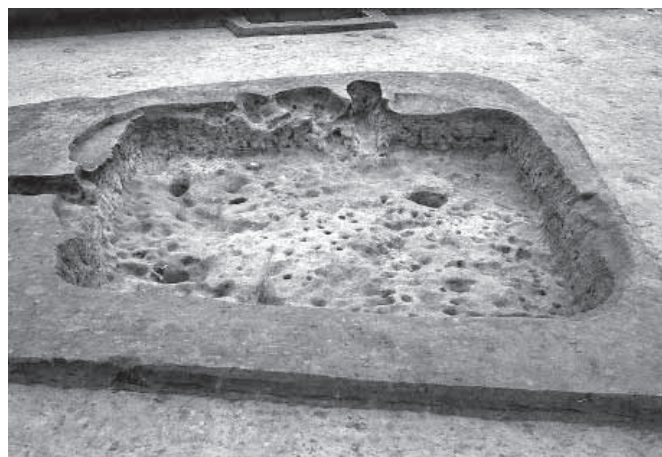
2. 6区24号住居東カマド掘り方全景(南西から)



3. 6区24号住居北カマド全景(南東から)



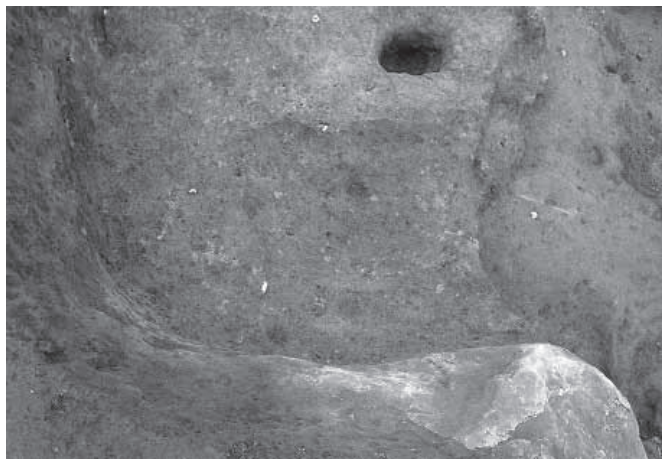
4. 6区24号住居北カマド掘り方全景(南東から)



5. 6区24号住居掘り方全景(南西から)



1. 6区25号住居全景(南西から)



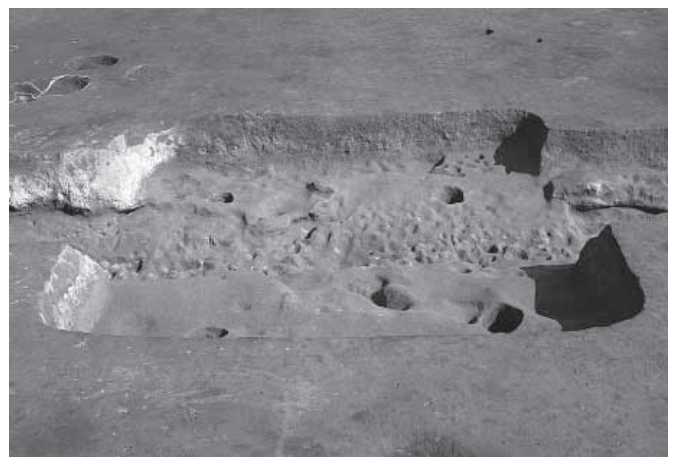
2. 6区25号住居貯蔵穴全景(北から)



3. 6区25号住居南壁際遺物出土状況(南から)



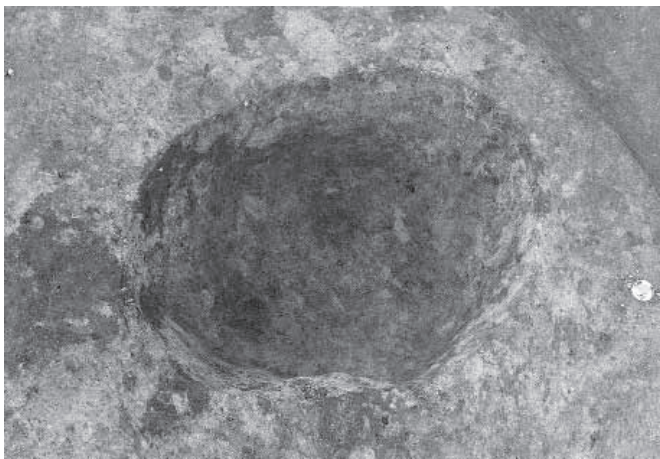
4. 6区25号住居北東部遺物出土状況(南から)



5. 6区25号住居掘り方全景(南西から)



1. 6区26号住居全景(南東から)



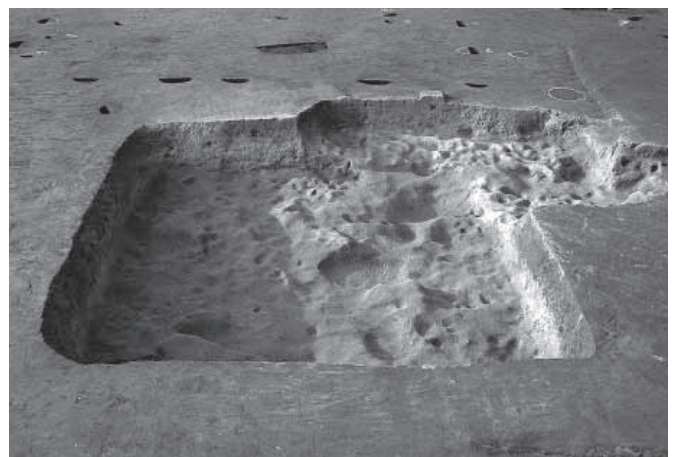
2. 6区26号住居貯蔵穴全景(南から)



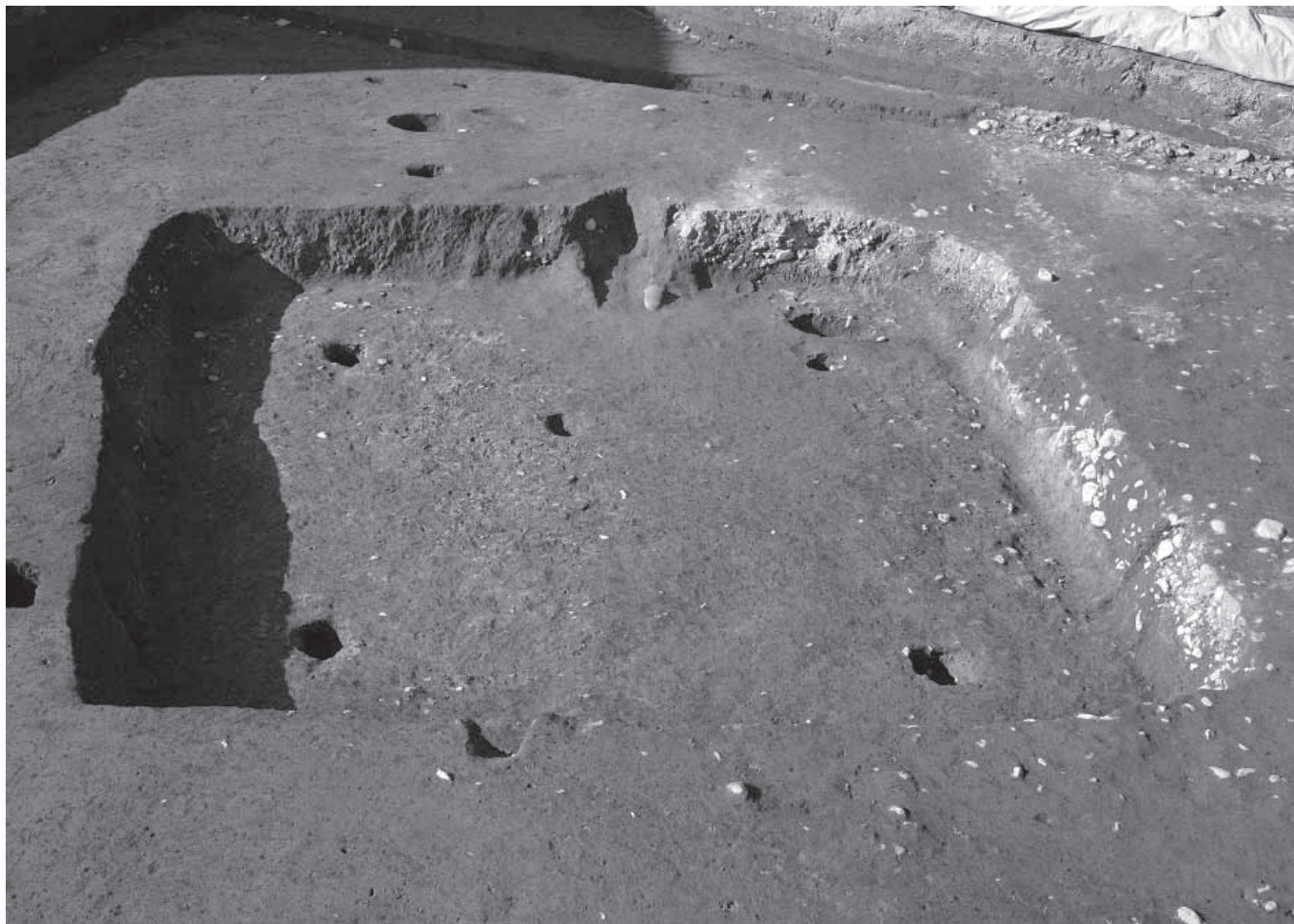
3. 6区26号住居カマド全景(南東から)



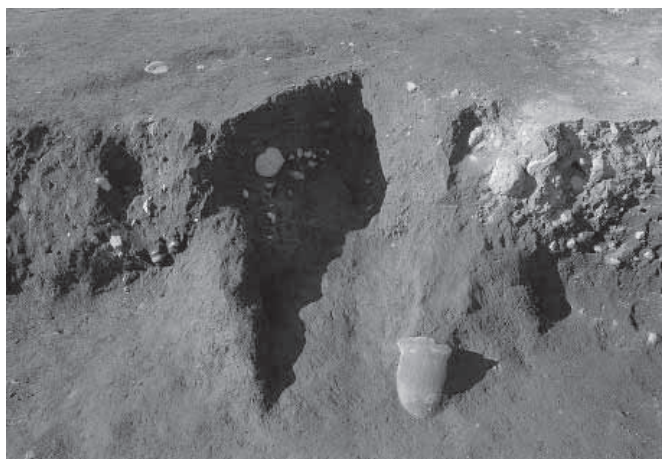
4. 6区26号住居カマド掘り方全景(南東から)



5. 6区26号住居掘り方全景(南東から)



1. 6区27号住居全景(南東から)



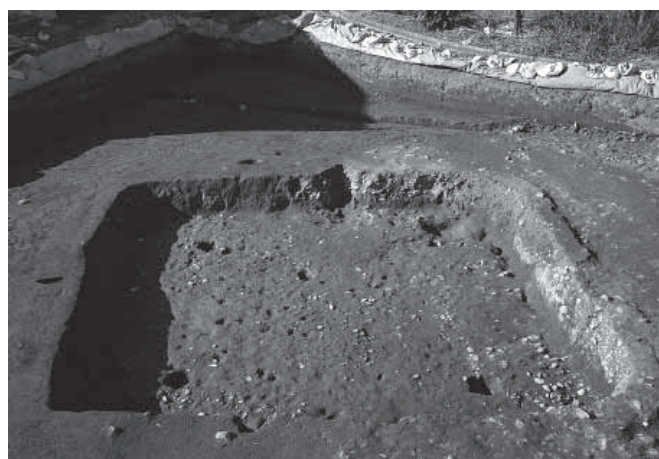
2. 6区27号住居カマド全景(南東から)



3. 6区27号住居カマド掘り方全景(南東から)



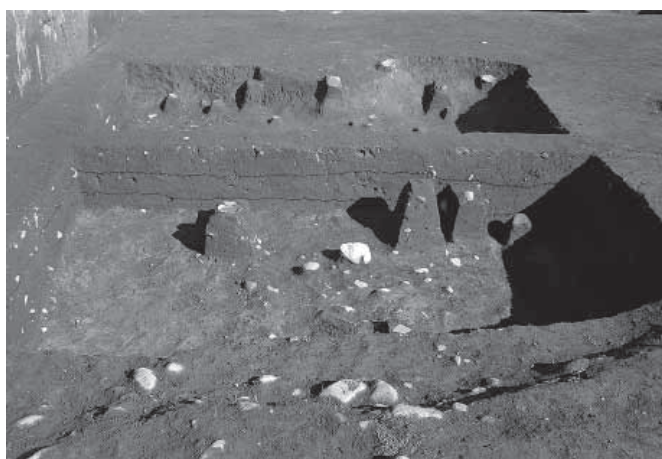
4. 6区27号住居遺物出土状況(南から)



5. 6区27号住居掘り方全景(南東から)



1. 6区28号住居全景(西から)



2. 6区28号住居セクション(西から)



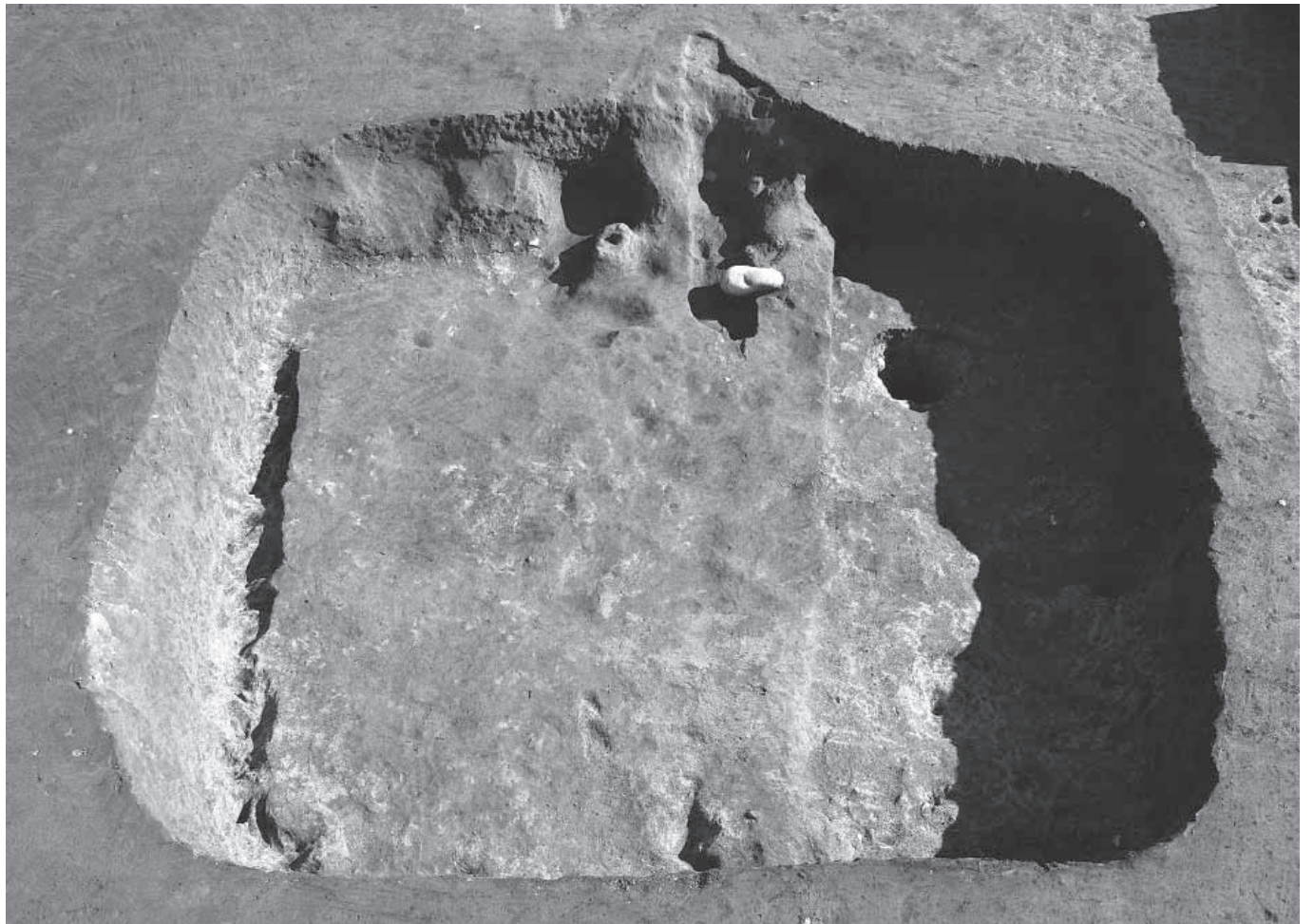
3. 6区28号住居遺物出土状況(西から)



4. 6区28号住居カマド全景(西から)



5. 6区28号住居掘り方全景(西から)



1. 6区29号住居全景(南西から)



2. 6区29号住居カマド遺物出土状況(南西から)



3. 6区29号住居カマド全景(南西から)



4. 6区29号住居貯蔵穴全景(西から)



5. 6区29号住居掘り方全景(南西から)



1. 6区30号住居全景(南から)



2. 6区30号住居遺物出土状況(南東から)



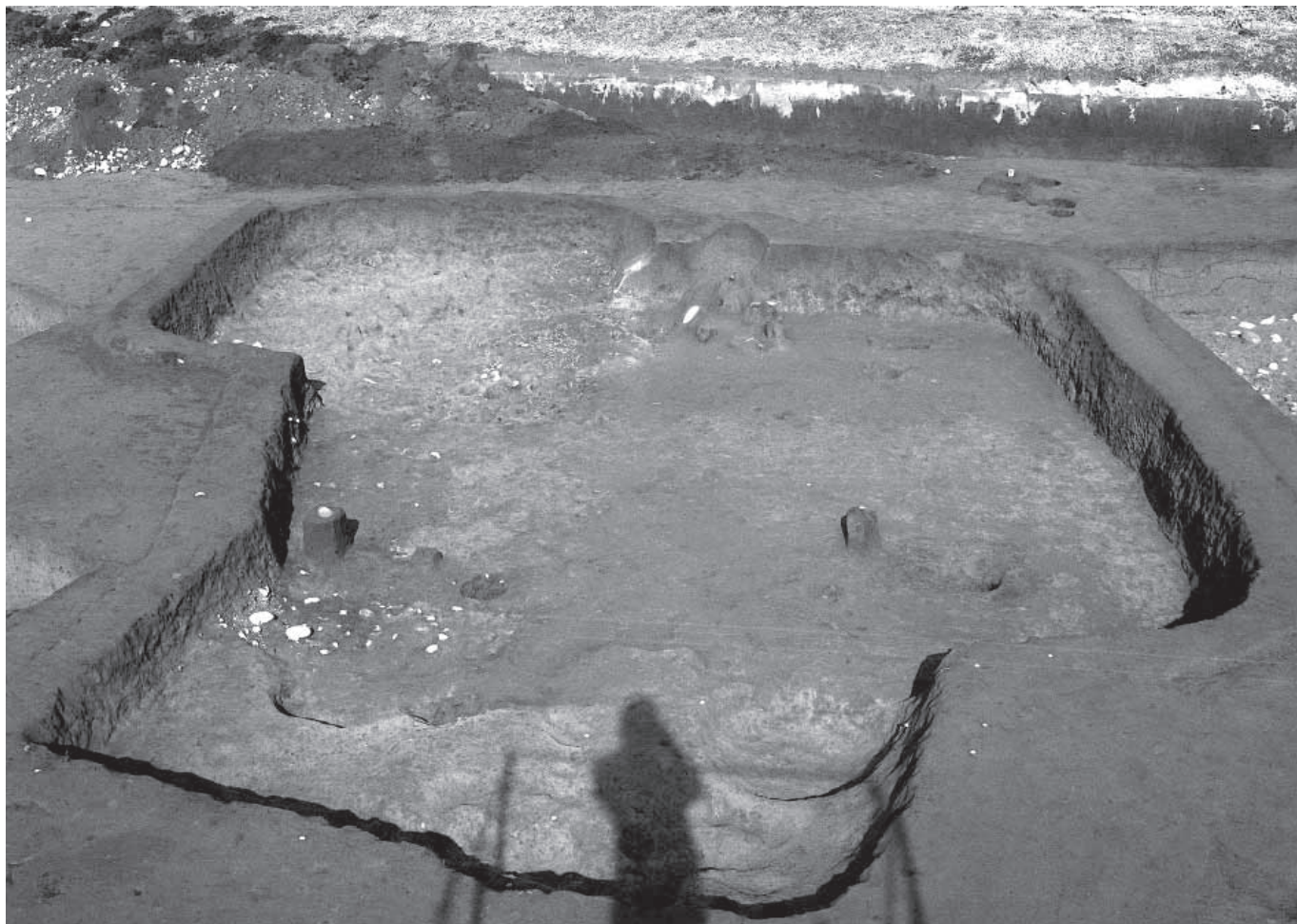
3. 6区30号住居カマド全景(南から)



4. 6区30号住居2号ピット遺物出土状況(南から)



5. 6区30号住居掘り方全景(南から)



1. 6区31号住居全景(南東から)



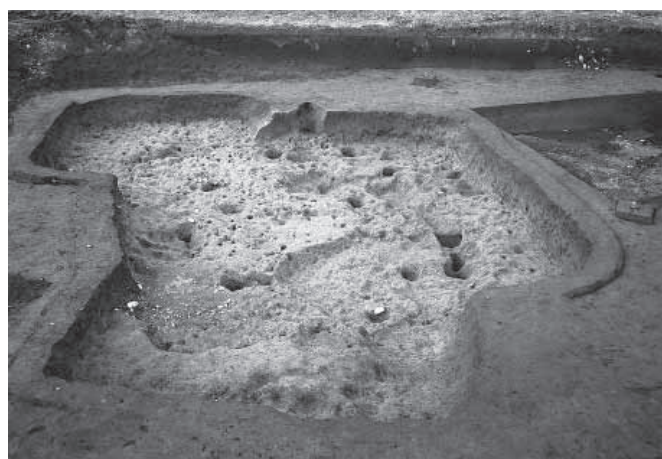
2. 6区31号住居カマド全景(南東から)



3. 6区31号住居カマド遺物出土状況(南東から)



4. 6区31号住居カマド遺物出土状況(西から)



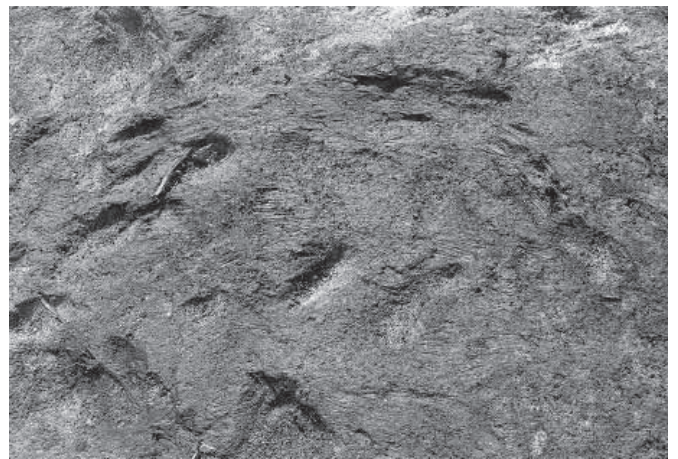
5. 6区31号住居掘り方全景(南東から)



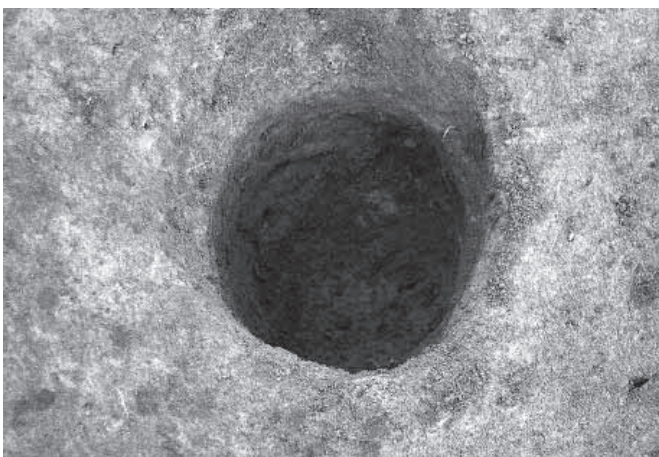
1. 6区32号住居全景(南西から)



2. 6区32号住居炭化物出土状況(南から)



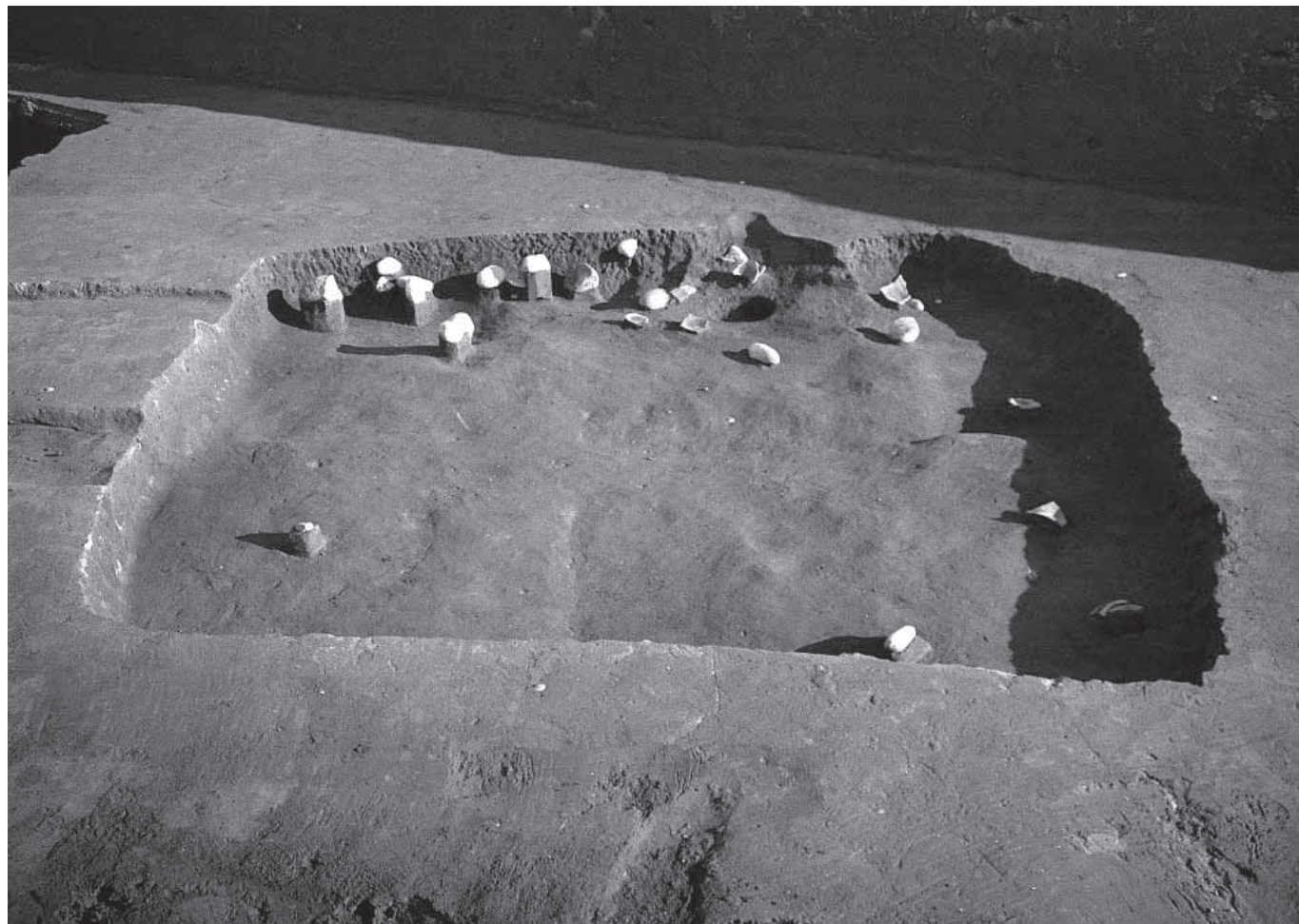
3. 6区32号住居炭化物出土状況



4. 6区32号住居内ピット全景(南から)



5. 6区32号住居掘り方全景(南西から)



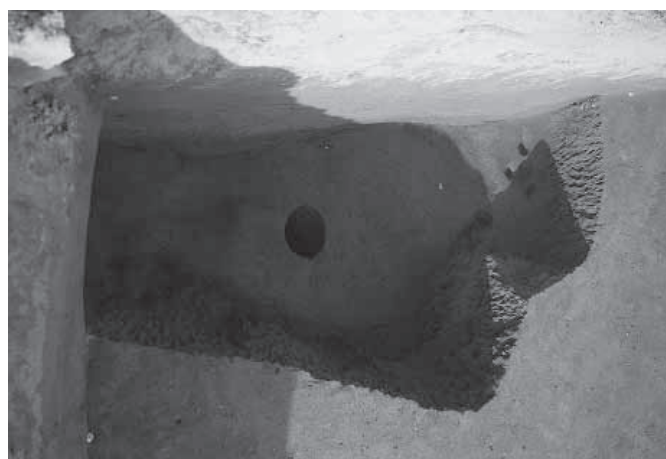
1. 6区33号住居全景(北西から)



2. 6区33号住居掘り方全景(北西から)



3. 6区34・35号住居全景(西から)



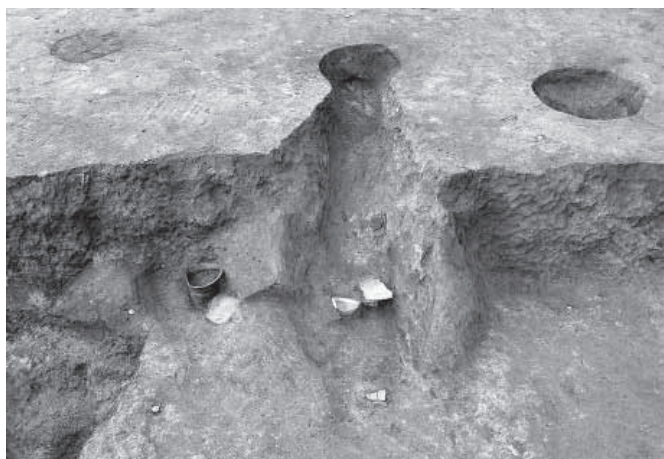
4. 6区34・35号住居掘り方全景(西から)



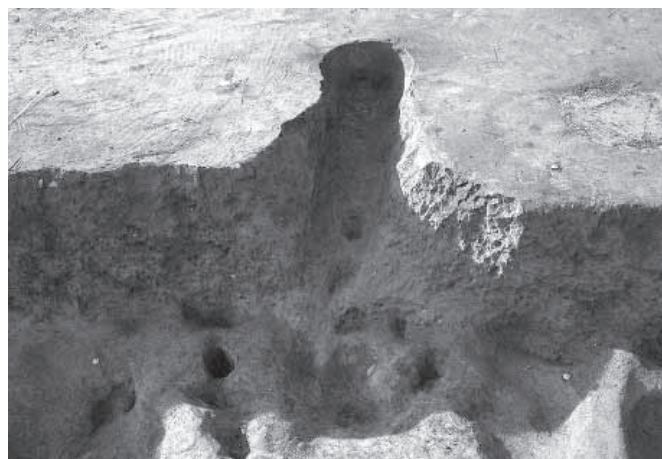
5. 6区36号住居東壁際遺物出土状況(南西から)



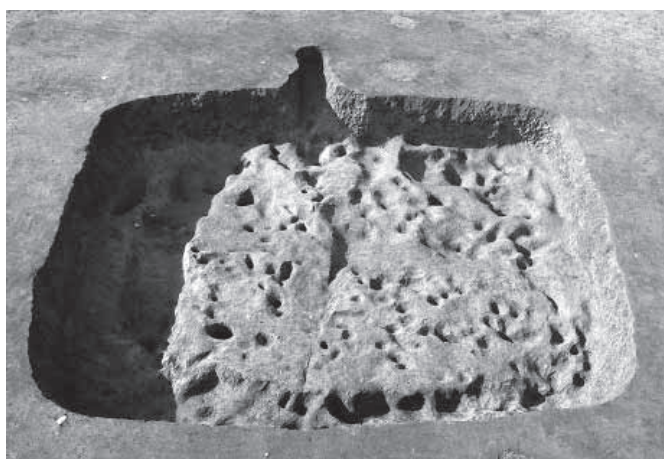
1. 6区36号住居全景(南東から)



2. 6区36号住居カマド全景(南東から)



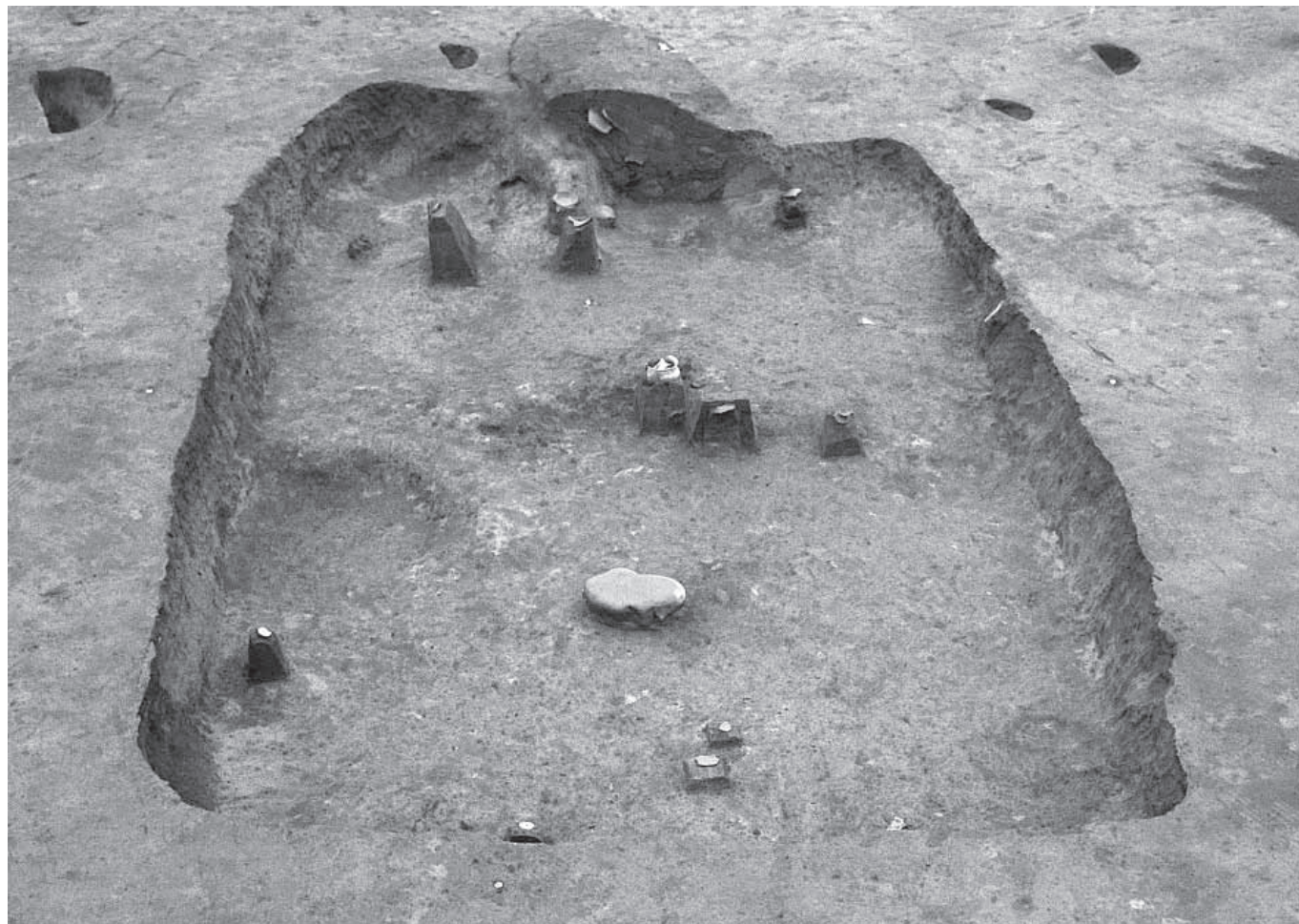
3. 6区36号住居カマド掘り方全景(南東から)



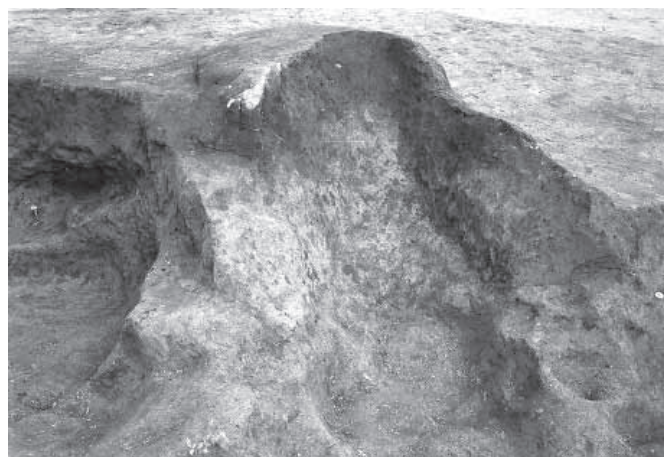
4. 6区36号住居掘り方全景(南東から)



5. 6区37号住居カマド全景(西から)



1. 6区37号住居全景(西から)



2. 6区37号住居カマド掘り方全景(西から)



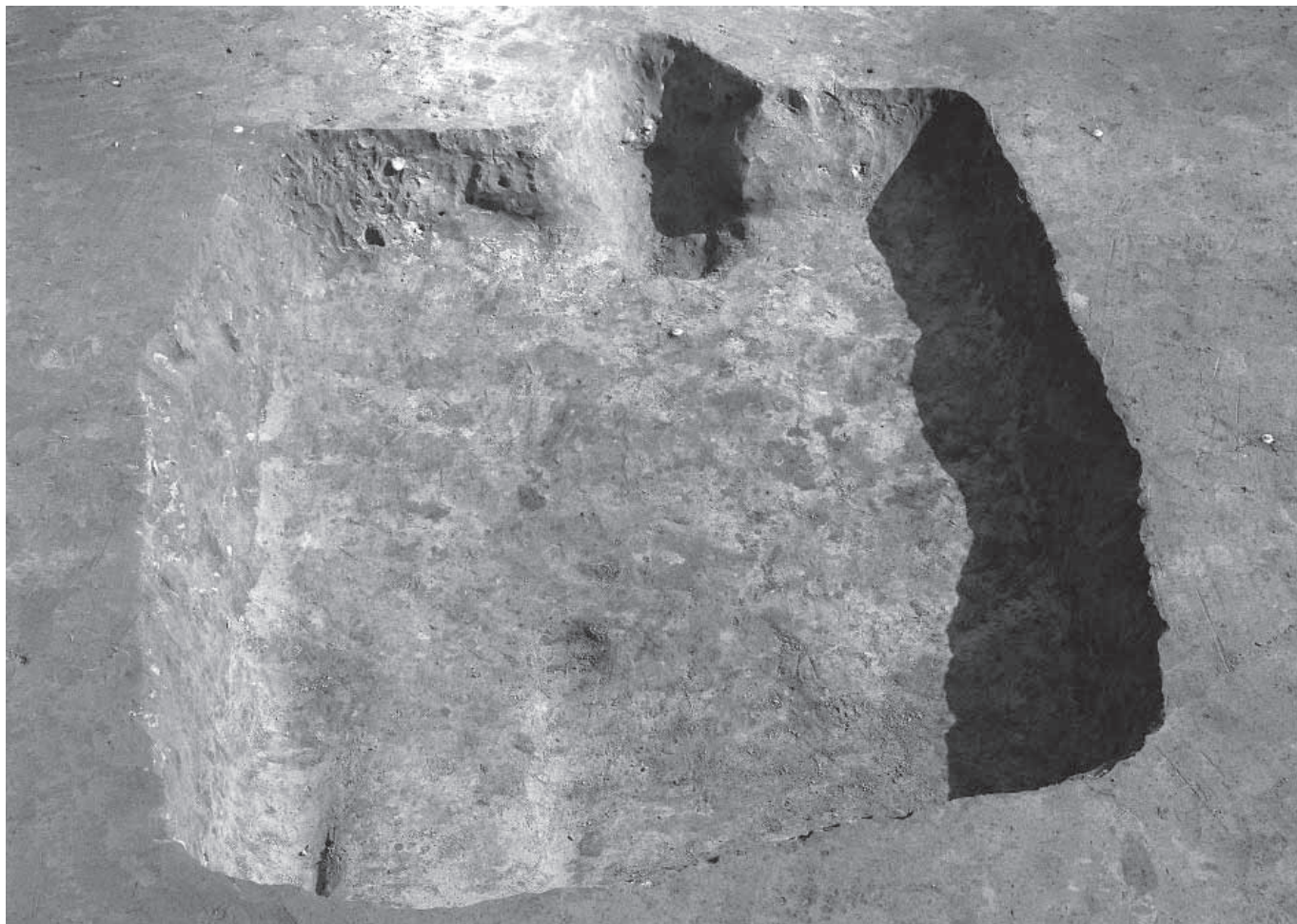
3. 6区37号住居貯蔵穴全景(西から)



4. 6区37号住居紡錘車出土状況(南から)



5. 6区37号住居掘り方全景(西から)



1. 6区38号住居全景(西から)



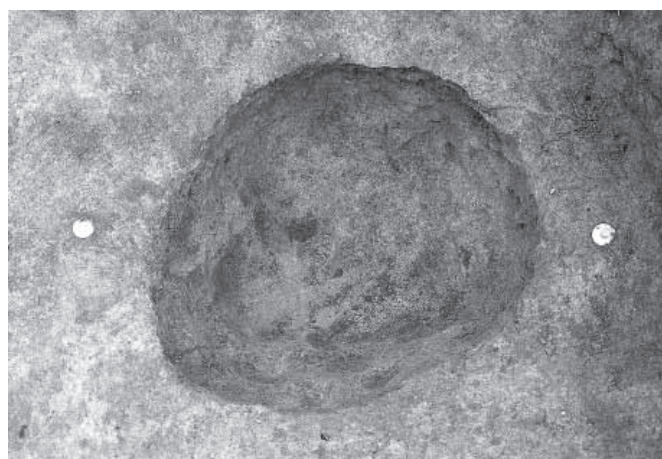
2. 6区38号住居遺物出土状況(西から)



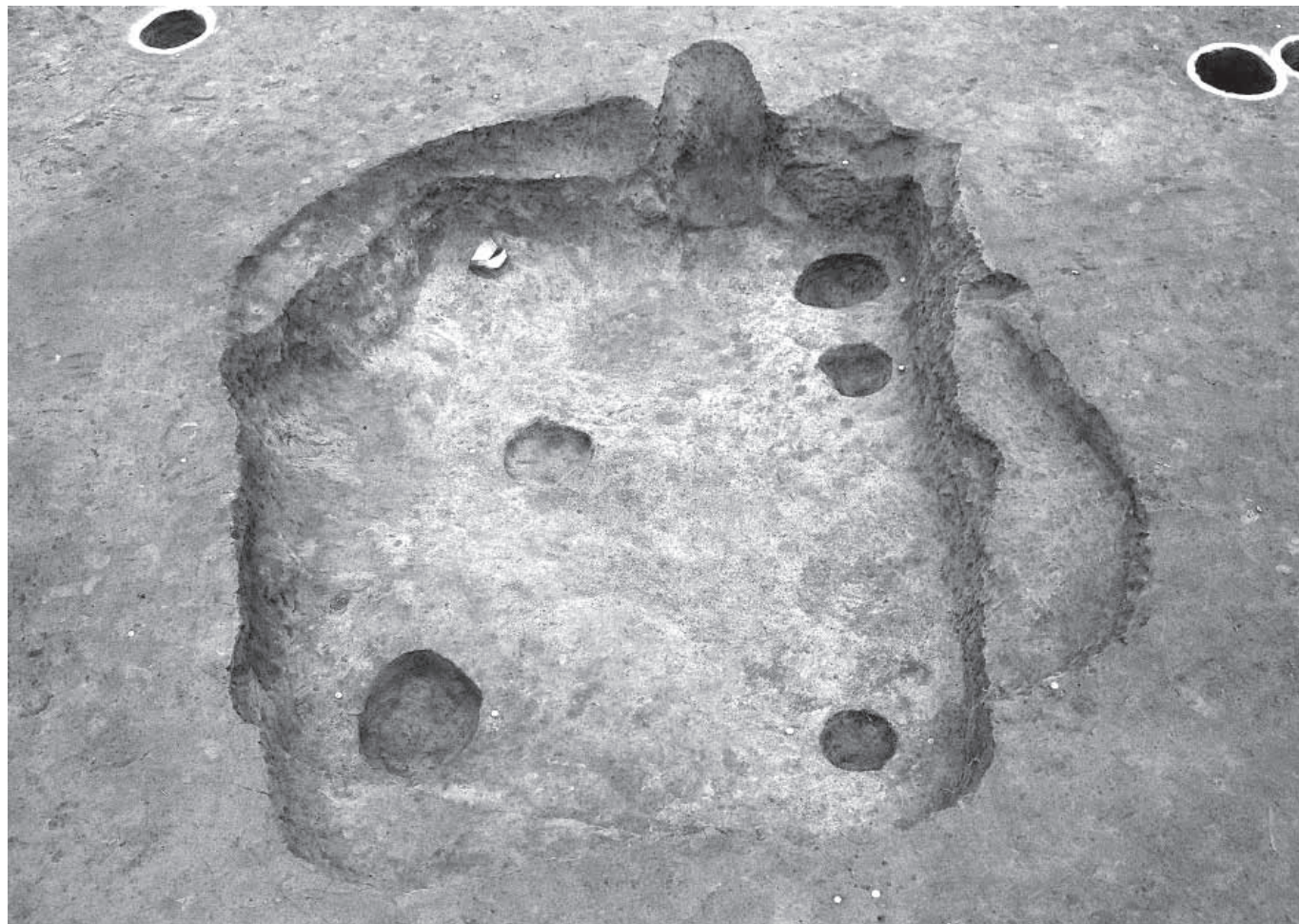
3. 6区38号住居カマド掘り方全景(西から)



4. 6区38号住居掘り方全景(西から)



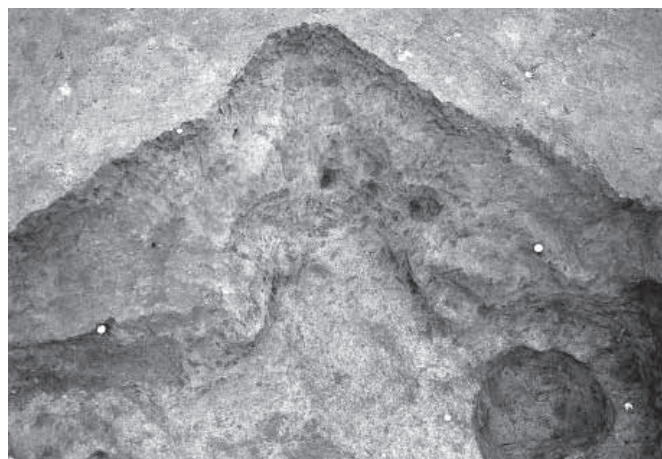
5. 6区39号住居貯蔵穴全景(西から)



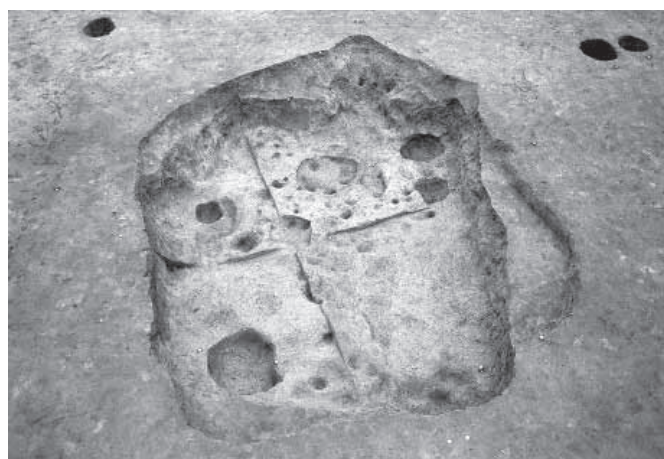
1. 6区39号住居全景(西から)



2. 6区39号住居カマド全景(西から)



3. 6区39号住居カマド掘り方全景(西から)



4. 6区39号住居掘り方全景(西から)



5. 6区40号住居カマド遺物出土状況(南西から)



1. 6区40号住居全景(南西から)



2. 6区40号住居カマド全景(南西から)



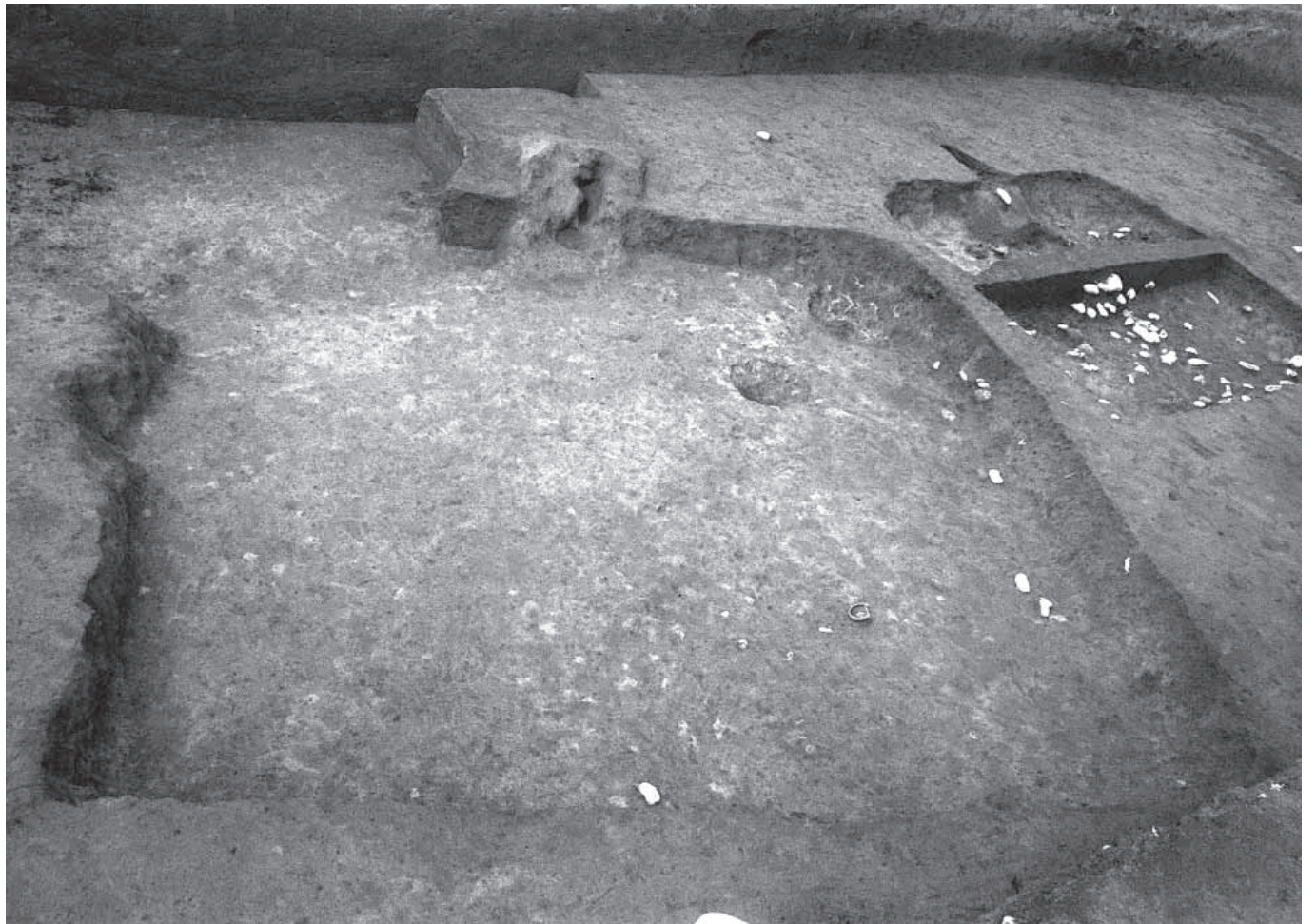
3. 6区40号住居カマド支脚出土状況(東から)



4. 6区40号住居カマド掘り方全景(南西から)



5. 6区40号住居掘り方全景(南西から)



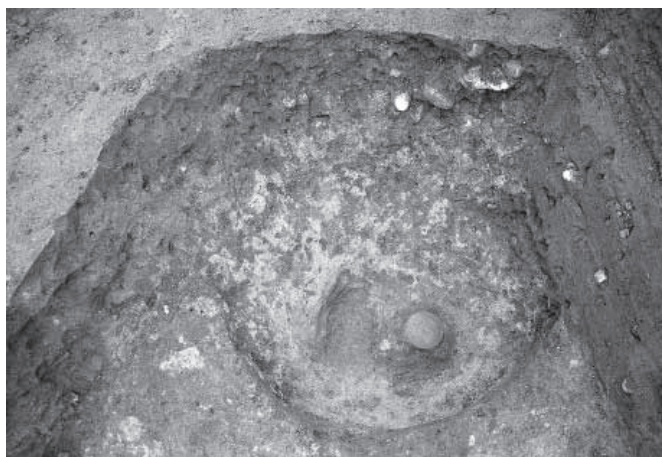
1. 6区41号住居全景(南東から)



2. 6区41号住居カマド全景(南東から)



3. 6区41号住居カマド掘り方全景(南東から)



4. 6区41号住居貯蔵穴全景(西から)



5. 6区41号住居掘り方全景(南東から)



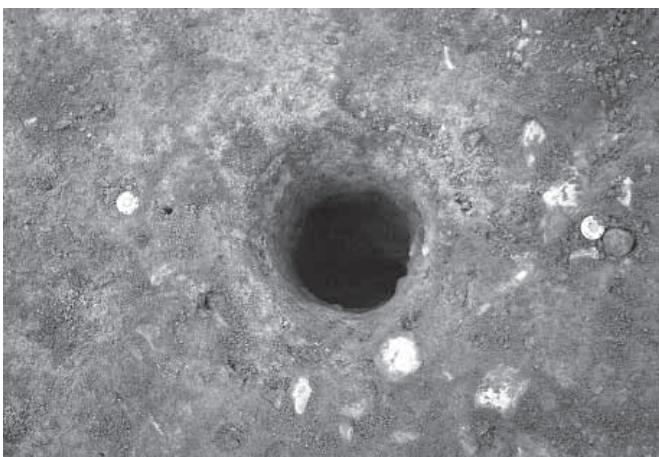
1. 6区42号住居全景(南東から)



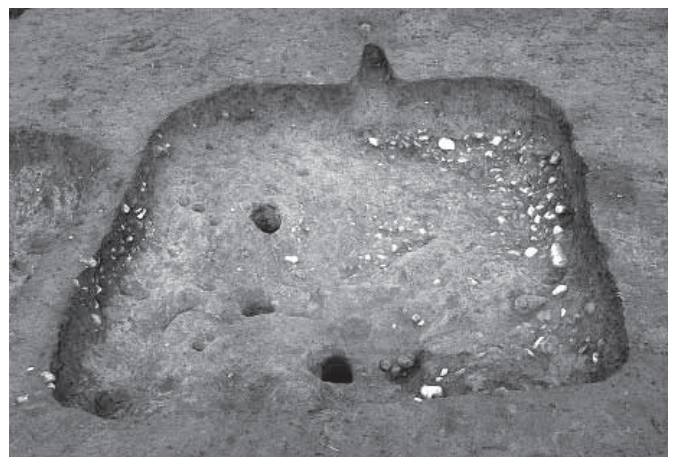
2. 6区42号住居カマド全景(南東から)



3. 6区42号住居カマド掘り方全景(南東から)



4. 6区42号住居内ピット全景(南から)



5. 6区42号住居掘り方全景(南東から)



1. 7区1号住居全景(南西から)



2. 7区1号住居掘り方全景(南西から)



3. 7区2号住居カマド全景(南西から)



4. 7区2号住居カマド掘り方全景(南西から)



5. 7区2号住居貯蔵穴遺物出土状況(南東から)



1. 7区2号住居全景(南西から)



2. 7区2号住居掘り方全景(南西から)



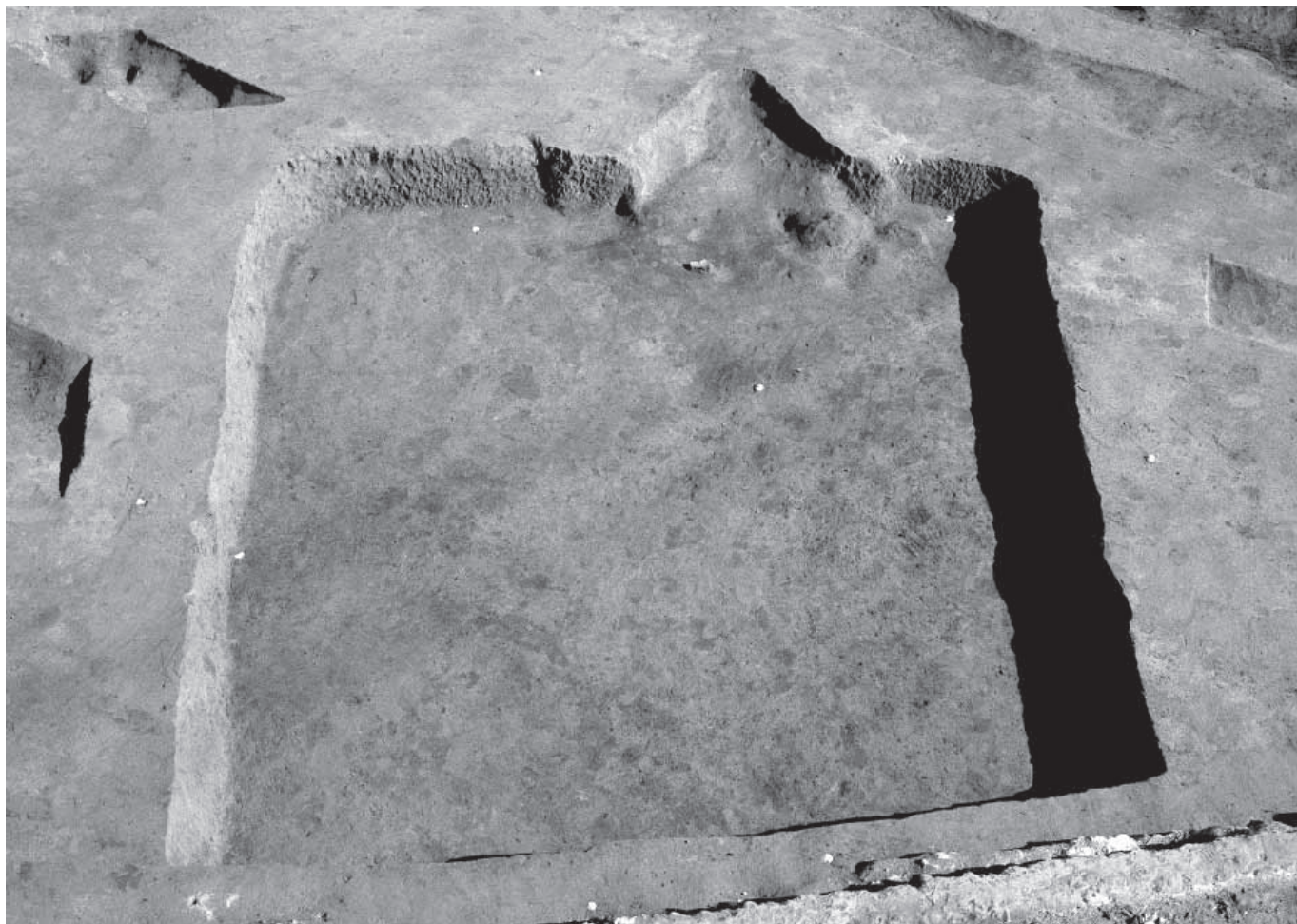
3. 7区3号住居北部遺物出土状況(南東から)



4. 7区3号住居カマド全景(南西から)



5. 7区3号住居カマド掘り方全景(南西から)



1. 7区3号住居全景(南西から)



2. 7区3号住居掘り方全景(南西から)



3. 7区4号住居全景(南東から)



4. 7区4号住居1号ピット遺物出土状況(南から)



5. 7区4号住居掘り方全景(南東から)



1. 7区4号住居カマド全景(南東から)



2. 7区5号住居掘り方全景(東から)



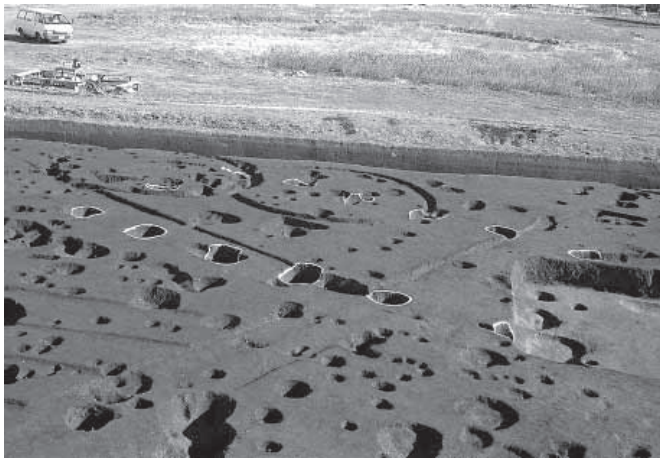
3. 7区6号住居全景(北から)



4. 7区6号住居北西部遺物出土状況(南西から)



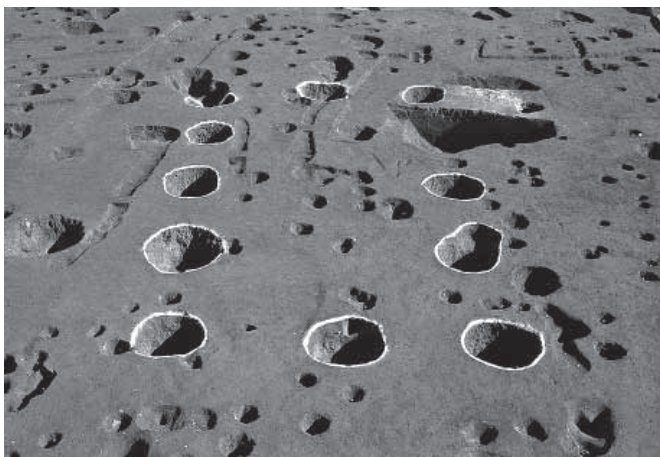
5. 7区6号住居掘り方全景(北東から)



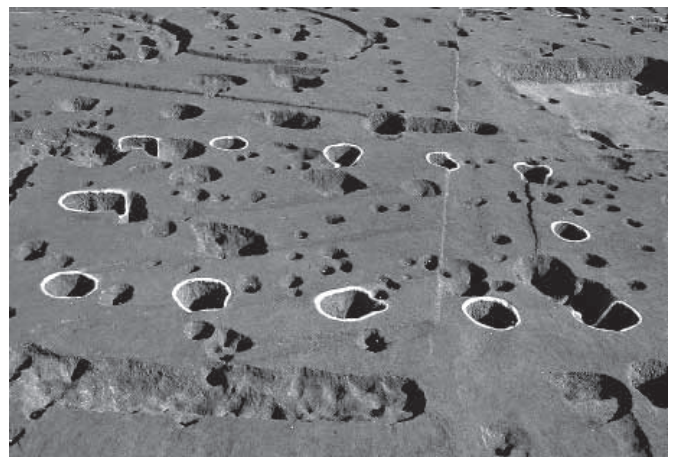
1. 5区1号掘立柱建物全景(南西から)



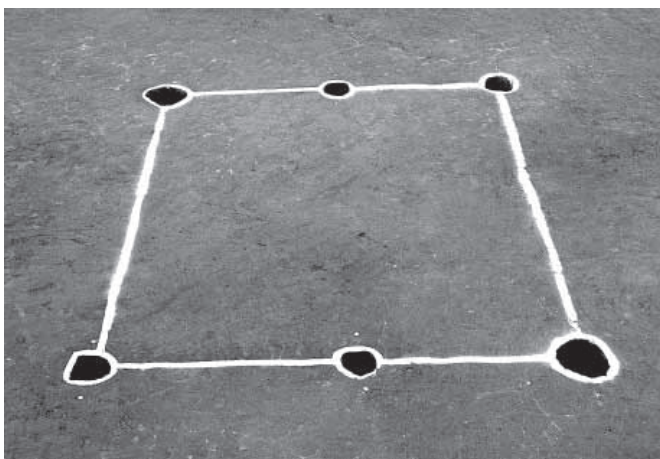
2. 5区2号掘立柱建物全景(西から)



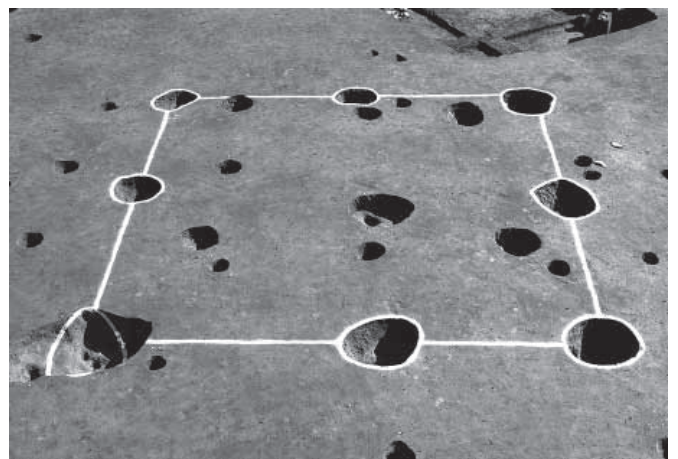
3. 5区3号掘立柱建物全景(南から)



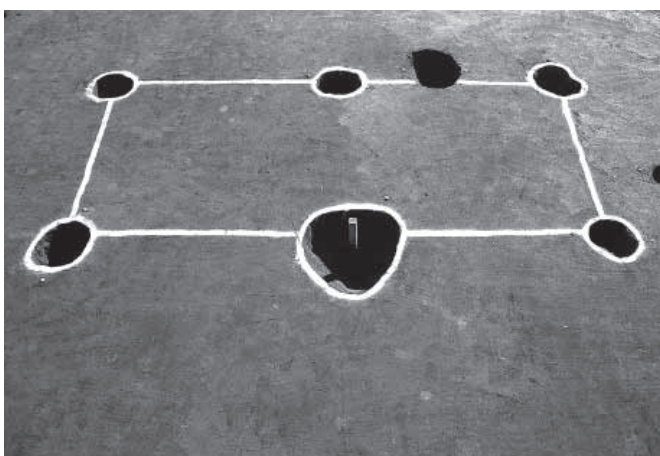
4. 5区4号掘立柱建物全景(西から)



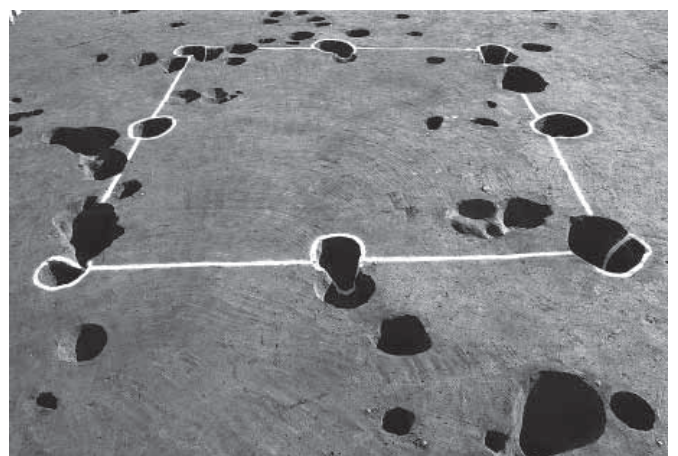
5. 6区1号掘立柱建物全景(西から)



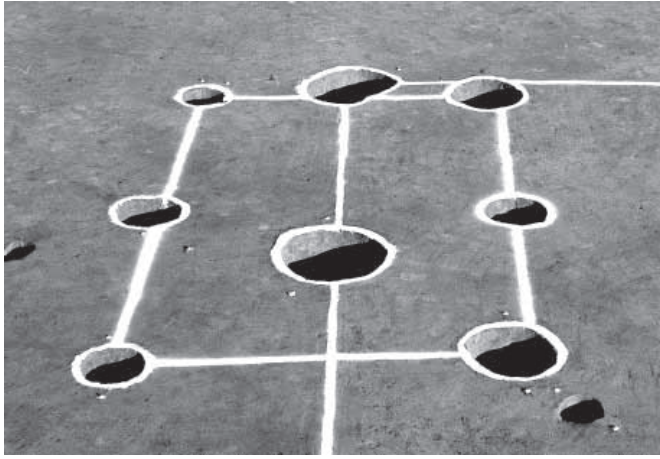
6. 6区2号掘立柱建物全景(西から)



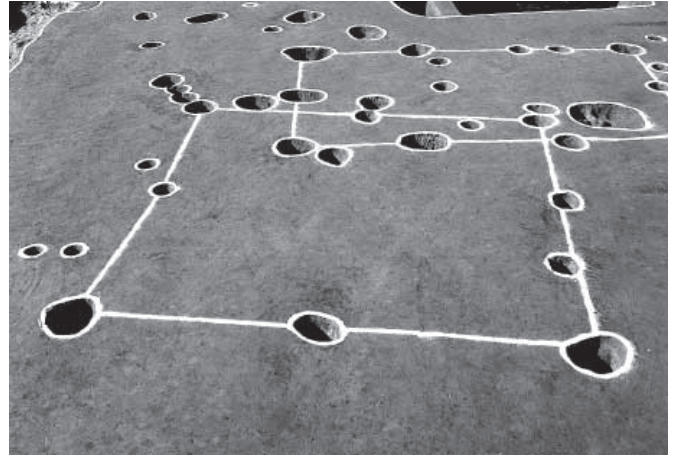
7. 6区3号掘立柱建物全景(北から)



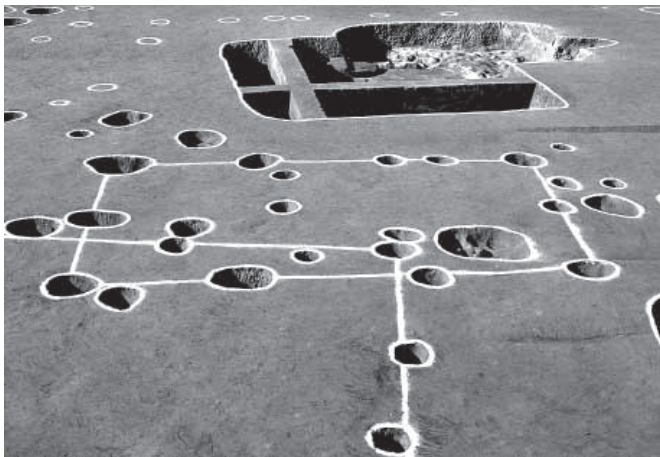
8. 6区4号掘立柱建物全景(北から)



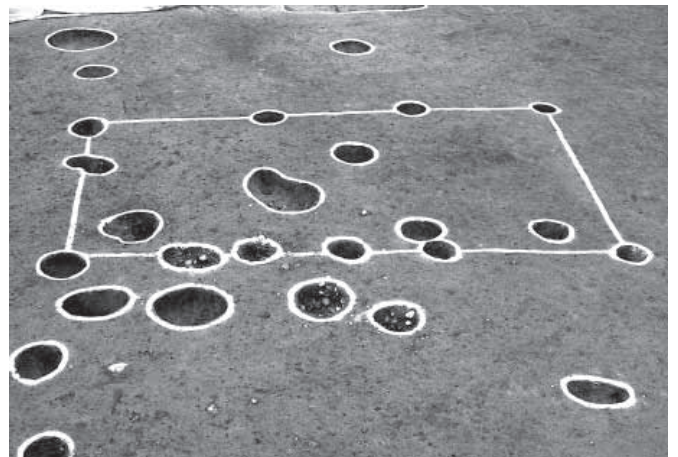
1. 6区5号掘立柱建物全景(西から)



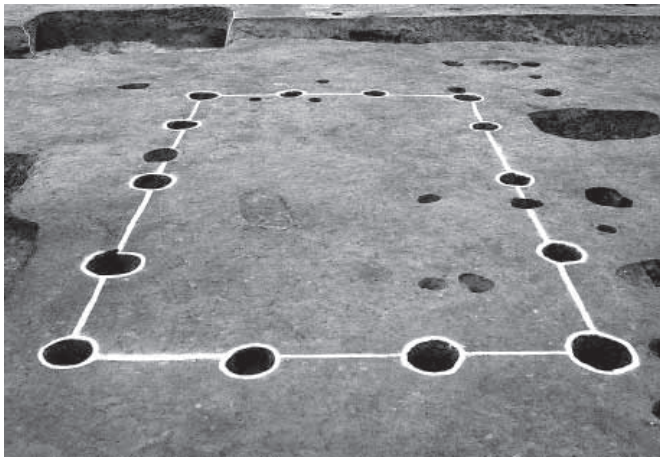
2. 6区6号掘立柱建物全景(南から)



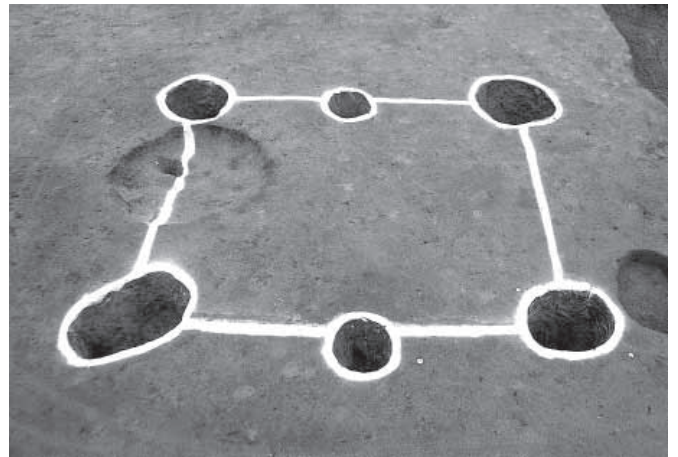
3. 6区7号掘立柱建物全景(南から)



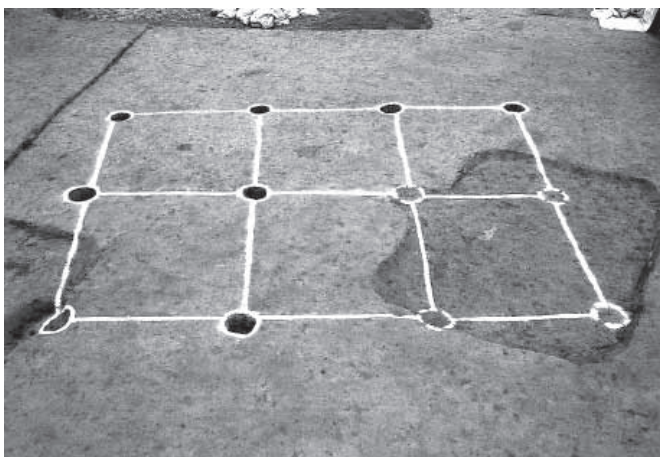
4. 6区8号掘立柱建物全景(北から)



5. 6区9号掘立柱建物全景(西から)



6. 6区10号掘立柱建物全景(南東から)



7. 6区11号掘立柱建物全景(南西から)



8. 1区6・7号溝全景(北から)



1. 3区2号溝全景(南から)



2. 3区7号溝全景(南から)



3. 3区8号溝全景(南から)



4. 3区16号溝全景(南から)



5. 5区6区3号溝北側全景(南から)



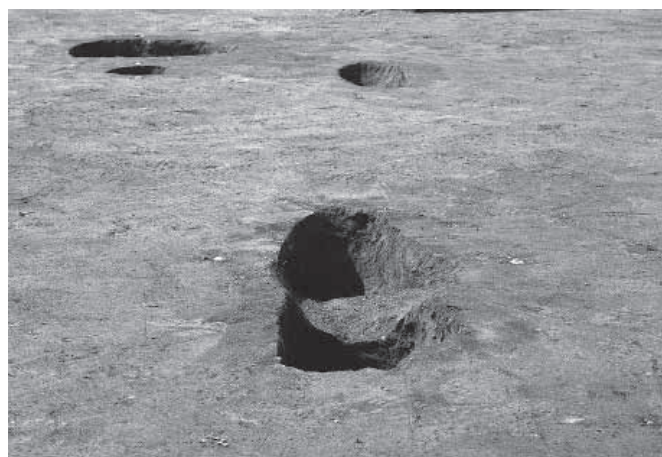
1. 6区7号溝全景(南から)



2. 6区8号溝全景(東から)



3. 6区9号溝全景(東から)



4. 6区10号溝全景(東から)



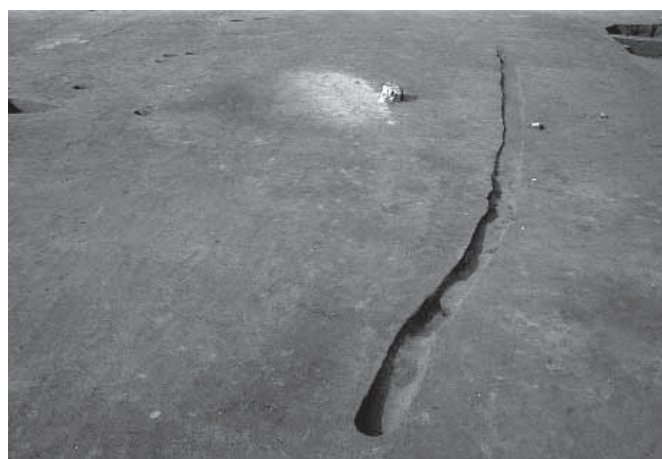
5. 6区11号溝全景(東から)



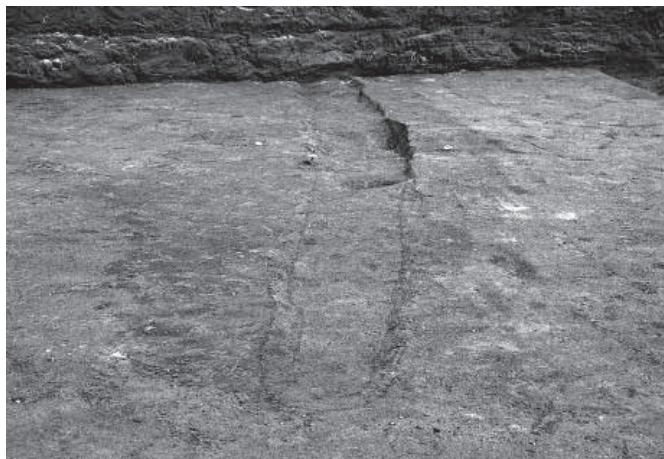
6. 6区12号溝全景(東から)



7. 6区13号溝全景(北から)



8. 6区14号溝全景(南から)



1. 6区15号溝全景(南西から)



2. 6区16号溝全景(南西から)



3. 6区17号溝全景(南から)



4. 6区18・19・22・23号溝全景(南西から)



5. 6区20号溝全景(南西から)



6. 6区21号溝全景(南西から)



7. 6区24・25号溝全景(南東から)



8. 6区54号溝全景(東から)



1. 6区26号溝全景(北西から)



2. 6区50号溝全景(南東から)



3. 6区52号溝全景(北西から)



4. 6区55号溝全景(東から)



1. 6区56号溝全景(北から)



2. 6区57号溝全景(南から)



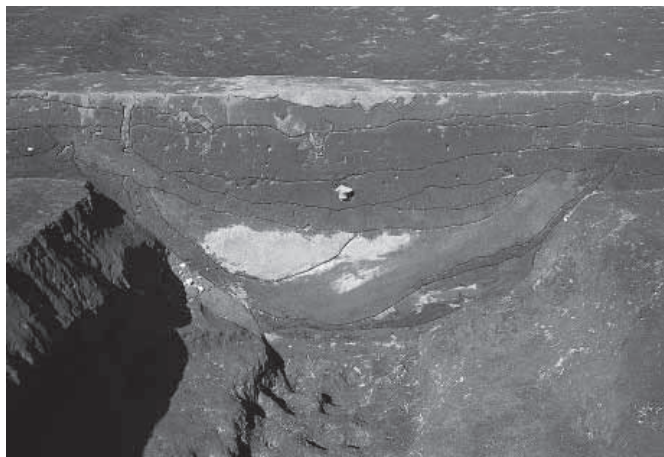
3. 6区61号溝全景(北上空から)



4. 6区61号溝全景(北から)



5. 6区61号溝北部全景(南から)



1. 6区61号溝セクション(南から)



2. 6区58号溝7区9号溝南部全景(南から)



3. 6区58号溝7区9号溝南端部全景(北から)



4. 6区58号溝7区9号溝中部全景(北から)



5. 6区58号溝7区9号溝北部1面全景(北から)



6. 6区58号溝7区9号溝北部2面全景(南から)



7. 6区58号溝7区9号溝北部3面全景(南から)



8. 6区58号溝7区9号溝北部遺物出土状況(南から)



1. 6区59号溝7区8号溝南部2面全景(南から)



2. 6区59号溝7区8号溝南端部2面全景(北から)



3. 6区59号溝7区8号溝南部2面全景(南から)



4. 6区59号溝7区8号溝南端部3面全景(北から)



5. 6区59号溝7区8号溝セクション(南から)



6. 6区59号溝7区8号溝中部1面全景(北から)



7. 6区59号溝7区8号溝中部2面全景(北から)



8. 6区59号溝7区8号溝中部3面全景(北から)



1. 6区59号溝7区8号溝北部1面全景(北から)



2. 6区59号溝7区8号溝北部張出部(北から)



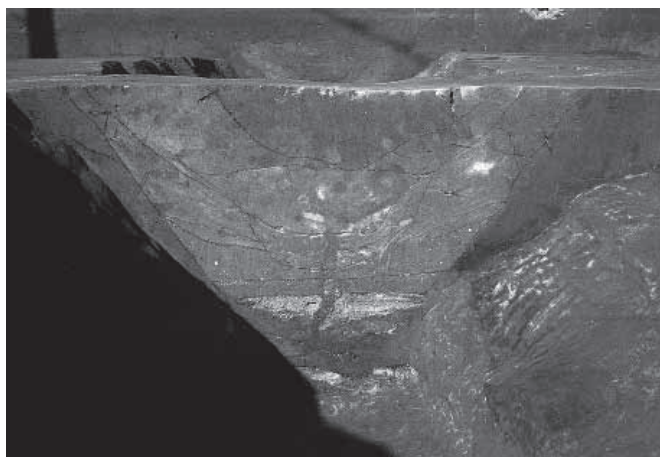
3. 6区59号溝7区8号溝北部2面全景(南から)



4. 6区59号溝7区8号溝北部3面全景(南から)



5. 6区59号溝7区8号溝北部1面全景(北から)



6. 6区59号溝7区8号溝北部セクション(北から)



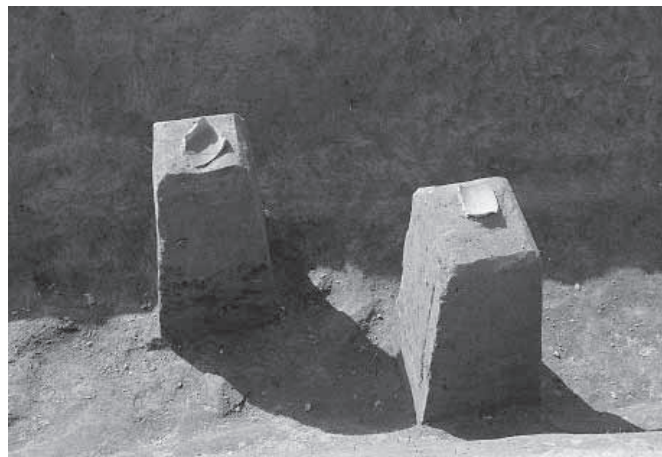
7. 7区1号溝南部1面全景(北から)



8. 7区1号溝北部1面全景(南から)



1. 7区1号溝985-780Gr遺物出土状況(南から)



2. 7区1号溝985-785Gr遺物出土状況(北から)



3. 7区1号溝南部2面全景(北から)



4. 7区1号溝南部2面全景(南から)



5. 7区1号溝南部3面全景(南から)



1. 7区1号溝北部3面全景(北から)



2. 7区1号溝中部3面全景(南から)



3. 7区1号溝南端部3面全景(北から)



4. 7区1号溝北部セクション(南から)



5. 7区3号溝1面全景(南から)



6. 7区3号溝南部1面全景(南から)



7. 7区3号溝1面990-805Gr遺物出土状況(南から)



8. 7区3号溝2面全景(南から)



1. 7区3号溝南部2面全景(北から)



2. 7区3号溝3面全景(南から)



3. 7区3号溝3面全景(北から)



4. 7区3号溝北壁セクション(南から)



5. 7区4号溝全景(東から)



1. 7区5号溝全景(東から)



2. 7区6号溝全景(東から)



3. 7区7号溝全景(東から)



4. 7区10号溝全景(東から)



5. 7区11号溝全景(東から)



6. 7区12号溝全景(西から)



7. 7区13号溝全景(西から)



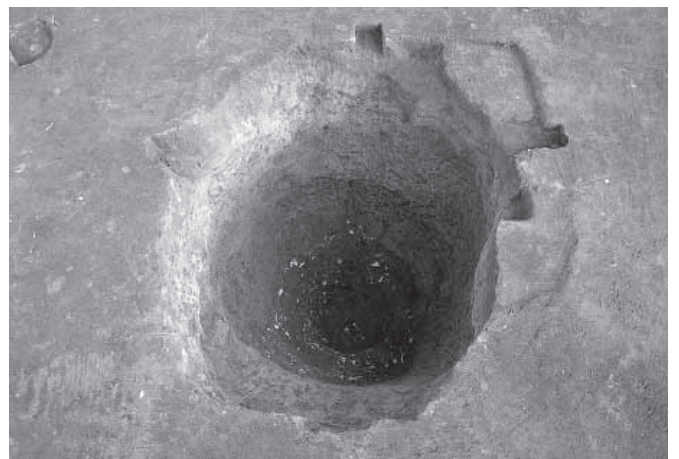
8. 7区16号溝全景(西から)



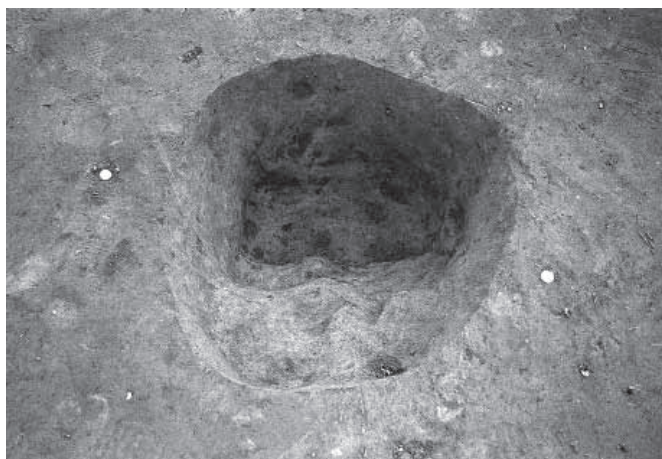
1. 7区15号溝全景(西から)



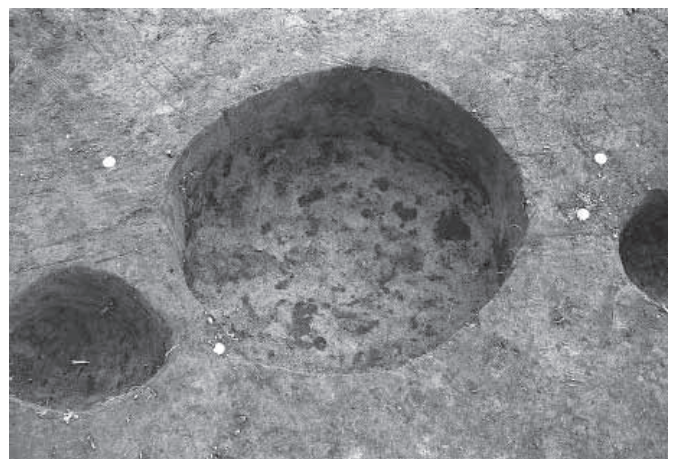
2. 1区303号井戸全景(南から)



3. 1区305号井戸全景(西から)



4. 1区13号土坑全景(北から)



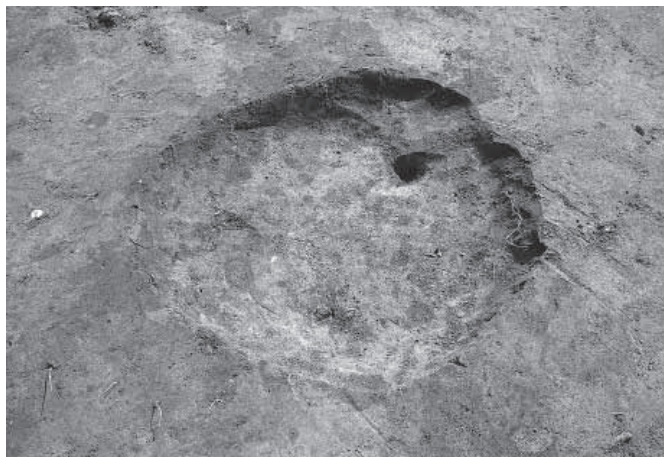
5. 1区16号土坑全景(西から)



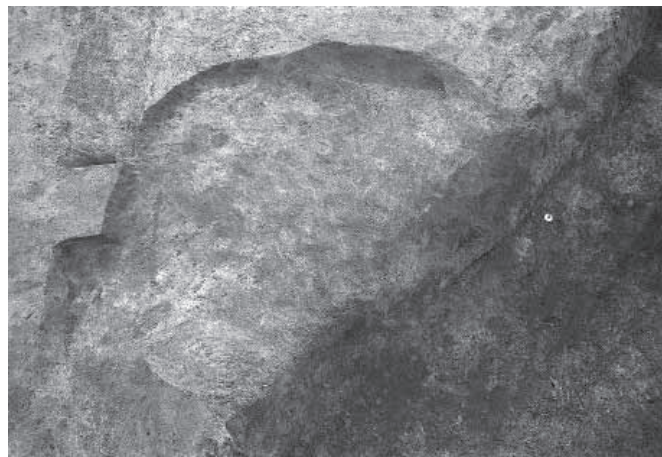
6. 1区17号土坑全景(南から)



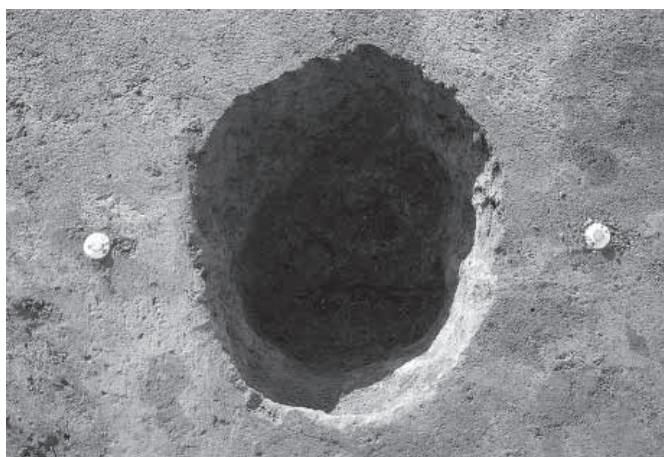
7. 1区18号土坑全景(北から)



1. 1区20号土坑全景(北西から)



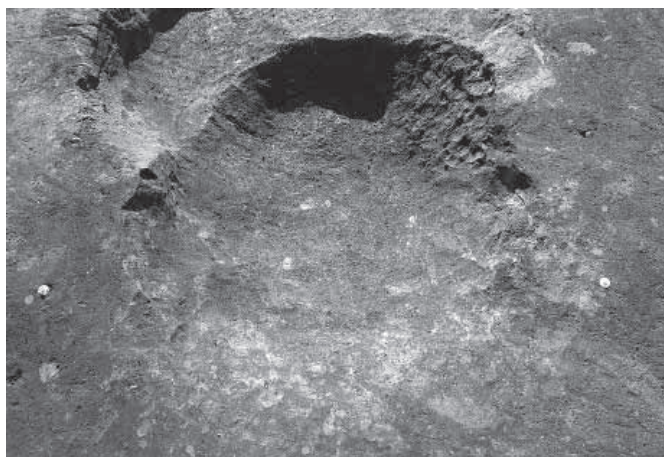
2. 3区3号土坑全景(東から)



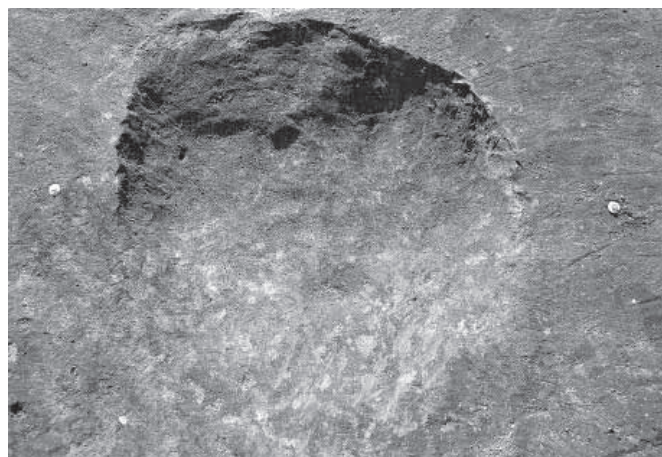
3. 3区4号土坑全景(東から)



4. 3区5号土坑全景(北東から)



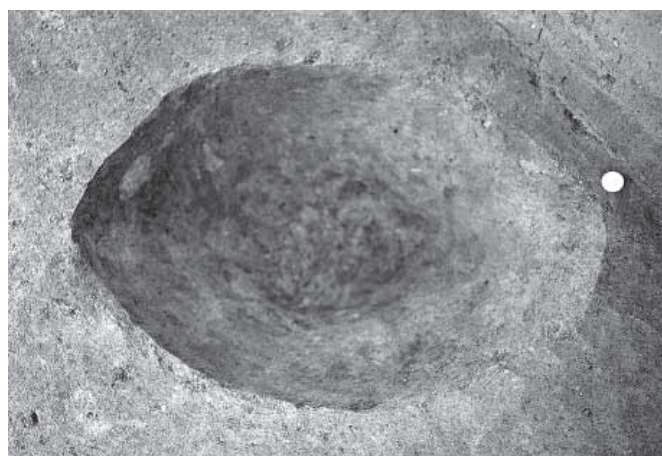
5. 3区6号土坑全景(北東から)



6. 3区7号土坑全景(北東から)



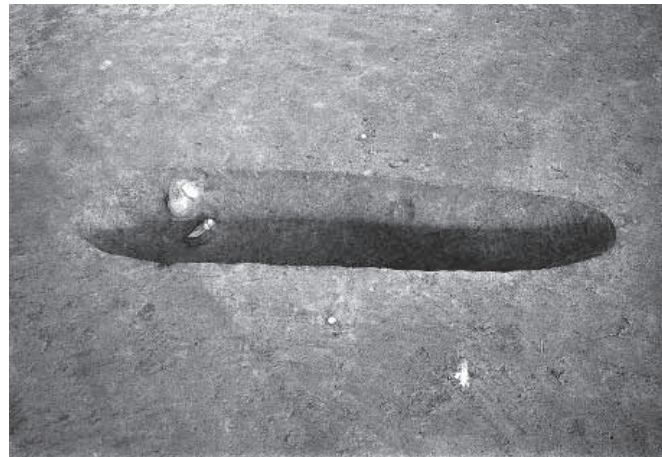
7. 3区8号土坑全景(南から)



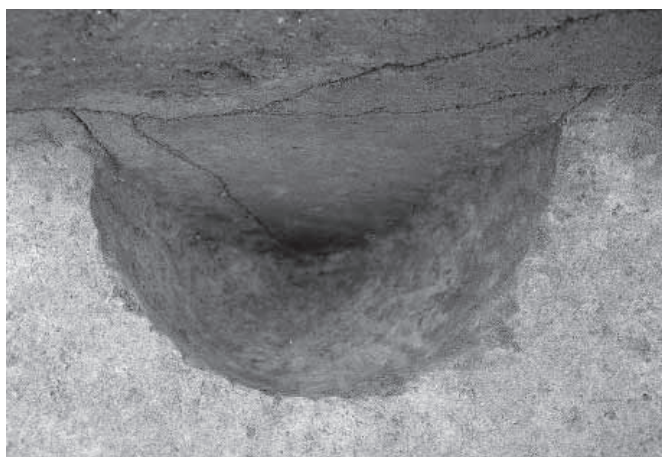
8. 3区9号土坑全景(西から)



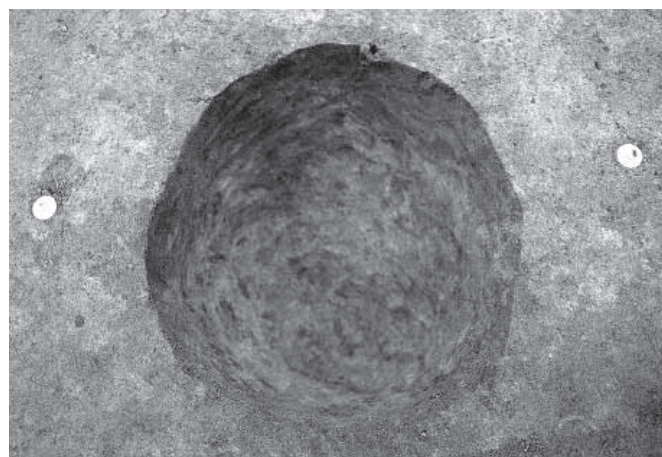
1. 3区10号土坑全景(北東から)



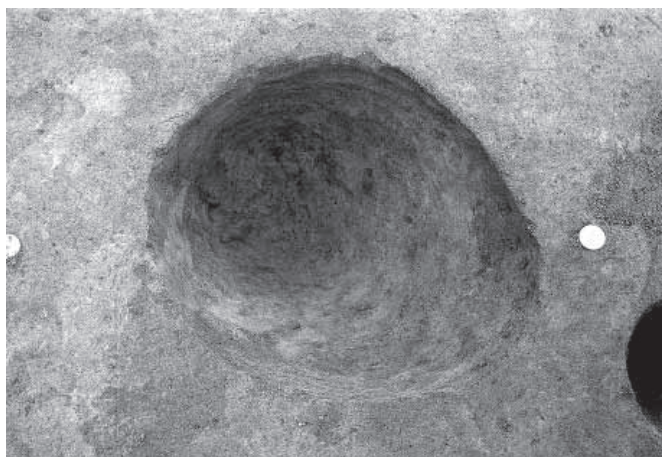
2. 3区11号土坑全景(西から)



3. 3区12号土坑全景(北東から)



4. 3区13号土坑全景(南から)



5. 3区14号土坑全景(南西から)



6. 3区15号土坑全景(南から)



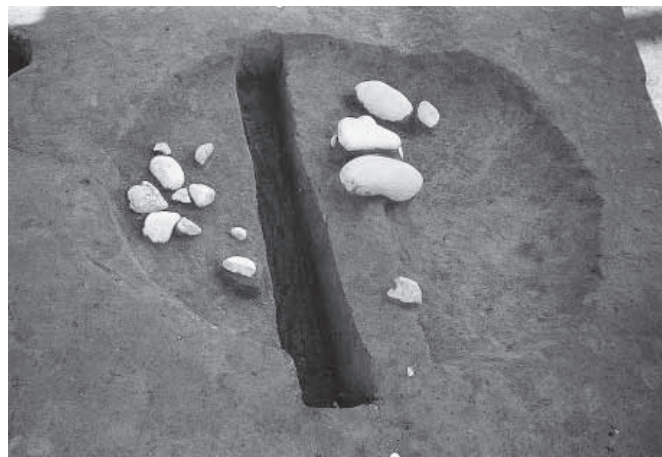
7. 3区16号土坑全景(北から)



8. 3区17号土坑全景(西から)



1. 3区19号土坑全景(北から)



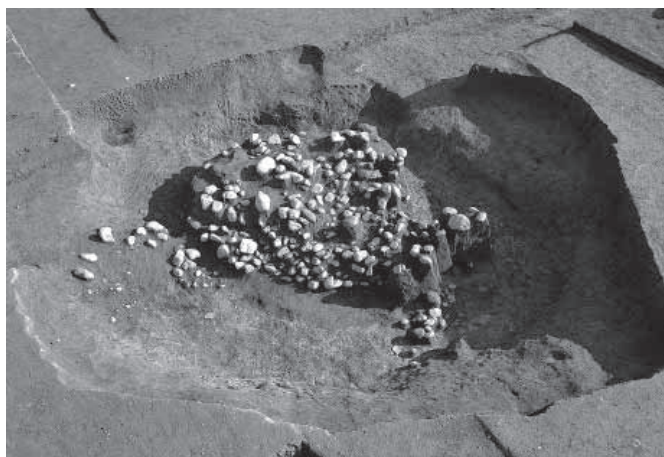
2. 3区20号土坑全景(西から)



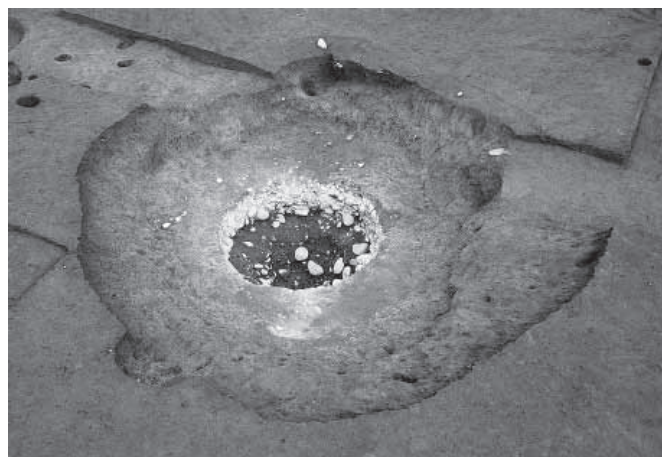
3. 4区19号土坑全景(東から)



4. 4区21号土坑全景(西から)



5. 5区215号土坑遺物出土状況(西から)



6. 5区215号土坑全景(南西から)



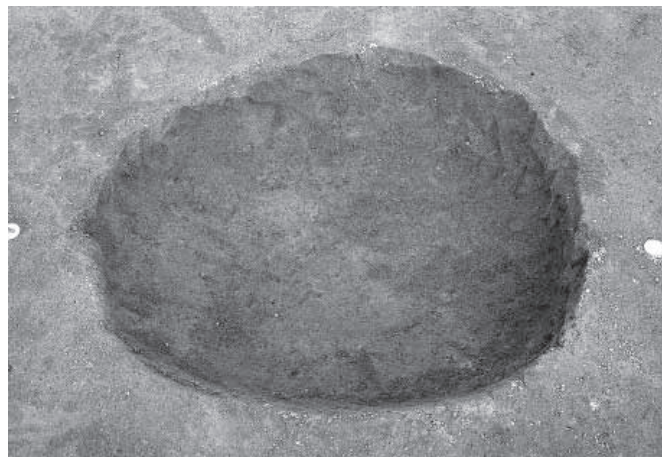
7. 5区586号土坑全景(北西から)



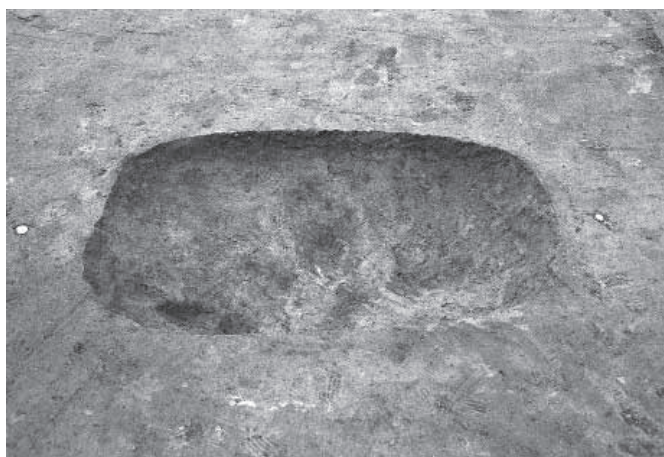
8. 6区1号土坑全景(西から)



1. 6区2号土坑全景(南から)



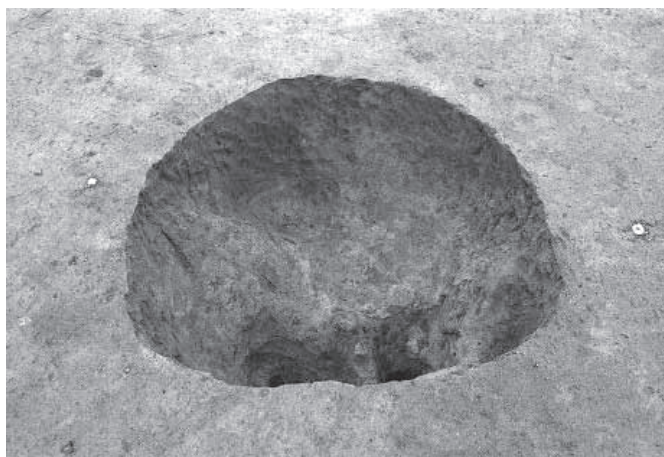
2. 6区3号土坑全景(南西から)



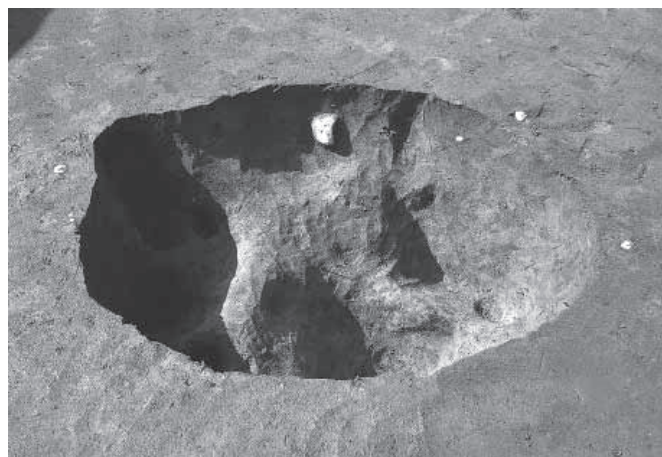
3. 6区4号土坑全景(南から)



4. 6区5号土坑全景(東から)



5. 6区6号土坑全景(南から)



6. 6区7号土坑全景(南東から)



7. 6区8号土坑全景(南から)



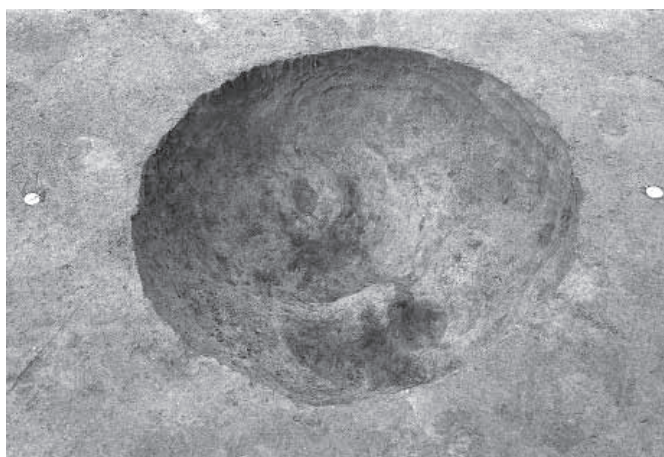
8. 6区9号土坑全景(南から)



1. 6区10号土坑全景(南から)



2. 6区11号土坑全景(南西から)



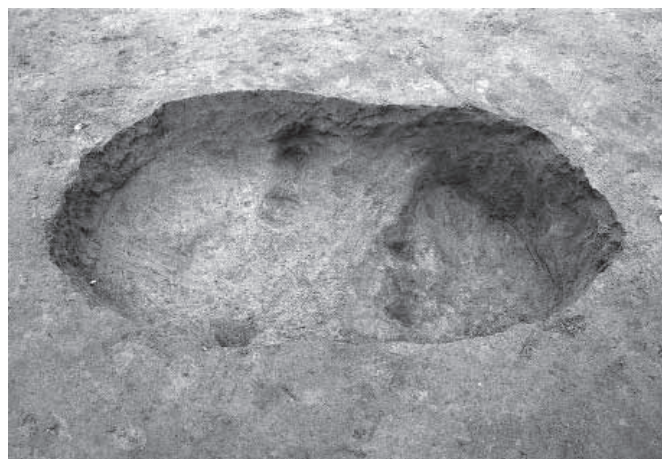
3. 6区13号土坑全景(南から)



4. 6区14号土坑全景(西から)



5. 6区15号土坑全景(南から)



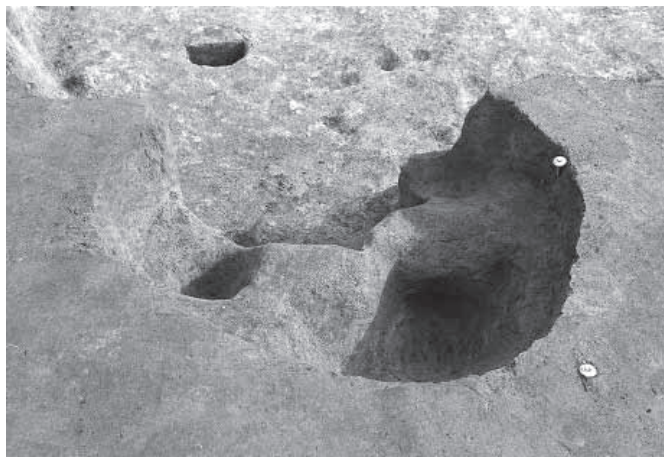
6. 6区16号土坑全景(南から)



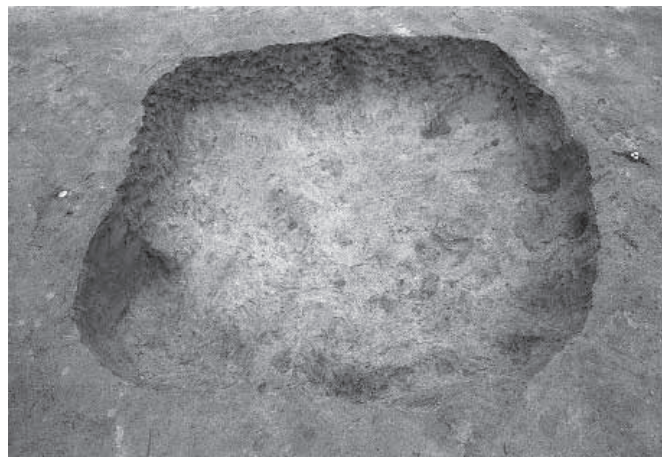
7. 6区17号土坑全景(北から)



8. 6区18号土坑全景(南から)



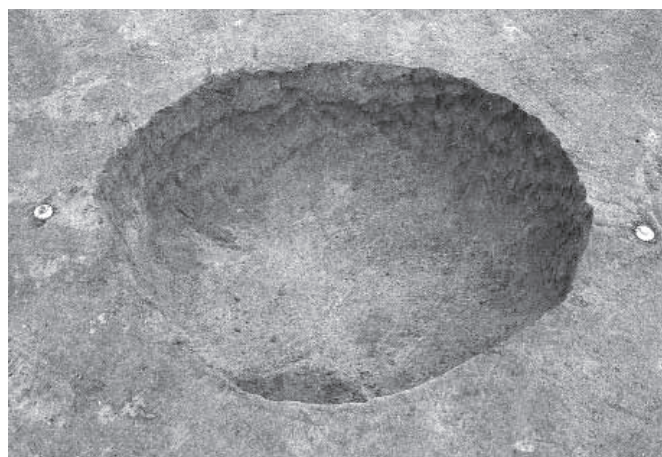
1. 6区19号土坑全景(西から)



2. 6区20号土坑全景(南から)



3. 6区21号土坑全景(北から)



4. 6区22号土坑全景(南から)



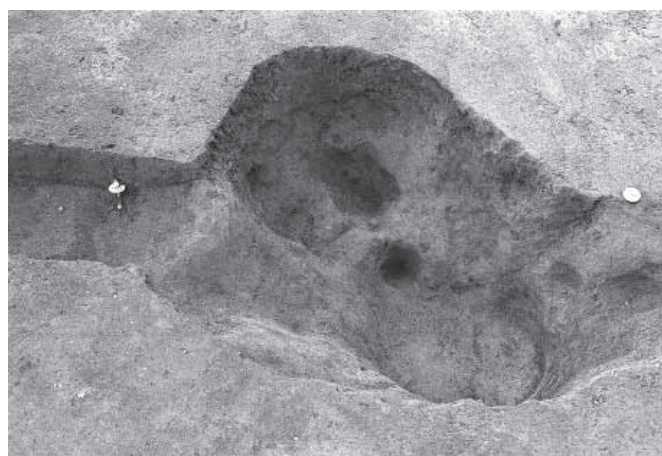
5. 6区24号土坑全景(東から)



6. 6区25・26号土坑全景(南東から)



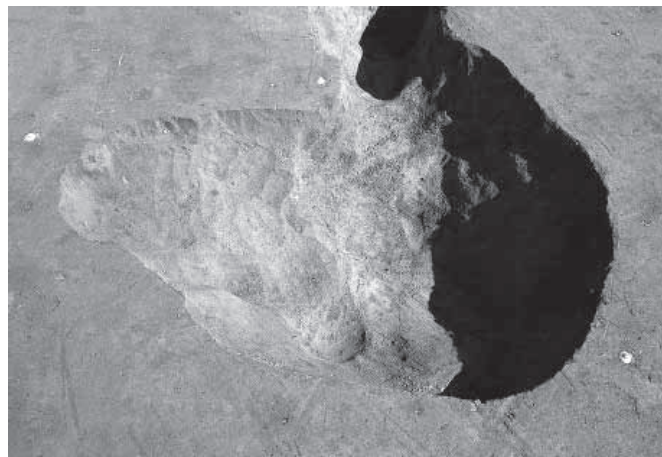
7. 6区27号土坑全景(東から)



8. 6区28号土坑全景(東から)



1. 6区29号土坑全景(南西から)



2. 6区33・34号土坑全景(西から)



3. 6区36号土坑全景(東から)



4. 6区43号土坑全景(東から)



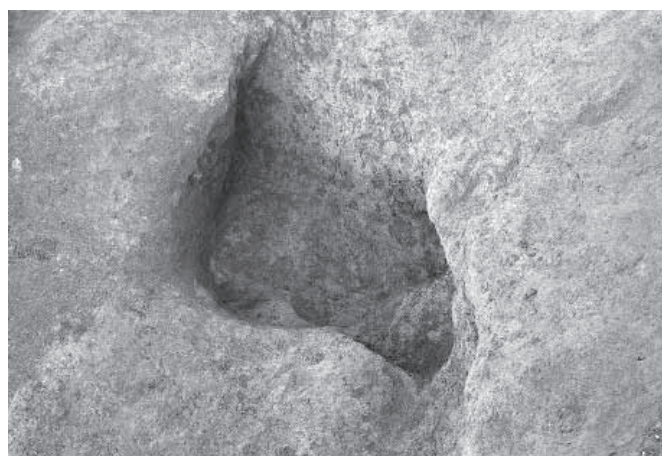
5. 6区44号土坑全景(西から)



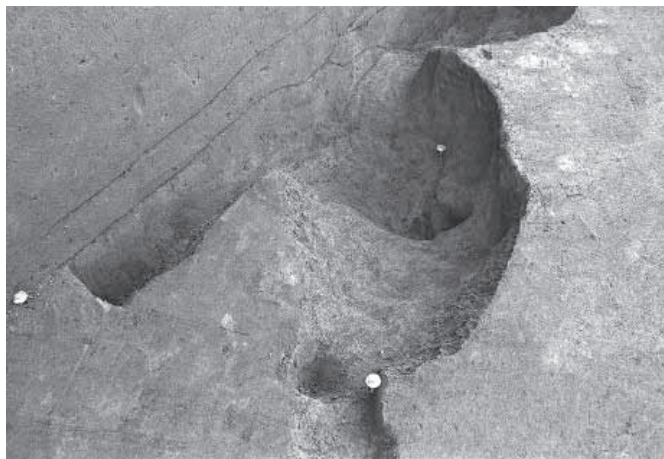
6. 6区46・47号土坑全景(西から)



7. 6区48号土坑全景(西から)



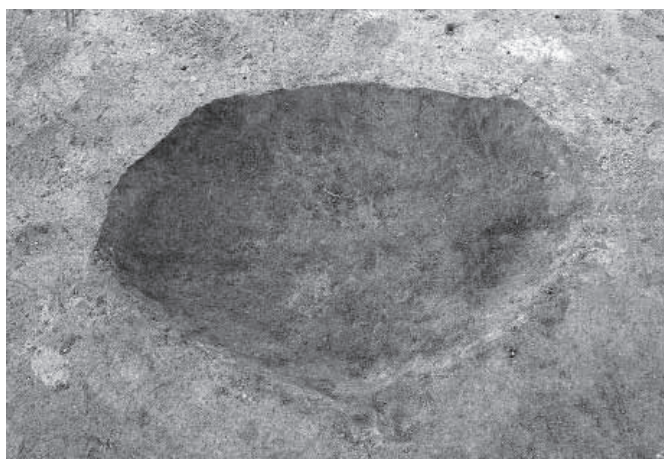
8. 6区49号土坑全景(南から)



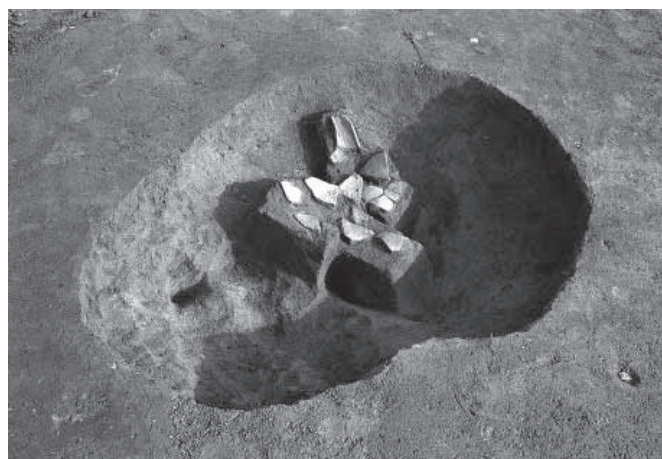
1. 6区50号土坑全景(北から)



2. 6区51号土坑全景(北から)



3. 6区115号土坑全景(南から)



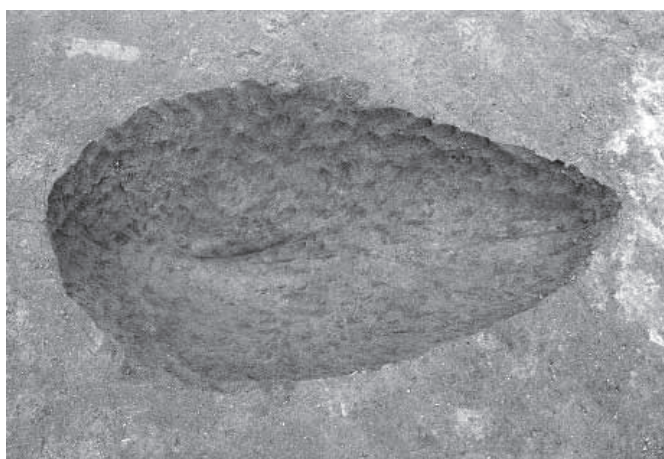
4. 6区116号土坑全景(南から)



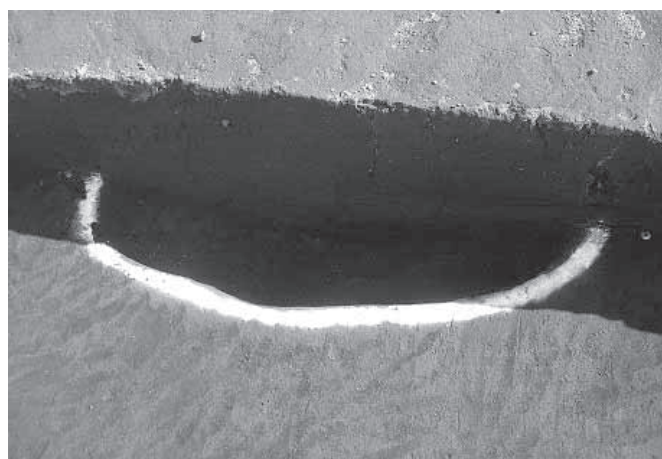
5. 6区117号土坑全景(西から)



6. 6区129・130号土坑全景(北から)



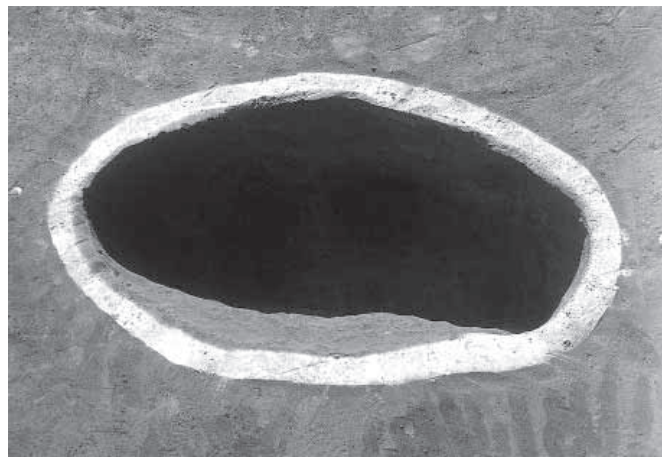
7. 6区131号土坑全景(南西から)



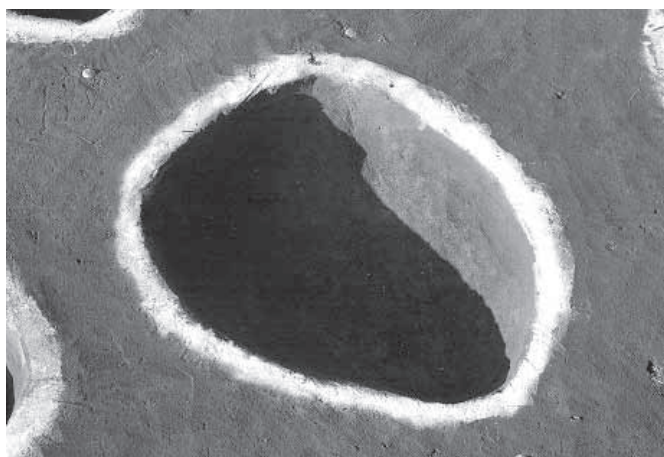
8. 6区132号土坑全景(北から)



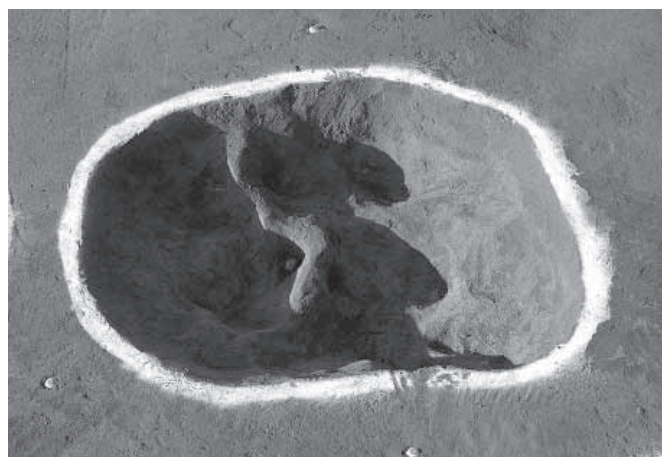
1. 6区133号土坑全景(北から)



2. 6区134号土坑全景(東から)



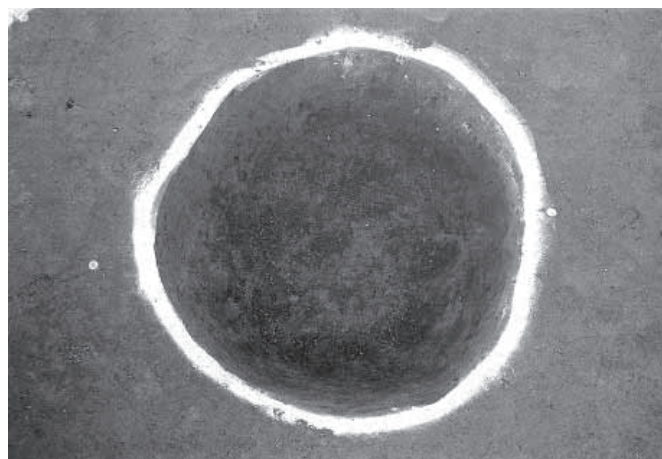
3. 6区137号土坑全景(南から)



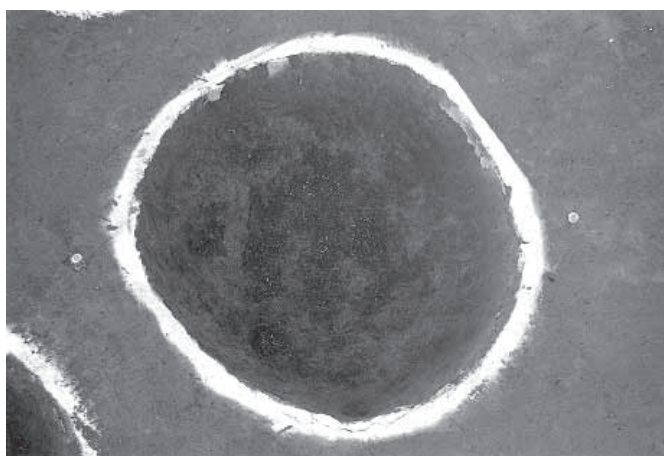
4. 6区138号土坑全景(南から)



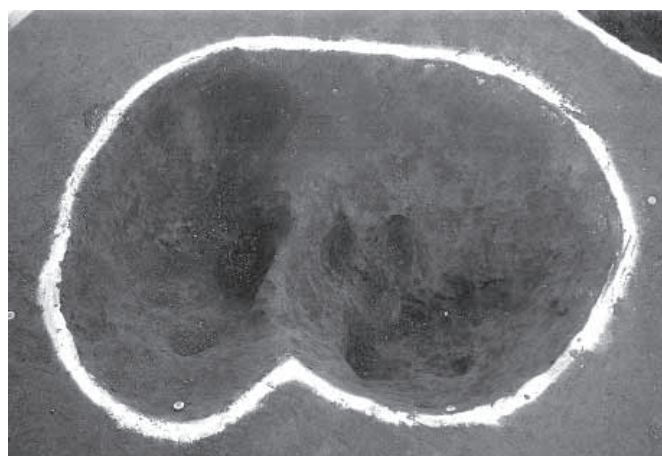
5. 6区139号土坑全景(西から)



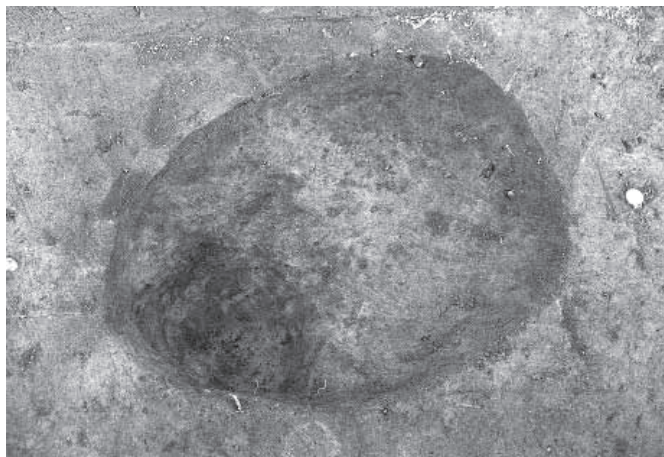
6. 6区140号土坑全景(南から)



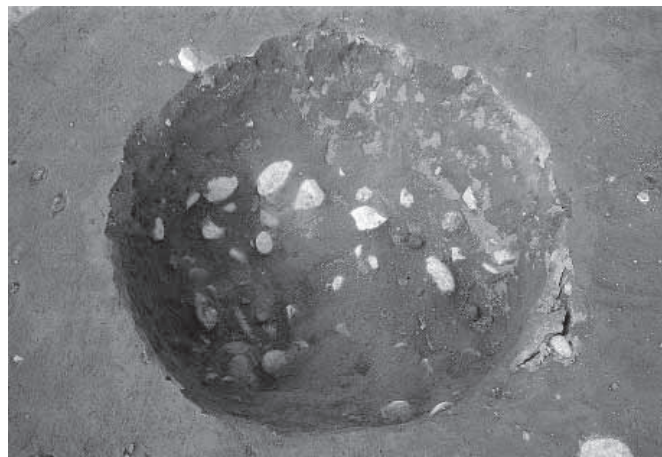
7. 6区141号土坑全景(南から)



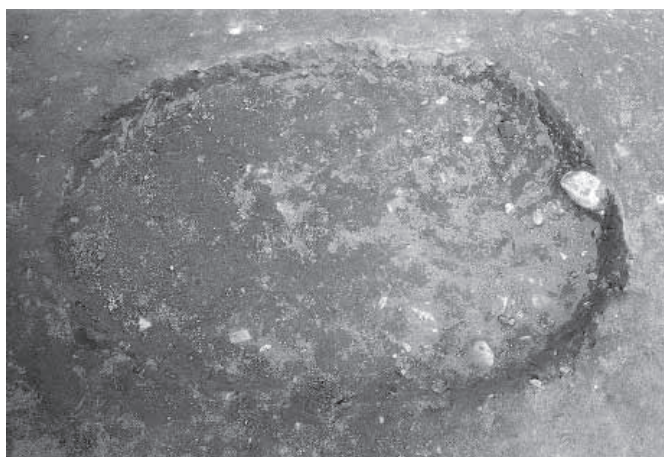
8. 6区142・143号土坑全景(南から)



1. 6区144号土坑全景(南から)



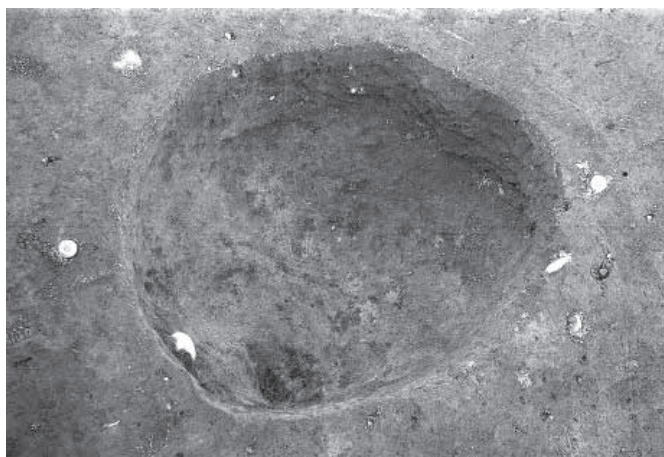
2. 6区145号土坑全景(南から)



3. 6区146号土坑全景(南から)



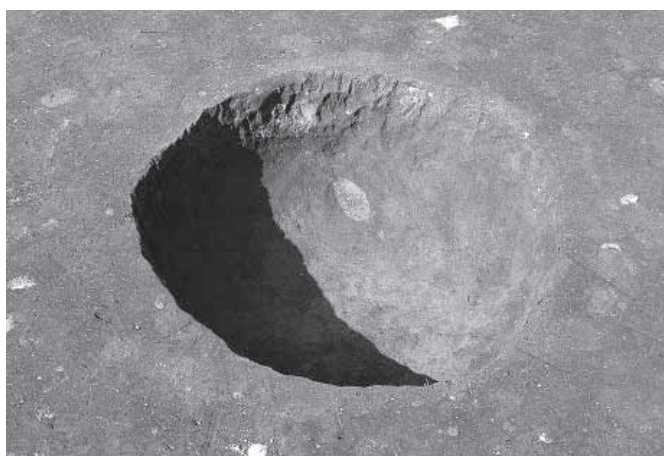
4. 6区147号土坑全景(南から)



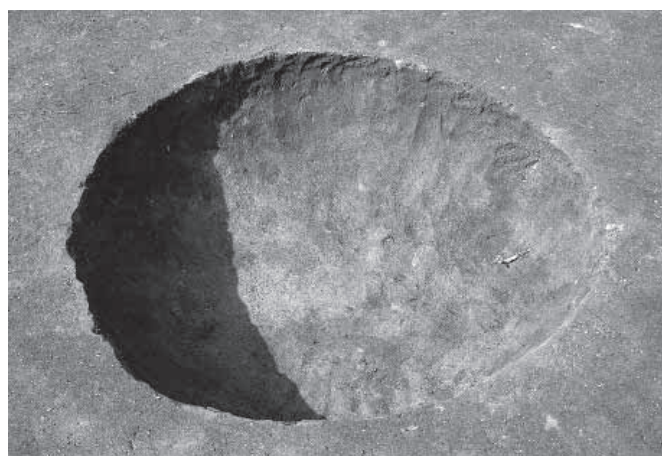
5. 6区148号土坑全景(南から)



6. 6区149号土坑全景(南から)



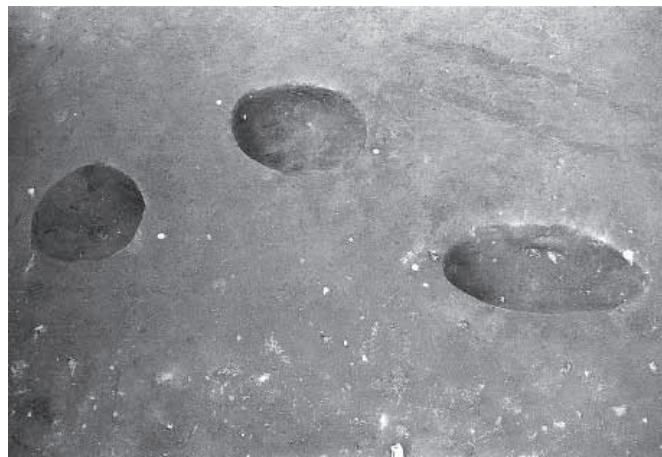
7. 6区150号土坑全景(南から)



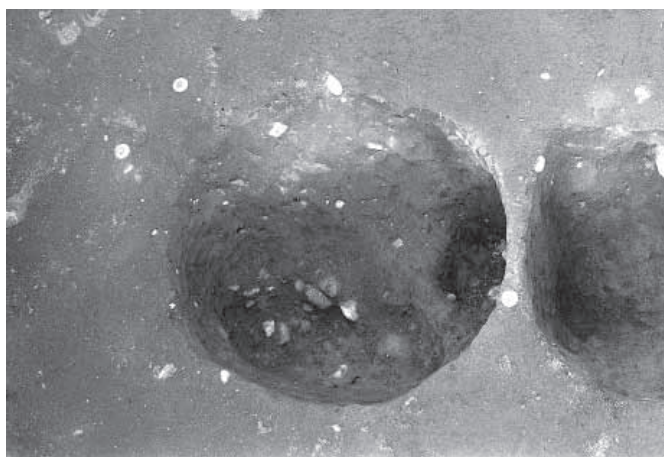
8. 6区151号土坑全景(南から)



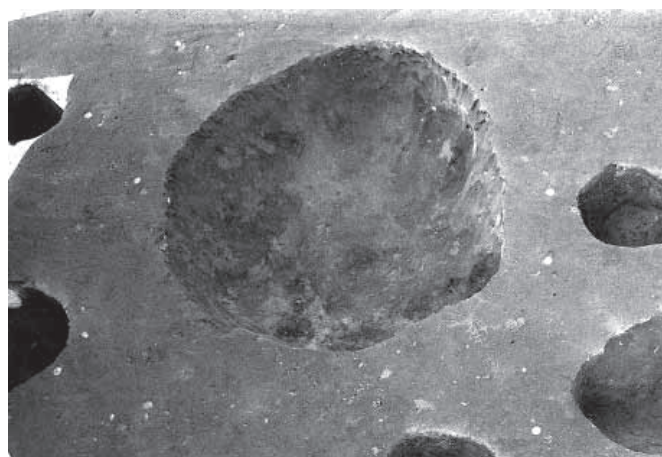
1. 6区152号土坑全景(南から)



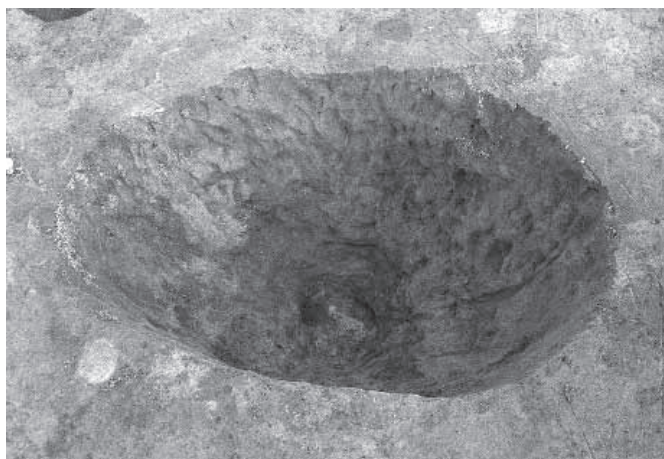
2. 6区154・155・156号土坑全景(南から)



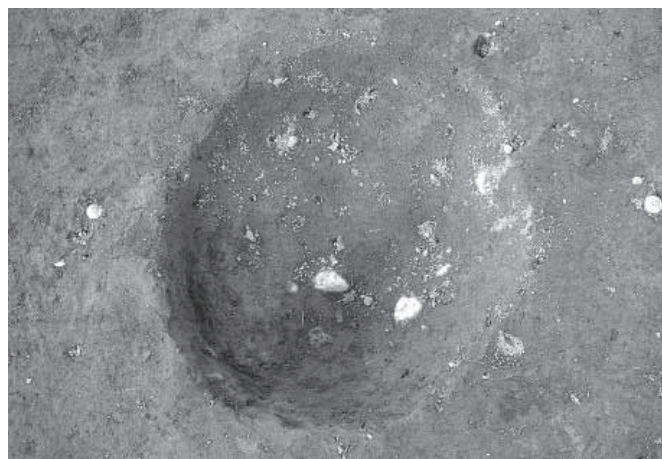
3. 6区157号土坑全景(南から)



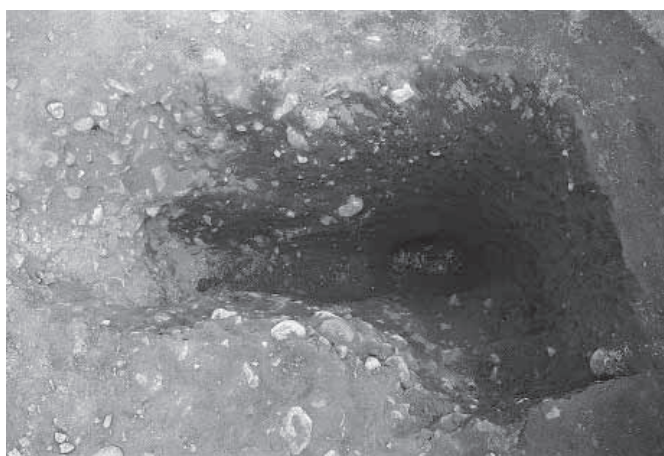
4. 6区158号土坑全景(南から)



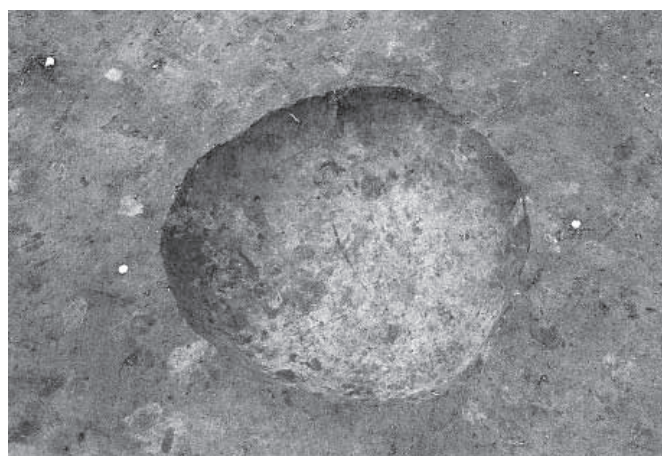
5. 6区160号土坑全景(西から)



6. 6区163号土坑全景(南から)



7. 6区165号土坑全景(南から)



8. 6区167号土坑全景(南から)



1. 6区168号土坑全景(南から)



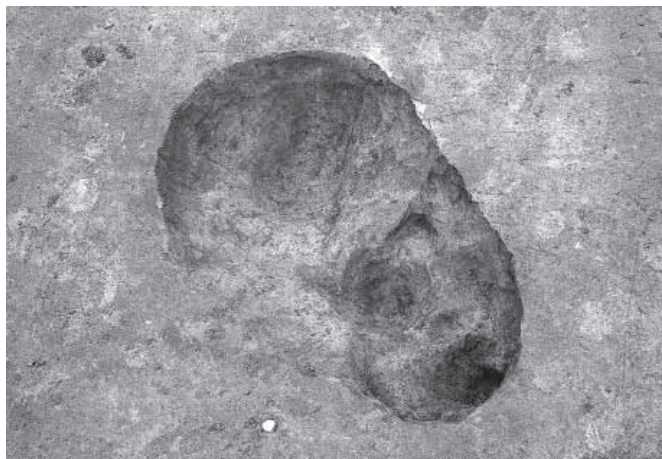
2. 6区169号土坑全景(南から)



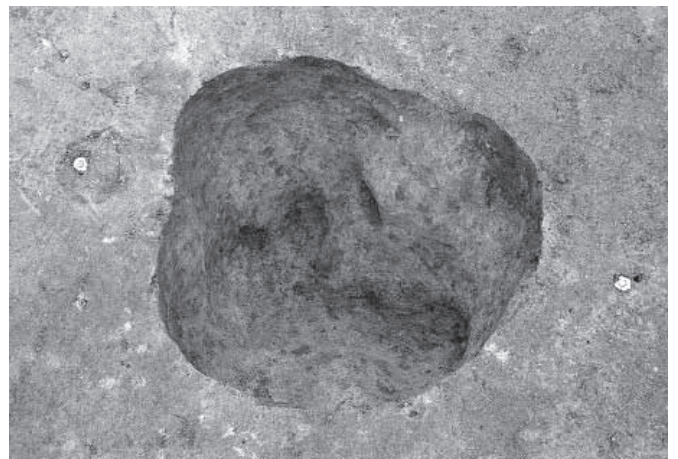
3. 6区170号土坑全景(西から)



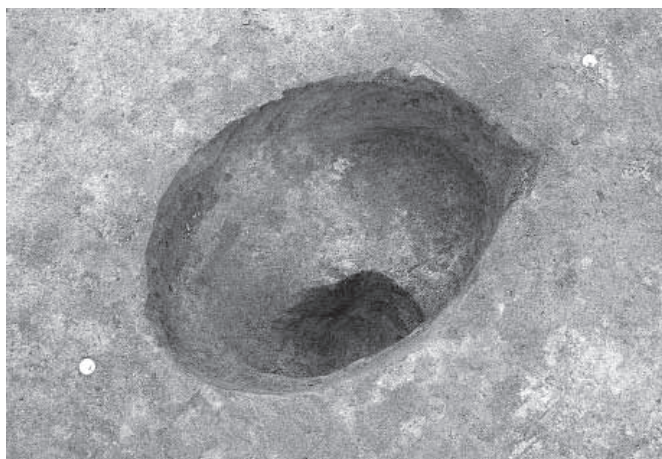
4. 6区171号土坑全景(南から)



5. 6区172号土坑全景(東から)



6. 6区173号土坑全景(南から)



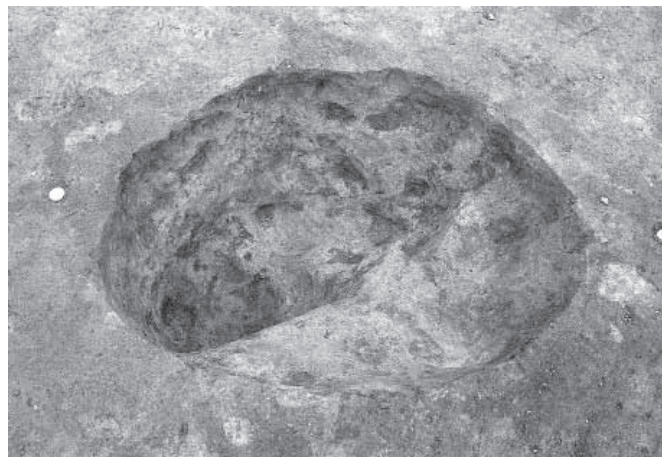
7. 6区174号土坑全景(南から)



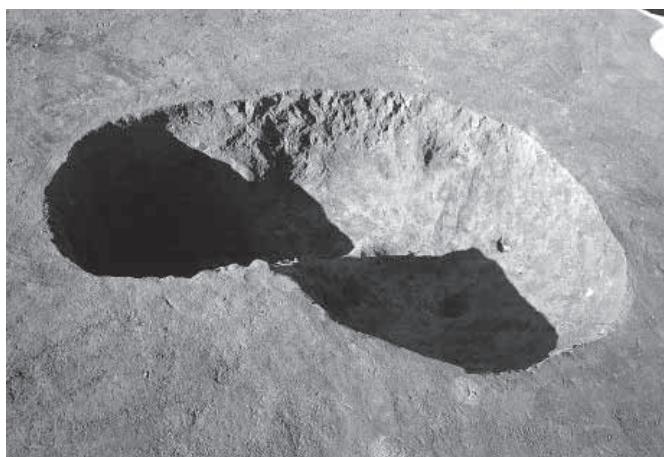
8. 6区175号土坑全景(南から)



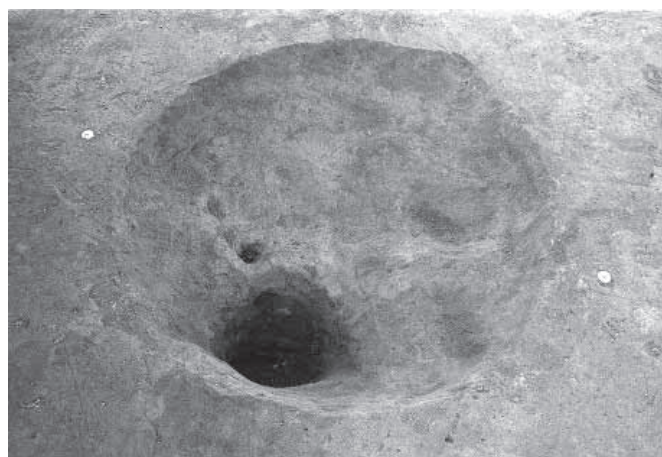
1. 6区176号土坑全景(南から)



2. 6区177号土坑全景(南から)



3. 6区178号土坑全景(南から)



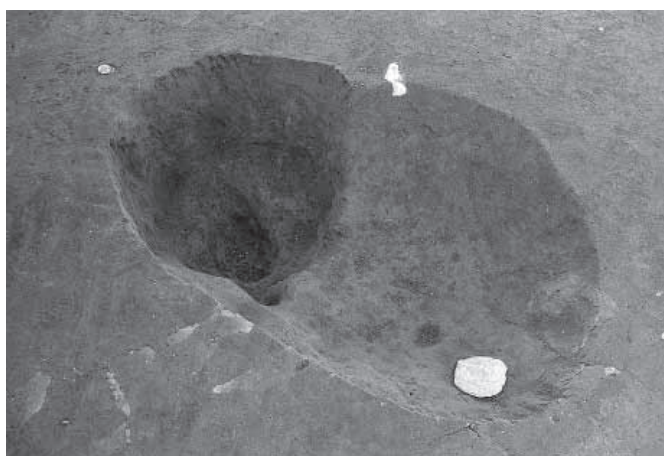
4. 6区179号土坑全景(南から)



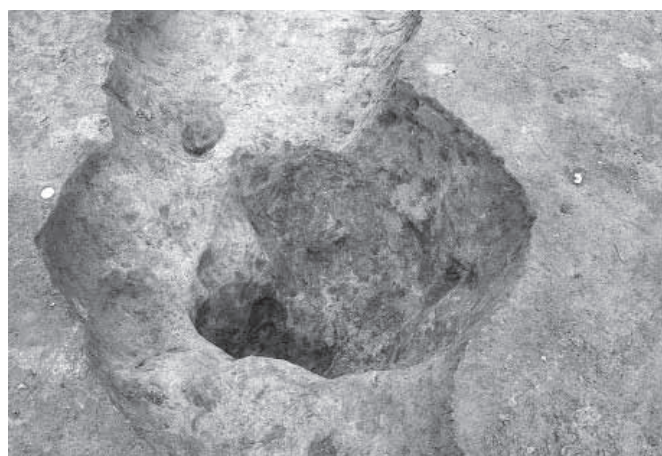
5. 6区180号土坑全景(西から)



6. 6区181号土坑全景(西から)



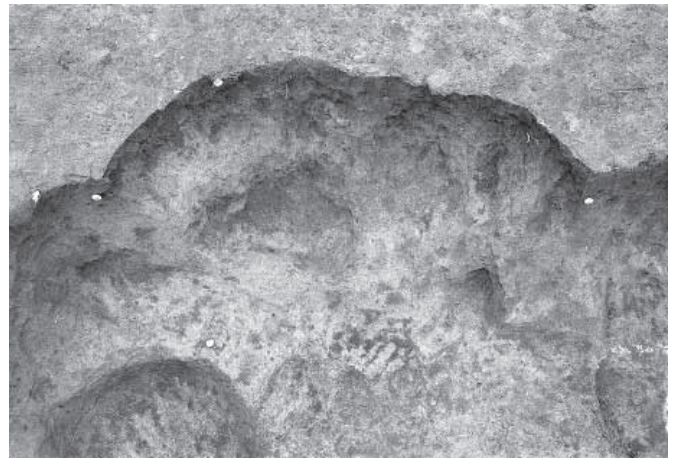
7. 6区182・183号土坑全景(南から)



8. 6区184号土坑全景(北から)



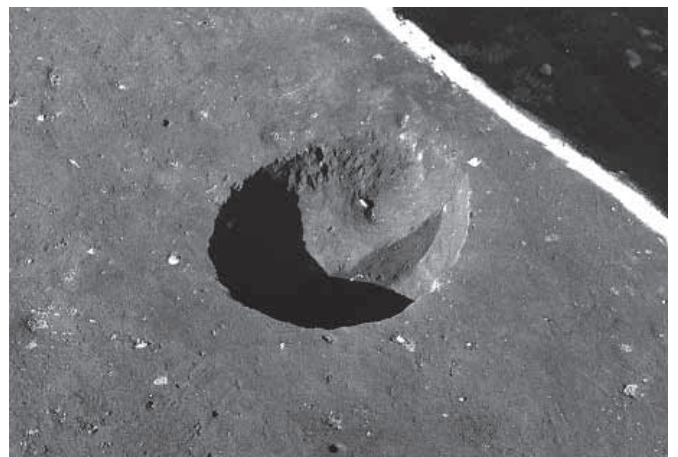
1. 6区187号土坑全景(北から)



2. 6区199号土坑全景(南から)



3. 6区200号土坑全景(北東から)



4. 6区201号土坑全景(南から)



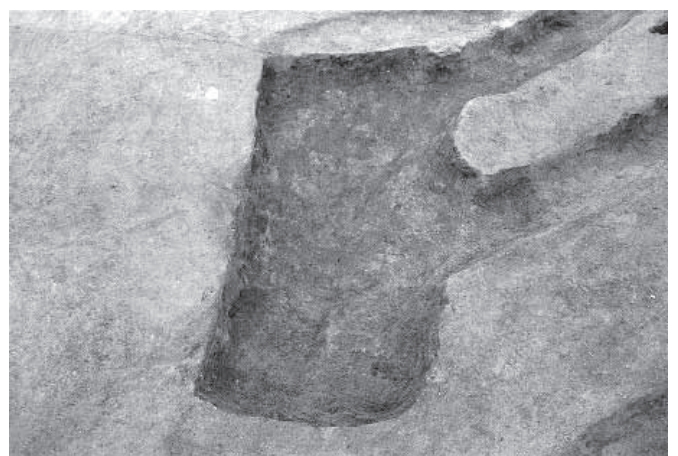
5. 7区1号土坑全景(西から)



6. 7区2号土坑全景(北から)



7. 7区4号土坑全景(東から)



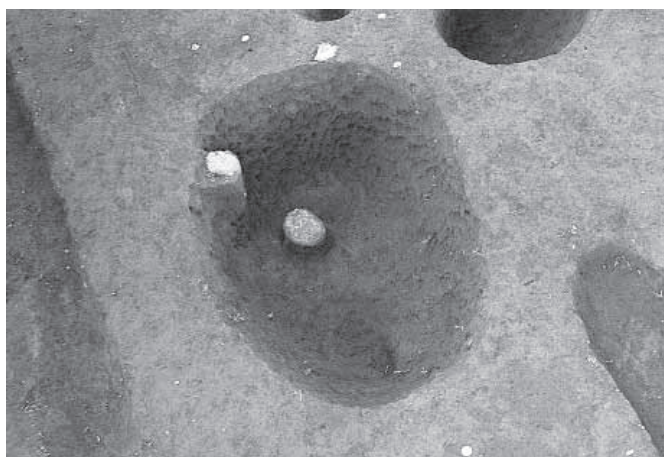
8. 7区5号土坑全景(東から)



1. 7区6号土坑遺物出土状況(北から)



2. 7区6号土坑全景(南から)



3. 7区7号土坑全景(北から)



4. 7区8号土坑全景(南東から)



5. 6区71号ピット遺物出土状況(南から)



6. 6区71号ピット全景(南から)



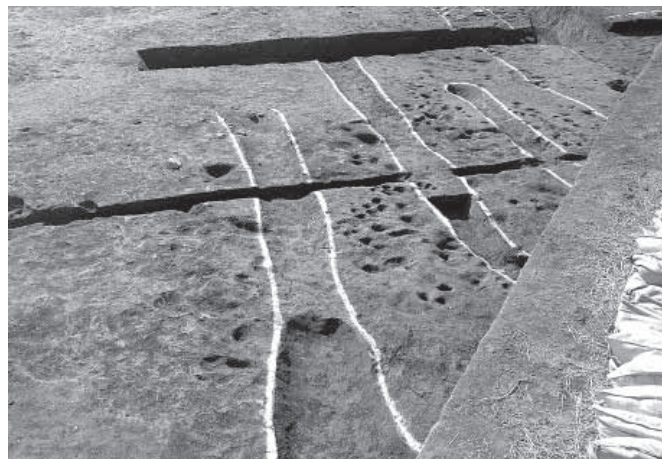
7. 6区110号ピット遺物出土状況(南東から)



8. 6区110号ピット全景(南から)



1. 3区1号島全景(北から)



2. 3区2号島全景(北から)



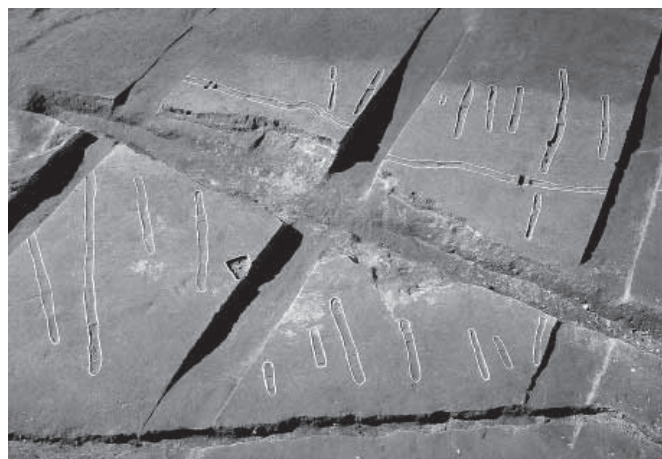
3. 3区3号島全景(南から)



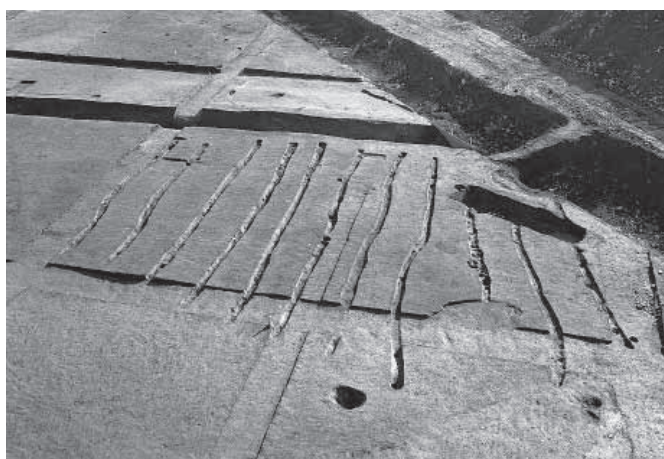
4. 3区4号島全景(南から)



5. 3区5号島全景(東から)



6. 3区6・8・9号島全景(東から)



7. 5区島全景(北から)



8. 6区1号島全景(南から)



1. 6区2号島全景(西から)



2. 6区3号島全景(西から)



3. 6区4号島全景(南から)



4. 6区5号島全景(南西から)



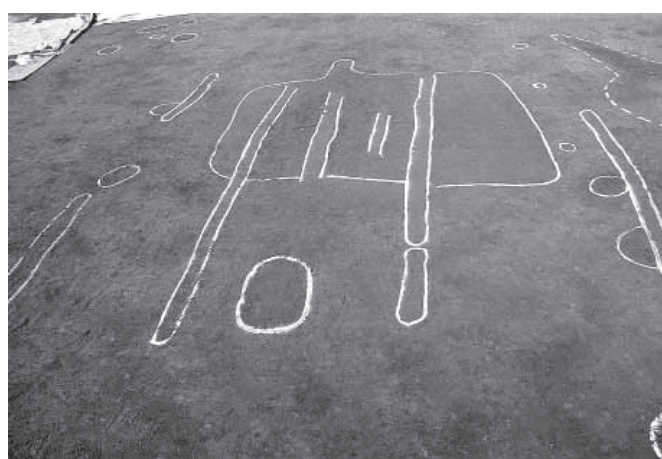
5. 6区6号島検出状況(西から)



6. 6区6号島検出状況(北から)



7. 6区10号島全景(南から)



8. 6区12号島検出状況(北から)



1. 7区1号島全景(北から)



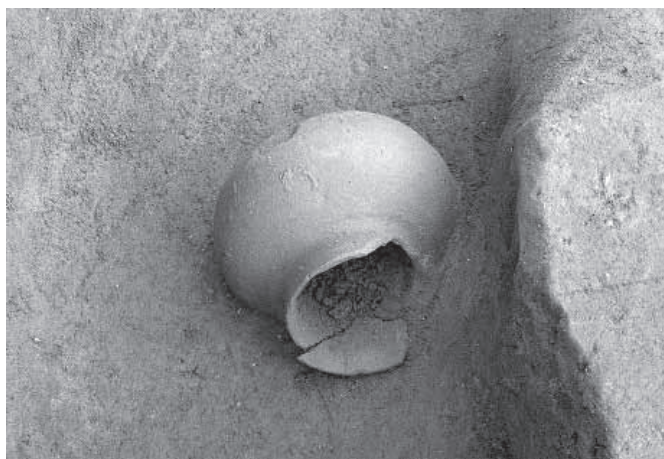
2. 7区2号島全景(北から)



3. 7区3号島東部全景(北から)



4. 7区3号西部、4・5号島全景(北から)



5. 7区5号島遺物出土状況(南から)



6. 7区6号島全景(北から)



7. 7区8・9・11号島全景(北から)



8. 7区12号島全景(北から)



1. 7区13～15号畠全景(西から)



2. 7区16号畠全景(東から)



3. 7区18・19・22号畠全景(東から)



4. 7区21号畠全景(南東から)



5. 7区23～25号畠全景(東から)



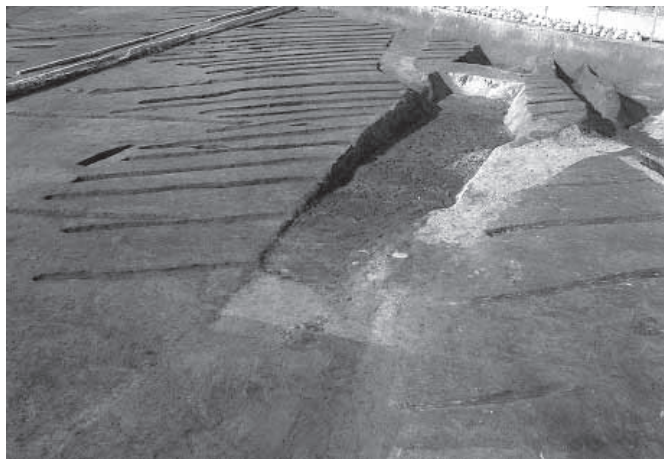
6. 7区27～29号畠全景(南から)



7. 7区30号畠全景(南西から)



8. 7区31号畠全景(北東から)



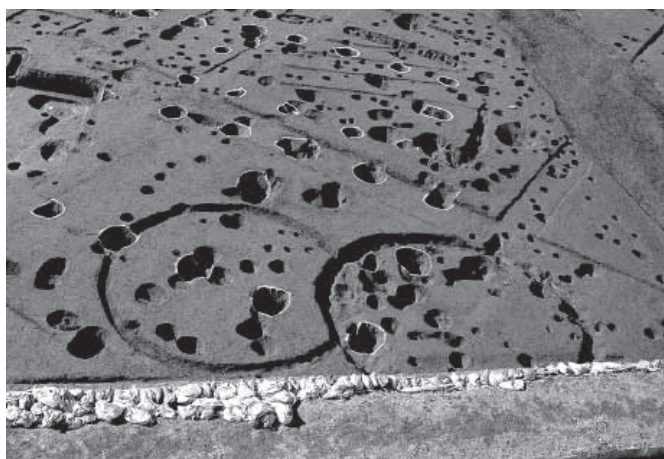
1. 7区32号畠全景(東から)



2. 7区35号畠全景(北東から)



3. 7区39・40号畠全景(東から)



4. 5区223・229号円形周溝遺構全景(北東から)



5. 5区223・229号円形周溝遺構全景(南から)



6. 6区1号円形周溝遺構全景(西から)



7. 1区道路遺構全景(西から)



8. 1区道路遺構全景(東から)



1. 1区道路遺構全景(上空から)



2. 1区道路遺構全景(西上空から)



1. 1区道路遺構南側溝全景(東から)



2. 1区道路遺構北側溝全景(東から)



3. 7区道路状遺構全景(東から)



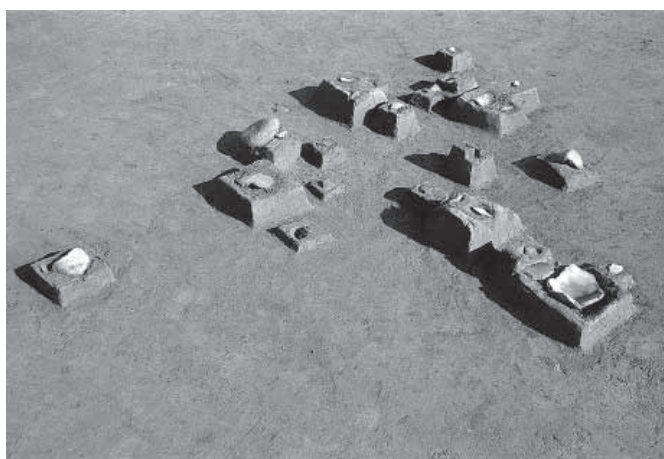
4. 6区1号遺物集積遺構遺物出土状況(東から)



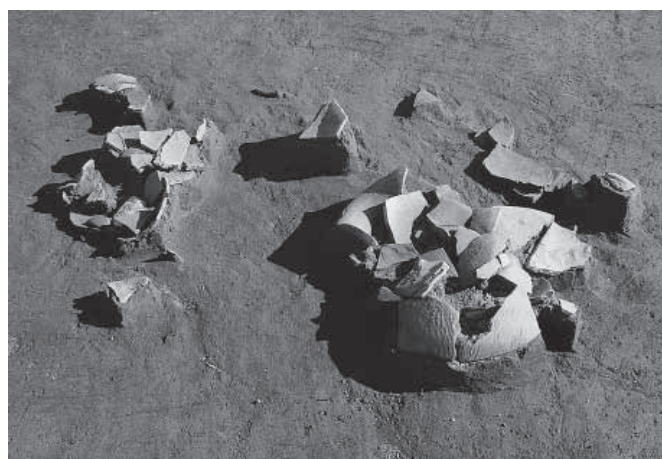
5. 6区1号遺物集積遺構下層遺物出土状況(北西から)



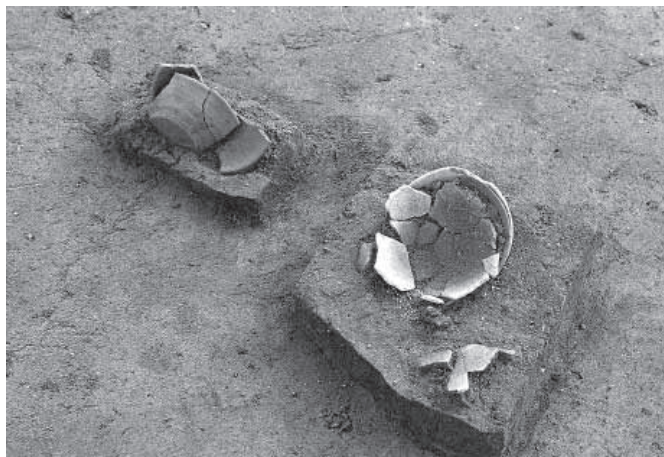
6. 6区2号遺物集積遺構遺物出土状況(南から)



7. 6区3号遺物集積遺構遺物出土状況(西から)



8. 6区4号遺物集積遺構遺物出土状況(西から)



1. 6区5号遺物集積遺構遺物出土状況(西から)



2. 7区2号遺物集積遺構遺物出土状況(西から)



3. 7区2号遺物集積遺構遺物出土状況(東から)



4. 7区2号遺物集積遺構遺物出土状況(西から)



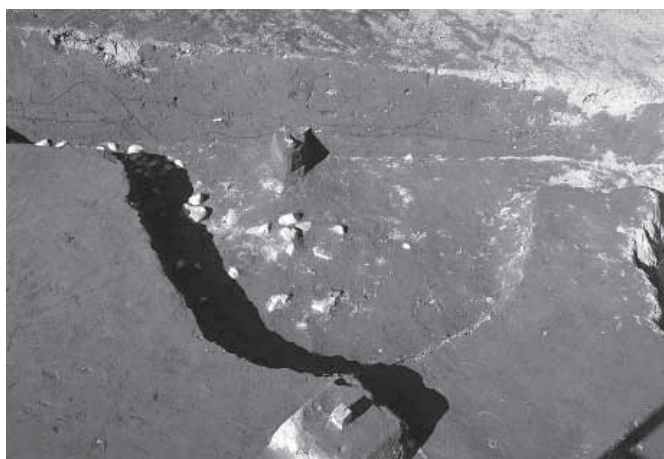
5. 7区2号遺物集積遺構全景(東から)



1. 7区2号遺物集積遺構掘り方全景(西から)



2. 7区1号遺物集積遺構全景(東から)



3. 7区1号遺物集積遺構掘り方全景(東から)



4. 7区1号集石遺構全景(東から)



5. 1区4・13号溝全景(北から)



1. 1区4・5・17号溝全景(上空から)



2. 1区4号溝遺物出土状況(北から)



3. 1区4号溝遺物出土状況(北から)



4. 1区5号溝全景(東から)



5. 1区8号溝全景(西から)



6. 1区5号溝全景(西から)



1. 1区9・13～16号溝全景(南から)



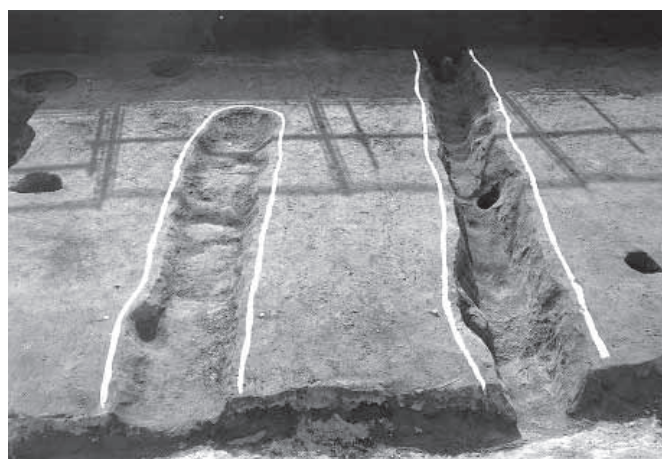
2. 1区10・12・21号溝全景(東から)



3. 1区17号溝全景(東から)



4. 1区18号溝全景(北から)



5. 1区25・26号溝全景(北から)



1. 1区29～34号溝全景(西から)



2. 1区31号溝全景(北から)



3. 1区35号溝全景(東から)



4. 3区14号溝全景(北から)



5. 3区23号溝全景(北東から)



6. 3区25号溝全景(西から)



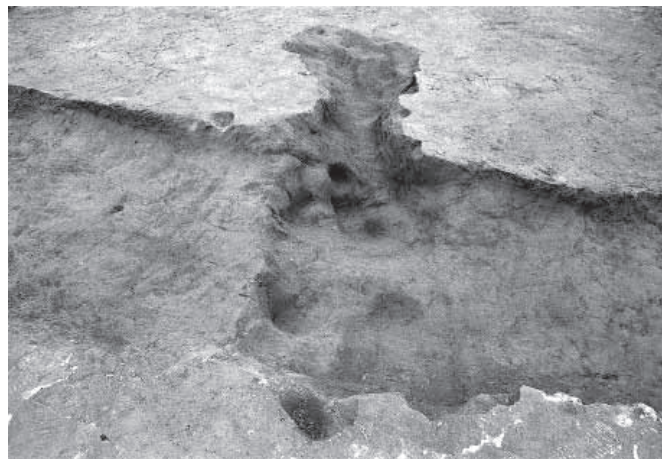
7. 3区26～29号溝全景(南から)



8. 6区1号溝全景(南東から)



1. 6区4号溝全景(南から)



2. 6区5号溝全景(南から)



3. 6区6号溝全景(西から)



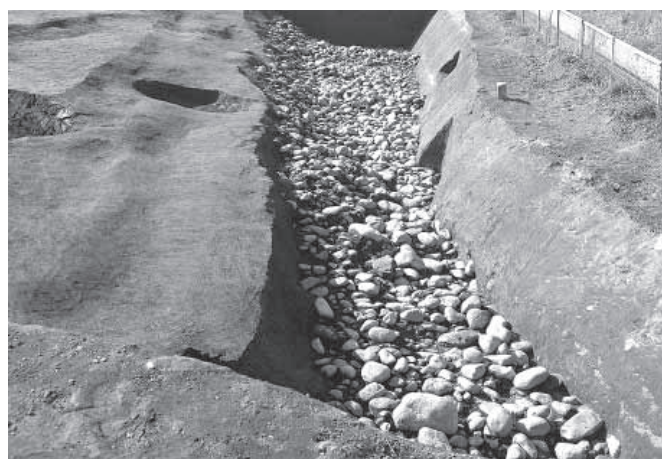
4. 6区27～49号溝全景(西から)



5. 6区53号溝全景(西から)



6. 7区2号溝全景(西から)



7. 7区2号溝東部全景(東から)



1. 7区2号溝全景(南東から)



2. 7区2号溝中部全景(東から)



3. 7区2号溝全景(東から)



4. 1区29号井戸全景(西から)



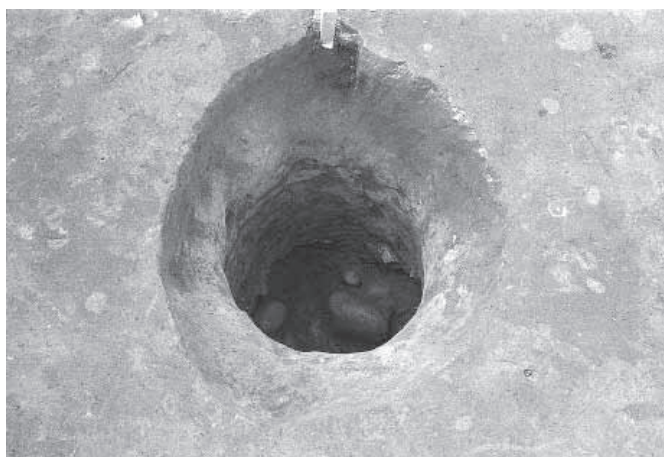
5. 1区44号井戸全景(東から)



1. 1区147号井戸全景(西から)



2. 1区150号井戸全景(東から)



3. 1区162号井戸全景(東から)



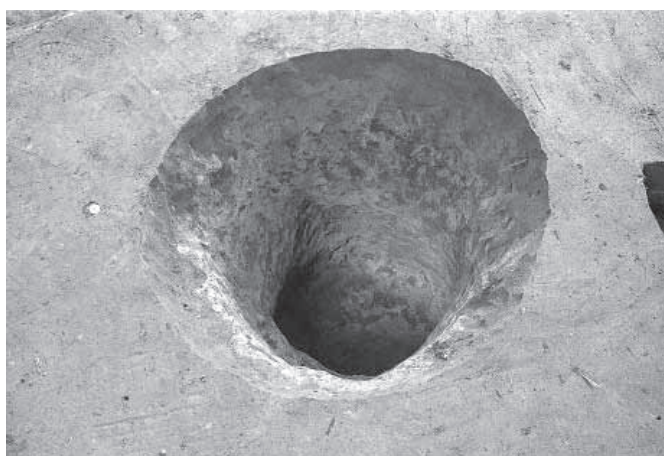
4. 1区188号井戸全景(西から)



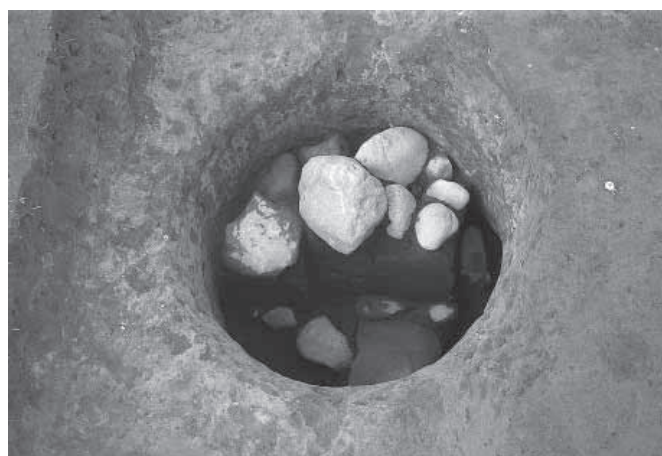
5. 1区247号井戸遺物出土状況(東から)



6. 1区247号井戸全景(西から)



7. 1区267号井戸全景(北から)



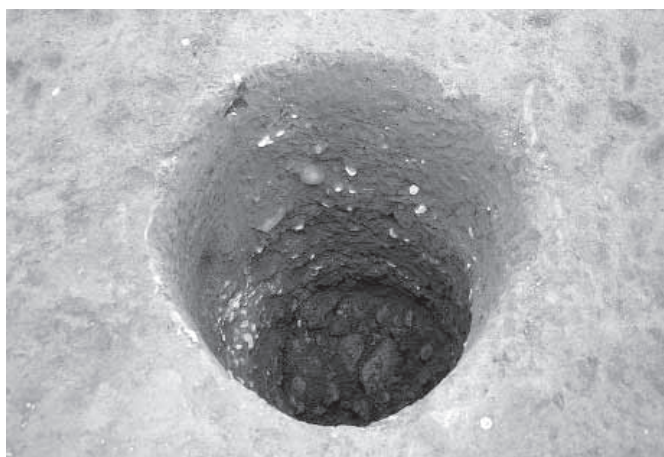
8. 1区274号井戸遺物出土状況(東から)



1. 1区274号井戸全景(南西から)



2. 1区297号井戸全景(北から)



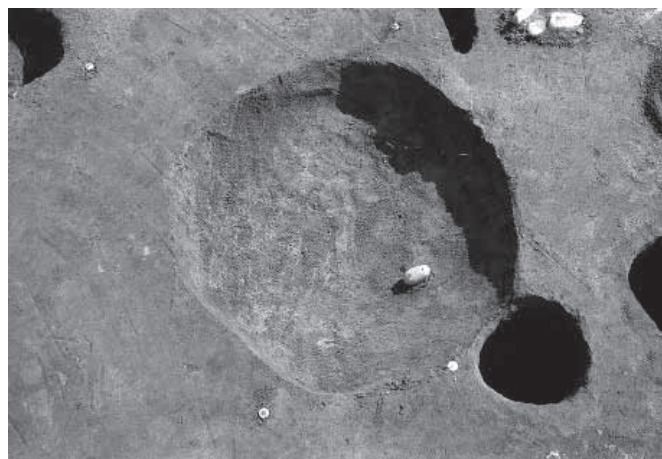
3. 3区1号井戸全景(北から)



4. 3区21号井戸全景(北から)



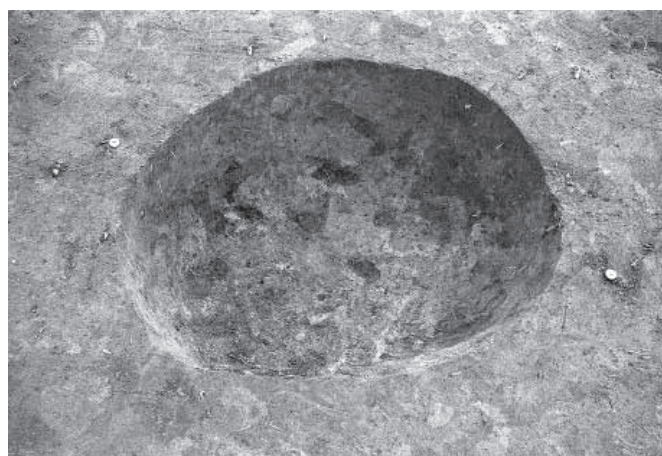
5. 1区1号土坑全景(西から)



6. 1区3号土坑全景(西から)



7. 1区4号土坑全景(東から)



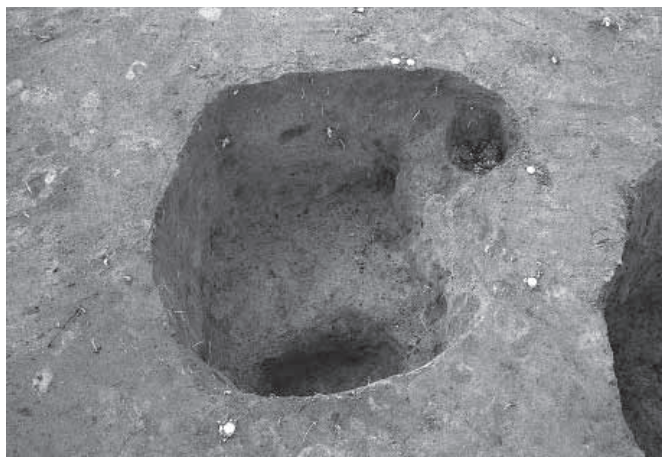
8. 1区5号土坑全景(北から)



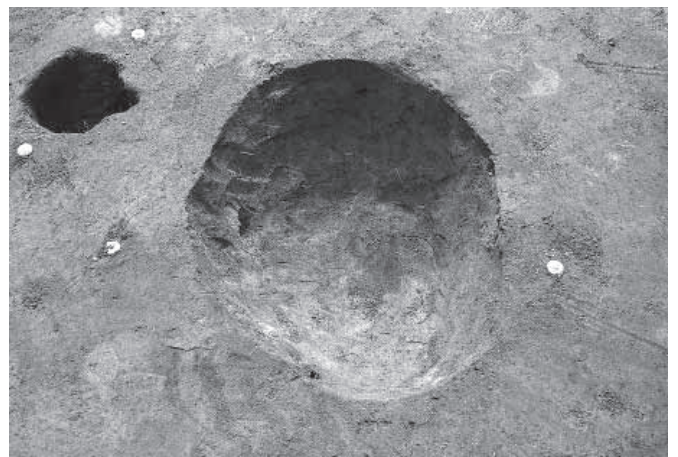
1. 1区6号土坑全景(東から)



2. 1区11・26号土坑全景(東から)



3. 1区12号土坑全景(東から)



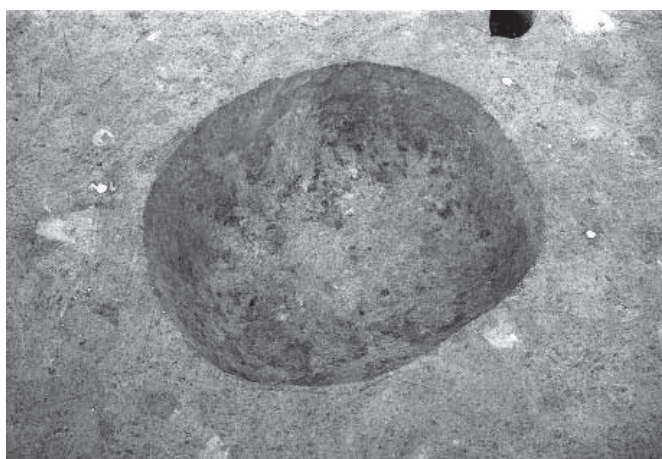
4. 1区14号土坑全景(北から)



5. 1区19号土坑全景(北から)



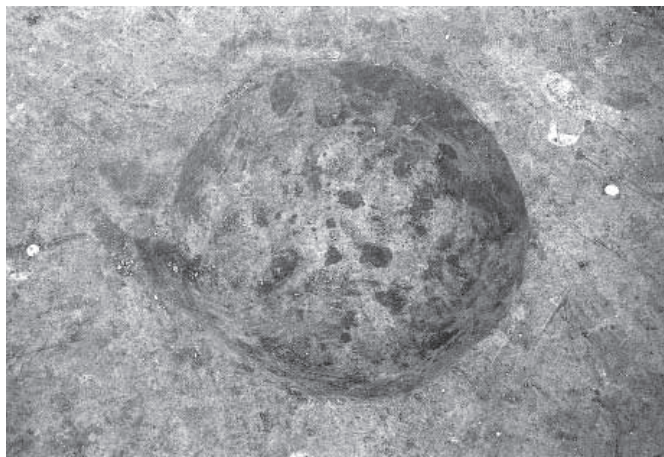
6. 1区21号土坑全景(南から)



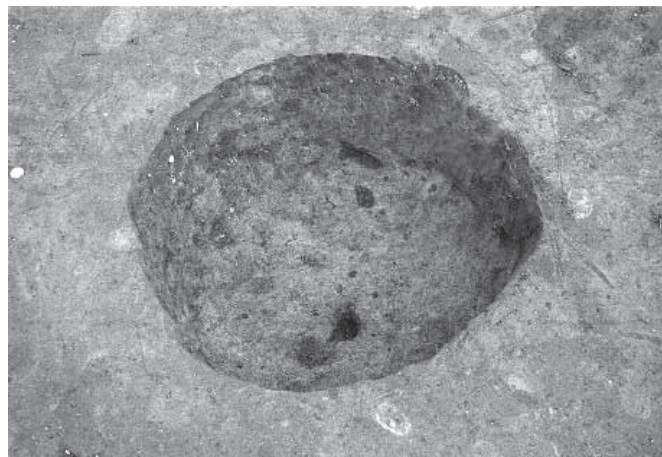
7. 1区28号土坑全景(南から)



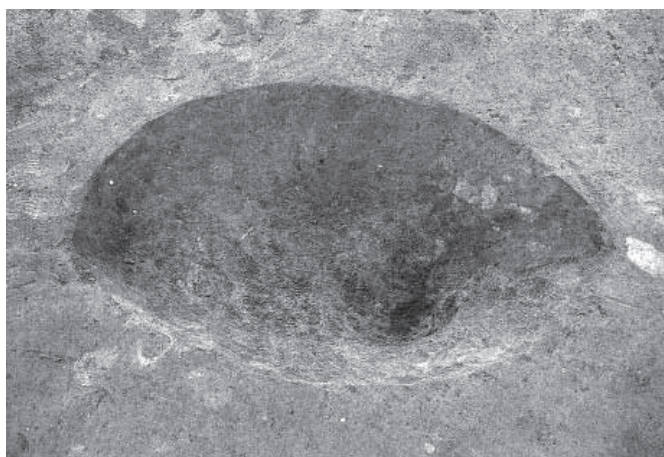
8. 1区30号土坑全景(北から)



1. 1区32号土坑全景(西から)



2. 1区33号土坑全景(南から)



3. 1区34号土坑全景(東から)



4. 1区38号土坑遺物出土状況(北から)



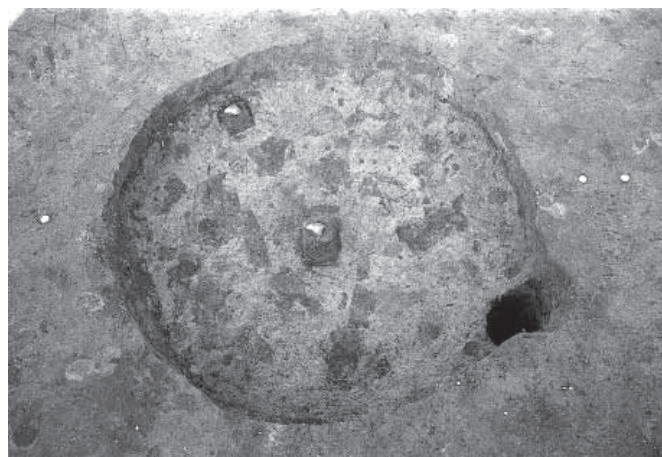
5. 1区38号土坑全景(北から)



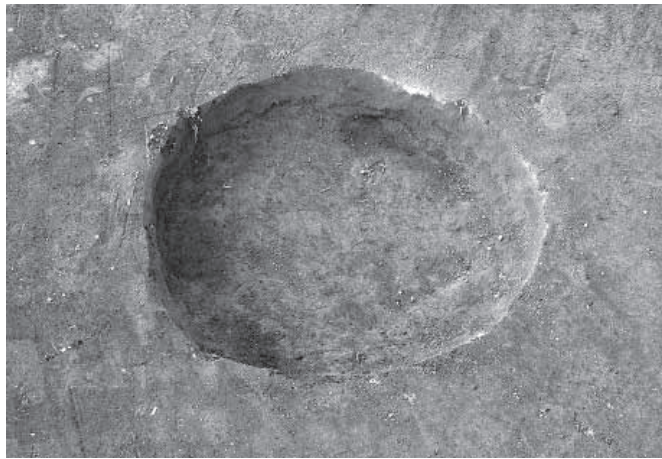
6. 1区39号土坑全景(南から)



7. 1区41号土坑全景(西から)



8. 1区45号土坑全景(南から)



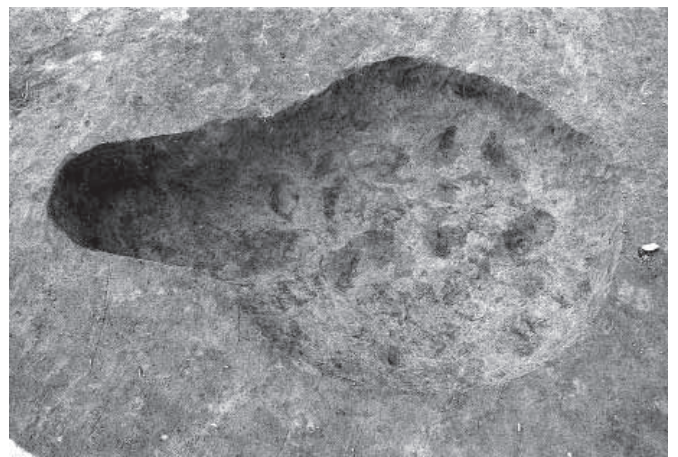
1. 1区48号土坑全景(東から)



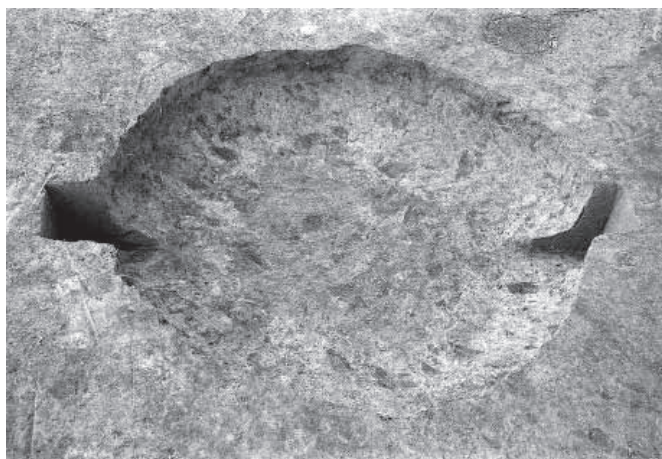
2. 1区49号土坑全景(東から)



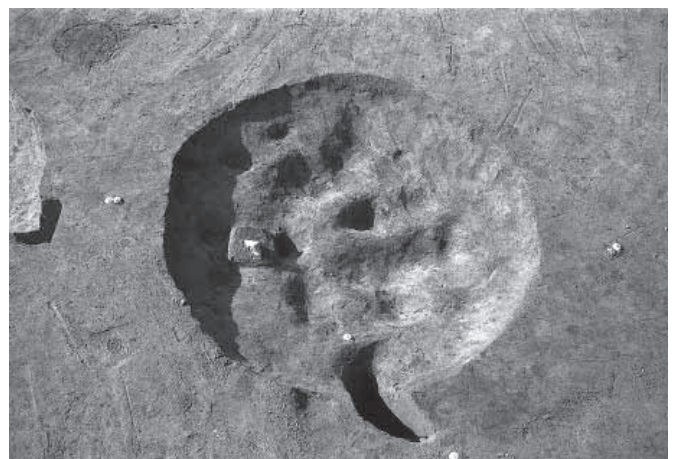
3. 1区50号土坑全景(東から)



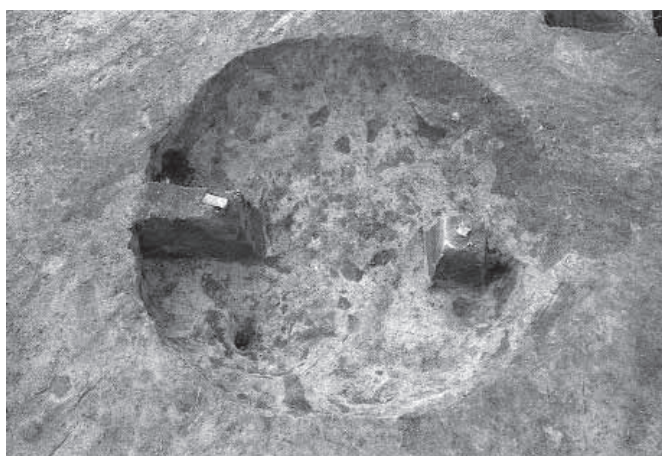
4. 1区51・52号土坑全景(東から)



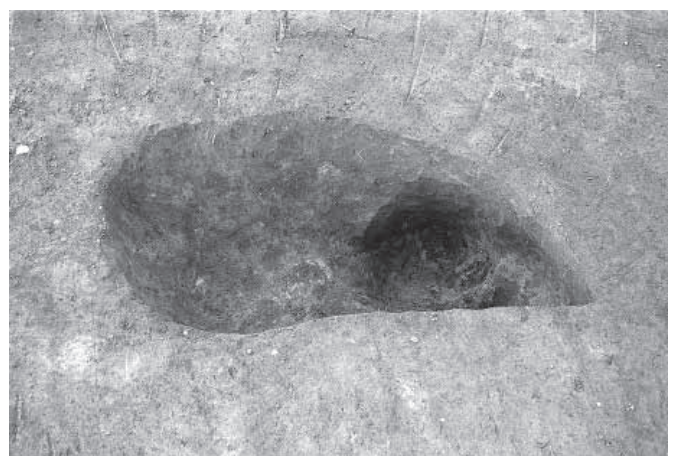
5. 1区53号土坑全景(東から)



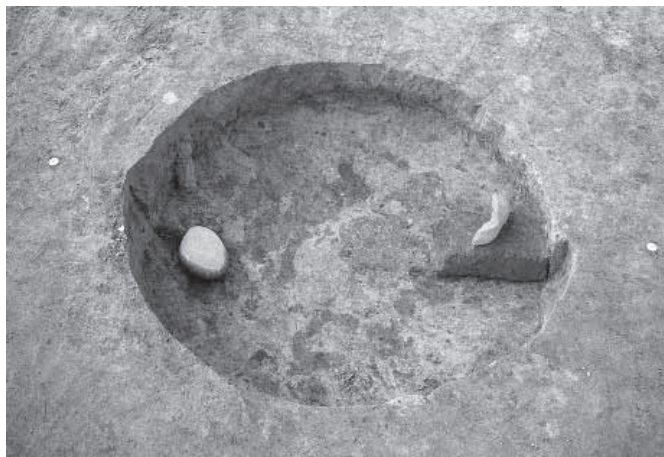
6. 1区54号土坑全景(東から)



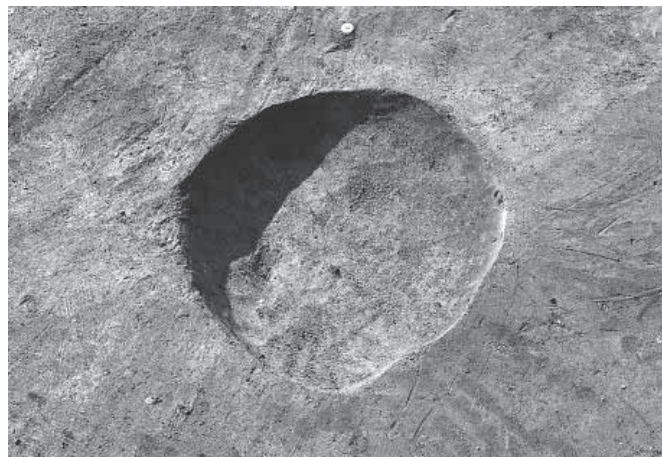
7. 1区55号土坑全景(東から)



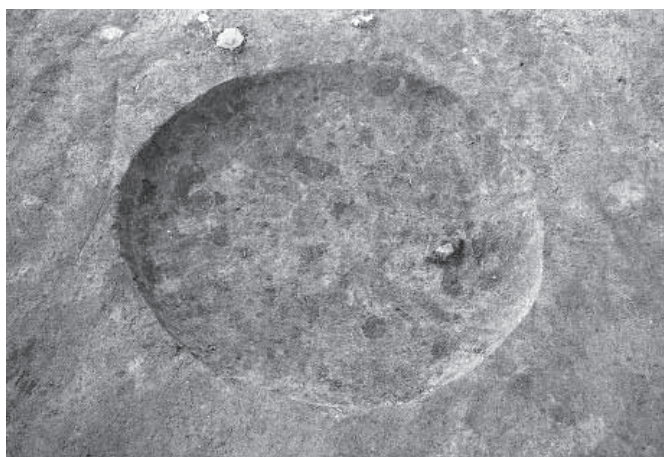
8. 1区56号土坑全景(東から)



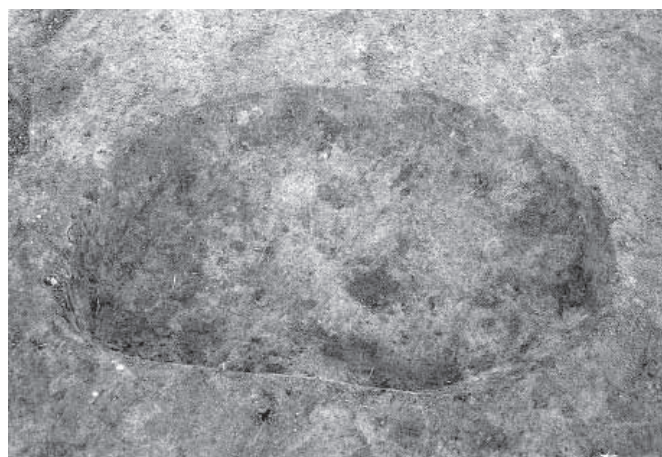
1. 1区57号土坑全景(東から)



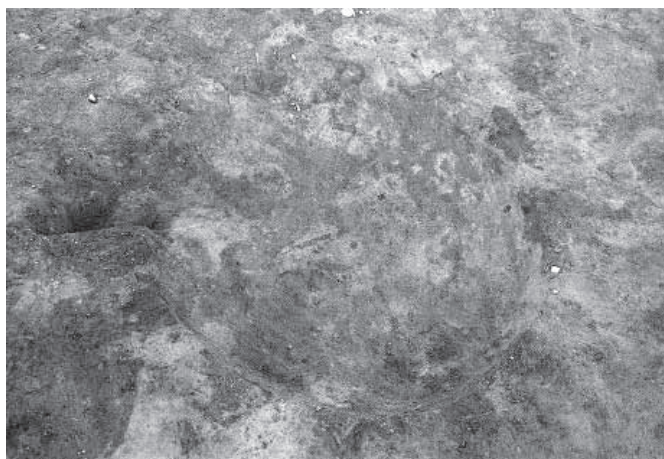
2. 1区58号土坑全景(東から)



3. 1区59号土坑全景(東から)



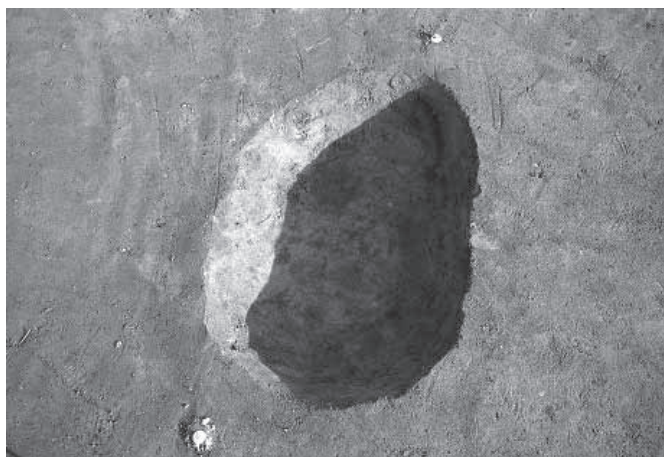
4. 1区60号土坑全景(南から)



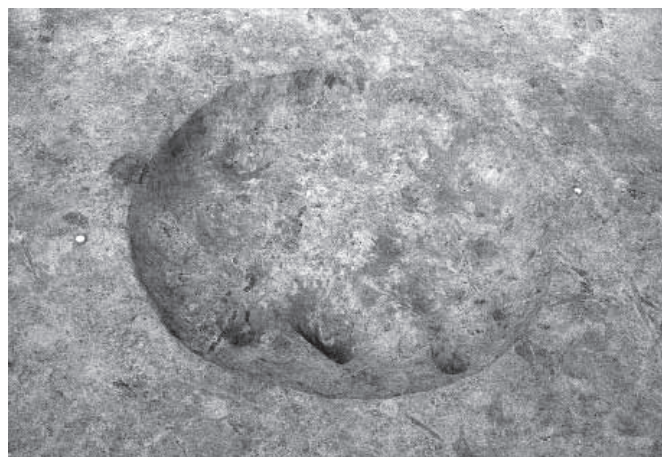
5. 1区61号土坑全景(南から)



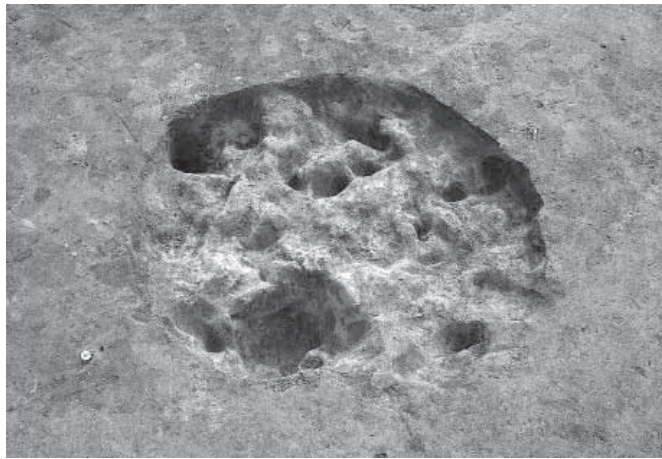
6. 1区63号土坑全景(東から)



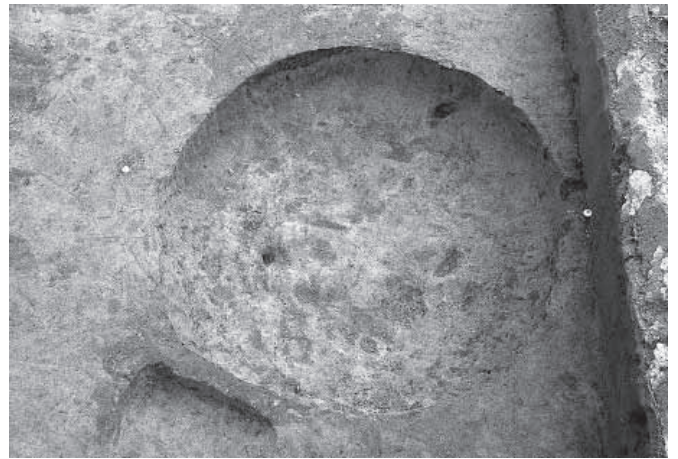
7. 1区75号土坑全景(北から)



8. 1区78号土坑全景(南から)



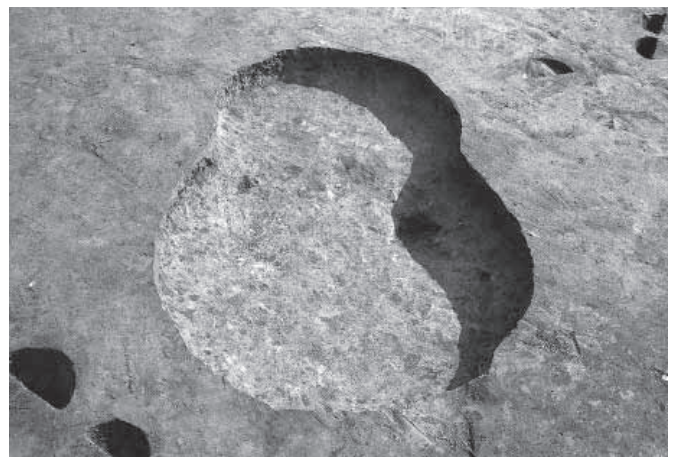
1. 1区79号土坑全景(北から)



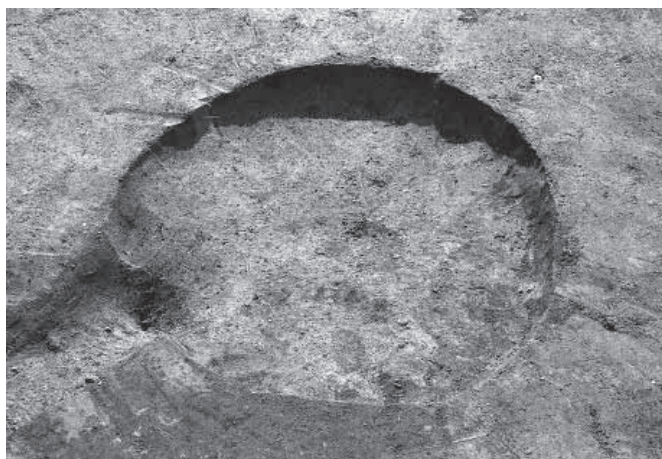
2. 1区83号土坑全景(北から)



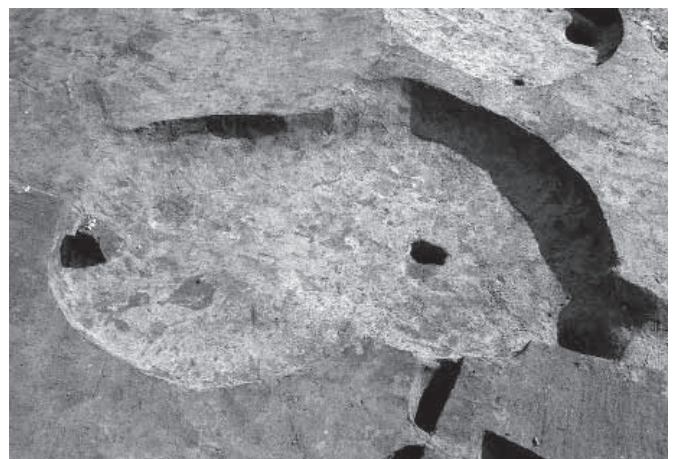
3. 1区84号土坑全景(北から)



4. 1区85・86号土坑全景(北から)



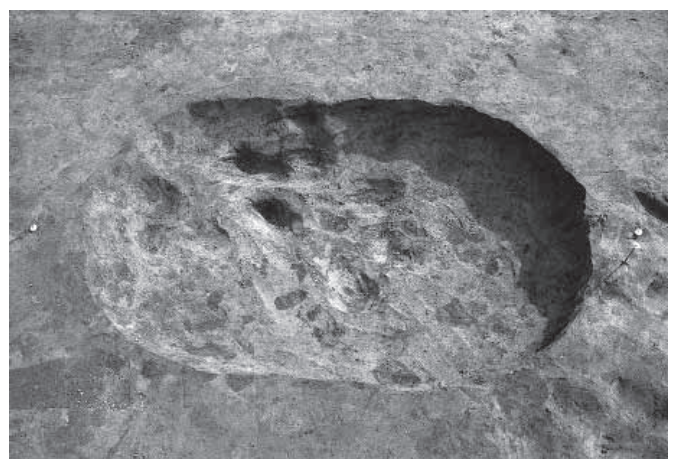
5. 1区87号土坑全景(北から)



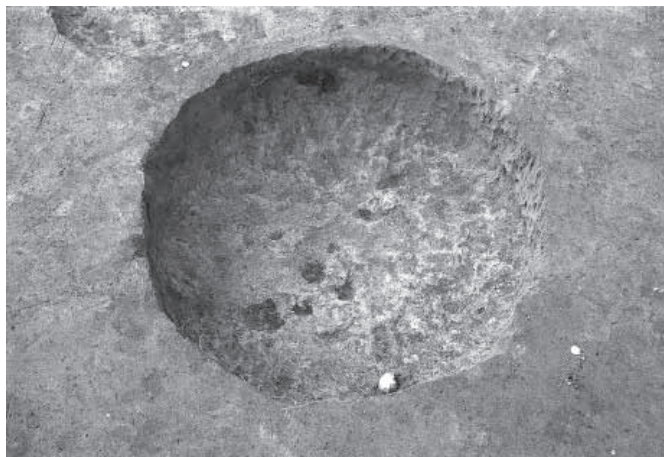
6. 1区88・89号土坑全景(北から)



7. 1区90・91号土坑全景(北から)



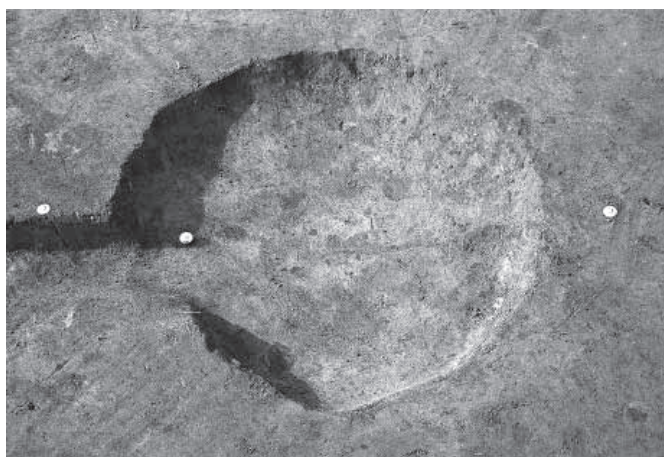
8. 1区92・93号土坑全景(北から)



1. 1区96号土坑全景(東から)



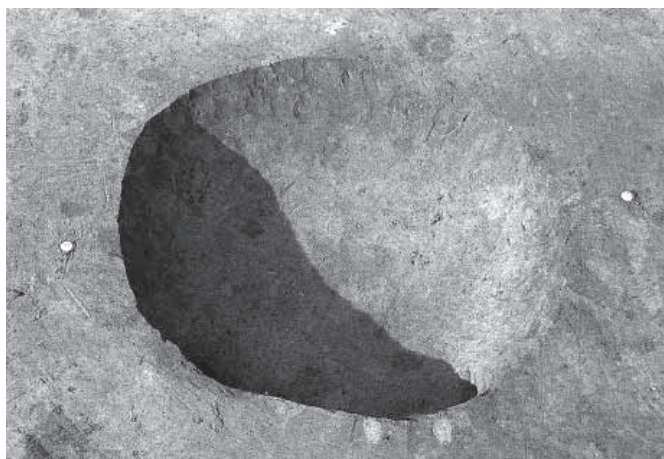
2. 1区98・99・107号土坑全景(北から)



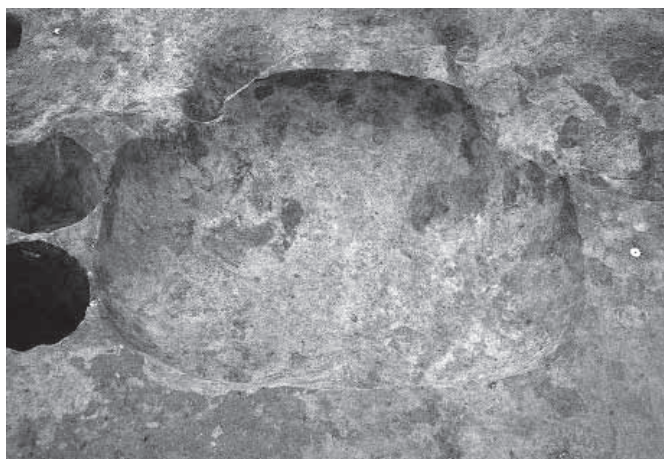
3. 1区100号土坑全景(東から)



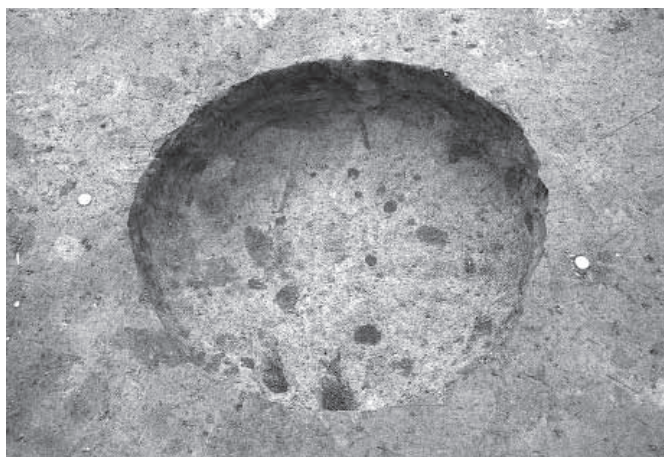
4. 1区101～104号土坑全景(東から)



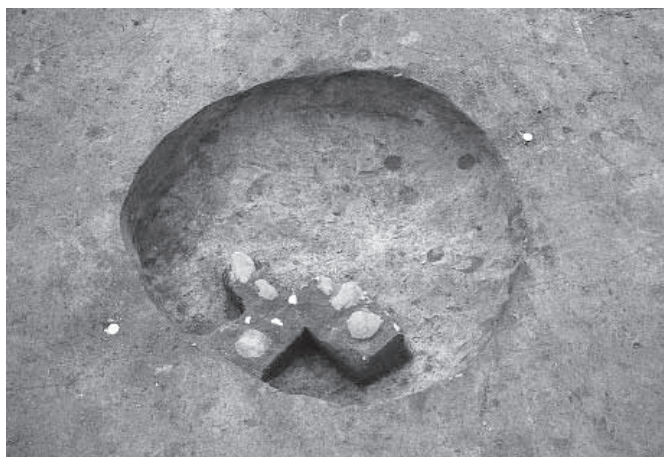
5. 1区106号土坑全景(東から)



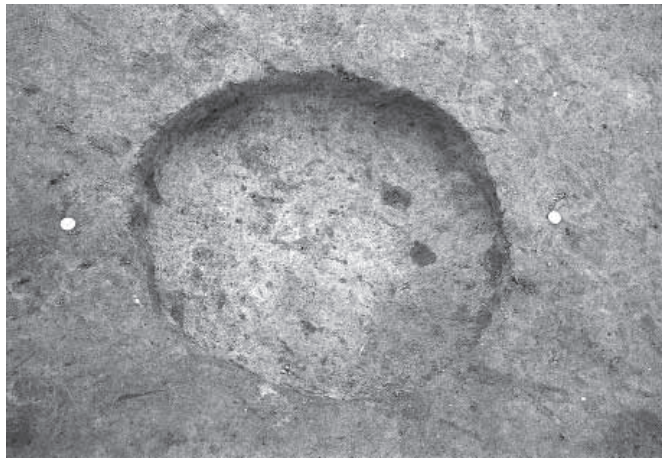
6. 1区118号土坑全景(北から)



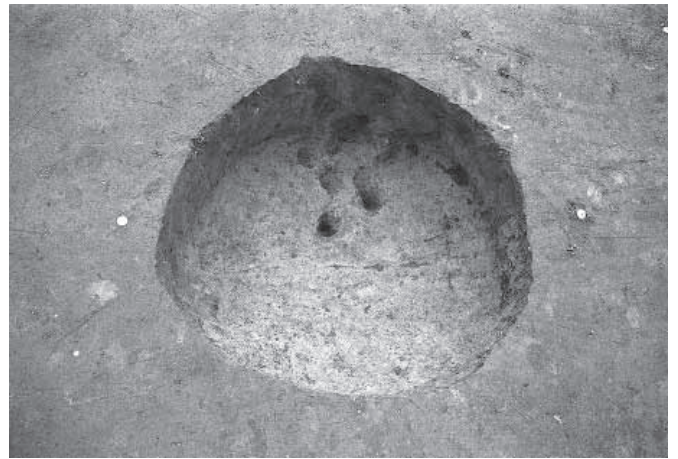
7. 1区122号土坑全景(北から)



8. 1区123号土坑全景(北から)



1. 1区124号土坑全景(北から)



2. 1区125号土坑全景(北から)



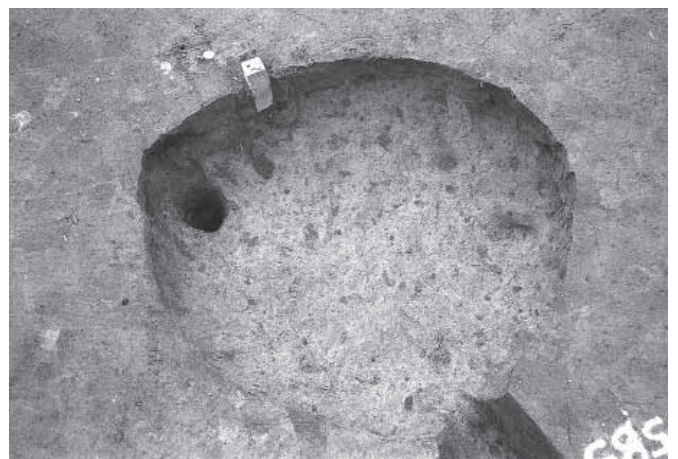
3. 1区126号土坑全景(北から)



4. 1区127号土坑全景(東から)



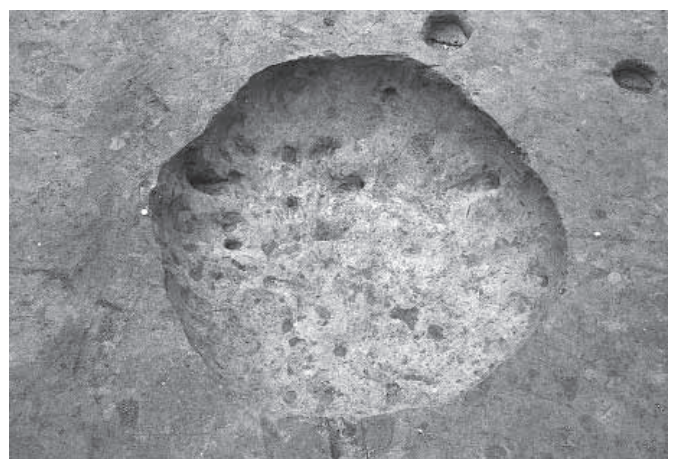
5. 1区132号土坑全景(北から)



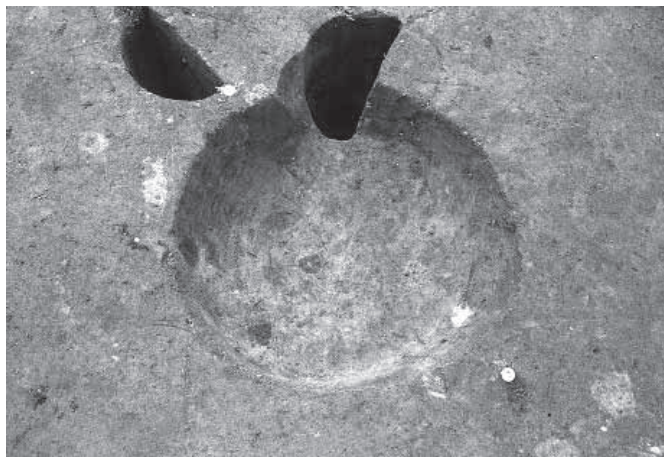
6. 1区133号土坑全景(北から)



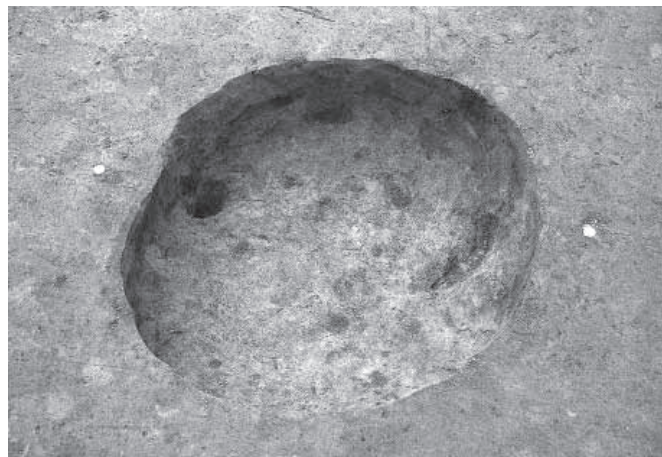
7. 1区134・135号土坑全景(東から)



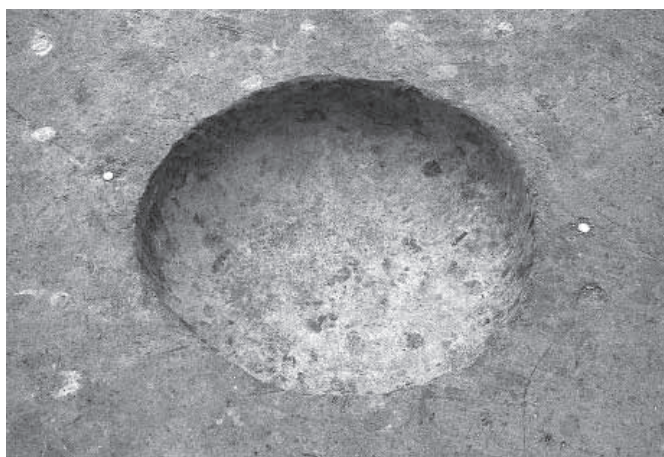
8. 1区137号土坑全景(北から)



1. 1区140号土坑全景(北から)



2. 1区141号土坑全景(北から)



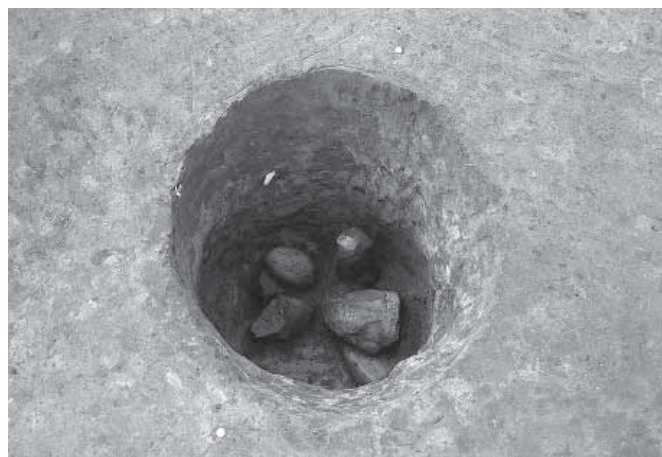
3. 1区142号土坑全景(北から)



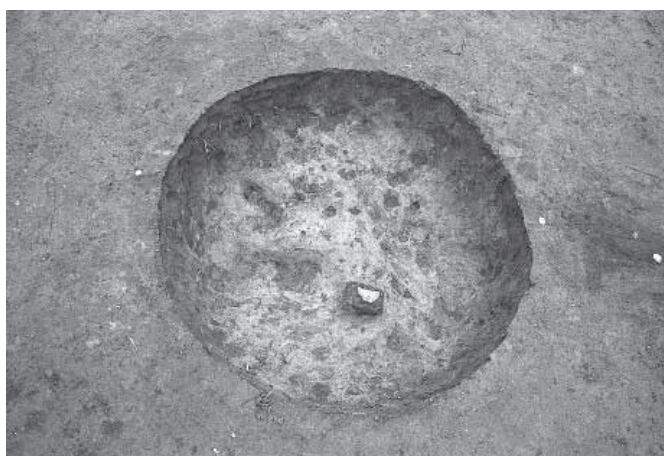
4. 1区144号土坑全景(東から)



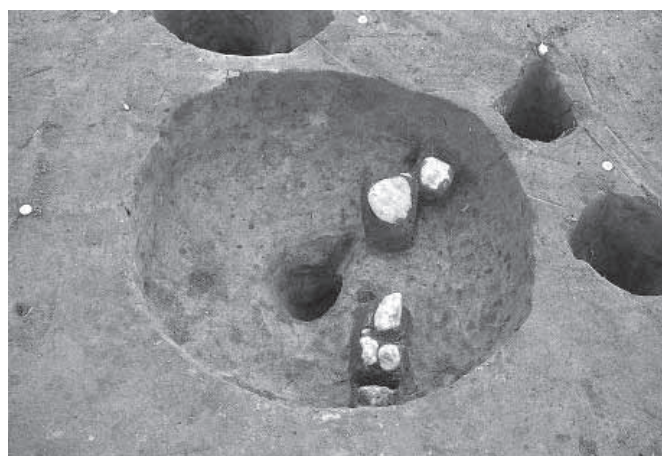
5. 1区145号土坑全景(南から)



6. 1区146号土坑全景(東から)



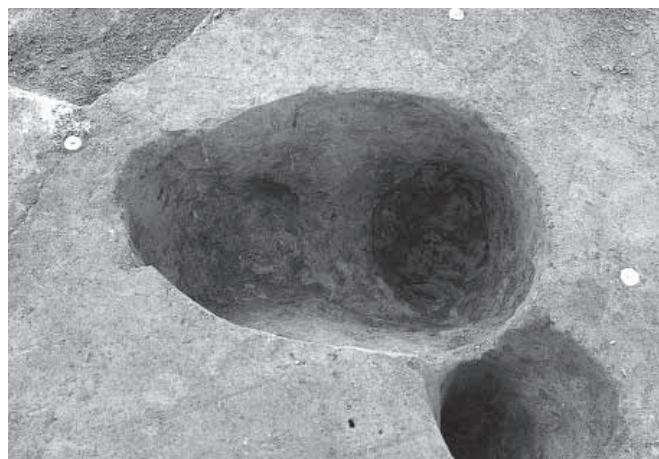
7. 1区149号土坑全景(南から)



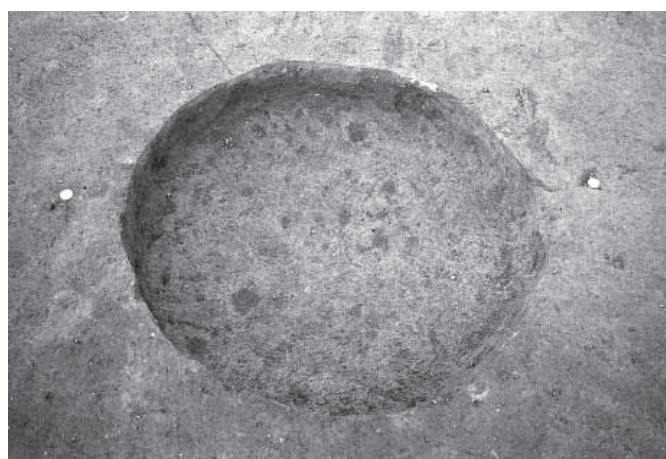
8. 1区160号土坑全景(北から)



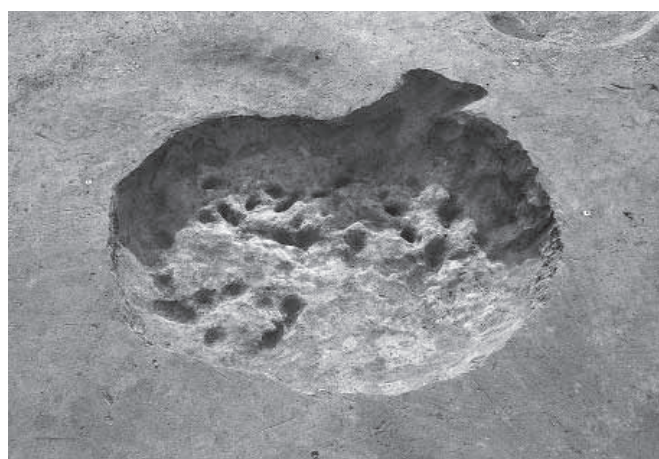
1. 1区161号土坑全景(北から)



2. 1区163号土坑全景(東から)



3. 1区164号土坑全景(南から)



4. 1区175・176号土坑全景(北から)



5. 1区178号土坑全景(北から)



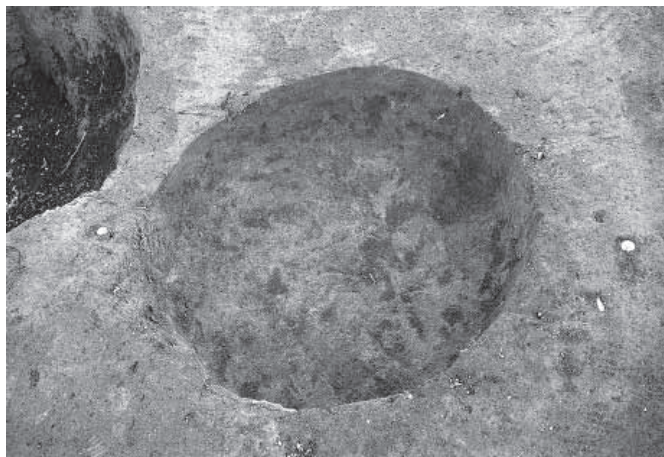
6. 1区184号土坑全景(北から)



7. 1区187号土坑全景(西から)



8. 1区195号土坑遺物出土状況(西から)



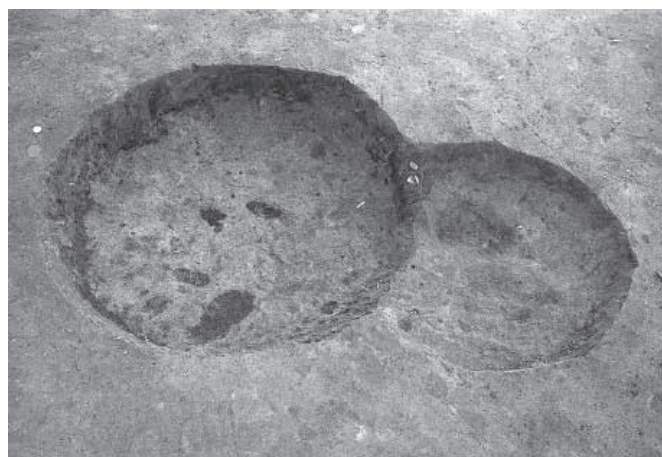
1. 1区197号土坑全景(北から)



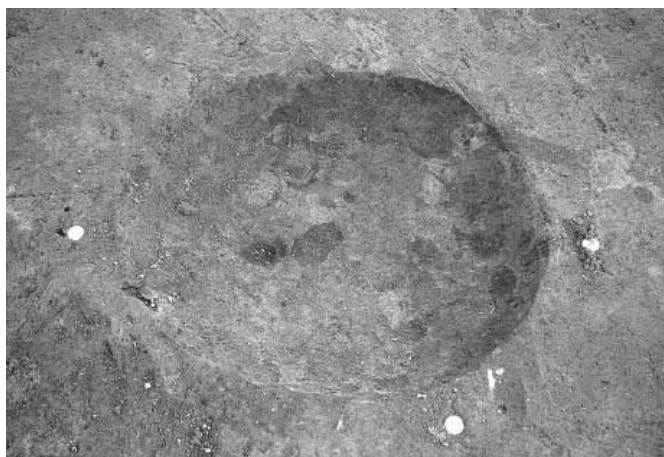
2. 1区198号土坑全景(北から)



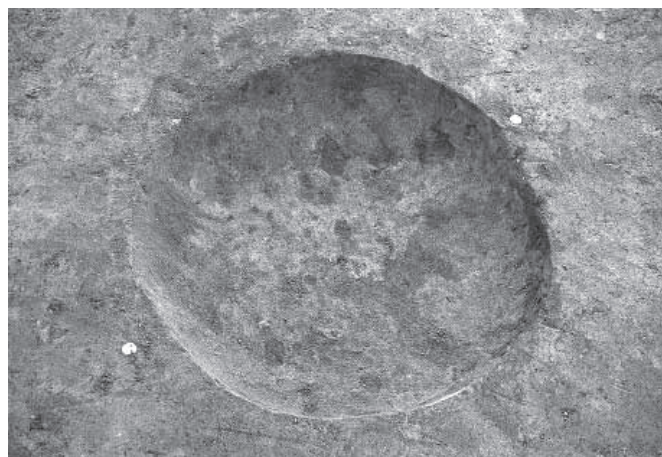
3. 1区199・200号土坑全景(北から)



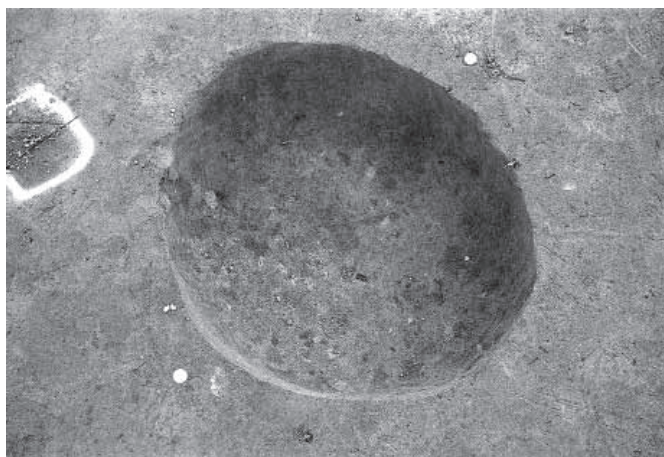
4. 1区201・202号土坑全景(北から)



5. 1区203号土坑全景(北から)



6. 1区204号土坑全景(北から)



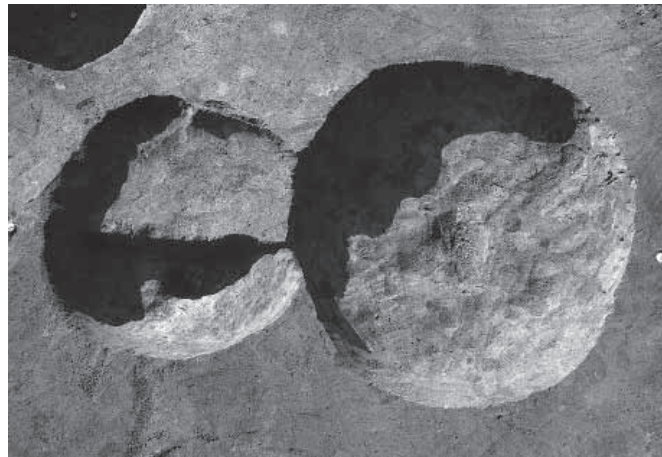
7. 1区205号土坑全景(北から)



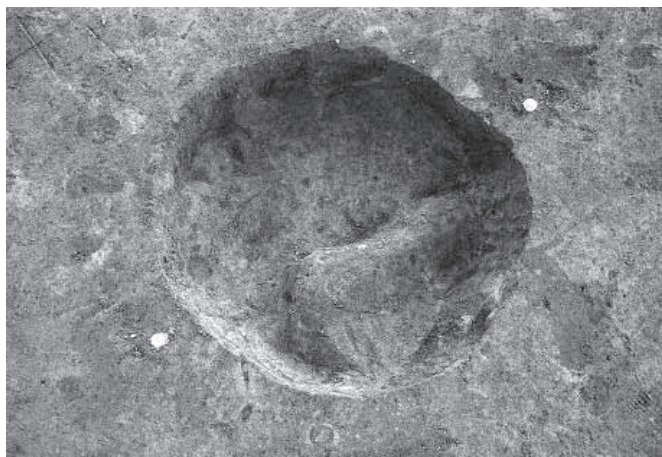
8. 1区206号土坑全景(西から)



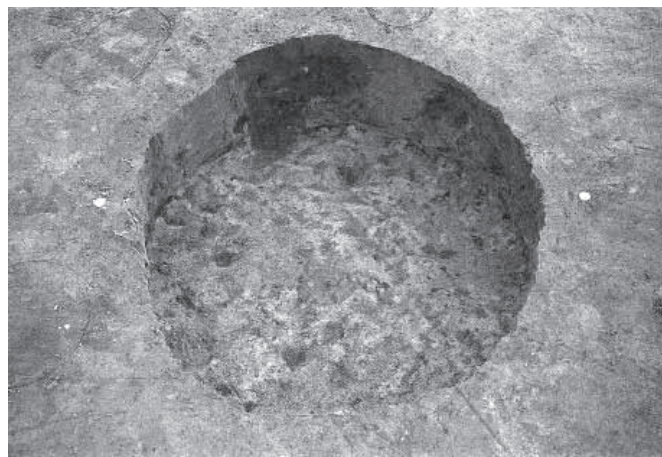
1. 1区208・209号土坑全景(西から)



2. 1区210・211号土坑全景(東から)



3. 1区212号土坑全景(北から)



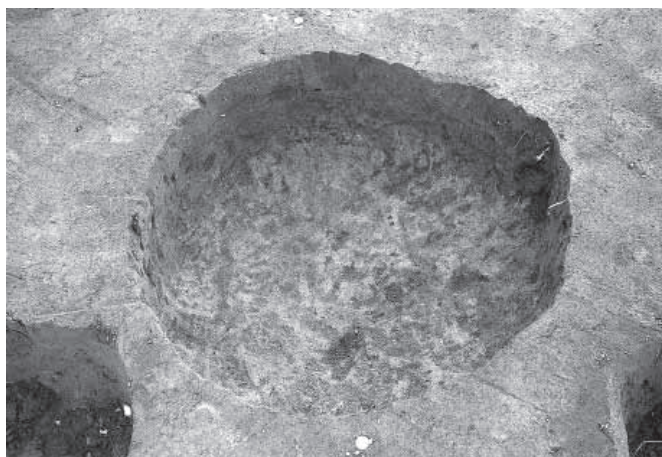
4. 1区213号土坑全景(北から)



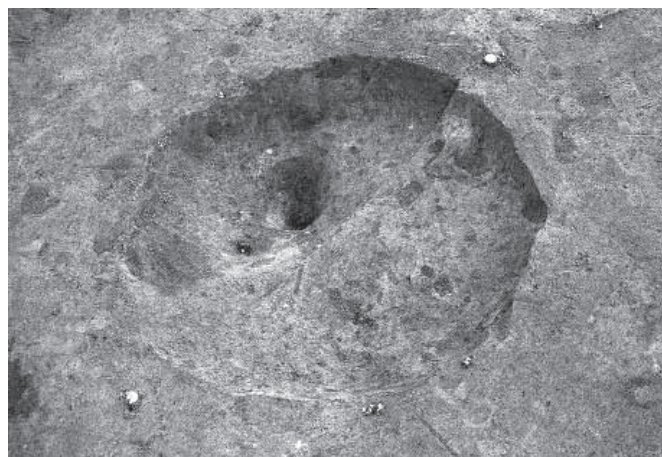
5. 1区214・215号土坑全景(北から)



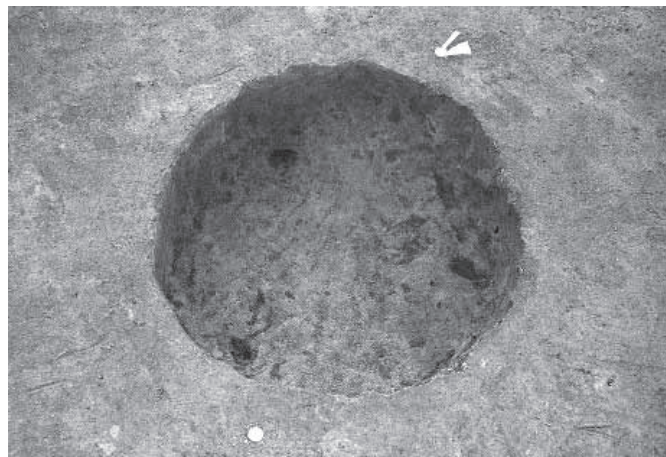
6. 1区219号土坑全景(北から)



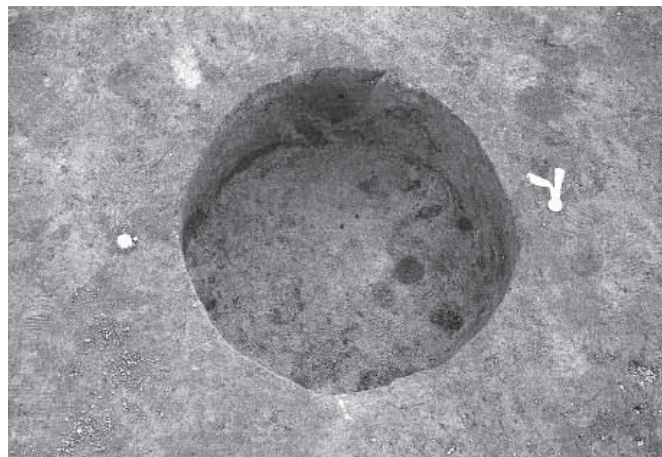
7. 1区220号土坑全景(北から)



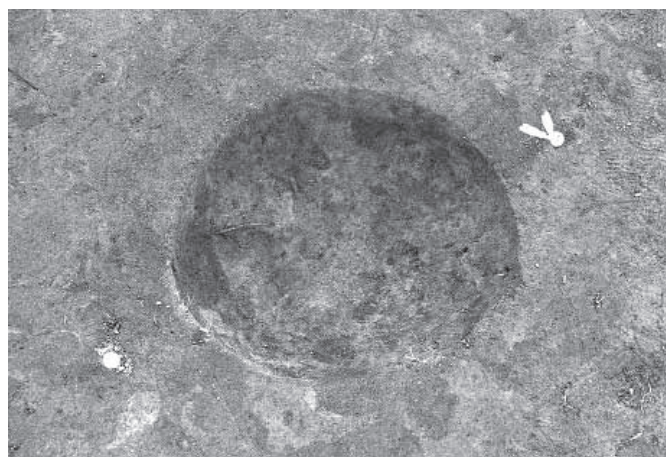
8. 1区221号土坑全景(北から)



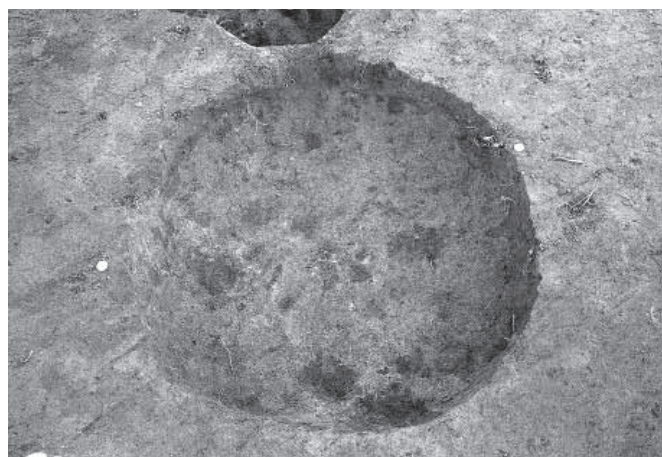
1. 1区222号土坑全景(北から)



2. 1区223号土坑全景(北から)



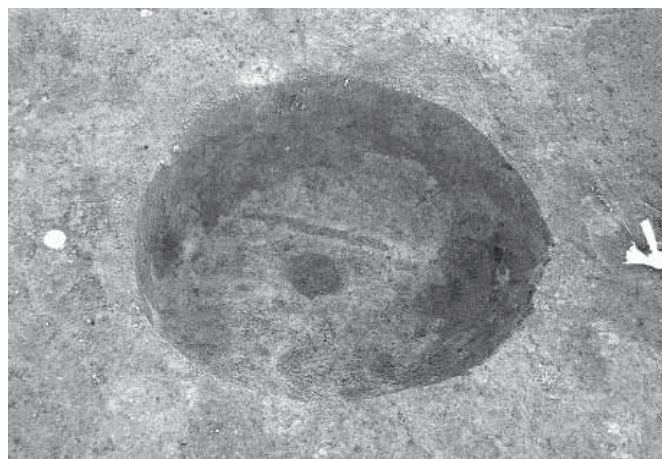
3. 1区224号土坑全景(北から)



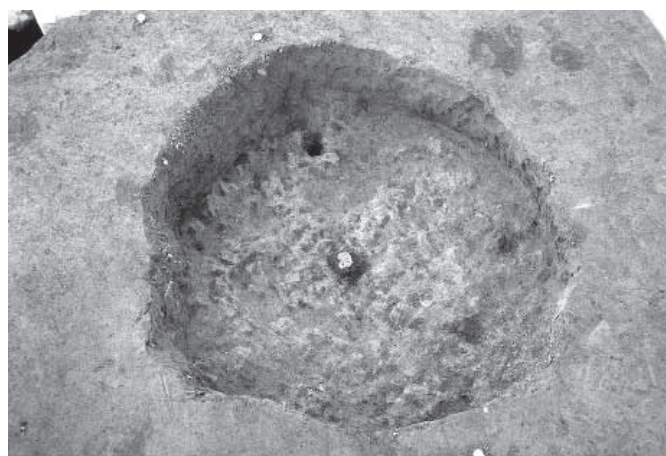
4. 1区225号土坑全景(北から)



5. 1区226号土坑全景(北から)



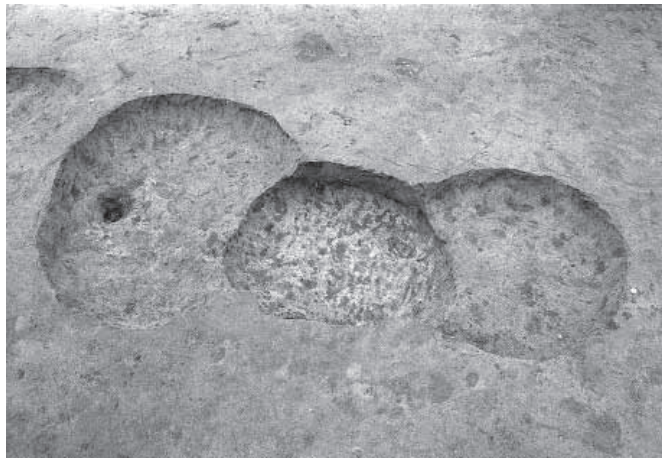
6. 1区231号土坑全景(北から)



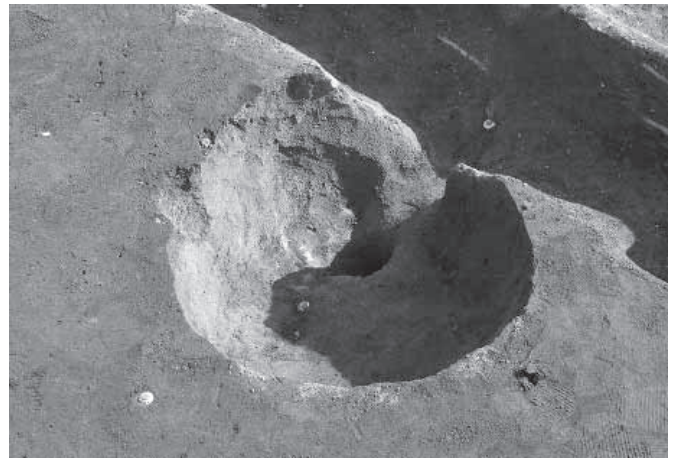
7. 1区238号土坑全景(東から)



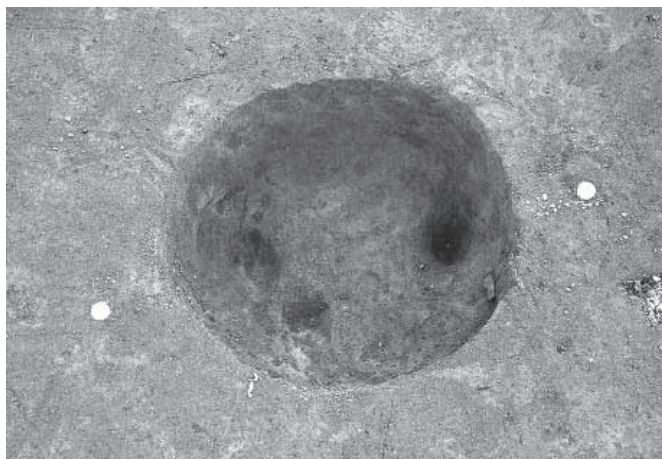
8. 1区238号土坑遺物出土状況(東から)



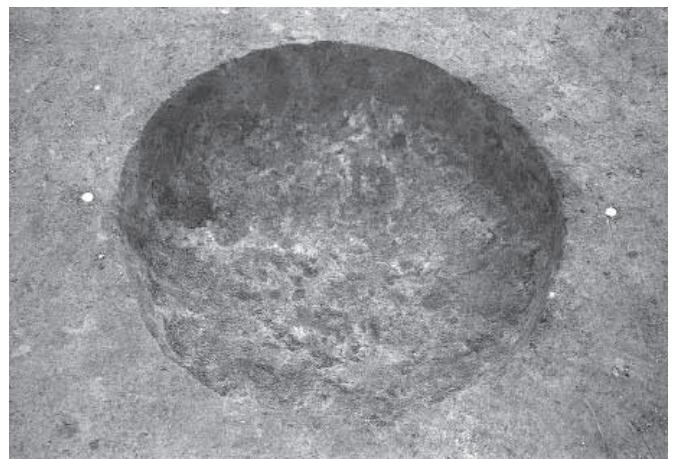
1. 1区239～241号土坑全景(東から)



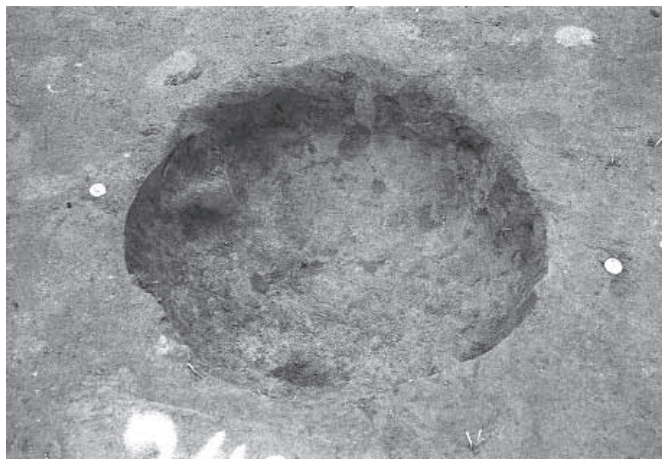
2. 1区242号土坑全景(北から)



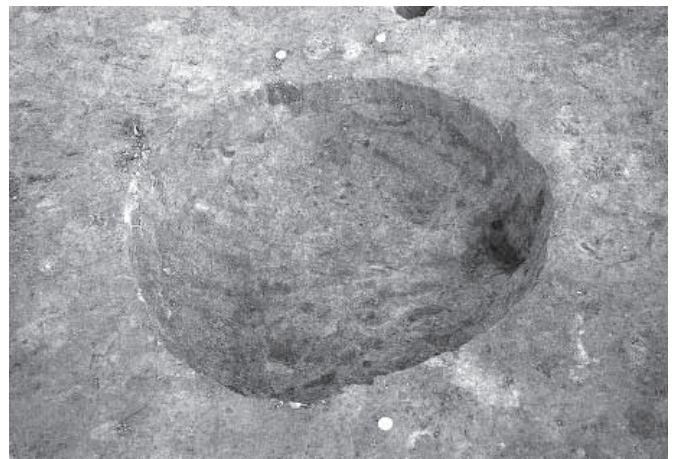
3. 1区243号土坑全景(北から)



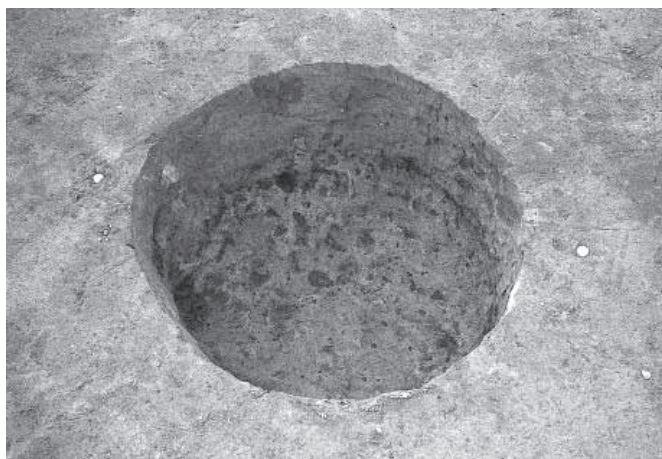
4. 1区248号土坑全景(北から)



5. 1区249号土坑全景(東から)



6. 1区251号土坑全景(西から)



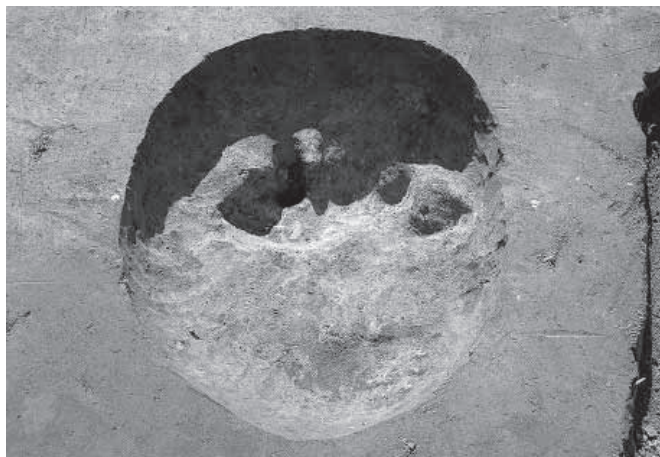
7. 1区252号土坑全景(東から)



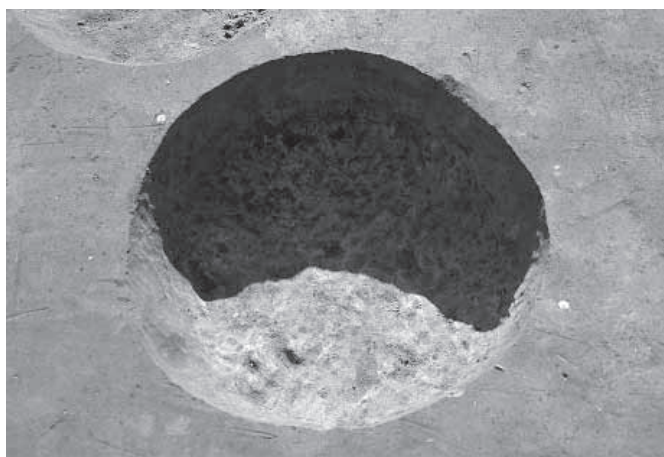
8. 1区253号土坑全景(北から)



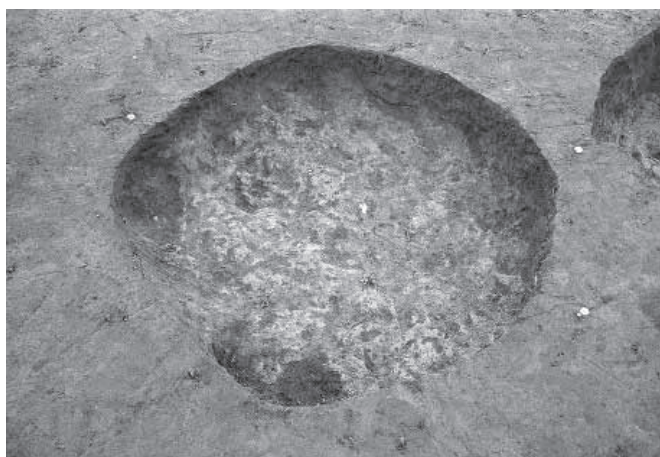
1. 1区254号土坑全景(西から)



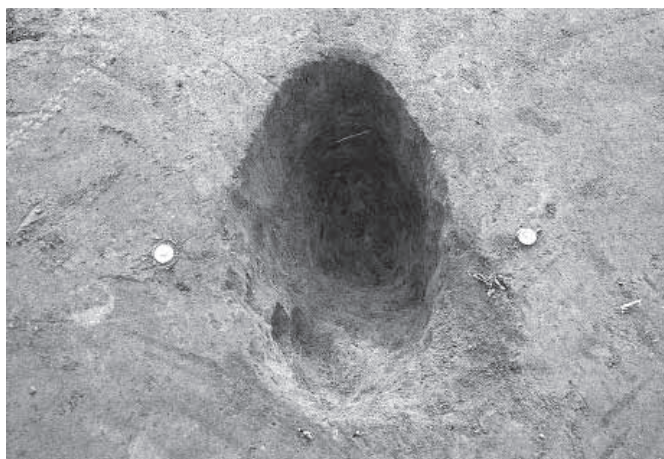
2. 1区257号土坑全景(北から)



3. 1区258号土坑全景(北から)



4. 1区261号土坑全景(北から)



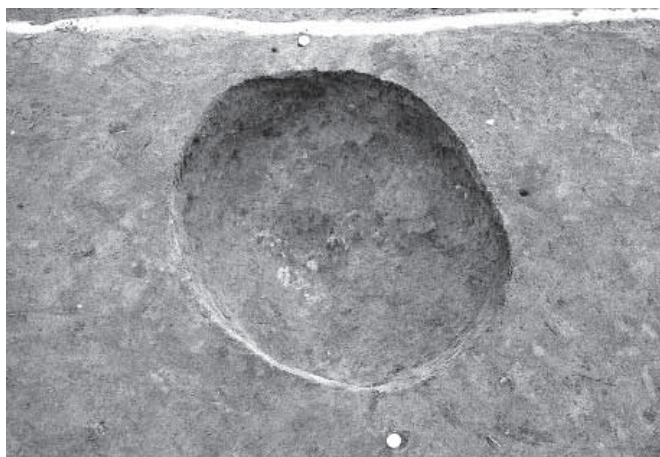
5. 1区262号土坑全景(北から)



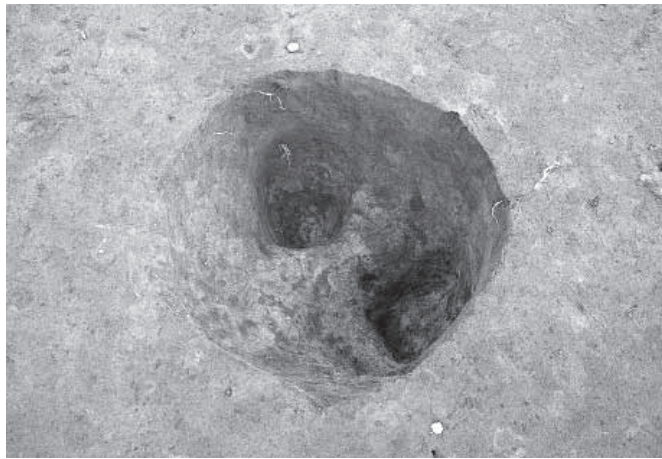
6. 1区263号土坑全景(北から)



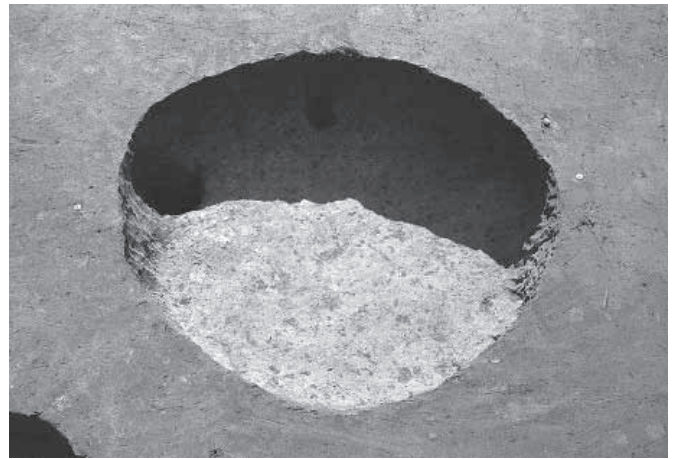
7. 1区264号土坑全景(東から)



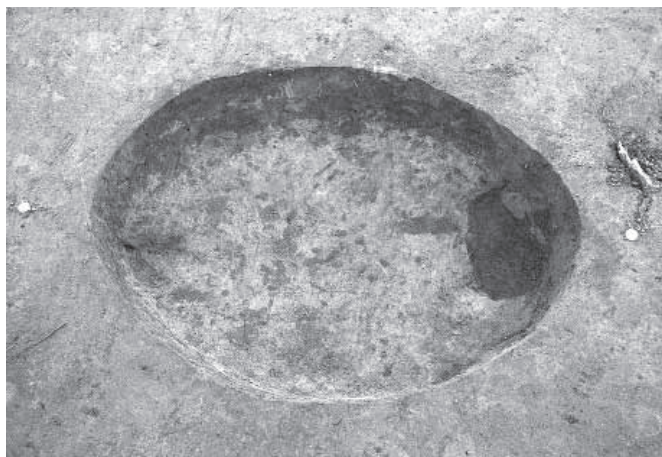
8. 1区265号土坑全景(北から)



1. 1区266号土坑全景(西から)



2. 1区270号土坑全景(北から)



3. 1区271号土坑全景(北から)



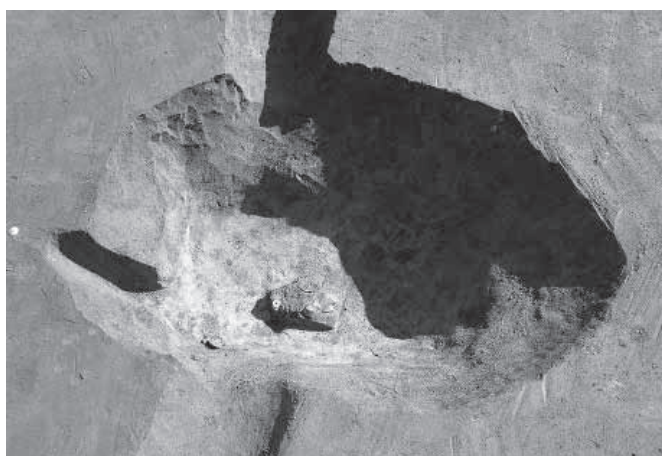
4. 1区272号土坑全景(西から)



5. 1区273号土坑全景(北から)



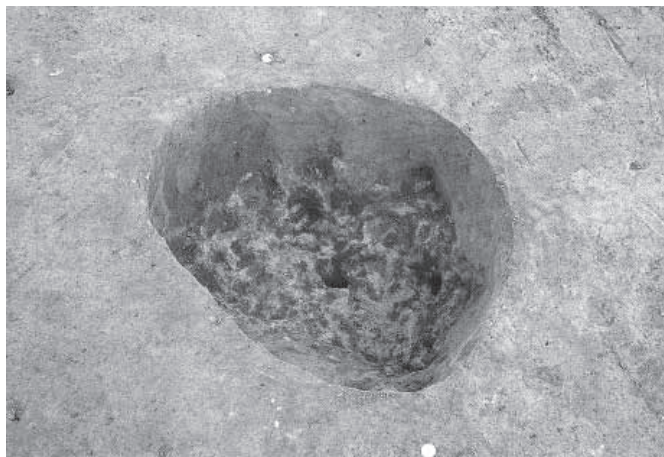
6. 1区275号土坑全景(西から)



7. 1区276号土坑全景(西から)



8. 1区276号土坑遺物出土状況(西から)



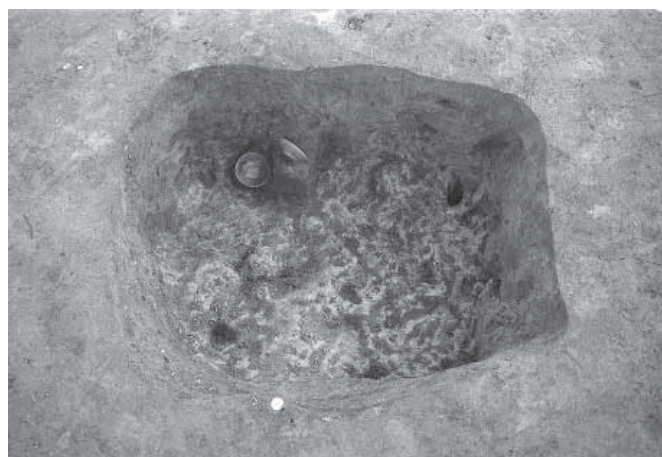
1. 1区278号土坑全景(西から)



2. 1区281号土坑全景(西から)



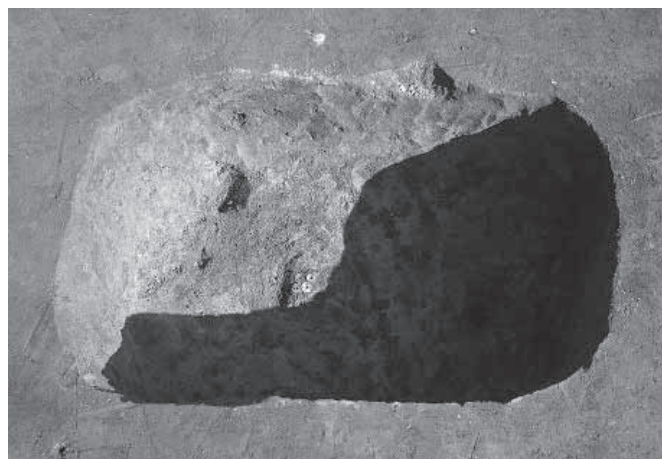
3. 1区284号土坑全景(南から)



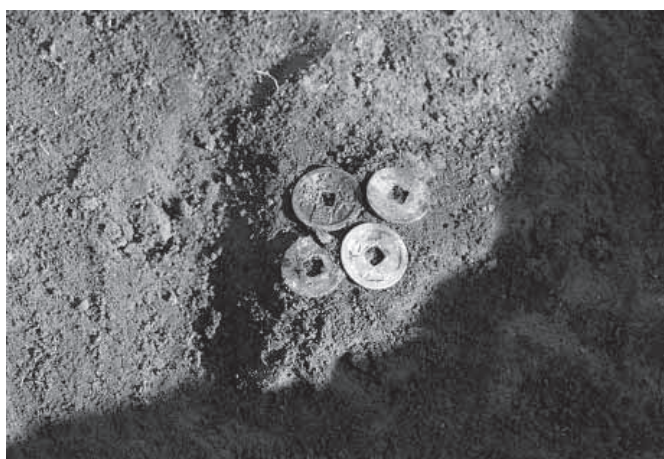
4. 1区285号土坑全景(西から)



5. 1区285号土坑遺物出土状況(西から)



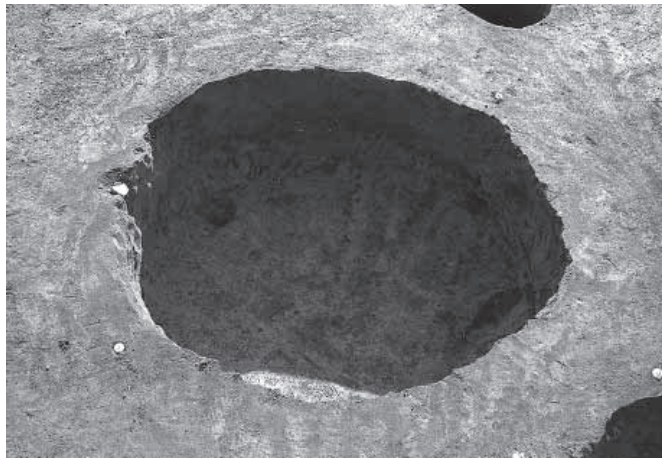
6. 1区286号土坑全景(西から)



7. 1区286号土坑遺物出土状況(西から)



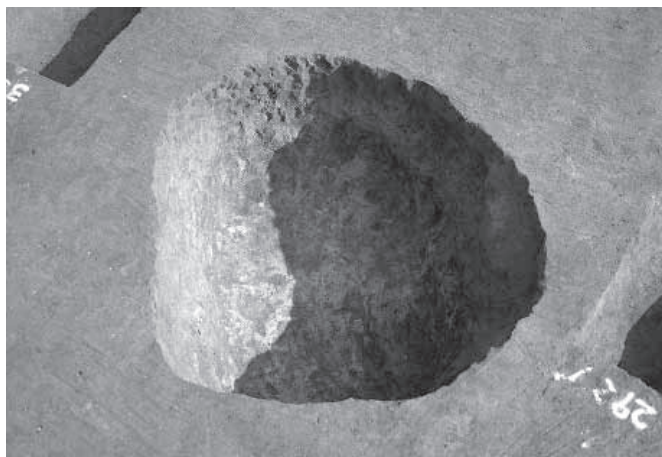
8. 1区289号土坑全景(北から)



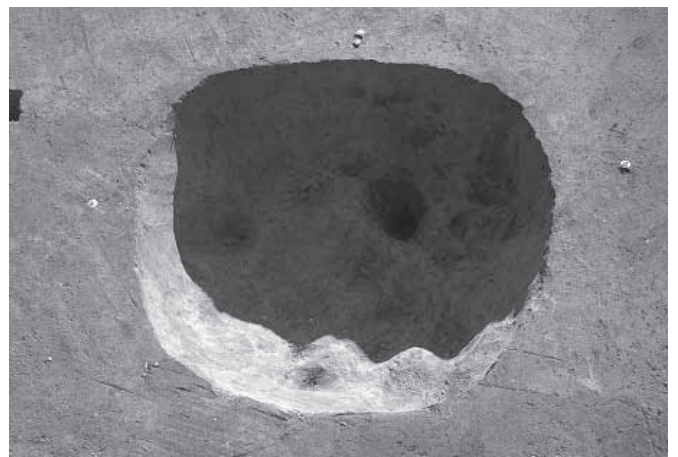
1. 1区290号土坑全景(東から)



2. 1区294号土坑全景(南から)



3. 1区299号土坑全景(西から)



4. 1区314号土坑全景(北から)



5. 1区315号土坑全景(東から)



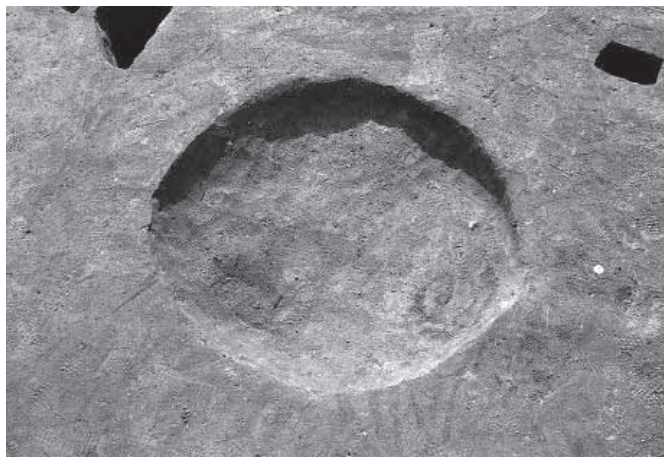
6. 1区315号土坑遺物出土状況(東から)



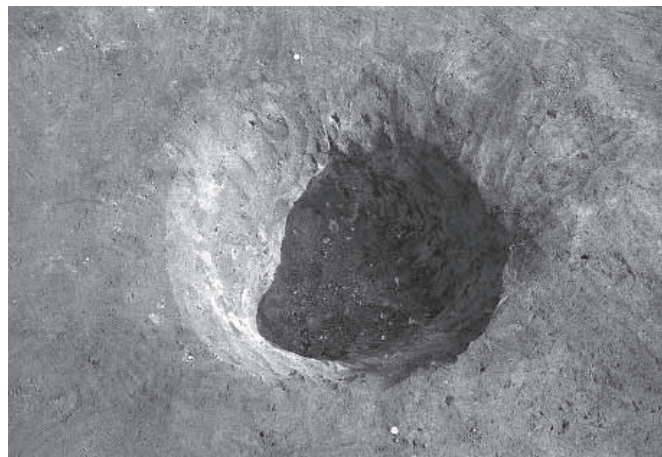
7. 1区319号土坑全景(東から)



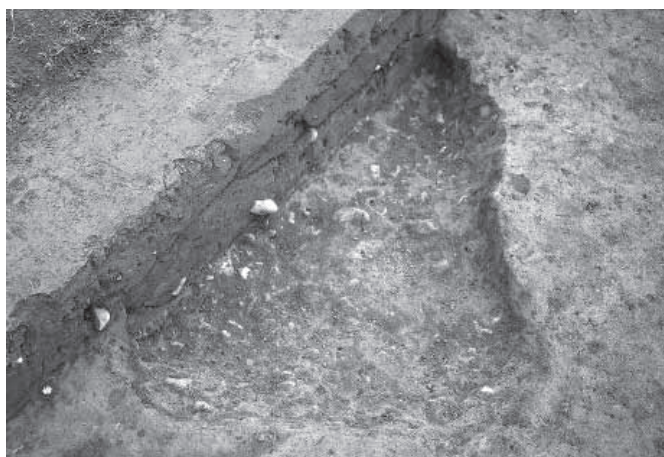
8. 1区320号土坑全景(南から)



1. 3区23号土坑全景(東から)



2. 3区24号土坑全景(北から)



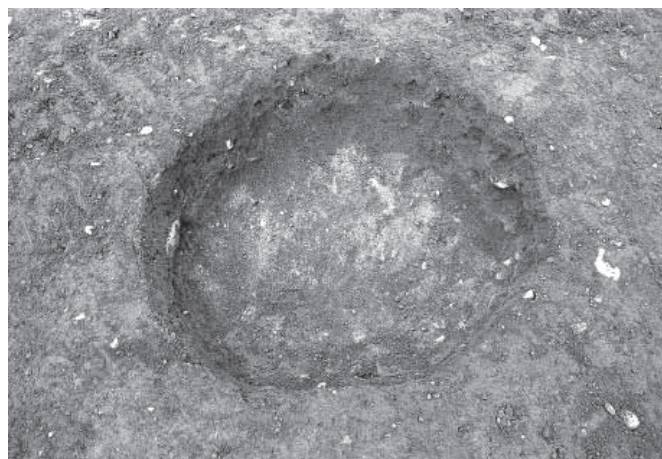
3. 3区26号土坑全景(西から)



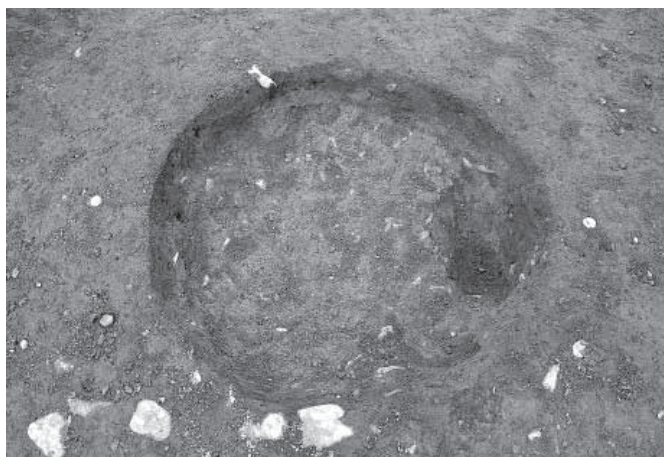
4. 3区27号土坑全景(西から)



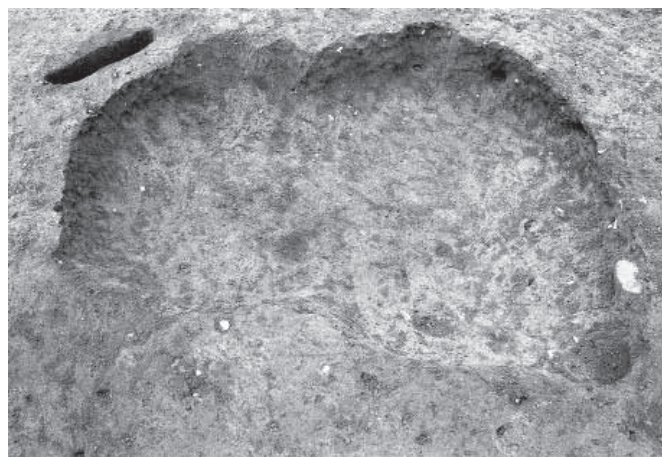
5. 3区28号土坑全景(南から)



6. 3区29号土坑全景(南から)



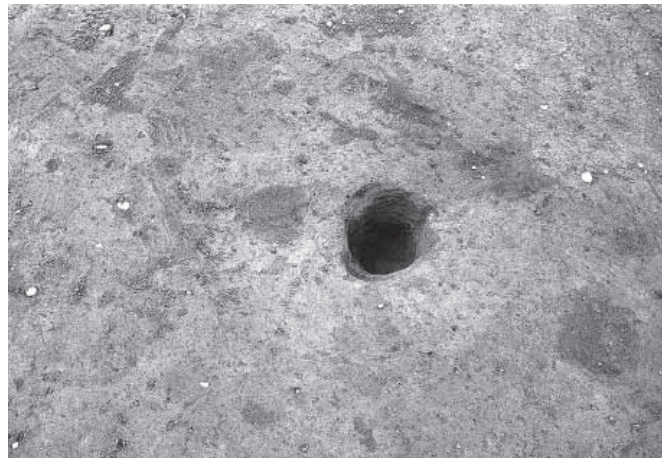
7. 3区30号土坑全景(南から)



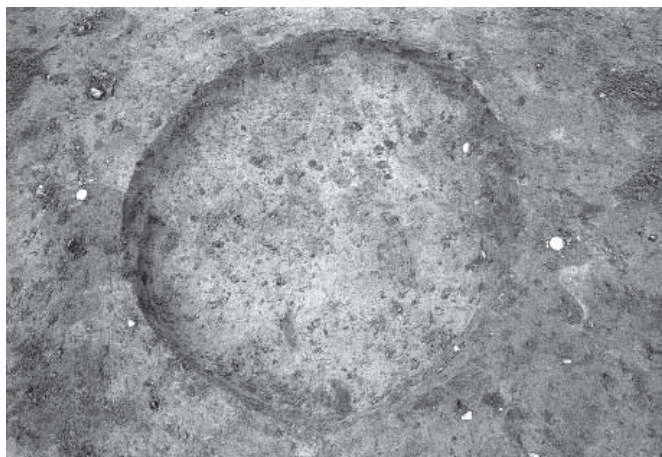
8. 3区31・32号土坑全景(東から)



1. 3区33号土坑全景(南から)



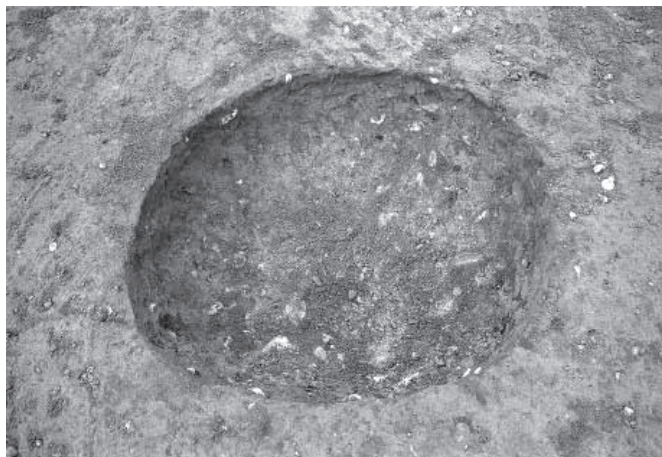
2. 3区34号土坑全景(南から)



3. 3区35号土坑全景(南から)



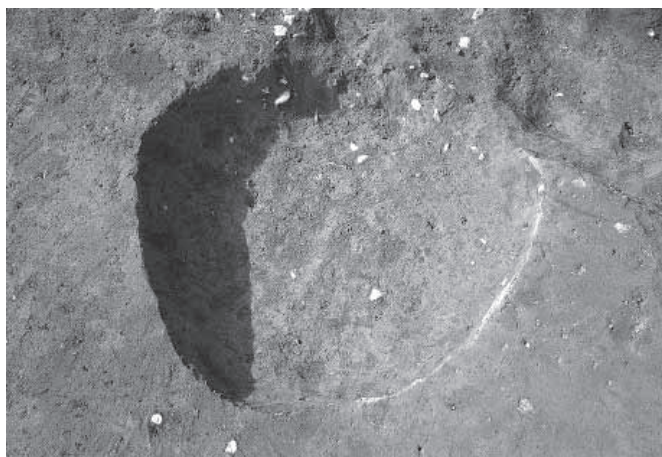
4. 3区36号土坑全景(南から)



5. 3区37号土坑全景(南から)



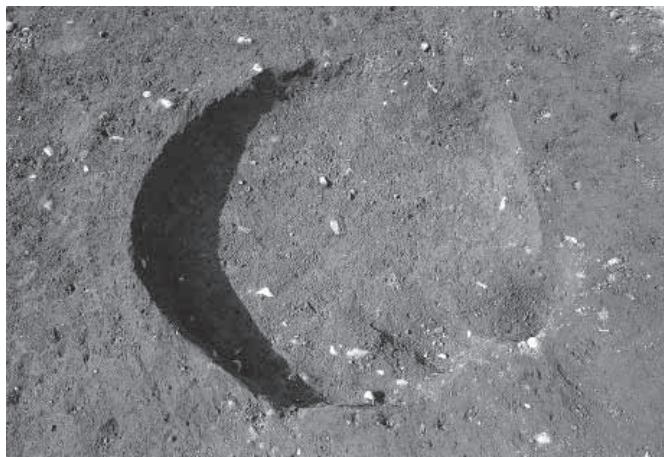
6. 3区39号土坑全景(西から)



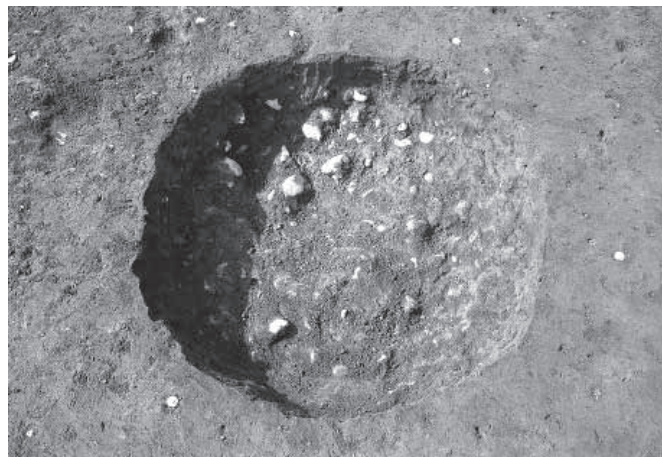
7. 3区41号土坑全景(南東から)



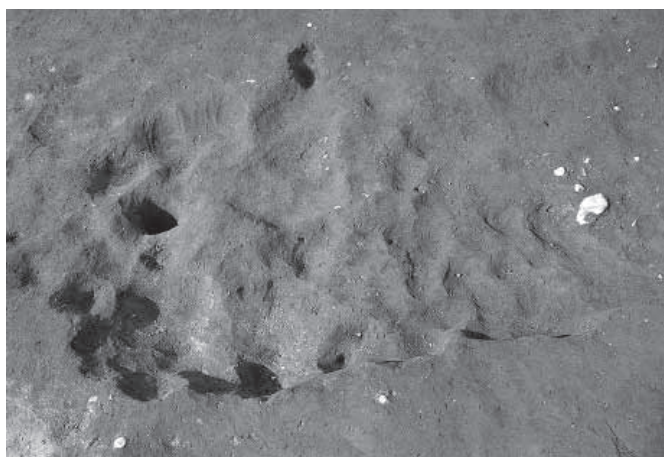
8. 3区42号土坑全景(南東から)



1. 3区43号土坑全景(南東から)



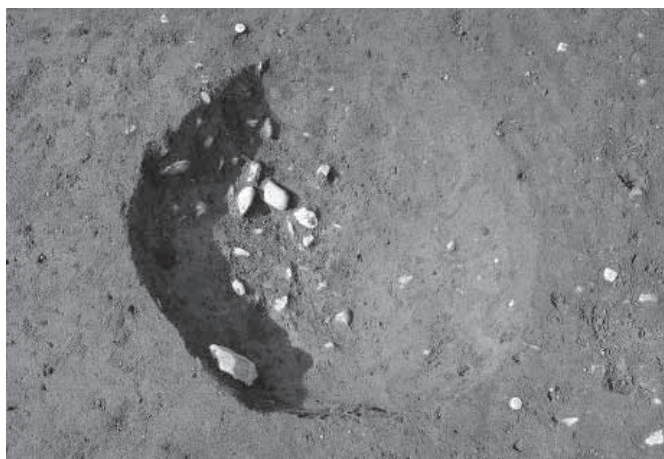
2. 3区44号土坑全景(南東から)



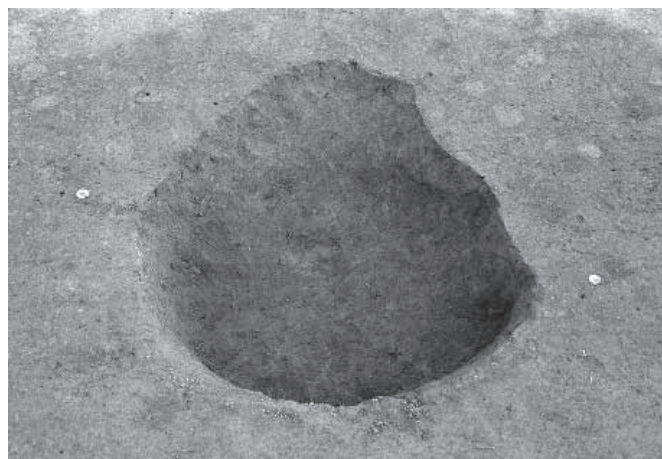
3. 3区45号土坑全景(南東から)



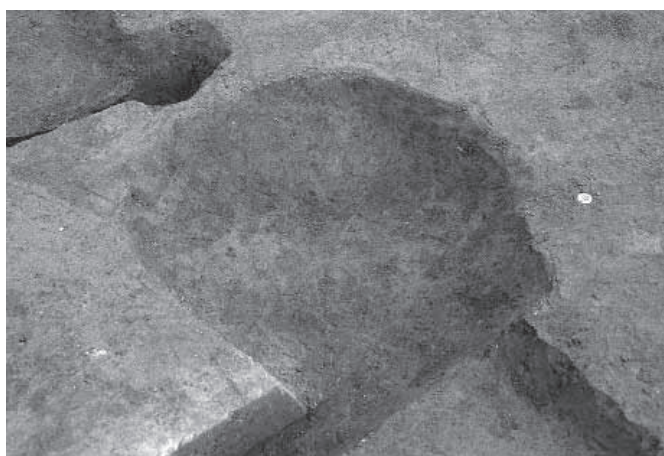
4. 3区46号土坑全景(南東から)



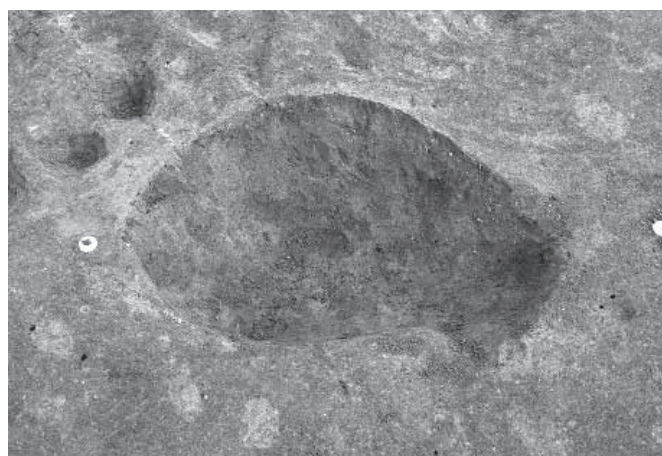
5. 3区48号土坑全景(南東から)



6. 6区37号土坑全景(西から)



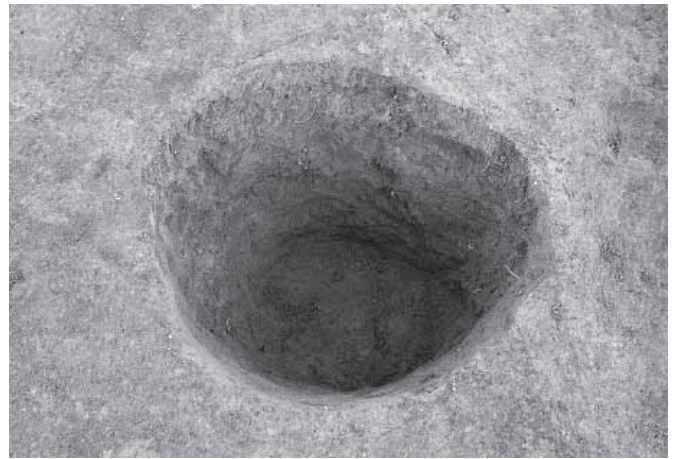
7. 6区38号土坑全景(南西から)



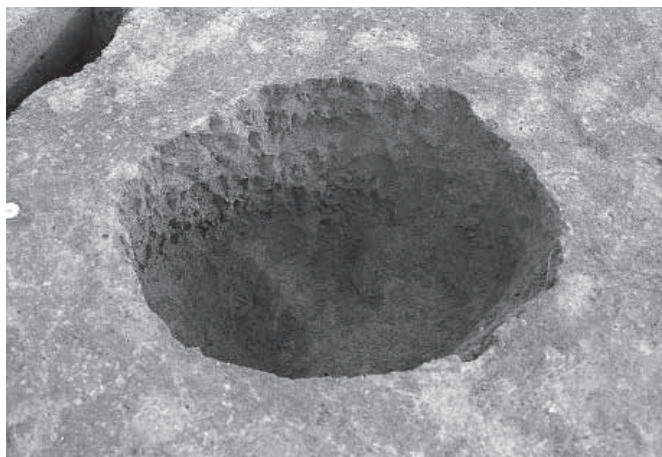
8. 6区39号土坑全景(南西から)



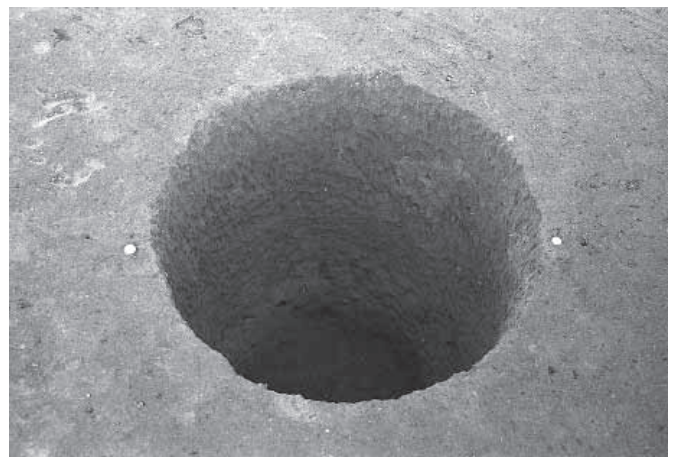
1. 6区40号土坑全景(南から)



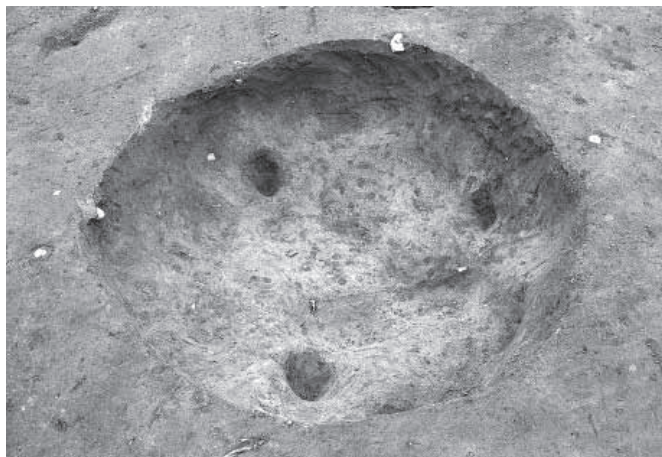
2. 6区41号土坑全景(南から)



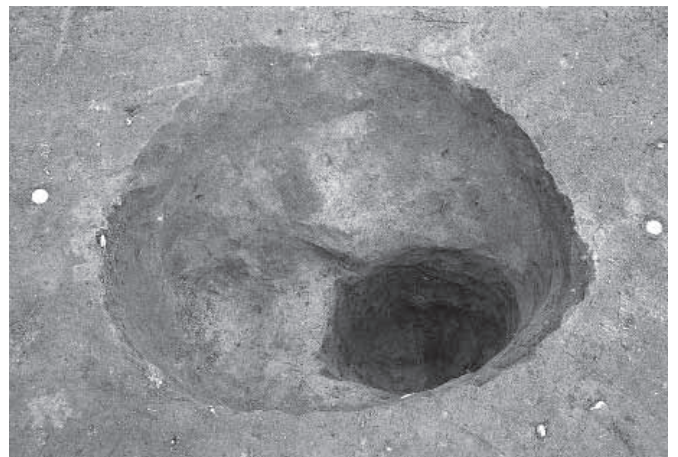
3. 6区42号土坑全景(南西から)



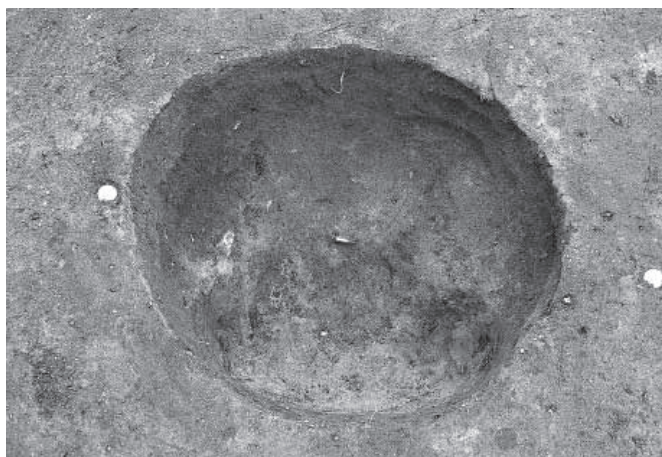
4. 6区45号土坑全景(南から)



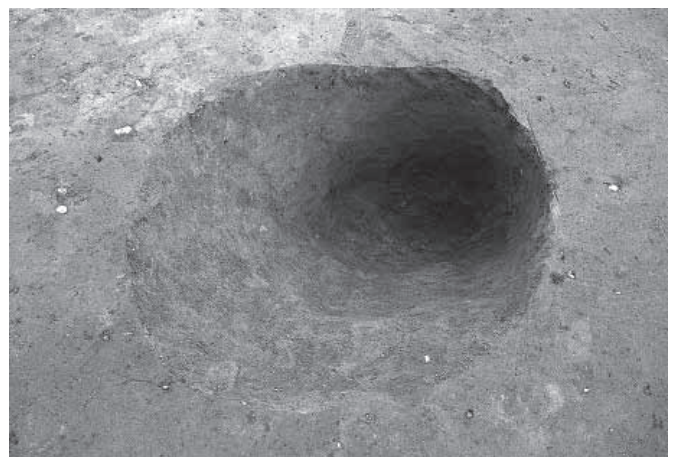
5. 6区119号土坑全景(南から)



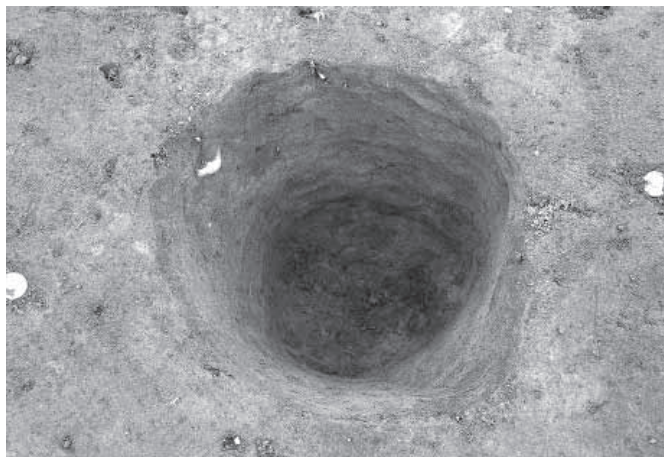
6. 6区120号土坑全景(北から)



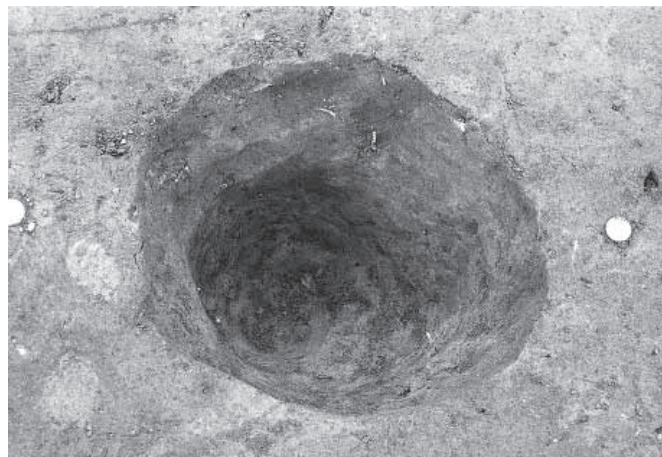
7. 6区121号土坑全景(北から)



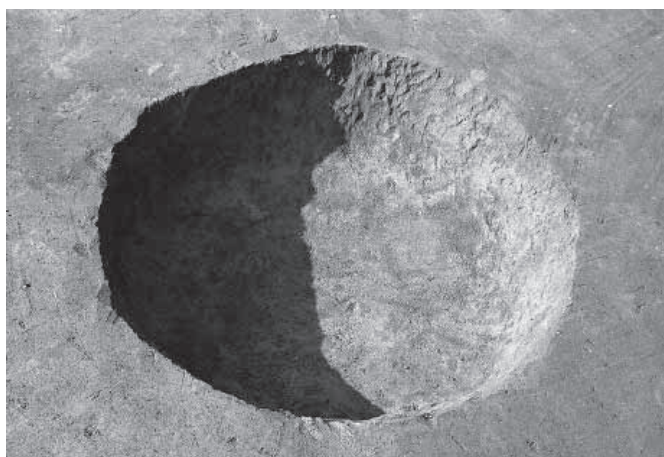
8. 6区122号土坑全景(北から)



1. 6区123号土坑全景(北から)



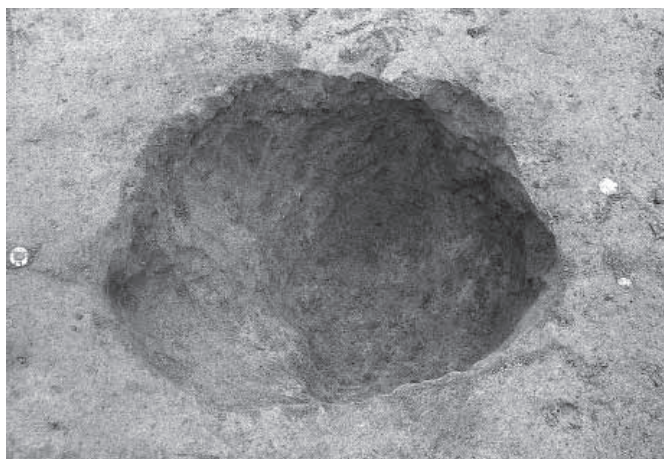
2. 6区124号土坑全景(北から)



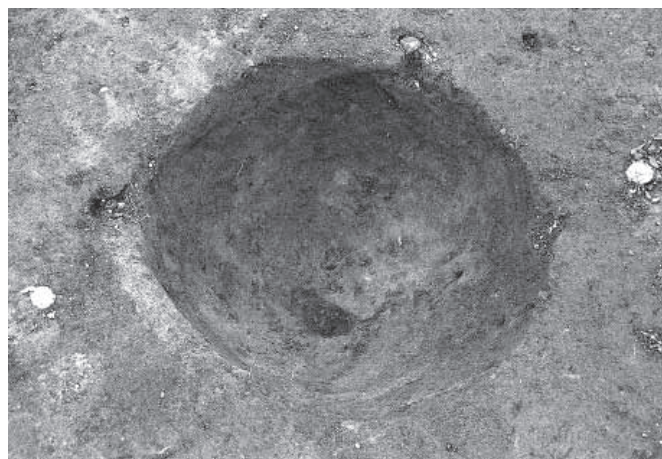
3. 6区125号土坑全景(北から)



4. 6区126号土坑全景(東から)



5. 6区127号土坑全景(北から)



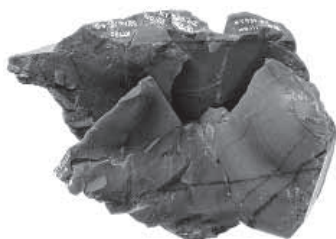
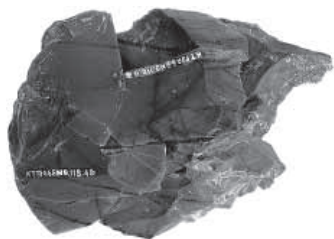
6. 6区128号土坑全景(北から)



7. 1区590-140Gピット群北部全景(西から)



8. 1区590-140Gピット群南部全景(西から)



接合資料 1



接合資料 2



接合資料 3



接合資料 4



接合資料 5



6



1001



1002



1003



1004



1001



1001



1005



1007



1006



1010



1011



1011



1011



1012



1013



1014



1014



1015



1016



1020



1021



1023



1024



1017



1018



1022



1025



1026

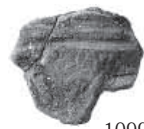


1019





1095



1099



1100



1101



1102



1103



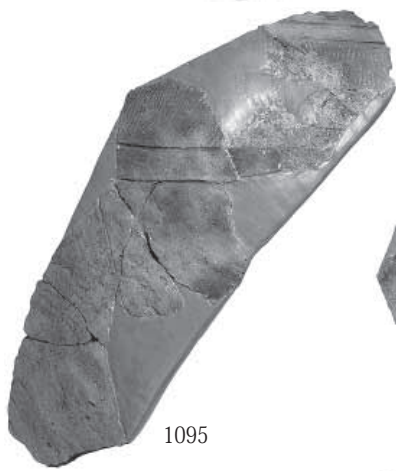
1104



1105



1106



1095



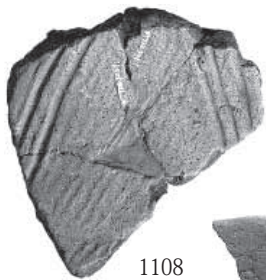
1095



1107



1095



1108



1109



1110



1111



1112



1113



1114



1115



1116



1117



1118



1119



1120



1122



1124



1125



1126



1127



1121



1123



1128



1129



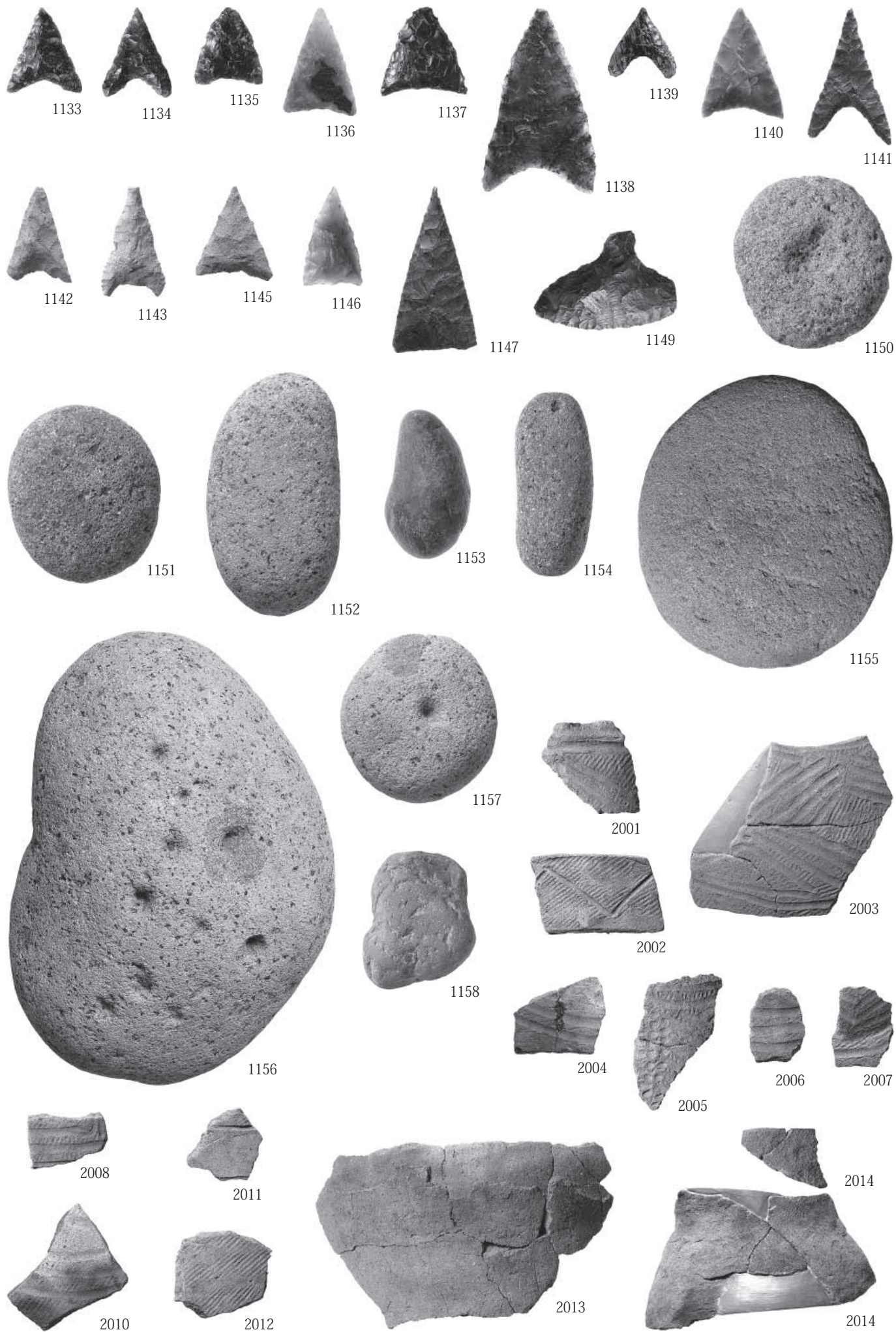
1130



1131



1132





3002



3003



3004



3007



3008



3009



3011



3013



3014



3015



3016



3017



3018



3019



3020



3021



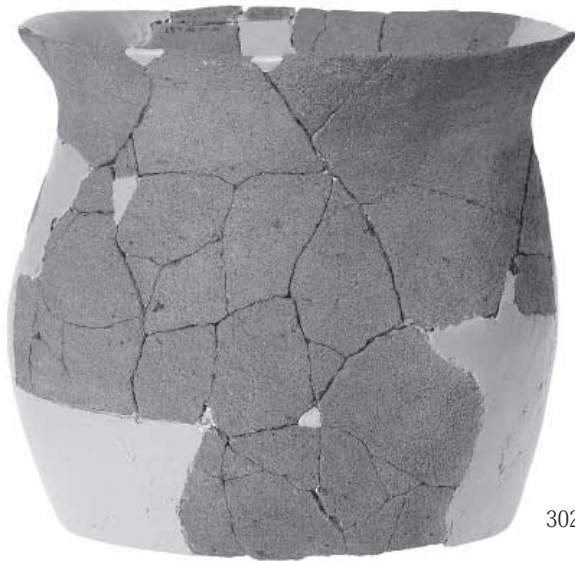
3023



3024



3026



3029



3040



3041



3045



3046



3047



3048



3030



3049



3050



3051



3052



3053



3054



3055



3056



3057



3058



3061



3059



3063



3060



3064



3066



3067



3070



3074



3078



3077



3085



3079



3080



3081



3082



3089



3090



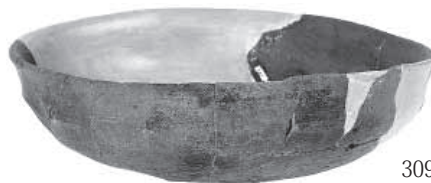
3091



3092



3094



3095



3096



3100



3101



3102



3103



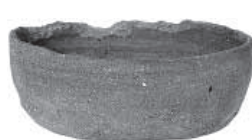
3104



3105



3106



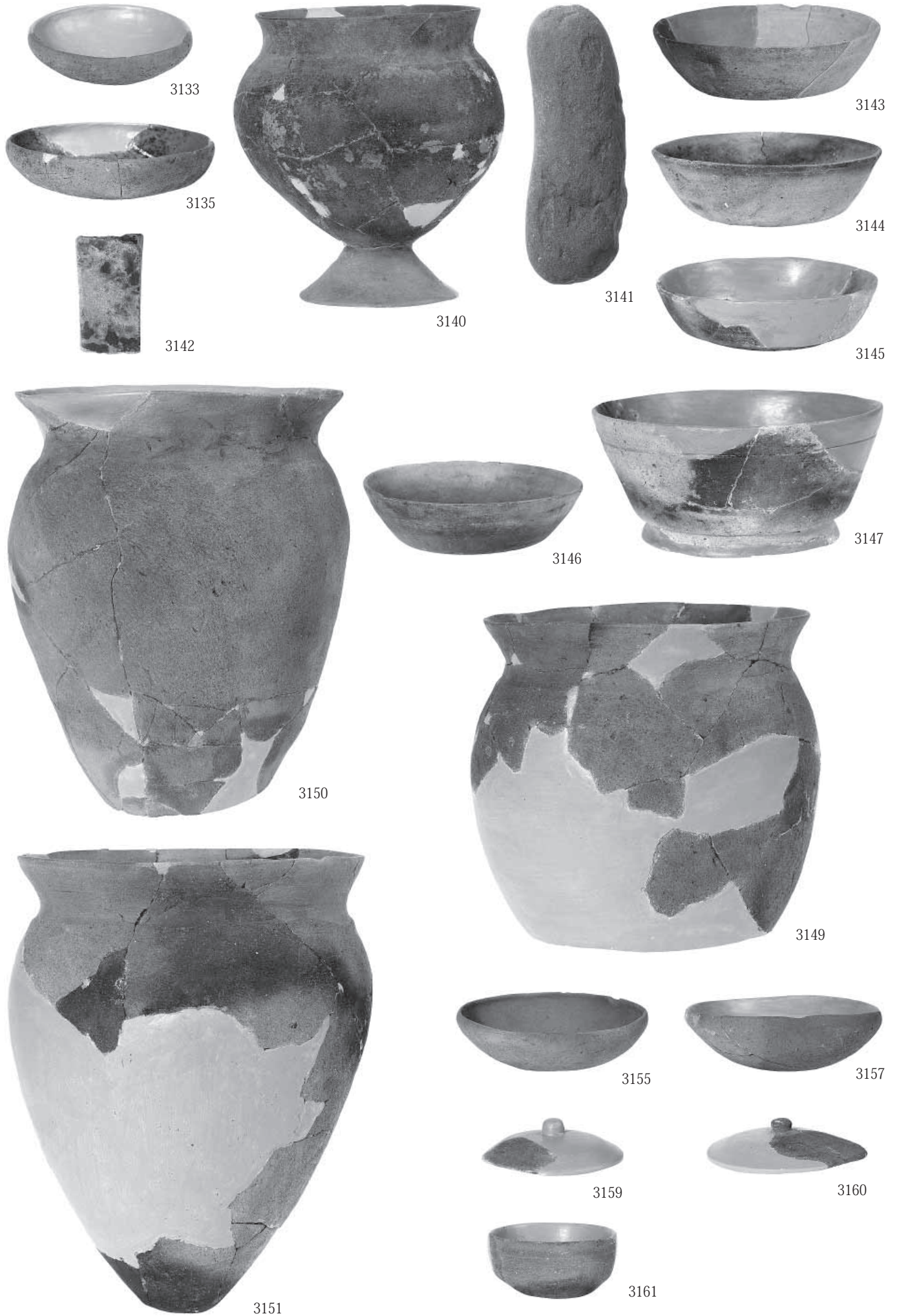
3108



3113









3162



3165



3167



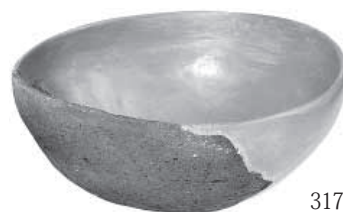
3168



3164



3171



3172



3173



3177



3178



3179



3180



3183



3184



3187



3188



3189



3193



3195



3196



3197



3198



3200



3199



3202



3209



3204



3205



3211



3210



3225



3227



3229



3228



3233

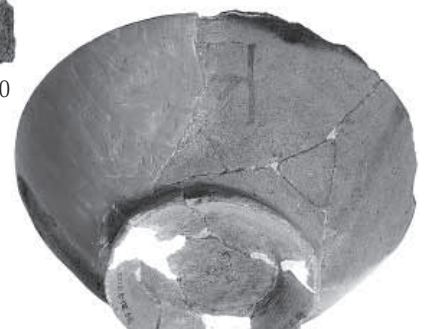


3234



3235







3288



3291



3293



3294



3299



3301



3302



3303



3305



3306



3308



3309



3310



3315



3318



3320



3321



3324



3325



3326



3327



3323



3330



3332



3329



3334



3335



3336



3337



3340





3362



3363



3371



3372



3373



3374



3375



3378



3382



3387



3386



3385



3388



3389



3390



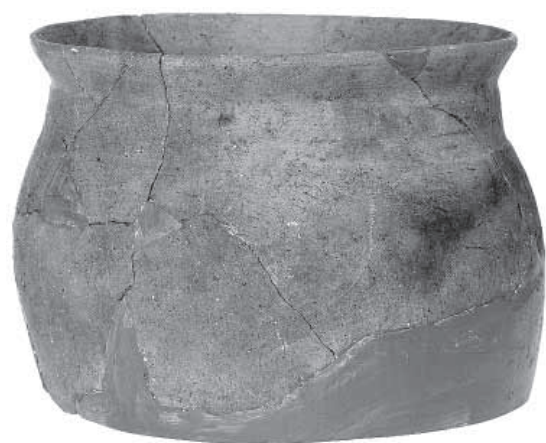
3396



3400



3406



3413



3414



3415



3416



3417



3425



3426



3418



3419



3423



3420



3421



3436



3422



3429



3435



3437



3438



3439



3440



3441



3444



3448



3449



3450



3451



3453

3454

3457

3458



3460

3462

3464

3465



3467

3470



3476



3477



3475



3482



3485



3489



3491



3479



3494



3495



3498



3500



3501



3503



3528



3530



3519



3520



3529



3535



3537



3539



3640



3542



3543



3547



3549



3552



3553



3554



3555



3556



3558



3563



3564



3566



3567



3568



3569



3572



3575



3580



3584



3585



3587



3588



3591



3590



3600



3602



3604



3609



3605



3607



3610



3611



3617



3618



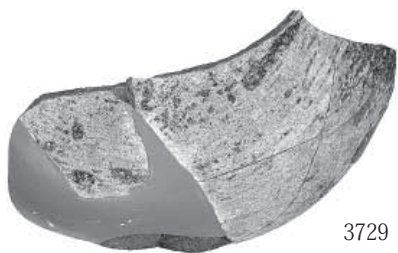




3727



3728



3729



3730



3739



3740



3741



3732



3743



3744



3734



3747



3760



3761



3735



3766



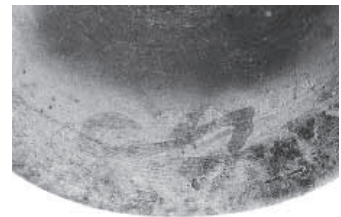
3770



3764



3774



3777



3780



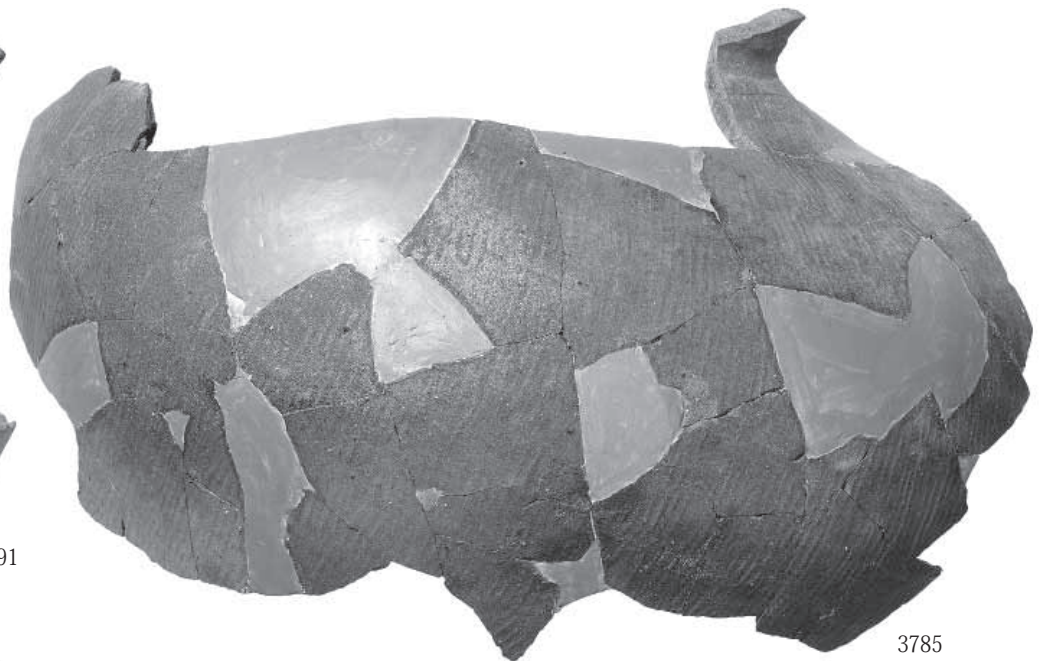
3784



3782



3788



3785



3791



3798



3799



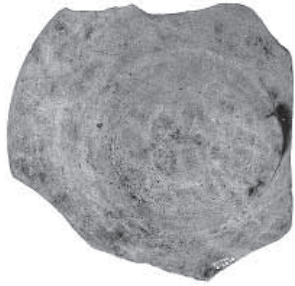
3794



3797



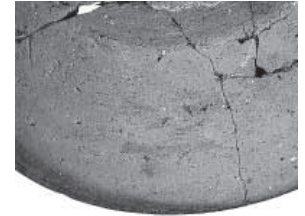
3801



3800



3802



3805



3283



3815



3807



3819



3821



3825



3826



3827



3833

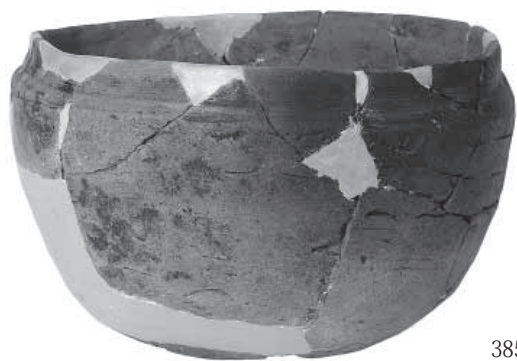


3834



3835





3859



3862



3861



3863



3869



3884



3887



3860



3873



3891



3885



3892



3907



3894



3912



3895



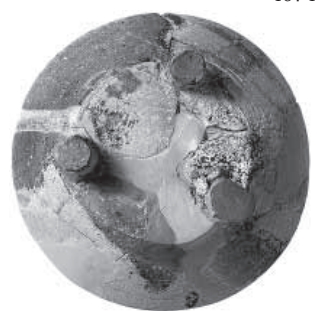
3906



3915



3919





4085



4104



4125



4223



4224



4225



4132



4133



4135



4134



4217



4218



4219



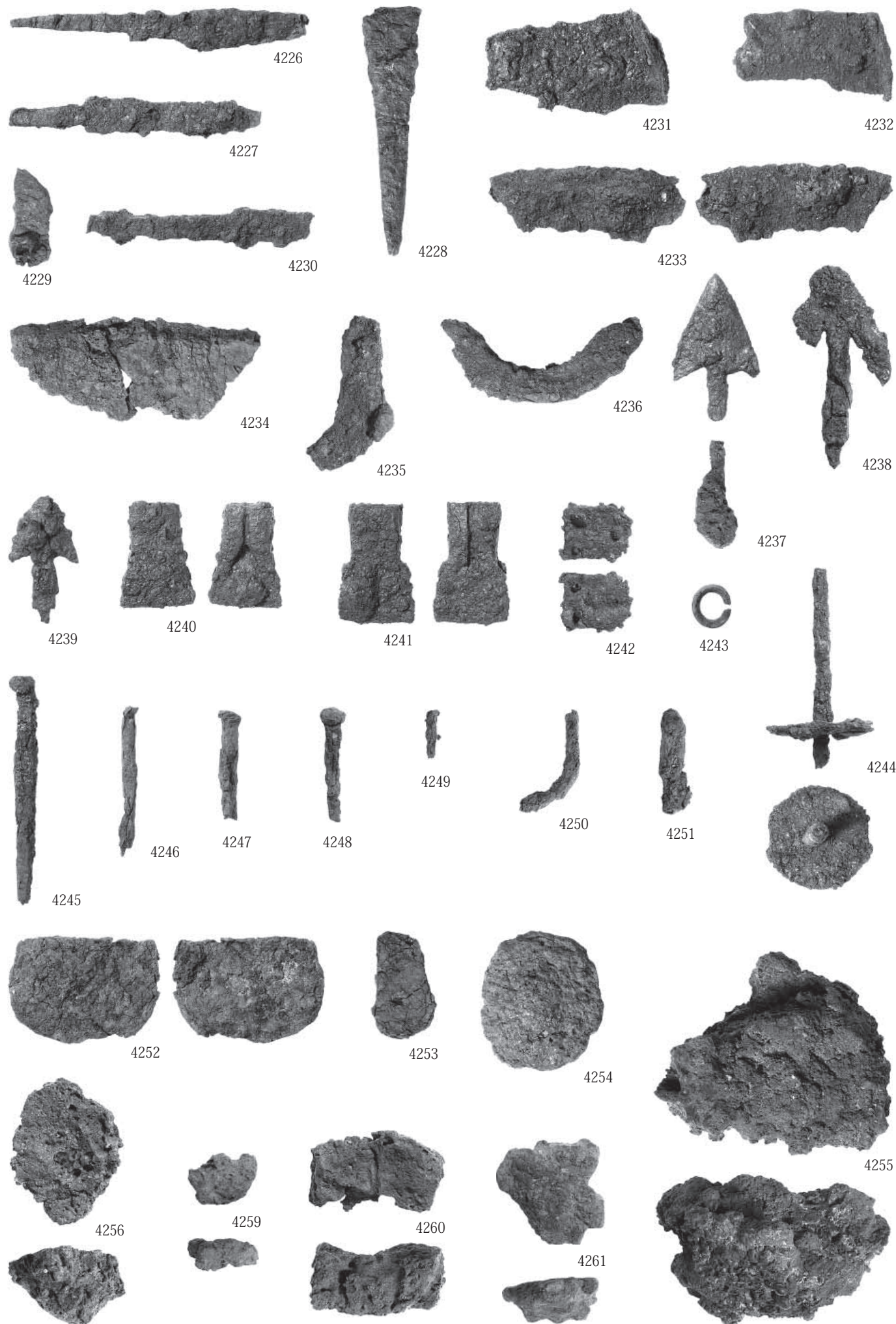
4220

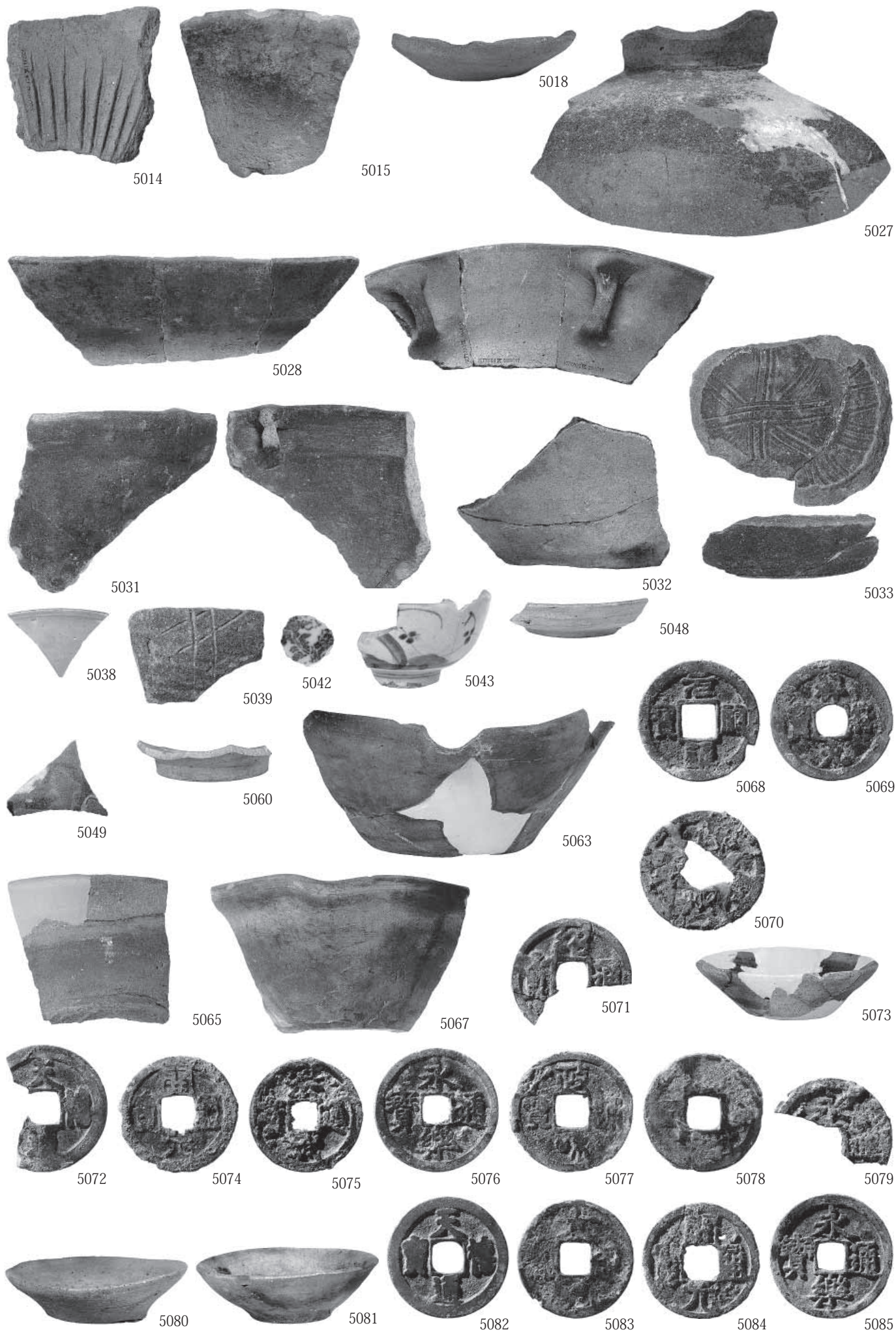


4221



4222







5088



5089



5090



5091



5092



5093



5094



5095



5096



5097



5098



5105



5106



5109



5115



5116



5127



5106



5108



5117



5120



5133



5134



5137



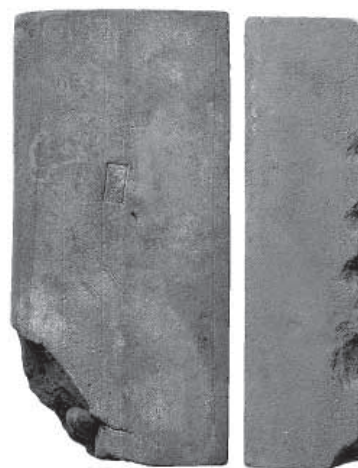
5138



5139



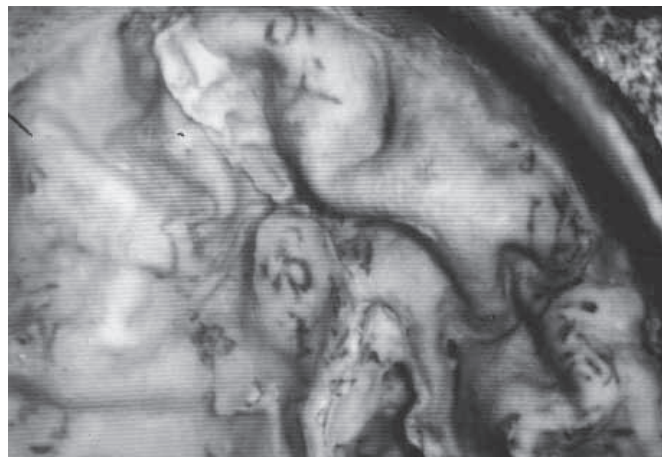
5142



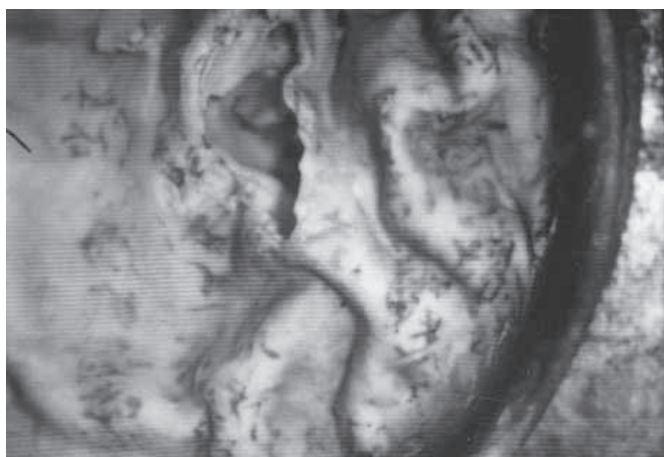
5143



1. 6区9号住居出土土師器杯内漆紙文書赤外線写真



2. 同左 右上部拡大



3. 同上 下部拡大



4. 同左上 左下部拡大



5. No. 4 写真の左右反転

報告書抄録

書名ふりがな	やべいせき
書名	矢部遺跡
副書名	北関東自動車道(伊勢崎～県境)地域埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	第532集
編著者名	橋本 淳/関根慎二/岩崎泰一/新井仁
編集機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20120316
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2
遺跡名ふりがな	やべいせき
遺跡名	矢部遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけんおおたしただかりちょう
遺跡所在地	群馬県太田市只上町
市町村コード	10205
遺跡番号	T0393
北緯(日本測地系)	362008
東経(日本測地系)	1392354
北緯(世界測地系)	361956
東経(世界測地系)	1392406
調査期間	20040506-20050331/20050509-20060331
調査面積	41110
調査原因	道路建設
種別	集落/その他
主な時代	縄文/弥生/古墳/奈良/平安/中近世
遺跡概要	集落-縄文-土坑95-土器+石器-弥生-土坑1-土器+石器-古墳・奈良・平安-住居70+掘立柱建物11+溝86+井戸3+土坑187+畠70+道路遺構1-土器+石製品+鉄製品+銅製品-中近世-掘立柱建物10+溝73+井戸12+土坑208-土器+陶磁器+石製品+銅製品+銭貨
特記事項	古墳～平安時代集落 幅10m道路遺構 墨の付着した銚帯 漆紙文書
要約	縄文時代から近世の複合遺跡。縄文時代早期～後期前半の土器や、古墳～平安時代の竪穴住居70軒、幅10mの直線道路、洪水起源と考えられる土砂に埋もれた大規模な用水路、中近世の掘立柱建物や井戸等が検出されている。また、古代墨の付着した銚帯・漆紙文書の入った土器も出土した。

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第532集

矢部遺跡

北関東自動車道(伊勢崎～県境)地域埋蔵文化財発掘調査報告書

平成24(2012)年3月9日 印刷

平成24(2012)年3月16日 発行

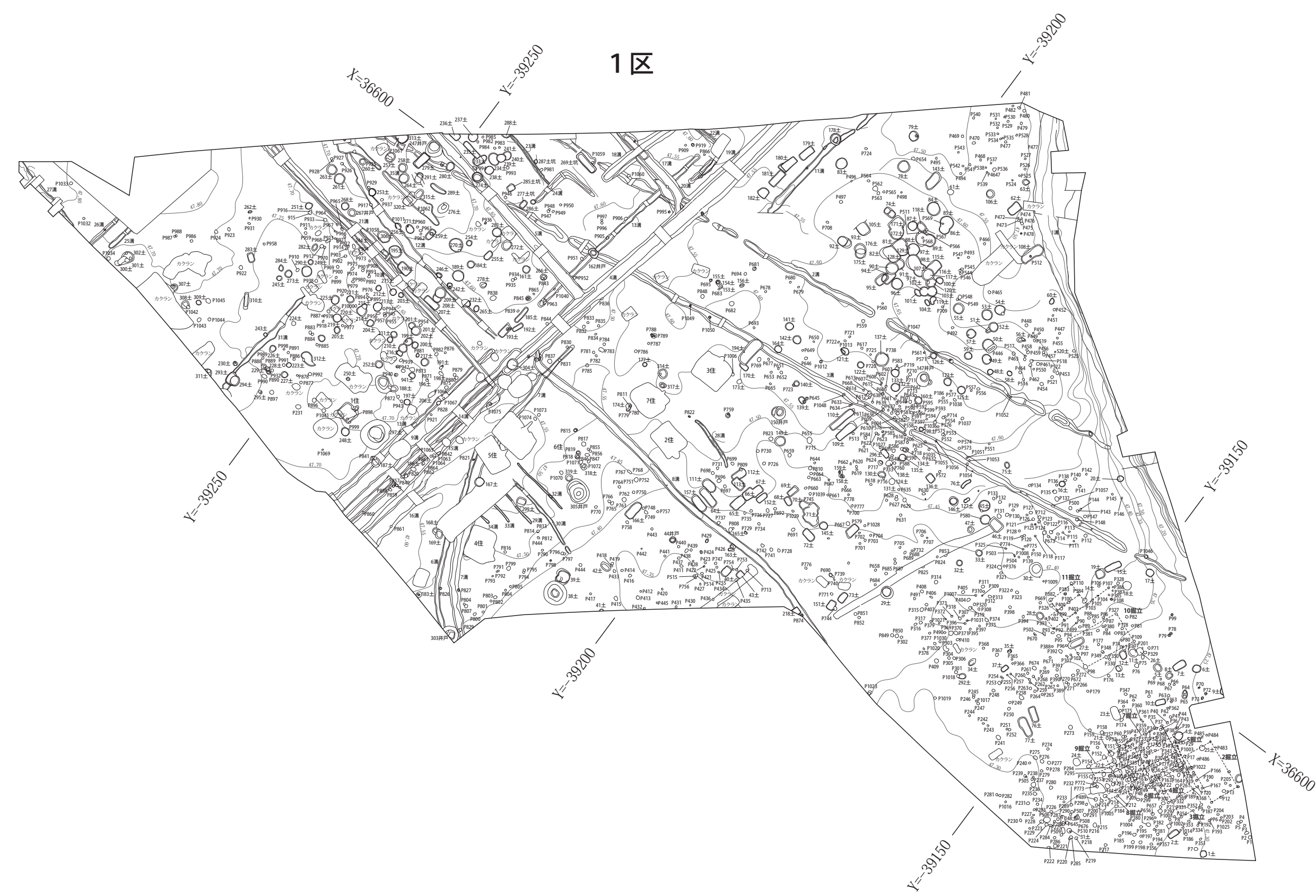
編集・発行／財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2

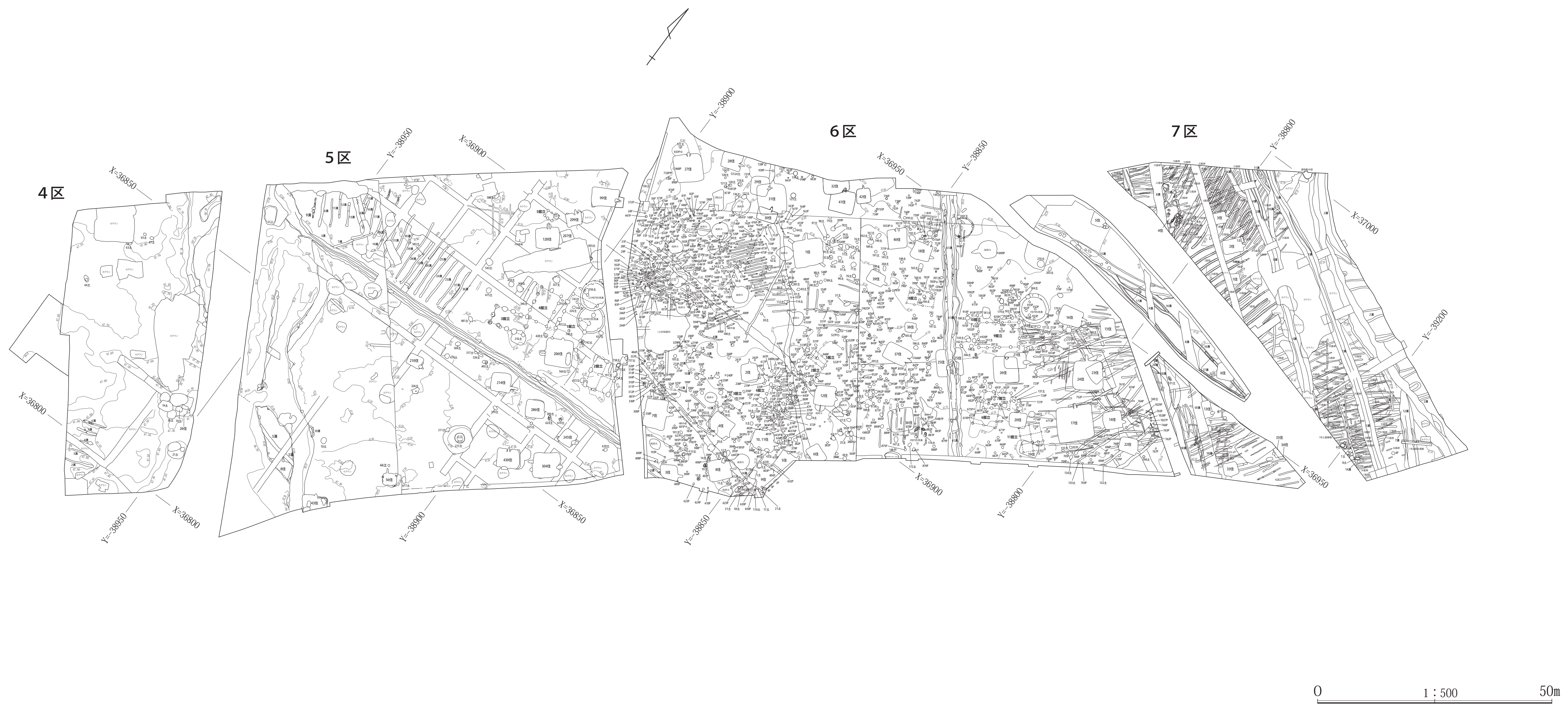
電話(0279)52-2511(代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷／朝日印刷株式会社



付図1 矢部遺跡 1～3区全体図



付図2 矢部遺跡 4～7区全体図